Ⅰ　一般的注意事項

1. 開設授業科目の履修方法については、当該入学年度の『履修要覧』(別の冊子) を参照してください。

2. 開設授業科目に変更がある場合には、掲示、manaba、授業等で知らせます。

3. 授業時間

時限ごとの授業の開始・終了時刻は次のとおりです。(1 時限 ： 75 分)

時 限	授 業 時 間
第 1 時限	8:40～ 9:55
2 時限	10:10～11:25
3 時限	12:15～13:30
4 時限	13:45～15:00
5 時限	15:15～16:30
6 時限	16:45～18:00

休 憩 時 間
9:55～10:10
11:25～12:15
13:30～13:45
15:00～15:15
16:30～16:45

4. モジュールと授業期間

学期は、春学期と秋学期の 2 学期とし、春A、春B、春C、秋A、秋B、秋Cの６つのモジュールで構成されます。モジュールの組み合わせによって、下表のように多様な授業実施方法があります。

<table>
<tr><td>月</td><td colspan="2">４月～５月</td><td colspan="2">６月～７月</td><td colspan="2">８月～９月</td><td colspan="2">10 月～11 月</td><td colspan="2">12 月～１月</td><td colspan="2">２月～３月</td></tr>
<tr><td>学期</td><td colspan="4">春学期</td><td colspan="8">秋学期</td></tr>
<tr><td>モジュール
（５週単位）</td><td colspan="2">春 A
モジュール</td><td colspan="2">春 B
モジュール</td><td colspan="2">春 C
モジュール</td><td>夏季
休業</td><td colspan="2">秋 A
モジュール</td><td colspan="2">秋 B
モジュール</td><td colspan="2">秋 C
モジュール</td><td>春季
休業</td></tr>
<tr><td>５週又は１０週</td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td rowspan="2">集中講義等</td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td rowspan="2">集中講義等</td></tr>
<tr><td>１５週</td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

5. 開設授業科目一覧の見方

(例)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB10191	哲学	1	1.0	1	春AB	火6	筑波 太郎	哲学の基本的問題について考察する。	CDP 人文学類生に限る AC11999と同一。

- 科目番号：記号や番号で開設組織、区分・分野等を表します。
- 授業方法：授業方法が「講義」であることを表します。
- 標準履修年次：科目の標準的な履修年次を表します。
- 曜時限：「火曜日」の「6限目」に授業を行います。
- 備考：「11」で説明する備考の定型のほか、科目の受講条件等様々な記述がありますので注意して下さい。

■　定期的な曜時限を設けていない授業について

授業科目によっては、以下のように定期的な曜時限を設けていない授業があります。実施日程等の最新情報は、KdB（教育課程編成支援システム）や掲示等で確認してください。

- 集中授業：曜時限が定期ではなく、ある程度集中した日程で行う授業形態です。授業日程が決定したら履修登録が可能になります。
- 随時：実験指導的な科目など、学生が長時間にわたり実験等に従事する中で必要な都度、教員と調整の上、指導を受ける授業形態です。
- 応談：少人数のセミナー的な科目など、おおむね定期的に行われるが、教員の都合などで日時を変更することが少なからず生じるような授業形態です。
- NT：「NT」とは、”Non-timetabled attendance is possible”の略称です。開講曜時限は定めていないものの、シラバスに示されている受講推奨曜時限を目安として、レポート提出期限等に注意しながら、計画的に履修するようにしてください。なお、NT 科目の受講推奨曜時限と同一曜時限に開講され

る他の科目の履修が可能です。ただし、その場合は、提出課題等に無理がないか事前によく考えたうえで計画的な履修を心がけてください。

6. 科目番号

科目番号は、学群・学類等が開設する授業科目の区分、分野等を表す記号としての基準を定め、履修申請等の便宜を考慮し、開設授業科目ごとに付されています。履修申請は科目番号により行われます。

7. 授業方法

授業科目は、講義・演習・実験等で行っていますが、２つ以上の授業方法を併用する授業科目もあります。開設授業科目一覧においては各開設科目の授業方法を下記一覧のとおり表記しています。

記号	授 業 方 法
1	講義
2	演習
3	実習･実験･実技
4	講義及び演習
5	講義及び実習･実験･実技

記号	授 業 方 法
6	演習及び実習･実験･実技
7	講義、演習及び実習･実験･実技
8	卒業論文･卒業研究等
0	その他

8. 単位

単位とは、授業科目の修得に必要な学修量を計る基準となるものです。大学で開講している授業科目にはそれぞれ単位数が定められ、この単位を修得するためには、所定の時間を学修し、試験等による成績評価の結果、合格と判定されなければなりません。卒業の判定は、この単位数に基づき決定されます。

１単位の授業科目は、45 時間の学修を必要とする内容によって構成されています（日本の単位制度）。本学では、授業の方法、教育効果、授業時間外（自学自習）に必要な学修等を考慮して、次の基準で計算しています。

１単位当たりの学修時間

授業の方法	授業時間	授業時間外（自学自習）	備　　考
講義・演習	15時間 （毎週1.5時間×10週）	30時間	・外国語（日本語）の一部の授業時間は,22.5時間 ・医学群看護学類及び医療科学類開設の演習の授業時間は,30時間
実験・実習・実技	30時間 （毎週3時間×10週）	15時間	・医学群看護学類開設の実習の授業時間は,45時間 ・教育上特に必要と認められる場合の授業時間は,45時間

（本学は、１時限（75 分）を 1.5 時間として計算しています。）

なお、芸術等の分野における個人指導による実技の授業、卒業論文・卒業研究等の授業科目については、これらに必要な学修等を考慮して、各学群・学類において単位数を定めることとしています。

9. 標準履修年次

各授業科目は、教育上その科目の性格や教育内容を考慮し、効果的な学修ができるよう、標準履修年次を示して開講しています。原則としてその当該年次において履修してください。

10. 授業の受講について

① 授業実施方法について

筑波大学では、授業の実施形態を下記のとおり 5 つに分類しています。

各科目の授業実施方法は年度当初の計画を大学ホームページの開設授業科目一覧の備考欄に掲載しているほか、最新の情報は KdB の備考欄やシラバスに記載されます。また、Web 掲示板(TWINS)にお知らせが出ることもあります。

科目の区分	授業実施方法の区分	説明
対面授業科目	① 対面	全時限対面授業により実施する授業科目

	② 対面 (オンライン併用型)	対面授業とオンライン授業の併用により実施し、対面の割合が半数以上の授業科目
オンライン 授業科目	③ オンライン (対面併用型)	対面授業とオンライン授業の併用により実施し、対面の割合が半数未満の授業科目
	④ オンライン (オンデマンド型)	全時限をオンライン授業により実施し、主としてオンデマンド型により実施する授業科目
	⑤ オンライン (同時双方向型)	全時限をオンライン授業により実施し、主として同時双方向型により実施する授業科目

② manaba について

manaba は、それぞれの授業ごとにウェブから利用できるコースページを作成し、教員と学生が教材を電子的に共有したり、課題の出題と提出を行ったりすることができる学習管理システムです。TWINS で履修登録が完了すると、翌日以降に履修科目のコースにアクセスすることができるようになります。オンライン授業の実施に際しては、教材の共有に加えて、科目の受講方法や講義、動画、課題の提出など、manaba が中核的な役割を果たすことになります。（https://manaba.tsukuba.ac.jp）

③ オンライン授業に使用するソフトウェア・ハードウェアについて

本学学生はオンライン授業で用いられるグループウェアの Teams や、動画配信サービスの Stream を含む Microsoft 社が提供する様々なサービス群を利用することができます。また、オンライン授業を受講するためには、パーソナルコンピュータ、タブレット、スマートフォンなどの端末及び通信回線が必要です。その他、オンライン授業受講については「ICT ガイド」の「オンライン授業受講案内」を確認してください。（https://www.u.tsukuba.ac.jp/ict_guide/）

④ 授業で使用される資料等の取り扱いについて

授業で配布された資料や教材、講義動画や音声等を受講者が無断で複製・転載・転用してはいけません。

11. 備考

備考欄には、以下のような意味の略号・記述があります。

■専門導入科目(事前登録対象)

全学対象に開設される科目で、その専門分野の入口となる科目（専門基礎科目相当）として用意されています。異なる分野を目指す学生にも履修できるよう配慮はされていますが、前提となる知識を必要とする科目もありますので、シラバスや科目情報を確認したうえで履修してください。なお、**履修するには事前登録が必要です**。

■授業実施方法について

「10.授業の受講について」の「①授業実施方法について」　を参照

■G 科目

全学で育成するグローバル人材として修得するべき能力（① 外国語能力　② 豊かな教養、国際理解 ③ コミュニケーション能力　④ 多様性理解、活用力　⑤ 学際的思考力　⑥ アイデンティティーと自信　⑦ ポジティブな思考と実践力　⑧ 自己表現力・専門力）の　一部が身に付く科目で、全学学生向けに開設する科目を示しています。

■CDP

専門教育を通してキャリア形成を考えるのに役に立つ内容を含んでいる科目であることを示しています。

■科目等履修生・短期留学生

科目等履修生、短期留学生（特別聴講学生）の履修可否を示しています。

■○○で授業

○○（言語）で行われる授業であることを示しています。

■0000000 と同一

0000000（科目番号）と同一科目であることを示しています。申請すべき科目番号は学生の所属によりますので、登録時に間違えないよう確認してください。

■実務経験教員

授業担当教員の中に実務経験のある教員を含む授業であることを示しています。

■男女別要素（XX）

この表記のある科目は、以下のような男女別要素が含まれます。

男女別要素（ウェア）：専用のウェアに着替えが必要な科目、男女でウェア等が違う科目であることを示しています。

男女別要素（用具）：用具が男女別の科目を示しています。

男女別要素（接触）：他の学生と身体的接触のある科目を示しています。

男女別要素（宿泊）：宿泊を伴う科目を示しています。

男女別要素（特別ルール・ペア/チーム分け）：男女別特別ルール・ペア/チーム分けがある科目などを示しています。

男女別要素（その他）：体力測定の基準値が違う、つくばマラソンのエントリーに性別の記載がある等、上記以外の男女別要素がある科目を示しています。

Ⅱ　履修申請について

学生各自が学修計画に基づき、ガイダンスやクラス担任教員等の指導を受けた上で、履修しようとする科目を所属学群長に届け出ることを「履修申請」といいます。
「履修申請」は、授業科目の履修に関しての最も重要な手続きです。入学時（入学年度）の履修要覧を参照して各自の卒業に必要な単位等を十分に確認したうえで、指定された期間内に必ず申請してください。
止むを得ない理由があって、期間内に申請不可能な場合は、所属する組織（学類・専門学群、総合学域群など）の支援室学群教務（総合学域群においては総合学域群アカデミックサポートセンターを指します。以降文中の「支援室学群教務」においても同じです。）に連絡してください。履修申請がされていない授業科目は、履修することはできません。たとえその授業科目の試験等を受けても単位を修得することはできません。
本学を卒業するために最低限必要とされる授業科目及び単位数については、**入学時に配付する『履修要覧』**に掲載されています。また、開設される授業科目については、下記の開設授業科目情報において公開されています。
どの授業科目を、どの授業科目区分で履修するかは、所属する学群・学類毎に各自が希望する主専攻分野との関連で決まります。（総合学域群においては、移行先によって科目区分が決まります。）
なお、学群・学類によっては、主専攻分野の選択条件が定められています。

1　履修申請の流れ

<table>
<tr><th colspan="2">履修申請に必要な情報等</th></tr>
<tr><td>履修申請関係資料</td><td>記載内容等</td></tr>
<tr><td>履修要覧
（入学年度ごと）

入学時配付</td><td>・卒業に必要な単位数の確認
・教育職員免許状の資格取得に必要な科目の履修方法
・他大学等での学修成果の単位認定
【入学前（編入学、再入学等）、在学中（TOEFL 等認定、留学等）】
・留学等に係る帰国後の継続履修
・年間履修登録単位数の上限
上記の事項で質問等がある場合は、支援室学群教務担当に相談してください。</td></tr>
<tr><td>開設授業科目情報</td><td>■ 大学基幹サイトの開設授業科目一覧掲載ページ
https://www.tsukuba.ac.jp/education/ug-courses-openclass/
・当該年度当初の各共通科目の科目情報、各教育組織の科目情報を PDF 形式で掲載するとともに、一般的注意事項、履修申請方法、事前登録方法を PDF 形式で掲載
■ KdB（教育課程編成支援システム）
https://kdb.tsukuba.ac.jp/
・最新の科目情報やシラバスを検索・閲覧
・シラバスには、「公式版」と「最新版」があります。必ず「最新版」を確認してください。</td></tr>
<tr><td>↓</td><td></td></tr>
<tr><td>教育組織・センター等
オリエンテーション</td><td>教育組織別オリエンテーション（各教育組織が行うオリエンテーション）
各種オリエンテーション
グローバルコミュニケーション教育センター（CEGLOC）、体育スポーツ局　等
（共通科目の外国語や体育に関するオリエンテーション）</td></tr>
<tr><td>↓</td><td></td></tr>
<tr><td>履修計画
（科目履修計画表の作成）</td><td>履修計画作成にあたっては、入学年度の履修要覧において、各自が所属する学群・学類の履修細則及びその別表に示された、卒業に必要な単位数、科目または科目群等を十分に確認してください。卒業に必要な単位や授業科目区分の選択等でわからないことがある場合には、支援室学群教務担当に相談してください。</td></tr>
<tr><td>↓</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">履修申請

（事前登録を要する科目があります）</td><td>本学の履修申請は TWINS（WEB）から行います。https://twins.tsukuba.ac.jp/
TWINS への登録にあたっては、次ページからの「履修申請期間の日程及び諸注意」及び「TWINS の利用にあたって」に従って登録してください。</td></tr>
<tr><td>事前登録
総合科目（学士基盤科目）及び、専門導入科目は、事前登録が必要です。定員を超えて事前登録があった場合には、抽選により受講調整が行われ、抽選に漏れた学生の事前登録は削除され、履修登録はされません。これらの科目の履修登録は、授業開始前に必ず結果を確認してください。</td></tr>
</table>

２　履修申請の日程及び諸注意

（１）履修申請の日程

●履修申請日程

開始モジュール	履修申請期間
春A	4 月 4 日（土） ～　4 月 27 日（月）
春B	4 月 4 日（土） ～　6 月 1 日（月）
春C	4 月 4 日（土） ～　7 月 8 日（水）
秋A	4 月 4 日（土） ～ 10 月 14 日（水）
秋B	4 月 4 日（土） ～ 11 月 18 日（水）
秋C	4 月 4 日（土） ～　1 月 15 日（金）

●特別な科目の履修申請について

集中授業	科目番号、実施学期が決定している集中授業は、上表の期間内に申請してください。別途掲示等で指示がある科目はその指示に従って申請してください。
総合科目 「学士基盤科目」	「ファーストイヤーセミナー」「学問への誘い」は、上記の履修期間内に申請してください。 「学士基盤科目」は(2)で示す期間内に事前登録が必要です。履修希望者が科目の定員を超える場合は、抽選により受講調整が行われます。
専門導入科目	(2)で示す期間内に事前登録が必要です。履修希望者が科目の定員を超える場合は、抽選により受講調整が行われます。
1 年次対象 共通科目「体育」	体育スポーツ局がオリエンテーション等により指定する実技種目を、履修申請期間内に申請してください。

（２）総合科目（学士基盤科目）・専門導入科目の事前登録日程

総合科目（学士基盤科目）及び専門導入科目は、当該授業科目の開始モジュールごとに、受講調整を行います。受講調整の結果は TWINS に反映されますので、必ず履修の可否を確認した上で授業に出席してください。

授業開始モジュール	事前登録期間	抽選結果の反映予定	先着順(2 次募集)開始 ※
春A	4 月 4 日(土)～ 4 月 9 日(木) 12:00	4 月 9 日(木) 18:00 頃予定	4 月 9 日(木) 19:00～ 4 月 27 日(月)
春B	4 月 4 日(土)～ 5 月 13 日(水) 23:59	5 月 15 日(金) 15:00 頃予定	5 月 15 日(金) 19:00～ 6 月 1 日(月)
春C	4 月 4 日(土)～ 6 月 23 日(火) 23:59	6 月 25 日(木) 15:00 頃予定	6 月 25 日(木) 19:00～ 7 月 8 日(水)
秋A	4 月 4 日(土)～ 9 月 16 日(水) 23:59	9 月 18 日(金) 15:00 頃予定	9 月 18 日(金) 19:00～ 10 月 14 日(水)
秋B	4 月 4 日(土)～ 11 月 4 日(水) 23:59	11 月 6 日(金) 15:00 頃予定	11 月 6 日(金) 19:00～ 11 月 18 日(水)
秋C	4 月 4 日(土)～ 12 月 16 日(水) 23:59	12 月 18 日(金) 15:00 頃予定	12 月 18 日(金) 19:00～ 1 月 15 日(金)

※事前登録の結果発表後、定員に空きがあれば、(1)の通常履修申請期間に、定員に達するまで申請登録ができます。

★　**事前登録・受講調整の詳細は、『「履修／事前登録」案内』を参照してください**

（３）諸注意（履修上の注意）

1) 「事前登録」については、**別刷にて事前登録・受講調整についての説明リーフレットを配布していますので、参照してください**。
2) 科目番号及び実施モジュールが記載されている集中授業で、授業日程が未定の科目については履修申請できません。授業日程が決定次第、掲示等で周知されますので指定された履修申請期間内に履修申請を行ってください。
3) 他の授業科目の学期・曜時限と重複した科目がある場合は、履修登録できません。
4) 受講条件のある授業科目又は他学群開設の授業科目を履修する場合は、第１回目の授業の際に授業担当教員に申し出てください。
5) **教育実習については、学生が TWINS に登録（履修申請）する必要はありません。**教育実習に参加する条件として３年次以降に実施する教育実習参加申込の予備選考会（10 月頃開催予定）及び実習実施年に実施する教育実習事前指導（３月末に３日間予定）の両方に出席する必要があります。これら申込手続をすることにより大学側で TWINS に一括登録します。
6) 科目区分は、履修申請時に自動的に設定されます。区分変更の必要がある場合は、科目区分変更期間を設けて支援室から掲示します。その期間以外に TWINS で区分を変更することはできません。
7) 既に単位を修得した科目を再度履修すること（同一科目の再履修）は、原則として認められません。
8) 成績評価について問合せや疑義がある場合は、まずは授業担当教員に問い合わせてください。その結果、解決しない場合は、当該授業科目を開設している教育組織所定の方法を支援室学群教務担当へ問い合わせて、所定の様式に必要事項を記入して提出してください。
   なお、総合学域群の移行判定に反映させるためには、申請に期限がありますので、「履修・移行ガイドブック」などで確認してください。

３　TWINS の利用にあたって/Use of TWINS

TWINS(ついんず)とは、正式名称を「Tsukuba Web-based Information Network System」と言い、筑波大学の教育情報システムの愛称です。科目の履修登録や成績確認は、このシステムで行います。

学生向け WEB 掲示板も TWINS にログインすることで閲覧が可能です。本学では、一度掲示されたものは学生が承知したものとみなし、掲示を見なかったという理由で事後に意義等を申し立てることはできませんので、WEB 掲示板は、少なくとも１日２回（朝・夕）は必ず見るようにしてください。

TWINS is a nickname of the University of Tsukuba's educational information system, and its official name is called "Tsukuba Web-based Information Network System." This system is used for course registration and grade confirmation.

TWINS also has a web bulletin board feature. Once a notice has been posted, the University of Tsukuba considers that students received the information. For this reason, students do not have the right to object later with the reason that they did not see the notice. Therefore, please do not forget to check the Web Bulletin Board at least twice a day. (in the morning and evening etc.)

■ アクセス方法/How to access

左の QR コードを読み込むか、Web ブラウザで以下の URL にアクセスしてください。

Please scan the QR code on the left or access the following URL in your web browser.

https://twins.tsukuba.ac.jp/

筑波大学のホームページからもアクセスできます。

You can also access from the University of Tsukuba website.

トップページ ＞ キャンパスライフ　＞ 在学生向けツール ＞
TWINS・WEB 掲示板
https://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/
Top page > CAMPUS LIFE > Campus Web Tools > TWINS / Web bulletin Board

■ ログイン方法/How to login

TWINS へのログインは、統一認証システムの ID とパスワードを使用してログインします。
ユーザ名欄に 13 桁の統一認証番号、パスワード欄に統一認証システムのパスワードを入力して、ログインボタンをクリックしてください。
※パスワードが判らない時は、学術情報メディアセンターまたは附属図書館の窓口で
パスワードを再発行してもらってください（学生証持参）。

Enter your UTID-13 for the username, and for the password enter your password for the Unified Authentication System password, then click on the “Login” button.
If you do not know your password, visit an Academic Computing and Communications Center or the Library, and ask them to reissue it. (Please bring your student ID card.)

■ TWINS 利用マニュアルへのアクセス/How to access to the user's manual for TWINS.

TWINS の利用ガイドは筑波大学のホームページに掲載していますので、ご確認ください。

Please check the TWINS User's Guide on the university home page.

トップページ ＞ キャンパスライフ ＞ 在学生向けツール ＞ TWINS・WEB 掲示板マニュアル

https://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/tool-manual-twins/

Top page > CAMPUS LIFE > Campus Web Tools > TWINS User's Guide for students

このマニュアルは TWINS ログイン後のメニューからも遷移可能です。

The user's manual for TWINS is also available from the "Manual for Students" button on the menu bar after logging in to TWINS.

■ TWINS による事前登録について/ About pre-registration by TWINS

別刷にて事前登録・受講調整についてのリーフレットを配布していますので、参照してください。

Regarding Pre-Registration / Course Registration Adjustment, please refer the leaflet we have distributed to explain that.

■ 証明書の発行について/ Issuance of Certification

TWINS は、各種証明書を提供しています。学割証、在学証明書、成績証明書、健康診断書、卒業見込証明書等です。

在学生は、学内各所に設置してある証明書自動発行機を使用できます。証明書は、皆さん自身でログインして発行します。発行機の設置場所は、一部の支援室、スチューデントプラザ、下田臨海実験センター、山岳科学センターで、設置場所毎に稼動時間に違いがありますが、どの発行機でも同じものを発行できます。

TWINS provides various certificates such as Student discount certificate, Certificate of Enrollment, Transcript of Academic Record, Health Certificate and Certificate of Expected Graduation. When the current student needs to obtain the certificates, please operate an “Automatic Certificate Issuing Machine” by yourself. The machines are placed on the campus.

Issuing machines:

The setting places of the machines are Some Academic Service Offices, Student Plaza, Shimoda Marine Research Center and Sugadaira Montane Research Center. The operation-hour of the machines is different in each setting place, but available form of the certificates is the same.

●証明書自動発行機の設置場所/ The installation locations of issuing machines.

設置場所 The installation location	標準の利用時間 Operating time	紙切れ等の問い合わせ Contact for out of paper and so on
第1エリア 1D棟2階 スチューデントプラザ エントランスホール Entrance hall, Student Plaza (1D, 2F), *Dai-ichi* area.	月曜～金曜 Monday - Friday 9:00～21:00	学生生活課 Division of Student Welfare, Department of Student Affairs.
医学医療エリア 4A棟2階 エントランスホール Entrance hall In bldg. 4A 2nd floor, *Igaku-iryou* area.	月曜～金曜 Monday - Friday 9:00～17:00	医学医療エリア支援室 学生支援 Student affairs, Academic Service Office for the Medical Sciences Area
春日エリア 7B棟2階 支援室前 The space in front of the Academic service Office (7B, 2F), *Kasuga* area.		図書館情報エリア支援室 学生支援 Student affairs, Academic Service Office for the Library, Information and Media Studies Area.
東京キャンパス 文京校舎3階334 社会人大学院等支援室内 In the Academic service office for the Business Sciences Area (3F #334), Tokyo Campus.	土曜・月曜 Saturday/ Monday 10:00～18:30 火曜～金曜 Tuesday - Friday 10:00～21:10	社会人大学院等支援室 教務 Academic Service Office for the Business Sciences Area.
下田臨海実験センター 第一研究棟1階 事務室内 In the office, *Dai-ichi-kenkyut-tou* (1F), Shimoda Marine Research Center.	月曜～金曜 Monday - Friday 9:00～17:00	下田臨海実験センター 事務室 Office for the Shimoda Marine Research Center.
山岳科学センター（菅平高原実験所） 事務室内 In the office, Sugadaira Montane Research Center.		山岳科学センター（菅平） 事務室 Office for the Sugadaira Montane Research Center.

4　KdB(教育課程編成支援システム)の利用にあたって
/Use of KdB(Curriculum Scheduling Support System)

KdB(教育課程編成支援システム)は、筑波大学で開講される授業科目の情報を管理・公表するデータベースです。授業科目の情報等は、以前は教育組織ごと・年度ごとに Excel で作成し、印刷物として配布したり、各学群等のホームページで公開したりするなどされていました。一体のデータベースとして公開することで、データの一貫性や更新性を高めることを目指しています。

KdB では主に下記のことが行えます。

・科目の検索、ダウンロード（Excel, CSV 形式）

・シラバスの表示、ダウンロード（PDF 形式）

KdB(Curriculum Scheduling Support System) is a database that manages/publishes information regarding courses offered at the University of Tsukuba. As of now, it has been created in excel by each educational organization every academic year and distributed in print, however we are striving to integrate the databases to enhance the consistency and renewability of the data.

The main things you can do with KdB are

・Search and download subjects (Excel, CSV format)

・View and download the syllabus (PDF format)

■ アクセス方法/How to access

左の QR コードを読み込むか、Web ブラウザで以下の URL にアクセスしてください。

Please scan the QR code on the left or access the following URL in your web browser.

https://kdb.tsukuba.ac.jp

筑波大学のホームページからもアクセスできます。

You can also access from the University of Tsukuba website.

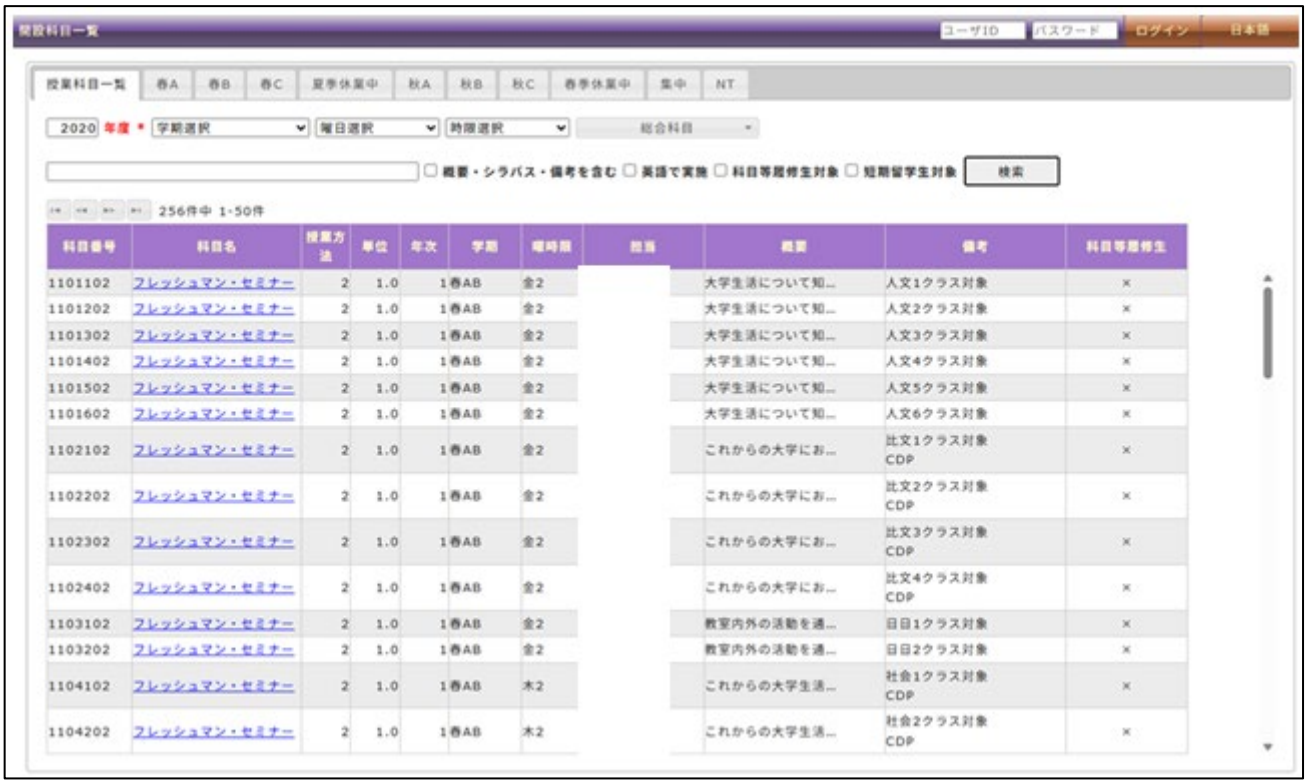
トップページ ＞ キャンパスライフ　＞ 在学生向けツール ＞
教育課程編成支援システム(KdB)
https://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/
Top page > CAMPUS LIFE > Campus Web Tools >
Curriculum Scheduling Support System (KdB: List of courses)

■ KdB 利用マニュアルへのアクセス/How to access to the user's manual for KdB.

KdB の利用ガイドは筑波大学のホームページに掲載していますので、ご確認ください。

Please check the KdB User's Guide on the university home page.

トップページ ＞ キャンパスライフ　＞在学生向けツール ＞
教育課程編成(KdB)システムマニュアル
https://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/tool-manual-kdb/
Top page > CAMPUS LIFE > Campus Web Tools >
Curriculum Scheduling Support System (KdB: List of courses) Manual (For students)



＜教育課程編成支援システム画面＞

Curriculum Scheduling Support System (KdB: List of courses) screen

---

●TWINS および KdB に関する問い合わせ/ Contact (about TWINS and KdB)

TWINS および KdB のシステムに関する質問等は、下記宛先までご連絡ください。

教育推進部教育推進課　TWINS 担当：qa.twins@un.tsukuba.ac.jp

なお、履修申請や成績の内容については支援室教務担当へご相談ください。

For questions about the TWINS and KdB system, please contact us at the address below.

Division of Educational Promotion(TWINS)：qa.twins@un.tsukuba.ac.jp

Please contact the related Academic affairs counter in the Academic Service office regarding the details of course applications and grades.

１．総　合　科　目

総合科目の構成は、以下のとおりです。

ファーストイヤーセミナー	大学初年次においてスムーズに大学における学修と生活に適応し、学修目標・動機を獲得して自律的な自己を確立するための科目。
学問への誘い	大学における学問分野の成り立ちや広がり、他の学問との関係性について具体的な問題から解き明かす科目。自ら専攻しようとする専門分野の意義や、それら専門分野の学群・学類での位置付けについても理解を進める。
学士基盤科目	大学での自身の学びを、俯瞰的に捉えて動機づけられるように、広く社会や世界の視座からの多様な考え方・生き方に触れる科目群。この科目を履修することで、自らの学問的基盤を整える。この科目群には、学問に対する考え方の深化や、キャリア支援的な内容、分野横断的な内容、自己分析や自己の確立を促す内容、社会生活への適応性を涵養する内容を含む。初年次向けの科目と高年次向けの科目※がある。

※学士基盤科目－高年次向け－：標準履修年次２年次以上、主に３・４年次対象

【注意事項】

○　履修方法及び修得すべき単位数については、該当する入学年度の「履修要覧」及び「学群履修細則」に従ってください。

○　令和３年度以前の入学者で、「フレッシュマン・セミナー」を未修得の学生は、所属組織の指示に従い、「ファーストイヤーセミナー」を履修してください。なお、読替等の手続きは必要ありません。

【参考】平成 27 年度～平成 30 年度の総合科目の構成

平成 30 年度以前入学者及び平成 30 年度以前入学者の卒業の要件が適用される編入学者の総合科目の履修については、「（２）平成 30 年度以前入学者の総合科目の履修について」を参照してください。

［ 総合科目Ⅰ］

フレッシュマン・セミナー （現ファーストイヤーセミナー）
初年次導入科目

［ 総合科目Ⅱ］

科目群 A	科目群 B
科目群 C	

［ 総合科目Ⅲ］

科目群 D	科目群 E
科目群 F	科目群 G

「学問への誘い」の履修について

全学必修科目である「学問への誘い」の受講にあたっては、以下の説明に従ってください。なお、紙冊子で配布するワークブックにおいてさらに詳細に説明しているので、併せて確認してください。

1. 履修申請

○4 月入学の 1 年次生は春 A の履修申請期間内に、9 月、10 月入学の 1 年次生は秋 A の履修申請期間内に、各自所属クラスごとの科目番号で TWINS から履修申請を行ってください。

○2 年次生以上は、所属学類・専門学群の指示に従って履修申請を行ってください。

2. 講義受講方法

○この授業は学習管理システム manaba の 2 つのコースを用いて履修します。

（1）コース名：**春学期「学問への誘い」講義動画視聴用コース／秋学期「学問への誘い」講義動画視聴用コース**

（2）コース名：**学問への誘い**

※manaba にログインすると、**「学問への誘い」講義動画視聴用コース**と**学問への誘い**の 2 つのコースが表示されます。後者の**学問への誘い**は、課題提出用のコースとなります。最初に**「学問への誘い」講義動画視聴用コース**において履修方法を確認し、このコースで各講義動画の視聴を行ってください。また、講義動画を視聴したら、**学問への誘い**のコースにアクセスし、課題を提出してください。

※履修申請期間内に TWINS から履修登録を行ったうえで、必ず、視聴開始日から 1 週間以内に、manaba 上で上記 2 つのコースにアクセスできるか確認してください。閲覧できない場合は、5. 問い合わせ先まで、所属、学籍番号、氏名を明記の上、お問い合わせをお願いします。

＜manaba へログイン＞

左の QR コードか、以下の URL からログインできます。

https://www.ecloud.tsukuba.ac.jp/manaba

3. 実施スケジュール

○以下のスケジュールで全講義動画を一斉配信します。「学問への誘い」ワークブックの 8. 受講計画の立案なども参考にし、各自、計画的に受講を進めてください。

■ manaba のコース**「学問への誘い」講義動画視聴用コース**の講義動画視聴期間

春学期：2026 年 4 月 15 日（水）15：15　～2027 年 3 月 31 日（水）23：59

秋学期：2026 年 10 月 1 日（木）15：15　～2027 年 3 月 31 日（水）23：59

※期間内は、いつでも全ての動画視聴が可能です。

■ manaba のコース **学問への誘い**の課題受付期間及び最終課題受付期間

春学期：2026 年 4 月 15 日（水）15：15　～2026 年 5 月 27 日（水）23：59

秋学期：2026 年 10 月 1 日（木）15:15　～2026 年 11 月 11 日（水）23:59

※期間内は、いつでも全ての課題の提出が可能です。

4. 受講に必要なもの

- パソコン、タブレット等、学習管理システム manaba を利用できる端末

- 令和８年度版「初年次学修ガイド」冊子（入学時に配布、manaba 上でデータ版も配布）
- 令和８年度版「学問への誘いワークブック」冊子（入学時に配布、manaba 上でデータ版も配布）

5. 問い合わせ先

世話人教員：松井　圭介（生命環境系教授）

連絡先：izanai-2026@ml.cc.tsukuba.ac.jp

※返信には数日程度時間がかかる可能性がございますので、予めご了承ください。

6. 注意事項

- 当講義「学問への誘い」の資料やビデオ画像は当講義の受講者の視聴に限ります。これらを他へ公開することを固く禁じます。

令和８（2026）年度「筑波大学特別講義―大学と学問―」

１．開設目的

本講義では、主として新入生を対象に、本学学長をはじめとする経験豊かな講師陣が、大学と学問、あるいは学問と人生について、幅広いテーマで講義を行う。本講義は、①大学で学ぶべきことがらや卒業後の生き方について熟考する機会を提供するとともに、②明確な目的意識をもって自律的に学習ができるよう、大学生活と学問への道案内をすることを目的としている。

また、本講義では、本学に関係がある一流の講師陣が自らの学問と人生経験を語ることを通して、日本および世界における次世代の指導者たりうる有能な若者の育成が促されることを期待している。

２．開設時期等

開設形態：総合科目（学士基盤科目）
科目番号：1226051
世話教員：草野 都（生命環境系）ほか
開講学期：秋学期 AB モジュール
曜 時 限：水曜６限（16:45－18:00）
単 位 数：１単位
実施形態：対面（オンライン併用型）※オンラインの場合は「同時双方向型」で実施
教　　室：大学会館講堂（対面実施回のみ）
成績評価：レポート
履修申請：事前登録が必要です（受入上限：700 名）
注意事項：授業実施方法の詳細は、決まり次第 WEB 掲示板等でお知らせします

３．実施日・担当者等

実　施　日	担 当 教 員	題　　目	備　　考
令和８年 10 月 7 日	植田　宏昭	グローバル気候システム研究が解き明かす異常気象：天候予測の最前線	筑波大学生命環境系 教授
10 月 14 日	永田　恭介	大学と学問	筑波大学 学長
10 月 21 日	本間三和子	「アーティスティックスイミングの秘密を探る：華麗な演技の舞台裏と科学」	前筑波大学体育系 教授
10 月 28 日	柳沢　正史	睡眠の謎に挑む	筑波大学医学医療系 教授、国際統合睡眠医科学研究機構（WPI-IIIS）機構長
11 月 4 日	伊藤　久美	企業、起業、会社役員―ライフ・シフト時代のマイキャリアの考え方	オフィス KITO 合同会社 代表社員 筑波大学理事（非常勤）
11 月 18 日	大倉　　浩	大学で狂言に出会った二人	筑波大学名誉教授
11 月 24 日	屋敷　利紀	キャリアは戦略で作る	筑波大学客員教授 日本内部監査研究所上席研究員
12 月 2 日	波多野澄雄	「20 世紀」に学ぶ	筑波大学名誉教授
12 月 9 日	鈴木　健嗣	人々を支援する人工知能とヒューマン・テクノロジー	筑波大学システム情報系長 筑波大学システム情報系 教授
12 月 16 日	日比野克彦	アートは生きる力	東京藝術大学 学長

【その他】
大学院共通科目「UT-Top Academist's Lecture」１単位 と共通

開設母体　　要件
総合科目

ファーストイヤーセミナー

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
1101102	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金2	宮腰 幸一	大学生活について知識と理解を深め、学問研究への動機づけを高める。とくに人文学類における各主専攻分野の学習と研究について理解を促すとともに、大学におけるコミュニケーションの方法等について基本的な指導を行う。	人文1クラス対象 対面
1101202	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金2	小野 雄一	大学生活について知識と理解を深め、学問研究への動機づけを高める。とくに人文学類における各主専攻分野の学習と研究について理解を促すとともに、大学におけるコミュニケーションの方法等について基本的な指導を行う。	人文2クラス対象 対面
1101302	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金2		大学生活について知識と理解を深め、学問研究への動機づけを高める。とくに人文学類における各主専攻分野の学習と研究について理解を促すとともに、大学におけるコミュニケーションの方法等について基本的な指導を行う。	人文3クラス対象 対面
1101402	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金2	堤 智昭	大学生活について知識と理解を深め、学問研究への動機づけを高める。とくに人文学類における各主専攻分野の学習と研究について理解を促すとともに、大学におけるコミュニケーションの方法等について基本的な指導を行う。	人文4クラス対象 対面
1101502	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金2		大学生活について知識と理解を深め、学問研究への動機づけを高める。とくに人文学類における各主専攻分野の学習と研究について理解を促すとともに、大学におけるコミュニケーションの方法等について基本的な指導を行う。	人文5クラス対象 対面
1102102	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金2	馬籠 清子	これからの大学における学問との取り組み方,生活の仕方などについて考える。	比文1クラス対象 CDP 対面
1102202	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金2	五月女 颯	これからの大学における学問との取り組み方,生活の仕方などについて考える。	比文2クラス対象 CDP 対面
1102302	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金2	カテライ アメリア	これからの大学における学問との取り組み方,生活の仕方などについて考える。	比文3クラス対象 CDP 対面
1103102	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金2	石田 尊	教室内外の活動を通して,大学生活・学問の進めかた等について,相互の理解を深める。	日日1クラス対象 対面
1104102	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	木2	秋山 肇	これからの大学生活のあり方を共に考え、社会科学の特質と方法の学習に必要な基礎づくりをする。	社会1クラス対象 CDP 対面 授業内容と状況に応じて、同時双方向、オンデマンド、その他の形態となる可能性がある。その場合は事前に周知する。
1104202	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	木2	南山 淳	これからの大学生活のあり方を共に考え、社会科学の特質と方法の学習に必要な基礎づくりをする。	社会2クラス対象 CDP 対面 授業内容と状況に応じて、同時双方向、オンデマンド、その他の形態となる可能性がある。その場合は事前に周知する。
1104302	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	木2	藤本 丈史	これからの大学生活のあり方を共に考え、社会科学の特質と方法の学習に必要な基礎づくりをする。	社会3クラス対象 CDP 対面 授業内容と状況に応じて、同時双方向、オンデマンド、その他の形態となる可能性がある。その場合は事前に周知する。
1105102	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	木2	藤井 浩光	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深めるとともに、国際関係をいかに学んでいくかについて教員とコミュニケーションを図りつつ共に考える。	国際1クラス対象 CDP 対面
1105202	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	木2	寺内 大左	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深めるとともに、国際関係をいかに学んでいくかについて教員とコミュニケーションを図りつつ共に考える。	国際2クラス対象 CDP 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
1106102	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	木2	平井 悠介,太田 知彩	「大学と大学生活に関する理解」を深め「学問研究への動機づけ」を高めると共に、教員と学生及び学生間の好ましい人間関係の成立を図るため、その内容と方法を組織する。	教育1・2クラス対象 対面(オンライン併用型)
1107102	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	木2	尾野 裕美	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深め、学問研究への動機付けを高めるための指導を行うとともに、教員と学生および学生間のコミュニケーションを深める。	心理1クラス対象 CDP 対面(オンライン併用型)
1107202	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	木2	千島 雄太	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深め、学問研究への動機付けを高めるための指導を行うとともに、教員と学生および学生間のコミュニケーションを深める。	心理2クラス対象 CDP 対面(オンライン併用型)
1108102	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	木2	飯村 大智	大学と大学生活に関する理解を深め、「学問研究への動機付け」を高められるように、障害科学類のカリキュラム及び学生生活についてガイダンスを行うとともに、教員と学生及び学生間のコミュニケーションを図る。	障害1クラス対象、対面 CDP 対面(オンライン併用型)
1108202	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	木2	小渕 千絵	大学と大学生活に関する理解を深め、「学問研究への動機付け」を高められるように、障害科学類のカリキュラム及び学生生活についてガイダンスを行うとともに、教員と学生及び学生間のコミュニケーションを図る。	障害2クラス対象、対面 CDP 対面(オンライン併用型)
1109102	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	火4	横井 智之	新入生としての自覚をもとに,大学生はどうあるべきかを討議し,どう進むべきかを思考するなど,大学生活をよりよく送るための導入を行う。	生物1クラス対象 CDP 対面
1109202	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	火4	白鳥 峻志	新入生としての自覚をもとに,大学生はどうあるべきかを討議し,どう進むべきかを思考するなど,大学生活をよりよく送るための導入を行う。	生物2クラス対象 CDP 対面
1109302	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	火4	熊野 匠人	新入生としての自覚をもとに,大学生はどうあるべきかを討議し,どう進むべきかを思考するなど,大学生活をよりよく送るための導入を行う。	生物3クラス対象 CDP 対面
1109402	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	火4	鈴木 大地	新入生としての自覚をもとに,大学生はどうあるべきかを討議し,どう進むべきかを思考するなど,大学生活をよりよく送るための導入を行う。	生物4クラス対象 CDP 対面
1109502	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	秋AB	応談		新入生としての自覚をもとに,大学生はどうあるべきかを討議し,どう進むべきかを思考するなど,大学生活をよりよく送るための導入を行う。	秋学期入学者対象 履修登録は事務で行う。 CDP 対面 対象者が受講する場合に限り開講する。
1110102	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	木2	福田 直也	筑波大学の各種の組織や運営,生物資源学類のカリキュラムのあり方,学問研究への方向づけ,クラス制度の役割,大学と社会,新しい人間関係の促進について指導に当たる。	資源1クラス対象 CDP 対面
1110202	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	木2	阿部 淳一 ピーター	筑波大学の各種の組織や運営,生物資源学類のカリキュラムのあり方,学問研究への方向づけ,クラス制度の役割,大学と社会,新しい人間関係の促進について指導に当たる。	資源2クラス対象 CDP 対面
1110302	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	木2	杉本 卓也	筑波大学の各種の組織や運営,生物資源学類のカリキュラムのあり方,学問研究への方向づけ,クラス制度の役割,大学と社会,新しい人間関係の促進について指導に当たる。	資源3クラス対象 CDP 対面
1110402	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	木2	古川 純	筑波大学の各種の組織や運営,生物資源学類のカリキュラムのあり方,学問研究への方向づけ,クラス制度の役割,大学と社会,新しい人間関係の促進について指導に当たる。	資源4クラス対象 CDP 対面
1111102	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	火4	呉羽 正昭,鎌田 祥仁	学類の概要や,学習および学生生活に関する基本事項を確認するとともに,教員と学生および学生間のコミュニケーションを図る。	地球1クラス対象. CDP 対面
1111202	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	火4	鎌田 祥仁,呉羽 正昭	学類の概要や,学習および学生生活に関する基本事項を確認するとともに,教員と学生および学生間のコミュニケーションを図る。	地球2クラス対象. CDP 対面
1111302	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	秋A	集中	呉羽 正昭,鎌田 祥仁	学類の概要や,学習および学生生活に関する基本事項を確認するとともに,教員と学生および学生間のコミュニケーションを図る。	秋学期入学者対象 CDP 対面
1112102	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	火4	木下 保,竹内 有哉	初年次において,大学と大学生活に関する理解を深め,学問研究への動機付けを高めるための指導を行うとともに,教員と学生および学生間のコミュニケーションを深める.	数学類対象 CDP 対面
1113102	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	火4	溝口 知成	グループ研究,研究施設見学,クラス担任との話し合いを通して,大学での勉学を効果的に進め,充実した学生生活を送るための知識・経験を身につける。	物理学類対象 CDP 対面(オンライン併用型) 対面とオンライン(オンデマンド)とのハイブリッド授業

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
1114102	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	火4	中村 貴志,三原 のぞみ	クラス担任との話し合いを通じて,自然科学への理解を深める。	化学類1クラス対象 CDP 対面
1114202	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	火4	三原 のぞみ,中村 貴志	クラス担任との話し合いを通じて,自然科学への理解を深める。	化学類2クラス対象 CDP 対面
1115102	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金2	岡田 朗	大学生としての生活,学習についての指導を行いつつ,教員と学生及び学生間のコミュニケーションを図る。	応理1クラス対象 CDP G科目 対面
1115202	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金2	大木 理	大学生としての生活,学習についての指導を行いつつ,教員と学生及び学生間のコミュニケーションを図る。	応理2クラス対象 CDP G科目 対面
1115302	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金2	嵐田 雄介	大学生としての生活,学習についての指導を行いつつ,教員と学生及び学生間のコミュニケーションを図る。	応理3クラス対象 CDP G科目 対面
1116102	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金2	若槻 尚斗	大学での生活,学習についての指導を行いつつ,教員と学生および学生間のコミュニケーションを図る。併せて,コンピュータ利用についてのガイダンスと施設見学、専門分野学習への動機付け支援を目的としてキャリア教育を行う。	エシス1クラス対象 CDP 対面(オンライン併用型)
1116202	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金2	広野 雄士	大学での生活,学習についての指導を行いつつ,教員と学生および学生間のコミュニケーションを図る。併せて,コンピュータ利用についてのガイダンスと施設見学、専門分野学習への動機付け支援を目的としてキャリア教育を行う。	エシス2クラス対象 CDP 対面(オンライン併用型)
1116302	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金2	大門 優	大学での生活,学習についての指導を行いつつ,教員と学生および学生間のコミュニケーションを図る。併せて,コンピュータ利用についてのガイダンスと施設見学、専門分野学習への動機付け支援を目的としてキャリア教育を行う。	エシス3クラス対象 CDP 対面(オンライン併用型)
1116402	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金2	小平 大輔	大学での生活,学習についての指導を行いつつ,教員と学生および学生間のコミュニケーションを図る。併せて,コンピュータ利用についてのガイダンスと施設見学、専門分野学習への動機付け支援を目的としてキャリア教育を行う。	エシス4クラス対象 CDP 対面(オンライン併用型)
1117102	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金2	小西 葉子	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深め、学問研究への動機付けを高めるための指導を行うとともに、教員と学生および学生間 のコミュニケーションを深める。	社工1クラス対象 CDP 対面(オンライン併用型) オンライン(オンデマンド型)+一部対面
1117202	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金2	リュウ ティエンシャン	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深め、学問研究への動機付けを高めるための指導を行うとともに、教員と学生および学生間 のコミュニケーションを深める。	社工2クラス対象 CDP 対面(オンライン併用型)
1117302	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金2	岡本 直久	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深め、学問研究への動機付けを高めるための指導を行うとともに、教員と学生および学生間のコミュニケーションを深める。	社工3クラス対象 CDP 対面(オンライン併用型)
1117402	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金2	長崎 滉大	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深め、学問研究への動機付けを高めるための指導を行うとともに、教員と学生および学生間 のコミュニケーションを深める。	社工4クラス対象 CDP 対面(オンライン併用型) オンライン(オンデマンド型)+一部対面
1118102	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	木2	高橋 大介	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深め、学問研究への動機付けを高めるための指導を行うとともに、教員と学生および学生間のコミュニケーションを深める。	情報1クラス対象 CDP 対面
1118202	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	木2	杉浦 圭祐	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深め、学問研究への動機付けを高めるための指導を行うとともに、教員と学生および学生間のコミュニケーションを深める。	情報2クラス対象 CDP 対面
1118302	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	木2	長谷部 浩二	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深め、学問研究への動機付けを高めるための指導を行うとともに、教員と学生および学生間のコミュニケーションを深める。	情報3クラス対象 CDP 対面
1118402	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	木2	今井 敏也	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深め、学問研究への動機付けを高めるための指導を行うとともに、教員と学生および学生間のコミュニケーションを深める。	情報4クラス対象 CDP 対面
1119102	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	火5	藤﨑 樹,金森 由博	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深め、学問研究への 動機付けを高めるための指導を行うとともに、教員と学生および学生間のコミュニケーションを深める。	創成対象 CDP 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
1120102	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	木2	宇陀 則彦	教室内外の活動を通して、大学と社会の関係や大学における生活、学問に対する取り組み方などについて指導を行いつつ、教員と学生間及び学生相互間のコミュニケーションを図る。	知識1年1クラスと2年次以上対象。 CDP 対面
1120202	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	木2	鈴木 伸崇	教室内外の活動を通して、大学と社会の関係や大学における生活、学問に対する取り組み方などについて指導を行いつつ、教員と学生間及び学生相互間のコミュニケーションを図る。	知識2クラス対象。 CDP 対面
1121102	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	火4	土屋 輝一郎	医学教育及び学生生活上の諸問題の適切な指導,助言を行い,学生との相互コミュニケーションを深める。	医学1クラス対象 CDP オンライン(対面併用型)
1121202	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	火4	松田 真秀	医学教育及び学生生活上の諸問題の適切な指導,助言を行い,学生との相互コミュニケーションを深める。	医学2クラス対象 CDP オンライン(対面併用型)
1121302	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	火4	澁谷 文恵	医学教育及び学生生活上の諸問題の適切な指導,助言を行い,学生との相互コミュニケーションを深める。	医学3クラス対象 CDP オンライン(対面併用型)
1121402	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	火4	吉野 龍ノ介	医学教育及び学生生活上の諸問題の適切な指導,助言を行い,学生との相互コミュニケーションを深める。	医学4クラス対象 CDP オンライン(対面併用型)
1121502	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	火4	池田　有	医学教育及び学生生活上の諸問題の適切な指導,助言を行い,学生との相互コミュニケーションを深める。	医学5クラス対象 CDP オンライン(対面併用型)
1121602	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	火4	柴 綾	医学教育及び学生生活上の諸問題の適切な指導,助言を行い,学生との相互コミュニケーションを深める。	医学6クラス対象 CDP オンライン(対面併用型)
1122102	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	火4	伊藤 智子	大学生としての生活,学習についての指導を行いつつ,教員と学生および学生間のコミュニケーションを図る。	看護Aクラス対象 CDP オンライン(対面併用型)
1122202	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	火4	阿部 吉樹	大学生としての生活,学習についての指導を行いつつ,教員と学生および学生間のコミュニケーションを図る。	看護Bクラス対象 CDP オンライン(対面併用型)
1122302	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	火4	大川 加奈	大学生としての生活,学習についての指導を行いつつ,教員と学生および学生間のコミュニケーションを図る。	看護Cクラス対象 CDP 対面
1122502	Japan-Expertファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	秋AB	集中	三好 優花	筑波大学Japan-Expertプログラムの学生として充実した大学生活を送るために、利用可能な大学内の支援環境を学ぶ。	Japan-Expert(学士)プログラム生に限る CDP 対面
1123102	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	火4	野口 恵美子,森戸 直記	大学生としての生活,学習についての指導を行いつつ,教員と学生および学生間のコミュニケーションを図る。	医療科学類対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1124012	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金5	前村 公彦	大学生としての学習,運動・競技及び生活の指導を行い,学習態度,履修問題等教員・学生間のコミュニケーションを図る。	体育1クラス対象 CDP 対面
1124022	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金5	三田部 勇	大学生としての学習,運動・競技及び生活の指導を行い,学習態度,履修問題等教員・学生間のコミュニケーションを図る。	体育2クラス対象 CDP 対面
1124032	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金5	嶋﨑 達也	大学生としての学習,運動・競技及び生活の指導を行い,学習態度,履修問題等教員・学生間のコミュニケーションを図る。	体育3クラス対象 CDP 対面
1124042	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金5	大林 太朗	大学生としての学習,運動・競技及び生活の指導を行い,学習態度,履修問題等教員・学生間のコミュニケーションを図る。	体育4クラス対象 CDP 対面
1124052	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金5	下山 寛之	大学生としての学習,運動・競技及び生活の指導を行い,学習態度,履修問題等教員・学生間のコミュニケーションを図る。	体育5クラス対象 CDP 対面
1124062	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金5	成瀬 和弥	大学生としての学習,運動・競技及び生活の指導を行い,学習態度,履修問題等教員・学生間のコミュニケーションを図る。	体育6クラス対象 CDP 対面
1124072	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金5	角川 隆明	大学生としての学習,運動・競技及び生活の指導を行い,学習態度,履修問題等教員・学生間のコミュニケーションを図る。	体育7クラス対象 CDP 対面
1124082	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金5	松井 崇	大学生としての学習,運動・競技及び生活の指導を行い,学習態度,履修問題等教員・学生間のコミュニケーションを図る。	体育8クラス対象 CDP 対面
1124092	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金5	齋藤 卓	大学生としての学習,運動・競技及び生活の指導を行い,学習態度,履修問題等教員・学生間のコミュニケーションを図る。	体育9クラス対象 CDP 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
1124102	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金5	渡邉 仁	大学生としての学習,運動・競技及び生活の指導を行い,学習態度,履修問題等教員・学生間のコミュニケーションを図る。	体育10クラス対象 CDP 対面
1125102	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	火4	湯澤 美麻,山本 美希,加藤 研	筑波大学の組織・運営・芸術専門学群の各領域のカリキュラム及び学生生活についてガイダンスを行い、教員・学生相互のコミュニケーションを図る。	芸術1クラス対象 CDP 対面
1125202	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	火4	湯澤 美麻,山本 美希,加藤 研	筑波大学の組織・運営・芸術専門学群の各領域のカリキュラム及び学生生活についてガイダンスを行い、教員・学生相互のコミュニケーションを図る。	芸術2クラス対象 CDP 対面
1125302	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	火4	湯澤 美麻,山本 美希,加藤 研	筑波大学の組織・運営・芸術専門学群の各領域のカリキュラム及び学生生活についてガイダンスを行い、教員・学生相互のコミュニケーションを図る。	芸術3クラス対象 CDP 対面
1130012	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金2	山岡 翔	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深め、広い視野に立った学問研究への動機付けを高め、キャリアプランを主体的に設計するための指導を行うとともに、教員と学生および学生間のコミュニケーションを深める。併せて、2 年次の移行までの学修について理解を深める。	総学第1類1クラス対象 CDP 対面
1130022	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金2	佐藤 千登勢	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深め、広い視野に立った学問研究への動機付けを高め、キャリアプランを主体的に設計するための指導を行うとともに、教員と学生および学生間のコミュニケーションを深める。併せて、2 年次の移行までの学修について理解を深める。	総学第1類2クラス対象 CDP 対面
1130032	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金2	澤田 浩子	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深め、広い視野に立った学問研究への動機付けを高め、キャリアプランを主体的に設計するための指導を行うとともに、教員と学生および学生間のコミュニケーションを深める。併せて、2 年次の移行までの学修について理解を深める。	総学第1類3クラス対象 CDP 対面
1130042	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金2	葛山 泰央	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深め、広い視野に立った学問研究への動機付けを高め、キャリアプランを主体的に設計するための指導を行うとともに、教員と学生および学生間のコミュニケーションを深める。併せて、2 年次の移行までの学修について理解を深める。	総学第1類4クラス対象 CDP 対面
1130052	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	木2	蒔苗 直道	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深め、広い視野に立った学問研究への動機付けを高め、キャリアプランを主体的に設計するための指導を行うとともに、教員と学生および学生間のコミュニケーションを深める。併せて、2 年次の移行までの学修について理解を深める。	総学第1類5クラス対象 CDP 対面
1130062	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	木2	村田 光司	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深め、広い視野に立った学問研究への動機付けを高め、キャリアプランを主体的に設計するための指導を行うとともに、教員と学生および学生間のコミュニケーションを深める。併せて、2 年次の移行までの学修について理解を深める。	総学第1類6クラス対象 CDP 対面
1130072	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金2	宮内 久絵	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深め、広い視野に立った学問研究への動機付けを高め、キャリアプランを主体的に設計するための指導を行うとともに、教員と学生および学生間のコミュニケーションを深める。併せて、2 年次の移行までの学修について理解を深める。	総学第2類1クラス対象 CDP 対面
1130082	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金2	永野 幸一	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深め、広い視野に立った学問研究への動機付けを高め、キャリアプランを主体的に設計するための指導を行うとともに、教員と学生および学生間のコミュニケーションを深める。併せて、2 年次の移行までの学修について理解を深める。	総学第2類2クラス対象 CDP 対面
1130092	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金2	新井田 貴文	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深め、広い視野に立った学問研究への動機付けを高め、キャリアプランを主体的に設計するための指導を行うとともに、教員と学生および学生間のコミュニケーションを深める。併せて、2 年次の移行までの学修について理解を深める。	総学第2類3クラス対象 CDP 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
1130102	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	金2	中尾 砂理	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深め、広い視野に立った学問研究への動機付けを高め、キャリアプランを主体的に設計するための指導を行うとともに、教員と学生および学生間のコミュニケーションを深める。併せて、2 年次の移行までの学修について理解を深める。	総学第2類4クラス対象 CDP 対面
1130112	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	火4	小泉 洸生	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深め、広い視野に立った学問研究への動機付けを高め、キャリアプランを主体的に設計するための指導を行うとともに、教員と学生および学生間のコミュニケーションを深める。併せて、2 年次の移行までの学修について理解を深める。	総学第2類5クラス対象 CDP 対面
1130122	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	火4	川崎 真弘	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深め、広い視野に立った学問研究への動機付けを高め、キャリアプランを主体的に設計するための指導を行うとともに、教員と学生および学生間のコミュニケーションを深める。併せて、2 年次の移行までの学修について理解を深める。	総学第2類6クラス対象 CDP 対面
1130132	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	火4	八森 正泰	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深め、広い視野に立った学問研究への動機付けを高め、キャリアプランを主体的に設計するための指導を行うとともに、教員と学生および学生間のコミュニケーションを深める。併せて、2 年次の移行までの学修について理解を深める。	総学第2類7クラス対象 CDP 対面
1130142	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	火4	松原 康介	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深め、広い視野に立った学問研究への動機付けを高め、キャリアプランを主体的に設計するための指導を行うとともに、教員と学生および学生間のコミュニケーションを深める。併せて、2 年次の移行までの学修について理解を深める。	総学第2類8クラス対象 CDP 対面
1130152	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	火4	大橋 一晴	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深め、広い視野に立った学問研究への動機付けを高め、キャリアプランを主体的に設計するための指導を行うとともに、教員と学生および学生間のコミュニケーションを深める。併せて、2 年次の移行までの学修について理解を深める。	総学第3類1クラス対象 CDP 対面
1130162	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	火4	北村 豊	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深め、広い視野に立った学問研究への動機付けを高め、キャリアプランを主体的に設計するための指導を行うとともに、教員と学生および学生間のコミュニケーションを深める。併せて、2 年次の移行までの学修について理解を深める。	総学第3類2クラス対象 CDP 対面
1130172	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	木2	鈴木 釈規	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深め、広い視野に立った学問研究への動機付けを高め、キャリアプランを主体的に設計するための指導を行うとともに、教員と学生および学生間のコミュニケーションを深める。併せて、2 年次の移行までの学修について理解を深める。	総学第3類3クラス対象 CDP 対面
1130182	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	木2	若林 啓	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深め、広い視野に立った学問研究への動機付けを高め、キャリアプランを主体的に設計するための指導を行うとともに、教員と学生および学生間のコミュニケーションを深める。併せて、2 年次の移行までの学修について理解を深める。	総学第3類4クラス対象 CDP 対面
1130192	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	木2	于 海涛	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深め、広い視野に立った学問研究への動機付けを高め、キャリアプランを主体的に設計するための指導を行うとともに、教員と学生および学生間のコミュニケーションを深める。併せて、2 年次の移行までの学修について理解を深める。	総学第3類5クラス対象 CDP 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
1130202	ファーストイヤーセミナー	2	1.0	1	春AB	木2	武田 一文	初年次において、大学と大学生活に関する理解を深め、広い視野に立った学問研究への動機付けを高め、キャリアプランを主体的に設計するための指導を行うとともに、教員と学生および学生間のコミュニケーションを深める。併せて、2 年次の移行までの学修について理解を深める。	総学第3類6クラス対象 CDP 対面

学問への誘い

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
1227011	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	宮腰 幸一	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	人文1クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227021	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	小野 雄一	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	人文2クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227031	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6		本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	人文3クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227041	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6		本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	人文4クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227051	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6		本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	人文5クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227071	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6		本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	比文1クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227081	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6		本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	比文2クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227091	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6		本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	比文3クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227111	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	今田 水穂	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	日日1クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227131	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	秋山 肇	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	社会1クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227141	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	南山 淳	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	社会2クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227151	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	藤本 丈史	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	社会3クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227171	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	藤井 浩光	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	国際1クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227181	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	寺内 大左	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	国際2クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227201	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	平井 悠介,太田 知彩	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	教育1・2クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227211	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	尾野 裕美	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	心理1クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227221	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	千島 雄太	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	心理2クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
1227231	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	飯村 大智	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	障害1クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227241	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	小渕 千絵	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	障害2クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227251	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	横井 智之	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	生物1クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227261	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	白鳥 峻志	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	生物2クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227271	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	熊野 匠人	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	生物3クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227281	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	鈴木 大地	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	生物4クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227291	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	福田 直也	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	資源1クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227301	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	阿部 淳一 ピーター	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	資源2クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227311	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	杉本 卓也	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	資源3クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227321	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	古川 純	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	資源4クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227351	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	呉羽 正昭,鎌田 祥仁	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	地球1クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227361	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	鎌田 祥仁,呉羽 正昭	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	地球2クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227371	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	木下 保,竹内 有哉	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	数学類対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227391	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	溝口 知成	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	物理学類対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227411	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	中村 貴志,三原 のぞみ	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	化学1クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227421	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	三原 のぞみ,中村 貴志	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	化学2クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227431	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	岡田 朗	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	応理1クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227441	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	大木 理	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	応理2クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227451	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	嵐田 雄介	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	応理3クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
1227471	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	若槻 尚斗	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	エシス1クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227481	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	広野 雄士	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	エシス2クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227491	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	大門 優	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	エシス3クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227501	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	小平 大輔	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	エシス4クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227511	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	小西 葉子	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	社工1クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227521	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	リュウ ティエンシャン	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	社工2クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227531	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	岡本 直久	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	社工3クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227541	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	長崎 滉大	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	社工4クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227571	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	高橋 大介	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	情報1クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227581	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	杉浦 圭祐	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	情報2クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227591	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	長谷部 浩二	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	情報3クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227601	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	今井 敏也	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	情報4クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227611	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	乾 孝司	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	創成対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227631	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	宇陀 則彦	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	知識1クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227641	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	鈴木 伸崇	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	知識2クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227671	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	土屋 輝一郎	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	医学1クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227681	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	松田 真秀	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	医学2クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227691	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	澁谷 文恵	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	医学3クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227701	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	吉野 龍ノ介	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	医学4クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
1227711	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	池田　有	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	医学5クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227721	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	柴 綾	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	医学6クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227731	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	伊藤 智子	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	看護Aクラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227741	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	阿部 吉樹	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	看護Bクラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227751	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	大川 加奈	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	看護Cクラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227771	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	前村 公彦	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	体育1クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227781	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	三田部 勇	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	体育2クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227791	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	嶋﨑 達也	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	体育3クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227801	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	大林 太朗	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	体育4クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227811	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	下山 寛之	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	体育5クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227821	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	成瀬 和弥	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	体育6クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227831	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	角川 隆明	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	体育7クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227841	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	松井 崇	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	体育8クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227851	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	齋藤 卓	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	体育9クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227861	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	渡邉 仁	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	体育10クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227871	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	湯澤 美麻	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	芸術1クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227881	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	山本 美希	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	芸術2クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227891	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	加藤 研	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	芸術3クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1227901	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	野口 恵美子,森戸 直記	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	医療クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
1228211	学問への誘い	1	1.0	2	春A	水5,6	松原 大祐	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	医学類2年次編入生対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1228221	学問への誘い	1	1.0	3	春A	水5,6	水野 道代,目 麻里子,菅谷 智一,井坂 ゆかり	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	看護学類3年次編入生対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1228301	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	山岡 翔	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	総学第1類1クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1228311	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	佐藤 千登勢	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	総学第1類2クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1228321	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	澤田 浩子	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	総学第1類3クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1228331	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	葛山 泰央	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	総学第1類4クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1228341	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	蒔苗 直道	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	総学第1類5クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1228351	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	村田 光司	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	総学第1類6クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1228361	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	宮内 久絵	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	総学第2類1クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1228371	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	永野 幸一	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	総学第2類2クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1228381	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	新井田 貴文	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	総学第2類3クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1228391	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	中尾 砂理	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	総学第2類4クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1228401	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	小泉 洸生	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	総学第2類5クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1228411	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	川崎 真弘	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	総学第2類6クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1228421	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	八森 正泰	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	総学第2類7クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1228431	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	松原 康介	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	総学第2類8クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1228441	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	大橋 一晴	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	総学第3類1クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1228451	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	北村 豊	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	総学第3類2クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1228461	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	鈴木 釈規	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	総学第3類3クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
1228471	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	若林 啓	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	総学第3類4クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1228481	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	于 海涛	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	総学第3類5クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1228491	学問への誘い	1	1.0	1	春A	水5,6	武田 一文	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	総学第3類6クラス対象 CDP オンライン(オンデマンド型)
1228511	Invitation to Arts and Sciences	1	1.0	1	秋A	応談	ウラノ エジソン ヨシアキ	This lecture serves as an introduction to bachelor's course education at the university. This course invites students to learn about academic methodology at the university level, and cultivates an understanding of the academic field in which they are majoring, as well as the ability to understand the relationship with related fields.	For students in International Social Studies 英語で授業。 CDP オンライン(オンデマンド型)
1228521	Invitation to Arts and Sciences	1	1.0	1	秋A	応談	横井 智之,白鳥 峻志,熊野 匠人,鈴木 大地	This lecture serves as an introduction to bachelor's course education at the university. This course invites students to learn about academic methodology at the university level, and cultivates an understanding of the academic field in which they are majoring, as well as the ability to understand the relationship with related fields.	For students in LES Biological Sciences 英語で授業。 CDP オンライン(オンデマンド型)
1228531	Invitation to Arts and Sciences	1	1.0	1	秋A	応談	雷 中方	This lecture serves as an introduction to bachelor's course education at the university. This course invites students to learn about academic methodology at the university level, and cultivates an understanding of the academic field in which they are majoring, as well as the ability to understand the relationship with related fields.	For students in LES Agro-Biological Resource Sciences 英語で授業。 CDP オンライン(オンデマンド型)
1228541	Invitation to Arts and Sciences	1	1.0	1	秋A	応談	パークナー トーマス	This lecture serves as an introduction to bachelor's course education at the university. This course invites students to learn about academic methodology at the university level, and cultivates an understanding of the academic field in which they are majoring, as well as the ability to understand the relationship with related fields.	For students in LES Geoscience 英語で授業。 CDP オンライン(オンデマンド型)
1228551	Invitation to Arts and Sciences	1	1.0	1	秋A	応談	大林 典彦,ホー キョン	This lecture serves as an introduction to bachelor's course education at the university. This course invites students to learn about academic methodology at the university level, and cultivates an understanding of the academic field in which they are majoring, as well as the ability to understand the relationship with related fields.	For students in Medical Science English Program 英語で授業。 CDP オンライン(オンデマンド型)
1228561	Invitation to Arts and Sciences	1	1.0	1	秋A	応談	シャーミン ソニア,ハサン モダル	This lecture serves as an introduction to bachelor's course education at the university. This course invites students to learn about academic methodology at the university level, and cultivates an understanding of the academic field in which they are majoring, as well as the ability to understand the relationship with related fields.	For students in IDE Program 英語で授業。 CDP オンライン(オンデマンド型)
1228571	Invitation to Arts and Sciences	1	1.0	1	秋A	応談	大庭 良介	This lecture serves as an introduction to bachelor's course education at the university. This course invites students to learn about academic methodology at the university level, and cultivates an understanding of the academic field in which they are majoring, as well as the ability to understand the relationship with related fields.	For students in BPGI 英語で授業。 CDP オンライン(オンデマンド型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
1228721	学問への誘い	1	1.0	1	秋A	応談	三好 優花	本講義は,本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	Japan-Expert学生対象 CDP オンライン(オンデマンド型)

学士基盤科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
1207011	ピア・サポートを学ぶ~支えあいの大学のために	1	1.0	1	秋AB	水5	伊藤 宗親,水野 雅之,慶野 遥香,北原 祐理	本科目では、ピア・サポートの理念や実際に行われている活動を講義形式で学ぶ他、多くのワークを通してコミュニケーションスキルや実際に筑波大学の中で必要なピア・サポート活動をプランニングしていく力を養い、ピア・サポーターになるための基本的な心構えとスキルを身に着けていく。	【事前登録対象】【定員120名】(心理学類開設) 実務経験教員 対面
1210221	おもてなし学―グローバルマナーと異文化コミュニケーション―	1	1.0	1	春BC	月2	江上 いずみ	・国際人として、自国の文化と歴史、礼儀作法の成り立ちを自身が理解し、他者にも正しく伝えられる知識を身に付ける ・諸外国の習慣やマナーを尊重して、異文化コミュニケーションの原点を理解する ・言語や宗教、文化や歴史が違えばマナーもまた国によって異なるのは当然である、という認識のもと、互いの習慣やしきたりの違いを尊重しあってプロトコール(国際儀礼)の原則を理解する	【事前登録対象】【定員130名】(体育開設) 対面
1210231	森林	1	1.0	1	春A	月1,2	清野 達之,上條 隆志,浅野 眞希,呉羽 正昭,恩田 裕一,興梠 克久,小幡谷 英一,津田 吉晃,岡根 泉,設樂 拓人	森林を自然科学(遷移、植生、遺伝、樹病、木材利用)、環境(地形、土壌、温暖化)、レジャー、利用など多面的な視点から捉え、日本や海外の森林を取り巻く状況や諸問題を蓄積された研究成果だけでなく最新知見を含めた講義を行う。	【事前登録対象】【定員180名】(資源開設) 対面
1217011	実践入門!AI・データサイエンス~基礎と展開~	1	1.0	1	秋C	NT	浦田 淳司	AI・データサイエンス分野のアプローチを用いた課題解決・現象理解にむけて、当該分野を学ぶ意義、基礎的な数理・プログラミング技術、各分野の基礎的なアプローチ・考え方、実社会での展開事例を学び、理解する。課題解決・現象理解のための実践にむけ、演習課題を通じて、AI・データサイエンス分野の入門的な技術を習得する。	【事前登録対象】【定員250名】(社工開設) 共通科目「情報」3科目(情報リテラシー(講義)、情報リテラシー(演習)、データサイエンス)の単位修得見込みであることを履修条件とする。定員(250名)を超過する場合は、理工学群・情報学群以外の学生を優先する オンライン(オンデマンド型)*本講義は秋C水3・4限を受講推奨曜時限とする。 オンライン(オンデマンド型)
1218012	理科系・情報系のためのレポート入門	2	1.0	1	春BC	集中	鹿野 豊	理科系・情報系の学生が学問に不可欠な「レポート執筆スキル」を基礎から身につけることを目的とする。理工系特有の論理的・客観的な文章構成や、図表・数値データの効果的な提示方法、正しい引用の方法などを学び、一般的な学術レポートを独力で書き上げることを目標とする。特に、本授業では「書くことへの抵抗感」を減らすことを重視し、オンライン上でのピアレビューやディスカッションを通じて、他者との意見交換・相互評価を行いながら、レポート執筆に必要な姿勢とスキルを養う。	【事前登録対象】【定員195名】(情報科学類開設) 5/30,6/13,7/4 オンライン(同時双方向型) 各日 4, 5限 (13:45 - 16:30) [発話できる環境から出席してください] 残りはオンデマンド講義 [4限分]
1221011	科学的根拠にもとづいた最新の健康教育	1	1.0	1	秋AB	月1	高橋 遥一郎,井上 貴昭,白鳥 裕貴,奈良坂 俊明,西田 恵子,矢藤 繁,鎌田 浩史,吉本 尚	健康で有意義な学生生活を送るうえで役立つ、科学的根拠に基づいた正しい健康教育を行う。学生時代に遭遇する危険性が高いcommon diseaseの正しい知識とその予防、救急処置に役立つ知識や社会的関心の高い疾患 を専門家が概説し、自ら積極的に生涯健康増進に取り組む姿勢や習慣を身に着けさせる。	【事前登録対象】【定員180名】(医学開設) 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
1222021	セルフマネジメント・ケア	1	1.0	1	春A	月1,2	岡山 久代,工藤 理恵,山下 美智代,菅谷 智一,井坂 ゆかり	本科目は、心身ともに健康な生活を送るために必要な内容について学習することを目的としている。人間が心身ともに健康な生活を送るには、各個人のセルフケア能力を高めることが大切である。本科目では、看護学領域の教員の専門的な視点から、青年期にある皆さんの現在から将来に向けて想定される健康に関する内容について教授する。	【事前登録対象】【定員120名】(看護開設) 実務経験教員 対面 看護学類以外の学生を優先する
1224021	おもてなし学―グローバルマナーと異文化コミュニケーション―	1	1.0	1	秋AB	月2	江上 いずみ	・国際人として、自国の文化と歴史、礼儀作法の成り立ちを自身が理解し、他者にも正しく伝えられる知識を身に付ける ・諸外国の習慣やマナーを尊重して、異文化コミュニケーションの原点を理解する ・言語や宗教、文化や歴史が違えばマナーもまた国によって異なるのは当然である、という認識のもと、互いの習慣やしきたりの違いを尊重しあってプロトコール(国際儀礼)の原則を理解する	【事前登録対象】【定員130名】(体育開設) 対面
1226014	キャリアデザイン入門~世界にはばたく未来の自分~	4	1.0	1	秋AB	水5	福嶋 美佐子,森尾 貴広,関崎 博紀,ヴァンバーレン ルート	人生のなかでも重要な期間である大学での生活を、生涯における人生設計(キャリア・デザイン)の準備に必要な基礎づくりの期間として主体的かつ有意義に過ごすことを動機づけ、実践することを目的とします。特に、自己と文化の多様性の理解、社会と関わる力、変化する社会の中で主体的に生きる力を自ら身につけることを目指します。	【事前登録対象】【定員100名】(ヒューマンエンパワーメント推進局企画) 対面
1226016	学問探究チュートリアル	6	1.0	1	春B 春C秋ABC	水3,4 応談	チュートリアル学修推進委員会の教員	大学において自ら探究してみたい学問的な課題を見つけ、その探究の進め方を計画し、また、実際に文献調査や教員への聞き取りなどを行いながら、探究を進めてみることを試みる。それらのためにアドバイスを行うチューター教員が配置され、このような探究への相談や助言が行われる。また、その探究への動機から大学における学修の計画がたてられるようになることも目的とする。本科目はまた、本学が10年後を目途に本格的に導入をしようとしている個別指導を含む学修(チュートリアル学修)を先導する授業である。	【事前登録対象ではない】【定員40 名】 ◆履修希望者は必ず4月23日(水)までに事前アンケートに回答すること。履修希望者が40名を超える場合、アンケートをもとに選考を行う(詳細はシラバスの履修条件参照)。 ◆TWINSからの履修登録については5月上旬ごろ(選考完了後)、アンケート回答者に対して連絡する。学生側からは履修登録できないので注意。 ◆春Cのチュートリアルセッション(個別的な対話,2~3週間に1回実施、1回75分程度)の日程は、水曜3限・水曜4限・木曜5限・木曜6限のいずれかに行う事を原則としつつ、それ以外の時間も含めて個別に調整する。 ◆秋ABのチュートリアルセッション(同上)の日程は、水曜3限・水曜4限・金曜3限・金曜4限のいずれかに行う事を原則としつつ、それ以外の時間も含めて個別に調整する。 春C以降の教室は授業開始後に指示する。その他詳細をシラバスで必ず確認すること。 対面 春C以降の教室は授業開始後に指示する。その他詳細をシラバスで必ず確認すること。
1226021	心と体に安全で快適なキャンパスI-こころのヘルスリテラシー講座-	1	1.0	1	春B	火5,6	白鳥 裕貴	この授業では,充実した学生生活が送れるように,大学生が学生生活の中で出会う様々な問題を取り上げながら,それに対処するための知識とスキルについて学習することを目的としています。具体的には,大学生が抱える様々なこころの問題や病気を,身近な事例や文学,映画,社会現象などを通じて心理学と精神医学を基に学習し理解を図る予定です。	【事前登録対象】【定員150名】(保健管理センター企画) 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
1226041	みんなで創ろう「つくばアクションプロジェクト」	1	1.0	1	春BC	火2	唐木 清志,李 健實	学生のうちに「やってみたい」活動はありますか? 自分の興味や関心を活かし、自らが主体的に関わりたいと思える活動を企画し、それを実現するための方法について学ぶことが本授業の目的です。そのために、新しい人間関係を作り、自分の「やってみたい」活動を実現するための実践的な知識や技術を学んでいきます。大学生活を充実させ、社会実践力をつける基礎を本授業で身に着けてください。	【事前登録対象】【定員140名】(学生生活支援室企画) 対面 秋学期(1226091)と同一内容のため,重複履修は不可。
1226051	筑波大学特別講義―大学と学問―	1	1.0	1 - 3	秋AB	水6	草野 都,山田 一夫,有田 智一	本学の学長をはじめとする経験豊かな講師陣が,大学と学問,あるいは学問と人生について広いテーマで講義を行う。本講義は,大学で学ぶべきことや自分の今後の生き方についてじっくりと考えてみる機会を受講生に提供するとともに,明確な目的意識をもって自律的に学習していくことができるように,大学生活と学問への道案内をすることを目的とする。 さらに,学長をはじめ本学に関係する優れた研究者が,自らの学問と人生体験を語ることにより,日本および世界において次世代の指導者となりうる有能な若者を育成する。	【事前登録対象】【定員700名】(総合智教育推進委員会企画) 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
1226071	世界のTSUKUBAで学ぶ	1	1.0	1	秋AB	金6	大友 貴史,森尾 貴広	グローバル化が急速に進む中で、本学は「国際性が日常化した大学環境の実現」並びに「知の世界拠点として世界と共生する大学」を目指している。本科目の目的は、第一に、本学の国際化の方向性と実情、並びに筑波大学と世界との関わりを知ると共に、筑波研究学園都市という特徴のある地域社会の中で学ぶことの意義を考えることにある。第二に、日本が置かれている国際的な環境と日本がこれまで世界で行ってきた数々の貢献を知ることにより、筑波大学において皆さんが今後どのような意識を持って学ぶかについて、あらためて考える機会を提供することである。このように、本授業は今後学生生活の方向性を定めるきっかけとしてだけではなく、卒業後の進路を考える上での材料を提供することを目標としている。	【事前登録対象】【定員120名】(総合智教育推進委員会企画(国際室)) 対面
1226091	みんなで創ろう「つくばアクションプロジェクト」	1	1.0	1	秋AB	水3	唐木 清志,李 健實	学生のうちに「やってみたい」活動はありますか? 自分の興味や関心を活かし、自らが主体的に関わりたいと思える活動を企画し、それを実現するための方法について学ぶことが本授業の目的です。そのために、新しい人間関係を作り、自分の「やってみたい」活動を実現するための実践的な知識や技術を学んでいきます。大学生活を充実させ、社会実践力をつける基礎を本授業で身に着けてください。	【事前登録対象】【定員140名】(学生生活支援室企画) 対面 春学期(1226041)と同一内容のため,重複履修は不可。
1226101	卒業生によるオムニバス講座(社会人としていかに生きるか)	1	1.0	1	秋AB	木6	柏木 健一	一口に「社会人」というが,彼らは何を考え,どのような生活をしているか。実際に社会で活躍している先輩達の経験から,社会人を目指す学生がこれからの学生時代の過ごし方について考える。	【事前登録対象】【定員200名】(「総合科目」専門部会企画) 実務経験教員 対面
1226121	心と体に安全で快適なキャンパスII救命救急処置とファーストエイド	1	1.0	1	秋AB	月1	間瀬 かおり	学生生活でよく出会う身体の不調や症状,病気,捻挫や骨折などの外傷,温熱や化学物質による熱傷,環境要因による障害,中毒,感染症などをわかりやすく学ぶとともに,予防法や自分でも出来る応急処置について学習します。	【事前登録対象】【定員120名】(保健管理センター企画) 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
1226151	トップランナーが語る社会課題 - 混沌化する世界と変貌する地方	1	1.0	1 - 6	春BC	集中	岡本 直久,坪内 孝司,松井 圭介,五十嵐 泰正,島田 雅晴	世界は、新興国の急成長、産業や市場のボーダレス化、ICT等、先端技術の進歩などにより、人材・情報・資金が国境を越えて行きかっています。同時に国は勿論のこと、国内の地域や都市の間でも競争が激化しています。このため、地球環境問題や資源・エネルギー問題など、世界にまたがるグローバルな課題に的確に対処していくことが求められています。また、少子高齢化と人口減少が急速に進んでいるわが国で、豊かな生活と産業の発展の鍵を握るのは、地方の活性化であり、地方で活躍し、輝く若い人材が求められています。 この激動の時代を生き抜く学生の皆さんが、「国際社会と地域社会に貢献する」という高い志を持って研鑽に励むためには、この講義で説く「社会の基本的な理論や構造」の習得が必要不可欠と考えます。本リレー講義では、「社会の基本的な理論や構造」とは何かを探求し、全学群生を対象に、今後の大学生活で身に付けるべき知識、教養、想像力や構想力向上をサポートします。 具体的には以下の6分野にプライオリティを置き、産業界・官界・政界のトップリーダーがリレー講義を実施、皆さんとともに考えます。 1 グローバル化と地域の日本のあり方」、2「政治・政策」、3「安全保障・憲法」、4「経済・産業」、5「資源・エネルギー」、6「世界/アジア」(順不同)	令和6年度まで開講していた「社会基礎学I-「グローバル化」と「地方の活性化」に貢献できる輝く人材の育成」と同一。【事前登録対象】【定員270名】(教学デザイン室企画) 6/6, 6/13, 6/20, 6/27,7/4, 7/11 実務経験教員 対面 日程:6月6日(土)、6月13日(土)、6月20日(土)、6月27日(土)、7月4日(土)、確認テスト 7月11日(土)時間:13:30-16:30で授業を行う。
1226181	ダイバーシティ&インクルージョン入門	1	1.0	1 - 3	春BC	NT3	末吉 彩香,佐々木 銀河,河野 禎之,福嶋 美佐子,長山 慎太郎,郭 立夫,早坂 美奈子	障害、性別、文化、世代など、多様な背景をもつ人々が包摂された社会の実現のために、身体障害や発達障害といった障害の理解に関する講義をはじめ、性や国籍、言語などに関する多様性についても幅広く紹介する。また、多様性に関するテクノロジーや公共政策といったマクロな視点も通して、多様な背景をもつ人々が共生することのできる社会とはどのような社会なのかについて、受講生が自ら考える機会を提供する。	【事前登録対象】【定員400名】(ヒューマンエンパワーメント推進局企画) ※本講義は春BC木3限を受講推奨曜時限とする。 オンライン(オンデマンド型) オンライン(オンデマンド型)
1226194	アントレプレナーへの誘い	4	1.0	1	春A	木3,4	野村 豪,五十嵐 浩也	自ら事業を興すなどしてイノベーションを起こす者(アントレプレナー)となるための基盤作りとして、アントレプレナーシップ、社会課題の解決、アイデア創出と知的財産、ビジネスモデルの基本等を外部有識者による講演と演習とを交えて学習する。 アントレプレナーシップとは、必ずしも起業することを意味するのではなく、様々な困難や変化に対し、与えられた環境のみならず、自ら枠を超えて行動を起こし、新たな価値を生み出していく精神や姿勢を意味する言葉であり、キャリア形成のためにすべての人が身に付けることが望ましい。起業を目指す場合には、さらに筑波クリエイティブ・キャンプ・ベーシック、筑波クリエイティブ・キャンプ・アドバンスト等の実践的な起業家教育講座を受講することで一層効果的となる。	【事前登録対象】【定員300名】(国際産学連携本部企画) 授業の出席は対面参加を原則とする。履修人数によってはオンライン双方向と対面とのハイブリッドで行う場合があり、その場合は別途連絡する。 講義資料はmanabaで配布する。 個人ワークやグループワークにより課題取り組みをまとめたレポートをmanaba提出し、その内容で参加状況の確認や評価を行う。 実務経験教員 オンライン(対面併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
1226211	地球社会共創概論	1	1.0	1・2	春AB秋AB	随時	森尾 貴広	本科目は日本とガーナにおけるフィールド学修(地球社会共創実習A および B) 履修の前提となる、知識、思考、態度を習得することを目的とする。具体的には ・ 日本とアフリカ・ガーナの地理・歴史・社会・文化と開発史の概観 ・ グローバル社会における環境問題 ・ 異文化理解と多文化共生 ・ デザイン思考 を学習する。 This course aims to acquire the knowledge, thinking, and attitudes that form the prerequisite for undertaking field studies (Fieldwork for co-creating harmonious future A and B) in Japan and Ghana. Specifically, it covers: ・ An overview of the geography, history, society, culture, and development history of Japan and Ghana in Africa ・ Environmental issues in the global society ・ Cross-cultural understanding and multicultural coexistence ・ Design thinking	【事前登録対象】【定員100名】英語で授業 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型) 詳細は後日manabaで周知
1226212	地球社会共創演習(オンラインPBL)	2	1.0	1・2	秋AB	随時	山本 亨輔,市川 政雄,福重 瑞穂,柏木 健一,小平 大輔,秋山 肇,松島 亘志	本学学生、ガーナ側パートナー校の学生の混成チームを編成し、オンラインPBL を行う。『演習』においては、『概論』の学びをもとに、上述の専門的なコンピテンシーの獲得を到達目標とする。PBL のテーマは、社会的・文化的背景の異なるステークホルダーの間で利害が食い違うなど多面的な視点を要求する環境問題を設定する。グループワークでは、問題の理解や解決法を考える際に単一の視点では本質を見失う可能性があることに気付き、多様な視点で物ごとを捉える意識を涵養する。 グループワークにおいては、提示された環境問題がどう表出されているかの認識と理解を共有し、その問題を引き起こす人間の活動とその結果生じる環境への負荷、環境問題が社会に与える影響を議論する。この段階においてはデザイン思考の手順に倣い、できるだけ多くの考え、視点を列挙させる。次に、各学生が特定のステークホルダーを決めてロールプレイを行い、その視点から問題がどのように捉えられるか、利害がどう対立するかについて議論を行い、同じ問題が視点によって異なって認識されることへの気付きを得る。続いて、個々のステークホルダーの視点から離れ、今度は全体として最適な解決策について議論し、その解決策が個々のステークホルダーにどう見えるかを考え、全体と個々の視点で問題を理解しながら、解決策の検討を繰り返すことで個々の視点を相対化するトレーニングを行う。 PBL の成果はグループ毎に5 分程度のプレゼンテーション動画を提出させ、到達度を評価し、各コンピテンシーに応じたバッジ及び『演習』1 単位を付与する。また、PBL の成果を基にガーナにおけるフィールド共修への筑波大学側の派遣学生を選抜する。	【事前登録対象】【定員50 名】 英語で授業。 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型) 詳細は後日manaba で周知。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
1226213	地球社会共創実習A	3	1.0	1 - 3	春季休業中	集中	市川 政雄,福重 瑞穂	日本とガーナの学生が、ガーナにおいて講義、現地視察、グループワークを通し、 環境問題の複雑な根本原因を分析し、科学的知見に基づく解決策を考案し、ピッチ コンテストで解決策を発表する。 Fieldwork consists of lectures, site visits, and group work in Ghana. In the groupwork, Japanese and Ghanaian students analyze complex root causes of environmental problems, conceive science-based solutions to the problems and present the solutions in the pitch competition.	履修条件を満たした学生のうち、8名を選抜する。実習での使用言語は英語。Eight students will be selected among those who complete “Lectures for co-creating harmonious future” and “Seminar for co-creating harmonious future”. The language used in the fieldwork is English. 英語で授業。 対面 詳細は後日manaba で周知。Details will be announced through manaba in due course.
1226223	地球社会共創実習B	3	1.0	1 - 3	夏季休業中	集中	森尾 貴広	日本とガーナの学生が、日本において講義、現地視察、グループワークを通し、環 境問題の複雑な根本原因を分析し、科学的知見に基づく解決策を考案し、ピッチコ ンテストで解決策を発表する。 Fieldwork consists of lectures, site visits, and group work in Japan. In the groupwork, Japanese and Ghanaian students analyze complex root causes of environmental problems, conceive science-based solutions to the problems and present the solutions in the pitch competition.	履修条件を満たした学生のうち、8 名を選抜する。 実習での使用言語は英語。8 students will be selected among those who complete “Lectures for co-creating harmonious future” and “Seminar for co-creating harmonious future”. The language used in the fieldwork is English. 英語で授業。 対面 詳細は後日manaba で周知。Details will be announced through manaba in due course.
1226231	南アジアデザイン・文化比較概論	1	1.0	1・2	秋学期	随時	櫻井 岳暁	南アジアは地域性をもちながら共通性もある独自の文化を各地で発展させてきま した。本授業では、南アジア各地の衣、食、住、信仰、医療、ウェルビーイン グ、造形、あそびとゲームなどに関わる具体的事例を扱うとともにその歴史、社 会的背景、現代的変動について幅広く論じます。これらの講義を通じて、学生は 南アジアの生活文化とデザインを考えるための基礎的視点を身につけるとともに その多様性と共通性への理解を深めます。また、授業では日本の事例も扱い、南 アジアとの比較から日本の文化、デザインを捉えなおす力も身につけます。	【事前登録対象】【定員100 名】英語で授業。 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型) 詳細は後日manaba で周知
1226241	日印医療比較概論	1	1.0	1・2	秋学期	随時	櫻井 岳暁	科学技術が進歩した現代においても、世界には多くの未充足の医療ニーズが存在 しています。本授業では、医療制度や社会的背景の異なる日本とインドを比較 し、医療提供、公衆衛生、感染症対策、先端医療技術などのテーマを扱います。 これらの講義を通じて、学生は医療を比較的な視点から捉え、医療課題について 多角的に考える力を身につけます。	【事前登録対象】【定員100 名】英語で授業。 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型) 詳細は後日manaba で周知

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
1290181	Inclusive Smart Society 概論I	1	1.0	1・2	秋AB	随時	宮内 久絵,秋山 肇,アランニャ,クラウス,松島 亘志	このコースは包括的なスマート社会の概念に深く踏み込み、特にその3つの基本要素である「人々」、「技術」、および「ガバナンス/ポリシー」に焦点を当てます。Nam and Pardo(2011)によって概説された三位一体を強調し、人的資本と社会資本への投資と強力なICTインフラが持続可能な成長を推進し、総合的な生活の質を向上させる「スマート」な社会を構成する重要な要素を探求します。これら3つの要素がどのように相互作用し、真に「スマート」な社会を作り出す原則を理解するために、障害の本質や、障害を抱える人を含むすべての個人を包括する社会を創造するための重要な情報と議論に触れることになります。	【事前登録対象】【定員200名】 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型) 英語で実施。定員200名。オンデマンドで実施、詳細は履修登録後manabaで周知。
1290191	Inclusive Smart Society 概論II	1	1.0	1・2	秋C春季休業中	随時	木村 武史,森尾 貴広,三原 鉄也,ハサン モダル,佐藤 貴弘,小野 誠司,永田 真一,松島 亘志	「Inclusive Smart Society概論I」に続き、このコースでは、Inclusive Smart Societyのデザインと強化に関するいくつかのトピック(ポピュラーカルチャー、比較宗教、および障害を抱える人々のためのスポーツなど)を紹介します。学生はこれらのトピックを学び、日米の学生間でのディスカッションを行うことを通じて視野を広げるよう求められます。いくつかのケースでは、”Inclusive”や”Smart”といった基本的な概念が、このコースのトピックにどのように適用されるかを尋ねることが奨励されます。また、日米双方の学生は共有されたトピックに対する異なる文化的評価を認識し、問題の特定や解決策の発見に他の文化的観点を取り入れることを学ぶよう求められます。	【事前登録対象】【定員200名】 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型) 詳細は後日manabaで周知。

学士基盤科目-高年次向け-

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
1401011	卒業生による業界探訪	1	1.0	3・4	秋AB	木6		金融、マスコミ、IT、食品、スポーツ、ベンチャー、公務員、アカデミアなどの業界に精通した卒業生が各業界の現状、魅力、求める人材像、さらに筑波大での幅広い学びと深い専門性が社会でどう活かされるかについて、講義と質疑応答を行う。	【事前登録対象】【定員194名】(人文開設) 対面 状況によってはオンラインに変更する場合がある。
1401021	21世紀の中国ー現代中国の諸相ー	1	1.0	3・4	秋AB	金4	高見澤 学,松村 茂樹,神子田 章博,笹原 勉,佐々木 一郎,髙木 宏治,飯田 一彦,河本 佳世,橋本 修	巨大な隣国である中国は、1976年の文化大革命の終結以降、経済の改革開放政策の成果により、大きな変貌をとげた。21世紀初頭の今、ますます存在感を増した中華人民共和国の現在の諸相を、学生にとって身近な目線で講じる。現在中国との関わりの深い筑波大学OBを講師とし、現代中国の文化、社会、経済、環境、日中翻訳など、様々な観点から、現場に立つ講師ならではの姿を描き出す。	【事前登録対象】【定員200名】(国際総合学類開設) オンライン(対面併用型)
1401031	人文学の極意と深淵	1	1.0	3・4	秋AB	金4	田中 友香理	哲学、史学、考古学・民俗学、言語学の4分野から成り、人間の思考や営みにかかわる多様な学問領域を扱い、人間とは何かを「見つける」きっかけを与える人文学の極意と深淵を提供する。入門ではなく、高年次生が人文知の深みに触れ、自らの専門を異なる視野から見直すきっかけとなるよう、10名のスペシャリストが問題提起する。	【事前登録対象】【定員120名】(人文開設) 対面(オンライン併用型)
1402011	比較文化の探求ー名著のすすめー	1	1.0	3・4	春AB	月2	塩谷 哲史,秋山 学,阿部 幸大,井川 義次,石塚 修,小川 美登里,稀代 麻也子,齋藤 一,宮﨑 和夫,山口 有梨沙	人文・文化研究において，文献との出会いは重要である。感銘を受け，学問的に刺激された文献は，研究上のみならず，その人の生き方にも影響を与えることがある。本講義では，グローバル時代において比較文化を探求する教員が自ら選んだ，学生必読の文献を紹介しつつ，高度かつ専門的な視野から文化を読み解く方法を考えていく。	【事前登録対象】【定員120名】(比文開設) 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
1405014	国際学を学ぶIII	4	1.0	3・4	春AB	水2	白川 直樹,松原 康介	グローバル化が進展し、環境問題や人口問題が深刻さを増すなか、国際社会で生じる諸現象について理解することが求められている。本講義では、グローバルな対応が求められる国際社会の諸課題に対して、人文・社会科学や情報・環境学における様々な視点や方法からアプローチしつつ、今後の国際社会の在り方について理解と考察を深めることを目的とする。国際政治・国際法、経済学、文化・社会開発、情報・環境学に関わる基礎知識を発展させるため、この授業ではPBL(Project-Based Learning)あるいはグループワーク形式を採り、グループごとに設定したリサーチトピックについて、課題の設定、課題の解決に向けた文献講読や資料収集、調査、ディスカッション、プレゼンテーションなどを行い、理解を深める。	【事前登録対象】【定員60名】(国際総合学類開設) 対面 *国際総合学類生の受講は認めない。
1406011	学校を考える	1	1.0	3・4	春AB	水3	京免 徹雄,遠藤 優介,川上 若奈,宮口 誠矢	これからの学校と教師の在り方について論究する。第1に、日本の学校の現状と課題をおおまかにつかんだ上で、日本と世界の教科外活動およびキャリア教育の展開について解説する。第2に、理科教育の現状と課題について検討する。第3に、道徳教育の制度と実践について考察する。第4に、教育法に関する現状と課題について分析する。これらの講義を通して、教育に関する見識と教養を向上することを目指している。	【事前登録対象】(教育開設) オンライン(オンデマンド型) 人間学群学生の受講は認めない。
1410011	自然保護学入門	1	1.0	3・4	春A 春B	月2	上條 隆志,吉田 正人,横井 智之,飯田 義彦,川田 清和,三ツ井 聡美,澤田 聖人,飯島 大智	自然保護に関わるトピックについてオムニバス方式で講義を行う。主な内容は、「自然保護とは何か(総論)」、「生物多様性の保全」、「野生動物管理」、「島嶼生態系の保全」、「昆虫の保全生態学」、「自然保護法制度」、「ジオパーク」、「自然保護と地域コミュニティー」などである。講義は、自然保護寄附講座サーティフィケートプログラムの担当教員が中心となって実施する。自然科学と社会科学の両面をとりいれた学際的な講義構成とする。	【事前登録対象】【定員120名】(資源開設) 1C10141、1D10011 を修得済みの者は受講できない。 対面
1412011	数学の最前線:未解決の問題への挑戦	1	1.0	3・4	秋C	月1,2	山本 光	数学は常に変化する未解決問題の宝庫である.そのような問題は数学の内部発展の必要性から生じ,また社会的要請からも生まれ,新しい数学を生み出す.このような数学の創造と発展のダイナミクスを,幾つかの話題を通じて解説する.	【事前登録対象】【定員120名程度】(数学開設) 対面(オンライン併用型)
1413011	現代物理学入門	1	1.0	3・4	春AB	月1	吉川 耕司,岡田 晋,中條 達也,伊敷 吾郎,森 正夫,矢島 秀伸,山崎 剛	物理学を専門としない学生に向け、現代物理学の基礎的な概念や考え方を講義する。基礎的方程式を使い、簡単な物理現象やその法則がどのように表現されているかを学び、方程式を解くことにより何が予言されるかを概観する。	【事前登録対象】【定員120名】(物理開設) 対面
1414014	事例に学ぶ環境安全衛生と化学物質	4	1.0	3・4	夏季休業中	集中	佐藤 智生,百武 篤也,一戸 雅聡,山﨑 信哉,沼舘 直樹,中村 修,貴志 孝洋	人類は多くの有用な化学製品を製造し利用しているが、そのためには危険で有害な化学物質でも取扱う必要がある。本科目では、化学物質の危険性、有害性及び環境影響を理解している学生を主対象に、化学物質を取扱う際に留意すべき事項や手法を具体的な事例に基づいて講義する。本科目を通して、化学物質取扱作業に起因する事故、健康障害、環境汚染の具体的防止手法を理解し実践できる人材を育成する。	【事前登録対象】【定員120名】(化学類開設) 9/29(火)、9/30(水)の各9:00-11:45および13:00-17:15 実務経験教員 対面 2年次以上のみ履修を認める。 総合科目III「実践・安全衛生と化学物質」の単位を修得した学生は、履修申請できない。 本年9月卒業予定者の履修は不可。
1415011	現代物理と先端工学	1	1.0	3・4	春AB	金1	応用理工学類・応用物理主専攻主任,応用理工学類・電子・量子工学主専攻主任	20世紀に,量子力学を始めとした大きな発展を遂げた物理学は,その後も目覚ましい発展を続け,現代の工学に大きな影響を与え,高度情報化社会を支えるさまざまな製品を生み出している。本講義では,現代物理学が,どのように先端的工学に活かされているかを,いくつもの実例を挙げて紹介し,物理学を始めとした自然科学が,工学を通して社会にいかに貢献しているかを解説する。3,4年生が,卒業後の進路を選択する際にも大いに参考となる講義をめざす。	【事前登録対象】【定員120名】(応理開設) 対面 応用理工学類学生の受講は認めない。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
1415021	社会問題を見据えた材料開発とその応用	1	1.0	3・4	秋AB	月1	金 熙榮	現代の科学技術分野におけるめざましい進歩には、常に新物質・新素材の開発が中心的役割を果たしてきた。本科目では、物質・材料科学に焦点を当て、医療・福祉、エネルギー、環境、電子光デバイス、航空宇宙などの最先端の工学分野における物質・材料開発の状況や今後の課題について解説する。各自の専門分野をベースにより広い視野から高齢化、エネルギー問題、環境問題、資源問題など様々な社会的な課題を認識し、その解決に向けた材料科学に対する幅広い知識を身につける。	【事前登録対象】【定員120名】(応理開設) 対面(オンライン併用型) 応用理工学類学生の受講は認めない。
1416011	工学システムをつくる	1	1.0	3・4	春AB	月3	森田 昌彦	いくつかの工学システムの先端的な話題を取り上げ,2年次までに学んだ専門的知識に基づきながら,現在のシステムの問題点やそれを解決するためのキーアイディアについて説明する。	【事前登録対象】(工シス開設)【定員120名】 対面
1418011	量子とは何だろうか	1	1.0	2 － 4	秋AB	集中	鹿野 豊	「量子とは何だろうか」という根源的な問いを出発点に、数式を可能な限り用いずに量子論の歴史、量子技術の発展、そして実在をめぐる議論をオンデマンド講義で学ぶ。その基礎を踏まえ、対面授業では教員やゲストによる対談と受講者同士の議論を通じて多角的な視点から量子を考える。これにより、理系・文系を問わず幅広い学生が量子の世界に親しみ、自らの専門分野と結びつけて理解を深めることを目指す。	【事前登録対象】【定員300名】(情報科学類開設) 11/11,12/23 対面(オンライン併用型) 各日 3, 4, 5 限 (12:15 － 16:30) の対面講義 オンデマンド講義［4限分］
1420014	デジタルクリエイティブ基礎	4	1.0	3・4	春B	木5,6	近藤 祐爾	プレゼンテーション、各種デザインから写真・動画投稿にいたるまで、デジタルコンテンツのビジュアル表現に必要とされる基礎技術を理解し、実際に活用できるようにします。普段何気なく目にしているWeb、広告、ポスター、カタログ、雑誌・書籍、TVCM、映画、製品パッケージ、工業製品からプレゼンテーションに至るまで、さまざまなビジュアル表現が使われています。InstagramやTwitterなどのSNSへの画像アップロード、LINEスタンプの利用、YouTube動画のアップロードなど、日常生活においてビジュアル表現を活用する場面も増えています。 Instagram向けの画像加工アプリでは一体どんな風に画像が加工されているのか、LINE スタンプはどのように作られているのか、YouTube向けに動画コンテンツを制作したいときどんなことを知っておくとよいのか、デジタルコンテンツにおいてビジュアル表現を活用するには、クリエイティブ技術の理解が必要になります。 現在、ビジュアル表現に関わる制作の大半はデジタル化されているので、デジタルクリエイティブ技術の基礎を理解することで、よりよいビジュアル表現のための知識が習得できます。	【事前登録対象】【定員140名】(情報学群開設)テクニカルコミュニケーター（TC）専門課程「デザイン・表現設計」分野の科目 対面
1420024	デジタルクリエイティブ(デザイン)	4	1.0	3・4	秋A	木5,6	近藤 祐爾	グラフィックデザインやWebデザインにフォーカスし、デザインの役割や構成要素を理解し、レイアウト、タイポグラフィー、造形、色彩、画像処理などを通して、制作のための基本的な考え方、目利きのための視点、メディアの特性や成果物の制作技術についての理解を深めます。 講義と実際にデジタルデザインツールを用いた演習で、バリエーション検討などの試行錯誤の力および成果物を制作する力を養います。	【事前登録対象】【定員70名】(情報学群開設)「デジタルクリエイティブ基礎」の受講を推奨します。 対面
1420034	デジタルクリエイティブ(動画)	4	1.0	3・4	秋B	木5,6	近藤 祐爾	動画編集やアニメーション制作にフォーカスし、動画の成り立ちや構成要素を理解し、時間軸、シーンとカットによる演出、撮影スタイルと編集方法、構図とレイアウト、タイポグラフィー、特殊効果、アニメーション手法などを通して、動画制作のための基本的な考え方、目利きのための視点、編集技術についての理解を深めます。 講義と演習で、実際にデジタル編集ツールを用いた編集する力および成果物を制作する力を養います。	【事前登録対象】【定員70名】(情報学群開設)「デジタルクリエイティブ基礎」の受講を推奨します。 対面
1422011	健康と社会	1	1.0	3・4	春A	月5,6	柴山 大賀,阿部 吉樹,伊藤 智子,安梅 勅江,目 麻里子	現代の少子高齢化の社会構造やストレス社会において、人々に様々な健康影響が生じている。いくつかの健康問題を題材に、社会的要因と健康との関連性について考えることをとおして、働き方や生活の仕方を見直す機会とし、今後の社会や自身のあり方を探る。	【事前登録対象】【定員50名】(看護開設) 実務経験教員 対面(オンライン併用型) 主に3年生以上向け
1425011	社会のなかの建築デザイン	1	1.0	3・4	春B	木5,6	山田 協太,岩田 祐佳梨	デザインに何が出来るのか? 社会との関わりについて、建築デザインの観点から、デザインの可能性を探る。	【事前登録対象】(芸術開設) 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
1425021	スポーツ芸術表現学	1	1.0	3・4	春AB	火6	水野 裕史,大林 太朗,寺山 由美,宮坂 慎司	アートには、スポーツを題材とする作品や、身体の動きを伴うパフォーマンスアートがあります。一方、スポーツには、フィギュアスケートのように芸術性を高く評価する競技も数多く見られます。本授業は、アートとスポーツの結節点の様相について、様々な分野の視点から追究します。	【事前登録対象】(芸術開設) 対面(オンライン併用型) 人数制限あり(180名)
1490014	Inclusive Smart Society PBL	4	1.0	2・3	秋C春季休業中	随時	亀田 敏弘,山本 亨輔,松島 亘志	このコースは、オハイオ州立大学(OSU)と筑波大学の学生が参加するInclusive Smart Society(ISS)実現をテーマとする国際共同PBL科目である。両大学の学生らは、アイデアを共有し、国際チームを形成して、共にISS実現に向けたソーシャルスタートアップの提案を目指す。受講生らは、ISSに普遍的および地域的要素がある事を理解し、様々な課題を調査・分析して実用的なソリューションを構築することが求められる。本プロセスを通じて、実社会課題への実践的アプローチと方法論を修得できる。なお、本コースは受講に当たって、ISS概論Iの受講を前提とする。	【事前登録対象】【定員100名】 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型) オンライン(同時双方向型) 詳細は後日manabaで周知。最終回の授業はオンライン(同時双方向型)で行う。1・4年生も履修可能。

（２）平成 30 年度以前入学者の総合科目の履修について

平成 30 年度以前入学者及び平成 30 年度以前入学者の卒業要件が適用される編入学者の総合科目履修方法は以下のとおりとなりますので、注意して履修してください。

○「総合科目（学士基盤科目）」と「専門導入科目」は、TWINS による「事前登録」が必要となります。事前登録方法の詳細は、『「履修／事前登録」案内』を参照してください。
（電子版　URL　https://www.tsukuba.ac.jp/education/ug-courses/）

■総合科目Ⅰ

①「学類を指定して開設する科目（クラスセミナー等）」は、所属組織の指示に従って履修してください。「フレッシュマン・セミナー」を未修得の場合は、所属組織の指示に従い、「ファーストイヤーセミナー」を履修してください。なお、その際に読替等の手続きは必要ありません。

②「初年次導入科目（学類を指定して開設する科目を除く）」は、これまでと同様に、科目番号「12」で始まる科目を履修できます（「学問への誘い」を除く※1）。科目番号が「12」で始まる科目は、令和元年度から、総合科目（学士基盤科目）に区分が変わりましたが、読替等の手続きは必要ありません。「総合科目（学士基盤科目）」（「14」で始まる-高年次向け-を除く）を履修することで、自動的に初年次導入科目を履修したものとして扱われます。

なお、総合科目（学士基盤科目）の履修申請、及び受講調整の方法はこれまでの総合科目と異なりますので、『「履修／事前登録」案内』をよく確認のうえ、履修申請を行ってください。

※1　「学問への誘い」は、平成 30 年度以前入学者は履修できません。

■総合科目Ⅱ

令和元年度をもって総合科目Ⅱは廃止されました。

なお、卒業に必要な「総合科目Ⅱ」の必修単位が不足する場合に限り、「専門導入科目」を履修することで、対応する科目群の総合科目Ⅱを履修したものとして読み替える手続きができます。ただし、所属の学群・学類によっては、一部読替を不可としている科目もあります。対応する科目群及び所属組織毎の読替可否について、後述の一覧表を参照のうえ、支援室にて読み替える手続きを行ってください。

読み替える手続きについて

① 別途配布する『「履修／事前登録」案内』をよく確認のうえ、総合科目Ⅱに読み替える専門導入科目の事前登録を TWINS で行います。履修希望者が多数の場合、抽選により受講制限が行われます。

② 事前登録の結果、履修を希望する専門導入科目が履修登録された場合は、③に進みます。履修登録がされなかった場合は、先着順（2 次募集）締切までに、2 次募集のある科目（先着順科目）から選んで履修登録を行います。履修登録完了後、③に進みます。

③ 履修登録完了後、先着順（2 次募集）締切までに、自分の所属する学群・学類に対応するエリア支援室に申し出の上、「総合科目Ⅱ読替届」を提出してください。

■総合科目Ⅲ

令和２年度をもって総合科目Ⅲは廃止となりました。

なお、卒業に必要な「総合科目Ⅲ」の必修単位が不足する場合には、「総合科目（学士基盤科目-高年次向け-）」（科目番号が「14」で始まる科目）を履修することで、自動的に総合科目Ⅲを履修したものとして扱われます。読替等の手続きは必要ありません。対応する科目群については、後述の一覧表を参照してください。

「総合科目Ⅰ」に読替可能な「総合科目（学士基盤科目）」一覧

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次
1207011	ピア・サポートを学ぶ~支えあいの大学のために	1.0	1
1210221	おもてなし学―グローバルマナーと異文化コミュニケーション―	1.0	1
1210231	森林	1.0	1
1217011	実践入門！AI・データサイエンス～基礎と展開～	1.0	1
1218012	理科系・情報系のためのレポート入門	1.0	1
1221011	科学的根拠にもとづいた最新の健康教育	1.0	1
1222021	セルフマネジメント・ケア	1.0	1
1224021	おもてなし学―グローバルマナーと異文化コミュニケーション―	1.0	1
1226014	キャリアデザイン入門~世界にはばたく未来の自分~	1.0	1
1226016	学問探究チュートリアル	1.0	1
1226021	心と体に安全で快適なキャンパスI-こころのヘルスリテラシー講座-	1.0	1
1226041	みんなで創ろう「つくばアクションプロジェクト」	1.0	1
1226051	筑波大学特別講義―大学と学問―	1.0	1-3
1226071	世界のTSUKUBAで学ぶ	1.0	1
1226091	みんなで創ろう「つくばアクションプロジェクト」	1.0	1
1226101	卒業生によるオムニバス講座(社会人としていかに生きるか)	1.0	1
1226121	心と体に安全で快適なキャンパスII救命救急処置とファーストエイド	1.0	1
1226151	トップランナーが語る社会課題 - 混沌化する世界と変貌する地方	1.0	1-6
1226181	ダイバーシティ&インクルージョン入門	1.0	1
1226194	アントレプレナーへの誘い	1.0	1

「専門導入科目」を「総合科目Ⅱ」に読み替える際の科目群及び読替を不可とする学類・専門学群一覧

読替を不可とする学類・専門学群に所属する学生は、当該科目を履修しても、総合科目Ⅱに読み替えることはできません。
また、専門導入科目の履修をもって、対応する科目群の総合科目Ⅱを履修したものとするには読替の手続きが必要です。
なお、科目群Aに対応する科目を履修して、科目群Bの総合科目Ⅱに読み替えることはできません。

科目番号	科目名	対応する総合科目Ⅱの科目群	読替を不可とする学類・専門学群
BC50141	国際学IV	A	国際総合学類
EB00001(*) EB00021	生物学序説	A	生物学類、生物資源学類、地球学類、数学類、医学類、 医療科学類
EB11131	系統分類・進化学概論	A	生物学類、生物資源学類、地球学類、数学類
EB11221	分子細胞生物学概論	A	生物学類、生物資源学類、地球学類、数学類、医学類
EB11311	遺伝学概論	A	生物学類、生物資源学類、地球学類、数学類、医学類、 医療科学類
EB11611	生態学概論	A	生物学類、生物資源学類、地球学類、数学類
EB11721	動物生理学概論	A	生物学類、生物資源学類、地球学類、数学類
EB11811	植物生理学概論	A	生物学類、生物資源学類、地球学類、数学類
EC12201	生物資源学にみる食品科学・技術の最前線	A	生物学類、生物資源学類、地球学類
EC12301	生物資源の開発・生産と持続利用	A	生物学類、生物資源学類、地球学類
EC12401	生物資源と環境	A	生物学類、生物資源学類、地球学類
EC12501	生物資源としての遺伝子とゲノム	A	生物学類、生物資源学類、地球学類
EE11151	地球環境学1	A	比較文化学類、生物学類、生物資源学類、地球学類、数学類
EE11161	地球環境学2	A	生物資源学類、地球学類、数学類
EE11251	地球進化学1	A	生物学類、生物資源学類、地球学類、数学類
EE11261	地球進化学2	A	生物学類、生物資源学類、地球学類、数学類
FA01111～ FA011B1	数学リテラシー1	A	生物学類、地球学類、数学類、応用理工学類、 工学システム学類、社会工学類
FA01211～ FA012E1	数学リテラシー2	A	生物学類、地球学類、数学類、応用理工学類、 工学システム学類、社会工学類
FA01311～ FA013D1	微積分1	A	生物学類、地球学類、数学類、応用理工学類、 工学システム学類、社会工学類、情報科学類、 情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類
FA01411～ FA014D1	微積分2	A	生物学類、地球学類、数学類、応用理工学類、 工学システム学類、社会工学類、情報科学類、 情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類
FA01511～ FA015D1	微積分3	A	生物学類、地球学類、数学類、応用理工学類、 工学システム学類、社会工学類、情報科学類、 情報メディア創成学類、
FA01611～ FA016D1	線形代数1	A	生物学類、地球学類、数学類、応用理工学類、 工学システム学類、社会工学類、情報科学類、 情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類
FA01711～ FA017D1	線形代数2	A	生物学類、地球学類、数学類、応用理工学類、 工学システム学類、社会工学類、情報科学類、 情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類
FA01811～ FA018D1	線形代数3	A	生物学類、地球学類、数学類、応用理工学類、 工学システム学類、社会工学類、情報科学類、 情報メディア創成学類、
FBA1451	数学概論	A	地球学類、数学類
FCB1201～ FCB1231	力学1	A	生物学類、地球学類、数学類、応用理工学類、 工学システム学類、情報科学類
FCB1241～ FCB1261	力学2	A	生物学類、地球学類、数学類、応用理工学類、 工学システム学類、情報科学類
FCB1271～ FCB1291	力学3	A	生物学類、地球学類、数学類、応用理工学類、 工学システム学類、情報科学類
FCB1301～ FCB1331	電磁気学1	A	生物学類、地球学類、数学類、応用理工学類、 工学システム学類、情報科学類、医療科学類
FCB1341～ FCB1361	電磁気学2	A	生物学類、地球学類、数学類、応用理工学類、 工学システム学類、情報科学類
FCB1371～ FCB1391	電磁気学3	A	生物学類、地球学類、数学類、応用理工学類、 工学システム学類、情報科学類
FCB1401	物理学概論	A	地球学類、数学類、医療科学類
FE11161	化学概論	A	地球学類、数学類、医療科学類
FE11171 FE11271	化学1	A	生物学類、地球学類、数学類、応用理工学類
FE11181 FE11281	化学2	A	生物学類、地球学類、数学類、応用理工学類
FE11191 FE11291	化学3	A	生物学類、地球学類、数学類、応用理工学類
FF17011	応用理工学概論	A	生物資源学類、地球学類、応用理工学類
FG16051	工学システム概論	A	地球学類、工学システム学類
GA12111	知能と情報科学	A	情報科学類、情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類
GA12201	計算と情報科学	A	情報科学類、情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類
GA12301	システムと情報科学	A	情報科学類、情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類

＊ 専門導入科目ではありませんが、専門導入科目同様に読み替えが可能です。

科目番号	科目名	対応する総合科目Ⅱの科目群	読替を不可とする学類・専門学群
GA12401	情報科学概論	A	情報科学類、情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類
GA13401	情報メディア入門	A	情報科学類、情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類
GA13501	コンテンツ入門	A	情報科学類、情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類
GA14201	知識情報システム概説	A	情報科学類、情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類、看護学類
HB21141	行動生理学の基礎	A	なし
HB21161	放射線と生命―人体への影響と医療への貢献―	A	なし
HB21171	神経回路研究の最前線	A	なし
HB21181	脳神経疾患の概略を理解する	A	なし
HB21191	臨床感覚器学	A	なし
HB21201	形成外科学入門	A	なし
HB21211	医科生化学	A	生物学類、医学類、医療科学類
HB21221	医科分子生物学	A	医学類、医療科学類
HB31131	基礎医学研究の最前線	A	なし
HC21071	人体機能学	A	看護学類、医療科学類
HC21081	人体構造学	A	看護学類、医療科学類
AB50A11	哲学・宗教学入門	B	人文学類
AB50B11	史学入門	B	人文学類
AB50C11	考古学・民俗学入門	B	人文学類
AB50E11	言語分析入門	B	人文学類
AB50F11	個別言語学入門	B	人文学類
AC56011	日本・アジア領域比較文化研究	B	なし
AC56021	英米・ヨーロッパ領域比較文化研究	B	なし
AC56031	フィールド文化領域比較文化研究	B	地球学類
AC56041	表現文化領域比較文化研究	B	なし
AC56051	文化科学領域比較文化研究	B	なし
AC56061	思想文化領域比較文化研究	B	なし
AE56A11	共生のための社会言語学	B	日本語・日本文化学類
AE56A21	共生のための日本語教育	B	日本語・日本文化学類
AE56A31	共生のための人類学	B	日本語・日本文化学類
AE56A41	共生のための歴史学	B	日本語・日本文化学類
AE56A61	日本文学と文化	B	日本語・日本文化学類
BB05011	社会学の最前線	B	社会学類、生物資源学類
BB05021	法学の最前線	B	社会学類、生物資源学類
BB05031	政治学の最前線	B	社会学類、生物資源学類
BB05041	経済学の最前線	B	社会学類、生物資源学類
BC50111	国際学I	B	国際総合学類
BC50131	国際学III	B	国際総合学類
CB11081	教育基礎論	B	教育学類、心理学類、障害科学類
CB11091	学校の経営・制度・社会	B	教育学類、心理学類、障害科学類
GA14301	図書館概論	B	情報科学類、情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類
W160521	オリンピック・スタディーズ	B	なし
W160531	スポーツの技術を人文社会科学から考える	B	なし
BC50121	国際学II	C	国際総合学類
CA10001	人間学I	C	教育学類、心理学類、障害科学類
CA10201	人間学Ⅱ	C	教育学類、心理学類、障害科学類
CA10051	障害科学I	C	教育学類、心理学類、障害科学類
CA10061	障害科学II	C	教育学類、心理学類、障害科学類
CC11211	心理学概論	C	教育学類、心理学類、障害科学類
CC11221	心理学研究法	C	教育学類、心理学類、障害科学類
FH61111	経済学の数理	C	生物資源学類
FH61121	経済学の実証	C	生物資源学類
FH61131	会計と経営	C	生物資源学類、社会工学類
FH61141	社会と最適化	C	生物資源学類
FH61151	都市計画入門	C	生物資源学類
FH61161	都市数理	C	生物資源学類
GA14111	知識情報概論	C	情報科学類、情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類、看護学類
GA14121	知識情報概論	C	情報科学類、情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類、看護学類
HB21231	スポーツ医学とは？フロントランナーに聞いてみよう!!	C	なし
HC21171	生涯発達と家族支援	C	看護学類

科目番号	科目名	対応する総合科目Ⅱの科目群	読替を不可とする学類・専門学群
HC30071	看護生命倫理	C	看護学類
HC30141	基礎看護学概論	C	看護学類
HC31081	公衆衛生看護学概論	C	看護学類
HC33011	精神看護学概論	C	看護学類
HC34001	高齢者看護学概論	C	看護学類
HE21001	医学史	C	看護学類、医療科学類
HE21051	医療・生命科学とテクノロジー	C	看護学類
HE35071	医療科学概論	C	医療科学類
W160511	スポーツの技術を自然科学から考える	C	なし
YAX2011	アート&デザイン入門	C	芸術専門学群
YAX2021	芸術と文化	C	芸術専門学群
YAX2031	芸術と社会	C	芸術専門学群

「総合科目Ⅲ」に読替可能な「総合科目（学士基盤科目-高年次向け-）」一覧

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	対応する総合科目Ⅲの科目群	備考
1410011	自然保護学入門	1.0	3・4	D	
1412011	数学の最前線:未解決の問題への挑戦	1.0	3・4	D	
1413011	現代物理学入門	1.0	3・4	D	物理学類学生の受講は認めない。
1414014	事例に学ぶ環境安全衛生と化学物質	1.0	3・4	D	
1415011	現代物理と先端工学	1.0	3・4	D	応用理工学類学生の受講は認めない。
1415021	社会問題を見据えた材料開発とその応用	1.0	3・4	D	応用理工学類学生の受講は認めない。
1416011	工学システムをつくる	1.0	3・4	D	
1418011	量子とは何だろうか	1.0	2 － 4	D	
1401021	21世紀の中国ー現代中国の諸相ー	1.0	3・4	E	
1401031	人文学の極意と深淵	1.0	3・4	E	
1402011	比較文化の探求―名著のすすめ―	1.0	3・4	E	
1406011	学校を考える	1.0	3・4	E	人間学群学生の受講は認めない。
1425011	社会のなかの建築デザイン	1.0	3・4	E	
1425021	スポーツ芸術表現学	1.0	3・4	E	
1405014	国際学を学ぶIII	1.0	3・4	F	国際総合学類学生の受講は認めない。
1420014	デジタルクリエイティブ基礎	1.0	3・4	F	
1420024	デジタルクリエイティブ（デザイン）	1.0	3・4	F	
1420034	デジタルクリエイティブ（動画）	1.0	3・4	F	
1422011	健康と社会	1.0	3・4	F	
1401011	卒業生による業界探訪	1.0	3・4	G	

開設母体　　要件
体育

生物、地球、数学、物理、化学、創成、医学、看護、医療、芸術、総学3,4組(春学期1年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2103123	基礎体育インラインスケート(春)	3	0.5	1	春AB	火3	河合 季信	インラインスケートによる運動を通して、仲間と共にスポーツを楽しむための基礎を学ぶと共に、体力の維持・向上を目指す。	I 実務経験教員 対面 G科目
2108143	基礎体育器械運動(春)	3	0.5	1	春AB	火3	金谷 麻理子	器械運動ならびに体操競技の種目を用いて、「自分を感じる」をテーマに、各自の能力にあった技能の習得と運動の理解を目指す。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2111123	基礎体育剣道(春)	3	0.5	1	春AB	火3	鍋山 隆弘	剣道の基礎的技術、礼儀作法の習得を通して心身の向上を目指す。また、剣道の特性に関する知識を高め、健康・体力つくりにつなげてゆく。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) G科目
2113183	基礎体育サッカー(春)	3	0.5	1	春AB	火3	稲垣 和希	サッカーのゲームを通して、基礎技術やサッカーの原理原則を理解する。サッカーを楽しむためにも、基礎技術となるボールを「蹴る」・「止める」「動かす」ことは重要となる。また、チームメートと協調しながらチーム戦術の習得を試みる。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2115123	基礎体育柔道(春)	3	0.5	1	春AB	火3	平岡 拓晃	柔道の基本を習得する。基本的な技を使用した安全な乱取を通じて徒手格闘技の魅力を理解する。	I 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(その他) G科目 道着の下にTシャツ着用可。アクセサリー等の装飾品は外す。
2116123	基礎体育ジョグ&ウォーク(春)	3	0.5	1	春AB	火3	榎本 靖士	ジョギングとウォーキングの歴史的、文化的、身体科学的特性に触れながら、個人に適した楽しみ方を考えられるようになる。運動が苦手な人、歩くことや走ることが好きな人、将来マラソンに挑戦してみたい人など様々なレベルに合わせた実践を行い、自身の体力や健康を維持、増進できる能力を身につける。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 ランニングシューズが必要短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2117143	基礎体育水泳(春)	3	0.5	1	春AB	火3	本間 三和子	水の物理的特性を理解しながら水泳の技能を高めることで、幅広い領域の水泳活動を実践できる能力を身に付けることを目的とする。また、生涯にわたり水泳を楽しみ、健康を維持する能力の獲得を目指す。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(ウェア) 男女別要素(接触) G科目
2121143	基礎体育ソフトボール(春)	3	0.5	1	春AB	火3	木内 敦詞	ソフトボールにおける安心安全と技能上達を、共生協働の実践を通して目指す。さらに、これらの活動を自己成長の機会として捉える視点を養う。授業は、受講者の技能や体力の多様性に応じて、使用球やルールを柔軟に調整して編成する。評価は技能や体力の優劣によって行わない。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2122163	基礎体育卓球(春)	3	0.5	1	春AB	火3	新開 涼介	卓球競技の基本技術を本質から学ぶとともに、他種目にも共通する動作について理解を深める。多様な練習方法やミニゲームを通じて、コミュニケーションやスポーツマンシップ等についても学習する。	II 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目
2123143	基礎体育ダンス(春)	3	0.5	1	春AB	火3	平山 素子	「身体の発見」をテーマに、多様なダンス文化に触れることで、個々の自己表現力と感性を磨く。ヨガの基礎を紹介しながら、美しい姿勢、健康的な身体作りの必要性を理解する。	I 対面 男女別要素(接触) G科目
2130123	基礎体育トリム運動(春)	3	0.5	1	春AB	火3		本授業は体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から特別な支援を必要とする学生を対象に開講している。学習内容は健康・体力に興味を持てる態度を形成することを目的とし、受講生のコンディションに合わせた教材を用意したい。	対面 G科目
2133183	基礎体育ニュースポーツ(春)	3	0.5	1	春AB	火3	宮崎 明世	フライングディスクの扱いに慣れ、操作に熟達することで、ディスクを使った様々なスポーツを楽しめるようになることを目的としています。アルティメットを中心に学習し、技能の向上とともにルールの工夫や戦術の理解と実践、仲間との交流も大切にしています。	II 対面 G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2135123	基礎体育バドミントン(春)	3	0.5	1	春AB	火3	吹田 真士	バドミントンの技能を習得するとともに、相手と一緒にプレイすることの大切さを学習する。	II 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事。TA不在の場合があり、英語及び日本語での積極的なコミュニケーションを求める。
2136163	基礎体育バレーボール(春)	3	0.5	1	春AB	火3	秋山 央	バレーボールのルールを理解し、基礎的な技術であるパス(オーバーハンドパス、アンダーハンドパス)の正しい動作を習得するとともに、仲間と協力してボールを繋ぎ、チームワークを高める能力を身につける。	II 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2137143	基礎体育ハンドボール(春)	3	0.5	1	春AB	火3	樋 浩輔	ゲームを中心に、個人での状況解決の仕方,グループでの状況解決の仕方を学ぶ。また,ボールを使った様々な動きを通して,コーディネーション能力を高める。	II 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2140123	基礎体育フィットネストレーニング(春)	3	0.5	1	春AB	火3	松尾 博一	心身の健康維持・増進や生活習慣病の予防と運動・体力の関係を学び、レジスタンストレーニング、ジョギング、ストレッチングの基礎的な方法を習得する。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 詳細後日周知 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2141123	基礎体育フラッグフットボール(春)	3	0.5	1	春AB	火3	松元 剛	フラッグフットボールを基にした簡易ゲームを通して、基礎的な技術力・戦術力を学修しながら、チーム活動にとって必要となるコミュニケーションやリーダーシップについて理解を深める。	II 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 各チームの男女数が均等になるように男女混合チームを作ります。ゲームにおいては、特別ルールを設定し、全員が積極的にゲームに関与できるよう工夫を行います。短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事。
2145123	基礎体育野外運動(春)	3	0.5	1	春AB	火3	高橋 達己	本授業では、チャレンジアクティビティ、火おこし、ネイチャーアクティビティなどの1)基礎的な技術(協力、コミュニケーション、創造力等)を修得すること。2)そのための知的理解を深めること。さらに、3)自然の中で活動することを通して、自己や自然環境に対する肯定的な価値観を涵養することを目標とする。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2152123	基礎体育トラック&フィールド(春)	3	0.5	1	春AB	火3	谷川 聡	陸上競技の走跳投という運動を目的および手段とし、体力や技能を高めるための理論および方法を学習し、あわせて競技能力に応じて競技を楽しむ態度を養う。また、健康・体力の意義について陸上競技の実践を通して理解する。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2158143	基礎体育アスレティックトレーニング(春)	3	0.5	1	春AB	火3	福田 崇	アスレティックトレーニングとは,アスリートがスポーツの競技特性や自身の身体特性を理解して自身に適切なトレーニングプログラムを実践することでコンディションを上げていくを意味する。一般学生においても,自身の目的に応じたトレーニングプログラムを実践することは重要であり,トレーニングを通して自身の身体機能を理解する(コンディショニングを実践する)必要がある。本授業では,身体を動かすことで,自身のコンディショニングへの問いかけを行い,安全で効果的なトレーニングを実施する。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目

生物、地球、数学、物理、化学、創成、医学、看護、医療、芸術、総学3,4組(秋学期1年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2103133	基礎体育インラインスケート(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	河合 季信	インラインスケートによる運動を通して、仲間と共にスポーツを楽しむための基礎を学ぶと共に、体力の維持・向上を目指す。	I 実務経験教員 対面 G科目
2108153	基礎体育器械運動(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	金谷 麻理子	器械運動ならびに体操競技の種目を用いて、「自分を感じる」をテーマに、各自の能力にあった技能の習得と運動の理解を目指す。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2111133	基礎体育剣道(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	鍋山 隆弘	剣道の基礎的技術、礼儀作法の習得を通して心身の向上を目指す。また、剣道の特性に関する知識を高め、健康・体力つくりにつなげてゆく。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) G科目
2115133	基礎体育柔道(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	平岡 拓晃	柔道の基本を習得する。基本的な技を使用した安全な乱取を通じて徒手格闘技の魅力を理解する。	I 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(その他) G科目 道着の下にTシャツ着用可。アクセサリー等の装飾品は外す。
2116133	基礎体育ジョグ&ウォーク(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	榎本 靖士	ジョギングとウォーキングの歴史的、文化的、身体科学的特性に触れながら、個人に適した楽しみ方を考えられるようになる。運動が苦手な人、歩くことや走ることが好きな人、将来マラソンに挑戦してみたい人など様々なレベルに合わせた実践を行い、自身の体力や健康を維持、増進できる能力を身につける。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 ランニングシューズが必要 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2117153	基礎体育水泳(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	本間 三和子	水の物理的特性を理解しながら水泳の技能を高めることで、幅広い領域の水泳活動を実践できる能力を身に付けることを目的とする。また、生涯にわたり水泳を楽しみ、健康を維持する能力の獲得を目指す。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(ウェア) 男女別要素(接触) G科目
2123153	基礎体育ダンス(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	平山 素子	「身体の発見」をテーマに、多様なダンス文化に触れることで、個々の自己表現力と感性を磨く。ヨガの基礎を紹介しながら、美しい姿勢、健康的な身体作りの必要性を理解する。	I 対面 男女別要素(接触) G科目
2140133	基礎体育フィットネストレーニング(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	松尾 博一	心身の健康維持・増進や生活習慣病の予防と運動・体力の関係を学び、レジスタンストレーニング、ジョギング、ストレッチングの基礎的な方法を習得する。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 詳細後日周知 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2141133	基礎体育フラッグフットボール(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	松元 剛	フラッグフットボールを基にした簡易ゲームを通して、基礎的な技術力・戦術力を学修しながら、チーム活動にとって必要となるコミュニケーションやリーダーシップについて理解を深める。	II 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 各チームの男女数が均等になるように男女混合チームを作ります。ゲームにおいては、特別ルールを設定し、全員が積極的にゲームに関与できるよう工夫を行います。短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2152133	基礎体育トラック&フィールド(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	谷川 聡	陸上競技の走跳投という運動を目的および手段とし、体力や技能を高めるための理論および方法を学習し、あわせて競技能力に応じて競技を楽しむ態度を養う。また、健康・体力の意義について陸上競技の実践を通して理解する。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2158153	基礎体育アスレティックトレーニング(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	福田 崇	アスレティックトレーニングとは,アスリートがスポーツの競技特性や自身の身体特性を理解して自身に適切なトレーニングプログラムを実践することでコンディションを上げていくを意味する。一般学生においても,自身の目的に応じたトレーニングプログラムを実践することは重要であり,トレーニングを通して自身の身体機能を理解する(コンディショニングを実践する)必要がある。本授業では,身体を動かすことで,自身のコンディショニングへの問いかけを行い,安全で効果的なトレーニングを実施する。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2113193	基礎体育サッカー(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	稲垣 和希	サッカーのゲームを通して、基礎技術やサッカーの原理原則を理解する。サッカーを楽しむためにも、基礎技術となるボールを「蹴る」・「止める」「動かす」ことは重要となる。また、チームメートと協調しながらチーム戦術の習得を試みる。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2121153	基礎体育ソフトボール(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	木内 敦詞	ソフトボールにおける安心安全と技能上達を、共生協働の実践を通して目指す。さらに、これらの活動を自己成長の機会として捉える視点を養う。授業は、受講者の技能や体力の多様性に応じて、使用球やルールを柔軟に調整して編成する。評価は技能や体力の優劣によって行わない。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2122173	基礎体育卓球(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	新開 涼介	卓球競技の基本技術を本質から学ぶとともに、他種目にも共通する動作について理解を深める。多様な練習方法やミニゲームを通じて、コミュニケーションやスポーツマンシップ等についても学習する。	II 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目
2133193	基礎体育ニュースポーツ(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	宮崎 明世	フライングディスクの扱いに慣れ、操作に熟達することで、ディスクを使った様々なスポーツを楽しめるようになることを目的としています。アルティメットを中心に学習し、技能の向上とともにルールの工夫や戦術の理解と実践、仲間との交流も大切にしています。	II 対面 G科目
2135133	基礎体育バドミントン(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	吹田 真士	バドミントンの技能を習得するとともに、相手と一緒にプレイすることの大切さを学習する。	II 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事。TA不在の場合があり、英語及び日本語での積極的なコミュニケーションを求める。
2136173	基礎体育バレーボール(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	秋山 央	バレーボールのルールを理解し、基礎的な技術であるパス(オーバーハンドパス、アンダーハンドパス)の正しい動作を習得するとともに、仲間と協力してボールを繋ぎ、チームワークを高める能力を身につける。	II 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2137153	基礎体育ハンドボール(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	榧 浩輔	ゲームを中心に、個人での状況解決の仕方,グループでの状況解決の仕方を学ぶ。また,ボールを使った様々な動きを通して,コーディネーション能力を高める。	II 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2145133	基礎体育野外運動(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	高橋 達己	本授業では、チャレンジアクティビティ、火おこし、ネイチャーアクティビティなどの1)基礎的な技術(協力、コミュニケーション、創造力等)を修得すること。2)そのための知的理解を深めること。さらに、3)自然の中で活動することを通して、自己や自然環境に対する肯定的な価値観を涵養することを目標とする。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2130133	基礎体育トリム運動(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3		本授業は体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から特別な支援を必要とする学生を対象に開講している。学習内容は健康・体力に興味を持てる態度を形成することを目的とし、受講生のコンディションに合わせた教材を用意したい。	対面 G科目

社会、国際、教育、心理、障害、資源、情報、知識、総学5,6組(春学期1年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2107163	基礎体育空手(春)	3	0.5	1	春AB	木1	麓 正樹	空手道の基本的な技術の実践を通じて、自らの身体と心、他者の身体と心、そしてその関連について理解を深める。基本技術と呼吸法、フットワークと基本技術の協調および形ができるようになる。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目 mfumoto@tiu.ac.jp 単位認定の対象は、原則として当該授業科目の出席時間数が3分の2以上の者とする。 レポート等の作成に際して生成AIを用いる場合には、「教育における生成AI 活用のガイドライン(学生向け)」を参照し、適切に活用してください。
2110123	基礎体育弓道(春)	3	0.5	1	春AB	木1	松尾 牧則	本授業では弓道の基礎となる射法八節を学ぶ。近距離および中間距離における発射練習を通じて、安全で合理的な技法を学習する。また、簡易試合により試合の進め方についても学習する。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(用具) G科目
2115163	基礎体育柔道(春)	3	0.5	1	春AB	木1	岡田 弘隆	柔道の基本を習得する。基本的な技を使用した安全な乱取を通じて徒手格闘技の魅力を理解する。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(その他) G科目 女子は 道着の下にTシャツを着用すること
2117123	基礎体育水泳(春)	3	0.5	1	春AB	木1	仙石 泰雄	様々なレベルにおいて、水中運動を楽しむことを目的とする。4泳法の習得を目指すことに加え、スキンダイビングや水球など、様々な水中運動に取り組む。	I 対面 男女別要素(ウェア) 男女別要素(接触) G科目
2121163	基礎体育ソフトボール(春)	3	0.5	1	春AB	木1	金田 健史	ソフトボールをおこなう上での基本的な知識、技術を理解するとともに、基礎技能の向上と試合の中で獲得した技術を生かすために実践を意識した練習に取り組み、スポーツとしてのソフトボールの楽しさやルールの特徴を理解し、ゲームの中で実践していく。	II 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2122143	基礎体育卓球(春)	3	0.5	1	春AB	木1	野中 由紀	卓球競技の基本技術を本質から学ぶとともに、他種目にも共通する動作について理解を深める。多様な練習方法やミニゲームを通じて、コミュニケーションやスポーツマンシップ等についても学習する。	II 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目
2123163	基礎体育ダンス(春)	3	0.5	1	春AB	木1	米澤 麻佑子	ダンスの基礎的な身体の使い方を学び、様々な音楽にのって体を動かす楽しさを知る。また、授業を通して様々な運動プログラム(簡単なストレッチングやヨガ等)を紹介する中で、健康・体力づくりの方法を理解し、継続して体を動かす習慣を身につける。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2125163	基礎体育テニス(春)	3	0.5	1	春AB	木1	三橋 大輔	テニスの基礎的な技術、戦術を習得しダブルスおよびシングルスのプレーができるようにする。加えてルールやマナー、テニスの歴史を学び、生涯スポーツとしてテニスを楽しむ能力を身につける。	II.テニスシューズがあれば着用すること。なければ運動できる靴(革靴やサンダルは危険なので不可)を着用すること。 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2130163	基礎体育トリム運動(春)	3	0.5	1	春AB	木1		体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から積極的に身体を動かすことができない学生を対象に開講する。学修内容は健康・体力に興味を持てる態度を形成することを目的とし、受講生のコンデションにあわせた教材を用意したい。	対面 G科目
2133163	基礎体育ニュースポーツ(春)	3	0.5	1	春AB	木1	藤本 巳由紀	既存のスポーツ競技種目やその価値観にとらわれず,ニュースポーツと呼ばれる種目(ボッチャ、ディスクゴルフ、アルティメット、モルックなど)の中から数種類を体験する。自分の興味、体力、健康作りに応じた生涯スポーツへの足がかりとなるような知識および基礎動作の習得を目指す。ただし、天候(雨天時や気温などの気象状況)によっては、活動場所が制限され、活動内容に変更が生じる場合がある。	対面 男女別要素(接触) G科目
2134143	基礎体育バスケットボール(春)	3	0.5	1	春AB	木1	仲澤 翔大	バスケットボールの特性を理解し、シュートやドリブル、パスなどの基礎技術を習得し、仲間と協力しながら修得した技術をゲームで実践しながら学習を進めていく。	実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) G科目
2135143	基礎体育バドミントン(春)	3	0.5	1	春AB	木1	吹田 真士	バドミントンの技能を習得するとともに、相手と一緒にプレイすることの大切さを学習する。	II 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2136183	基礎体育バレーボール(春)	3	0.5	1	春AB	木1	秋山 央	バレーボールのルールを理解し、基礎的な技術であるパス(オーバーハンドパス、アンダーハンドパス)の正しい動作を習得するとともに、仲間と協力してボールを繋ぎ、チームワークを高める能力を身につける。	II 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2137123	基礎体育ハンドボール(春)	3	0.5	1	春AB	木1	山田 永子	ゲームを中心に、個人での状況解決の仕方、グループでの状況解決の仕方を学ぶ。また、ボールを使った様々な動きを通して、コーディネーション能力を高める。	II 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則、初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2140143	基礎体育フィットネストレーニング(春)	3	0.5	1	春AB	木1	松尾 博一	心身の健康維持・増進や生活習慣病の予防と運動・体力の関係を学び、レジスタンストレーニング、ジョギング、ストレッチングの基礎的な方法を習得する。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2143163	基礎体育ボディ・ワーク(春)	3	0.5	1	春AB	木1	加藤 敏弘	体幹部を中心としたトレーニングやストレッチング(円柱補助具を含む)、姿勢を整えるためのワークを行い、「からだ」に対する知識を深め、それらの技能の習熟を図る。普段、気にかけないまま緊張しこわばってしまった身体をほぐし、引き締め、ゆるめ、整えることで、内側からの身体感覚を磨きストレッサーへの抵抗力を高め、運動そのものを享受する。	対面 男女別要素(接触) G科目 ペアワークが苦手な方は単独で行うことができます。ペアの組み方は自由です。3人組になることもあります。
2148163	基礎体育リフレッシュ体操(春)	3	0.5	1	春AB	木1	長谷川 聖修	体操を通して心身をリフレッシュすると共に、仲間とスポーツを楽しむための知識や基礎的な運動能力を身につける。「Gボール」や大きな鉄の輪の中に入って回転する「ラート」運動など、体験したことのない運動に挑戦することでチャレンジ精神を培う。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2152143	基礎体育トラック&フィールド(春)	3	0.5	1	春AB	木1	榎本 靖士	陸上競技の走跳投という運動を目的および手段とし、体力や技能を高めるための理論および方法を学習し、あわせて競技能力に応じて競技を楽しむ態度を養う。また、健康・体力の意義について陸上競技の実践を通して理解する。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

社会、国際、教育、心理、障害、資源、情報、知識、総学5,6組(秋学期1年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2107173	基礎体育空手(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	麓 正樹	空手道の基本的な技術の実践を通じて、自らの身体と心、他者の身体と心、そしてその関連について理解を深める。基本技術と呼吸法、フットワークと基本技術の協調および形ができるようになる。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目 mfumoto@tiu.ac.jp 単位認定の対象は、原則として当該授業科目の出席時間数が3分の2以上の者とする。 レポート等の作成に際して生成AIを用いる場合には、「教育における生成AI 活用のガイドライン(学生向け)」を参照し、適切に活用してください。 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2110133	基礎体育弓道(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	松尾 牧則	本授業では弓道の基礎となる射法八節を学ぶ。近距離および中間距離における発射練習を通じて、安全で合理的な技法を学習する。また、簡易試合により試合の進め方についても学習する。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(用具) G科目
2115173	基礎体育柔道(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	岡田 弘隆	柔道の基本を習得する。基本的な技を使用した安全な乱取を通じて徒手格闘技の魅力を理解する。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(その他) G科目 女子は 道着の下にTシャツを着用すること 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2117133	基礎体育水泳(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	仙石 泰雄	様々なレベルにおいて、水中運動を楽しむことを目的とする。4泳法の習得を目指すことに加え、スキンダイビングや水球など、様々な水中運動に取り組む。	I 対面 男女別要素(ウェア) 男女別要素(接触) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2123173	基礎体育ダンス(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	米澤 麻佑子	ダンスの基礎的な身体の使い方を学び、様々な音楽にのって体を動かす楽しさを知る。また、授業を通して様々な運動プログラム(簡単なストレッチングやヨガ等)を紹介する中で、健康・体力づくりの方法を理解し、継続して体を動かす習慣を身につける。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2134153	基礎体育バスケットボール(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	仲澤 翔大	バスケットボールの特性を理解し、シュートやドリブルなどの基礎技術を習得し、仲間と協力しながら習得した技術をゲームで実践しながら学習を進めていく。	実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2140153	基礎体育フィットネストレーニング(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	松尾 博一	心身の健康維持・増進や生活習慣病の予防と運動・体力の関係を学び、レジスタンストレーニング、ジョギング、ストレッチングの基礎的な方法を習得する。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 詳細後日周知 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2148173	基礎体育リフレッシュ体操(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	長谷川 聖修	体操を通して心身をリフレッシュすると共に、仲間とスポーツを楽しむための知識や基礎的な運動能力を身につける。「Gボール」や大きな鉄の輪の中に入って回転する「ラート」運動など、体験したことのない運動に挑戦することでチャレンジ精神を培う。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2152153	基礎体育トラック&フィールド(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	榎本 靖士	陸上競技の走跳投という運動を目的および手段とし、体力や技能を高めるための理論および方法を学習し、あわせて競技能力に応じて競技を楽しむ態度を養う。また、健康・体力の意義について陸上競技の実践を通して理解する。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 男女で技能の評価基準が異なる短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2121173	基礎体育ソフトボール(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	金田 健史	ソフトボールをおこなう上での基本的な知識、技術を理解するとともに、基礎技能の向上と試合の中で獲得した技術を生かすために実践を意識した練習に取り組み、スポーツとしてのソフトボールの楽しさやルールの特徴を理解し、ゲームの中で実践していく。	II 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2122153	基礎体育卓球(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	野中 由紀	卓球競技の基本技術を本質から学ぶとともに、他種目にも共通する動作について理解を深める。多様な練習方法やミニゲームを通じて、コミュニケーションやスポーツマンシップ等についても学習する。	II 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目
2125173	基礎体育テニス(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	三橋 大輔	テニスの基礎的な技術、戦術を習得しダブルスおよびシングルスのプレーができるようにする。加えてルールやマナー、テニスの歴史を学び、生涯スポーツとしてテニスを楽しむ能力を身につける。	IIテニスシューズがあれば着用すること。なければ運動できる靴(革靴やサンダルは危険なので不可)を着用すること。 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2133173	基礎体育ニュースポーツ(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	藤本 巳由紀	既存のスポーツ競技種目やその価値観にとらわれず,ニュースポーツと呼ばれる種目(ボッチャ、ディスクゴルフ、アルティメット、モルックなど)の中から数種類を体験する。自分の興味、体力、健康作りに応じた生涯スポーツへの足がかりとなるような知識および基礎動作の習得を目指す。ただし、天候(雨天時や気温などの気象状況)によっては、活動場所が制限され、活動内容に変更が生じる場合がある。	対面 男女別要素(接触) G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2135153	基礎体育バドミントン(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	吹田 真士	バドミントンの技能を習得するとともに、相手と一緒にプレイすることの大切さを学習する。	II 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事。TA不在の場合があり、英語及び日本語での積極的なコミュニケーションを求める。
2136193	基礎体育バレーボール(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	秋山 央	バレーボールのルールを理解し、基礎的な技術であるパス(オーバーハンドパス、アンダーハンドパス)の正しい動作を習得するとともに、仲間と協力してボールを繋ぎ、チームワークを高める能力を身につける。	II 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2137133	基礎体育ハンドボール(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	山田 永子	ゲームを中心に、個人での状況解決の仕方、グループでの状況解決の仕方を学ぶ。また、ボールを使った様々な動きを通して、コーディネーション能力を高める。	II 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2143173	基礎体育ボディ・ワーク(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	加藤 敏弘	体幹部を中心としたトレーニングやストレッチング(円柱補助具を含む)、姿勢を整えるためのワークを行い、「からだ」に対する知識を深め、それらの技能の習熟を図る。普段、気にかけないまま緊張しこわばってしまった身体をほぐし、引き締め、ゆるめ、整えることで、内側からの身体感覚を磨きストレッサーへの抵抗力を高め、運動そのものを享受する。	対面 G科目 男女別要素(接触)ペアワークが苦手な方は単独で行うことができます。ペアの組み方は自由です。3人組になることもあります。 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2130173	基礎体育トリム運動(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1		体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から積極的に身体を動かすことができない学生を対象に開講する。学修内容は健康・体力に興味を持てる態度を形成することを目的とし、受講生のコンデションにあわせた教材を用意したい。	対面 G科目

人文、比文、日日、応理、エシス、社工、総学1,2組(春学期1年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2103143	基礎体育インラインスケート(春)	3	0.5	1	春AB	金1	河合 季信	インラインスケートによる運動を通して、仲間と共にスポーツを楽しむための基礎を学ぶと共に、体力の維持・向上を目指す。	I 実務経験教員 対面 G科目
2108163	基礎体育器械運動(春)	3	0.5	1	春AB	金1	金谷 麻理子	器械運動ならびに体操競技の種目を用いて、「自分を感じる」をテーマに、各自の能力にあった技能の習得と運動の理解を目指す。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2111183	基礎体育剣道(春)	3	0.5	1	春AB	金1	酒井 利信	剣道の基礎的技術、礼儀作法の習得を通して心身の向上を目指す。また、剣道の特性に関する知識を高め、健康・体力つくりにつなげてゆく。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2115183	基礎体育柔道(春)	3	0.5	1	春AB	金1	平岡 拓晃	柔道の基本を習得する。基本的な技を使用した安全な乱取を通じて徒手格闘技の魅力を理解する。	I 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(その他) G科目 道着の下にTシャツ着用可。アクセサリー等装飾品は外す。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2116143	基礎体育ジョグ&ウォーク(春)	3	0.5	1	春AB	金1	榎本 靖士	ジョギングとウォーキングの歴史的、文化的、身体科学的特性に触れながら、個人に適した楽しみ方を考えられるようになる。運動が苦手な人、歩くことや走ることが好きな人、将来マラソンに挑戦してみたい人など様々なレベルに合わせた実践を行い、自身の体力や健康を維持、増進できる能力を身につける。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 ランニングシューズが必要短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2117183	基礎体育水泳(春)	3	0.5	1	春AB	金1	中園 優作	初心者から上級者までレベルを問わず、水中で運動することの楽しさを味わうことを第1の目的とする。4泳法の習得の他に、スキンダイビングや水球、リズム泳など様々な水中運動に取り組む。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(ウェア) 男女別要素(接触) G科目
2140163	基礎体育フィットネストレーニング(春)	3	0.5	1	春AB	金1	大林 太朗	心身の健康維持・増進や生活習慣病の予防と運動・体力の関係を学び、レジスタンストレーニング、ジョギング、ストレッチングの基礎的な方法を習得する。	I 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) 男女別要素(その他) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2152183	基礎体育トラック&フィールド(春)	3	0.5	1	春AB	金1	木越 清信	陸上競技の走跳投という運動を目的および手段とし、体力や技能を高めるための理論および方法を学習し、あわせて競技能力に応じて競技を楽しむ態度を養う。また、健康・体力の意義について陸上競技の実践を通して理解する。	I 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 男女で技能の評価基準が異なる
2158123	基礎体育アスレティックトレーニング(春)	3	0.5	1	春AB	金1	松尾 博一	トレーニングの内容を理解し,計画・実践・評価方法を習得することで,運動の目的に適したトレーニングを自ら考えることができるようになる。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2113123	基礎体育サッカー(春)	3	0.5	1	春AB	金1	小井土 正亮	ゲームをプレーし、楽しむことができるためのサッカーにおける原理原則を理解する。ボールを「止める」、「蹴る」、「運ぶ」といった基礎技術を身につけると同時にチームメイトと協調して動くことの重要性を学ぶ。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講する際は、初回授業の3 日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得ること また原則先着順で2~3名までとします。
2121183	基礎体育ソフトボール(春)	3	0.5	1	春AB	金1	奈良 隆章	ソフトボールの練習や試合を通じて、仲間と協力しながら様々な課題に挑戦する。学期の前半は守備練習を重点的に行い、後半は試合を中心に行う。	II 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2122183	基礎体育卓球(春)	3	0.5	1	春AB	金1	安藤 真太郎	卓球競技の本質をふまえつつ、独特の練習法や多様なゲーム法を実習。他種目にも関係する運動技術や行動様式を学ぶ。現代社会における、スポーツ活動の意義や価値を再確認する。	II 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目
2125143	基礎体育テニス(春)	3	0.5	1	春AB	金1	三橋 大輔,大森 肇	テニスの基礎的な知識・技術・マナーを習得する。また、初級者は半面シングルス、中級・上級者は半面シングルスおよび全面ダブルスを体験し、基本的な戦術を習得する。授業内容はテニスを生涯スポーツとして楽しむための基盤作りを目的として構成されている。	II テニスシューズまたはスパイクなしの運動シューズを着用. 実務経験教員 対面 G科目 雨天時にはオンラインではなく,座学または雨天時施設での実技を行う.

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2133143	基礎体育ニュースポーツ(春)	3	0.5	1	春AB	金1	齊藤 武利	既存のスポーツ競技種目やその価値観にとらわれず,あまり知られていないスポーツ競技種目(フライングディスク、インディアカなど)を自ら体験してみて、新たなスポーツ種目への取り組みを実践する。春学期は、健康作りや体力測定などの各種測定も実施しつつ、自分の体力や健康作りに応じた生涯スポーツへの足がかりとなるようなニュースポーツの体験を行う。ただし、天候(雨天時や気温などの気象状況)によっては、活動場所が限定される都合上、室内種目やグランドゴルフ、ペタンクなどの各ゲームにも接することもある。	II 当日の天候により、変更する場合もあり、実施場所は、当日、体育センター前の屋外掲示板に掲示。 対面 G科目 詳細後日周知
2134123	基礎体育バスケットボール(春)	3	0.5	1	春AB	金1		バスケットボールの個人戦術（相手を打ち破る行為、相手からボールを奪う行為）を習得し、バスケットボールの特性を理解し、個人戦術を活かしたゲームができるようになる。	対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) G科目
2137183	基礎体育ハンドボール(春)	3	0.5	1	春AB	金1	山田 永子	ゲームを中心に、個人での状況解決の仕方、グループでの状況解決の仕方を学ぶ。また、ボールを使った様々な動きを通して、コーディネーション能力を高める。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講する際は、原則、初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2145143	基礎体育野外運動(春)	3	0.5	1	春AB	金1	坂本 昭裕	本授業では、チャレンジアクティビティ、火おこし、ネイチャーアクティビティなどの1)基礎的な技術(協力、コミュニケーション、創造力等)を修得すること。2)そのための知的理解を深めること。さらに、3)自然の中で活動することを通して、自己や自然環境に対する肯定的な価値観を涵養することを目標とする。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2130183	基礎体育トリム運動(春)	3	0.5	1	春AB	金1	永田 真一	本授業は体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から特別な支援を必要とする学生を対象に開講している。学習内容は健康・体力に興味を持てる態度を形成することを目的とし、受講生のコンディションに合わせた教材を用意したい。例として、ボッチャやふうせんバレーボール、オリエンテーリング等が挙げられる。	単位認定の対象は、原則として当該授業科目の出席時間数が3分の2以上のものとする 実務経験教員 対面 G科目

人文、比文、日日、応理、エシス、社工、総学1,2組(秋学期1年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2103153	基礎体育インラインスケート(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	河合 季信	インラインスケートによる運動を通して、仲間と共にスポーツを楽しむための基礎を学ぶと共に、体力の維持・向上を目指す。	I 実務経験教員 対面 G科目
2108173	基礎体育器械運動(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	金谷 麻理子	器械運動ならびに体操競技の種目を用いて、「自分を感じる」をテーマに、各自の能力にあった技能の習得と運動の理解を目指す。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2111193	基礎体育剣道(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	酒井 利信	剣道の基礎的技術、礼儀作法の習得を通して心身の向上を目指す。また、剣道の特性に関する知識を高め、健康・体力つくりにつなげてゆく。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2115193	基礎体育柔道(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	平岡 拓晃	柔道の基本を習得する。基本的な技を使用した安全な乱取を通じて徒手格闘技の魅力を理解する。	I 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(その他) G科目 道着の下にTシャツ着用可。アクセサリー等の装飾品は外す。
2116153	基礎体育ジョグ&ウォーク(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	榎本 靖士	ジョギングとウォーキングの歴史的、文化的、身体科学的特性に触れながら、個人に適した楽しみ方を考えられるようになる。運動が苦手な人、歩くことや走ることが好きな人、将来マラソンに挑戦してみたい人など様々なレベルに合わせた実践を行い、自身の体力や健康を維持、増進できる能力を身につける。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 ランニングシューズが必要短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2117193	基礎体育水泳(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	中園 優作	初心者から上級者までレベルを問わず、水中で運動することの楽しさを味わうことを第1の目的とする。4泳法の習得の他に、スキンダイビングや水球、リズム泳など様々な水中運動に取り組む。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(ウェア) 男女別要素(接触) G科目
2140173	基礎体育フィットネストレーニング(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	大林 太朗	心身の健康維持・増進や生活習慣病の予防と運動・体力の関係を学び、レジスタンストレーニング、ジョギング、ストレッチングの基礎的な方法を習得する。	I 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) 男女別要素(その他) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2152193	基礎体育トラック&フィールド(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	木越 清信	陸上競技の走跳投という運動を目的および手段とし、体力や技能を高めるための理論および方法を学習し、あわせて競技能力に応じて競技を楽しむ態度を養う。また、健康・体力の意義について陸上競技の実践を通して理解する。	I 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 男女で技能の評価基準が異なる
2158133	基礎体育アスレティックトレーニング(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	松尾 博一	トレーニングの内容を理解し,計画・実践・評価方法を習得することで,運動の目的に適したトレーニングを自ら考えることができるようになる。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2113133	基礎体育サッカー(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	小井土 正亮	ゲームをプレーし、楽しむことができるためのサッカーにおける原理原則を理解する。ボールを「止める」、「蹴る」、「運ぶ」といった基礎技術を身につけると同時にチームメイトと協調して動くことの重要性を学ぶ。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得ること また原則先着順で2~3名までとします。
2121193	基礎体育ソフトボール(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	奈良 隆章	ソフトボールの練習や試合を通じて、仲間と協力しながら様々な課題に挑戦する。学期の前半は守備練習を重点的に行い、後半は試合を中心に行う。	II 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2122193	基礎体育卓球(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	安藤 真太郎	卓球競技の本質をふまえつつ、独特の練習法や多様なゲーム法を実習。他種目にも関係する運動技術や行動様式を学ぶ。現代社会における、スポーツ活動の意義や価値を再確認する。	II 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目
2125153	基礎体育テニス(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	大森 肇	テニスの基礎的な知識・技術・マナーを習得する。また、初級者は半面シングルス、中級・上級者は半面シングルスおよび全面ダブルスを体験し、基本的な戦術を習得する。授業内容はテニスを生涯スポーツとして楽しむための基盤作りを目的として構成されている。	IIテニスシューズまたはスパイクなしの運動シューズを着用. 実務経験教員 対面 G科目 雨天時にはオンラインではなく,座学または雨天時施設での実技を行う.
2133153	基礎体育ニュースポーツ(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	齊藤 武利	既存のスポーツ競技種目やその価値観にとらわれず、「より親しく」「より楽しく」の合言葉のもとで、あまり知られていない新しいスポーツ種目、特に大学生のために開発された種目(フライングディスク、インディアカなど)を体験してみる。また、伝統的な競技(綱引き)などもニュースポーツ種目として体験する。秋学期は、天候の都合(雨天時や気温などの気象状況)により、グランドゴルフやユニホックなどの各ゲームにも接して、幅広くニュースポーツ種目を自分の体力に応じて体験し、将来の生涯スポーツへの足掛かりとなるようなスポーツ活動を実践する。	II　実施場所は、当日、気象条件によって変更されるために、体育センター前の屋外掲示板に掲示。 対面 G科目 詳細後日周知

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2134133	基礎体育バスケットボール(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1		バスケットボールの個人戦術（相手を打ち破る行為、相手からボールを奪う行為）を習得し、バスケットボールの特性を理解し、個人戦術を活かしたゲームができるようになる。	II 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) G科目
2137193	基礎体育ハンドボール(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	山田 永子	ゲームを中心に、個人での状況解決の仕方、グループでの状況解決の仕方を学ぶ。また、ボールを使った様々な動きを通して、コーディネーション能力を高める。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講する際は、原則、初回授業の3 日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2145153	基礎体育野外運動(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	坂本 昭裕	本授業では、チャレンジアクティビティ、火おこし、ネイチャーアクティビティなどの1)基礎的な技術(協力、コミュニケーション、創造力等)を修得すること。2)そのための知的理解を深めること。さらに、3)自然の中で活動することを通して、自己や自然環境に対する肯定的な価値観を涵養することを目標とする。	II 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2130193	基礎体育トリム運動(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	永田 真一	本授業は体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から特別な支援を必要とする学生を対象に開講している。学習内容は健康・体力に興味を持てる態度を形成することを目的とし、受講生のコンディションに合わせた教材を用意したい。例として、ボッチャやふうせんバレーボール、オリエンテーリング等が挙げられる。	単位認定の対象は、原則として当該授業科目の出席時間数が3分の2以上のものとする 実務経験教員 対面 G科目

教育、心理、障害、数学、物理、化学、社工(春学期2年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2208223	応用体育器械運動(春)	3	0.5	2	春AB	水3	金谷 麻理子	主にトランポリンを用いて、「器具との協調」をテーマに、各自の能力にあった技能の取得と運動の理解を目指す。	実務経験教員 対面 G科目
2212203	応用体育ゴルフ(春)	3	0.5	2	春AB	水3	白木 仁	ゴルフの基本技術(スイング、アプローチショット、パターの技術)を中心にルール、マナー等を段階的に学習する。さらに、ゴルフの実践を通して、パートナーシップ、スポーツマンシップを習得する。また、体力測定を実施することにより自身の体力を確認する。	対面 G科目 クラブは、身長に合わせたクラブを選択してもらう
2213203	応用体育サッカー(春)	3	0.5	2	春AB	水3	小井土 正亮	サッカーの技術・戦術の基本を理解する。また、それらをゲームのどのような場面で使用するのが効果的なのかを学び、よりゲームの楽しさを実感する。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、初回授業の3 日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得ること また原則先着順で2~3名までとします。
2215243	応用体育柔道(春)	3	0.5	2	春AB	水3	平岡 拓晃	柔道の文化的特性を理解し、基本的な技術を習得して攻防ができるようにする。柔道を通じて体力を養い、他のスポーツにも応用できるバランス感覚や巧緻性などを習得する。	I 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(その他) G科目 道着の下にTシャツ着用可。アクセサリー等の装飾品は外す。
2221203	応用体育ソフトボール(春)	3	0.5	2	春AB	水3	奈良 隆章	ソフトボールの練習や試合を通じて、仲間と協力しながら様々な課題に挑戦する。学期の前半は守備練習を重点的に行い、後半はチームを固定してリーグ戦を実施する。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2223223	応用体育ダンス(春)	3	0.5	2	春AB	水3	平山 素子	「身体の発見」をテーマに、多様なダンス文化に挑戦する。「身体を知る」段階では、導入としてインド式健康法のヨガを体験することで自らの身体を見つめなおし、健康的な身体作りを形成できる能力を養う。さらに、リズミカルな音楽に合わせた動きを体験することで、フィットネスやコミュニケーションとしてのダンスの効果を知る。	対面 男女別要素(接触) G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2225243	応用体育テニス(春)	3	0.5	2	春AB	水3	三橋 大輔	テニスの基礎技術の習得。テニスを通してマナー、ルール、スポーツの価値について学ぶ。	テニスシューズがあれば着用すること。なければ運動できる靴(革靴やサンダルは危険なので不可)を着用すること。 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2230203	応用体育トリム運動(春)	3	0.5	2	春AB	水3	福田 崇	本授業は体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から積極的に身体を動かすことができない学生を対象に開講している。受講希望者は事前に教員との面談を要する。授業内容は、受講生の心身のコンデションを考慮して体力トレーニング、フライングディスク、フィールドゴルフ、球技などから受講生全員が楽しむことができる種目を決定する。	実務経験教員 対面 G科目
2236223	応用体育バレーボール(春)	3	0.5	2	春AB	水3	秋山 央	バレーボールのルールや競技特性を理解し、パス、スパイク、サーブなど各種技術の正しい動作を習得する。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2237203	応用体育ハンドボール(春)	3	0.5	2	春AB	水3	樫 浩輔	ゲームを中心に、基礎的な技術・戦術を習得する。	実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2240223	応用体育フィットネストレーニング(春)	3	0.5	2	春AB	水3	河合 季信	健康・体力の意義について理解し、筋力トレーニングと有酸素運動を組み合わせたトレーニングを行う。	実務経験教員 対面 G科目
2245243	応用体育野外運動(春)	3	0.5	2	春AB	水3		春学期の授業では、課題解決的なチャレンジアクティビティを通じて、1)自己理解を深めること、2)コミュニケーション能力を高め、他者理解を高めること、さらに3)グループ作りの方法について学ぶことを目標にする。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目

教育、心理、障害、数学、物理、化学、社工(秋学期2年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2208233	応用体育器械運動(秋)	3	0.5	2	秋AB	水3	金谷 麻理子	主にトランポリンを用いて、「動きのコントロール」をテーマに、各自の能力にあった技能の習得と運動の理解を目指す。	実務経験教員 対面 G科目
2212213	応用体育ゴルフ(秋)	3	0.5	2	秋AB	水3	白木 仁	ゴルフの基本技術を発展させ、ミニコースの実践を通してルール、マナー、パートナーシップ、スポーツマンシップを習得する。また、秋学期中には、近郊ゴルフコースにてコース実習を行う。	経費 打撃場約¥1,300 コース約¥4,000 対面 G科目 クラブは、身長に合わせたクラブを選択する
2213213	応用体育サッカー(秋)	3	0.5	2	秋AB	水3	小井土 正亮	ボールそのものを扱う技術に加え、ボールを持たない時の動きを理解することで、ゲーム中の相手との駆け引きを楽しめる能力を養うことを目指す。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、初回授業の3 日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得ること また原則先着順で2~3名までとします。
2215253	応用体育柔道(秋)	3	0.5	2	秋AB	水3	平岡 拓晃	柔道の文化的特性を理解し、基本的な技術を習得して攻防ができるようにする。柔道を通じて体力を養い、他のスポーツにも応用できるバランス感覚や巧緻性などを習得する。	I 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(その他) G科目 道着の下にTシャツ着用可。アクセサリー等の装飾品は外す。
2221213	応用体育ソフトボール(秋)	3	0.5	2	秋AB	水3	奈良 隆章	ソフトボールの技術構造や戦術について理解を深め、作戦や状況に応じた実戦的な技能を高める。また、チーム練習やリーグ戦を通して仲間との協調性やリーダーシップを身につける。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2223233	応用体育ダンス(秋)	3	0.5	2	秋AB	水3	平山 素子	「身体を使う・創造する」段階では、様々なジャンルのダンスにチャレンジすることでダンス文化の多様性や、現代性を再認識する。さらに、自らの身体を使ってオリジナルのダンス作品を制作し、身体から発信される多彩な表現世界を楽しむ。	対面 男女別要素(接触) G科目
2225253	応用体育テニス(秋)	3	0.5	2	秋AB	水3	三橋 大輔	スピンサービスを含む発展的技術や戦術などについて学ぶ。	テニスシューズがあれば着用すること。なければ運動できる靴(革靴やサンダルは危険なので不可)を着用すること。 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2230213	応用体育トリム運動(秋)	3	0.5	2	秋AB	水3	福田 崇	本授業は体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から積極的に身体を動かすことができない学生を対象に開講している。受講希望者は事前に教員との面談を要する。授業内容は、受講生の心身のコンデションを考慮して体力トレーニング、フライングディスク、フィールドゴルフ、球技などから受講生全員が楽しむことができる種目を決定する。	実務経験教員 対面 G科目
2236233	応用体育バレーボール(秋)	3	0.5	2	秋AB	水3	秋山 央	バレーボールの各種技術をゲームを通して向上させるとともに、仲間と協力してボールを繋ぎ、チームワークを高める能力を身につける。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2237213	応用体育ハンドボール(秋)	3	0.5	2	秋AB	水3	榧 浩輔	ゲームの理解、グループ・チーム戦術の習得によって、チームの中での個々の役割について考え、チームスポーツを楽しむ能力を養う。	実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 詳細後日周知
2240233	応用体育フィットネストレーニング(秋)	3	0.5	2	秋AB	水3	河合 季信	健康・体力の意義について理解し、筋力トレーニングと有酸素運動を組み合わせたトレーニングを行う。	実務経験教員 対面 G科目
2245253	応用体育野外運動(秋)	3	0.5	2	秋AB	水3		秋学期の授業では、キャンプのための技術(火おこし、野外炊事(昼食づくり)、ロープワーク、タープテント設営等)について実践的に学修し、実際にデイキャンプを体験する。日程は、11月22日(日)午前を予定している。したがって、授業時数については、調整する。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目

人文、比文、日日、情報、医学(春学期2年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2207243	応用体育空手(春)	3	0.5	2	春AB	木2	麓 正樹	空手道の基本的な技術の実践を通じて、自らの身体と心、他者の身体と心、そしてその関連について理解を深める。基本技術と呼吸法、フットワークと基本技術の協調、形および組手ができるようになる。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目 mfumoto@tiu.ac.jp 単位認定の対象は、原則として当該授業科目の出席時間数が3分の2以上の者とする。 レポート等の作成に際して生成AIを用いる場合には、「教育における生成AI 活用のガイドライン(学生向け)」を参照し、適切に活用してください。 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2211243	応用体育剣道(春)	3	0.5	2	春AB	木2	鍋山 隆弘	防具を着け稽古できるまでの基礎的技術と、礼儀作法の習得を通して心身の向上を目指す。	実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2214243	応用体育シューティングスポーツ(春)	3	0.5	2	春AB	木2	嵯峨 寿	アーチェリーの初歩的技術の習得やゲーム体験などを通してスポーツの文化的、社会的、倫理的価値や精神的効果について理解を深めます。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の7日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2221243	応用体育ソフトボール(春)	3	0.5	2	春AB	木2	金田 健史	応用体育(春)では、ソフトボールをおこなう上での基本的な知識、技術を理解するとともに、基礎技能の向上と、試合の中で獲得した技術を生かすために実践を意識した練習に取り組み、スポーツとしてのソフトボールの楽しさやルールの特徴を理解していく。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2222203	応用体育卓球(春)	3	0.5	2	春AB	木2	野中 由紀	卓球を通してスポーツ活動に関する知識を深める。独特の練習法を用いて、一つの種目をより深く追求することにより、様々な種目に関係する技術を理解させる。ミニゲームにも取り組む。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目
2223243	応用体育ダンス(春)	3	0.5	2	春AB	木2	米澤 麻佑子	ダンスの基礎的な身体の使い方を学び、様々な音楽にのって体を動かす楽しさを知る。また、授業を通して様々な運動プログラム(簡単なストレッチングやヨガ、マッサージ等)を身につけ、バランスのとれた健康的な身体づくりを目指す。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2225263	応用体育テニス(春)	3	0.5	2	春AB	木2	前澤 かおる	テニスのルールやマナー、基礎的な技術など、生涯スポーツとしてテニスを楽しむための知識や技能を総合的に学ぶ。主に、ダブルスのプレーを中心に扱うこととする。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2230243	応用体育トリム運動(春)	3	0.5	2	春AB	木2	坂本 昭裕	体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から積極的に身体を動かすことができない学生を対象に開講する。学修内容は健康・体力に興味を持てる態度を形成することを目的とし、受講生のコンデションにあわせた教材を用意したい。昨年度は、ウォーキングを行った。	実務経験教員 対面 G科目
2234203	応用体育バスケットボール(春)	3	0.5	2	春AB	木2	仲澤 翔大	バスケットボールの特性を理解し,個人戦術（相手を打ち破る行為、相手からボールを奪う行為）を習得し、個人戦術を活かしたゲームができるようになる。	実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) G科目
2235203	応用体育バドミントン(春)	3	0.5	2	春AB	木2	谷藤 千香	バドミントンの特性を理解し、基礎的技能を習得する。仲間とともにより楽しくゲームをするには何をすべきか、自分自身や他者との関係を学習するとともに、自分自身の能力を最大限活かしたゲームを展開できるようになる。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2236243	応用体育バレーボール(春)	3	0.5	2	春AB	木2	秋山 央	バレーボールのルールや競技特性を理解し、パス、スパイク、サーブなど各種技術の正しい動作を習得する。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2241223	応用体育フラッグフットボール(春)	3	0.5	2	春AB	木2	松元 剛	フラッグフットボールの前パスゲームを通して、フラッグフットボールの戦術的知識や技能について理解し、チームの状況に応じた作戦立案について実践的に学ぶ。	実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 各チームの男女数が均等になるように男女混合チームを作ります。ゲームにおいては特別ルールを設定し、全員が積極的にゲームに関与できるよう工夫を行います。短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2243243	応用体育ボディ・ワーク(春)	3	0.5	2	春AB	木2	加藤 敏弘	体幹部を中心としたトレーニングやストレッチング(円柱補助具を含む)、姿勢を整えるためのワークを行い、「からだ」に対する知識を深め、それらの技能の習熟を図る。普段、気にかけないまま緊張しこわばってしまった身体をほぐし、引き締め、ゆるめ、整えることで、内側からの身体感覚を磨きストレッサーへの抵抗力を高め、運動そのものを享受する。	対面 男女別要素(接触) G科目 男女別要素(接触)ペアワークが苦手な方は単独で行うことができます。ペアの組み方は自由です。3人組になることもあります 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2248243	応用体育リフレッシュ体操(春)	3	0.5	2	春AB	木2	長谷川 聖修	乗ることのできる「Gボール」や大きな鉄の輪の中に入って回転する「ラート」運動など、これまでに体験したことのない異次元の動き通じて、心身をリフレッシュすること。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

人文、比文、日日、情報、医学(秋学期2年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2207253	応用体育空手(秋)	3	0.5	2	秋AB	木2	麓 正樹	空手道の基本的な技術の実践を通じて、自らの身体と心、他者の身体と心、そしてその関連について理解を深める。基本技術と呼吸法、フットワークと基本技術の協調、形および組手ができるようになる。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目 mfumoto@tiu.ac.jp 単位認定の対象は、原則として当該授業科目の出席時間数が3分の2以上の者とする。 レポート等の作成に際して生成AIを用いる場合には、「教育における生成AI 活用のガイドライン(学生向け)」を参照し、適切に活用してください。
2211253	応用体育剣道(秋)	3	0.5	2	秋AB	木2	鍋山 隆弘	防具をつけ、相手と駆け引きができる技術を身につけるとを目標とし、心身の向上も目指す。	実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2214253	応用体育シューティングスポーツ(秋)	3	0.5	2	秋AB	木2	嵯峨 寿	弓道の初歩的技術の習得と競技会体験などを通してスポーツの文化的、社会的、倫理的価値や精神的効果について理解を深めます。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の7日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2221253	応用体育ソフトボール(秋)	3	0.5	2	秋AB	木2	金田 健史	応用体育(秋)では、応用体育(春)において獲得してきた基礎技能やルールに関する知識を生かして、より実践的なチーム練習と、ゲームにおいて更なる技能向上とチームスポーツとしてのソフトボールへの理解を深める。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2222213	応用体育卓球(秋)	3	0.5	2	秋AB	木2	野中 由紀	スポーツ活動に関する知識を深め、様々な種目に通ずる技術を理解した上で、ゲームや技術練習を応用的に行い、スポーツに関する自由な発想を育てる。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目
2223253	応用体育ダンス(秋)	3	0.5	2	秋AB	木2	米澤 麻佑子	動きの探究や作品創作に挑戦し、身体の様々な可能性を発見するとともに、自己を表現する力を高める。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2225273	応用体育テニス(秋)	3	0.5	2	秋AB	木2	前澤 かおる	テニスのルールやマナー、基礎的な技術など、生涯スポーツとしてテニスを楽しむための知識や技能を総合的に学ぶ。主に、ダブルスのプレーを中心に扱うこととする。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2230253	応用体育トリム運動(秋)	3	0.5	2	秋AB	木2	坂本 昭裕	体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から積極的に身体を動かすことができない学生を対象に開講する。学修内容は健康・体力に興味を持てる態度を形成することを目的とし、受講生のコンデションにあわせた教材を用意したい。秋学期では、春学期の状況を踏まえて発展的に授業内容を検討する。昨年度はネイチャーゲームを行った。	実務経験教員 対面 G科目
2234213	応用体育バスケットボール(秋)	3	0.5	2	秋AB	木2	仲澤 翔大	バスケットボールの特性を理解し、バスケットボールの個人戦術（相手を打ち破る行為、相手からボールを奪う行為)、グループ戦術（カットプレイ、スクリーンプレイなど）を習得し、個人戦術、グル ープ戦術を活かしたゲームができるようになる。	実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) G科目
2235213	応用体育バドミントン(秋)	3	0.5	2	秋AB	木2	谷藤 千香	バドミントン的習慣を形成し、自らの意志でバドミントンと係わることの楽しさを学ぶ。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2236253	応用体育バレーボール(秋)	3	0.5	2	秋AB	木2	秋山 央	バレーボールの各種技術をゲームを通して向上させるとともに、仲間と協力してボールを繋ぎ、チームワークを高める能力を身につける。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2241233	応用体育フラッグフットボール(秋)	3	0.5	2	秋AB	木2	松元 剛	日本フラッグフットボール協会公式規則に準じたゲームを通して、フラッグフットボールに関する戦術的知識や技能の実践力を高め、ゲームパフォーマンスの向上を目指す。	実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 各チームの男女数が均等になるように男女混合チームを作ります。ゲームにおいては特別ルールを設定し、全員が積極的にゲームに関与できるよう工夫を行います。短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2243253	応用体育ボディ・ワーク(秋)	3	0.5	2	秋AB	木2	加藤 敏弘	足ほぐし、コアトレーニング、ストレッチング(円柱補助具を含む)、呼吸体操、軸をとらえるためのワーク等を行い、「からだ」に対する知識を深め、他者とコミュニケーションを図りながら、それらの技能の習熟を図る。緊張しこわばってしまった身体を他者とともにほぐし、引き締め、ゆるめ、整えることで、生涯にわたって運動を継続する力を育む。	対面 男女別要素(接触) G科目 男女別要素(接触)ペアワークが苦手な方は単独で行うことができます。ペアの組み方は自由です。3人組になることもあります。 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2248253	応用体育リフレッシュ体操(秋)	3	0.5	2	秋AB	木2	長谷川 聖修	乗ることのできる「Gボール」や大きな鉄の輪の中に入って回転する「ラート」運動など、これまでに体験したことのない異次元の動き通じて、心身をリフレッシュすること。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

国際、生物、地球、応理、エシス、看護(春学期2年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2211263	応用体育剣道(春)	3	0.5	2	春AB	木3	鍋山 隆弘	剣道具を着け稽古できるまでの基礎的技術と、礼儀作法の習得を通して心身の向上を目指す。	実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2212243	応用体育ゴルフ(春)	3	0.5	2	春AB	木3	白木 仁	ゴルフの基本技術(スイング、アプローチショット、パターの技術)を中心にルール、マナー等を段階的に学習する。さらに、ゴルフの実践を通して、パートナーシップ、スポーツマンシップを習得する。また、体力測定を実施することにより自身の体力を確認する。	対面 G科目 クラブは、身長に合わせたクラブを選択する
2213263	応用体育サッカー(春)	3	0.5	2	春AB	木3	成瀬 和弥	様々なゲーム形式を通じて攻撃・守備の原理や基本技術を身につける。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2214263	応用体育シューティングスポーツ(春)	3	0.5	2	春AB	木3	嵯峨 寿	アーチェリーの初歩的技術の習得やゲーム体験などを通してスポーツの文化的、社会的、倫理的価値や精神的効果について理解を深めます。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の7日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2215263	応用体育柔道(春)	3	0.5	2	春AB	木3	松井 崇	柔道の文化的特性を理解し、基本的な技術を習得して攻防ができるようにする。柔道を通じて体力を養い、他のスポーツにも応用できるバランス感覚や巧緻性などを習得する。	I 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(その他) G科目 道着の下にTシャツの着用可 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2221223	応用体育ソフトボール(春)	3	0.5	2	春AB	木3	奈良 隆章	ソフトボールの練習や試合を通じて、仲間と協力しながら様々な課題に挑戦する。学期の前半は守備練習を重点的に行い、後半はチームを固定してリーグ戦を実施する。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2222243	応用体育卓球(春)	3	0.5	2	春AB	木3	野中 由紀	卓球を通してスポーツ活動に関する知識を深める。独特の練習法を用いて、一つの種目をより深く追求することにより、様々な種目に関係する技術を理解させる。ミニゲームにも取り組む。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目
2223263	応用体育ダンス(春)	3	0.5	2	春AB	木3	平山 素子	「身体の発見」をテーマに、多様なダンス文化に挑戦する。「身体を知る」段階では、導入としてインド式健康法のヨガを体験することで自らの身体を見つめなおし、健康的な身体作りを形成できる能力を養う。さらに、リズミカルな音楽に合わせた動きを体験することで、フィットネスやコミュニケーションとしてのダンスの効果を知る。	対面 男女別要素(接触) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2225203	応用体育テニス(春)	3	0.5	2	春AB	木3	前澤 かおる	テニスのルールやマナー、基礎的な技術など、生涯スポーツとしてテニスを楽しむための知識や技能を総合的に学ぶ。主に、ダブルスのプレーを中心に扱うこととする。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2230263	応用体育トリム運動(春)	3	0.5	2	春AB	木3	齊藤 まゆみ	体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から積極的に身体を動かすことができない学生を対象に開講する。学習内容は健康・体力に興味を持てる態度を形成することを目的とし、受講生のコンデションにあわせた教材を用意したい。	実務経験教員 対面 G科目
2233223	応用体育ニュースポーツ(春)	3	0.5	2	春AB	木3	藤本 巳由紀	既成のスポーツ競技や種目にとらわれることなく、新たに開発され、あまり知られていないスポーツ種目(フライングディスク、ユニホック、グランドゴルフなど)や世界各国の伝統的なスポーツ種目(インディアカ、ペタンクなど)を体験する。その実践を通して、自分の体力に応じた「新たなスポーツ」を楽しむ方策などを見つけ出し、スポーツそのものに対する自分の価値観について考えてみる。	対面 男女別要素(接触) G科目
2234243	応用体育バスケットボール(春)	3	0.5	2	春AB	木3	坂本 拓弥	バスケットボールの特性を理解し、バスケットボールの個人戦術（相手を打ち破る行為、相手からボールを奪う行為）を習得し、個人戦術を活かしたゲームができるようになる。	対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) G科目
2235263	応用体育バドミントン(春)	3	0.5	2	春AB	木3	谷藤 千香	バドミントンの特性を理解し、基礎的技能を習得する。仲間とともにより楽しくゲームをするには何をすべきか、自分自身や他者との関係を学習するとともに、自分自身の能力を最大限活かしたゲームを展開できるようになる。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2237243	応用体育ハンドボール(春)	3	0.5	2	春AB	木3	山田 永子	ゲーム活動を通じて、基本的な技術を習得する。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則、初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2240203	応用体育フィットネストレーニング(春)	3	0.5	2	春AB	木3	谷川 聡	心身の健康維持・増進や生活習慣病の予防と運動・体力の関係を理解した上で、レジスタンストレーニング、ジョギング、ストレッチングを豊かなスポーツ文化として日常生活の中で応用することをめざす。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2245203	応用体育野外運動(春)	3	0.5	2	春AB	木3		春学期の授業では、課題解決的なチャレンジアクティビティを通じて、1)自己理解を深めること、2)コミュニケーション能力を高め、他者理解を高めること、さらに3)グループ作りの方法について学ぶことを目標にする。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目

国際、生物、地球、応理、エシス、看護(秋学期2年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2211273	応用体育剣道(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3	鍋山 隆弘	剣道具をつけ、相手と駆け引きができる技術を身につけることを目標とし、心身の向上も目指す。	実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2212253	応用体育ゴルフ(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3	白木 仁	ゴルフの基本技術を発展させ、ミニコースの実践を通してルール、マナー、パートナーシップ、スポーツマンシップを習得する。また、秋学期中には、近郊ゴルフコースにてコース実習を行う。	経費 打撃場約¥1,300 コース約¥4,000 対面 G科目 クラブは、身長に合わせたクラブを選択する
2213273	応用体育サッカー(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3	成瀬 和弥	様々なゲームを通して基本的な戦術、ポゼッションプレーを理解し、集団行動・フォーメーションを成熟させていく。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2214273	応用体育シューティングスポーツ(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3	嵯峨 寿	弓道の初歩的技術の習得と競技会体験などを通してスポーツの文化的、社会的、倫理的価値や精神的効果について理解を深めます。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の7日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2215273	応用体育柔道(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3	松井 崇	柔道の文化的特性を理解し、基本的な技術を習得して攻防ができるようにする。柔道を通じて体力を養い、他のスポーツにも応用できるバランス感覚や巧緻性などを習得する。	I 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(その他) G科目 道着の下にTシャツの着用可 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2221233	応用体育ソフトボール(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3	奈良 隆章	ソフトボールの技術構造や戦術について理解を深め、作戦や状況に応じた実戦的な技能を高める。また、チーム練習やリーグ戦を通して仲間との協調性やリーダーシップを身につける。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2222253	応用体育卓球(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3	野中 由紀	スポーツ活動に関する知識を深め、様々な種目に通ずる技術を理解した上で、ゲームや技術練習を応用的に行い、スポーツに関する自由な発想を育てる。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目
2223273	応用体育ダンス(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3	平山 素子	「身体を使う・創造する」段階では、様々なジャンルのダンスにチャレンジすることでダンス文化の多様性や、現代性を再認識する。さらに、自らの身体を使ってオリジナルのダンス作品を制作し、身体から発信される多彩な表現世界を楽しむ。	対面 男女別要素(接触) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2225213	応用体育テニス(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3	前澤 かおる	テニスのルールやマナー、基礎的な技術など、生涯スポーツとしてテニスを楽しむための知識や技能を総合的に学ぶ。主に、ダブルスのプレーを中心に扱うこととする。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2230273	応用体育トリム運動(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3	齊藤 まゆみ	体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から積極的に身体を動かすことができない学生を対象に開講する。学習内容は健康・体力に興味を持てる態度を形成することを目的とし、受講生のコンデションにあわせた教材を用意したい。秋学期では、春学期の状況を踏まえて発展的に授業内容を検討する。	実務経験教員 対面 G科目
2233233	応用体育ニュースポーツ(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3	藤本 巳由紀	既成のスポーツ競技や種目にとらわれることなく、大学生によって新たに開発されたスポーツ種目のフライングディスク競技やあまり一般的には知られていないスポーツ種目(ユニホック、グランドゴルフなど)を体験する。また、昔から受け継がれている世界各国の伝統的なスポーツ種目(インディアカ、ペタンク)についても改めて体験してその楽しみについて再考する。さらに、これらの実践を通して、基礎体育で養った自分の体力に応じた「新たなスポーツ」を楽しむ方策などを見つけ出し、スポーツそのものに対する自分の価値観について考えてみる。	対面 男女別要素(接触) G科目
2234253	応用体育バスケットボール(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3	坂本 拓弥	バスケットボールの特性を理解し、バスケットボールの個人戦術、グループ戦術(カットプレイ、スクリーンプレイ)を習得し、個人戦術、グループ戦術を活かしたゲームができるようになる。	対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) G科目
2235273	応用体育バドミントン(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3	谷藤 千香	バドミントン的習慣を形成し、自らの意志でバドミントンと係わることの楽しさを学ぶ。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2237253	応用体育ハンドボール(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3	山田 永子	チーム内での個々の役割について考え、チームスポーツを楽しむ能力を身につける。	対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2240213	応用体育フィットネストレーニング(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3	谷川 聡	心身の健康維持・増進や生活習慣病の予防と運動・体力の関係を理解した上で、レジスタンストレーニング、ジョギング、ストレッチングを豊かなスポーツ文化として日常生活の中で応用することをめざす。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2245213	応用体育野外運動(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3		秋学期の授業では、キャンプのための技術(火おこし、野外炊事(昼食づくり)、ロープワーク、タープテント設営等)について実践的に学修し、実際にデイキャンプを体験する。日程は、11月21日(土)午前を予定している。したがって、授業時数については、調整する。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目

社会、資源、創成、知識、医療、芸術(春学期2年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2211203	応用体育剣道(春)	3	0.5	2	春AB	金2	鍋山 隆弘	剣道具を着け稽古できるまでの基礎的技術と、礼儀作法の習得を通して心身の向上を目指す。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2214203	応用体育シューティングスポーツ(春)	3	0.5	2	春AB	金2	嵯峨 寿	アーチェリーの初歩的技術の習得やゲーム体験などを通してスポーツの文化的、社会的、倫理的価値や精神的効果について理解を深めます。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の7日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2215223	応用体育柔道(春)	3	0.5	2	春AB	金2	平岡 拓晃	柔道の文化的特性を理解し、基本的な技術を習得して攻防ができるようにする。柔道を通じて体力を養い、他のスポーツにも応用できるバランス感覚や巧緻性などを習得する。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(その他) G科目 道着の下にTシャツ着用可。アクセサリー等の装飾品は外す。
2216263	応用体育ジョグ&ウォーク(春)	3	0.5	2	春AB	金2	榎本 靖士	ジョギングとウォーキングの科学的基礎を学びながら、現代的なスポーツとして生涯にわたって実践するための知識と経験を得る。自身の体力や健康状態に合わせたジョギングおよびウォーキングが実践でき、さらに健康と体力を維持、増進するための課題と解決方法を検討できるようになる。またジョギングやウォーキングを楽しみながら行える態度を養う。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 ランニングシューズが必要短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2217263	応用体育水泳(春)	3	0.5	2	春AB	金2	角川 隆明	本学プール施設の特性を活かし、さまざまな水辺活動に取り組む。特に春学期は、四泳法の技術や水球の基本的技術の習得および水中で自己保全するための知識を身につける。	対面 男女別要素(接触) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2221263	応用体育ソフトボール(春)	3	0.5	2	春AB	金2	奈良 隆章	ソフトボールの練習や試合を通じて、仲間と協力しながら様々な課題に挑戦する。学期の前半は守備練習を重点的に行い、後半はチームを固定してリーグ戦を実施する。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2222223	応用体育卓球(春)	3	0.5	2	春AB	金2	安藤 真太郎	スポーツ活動に関する知識を深める。独特の練習法を通じ、単一種目をより深く追求することにより、様々なスポーツシーンに関係する技術を理解させる。応用的ミニゲームへも取り組む。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2225223	応用体育テニス(春)	3	0.5	2	春AB	金2	大森 肇	テニスの基礎的な知識・技術・マナーを習得する。また、初級者は半面シングルス、中級・上級者は半面シングルスおよび全面ダブルスを体験し、基本的な戦術を習得する。授業内容はテニスを生涯スポーツとして楽しむための基盤作りを目的として構成されている。	テニスシューズまたはスパイクなしの運動シューズを着用 実務経験教員 対面 G科目 雨天時にはオンラインではなく,座学または雨天時施設での実技を行う.
2230223	応用体育トリム運動(春)	3	0.5	2	春AB	金2	永田 真一	本授業は体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から特別な支援を必要とする学生を対象に開講している。学習内容は運動習慣に繋がるような多様な楽しみ方ができるスポーツを紹介することを目的とする。受講生全体のコンディションを鑑み、内容等の変更をすることがある。	単位認定の対象は、原則として当該授業科目の出席時間数が3分の2以上のものとする 実務経験教員 対面 G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2233203	応用体育ニュースポーツ(春)	3	0.5	2	春AB	金2	齊藤 武利	既成のスポーツ競技や種目にとらわれることなく、新たに開発され、あまり知られていないスポーツ種目(フライングディスク、ユニホック、グランドゴルフなど)や世界各国の伝統的なスポーツ種目(インディアカ、ペタンク、綱引きなど)を体験する。その実践を通して、自分の体力に応じた「新たなスポーツ」を楽しむ方策などを見つけ出し、スポーツそのものに対する自分の価値観について考えてみる。	当日の実施場所や教室は、天候等によって変更になるために、決定後周知 対面 G科目 詳細後日周知 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2234263	応用体育バスケットボール(春)	3	0.5	2	春AB	金2		バスケットボールの個人戦術(相手を打ち破る行為、相手からボールを奪う行為)を習得し、バスケットボールの特性を理解し、個人戦術を活かしたゲームができるようになる。	対面 男女別要素(接触) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2237223	応用体育ハンドボール(春)	3	0.5	2	春AB	金2	山田 永子	ゲームを中心に、基礎的な技術・戦術を習得する。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 連携学生の受講可 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2240263	応用体育フィットネストレーニング(春)	3	0.5	2	春AB	金2	河合 季信	健康・体力の意義について理解し、筋力トレーニングと有酸素運動を組み合わせたトレーニングを行う。	実務経験教員 対面 G科目
2241263	応用体育フラッグフットボール(春)	3	0.5	2	春AB	金2	松尾 博一	フラッグフットボールの前パスゲームを通して、フラッグフットボールの戦術的知識や技能について理解し、チームの状況に応じた作戦立案について実践的に学ぶ。	実務経験教員 対面 G科目 詳細後日周知 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2245223	応用体育野外運動(春)	3	0.5	2	春AB	金2	坂本 昭裕	春学期の授業では、課題解決的なチャレンジアクティビティを通じて、1)自己理解を深めること、2)コミュニケーション能力を高め、他者理解を高めること、さらに3)グループ作りの方法について学ぶことを目標にする。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2248263	応用体育リフレッシュ体操(春)	3	0.5	2	春AB	金2	狩野 莉奈	心地よい運動や仲間との交流を通して、スポーツを楽しむ豊かな心と知識を養う。また、乗ることのできる「Gボール」や大きな鉄の輪の中に入って回転する「ラート」運動など、非日常的な運動に触れることで、心身をリフレッシュする。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

社会、資源、創成、知識、医療、芸術(秋学期2年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2211213	応用体育剣道(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2	鍋山 隆弘	剣道具をつけ、相手と駆け引きができる技術を身につけることを目標とし、心身の向上も目指す。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2214213	応用体育シューティングスポーツ(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2	嵯峨 寿	弓道の初歩的技術の習得と競技会体験などを通してスポーツの文化的、社会的、倫理的価値や精神的効果について理解を深めます。	対面 G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の7日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2215233	応用体育柔道(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2	平岡 拓晃	柔道の文化的特性を理解し、基本的な技術を習得して攻防ができるようにする。柔道を通じて体力を養い、他のスポーツにも応用できるバランス感覚や巧緻性などを習得する。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(その他) G科目 道着の下にTシャツ着用可。アクセサリー等の装飾品は外す。
2216273	応用体育ジョグ&ウォーク(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2	榎本 靖士	ウォーキングとジョギングを科学的理解を中心に、より実践的な経験と知識を習得する。 ウォーキングとジョギングのスピード、時間、距離、気候、地面の変化によって環境と自分の相互関係を感じられるようになる。ウォーキングとジョギングを楽しむために必要な健康および体力の状態をマネジメントできるようになる。生活にあったウォーキングやジョギングを主体的に実践する。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 ランニングシューズが必要短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2217273	応用体育水泳(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2	角川 隆明	本学プール施設の特性を活かし、さまざまな水辺活動に取り組む。特に秋学期は、基本技能の習得や四泳法を楽に速く泳ぐための技術を身につけるとともに、水中安全への理解を深める。	対面 男女別要素(ウェア) 男女別要素(接触) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2221273	応用体育ソフトボール(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2	奈良 隆章	ソフトボールの技術構造や戦術について理解を深め、作戦や状況に応じた実戦的な技能を高める。また、チーム練習やリーグ戦を通して仲間との協調性やリーダーシップを身につける。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2222233	応用体育卓球(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2	安藤 真太郎	スポーツ活動に関する知識の深まりとともに、活動の成果を享受する能力を高める。様々なスポーツシーンに関係する技術を理解した上で、ゲーム・技術練習共に、より多様な形態で実施し、ゲームスポーツに関する自由な発想を育てる。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目
2225233	応用体育テニス(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2	大森 肇	テニスのルールやマナー、基礎的な技術など、生涯スポーツとしてテニスを楽しむための知識や技能を総合的に学ぶ。主に、ダブルスのプレーを中心に扱うこととする。	実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2230233	応用体育トリム運動(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2	永田 真一	本授業は体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から特別な支援を必要とする学生を対象に開講している。学習内容は運動習慣に繋がるような多様な楽しみ方ができるスポーツを紹介することを目的とする。受講生全体のコンディションを鑑み、内容等の変更をすることがある。	単位認定の対象は、原則として当該授業科目の出席時間数が3分の2以上のものとする 実務経験教員 対面 G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2233213	応用体育ニュースポーツ(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2	齊藤 武利	既成のスポーツ競技や種目にとらわれることなく、大学生によって新たに開発されたスポーツ種目のフライングディスク競技やあまり一般的には知られていないスポーツ種目(ユニホック、グランドゴルフなど)を体験する。また、昔から受け継がれている世界各国の伝統的なスポーツ種目(インディアカ、ペタンク、綱引き)についても改めて体験してその楽しみについて再考する。さらに、これらの実践を通して、基礎体育で養った自分の体力に応じた「新たなスポーツ」を楽しむ方策などを見つけ出し、スポーツそのものに対する自分の価値観について考えてみる。	実施場所や教室については、当日の天候により、決定後周知 対面 G科目 詳細後日周知 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2234273	応用体育バスケットボール(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2		バスケットボールの個人戦術（相手を打ち破る行為、相手からボールを奪う行為)、グループ戦術（カットプレイ、スクリーンプレイなど）を習得し、バスケットボールの特性を理解し、グループ戦術を活かしたゲームができるようになる。	対面 男女別要素(接触) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2237233	応用体育ハンドボール(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2	山田 永子	ゲームの理解、グループ・チーム戦術の習得によって、チームの中での個々の役割について考え、チームスポーツを楽しむ能力を養う。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2240273	応用体育フィットネストレーニング(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2	河合 季信	健康・体力の意義について理解し、筋力トレーニングと有酸素運動を組み合わせたトレーニングを行う。	実務経験教員 対面 G科目
2241273	応用体育フラッグフットボール(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2	松尾 博一	日本フラッグフットボール協会公式規則に準じたゲームを通して、フラッグフットボールに関する戦術的知識や技能の実践力を高め、ゲームパフォーマンスの向上を目指す。	実務経験教員 対面 G科目 詳細後日周知 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2245233	応用体育野外運動(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2	坂本 昭裕	秋学期の授業では、キャンプのための技術(火おこし、野外炊事(昼食づくり)、ロープワーク、タープテント設営等)について実践的に学修し、実際にデイキャンプを体験する。日程は、11月14日(土)午前(8:40から11:25)を予定している。したがって、授業時数については、調整する。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2248273	応用体育リフレッシュ体操(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2	狩野 莉奈	心地よい運動や仲間との交流を通して、スポーツを楽しむ豊かな心と知識を養う。また、乗ることのできる「Gボール」や大きな鉄の輪の中に入って回転する「ラート」運動など、非日常的な運動に触れることで、心身をリフレッシュする。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

日日、資源、社工(春学期3年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2313303	発展体育サッカー(春)	3	0.5	3	春AB	月3	小井土 正亮	サッカーというスポーツの特性(足でボールを扱う不安定さ、ミスが起きる頻度の高さ、状況の変化の連続など)を理解しつつ、よりゲームを楽しむために必要な技術・戦術の習得を目指す。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、初回授業の3 日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得ること また原則先着順で2~3名までとします。
2321303	発展体育ソフトボール(春)	3	0.5	3	春AB	月3	木内 敦詞	ソフトボールにおける安心安全と技能上達を、共生協働の実践を通して目指す。さらに、これらの活動を自己成長の機会として捉える視点を養う。授業は、受講者の技能や体力の多様性に応じて、使用球やルールを柔軟に調整して編成する。評価は技能や体力の優劣によって行わない。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2323303	発展体育ダンス(春)	3	0.5	3	春AB	月3	図子 美和	多様なダンスに挑戦し,その動きを理解して技術の向上を目指す。さらに、個々の自己表現力と感性を磨き、生涯においてダンスを通して豊かな生活を送るための実践力を養う。	対面 男女別要素(接触) G科目
2325303	発展体育テニス(春)	3	0.5	3	春AB	月3	三橋 大輔	テニスの基礎的な技術、戦術を習得しダブルスおよびシングルスのプレーができるようにする。加えてルールやマナー、テニスの歴史を学び生涯スポーツとしてテニスを楽しむ能力を身につける。	テニスシューズがあれば着用すること。なければ運動できる靴(革靴やサンダルは危険なので不可)を着用すること。 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2330303	発展体育トリム運動(春)	3	0.5	3	春AB	月3	福田 崇	本授業は体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から積極的に身体を動かすことができない学生を対象に開講している。受講希望者は事前に教員との面談を要する。授業内容は、受講生の心身のコンデションを考慮して体力トレーニング、フライングディスク、フィールドゴルフ、球技などから受講生全員が楽しむことができる種目を決定する。	実務経験教員 対面 G科目
2334283	発展体育バスケットボール(春)	3	0.5	3	春AB	月3	仲澤 翔大	バスケットボールの個人戦術、グループ戦術を習得し、グループ戦術を中心にバスケットボールの特性を活かしたゲームをとおして、問題解決能力、協調性を養いながら、バスケットボールの構造を理解できるようになる。	実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) G科目
2341303	発展体育フラッグフットボール(春)	3	1.0	3	春AB 夏季休業中	月3 集中	松元 剛	日本フラッグフットボール協会公式規則に準じた大会への参加を目指し、チーム・マネージメントについて実践的に学修する。	集中講義と併せて1単位とする 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 各チームの男女数が均等になるように男女混合チームを作ります。ゲームにおいては特別ルールを設定し、全員が積極的にゲームに関与できるよう工夫を行います。 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2352303	発展体育トラック&フィールド(春)	3	0.5	3	春AB	月3	谷川 聡	槍投げや円盤投げなど、高校までの授業では体験しない種目を積極的に行う。実技を中心に行うが、ルールや歴史、競技者の心理等についての講義も随時行う。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目

日日、資源、社工(秋学期3年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2313313	発展体育サッカー(秋)	3	0.5	3	秋AB	月3	小井土 正亮	サッカーにおける個人の技能の向上とともに、戦術やポジションなどのチームとしての戦い方をチームメイトと共有し、戦略的にゲームに臨む楽しさを知る。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、初回授業の3 日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得ること また原則先着順で2~3名までとします。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2316313	発展体育ジョグ&ウォーク(秋)	3	1.0	3	秋AB 秋C	月3 集中	鍋倉 賢治	「苦しみの長距離走」というイメージを一新し、スポーツとしてのジョギングの楽しさ、爽快さを体得する。特に、秋の筑波山登山、つくばマラソン大会などへの参加を通して、健康・スポーツ・ライフスタイルの意義について考える。さあ、爽快なジョギングを レッツ エンジョイ !!	0.5単位分を集中授業として行ないます。集中授業として、11月末の「つくばマラソン(10kmまたはフル)」、「筑波山登山」、つくば健康マラソン(5km)などから2つのイベントを選択し参加します(自費)。それらへの挑戦を通して、新しい自分と出会いたい、今の状況を打破したい、という学生は大歓迎。注意:つくばマラソンのエントリーは6月頃のため、manabaを通して随時連絡します。そのため、Twinsによる履修登録は4月中に行なってください。 対面 男女別要素(その他) G科目 詳細後日周知 マラソンエントリーに際し、男女別エントリーになる
2321313	発展体育ソフトボール(秋)	3	0.5	3	秋AB	月3	木内 敦詞	ソフトボールにおける安心安全と技能上達を、共生協働の実践を通して目指す。さらに、これらの活動を自己成長の機会として捉える視点を養う。授業は、受講者の技能や体力の多様性に応じて、使用球やルールを柔軟に調整して編成する。評価は技能や体力の優劣によって行わない。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2323313	発展体育ダンス(秋)	3	0.5	3	秋AB	月3	図子 美和	多様なダンスに挑戦し,その動きを理解して技術の向上を目指す。さらに、個々の自己表現力と感性を磨き、生涯においてダンスを通して豊かな生活を送るための実践力を養う。	対面 男女別要素(接触) G科目
2325313	発展体育テニス(秋)	3	0.5	3	秋AB	月3	三橋 大輔	テニスの基礎的な技術、戦術を習得しダブルスおよびシングルスのプレーができるようにする。加えてルールやマナー、テニスの歴史を学び生涯スポーツとしてテニスを楽しむ能力を身につける。	テニスシューズがあれば着用すること。なければ運動できる靴(革靴やサンダルは危険なので不可)を着用すること。 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2330313	発展体育トリム運動(秋)	3	0.5	3	秋AB	月3	福田 崇	本授業は体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から積極的に身体を動かすことができない学生を対象に開講している。受講希望者は事前に教員との面談を要する。授業内容は、受講生の心身のコンデションを考慮して体力トレーニング、フライングディスク、フィールドゴルフ、球技などから受講生全員が楽しむことができる種目を決定する。	実務経験教員 対面 G科目
2334293	発展体育バスケットボール(秋)	3	0.5	3	秋AB	月3	仲澤 翔大	バスケットボールの個人戦術、グループ戦術を習得し、グループ戦術を中心にバスケットボールの特性を活かしたゲームをとおして、問題解決能力、協調性を養いながら、バスケットボールの構造を理解できるようになる。	実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2352313	発展体育トラック&フィールド(秋)	3	0.5	3	秋AB	月3	谷川 聡	円盤投げやハンマー投げなど、高校までの授業では体験しない種目を積極的に行う。実技を中心に行うが、ルールや歴史、競技者の心理等についての講義も随時行う。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目

エシス、応理(春学期3年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2313283	発展体育サッカー(春)	3	0.5	3	春AB	月4	小井土 正亮	サッカーというスポーツの特性(足でボールを扱う不安定さ、ミスが起きる頻度の高さ、状況の変化の連続など)を理解しつつ、よりゲームを楽しむために必要な技術・戦術の習得を目指す。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、初回授業の3 日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得ること また原則先着順で2~3名までとします。
2314283	発展体育シューティングスポーツ(春)	3	1.0	3	春AB 春C	月4 集中	嵯峨 寿	アーチェリー、弓道の文化的、精神的側面を理解すると共に、自己ならびに他者への理解を深めます。	対面 G科目 詳細後日周知 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の7日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2321283	発展体育ソフトボール(春)	3	0.5	3	春AB	月4	木内 敦詞	ソフトボールにおける安心安全と技能上達を、共生協働の実践を通して目指す。さらに、これらの活動を自己成長の機会として捉える視点を養う。授業は、受講者の技能や体力の多様性に応じて、使用球やルールを柔軟に調整して編成する。評価は技能や体力の優劣によって行わない。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2322283	発展体育卓球(春)	3	0.5	3	春AB	月4	安藤 真太郎	卓球競技の技術の本質から学ぶとともに、上達過程の中でスポーツ活動に関する知識を深める。また自己のスポーツライフや、スポーツ文化についても実技を通して学習していく。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目
2323283	発展体育ダンス(春)	3	0.5	3	春AB	月4	図子 美和	多様なダンスに挑戦し,その動きを理解して技術の向上を目指す。さらに、個々の自己表現力と感性を磨き、生涯においてダンスを通して豊かな生活を送るための実践力を養う。	対面 男女別要素(接触) G科目
2330283	発展体育トリム運動(春)	3	0.5	3	春AB	月4	福田 崇	本授業は体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から積極的に身体を動かすことができない学生を対象に開講している。受講希望者は事前に教員との面談を要する。授業内容は、受講生の心身のコンデションを考慮して体力トレーニング、フライングディスク、フィールドゴルフ、球技などから受講生全員が楽しむことができる種目を決定する。	実務経験教員 対面 G科目
2334303	発展体育バスケットボール(春)	3	0.5	3	春AB	月4	仲澤 翔大	バスケットボールの個人戦術、グループ戦術を習得し、グループ戦術を中心にバスケットボールの特性を活かしたゲームをとおして、問題解決能力、協調性を養いながら、バスケットボールの構造を理解できるようになる。	実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2341343	発展体育フラッグフットボール(春)	3	1.0	3	春AB 夏季休業中	月4 集中	松元 剛	日本フラッグフットボール協会公式規則に準じた大会への参加を目指し、チーム・マネージメントについて実践的に学修する。	集中講義と併せて1単位とする 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 各チームの男女数が均等になるように男女混合チームを作ります。ゲームにおいては特別ルールを設定し、全員が積極的にゲームに関与できるよう工夫を行います。 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

エシス、応理(秋学期3年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2313293	発展体育サッカー(秋)	3	0.5	3	秋AB	月4	小井土 正亮	サッカーにおける個人の技能の向上とともに、戦術やポジションなどのチームとしての戦い方をチームメイトと共有し、戦略的にゲームに臨む楽しさを知る。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、初回授業の3 日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得ること また原則先着順で2~3名までとします。
2321293	発展体育ソフトボール(秋)	3	0.5	3	秋AB	月4	木内 敦詞	ソフトボールにおける安心安全と技能上達を、共生協働の実践を通して目指す。さらに、これらの活動を自己成長の機会として捉える視点を養う。授業は、受講者の技能や体力の多様性に応じて、使用球やルールを柔軟に調整して編成する。評価は技能や体力の優劣によって行わない。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2322293	発展体育卓球(秋)	3	0.5	3	秋AB	月4	安藤 真太郎	卓球競技の技術の本質から学ぶとともに、上達過程の中でスポーツ活動に関する知識を深める。また自己のスポーツライフや、スポーツ文化についても実技を通して発展的に学び、スポーツに関する自由な発想を育てる。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目
2323293	発展体育ダンス(秋)	3	0.5	3	秋AB	月4	図子 美和	多様なダンスに挑戦し,その動きを理解して技術の向上を目指す。さらに、個々の自己表現力と感性を磨き、生涯においてダンスを通して豊かな生活を送るための実践力を養う。	対面 男女別要素(接触) G科目
2329293	発展体育トラック&フィールド(秋)	3	1.0	3	秋AB 秋C	月4 集中	谷川 聡	走・跳・投の基的技能を理解して自分の身体で理解できるようにし、個人の身体操作方法を学ぶとともに、トレーニング方法を学び、パフォーマンスの向上を図る。	集中実技と併せて1単位とする。 集中実技は、秋学期中に5日間の朝練習と筑波山登山を行う。 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 詳細後日周知
2330293	発展体育トリム運動(秋)	3	0.5	3	秋AB	月4	福田 崇	本授業は体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から積極的に身体を動かすことができない学生を対象に開講している。受講希望者は事前に教員との面談を要する。授業内容は、受講生の心身のコンデションを考慮して体力トレーニング、フライングディスク、フィールドゴルフ、球技などから受講生全員が楽しむことができる種目を決定する。	実務経験教員 対面 G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2334313	発展体育バスケットボール(秋)	3	0.5	3	秋AB	月4	仲澤 翔大	バスケットボールの個人戦術、グループ戦術を習得し、グループ戦術を中心にバスケットボールの特性を活かしたゲームをとおして、問題解決能力、協調性を養いながら、バスケットボールの構造を理解できるようになる。	実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) G科目

エシス、応理3年次(必修・集中)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2600283	合気道	3	0.5	3	秋C	集中	三橋 大輔	合気道の練習を通して、こころとからだの運用法の合理性を理解し体得することを目指す。技を通じて、気を体感したり、積極的なリラックスの状態や心身統一の状態になれることを目標とする。レポートにより、学んだことを総合的に振り返る。	対面 男女別要素(接触) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください、詳細は体育センターHPで確認してください。
2601283	アーチェリー	3	0.5	3	秋A	集中	嵯峨 寿	アーチェリー、弓道の文化的、精神的側面を理解すると共に、自己ならびに他者への理解を深めます。	対面 G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください、詳細は体育センターHPで確認してください。
2603283	インラインスケート	3	0.5	3	夏季休業中	集中	河合 季信	インラインスケートの基礎的な技術および知識を学ぶとともに、生涯を通じて安全に実施するための知識と態度を身につける。	実務経験教員 対面 G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。
2604283	ウィンドサーフィン	3	1.0	3	夏季休業中	集中	鍋倉 賢治	ウィンドサーフィンの基礎的技術と知識を学び、未経験の運動の習熟過程で身体に対する認識を深める。また、自然環境下での危険と安全配慮を認識し、生涯にわたりウィンドサーフィンに親しむ態度や可能性を模索する。実習は霞ヶ浦湖畔にて実施する。	泳力検査を実施する。 現地に宿泊します。 対面 男女別要素(ウェア) 男女別要素(宿泊) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください、詳細は体育センターHPで確認してください。
2606283	ウォールクライミング	3	0.5	3	夏季休業中	集中	秋山 央	ウォールクライミングを通して、自身の空間での位置感覚を体験し、手足、体幹を用いてクライミングの技術を習得するとともに体力、集中力の心身の持久性を養う。さらに、バディーとの協力のもとクライミングの成功、達成体験による、他者との信頼感の重要性を体験する。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は体育センターHPで確認してください。
2609283	キャンピング	3	1.0	3	夏季休業中	集中	坂本 昭裕	キャンピングにおいては、自然の中での生活体験とアウトドアアクティビティを通じて、自己の主体的能力を開発し、発展させることが目標である。具体的には1キャンピングを安全に自分たちの力で楽しむことができる。2キャンプに関する知識や技術について自分で求め、深めることができる。3キャンプを通じて人間関係を広めることができる。4自然の中で活動することを通して、自己や環境(社会)に対する興味、関心、肯定的な倫理観を養うことである。キャンピングは、学内施設である野性の森において幕営(3泊)しながら、アウトドアアクティビティを実施する予定である。	対面 男女別要素(宿泊) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください、詳細は体育センターHPで確認してください。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2619293	スノースポーツ	3	1.0	3	春季休業中	集中	坂本 昭裕	本時では、スノースポーツ(アルペンスキー・スノーボード)を通じて自立的な能力を開発する。具体的な学修目標は、1スノースポーツを安全に自分の力で楽しむことができる。2スノースポーツに関する知識や技術を主体的に求め、高めることができる。自分の滑りを分析することができる。3スノースポーツを通じて人間関係を豊に広めることができる。4スノースポーツを通じて自然について考えを深めることができることである。以上を学修目標にしながら自己の開発や改善が図れることを目指したい。また、スノースポーツを生涯スポーツとして楽しめるような契機としたい。	対面 男女別要素(宿泊) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。
2628283	東洋的心身鍛練法	3	0.5	3	春季休業中	集中	山田 永子	日常的な動作の質を深めていくさまざまなエクササイズを通して、東洋的心身鍛錬法の世界の一端を垣間見る。いくつかのセッションのテーマにしたがったエクササイズやワークを行い、最後に座禅をして終わる。	対面 G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。
2642283	ボウリング	3	0.5	3	春季休業中	集中	谷川 聡,奈良 隆章	マナーと技術向上を図りながら生涯スポーツへ向けたボウリングを基礎から学ぶ。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。
2644283	マリンスポーツ	3	1.0	3	夏季休業中	集中	高木 英樹	本学プールおよび下田臨海実験センター周辺海域を実習場所として、スキンダイビングに関する基本的な技術と安全に実施するための知識を習得する。合わせて、自然環境への関心や理解を深めるために、各種講義やワークショップを実施する。	泳力検査を実施する。 対面 男女別要素(ウェア) 男女別要素(宿泊) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育スポーツ局HPで確認してください。

日日、資源、社工3年次(必修・集中)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2600303	合気道	3	0.5	3	秋C	集中	三橋 大輔	合気道の練習を通して、こころとからだの運用法の合理性を理解し体得することを目指す。技を通じて、気を体感したり、積極的なリラックスの状態や心身統一の状態になれることを目標とする。レポートにより、学んだことを総合的に振り返る。	対面 男女別要素(接触) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください、詳細は体育センターHPで確認してください。
2601303	アーチェリー	3	0.5	3	秋A	集中	嵯峨 寿	アーチェリー、弓道の文化的、精神的側面を理解すると共に、自己ならびに他者への理解を深めます。	対面 G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください、詳細は体育センターHPで確認してください。
2603303	インラインスケート	3	0.5	3	夏季休業中	集中	河合 季信	インラインスケートの基礎的な技術および知識を学ぶとともに、生涯を通じて安全に実施するための知識と態度を身につける。	実務経験教員 対面 G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2604303	ウィンドサーフィン	3	1.0	3	夏季休業中	集中	鍋倉 賢治	ウィンドサーフィンの基礎的技術と知識を学び、未経験の運動の習熟過程で身体に対する認識を深める。また、自然環境下での危険と安全配慮を認識し、生涯にわたりウィンドサーフィンに親しむ態度や可能性を模索する。実習は霞ヶ浦湖畔にて実施する。	泳力検査を実施する。 現地に宿泊する。 対面 男女別要素(ウェア) 男女別要素(宿泊) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください、詳細は体育センターHPで確認してください。
2606303	ウォールクライミング	3	0.5	3	夏季休業中	集中	秋山 央	ウォールクライミングを通して、自身の空間での位置感覚を体験し、手足、体幹を用いてクライミングの技術を習得するとともに体力、集中力の心身の持久性を養う。さらに、バディーとの協力のもとクライミングの成功、達成体験による、他者との信頼感の重要性を体験する。	対面 G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。 基本的には、体重でペアを組みます。シューズ、ハーネスに関してもサイズで選びます。懸垂が可能かどうかが重要。
2609303	キャンピング	3	1.0	3	夏季休業中	集中	坂本 昭裕	キャンピングにおいては、自然の中での生活体験とアウトドアアクティビティを通じて、自己の主体的能力を開発し、発展させることが目標である。具体的には1キャンピングを安全に自分たちの力で楽しむことができる。2キャンプに関する知識や技術について自分で求め、深めることができる。3キャンプを通じて人間関係を広めることができる。4自然の中で活動することを通して、自己や環境(社会)に対する興味、関心、肯定的な倫理観を養うことである。キャンピングは、学内施設である野性の森において幕営(3泊)しながら、アウトドアアクティビティを実施する予定である。	対面 男女別要素(宿泊) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください、詳細は体育センターHPで確認してください。
2619313	スノースポーツ	3	1.0	3	春季休業中	集中	坂本 昭裕	本時では、スノースポーツ(アルペンスキー・スノーボード)を通じて自立的な能力を開発する。具体的な学修目標は、1スノースポーツを安全に自分の力で楽しむことができる。2スノースポーツに関する知識や技術を主体的に求め、高めることができる。自分の滑りを分析することができる。3スノースポーツを通じて人間関係を豊に広めることができる。4スノースポーツを通じて自然について考えを深めることができることである。以上を学修目標にしながら自己の開発や改善が図れることを目指したい。また、スノースポーツを生涯スポーツとして楽しめるような契機としたい。	対面 男女別要素(宿泊) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。
2628303	東洋的心身鍛練法	3	0.5	3	春季休業中	集中	山田 永子	日常的な動作の質を深めていくさまざまなエクササイズを通して、東洋的心身鍛錬法の世界の一端を垣間見る。いくつかのセッションのテーマにしたがったエクササイズやワークを行い、最後に座禅をして終わる。	対面 G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。
2642303	ボウリング	3	0.5	3	春季休業中	集中	谷川 聡,奈良 隆章	マナーと技術向上を図りながら生涯スポーツへ向けたボウリングを基礎から学ぶ。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2644303	マリンスポーツ	3	1.0	3	夏季休業中	集中	高木 英樹	本学プールおよび下田臨海実験センター周辺海域を実習場所として、スキンダイビングに関する基本的な技術と安全に実施するための知識を習得する。合わせて、自然環境への関心や理解を深めるために、各種講義やワークショップを実施する。	泳力検査を実施する。 対面 男女別要素(ウェア) 男女別要素(宿泊) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育スポーツ局HPで確認してください。

ウェルネス・スポーツ

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2505373	ウェルネス・スポーツ	3	0.5	1	秋C	集中	谷川 聡	健康・体力づくりを実践する能力とスポーツの楽しさを享受する能力とを生涯にわたって高めていくことをめざして、幅広い視点から運動・スポーツの基礎的な知識と技能を習得し、その魅力に迫る。	今年度秋学期入学生及びG30学生対象の必修科目。一般学生は受講不可。 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 詳細後日周知 オリエンテーションに必ず出席すること。体力測定の評価に際して、男女で基準値が異なる。

全学年対象自由科目(講義)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2802351	アメリカンフットボール(講義)	1	1.0	1 - 4	秋AB	月6	松元 剛	アメリカンフットボールの文化的背景を通して、「見る、支える」の観点から、アメリカンフットボールの観戦法について実践的に学習する。	学外実習として、国内での試合観戦を行う。 実務経験教員 対面 G科目 詳細後日周知

全学年対象自由科目(演習)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2820392	スポーツケア	2	2.0	1 - 4	春B 春AB 春C	集中 月6 集中	福田 崇,竹村 雅裕,渡部 厚一	スポーツ障害に対する知識・処置方法を習得することを目的として,スポーツ障害の特性を解説し,その管理方法としてのスポーツマッサージ,テーピング,応急処置等の演習を行う。	受講を希望する学生は4月10日(金)までにTWINSで履修申請をすること。その時点で受講希望者数が10名を満たさなければ開講しない場合がある。開講しない場合はメールで連絡する。テーピングのテープ代金として¥3,500 対面 G科目
2847342	ランニングの世界	2	1.0	2 - 4	春C 夏季休業中	火5 集中	鍋倉 賢治	人はなぜ走るのか?古代人類は、走ることによって生存を可能にし、進化したと言われている。昨今のマラソンブームの背景を生物学的、社会学的、歴史的に学び、ランニングについての自身の体験を深める。また、休日や夏季休暇中を使い、筑波山などに赴き、近年拡がりつつあるトレイルランニングなどを体験し、ランニングの世界をより拡げる。	過去に「つくばマラソン」を受講した者、ランニング習慣のある学生を対象とする。集中講義と併せて1単位とする。 対面 G科目 詳細後日周知
2859352	ラグビー精神と文化	2	1.0	1 - 4	秋AB	金4	嵯峨 寿,竹村 雅裕	ラグビーの精神とは競技のいかなる特性、競技者心理に由来するのか、また、その精神はいかなる行動と構造物に表れているのか。この授業ではノーサイド精神を表すアフターマッチファンクションとクラブハウスの意義と将来の可能性について展望する。	初回授業場所等詳細は、体育センターHPで確認してください。 対面 G科目 詳細後日周知

全学年対象自由科目(通年実技)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2824343	つくばマラソン(春)	3	0.5	1 - 4	春AB	金5	鍋倉 賢治	11月第4日曜日に行なわれる「つくばマラソン」大会に参加することを目標に、マラソンの走法、科学的トレーニング法等の知識と技能を習得し、生涯を通じてマラソンに親しむ素地を育む。	春学期を受講しないと、秋学期の受講はできません。 対面 G科目 詳細後日周知 原則としてオリエンテーションに参加しないと受講できません。詳細は体育センターHPで確認してください。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2824353	つくばマラソン(秋)	3	0.5	1 - 4	秋AB	金5	鍋倉 賢治	11月第4日曜日に行なわれる「つくばマラソン」大会に参加することを目標に、マラソンの走法、科学的トレーニング法等の知識と技能を習得し、生涯を通じてマラソンに親しむ素地を育む。	春学期のつくばマラソン(春)を受講しないと受講できません。 対面 G科目 詳細後日周知 原則としてオリエンテーションに参加しないと受講できません。 詳細は体育センターHPで確認してください。
2850342	つくばマラソン中級(春)	2	0.5	2 - 4	春AB	金5	鍋倉 賢治	過去に自由科目「つくばマラソン」を受講した学生を対象に、マラソン経験者として初心者への範となることを通し、自身のランニング経験をさらに深化させ、スポーツ(ランニング)の生活化を図る。	過去につくばマラソンを履修した学生に限る。春学期を受講しないと、秋学期の受講はできません。 対面 G科目 詳細後日周知 原則としてオリエンテーションに参加しないと受講できません。 詳細は体育センターHPで確認してください。
2850352	つくばマラソン中級(秋)	2	0.5	2 - 4	秋AB	金5	鍋倉 賢治	過去に自由科目「つくばマラソン」を受講した学生を対象に、マラソン経験者として初心者への範となることを通し、自身のランニング経験をさらに深化させ、スポーツ(ランニング)の生活化を図る。	過去につくばマラソンを履修した学生に限る。つくばマラソン中級(春)を受講しないと受講できません。 対面 G科目 詳細後日周知 原則としてオリエンテーションに参加しないと受講できません。 詳細は体育センターHPで確認してください。

全学年対象自由科目(集中実技)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2800343	合気道	3	0.5	1 - 4	秋C	集中	三橋 大輔	合気道の練習を通して、こころとからだの運用法の合理性を理解し体得することを目指す。技を通じて、気を体感したり、積極的なリラックスの状態や心身統一の状態になれることを目標とする。レポートにより、学んだことを総合的に振り返る。	対面 男女別要素(接触) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください、詳細は体育センターHPで確認してください。
2803343	インラインスケート	3	0.5	1 - 4	夏季休業中	集中	河合 季信	インラインスケートの基礎的な技術および知識を学ぶとともに、生涯を通じて安全に実施するための知識と態度を身につける。	実務経験教員 対面 G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。
2804343	ウィンドサーフィン	3	1.0	1 - 4	夏季休業中	集中	鍋倉 賢治	ウィンドサーフィンの基礎的技術と知識を学び、未経験の運動の習熟過程で身体に対する認識を深める。また、自然環境下での危険と安全配慮を認識し、生涯にわたりウィンドサーフィンに親しむ態度や可能性を模索する。実習は霞ヶ浦湖畔にて実施する。	泳力検査を実施する。 現地に宿泊する。 対面 男女別要素(ウェア) 男女別要素(宿泊) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください、詳細は体育センターHPで確認してください。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2806343	ウォールクライミング	3	0.5	1 - 4	夏季休業中	集中	秋山 央	ウォールクライミングを通して、自身の空間での位置感覚を体験し、手足、体幹を用いてクライミングの技術を習得するとともに体力、集中力の心身の持久性を養う。さらに、バディーとの協力のもとクライミングの成功、達成体験による、他者との信頼感の重要性を体験する。	対面 G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。 基本的には、体重でペアを組みます。シューズ、ハーネスに関してもサイズで選びます。懸垂が可能かどうかが重要。
2809343	キャンピング	3	1.0	1 - 4	夏季休業中	集中	坂本 昭裕	キャンピングにおいては、自然の中での生活体験とアウトドアアクティビティを通じて、自己の主体的能力を開発し、発展させることが目標である。具体的には1キャンピングを安全に自分たちの力で楽しむことができる。2キャンプに関する知識や技術について自分で求め、深めることができる。3キャンプを通じて人間関係を広めることができる。4自然の中で活動することを通して、自己や環境(社会)に対する興味、関心、肯定的な倫理観を養うことである。キャンピングは、学内施設である野性の森において幕営(3泊)しながら、アウトドアアクティビティを実施する予定である。	対面 男女別要素(宿泊) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。
2819353	スノースポーツ	3	1.0	1 - 4	春季休業中	集中	坂本 昭裕	本時では、スノースポーツ(アルペンスキー・スノーボード)を通じて自立的な能力を開発する。具体的な学修目標は、1スノースポーツを安全に自分の力で楽しむことができる。2スノースポーツに関する知識や技術を主体的に求め、高めることができる。自分の滑りを分析することができる。3スノースポーツを通じて人間関係を豊に広めることができる。4スノースポーツを通じて自然について考えを深めることができることである。以上を学修目標にしながら自己の開発や改善が図れることを目指したい。また、スノースポーツを生涯スポーツとして楽しめるような契機としたい。	対面 男女別要素(宿泊) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。
2828343	東洋的心身鍛練法	3	0.5	1 - 4	春季休業中	集中	山田 永子	日常的な動作の質を深めていくさまざまなエクササイズを通して、東洋的心身鍛錬法の世界の一端を垣間見る。いくつかのセッションのテーマにしたがったエクササイズやワークを行い、最後に座禅をして終わる。	対面 G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。
2842343	ボウリング	3	0.5	1 - 4	春季休業中	集中	谷川 聡,奈良 隆章	マナーと技術向上を図りながら生涯スポーツへ向けたボウリングを基礎から学ぶ。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。
2844343	マリンスポーツ	3	1.0	1 - 4	夏季休業中	集中	高木 英樹	本学プールおよび下田臨海実験センター周辺海域を実習場所として、スキンダイビングに関する基本的な技術と安全に実施するための知識を習得する。合わせて、自然環境への関心や理解を深めるために、各種講義やワークショップを実施する。	泳力検査を実施する。 対面 男女別要素(ウェア) 男女別要素(宿泊) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育スポーツ局HPで確認してください。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2857343	ポタツーリング	3	0.5	1 - 4	夏季休業中	集中	福田 崇	ポタツーリングとは、「自転車で安全にのんびりと長く走る」という意味である。本授業では、風を切る爽快さを感じながら自転車に乗ること、時には目的地にまで電車で移動をして、そこから自転車で散策をする。	フロントとリアのタイヤを外すことができる自転車を受講生で用意する必要がある。オリエンテーション時に購入アドバイスを行う。これからスポーツバイクに乗りたい初・中級者が対象。 実務経験教員 対面 G科目 詳細後日周知 自転車(クロスバイク)はレンタルします。自分の自転車を持ち込む際には要相談。これからスポーツバイクに乗りたい初・中級者が対象。 対面 G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。

開設母体　　要件
英語

英語

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
31HA012	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	水1	マダバカス ナヒーン	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「人文、応理、エシス、総学1組」 1班対象 G科目 対面
31HA022	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	水1	宮腰 幸一	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「人文、応理、エシス、総学1組」 2班対象 G科目 対面
31HA032	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	水1	飯塚 雄大	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「人文、応理、エシス、総学1組」 3班対象 G科目 対面
31HA042	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	水1	和田 尚明	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「人文、応理、エシス、総学1組」 4班対象 G科目 対面
31HA052	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	水1	金谷 優	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「人文、応理、エシス、総学1組」 5班対象 G科目 対面
31HA062	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	水1	納谷 亮平	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「人文、応理、エシス、総学1組」 6班対象 G科目 対面
31HA072	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	月4	柳田 優子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「人文、応理、エシス、総学1組」 7班対象 G科目 対面
31HA082	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	月4	磯崎 聡子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「人文、応理、エシス、総学1組」 8班対象 G科目 対面
31HA092	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	月4	土方 裕子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「人文、応理、エシス、総学1組」 9班対象 G科目 対面
31HA102	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	月4	長谷部 郁子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「人文、応理、エシス、総学1組」 10班対象 G科目 対面
31HA112	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	月4	神谷 昇	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「人文、応理、エシス、総学1組」 11班対象 G科目 対面
31HA122	English Reading Skills I	2	1.0	1				「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「人文、応理、エシス、総学1組」 12班対象 2026年度開講せず。 G科目 対面
31HB012	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	水2	マダバカス ナヒーン	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 1班対象 G科目 対面
31HB022	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	水2	飯塚 雄大	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 2班対象 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
31HB032	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	水2	宮腰 幸一	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 3班対象 G科目 対面
31HB042	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	水2	和田 尚明	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 4班対象 G科目 対面
31HB052	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	水2	金谷 優	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 5班対象 G科目 対面
31HB062	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	水2	納谷 亮平	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 6班対象 G科目 対面
31HB072	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	月3	柳田 優子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 7班対象 G科目 対面
31HB082	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	月3	磯崎 聡子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 8班対象 G科目 対面
31HB092	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	月3	土方 裕子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 9班対象 G科目 対面
31HB102	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	月3	神谷 昇	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 10班対象 G科目 対面
31HB112	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	月3	長谷部 郁子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 11班対象 G科目 対面
31HB122	English Reading Skills I	2	1.0	1				「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 12班対象 2026年度開講せず。 G科目 対面
31HC012	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	月6	黄 賢暻	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 1班対象 G科目 対面
31HC022	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	月6	マラテ アシュレシャ アルン	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 2班対象 G科目 対面
31HC032	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	月6	神谷 昇	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 3班対象 G科目 対面
31HC042	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	月6	山村 崇斗	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 4班対象 G科目 対面
31HC052	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	月6	納谷 亮平	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 5班対象 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
31HC062	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	月6	金谷 優	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 6班対象 G科目 対面
31HC072	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	木1	飯塚 雄大	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 7班対象 G科目 対面
31HC082	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	木1	吉原 ゆかり	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 8班対象 G科目 対面
31HC092	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	木1	齋藤 一	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 9班対象 G科目 対面
31HC102	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	木1	磯崎 聡子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 10班対象 G科目 対面
31HC112	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	木1	長谷部 郁子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 11班対象 G科目 対面
31HC122	English Reading Skills I	2	1.0	1				「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 12班対象 2026年度開講せず。 G科目 対面
31HE012	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	月5	黄 賢暻	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 1班対象 G科目 対面
31HE022	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	月5	ヴルガリス ゲラシモス	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 2班対象 G科目 対面
31HE032	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	月5	神谷 昇	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 3班対象 G科目 対面
31HE042	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	月5	山村 崇斗	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 4班対象 G科目 対面
31HE052	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	月5	エンヒバイヤル ノミンエルデネ	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 5班対象 G科目 対面
31HE062	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	月5	マラテ アシュレシャ アルン	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 6班対象 G科目 対面
31HE072	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	木2	飯塚 雄大	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 7班対象 G科目 対面
31HE082	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	木2	吉原 ゆかり	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 8班対象 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
31HE092	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	木2	齋藤 一	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 9班対象 G科目 対面
31HE102	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	木2	磯崎 聡子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 10班対象 G科目 対面
31HE112	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	木2	長谷部 郁子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 11班対象 G科目 対面
31HE122	English Reading Skills I	2	1.0	1				「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 12班対象 2026年度開講せず。 G科目 対面
31HF012	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	火3	マラテ アシュレシャ アルン	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 1班対象 G科目 対面
31HF022	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	火3	岡田 祐輝	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 2班対象 G科目 対面
31HF032	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	火3	末森 咲	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 3班対象 G科目 対面
31HF042	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	火3	馬籠 清子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 4班対象 G科目 対面
31HF052	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	火3	山村 崇斗	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 5班対象 G科目 対面
31HF062	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	火3	磯崎 聡子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 6班対象 G科目 対面
31HF072	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	金2	飯塚 雄大	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 7班対象 G科目 対面
31HF082	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	金2	山口 恵里子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 8班対象 G科目 対面
31HF092	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	金2	マダバカス ナヒーン	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 9班対象 G科目 対面
31HF102	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	金2	納谷 亮平	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 10班対象 G科目 対面
31HF112	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	金2	ネウパネ スダ	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 11班対象 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
31HF122	English Reading Skills I	2	1.0	1				「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 12班対象 2026年度開講せず。 G科目 対面
31HG012	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	火4	マラテ アシュレシャ アルン	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養うとともに、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 1班対象 G科目 対面
31HG022	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	火4	岡田 祐輝	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 2班対象 G科目 対面
31HG032	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	火4	山村 崇斗	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 3班対象 G科目 対面
31HG042	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	火4	馬籠 清子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 4班対象 G科目 対面
31HG052	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	火4	ヴルガリス ゲラシモス	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 5班対象 G科目 対面
31HG062	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	火4	磯崎 聡子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 6班対象 G科目 対面
31HG072	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	金1	ネウパネ スダ	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 7班対象 G科目 対面
31HG082	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	金1	山口 恵里子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 8班対象 G科目 対面
31HG092	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	金1	納谷 亮平	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 9班対象 G科目 対面
31HG102	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	金1	飯塚 雄大	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 10班対象 G科目 対面
31HG112	English Reading Skills I	2	1.0	1	春AB	金1	土方 裕子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 11班対象 G科目 対面
31HG122	English Reading Skills I	2	1.0	1				「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 12班対象 2026年度開講せず。 G科目 対面
31HH012	English Reading Skills I	2	1.0	2 - 4	春AB	金4	納谷 亮平	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	2019年度以降入学者対象 再履修者用クラス G科目 オンライン(オンデマンド型)
31HH022	English Reading Skills I	2	1.0	2 - 4	春AB	水3	宮腰 幸一	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	2019年度以降入学者対象 再履修者用クラス G科目 オンライン(オンデマンド型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
31HH032	English Reading Skills I	2	1.0	2 - 4	春季休業中	集中	イスマイロフ ムロド	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	2019年度以降入学者対象 再履修者用クラス 人数制限あり 詳細後日周知 G科目 オンライン(オンデマンド型) 原則としてオンライン(オンデマンド)とする。但し、状況に応じて、同時双方向型のオンライン授業を併用する。開講当該年度の卒業予定者は履修不可。1年次学生は、再履修学生、当該年度秋学期入学者のみ履修可。
31KA012	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	水1	マダバカス ナヒーン	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「人文、応理、エシス、総学1組」 1班対象 G科目 対面
31KA022	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	水1	宮腰 幸一	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「人文、応理、エシス、総学1組」 2班対象 G科目 対面
31KA032	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	水1	飯塚 雄大	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「人文、応理、エシス、総学1組」 3班対象 G科目 対面
31KA042	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	水1	和田 尚明	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「人文、応理、エシス、総学1組」 4班対象 G科目 対面
31KA052	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	水1	金谷 優	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「人文、応理、エシス、総学1組」 5班対象 G科目 対面
31KA062	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	水1	納谷 亮平	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「人文、応理、エシス、総学1組」 6班対象 G科目 対面
31KA072	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	月4	柳田 優子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「人文、応理、エシス、総学1組」 7班対象 G科目 対面
31KA082	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	月4	磯崎 聡子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「人文、応理、エシス、総学1組」 8班対象 G科目 対面
31KA092	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	月4	土方 裕子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「人文、応理、エシス、総学1組」 9班対象 G科目 対面
31KA102	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	月4	長谷部 郁子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「人文、応理、エシス、総学1組」 10班対象 G科目 対面
31KA112	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	月4	神谷 昇	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「人文、応理、エシス、総学1組」 11班対象 G科目 対面
31KA122	English Reading Skills II	2	1.0	1				「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「人文、応理、エシス、総学1組」 12班対象 2026年度開講せず。 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
31KB012	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	水2	マダバカス ナヒーン	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 1班対象 G科目 対面
31KB022	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	水2	飯塚 雄大	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 2班対象 G科目 対面
31KB032	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	水2	宮腰 幸一	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 3班対象 G科目 対面
31KB042	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	水2	和田 尚明	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 4班対象 G科目 対面
31KB052	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	水2	金谷 優	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 5班対象 G科目 対面
31KB062	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	水2	納谷 亮平	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 6班対象 G科目 対面
31KB072	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	月3	柳田 優子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 7班対象 G科目 対面
31KB082	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	月3	磯崎 聡子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 8班対象 G科目 対面
31KB092	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	月3	土方 裕子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 9班対象 G科目 対面
31KB102	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	月3	神谷 昇	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 10班対象 G科目 対面
31KB112	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	月3	長谷部 郁子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 11班対象 G科目 対面
31KB122	English Reading Skills II	2	1.0	1				「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 12班対象 2026年度開講せず。 G科目 対面
31KC012	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	月6	黄 賢暻	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 1班対象 G科目 対面
31KC022	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	月6	マラテ アシュレシャ アルン	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 2班対象 G科目 対面
31KC032	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	月6	神谷 昇	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 3班対象 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
31KC042	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	月6	山村 崇斗	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 4班対象 G科目 対面
31KC052	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	月6	納谷 亮平	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 5班対象 G科目 対面
31KC062	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	月6	金谷 優	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 6班対象 G科目 対面
31KC072	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	木1	飯塚 雄大	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 7班対象 G科目 対面
31KC082	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	木1	吉原 ゆかり	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 8班対象 G科目 対面
31KC092	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	木1	齋藤 一	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 9班対象 G科目 対面
31KC102	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	木1	磯崎 聡子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 10班対象 G科目 対面
31KC112	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	木1	長谷部 郁子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 11班対象 G科目 対面
31KC122	English Reading Skills II	2	1.0	1				「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 12班対象 2026年度開講せず。 G科目 対面
31KE012	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	月5	黄 賢暻	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 1班対象 G科目 対面
31KE022	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	月5	ヴルガリス ゲラシモス	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 2班対象 G科目 対面
31KE032	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	月5	神谷 昇	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 3班対象 G科目 対面
31KE042	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	月5	山村 崇斗	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 4班対象 G科目 対面
31KE052	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	月5	エンヒバイヤル ノミンエルデネ	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 5班対象 G科目 対面
31KE062	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	月5	マラテ アシュレシャ アルン	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 6班対象 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
31KE072	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	木2	飯塚 雄大	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 7班対象 G科目 対面
31KE082	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	木2	吉原 ゆかり	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 8班対象 G科目 対面
31KE092	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	木2	齋藤 一	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 9班対象 G科目 対面
31KE102	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	木2	磯崎 聡子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 10班対象 G科目 対面
31KE112	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	木2	長谷部 郁子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 11班対象 G科目 対面
31KE122	English Reading Skills II	2	1.0	1				「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 12班対象 2026年度開講せず。 G科目 対面
31KF012	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	火3	マラテ アシュレシャ アルン	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 1班対象 G科目 対面
31KF022	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	火3	岡田 祐輝	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 2班対象 G科目 対面
31KF032	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	火3	末森 咲	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 3班対象 G科目 対面
31KF042	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	火3	馬籠 清子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 4班対象 G科目 対面
31KF052	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	火3	山村 崇斗	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 5班対象 G科目 対面
31KF062	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	火3	磯崎 聡子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 6班対象 G科目 対面
31KF072	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	金2	飯塚 雄大	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 7班対象 G科目 対面
31KF082	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	金2	山口 恵里子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 8班対象 G科目 対面
31KF092	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	金2	マダバカス ナヒーン	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 9班対象 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
31KF102	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	金2	納谷 亮平	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 10班対象 G科目 対面
31KF112	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	金2	ネウパネ スダ	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 11班対象 G科目 対面
31KF122	English Reading Skills II	2	1.0	1				「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 12班対象 2026年度開講せず。 G科目 対面
31KG012	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	火4	マラテ アシュレシャ アルン	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 1班 対象 G科目 対面
31KG022	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	火4	岡田 祐輝	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 2班 対象 G科目 対面
31KG032	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	火4	山村 崇斗	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 3班 対象 G科目 対面
31KG042	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	火4	馬籠 清子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 4班 対象 G科目 対面
31KG052	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	火4	ヴルガリス ゲラシモス	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 5班 対象 G科目 対面
31KG062	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	火4	磯崎 聡子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 6班 対象 G科目 対面
31KG072	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	金1	ネウパネ スダ	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 7班 対象 G科目 対面
31KG082	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	金1	山口 恵里子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 8班 対象 G科目 対面
31KG092	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	金1	納谷 亮平	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 9班 対象 G科目 対面
31KG102	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	金1	飯塚 雄大	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 10班 対象 G科目 対面
31KG112	English Reading Skills II	2	1.0	1	秋AB	金1	土方 裕子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 11班 対象 G科目 対面
31KG122	English Reading Skills II	2	1.0	1				「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 12班 対象 2026年度開講せず。 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
31KH012	English Reading Skills II	2	1.0	2 - 4	秋AB	金4	納谷 亮平	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	2019年度以降入学者対象 再履修者用クラス G科目 オンライン(オンデマンド型)
31KH022	English Reading Skills II	2	1.0	2 - 4	秋AB	水3	宮腰 幸一	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	2019年度以降入学者対象 再履修者用クラス G科目 オンライン(オンデマンド型)
31KH032	English Reading Skills II	2	1.0	2 - 4	夏季休業中	集中	イスマイロフ ムロド	「一般学術目的の英語」の枠組みで、実践的リーディング方略を中心に、より深く学ぶことができる。これにより、言語としての英語を深く理解するとともに、大学生として学術的及び学際的素養を養い、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。	2019年度以降入学者対象 再履修者用クラス 人数制限あり 詳細後日周知 G科目 オンライン(オンデマンド型) 原則としてオンライン(オンデマンド)とする。但し、状況に応じて、同時双方向型のオンライン授業を併用する。当該年度の夏季卒業予定者は履修不可。1年次学生は、原則履修不可。
31JA012	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	月4	マラテ アシュレシャ アルン	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「人文、応理、エシス、総学1組」 1班対象 G科目 対面
31JA022	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	月4	ヴルガリス ゲラシモス	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「人文、応理、エシス、総学1組」 2班対象 G科目 対面
31JA032	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	月4	ジャロ ママドウ サリロウ	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「人文、応理、エシス、総学1組」 3班対象 G科目 対面
31JA042	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	月4	エンヒバイヤル ノミンエルデネ	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「人文、応理、エシス、総学1組」 4班対象 G科目 対面
31JA052	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	月4	柳沢 明文	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「人文、応理、エシス、総学1組」 5班対象 G科目 対面
31JA062	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	月4	梅原 優	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「人文、応理、エシス、総学1組」 6班対象 G科目 対面
31JA072	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	水1	矢澤 翔	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「人文、応理、エシス、総学1組」 7班対象 G科目 対面
31JA082	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	水1	イスマイロフ ムロド	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「人文、応理、エシス、総学1組」 8班対象 G科目 対面
31JA092	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	水1	シュウェンダマンフェイ ヨン ドーカス	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「人文、応理、エシス、総学1組」 9班対象 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
31JA102	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	水1	山口 有梨沙	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「人文、応理、エシス、総学1組」 10班対象 G科目 対面
31JA112	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	水1	末森 咲	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「人文、応理、エシス、総学1組」 11班対象 G科目 対面
31JA122	English Presentation Skills I	2	1.0	1				「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「人文、応理、エシス、総学1組」 12班対象 2026年度開講せず。 G科目 対面
31JB012	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	月3	柳沢 明文	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 1班対象 G科目 対面
31JB022	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	月3	ジャロ ママドウ サリロウ	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 2班対象 G科目 対面
31JB032	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	月3	黄 賢暻	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 3班対象 G科目 対面
31JB042	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	月3	ヴルガリス ゲラシモス	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 4班対象 G科目 対面
31JB052	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	月3	エンヒバイヤル ノミンエルデネ	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 5班対象 G科目 対面
31JB062	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	月3	梅原 優	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 6班対象 G科目 対面
31JB072	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	水2	山口 有梨沙	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 7班対象 G科目 対面
31JB082	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	水2	矢澤 翔	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 8班対象 G科目 対面
31JB092	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	水2	イスマイロフ ムロド	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 9班対象 G科目 対面
31JB102	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	水2	末森 咲	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 10班対象 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
31JB112	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	水2	シュウェンダマン フェイ ヨン ドーカス	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 11班対象 G科目 対面
31JB122	English Presentation Skills I	2	1.0	1				「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 12班対象 2026年度開講せず。 G科目 対面
31JC012	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	木1	ジャロ ママドウ サリロウ	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 1班対象 G科目 対面
31JC022	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	木1	柳沢 明文,梶間 里奈	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 2班対象 G科目 対面
31JC032	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	木1	小野 雄一	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 3班対象 G科目 対面
31JC042	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	木1	ヴルガリス ゲラシモス	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 4班対象 G科目 対面
31JC052	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	木1	ネウパネ スダ	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 5班対象 G科目 対面
31JC062	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	木1	矢澤 翔	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 6班対象 G科目 対面
31JC072	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	月6	新家 理沙	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 7班対象 G科目 対面
31JC082	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	月6	対馬 美千子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 8班対象 G科目 対面
31JC092	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	月6	島田 雅晴	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 9班対象 G科目 対面
31JC102	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	月6	梅原 優	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 10班対象 G科目 対面
31JC112	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	月6	阿部 幸大	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 11班対象 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
31JC122	English Presentation Skills I	2	1.0	1				「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 12班対象 2026年度開講せず。 G科目 対面
31JE012	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	木2	小野 雄一	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 1班対象 G科目 対面
31JE022	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	木2	柳沢 明文,早房 拓実	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 2班対象 G科目 対面
31JE032	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	木2	ジャロ ママドウ サリロウ	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 3班対象 G科目 対面
31JE042	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	木2	ヴルガリス ゲラシモス	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 4班対象 G科目 対面
31JE052	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	木2	ネウパネ スダ	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 5班対象 G科目 対面
31JE062	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	木2	マダニ ツィアディン セイェッド	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 6班対象 G科目 対面
31JE072	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	月5	新家 理沙	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 7班対象 G科目 対面
31JE082	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	月5	対馬 美千子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 8班対象 G科目 対面
31JE092	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	月5	島田 雅晴	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 9班対象 G科目 対面
31JE102	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	月5	阿部 幸大	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 10班対象 G科目 対面
31JE112	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	月5	梅原 優	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 11班対象 G科目 対面
31JE122	English Presentation Skills I	2	1.0	1				「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 12班対象 2026年度開講せず。 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
31JF012	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	金2	井出 里咲子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 1班対象 G科目 対面
31JF022	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	金2	山口 真由理	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 2班対象 G科目 対面
31JF032	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	金2	早房 拓実	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 3班対象 G科目 対面
31JF042	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	金2	ブリンクマン ブルース ケネス	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 4班対象 G科目 対面
31JF052	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	金2	山口 有梨沙	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 5班対象 G科目 対面
31JF062	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	金2	末森 咲	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 6班対象 G科目 対面
31JF072	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	火3	ジャロ ママドウ サリロウ	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 7班対象 G科目 対面
31JF082	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	火3	シュウェンダマン フェイ ヨン ドーカス	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 8班対象 G科目 対面
31JF092	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	火3	阿部 幸大	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 9班対象 G科目 対面
31JF102	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	火3	小泉 利恵	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 10班対象 G科目 対面
31JF112	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	火3	平井 明代	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 11班対象 G科目 対面
31JF122	English Presentation Skills I	2	1.0	1				「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 12班対象 2026年度開講せず。 G科目 対面
31JG012	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	金1	山口 真由理	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 1班対象 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
31JG022	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	金1	井出 里咲子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 2班 対象 G科目 対面
31JG032	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	金1	エンヒバイヤル ノミンエルデネ	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 3班 対象 G科目 対面
31JG042	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	金1	ブリンクマン ブルース ケネス	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 4班 対象 G科目 対面
31JG052	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	金1	山口 有梨沙	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 5班 対象 G科目 対面
31JG062	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	金1	末森 咲	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 6班 対象 G科目 対面
31JG072	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	火4	ジャロ ママドウ サリロウ	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 7班 対象 G科目 対面
31JG082	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	火4	シュウェンダマン フェイ ヨン ドーカス	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 8班 対象 G科目 対面
31JG092	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	火4	阿部 幸大	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 9班 対象 G科目 対面
31JG102	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	火4	小泉 利恵	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 10班 対象 G科目 対面
31JG112	English Presentation Skills I	2	1.0	1	春AB	火4	平井 明代	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 11班 対象 G科目 対面
31JG122	English Presentation Skills I	2	1.0	1				「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 12班 対象 2026年度開講せず。 G科目 対面
31JH012	English Presentation Skills I	2	1.0	2 - 4	春AB	金3	マダバカス ナヒーン	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	2019年度以降入学者対象 再履修者用クラス G科目 オンライン(オンデマンド型)
31JH022	English Presentation Skills I	2	1.0	2 - 4	春AB	水4	マダバカス ナヒーン	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	2019年度以降入学者対象 再履修者用クラス G科目 オンライン(オンデマンド型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
31JH032	English Presentation Skills I	2	1.0	2 - 4	春季休業中	集中	末森 咲	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	2019年度以降入学者対象 再履修者用クラス 人数制限あり 詳細後日周知 G科目 オンライン(オンデマンド型) 原則としてオンライン(オンデマンド)とする。但し、状況に応じて、同時双方向型のオンライン授業を併用する。開講当該年度の卒業予定者は履修不可。1年次学生は、再履修学生、当該年度秋学期入学者のみ履修可。
31LA012	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	月4	マラテ アシュレシャ アルン	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「人文、応理、エシス、総学1組」 1班対象 G科目 対面
31LA022	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	月4	ヴルガリス ゲラシモス	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「人文、応理、エシス、総学1組」 2班対象 G科目 対面
31LA032	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	月4	ニゴラ ドジャリロワ	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「人文、応理、エシス、総学1組」 3班対象 G科目 対面
31LA042	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	月4	エンヒバイヤル ノミンエルデネ	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「人文、応理、エシス、総学1組」 4班対象 G科目 対面
31LA052	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	月4	柳沢 明文	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「人文、応理、エシス、総学1組」 5班対象 G科目 対面
31LA062	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	月4	梅原 優	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「人文、応理、エシス、総学1組」 6班対象 G科目 対面
31LA072	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	水1	矢澤 翔	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「人文、応理、エシス、総学1組」 7班対象 G科目 対面
31LA082	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	水1	イスマイロフ ムロド	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「人文、応理、エシス、総学1組」 8班対象 G科目 対面
31LA092	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	水1	シュウェンダマンフェイ ヨン ドーカス	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「人文、応理、エシス、総学1組」 9班対象 G科目 対面
31LA102	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	水1	山口 有梨沙	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「人文、応理、エシス、総学1組」 10班対象 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
31LA112	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	水1	末森 咲	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「人文、応理、エシス、総学1組」 11班対象 G科目 対面
31LA122	English Presentation Skills II	2	1.0	1				「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「人文、応理、エシス、総学1組」 12班対象 2026年度開講せず。 G科目 対面
31LB012	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	月3	柳沢 明文	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 1班対象 G科目 対面
31LB022	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	月3	ニゴラ ドジャリロワ	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 2班対象 G科目 対面
31LB032	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	月3	黄 賢暻	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 3班対象 G科目 対面
31LB042	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	月3	ヴルガリス ゲラシモス	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 4班対象 G科目 対面
31LB052	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	月3	エンヒバイヤル ノミンエルデネ	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 5班対象 G科目 対面
31LB062	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	月3	梅原 優	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 6班対象 G科目 対面
31LB072	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	水2	山口 有梨沙	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 7班対象 G科目 対面
31LB082	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	水2	矢澤 翔	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 8班対象 G科目 対面
31LB092	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	水2	イスマイロフ ムロド	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 9班対象 G科目 対面
31LB102	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	水2	末森 咲	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 10班対象 G科目 対面
31LB112	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	水2	シュウェンダマンフェイ ヨン ドーカス	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 11班対象 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
31LB122	English Presentation Skills II	2	1.0	1				「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「比文、日日、社工、体育1、総学2組」 12班対象 2026年度開講せず。 G科目 対面
31LC012	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	木1	ニゴラ ドジャリロワ	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 1班対象 G科目 対面
31LC022	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	木1	柳沢 明文,梶間 里奈	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 2班対象 G科目 対面
31LC032	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	木1	小野 雄一	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 3班対象 G科目 対面
31LC042	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	木1	ヴルガリス ゲラシモス	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 4班対象 G科目 対面
31LC052	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	木1	ネウパネ スダ	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 5班対象 G科目 対面
31LC062	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	木1	矢澤 翔	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 6班対象 G科目 対面
31LC072	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	月6	新家 理沙	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 7班対象 G科目 対面
31LC082	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	月6	対馬 美千子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 8班対象 G科目 対面
31LC092	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	月6	島田 雅晴	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 9班対象 G科目 対面
31LC102	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	月6	梅原 優	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 10班対象 G科目 対面
31LC112	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	月6	阿部 幸大	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 11班対象 G科目 対面
31LC122	English Presentation Skills II	2	1.0	1				「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3組」 12班対象 2026年度開講せず。 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
31LE012	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	木2	小野 雄一	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 1班対象 G科目 対面
31LE022	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	木2	柳沢 明文,早房 拓実	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 2班対象 G科目 対面
31LE032	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	木2	ニゴラ ドジャリロワ	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 3班対象 G科目 対面
31LE042	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	木2	ヴルガリス ゲラシモス	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 4班対象 G科目 対面
31LE052	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	木2	ネウパネ スダ	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 5班対象 G科目 対面
31LE062	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	木2	マダニ ツィアディン セイェッド	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 6班対象 G科目 対面
31LE072	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	月5	新家 理沙	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 7班対象 G科目 対面
31LE082	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	月5	対馬 美千子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 8班対象 G科目 対面
31LE092	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	月5	島田 雅晴	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 9班対象 G科目 対面
31LE102	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	月5	阿部 幸大	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 10班対象 G科目 対面
31LE112	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	月5	梅原 優	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 11班対象 G科目 対面
31LE122	English Presentation Skills II	2	1.0	1				「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「医学、看護、医療科学、芸術、総学4組」 12班対象 2026年度開講せず。 G科目 対面
31LF012	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	金2	井出 里咲子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	教育、心理、障害、知識、体育2 1班対象 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
31LF022	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	金2	山口 真由理	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 2班対象 G科目 対面
31LF032	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	金2	早房 拓実	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 3班対象 G科目 対面
31LF042	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	金2	ブリンクマン ブルース ケネス	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 4班対象 G科目 対面
31LF052	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	金2	山口 有梨沙	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	教育、心理、障害、知 「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 5班対象 G科目 対面
31LF062	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	金2	末森 咲	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 6班対象 G科目 対面
31LF072	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	火3	ニゴラ ドジャリロワ	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 7班対象 G科目 対面
31LF082	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	火3	シュウェンダマン フェイ ヨン ドーカス	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 8班対象 G科目 対面
31LF092	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	火3	阿部 幸大	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 9班対象 G科目 対面
31LF102	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	火3	小泉 利恵	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 10班対象 G科目 対面
31LF112	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	火3	平井 明代	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 11班対象 G科目 対面
31LF122	English Presentation Skills II	2	1.0	1				「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「教育、心理、障害、知識、体育2、総学5組」 12班対象 2026年度開講せず。 G科目 対面
31LG012	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	金1	山口 真由理	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 1班対象 G科目 対面
31LG022	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	金1	井出 里咲子	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 2班対象 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
31LG032	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	金1	エンヒバイヤル ノミンエルデネ	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 3班 対象 G科目 対面
31LG042	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	金1	ブリンクマン ブルース ケネス	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 4班 対象 G科目 対面
31LG052	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	金1	山口 有梨沙	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 5班 対象 G科目 対面
31LG062	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	金1	末森 咲	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 6班 対象 G科目 対面
31LG072	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	火4	ニゴラ ドジャリロワ	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 7班 対象 G科目 対面
31LG082	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	火4	シュウェンダマン フェイ ヨン ドーカス	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 8班 対象 G科目 対面
31LG092	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	火4	阿部 幸大	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 9班 対象 G科目 対面
31LG102	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	火4	小泉 利恵	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 10班 対象 G科目 対面
31LG112	English Presentation Skills II	2	1.0	1	秋AB	火4	平井 明代	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 11班 対象 G科目 対面
31LG122	English Presentation Skills II	2	1.0	1				「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	「社会、国際、資源、情報、総学6組」 12班 対象 2026年度開講せず。 G科目 対面
31LH012	English Presentation Skills II	2	1.0	2 - 4	秋AB	金3	マダバカス ナヒーン	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	2019年度以降入学者対象 再履修者用クラス G科目 オンライン(オンデマンド型)
31LH022	English Presentation Skills II	2	1.0	2 - 4	秋AB	水4	マダバカス ナヒーン	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	2019年度以降入学者対象 再履修者用クラス G科目 オンライン(オンデマンド型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
31LH032	English Presentation Skills II	2	1.0	2 - 4	夏季休業中	集中	末森 咲	「一般学術目的の英語」の枠組みで、国際的学術交流を目標とした実践的コミュニケーション・スキルをより深く学ぶことができる。プレゼンテーションやディスカッションを中心にインプットとアウトプットの両面から、未知への気付きや理解を養うことができる。教授言語は主に英語。	2019年度以降入学者対象 再履修者用クラス 人数制限あり 詳細後日周知 G科目 オンライン(オンデマンド型) 原則としてオンライン(オンデマンド)とする。但し、状況に応じて、同時双方向型のオンライン授業を併用する。当該年度の夏季卒業予定者は履修不可。1年次学生は、原則履修不可。

英語(選択・自由科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3187012	TOEFL Practice I	2	1.0	1 - 4				世界で最も広く受け入れられている英語能力試験であるTOEFLのうち、Listening, Grammar, Readingを中心に学修し、学術的な課題を遂行する能力を養う。	履修対象英語レベル、履修申請方法等は後日掲示により周知。 2026年度開講せず。 G科目 対面
3187022	TOEFL Practice I	2	1.0	1 - 4	秋C	集中		世界で最も広く受け入れられている英語能力試験であるTOEFLのうち、Listening, Grammar, Readingを中心に学修し、学術的な課題を遂行する能力を養う。	履修対象英語レベル TOEFL ITP 450-499 TOEIC 450-600。 準備ができ次第開講。 卒業予定者は履修不可。 詳細後日周知 G科目 対面
3187032	TOEFL Practice II	2	1.0	1 - 4				世界で最も広く受け入れられている英語能力試験であるTOEFLのうち、Listening, Grammar, Readingを中心に学修し、学術的な課題を遂行する能力を養う。	履修対象英語レベル、履修申請方法等は後日掲示により周知。 2026年度開講せず。 G科目 対面
3187042	TOEFL Practice II	2	1.0	1 - 4	秋C	集中		世界で最も広く受け入れられている英語能力試験であるTOEFLのうち、Listening, Grammar, Readingを中心に学修し、学術的な課題を遂行する能力を養う。	履修対象英語レベル TOEFL ITP500-550点、TOEIC600-730点レベル準備ができ次第開講。卒業予定者は履修不可。 詳細後日周知 G科目 対面
3187912	TOEFL Academic English I	2	1.0	1 - 4	夏季休業中	集中		TOEFL ITPのスコアアップを図るために必要なスタディスキルや英語でのアウトプット能力を身につけます。ペアワークやディスカッションといった参加型授業で、アカデミック英語を楽しく学びながら英語学習への意欲を高めます。	原則としてTOEFL ITP 450-499点, TOEIC 450-599点(またはそれに準ずる英語レベル)の学生対象。準備ができ次第開講。履修申請方法等は後日掲示により周知。 英語で授業。 G科目 対面
3187922	TOEFL Academic English I	2	1.0	1 - 4	春季休業中	集中		TOEFL ITPのスコアアップを図るために必要なスタディスキルや英語でのアウトプット能力を身につけます。 ペアワークやディスカッションといった参加型授業で、アカデミック英語を楽しく学びながら英語学習への意欲を高めます。	原則としてTOEFL ITP 450-499点の学生対象。準備ができ次第開講。後日掲示で周知。卒業予定者は履修不可。 英語で授業。 G科目 対面
3187952	TOEFL Academic English II	2	1.0	1 - 4	夏季休業中	集中		TOEFL ITPのスコアアップを図るために必要なスタディスキルや英語でのアウトプット能力を身につけます。 ペアワークやディスカッションといった参加型授業で、アカデミック英語を楽しく学びながら英語学習への意欲を高めます。	原則としてTOEFL ITP500-549点、TOEIC600-730点(またはそれに準ずる英語力)の学生対象。準備ができ次第開講。履修申請方法等は後日掲示で周知。 英語で授業。 G科目 対面
3187962	TOEFL Academic English II	2	1.0	1 - 4	春季休業中	集中		TOEFL ITPのスコアアップを図るために必要なスタディスキルや英語でのアウトプット能力を身につけます。ペアワークやディスカッションといった参加型授業で、アカデミック英語を楽しく学びながら英語学習への意欲を高めます。	原則としてTOEFL ITP 500-549点の学生対象。準備ができ次第開講、後日掲示で周知。卒業予定者は履修不可。 英語で授業。 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3188112	English Academic Writing	2	1.0	1 - 4	春C	月3,4	長谷部 郁子	学群・学類における専門の英語(「特定学術目的の英語」)への橋渡しとなる「一般学術目的の英語」を学ぶ。5週間の短期集中でインプットとアウトプットを大量に行い、学術論文執筆の際に必要となるライティング力、表現力を身につける。	「人文、応理、エシス、比文、日日、社工、体育1、総学1・2組」対象 人数制限あり G科目 対面
3188122	English Academic Writing	2	1.0	1 - 4	春C	月5,6	神谷 昇	学群・学類における専門の英語(「特定学術目的の英語」)への橋渡しとなる「一般学術目的の英語」を学ぶ。5週間の短期集中でインプットとアウトプットを大量に行い、学術論文執筆の際に必要となるライティング力、表現力を身につける。	「医学、看護、医療科学、芸術、生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3・4組」対象 人数制限あり G科目 対面
3188132	English Academic Writing	2	1.0	1 - 4	春C	火3,4	マラテ アシュレシャ アルン	学群・学類における専門の英語(「特定学術目的の英語」)への橋渡しとなる「一般学術目的の英語」を学ぶ。5週間の短期集中でインプットとアウトプットを大量に行い、学術論文執筆の際に必要となるライティング力、表現力を身につける。	「教育、心理、障害、知識、体育2、社会、国際、資源、情報、総学5・6組」対象 人数人数制限あり G科目 対面
3188142	English Academic Writing	2	1.0	1 - 4	秋C	月3,4	長谷部 郁子	学群・学類における専門の英語(「特定学術目的の英語」)への橋渡しとなる「一般学術目的の英語」を学ぶ。5週間の短期集中でインプットとアウトプットを大量に行い、学術論文執筆の際に必要となるライティング力、表現力を身につける。	「人文、応理、エシス、比文、日日、社工、体育1、総学1・2組」対象　人数制限あり G科目 対面
3188152	English Academic Writing	2	1.0	1 - 4	秋C	月5,6	神谷 昇	学群・学類における専門の英語(「特定学術目的の英語」)への橋渡しとなる「一般学術目的の英語」を学ぶ。5週間の短期集中でインプットとアウトプットを大量に行い、学術論文執筆の際に必要となるライティング力、表現力を身につける。	「医学、看護、医療科学、芸術、生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3・4組」対象　人数制限あり G科目 対面
3188162	English Academic Writing	2	1.0	1 - 4	秋C	火3,4	マラテ アシュレシャ アルン	学群・学類における専門の英語(「特定学術目的の英語」)への橋渡しとなる「一般学術目的の英語」を学ぶ。5週間の短期集中でインプットとアウトプットを大量に行い、学術論文執筆の際に必要となるライティング力、表現力を身につける。	「教育、心理、障害、知識、体育2、社会、国際、資源、情報、総学5・6組」対象　人数制限あり G科目 対面
3188172	English Academic Writing	2	1.0	2 - 4				学群・学類における専門の英語(「特定学術目的の英語」)への橋渡しとなる「一般学術目的の英語」を学ぶ。5週間の短期集中でインプットとアウトプットを大量に行い、学術論文執筆の際に必要となるライティング力、表現力を身につける。	全学群対象(「人文、情報」優先)　人数制限あり 2026年度開講せず。 G科目 対面
3188182	English Academic Writing	2	1.0	2 - 4	春AB	金4	マダバカス ナヒーン	学群・学類における専門の英語(「特定学術目的の英語」)への橋渡しとなる「一般学術目的の英語」を学ぶ。5週間の短期集中でインプットとアウトプットを大量に行い、学術論文執筆の際に必要となるライティング力、表現力を身につける。	全学群対象(「社工、物理、教育、心理、障害」優先)　人数制限あり G科目 対面
3188202	English Academic Writing	2	1.0	2 - 4	秋AB	火6	ニゴラ ドジャリロワ	学群・学類における専門の英語(「特定学術目的の英語」)への橋渡しとなる「一般学術目的の英語」を学ぶ。5週間の短期集中でインプットとアウトプットを大量に行い、学術論文執筆の際に必要となるライティング力、表現力を身につける。	全学群対象(「人文、情報」優先)　人数制限あり G科目 対面
3188212	English Academic Writing	2	1.0	2 - 4	秋AB	金4	マダバカス ナヒーン	学群・学類における専門の英語(「特定学術目的の英語」)への橋渡しとなる「一般学術目的の英語」を学ぶ。5週間の短期集中でインプットとアウトプットを大量に行い、学術論文執筆の際に必要となるライティング力、表現力を身につける。	全学群対象(「社工、物理、教育、心理、障害」優先)　人数制限あり G科目 対面
3188222	English Academic Writing	2	1.0	2 - 4				学群・学類における専門の英語(「特定学術目的の英語」)への橋渡しとなる「一般学術目的の英語」を学ぶ。5週間の短期集中でインプットとアウトプットを大量に行い、学術論文執筆の際に必要となるライティング力、表現力を身につける。	人数制限あり 2026年度開講せず。 G科目 対面
3188232	English Academic Writing	2	1.0	2 - 4	春AB	水4	シュウェンダマンフェイ ヨン ドーカス	学群・学類における専門の英語(「特定学術目的の英語」)への橋渡しとなる「一般学術目的の英語」を学ぶ。5週間の短期集中でインプットとアウトプットを大量に行い、学術論文執筆の際に必要となるライティング力、表現力を身につける。	全学群対象　人数制限あり G科目 対面
3188242	English Academic Writing	2	1.0	2 - 4	秋AB	水4	シュウェンダマンフェイ ヨン ドーカス	学群・学類における専門の英語(「特定学術目的の英語」)への橋渡しとなる「一般学術目的の英語」を学ぶ。5週間の短期集中でインプットとアウトプットを大量に行い、学術論文執筆の際に必要となるライティング力、表現力を身につける。	全学群対象　人数制限あり G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3188312	English Academic Presentation	2	1.0	1 - 4	春C	水1,2	シュウェンダマン フェイ ヨン ドーカス	学群・学類における専門の英語(「特定学術目的の英語」)への橋渡しとなる「一般学術目的の英語」を学ぶ。5週間の短期集中で重点的にインプットとアウトプットを行い、英語コミュニケーションの姿勢を身につけるとともに、国際的学術交流における口頭発表の場面で必要とされる英語運用能力を身につける。主に、外国人教員が担当する。	「人文、応理、エシス、比文、日日、社工、体育1、総学1・2組」対象　人数制限あり G科目 対面
3188322	English Academic Presentation	2	1.0	1 - 4	春C	木1,2	ヴルガリス ゲラシモス	学群・学類における専門の英語(「特定学術目的の英語」)への橋渡しとなる「一般学術目的の英語」を学ぶ。5週間の短期集中で重点的にインプットとアウトプットを行い、英語コミュニケーションの姿勢を身につけるとともに、国際的学術交流における口頭発表の場面で必要とされる英語運用能力を身につける。主に、外国人教員が担当する。	「医学、看護、医療科学、芸術、生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3・4組」対象　人数制限あり G科目 対面
3188332	English Academic Presentation	2	1.0	1 - 4	春C	金1,2	ネウパネ スダ	学群・学類における専門の英語(「特定学術目的の英語」)への橋渡しとなる「一般学術目的の英語」を学ぶ。5週間の短期集中で重点的にインプットとアウトプットを行い、英語コミュニケーションの姿勢を身につけるとともに、国際的学術交流における口頭発表の場面で必要とされる英語運用能力を身につける。主に、外国人教員が担当する。	「教育、心理、障害、知識、体育2、社会、国際、資源、情報、総学5・6組」対象　人数制限あり G科目 対面
3188342	English Academic Presentation	2	1.0	1 - 4	秋C	水1,2	シュウェンダマン フェイ ヨン ドーカス	学群・学類における専門の英語(「特定学術目的の英語」)への橋渡しとなる「一般学術目的の英語」を学ぶ。5週間の短期集中で重点的にインプットとアウトプットを行い、英語コミュニケーションの姿勢を身につけるとともに、国際的学術交流における口頭発表の場面で必要とされる英語運用能力を身につける。主に、外国人教員が担当する。	「人文、応理、エシス、比文、日日、社工、体育1、総学1・2組」対象　人数制限あり G科目 対面
3188352	English Academic Presentation	2	1.0	1 - 4	秋C	木1,2	ヴルガリス ゲラシモス	学群・学類における専門の英語(「特定学術目的の英語」)への橋渡しとなる「一般学術目的の英語」を学ぶ。5週間の短期集中で重点的にインプットとアウトプットを行い、英語コミュニケーションの姿勢を身につけるとともに、国際的学術交流における口頭発表の場面で必要とされる英語運用能力を身につける。主に、外国人教員が担当する。	「医学、看護、医療科学、芸術、生物、地球、数学、物理、化学、創成、総学3・4組」対象　人数制限あり G科目 対面
3188362	English Academic Presentation	2	1.0	1 - 4	秋C	金1,2	ネウパネ スダ	学群・学類における専門の英語(「特定学術目的の英語」)への橋渡しとなる「一般学術目的の英語」を学ぶ。5週間の短期集中で重点的にインプットとアウトプットを行い、英語コミュニケーションの姿勢を身につけるとともに、国際的学術交流における口頭発表の場面で必要とされる英語運用能力を身につける。主に、外国人教員が担当する。	「教育、心理、障害、知識、体育2、社会、国際、資源、情報、総学5・6組」対象　人数制限あり G科目 対面
3188372	English Academic Presentation	2	1.0	2 - 4	春AB	火5	ヴルガリス ゲラシモス	学群・学類における専門の英語(「特定学術目的の英語」)への橋渡しとなる「一般学術目的の英語」を学ぶ。5週間の短期集中で重点的にインプットとアウトプットを行い、英語コミュニケーションの姿勢を身につけるとともに、国際的学術交流における口頭発表の場面で必要とされる英語運用能力を身につける。主に、外国人教員が担当する。	全学群対象(「社工、エシス、地球、看護」優先)　人数制限あり G科目 対面
3188392	English Academic Presentation	2	1.0	2 - 4				学群・学類における専門の英語(「特定学術目的の英語」)への橋渡しとなる「一般学術目的の英語」を学ぶ。5週間の短期集中で重点的にインプットとアウトプットを行い、英語コミュニケーションの姿勢を身につけるとともに、国際的学術交流における口頭発表の場面で必要とされる英語運用能力を身につける。主に、外国人教員が担当する。	全学群対象　人数制限あり 2026年度開講せず。 G科目 対面
3188402	English Academic Presentation	2	1.0	2 - 4	秋AB	火5	ヴルガリス ゲラシモス	学群・学類における専門の英語(「特定学術目的の英語」)への橋渡しとなる「一般学術目的の英語」を学ぶ。5週間の短期集中で重点的にインプットとアウトプットを行い、英語コミュニケーションの姿勢を身につけるとともに、国際的学術交流における口頭発表の場面で必要とされる英語運用能力を身につける。主に、外国人教員が担当する。	全学群対象(「応理、エシス、地球、看護」優先)　人数制限あり G科目 対面
3188422	English Academic Presentation	2	1.0	2 - 4	秋AB	水3	ニゴラ ドジャリロワ	学群・学類における専門の英語(「特定学術目的の英語」)への橋渡しとなる「一般学術目的の英語」を学ぶ。5週間の短期集中で重点的にインプットとアウトプットを行い、英語コミュニケーションの姿勢を身につけるとともに、国際的学術交流における口頭発表の場面で必要とされる英語運用能力を身につける。主に、外国人教員が担当する。	全学群対象　人数制限あり G科目 対面

開設母体

要件
ドイツ語

ドイツ語

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
32H1012	基礎ドイツ語AI	2	1.0	1	春AB	月3	市川 宏子	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	人文・応理・エシス・総学1組対象(学籍番号末尾1,2) 主に日本語で授業を行ないます。英語での対応可能。 G科目 対面
32H1022	基礎ドイツ語AI	2	1.0	1	春AB	月3	ヘーゼルハウス, ヘラト	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	人文・応理・エシス・総学1組対象(学籍番号末尾3,4) 主に英語で授業を行ないます。 G科目 対面
32H1032	基礎ドイツ語AI	2	1.0	1	春AB	月3	茅野 大樹	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	人文・応理・エシス・総学1組対象(学籍番号末尾5,6,7) 主に日本語で授業を行ないます。英語での対応可能。 G科目 対面
32H1042	基礎ドイツ語AI	2	1.0	1	春AB	月3	越川 瑛理	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	人文・応理・エシス・総学1組対象(学籍番号末尾8,9,0) 主に日本語で授業を行ないます。英語での対応可能。 G科目 対面
32H2012	基礎ドイツ語AI	2	1.0	1	春AB	月4	ヘーゼルハウス, ヘラト	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	比文・日日・社工・体育1・総学2組対象(学籍番号末尾奇数) 主に英語で説明を行ないます。 G科目 対面
32H2022	基礎ドイツ語AI	2	1.0	1	春AB	月4	茅野 大樹	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	比文・日日・社工・体育1・総学2組対象(学籍番号末尾偶数) 主に日本語で授業を行ないます。英語での対応可能。 G科目 対面
32H3012	基礎ドイツ語AI	2	1.0	1	春AB	月5	住大 恭康	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	生物・地球・数学・物理・化学・創成・総学3組対象(学籍番号末尾奇数) 主に日本語で授業を行ないます。英語での対応可能。 G科目 対面
32H3022	基礎ドイツ語AI	2	1.0	1	春AB	月5	岡田 和子	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	生物・地球・数学・物理・化学・創成・総学3組対象(学籍番号末尾偶数) 主に日本語で授業を行ないます。英語での対応可能。 G科目 対面
32H4012	基礎ドイツ語AI	2	1.0	1	春AB	月6	濱田 真	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	医学・看護・医療・芸術・総学4組対象 主に日本語で授業を行ないます。英語での対応可能。 G科目 対面
32H5012	基礎ドイツ語AI	2	1.0	1	春AB	火4	伊藤 満広	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	教育・心理・障害・知識・体育2・総学5組対象 主に日本語で授業を行ないます。英語での対応可能。 G科目 対面
32H6022	基礎ドイツ語AI	2	1.0	1	春AB	金2	相馬 尚之	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	社会・国際・資源・情報・総学6組対象　主に日本語で授業を行ないます。英語での対応可能。 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
32J1012	基礎ドイツ語BI	2	1.0	1	春AB	水2	畔上 泰治	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	人文・応理・エシス・総学1組対象(学籍番号末尾1,2,3)主に日本語で授業を行ないます。英語での対応可能。 G科目 対面
32J1022	基礎ドイツ語BI	2	1.0	1	春AB	水2	カネマツ ゲブ クルガノワ ニーナ	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	人文・応理・エシス・総学1組対象(学籍番号末尾4,5,6) 主に英語で授業を行ないます。 G科目 対面
32J1032	基礎ドイツ語BI	2	1.0	1	春AB	水2	相馬 尚之	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	人文・応理・エシス・総学1組対象(学籍番号末尾7,8,9,0)主に日本語で授業を行ないます。英語での対応可能。 G科目 対面
32J2012	基礎ドイツ語BI	2	1.0	1	春AB	水1	カネマツ ゲブ クルガノワ ニーナ	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	比文・日日・社工・体育1・総学2組対象　主に日本語で説明を行ないます。英語での対応可能。 G科目 対面
32J3012	基礎ドイツ語BI	2	1.0	1	春AB	木2	カネマツ ゲブ クルガノワ ニーナ	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	生物・地球・数学・物理・化学・創成・総学3組対象　主に日本語で授業を行ないます。英語での対応可能。 G科目 対面
32J4012	基礎ドイツ語BI	2	1.0	1	春AB	木1	カネマツ ゲブ クルガノワ ニーナ	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	医学・看護・医療・芸術・総学4組対象 主に英語で授業を行ないます。 G科目 対面
32J5012	基礎ドイツ語BI	2	1.0	1	春AB	金1	越川 瑛理	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	教育・心理・障害・知識・体育2・総学5組対象 主に日本語で説明を行ないます。英語での対応可能。 G科目 対面
32J6012	基礎ドイツ語BI	2	1.0	1	春AB	火3	江藤 光紀	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	社会・国際・資源・情報・総学6組対象 主に日本語で授業を行ないます。英語での対応可能。 G科目 対面
32K1012	基礎ドイツ語AII	2	1.0	1	秋AB	月3	市川 宏子	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	人文・応理・エシス・総学1組対象(学籍番号末尾1,2)主に日本語で授業を行ないます。英語での対応可能。 G科目 対面
32K1022	基礎ドイツ語AII	2	1.0	1	秋AB	月3	ヘーゼルハウス, ヘラト	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	人文・応理・エシス・総学1組対象(学籍番号末尾3,4) 主に英語で説明を行ないます。 G科目 対面
32K1032	基礎ドイツ語AII	2	1.0	1	秋AB	月3	茅野 大樹	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	人文・応理・エシス・総学1組対象(学籍番号末尾5,6,7) 主に日本語で授業を行ないます。英語での対応可能。 G科目 対面
32K1042	基礎ドイツ語AII	2	1.0	1	秋AB	月3	越川 瑛理	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	人文・応理・エシス・総学1組対象(学籍番号末尾8,9,0) 主に日本語で授業を行ないます。英語での対応可能。 G科目 対面
32K2012	基礎ドイツ語AII	2	1.0	1	秋AB	月4	ヘーゼルハウス, ヘラト	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	比文・日日・社工・体育1・総学2組対象(学籍番号末尾奇数) 主に英語で説明を行ないます。 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
32K2022	基礎ドイツ語AII	2	1.0	1	秋AB	月4	茅野 大樹	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	比文・日日・社工・体育1・総学2組対象(学籍番号末尾偶数) 主に日本語で授業を行ないます。英語での対応可能。 G科目 対面
32K3012	基礎ドイツ語AII	2	1.0	1	秋AB	月5	住大 恭康	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	生物・地球・数学・物理・化学・創成・総学3組対象(学籍番号末尾奇数) 主に日本語で授業を行ないます。英語での対応可能。 G科目 対面
32K3022	基礎ドイツ語AII	2	1.0	1	秋AB	月5	岡田 和子	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	生物・地球・数学・物理・化学・創成・総学3組対象(学籍番号末尾偶数)。 主に日本語で授業を行ないます。英語での対応可能。 G科目 対面
32K4012	基礎ドイツ語AII	2	1.0	1	秋AB	月6	濱田 真	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	医学・看護・医療・芸術・総学4組対象 主に日本語で授業を行ないます。英語での対応可能。 G科目 対面
32K5012	基礎ドイツ語AII	2	1.0	1	秋AB	火4	伊藤 満広	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	教育・心理・障害・知識・体育2・総学5組対象　主に日本語で授業を行ないます。英語での対応可能。 G科目 対面
32K6022	基礎ドイツ語AII	2	1.0	1	秋AB	金2	相馬 尚之	初修者を対象にしたこのドイツ語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	社会・国際・資源・情報・総学6組対象　主に日本語で授業を行ないます。英語での対応可能。 G科目 対面
32L1012	基礎ドイツ語BII	2	1.0	1	秋AB	水2	畔上 泰治	この授業では、すでにドイツ語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	人文・応理・エシス・総学1組対象(学籍番号末尾1,2,3) 「基礎ドイツ語BII」は選択・自由科目だが、「基礎ドイツ語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で授業を行ないます。英語での対応可能。 G科目 対面
32L1022	基礎ドイツ語BII	2	1.0	1	秋AB	水2	カネマツ ゲブ クルガノワ ニーナ	この授業では、すでにドイツ語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	人文・応理・エシス・総学1組対象(学籍番号末尾4,5,6) 「基礎ドイツ語BII」は選択・自由科目だが、「基礎ドイツ語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で授業を行ないます。英語での対応可能。 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
32L1032	基礎ドイツ語BII	2	1.0	1	秋AB	水2	相馬 尚之	この授業では、すでにドイツ語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	人文・応理・エシス・総学1組対象(学籍番号末尾7,8,9,0)「基礎ドイツ語BII」は選択・自由科目だが、「基礎ドイツ語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で授業を行ないます。英語での対応可能。 G科目 対面
32L2012	基礎ドイツ語BII	2	1.0	1	秋AB	水1	カネマツ ゲブ クルガノワ ニーナ	この授業では、すでにドイツ語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	比文・日日・社工・体育1・総学2組対象 「基礎ドイツ語BII」は選択・自由科目だが、「基礎ドイツ語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で授業を行ないます。英語での対応可能。 G科目 対面
32L3012	基礎ドイツ語BII	2	1.0	1	秋AB	木2	カネマツ ゲブ クルガノワ ニーナ	この授業では、すでにドイツ語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	生物・地球・数学・物理・化学・創成・総学3組対象 「基礎ドイツ語BII」は選択・自由科目だが、「基礎ドイツ語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で授業を行ないます。英語での対応可能。 G科目 対面
32L4012	基礎ドイツ語BII	2	1.0	1	秋AB	木1	カネマツ ゲブ クルガノワ ニーナ	この授業では、すでにドイツ語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	医学・看護・医療・芸術・総学4組対象 「基礎ドイツ語BII」は選択・自由科目だが、「基礎ドイツ語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で授業を行ないます。英語での対応可能。 G科目 対面
32L5012	基礎ドイツ語BII	2	1.0	1	秋AB	金1	越川 瑛理	この授業では、すでにドイツ語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	教育・心理・障害・知識・体育2・総学5組対象 「基礎ドイツ語BII」は選択・自由科目だが、「基礎ドイツ語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で説明を行ないます。英語での対応可能。 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
32L6012	基礎ドイツ語BII	2	1.0	1	秋AB	火3	江藤 光紀	この授業では、すでにドイツ語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	社会・国際・資源・情報・総学6組対象 「基礎ドイツ語BII」は選択・自由科目だが、「基礎ドイツ語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面

ドイツ語(2年次履修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3251112	ドイツ語圏の言語と文化A	2	1.0	2	春AB	火5	江藤 光紀	「基礎ドイツ語AI/AII」「基礎ドイツ語BI」で修得した言語知識を踏まえて、4技能(読む・聞く・話す・書く)の総合的な伸長に配慮しながら、ドイツ語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	主として人文・比文・日日・情報・医学(学籍番号末尾1,2,3)対象。「基礎ドイツ語」A及びBの履修者に限る。主に日本語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面
3251122	ドイツ語圏の言語と文化A	2	1.0	2	春AB	火5	茅野 大樹	「基礎ドイツ語AI/AII」「基礎ドイツ語BI」で修得した言語知識を踏まえて、4技能(読む・聞く・話す・書く)の総合的な伸長に配慮しながら、ドイツ語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	主として人文・比文・日日・情報・医学(学籍番号末尾4,5,6)対象。「基礎ドイツ語」A及びBの履修者に限る。主に日本語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面
3251132	ドイツ語圏の言語と文化A	2	1.0	2	春AB	火5	住大 恭康	「基礎ドイツ語AI/AII」「基礎ドイツ語BI」で修得した言語知識を踏まえて、4技能(読む・聞く・話す・書く)の総合的な伸長に配慮しながら、ドイツ語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	主として人文・比文・日日・情報・医学(学籍番号末尾7,8,9,0)対象。「基礎ドイツ語」A及びBの履修者に限る。主に日本語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面
3251212	ドイツ語圏の言語と文化A	2	1.0	2	春AB	火6	カネマツ ゲブ クルガノワ ニーナ	「基礎ドイツ語AI/AII」「基礎ドイツ語BI」で修得した言語知識を踏まえて、4技能(読む・聞く・話す・書く)の総合的な伸長に配慮しながら、ドイツ語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	主として国際・生物・地球・応理・エシス・看護対象。「基礎ドイツ語」A及びBの履修者に限る。主に日本語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面
3251412	ドイツ語圏の言語と文化A	2	1.0	2	春AB	金4	相馬 尚之	「基礎ドイツ語AI/AII」「基礎ドイツ語BI」で修得した言語知識を踏まえて、4技能(読む・聞く・話す・書く)の総合的な伸長に配慮しながら、ドイツ語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	主として社会・資源・創生・知識・医療・芸術対象。「基礎ドイツ語」A及びBの履修者に限る。主に日本語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面
3254112	ドイツ語圏の言語と文化B	2	1.0	2	秋AB	火5	江藤 光紀	「基礎ドイツ語AI/AII」「基礎ドイツ語BI」で修得した言語知識を踏まえて、より実践的なコミュニケーション能力の向上に配慮しながら、ドイツ語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	選択・自由科目。主として人文・比文・日日・情報・医学(学籍番号末尾1,2,3)対象。「ドイツ語圏の言語と文化A」の履修者に限る。主に日本語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面
3254122	ドイツ語圏の言語と文化B	2	1.0	2	秋AB	火5	茅野 大樹	「基礎ドイツ語AI/AII」「基礎ドイツ語BI」で修得した言語知識を踏まえて、より実践的なコミュニケーション能力の向上に配慮しながら、ドイツ語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	選択・自由科目。主として人文・比文・日日・情報・医学(学籍番号末尾4,5,6)対象。「ドイツ語圏の言語と文化A」の履修者に限る。主に日本語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3254132	ドイツ語圏の言語と文化B	2	1.0	2	秋AB	火5	住大 恭康	「基礎ドイツ語AI/AII」「基礎ドイツ語BI」で修得した言語知識を踏まえて、より実践的なコミュニケーション能力の向上に配慮しながら、ドイツ語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	選択・自由科目。主として人文・比文・日日・情報・医学(学籍番号末尾7,8,9,0)対象。「ドイツ語圏の言語と文化A」の履修者に限る。主に日本語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面
3254212	ドイツ語圏の言語と文化B	2	1.0	2	秋AB	火6	カネマツ ゲブ クルガノワ ニーナ	「基礎ドイツ語AI/AII」「基礎ドイツ語BI」で修得した言語知識を踏まえて、より実践的なコミュニケーション能力の向上に配慮しながら、ドイツ語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	選択・自由科目。主として国際・生物・地球・応理・エシス・看護対象。「「ドイツ語圏の言語と文化A」の履修者に限る。主に日本語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面
3254412	ドイツ語圏の言語と文化B	2	1.0	2	秋AB	金4	相馬 尚之	「基礎ドイツ語AI/AII」「基礎ドイツ語BI」で修得した言語知識を踏まえて、より実践的なコミュニケーション能力の向上に配慮しながら、ドイツ語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	選択・自由科目。主として社会・資源・創成・知識・医療科・芸術対象。「「ドイツ語圏の言語と文化A」の履修者に限る。主に日本語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面

ドイツ語(選択・自由科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3260012	応用ドイツ語講読A	2	1.0	2 - 4	秋AB	木4	カネマツ ゲブ クルガノワ ニーナ	ドイツ語の様々なテクストに即した読解能力を養成する。CEFR(ヨーロッパ共通参照枠)のA2レベルに到達することを目標とする。	全学群対象 選択必修クラスの単位に代替することはできない。原則、「基礎ドイツ語」A及びBの履修者に限る。主に日本語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面
3261012	応用ドイツ語作文A	2	1.0	2 - 4				ドイツ語の様々な必要に応じた作文能力を養成する。CEFR(ヨーロッパ共通参照枠)のA2レベルに到達することを目標とする。	全学群対象 選択必修クラスの単位に代替することはできない。原則、「基礎ドイツ語」A及びBの履修者に限る。主に日本語で授業を行います。英語での対応可能。 2026年度開講せず。 G科目 対面
3262012	応用ドイツ語会話A	2	1.0	2 - 4	春AB	水4	カネマツ ゲブ クルガノワ ニーナ	ドイツ語による総合的コミュニケーション能力を養成する。CEFR(ヨーロッパ共通参照枠)のA2レベルに到達することを目標とする。	全学群対象 選択必修クラスの単位に代替することはできない。原則、「基礎ドイツ語」A及びBの履修者に限る。主にドイツ語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面
3265012	応用ドイツ語講読B	2	1.0	2 - 4				ドイツ語の様々なテクストに即した読解能力を養成する。CEFR(ヨーロッパ共通参照枠)のB1レベルに到達することを目標とする。	全学群対象 選択必修クラスの単位に代替することはできない。原則、「基礎ドイツ語」A及びBの履修者に限る。主に日本語で授業を行います。英語での対応可能。 2026年度開講せず。 G科目 対面
3266012	応用ドイツ語作文B	2	1.0	2 - 4	春AB	木4	カネマツ ゲブ クルガノワ ニーナ	ドイツ語の様々な必要に応じた作文能力を養成する。CEFR(ヨーロッパ共通参照枠)のB1レベルに到達することを目標とする。	全学群対象 選択必修クラスの単位に代替することはできない。原則、「基礎ドイツ語」A及びBの履修者に限る。 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3267012	応用ドイツ語会話B	2	1.0	2 - 4	秋AB	水4	カネマツ ゲブ クルガノワ ニーナ	ドイツ語による総合的コミュニケーション能力を養成する。CEFR(ヨーロッパ共通参照枠)のB1レベルに到達することを目標とする。	全学群対象 選択必修 クラスの単位に代替することはできない。原則、「基礎ドイツ語」A及びBと応用ドイツ語会話AI/II及びCEFRのA2レベルを取ったの履修者に限る。主に日本語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面
3270002	実践ドイツ語A	2	1.0	1	春C	月5,6	カネマツ ゲブ クルガノワ ニーナ	A・Bモジュールで学んだ語彙・表現を活用したプロジェクト型学習を行う。学んだことを単に繰り返すのではなく、自分の言葉で表現する力を育成する。参加者は「家族」や「食事」などをテーマに、小グループやペアでプロジェクト学習を行う。またインタビュー、比較調査、発表や簡単な動画制作による相互交流を通じた自己表現力の向上を目指す。	全学群対象 選択必修 クラスの単位に代替することはできない。原則、「基礎ドイツ語」AI及びBIの履修者に限る。主にドイツ語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面(オンライン併用型)
3270012	実践ドイツ語B	2	1.0	1	秋C	月5,6	カネマツ ゲブ クルガノワ ニーナ	A・Bモジュールで学んだ語彙・表現を活用したプロジェクト型学習を行う。学んだことを単に繰り返すのではなく、自分の言葉で表現する力を育成する。参加者は「祭り」「名所」「余暇」などをテーマに、グループで調査・比較を行い、ドイツと日本の文化を紹介するプロジェクトに関わる。最終成果物として、観光ガイド風ポスター/スライド/短い観光動画の作成を目指す。	全学群対象 選択必修 クラスの単位に代替することはできない。原則、「基礎ドイツ語」AIIまたは BIIの履修者に限る。主にドイツ語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面(オンライン併用型)
3271002	実践ドイツ語応用A	2	1.0	2	春C	火5,6	カネマツ ゲブ クルガノワ ニーナ	A・Bモジュールで学んだ語彙・表現を活用したプロジェクト型学習を行う。学んだことを単に繰り返すのではなく、自分の言葉で表現する力を育成する。参加者は「未来の町や社会のビジョン」をテーマに、日本とドイツの視点を比較しながら、自らのアイデアを調査・議論してまとめる。環境問題、都市の暮らし、テクノロジー、教育や価値観などについて、日本とドイツの現状や議論を手がかりに、将来の理想像を考え、ポスターやプレゼンテーションで発表する。	全学群対象 選択必修 クラスの単位に代替することはできない。原則、「ドイツ語圏の言語と文化A」の履修者に限る。主にドイツ語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面(オンライン併用型)
3271012	実践ドイツ語応用B	2	1.0	2	秋C	火5,6	カネマツ ゲブ クルガノワ ニーナ	A・Bモジュールで学んだ語彙・表現を活用したプロジェクト型学習を行う。学んだことを単に繰り返すのではなく、自分の言葉で表現する力を育成する。参加者は仕事や職業に関する語彙・表現を用いて、自分の価値観や理想の働き方を整理してまとめる。グループ討論や調査、比較分析を行い、ポスターやプレゼンテーションで発表する。	全学群対象 選択必修 クラスの単位に代替することはできない。原則、「ドイツ語圏の言語と文化」AまたはBの履修者に限る。主にドイツ語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面(オンライン併用型)

開設母体　　要件
フランス語

フランス語

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
33H1012	基礎フランス語AI	2	1.0	1	春AB	月3	廣瀬 浩司	初修者を対象にしたこのフランス語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	人文・応理・エシス・総学1組対象 主に日本語で授業を行います。 G科目 対面
33H2012	基礎フランス語AI	2	1.0	1	春AB	月4	佐藤 淳一	初修者を対象にしたこのフランス語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	比文・日日・社工・体育1・総学2組対象 主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
33H3012	基礎フランス語AI	2	1.0	1	春AB	月5	飯田 賢穂	初修者を対象にしたこのフランス語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	生物・地球・数学・物理・化学・創成・総学3組対象 主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
33H4012	基礎フランス語AI	2	1.0	1	春AB	月6	佐藤 淳一	初修者を対象にしたこのフランス語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	医学・看護・医療・芸術・総学4組対象 主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
33H5012	基礎フランス語AI	2	1.0	1	春AB	金1	藤井 陽子	初修者を対象にしたこのフランス語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	教育・心理・障害・知識・体育2・総学5組対象(学籍番号末尾奇数) 主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
33H5022	基礎フランス語AI	2	1.0	1	春AB	金1	秋田谷 覚	初修者を対象にしたこのフランス語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	教育・心理・障害・知識・体育2・総学5組対象(学籍番号末尾偶数) 主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
33H6012	基礎フランス語AI	2	1.0	1	春AB	火3	廣瀬 浩司	初修者を対象にしたこのフランス語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	社会・国際・資源・情報・総学6組対象(学籍番号末尾奇数) 主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
33H6022	基礎フランス語AI	2	1.0	1	春AB	火3	秋田谷 覚	初修者を対象にしたこのフランス語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	社会・国際・資源・情報・総学6組対象(学籍番号末尾偶数) 主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
33H7012	基礎フランス語AI	2	1.0	1	秋AB	月6	飯田 賢穂	初修者を対象にしたこのフランス語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	全学群対象(当該年度入学秋学期入学者および春学期不合格者を含む)。　主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
33H7032	基礎フランス語AI	2	1.0	1 - 4	春C	火5,6	秋田谷 覚	初修者を対象にしたこのフランス語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	全学群対象(対象者:当該年度入学および過学期不合格者) 主に日本語で授業を行います。 G科目 対面
33J1012	基礎フランス語BI	2	1.0	1	春AB	水2	小川 美登里	初修者を対象にしたこのフランス語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	人文・応理・エシス・総学1組対象 主に日本語で授業を行います。 G科目 対面
33J2012	基礎フランス語BI	2	1.0	1	春AB	水1	飯田 賢穂	初修者を対象にしたこのフランス語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	比文・日日・社工・体育1・総学2組対象 主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
33J3012	基礎フランス語BI	2	1.0	1	春AB	木2	デルヴロワ ミカエル	初修者を対象にしたこのフランス語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	生物・地球・数学・物理・化学・創成・総学3組対象　主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
33J4012	基礎フランス語BI	2	1.0	1	春AB	木1	マユ コリーヌ	初修者を対象にしたこのフランス語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	医学・看護・医療・芸術・総学4組対象 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
33J5012	基礎フランス語BI	2	1.0	1	春AB	火4	ジャクタ ブルノダニエル フィリップ	初修者を対象にしたこのフランス語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	教育・心理・障害・知識・体育2・総学5組対象 主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
33J6012	基礎フランス語BI	2	1.0	1	春AB	金2	ジャクタ ブルノダニエル フィリップ	初修者を対象にしたこのフランス語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	社会・国際・資源・情報・総学6組対象(学籍番号末尾奇数) 主にフランス語で授業を行ないます。 G科目 対面
33J6022	基礎フランス語BI	2	1.0	1	春AB	金2	佐藤 嘉幸	初修者を対象にしたこのフランス語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	社会・国際・資源・情報・総学6組対象(学籍番号末尾偶数) 主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
33J7032	基礎フランス語BI	2	1.0	1	春C	木1,2	デルヴロワ ミカエル	初修者を対象にしたこのフランス語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	全学群対象(対象者:当該年度入学および過学期不合格者) G科目 対面
33J7042	基礎フランス語BI	2	1.0	1	秋C	木1,2	デルヴロワ ミカエル	初修者を対象にしたこのフランス語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	全学群対象(対象者:当該年度入学および過学期不合格者) G科目 対面
33K1012	基礎フランス語AII	2	1.0	1	秋AB	月3	廣瀬 浩司	初修者を対象にしたこのフランス語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	人文・応理・エシス・総学1組対象　主に日本語で授業を行います。 G科目 対面
33K2012	基礎フランス語AII	2	1.0	1	秋AB	月4	佐藤 淳一	初修者を対象にしたこのフランス語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	比文・日日・社工・体育1・総学2組対象　主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
33K3012	基礎フランス語AII	2	1.0	1	秋AB	月5	飯田 賢穂	初修者を対象にしたこのフランス語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	生物・地球・数学・物理・化学・創成・総学3組対象 主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
33K4012	基礎フランス語AII	2	1.0	1	秋AB	月6	佐藤 淳一	初修者を対象にしたこのフランス語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	医学・看護・医療・芸術・総学4組対象 主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
33K5012	基礎フランス語AII	2	1.0	1	秋AB	金1	藤井 陽子	初修者を対象にしたこのフランス語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	教育・心理・障害・知識・体育2・総学5組対象(学籍番号末尾奇数) 主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
33K5022	基礎フランス語AII	2	1.0	1	秋AB	金1	秋田谷 覚	初修者を対象にしたこのフランス語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	教育・心理・障害・知識・体育2・総学5組対象(学籍番号末尾偶数) 主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
33K6012	基礎フランス語AII	2	1.0	1	秋AB	火3	廣瀬 浩司	初修者を対象にしたこのフランス語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	社会・国際・資源・情報・総学6組対象(学籍番号末尾奇数) 主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
33K6022	基礎フランス語AII	2	1.0	1	秋AB	火3	秋田谷 覚	初修者を対象にしたこのフランス語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	社会・国際・資源・情報・総学6組対象(学籍番号末尾偶数) 主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
33K7012	基礎フランス語AII	2	1.0	1	秋C	火5,6	秋田谷 覚	初修者を対象にしたこのフランス語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	全学群対象(対象者:当該年度入学および過学期不合格者)。　主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
33L1012	基礎フランス語BII	2	1.0	1	秋AB	水2	小川 美登里	この授業では、すでにフランス語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	人文・応理・エシス・総学1組対象「基礎フランス語BII」は選択・自由科目だが、「基礎フランス語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
33L2012	基礎フランス語BII	2	1.0	1	秋AB	水1	飯田 賢穂	この授業では、すでにフランス語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	比文・日日・社工・体育1・総学2組対象「基礎フランス語BII」は選択・自由科目だが、「基礎フランス語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
33L3012	基礎フランス語BII	2	1.0	1	秋AB	木2	デルヴロワ ミカエル	この授業では、すでにフランス語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	生物・地球・数学・物理・化学・創成・総学3組対象　「基礎フランス語BII」は選択・自由科目だが、「基礎フランス語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
33L4012	基礎フランス語BII	2	1.0	1	秋AB	木1	マユ コリーヌ	この授業では、すでにフランス語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	医学・看護・医療・芸術・総学4組対象 「基礎フランス語BII」は選択・自由科目だが、「基礎フランス語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。 G科目 対面
33L5012	基礎フランス語BII	2	1.0	1	秋AB	火4	ジャクタ ブルノ ダニエル フィリップ	この授業では、すでにフランス語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	教育・心理・障害・知識・体育2・総学5組対象「基礎フランス語BII」は選択・自由科目だが、「基礎フランス語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
33L6012	基礎フランス語BII	2	1.0	1	秋AB	金2	ジャクタ ブルノ ダニエル フィリップ	この授業では、すでにフランス語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	社会・国際・資源・情報・総学6組対象(学籍番号末尾奇数) 「基礎フランス語BII」は選択・自由科目だが、「基礎フランス語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主にフランス語で授業を行ないます。 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
33L6022	基礎フランス語BII	2	1.0	1	秋AB	金2	佐藤 嘉幸	この授業では、すでにフランス語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	社会・国際・資源・情報・総学6組対象(学籍番号末尾偶数)「基礎フランス語BI」は選択・自由科目だが、「基礎フランス語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面

フランス語(2年次履修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3351112	フランス語圏の言語と文化A	2	1.0	2	春AB	火5	マユ コリーヌ	「基礎フランス語AI/AII」「基礎フランス語BI」で修得した言語知識を踏まえて、4技能(読む・聞く・話す・書く)の総合的な伸長に配慮しながら、フランス語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	主として人文・比文・日日・情報・医学対象。「基礎フランス語」A及びBの履修者に限る。主に日本語で授業を行います。 G科目 対面
3351212	フランス語圏の言語と文化A	2	1.0	2	春AB	火6	マユ コリーヌ	「基礎フランス語AI/AII」「基礎フランス語BI」で修得した言語知識を踏まえて、4技能(読む・聞く・話す・書く)の総合的な伸長に配慮しながら、フランス語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	主として国際・生物・地球・応理・エシス・看護対象「基礎フランス語」A及びBの履修者に限る。主にフランス語で授業を行います。フランス語で60%以上,日本語と英語は、理解度を高めるためにも使われます。 G科目 対面
3351222	フランス語圏の言語と文化A	2	1.0	2	春AB	金3	小川 美登里	「基礎フランス語AI/AII」「基礎フランス語BI」で修得した言語知識を踏まえて、4技能(読む・聞く・話す・書く)の総合的な伸長に配慮しながら、フランス語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	全学群対象(学籍番号末尾_奇数)。 春学期のみ開講。「基礎フランス語」A及びBの履修者に限る。 G科目 対面
3351612	フランス語圏の言語と文化A	2	1.0	2	春AB	金3	佐藤 嘉幸	「基礎フランス語AI/AII」「基礎フランス語BI」で修得した言語知識を踏まえて、4技能(読む・聞く・話す・書く)の総合的な伸長に配慮しながら、フランス語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	全学群対象(学籍番号末尾_偶数)。「基礎フランス語」A及びBの履修者に限る。主に日本語で授業を行います。 G科目 対面
3351622	フランス語圏の言語と文化A	2	1.0	2	春AB	金4	マユ コリーヌ	「基礎フランス語AI/AII」「基礎フランス語BI」で修得した言語知識を踏まえて、4技能(読む・聞く・話す・書く)の総合的な伸長に配慮しながら、フランス語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	全学群対象。「基礎フランス語」A及びBの履修者に限る。主にフランス語で授業を行います。 G科目 対面
3351632	フランス語圏の言語と文化A	2	1.0	2	春AB	火6	ジャクタ ブルノ ダニエル フィリップ	「基礎フランス語AI/AII」「基礎フランス語BI」で修得した言語知識を踏まえて、4技能(読む・聞く・話す・書く)の総合的な伸長に配慮しながら、フランス語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	全学群対象。「基礎フランス語」A及びBの履修者に限る。主にフランス語で授業を行います。フランス語で60%以上,日本語と英語は、理解度を高めるためにも使われます。 G科目 対面
3354112	フランス語圏の言語と文化B	2	1.0	2	秋AB	火5	マユ コリーヌ	「基礎フランス語AI/AII」「基礎フランス語BI」で修得した言語知識を踏まえて、より実践的なコミュニケーション能力の向上に配慮しながら、フランス語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	選択・自由科目。主として人文・比文・日日・情報・医学対象。「フランス語圏の言語と文化A」の履修者に限る。主にフランス語で授業を行います。 G科目 対面
3354212	フランス語圏の言語と文化B	2	1.0	2	秋AB	火6	マユ コリーヌ	「基礎フランス語AI/AII」「基礎フランス語BI」で修得した言語知識を踏まえて、より実践的なコミュニケーション能力の向上に配慮しながら、フランス語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	選択・自由科目。主として国際・生物・地球・応理・エシス・看護対象「「フランス語圏の言語と文化A」の履修者に限る。主にフランス語で授業を行います。フランス語で60%以上,日本語と英語は、理解度を高めるためにも使われます。 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3354612	フランス語圏の言語と文化B	2	1.0	2	秋AB	金3	佐藤 嘉幸	「基礎フランス語AI/AII」「基礎フランス語BI」で修得した言語知識を踏まえて、より実践的なコミュニケーション能力の向上に配慮しながら、フランス語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	選択・自由科目。全学群対象。「フランス語圏の言語と文化A」の履修者に限る。主に日本語で授業を行います。 G科目 対面
3354622	フランス語圏の言語と文化B	2	1.0	2	秋AB	金4	マユ コリーヌ	「基礎フランス語AI/AII」「基礎フランス語BI」で修得した言語知識を踏まえて、より実践的なコミュニケーション能力の向上に配慮しながら、フランス語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	選択・自由科目。全学群対象。「フランス語圏の言語と文化A」の履修者に限る。主にフランス語で授業を行います。フランス語で60%以上,日本語と英語は、理解度を高めるためにも使われます。 G科目 対面
3354632	フランス語圏の言語と文化B	2	1.0	2				「基礎フランス語AI/AII」「基礎フランス語BI」で修得した言語知識を踏まえて、より実践的なコミュニケーション能力の向上に配慮しながら、フランス語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	選択・自由科目。全学群対象。「フランス語圏の言語と文化A」の履修者に限る。主にフランス語で授業を行います。 2026年度開講せず。 G科目 対面

フランス語(選択・自由科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3360012	応用フランス語講読A	2	1.0	2 - 4	春AB	水2	佐藤 嘉幸	フランス語圏に暮らす人々の生活や文化・社会など、様々なテーマを扱ったテキストを用いて、論説文や小説等を正確に読む力を養い、フランス語読解力を高める。	全学群対象。原則、「基礎フランス語」A及びBの履修者に限る。 主に日本語で授業を行います。 G科目 対面
3360022	応用フランス語講読A	2	1.0	2 - 4	春AB	月6	飯田 賢穂	フランス語圏に暮らす人々の生活や文化・社会など、様々なテーマを扱ったテキストを用いて、論説文や小説等を正確に読む力を養い、フランス語読解力を高める。	全学群対象。原則、「基礎フランス語」A及びBの履修者に限る。 主に日本語で授業を行います。 G科目 対面
3361012	応用フランス語作文A	2	1.0	2 - 4	春AB	金2	小川 美登里	フランス語圏に暮らす人々の生活や文化・社会などをテーマとして、自らの考えを文章を用いてフランス語で書く力を養い、フランス語表現力を高める。	全学群対象。原則、「基礎フランス語」A及びBの履修者に限る。 主に日本語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面
3361022	応用フランス語作文A	2	1.0	2 - 4				フランス語圏に暮らす人々の生活や文化・社会などをテーマとして、自らの考えを文章を用いてフランス語で書く力を養い、フランス語表現力を高める。	全学群対象。原則、「基礎フランス語」A及びBの履修者に限る。 主に日本語で授業を行います。英語での対応可能。 2026年度開講せず。 G科目 対面
3361032	応用フランス語作文A	2	1.0	2 - 4	春C	火3,4	マユ コリーヌ	フランス語圏に暮らす人々の生活や文化・社会などをテーマとして、自らの考えを文章を用いてフランス語で書く力を養い、フランス語表現力を高める。	全学群対象。原則、「基礎フランス語」A及びBの履修者に限る。 主にフランス語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面
3362012	応用フランス語会話A	2	1.0	2 - 4				フランス語圏に暮らす人々の生活や文化・社会などをテーマとして、比較的簡単な口頭練習を通して、フランス語コミュニケーション力を高める。	全学群対象。原則、「基礎フランス語」A及びBの履修者に限る。 主にフランス語で授業を行います。英語での対応可能。 2026年度開講せず。 G科目 対面
3362022	応用フランス語会話A	2	1.0	2 - 4	春AB	火5	ジャクタ ブルノ ダニエル フィリップ	フランス語圏に暮らす人々の生活や文化・社会などをテーマとして、比較的簡単な口頭練習を通して、フランス語コミュニケーション力を高める。	全学群対象。原則、「基礎フランス語」A及びBの履修者に限る。 主にフランス語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3362032	応用フランス語会話A	2	1.0	2 - 4	春C	月3,4	マユ コリーヌ	フランス語圏に暮らす人々の生活や文化・社会などをテーマとして、比較的簡単な口頭練習を通して、フランス語コミュニケーション力を高める。	全学群対象。原則、「フランス語基礎」A及びBの履修者に限る。 主にフランス語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面
3365012	応用フランス語講読B	2	1.0	2 - 4	秋AB	水2	佐藤 嘉幸	フランス語圏に暮らす人々の生活や文化・社会など、様々なテーマを扱ったテキストを用いて、論説文や小説等を正確に読む力を養い、より高度なフランス語読解力を習得する。	全学群対象。原則、「基礎フランス語」A及びBの履修者に限る。 主に日本語で授業を行います。 G科目 対面
3366012	応用フランス語作文B	2	1.0	2 - 4	秋AB	金2	小川 美登里	フランス語圏に暮らす人々の生活や文化・社会などをテーマとして、自らの考えを文章を用いてフランス語で書く力を養い、より高度なフランス語表現力を習得する。	全学群対象。原則、「基礎フランス語」A及びBの履修者に限る。 主に日本語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面
3366022	応用フランス語作文B	2	1.0	2 - 4	秋AB	金4	小川 美登里	フランス語圏に暮らす人々の生活や文化・社会などをテーマとして、自らの考えを文章を用いてフランス語で書く力を養い、より高度なフランス語表現力を習得する。	全学群対象。原則、「基礎フランス語」A及びBの履修者に限る。 主に日本語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面
3366032	応用フランス語作文B	2	1.0	2 - 4	秋C	火3,4	マユ コリーヌ	フランス語圏に暮らす人々の生活や文化・社会などをテーマとして、自らの考えを文章を用いてフランス語で書く力を養い、より高度なフランス語表現力を習得する。	全学群対象。原則、「基礎フランス語」A及びBの履修者に限る。 主にフランス語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面
3367012	応用フランス語会話B	2	1.0	2 - 4				フランス語圏に暮らす人々の生活や文化・社会などをテーマとして、会話練習を通して、より高度なフランス語コミュニケーション力を高める。	全学群対象。原則、「基礎フランス語」A及びBの履修者に限る。 主にフランス語で授業を行います。英語での対応可能。 2026年度開講せず。 G科目 対面
3367022	応用フランス語会話B	2	1.0	2 - 4	秋AB	火5	ジャクタ ブルノ ダニエル フィリップ	フランス語圏に暮らす人々の生活や文化・社会などをテーマとして、会話練習を通して、より高度なフランス語コミュニケーション力を高める。	全学群対象。原則、「基礎フランス語」A及びBの履修者に限る。主にフランス語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面
3367032	応用フランス語会話B	2	1.0	2 - 4	秋C	月3,4	マユ コリーヌ	フランス語圏に暮らす人々の生活や文化・社会などをテーマとして、会話練習を通して、より高度なフランス語コミュニケーション力を高める。	全学群対象。原則、「基礎フランス語」A及びBの履修者に限る。 主にフランス語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面
3370002	フランス語演習(初級)	2	1.0	1 - 4	春C	金3,4	藤井 陽子	フランス語検定4級レベルの4技能を学び、試験対策ができる。 基礎フランス語AI・IIの内容を復習・定着させ、応用的な科目(フランス語)への準備ができる。 フランス語検定3級レベルの4技能習得に必要な基本手的なフランス語能力を身につけることができる。	全学群対象　選択必修クラスの単位に代替することはできない 原則、「基礎フランス語AI」の履修者に限る。 主に日本語で授業を行います。 G科目 対面
3370012	フランス語演習(初級)	2	1.0	1 - 4	秋C	金3,4	藤井 陽子	フランス語検定4級レベルの4技能を学び、試験対策ができる。 基礎フランス語AI・IIの内容を復習・定着させ、応用的な科目(フランス語)への準備ができる。 フランス語検定3級レベルの4技能習得に必要な基本手的なフランス語能力を身につけることができる。	全学群対象　選択必修クラスの単位に代替することはできない 原則、「基礎フランス語」AI及びAIIの履修者に限る。 主に日本語で授業を行います。 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3371002	フランス語演習I(中級)	2	1.0	1 - 4	春C	月5,6	佐藤 淳一	フランス語検定試験3級レベルのフランス語(4技能)を学び、試験対策ができる。	全学群対象 選択必修クラスの単位に代替することはできない。原則、「基礎フランス語AI」の履修者に限る。主に日本語で授業を行います。 G科目 対面
3371012	フランス語演習II(中級)	2	1.0	1 - 4	秋C	月5,6	佐藤 淳一	フランス語検定試験準2級レベルのフランス語(4技能)を学び、準2級の試験対策ができる。	全学群対象 選択必修クラスの単位に代替することはできない。原則、「基礎フランス語」AI及びAIIの履修者に限る。主に日本語で授業を行います。 G科目 対面

開設母体

要件
中国語

中国語

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
34H1012	基礎中国語AI	2	1.0	1	春AB	月3	陳 玥	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	人文・応理・エシス・総学1組対象(学籍番号末尾1,2,3) 主に日本語で授業を行う。 G科目 対面
34H1022	基礎中国語AI	2	1.0	1	春AB	月3	呉 琪	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	人文・応理・エシス・総学1組対象(学籍番号末尾4,5,6) 主に日本語で授業を行う。 G科目 対面
34H1032	基礎中国語AI	2	1.0	1	春AB	月3	井川 義次	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	人文・応理・エシス・総学1組対象(学籍番号末尾7,8,9,0) 主に日本語で授業を行う。 G科目 対面
34H2012	基礎中国語AI	2	1.0	1	春AB	月4	井川 義次	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	比文・日日・社工・体育1・総学2組対象(学籍番号末尾1,2,3) 主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
34H2022	基礎中国語AI	2	1.0	1	春AB	月4	陳 玥	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	比文・日日・社工・体育1・総学2組対象(学籍番号末尾4,5,6) 主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
34H2032	基礎中国語AI	2	1.0	1	春AB	月4	李 立冰	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	比文・日日・社工・体育1・総学2組対象(学籍番号末尾7,8,9,0) 主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
34H3012	基礎中国語AI	2	1.0	1	春AB	月5	李 立冰	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	生物・地球・数学・物理・化学・創成・総学3組対象 主に日本語で授業を行う。 G科目 対面
34H4012	基礎中国語AI	2	1.0	1	春AB	月6	李 立冰	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	主として医学・看護・医療・芸術・総学4組対象対象 主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面 .
34H5012	基礎中国語AI	2	1.0	1	春AB	火4	呉 琪	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	教育・心理・障害・知識・体育2・総学5組対象(学籍番号末尾 1,2,3) 主に日本語で授業を行う。 G科目 対面 .
34H5022	基礎中国語AI	2	1.0	1	春AB	火4	稀代 麻也子	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	教育・心理・障害・知識・体育2・総学5組対象(学籍番号末尾 4,5,6) 主に日本語で授業を行う。 G科目 対面 .
34H5032	基礎中国語AI	2	1.0	1	春AB	火4	陳 玥	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	主として教育・心理・障害・知識・体育2・総学5組(学籍番号末尾7,8,9,0)対象 主に日本語で授業を行う。 G科目 対面
34H6012	基礎中国語AI	2	1.0	1	春AB	金2	呉 琪	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	社会・国際・資源・情報・総学6組対象(学籍番号末尾奇数) 主に日本語で授業を行う。 G科目 対面 .

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
34H6022	基礎中国語AI	2	1.0	1	春AB	金2	陳 玥	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	社会・国際・資源・情報・総学6組対象(学籍番号末尾 偶数) 主に日本語で授業を行う。 G科目 対面 .
34J1012	基礎中国語BI	2	1.0	1	春AB	水2	佐々木 勲人	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	人文・応理・エシス・総学1組対象(学籍番号末尾奇数) 主に日本語で授業を行う。 G科目 対面
34J1022	基礎中国語BI	2	1.0	1	春AB	水2	呉 琪	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	人文・応理・エシス・総学1組対象(学籍番号末尾偶数) 主に日本語で授業を行う。 G科目 対面
34J2012	基礎中国語BI	2	1.0	1	春AB	水1	呉 琪	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	比文・日日・社工・体育1・総学2組対象(学籍番号末尾奇数) 主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
34J2022	基礎中国語BI	2	1.0	1	春AB	水1	廉 舒	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	比文・日日・社工・体育1・総学2組対象(学籍番号末尾偶数) 主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
34J3012	基礎中国語BI	2	1.0	1	春AB	木2	小栗山 恵	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	生物・地球・数学・物理・化学・創成・総学3組対象 主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
34J4012	基礎中国語BI	2	1.0	1	春AB	木1	小栗山 恵	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	主として医学・看護・医療・芸術・総学4組対象 主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
34J5012	基礎中国語BI	2	1.0	1	春AB	金1	呉 琪	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	教育・心理・障害・知識・体育2・総学5組対象(学籍番号末尾奇数) 主に日本語で授業を行う。 G科目 対面
34J5022	基礎中国語BI	2	1.0	1	春AB	金1	廉 舒	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	教育・心理・障害・知識・体育2・総学5組対象(学籍番号末尾 偶数) 主に日本語で授業を行う。 G科目 対面
34J6012	基礎中国語BI	2	1.0	1	春AB	火3	佐々木 勲人	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	社会・国際・資源・情報・総学6組対象(学籍番号末尾 奇数) 主に日本語で授業を行う。 G科目 対面
34J6022	基礎中国語BI	2	1.0	1	春AB	火3	呉 琪	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	社会・国際・資源・情報・総学6組対象(学籍番号末尾 偶数) 主に日本語で授業を行う。 G科目 対面
34K1012	基礎中国語AII	2	1.0	1	秋AB	月3	陳 玥	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	人文・応理・エシス・総学1組対象(学籍番号末尾1,2,3) 主に日本語で授業を行う。 G科目 対面
34K1022	基礎中国語AII	2	1.0	1	秋AB	月3	呉 琪	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	人文・応理・エシス・総学1組対象(学籍番号末尾4,5,6) 主に日本語で授業を行う。 G科目 対面
34K1032	基礎中国語AII	2	1.0	1	秋AB	月3	井川 義次	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	人文・応理・エシス・総学1組対象(学籍番号末尾7,8,9,0) 主に日本語で授業を行う。 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
34K2012	基礎中国語AII	2	1.0	1	秋AB	月4	井川 義次	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	比文・日日・社工・体育1・総学2組対象(学籍番号末尾1,2,3) 主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
34K2022	基礎中国語AII	2	1.0	1	秋AB	月4	陳 玥	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	比文・日日・社工・体育1・総学2組対象(学籍番号末尾4,5,6) 主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面 .
34K2032	基礎中国語AII	2	1.0	1	秋AB	月4	李 立冰	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	比文・日日・社工・体育1・総学2組対象(学籍番号末尾7,8,9,0) 主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
34K3012	基礎中国語AII	2	1.0	1	秋AB	月5	李 立冰	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	生物・地球・数学・物理・化学・創成・総学3組対象 主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面 .
34K4012	基礎中国語AII	2	1.0	1	秋AB	月6	李 立冰	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	主として医学・看護・医療・芸術・総学4組対象 主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
34K5012	基礎中国語AII	2	1.0	1	秋AB	火4	呉 琪	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	教育・心理・障害・知識・体育2・総学5組対象(学籍番号末尾 1,2,3) 主に日本語で授業を行う。 G科目 対面 .
34K5022	基礎中国語AII	2	1.0	1	秋AB	火4	稀代 麻也子	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	教育・心理・障害・知識・体育2・総学5組対象(学籍番号末尾 4,5,6) 主に日本語で授業を行う。 G科目 対面
34K5032	基礎中国語AII	2	1.0	1	秋AB	火4	陳 玥	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	教育・心理・障害・知識・体育2・総学5組(学籍番号末尾 7,8,9,0)対象 主に日本語で授業を行う。 G科目 対面
34K6012	基礎中国語AII	2	1.0	1	秋AB	金2	呉 琪	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	社会・国際・資源・情報・総学6組対象(学籍番号末尾 奇数) 主に日本語で授業を行う。 G科目 対面
34K6022	基礎中国語AII	2	1.0	1	秋AB	金2	陳 玥	初修者を対象にしたこの中国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	社会・国際・資源・情報・総学6組対象(学籍番号末尾 偶数) 主に日本語で授業を行う。 G科目 対面 .
34L1012	基礎中国語BII	2	1.0	1	秋AB	水2	佐々木 勲人	この授業では、すでに中国語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	人文・応理・エシス・総学1組対象 「基礎中国語BII」は選択・自由科目だが、「基礎中国語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
34L2012	基礎中国語BII	2	1.0	1	秋AB	水1	呉 琪	この授業では、すでに中国語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	比文・日日・社工・体育1・総学2組対象(学籍番号末尾 奇数)「基礎中国語BII」は選択・自由科目だが、「基礎中国語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面
34L2022	基礎中国語BII	2	1.0	1	秋AB	水1	廉 舒	この授業では、すでに中国語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	比文・日日・社工・体育1・総学2組対象(学籍番号末尾 偶数)「基礎中国語BII」は選択・自由科目だが、「基礎中国語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面 .
34L3012	基礎中国語BII	2	1.0	1	秋AB	木2	小栗山 恵	この授業では、すでに中国語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	生物・地球・数学・物理・化学・創成・総学3組対象 「基礎中国語BII」は選択・自由科目だが、「基礎中国語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面 .
34L4012	基礎中国語BII	2	1.0	1	秋AB	木1	小栗山 恵	この授業では、すでに中国語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	主として医学・看護・医療・芸術・総学4組対象 「基礎中国語BII」は選択・自由科目だが、「基礎中国語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面 .
34L5012	基礎中国語BII	2	1.0	1	秋AB	金1	呉 琪	この授業では、すでに中国語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	教育・心理・障害・知識・体育2・総学5組対象(学籍番号末尾 奇数) 「基礎中国語BII」は選択・自由科目だが、「基礎中国語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面 .
34L5022	基礎中国語BII	2	1.0	1	秋AB	金1	廉 舒	この授業では、すでに中国語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	教育・心理・障害・知識・体育2・総学5組対象(学籍番号末尾 偶数) 「基礎中国語BII」は選択・自由科目だが、「基礎中国語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面 .

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
34L6022	基礎中国語BII	2	1.0	1	秋AB	火3	呉 琪	この授業では、すでに中国語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	社会・国際・資源・情報・総学6組対象 「基礎中国語BII」は選択・自由科目だが、「基礎中国語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で授業を行ないます。 G科目 対面 .

中国語(2年次履修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3451112	中国語圏の言語と文化A	2	1.0	2	春AB	火5	呉 琪	「基礎中国語AI/AII」「基礎中国語BI」で修得した言語知識を踏まえて、4技能(読む・聞く・話す・書く)の総合的な伸長に配慮しながら、中国語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	主として人文・比較文化・日日・情報科・医学類対象。(学籍番号末尾1,2,3)「基礎中国語」A及びBの履修者に限る。日本語と中国語で授業を行う。 G科目 対面 .
3451122	中国語圏の言語と文化A	2	1.0	2	春AB	火5	常 瀟琳	「基礎中国語AI/AII」「基礎中国語BI」で修得した言語知識を踏まえて、4技能(読む・聞く・話す・書く)の総合的な伸長に配慮しながら、中国語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	主として人文・比較文化・日日・情報科・医学類対象。(学籍番号末尾4,5,6)「基礎中国語」A及びBの履修者に限る。日本語と中国語で授業を行う。 G科目 対面 .
3451132	中国語圏の言語と文化A	2	1.0	2	春AB	火5	陳 玥	「基礎中国語AI/AII」「基礎中国語BI」で修得した言語知識を踏まえて、4技能(読む・聞く・話す・書く)の総合的な伸長に配慮しながら、中国語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	主として人文・比較文化・日日・情報科・医学類対象。(学籍番号末尾7,8,9,0)「基礎中国語」A及びBの履修者に限る。日本語と中国語で授業を行う。 G科目 対面
3451212	中国語圏の言語と文化A	2	1.0	2	春AB	火6	常 瀟琳	「基礎中国語AI/AII」「基礎中国語BI」で修得した言語知識を踏まえて、4技能(読む・聞く・話す・書く)の総合的な伸長に配慮しながら、中国語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	主として国際・生物・地球・応理・エシス・看護対象。「基礎中国語」A及びBの履修者に限る。日本語と中国語で授業を行います。 G科目 対面 .
3451412	中国語圏の言語と文化A	2	1.0	2	春AB	金4	廉 舒	「基礎中国語AI/AII」「基礎中国語BI」で修得した言語知識を踏まえて、4技能(読む・聞く・話す・書く)の総合的な伸長に配慮しながら、中国語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	主として社会・資源・創成・知識・医療科・芸術対象。(学籍番号末尾 奇数) 「基礎中国語」A及びBの履修者に限る。日本語と中国語で授業を行う。 G科目 対面 .
3451422	中国語圏の言語と文化A	2	1.0	2	春AB	金4	陳 玥	「基礎中国語AI/AII」「基礎中国語BI」で修得した言語知識を踏まえて、より実践的なコミュニケーション能力の向上に配慮しながら、中国語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	主として社会・資源・創成・知識・医療科・芸術対象。(学籍番号末尾 偶数) 「基礎中国語」A及びBの履修者に限る。日本語と中国語で授業を行う。 G科目 対面
3454112	中国語圏の言語と文化B	2	1.0	2	秋AB	火5	呉 琪	「基礎中国語AI/AII」「基礎中国語BI」で修得した言語知識を踏まえて、より実践的なコミュニケーション能力の向上に配慮しながら、中国語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	選択・自由科目。主として人文・比較文化・日日・情報科・医学類対象。(学籍番号末尾1,2,3)「基礎中国語」A及びBの履修者に限る。日本語と中国語で授業を行う。 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3454122	中国語圏の言語と文化B	2	1.0	2	秋AB	火5	常 瀟琳	「基礎中国語AI/AII」「基礎中国語BI」で修得した言語知識を踏まえて、より実践的なコミュニケーション能力の向上に配慮しながら、中国語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	選択・自由科目。主として人文・比較文化・日日・情報科・医学類対象。(学籍番号末尾4,5,6)「基礎中国語」A及びBの履修者に限る。日本語と中国語で授業を行う。 G科目 対面 .
3454132	中国語圏の言語と文化B	2	1.0	2	秋AB	火5	陳 玥	「基礎中国語AI/AII」「基礎中国語BI」で修得した言語知識を踏まえて、より実践的なコミュニケーション能力の向上に配慮しながら、中国語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	選択・自由科目。主として人文・比較文化・日日・情報科・医学類対象。(学籍番号末尾7,8,9,0)「基礎中国語」A及びBの履修者に限る。日本語と中国語で授業を行う。 G科目 対面
3454212	中国語圏の言語と文化B	2	1.0	2	秋AB	火6	常 瀟琳	「基礎中国語AI/AII」「基礎中国語BI」で修得した言語知識を踏まえて、より実践的なコミュニケーション能力の向上に配慮しながら、中国語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	選択・自由科目。主として国際・生物・地球・応理・エシス・看護対象。「基礎中国語」A及びBの履修者に限る。日本語と中国語で授業を行います。 G科目 対面 .
3454412	中国語圏の言語と文化B	2	1.0	2	秋AB	金4	廉 舒	「基礎中国語AI/AII」「基礎中国語BI」で修得した言語知識を踏まえて、より実践的なコミュニケーション能力の向上に配慮しながら、中国語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	選択・自由科目。主として社会・資源・創成・知識・医療科・芸術対象。(学籍番号末尾 奇数)「基礎中国語」A及びBの履修者に限る。日本語と中国語で授業を行う。 G科目 対面 .
3454422	中国語圏の言語と文化B	2	1.0	2	秋AB	金4	陳 玥	「基礎中国語AI/AII」「基礎中国語BI」で修得した言語知識を踏まえて、より実践的なコミュニケーション能力の向上に配慮しながら、中国語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	選択・自由科目。主として社会・資源・創成・知識・医療科・芸術対象。(学籍番号末尾 偶数)「基礎中国語」A及びBの履修者に限る。日本語と中国語で授業を行う。 G科目 対面

中国語(選択・自由科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3461012	応用中国語作文(1)A	2	1.0	2 - 4	春C	金3,4	廉 舒	生活文化に関するテーマについて、簡単な文章を用いて中国語で書く力を養い、中国語表現力を高める。	全学群対象。原則、「基礎中国語」A及びBの履修者に限る。主に日本語で授業を行う。 G科目 対面
3465022	応用中国語講読(2)B	2	1.0	2 - 4	秋AB	火3	佐々木 勲人	生活文化をテーマとして扱ったテキストを用いて、論説文や小説等を正確に読む力を養い、より高度な中国語読解力を習得する。	全学群対象。原則、「基礎中国語」A及びBの履修者に限る。主に日本語で授業を行う。 G科目 対面
3466012	応用中国語作文(1)B	2	1.0	2 - 4	秋C	金3,4	廉 舒	文化や文学に関するテーマについて、自らの考えを文章を用いて中国語で書く力を養い、より高度な中国語表現力を習得する。	全学群対象。原則、「基礎中国語」A及びBの履修者に限る。主に日本語で授業を行う。 G科目 対面
3467012	応用中国語会話(1)B	2	1.0	2 - 4	秋AB	水3	呉 琪	社会生活に関する話題をテーマとして、会話練習を通して、より高度な中国語コミュニケーション力を習得する。	全学群対象。原則、「基礎中国語」A及びBの履修者に限る。主に日本語で授業を行う。 G科目 対面
3467032	応用中国語会話(3)B	2	1.0	2 - 4				社会生活に関する話題をテーマとして、会話練習を通して、より高度な中国語コミュニケーション力を習得する。	全学群対象。原則、「基礎中国語」A及びBの履修者に限る。主に日本語で授業を行う。 2026年度開講せず。 G科目 対面

開設母体

要件
ロシア語

ロシア語

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
35H1012	基礎ロシア語AI	2	1.0	1	春AB	水2	臼山 利信,徳田 由佳子	初修者を対象にしたこのロシア語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	主として人文・応理・エシス対象。他学群・学類の学生も可。主に日本語で授業。 G科目 対面
35H2012	基礎ロシア語AI	2	1.0	1	春AB	水1	加藤 百合	初修者を対象にしたこのロシア語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	主として比文・日日・社工・体育1対象。他学群・学類の学生も可。主に日本語で授業。 G科目 対面
35H3012	基礎ロシア語AI	2	1.0	1	春AB	木2	加藤 百合	初修者を対象にしたこのロシア語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	主として生物・地球・数学・物理・化学・創成対象。他学群・学類の学生も可。主に日本語で授業。 G科目 対面
35H5012	基礎ロシア語AI	2	1.0	1	春AB	金1	若月 花帆	初修者を対象にしたこのロシア語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	主として教育・心理・障害・知識・体育2対象。他学群・学類の学生も可。主に日本語で授業。 G科目 対面
35H6012	基礎ロシア語AI	2	1.0	1	春AB	火3	梶山 祐治	初修者を対象にしたこのロシア語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	主として社会・国際・資源・情報対象。他学群・学類の学生も可。主に日本語で授業。 G科目 対面
35J1012	基礎ロシア語BI	2	1.0	1	春AB	月3	アファナシエヴァナターリア	初修者を対象にしたこのロシア語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	主として人文・応理・エシス対象。他学群・学類の学生も可。 ロシア語で授業。英語での説明も行う。 G科目 対面
35J2012	基礎ロシア語BI	2	1.0	1	春AB	月4	アファナシエヴァナターリア	初修者を対象にしたこのロシア語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	主として比文・日日・社工・体育1対象。他学群・学類の学生も可。ロシア語で授業。英語での説明も行う。 G科目 対面
35J3012	基礎ロシア語BI	2	1.0	1	春AB	月5	アファナシエヴァナターリア	初修者を対象にしたこのロシア語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	主として生物・地球・数学・物理・化学・創成対象。他学群・学類の学生も可。ロシア語で授業。英語での説明も行う。 G科目 対面
35J5012	基礎ロシア語BI	2	1.0	1	春AB	火4	アファナシエヴァナターリア	初修者を対象にしたこのロシア語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	主として教育・心理・障害・知識・体育2対象。他学群・学類の学生も可。ロシア語で授業。英語での説明も行う。 G科目 対面
35J6012	基礎ロシア語BI	2	1.0	1	春AB	金2	アファナシエヴァナターリア	初修者を対象にしたこのロシア語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	主として社会・国際・資源・情報対象。他学群・学類の学生も可。ロシア語で授業。英語での説明も行う。 G科目 対面
35K1012	基礎ロシア語AII	2	1.0	1	秋AB	水2	臼山 利信,徳田 由佳子	初修者を対象にしたこのロシア語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	主として人文・応理・エシス対象。他学群・学類の学生も可。主に日本語で授業。 G科目 対面(オンライン併用型)
35K2012	基礎ロシア語AII	2	1.0	1	秋AB	水1	加藤 百合	初修者を対象にしたこのロシア語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	主として比文・日日・社工・体育1対象。他学群・学類の学生も可。主に日本語で授業。 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
35K3012	基礎ロシア語AII	2	1.0	1	秋AB	木2	加藤 百合	初修者を対象にしたこのロシア語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	主として生物・地球・数学・物理・化学・創成対象。他学群・学類の学生も可。主に日本語で授業。 G科目 対面
35K5012	基礎ロシア語AII	2	1.0	1	秋AB	金1	若月 花帆	初修者を対象にしたこのロシア語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	主として教育・心理・障害・知識・体育2対象。他学群・学類の学生も可。主に日本語で授業。英語での対応も可能。 G科目 対面
35K6012	基礎ロシア語AII	2	1.0	1	秋AB	火3	梶山 祐治	初修者を対象にしたこのロシア語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	主として社会・国際・資源・情報対象。他学群・学類の学生も可。主に日本語で授業。 G科目 対面
35L1012	基礎ロシア語BII	2	1.0	1	秋AB	月3	アファナシエヴァナターリア	この授業では、すでにロシア語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	主として人文・応理・エシス対象。他学群・学類の学生も可。「基礎ロシア語BII」は選択・自由科目だが、「基礎ロシア語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。ロシア語で授業。英語での説明も行う。 G科目 対面
35L2012	基礎ロシア語BII	2	1.0	1	秋AB	月4	アファナシエヴァナターリア	この授業では、すでにロシア語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	主として比文・日日・社工・体育1対象。他学群・学類の学生も可。「基礎ロシア語BII」は選択・自由科目だが、「基礎ロシア語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。ロシア語で授業。英語での説明も行う。 G科目 対面
35L3012	基礎ロシア語BII	2	1.0	1	秋AB	月5	アファナシエヴァナターリア	この授業では、すでにロシア語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	主として生物・地球・数学・物理・化学・創成対象。他学群・学類の学生も可。「基礎ロシア語BII」は選択・自由科目だが、「基礎ロシア語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。ロシア語で授業。英語での説明も行う。 G科目 対面
35L5012	基礎ロシア語BII	2	1.0	1	秋AB	火4	アファナシエヴァナターリア	この授業では、すでにロシア語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	主として教育・心理・障害・知識・体育2対象。他学群・学類の学生も可。「基礎ロシア語BII」は選択・自由科目だが、「基礎ロシア語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。ロシア語で授業。英語での説明も行う。 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
35L6012	基礎ロシア語BII	2	1.0	1	秋AB	金2	アファナシエヴァナターリア	この授業では、すでにロシア語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	主として社会・国際・資源・情報対象。他学群・学類の学生も可。「基礎ロシア語BII」は選択・自由科目だが、「基礎ロシア語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。ロシア語で授業。英語での説明も行う。 G科目 対面

ロシア語(2年次履修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3551112	ロシア語圏の言語と文化A	2	1.0	2	春AB	火5	アファナシエヴァナターリア	「基礎ロシア語AI/AII」「基礎ロシア語BI」で修得した言語知識を踏まえて、4技能(読む・聞く・話す・書く)の総合的な伸長に配慮しながら、ロシア語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	主として人文・比文・日日・情報・医学対象。「基礎ロシア語」A及びBの履修者に限る。主にロシア語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面
3551212	ロシア語圏の言語と文化A	2	1.0	2	春AB	火6	アファナシエヴァナターリア	「基礎ロシア語AI/AII」「基礎ロシア語BI」で修得した言語知識を踏まえて、4技能(読む・聞く・話す・書く)の総合的な伸長に配慮しながら、ロシア語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	主として国際・生物・地球・応理・エシス・看護対象。「基礎ロシア語」A及びBの履修者に限る。主にロシア語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面
3551412	ロシア語圏の言語と文化A	2	1.0	2	春AB	金4	若月 花帆	「基礎ロシア語AI/AII」「基礎ロシア語BI」で修得した言語知識を踏まえて、4技能(読む・聞く・話す・書く)の総合的な伸長に配慮しながら、ロシア語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	主として社会・資源・創成・知識・医療科・芸術対象。「基礎ロシア語」A及びBの履修者に限る。主に日本語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面
3554112	ロシア語圏の言語と文化B	2	1.0	2	秋AB	火5	アファナシエヴァナターリア	「基礎ロシア語AI/AII」「基礎ロシア語BI」で修得した言語知識を踏まえて、より実践的なコミュニケーション能力の向上に配慮しながら、ロシア語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	選択・自由科目。主として人文・比文・日日・情報・医学対象。「ロシア語圏の言語と文化A」の履修者に限る。主にロシア語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面
3554212	ロシア語圏の言語と文化B	2	1.0	2	秋AB	火6	アファナシエヴァナターリア	「基礎ロシア語AI/AII」「基礎ロシア語BI」で修得した言語知識を踏まえて、より実践的なコミュニケーション能力の向上に配慮しながら、ロシア語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	選択・自由科目。主として国際・生物・地球・応理・エシス・看護対象。「ロシア語圏の言語と文化A」の履修者に限る。主に日本語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面
3554412	ロシア語圏の言語と文化B	2	1.0	2	秋AB	金4	若月 花帆	「基礎ロシア語AI/AII」「基礎ロシア語BI」で修得した言語知識を踏まえて、より実践的なコミュニケーション能力の向上に配慮しながら、ロシア語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	選択・自由科目。主として社会・資源・創成・知識・医療科・芸術対象。「ロシア語圏の言語と文化A」の履修者に限る。主に日本語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面

ロシア語(選択・自由科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3560012	応用ロシア語講読A	2	1.0	2 - 4	夏季休業中	集中	梶山 祐治	「ロシア語基礎A」及び「ロシア語基礎B」の学習事項を踏まえて、ロシアの社会や文化を紹介するテキストを丹念に読み,確かな読解力と異文化理解能力の伸長を目指す。	全学群対象。「基礎ロシア語A」及び「基礎ロシア語B」の履修者が望ましい。 G科目 オンライン(同時双方向型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3561012	応用ロシア語作文A	2	1.0	2 - 4	春AB	金5	アファナシエヴァ ナターリア	実用的なロシア語表現の習得に配慮した作文演習。	全学群対象。「基礎ロシア語」A及びBの履修者に限る。ロシア語で授業。英語での対応も可能。 G科目 対面
3562012	応用ロシア語会話A	2	1.0	2 - 4	春AB	金3	アファナシエヴァ ナターリア	「ロシア語基礎A」及び「ロシア語基礎B」の学習事項を踏まえて、現代ロシア社会での生活に役立つテキストを活用し、履修者の習得状況に配慮しながら、実践的な会話能力の伸長を目指す。(中級クラス)	全学群対象。「基礎ロシア語A」及び「基礎ロシア語B」の履修者が望ましい。ロシア語で授業。英語での対応も可能。 G科目 対面
3565012	応用ロシア語講読B	2	1.0	2 - 4	春季休業中	集中	梶山 祐治	「ロシア語基礎A」及び「ロシア語基礎B」の学習事項を踏まえて、ロシアの社会や文化を紹介するテキストを丹念に読み,確かな読解力と異文化理解能力の伸長を目指す。	全学群対象。「基礎ロシア語A」及び「基礎ロシア語B」の履修者が望ましい。 G科目 オンライン(同時双方向型)
3566012	応用ロシア語作文B	2	1.0	2 - 4	秋AB	金5	アファナシエヴァ ナターリア	実用的なロシア語表現の習得に配慮した作文演習。	"全学群対象。「基礎ロシア語」A及びBの履修者に限る。ロシア語で授業。英語での対応も可能。 G科目 対面
3567012	応用ロシア語会話B	2	1.0	2 - 4	秋AB	金3	アファナシエヴァ ナターリア	「基礎ロシア語A」及び「基礎ロシア語B」の学習事項を踏まえて、現代ロシア社会での生活に役立つテキストを活用し、履修者の習得状況に配慮しながら、実践的な会話能力の伸長を目指す。(中級クラス)	全学群対象。「基礎ロシア語A」及び「基礎ロシア語B」の履修者が望ましい。ロシア語で授業。英語での対応も可能。 G科目 対面
3563002	応用ロシア語作文	2	2.0	2 - 4	春C	月5,6 金3,4	アファナシエヴァ ナターリア	本科目では、ロシア、カザフスタン、キルギス、ベラルーシで公用語となっているロシア語について、中・上級者が会話する力を伸ばす機会を提供する。	全学群対象　「基礎ロシア語」AI、AII及びBI、BIIの履修者が望ましい。ロシア語で授業 ロシア語で授業。 G科目 対面
3564002	応用ロシア語会話	2	2.0	2 - 4	春C	月3,4 水1,2	アファナシエヴァ ナターリア	本科目では、ロシア、カザフスタン、キルギス、ベラルーシで公用語となっているロシア語について、中・上級者が会話する力を伸ばす機会を提供する。	全学群対象　「基礎ロシア語」AI、AII及びBI、BIIの履修者が望ましい。ロシア語で授業 ロシア語で授業。 G科目 対面
3569002	応用ロシア語プレゼンテーション	2	2.0	2 - 4	秋C	月3,4 金1,2	アファナシエヴァ ナターリア	本科目では、ロシア、カザフスタン、キルギス、ベラルーシで公用語となっているロシア語でプレゼンテーションする力を伸ばす機会を提供する。ロシア語で自信をもってプレゼンテーションできるようになることが目標である。	全学群対象　「基礎ロシア語」AI、AII及びBI、BIIの履修者が望ましい。ロシア語で授業 ロシア語で授業。 G科目 対面
3570002	留学準備のためのロシア語	2	1.0	1 - 4	春C	月1,2	若月 花帆	本科目では、ロシアだけでなくカザフスタンやキルギスでも公用語として使用されているロシア語に関して、実践的な会話練習を重視した授業を行い、実際に現地に行っても困らないレベルのロシア語スキルを身につける。	全学群対象。 ロシア語の初級文法を習得していること。 「海外語学研修A・B・C」、「海外プロジェクト研修(ロシア語圏)」を履修する学生は本科目を履修することが望ましい。 G科目 対面
3571002	留学準備のためのウズベク語	2	1.0	1 - 4	秋C	水1,2	日高 晋介	本科目では、かつてソビエト連邦を構成したウズベキスタンの国家語であるウズベク語(トルコ語と親戚関係にあるテュルク諸語のひとつ)について、講義と問題演習・チェックテストを通じて理解を深めることで、ウズベキスタン留学のための準備の機会を提供する。	全学群対象 海外留学や海外語学研修への参加が義務ではない G科目 対面
3572002	留学準備のための ジョージア語	2	1.0	1 - 4	春C	木1,2	五月女 颯	本科目では、かつてソビエト連邦を構成したジョージアの国家語であるジョージア語について、講義とペアワーク等を通じて理解を深めることで、ジョージアへの関心を高めるとともに、留学のための準備の機会を提供する。	全学群対象 海外留学や海外語学研修への参加が義務ではない G科目 対面

開設母体　　要件
スペイン語

スペイン語

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
36H1012	基礎スペイン語AI	2	1.0	1	春AB	月3	松本 健	初修者を対象にしたこのスペイン語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	人文・応理・エシス・総学1組対象。日本語で授業。英語での対応可能 G科目 対面
36H2012	基礎スペイン語AI	2	1.0	1	春AB	月4	宮﨑 和夫	初修者を対象にしたこのスペイン語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	比文・日日・社工・体育1・総学2組対象。日本語で授業 G科目 対面
36H4012	基礎スペイン語AI	2	1.0	1	春AB	月6	松本 健	初修者を対象にしたこのスペイン語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	医学・看護・医療・芸術・総学4組対象。日本語で授業。英語での対応可能。 G科目 対面
36H5012	基礎スペイン語AI	2	1.0	1	春AB	火4	宮﨑 和夫	初修者を対象にしたこのスペイン語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	教育・障害・体育2・総学5組対象。日本語で授業 G科目 対面
36H5022	基礎スペイン語AI	2	1.0	1	春AB	火4	太田 多聞	初修者を対象にしたこのスペイン語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	心理・知識・総学5組対象。主に日本語で授業。英語での対応可能。 G科目 対面
36H6012	基礎スペイン語AI	2	1.0	1	春AB	金2	宮﨑 和夫	初修者を対象にしたこのスペイン語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	社会・資源・総学6組対象。日本語で授業 G科目 対面
36H6022	基礎スペイン語AI	2	1.0	1	春AB	金2	メルチー ヤスキン ラモス	初修者を対象にしたこのスペイン語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	国際・情報・総学6組対象。主に日本語で授業。英語での対応可能。 G科目 対面
36J1012	基礎スペイン語BI	2	1.0	1	春AB	水2	マルティネス オリベル リサンデル	初修者を対象にしたこのスペイン語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	人文・応理・エシス・総学1組対象。主に日本語で授業。英語での対応可能 G科目 対面
36J2012	基礎スペイン語BI	2	1.0	1	春AB	水1	マルティネス オリベル リサンデル	初修者を対象にしたこのスペイン語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	体育1・総学2組対象。主に日本語で授業。英語での対応可能 G科目 対面
36J2022	基礎スペイン語BI	2	1.0	1	春AB	水1	ベラウンデ デグレゴリ アロンソ	初修者を対象にしたこのスペイン語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	比文・日日・社工・総学2組対象。主にスペイン語で授業。英語での対応可能。 G科目 対面
36J4012	基礎スペイン語BI	2	1.0	1	春AB	木1	ベラウンデ デグレゴリ アロンソ	初修者を対象にしたこのスペイン語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	医学・看護・医療・芸術・総学4組対象。主にスペイン語で授業。英語での対応可能 G科目 対面
36J5012	基礎スペイン語BI	2	1.0	1	春AB	金1	マルティネス オリベル リサンデル	初修者を対象にしたこのスペイン語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	心理・知識・総学5組対象。主に日本語で授業。英語での対応可能 G科目 対面
36J5022	基礎スペイン語BI	2	1.0	1	春AB	金1	メルチー ヤスキン ラモス	初修者を対象にしたこのスペイン語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	教育・障害・体育2・総学5組対象。主に日本語で授業。英語での対応可能。 G科目 対面
36J6012	基礎スペイン語BI	2	1.0	1	春AB	火3	太田 多聞	初修者を対象にしたこのスペイン語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	社会・資源・総学6組対象。主に日本語で授業。英語での対応可能 G科目 対面
36J6022	基礎スペイン語BI	2	1.0	1	春AB	火3	モントジャ マエチャ アンドレアロクサン	初修者を対象にしたこのスペイン語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	国際・情報・総学6組対象。主にスペイン語で授業。英語、日本語での対応可能 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
36K1012	基礎スペイン語AII	2	1.0	1	秋AB	月3	松本 健	初修者を対象にしたこのスペイン語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	人文・応理・エシス・総学1組対象　日本語で授業 英語での対応可能 G科目 対面
36K2012	基礎スペイン語AII	2	1.0	1	秋AB	月4	宮﨑 和夫	初修者を対象にしたこのスペイン語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	比文・日日・社工・体育1・総学2組対象。日本語で授業 G科目 対面
36K4012	基礎スペイン語AII	2	1.0	1	秋AB	月6	松本 健	初修者を対象にしたこのスペイン語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	医学・看護・医療・芸術・総学4組対象 日本語で授業 G科目 対面
36K5012	基礎スペイン語AII	2	1.0	1	秋AB	火4	宮﨑 和夫	初修者を対象にしたこのスペイン語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	教育・障害・体育2・総学5組対象。日本語で授業 G科目 対面
36K5022	基礎スペイン語AII	2	1.0	1	秋AB	火4	太田 多聞	初修者を対象にしたこのスペイン語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	心理・知識・総学5組対象 主に日本語で授業。英語での対応可能。 G科目 対面
36K6012	基礎スペイン語AII	2	1.0	1	秋AB	金2	マルティネス オリベル リサンデル	初修者を対象にしたこのスペイン語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	社会・資源・総学6組対象 主に日本語で授業。英語での対応可能。 G科目 対面
36K6022	基礎スペイン語AII	2	1.0	1	秋AB	金2	メルチー ヤスキン ラモス	初修者を対象にしたこのスペイン語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	国際・情報・総学6組対象。主に日本語で授業。英語での対応可能。 G科目 対面
36L1012	基礎スペイン語BII	2	1.0	1	秋AB	水2	宮﨑 和夫	この授業では、すでにスペイン語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	人文・応理・エシス・総学1組対象。主にスペイン語で授業。英語での対応可能。「基礎スペイン語BII」は選択・自由科目だが、「基礎スペイン語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。担当教員変更の可能性あり G科目 対面
36L2012	基礎スペイン語BII	2	1.0	1	秋AB	水1	宮﨑 和夫	この授業では、すでにスペイン語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	比文・日日・社工・体育1・総学2組対象。主にスペイン語で授業。英語での対応可能。「基礎スペイン語BII」は選択・自由科目だが、「基礎スペイン語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。担当教員変更の可能性あり G科目 対面
36L5012	基礎スペイン語BII	2	1.0	1	秋AB	金1	メルチー ヤスキン ラモス	この授業では、すでにスペイン語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	教育・心理・障害・知識・体育2・総学5組対象 主に日本語で授業。英語での対応可能。「基礎スペイン語BII」は選択・自由科目だが、「基礎スペイン語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
36L6012	基礎スペイン語BII	2	1.0	1	秋AB	火3	太田 多聞	この授業では、すでにスペイン語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	社会・国際・資源・情報・総学6組対象 主に日本語で授業。英語での対応可能。「基礎スペイン語BII」は選択・自由科目だが、「基礎スペイン語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。 G科目 対面

スペイン語(2年次履修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3651112	スペイン語圏の言語と文化A	2	1.0	2	春AB	火5	宮﨑 和夫	「基礎スペイン語AI/AII」「基礎スペイン語BI」で修得した言語知識を踏まえて、4技能(読む・聞く・話す・書く)の総合的な伸長に配慮しながら、スペイン語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	主として人文・比文・日日・情報・医学対象。「基礎スペイン語」A及びBの履修者に限る。日本語で授業を行います。 G科目 対面
3651122	スペイン語圏の言語と文化A	2	1.0	2				「基礎スペイン語AI/AII」「基礎スペイン語BI」で修得した言語知識を踏まえて、4技能(読む・聞く・話す・書く)の総合的な伸長に配慮しながら、スペイン語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	主として人文・比文・日日・情報・医学対象。「基礎スペイン語」A及びBの履修者に限る。主にスペイン語で授業を行います。英語での対応可能。 2026年度開講せず。 G科目 対面
3651212	スペイン語圏の言語と文化A	2	1.0	2	春AB	火6	モントジャ マエチャ アンドレア ロクサン	「基礎スペイン語AI/AII」「基礎スペイン語BI」で修得した言語知識を踏まえて、4技能(読む・聞く・話す・書く)の総合的な伸長に配慮しながら、スペイン語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	主として国際・生物・地球・応理・エシス・看護対象。「基礎スペイン語」A及びBの履修者に限る。主にスペイン語で授業をおこないます。英語、日本語での対応可能。 G科目 対面
3651412	スペイン語圏の言語と文化A	2	1.0	2	春AB	金4	メルチー ヤスキン ラモス	「基礎スペイン語AI/AII」「基礎スペイン語BI」で修得した言語知識を踏まえて、4技能(読む・聞く・話す・書く)の総合的な伸長に配慮しながら、スペイン語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	主として社会・資源・創成・知識・医療科・芸術対象。「基礎スペイン語」A及びBの履修者に限る。主に日本語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面
3651612	スペイン語圏の言語と文化A	2	1.0	2	春AB	金3	メルチー ヤスキン ラモス	「基礎スペイン語AI/AII」「基礎スペイン語BI」で修得した言語知識を踏まえて、4技能(読む・聞く・話す・書く)の総合的な伸長に配慮しながら、スペイン語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	全学群対象。「基礎スペイン語」A及びBの履修者に限る。主に日本語で授業を行います.英語での対応可能。 G科目 対面
3654112	スペイン語圏の言語と文化B	2	1.0	2	秋AB	火5	宮﨑 和夫	「基礎スペイン語AI/AII」「基礎スペイン語BI」で修得した言語知識を踏まえて、より実践的なコミュニケーション能力の向上に配慮しながら、スペイン語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	選択・自由科目。主として人文・比文・日日・情報・医学対象。主にスペイン語で授業。英語での対応可能。「スペイン語圏の言語と文化A」の履修者に限る。担当教員変更の可能性あり G科目 対面
3654212	スペイン語圏の言語と文化B	2	1.0	2	秋AB	火6	宮﨑 和夫	「基礎スペイン語AI/AII」「基礎スペイン語BI」で修得した言語知識を踏まえて、より実践的なコミュニケーション能力の向上に配慮しながら、スペイン語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	選択・自由科目。主として国際・生物・地球・応理・エシス・看護対象。主にスペイン語で授業。英語での対応可能。「スペイン語圏の言語と文化A」の履修者に限る。担当教員変更の可能性あり G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3654412	スペイン語圏の言語と文化B	2	1.0	2	秋AB	金4	マルティネス オリベル リサンデル	「基礎スペイン語AI/AII」「基礎スペイン語BI」で修得した言語知識を踏まえて、より実践的なコミュニケーション能力の向上に配慮しながら、スペイン語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	選択・自由科目。主として社会・資源・創成・知識・医療科・芸術対象。「スペイン語圏の言語と文化A」の履修者に限る。主に日本語で授業を行います。英語での対応可能。 G科目 対面
3654612	スペイン語圏の言語と文化B	2	1.0	2				「基礎スペイン語AI/AII」「基礎スペイン語BI」で修得した言語知識を踏まえて、より実践的なコミュニケーション能力の向上に配慮しながら、スペイン語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	選択・自由科目。全学群対象。「スペイン語圏の言語と文化A」の履修者に限る。主に日本語で授業を行います。英語での対応可能。 2026年度開講せず。 G科目 対面

スペイン語(選択・自由科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3660012	応用スペイン語講読(1)A	2	1.0	2 - 4					全学群対象。原則、「基礎スペイン語」A及びBの履修者に限る。 スペイン語で授業。 2026年度開講せず。 G科目 対面
3660022	応用スペイン語講読(2)A	2	1.0	2 - 4					全学群対象。原則、「基礎スペイン語」A及びBの履修者に限る。 スペイン語で授業。 2026年度開講せず。 G科目 対面
3660032	応用スペイン語講読(3)A	2	1.0	2 - 4					全学群対象。原則、「基礎スペイン語」A及びBの履修者に限る。 スペイン語で授業。 2026年度開講せず。 G科目 対面
3661012	応用スペイン語作文(1)A	2	1.0	2 - 4					全学群対象。原則、「基礎スペイン語」A及びBの履修者に限る。 スペイン語で授業。 2026年度開講せず。 G科目 対面
3662012	応用スペイン語会話(1)A	2	1.0	2 - 4	春AB	水2	ベラウンデ デグレゴリ アロンソ	En este curso desarrollarás tu capacidad de expresión oral para conversar sobre temas cotidianos, mientras aprendes sobre diferentes aspectos de la cultura latinoamericana. Practicarás tu habilidad para expresar tus opiniones, intereses y gustos, así como formular preguntas para obtener información útil en contextos cotidianos. De igual manera, el curso buscará que desarrolles un pensamiento independiente y crítico, comparando la realidad de Japón con algunos aspectos centrales de la historia, sociedad y cultura de los países latinoamericanos. Cada sesión introducirá un tema de conversación distinto, materiales audiovisuales de apoyo y una lista de vocabulario específico para orientar el diálogo.	全学群対象。原則、「基礎スペイン語」A及びBの履修者に限る。 スペイン語で授業。 G科目 対面
3662022	応用スペイン語会話(2)A	2	1.0	2 - 4					全学群対象。原則、「基礎スペイン語」A及びBの履修者に限る。 スペイン語で授業。 2026年度開講せず。 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3662032	応用スペイン語会話(3)A	2	1.0	2 - 4					全学群対象。原則、「基礎スペイン語」A及びBの履修者に限る。 スペイン語で授業。 2026年度開講せず。 G科目 対面
3665012	応用スペイン語講読(1)B	2	1.0	2 - 4					全学群対象。原則、「スペイン語基礎」A及びBの履修者に限る。 スペイン語で授業。 2026年度開講せず。 G科目
3666012	応用スペイン語作文(1)B	2	1.0	2 - 4	秋AB	水4			全学群対象。原則、「基礎スペイン語」A及びBの履修者に限る。2026年度開講予定 スペイン語で授業。 G科目 対面
3667012	応用スペイン語会話(1)B	2	1.0	2 - 4	秋AB	水5			全学群対象。原則、「基礎スペイン語」A及びBの履修者に限る。2026年度開講予定 スペイン語で授業。 G科目 対面
3667022	応用スペイン語会話(2)B	2	1.0	2 - 4					全学群対象。原則、「基礎スペイン語」A及びBの履修者に限る。 スペイン語で授業。 2026年度開講せず。 G科目 対面
3667032	応用スペイン語会話(3)B	2	1.0	2 - 4					全学群対象。原則、「基礎スペイン語」A及びBの履修者に限る。スペイン語で授業。 スペイン語で授業。 2026年度開講せず。 G科目 対面
3670002	実践スペイン語A	2	1.0	1	春C	水1,2	マルティネス オリベル リサンデル	このコースは、言語を文化への扉と捉え、動画、音楽、ゲームなどを活用しながら、基礎スペイン語の語彙や文法を復習するとともに、スペイン語圏の文化に関する理解を深めることを目的としています。初級スペイン語の内容を中心に、内容言語統合型学習(CLIL)の手法を取り入れてデザインされています。	全学群対象 原則、「基礎スペイン語」AI及びBIの履修者に限る。主にスペイン語で授業。日本語、英語での対応可能。 G科目 対面
3672002	DELE A2 演習	2	1.0	2 - 4	春C	月・火・水・木・金		このコースでは、DELE A2試験の4つのパート(読解、文章表現、聞き取り、口頭試験)を体験し、テストに合格するための戦略とコツを学ぶ。受講者は、本学のスペイン語の1年次科目と2年次科目をすべて履修しているか、少なくともCEFRのA1よりも上のレベルを有していることが求められる。	全学群対象 CEFR A2.1相当以上のスペイン語能力を有することが望ましい。2026年度開講予定 スペイン語で授業。 G科目 対面

開設母体　　要件
韓国語

韓国語

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
37H1012	基礎韓国語AI	2	1.0	1	春AB	月3	鄭 敬珍	初修者を対象にしたこの韓国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、特に基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	主として人文・応理・エシス・総学1対象(学籍番号末尾奇数)。日本語で授業を行う。 G科目 対面
37H1022	基礎韓国語AI	2	1.0	1	春AB	月3	白 仁子	初修者を対象にしたこの韓国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、特に基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	主として人文・応理・エシス・総学1組対象(学籍番号末尾偶数)。日本語で授業を行う。 G科目 対面
37H2012	基礎韓国語AI	2	1.0	1	春AB	月4	鄭 敬珍	初修者を対象にしたこの韓国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、特に基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	主として比文・日日・社工・体育1・総学2対象(学籍番号末尾奇数)。日本語で授業を行う。 G科目 対面
37H2022	基礎韓国語AI	2	1.0	1	春AB	月4	白 仁子	初修者を対象にしたこの韓国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、特に基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	主として比文・日日・社工・体育1・総学2対象(学籍番号末尾偶数)。 日本語で授業を行う。 G科目 対面
37H5012	基礎韓国語AI	2	1.0	1	春AB	火4	白 仁子	初修者を対象にしたこの韓国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、特に基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	主として教育・心理・障害・知識・体育2・総学5対象(学籍番号末尾奇数)。 日本語で授業を行う。 G科目 対面
37H5022	基礎韓国語AI	2	1.0	1	春AB	火4	沈 希津	初修者を対象にしたこの韓国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、特に基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	主として教育・心理・障害・知識・体育2・総学5対象(学籍番号末尾偶数)。 日本語で授業を行う。 G科目 対面
37H6012	基礎韓国語AI	2	1.0	1	春AB	火3	白 仁子	初修者を対象にしたこの韓国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、特に基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	主として社会・国際・資源・情報・総学6対象(学籍番号末尾奇数)。 日本語で授業を行う。 G科目 対面
37H6022	基礎韓国語AI	2	1.0	1	春AB	火3	沈 希津	初修者を対象にしたこの韓国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、特に基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	主として社会・国際・資源・情報・総学6対象(学籍番号末尾偶数)。 日本語で授業を行う。 G科目 対面
37J1012	基礎韓国語BI	2	1.0	1	春AB	水2	森 勇俊	初修者を対象にしたこの韓国語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	主として人文・応理・エシス・総学1対象。日本語で授業を行う。 G科目 対面
37J2012	基礎韓国語BI	2	1.0	1	春AB	水1	森 勇俊	初修者を対象にしたこの韓国語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	主として比文・日日・社工・体育1・総学2対象。日本語で授業を行う。 G科目 対面
37J5012	基礎韓国語BI	2	1.0	1	春AB	金1	申 貞恩	初修者を対象にしたこの韓国語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	主として教育・心理・障害・知識・体育2・総学5対象。 日本語で授業を行う。 G科目 対面
37J6012	基礎韓国語BI	2	1.0	1	春AB	金2	申 貞恩	初修者を対象にしたこの韓国語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	主として社会・国際・資源・情報対象。日本語で授業を行う。 G科目 対面
37K1012	基礎韓国語AII	2	1.0	1	秋AB	月3	鄭 敬珍	初修者を対象にしたこの韓国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、特に基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	主として人文・応理・エシス・総学1対象。日本語で授業を行う。 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
37K2012	基礎韓国語AII	2	1.0	1	秋AB	月4	鄭 敬珍	初修者を対象にしたこの韓国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、特に基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	主として比文・日日・社工・体育1・総学2対象。日本語で授業を行う。 G科目 対面
37K5012	基礎韓国語AII	2	1.0	1	秋AB	火4	白 仁子	初修者を対象にしたこの韓国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、特に基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	主として教育・心理・障害・知識・体育2・総学5対象。 日本語で授業を行う。 G科目 対面
37K6012	基礎韓国語AII	2	1.0	1	秋AB	火3	白 仁子	初修者を対象にしたこの韓国語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、特に基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	主として社会・国際・資源・情報・総学6対象。日本語で授業を行う。 G科目 対面
37L1012	基礎韓国語BII	2	1.0	1	秋AB	水2	森 勇俊	この授業では、すでに韓国語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	主として人文・応理・エシス・総学1対象。「基礎韓国語BII」は選択・自由科目だが、「基礎韓国語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で授業を行う。 G科目 対面
37L2012	基礎韓国語BII	2	1.0	1	秋AB	水1	森 勇俊	この授業では、すでに韓国語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	主として比文・日日・社工・体育1・総学2対象。「基礎韓国語BII」は選択・自由科目だが、「基礎韓国語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で授業を行う。 G科目 対面
37L5012	基礎韓国語BII	2	1.0	1	秋AB	金1	申 貞恩	この授業では、すでに韓国語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	主として教育・心理・障害・知識・体育2・総学5対象。 「基礎韓国語BII」は選択・自由科目だが、「基礎韓国語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で授業を行う。 G科目 対面
37L6012	基礎韓国語BII	2	1.0	1	秋AB	金2	申 貞恩	この授業では、すでに韓国語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	主として社会・国際・資源・情報対象。「基礎韓国語BII」は選択・自由科目だが、「基礎韓国語BI」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で授業を行う。 G科目 対面

韓国語(2年次履修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3751612	韓国語圏の言語と文化A	2	1.0	2	春AB	火5	申 貞恩	「基礎韓国語AI/AII」「基礎韓国語BI」で修得した言語知識を踏まえて、4技能(読む・聞く・話す・書く)の総合的な伸長に配慮しながら、韓国語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指す。	2年次以上対象。原則として、「基礎韓国語」A及びBの履修者に限る。主に日本語で授業を行う。 G科目 対面
3751622	韓国語圏の言語と文化A	2	1.0	2	春AB	水1	申 貞恩	「基礎韓国語AI/AII」「基礎韓国語BI」で修得した言語知識を踏まえて、4技能(読む・聞く・話す・書く)の総合的な伸長に配慮しながら、韓国語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	2年次以上対象。「基礎韓国語」A及びBの履修者に限る。主に日本語で授業を行う。 G科目 対面
3754612	韓国語圏の言語と文化B	2	1.0	2	秋AB	火5	申 貞恩	「基礎韓国語AI/AII」「基礎韓国語BI」で修得した言語知識を踏まえて、より実践的なコミュニケーション能力の向上に配慮しながら、韓国語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指す。	2年次以上対象。原則として、「韓国語圏の言語と文化A」の履修者に限る。日本語で授業を行う。 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3754622	韓国語圏の言語と文化B	2	1.0	2	秋AB	水1	申 貞恩	「基礎韓国語AI/AII」「基礎韓国語BI」で修得した言語知識を踏まえて、より実践的なコミュニケーション能力の向上に配慮しながら、韓国語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	2年次以上対象。「韓国語圏の言語と文化A」の履修者に限る。日本語で授業を行う。 G科目 対面

韓国語(選択・自由科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3763012	応用韓国語IA	2	1.0	1 - 4	春AB	火4	申 貞恩	基礎韓国語を修了した学生を対象に、韓国の新聞・メディアテキストを活用して、実践的な読解力と作文力を養成する。社会、政治・経済、文化、スポーツなど多様なジャンルの記事を扱い、要約・翻訳・記事作成を通じて、韓国語のメディアリテラシーを身につける。最終的には、学生自身がオリジナル記事を作成できるレベルを目指す。	全学群対象。「基礎韓国語」AおよびBを履修済または同等の韓国語能力を有する学生を対象とする。 G科目 対面
3764012	応用韓国語IIA	2	1.0	1 - 4	春AB	火3	申 貞恩	視聴覚メディアを活用した実践的なリスニング・スピーキング能力の養成を目的とする。ニュース、ドラマ、ポッドキャストなど多様な韓国語教材を用いて、実際の韓国語使用場面に対応できる口頭コミュニケーション能力を育成する。授業では、効果的な聞き取り戦略の習得から始まり、段階的にプレゼンテーションや討論などの発信型活動へと発展させていく。	全学群対象。「基礎韓国語」A及びBを履修済または同等の韓国語能力を有する学生を対象とする。 G科目 対面
3768012	応用韓国語IB	2	1.0	1 - 4	秋AB	火4	申 貞恩	韓国の文学作品(小説・絵本)を題材に、高度な読解力と創作力を養成する。文学的表現の理解と翻訳技法を学び、短編小説、絵本、動画スクリプトなどの創作活動を行う。文学作品の分析・批評能力を育成し、最終的には学生自身がオリジナル作品を創作し、作品発表会で成果を共有する。	全学群対象。「基礎韓国語」AおよびBを履修済または同等の韓国語能力を有する学生を対象とする。春学期開設「応用韓国語IA」の履修を推奨する。 G科目 対面
3769012	応用韓国語IIB	2	1.0	1 - 4	秋AB	火3	申 貞恩	春学期の基礎を発展させ、より高度なリスニング・スピーキング能力を養成する。映画、ドキュメンタリー、You Tube動画など現代的で実際的なメディアを活用し、流暢で自然な口頭表現力の向上を目指す。ディベート、スピーチ、即興会話など、より高度な発話活動を通じて、様々な状況に対応できる実践的な韓国語運用能力を育成する。	全学群対象。「基礎韓国語」AおよびBを履修済または同等の韓国語能力を有する学生を対象とする。春学期開設「応用韓国語IIA」の履修を推奨する。 G科目 対面

開設母体　　要件
日本語

日本語

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3910312	日本語聴解IA	2	1.0	1・2	春ABC	火4	関 裕子	大学の授業に必要な聴解能力のトレーニングを行う。聞いて理解できる語彙・表現を増やすとともに、テーマ、話の流れ、要点をつかむ力を身につける。	外国人留学生及び帰国生徒等が履修可能。帰国生徒はグローバルコミュニケーション教育センター日本語教育部門長およびクラス担任に受講許可を得ること。学群特別聴講学生で日本語レベル7以上の者も受講できる。ただし、必ず授業担当教員と相談して受講許可を得ること。 受講人数制限あり。日本語聴解A修得済みの者は履修できない。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
3910322	日本語聴解IIB	2	1.0	1・2	秋ABC	火4	関 裕子	大学の授業に必要な聴解能力のトレーニングを行う。聞いて理解できる語彙・表現を増やすとともに、話し手の意図を汲み取り、予測する力を身につける。	外国人留学生及び帰国生徒等が履修可能。帰国生徒はグローバルコミュニケーション教育センター日本語教育部門長およびクラス担任に受講許可を得ること。学群特別聴講学生で日本語レベル7以上の者も受講できる。ただし、必ず授業担当教員と相談して受講許可を得ること。 受講人数制限あり。日本語聴解B修得済みの者は履修できない。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
3910412	日本語読解IA	2	1.0	1・2	春ABC	月4	小野 正樹	大学の授業に必要な読解能力のトレーニングを行う。要約、キーワード抽出、同一テーマの記事探しを行った上で、参加者間で議論を行う。	外国人留学生及び帰国生徒等が履修可能。帰国生徒はグローバルコミュニケーション教育センター日本語教育部門長およびクラス担任に受講許可を得ること。学群特別聴講学生で日本語レベル7以上の者も受講できる。ただし、必ず授業担当教員と相談して受講許可を得ること。 受講人数制限あり。日本語読解A修得済みの者は履修できない。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
3910422	日本語読解IIB	2	1.0	1・2	秋ABC	月4	小野 正樹	大学の授業に必要な読解能力のトレーニングを行う。要約、キーワード抽出、同一テーマの記事探しを行った上で、参加者間で議論を行う。	外国人留学生及び帰国生徒等が履修可能。帰国生徒はグローバルコミュニケーション教育センター日本語教育部門長およびクラス担任に受講許可を得ること。学群特別聴講学生で日本語レベル7以上の者も受講できる。ただし、必ず授業担当教員と相談して受講許可を得ること。 受講人数制限あり。日本語読解B修得済みの者は履修できない。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3910512	日本語作文IA	2	1.0	1・2	春ABC	木2	石田 麻実	短作文練習と宿題のフィードバックと講義を通して、小論文の構成や表現を学び、作文力を身につける。	外国人留学生及び帰国生徒等が履修可能。帰国生徒はグローバルコミュニケーション教育センター日本語教育部門長およびクラス担任に受講許可を得ること。学群特別聴講学生で日本語レベル7以上の者も受講できる。ただし、必ず授業担当教員と相談して受講許可を得ること。 受講人数制限あり。日本語作文A修得済みの者は履修できない。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
3910522	日本語作文IIB	2	1.0	1・2	秋ABC	木2	石田 麻実	短作文練習と宿題のフィードバックと講義を通して、レポートの構成や表現を学び、作文力を身につける。	外国人留学生及び帰国生徒等が履修可能。帰国生徒はグローバルコミュニケーション教育センター日本語教育部門長およびクラス担任に受講許可を得ること。学群特別聴講学生で日本語レベル7以上の者も受講できる。ただし、必ず授業担当教員と相談して受講許可を得ること。 受講人数制限あり。日本語作文B修得済みの者は履修できない。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
3910612	日本語演習IA	2	1.0	1・2	春ABC	水2	平形 裕紀子	大学生活に必要な公の場における日本語でのコミュニケーション能力、基礎的な口頭発表能力を身につけることを目的とし、ディスカッション及びプレゼンテーションを重視したプロジェクトワークを行う。また、問題提起から問題解決に至る方法を協同的、自律的に学ぶ。	外国人留学生及び帰国生徒等が履修可能。帰国生徒はグローバルコミュニケーション教育センター日本語教育部門長およびクラス担任に受講許可を得ること。学群特別聴講学生で日本語レベル7以上の者も受講できる。ただし、必ず授業担当教員と相談して受講許可を得ること。 受講人数制限あり。日本語演習A修得済みの者は履修できない。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
3910622	日本語演習IIB	2	1.0	1・2	秋ABC	水2	平形 裕紀子	大学生活に必要な公の場における日本語でのコミュニケーション能力、やや抽象的な問題についての口頭発表及びレポート作成能力を身につけることを目的とし、ディスカッション及びプレゼンテーションを重視したプロジェクトワークを行う。	外国人留学生及び帰国生徒等が履修可能。帰国生徒はグローバルコミュニケーション教育センター日本語教育部門長およびクラス担任に受講許可を得ること。学群特別聴講学生で日本語レベル7以上の者も受講できる。ただし、必ず授業担当教員と相談して受講許可を得ること。 受講人数制限あり。日本語演習B修得済みの者は履修できない。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。

Japan-Expert(学士)プログラム

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3920132	JE日本語 中上級話す	2	2.0	1	秋ABC	水2 金3	糸川 優,君村 千尋	興味関心のある分野や専門分野について理由や説明を簡潔に話したり、討論したりすることができるようになる。インターンシップ時に必要な会話表現、待遇表現等も使えるようになる。さまざまな問題について、長所と短所、自分の意見が説明できるようになる。	Japan-Expert(学士)プログラム生が優先的に受講できる。ただし、「Japan-Expert日本語中上級話す(3920112)」の単位修得者は履修できない。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3920232	JE日本語 中上級聞く	2	2.0	1	秋ABC	水1 金4	平形 裕紀子	日常的だが、やや難易度の高い語彙や内容を含むトピックを用いる。アカデミックな場面での講義の聞き取りも扱う。大切な情報のメモ・要約・操作と、音の変化の理解、人間関係の把握、男女の言葉遣いの把握ができるようになることを目指す。	Japan-Expert(学士)プログラム生が優先的に受講できる。ただし、「Japan-Expert日本語中上級聞く(3920212)」の単位修得者は履修できない。 対面
3920242	JE日本語 上級聞く	2	2.0	1	秋ABC	水1 金4	金 青華,陳 一吟	やや専門的で広い範囲のトピックを用い、アカデミックな場面での講義の聞き取りができるようにする。推測を加えて話の流れを理解することができる、明示されていない話者の意図を理解する、音変化(難)を理解する、敬語などを手掛かりに人間関係(親疎関係、上下関係)を判断する、などができるようになることを目指す。	Japan-Expert(学士)プログラム生が優先的に受講できる。ただし、「Japan-Expert日本語上級聞く(3920222)」の単位修得者は履修できない。 対面
3920332	JE日本語 中上級読む	2	2.0	1	秋ABC	月・水3	石原 奈保,山本 千波	意見文や論理的な文章の理解ができるようになることを目指す。学習者自身の専門分野の文献も扱い、さまざまなジャンルの文章を読み、グループによる話し合いを通して、読みの共有、意見交換を行う。	Japan-Expert(学士)プログラム生が優先的に受講できる。ただし、「Japan-Expert日本語中上級読む(3920312)」の単位修得者は履修できない。 対面
3920432	JE日本語 中上級書く	2	2.0	1	秋ABC	火・木3	田中 孝始,李 欣穎	やや専門的な話題について、1500字程度の読み手にわかりやすい文章やレポートが書けるようになる。文章構成の型を使って、具体例を挙げたり引用したりしながら、順序立てて意見や報告が書けるようになる。適切な表現や語彙を用いて、説明文や意見文が書けるようになる。また待遇表現を用いたメールの書き方も学ぶ。	Japan-Expert(学士)プログラム生が優先的に受講できる。ただし、「Japan-Expert日本語中上級書く(3920412)」の単位修得者は履修できない。 対面
3920442	JE日本語 上級書く	2	2.0	1	秋ABC	火・金2	金子 信子,近藤 幸子	抽象的な事柄も含め、3000字程度のまとまりのある文章が書けるようになる。専門分野の論文の要約、報告論文の作成もできるようになる。読み手を意識して、論理的に一貫し、構成の整った文章を書く、根拠を挙げて意見を述べる、正しい構文で書く、正しく引用するなどができるようになることを目指す。また待遇表現を用いたメールの書き方も学ぶ。	Japan-Expert(学士)プログラム生が優先的に受講できる。ただし、「Japan-Expert日本語上級書く(3920422)」の単位修得者は履修できない。 対面
3920532	JE日本語 中上級文法	2	2.0	1	秋ABC	月4 金2	長戸 三成子,君村 千尋	入学前に学習している文法項目を復習し、中上級レベルの文法項目を学ぶ。語形の変化の多い表現を取り上げ、どのような状況でどう使い分けるのか、より詳しく学ぶ。	Japan-Expert(学士)プログラム生が優先的に受講できる。ただし、「Japan-Expert日本語中上級文法(3920512)」の単位修得者は履修できない。 対面
3920542	JE日本語 上級文法	2	2.0	1	秋ABC	月1 金3	人見 香緒,長戸 三成子	上級レベルの文法項目を学び、書きことば、話しことばに使われている高度な日本語を理解する。円滑なコミュニケーション活動を行うための日本語の語用論的特徴を理解する。	Japan-Expert(学士)プログラム生が優先的に受講できる。ただし、「Japan-Expert日本語上級文法(3920522)」の単位修得者は履修できない。 対面
3920632	JE日本語 中上級漢字	2	2.0	1	秋ABC	火・木2	三谷 絵里	中上級の漢字語彙の読み書きを覚えながら、正確に運用できるようにする。学習者自身の専門分野の漢字語彙も扱う。学習者自身が自分の弱点に気づき、それを克服するための方法を工夫できるようにする。	Japan-Expert(学士)プログラム生が優先的に受講できる。ただし、「Japan-Expert日本語中上級漢字(3920612)」の単位修得者は履修できない。 対面
3920642	JE日本語 上級漢字	2	2.0	1	秋ABC	月2 木3	田中 孝始,金子 信子	上級の漢字語彙の読み書きを覚えながら、正確に運用できるようにする。学習者自身の専門分野の漢字語彙も扱う。学習者自身の専門分野の本や論文、資料等から漢字および漢字語彙を抽出し、使えるようにするための方法を工夫できるようにする。	Japan-Expert(学士)プログラム生が優先的に受講できる。ただし、「Japan-Expert日本語上級漢字(3920622)」の単位修得者は履修できない。 対面
3920732	JE日本語 中上級総合日本語	2	2.0	1	秋ABC	月2 火4	三好 優花	学類の授業を受講するために必要な日本語力やスキルを総合的に身につける。	Japan-Expert(学士)プログラム生が優先的に受講できる。ただし、「Japan-Expert日本語中上級総合日本語(3920712)」の単位修得者は履修できない。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3920742	JE日本語 上級総合日本語	2	2.0	1	秋ABC	月・火3	三好 優花	学類の授業を受講するために必要な日本語力やスキルを総合的に身につけ、日本語運用力を高める。	Japan-Expert(学士)プログラム生が優先的に受講できる。ただし、「Japan-Expert日本語上級総合日本語(3920722)」の単位修得者は履修できない。 対面
3920811	Japan-Expert専門日本語（アグロノミスト養成コース）	1	−	−	秋ABC	月5	生物資源学類長		
3920812	Japan-Expert専門日本語（アグロノミスト養成コース）	2	1.0	1	秋ABC	月5	生物資源学類長,柴 博史,吉岡 洋輔,清野 達之,高橋 真哉,松山 茂,青柳 秀紀,橋本 義輝,古川 純,トファエル アハメド,小林 幹佳,内海 真生,水野谷 剛,興梠 克久,首藤 久人	日本語を総合的かつ集中的に習得する過程において、アグロノミスト養成コース担当教員から基礎的な知識、専門用語を習得することにより、農学に対する学習意欲を向上させ、今後の専門分野コースへの導入を行う。	Japan-Expert(学士)プログラム アグロノミスト養成コースの学生に限る。 対面
3920822	Japan-Expert専門日本語（ヘルスケアコース）	2	1.0	1	秋ABC	木5	橋爪 祐美,柴山 大賀,菅谷 智一,山下 美智代,安梅 勅江,白谷 佳恵,青木 真希子	日本語を総合的かつ集中的に習得する過程において、ヘルスケアコース担当教員から、基礎的な知識、専門用語、会話表現を習得することにより、日本語に対する学習意欲を向上させ、今後の専門分野コースへの導入を行う。	Japan-Expert(学士)プログラム ヘルスケアコースの学生に限る。 10/1、10/8、10/15、10/22、10/29、11/5、11/12、 11/19 対面
3920832	Japan-Expert専門日本語（日本芸術コース）	2	1.0	1	秋ABC	集中	山本 浩之,武田 一文,直江 俊雄,福満 正志郎,宮坂 慎司,尾川 明穂,田島 直樹,大友 邦子,宮原 克人,小野 裕子,マクラウド ギャリー ロデリック,加藤 研,菅野 圭祐,山田 博之	日本語を総合的かつ集中的に習得する過程において、日本芸術コース担当教員から、基礎的な知識、専門用語、会話表現を習得することにより、日本語に対する学習意欲を向上させ、今後の専門分野コースへの導入を行う。	Japan-Expert(学士)プログラム 日本芸術コースの学生に限る。 10/6,10/17,10/20,10/24,10/31,11/14,11/21,12/5,12/12 対面 10/6(5限,6限), 10/17(5限,6限), 10/20(5限), 10/24(5限),10/31(5限,6限),11/14(5限,6限),11/21(5限,6限),12/5(5限,6限),12/12(6限)
3920842	Japan-Expert専門日本語（日本語教師養成コース）	2	1.0	1	秋ABC	月5	三好 優花	日本語を総合的かつ集中的に習得する過程において、日本語教師養成コース担当教員から、基礎的な知識、専門用語を習得することにより、日本語に対する学習意欲を向上させ、今後の専門分野コースへの導入を行う。	Japan-Expert(学士)プログラム 日本語教師養成コースの学生に限る。 対面

開設母体　　要件

短期留学生用カリキュラム

短期留学生用:総合日本語

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3901072	ES 日本語 4 文法	2	1.0	1	春AB	火1	日髙 晋介	中級前期レベルに必要な文法項目を取り上げ、意味、用法、使い方について学ぶ。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901082	ES 日本語 4 文法	2	1.0	1	秋AB	火1	日髙 晋介	中級前期レベルに必要な文法項目を取り上げ、意味、用法、使い方について学ぶ。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901092	ES 日本語 4 話す聞く	2	1.0	1	春AB	金1	石田 麻実	身近なテーマや話題に関する簡単な発話を正確に聞き取れるようになる。簡単な発表とその聞き取りができるようになる。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901102	ES 日本語 4 話す聞く	2	1.0	1	秋AB	金1	石田 麻実	身近なテーマや話題に関する簡単な発話を正確に聞き取れるようになる。簡単な発表とその聞き取りができるようになる。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901112	ES 日本語 4 読む書く	2	1.0	1	春AB	木1	石田 麻実	よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするようになる。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901122	ES 日本語 4 読む書く	2	1.0	1	秋AB	木1	石田 麻実	よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするようになる。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901132	ES 日本語 5 文法	2	1.0	1	春AB	火2	石田 麻実	中級中期レベルに必要な文法項目を取り上げ、意味、用法、使い方について学ぶ。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3901142	ES 日本語 5 文法	2	1.0	1	秋AB	火2	石田 麻実	中級中期レベルに必要な文法項目を取り上げ、意味、用法、使い方について学ぶ。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901152	ES 日本語 5 話す聞く	2	1.0	1	春AB	金2	堀 恵子	身近な話からやや専門性の高いものを聞き、理解したこと、考えたことを的確に口頭で伝え、自分の意見を話すことができる。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901162	ES 日本語 5 話す聞く	2	1.0	1	秋AB	金2	堀 恵子	身近な話からやや専門性の高いものを聞き、理解したこと、考えたことを的確に口頭で伝え、自分の意見を話すことができる。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901172	ES 日本語 5 読む書く	2	1.0	1	春AB	木2	柳田 しのぶ	身近な話からやや専門的な事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするようになる。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901182	ES 日本語 5 読む書く	2	1.0	1	秋AB	木2	柳田 しのぶ	身近な話からやや専門的な事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするようになる。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901192	ES 日本語 1	2	4.0	1	春ABC	火・水・木・金4	関崎 博紀,金子 信子,菅野 沙也香	初歩的な日常場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、単文や簡単な複文が理解でき、単文レベルの産出、読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字で極簡単な文章を読み、書くトレーニングを行う。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901202	ES 日本語 1	2	4.0	1	秋ABC	火・水・木・金4	関崎 博紀,金子 信子,菅野 沙也香	初歩的な日常場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、単文や簡単な複文が理解でき、単文レベルの産出、読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字で極簡単な文章を読み、書くトレーニングを行う。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3901212	ES 日本語 2	2	4.0	1	春ABC	火・水・木・金2	関崎 博紀,文 昶允,金子 信子,菅野 沙也香	日本語・日本文化の理解を深めながら、必要な情報をとることなど日常的な場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、複文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや長いまとまりのある文章が書けて、読める。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901222	ES 日本語 2	2	4.0	1	秋ABC	火・水・木・金2	関崎 博紀,文 昶允,金子 信子,菅野 沙也香	日本語・日本文化の理解を深めながら、必要な情報をとることなど日常的な場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、複文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや長いまとまりのある文章が書けて、読める。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901232	ES 日本語 3	2	4.0	1	春ABC	火・水・木・金3	関崎 博紀,岩崎 拓也,中野 二郎,菅野 沙也香	日本語・日本文化の理解を深めながら、日常的な場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、複文や段落で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや複雑な文章が書けて、読める。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901242	ES 日本語 3	2	4.0	1	秋ABC	火・水・木・金3	関崎 博紀,岩崎 拓也,中野 二郎,菅野 沙也香,飯田 朋子	日本語・日本文化の理解を深めながら、日常的な場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、複文や段落で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや複雑な文章が書けて、読める。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901252	ES 日本語 4 演習	2	1.0	1	春AB	水1	中野 二郎	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901262	ES 日本語 4 演習	2	1.0	1	秋AB	水1	中野 二郎	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901272	ES 日本語 5 演習	2	1.0	1	春AB	水2	波多野 博顕	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3901282	ES 日本語 5 演習	2	1.0	1	秋AB	水2	劉 悦	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901292	ES 日本語 6 文法	2	1.0	1	春AB	火3	石田 麻実	中級後半-上級レベルの文法を学び、使えるようになる。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901302	ES 日本語 6 文法	2	1.0	1	秋AB	火3	石田 麻実	中級後半-上級レベルの文法を学び、使えるようになる。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901312	ES 日本語 6 話す聞く	2	1.0	1	春AB	金3	堀 恵子	やや専門的な内容の解説やスピーチができ、また聞いて理解できるようになる。また対人関係に基づく表現を正確に使えるようになる。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901322	ES 日本語 6 話す聞く	2	1.0	1	秋AB	金3	堀 恵子	やや専門的な内容の解説やスピーチができ、また聞いて理解できるようになる。また対人関係に基づく表現を正確に使えるようになる。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901332	ES 日本語 6 読む書く	2	1.0	1	春AB	木3	陳 一吟	やや専門性の高いものを読み、理解したこと、考えたことを的確に口頭および文章で伝えることができる。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901342	ES 日本語 6 読む書く	2	1.0	1	秋AB	木3	陳 一吟	やや専門性の高いものを読み、理解したこと、考えたことを的確に口頭および文章で伝えることができる。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3901352	ES 日本語 6 演習	2	1.0	1	春AB	水3	山田 野絵	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901362	ES 日本語 6 演習	2	1.0	1	秋AB	水3	山田 野絵	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901372	ES 日本語 7 文法	2	1.0	1	春AB	火4	李 欣穎	上級レベルの文法を学び、使えるようになる。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901382	ES 日本語 7 文法	2	1.0	1	秋AB	火4	李 欣穎	上級レベルの文法を学び、使えるようになる。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901392	ES 日本語 7 話す聞く	2	1.0	1	春AB	金4	波多野 博顕	社会,文化に関する話題について、その内容を理解する。内容をまとめ、それについて自分の意見を他者にわかりやすく説明することができる。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901402	ES 日本語 7 話す聞く	2	1.0	1	秋AB	金4	劉 悦	社会,文化に関する話題について、その内容を理解する。内容をまとめ、それについて自分の意見を他者にわかりやすく説明することができる。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901412	ES 日本語 7 読む書く	2	1.0	1	春AB	木4	平形 裕紀子	専門性の高いものを読み、理解したこと、考えたことを的確に口頭および文章で伝えることができる。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3901422	ES 日本語 7 読む書く	2	1.0	1	秋AB	木4	平形 裕紀子	専門性の高いものを読み、理解したこと、考えたことを的確に口頭および文章で伝えることができる。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901432	ES 日本語 7 演習	2	1.0	1	春AB	水4	中野 二郎	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901442	ES 日本語 7 演習	2	1.0	1	秋AB	水4	中野 二郎	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901452	ES 様々な日本語 I	2	1.0	1	春ABC	火5	石田 麻実	方言をはじめ、世代、立場、キャラクターによる表現・ことばなど、様々な日本語に触れ、日本語を楽しむ。日本語に対する知識を深める。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901462	ES 様々な日本語 I	2	1.0	1	秋ABC	火5	石田 麻実	方言をはじめ、世代、立場、キャラクターによる表現・ことばなど、様々な日本語に触れ、日本語を楽しむ。日本語に対する知識を深める。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901472	様々な日本語IIA	2	1.0	1	春ABC	月5	小野 正樹	日本語の歴史、方言などの様々なジャンルや目的の日本語に触れ、日本語に対する知識を深める。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901482	様々な日本語IIB	2	1.0	1				日本語の歴史、方言などの様々なジャンルや目的の日本語に触れ、日本語に対する知識を深める。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 2026年度開講せず。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3901552	ES 制作日本語 II	2	1.0	1	春ABC	木5	柳田 しのぶ	日常生活の場面や特定の場所・時間帯で使用される日本語について、演劇を通じて発話のタイミング・自然な日本語の表現等を身につける、それらを使用できるようになる。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901562	ES 制作日本語 II	2	1.0	1	秋ABC	木5	柳田 しのぶ	日常生活の場面や特定の場所・時間帯で使用される日本語について、演劇を通じて発話のタイミング・自然な日本語の表現等を身につける、それらを使用できるようになる。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901592	ES プロジェクトワーク日本語	2	1.0	1	春ABC	金5	陳 一吟	各自が設定したテーマに沿ってプロジェクトワークを行う。これまで学習してきた日本語を駆使し、生の日本語に触れ、語彙、表現を広げることを目指す。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901602	ES プロジェクトワーク日本語	2	1.0	1	秋ABC	金5	陳 一吟	各自が設定したテーマに沿ってプロジェクトワークを行う。これまで学習してきた日本語を駆使し、生の日本語に触れ、語彙、表現を広げることを目指す。	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901612	ES Japanese Socio-cultural Studies (Taught in English)	2	1.0	1	春ABC	月5	ヴァンバーレンルート	Get familiar with Japanese society and culture, and deepen your understanding of Japanese language. (日本の社会や文化などに親しみ、日本語に対する知識を深める。)	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 英語で授業。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901622	ES Japanese Socio-cultural Studies (Taught in English)	2	1.0	1	秋ABC	月5	ヴァンバーレンルート	Get familiar with Japanese society and culture, and deepen your understanding of Japanese language. (日本の社会や文化などに親しみ、日本語に対する知識を深める。)	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 英語で授業。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3901662	ES Japanese Issues (Culture) (Taught in English)	2	1.0	1	春ABC	金5	山本 千波	Deepen your understanding of Japanese culture. (日本の文化などに対する知識を深める。)	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 英語で授業。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3901672	ES Japanese Issues (Culture) (Taught in English)	2	1.0	1	秋ABC	金5	山本 千波	Deepen your understanding of Japanese culture. (日本の文化などに対する知識を深める。)	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 英語で授業。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。

短期留学生用:漢字

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3902012	ES 漢字 1	2	1.0	1	春ABC	月1	柳田 しのぶ	漢字の表意性を理解し、字形の識別、構造の識別することができる。日常生活においてよく目にする漢字を調べたり、覚え方を工夫したりすることができる。(BKB L1-11)	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3902022	ES 漢字 1	2	1.0	1	秋ABC	月1	柳田 しのぶ	漢字の表意性を理解し、字形の識別、構造の識別することができる。日常生活においてよく目にする漢字を調べたり、覚え方を工夫したりすることができる。(BKB L1-11)	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3902032	ES 漢字 2	2	1.0	1	春ABC	月1	陳 一吟	漢字の字形の構造性を理解し、部首、音符などが識別できる。漢字の訓読みと音読みがわかる。日常生活および学生生活においてよく目にする漢字を調べたり、覚え方を工夫したりすることができる。(BKB L11-22)	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3902042	ES 漢字 2	2	1.0	1	秋ABC	月1	陳 一吟	漢字の字形の構造性を理解し、部首、音符などが識別できる。漢字の訓読みと音読みがわかる。日常生活および学生生活においてよく目にする漢字を調べたり、覚え方を工夫したりすることができる。(BKB L11-22)	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3902052	ES 漢字 3	2	1.0	1	春ABC	月2	柳田 しのぶ	初級の漢字語彙を覚え、音読み、訓読みの読み分けができる。漢字を使ったやさしい読み物が読め、簡単な文を書くことができる。(BKB L23 - 35)	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3902062	ES 漢字 3	2	1.0	1	秋ABC	月2	柳田 しのぶ	初級の漢字語彙を覚え、音読み、訓読みの読み分けができる。漢字を使ったやさしい読み物が読め、簡単な文を書くことができる。(BKB L23 - 35)	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3902072	ES 漢字 4	2	1.0	1	春AB	月2	陳 一吟	初級後半の漢字語彙を覚え、音読み、訓読みの読み分けができる。漢字を使ったやさしい読み物を辞書を使いながら読め、簡単な作文を書くことができる。(BKB L36-45)	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3902082	ES 漢字 4	2	1.0	1	秋AB	月2	陳 一吟	初級後半の漢字語彙を覚え、音読み、訓読みの読み分けができる。漢字を使ったやさしい読み物を辞書を使いながら読め、簡単な作文を書くことができる。(BKB L36-45)	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3902092	ES 漢字 5	2	1.0	1	春AB	月3	石田 麻実	中級の漢字語彙の読み書きを覚えながら、正確に運用できるようにする。学習者自身が自分の弱点に気づき、それを克服するための方法を工夫できるようにする。(IKB vol.1 L1-5)	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3902102	ES 漢字 5	2	1.0	1	秋AB	月3	石田 麻実	中級の漢字語彙の読み書きを覚えながら、正確に運用できるようにする。学習者自身が自分の弱点に気づき、それを克服するための方法を工夫できるようにする。(IKB vol.1 L1-5)	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3902112	ES 漢字 6	2	1.0	1	春AB	月3	陳 一吟	中上級の漢字語彙の読み書きを覚えながら、正確に運用できるようにする。学習者自身が読みたいものから漢字および漢字語彙を抽出し、使えるようにするための方法を工夫できるようにする。(IKB vol.1 L6-10)	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3902122	ES 漢字 6	2	1.0	1	秋AB	月3	陳 一吟	中上級の漢字語彙の読み書きを覚えながら、正確に運用できるようにする。学習者自身が読みたいものから漢字および漢字語彙を抽出し、使えるようにするための方法を工夫できるようにする。(IKB vol.1 L6-10)	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3902132	ES 漢字 7	2	1.0	1	春AB	月4	石田 麻実	上級の漢字語彙の読み書きを覚えながら、教育心理学などの文系と、科学技術などの理系分野によって語彙を適切に使い分けられるようにする。学習者自身が読みたいものから漢字および漢字語彙を抽出し、使えるようにするための方法を工夫できる。(IKB vol.2 L1-5)	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
3902142	ES 漢字 7	2	1.0	1	秋AB	月4	石田 麻実	上級の漢字語彙の読み書きを覚えながら、教育心理学などの文系と、科学技術などの理系分野によって語彙を適切に使い分けられるようにする。学習者自身が読みたいものから漢字および漢字語彙を抽出し、使えるようにするための方法を工夫できる。(IKB vol.2 L1-5)	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3902232	ES 漢字 8	2	1.0	1	春AB	月5	石田 麻実	上級の漢字語彙の読み書きを覚えながら、地球科学、経済金融、歴史などの専門分野によって語彙を適切に使い分けられるようにする。学習者自身が読みたいものから漢字および漢字語彙を抽出し、使えるようにするための方法を工夫できる。(IKB vol.2 L6-10)	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。3902152習得済みの者は履修できない。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。
3902242	ES 漢字 8	2	1.0	1	秋AB	月5	石田 麻実	上級の漢字語彙の読み書きを覚えながら、健康、栄養・化学、物理、環境問題、政治などの専門分野によって語彙を適切に使い分けられるようにする。学習者自身が読みたいものから漢字および漢字語彙を抽出し、使えるようにするための方法を工夫できる。(IKB vol.2 L11-16)	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。受講人数制限あり。3902162習得済みの者は履修できない。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 オンラインで日本語プレイスメントテスト(TTBJ)を受験し、必ずレベルにあった科目に初回参加すること。

開設母体　　要件
情報

情報リテラシー(講義)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
6101101	情報リテラシー(講義)	1	1.0	1	春A	火3,4	山際 伸一	情報の基本概念と社会におけるコンピュータとインターネットの位置づけを理解した上で,情報の表現と計算,コンピュータの原理と構成,ソフトウェアの原理,インターネットの仕組みなどについて学ぶ.併せて,インターネットを安全かつ有意義に活用するために必要な情報倫理,情報セキュリティ,知的財産権に関する知識を学ぶ.	人文対象 実務経験教員 オンライン(対面併用型) 第5週のみ対面実施.詳細はmanabaで確認すること.
6102101	情報リテラシー(講義)	1	1.0	1	春B	木1,2	塩川 浩昭	情報の基本概念と社会におけるコンピュータとインターネットの位置づけを理解した上で,情報の表現と計算,コンピュータの原理と構成,ソフトウェアの原理,インターネットの仕組みなどについて学ぶ.併せて,インターネットを安全かつ有意義に活用するために必要な情報倫理,情報セキュリティ,知的財産権に関する知識を学ぶ.	比文,日日対象 実務経験教員 オンライン(対面併用型) 第5週のみ対面実施.詳細はmanabaで確認すること.
6104101	情報リテラシー(講義)	1	1.0	1	春B	月5,6	朴 哲彦	情報の基本概念と社会におけるコンピュータとインターネットの位置づけを理解した上で,情報の表現と計算,コンピュータの原理と構成,ソフトウェアの原理,インターネットの仕組みなどについて学ぶ.併せて,インターネットを安全かつ有意義に活用するために必要な情報倫理,情報セキュリティ,知的財産権に関する知識を学ぶ.	社会対象 実務経験教員 オンライン(対面併用型) 第5週のみ対面実施.詳細はmanabaで確認すること.
6105101	情報リテラシー(講義)	1	1.0	1	春B	月5,6	共通科目「情報」担当教員	情報の基本概念と社会におけるコンピュータとインターネットの位置づけを理解した上で,情報の表現と計算,コンピュータの原理と構成,ソフトウェアの原理,インターネットの仕組みなどについて学ぶ.併せて,インターネットを安全かつ有意義に活用するために必要な情報倫理,情報セキュリティ,知的財産権に関する知識を学ぶ.	国際対象 詳細後日周知 オンライン(対面併用型) 第5週のみ対面実施.詳細はmanabaで確認すること.
6107101	情報リテラシー(講義)	1	1.0	1	春B	月3,4	浅井 達哉	情報の基本概念と社会におけるコンピュータとインターネットの位置づけを理解した上で,情報の表現と計算,コンピュータの原理と構成,ソフトウェアの原理,インターネットの仕組みなどについて学ぶ.併せて,インターネットを安全かつ有意義に活用するために必要な情報倫理,情報セキュリティ,知的財産権に関する知識を学ぶ.	心理, 障害対象 実務経験教員 オンライン(対面併用型) 第5週のみ対面実施.詳細はmanabaで確認すること.
6109101	情報リテラシー(講義)	1	1.0	1	春A	水1,2	ブー サーヴォン	情報の基本概念と社会におけるコンピュータとインターネットの位置づけを理解した上で,情報の表現と計算,コンピュータの原理と構成,ソフトウェアの原理,インターネットの仕組みなどについて学ぶ.併せて,インターネットを安全かつ有意義に活用するために必要な情報倫理,情報セキュリティ,知的財産権に関する知識を学ぶ.	生物, 地球対象 オンライン(対面併用型) 第5週のみ対面実施.詳細はmanabaで確認すること.
6110101	情報リテラシー(講義)	1	1.0	1	春A	月5,6	片岸 一起	情報の基本概念と社会におけるコンピュータとインターネットの位置づけを理解した上で,情報の表現と計算,コンピュータの原理と構成,ソフトウェアの原理,インターネットの仕組みなどについて学ぶ.併せて,インターネットを安全かつ有意義に活用するために必要な情報倫理,情報セキュリティ,知的財産権に関する知識を学ぶ.	資源対象 実務経験教員 オンライン(対面併用型) 第5週のみ対面実施.詳細はmanabaで確認すること.
6112101	情報リテラシー(講義)	1	1.0	1	春B	水1,2	片岸 一起	情報の基本概念と社会におけるコンピュータとインターネットの位置づけを理解した上で,情報の表現と計算,コンピュータの原理と構成,ソフトウェアの原理,インターネットの仕組みなどについて学ぶ.併せて,インターネットを安全かつ有意義に活用するために必要な情報倫理,情報セキュリティ,知的財産権に関する知識を学ぶ.	数学, 化学対象 実務経験教員 オンライン(対面併用型) 第5週のみ対面実施.詳細はmanabaで確認すること.
6115101	情報リテラシー(講義)	1	1.0	1	春B	火3,4	宇津呂 武仁	情報の基本概念と社会におけるコンピュータとインターネットの位置づけを理解した上で,情報の表現と計算,コンピュータの原理と構成,ソフトウェアの原理,インターネットの仕組みなどについて学ぶ.併せて,インターネットを安全かつ有意義に活用するために必要な情報倫理,情報セキュリティ,知的財産権に関する知識を学ぶ.	応理対象 実務経験教員 オンライン(対面併用型) 第5週のみ対面実施.詳細はmanabaで確認すること.
6116101	情報リテラシー(講義)	1	1.0	1	春B	火3,4	謝 淳	情報の基本概念と社会におけるコンピュータとインターネットの位置づけを理解した上で,情報の表現と計算,コンピュータの原理と構成,ソフトウェアの原理,インターネットの仕組みなどについて学ぶ.併せて,インターネットを安全かつ有意義に活用するために必要な情報倫理,情報セキュリティ,知的財産権に関する知識を学ぶ.	エシス対象 実務経験教員 オンライン(対面併用型) 第5週のみ対面実施.詳細はmanabaで確認すること.
6117101	情報リテラシー(講義)	1	1.0	1	春B	金1,2	冨安 洋史	情報の基本概念と社会におけるコンピュータとインターネットの位置づけを理解した上で,情報の表現と計算,コンピュータの原理と構成,ソフトウェアの原理,インターネットの仕組みなどについて学ぶ.併せて,インターネットを安全かつ有意義に活用するために必要な情報倫理,情報セキュリティ,知的財産権に関する知識を学ぶ.	医学対象 オンライン(対面併用型) 第5週のみ対面実施.詳細はmanabaで確認すること.
6118101	情報リテラシー(講義)	1	1.0	1	春A	金1,2	高橋 大介	情報の基本概念と社会におけるコンピュータとインターネットの位置づけを理解した上で,情報の表現と計算,コンピュータの原理と構成,ソフトウェアの原理,インターネットの仕組みなどについて学ぶ.併せて,インターネットを安全かつ有意義に活用するために必要な情報倫理,情報セキュリティ,知的財産権に関する知識を学ぶ.	看護,医療対象 オンライン(対面併用型) 第5週のみ対面実施.詳細はmanabaで確認すること.

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
6120101	情報リテラシー(講義)	1	1.0	1	春A	木1,2	和田 耕一	情報の基本概念と社会におけるコンピュータとインターネットの位置づけを理解した上で,情報の表現と計算,コンピュータの原理と構成,ソフトウェアの原理,インターネットの仕組みなどについて学ぶ.併せて,インターネットを安全かつ有意義に活用するために必要な情報倫理,情報セキュリティ,知的財産権に関する知識を学ぶ.	体育A班対象 オンライン(対面併用型) 第5週のみ対面実施.詳細はmanabaで確認すること.
6120201	情報リテラシー(講義)	1	1.0	1	春A	月3,4	面 和成	情報の基本概念と社会におけるコンピュータとインターネットの位置づけを理解した上で,情報の表現と計算,コンピュータの原理と構成,ソフトウェアの原理,インターネットの仕組みなどについて学ぶ.併せて,インターネットを安全かつ有意義に活用するために必要な情報倫理,情報セキュリティ,知的財産権に関する知識を学ぶ.	体育B班対象 実務経験教員 オンライン(対面併用型) 第5週のみ対面実施.詳細はmanabaで確認すること.
6121101	情報リテラシー(講義)	1	1.0	1	春B	金1,2	滝沢 穂高	情報の基本概念と社会におけるコンピュータとインターネットの位置づけを理解した上で,情報の表現と計算,コンピュータの原理と構成,ソフトウェアの原理,インターネットの仕組みなどについて学ぶ.併せて,インターネットを安全かつ有意義に活用するために必要な情報倫理,情報セキュリティ,知的財産権に関する知識を学ぶ.	芸術対象 実務経験教員 オンライン(対面併用型) 第5週のみ対面実施.詳細はmanabaで確認すること.
6123101	情報リテラシー(講義)	1	1.0	1	春B	木1,2	リュウ ティエンシャン	情報の基本概念と社会におけるコンピュータとインターネットの位置づけを理解した上で,情報の表現と計算,コンピュータの原理と構成,ソフトウェアの原理,インターネットの仕組みなどについて学ぶ.併せて,インターネットを安全かつ有意義に活用するために必要な情報倫理,情報セキュリティ,知的財産権に関する知識を学ぶ.	社工対象 オンライン(対面併用型) 第5週のみ対面実施.詳細はmanabaで確認すること.
6124101	情報リテラシー(講義)	1	1.0	1	春A	月5,6	保國 恵一	情報の基本概念と社会におけるコンピュータとインターネットの位置づけを理解した上で,情報の表現と計算,コンピュータの原理と構成,ソフトウェアの原理,インターネットの仕組みなどについて学ぶ.併せて,インターネットを安全かつ有意義に活用するために必要な情報倫理,情報セキュリティ,知的財産権に関する知識を学ぶ.	情報対象 実務経験教員 オンライン(対面併用型) 第5週のみ対面実施.詳細はmanabaで確認すること.
6125101	情報リテラシー(講義)	1	1.0	1	春B	水1,2	三末 和男	情報の基本概念と社会におけるコンピュータとインターネットの位置づけを理解した上で,情報の表現と計算,コンピュータの原理と構成,ソフトウェアの原理,インターネットの仕組みなどについて学ぶ.併せて,インターネットを安全かつ有意義に活用するために必要な情報倫理,情報セキュリティ,知的財産権に関する知識を学ぶ.	創成,物理対象 オンライン(対面併用型) 第5週のみ対面実施.詳細はmanabaで確認すること.
6126101	情報リテラシー(講義)	1	1.0	1	春B	月3,4	武田 将季	情報の基本概念と社会におけるコンピュータとインターネットの位置づけを理解した上で,情報の表現と計算,コンピュータの原理と構成,ソフトウェアの原理,インターネットの仕組みなどについて学ぶ.併せて,インターネットを安全かつ有意義に活用するために必要な情報倫理,情報セキュリティ,知的財産権に関する知識を学ぶ.	知識, 教育対象 オンライン(対面併用型) 第5週のみ対面実施.詳細はmanabaで確認すること.
6127101	情報リテラシー(講義)	1	1.0	1	春A	月3,4	阿部 洋丈	情報の基本概念と社会におけるコンピュータとインターネットの位置づけを理解した上で,情報の表現と計算,コンピュータの原理と構成,ソフトウェアの原理,インターネットの仕組みなどについて学ぶ.併せて,インターネットを安全かつ有意義に活用するために必要な情報倫理,情報セキュリティ,知的財産権に関する知識を学ぶ.	総学第3類B班対象 実務経験教員 オンライン(対面併用型) 第1-4週:オンライン(オンデマンド),確認テスト:5/25(対面)5,6限. 詳細はmanabaで必ず確認すること.
6127201	情報リテラシー(講義)	1	1.0	1	春A	火3,4	川口 一画	情報の基本概念と社会におけるコンピュータとインターネットの位置づけを理解した上で,情報の表現と計算,コンピュータの原理と構成,ソフトウェアの原理,インターネットの仕組みなどについて学ぶ.併せて,インターネットを安全かつ有意義に活用するために必要な情報倫理,情報セキュリティ,知的財産権に関する知識を学ぶ.	総学第1類A班対象 オンライン(対面併用型) 第1-4週:オンライン(オンデマンド),確認テスト:5/25(対面)5,6限. 詳細はmanabaで必ず確認すること.
6127301	情報リテラシー(講義)	1	1.0	1	春A	木1,2	川口 一画	情報の基本概念と社会におけるコンピュータとインターネットの位置づけを理解した上で,情報の表現と計算,コンピュータの原理と構成,ソフトウェアの原理,インターネットの仕組みなどについて学ぶ.併せて,インターネットを安全かつ有意義に活用するために必要な情報倫理,情報セキュリティ,知的財産権に関する知識を学ぶ.	総学第1類B班対象 オンライン(対面併用型) 第1-4週:オンライン(オンデマンド),確認テスト:5/25(対面)5,6限. 詳細はmanabaで必ず確認すること.
6127401	情報リテラシー(講義)	1	1.0	1	春A	火3,4	髙橋 大成	情報の基本概念と社会におけるコンピュータとインターネットの位置づけを理解した上で,情報の表現と計算,コンピュータの原理と構成,ソフトウェアの原理,インターネットの仕組みなどについて学ぶ.併せて,インターネットを安全かつ有意義に活用するために必要な情報倫理,情報セキュリティ,知的財産権に関する知識を学ぶ.	総学第2類A班対象 実務経験教員 オンライン(対面併用型) 第1-4週:オンライン(オンデマンド),確認テスト:5/25(対面)5,6限. 詳細はmanabaで必ず確認すること.

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
6127501	情報リテラシー(講義)	1	1.0	1	春A	木1,2	髙橋 大成	情報の基本概念と社会におけるコンピュータとインターネットの位置づけを理解した上で,情報の表現と計算,コンピュータの原理と構成,ソフトウェアの原理,インターネットの仕組みなどについて学ぶ.併せて,インターネットを安全かつ有意義に活用するために必要な情報倫理,情報セキュリティ,知的財産権に関する知識を学ぶ.	総学第2類B班対象 実務経験教員 オンライン(対面併用型) 第1-4週:オンライン(オンデマンド),確認テスト:5/25(対面)5,6限.　詳細はmanabaで必ず確認すること.
6127601	情報リテラシー(講義)	1	1.0	1	春A	水1,2	髙橋 大成	情報の基本概念と社会におけるコンピュータとインターネットの位置づけを理解した上で,情報の表現と計算,コンピュータの原理と構成,ソフトウェアの原理,インターネットの仕組みなどについて学ぶ.併せて,インターネットを安全かつ有意義に活用するために必要な情報倫理,情報セキュリティ,知的財産権に関する知識を学ぶ.	総学第2類CD班対象 実務経験教員 オンライン(対面併用型) 第1-4週:オンライン(オンデマンド),確認テスト:5/25(対面)5,6限.　詳細はmanabaで必ず確認すること.
6127701	情報リテラシー(講義)	1	1.0	1	春A	金1,2	阿部 洋丈	情報の基本概念と社会におけるコンピュータとインターネットの位置づけを理解した上で,情報の表現と計算,コンピュータの原理と構成,ソフトウェアの原理,インターネットの仕組みなどについて学ぶ.併せて,インターネットを安全かつ有意義に活用するために必要な情報倫理,情報セキュリティ,知的財産権に関する知識を学ぶ.	総学第3類A班対象 実務経験教員 オンライン(対面併用型) 第1-4週:オンライン(オンデマンド),確認テスト:5/25(対面)5,6限.　詳細はmanabaで必ず確認すること.
6127801	情報リテラシー(講義)	1	1.0	1	春A	月5,6	川口 一画	情報の基本概念と社会におけるコンピュータとインターネットの位置づけを理解した上で,情報の表現と計算,コンピュータの原理と構成,ソフトウェアの原理,インターネットの仕組みなどについて学ぶ.併せて,インターネットを安全かつ有意義に活用するために必要な情報倫理,情報セキュリティ,知的財産権に関する知識を学ぶ.	総学第1類C班対象 オンライン(対面併用型) 第1-4週:オンライン(オンデマンド),確認テスト:5/25(対面)5,6限.　詳細はmanabaで必ず確認すること.
6127901	情報リテラシー(講義)	1	1.0	1	春A	月5,6	阿部 洋丈	情報の基本概念と社会におけるコンピュータとインターネットの位置づけを理解した上で,情報の表現と計算,コンピュータの原理と構成,ソフトウェアの原理,インターネットの仕組みなどについて学ぶ.併せて,インターネットを安全かつ有意義に活用するために必要な情報倫理,情報セキュリティ,知的財産権に関する知識を学ぶ.	総学第3類C班対象 実務経験教員 オンライン(対面併用型) 第1-4週:オンライン(オンデマンド),確認テスト:5/25(対面)5,6限.　詳細はmanabaで必ず確認すること.

情報リテラシー(演習)**サテライト(実習室)で行いますので、入室の際は必ず学生証を持参して下さい。**

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
6401102	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春B	火3,4	垣野内 将貴	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	人文1班対象 実務経験教員 対面
6401202	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春B	火3,4	水谷 哲也	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	人文2班対象 対面
6402102	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春A	木1,2	水谷 哲也	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	比文1班対象 対面
6402202	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春A	木1,2	乾 孝司	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	比文2班, 日日対象 実務経験教員 対面
6404102	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春A	月5,6	水野 一徳	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	社会1班, 国際1班対象 対面
6404202	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春A	月5,6	山本 修平	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	社会2班対象 対面
6405102	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春A	月5,6	鵜飼 孝典	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	国際2班対象 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
6406102	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春A	月3,4	鵜飼 孝典	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	教育対象 実務経験教員 対面
6407102	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春A	月3,4	本田 孝志	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	心理対象 実務経験教員 対面
6408102	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春A	月3,4	若月 大輔	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	障害対象 実務経験教員 対面
6409102	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春B	水1,2	青木 一浩	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	生物2班対象 実務経験教員 対面
6410102	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春B	月5,6	加藤 狩夢	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	資源1班対象 実務経験教員 対面
6410202	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春B	月5,6	芳賀 開一	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	資源2班対象 実務経験教員 対面
6411102	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春B	水1,2	秋本 洋平	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	地球, 生物1班対象 実務経験教員 対面
6412102	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春A	水1,2	冨安 洋史	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	数学対象 実務経験教員 対面
6413102	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春A	水1,2	青木 一浩	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	物理対象 実務経験教員 対面
6414102	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春A	水1,2	水谷 哲也	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	化学対象 対面
6415102	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春A	火3,4	山口 喜教	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	応理1班対象 実務経験教員 対面
6415202	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春A	火3,4	河又 裕士	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	応理2班対象 対面
6416102	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春A	火3,4	蜂須 拓	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	エシスA班対象 実務経験教員 対面
6416202	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春A	火3,4	ハサン モダル	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	エシスB班対象 対面
6417102	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春A	金1,2	建部 修見	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	医学1班対象 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
6417202	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春A	金1,2	萬 礼応	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	医学2班対象 実務経験教員 対面
6417302	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春A	金1,2	金澤 健治	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	医学3班対象 実務経験教員 対面
6418102	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春B	金1,2	大谷 成子	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	看護2班対象 実務経験教員 対面
6419102	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春B	金1,2	水谷 哲也	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	医療, 看護1班対象 対面
6420102	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春B	木1,2	乾 孝司	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	体育1班対象 実務経験教員 対面
6420202	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春B	木1,2	白石 優旗	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	体育2班対象 対面
6420302	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春B	木1,2	青木 一浩	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	体育3班対象 実務経験教員 対面
6420402	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春B	月3,4	飯塚 里志	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	体育4班対象 対面
6420502	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春B	月3,4	福永 克己	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	体育5班対象 実務経験教員 対面
6420602	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春B	月3,4	芳賀 開一	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	体育6班対象 実務経験教員 対面
6421102	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春A	金1,2	岡本 健	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	芸術1班対象 対面
6421202	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春A	金1,2	大谷 成子	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	芸術2班対象 実務経験教員 対面
6422102	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	通年	応談	共通科目「情報」担当教員	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	スクリーンリーダ等を用いた実習を行う.履修制限あり.本科目は事前に許可された学生のみ履修可能.履修を希望する場合は必ず支援室に申し出ること. 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
6423102	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春A	木1,2	谷口 綾子	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	社工1班対象 実務経験教員 対面
6423202	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春A	木1,2	繁野 麻衣子	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	社工2班対象 対面
6424102	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春B	月5,6	堀江 和正	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	情報対象 対面
6425102	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春A	水1,2	井上 智雄	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	創成対象 対面
6426102	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春A	月3,4	西川 開	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	知識対象 実務経験教員 対面
6427102	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春B	木1,2	金澤 健治	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	総学第1類B班対象 実務経験教員 対面
6427202	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春B	月5,6	小林 由幸	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	総学第1類C班対象 実務経験教員 対面
6427302	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春B	木1,2	大久保 正勝	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	総学第2類B班対象 実務経験教員 対面
6427402	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春B	月3,4	城 真範	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	総学第3類B班対象 実務経験教員 対面
6427502	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春B	火3,4	髙橋 大成	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	総学第1類A班対象 実務経験教員 対面
6427602	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春B	金1,2	小林 真	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	総学第3類A班対象 実務経験教員 対面
6427702	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春B	火3,4	干川 尚人	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	総学第2類A班対象 対面
6427802	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春B	水1,2	長谷川 秀彦	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	総学第2類C班対象 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
6427902	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春B	水1,2	萬 礼応	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	総学第2類D班対象 実務経験教員 対面
6427912	情報リテラシー(演習)	2	1.0	1	春B	月5,6	水野 一徳	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける.文書の作成,インターネットにおける情報表現と情報発信,プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する.	総学第3類C班対象 対面

データサイエンス**サテライト(実習室)で行いますので、入室の際は必ず学生証を持参して下さい。**

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
6501102	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	火3,4	池田 春之介	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	人文1班対象 対面(オンライン併用型)
6501202	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	火3,4	水谷 哲也	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	人文2班対象 対面(オンライン併用型)
6502102	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	木1,2	垣野内 将貴	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	比文1班対象 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
6502202	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	木1,2	國廣 昇	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	比文2班, 日日対象 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
6504102	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	月5,6	金森 由博	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	社会1班,国際1班対象 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
6504202	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	月5,6	叶 秀彩	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	社会2班対象 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
6505102	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	月5,6	亀山 啓輔	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	国際2班対象 対面(オンライン併用型)
6506102	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	月3,4	狩野 均	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	教育対象 対面(オンライン併用型)
6507102	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	月3,4	本田 孝志	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	心理対象 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
6508102	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	月3,4	芳賀 開一	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	障害対象 実務経験教員 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
6509102	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	水1,2	合原 一究	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	生物2班対象 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
6510102	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	月5,6	児島 宏明	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	資源1班対象 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
6510202	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	月5,6	多田 充	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	資源2班対象 対面(オンライン併用型)
6511102	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	水1,2	西出 隆志	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	地球,生物1班対象 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
6512102	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	水1,2	共通科目「情報」担当教員	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	数学対象 詳細後日周知 対面(オンライン併用型)
6513102	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	水1,2	鹿野 豊	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	物理対象 対面(オンライン併用型)
6514102	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	水1,2	岡本 健	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	化学対象 対面(オンライン併用型)
6515102	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	火3,4	今倉 暁	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	応理1班対象 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
6515202	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	火3,4	池田 泰延	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	応理2班対象 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
6516102	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	火3,4	田中 文英	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	エシスA班対象 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
6516202	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	火3,4	新里 高行	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	エシスB班対象 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
6517102	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	金1,2	高橋 康博	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	医学1班対象 実務経験教員 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
6517202	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	金1,2	古川 宏	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	医学2班対象 対面(オンライン併用型)
6517302	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	金1,2	福永 克己	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	医学3班対象 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
6518102	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	金1,2	垣野内 将貴	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	看護2班対象 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
6519102	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	金1,2	池田 靖雄	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	医療,看護1班対象 対面(オンライン併用型)
6520102	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	木1,2	五十嵐 康彦	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	体育1班対象 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
6520202	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	木1,2	白石 優旗	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	体育2班対象 対面(オンライン併用型)
6520302	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	木1,2	永谷 圭司	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	体育3班対象 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
6520402	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	月3,4	山田 武志	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	体育4班対象 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
6520502	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	月3,4	周 慧萍	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	体育5班対象 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
6520602	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	月3,4	多田 充	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	体育6班対象 対面(オンライン併用型)
6521102	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	金1,2	三宮 秀次	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	芸術1班対象 対面(オンライン併用型)
6521202	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	金1,2	芳賀 開一	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	芸術2班対象 実務経験教員 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
6522102	データサイエンス	2	2.0	1	通年	応談	共通科目「情報」担当教員	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	スクリーンリーダ等を用いた実習を行う.履修制限あり.本科目は事前に許可された学生のみ履修可能.履修を希望する場合は必ず支援室に申し出ること.対面(オンライン併用型)
6523102	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	木1,2	共通科目「情報」担当教員	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	社工1班対象 詳細後日周知 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
6523202	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	木1,2	平田 祥人	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	社工2班対象 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
6524102	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	月5,6	額田 彰	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	情報対象 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
6525102	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	水1,2	三河 正彦	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	創成対象 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
6526102	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	月3,4	品川 和雅	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	知識対象 対面(オンライン併用型)
6527102	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	木1,2	津川 翔	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	総学第1類B班対象 対面(オンライン併用型)
6527202	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	月5,6	柴田 章博	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	総学第1類C班対象 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
6527302	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	木1,2	福地 一斗	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	総学第2類B班対象 対面(オンライン併用型)
6527402	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	月3,4	共通科目「情報」担当教員	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	総学第3類B班対象 詳細後日周知 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
6527502	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	月5,6	多田野 寛人	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	総学第3類C班対象 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
6527602	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	火3,4	狩野 均	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	総学第1類A班対象 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
6527702	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	水1,2	陳 漢雄	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	総学第2類C班対象 対面(オンライン併用型)
6527802	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	水1,2	齊藤 裕一	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	総学第2類D班対象 対面(オンライン併用型)
6527902	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	金1,2	平田 俊明	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	総学第3類A班対象 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
6527912	データサイエンス	2	2.0	1	秋AB	火3,4	小林 宗広	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	総学第2類A班対象 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
6530102	データサイエンス	2	2.0	2 - 4	秋AB	水5,6	遠藤 結城	データサイエンスの基礎的概念を理解し,コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ.データの収集,データの管理,データの可視化,データの分析を通じて,データの理解と活用の手法を実践的に修得する.先端的なデータサイエンスの事例に触れ,社会におけるデータの具体的な活用について理解する.	編入生・再履修生対象.自学類対象科目を履修できない再履修生は本科目を履修すること. 実務経験教員 対面(オンライン併用型)

開設母体　　要件
国語

国語

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
5101011	国語Ⅰ	1	1.0	1	春AB	月5	菊池 そのみ	各学群・学類の特色に配慮しながら,大学生・社会人として身につけるべき国語の基礎的知識の習得と,各種国語表現の基礎的な練習を行う。作文等を課す。	人文1班、総学1,2組対象 対面(オンライン併用型)
5101021	国語Ⅰ	1	1.0	1	春AB	月5	山中 梓	各学群・学類の特色に配慮しながら,大学生・社会人として身につけるべき国語の基礎的知識の習得と,各種国語表現の基礎的な練習を行う。作文等を課す。	人文2班、総学1,2組対象 対面(オンライン併用型)
5101031	国語Ⅰ	1	1.0	1	春AB	月5	那須 昭夫	各学群・学類の特色に配慮しながら,大学生・社会人として身につけるべき国語の基礎的知識の習得と,各種国語表現の基礎的な練習を行う。作文等を課す。	人文3班、総学1,2組対象 対面(オンライン併用型)
5102011	国語Ⅰ	1	1.0	1	春AB	月5	石塚 修	各学群・学類の特色に配慮しながら,大学生・社会人として身につけるべき国語の基礎的知識の習得と,各種国語表現の基礎的な練習を行う。作文等を課す。	比文1班、総学1,2組対象 実務経験教員 対面
5102021	国語Ⅰ	1	1.0	1	春AB	月5	島田 康行	各学群・学類の特色に配慮しながら,大学生・社会人として身につけるべき国語の基礎的知識の習得と,各種国語表現の基礎的な練習を行う。作文等を課す。	比文2班、総学1,2組対象 対面
5102031	国語Ⅰ	1	1.0	1	春AB	月5	今田 水穂	各学群・学類の特色に配慮しながら,大学生・社会人として身につけるべき国語の基礎的知識の習得と,各種国語表現の基礎的な練習を行う。作文等を課す。	日日、総学1,2組対象 対面(オンライン併用型)
5103011	国語Ⅰ	1	1.0	1	秋AB	水2	菅野 倫匡	各学群・学類の特色に配慮しながら,大学生・社会人として身につけるべき国語の基礎的知識の習得と,各種国語表現の基礎的な練習を行う。作文等を課す。	資源1班対象 対面(オンライン併用型)
5103021	国語Ⅰ	1	1.0	1	秋AB	水2	小川 美香	各学群・学類の特色に配慮しながら,大学生・社会人として身につけるべき国語の基礎的知識の習得と,各種国語表現の基礎的な練習を行う。作文等を課す。	資源2班対象 対面
5103031	国語Ⅰ	1	1.0	1	秋AB	水2	山中 梓	各学群・学類の特色に配慮しながら,大学生・社会人として身につけるべき国語の基礎的知識の習得と,各種国語表現の基礎的な練習を行う。作文等を課す。	資源3班対象 対面(オンライン併用型)
5104011	国語Ⅰ	1	1.0	1	春AB	月3	菊池 そのみ	各学群・学類の特色に配慮しながら,大学生・社会人として身につけるべき国語の基礎的知識の習得と,各種国語表現の基礎的な練習を行う。作文等を課す。	医学1班対象 対面(オンライン併用型)
5104021	国語Ⅰ	1	1.0	1	春AB	月3	菅野 倫匡	各学群・学類の特色に配慮しながら,大学生・社会人として身につけるべき国語の基礎的知識の習得と,各種国語表現の基礎的な練習を行う。作文等を課す。	医学2班対象 対面(オンライン併用型)
5104031	国語Ⅰ	1	1.0	1	春AB	月3	朝日 祥之	各学群・学類の特色に配慮しながら,大学生・社会人として身につけるべき国語の基礎的知識の習得と,各種国語表現の基礎的な練習を行う。作文等を課す。	医学3班対象 対面
5105011	国語Ⅰ	1	1.0	1	秋AB	月3	菊池 そのみ	各学群・学類の特色に配慮しながら,大学生・社会人として身につけるべき国語の基礎的知識の習得と,各種国語表現の基礎的な練習を行う。作文等を課す。	看護1班対象 対面(オンライン併用型)
5105021	国語Ⅰ	1	1.0	1	秋AB	月3	菅野 倫匡	各学群・学類の特色に配慮しながら,大学生・社会人として身につけるべき国語の基礎的知識の習得と,各種国語表現の基礎的な練習を行う。作文等を課す。	看護2班対象 対面(オンライン併用型)
5107011	国語Ⅰ	1	1.0	1	春AB	木1	菊池 そのみ	各学群・学類の特色に配慮しながら,大学生・社会人として身につけるべき国語の基礎的知識の習得と,各種国語表現の基礎的な練習を行う。作文等を課す。	体育1班対象 対面(オンライン併用型)
5107021	国語Ⅰ	1	1.0	1	春AB	木1	今田 水穂	各学群・学類の特色に配慮しながら,大学生・社会人として身につけるべき国語の基礎的知識の習得と,各種国語表現の基礎的な練習を行う。作文等を課す。	体育2班対象 対面(オンライン併用型)
5107031	国語Ⅰ	1	1.0	1	春AB	木1	山中 梓	各学群・学類の特色に配慮しながら,大学生・社会人として身につけるべき国語の基礎的知識の習得と,各種国語表現の基礎的な練習を行う。作文等を課す。	体育3班対象 対面(オンライン併用型)
5107041	国語Ⅰ	1	1.0	1	春AB	金1	田川 拓海	各学群・学類の特色に配慮しながら,大学生・社会人として身につけるべき国語の基礎的知識の習得と,各種国語表現の基礎的な練習を行う。作文等を課す。	体育4班対象 対面(オンライン併用型)
5107051	国語Ⅰ	1	1.0	1	春AB	金1	山中 梓	各学群・学類の特色に配慮しながら,大学生・社会人として身につけるべき国語の基礎的知識の習得と,各種国語表現の基礎的な練習を行う。作文等を課す。	体育5班対象 対面(オンライン併用型)
5107061	国語Ⅰ	1	1.0	1	春AB	金1	永田 里美	各学群・学類の特色に配慮しながら、大学生・社会人として身につけるべき国語の基礎的知識の習得と、各種国語表現の基礎的な練習を行う。作文等を課す。	体育6班対象 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
5108011	国語I	1	1.0	1	春AB	月3	山中 梓	大学生・社会人として身につけるべき国語の基礎的知識の習得と,各種国語表現の基礎的な練習を行う。作文等を課す。	全学群対象ただし、主として総学4組・数学・物理・化学・創成・芸術対象。(芸術は学籍番号末尾奇数の者。)履修希望者多数の場合は抽選を行う。 対面(オンライン併用型)
5108021	国語I	1	1.0	1	春AB	月5	朝日 祥之	大学生・社会人として身につけるべき国語の基礎的知識の習得と,各種国語表現の基礎的な練習を行う。作文等を課す。	全学群対象 ただし、主として総学1,2組・応理・エシス・社工対象。履修希望者多数の場合は抽選を行う。 対面
5108031	国語I	1	1.0	1	秋AB	月3	朝日 祥之	大学生・社会人として身につけるべき国語の基礎的知識の習得と,各種国語表現の基礎的な練習を行う。作文等を課す。	全学群対象ただし、主として総学3組・生物・地球・芸術対象。(芸術は学籍番号末尾偶数の者。)履修希望者多数の場合は抽選を行う。 対面
5108041	国語I	1	1.0	1	春AB	水2	安藤 由佳	大学生・社会人として身につけるべき国語の基礎的知識の習得と,各種国語表現の基礎的な練習を行う。作文等を課す。	全学群対象ただし、主として総学5組・教育・知識・医療対象。履修希望者多数の場合は抽選を行う。 対面
5108061	国語I	1	1.0	1	春AB	水2	小川 美香	大学生・社会人として身につけるべき国語の基礎的知識の習得と,各種国語表現の基礎的な練習を行う。作文等を課す。	全学群対象ただし、主として総学6組・社会・国際・障害対象。履修希望者多数の場合は抽選を行う。 対面
5108071	国語I	1	1.0	1	春AB	水2	石川 格	大学生・社会人として身につけるべき国語の基礎的知識の習得と,各種国語表現の基礎的な練習を行う。作文等を課す。	全学群対象 ただし、主として心理・情報対象。履修希望者多数の場合は抽選を行う。 実務経験教員 対面
5108081	国語I	1	1.0	2 - 4	春AB	水3	小川 美香	大学生・社会人として身につけるべき国語の基礎的知識の習得と,各種国語表現の基礎的な練習を行う。作文等を課す。	全学群対象 人数の調整を行うので,第一回の授業に必ず出席すること。 対面
5108091	国語I	1	1.0	1	春季休業中	集中	石塚 修,那須 昭夫,田川 拓海,今田 水穂,菊池 そのみ,山中 梓	大学生・社会人として身につけるべき国語の基礎的知識の習得と,各種国語表現の基礎的な練習を行う。作文等を課す。	総合学域群生のうち医学類または看護学類に移行する学生で、国語Iを未履修の者に限るオンライン(オンデマンド型)
5201011	国語II	1	1.0	1	秋AB	月5	菊池 そのみ	国語Iの発展・応用として、大学生活および社会生活において求められる多様なコミュニケーション能力を養う。各学群・学類の特色に配慮しながら、表現力・構成力のさらなる向上を目指す。作文等の課題を課す。	人文1班、総学1,2組対象 対面(オンライン併用型)
5201021	国語II	1	1.0	1	秋AB	月5	山中 梓	国語Iの発展・応用として、大学生活および社会生活において求められる多様なコミュニケーション能力を養う。各学群・学類の特色に配慮しながら、表現力・構成力のさらなる向上を目指す。作文等の課題を課す。	人文2班、総学1,2組対象 対面(オンライン併用型)
5201031	国語II	1	1.0	1	秋AB	月5	那須 昭夫	国語Iの発展・応用として、大学生活および社会生活において求められる多様なコミュニケーション能力を養う。各学群・学類の特色に配慮しながら、表現力・構成力のさらなる向上を目指す。作文等の課題を課す。	人文3班、総学1,2組対象 対面(オンライン併用型)
5202011	国語II	1	1.0	1	秋AB	月5	石塚 修	国語Iの発展・応用として、大学生活および社会生活において求められる多様なコミュニケーション能力を養う。各学群・学類の特色に配慮しながら、表現力・構成力のさらなる向上を目指す。作文等の課題を課す。	比文1班、総学1,2組対象 実務経験教員 対面
5202021	国語II	1	1.0	1	秋AB	月5	島田 康行	国語Iの発展・応用として、大学生活および社会生活において求められる多様なコミュニケーション能力を養う。各学群・学類の特色に配慮しながら、表現力・構成力のさらなる向上を目指す。作文等の課題を課す。	比文2班、総学1,2組対象 対面
5202031	国語II	1	1.0	1	秋AB	月5	今田 水穂	国語Iの発展・応用として、大学生活および社会生活において求められる多様なコミュニケーション能力を養う。各学群・学類の特色に配慮しながら、表現力・構成力のさらなる向上を目指す。作文等の課題を課す。	日日、総学1,2組対象 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
5207011	国語II	1	1.0	1	秋AB	木1	菊池 そのみ	国語Iの発展・応用として、大学生活および社会生活において求められる多様なコミュニケーション能力を養う。各学群・学類の特色に配慮しながら、表現力・構成力のさらなる向上を目指す。作文等の課題を課す。	体育1班対象 対面(オンライン併用型)
5207021	国語II	1	1.0	1	秋AB	木1	今田 水穂	国語Iの発展・応用として、大学生活および社会生活において求められる多様なコミュニケーション能力を養う。各学群・学類の特色に配慮しながら、表現力・構成力のさらなる向上を目指す。作文等の課題を課す。	体育2班対象 対面(オンライン併用型)
5207031	国語II	1	1.0	1	秋AB	木1	山中 梓	国語Iの発展・応用として、大学生活および社会生活において求められる多様なコミュニケーション能力を養う。各学群・学類の特色に配慮しながら、表現力・構成力のさらなる向上を目指す。作文等の課題を課す。	体育3班対象 対面(オンライン併用型)
5207041	国語II	1	1.0	1	秋AB	金1	田川 拓海	国語Iの発展・応用として、大学生活および社会生活において求められる多様なコミュニケーション能力を養う。各学群・学類の特色に配慮しながら、表現力・構成力のさらなる向上を目指す。作文等の課題を課す。	体育4班対象 対面(オンライン併用型)
5207051	国語II	1	1.0	1	秋AB	金1	山中 梓	国語Iの発展・応用として、大学生活および社会生活において求められる多様なコミュニケーション能力を養う。各学群・学類の特色に配慮しながら、表現力・構成力のさらなる向上を目指す。作文等の課題を課す。	体育5班対象 対面(オンライン併用型)
5207061	国語II	1	1.0	1	秋AB	金1	永田 里美	国語Iの発展・応用として、大学生活および社会生活において求められる多様なコミュニケーション能力を養う。各学群・学類の特色に配慮しながら、表現力・構成力のさらなる向上を目指す。作文等の課題を課す。	体育6班対象 対面(オンライン併用型)
5208011	国語II	1	1.0	1	秋AB	月5	朝日 祥之	国語Iの発展・応用として、大学生活および社会生活において求められる多様なコミュニケーション能力を養う。様々な場面に適応した表現を身につけるための訓練を行う。作文等の課題を課す。	全学群対象 ただし、主として総学1,2組・応理・エシス・社工対象。履修希望者多数の場合は抽選を行う。 対面
5208021	国語II	1	1.0	1	秋AB	水2	安藤 由佳	国語Iの発展・応用として、大学生活および社会生活において求められる多様なコミュニケーション能力を養う。様々な場面に適応した表現を身につけるための訓練を行う。作文等の課題を課す。	全学群対象ただし、主として総学4,5組・心理・障害・情報・芸術対象。履修希望者多数の場合は抽選を行う。 対面
5208031	国語II	1	1.0	1	秋AB	水2	石川 格	国語Iの発展・応用として、大学生活および社会生活において求められる多様なコミュニケーション能力を養う。様々な場面に適応した表現を身につけるための訓練を行う。作文等の課題を課す。	全学群対象 ただし、主として総学6組・社会・国際・教育・知識対象。履修希望者多数の場合は抽選を行う。 実務経験教員 対面
5208041	国語II	1	1.0	2 - 4	秋AB	水3	石川 格	国語Iの発展・応用として、大学生活および社会生活において求められる多様なコミュニケーション能力を養う。様々な場面に適応した表現を身につけるための訓練を行う。	全学群対象 人数の調整を行うので,第一回の授業に必ず出席すること。 実務経験教員 対面

開設母体　　要件
芸術

芸術

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
4002013	芸術(油彩画実習)	3	1.0	1 - 4	春AB	月4,5	福満 正志郎	洋画の実習授業を行う。	人数制限あり 実務経験教員 対面
4004013	芸術(日本画実習)	3	1.0	1 - 4	春AB	月4,5	諏訪 智美	日本画の基礎となる水彩による彩色写生をおこなう。	人数制限あり(10名程度) 実務経験教員 対面
4005013	芸術(塑造実習)	3	1.0	1 - 4	秋AB	木4,5	宮坂 慎司,大原 央聡	人物のモデルを使用し,粘土による頭像を制作する。	人数制限あり 実務経験教員 対面
4006012	芸術(書A)	2	1.0	1 - 4	春AB	月4	草野 剛	書の演習授業を行う。	教職対応 人数制限あり(30名) 実務経験教員 対面
4006022	芸術(書B)	2	1.0	1 - 4	秋AB	月4	草野 剛	書の演習授業を行う。	教職対応 人数制限あり(30名) 実務経験教員 対面
4006032	芸術(書C)	2	1.0	1 - 4	秋C 春季休業中	月4 集中	菅野 智明	書の演習授業を行う。	教職対応 実務経験教員 対面
4011012	芸術(絵本制作)	2	1.0	1 - 4				絵本制作の基本を、作品制作を通して学ぶ。	芸術専門学群生受講不可 人数制限あり(30名) 西暦奇数年度開講。 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
4012042	芸術(大学を開くアート・デザインプロデュース演習1)	2	1.0	1 - 4	春AB	応談	菅野 圭祐,原 忠信,山田 協太,藤田 直子,マクラウド ギャリー ロデリック,岩田 祐佳梨,内山 俊朗,サカイ ロドリゲス オスカル エデュアルド	多様な学生のチームが地域や大学の協働者とともにアート・デザインの手法を用いた地域貢献・大学貢献を実践的に行う。	「芸術(大学を開くアート・デザインプロデュース演習2)」、「芸術(大学を開くアート・デザインプロデュース演習3)」と併せて履修すること。教室は6A308の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の木曜18:15より6A308で行う。詳しくは掲示を参照のこと。 G科目 対面 全体発表スケジュール:1パネル展示:オープンキャンパス時(@6A棟および5C棟)、2中間発表会:秋A木曜授業の最終日(18:15～)@6A308(対面のみ)、3最終発表会:秋C木曜授業の最終日(18:15～)@6A308(対面のみ)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
4012052	芸術(大学を開くアート・デザインプロデュース演習2)	2	1.0	1 - 4	春C秋A	応談	菅野 圭祐,原 忠信,山田 協太,藤田 直子,マクラウド ギャリー ロデリック,岩田 祐佳梨,内山 俊朗,サカイ ロドリゲス オスカル エデュアルド	多様な学生のチームが地域や大学の協働者とともにアート・デザインの手法を用いた地域貢献・大学貢献を実践的に行う。	「芸術(大学を開くアート・デザインプロデュース演習1)」、「芸術(大学を開くアート・デザインプロデュース演習3)」と併せて履修すること。教室は6A308の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の木曜18:15より6A308で行う。詳しくは掲示を参照のこと。 G科目 対面 全体発表スケジュール:1パネル展示:オープンキャンパス時(@6A棟および5C棟)、2中間発表会:秋A木曜授業の最終日(18:15～)@6A308(対面のみ)、3最終発表会:秋C木曜授業の最終日(18:15～)@6A308(対面のみ)
4012092	芸術(大学を開くアート・デザインプロデュース演習3)	2	1.0	1 - 4	秋BC	応談	菅野 圭祐,原 忠信,山田 協太,藤田 直子,マクラウド ギャリー ロデリック,岩田 祐佳梨,内山 俊朗,サカイ ロドリゲス オスカル エデュアルド	多様な学生のチームが地域や大学の協働者とともにアート・デザインの手法を用いた地域貢献・大学貢献を実践的に行う。	「芸術(大学を開くアート・デザインプロデュース演習1)」、「芸術(大学を開くアート・デザインプロデュース演習2)」と併せて履修すること。教室は6A308の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の木曜18:15より6A308で行う。詳しくは掲示を参照のこと。 対面 全体発表スケジュール:1パネル展示:オープンキャンパス時(@6A棟および5C棟)、2中間発表会:秋A木曜授業の最終日(18:15～)@6A308(対面のみ)、3最終発表会:秋C木曜授業の最終日(18:15～)@6A308(対面のみ)

開設母体　　要件
自由科目(特設)

展開科目群

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
8050001	TSUKUBAポスト・コロナ学	1	1.0	1 - 4	春C	火1,2	秋山 肇,池田 真利子,大村 美保,谷口 綾子,マニエ-ワタナベ レミー,堀 愛,山田 実	2020年、世界各国が新型コロナの深刻な影響を受ける中、筑波大学では「『知』活用プログラム」として27件の研究プロジェクトが実施されました。同プログラムにはウイルス学、医学・生物学、健康科学、数理科学、情報学、教育学、社会心理学、社会政策学、法学、経済学、芸術学等のプロジェクトが採択され、総合大学である筑波大学の多様な知が結集しています。これらの多様な知は、新型コロナ影響を受けた今後の社会を検討する際に、重要な視点を提供しています。オムニバス形式で開講される本科目は、異なる系に所属する研究者が実施している新型コロナの影響に関する最先端の研究成果を学生と共有し、ポスト・コロナの科学・学問・社会の在り方について学際的な視点で考える機会を提供します。 The University of Tsukuba launched the "Employing the University Wisdom to Fight against the COVID-19 Crisis" programme to deal with COVID-19 in 2020, and the programme adopted twenty-seven projects. Projects include virology, medicine, biology, health science, mathematical science, informatics, education, social psychology, social policy, economics, and arts. These diverse areas indicate the wideness of the research at the University of Tsukuba. Scholars from different institutes share their knowledge based on the projects to encourage students to acquire interdisciplinary perspectives to think about science and society in the post-COVID-19 era.	全ての学類・学群・学位プログラムの学生の履修を歓迎します。 This course welcomes students of any colleges, schools and programmes. 対面(オンライン併用型) 授業を録画して配信することがあります。 2021年度開講「TSUKUBA新型コロナ社会学」と同一。
8050011	ポスト・アントロポセン	1	1.0	1 - 4	春C	火3,4	秋山 肇,浦山 俊一,江口 真規,豊福 雅典,平井 悠介,山本 容子	人間は地球に過度な負荷をかけており、アントロポセンと呼ばれる新たな地質年代が始まったと言われています。その結果、環境問題が深刻化し、人間は生存の危機に直面しています。アントロポセン時代の先にある社会像、科学技術のあり方を検討するために、異なる系の教員が共に、「チーム ポスト・アントロポセン」を立ち上げました。本科目は、アントロポセンの課題を克服したポスト・アントロポセンの実現に向けて行っている議論・活動の経過を共有し、2050年やそれ以降の社会像、科学技術の役割について議論します。 Human makes a significant negative impact on the Earth, and a geological age called Anthropocene began. As a result, the environmental issues become severe, and human survival is at risk. Members of different institutes established a "Team Post-Anthropocene" to think about the society and the role of science and technology after the Anthropocene. This course shares the Team Post-Anthropocene progress to overcome issues related to the Anthropocene and discuss visions and the role of technology in and after 2050.	全ての学類・学群・学位プログラムの学生の履修を歓迎します。 This course welcomes students of any colleges, schools and programmes. 対面(オンライン併用型) 授業担当者により実施形態が異なる可能性があります。
8090401	ニューロサイエンスへの誘い	1	1.0	2・3	春C	集中	綾部 早穂,山田 一夫	ニューロサイエンスの基本的概念を解説し,ヒトの心と行動を理解するための研究の手法と成果について概説する。ニューロサイエンス学位プログラム(大学院博士前期・後期課程)を担当する,医学系,人間系及び産総研に所属する10名の教員によるオムニバス形式で実施する。	対面 1-5限
8200603	つくばロボットコンテスト2026	3	1.0	1 - 3	春A 春BC 秋ABC	火6 集中 月6	ハサン モダル,上原 皓,矢野 博明,相山 康道,望山 洋,伊達 央,土井 裕人	数人(3名以上5名以下)でグループを作り,自分達の創意により与えられた課題を実現する知能ロボットシステムのメカニズム,制御系およびソフトウェアを設計・製作する。この設計・製作の成果発表は,公開コンテストにおいて競技形式で行われる。この授業はロボット製作を通じて各々の技術分野の重要性を感じてもらうことを目的としている。経験や予備知識は必要ないが,ロボット製作への興味と意気込みは不可欠である。	つくばロボットコンテスト2025までの履修者も履修可。ただし 3 単位までとする。 実務経験教員
8202104	コンテンツ表現工学	4	1.0	1 - 3	秋AB	金4	星野 准一,若槻 尚斗,宇津呂 武仁,蜂須 拓,高谷 剛志	コンテンツ表現の基礎を学ぶとともに、コンテンツ工学技術(リアルタイムCG,VR, IoT, メカトロニクス,機械学習,自然言語処理,ウェブ検索サービスなど)を利用した独自のコンテンツの企画・設計とプレゼンテーションを体験します。工学,医学,芸術・デザイン,ビジネスなどの異種分野の協調による多視点的な問題設定・解決を重視します。	講義および実習を通じて、データ・AI活用企画・実施・評価に関する知識習得を目指す。 8202003 コンテンツ表現工学の単位を修得した学生は履修不可。希望者多数で定員を超えた場合は,人数制限をすることがあります。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
8204004	巨大プロジェクトエンジニア入門	4	1.0	1・2	春C	木3,4	松田 昭博,金子 暁子,庄司 学	巨大プロジェクトのエンジニアになるために必要な専門知識やコミュニケーションスキルなどの能力について学び,エンジニアとしてのキャリアパスについて考察する.実際に産業界などで活躍するエンジニアを招き,巨大プロジェクトに関わるやりがいや苦労についてリアルな事例を提供する.将来必要となるスキルについて考える.	講義および実習を通じて、データ・AI活用企画・実施・評価に関する知識習得を目指す。 実務経験教員 全回の授業を対面で実施する。希望者多数で定員を超えた場合は、人数制限をすることがあります。
8310201	スポーツが変われば、大学が変わる	1	1.0	1 － 4	秋AB	水6	高木 英樹,山田 晋三,大山 高,稲垣 和希	本授業では、筑波大学が進める大学スポーツ改革をテーマに、スポーツが大学の教育・研究・社会貢献に果たす役割を学びます。体育スポーツ局が中心となって展開するブランディング戦略や地域連携活動を取り上げ、大学スポーツがどのように社会とつながり、新しい価値を生み出しているのかを理解します。 講義だけでなく、現場事例やゲスト講話を通して、学生自身が「大学スポーツの当事者」として関わる意義を考え、スポーツを起点に大学や地域の未来をデザインする力を養います。	対面
8310205	地域共創型スポーツビジネス論 ～筑波スポーツのファンマーケティング～	5	1.0	1 － 4	秋C	金5,6	高木 英樹,山田 晋三,大山 高	筑波大学体育スポーツ局が推進する「地域と共に創るスポーツビジネス」をテーマに、スポーツの価値を社会へ広げる実践的な学びを提供します。スポーツを支える人材育成を目的とした取組「Design the Future スポーツビジネスカレッジ, together(仮称)」の一環として、学内外の多様な人々や組織と協働しながら、ファンマーケティングやファンリレーション・マネジメントの理論と実践を学びます。 地域、企業、学生が一体となって大学スポーツの新しい可能性を創り出すことを目指し、受講を通じて「スポーツを通じて社会とつながる」「自ら行動を起こす」きっかけを得ることを目的とします。	
8310305	スポーツボランティア講座	5	1.0	1 － 4	春B 秋C 夏季休業中	集中	平岡 拓晃,大林 太朗	講義により、スポーツ大会ほかイベント、日常でのスポーツに関するボランティアとして活躍するために必要な知識について学ぶ。また、障害に関する理解を深め障害者への適切な支援に関する知識を得る。その後、参加するボランティア計画書を提出し、少なくとも5日(講義1.25時間、実習30時間以上 合計30時間)以上のボランティア活動に従事し、最後にレポート提出による報告、振り返りをすることで、広い視野と国際性、協働性・主体性・自律性を身に付ける。	事前指導日時 対面の場合 1回目5月または2回目6月に行われる事前指導に参加。 (どちらかに参加が条件。) 状況によりオンラインでの実施になった場合も同様 (どちらかに参加が条件。) 各自、計画書作成、スポーツボランティア活動を実践 事後指導を9月以降に行う。 レポート講評会 ※必ず出席すること 日時については掲示板で連絡します。 対面
8320302	創造学群表現学類―OBOG指導によるクリエイティブ体験講座	2	2.0	3・4	春C秋A	随時	原 忠信	「筑波大学」を社会に発信するためのコミュニケーションを言語,デザイン,音楽,身体等の表現を通じて考え,クリエイティブワークを総合的,体験的に学習する。	実施時期等は掲示にて周知する。希望者多数の場合,人数制限をする場合がある 実務経験教員 対面
8330524	囲碁で培う思考力	4	2.0	1 － 4	秋AB	水3,4	白川 直樹,八森 正泰,前田 良二,鈴木 研悟	最初に囲碁のルールを理解した後、実戦例をもとの囲碁の考え方、進め方、形勢判断方法などを学ぶ。さらに演習として実際に対局し、その評価を通じて様々な考える力を培う。囲碁の歴史と文化なども概観する	原則として囲碁を知らない者を対象とする。履修希望者が40名を超える場合は人数制限を行う。 受講者選抜はオンライン・オンデマンド方式にて実施する(manaba使用)。受講者選抜を行うため,履修登録期限が早いことに注意(詳細はシラバスを参照のこと)。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
8331112	障害学生支援技術	2	1.0	1 - 3	通年	随時	長山 慎太郎,佐々木 銀河,左藤 敦子,竹田 一則,名川 勝,横井 美緒	1)「障害学生支援に関する基礎的理解」は、(a)全体オリエンテーションおよび(b)ニーズ別の支援内容に関する講義をオンデマンドで実施する。(a)では、障害学生および支援学生にも参加してもらい、本学における障害学生支援のしくみについて説明する。(b)では、視覚障害、聴覚障害、運動・内部障害、発達障害等のニーズに関する実際の支援内容について紹介する。その後、2)「各支援技術別に実施する講義・演習」を対面で実施する。具体的には、印刷物のテキストデータ化、パソコン要約筆記、ノートテイク、学習・コミュニケーション支援技術等の習得を目指す。なお、本授業を受講した後にはピア・チューターとして実際の支援活動に従事することができる。	2024年度までの8100102と同一。1)障害学生支援に関する基礎的理解(オンデマンド)・2)各支援技術の講義・演習(対面 グループワークあり)を受講することで単位を認定する。受講者は、全体オリエンテーションに必ず出席すること(4月下旬ごろ実施予定)。 日程の詳細はmanaba等にて通知する。講義・演習について、受講希望者多数で定員を超えた場合には、人数制限をする場合がある。 詳細後日周知 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
8331124	手話コミュニケーションI(入門・基礎)	4	1.0	1・2	春C	集中	長山 慎太郎,竹田 一則,左藤 敦子,数馬 梨恵子	きこえること、きこえないことを意識して考えられるように説明する。自己紹介と日常会話ができる程度の手話を習得できるように演習を行う。	2024年度までの8100404と同一。 対面
8331134	手話コミュニケーションII(応用・実践)	4	1.0	1・2	秋B	集中	長山 慎太郎,竹田 一則,左藤 敦子,数馬 梨恵子	手話コミュニケーションI(入門・基礎)で学んだ知識、習得した手話を基に、支援できる知識が深められるように講義をし、通常会話ができる手話の習得ができるように演習をおこなう。	2024年度までの8100504と同一。 対面 履修条件:手話コミュニケーションIを履修していること

キャリア形成科目群

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
8220004	Inclusive Smart Society PBL II	4	1.0	2・3	秋C春季休業中	随時	松島 亘志,亀田 敏弘,山本 亨輔	このコースは、オハイオ州立大学(OSU)と筑波大学の学生が参加するInclusive Smart Society(ISS)実現をテーマとする国際共同PBL科目である。両大学の学生らは、アイデアを共有し、国際チームを形成して、共にISS実現に向けたソーシャルスタートアップの提案を目指す。受講生らは、ISSに普遍的および地域的要素がある事を理解し、様々な課題を調査・分析して実用的なソリューションを構築することが求められる。本プロセスを通じて、実社会課題への実践的アプローチと方法論を修得できる。なお、本コースの履修は、「1490014 Inclusive Smart Society PBL」を履修したことがある学生に限る。	履修は、「1490014 Inclusive Smart Society PBL」を履修したことがある学生に限る。 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型) オンライン(同時双方向型) 詳細は後日manabaで周知。最終回の授業はオンライン(同時双方向型)で行う。
8331101	インターセクショナリティ/クィア・スタディーズ入門	1	1.0	2 - 4	春BC	水3	郭 立夫,河野 禎之	近年、性的マイノリティ(LGBTQ+)の人権は西洋社会だけでなく、アジア社会でもますます認められるようになってきた。しかし、同時に、性的マイノリティの人権、とりわけトランスジェンダーの人権や女性の人権を侵害するような言説も広く見られるようになっている。こうした分断や対立を考えるために、本授業では「フェミニズム」「クィア・スタディーズ」「インターセクショナリティ(交差性)」の基礎的知見を共有する。とくに第三波フェミニズム運動における「クィア・ターン(Queer Turn)」を手掛かりに、フェミニズム運動の主体について、クィア・スタディーズの観点から単一のアイデンティティに基づく運動・思想よりも、交差性(インターセクショナリティ)を重視した運動・思想が求められるようになった経緯等を踏まえ、問題の背景にある課題への理解を深める。	対面 定員30名。受講希望者多数で定員を超えた場合には人数制限をする場合がある。詳細は後日周知
8331144	ダイバーシティとジェンダー/セクシュアリティ	4	1.0	1	秋C	集中	河野 禎之,土井 裕人,郭 立夫,早坂 美奈子	産業構造が急速に変化し、人々の生活文化、家族のあり方や社会が変容する中、多様な属性の人々の存在とともに、我々の生き方も多様性に満ちていることが明らかとなっている。そこにある個人や個人をとりまく人間関係、組織や地域社会では、どのような問題が生じているのか。本授業では、「人の多様性」のうち、特に「ジェンダー」及び「セクシュアリティ」を切り口として、近年注目されている「ダイバーシティ&インクルージョン」や「ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン」という概念について、その本質と実体について学ぶ。そのために、実践家の講師による話題提供とともに質疑応答や対話を重ね、より広い視野と柔軟な発想の獲得を目指しながら、受講生個人の生きる力、社会力を身につけることにつなげる	2024年度までの8320404と同一。授業は日本語で行う(リアクションペーパー等は英語可) 2/6,2/7 オンライン(同時双方向型) 授業中は匿名で参加可。詳細についてはManabaにて周知する。2日間の集中講義のため、2日間の出席を前提とする(1日のみ参加は単位認定不可)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
8331204	筑波クリエイティブ・キャンプ・ベーシック―アントレプレナー入門講座―	4	1.0	1 - 4	春AB	集中	野村 豪,五十嵐 浩也,尾﨑 典明	新規事業の立ち上げ(起業含む)に関心のある受講者に対して、実際に起業に携わった経営者陣が、様々な経験に基づく講義を行う。 学生自らの事業アイデアをビジネスプランに昇華する体験をグループワークを通じて行い、アントレプレナーシップの醸成と起業のための基本スキルの習得を図る。 アントレプレナーシップとは、身の回りの問題を自ら発見し解決するための行動に移すマインドセットで、起業家精神ともいわれる。必ずしも起業することを意味するのではなく、自立していくためのキャリア形成にとってすべての人が身に付けるべきものである。本授業では演習を通じてアントレプレナーシップを身につけ、イノベーションを創造できる人材を養成する。	2024年度までの8321101と同一。 実務経験教員 対面(オンライン併用型) つくば市特定創業支援等事業 の対象講座(https://www.city.tsukuba.lg.jp/soshikiarasagasu/keizaibusangyoshinkoka/gyomuannai/3/2/1005409.html)
8331214	筑波クリエイティブ・キャンプ・アドバンスト	4	1.0	1 - 4	秋AB	集中	野村 豪,五十嵐 浩也,森川 亮	本格的に起業を目指す受講者に対して、本学出身者を中心とする経営者陣が、起業プランに対するメンタリングを行う。受講者の持つ起業プランを具体化し、筑波大学発ベンチャー設立に向けた支援を行う。 「起業」について知ることは、実際に起業をする人だけでなく、研究においても自分の研究結果がどう社会に貢献するかを見据えることに役立つ。当科目では、大学における研究や、自分の関心を元に起業をすること、また、将来のキャリアとして、「起業をする」という選択肢について指導を行うことで、「自分の思いで社会を変える」というイノベーション的視点を持った人材の育成を目標とする。	2024年度までの8321202と同一。 実務経験教員 対面(オンライン併用型) つくば市特定創業支援等事業 の対象講座(https://www.city.tsukuba.lg.jp/soshikiarasagasu/keizaibusangyoshinkoka/gyomuannai/3/2/1005409.html)
8331224	起業家のための経営・知財必須知識	4	1.0	1 - 4	秋AB	集中	中澤 真吾,五十嵐 浩也	起業に興味を持ちそのために必要となる知識を身につけたい学生が、ベンチャービジネス、知的財産とその戦略、マーケティング、経営とファイナンスなどの実践的な実学を、ベンチャー企業のライフサイクルに合わせて演習を含めて学習する。スタートアップのリスク低減に必須な知識を中心とするが、企業で事業推進するときにも役立つ知識である。	2024年度までの8320504と同一。 令和元年度までの「次世代起業家養成のための経営・知財必須知識」に相当するため、これらの授業の履修者による重複履修は不可。原則対面授業。 実務経験教員 対面

グローバル自由科目群

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
8030306	海外英語研修I-a	6	3.0	1 - 4	春C	集中		夏季休業の期間を利用して、英語圏の大学が実施する英語研修プログラムに参加し、英語の4技能の強化をはかる。あわせて、現地学生との交流やアクティビティを通して、英語を実践的に活用しながら、異文化・社会に対する理解を深める。	授業形態は未定 2025/10/3 開講中止決定
8030406	海外英語研修I-b	6	3.0	1 - 4	夏季休業中	集中		夏季休業の期間を利用して、英語圏の大学が実施する英語研修プログラムに参加し、英語の4技能の強化をはかる。あわせて、現地学生との交流やアクティビティを通して、英語を実践的に活用しながら、異文化・社会に対する理解を深める。	授業形態は未定 2025/10/3 開講中止決定
8030506	海外英語研修I-c	6	3.0	1 - 4	夏季休業中	集中		夏季休業の期間を利用して、英語圏の大学が実施する英語研修プログラムに参加し、英語の4技能の強化をはかる。あわせて、現地学生との交流やアクティビティを通して、英語を実践的に活用しながら、異文化・社会に対する理解を深める。	授業形態は未定 2025/10/3 開講中止決定
8030606	海外英語研修II-a	6	3.0	1 - 3	春季休業中	集中		春季休業の期間を利用して、英語圏の大学が実施する英語研修プログラムに参加し、英語の4技能の強化をはかる。あわせて、現地学生との交流やアクティビティを通して、英語を実践的に活用しながら、異文化・社会に対する理解を深める。	授業形態は未定 2025/10/3 開講中止決定
8030706	海外英語研修II-b	6	3.0	1 - 3	春季休業中	集中		春季休業中の4週間を利用して英語圏の大学にて英語研修を行い、英語の4技能の強化をはかる。併せて、現地大学生や他国からの学生との交流、ホームステイ、地域ボランティアといったアクティビティを通じて、英語を実践的に活用しながら、異文化・社会に対する理解を深める。	授業形態は未定 2025/10/3 開講中止決定
8030806	海外英語研修II-c	6	3.0	1 - 3	春季休業中	集中		春季休業の期間を利用して、英語圏の大学が実施する英語研修プログラムに参加し、英語の4技能の強化をはかる。あわせて、現地学生との交流やアクティビティを通して、英語を実践的に活用しながら、異文化・社会に対する理解を深める。	授業形態は未定 2025/10/3 開講中止決定
8042104	海外武者修行	4	1.0	2 - 4	通年	集中	島田 雅晴	海外の大学・企業等において、自らの企画により交流・研修活動等を行い、大学では得られない経験と自らの能力・適性を客観的に判断する機会を得る。 積極性と企画力・実行力の向上及び自立性の向上を図るとともに、現地の学生グループなどと交流・研修活動を行うことにより、武者修行による教育効果を期待する。	「はばたけ 筑大生!海外武者修行支援プログラム」の募集要項に従い、活動後に履修手続きを取ること。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
8070307	国際パートナーシップ研修(中南米)	7	2.0	1 - 4	春季休業中	集中	藤澤 奈都穂	本授業は、メキシコ、コロンビア、ペルー、チリ、ブラジルの提携協定校との協働教育科目の一つとして開講するものである。 約3週間の双方向の短期研修を利用し、事前研修の後、研修の実施国において、 1語学研修、 2当該国や日本の社会や文化に対する相互理解、 3学生の専門に応じた専門研修、 4現地企業や関連機関等での研修やインターンシップ、 5研修の仕上げとしてのレポート提出と提携校の学生を交えた報告会(協働演習) から構成される。 成績評価は、派遣学生については、上記に係る院卒教職員及び学生からの報告書並びに報告会における発表等に基づき、授業担当教員が行う。受け入れ学生については、上記に係る学習状況及び学生の報告書並びに報告会における発表等表等に基づき、授業担当教員が行う。	メキシコ、コロンビア、ペルー、チリ、ブラジルの提携協定校での実施を予定 G科目 対面 卒業する年度において、卒業要件として単位修得する履修は認めない。「筑波トランスパシフィックプログラム」生に限る。
8070406	国際パートナーシップ協働演習(中南米)	6	2.0	2 - 4	通年	応談	藤澤 奈都穂	本授業は、メキシコ、コロンビア、ペルー、チリ、ブラジルの提携協定校との協働教育科目として開講するものである。 双方の指導教員の指導の下に、 1提携校での留学期間を利用した、指定のテーマに関する調査、 2上記調査と留学の学習と生活に関するマンスリーレポートの作成、 3レポートに基づき、留学経験者を交えた研究・活動発表と討議 から成る。 日本と中南米双方の開発課題とグローバル課題を共有し、留学の体験と学修、現地調査の成果として、その課題解決に向けた実践的討議を主な内容とするものである。 交換留学のタイミングにもよるが、最後の研究・活動発表と討議は、本学での受入れ留学生との合同での実施により協働教育の実を高めることとする。 成績評価は、派遣学生については、上記に係る提携協定校のプログラム関係教員からの報告及び学生の報告書並びに研究発表等に基づき、授業担当教員が行う。受け入れ学生については、上記に係る学習状況及び学生の報告書並びに研究発表等に基づき、授業担当教員が行う。	「筑波トランスパシフィックプログラム」生として派遣及び受け入れている学生で、受入れ教員の指導のもとに実施。終了時に報告会を行う。 G科目 対面 卒業する年度において、卒業要件として単位修得する履修は認めない。「筑波トランスパシフィックプログラム」生に限る。
8200006	アフリカ・オンライン・フィールドスタディA	6	1.0	1 - 4	春学期	随時	山本 亨輔	アフリカ各国で活躍する起業家を講師として,講師・現地スタッフと共に現場の課題を共有し,その課題の解決方法を探索する.学生はリモートで接続するので,直接,現地に留学すること無く,海外でのフィールド・スタディを体験できる.本講義を通じて,受講生は,国際的フィールドでの課題解決プロセスを学習し,必要な知識・経験を理解できる.	時差があるため、講義時間は柔軟に設定する。 オンライン(オンデマンド型)
8200016	アフリカ・オンライン・フィールドスタディB	6	1.0	1 - 4	秋学期	随時	山本 亨輔	アフリカ各国で活躍する起業家を講師として,講師・現地スタッフと共に現場の課題を共有し,その課題の解決方法を探索する.学生はリモートで接続するので,直接,現地に留学すること無く,海外でのフィールド・スタディを体験できる.本講義を通じて,受講生は,国際的フィールドでの課題解決プロセスを学習し,必要な知識・経験を理解できる.	時差があるため、講義時間は柔軟に設定する。 対面 時差があるため、講義時間は柔軟に設定する。
8220007	Inclusive Smart Society 米国研修	7	1.0	2・3	通年	応談	松島 亘志	このコースは、 Inclusive Smart Society(ISS)実現をテーマとするオハイオ州立大学(OSU)と筑波大学の国際共同教育プログラムの一環で実施する。 ISS PBL,ISS I,IIまたはISSサポートプログラムで学んだ学生が、OSUや企業等において企画される様々な活動やインターンシップへ参加し、Inclusive Smart Societyの実現に向けた具体的な事業化計画の発表などを行う。また、学生自らが事前に交流内容を企画し、現地の教員や学生と交流を行う。	履修登録希望者は、事前にISSプログラム事務局へ相談すること。 info.tenkai-us@un.tsukuba.ac.jp 英語で授業。
8290107	国際パートナーシップ研修(東南アジア)	7	2.0	1 - 4	夏季休業中	集中	森川 一也,牛島 由理	本授業科目は、日本において準備教育を実施した後、学生を東南アジア諸国へ派遣するとともに、学生の専門分野に応じた適正技術に係る実習・研究発表等を行うことで、以下の知識・能力を身に付けさせることを目的としたものである。 1 英語による実践的なコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力 2 派遣国や日本の社会・文化に対する理解 3 派遣国における発展段階に応じた課題、適正技術へのニーズ等に対する理解 4 適正技術の開発・実装に向けた課題の抽出	全学自由科目(特設)。 本学および国際基督教大学の学生に限る 詳細後日周知 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
8310005	海外先進大学スポーツマネジメント研修	5	1.0	1 - 4	春季休業中	集中	大山 高,山田 晋三,高木 英樹	体育スポーツ局が実施する自由科目「スポーツが変われば、大学が変わる」の実習科目として位置づけられた海外研修プログラムです。約1週間の滞在を通じて、海外の先進的な大学スポーツマネジメントの現場を体験し、スポーツが大学や地域社会にもたらす価値を多角的に学びます。 現地大学の教員やスタッフから、1スポーツ文化とその背景、2大学スポーツ観戦を通じた価値創造、3大学スポーツ局の運営・地域連携の仕組みなどについて講義を受け、さらに4現地学生とのディスカッションやイベント交流を行います。国際的視点から大学スポーツの意義を理解し、筑波大学の目指す大学スポーツの未来像を考えることを目的とします。	対面
8330206	海外語学研修ドイツ語	6	3.0	2 - 4	春C夏季休業中秋C春季休業中	集中	茅野 大樹	バイロイト大学主催のドイツ語コースに参加することで、ドイツ語教育の専門家による授業を受け、ドイツの日常生活や文化に触れながらドイツ語を学ぶ。	グローバルコミュニケーション教育センター開設。ドイツ,バイロイト大学「外国語としてのドイツ語」学科にて研修。詳細後日、案内掲示あり。 G科目
8330306	海外語学研修中国語A	6	3.0	2 - 4				夏期休暇中の約3週間の期間を利用し、交流協定校である中国長沙市の湖南大学において、中国語研修を行う。教室で基礎学習を行いつつ、実際の生活の中で中国人及び中国社会にじかに触れながら学び、異文化理解力と語学運用能力を高める。	グローバルコミュニケーション教育センター開設。中国,湖南大学日本言語・文化学部にて研修。 2026年度開講せず。 G科目
8330316	海外語学研修中国語B	6	3.0	1 - 4				華東師範大学(中国上海市)で開設される中国語コース(約3週間)において、短期集中型の語学研修を行うと同時に、現地の日系企業における体験学習を実施し、それらを通して語学力を向上させ、異文化理解を深める。	グローバルコミュニケーション教育センター開設。中国上海市,華東師範大学対外漢語学院にて研修。 2026年度開講せず。 G科目
8330406	海外語学研修ロシア語A	6	3.0	2 - 4				夏季休暇中の3~4週間の期間を利用し、本学の教育学術交流協定大学であるサンクトペテルブルク大学文学部ロシア言語文化カレッジにおいてロシア語研修を行う。具体的には、授業の場で基礎文法、会話、読解などをバランスよく学習する一方、ロシア本国での実生活という体験学習を通じてロシアの文化や社会、ロシアの人々の国民性や価値観などに対する理解を一層深める。	グローバルコミュニケーション教育センター開設。ロシア,サンクトペテルブルグ大学文学部附属ロシア語ロシア文化カレッジにて研修。詳細後日、案内掲示あり。 2026年度開講せず。 G科目
8330416	海外語学研修ロシア語B	6	3.0	2 - 4	夏季休業中	集中	臼山 利信,梶山 祐治	夏季休暇中の3~4週間の期間を利用し、キルギス共和国日本人材開発センター(本学の協定校であるキルギス国立総合大学構内/首都ビシュケク)と本学とが協力・連携し、同センターにおいて、主にロシア語研修を行う。ロシア語のほか、現地語であるキルギス語の研修も実施する。キルギス共和国での実践的な語学・異文化研修を通じて、ロシア語及びキルギス語の運用能力を伸ばすとともに、ロシア語圏の文化や社会の多様性に対する理解を一層深める。	グローバルコミュニケーション教育センター開設。パスポートを早めに用意すること(更新期限が切れていないか確認すること)。また研修中は危機管理を常に意識すること。 ロシア語で授業。 詳細後日周知 G科目 対面
8330426	海外語学研修ロシア語C	6	3.0	2 - 4	春季休業中	集中	臼山 利信,梶山 祐治	春季休暇中(3月)の3~4週間の期間を利用し、CiC協定大学であるアルファラビ・カザフ国立大学(カザフスタン共和国、アルマトイ)と本学とが協力・連携し、同大学において、主にロシア語研修を行う。ロシア語のほか、国家語であるカザフ語の研修も実施する。カザフスタン共和国での実践的な語学・異文化研修を通じて、ロシア語及びカザフ語の運用能力を伸ばすとともに、ロシア語圏の文化や社会の多様性に対する理解を一層深める。	グローバルコミュニケーション教育センター開設。パスポートを早めに用意すること(更新期限が切れていないか確認すること)。また研修中は危機管理を常に意識すること。 ロシア語で授業。 詳細後日周知 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
8330606	海外語学研修英語A	6	3.0	1 - 4	春C夏季休業中	集中	マダバカス ナヒーン,井出 里咲子	ニュージーランドのビクトリア大学ウェリントン校のEnglish Language Institute(ELI)によって実施される、6週間の英語研修プログラムに参加し、「学術目的のための英語(EAP)」を学ぶ授業、テスト、課題、その他のさまざまな活動に英語で取り組むことを通して、集中的に英語力全般を向上させ、自身の英語力についての客観的な理解を深める。さらに、英語で実施されるセミナーに協働的に取り組むことによって問題解決のためのチームスキルを向上させる。 また、ウェリントンとニュージーランドの歴史、社会、文化について学び、その地域の生活を体験し、他国の学生(南アメリカ、ヨーロッパ、パシフィック諸島からの学生など)および地元の人々と交流することを通して、異なる文化に適応する能力を身につける。	グローバルコミュニケーション教育センター開設。ビクトリア大学ウェリントン校のEnglish Language Instituteによって実施される6週間のコースは、ウェリントンのケルバーンキャンパスで対面で行われる。春学期中に、筑波大学CEGLOCで事前のオリエンテーションが開催されるので、必ず出席すること。(オリエンテーションに欠席した場合は、履修は不可とする。オリエンテーションの日程については、後日公開する)。 英語で授業。 詳細後日周知 G科目 授業は教室での対面指導、セミナー、ペアワークおよびグループワーク活動を含む。
8330616	海外語学研修英語B	6	3.0	1 - 4	春季休業中	集中	マダバカス ナヒーン,井出 里咲子	ニュージーランドのビクトリア大学ウェリントン校のEnglish Language Institute(ELI)によって実施される6 週間の英語研修プログラムに参加し、「学術目的のための英語(EAP)」を学ぶ授業、課題、その他のさまざまな活動に英語で取り組むことを通して、集中的に英語力全般を向上させ、自身の英語力についての客観的な理解を深める。また、英語で実施されるセミナーに協働的に取り組むことによって問題解決のためのスキルを向上させる。さらに、ウェリントンとニュージーランドの歴史、社会、文化について学び、その地域の生活を体験し、他国の学生および地元の人々と交流することを通して、異なる文化に適応する能力を身につける。	グローバルコミュニケーション教育センター開設。ビクトリア大学ウェリントン校のEnglish Language Instituteによって実施される6週間のコースは、ウェリントンのケルバーンキャンパスで対面で行われる。履修を希望する場合は、必ず、事前に開催される対面/オンラインの説明会に参加すること。(説明会参加者にのみ、関連情報の詳細を共有し、履修を承認する。) G科目
8330906	海外語学研修カザフ語	6	3.0	2 - 4	夏季休業中	集中	宗野 ふもと,梶山 祐治	アルファラビ・カザフ国立大学主催の短期カザフ語研修コースにおいて、実践的なコミュニケーション能力の育成を重視した、カザフ語学習を行う。具体的には、授業の場で基礎文法を学びながら現地学生やホストファミリーとの会話、買い物など、アウトプットを積極的に行うことで生活に根差した単語や実用的な表現を身につける。カザフスタン共和国での実生活という体験学習を通じて言語のみならず中央アジアの文化や社会、カザフの人々の国民性や価値観などに対する理解を一層深める。	グローバルコミュニケーション教育センター開設 G科目 対面
8331153	多文化共修による課題解決実習(国内)A	3	1.0	1 - 4	春学期	随時	福嶋 美佐子	春学期ないし夏季休業期間に国内を共修の場とし、本学ないし海外協定校の外国人学生と本学の日本人学生、国内企業等が参加し、地球規模課題などの解決を図るための多文化共修を行う。これにより、グローバルな環境下で文化や専門分野の相違を超えて多彩なステークホルダーと協働し、課題の発見・分析・解決に挑むスキルとマインドセットを習得する。	履修登録の方法は担当教員の指示に従うこと。学生側から登録できないので注意。
8331163	多文化共修による課題解決実習(国内)B	3	1.0	1 - 4	秋学期	随時	福嶋 美佐子	秋学期ないし春季休業期間に国内を共修の場とし、本学ないし海外協定校の外国人学生と本学の日本人学生、国内企業等が参加し、地球規模課題などの解決を図るための多文化共修を行う。これにより、グローバルな環境下で文化や専門分野の相違を超えて多彩なステークホルダーと協働し、課題の発見・分析・解決に挑むスキルとマインドセットを習得する。	履修登録の方法は担当教員の指示に従うこと。学生側から登録できないので注意。
8331173	多文化共修による課題解決実習(海外)A	3	1.0	1 - 4	春学期	随時	福嶋 美佐子	海外協定校等を共修の場とし、本学の日本人学生と現地学生、海外企業等が参加し、地球規模課題などの解決を図るための多文化共修を行う。これにより、グローバルな環境下で文化や専門分野の相違を超えて多彩なステークホルダーと協働し、課題の発見・分析・解決に挑むスキルとマインドセットを習得する。	履修登録の方法は担当教員の指示に従うこと。学生側から登録できないので注意。
8331183	多文化共修による課題解決実習(海外)B	3	1.0	1 - 4	秋学期	随時	福嶋 美佐子,朝倉 雅史,藤田 晃之	海外協定校等を共修の場とし、本学の日本人学生と現地学生、海外企業等が参加し、地球規模課題などの解決を図るための多文化共修を行う。これにより、グローバルな環境下で文化や専門分野の相違を超えて多彩なステークホルダーと協働し、課題の発見・分析・解決に挑むスキルとマインドセットを習得する。	履修登録の方法は担当教員の指示に従うこと。学生側から登録できないので注意。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
8333204	言語を通じた日本と母文化の理解	4	1.0	1 - 4	秋AB	月5	小野 正樹	日本語の歴史、方言などの様々なジャンルや目的の日本語に触れ、日本語に対する知識を深める。現代日本社会の特徴、魅力、課題を、日本語を通じて、日本人学生には外国語力としての発信力と多文化理解、留学生には日本理解を通じての母文化の理解を深めることで、アカデミックな国際交流を深化させる。	[特別聴講学生(短期留学生)(日本語・日本文化研修生を含む)]は、3901482「様々な日本語IIB」の代わりに本科目を開設したので、正規学生と同様に履修申請してください。

日本事情等科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
8049911	日本の歴史	1	1.0	1・2	春季休業中	集中	今井 勇	日本の歴史について、重要なトピックを取り上げ、学修する。	(人文・文化学群開設)履修は，留学生および外国滞在期間5年以上の帰国生徒に限る。令和元年度以前に1B26511の単位を既に修得している学生は履修不可。【受講制限数40名】 オンライン(同時双方向型) 詳細はmanabaやシラバスを参照のこと。
8049921	日本の生活文化	1	1.0	1・2	秋B	集中	豊田 紘子	歴史地理学の視点から、近世~近現代の日本におけるさまざまなマチ(都市)・ムラ(村落)の景観と生活およびその変容について検討する。	【人文・文化学群開設】外国人留学生及び帰国生徒に限る。 対面
8149911	日本の自然	1	1.0	1・2	春AB	水5	角替 敏昭	ユーラシア大陸の東端に位置する日本列島およびその周辺地域でみられる地質学的現象の特徴とその成因について講義する。特に46億年の地球史の中で、日本がどのように位置づけられるのか学修する。また、筑波山周辺など身近な地域の変遷についても紹介する。	(地球学類開設)外国人留学生及び帰国生徒に限る。 対面

開設母体　　要件
教職

教育の基礎的理解に関する科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
9200111	現代教育と教育理念	1	1.0	1	春C	木1,2	平井 悠介	子どもが人として生まれ、人間として形成されていく過程で、大人・教育者はどのようなはたらきかけを行うべきか。また、社会は社会的存在としての人間の形成にどのように関わるべきか。こうした課題を、人間の発達、教育の目的、内容、方法、制度的・組織的原理等に関わる教育の基礎理論・基本的概念をふまえながら、多面的に考察する。	人文・応理・エシス・比文・日日・社工・総学対象 対面
9200121	現代教育と教育理念	1	1.0	1	秋C	水1,2	平井 悠介	子どもが人として生まれ、人間として形成されていく過程で、大人・教育者はどのようなはたらきかけを行うべきか。また、社会は社会的存在としての人間の形成にどのように関わるべきか。こうした課題を、人間の発達、教育の目的、内容、方法、制度的・組織的原理等に関わる教育の基礎理論・基本的概念をふまえながら、多面的に考察する。	生物・地球・数学・物理・化学・創成・医学・看護・医療・芸術・総学対象 対面
9200131	現代教育と教育理念	1	1.0	1	春C	月3,4	平井 悠介	子どもが人として生まれ、人間として形成されていく過程で、大人・教育者はどのようなはたらきかけを行うべきか。また、社会は社会的存在としての人間の形成にどのように関わるべきか。こうした課題を、人間の発達、教育の目的、内容、方法、制度的・組織的原理等に関わる教育の基礎理論・基本的概念をふまえながら、多面的に考察する。	教育・心理・障害・知識・社会・国際・資源・情報・総学対象 対面
9200141	現代教育と教育理念	1	1.0	1	秋A	集中	平井 悠介	子どもが人として生まれ、人間として形成されていく過程で、大人・教育者はどのようなはたらきかけを行うべきか。また、社会は社会的存在としての人間の形成にどのように関わるべきか。こうした課題を、人間の発達、教育の目的、内容、方法、制度的・組織的原理等に関わる教育の基礎理論・基本的概念をふまえながら、多面的に考察する。	体育1~5クラス対象 対面
9200151	現代教育と教育理念	1	1.0	1	秋B	集中	平井 悠介	子どもが人として生まれ、人間として形成されていく過程で、大人・教育者はどのようなはたらきかけを行うべきか。また、社会は社会的存在としての人間の形成にどのように関わるべきか。こうした課題を、人間の発達、教育の目的、内容、方法、制度的・組織的原理等に関わる教育の基礎理論・基本的概念をふまえながら、多面的に考察する。	体育6~10クラス対象 対面
9200211	教育史概論	1	1.0	1	春C	火3,4	平田 諭治	学校と教育の歴史的現在を確認したうえで、古代・中世から現代にいたる人間形成と教育のあり方について、その理念や思想とともに概観する。とくに学校が制度化される、近代以降の教育史的展開について詳しく説明する。	人文・応理・エシス・比文・日日・社工・総学対象 対面
9200221	教育史概論	1	1.0	1	春AB	月4	平田 諭治	学校と教育の歴史的現在を確認したうえで、古代・中世から現代にいたる人間形成と教育のあり方について、その理念や思想とともに概観する。とくに学校が制度化される、近代以降の教育史的展開について詳しく説明する。	生物・地球・数学・物理・化学・創成・医学・看護・医療・芸術・総学対象 対面
9200231	教育史概論	1	1.0	1	春C	月5,6	平田 諭治	学校と教育の歴史的現在を確認したうえで、古代・中世から現代にいたる人間形成と教育のあり方について、その理念や思想とともに概観する。とくに学校が制度化される、近代以降の教育史的展開について詳しく説明する。	教育・心理・障害・知識・社会・国際・資源・情報・総学対象 対面
9200241	教育史概論	1	1.0	1	秋B	集中	平田 諭治	学校と教育の歴史的現在を確認したうえで、古代・中世から現代にいたる人間形成と教育のあり方について、その理念や思想とともに概観する。とくに学校が制度化される、近代以降の教育史的展開について詳しく説明する。	体育1~5クラス対象 対面 2-6限
9200251	教育史概論	1	1.0	1	秋B	集中	平田 諭治	学校と教育の歴史的現在を確認したうえで、古代・中世から現代にいたる人間形成と教育のあり方について、その理念や思想とともに概観する。とくに学校が制度化される、近代以降の教育史的展開について詳しく説明する。	体育6~10クラス対象 対面 2-6限
9803151	教職論I	1	1.0	1	春AB	月6	朝倉 雅史,古田雄一	教員の養成と採用の全体像を確認したうえで、教員養成の変遷とともに、それに伴う教師像の移り変わりにも言及しながら、現代社会で求められる教員の資質能力を、資格と役割と職務とのかかわりにおいて講義する。その講義を通して、学生は自分なりの理想とする教師像を考えることになる。	人文・応理・エシス・比文・日日・社工・総学対象 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
9803161	教職論II	1	1.0	1	秋AB	金2	朝倉 雅史,古田 雄一	教員の具体的・実際的な職務とともに教師としてのライフサイクルを取りあげ、教員の校務分掌と連携、そして家庭・地域社会と学校との連携、つまりチームとしての学校の重要性について検討する。その講義を通して、学生は自分なりの理想とする教師のあるべき姿を考えることになる。	人文・応理・エシス・比文・日日・社工・総学対象 対面
9803211	教職論I	1	1.0	1	春C	水1,2	朝倉 雅史,古田 雄一	教員の養成と採用の全体像を確認したうえで、教員養成の変遷とともに、それに伴う教師像の移り変わりにも言及しながら、現代社会で求められる教員の資質能力を、資格と役割と職務とのかかわりにおいて講義する。その講義を通して、学生は自分なりの理想とする教師像を考えることになる。	生物・地球・数学・物理・化学・創成・医学・看護・医療・芸術・総学対象 対面
9803221	教職論I	1	1.0	1	春AB	水1	朝倉 雅史,古田 雄一	教員の養成と採用の全体像を確認したうえで、教員養成の変遷とともに、それに伴う教師像の移り変わりにも言及しながら、現代社会で求められる教員の資質能力を、資格と役割と職務とのかかわりにおいて講義する。その講義を通して、学生は自分なりの理想とする教師像を考えることになる。	教育・心理・障害・知識・社会・国際・資源・情報・総学対象 対面
9803241	教職論I	1	1.0	1	春AB	月5	古田 雄一,朝倉 雅史	教員の養成と採用の全体像を確認したうえで、教員養成の変遷とともに、それに伴う教師像の移り変わりにも言及しながら、現代社会で求められる教員の資質能力を、資格と役割と職務とのかかわりにおいて講義する。その講義を通して、学生は自分なりの理想とする教師像を考えることになる。	体育1~5クラス対象 対面
9803251	教職論I	1	1.0	1	春AB	水1	朝倉 雅史,古田 雄一	教員の養成と採用の全体像を確認したうえで、教員養成の変遷とともに、それに伴う教師像の移り変わりにも言及しながら、現代社会で求められる教員の資質能力を、資格と役割と職務とのかかわりにおいて講義する。その講義を通して、学生は自分なりの理想とする教師像を考えることになる。	体育6~10クラス対象 対面
9803311	教職論II	1	1.0	1	秋AB	金2	朝倉 雅史,古田 雄一	教員の具体的・実際的な職務とともに教師としてのライフサイクルを取りあげ、教員の校務分掌と連携、そして家庭・地域社会と学校との連携、つまりチームとしての学校の重要性について検討する。その講義を通して、学生は自分なりの理想とする教師のあるべき姿を考えることになる。	生物・地球・数学・物理・化学・創成・総学対象 対面
9803321	教職論II	1	1.0	1	秋AB	水1	朝倉 雅史,古田 雄一	教員の具体的・実際的な職務とともに教師としてのライフサイクルを取りあげ、教員の校務分掌と連携、そして家庭・地域社会と学校との連携、つまりチームとしての学校の重要性について検討する。その講義を通して、学生は自分なりの理想とする教師のあるべき姿を考えることになる。	医学・看護・医療・芸術・教育・心理・障害・知識・社会・国際・資源・情報・総学対象 対面
9803341	教職論II	1	1.0	1	秋AB	金2	三田部 勇	学校現場の諸課題を取り上げながら、教員の具体的・実際的な職務とともに教師としてのライフサイクル、校務分掌及び校内連携、家庭・地域社会と学校との連携等について検討する。その講義を通して、学生は自分なりの理想とする教師のあるべき姿を考えることになる。	体育1~5クラス対象 対面
9803351	教職論II	1	1.0	1	秋AB	水1	三田部 勇	学校現場の諸課題を取り上げながら、教員の具体的・実際的な職務とともに教師としてのライフサイクル、校務分掌及び校内連携、家庭・地域社会と学校との連携等について検討する。その講義を通して、学生は自分なりの理想とする教師のあるべき姿を考えることになる。	体育6~10クラス対象 対面
9200311	教育社会学概論	1	1.0	1	春季休業中	集中	太田 知彩	教育社会学は、教育に関わる社会事象を対象とし、社会学の視点と方法で研究する学問である。その対象は幅広く設定できるが、近代社会において教育現象が集約される場は主として学校である。そのため本講では学校という社会的制度を中心にとりあげながら、「全体社会と教育の関係」および「教育に持ち込まれる社会関係」について検討する。社会が教育を規定すると同時に、教育が社会を作り出しているという、両者の循環的関係を伝達することが、本講のテーマである。	対面 2-6限

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
9200321	教育社会学概論	1	1.0	1	春C	集中	德永 智子	教育社会学は、教育に関わる社会事象を対象とし、社会学の視点と方法で研究する学問である。その対象は幅広く設定できるが、近代社会において教育現象が集約される場は主として学校である。そのため本講では学校という社会的制度を中心にとりあげながら、「全体社会と教育の関係」および「教育に持ち込まれる社会関係」について検討する。社会が教育を規定すると同時に、教育が社会を作り出しているという、両者の循環的関係を伝達することが、本講のテーマである。	対面 2-6限
9200331	教育社会学概論	1	1.0	1	秋A	集中	太田 知彩	教育社会学は、教育に関わる社会事象を対象とし、社会学の視点と方法で研究する学問である。その対象は幅広く設定できるが、近代社会において教育現象が集約される場は主として学校である。そのため本講では学校という社会的制度を中心にとりあげながら、「全体社会と教育の関係」および「教育に持ち込まれる社会関係」について検討する。社会が教育を規定すると同時に、教育が社会を作り出しているという、両者の循環的関係を伝達することが、本講のテーマである。	対面 2-6限
9200411	教育の法と制度	1	1.0	1	秋AB	月6	藤井 穂高	教育の法と制度について、基本的な学校の制度、学校教育を支える仕組み、多様な学びの場について、概説する。	人文・応理・エシス・比文・日日・社工・教育・心理・障害・知識・体育・総学対象 対面
9200421	教育の法と制度	1	1.0	1	秋AB	月4	タスタンベコワ クアニシ	教育の法と制度について、基本的な学校の制度、学校教育を支える仕組み、多様な学びの場について、概説する。	生物・地球・数学・物理・化学・創成・医学・看護・医療・芸術・社会・国際・資源・情報・総学対象 対面
9200431	教育の法と制度	1	1.0	1	秋AB	月5	藤井 穂高	教育の法と制度について、基本的な学校の制度、学校教育を支える仕組み、多様な学びの場について、概説する。	体育1~5クラス対象 対面
9200441	教育の法と制度	1	1.0	1	秋AB	月5	タスタンベコワ クアニシ	教育の法と制度について、基本的な学校の制度、学校教育を支える仕組み、多様な学びの場について、概説する。	体育6~10クラス対象 対面
9200511	学校経営概説	1	1.0	1	秋AB	木2	石﨑 ちひろ	現代社会における学校教育の意義について、公教育の理念と歴史を踏まえながら幅広い視野で考えることができるように議論を進める。その上で、学校教育をめぐる最新の政策・実践に関する題材をもとに学校の自律性に向けた学校組織・学校経営の在り方を考える。そうした議論を通じて、子どもの成長と安全、教職員の協働、地域社会・保護者・学校の連携、学校の危機管理に関わる基礎的・実践的な力の修得を目指す。	人文・応理・エシス・教育・心理・障害・知識・社会・国際・資源・情報・総学対象 対面
9200521	学校経営概説	1	1.0	1	秋AB	火4	濱田 博文	現代社会における学校教育の意義について、公教育の理念と歴史を踏まえながら幅広い視野で考えることができるように議論を進める。その上で、学校教育をめぐる最新の政策・実践に関する題材をもとに学校の自律性に向けた学校組織・学校経営の在り方を考える。そうした議論を通じて、子どもの成長と安全、教職員の協働、地域社会・保護者・学校の連携、学校の危機管理に関わる基礎的・実践的な力の修得を目指す。	比文・日日・社工・生物・地球・数学・物理・化学・創成・医学・看護・医療・芸術・総学対象 対面
9200531	学校経営概説	1	1.0	1	秋AB	火4	植田 みどり	現代社会における学校教育の意義について、公教育の理念と歴史を踏まえながら幅広い視野で考えることができるように議論を進める。その上で、学校教育をめぐる最新の政策・実践に関する題材をもとに学校の自律性に向けた学校組織・学校経営の在り方を考える。そうした議論を通じて、子どもの成長と安全、教職員の協働、地域社会・保護者・学校の連携、学校の危機管理に関わる基礎的・実践的な力の修得を目指す。	体育1~5クラス対象 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
9200541	学校経営概説	1	1.0	1	秋AB	木2	濱田 博文	現代社会における学校教育の意義について、公教育の理念と歴史を踏まえながら幅広い視野で考えることができるように議論を進める。その上で、学校教育をめぐる最新の政策・実践に関する題材をもとに学校の自律性に向けた学校組織・学校経営の在り方を考える。そうした議論を通じて、子どもの成長と安全、教職員の協働、地域社会・保護者・学校の連携、学校の危機管理に関わる基礎的・実践的な力の修得を目指す。	体育6~10クラス対象 対面
9100111	こころの発達	1	1.0	1	秋C	木1,2	安藤 智子,大塚 泰正,藤 桂,尾野 裕美,千島 雄太,市倉 加奈子	学校教育に必要な基礎理論として,幼児,児童及び生徒(障害のある幼児,児童及び生徒を含む)の心身の発達と学習の過程について学ぶ。	人文・応理・エシス・比文・日日・社工・総学対象 対面
9100121	こころの発達	1	1.0	1	春C	金1,2	安藤 智子,大塚 泰正,藤 桂,尾野 裕美,千島 雄太,市倉 加奈子	学校教育に必要な基礎理論として,幼児,児童及び生徒(障害のある幼児,児童及び生徒を含む)の心身の発達と学習の過程について学ぶ。	生物・地球・数学・物理・化学・創成・医学・看護・医療・芸術・総学対象 対面
9100131	こころの発達	1	1.0	1	秋C	月3,4	安藤 智子,大塚 泰正,藤 桂,尾野 裕美,千島 雄太,市倉 加奈子	学校教育に必要な基礎理論として,幼児,児童及び生徒(障害のある幼児,児童及び生徒を含む)の心身の発達と学習の過程について学ぶ。	教育・心理・障害・知識・社会・国際・資源・情報・総学対象 対面
9100141	こころの発達	1	1.0	1	秋C	火3,4	安藤 智子,大塚 泰正,藤 桂,尾野 裕美,千島 雄太,市倉 加奈子	学校教育に必要な基礎理論として,幼児,児童及び生徒(障害のある幼児,児童及び生徒を含む)の心身の発達と学習の過程について学ぶ。	体育1~5クラス対象 対面
9100151	こころの発達	1	1.0	1	秋C	月5,6	安藤 智子,大塚 泰正,藤 桂,尾野 裕美,千島 雄太,市倉 加奈子	学校教育に必要な基礎理論として,幼児,児童及び生徒(障害のある幼児,児童及び生徒を含む)の心身の発達と学習の過程について学ぶ。	体育6~10クラス対象 対面
9100211	学習の心理	1	1.0	1	秋C	火3,4	山田 一夫,外山 美樹,綾部 早穂,高橋 阿貴,豊島 理公	学校教育に必要な基礎理論として, 幼児, 児童及び生徒(障害のある幼児,児童及び生徒を含む)の心身の発達と学習の過程について学ぶ。	人文・応理・エシス・比文・日日・社工・総学対象 対面
9100221	学習の心理	1	1.0	1	秋C	金1,2	山田 一夫,外山 美樹,綾部 早穂,高橋 阿貴,豊島 理公	学校教育に必要な基礎理論として, 幼児, 児童及び生徒(障害のある幼児,児童及び生徒を含む)の心身の発達と学習の過程について学ぶ。	生物・地球・数学・物理・化学・創成・医学・看護・医療・芸術・総学対象 対面
9100231	学習の心理	1	1.0	1	秋C	月5,6	山田 一夫,外山 美樹,綾部 早穂,高橋 阿貴,豊島 理公	学校教育に必要な基礎理論として, 幼児, 児童及び生徒(障害のある幼児,児童及び生徒を含む)の心身の発達と学習の過程について学ぶ。	教育・心理・障害・知識・社会・国際・資源・情報・総学対象 対面
9100241	学習の心理	1	1.0	1	秋C	木1,2	山田 一夫,外山 美樹,綾部 早穂,高橋 阿貴,豊島 理公	学校教育に必要な基礎理論として, 幼児, 児童及び生徒(障害のある幼児,児童及び生徒を含む)の心身の発達と学習の過程について学ぶ。	体育1~5クラス対象 対面
9100251	学習の心理	1	1.0	1	秋C	月3,4	高橋 阿貴,山田 一夫,外山 美樹,綾部 早穂,豊島 理公	学校教育に必要な基礎理論として, 幼児, 児童及び生徒(障害のある幼児,児童及び生徒を含む)の心身の発達と学習の過程について学ぶ。	体育6~10クラス対象 対面
9606111	特別支援教育	1	1.0	3	春AB	火6	石塚 祐香,米田 宏樹,左藤 敦子,小島 道生,宮本 昌子,三盃 亜美,佐島 毅,鈴木 寿人	我が国のインクルーシブ教育システム化においては、通常のクラスに障害のある児童・生徒が在籍することは当然のこととなる。そのため、障害について知り、障害をより良く理解し、適切な教育環境を作ることが必要となっている。ここでは種々の障害のある児童・生徒児の正しい理解及び障害児の教育について、加えて、母国語や貧困の問題等により特別の教育的ニーズのある児童・生徒への対応の必要性を解説する。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
9606211	特別支援教育	1	1.0	3	秋AB	金6	石塚 祐香,米田 宏樹,左藤 敦子,小島 道生,宮本 昌子,三盃 亜美,佐島 毅,鈴木 寿人	我が国のインクルーシブ教育システム化においては、通常のクラスに障害のある児童・生徒が在籍することは当然のこととなる。そのため、障害について知り、障害をより良く理解し、適切な教育環境を作ることが必要となっている。ここでは種々の障害のある児童・生徒児の正しい理解及び障害児の教育について、加えて、母国語や貧困の問題等により特別の教育的ニーズのある児童・生徒への対応の必要性を解説する。	対面
9606411	特別支援教育	1	1.0	3	春AB	月4	齊藤 まゆみ,澤江 幸則	我が国のインクルーシブ教育システム化においては、通常のクラスに障害のある児童・生徒が在籍することは当然のこととなる。そのため、障害について知り、障害をより良く理解し、適切な教育環境を作ることが必要となっている。ここでは種々の障害のある児童・生徒児の正しい理解及び障害児の教育について、さらに体育において特別な教育的ニーズのある児童・生徒への対応の必要性を解説する。	体育限定 対面
9604121	教育課程編成論	1	1.0	3	秋B	集中	田中 怜	学校教育において、日々の授業や実践の多くは、教育課程の範疇にある。この授業では、学習指導要領、教育課程、およびカリキュラム・マネジメントについて概説し、教職に必要不可欠な基礎知識を提供する。	対面 2-6限
9604201	教育課程編成論	1	1.0	3	春AB	水6	木村 範子	学校教育において、日々の授業や実践の多くは、教育課程の範疇にある。この授業では、学習指導要領、教育課程、およびカリキュラム・マネジメントについて概説し、教職に必要不可欠な基礎知識を提供する。	対面
9604301	教育課程編成論	1	1.0	3	秋AB	水5	木村 範子	学校教育において、日々の授業や実践の多くは、教育課程の範疇にある。この授業では、学習指導要領、教育課程、およびカリキュラム・マネジメントについて概説し、教職に必要不可欠な基礎知識を提供する。	対面
9604401	教育課程編成論	1	1.0	3	春C	集中	木村 範子	学校教育において、日々の授業や実践の多くは、教育課程の範疇にある。この授業では、学習指導要領、教育課程、およびカリキュラム・マネジメントについて概説し、教職に必要不可欠な基礎知識を提供する。	対面 両日9時開始
9604501	教育課程編成論	1	1.0	3	春AB	水1	三田部 勇,森田 司郎	学校教育において、日々の授業や実践の多くは、教育課程の範疇にある。この授業では、学習指導要領、教育課程、およびカリキュラム・マネジメントについて概説し、教職に必要不可欠な基礎知識を提供する。	体育限定 対面

道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
9301001	道徳教育I	1	1.0	2	春AB	月6	田中 マリア	道徳の本質をおさえた上で、現代の国内外における道徳教育の現状や課題について把握し、今日日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標や内容に対する理解を深める。また、第二次世界大戦を契機として大きく変化した国内外の価値教育の在り方をおさえ、子供の心の成長や道徳性の発達への視座など、今後求められる指導の在り方についても考える。	対面
9301011	道徳教育II	1	1.0	2	秋AB	月6	田中 マリア	道徳の本質をおさえた上で、現代の国内外における道徳教育の現状や課題について把握し、今日日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標や内容に対する理解を深める。また、第二次世界大戦を契機として大きく変化した国内外の価値教育の在り方をおさえ、子供の心の成長や道徳性の発達への視座など、今後求められる指導の在り方についても考える。	対面
9302001	道徳教育I	1	1.0	2	春AB	水3	川上 若奈	道徳の本質をおさえた上で、現代の国内外における道徳教育の現状や課題について把握し、今日日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標や内容に対する理解を深める。また、第二次世界大戦を契機として大きく変化した国内外の価値教育の在り方をおさえ、子供の心の成長や道徳性の発達への視座など、今後求められる指導の在り方についても考える。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
9302011	道徳教育II	1	1.0	2	秋AB	水3	川上 若奈	道徳の本質をおさえた上で、現代の国内外における道徳教育の現状や課題について把握し、今日日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標や内容に対する理解を深める。また、第二次世界大戦を契機として大きく変化した国内外の価値教育の在り方をおさえ、子供の心の成長や道徳性の発達への視座など、今後求められる指導の在り方についても考える。	対面
9303001	道徳教育I	1	1.0	2	夏季休業中	集中	川上 若奈	道徳の本質をおさえた上で、現代の国内外における道徳教育の現状や課題について把握し、今日日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標や内容に対する理解を深める。また、第二次世界大戦を契機として大きく変化した国内外の価値教育の在り方をおさえ、子供の心の成長や道徳性の発達への視座など、今後求められる指導の在り方についても考える。	対面 2-6限
9303011	道徳教育II	1	1.0	2	秋C	集中	川上 若奈	道徳の本質をおさえた上で、現代の国内外における道徳教育の現状や課題について把握し、今日日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標や内容に対する理解を深める。また、第二次世界大戦を契機として大きく変化した国内外の価値教育の在り方をおさえ、子供の心の成長や道徳性の発達への視座など、今後求められる指導の在り方についても考える。	対面 2/11(2-5限)2/14(3-5限)2/15(3-5限)
9305001	道徳教育I	1	1.0	2	春AB	木3	田中 マリア	道徳の本質をおさえた上で、現代の国内外における道徳教育の現状や課題について把握し、今日日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標や内容に対する理解を深める。また、第二次世界大戦を契機として大きく変化した国内外の価値教育の在り方をおさえ、子供の心の成長や道徳性の発達への視座など、今後求められる指導の在り方についても考える。	体育学生主対象(体育学生:学籍番号末尾奇数) 対面
9305011	道徳教育II	1	1.0	2	秋AB	木3	田中 マリア	道徳の本質をおさえた上で、現代の国内外における道徳教育の現状や課題について把握し、今日日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標や内容に対する理解を深める。また、第二次世界大戦を契機として大きく変化した国内外の価値教育の在り方をおさえ、子供の心の成長や道徳性の発達への視座など、今後求められる指導の在り方についても考える。	体育学生主対象(体育学生:学籍番号末尾奇数) 対面
9306011	道徳教育I	1	1.0	2	春AB	木3	菊地 かおり	道徳の本質をおさえた上で、現代の国内外における道徳教育の現状や課題について把握し、今日日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標や内容に対する理解を深める。また、第二次世界大戦を契機として大きく変化した国内外の価値教育の在り方をおさえ、子供の心の成長や道徳性の発達への視座など、今後求められる指導の在り方についても考える。	体育学生主対象(体育学生:学籍番号末尾偶数) 対面 春Aモジュールは菊地、春Bモジュールは非常勤講師が担当。
9306031	道徳教育II	1	1.0	2	秋AB	木3	菊地 かおり	道徳の本質をおさえた上で、現代の国内外における道徳教育の現状や課題について把握し、今日日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標や内容に対する理解を深める。また、第二次世界大戦を契機として大きく変化した国内外の価値教育の在り方をおさえ、子供の心の成長や道徳性の発達への視座など、今後求められる指導の在り方についても考える。	体育学生主対象(体育学生:学籍番号末尾偶数) 対面 非常勤講師が担当予定
9807151	総合的な学習の時間の指導法I	1	1.0	2	秋AB	集中	唐木 清志,篠塚 明彦	総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解したうえで、主体的・対話的で深い学びを実現するような、総合的な学習の時間の単元計画を作成することの重要性について、具体的な実践例(特に筑波大学附属学校における総合活動)を手がかりにして、学生自身が主体的・対話的で深い学びを行う。	オンライン(オンデマンド型) 令和3年度以前入学者対象
9807251	総合的な学習の時間の指導法II	1	1.0	2	秋B	集中	唐木 清志,篠塚 明彦	総合的な学習の時間の指導と評価の重要性について、具体的な実践例(特に筑波大学附属学校における総合活動)を手がかりにして、学生自身が主体的・対話的で深い学びを行う。	オンライン(オンデマンド型) 令和3年度以前入学者対象
9807311	総合的な学習の時間の指導法	1	1.0	2	秋AB	集中	唐木 清志,大野 新,山田 研也,丹治 達義,篠塚 明彦	総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解したうえで、主体的・対話的で深い学びを実現するような、総合的な学習の時間の単元計画を作成することの重要性について、具体的な実践例(特に筑波大学附属学校における総合活動)を手がかりにして、学生自身が主体的・対話的で深い学びを行う。	対面 令和4年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
9807321	総合的な学習の時間の指導法	1	1.0	2	秋B	集中	唐木 清志,丹治 達義,山田 研也,篠塚 明彦	総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解したうえで、主体的・対話的で深い学びを実現するような、総合的な学習の時間の単元計画を作成することの重要性について、具体的な実践例(特に筑波大学附属学校における総合活動)を手がかりにして、学生自身が主体的・対話的で深い学びを行う。	対面 令和4年度以降入学者対象
9807331	総合的な学習の時間の指導法	1	1.0	2	秋B	集中	唐木 清志,大野 新,山本 智也,廣瀬 由美,篠塚 明彦	総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解したうえで、主体的・対話的で深い学びを実現するような、総合的な学習の時間の単元計画を作成することの重要性について、具体的な実践例(特に筑波大学附属学校における総合活動)を手がかりにして、学生自身が主体的・対話的で深い学びを行う。	対面 令和4年度以降入学者対象
9807341	総合的な学習の時間の指導法	1	1.0	2	秋B	集中	唐木 清志,篠塚 明彦,廣瀬 由美,山本 智也	総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解したうえで、主体的・対話的で深い学びを実現するような、総合的な学習の時間の単元計画を作成することの重要性について、具体的な実践例(特に筑波大学附属学校における総合活動)を手がかりにして、学生自身が主体的・対話的で深い学びを行う。	対面 令和4年度以降入学者対象
9807351	総合的な学習の時間の指導法	1	1.0	2	春季休業中	集中	唐木 清志,粕谷 昌良,建元 喜寿,篠塚 明彦	総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解したうえで、主体的・対話的で深い学びを実現するような、総合的な学習の時間の単元計画を作成することの重要性について、具体的な実践例(特に筑波大学附属学校における総合活動)を手がかりにして、学生自身が主体的・対話的で深い学びを行う。	対面 令和4年度以降入学者対象
9701001	特別活動の理論と実践	1	1.0	2	秋C	月5,6	京免 徹雄	学校は子どもたちが学ぶ場所であると同時に、生活する場所でもあります。教科において、言語・数量・情報などの基礎的スキルや、それらを活用する思考力・判断力・表現力などを育成するのに対して、教科外活動である特別活動では、集団生活における自治的活動を通して実践力、すなわち人間関係を形成する力や社会に参画する力を身に付け、生徒1人1人の自己実現を目指します。特に、21世紀を生き抜くための資質・能力の重要性が指摘される中で、非認知(社会情動)的能力の発達に寄与できる特別活動への期待が高まっています。 特別活動は、集団での「生活づくり」を通じて「なすことによって学ぶ」活動です。本授業では、生徒が自主的・自律的に活動を展開し、集団や社会の形成者になっていけるよう、教員がどのように指導すればよいのかを考えていきます。 授業の進め方は、まず中学校・高等学校における特別活動の3つの領域である学級・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事に着目し、その理論、教育目標・内容、指導方法について、講義によって検討します。さらに、実際に特別活動の指導計画を作成し、それを発表・評価していきます。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
9702011	特別活動の理論と実践	1	1.0	2	秋C	火4,5	京免 徹雄	学校は子どもたちが学ぶ場所であると同時に、生活する場所でもあります。教科において、言語・数量・情報などの基礎的スキルや、それらを活用する思考力・判断力・表現力などを育成するのに対して、教科外活動である特別活動では、集団生活における自治的活動を通して実践力、すなわち人間関係を形成する力や社会に参画する力を身に付け、生徒1人1人の自己実現を目指します。特に、21世紀を生き抜くための資質・能力の重要性が指摘される中で、非認知(社会情動)的能力の発達に寄与できる特別活動への期待が高まっています。 特別活動は、集団での「生活づくり」を通じて「なすことによって学ぶ」活動です。本授業では、生徒が自主的・自律的に活動を展開し、集団や社会の形成者になっていけるよう、教員がどのように指導すればよいのかを考えていきます。 授業の進め方は、まず中学校・高等学校における特別活動の3つの領域である学級・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事に着目し、その理論、教育目標・内容、指導方法について、講義によって検討します。さらに、実際に特別活動の指導計画を作成し、それを発表・評価していきます。	対面
9705001	特別活動の理論と実践	1	1.0	2	秋C	集中	田中 マリア	学校は子どもたちが学ぶ場所であると同時に、生活する場所でもあります。教科において、言語・数量・情報などの基礎的スキルや、それらを活用する思考力・判断力・表現力などを育成するのに対して、教科外活動である特別活動では、集団生活における自治的活動を通して実践力、すなわち人間関係を形成する力や社会に参画する力を身に付け、生徒1人1人の自己実現を目指します。特に、21世紀を生き抜くための資質・能力の重要性が指摘される中で、非認知(社会情動)的能力の発達に寄与できる特別活動への期待が高まっています。 特別活動は、集団での「生活づくり」を通じて「なすことによって学ぶ」活動です。本授業では、生徒が自主的・自律的に活動を展開し、集団や社会の形成者になっていけるよう、教員がどのように指導すればよいのかを考えていきます。 授業の進め方は、まず中学校・高等学校における特別活動の3つの領域である学級・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事に着目し、その理論、教育目標・内容、指導方法について、講義によって検討します。さらに、実際に特別活動の指導計画を作成し、それを発表・評価していきます。	対面 2-6限
9706011	特別活動の理論と実践	1	1.0	2	夏季休業中	集中	田中 光晴	学校は子どもたちが学ぶ場所であると同時に、生活する場所でもあります。教科において、言語・数量・情報などの基礎的スキルや、それらを活用する思考力・判断力・表現力などを育成するのに対して、教科外活動である特別活動では、集団生活における自治的活動を通して実践力、すなわち人間関係を形成する力や社会に参画する力を身に付け、生徒1人1人の自己実現を目指します。特に、21世紀を生き抜くための資質・能力の重要性が指摘される中で、非認知(社会情動)的能力の発達に寄与できる特別活動への期待が高まっています。 特別活動は、集団での「生活づくり」を通じて「なすことによって学ぶ」活動です。本授業では、生徒が自主的・自律的に活動を展開し、集団や社会の形成者になっていけるよう、教員がどのように指導すればよいのかを考えていきます。 授業の進め方は、まず中学校・高等学校における特別活動の3つの領域である学級・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事に着目し、その理論、教育目標・内容、指導方法について、講義によって検討します。さらに、実際に特別活動の指導計画を作成し、それを発表・評価していきます。	体育学生主対象(体育学生:学籍番号末尾偶数) 8/22,8/23 対面 2-6限

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
9706021	特別活動の理論と実践	1	1.0	2	秋C	木2,3	京免 徹雄	学校は子どもたちが学ぶ場所であると同時に、生活する場所でもあります。教科において、言語・数量・情報などの基礎的スキルや、それらを活用する思考力・判断力・表現力などを育成するのに対して、教科外活動である特別活動では、集団生活における自治的活動を通して実践力、すなわち人間関係を形成する力や社会に参画する力を身に付け、生徒1人1人の自己実現を目指します。特に、21世紀を生き抜くための資質・能力の重要性が指摘される中で、非認知(社会情動)的能力の発達に寄与できる特別活動への期待が高まっています。 特別活動は、集団での「生活づくり」を通じて「なすことによって学ぶ」活動です。本授業では、生徒が自主的・自律的に活動を展開し、集団や社会の形成者になっていけるよう、教員がどのように指導すればよいのかを考えていきます。 授業の進め方は、まず中学校・高等学校における特別活動の3つの領域である学級・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事に着目し、その理論、教育目標・内容、指導方法について、講義によって検討します。さらに、実際に特別活動の指導計画を作成し、それを発表・評価していきます。	体育学生主対象(体育学生:学籍番号末尾奇数) 対面
9605111	教育の方法と技術	1	1.0	3	春AB	木6	樋口 直宏	授業を構成する要素や、主要な教授法と形態等について研究しながら、教育方法の基礎理論について講義する。具体的には、現場学校の実践例を取り上げながら、授業の設計や実施の方法について考える。また、授業分析、学力に関する理論および教育評価の方法についても学習する。さらにICT教育について、教具・教材ソフト・メディアリテラシー・情報モラル教育等のあり方についても考察する。	対面
9605211	教育の方法と技術	1	1.0	3	春C	金5,6	樋口 直宏	授業を構成する要素や、主要な教授法と形態等について研究しながら、教育方法の基礎理論について講義する。具体的には、現場学校の実践例を取り上げながら、授業の設計や実施の方法について考える。また、授業分析、学力に関する理論および教育評価の方法についても学習する。さらにICT教育について、教具・教材ソフト・メディアリテラシー・情報モラル教育等のあり方についても考察する。	対面
9605311	教育の方法と技術	1	1.0	3	夏季休業中	集中	早坂 淳	授業を構成する要素や、主要な教授法と形態等について研究しながら、教育方法の基礎理論について講義する。具体的には、現場学校の実践例を取り上げながら、授業の設計や実施の方法について考える。また、授業分析、学力に関する理論および教育評価の方法についても学習する。さらにICT教育について、教具・教材ソフト・メディアリテラシー・情報モラル教育等のあり方についても考察する。	8/27,8/28 対面 1-5限
9605321	教育の方法と技術	1	1.0	3	夏季休業中	集中	花屋 哲郎	授業を構成する要素や、主要な教授法と形態等について研究しながら、教育方法の基礎理論について講義する。具体的には、現場学校の実践例を取り上げながら、授業の設計や実施の方法について考える。また、授業分析、学力に関する理論および教育評価の方法についても学習する。さらにICT教育について、教具・教材ソフト・メディアリテラシー・情報モラル教育等のあり方についても考察する。	9/14,9/15 対面 1-5限
9605401	教育の方法と技術	1	1.0	3	秋AB	水1	宮崎 明世,小池 関也,澤江 幸則	授業を構成する要素や、主要な教授法と形態等について研究しながら、教育方法の基礎理論について講義する。具体的には、現場学校の実践例を取り上げながら、授業の設計や実施の方法について考える。また、授業分析、学力に関する理論および教育評価の方法についても学習する。さらにICT教育について、教具・教材ソフト・メディアリテラシー・情報モラル教育等のあり方についても考察する。	体育限定 対面(オンライン併用型) 保健体育の免許を取得する者は本講座を履修すること。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
9607111	情報通信技術を活用した教育の理論と方法	1	1.0	3	春B	集中	小松 孝太郎	情報通信技術の活用の意義について基本的な事項を扱った後に,情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方について考察する。さらに,情報活用能力や情報モラルを育成するための指導法について,中等教育の各教科の特性を考慮しながら検討する。	対面 令和4年度以降入学者対象 「視聴覚教育論」と「初等情報通信技術を活用した教育の理論と方法」を履修済,履修中,履修予定の学生は履修不可
9607121	情報通信技術を活用した教育の理論と方法	1	1.0	3	秋B	集中	樋口 直宏,田中 怜	情報通信技術の活用の意義について基本的な事項を扱った後に,情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方について考察する。さらに,情報活用能力や情報モラルを育成するための指導法について,中等教育の各教科の特性を考慮しながら検討する。	12/25,12/26 対面 令和4年度以降入学者対象
9607131	情報通信技術を活用した教育の理論と方法	1	1.0	3	秋B	集中	李 禧承	情報通信技術の活用の意義について基本的な事項を扱った後に,情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方について考察する。さらに,情報活用能力や情報モラルを育成するための指導法について,中等教育の各教科の特性を考慮しながら検討する。	11/28,11/29 対面 令和4年度以降入学者対象
9607141	情報通信技術を活用した教育の理論と方法	1	1.0	3	夏季休業中	集中	緩利 誠	情報通信技術の活用の意義について基本的な事項を扱った後に,情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方について考察する。さらに,情報活用能力や情報モラルを育成するための指導法について,中等教育の各教科の特性を考慮しながら検討する。	9/9,9/10 対面 令和4年度以降入学者対象
9607151	情報通信技術を活用した教育の理論と方法	1	1.0	3	春B	集中	中園 長新	情報通信技術の活用の意義について基本的な事項を扱った後に,情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方について考察する。さらに,情報活用能力や情報モラルを育成するための指導法について,中等教育の各教科の特性を考慮しながら検討する。	対面 令和4年度以降入学者対象
9801411	生徒指導	1	1.0	3	夏季休業中	集中	京免 徹雄	いじめや不登校等、児童生徒の諸課題は、厳しい状況にあります。複雑多様化する児童生徒への課題に適切に対応することは重要ですが、課題対応にとどまらない発達支持的生徒指導の重要性が高まっています。学力や社会性、情緒、進学や就業への準備といった児童生徒の総合的な発達を促すには、望ましい学校風土の構築が要になります。このような学校風土の構築を目指す発達支持的生徒指導は、学校教育の基盤とされています。本授業では、2022年に改訂された『生徒指導提要』を参照しながら、重層的支援構造の理論をはじめ、発達支持的生徒指導や課題予防的生徒指導、困難課題対応的生徒指導の具体的な取組みや方法、校内の組織体制、さらには外部との連携・協働について、考えていきます。	体育学生(学籍番号末尾奇数)主対象 対面 2-6限
9801421	生徒指導	1	1.0	3	夏季休業中	集中	花屋 哲郎	いじめや不登校等、児童生徒の諸課題は、厳しい状況にあります。複雑多様化する児童生徒への課題に適切に対応することは重要ですが、課題対応にとどまらない発達支持的生徒指導の重要性が高まっています。学力や社会性、情緒、進学や就業への準備といった児童生徒の総合的な発達を促すには、望ましい学校風土の構築が要になります。このような学校風土の構築を目指す発達支持的生徒指導は、学校教育の基盤とされています。本授業では、2022年に改訂された『生徒指導提要』を参照しながら、重層的支援構造の理論をはじめ、発達支持的生徒指導や課題予防的生徒指導、困難課題対応的生徒指導の具体的な取組みや方法、校内の組織体制、さらには外部との連携・協働について、考えていきます。	9/7,9/8 対面 1-5限

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
9801441	生徒指導	1	1.0	3	秋C	集中	花屋 哲郎	いじめや不登校等、児童生徒の諸課題は、厳しい状況にあります。複雑多様化する児童生徒への課題に適切に対応することは重要ですが、課題対応にとどまらない発達支持的生徒指導の重要性が高まっています。学力や社会性、情緒、進学や就業への準備といった児童生徒の総合的な発達を促すには、望ましい学校風土の構築が要になります。このような学校風土の構築を目指す発達支持的生徒指導は、学校教育の基盤とされています。本授業では、2022年に改訂された『生徒指導提要』を参照しながら、重層的支援構造の理論をはじめ、発達支持的生徒指導や課題予防的生徒指導、困難課題対応的生徒指導の具体的な取組みや方法、校内の組織体制、さらには外部との連携・協働について、考えていきます。	対面 1-5限
9801451	生徒指導	1	1.0	3	夏季休業中	集中	宮古 紀宏	いじめや不登校等、児童生徒の諸課題は、厳しい状況にあります。複雑多様化する児童生徒への課題に適切に対応することは重要ですが、課題対応にとどまらない発達支持的生徒指導の重要性が高まっています。学力や社会性、情緒、進学や就業への準備といった児童生徒の総合的な発達を促すには、望ましい学校風土の構築が要になります。このような学校風土の構築を目指す発達支持的生徒指導は、学校教育の基盤とされています。本授業では、2022年に改訂された『生徒指導提要』を参照しながら、重層的支援構造の理論をはじめ、発達支持的生徒指導や課題予防的生徒指導、困難課題対応的生徒指導の具体的な取組みや方法、校内の組織体制、さらには外部との連携・協働について、考えていきます。	8/22,8/23 対面 2-6限
9801461	生徒指導	1	1.0	3	夏季休業中	集中	花屋 哲郎	いじめや不登校等、児童生徒の諸課題は、厳しい状況にあります。複雑多様化する児童生徒への課題に適切に対応することは重要ですが、課題対応にとどまらない発達支持的生徒指導の重要性が高まっています。学力や社会性、情緒、進学や就業への準備といった児童生徒の総合的な発達を促すには、望ましい学校風土の構築が要になります。このような学校風土の構築を目指す発達支持的生徒指導は、学校教育の基盤とされています。本授業では、2022年に改訂された『生徒指導提要』を参照しながら、重層的支援構造の理論をはじめ、発達支持的生徒指導や課題予防的生徒指導、困難課題対応的生徒指導の具体的な取組みや方法、校内の組織体制、さらには外部との連携・協働について、考えていきます。	体育学生(学籍番号末尾偶数)主対象 9/10,9/11 対面 1-5限
9801511	教育相談の基礎	1	1.0	3	春AB	集中	松田 侑子,生田目光	教育相談の基盤となる生徒理解の意義を踏まえた上で,心理・社会的な適応・不適応の概念,心理アセスメントの理論的背景と具体的方法,カウンセリング,行動療法,グループ・アプローチなど教育相談でしばしば用いられる諸技法の理論と実際について講義する。	対面 1-5限
9801521	教育相談の基礎	1	1.0	3	春AB	火5	佐藤 有耕	教育相談の基盤となる生徒理解の意義を踏まえた上で,心理・社会的な適応・不適応の概念,心理アセスメントの理論的背景と具体的方法,カウンセリング,行動療法,グループ・アプローチなど教育相談でしばしば用いられる諸技法の理論と実際について講義する。	対面
9801541	教育相談の基礎	1	1.0	3	春AB	火6	佐藤 有耕	教育相談の基盤となる生徒理解の意義を踏まえた上で,心理・社会的な適応・不適応の概念,心理アセスメントの理論的背景と具体的方法,カウンセリング,行動療法,グループ・アプローチなど教育相談でしばしば用いられる諸技法の理論と実際について講義する。	対面
9801551	教育相談の基礎	1	1.0	3	春C	月5,6	松田 侑子,生田目光	教育相談の基盤となる生徒理解の意義を踏まえた上で,心理・社会的な適応・不適応の概念,心理アセスメントの理論的背景と具体的方法,カウンセリング,行動療法,グループ・アプローチなど教育相談でしばしば用いられる諸技法の理論と実際について講義する。	対面
9801561	教育相談の基礎	1	1.0	3	秋C	火5,6	松田 侑子,生田目光	教育相談の基盤となる生徒理解の意義を踏まえた上で,心理・社会的な適応・不適応の概念,心理アセスメントの理論的背景と具体的方法,カウンセリング,行動療法,グループ・アプローチなど教育相談でしばしば用いられる諸技法の理論と実際について講義する。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
9801611	教育相談の実際	1	1.0	3	春C	集中	前田 基成	不登校,いじめ,非行,発達障害など,現代の学校教育現場が抱える様々な心理的不適応に関する問題を網羅的に取り上げ,実態,理論的背景,学校での具体的な対応について,事例等を交えながら説明する。	対面 2-6限
9801621	教育相談の実際	1	1.0	3	秋AB	火5	飯田 順子,井上真里	不登校,いじめ,非行,発達障害など,現代の学校教育現場が抱える様々な心理的不適応に関する問題を網羅的に取り上げ,実態,理論的背景,学校での具体的な対応について,事例等を交えながら説明する。	対面
9801641	教育相談の実際	1	1.0	3	秋AB	火6	飯田 順子,井上真里	不登校,いじめ,非行,発達障害など,現代の学校教育現場が抱える様々な心理的不適応に関する問題を網羅的に取り上げ,実態,理論的背景,学校での具体的な対応について,事例等を交えながら説明する。	対面
9801651	教育相談の実際	1	1.0	3	秋AB	集中	前田 基成	不登校,いじめ,非行,発達障害など,現代の学校教育現場が抱える様々な心理的不適応に関する問題を網羅的に取り上げ,実態,理論的背景,学校での具体的な対応について,事例等を交えながら説明する。	対面 2-6限
9801661	教育相談の実際	1	1.0	3	秋C	火1,2	糸井 千尋	不登校,いじめ,非行,発達障害など,現代の学校教育現場が抱える様々な心理的不適応に関する問題を網羅的に取り上げ,実態,理論的背景,学校での具体的な対応について,事例等を交えながら説明する。	体育学生主対象 対面
9802111	進路指導・キャリア教育	1	1.0	3	春AB	火5	藤田 晃之	進路指導とそれを包含するキャリア教育について双方の定義や概念を明らかにした上で、進路指導・キャリア教育の視点に立った教育実践、評価改善の推進の在り方やガイダンスとカウンセリングの充実方策、学校内外の組織的な体制づくり等について講義する。	対面
9802211	進路指導・キャリア教育	1	1.0	3	秋AB	月5	藤田 晃之	進路指導とそれを包含するキャリア教育について双方の定義や概念を明らかにした上で、進路指導・キャリア教育の視点に立った教育実践、評価改善の推進の在り方やガイダンスとカウンセリングの充実方策、学校内外の組織的な体制づくり等について講義する。	対面
9802321	進路指導・キャリア教育	1	1.0	3	秋AB	火5	藤田 晃之	進路指導とそれを包含するキャリア教育について双方の定義や概念を明らかにした上で、進路指導・キャリア教育の視点に立った教育実践、評価改善の推進の在り方やガイダンスとカウンセリングの充実方策、学校内外の組織的な体制づくり等について講義する。	対面
9802511	進路指導・キャリア教育	1	1.0	3	秋C	集中	藤田 晃之	進路指導とそれを包含するキャリア教育について双方の定義や概念を明らかにした上で、進路指導・キャリア教育の視点に立った教育実践、評価改善の推進の在り方やガイダンスとカウンセリングの充実方策、学校内外の組織的な体制づくり等について講義する。	対面 9時開始
9802521	進路指導・キャリア教育	1	1.0	3	春AB	月5	藤田 晃之	進路指導とそれを包含するキャリア教育について双方の定義や概念を明らかにした上で、進路指導・キャリア教育の視点に立った教育実践、評価改善の推進の在り方やガイダンスとカウンセリングの充実方策、学校内外の組織的な体制づくり等について講義する。	体育学生主対象 対面

教科指導法

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
9430111	国語科教育概論I	1	1.0	3	春AB	水1	勝田 光	藤森裕治編著『国語科における中核的な概念とは何か―その研究的考察』(2025年、東洋館出版社)をテキストにして、中学校および高等学校における国語科教育の本質と実践を理解する。	対面
9430121	国語科教育概論II	1	1.0	3	春AB	水2	長田 友紀	中学校および高等学校の表現領域(話すこと・聞くこと・書くこと)およびICTを活用した国語の授業について、学校現場におけるさまざまな実践事例をみることで、そのポイントについて考える。	対面
9431114	国語科教育演習I	4	2.0	3	秋AB 秋C	水1 水1,2	勝田 光	中学校および高等学校における国語科の読むことの学習指導について、国語教科書収録教材の特徴を海外の教科書と比較しながら理解を深め、生徒の実態に応じた読むことの学習指導を構想できるようになることを目指す。国語教科書収録教材から中学校と高等学校の読むことの学習指導の系統性も検討する。	対面
9431124	国語科教育演習II	4	2.0	3	秋AB	火1 水2	長田 友紀	中学校および高等学校の表現領域(話すこと・聞くこと・書くこと)について実際の指導を経験しながら、指導方法について理解を深める。また教材や指導案作成の基礎を学ぶ。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
9432114	国語科指導法	4	2.0	3	秋C春季休業中	集中	赤松 幸紀	第1回から第5回は、中学校における国語科の実際の授業や評価事例をみたうえで、学習指導案作成のポイントを学び模擬授業を行う。 第6回から第20回は、古典(古文・漢文)教育について取り扱う。古文・漢文の基礎的知見を学びつつ、実践例などにも言及しながらその問題点と対応の仕方について考える。また具体的な教材研究の方法・着眼点、授業の方法等を紹介したうえで、模擬授業を実施する。	対面 2-6限
9433004	英語科教育基礎論a	4	1.0	2	春AB	水2	斉田 智里	指導の観点から英語自体についての知識を再確認し,指導上の要点や課題を概観する。個人やグループでの作業,ディスカッションを行う。	対面
9433014	英語科教育基礎論b	4	1.0	2	秋AB	水2	土方 裕子	「英語科教育基礎論a」の学修を基盤として,英語の4領域の指導についての要点や課題を概観する。個人やグループでの作業,ディスカッションを行う。	対面
9433044	英語科教育概説a	4	1.0	3	春AB	水1	斉田 智里	「英語科教育基礎論a,b」において修得した知識を活用し,おもに授業と学習評価の課題について考察する。グループ・プレゼンテーション,ディスカッションを行い,相互に振り返り改善を重ねていくことで,基礎的実践力を養成していく。	対面
9433054	英語科教育概説b	4	1.0	3	秋AB	水1	小野 雄一	「英語科教育概説a」の学修を基盤として,主に中高公教育における授業と評価の課題について考察する。模擬授業,ディスカッションを行い,相互に振り返り改善を重ねていくことで,実践的活用力を養成していく。	対面
9434024	中等英語科教育法Ia	4	1.0	2	春AB	水1	小泉 利恵	主に中学校・高等学校における英語科教育の理論的側面を概観するとともに,中・高における英語指導の基本的な知識と技術を体得する。授業においては,個人やグループでの作業,ディスカッションなどへの積極的な参加が求められる。	対面
9434034	中等英語科教育法Ib	4	1.0	2	秋AB	水1	平井 明代,柳沢 明文	「中等英語科教育法Ia」の学修を基盤として、さらに英語科教育の理論的側面を概観するとともに,中・高における英語指導の基本的な知識と技術を体得する。授業においては,個人やグループでの作業,ディスカッションなどへの積極的な参加が求められる。	対面
9434064	中等英語科教育法IIa	4	1.0	3	春AB	水2	栖原 昂	「中等英語科教育法Ia, b」の学修を発展させ,主に英語科教育の実践的側面を概観するとともに,模擬授業を中心に,高校における英語指導に役立つ実践的な知識と技術を体得する。	対面
9434074	中等英語科教育法IIb	4	1.0	3	秋AB	水2	栖原 昂	「中等英語科教育法IIa」の学修を基盤に,英語科教育の実践的側面を概観するとともに,模擬授業を中心に,主に高校における英語指導に役立つ実践的な知識と技術を体得する。	対面
9435001	ドイツ語教育概説	1	3.0	2	秋ABC	応談	住大 恭康	ドイツ語教育に必要な文法の知識及び教授法を概説する。(ドイツ語科教育法,及びドイツ語の教育実習を履修する者は必ず事前にこの単位を取得すること)	対面 2018年度以前入学者対象
9436001	ドイツ語科教育法	1	3.0	3	通年	応談		高校教育で必要なドイツ語教育についての知識を身につける。(ドイツ語の教育実習を履修する者は必ず事前にこの単位を取得すること。「ドイツ語教育概説」を事前に履修すること)	ドイツ語教育概説の単位取得者に限る 対面 2018年度以前入学者対象
9436011	ドイツ語指導論	1	2.0	3・4	通年	応談		ドイツ語授業における学習者への指導法を、教室での実際の諸事情に即して考察する。	ドイツ語教育概説とドイツ語科教育法の単位取得者に限る 対面 2018年度以前入学者対象
9437001	フランス語教育概説	1	3.0	2	通年	応談		中学・高校におけるフランス語教育に必要な基本的知識・能力を身につける。	フランス語科教育法,及びフランス語の教育実習を履修する者は必ず事前にこの単位を取得すること 対面 2018年度以前入学者対象
9438001	フランス語科教育法	1	3.0	3	通年	応談		フランス語教育の理論的な基礎から実際の諸問題までを学習する。	フランス語教育概説の単位取得者に限る。フランス語の教育実習を履修する者は必ず事前にこの単位を取得すること。 対面 2018年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
9438011	フランス語指導論	1	2.0	3・4	通年	応談		フランス語教育指導の具体的な方法を学ぶ。	フランス語教育概説とフランス語科教育法の単位取得者に限る 対面 2018年度以前入学者対象
9439001	中国語教育概説	1	3.0	2	通年	応談		中国語教育に必要な文法の知識及び教授法を概説する。(中国語科教育法を履修する者は必ず事前にこの単位を取得すること)	対面 2018年度以前入学者対象
9440001	中国語科教育法	1	3.0	3	通年	応談		高校教育で必要な中国語文法を重点的に指導する。(中国語の教員免許取得希望者は必ずこの単位を取得すること。「中国語教育概説」を事前に履修すること。)	中国語教育概説の単位取得者に限る 対面 2018年度以前入学者対象
9440011	中国語指導論	1	2.0	3・4	通年	応談		中国語をめぐるさまざまな問題について、多方面からの検討をおこなう。	中国語教育概説と中国語科教育法の単位取得者に限る 対面 2018年度以前入学者対象
9441101	中等社会・地理歴史科教育法I	1	1.0	2・3	春AB	水1	金 玹辰	本授業は、中学校社会科および高等学校地理歴史科の教科を担当する教員に必要な基本的知識や資質について理論的に、実践を踏まえながら解説する。また、社会科・地理歴史科に関するテーマについて模擬授業と討論を取入れ、演習の形態とする。	対面
9441201	中等社会・地理歴史科教育法II	1	2.0	2・3	秋AB 秋C	水1 水1,2	國分 麻里	本授業は、中学校社会科および高等学校地理歴史科の教科を担当する教員に必要な基本的知識や資質について理論や実践を学ぶ。単に教科の特色に関する内容や方法を講義式で学ぶだけでなく、模擬授業を行いながら、教師としての実践的な力を養う。	中等社会科・地理歴史科教育法Iを修得済みであること。 対面
9442101	中等社会・公民科教育法I	1	1.0	2・3	春AB	水1	唐木 清志	学習指導要領に示された中学校社会科及び高等学校公民科の性格、中学校社会科及び高等学校公民科の歴史や具体的な授業実践例などについて、教員の講義を中心に授業を進める。	対面
9442201	中等社会・公民科教育法II	1	2.0	2・3	秋AB 秋C	水1 水1,2	唐木 清志	中学校社会科及び高等学校公民科に関する教材研究、単元開発、評価方法等に関して教員が講義した上で、学生には実際に模擬授業を体験してもらい、授業づくりに必要とされる実践的なスキルを身に付けてもらう。	中等社会科・公民科教育法Iを履修済みであること。 対面
9443101	社会科地理歴史指導法	1	1.0	2・3	秋A	集中	國分 麻里	本授業は、中学校地理歴史の教員についての知識や方法の基本的知識を講義で学び、地理と歴史の内容や方法に関して、自ら学習指導案や授業実践を演習形式で行うことで教師としての自覚や基礎を身に付ける。	正規生は3年次以上の履修が望ましい 対面 1-5限
9445001	社会科公民指導法	1	1.0	2・3	春A	集中	唐木 清志	学習指導要領に示された中学校社会科の教育目標と教育内容と、最新の授業づくりの方法について、体験的に理解することを目的として授業を進める。	5/5,5/6 対面 1-5限
9446101	地理歴史科指導法	1	1.0	2・3	春AB	水2	金 玹辰	本授業は、高等学校地理歴史科の教科を担当する教員に必要な基本的知識や資質について理論的に、実践を踏まえながら解説する。また、講義内容に基づいて社会科・地理歴史科の模擬授業を行い、演習の形態とする。	対面
9448111	公民科指導法	1	1.0	2・3	秋AB	集中	山本 智也	本授業は、高等学校公民科の教科を担当する教員に必要な基本的知識や資質を理論的に、実践を踏まえながら解説する。また、講義内容に基づいて公民科の模擬授業を行い、演習の形態とする。	対面 2-6限
9450101	数学科教育概論I	1	1.0	3	春AB	木2	小松 孝太郎	中学校・高等学校における数学の学習指導について,数学的活動やICT活用の観点から考察し,数学教育の目標に関する見識を深めるとともに,数学科教員として必要な資質を高める。	対面
9450201	数学科教育概論II	1	2.0	3	秋AB 秋C 秋C	木1 木2 集中	清水 美憲,蒔苗 直道	中学校・高等学校数学科の目標,教育課程,学習指導法について概説し,数学教育の現状と課題について考察するとともに,数学科教員として必要な見識を高める。各学校段階や各領域における学習指導については、学習指導案作成や模擬授業などの演習や課題解決を含む。	対面 秋AB木1限、秋C木2限、秋C(集中)2-6限(1日間)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
9451001	数学教育内容論	1	1.0	3	秋C	木1 集中	清水 美憲	高等学校までに学ぶ数学を題材に,より高い立場から数学における論理構成の方法,理論の拡張と体系化の方法を,具体的な事例の検討を通して学ぶ。現在の学校数学では扱われていない凹四角形やたこ形のような図形を多角形のなかに位置づける活動を通して公理,公準,定義の重要性を考えるとともに,演算の可能性を広げるという立場から数の範囲を拡大していくなかでの代数的構造の位置を検討する。また、Geogebra等のソフトについて、効果的な活用を検討する。	対面 秋C木1限、秋C集中2-6限(1日間)
9452001	数学授業研究	1	1.0	3	秋A	集中	太田 伸也	中学校・高等学校の数学教育の授業研究の方法について,教材と生徒の学習の視点から授業をとらえるあり方を学び、数学科教員として必要な見識を高める。	対面 2-6限 2日間
9453001	数学科指導法	1	1.0	3	春AB	木1	山田 研也	まず,中学校・高等学校の数学の授業を通じて「何をこそ身につけさせたいのか」(指導目標)をおさえ,それを踏まえた上で,「何を学ぶのか」(指導内容)を確認する。 指導目標・内容に大きく関わるのが,「いかに学ぶか」ということであり,生徒の学習活動のあるべき姿を探求し,それを実現するための教師の役割について考察する。	対面
9453101	数学教材論	1	2.0	3	秋B	集中	中川 裕之,小石沢 勝之,小松 孝太郎	学校数学の内容をどのような考えを背景に構成し得るのか。例えば、何故、そこでその内容を指導するのか、その説明理論を教材とともに検討する。	対面 2-6限 4日間
9454111	理科教育概論IA	1	1.0	2・3	春AB	木1	遠藤 優介	現代理科教育研究の動向を踏まえつつ、中等理科教育の理論と実践について解説する。本授業は、中等理科教育の概論かつ入門に位置付くものであり、「理科教育概論IB」と合わせて理科教育全般に渡る内容を取り扱いながら、理科教育を実践していく上での長期的な基盤を形成することを主眼とする。	地球・物理・化学・応理・エシス・社工対象 対面
9454121	理科教育概論IIA	1	1.0	2・3	春AB	木1	石﨑 友規,山本 容子	現代理科教育研究の動向を踏まえつつ、中等理科教育の理論と実践について解説する。理科教育の基礎理論を解説した後、理科教育の実践への入門として実践的な演習を行う。本授業は、「理科教育概論IIB」と合わせて理科教育全般に渡る内容を取り扱いながら、理科教育を実践していく上での長期的な基盤を形成することを主眼とする。	生物・資源対象 対面
9454211	理科教育概論IB	1	1.0	2・3	秋AB	木1	遠藤 優介	現代理科教育研究の動向を踏まえつつ、中等理科教育の理論と実践について解説する。本授業は、中等理科教育の概論かつ入門に位置付くものであり、「理科教育概論IA」と合わせて理科教育全般に渡る内容を取り扱いながら、理科教育を実践していく上での長期的な基盤を形成することを主眼とする。	地球・物理・化学・応理・エシス・社工対象 対面
9454221	理科教育概論IIB	1	1.0	2・3	秋AB	集中	石﨑 友規,山本 容子	現代理科教育研究の動向を踏まえつつ、中等理科教育の理論と実践について解説する。理科教育の基礎理論を解説した後、理科教育の実践への入門として実践的な演習を行う。本授業は、「理科教育概論IIA」と合わせて理科教育全般に渡る内容を取り扱いながら、理科教育を実践していく上での長期的な基盤を形成することを主眼とする。	生物・資源対象 対面
9455011	中等理科教育論I	1	2.0	2・3	秋AB	集中	今村 哲史	本授業では、近年の理科教育研究の動向を踏まえて、中学校及び高等学校理科、特に物理及び化学分野を中心に、理論と実践について概説する。まず、国内外の学力調査等の結果を踏まえ、理科教育の現状と諸問題についても講述する。その上で、中学校及び高等学校学習指導要領(理科)の基本的な考え方について考える。次に、理科の教授学習に関する諸説や取り組みを紹介する。そして、中学校及び高等学校理科におけるカリキュラム作成や学習指導等の視点から、中等理科教育の現代的問題について解決の糸口を探る。	対面 2-6限

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
9455021	中等理科教育論II	1	2.0	2・3	秋A	集中	遠藤 優介,稲田 結美	歴史的変遷を踏まえつつ、最新の学習指導要領に基づき、日本の中等教育段階の理科の目標と学習内容について解説し、中等教育段階の理科学習の問題点を国内外の学力調査の結果や、先行研究で明らかにされてきた自然事象に対する学習者の認識の傾向などから総括する。また、学習者の科学的な能力を育成するための理科指導のあり方、探究活動の展開方法、教材開発の方法、能力の評価方法などについて、具体的事例を通して解説する。そして、学生自身が理科授業を構想し、学習指導案を作成したうえで模擬授業を実践し、模擬授業の参観者とともに、授業改善の具体的方法について議論する。本授業では、中等理科教育における基礎的事項を解説するとともに、アクティブ・ラーニングの視点を取り入れ、学生への課題や討論の機会を数多く設ける。	詳細後日周知 対面
9456011	中学校理科教育論	1	1.0	3	春季休業中	集中	人見 久城	中学校理科における学習内容、教材、指導方法について解説する。教材、ものづくり、観察・実験の具体例をいくつか取り上げ、受講生が実体験を通して理解できるように配慮する。	詳細後日周知 対面
9457031	中学校理科教育実践論	1	1.0	3	秋B	集中	郡司 賀透	本講義においては、まず理科教育が基盤をおく科学の問題解決(科学的探究)のプロセスについて、論理学的・認識論的に考察し、その特徴について論じる。また、日本の理科学習指導要領の変遷と日本の子どもたちの学力の状況について論じ、中学校理科の教授論を実践と関係づけながら講義と実習を行う。授業は、グループを単位とした実習、授業づくり、ビデオ視聴などの学生参加型を目指す。	詳細後日周知 対面 2022年度まで開講の中学校理科教育実践論I(9457011)、ないし中学校理科教育実践論II(9457021)に対応。9457011ないし9457021の単位を取得済みの者の履修は認めない。
9458001	福祉科指導法I	1	3.0	3	春C秋C	集中	名川 勝,森地 徹	従来の人権教育および福祉教育の理念や方法論を概観し,必要に応じて身近な福祉問題を考えるためのフィールドワーク等の体験を手がかりとした教科としての福祉教育に取り組む場合の「指導目標,指導内容,指導方法,指導上の配慮点・教材開発」などを教授する。	春学期当初開催するオリエンテーション(別途掲示)参加が必要。 2025/05/12 開講中止決定 詳細後日周知 対面 オンライン(オンデマンド型)
9459001	福祉科指導法II	1	1.0	3	通年	応談	藤本 啓寛	「福祉科指導法I」の授業内容についてさらに理解を深めるために,受講者は授業案を作成し,その成果について検討する。またこれらの作成に必要な事項を講述する。	「福祉科指導法I」を受講済みあるいは受講している学生に限る。 春学期当初開催するオリエンテーション(別途掲示)参加が必要。 2025/05/12 開講中止決定 詳細後日周知 対面(オンライン併用型)
9460001	農業科教育法概論	1	2.0	1 - 4				農業教育の発達と歴史をふまえて,農業科教育の目的・教育課程・学習指導の理論と方法・評価法・高等学校学習指導要領・高等学校農業教育の現状と課題などを概説する。	西暦偶数年度開講。 2026年度開講せず。 対面 原則隔年開講(開講の有無については別途問合せ必要)
9461001	農業科指導法	1	2.0	1 - 4				高等学校教育の農林業,環境,食をめぐる指導法について,その手法・対象・主体など多様な観点から解説し,教育現場での農業科指導法の実際を習得させる。	西暦偶数年度開講。 2026年度開講せず。 対面 原則隔年開講(開講の有無については別途問合せ必要)
9462001	技術科教育法概論	1	2.0	1 - 4				中学校技術・家庭科における技術教育を,一般教養ならびに普通教育として位置づけ,その目的,歴史的変遷,今日の現状等について概略を述べ考察する。プロジェクト法を中心とする技術科固有の指導法にも触れる。	技術科指導法I,IIと合わせて履修すること。 西暦奇数年度開講。 対面 原則隔年開講(開講の有無については別途問合せ必要)
9463001	技術科指導法I	1	3.0	1 - 4				学習指導要領に沿って,技術・家庭科(技術分野)の指導内容を解説する。年間指導計画や学習指導案の作成を通して,社会に必要な技術教育の内容を考察する。学校運営の立場から,家庭分野や他教科との連携にも触れる。	技術科教育法概論を履修した後に履修することが望ましい。 西暦奇数年度開講。 対面 原則隔年開講(開講の有無については別途問合せ必要)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
9464001	技術科指導法II	1	3.0	1 - 4				技術・家庭科(技術分野)の指導に用いられる教材・教具を紹介し,学習題材の概念とその組み立て方を研究する。一定の条件下で,新しい題材の考案も試みる。さらに必要な施設・設備を概説し,学習環境の整え方を示す。	技術科指導法Iを履修した後に履修することが望ましい。 西暦奇数年度開講。 対面 原則隔年開講(開講の有無については別途問合せ必要)
9465001	工業科指導法	1	4.0	3	通年	応談		工業教育の歴史的背景と変遷,ならびに,教育課程・学習指導・評価・教育機器・施設と設備・教師の職務等,工業科教育の特質的事情について,その内容・方法・問題点等を概説する。	教職免許「工業」を取得する学生に限る
9466001	情報科指導法I	1	2.0	2・3				高等学校の情報科教育で必要とされる基本的な知識や技術について習得し理解を深めることを目的とする。情報科の目標や指導理論について講義を行い,教材開発,指導法,学習の評価方法等の技術について解説する。	原則として対面授業 西暦奇数年度開講。
9467001	情報科指導法II	1	2.0	2・3	夏季休業中	集中	稲垣 俊介,高橋 康博	高等学校の情報科教育で必要とされる基本的な知識や技術について習得し理解を深めることを目的とする。情報科指導法Iに引き続き,教材開発,指導法,学習の評価方法等について計算機の有効な活用方法,計算機環境の運用・管理などについて習得する。	原則として対面授業。 西暦偶数年度開講。
9468101	保健体育科教育法概論I	1	1.0	2	秋AB	木1	片岡 千恵	保健科教育の目標,内容,方法および評価について,保健授業の課題と関連づけながら講述する。	オンライン(オンデマンド型)
9469101	保健体育科教育法概論II	1	1.0	2	秋C	火1,2	三田部 勇	体育科教育を取り巻く制度的条件、学習指導要領に示されている体育の目標と指導内容、内容の取扱いについて理解することができる。	対面(オンライン併用型)
9470001	保健体育科教育法概論III	1	1.0	3	春AB	金2	長谷川 悦示	現実の学習指導における課題について論述すると共に,研究的な立場からアプローチの方法について述べる。	対面(オンライン併用型)
9473001	美術科教育法概論I	1	1.0	2・3	春C	集中	市川 寛也	美術科教育における歴史,目的,内容,方法について概説する。	2020年度以前入学者対象。 実務経験教員 対面
9474001	美術科教育法概論II	1	1.0	2・3	秋C	集中	渡邉 美香	美術科教育の役割や今日的課題について概説する。	2020年度以前入学者対象。 実務経験教員 対面
9475001	美術科指導法I	1	1.0	2・3	夏季休業中	集中	箕輪 佳奈恵,直江 俊雄	美術科教育における学習指導と教材開発のための基礎的な観点や方法について概説する。	対面
9476001	美術科指導法II	1	1.0	2・3	春AB	月6	吉田 奈穂子	美術科教育における諸種の指導法の理論と適用について学ぶ。	実務経験教員 対面
9477001	美術科指導法演習I	1	1.0	2・3	春C	月5,6	直江 俊雄	美術科教育における指導計画の立案,教材作成,指導の実際,評価について演習を通して学ぶ。	実務経験教員 対面
9478001	美術科指導法演習II	1	1.0	2・3	秋B	集中	石﨑 和宏	中学校美術科・高等学校芸術科(美術)における学習指導と教材開発のための基礎的な観点や方法について検討します。特に、受講者自身の学習経験をふり返りながら美術教育に対する問題意識を高め、その問題意識に関連させて美術の教材開発の視点をグループで検討し、授業の導入で活用する資料やツールを作成し、模擬実践します。	実務経験教員 対面
9478111	造形教育論I	1	1.0	2 - 4	春AB	木2	箕輪 佳奈恵,直江 俊雄	美術教育と多様な文化との関わりについて,実践的・体験的な活動を通して学ぶ。	実務経験教員 対面
9478121	造形教育論II	1	1.0	2 - 4	秋AB	木2	直江 俊雄,水野 裕史,宮坂 慎司	芸術による教育について考える。	実務経験教員 対面
9479001	工芸科教育法概論I	1	1.0	2・3	秋B	集中	松島 さくら子	工芸科教育における歴史,目的,内容,方法について概説する。	2020年度以前入学者対象。 実務経験教員 対面
9480001	工芸科教育法概論II	1	1.0	2・3	秋A	集中	内田 裕子	工芸科教育における学習指導の実際について概説する。	2020年度以前入学者対象。 実務経験教員 対面
9481001	工芸科指導法	1	1.0	2・3				高等学校芸術科工芸における学習指導と教材開発のための基礎的な観点や方法について、表現領域と鑑賞領域の両面から検討する。	西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 実務経験教員 対面
9482001	工芸科指導法演習	1	1.0	2・3	通年	随時	箕輪 佳奈恵,直江 俊雄	高等学校芸術科工芸における学習指導の基礎となる理論と方法をもとに演習を行う。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
9483301	書道科教育論I	1	1.0	3	春AB	水1	菅野 智明	高等学校の書教育について、その指導方法を講述する。	実務経験教員 対面
9483401	書道科教育論II	1	1.0	3	秋AB	水1	菅野 智明	高等学校の書教育について、その指導方法を講述する。	実務経験教員 対面
9484101	書道科教育法特講I	1	1.0	3				高等学校の書教育について、その実践的な能力を身につけることを講述する。	西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
9484201	書道科教育法特講II	1	1.0	3	春C	集中	菅野 智明	高等学校の書教育について、その実践的な能力を身につけることを講述する。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
9485001	体育理論の授業づくり	1	1.0	3	秋C	火4,5	宮崎 明世	体育科理論の個別の教科内容領域に即して、体育理論の授業づくりの方法について理解する。	対面(オンライン併用型)
9486001	アダプテッド体育授業理論・実習	1	1.0	3	通年	随時	齊藤 まゆみ,澤江 幸則	特別支援教育諸学校の体育指導の実際を知り、その指導法について学び、指導計画の立案をする。	体育専門学群生3年次以上に限る。5月にオリエンテーションと希望調査を実施するので春ABで履修申請をしておくこと。受け入れ先ごとに日程が異なる。科目等履修生については、体育専門学群卒業生のみ履修可。 対面
9487001	体育授業理論・実習I	1	1.0	3	春AB	火5	長谷川 悦示,宮崎 明世,三田部 勇, 國川 聖子	体育授業づくりのための基礎的知識を得るとともに、教材づくり、指導計画づくり等の実習を通して実践的な能力を習得する。	教育実習参加を希望するものは、実習前に必ず履修するようにしてください。 対面 オンライン(同時双方向型) 対面またはオンライン(同時双方向型)
9487101	体育授業理論・実習I	1	1.0	3	秋AB	火5	長谷川 悦示,宮崎 明世,三田部 勇, 國川 聖子	体育授業づくりのための基礎的知識を得るとともに、教材づくり、指導計画づくり等の実習を通して実践的な能力を習得する。	対面 オンライン(同時双方向型) 対面またはオンライン(同時双方向型)
9488001	体育授業理論・実習II	1	1.0	3	秋AB	火5	長谷川 悦示,宮崎 明世,三田部 勇, 國川 聖子	指導計画や学習資料を作成するとともに、模擬授業及び授業分析の実践を通してよい体育授業を実現するための実践的な能力を習得する。	体育授業理論・実習Iの単位を修得済みであること。 対面 オンライン(同時双方向型) 対面またはオンライン(同時双方向型)
9489001	体育授業理論・実習III	1	1.0	3	秋AB	随時	宮崎 明世,長谷川 悦示	大学の体育実技の指導補助、観察記録などを通して体育授業の実際を経験することによって、生きた実践的な能力を身につける。	体育授業理論・実習I及びIIの単位を修得済みであること。年度当初にガイダンスを実施するので、履修希望者は必ず参加すること。 対面 授業形態:対面型
9490001	保健授業理論・実習	1	1.0	3	夏季休業中	集中	野津 有司,片岡 千恵	保健科教育の授業づくりに必要な基礎的な知識や考え方を解説する。また、教材づくりや指導計画づくり等の実習を行う。	保健体育科教育法概論Iの単位修得者に限る。 対面
9491001	美術科・工芸科教育法I	1	1.0	2・3	春C	集中	市川 寛也	中学校美術科における工芸ならびに高等学校芸術科における工芸の指導法の理論と適用について学ぶ。	2021年度以降入学者対象。 実務経験教員 対面
9492001	美術科・工芸科教育法II	1	1.0	2・3	秋C	集中	渡邉 美香	中学校美術科における工芸ならびに高等学校芸術科における工芸の役割や今日的課題について学ぶ。	2021年度以降入学者対象。 実務経験教員 対面
9493001	美術科・工芸科教育法III	1	1.0	2・3	秋B	集中	松島 さくら子,石崎 和宏	中学校美術科における工芸ならびに高等学校芸術科における工芸の歴史,目的,内容,方法について学ぶ。	2021年度以降入学者対象。 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
9494001	美術科・工芸科教育法IV	1	1.0	2・3	秋A	集中	内田 裕子	中学校美術科における工芸ならびに高等学校芸術科における工芸の学習指導の実際について学ぶ。	2021年度以降入学者対象。 実務経験教員 対面

教育実習

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
9501003	教育実習(国語)	3	5.0	4	春A 春B 春C 秋A 秋B 夏季休業中	集中	三田部 勇	教育実習を行う。 注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。	
9502003	教育実習(英語)	3	5.0	4	春A 春B 春C 秋A 秋B 夏季休業中	集中	三田部 勇	教育実習を行う。 注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。	
9506003	教育実習(社会)	3	5.0	4	春A 春B 春C 秋A 秋B 夏季休業中	集中	三田部 勇	教育実習を行う。 注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。	
9507003	教育実習(地理歴史)	3	5.0	4	春A 春B 春C 秋A 秋B 夏季休業中	集中	三田部 勇	教育実習を行う。 注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。	
9508003	教育実習(公民)	3	5.0	4	春A 春B 春C 秋A 秋B 夏季休業中	集中	三田部 勇	教育実習を行う。 注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
9509003	教育実習(数学)	3	5.0	4	春A 春B 春C 秋A 秋B 夏季休業中	集中	三田部 勇	教育実習を行う。 注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。	
9510003	教育実習(理科)	3	5.0	4	春A 春B 春C 秋A 秋B 夏季休業中	集中	三田部 勇	教育実習を行う。 注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。	
9511003	教育実習(福祉)	3	5.0	4	春A 春B 春C 秋A 秋B 夏季休業中	集中	三田部 勇	教育実習を行う。 注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。	
9512003	教育実習(農業)	3	5.0	4	春A 春B 春C 秋A 秋B 夏季休業中	集中	三田部 勇	教育実習を行う。 注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。	
9513003	教育実習(技術)	3	5.0	4	春A 春B 春C 秋A 秋B 夏季休業中	集中	三田部 勇	教育実習を行う。 注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。	
9514003	教育実習(工業)	3	5.0	4	春A 春B 春C 秋A 秋B 夏季休業中	集中	三田部 勇	教育実習を行う。 注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。	
9515003	教育実習(情報)	3	5.0	4	春A 春B 春C 秋A 秋B 夏季休業中	集中	三田部 勇	教育実習を行う。 注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
9516003	教育実習(保健体育)	3	5.0	4	春A 春B 春C 秋A 秋B 夏季休業中	集中	三田部 勇	教育実習を行う。 注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。	
9517003	教育実習(美術)	3	5.0	4	春A 春B 春C 秋A 秋B 夏季休業中	集中	三田部 勇	教育実習を行う。 注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。	
9518003	教育実習(工芸)	3	5.0	4	春A 春B 春C 秋A 秋B 夏季休業中	集中	三田部 勇	教育実習を行う。 注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。	
9519003	教育実習(書道)	3	5.0	4	春A 春B 春C 秋A 秋B 夏季休業中	集中	三田部 勇	教育実習を行う。 注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。	

養護実習(2012-)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
9522003	養護実習	3	5.0	4	春A 春B 春C 秋A 秋B 夏季休業中	集中	増田 有葉,落合 亮太	ヘルスプロモーションの視点から児童生徒の心身の発達課題および健康実態を把握し、学校保健活動と養護教諭の役割を理解する。 注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。	看護学類養護教諭過程選択履修生に限る

教職実践演習

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
9806001	教職実践演習(中・高)	1	2.0	4	秋A 秋B 夏季休業中	集中	三田部 勇	講義・演習並びに学校現場の見学・訪問を通して、教職課程の他の科目の履修や教職課程外での様々な活動を通じて身につけた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されているのかを、大学が自らの養成する教員像や到達目標等に照らして最終的に確認するとともに必要な知、技能を改善することとする。	教育職員免許状(中学校・高等学校)取得希望者で、教育実習を含む教職に関する科目をすべて履修したものに限る。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
9806011	教職実践演習(養護教諭)	1	2.0	4	秋A 秋B 夏季休業中	集中	三田部 勇	講義・演習並びに学校現場の見学・訪問を通して、教職課程の他の科目の履修や教職課程外での様々な活動を通じて身につけた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されているのかを、大学が自らの養成する教員像や到達目標等に照らして最終的に確認するとともに必要な知、技能を改善することとする。	教育職員免許状(養護教諭)取得希望者で、教育実習を含む教職に関する科目をすべて履修したものに限る。 対面

その他

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
9004001	介護等体験の意義	1	1.0	1	春季休業中	集中	三田部 勇	介護等体験の制度と趣旨及び目的を概説する。体験の実施先である特別支援学校及び社会福祉施設における教育や介助・介護の実際と守るべきマナー等について概説する。	【1年次生及び介護等体験事前指導未受講者対象】 介護等の体験を行なうための事前指導の科目(小学校・中学校の免許状を取得しようとする者は必修) 平成30年度以前入学者の「教科又は教職に関する科目」に対応し、平成31年度以降入学者の「大学が独自に設定する科目」に対応する 対面

その他(職業指導)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
9001011	職業指導	1	2.0	1 - 4				この授業は農業や工業の免許取得に必要な科目であり、教職教養を高め教員の資質向上を目指すものである。しかしながら、社会に出るということ、親や指導者になるということ、これからどう生きるかということからも一般成人として必要な知識などについて学びます。 また、一方的な講義だけでなくゼミ形式やディスカッション、プレゼンテーションなどの参加型授業を目指しています。	免許教科「農業」「工業」に対応する。 西暦偶数年度開講。 2026年度開講せず。 対面 原則隔年開講(開講の有無については別途問合せが必要)

その他(情報と職業)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
9005001	情報と職業	1	1.0	2 - 4	秋AB	月2	水野 一徳,小野 肇	情報化の発達に伴い,様々な事が社会に影響をおよぼしている。これらの影響を多角的に捕え,情報産業の現状を把握すると共に職業としての情報について考える。また情報分野における職業観及び職業倫理等についても言及する。	免許教科「情報」に対応する。 西暦偶数年度開講。 対面

開設母体

要件
博物館

博物館

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
9901003	博物館実習	3	3.0	3・4	通年	随時	滝沢 誠,上松 佐知子,寺門 臨太郎,水野 裕史,武田 一文	全国の博物館(人文系、自然系、美術系博物館)および学内において館務に関する実習を行う。学内で実施する事前・事後指導などを含む。	博物館実習以外の学芸員資格取得に必要な科目をすべて履修済みであること。 実務経験教員 対面
9901041	博物館資料保存論I	1	1.0	2・3	春C	金5,6	松井 敏也	美術館における作品保存のために、展示・収蔵環境を科学的に捉え、作品を良好な状態で保存していくための知識の習得をめざす。	実務経験教員 対面
9901051	博物館資料保存論II	1	1.0	2・3	秋AB	金5	谷口 陽子	博物館における資料保存のために、保存・展示環境を科学的に捉え、資料を良好な状態で保存していくための知識の習得をめざす。	実務経験教員 対面
9901061	博物館展示論I	1	1.0	2・3	春AB	金5	マクラウド ギャリー ロデリック	美術館における展示の歴史、展示メディア、展示による教育活動、展示の諸形態などについて、理論的および実践的な知識や技術を獲得し、美術館の作品展示機能についての基礎的な能力を養う。	英語で授業。 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
9901071	博物館展示論II	1	1.0	2・3	春AB 春C	金6 集中	栗山 雄揮	博物館展示の多様な形態の理論的背景、展示技術や展示方法についての実践的な知識、技術について解説する。博物館の展示機能について、基本的な意味とそれぞれの技術に関する基礎知識の習得を目指すことで、博物館展示の果たす社会的役割までを視野に入れる。	春学期ABに実施する通常授業(5回)と春学期Cに実施する集中授業をすべて受講すること。 実務経験教員 対面 オンライン(オンデマンド型)
9901081	博物館情報・メディア基礎論	1	1.0	2・3	秋C	金5,6	上 奈穂美,後藤 理加	a.博物館情報・メディアの役割: 博物館情報の概要や種類をまとめ、メディアの特性を整理する。 b.博物館活動の情報化と活用方法: 博物館の諸活動のデジタル技術の利用状況を概観し、その活用方法について事例をもとに解説する。	実務経験教員 対面(オンライン併用型)
9901091	博物館教育基礎論	1	1.0	2・3	秋AB	金6	上 奈穂美	本講義では、生涯学習期間としての博物館の役割を理解し、博物館の教育機能についての基礎的知識の修得をめざす。博物館の教育機能に焦点をあて、理念や意義、歴史、実態や実践を紹介する。	実務経験教員 対面(オンライン併用型)
9901111	博物館学I	1	2.0	2・3	春C 春ABC	集中 月2	滝沢 誠,木塚 久仁子	人文系博物館についての概論、経営論、資料論の講義をおこなう。概論では、博物館法にふれたのち、人文系博物館の目的と機能、歴史と現状などについて解説する。経営論では、人文系博物館に関する施設・設備や組織、行政上の仕組み、地域社会との連携などについて解説する。資料論では、人文系博物館が取り扱う資料の種類と性格、資料の収集・整理・保管・活用などについて解説する。	学芸員資格取得のためには、博物館学I・II・IIIをすべて履修すること。月曜日2時限目の通常授業と春学期Cに実施する集中授業をすべて受講すること。 実務経験教員 対面
9901121	博物館学II	1	2.0	2・3	秋AB	月2,3	上松 佐知子,八畑 謙介,出川 洋介	自然系博物館に関する概説、博物館経営論、博物館資料論に関する講義をおこなう。	学芸員資格取得のためには、博物館学I・II・IIIをすべて履修すること。 対面
9901131	博物館学III	1	2.0	2・3	春C 春ABC	集中 月3	水野 裕史	芸術系博物館に関する概説,博物館経営論,博物館資料論に関する講義を行う。	学芸員資格取得のためには、博物館学I・II・IIIをすべて履修すること。月曜日3時限目の通常授業と春学期Cに実施する集中授業をあわせて受講すること。 実務経験教員 対面

Ⅵ　日本事情等科目

外国人留学生及び帰国生徒を対象に、日本の歴史や文化、自然などを理解するための助けとなる「日本事情等科目」を自由科目（特設）として開設します。帰国生徒でない日本人学生は履修できません。
自由科目（特設）の卒業に必要な履修科目としての扱いは、所属する学類・専門学群によって異なりますので、「履修要覧」を確認してください。

自由科目（特設）

日本事情等科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
8049911	日本の歴史	1	1.0	1・2	春季休業中	集中	今井 勇	日本の歴史について、重要なトピックを取り上げ、学修する。	(人文・文化学群開設)履修は，留学生および外国滞在期間5年以上の帰国生徒に限る。令和元年度以前に1B26511の単位を既に修得している学生は履修不可。【受講制限数40名】 オンライン(同時双方向型) 詳細はmanabaやシラバスを参照のこと。
8049921	日本の生活文化	1	1.0	1・2	秋B	集中	豊田 紘子	歴史地理学の視点から、近世~近現代の日本におけるさまざまなマチ(都市)・ムラ(村落)の景観と生活およびその変容について検討する。	【人文・文化学群開設】外国人留学生及び帰国生徒に限る。 対面
8149911	日本の自然	1	1.0	1・2	春AB	水5	角替 敏昭	ユーラシア大陸の東端に位置する日本列島およびその周辺地域でみられる地質学的現象の特徴とその成因について講義する。特に46億年の地球史の中で、日本がどのように位置づけられるのか学修する。また、筑波山周辺など身近な地域の変遷についても紹介する。	(地球学類開設)外国人留学生及び帰国生徒に限る。 対面

以下の科目は、履修対象者の制限はありませんが、日本事情について学ぶことができる科目です。
ただし、専門導入科目の履修には事前登録が必要ですので、留意してください（詳細は『「事前登録」案内』参照）。
卒業に必要な履修科目としての扱いは、所属する学類・専門学群によって異なりますので、「履修要覧」を確認してください。

各学類・学位プログラム開設の専門・専門基礎科目（再掲）

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG16051	工学システム概論	1	1.0	1	春B	NT	磯部 大吾郎	工学システムの現状について幾つかの分野を選んで概説し、それ等を通して工学システムにおいて必要とされる基本的な考え方について学ぶ。	2019年度、2020年度入学の工学システム学類生で、工学システム概論(FG10641)の単位未修得の者は、この科目を履修すること。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
FJ11001	Engineering Ethics	1	1.0	4	FallAB	Wed1	Hideki Kakeya	This course discusses historical examples and up-to-date issues related to engineering ethics. In the first half of the course, we mainly deal with preparedness, mitigation, and response for catastrophic disasters such as earthquakes and tsunami from an engineering point of view. In the second half, we mainly deal with genetic engineering technologies that can cause worldwide pandemic, such as gain-of-function research that artificially enhances transmissibility and pathogenicity of pathogens like bacteria and viruses.	Lectures are conducted in English. face-to-face
FJ11111	Introduction to Interdisciplinary Engineering II	1	1.0	1	SprAB	Tue1	Kentaro Shiraki	This course discusses issues relevant to Engineering Sciences and aims to help students grasp general concepts involved in this field of study.	英語で授業 Lectures are conducted in English. face-to-face interdepartmental course

令和８年度固定時間割　人文学類

時限		月 春A	月 春B	月 春C	月 秋A	月 秋B	月 秋C	火 春A	火 春B	火 春C	火 秋A	火 秋B	火 秋C
1	１年												
	２年							総合的な学習の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法		
	３年							生徒指導			生徒指導		生徒指導or教育相談
	４年										教科指導法(国)		
2	１年												
	２年							総合的な学習の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法		
	３年												生徒指導or教育相談
	４年												
3	１年	初修外国語1年次			初修外国語1年次			情報リテラシー	教育史概論★		データサイエンス		こころの発達/学習の心理★
	２年							総合的な学習の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法		
	３年												
	４年												
4	１年	英語1年次			英語1年次			情報リテラシー	教育史概論★		データサイエンス		こころの発達/学習の心理★
	２年										総合的な学習の時間の指導法		特別活動の理論と実践
	３年												
	４年												
5	１年	国語Ⅰ			国語Ⅱ								
	２年						特別活動の理論と実践☆秋C水3とセット	初修外国語2年次			初修外国語2年次		
	３年	進路指導・キャリア教育		教育相談の基礎	進路指導・キャリア教育			教育相談の基礎	生徒指導		教育相談の実際		教育相談の実際
	４年							進路指導・キャリア教育			進路指導・キャリア教育		
6	１年	教職論Ⅰ★			教育の法と制度★								
	２年	道徳教育Ⅰ			道徳教育Ⅱ		特別活動	英語2年次(全学対象)			英語2年次(全学対象)		
	３年	教育課程編成論		教育相談の基礎	教育課程編成論		特別活動の理論と実践☆秋C水3とセット	教育相談の基礎	生徒指導		教育相談の実際		教育相談の実際
	４年							特別支援教育					

時限		水 春A	水 春B	水 春C	水 秋A	水 秋B	水 秋C	木 春A	木 春B	木 春C	木 秋A	木 秋B	木 秋C
1	１年	英語1年次			英語1年次					現代教育と教育理念★			こころの発達/学習の心理★
	２年	教科指導法(英)			教科指導法(英)								
	３年	教科指導法(国・社・地・公)		教科指導法(社・地・公)	教科指導法(国・社・地・公)		教科指導法(国・社・地・公)						
	４年												
2	１年	初修外国語1年次			初修外国語1年次					現代教育と教育理念★	学校経営概説★		こころの発達/学習の心理★
	２年	道徳教育Ⅰ・Ⅱ			道徳教育Ⅰ・Ⅱ			体育			体育		
	３年	教科指導法(英)			教科指導法(英)								
	４年	教科指導法(国・社・地・公)		教科指導法(社・地・公)	教科指導法(国・社・地・公)		教科指導法(国・社・地・公)						
3	１年												
	２年	英語2年次(全学対象)			英語2年次(全学対象)								
	３年	道徳教育Ⅰ			道徳教育Ⅱ		特別活動の理論と実践☆秋C月6とセット						
	４年												
4	１年												
	２年	英語2年次(全学対象)			英語2年次(全学対象)						哲学通論BⅡ		
	３年												
	４年												
5	１年	学問への誘い											
	２年							哲学通論CⅠ					
	３年				教育課程編成論								
	４年												
6	１年	学問への誘い											
	２年												
	３年	教育課程編成論			教育課程編成論			教育の方法と技術			教科指導法(地)		
	４年												

時限		金 春A	金 春B	金 春C	金 秋A	金 秋B	金 秋C
1	１年	体育			体育		
	２年	総合的な学習の時間の指導法					
	３年						
	４年						
2	１年	ファーストイヤーセミナー			教職論Ⅱ★		
	２年	総合的な学習の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法
	３年						
	４年						
3	１年						
	２年						総合的な学習の時間の指導法
	３年						
	４年						
4	１年						
	２年						
	３年						
	４年						
5	１年						
	２年						
	３年			教育の方法と技術			
	４年						
6	１年						
	２年						
	３年			教育の方法と技術	特別支援教育		
	４年						

※「教職に関する科目」のうち、★印を付した科目は対象学類が指定された科目（その他はすべて全学対象）。　※　憲法３年次集中

※「教科指導法」の教科に関する略式表記は次のとおり。国＝国語、英＝英語、社＝社会、地＝地歴、公＝公民。

令和８年度固定時間割　比較文化学類

時限		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年													初修外国語1年次			初修外国語1年次			情報リテラシー		現代教育と教育理念	データサイエンス		こころの発達/学習の心理	体育			体育		
	２年							総合的な学習の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法			教科指導法（英）			教科指導法（英）									総合的な学習の時間の指導法					
	３年							生徒指導			生徒指導 教科指導法（国）			教科指導法（国・社他）		教科指導法（社他）	教科指導法（国・社他）		教科指導法（国・社他）												
	４年																														
2	１年													英語1年次			英語1年次			情報リテラシー		現代教育と教育理念	データサイエンス		こころの発達/学習の心理	ファーストイヤーセミナー			教職論Ⅱ		
	２年							総合的な学習の時間の指導法						道徳教育ⅠⅡ 教科指導法（英）			道徳教育ⅠⅡ 教科指導法（英）			体育			体育			総合的な学習の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法
	３年													教科指導法（国・社他）		教科指導法（社他）	教科指導法（国・社他）		教科指導法（国・社他）												
	４年													教科指導法（英）			教科指導法（英）														
3	１年	英語1年次			英語1年次					教育史概論			こころの発達／学習の心理																		
	２年							総合的な学習の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法			道徳教育Ⅰ			道徳教育Ⅱ		特別活動の理論と実践☆											総合的な学習の時間の指導法
	３年																														
	４年																														
4	１年	初修外国語1年次			初修外国語1年次					教育史概論	学校経営概説		こころの発達／学習の心理																		
	２年										総合的な学習の時間の指導法		特別活動の理論と実践										哲学通論BⅡ（全学対象）					憲法		
	３年																														
	４年																														
5	１年	国語Ⅰ			国語Ⅱ									学問への誘い																	
	２年						特別活動の理論と実践	初修外国語2年次			初修外国語2年次		特別活動の理論と実践							哲学通論CⅠ（全学対象）									憲法		
	３年			教育相談の基礎	進路指導・キャリア教育			教育相談の基礎 進路指導・キャリア教育		生徒指導	教育相談の実際 進路指導・キャリア教育		教育相談の基礎				教育課程編成論								教育の方法と技術						
	４年																														
6	１年	教職論Ⅰ			教育の法と制度		特別活動の理論と実践							学問への誘い																	
	２年	道徳教育Ⅰ			道徳教育Ⅱ		特別活動の理論と実践☆																								
	３年	教育課程編成論		教育相談の基礎	教育課程編成論			教育相談の基礎 特別支援教育		生徒指導	教育相談の実際		教育相談の基礎	教育課程編成論			教育課程編成論			教育の方法と技術			教科指導法（地歴）					教育の方法と技術	特別支援教育		
	４年																														

＊２年次以上対象の教職に関する科目・哲学通論は、目安としての半固定時間割である。
＊教職に関する科目のうち、☆を付した特別活動を履修する場合には秋C月6・水3両方を履修しなければならない。また、教育実習・教育実践演習などの科目は集中授業等、枠外で別途開設するため、年度ごとの開設授業科目一覧・電子掲示板等で必ず確認すること。
＊教科指導法のうち「社他」とは、「社会・地歴・公民」を示す。

令和８年度固定時間割　日本語・日本文化学類

曜日 / 時限		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年													初修外国語1年次			初修外国語1年次			情報リテラシー		現代教育と教育理念	データサイエンス		こころの発達	体育			体育		
	２年																														
	３年										教科指導法			教科指導法		教科指導法	教科指導法		教科指導法												
	４年																														
2	１年													英語1年次			英語1年次			情報リテラシー		現代教育と教育理念	データサイエンス		こころの発達	ファーストイヤーセミナー			教職論Ⅱ		
	２年																			体育			体育								
	３年													教科指導法		教科指導法	教科指導法		教科指導法												
	４年																														
3	１年	英語1年次			英語1年次					教育史概論			学習の心理																		
	２年																														
	３年	体育			体育																										
	４年																														
4	１年	初修外国語1年次			初修外国語1年次					教育史概論	学校経営概説		学習の心理																		
	２年																						哲学通論BⅡ（全学対象）						憲法		
	３年																														
	４年																														
5	１年	国語Ⅰ			国語Ⅱ									学問への誘い																	
	２年							初修外国語2年次			初修外国語2年次									哲学通論CⅠ（全学対象）									憲法		
	３年																														
	４年																														
6	１年	教職論Ⅰ			教育の法と制度									学問への誘い																	
	２年																														
	３年																						教科指導法								
	４年																														

＊「哲学通論AI～DII」は2019年度以降入学者においては教員免許状取得のための必修科目には含まれない。

令和８年度固定時間割　社会学類

時限	曜日	月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年													教職論Ⅰ			教職論Ⅱ			体育			体育			英語1年次			英語1年次		
	２年							総合の時間			総合の時間															総合の時間					
	３年							生徒指導or教育相談			生徒指導or教育相談		生徒指導or教育相談	教科指導法		教科指導法	教科指導法		教科指導法												
	４年																														
2	１年																			ファーストイヤーセミナー			学校経営概説			初修外国語1年次			初修外国語1年次		
	２年							総合の時間						道徳教育			道徳教育			総合の時間			総合の時間			体育			体育		総合の時間
	３年												生徒指導or教育相談	教科指導法		教科指導法	教科指導法		教科指導法												
	４年																														
3	１年			現代教育と教育理念			ここの発達	初修外国語1年次			初修外国語1年次																				
	２年							総合の時間			総合の時間			道徳教育			道徳教育		特別活動											総合の時間
	３年																														
	４年																														
4	１年			現代教育と教育理念	教育の法と制度		ここの発達	英語1年次			英語1年次																				
	２年										総合の時間		特別活動										哲学通論BⅡ（全学対象）			初修外国語2年次			初修外国語2年次		
	３年																														
	４年																														
5	１年	情報リテラシー		教育史概論	データサイエンス		学習の心理							学問への誘い																	
	２年						特別活動				（初修２年次）									哲学通論CI											
	３年	進路指導			進路指導			生徒指導or教育相談 進路指導		生徒指導or教育相談	生徒指導or教育相談 進路指導		生徒指導or教育相談				教育課程編成論															
	４年																														
6	１年	情報リテラシー		教育史概論	データサイエンス		学習の心理							学問への誘い																	
	２年	道徳教育			道徳教育		特別活動																								
	３年	教育課程編成論			教育課程編成論			障害児指導法 生徒指導or教育相談		生徒指導or教育相談	生徒指導or教育相談		生徒指導or教育相談	教育課程編成論			教育課程編成論			教育の方法と技術									障害児指導法		
	４年																														

※　憲法は2年次集中

令和８年度固定時間割　国際総合学類

時限		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年													教職論Ⅰ★			教職論Ⅱ★			体育			体育			英語1年次			英語1年次		
	２年							総合的な学習の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法			教科指導法（英）			教科指導法（英）									総合的な学習の時間の指導法					
	３年							生徒指導			生徒指導			教科指導法（社・公）		教科指導法（社・公）	教科指導法（社・公）		教科指導法（社・公）												
	４年																														
2	１年																			ファーストイヤーセミナー			学校経営概説★			初修外国語1年次			初修外国語1年次		
	２年							総合的な学習の時間の指導法						道徳教育			道徳教育			総合的な学習の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法		
	３年													教科指導法（英）			教科指導法（英）														
	４年													教科指導法（社・公）		教科指導法（社・公）	教科指導法（社・公）		教科指導法（社・公）												
3	１年			現代教育と教育理念★			こころの発達★	初修外国語1年次			初修外国語1年次																				
	２年							総合的な学習の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法			道徳教育Ⅰ			道徳教育Ⅱ		特別活動の理論と実践☆	体育			体育								総合的な学習の時間の指導法
	３年																														
	４年																														
4	１年			現代教育と教育理念★	教育の法と制度★		こころの発達★	英語1年次			英語1年次																				
	２年										総合的な学習の時間の指導法		特別活動の理論と実践										哲学通論BⅡ（全学対象）								
	３年																														
	４年																														
5	１年	情報リテラシー		教育史概論★	データサイエンス		学習の心理★							学問への誘い																	
	２年						特別活動の理論と実践						特別活動の理論と実践							哲学通論CI（全学対象）											
	３年			教育相談の基礎	進路指導・キャリア教育			教育相談の基礎or進路指導・キャリア教育		生徒指導	教育相談の実際or進路指導・キャリア教育		生徒指導				教育課程編成論			教科指導法（情）			教科指導法（情）					教育の方法と技術			
	４年																														
6	１年	情報リテラシー		教育史概論★	データサイエンス		学習の心理★							学問への誘い																	
	２年	道徳教育Ⅰ			道徳教育Ⅱ		特別活動の理論と実践 特別活動の理論と実践☆	初修外国語2年次			初修外国語2年次																				
	３年	教育課程編成論		教育相談の基礎	教育課程編成論			特別支援教育or教育相談の基礎		生徒指導	教育相談の実際		生徒指導	教育課程編成論			教育課程編成論			教育の方法と技術or教科指導法（情）			教科指導法（情）					教育の方法と技術	特別支援教育		
	４年																														

※教職に関する科目のうち、★印を付した科目は対象学類が指定された科目（その他はすべて全学対象）。
※教職に関する科目のうち、☆を付した「特別活動の理論と実践」を履修する場合には、秋C月6・水3両方を履修しなければならない。
※教科指導法の教科に関する略式記号は次のとおり。英=英語、社=社会、公=公民、情=情報。
※教育社会概論1年次集中、憲法2年次集中、教育実習・教育実践実習4年次集中。

令和８年度固定時間割　人間学群（教育学類・心理学類・障害科学類）

時限		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年													教職論Ⅰ			教職論Ⅱ			体育			体育			初修外国語1年次			初修外国語1年次		
	２年																														
	３年																														
	４年																														
2	１年																			ファーストイヤーセミナー			学校経営概説			英語1年次			英語1年次		
	２年																														
	３年																														
	４年																														
3	１年	情報リテラシー（演習/講義）		現代教育と教育理念	データサイエンス		こころの発達	英語1年次			英語1年次																				
	２年													体育			体育									初修外国語2年次（全学対象）			初修外国語2年次（全学対象）		
	３年																														
	４年																														
4	１年	情報リテラシー（演習/講義）		現代教育と教育理念	データサイエンス		こころの発達	初修外国語1年次			初修外国語1年次																				
	２年																									英語2年次（全学対象）			英語2年次（全学対象）		
	３年																														
	４年																														
5	１年			教育史概論			学習の心理							学問への誘い																	
	２年																														
	３年																														
	４年																														
6	１年			教育史概論	教育の法と制度		学習の心理							学問への誘い																	
	２年																														
	３年																														
	４年																														

※　憲法2年次集中

令和８年度固定時間割 生物学類

時限		月 春A	月 春B	月 春C	月 秋A	月 秋B	月 秋C	火 春A	火 春B	火 春C	火 秋A	火 秋B	火 秋C	水 春A	水 春B	水 春C	水 秋A	水 秋B	水 秋C	木 春A	木 春B	木 春C	木 秋A	木 秋B	木 秋C	金 春A	金 春B	金 春C	金 秋A	金 秋B	金 秋C
1	１年													情報リテラシー		②教職論Ⅰ	データサイエンス		①現代教育と教育理念	英語1年次			英語1年次					④こころの発達			④学習の心理
	２年							(⑧総合的な学習)			(⑧総合的な学習)									(⑮理科教育概論ⅡA)			(⑮理科教育概論ⅡB)			(⑧総合的な学習)					
	３年							(⑫生徒指導)			(⑫生徒指導)									(⑮理科教育概論ⅡA)			(⑮理科教育概論ⅡB)								
	４年																														
2	１年													情報リテラシー		②教職論Ⅰ	データサイエンス		①現代教育と教育理念	(初修外国語1年次)			(初修外国語1年次)					④こころの発達		②教職論Ⅱ	④学習の心理
	２年	(博物館学Ⅰ)			(博物館学II)			(⑧総合的な学習)						(⑦道徳教育Ⅰ・Ⅱ)			(⑦道徳教育Ⅰ・Ⅱ)			(⑧総合的な学習)			(⑧総合的な学習)			(⑧総合的な学習)			(⑧総合的な学習)		(⑧総合的な学習)
	３年	(博物館学Ⅰ)			(博物館学II)																										
	４年																														
3	１年							体育			体育						クラスセミナー														
	２年	(博物館学Ⅲ)			(博物館学II)			(⑧総合的な学習)			(⑧総合的な学習)			(⑦道徳教育Ⅰ)			(⑦道徳教育Ⅱ)		(⑨特別活動) ☆秋C月6	体育			体育			(初修外国語2年次)			(初修外国語2年次)		
	３年	(博物館学Ⅲ)			(博物館学II)																									(⑧総合的な学習)	
	４年																														
4	１年	①教育史概論			③教育の法と制度			ファーストイヤーセミナー			③学校経営概説																				
	２年										(⑧総合的な学習)	(⑨特別活動)											(哲学通論BⅡ)						(憲法)		
	３年																														
	４年																														
5	１年	(初修外国語1年次)			(初修外国語1年次)									学問への誘い																	
	２年						(⑨特別活動)						(⑨特別活動)							(哲学通論CⅠ)						(博物館展示論Ⅰ)		(博物館資料保存論Ⅰ)	(憲法) (博物館資料保存論Ⅱ)		(博物館情報・メディア基礎論)
	３年			(⑫教育相談の基礎)	(⑭進路指導)			(⑫教育相談の基礎) (⑭進路指導)		(⑫生徒指導)	(⑫教育相談の実際) (⑭進路指導)		(⑫教育相談の実際)				(⑥教育課程編成論)									(博物館展示論Ⅰ)		(博物館資料保存論Ⅰ) ⑩教育の方法と技術	(博物館資料保存論Ⅱ)		(博物館情報・メディア基礎論)
	４年																														
6	１年	英語1年次			英語1年次									学問への誘い																	
	２年	(⑦道徳教育Ⅰ)			(⑦道徳教育Ⅱ)		(⑨特別活動) (⑨特別活動) ☆秋C水3																			(博物館展示論Ⅱ)		(博物館資料保存論Ⅰ)	(博物館教育基礎論)		(博物館情報・メディア基礎論)
	３年	(⑥教育課程編成論)	(⑫教育相談の基礎)		(⑥教育課程編成論)			(⑤特別支援教育) (⑫教育相談の基礎)		(⑫生徒指導)	(⑫教育相談の実際)		(⑫教育相談の実際)	(⑥教育課程編成論)			(⑥教育課程編成論)			⑩教育の方法と技術						(博物館展示論Ⅱ)		(博物館資料保存論Ⅰ) ⑩教育の方法と技術	(⑤特別支援教育) (博物館教育基礎論)		(博物館情報・メディア基礎論)
	４年																														

憲法は夏期集中もあり

令和８年度固定時間割 生物資源学類

時限		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年													教職論Ⅰ			教職論Ⅱ			体育			体育			英語1年次			英語1年次		
	２年							⑨総合の時間			⑨総合の時間									⑮【理科】生物，化学			⑮【理科】生物，化学								
	３年							⑫生徒指導or⑬教育相談			⑫生徒指導or⑬教育相談		⑫生徒指導or⑬教育相談							⑮【数学・理科】資源，数学，物理，社工，情報，ｴｼｽ，応理			⑮【数学・理科】資源，数学，物理，社工，情報，ｴｼｽ，応理								
	４年																														
2	１年																国語Ⅰ			ファーストイヤーセミナー			学校経営概説			初修外国語1年次			初修外国語1年次		
	２年							⑨総合の時間												⑨総合の時間			⑨総合の時間			体育			体育		
	３年	全学（博物館学Ⅰ）			全学（博物館学Ⅱ）								⑫生徒指導or⑬教育相談																			
	４年																														
3	１年			現代教育と教育理念			こころの発達	初修外国語1年次			初修外国語1年次																				
	２年							⑨総合の時間			⑨総合の時間			⑧道徳教育			⑧道徳教育														
	３年	全学（博物館学Ⅲ）			全学（博物館学Ⅱ）																										
		体育			体育																										
	４年																														
4	１年			現代教育と教育理念	教育の法と制度		こころの発達	英語1年次			英語1年次																				
	２年										⑨総合の時間		⑩特別活動										哲学通論BⅡ			初修外国語2年次			憲法 初修外国語2年次		
	３年																														
	４年																														
5	１年	情報リテラシー		教育史概論	データサイエンス		学習の心理							学問への誘い																	
	２年						⑩特別活動						⑩特別活動							哲学通論C1						全学（博物館展示論Ⅰ）	全学（博物館資料保存論Ⅰ）	憲法 全学（博物館資料保存論Ⅱ）	全学（博物館情報・メディア基礎論）		
	３年	⑭進路指導			⑭進路指導			⑭進路指導			⑫生徒指導or⑬教育相談		⑫生徒指導or⑬教育相談													全学（博物館展示論Ⅰ）	全学（博物館資料保存論Ⅰ）	全学（博物館資料保存論Ⅱ）	全学（博物館情報・メディア基礎論）		
	４年																														
6	１年	情報リテラシー		教育史概論	データサイエンス		学習の心理							学問への誘い																	
	２年						⑩特別活動																			全学（博物館展示論Ⅱ）	全学（博物館資料保存論Ⅰ）	全学（博物館教育基礎論）	全学（博物館情報・メディア基礎論）		
	３年							⑤障害児指導法	⑫生徒指導or⑬教育相談		⑫生徒指導or⑬教育相談		⑫生徒指導or⑬教育相談	⑥教育課程編成論			⑥教育課程編成論			⑩教育の方法と技術						全学（博物館展示論Ⅱ）	全学（博物館資料保存論Ⅰ）	⑤障害児指導法 全学（博物館教育基礎論）	全学（博物館情報・メディア基礎論）		
	４年																														

令和８年度固定時間割 地球学類

曜日 / 時限		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年													情報リテラシー		教職論Ⅰ	データサイエンス		現代教育と教育理念	英語1年次			英語1年次					こころの発達			学習の心理
	２年																														
	３年													教科指導法			教科指導法		教科指導法	教科指導法		教科指導法	教科指導法		教科指導法						
	４年																														
2	１年													情報情報リテラシー		教職論Ⅰ	データサイエンス		現代教育と教育理念	初修外国語1年次			初修外国語1年次					こころの発達		教職論Ⅱ		学習の心理
	２年													道徳教育Ⅰ			道徳教育Ⅱ														
	３年													教育指導法			教科指導法		教科指導法												
	４年																														
3	１年							体育			体育																				
	２年							憲法												体育			体育								
	３年																														
	４年																														
4	１年	教育史概論			教育の法と制度			ファーストイヤーセミナー			学校経営概説																					
	２年							憲法					特別活動										哲学通論BⅡ（全学対象）								
	３年																														
	４年																														
5	１年	初修外国語1年次			初修外国語1年次									学問への誘い																	
	２年							英語2年次（全学対象）			英語2年次（全学対象）		特別活動							哲学通論CⅠ（全学対象）											
	３年							生徒指導・教育相談（1班）		生徒指導・教育相談（2班）	生徒指導・教育相談（1班）		生徒指導・教育相談（1班）																			
	４年																														
6	１年	英語1年次			英語1年次									学問への誘い																	
	２年							初修外国語2年次			初修外国語2年次																				
	３年							生徒指導・教育相談（2班）		生徒指導・教育相談（2班）	生徒指導・教育相談（2班）		生徒指導・教育相談（1班）				教育課程編成論			教育の方法と技術			教科指導法						障害児指導法		
	４年																														

令和８年度固定時間割 数学類

時限		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年													情報リテラシー		教職論Ⅰ	データサイエンス		現代教育と教育理念	英語1年次			英語1年次					こころの発達			学習の心理
	２年																														
	３年																			教科指導法【数学・理科】		教科指導法【数学】	教科指導法【数学・理科】		教科指導法【数学】						
	４年																														
2	１年													情報リテラシー		教職論Ⅰ	データサイエンス		現代教育と教育理念	初修外国語1年次			初修外国語1年次					こころの発達		教職論Ⅱ	学習の心理
	２年													道徳教育Ⅰ・Ⅱ			道徳教育Ⅰ・Ⅱ														
	３年																			教科指導法【数学・美術】		教科指導法【数学】	教科指導法【数学・美術】		教科指導法【数学】						
	４年																														
3	１年							体育			体育																				
	２年							憲法						体育			体育									初修外国語2年次（全学対象）			初修外国語2年次（全学対象）		
	３年																														
	４年																														
4	１年	教育史概論			教育の法と制度			ファーストイヤーセミナー			学校経営概説																				
	２年							憲法					特別活動の理論と実践										哲学通論BⅡ								
	３年																														
	４年																														
5	１年	初修外国語1年次			初修外国語1年次									学問への誘い																	
	２年												特別活動の理論と実践							哲学通論CI										
	３年							教育相談の基礎 or 進路指導・キャリア教育		生徒指導	教育相談の実際 or 進路指導・キャリア教育		教育相談の実際																			
	４年																														
6	１年	英語1年次			英語1年次									学問への誘い																	
	２年																														
	３年							特別支援教育					教育相談の実際				教育課程編成論														
	４年																														

令和８年度固定時間割 物理学類

時限		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年													情報リテラシー		教職論Ⅰ	データサイエンス		現代教育と教育理念	英語1年次			英語1年次					こころの発達			学習の心理
	２年							総合の時間Ⅰ			総合の時間ⅠⅠ																				
	３年																			教科指導法		教科指導法	教科指導法		教科指導法						
	４年																														
2	１年													情報リテラシー		教職論Ⅰ	データサイエンス		現代教育と教育理念	初修外国語1年次			初修外国語1年次					こころの発達		教職論Ⅱ	学習の心理
	２年													道徳教育Ⅰ			道徳教育ⅠⅠ														
	３年																			教科指導法		教科指導法	教科指導法		教科指導法						
	４年																														
3	１年							体育			体育																				
	２年							憲法						体育			体育									初修外国語2年次（全学対象）			初修外国語2年次（全学対象）		
	３年																														
	４年																														
4	１年	教育史概論			教育の法と制度			ファーストイヤーセミナー			学校経営概説																				
	２年							憲法					特別活動										哲学通論BⅡ			英語2年次（全学対象）			英語2年次（全学対象）		
	３年																														
	４年																														
5	１年	初修外国語1年次			初修外国語1年次									学問への誘い																	
	２年												特別活動							哲学通論CⅠ											
	３年				進路指導			生徒指導		教育相談	生徒指導		教育相談																			
	４年																														
6	１年	英語1年次			英語1年次									学問への誘い																	
	２年																														
	３年				教育課程編成論			障害児指導法												教育の方法と技術											
	４年																														

令和８年度固定時間割 化学類

時限	曜日	月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年													情報リテラシー		②教職論Ⅰ	データサイエンス		①現代教育と教育理念	英語1年次			英語1年次					④こころの発達			④学習の心理
	２年							⑧総合的な学習の時間の指導法			⑧総合的な学習の時間の指導法									⑮理科指導法			⑮理科指導法								
	３年																														
	４年																														
2	１年													情報リテラシー		②教職論Ⅰ	データサイエンス		①現代教育と教育理念	初修外国語1年次			初修外国語1年次					④こころの発達		②教職論Ⅱ		④学習の心理
	２年													⑦道徳教育			⑦道徳教育														
	３年																														
	４年																														
3	１年							体育			体育																				
	２年							憲法						体育			体育														
	３年																														
	４年																														
4	１年	①教育史概論			③教育の法と制度			ファーストイヤーセミナー			③学校経営概説																				
	２年							憲法					⑨特別活動の理論と実践										哲学通論BⅡ								
	３年																														
	４年																														
5	１年	初修外国語1年次			初修外国語1年次									学問への誘い																	
	２年												⑨特別活動の理論と実践							哲学通論CⅠ											
	３年							⑬教育相談の基礎			⑭進路指導・キャリア教育		⑫生徒指導																			
	４年																														
6	１年	英語1年次			英語1年次									学問への誘い																	
	２年																														
	３年				⑥教育課程編成論			⑤特別支援教育			⑬教育相談の実際		⑫生徒指導																			
	４年																														

＊⑩教育の方法と技術 集中 3年次

令和８年度固定時間割 応用理工学類

曜日 / 時限		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年													英語1年次			英語1年次					現代教育と教育理念			こころの発達	体育			体育		
	２年																														
	３年							生徒指導・教育相談			生徒指導・教育相談		生徒指導・教育相談							教育指導法		教育指導法		教育指導法	教育指導法						
	４年																														
2	１年													初修外国語1年次			初修外国語1年次					現代教育と教育理念		学校経営	こころの発達	ファーストイヤーセミナー			教職論Ⅱ		
	２年																														
	３年												生徒指導・教育相談							教育指導法		教育指導法		教育指導法	教育指導法						
	４年																														
3	１年	初修外国語1年次			初修外国語1年次			情報リテラシー		教育史概論	データサイエンス		学習の心理																			
	２年																			体育				体育							
	３年																														
	４年																														
4	１年	英語1年次			英語1年次			情報リテラシー		教育史概論	データサイエンス		学習の心理																			
	２年																							哲学通論BⅡ							
	３年	体育			体育																										
	４年																														
5	１年	国語Ⅰ			国語Ⅱ									学問への誘い																	
	２年							英語2年次（全学対象）			英語2年次（全学対象）									哲学通論CⅠ											
	３年			生徒指導・教育相談																											
	４年																														
6	１年	教職論Ⅰ			教育の法と制度									学問への誘い																	
	２年							初修外国語2年次			初修外国語2年次																				
	３年	教育課程編成論		生徒指導・教育相談				障害児指導法												教育の方法と技術											
	４年																														

※　憲法2年次集中

令和８年度固定時間割 工学システム学類

曜日 / 時限		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年													英語1年次			英語1年次					現代教育と教育理念			こころの発達	体育			体育		
	２年																														
	３年																														
	４年																														
2	１年													初修外国語1年次			初修外国語1年次					現代教育と教育理念		学校経営概説	こころの発達	ファーストイヤーセミナー			教職論Ⅱ		
	２年																														
	３年																														
	４年																														
3	１年	初修外国語1年次			初修外国語1年次			情報リテラシー		教育史概論	データサイエンス		学習の心理																			
	２年																			体育				体育							
	３年																														
	４年																														
4	１年	英語1年次			英語1年次			情報リテラシー		教育史概論	データサイエンス		学習の心理																			
	２年																							哲学通論BⅡ							
	３年	体育			体育																										
	４年																														
5	１年	国語Ⅰ			国語Ⅱ									学問への誘い																	
	２年							英語2年次（全学対象）			英語2年次（全学対象）									哲学通論CⅠ											
	３年																														
	４年																														
6	１年	教職論Ⅰ			教育の法と制度									学問への誘い																	
	２年							初修外国語2年次（全学対象）			初修外国語2年次（全学対象）																					
	３年																														
	４年																														

※　憲法2年次集中

令和８年度固定時間割 社会工学類

時限		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年													初修外国語1年次			初修外国語1年次			情報リテラシー		現代教育と教育理念	データサイエンス		こころの発達	体育			体育		
	２年																														
	３年												教育相談の実際	教科指導法		教科指導法	教科指導法		教科指導法	教科指導法		教科指導法	教科指導法		教科指導法						
	４年																														
2	１年													英語1年次			英語1年次			情報リテラシー		現代教育と教育理念	データサイエンス		こころの発達	ファーストイヤーセミナー			教職論Ⅱ		
	２年	博物館学Ⅰ			博物館学II																				特別活動						
	３年												教育相談の実際	教科指導法		教科指導法	教科指導法		教科指導法	教科指導法		教科指導法	教科指導法		教科指導法						
	４年																														
3	１年	英語1年次			英語1年次					教育史概論			学習の心理																		
	２年	博物館学Ⅲ			博物館学II									体育			体育		特別活動	道徳教育			道徳教育		特別活動	初修外国語2年次（全学対象）			初修外国語2年次（全学対象）		
	３年	体育			体育																										
	４年																														
4	１年	初修外国語1年次			初修外国語1年次					教育史概論	学校経営概説		学習の心理																		
	２年												特別活動										哲学通論BⅡ			英語2年次（全学対象）			英語2年次（全学対象）		
	３年																														
	４年																														
5	１年													学問への誘い																	
	２年						特別活動						特別活動							哲学通論CⅠ						博物館展示論Ⅰ		博物館資料保存論Ⅰ	博物館資料保存論Ⅱ		博物館情報・メディア基礎論
	３年	進路指導		教育相談の基礎	進路指導			教育相談の基礎or進路指導			教育相談の基礎or進路指導						教育課程編成論			教科指導法			教科指導法								
	４年																														
6	１年	教職論Ⅰ			教育の法と制度									学問への誘い																	
	２年	道徳教育Ⅰ			道徳教育Ⅱ		特別活動																			博物館展示論Ⅱ		博物館資料保存論Ⅰ	博物館教育基礎論		博物館情報・メディア基礎論
	３年			教育相談の基礎	教育課程編成論			特別支援教育or教育相談の基礎			教育相談の基礎			教育課程編成論						教科指導法or教育の方法と技術			教科指導法						特別支援教育		
	４年																														

※　憲法2年次集中

令和８年度固定時間割 情報科学類

曜日 / 時限		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年													教職論Ⅰ			教職論Ⅱ			体育			体育			英語1年次			英語1年次		
	２年																														
	３年																			教科指導法		教科指導法	教科指導法		教科指導法						
	４年																														
2	１年													国語Ⅰ						ファーストイヤーセミナー			学校経営概説			初修外国語1年次			初修外国語1年次		
	２年																			体育			体育								
	３年																			教科指導法		教科指導法	教科指導法		教科指導法						
	４年																														
3	１年			現代教育と教育理念			こころの発達	初修外国語1年次			初修外国語1年次																				
	２年																														
	３年																														
	４年																														
4	１年			現代教育と教育理念	教育の法と制度		こころの発達	英語1年次			英語1年次																				
	２年																						哲学通論BⅡ（全学対象）								
	３年	体育			体育																										
	４年																														
5	１年	情報リテラシー		教育史概論	データサイエンス		学習の心理							学問への誘い																	
	２年							初修外国語2年次			初修外国語2年次									哲学通論CⅠ（全学対象）										
	３年																			教科指導法			教科指導法								
	４年																														
6	１年	情報リテラシー		教育史概論	データサイエンス		学習の心理							学問への誘い																	
	２年							英語2年次（全学対象）			英語2年次（全学対象）																				
	３年																			教科指導法			教科指導法								
	４年																														

※　憲法2年次集中

令和８年度固定時間割 情報メディア創成学類

時限		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年													情報リテラシー		②教職論Ⅰ	データサイエンス		①現代教育と教育理念	英語1年次			英語1年次					③こころの発達			④学習の心理
	２年																														
	３年																			⑮教科指導法（数学）		⑮教科指導法（数学）	⑮教科指導法（数学）		⑮教科指導法（数学）						
	４年																														
2	１年													情報リテラシー		②教職論Ⅰ	データサイエンス		①現代教育と教育理念	初修外国語1年次			初修外国語1年次					③こころの発達		教職論Ⅱ	④学習の心理
	２年																									体育			体育		
	３年																			⑮教科指導法（数学）		⑮教科指導法（数学）	⑮教科指導法（数学）		⑮教科指導法（数学）						
	４年																														
3	１年	国語Ⅰ			国語Ⅰ			体育			体育																				
	２年																									英語2年次（全学対象）			英語2年次（全学対象）		
	３年																														
	４年																														
4	１年	①教育史概論			③教育の法と制度						③学校経営概説																				
	２年																									初修外国語2年次			初修外国語2年次		
	３年																														
	４年																														
5	１年	初修外国語1年次			初修外国語1年次			ファーストイヤーセミナー						学問への誘い																	
	２年																														
	３年																			⑮教科指導法（情報）			⑮教科指導法（情報）								
	４年																														
6	１年	英語1年次			英語1年次									学問への誘い																	
	２年																														
	３年																			⑮教科指導法（情報）			⑮教科指導法（情報）								
	４年																														

※ 本表は固定時間割科目のうち学類が指定（または優先）されている科目を列挙したものである。学類が指定されていない科目については各科目の固定時間割を参照。
※ 丸数字で始まる科目は略称であり、正確な名称は「固定時間割（教職に関する科目）」の丸数字の科目名を参照。
※ 憲法2年次集中

令和８年度固定時間割 知識情報・図書館学類

時限	曜日	月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年													教職論Ⅰ			教職論Ⅱ			体育			体育			初修外国語1年次			初修外国語1年次		
	２年							総合の時間			総合の時間															総合の時間					
	３年							生徒指導／教育相談			生徒指導／教育相談		生徒指導／教育相談	教科指導法（社会／公民）		教科指導法（社会／公民）	教科指導法（社会／公民）		教科指導法（社会／公民）	教科指導法（数学）		教科指導法（数学）	教科指導法（数学）		教科指導法（数学）						
	４年																														
2	１年																			ファーストイヤーセミナー			学校経営概説			英語1年次			英語1年次		
	２年							総合の時間						道徳教育			道徳教育			総合の時間			総合の時間			体育			体育		総合の時間
	３年												生徒指導／教育相談	教科指導法（社会／公民）		教科指導法（社会／公民）	教科指導法（社会／公民）		教科指導法（社会／公民）	教科指導法（数学）		教科指導法（数学）	教科指導法（数学）		教科指導法（数学）						
	４年																														
3	１年	情報リテラシー		現代教育と教育理念	データサイエンス		こころの発達	英語1年次			英語1年次																				
	２年							総合の時間			総合の時間			道徳教育			道徳教育									英語2年次（全学対象）			英語2年次（全学対象）／総合の時間（秋C）		
	３年																														
	４年																														
4	１年	情報リテラシー		現代教育と教育理念	データサイエンス		こころの発達	初修外国語1年次			初修外国語1年次																				
	２年										総合の時間		特別活動										哲学通論BⅡ			初修外国語2年次			初修外国語2年次		
	３年																														
	４年																														
5	１年			教育史概論			学習の心理							学問への誘い																	
	２年						特別活動						特別活動							哲学通論CⅠ											
	３年	進路指導			進路指導			生徒指導／教育相談／進路指導		生徒指導／教育相談	生徒指導／教育相談／進路指導		生徒指導／教育相談				教育課程編成論			教科指導法（情報）			教科指導法（情報）								
	４年																														
6	１年			教育史概論	教育の法と制度		学習の心理							学問への誘い																	
	２年	道徳教育			道徳教育		特別活動																								
	３年	教育課程編成論			教育課程編成論			障害児指導法／生徒指導／教育相談		生徒指導／教育相談	生徒指導／教育相談		生徒指導／教育相談	教育課程編成論			教育課程編成論			教育の方法と技術／教科指導法（情報）			教科指導法（地歴）／教科指導法（情報）						障害児教育法		
	４年																														

※　憲法2年次集中

令和８年度固定時間割 医学類

時限	曜日	月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年																			初修外国語1年次			初修外国語1年次			情報リテラシー			データサイエンス		
	２年																														
	３年																														
	４年																														
2	１年																			英語1年次			英語1年次			情報リテラシー			データサイエンス		
	２年																			体育			体育								
	３年																														
	４年																														
3	１年	国語Ⅰ						体育			体育																				
	２年																														
	３年																														
	４年																														
4	１年							ファーストイヤーセミナー																							
	２年																														
	３年																														
	４年																														
5	１年	英語1年次			英語1年次									学問への誘い																	
	２年							初修外国語2年次			初修外国語2年次																				
	３年																														
	４年																														
6	１年	初修外国語1年次			初修外国語1年次									学問への誘い																	
	２年																														
	３年																														
	４年																														

令和８年度固定時間割 看護学類

時限		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年															教職論Ⅰ	教職論Ⅱ		現代教育と教育理念	初修外国語1年次			初修外国語1年次			情報リテラシー		こころの発達	データサイエンス		学習の心理
	２年																														
	３年																														
	４年																														
2	１年															教職論Ⅰ			現代教育と教育理念	英語1年次			英語1年次			情報リテラシー		こころの発達	データサイエンス		学習の心理
	２年																														
	３年																														
	４年																														
3	１年				国語Ⅰ			体育			体育																				
	２年																			体育			体育								
	３年																														
	４年																														
4	１年	教育史概論			教育の法と制度			ファーストイヤーセミナー			学校経営概説																				
	２年																						哲学通論BⅡ								
	３年																														
	４年																														
5	１年	英語1年次			英語1年次									学問への誘い																	
	２年						特別活動	英語2年次（全学対象）			英語2年次（全学対象）									哲学通論CⅠ											
	３年			教育相談の基礎						生徒指導																					
	４年																														
6	１年	初修外国語1年次			初修外国語1年次									学問への誘い																	
	２年	道徳教育Ⅰ			道徳教育Ⅱ		特別活動	初修外国語2年次			初修外国語2年次																				
	３年			教育相談の基礎				特別支援教育		生徒指導				教育課程編成論						教育の方法と技術											
	４年																														

令和８年度固定時間割 医療科学類

曜日 / 時限		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年																			初修外国語1年次			初修外国語1年次			情報リテラシー			データサイエンス		
	２年																														
	３年																														
	４年																														
2	１年																			英語1年次			英語1年次			情報リテラシー			データサイエンス		
	２年																									体育			体育		
	３年																														
	４年																														
3	１年							体育			体育																				
	２年																									英語2年次（全学対象）			英語2年次（全学対象）		
	３年																														
	４年																														
4	１年							ファーストイヤーセミナー																							
	２年																						哲学通論BⅡ			初修外国語２年次			初修外国語２年次		
	３年																														
	４年																														
5	１年	英語1年次			英語1年次									学問への誘い																	
	２年																			哲学通論CⅠ											
	３年																														
	４年																														
6	１年	初修外国語1年次			初修外国語1年次									学問への誘い																	
	２年																														
	３年																														
	４年																														

令和８年度固定時間割 体育専門学群（１クラス～５クラス）

時限		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年													初修外国語1年次			初修外国語1年次			情報リテラシー			データサイエンス		学習の心理	国語Ⅰ			国語Ⅱ		
	２年												保体教育法概論Ⅱ																		
	３年												教育相談の実際	教育課程編成論			教育の方法と技術														
	４年																														
2	１年													英語1年次			英語1年次			情報リテラシー			データサイエンス		学習の心理				教職論Ⅱ		
	２年												保体教育法概論Ⅱ				保体教育法概論Ⅰ								特別活動						
	３年												教育相談の実際													保体教育法概論Ⅲ					
	４年																														
3	１年	英語1年次			英語1年次								こころの発達																		
	２年																			道徳教育Ⅰ			道徳教育Ⅱ		特別活動						
	３年																														
	４年																														
4	１年	初修外国語1年次			初修外国語1年次						学校経営概説		こころの発達																		
	２年																						哲学通論BⅡ								
	３年	特別支援教育（障害児指導法）											体育理論の授業づくり																		
	４年																														
5	１年	教職論Ⅰ			教育の法と制度									学問への誘い												ファーストイヤーセミナー					
	２年																			哲学通論CⅠ											
	３年	進路指導・キャリア教育						体育授業・理論実習Ⅰ			体育授業・理論実習Ⅱ		体育理論の授業づくり																		
	４年																														
6	１年													学問への誘い																	
	２年																														
	３年																														
	４年																														

＊ 1年次：憲法、現代教育と教育理念、教育史概論　2年次：生徒指導　集中

令和８年度固定時間割 体育専門学群（６クラス～１０クラス）

時限		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年													教職論Ⅰ			教職論Ⅱ			国語Ⅰ			国語Ⅱ			初修外国語1年次			初修外国語1年次		
	２年												保体教育法概論Ⅱ																		
	３年												教育相談の実際	教育課程編成論			教育の方法と技術														
	４年																														
2	１年																						学校経営概説			英語1年次			英語1年次		
	２年												保体教育法概論Ⅱ				保体教育法　概論Ⅰ								特別活動						
	３年												教育相談の実際													保体教育法概論Ⅲ					
	４年																														
3	１年	情報リテラシー			データサイエンス		学習の心理	英語1年次			英語1年次																				
	２年																			道徳教育Ⅰ			道徳教育Ⅱ		特別活動						
	３年																														
	４年																														
4	１年	情報リテラシー			データサイエンス		学習の心理	初修外国語1年次			初修外国語1年次																				
	２年																						哲学通論BⅡ								
	３年	特別支援教育（障害児指導法）											体育理論の授業づくり																		
	４年																														
5	１年				教育の法と制度		こころの発達							学問への誘い																		
	２年																			哲学通論CⅠ											
	３年	進路指導・キャリア教育						体育授業・理論実習Ⅰ			体育授業・理論実習Ⅱ		体育理論の授業づくり																		
	４年																														
6	１年						こころの発達							学問への誘い																		
	２年																														
	３年																														
	４年																														

＊ 1年次：憲法、現代教育と教育理念、教育史概論　2年次：生徒指導　集中

令和８年度固定時間割 芸術専門学群

曜日 / 時限		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年															教職論Ⅰ		教職論Ⅱ	現代教育と教育理念	初修外国語1年次			初修外国語1年次			情報リテラシー		こころの発達	データサイエンス		学習の心理
	２年																														
	３年							生徒指導教育相談			生徒指導教育相談		生徒指導教育相談	教科指導法			教科指導法														
	４年																														
2	１年															教職論Ⅰ			現代教育と教育理念	英語1年次			英語1年次			情報リテラシー		こころの発達	データサイエンス		学習の心理
	２年													道徳教育Ⅰ			道徳教育Ⅱ									体育			体育		
	３年												生徒指導教育相談							教科指導法			教科指導法								
	４年																														
3	１年	国語Ⅰ			国語Ⅰ			体育			体育																				
	２年																									英語2年次（全学対象）			英語2年次（全学対象）		
	３年																														
	４年																														
4	１年	教育史概論			教育の法と制度			ファーストイヤーセミナー			学校経営概説																				
	２年																						哲学通論BⅡ			初修外国語2年次			初修外国語2年次		
	３年																														
	４年																														
5	１年	英語1年次			英語1年次									学問への誘い																	
	２年						特別活動													哲学通論CⅠ											
	３年			教科指導法																											
	４年																														
6	１年	初修外国語1年次			初修外国語1年次									学問への誘い																	
	２年						特別活動																								
	３年	教科指導法		教科指導法													教育課程編成論			教育の方法と技術									障害児指導法		
	４年																														

＊ 教育基礎学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 集中（平成31年度のみ:2年次向け）、憲法 集中 2年次、教科指導法 集中 2・3年次、進路指導 集中 3年次、教職実践演習 集中 4年次、
総合の時間 （R2年度より集中 2年次）

令和８年度固定時間割 総合学域群（1組）

時限＼曜日		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	1年													英語1年次			英語1年次					現代教育と教育理念			こころの発達	体育			体育		
2	1年													初修外国語1年次			初修外国語1年次						学校経営概説			ファーストイヤーセミナー			教職論Ⅱ		
3	1年	初修外国語1年次			初修外国語1年次			情報リテラシー	情報リテラシー	教育史概論	データサイエンス		学習の心理																			
4	1年	英語1年次			英語1年次																										
5	1年	国語			国語									学問への誘い																	
6	1年	教職論Ⅰ			教育の法と制度																										

令和８年度固定時間割 総合学域群（2組）

時限＼曜日		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	1年													初修外国語1年次			初修外国語1年次			情報リテラシー	情報リテラシー	現代教育と教育理念	データサイエンス		こころの発達	体育			体育		
2	1年													英語1年次			英語1年次									ファーストイヤーセミナー			教職論Ⅱ		
3	1年	英語1年次			英語1年次					教育史概論			学習の心理																		
4	1年	初修外国語1年次			初修外国語1年次						学校経営概説																				
5	1年	国語			国語									学問への誘い																	
6	1年	教職論Ⅰ			教育の法と制度																										

令和８年度固定時間割 総合学域群（3組）

時限＼曜日		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	1年													情報リテラシー	情報リテラシー	教職論Ⅰ	データサイエンス		現代教育と教育理念	英語1年次			英語1年次					こころの発達			学習の心理
2	1年																			初修外国語1年次			初修外国語1年次						教職論Ⅱ		
3	1年	国語			国語			体育			体育																				
4	1年	教育史概論			教育の法と制度			ファーストイヤーセミナー			学校経営概説																				
5	1年	初修外国語1年次			初修外国語1年次									学問への誘い																	
6	1年	英語1年次			英語1年次																										

令和８年度固定時間割 総合学域群（4組）

時限＼曜日		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	1年															教職論Ⅰ	教職論Ⅱ		現代教育と教育理念	初修外国語1年次			初修外国語1年次			情報リテラシー	情報リテラシー	こころの発達	データサイエンス		学習の心理
2	1年																国語			英語1年次			英語1年次								
3	1年	国語			国語			体育			体育																				
4	1年	教育史概論			教育の法と制度			ファーストイヤーセミナー			学校経営概説																				
5	1年	英語1年次			英語1年次									学問への誘い																	
6	1年	初修外国語1年次			初修外国語1年次																										

令和８年度固定時間割 総合学域群（5組）

時限＼曜日		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	1年													教職論Ⅰ			教職論Ⅱ			体育			体育			初修外国語1年次			初修外国語1年次		
2	1年													国語			国語			ファーストイヤーセミナー			学校経営概説			英語1年次			英語1年次		
3	1年	情報リテラシー	情報リテラシー	現代教育と教育理念	データサイエンス		こころの発達	英語1年次			英語1年次																				
4	1年							初修外国語1年次			初修外国語1年次																				
5	1年			教育史概論			学習の心理							学問への誘い																	
6	1年				教育の法と制度																										

令和８年度固定時間割 総合学域群（6組）

時限＼曜日		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	1年													教職論Ⅰ			教職論Ⅱ			体育			体育			英語1年次			英語1年次		
2	1年													国語			国語			ファーストイヤーセミナー			学校経営概説			初修外国語1年次			初修外国語1年次		
3	1年			現代教育と教育理念			こころの発達	初修外国語1年次			初修外国語1年次																				
4	1年				教育の法と制度			英語1年次			英語1年次																				
5	1年	情報リテラシー	情報リテラシー	教育史概論	データサイエンス		学習の心理							学問への誘い																	
6	1年																														

令和８年度固定時間割　総合科目 ファーストイヤーセミナー、学問への誘い

時限	曜日	月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年																														
	２年																														
	３年																														
	４年																														
2	１年																			ファーストイヤーセミナー 教育・心理・障害・ 社会・国際・資源・ 情報・知識・総学⑤・ 総学⑥						ファーストイヤーセミナー 人文・応理・エシス・ 比文・日日・社工・ 総学①・総学②					
	２年																														
	３年																														
	４年																														
3	１年																														
	２年																														
	３年																														
	４年																														
4	１年							ファーストイヤーセミナー 数学・物理・化学・ 地球・生物 医学・看護・医療・ 芸術・総学③・総学④																										
	２年																														
	３年																														
	４年																														
5	１年							ファーストイヤーセミナー 創成						学問への誘い （全学）												ファーストイヤーセミナー 体育					
	２年																														
	３年																														
	４年																														
6	１年													学問への誘い （全学）																	
	２年																														
	３年																														
	４年																														

令和８年度固定時間割（体育）

時限	曜日	月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年																			教育, 心理, 障害, 知識, 社会, 国際, 資源, 情報, 総学⑤, 総学⑥			教育, 心理, 障害, 知識, 社会, 国際, 資源, 情報, 総学⑤, 総学⑥			人文, 応理, 工ｼｽ, 比文, 日日, 社工, 総学①, 総学②			人文, 応理, 工ｼｽ, 比文, 日日, 社工, 総学①, 総学②		
	２年																														
	３年																														
	４年																														
2	１年																														
	２年																			人文, 比文, 日日, 情報, 医学			人文, 比文, 日日, 情報, 医学			社会, 資源, 創成, 知識, 医療, 芸術			社会, 資源, 創成, 知識, 医療, 芸術		
	３年																														
	４年																														
3	１年							生物, 地球, 数学, 物理, 化学, 創成, 医学, 看護, 医療, 芸術, 総学③, 総学④						生物, 地球, 数学, 物理, 化学, 創成, 医学, 看護, 医療, 芸術, 総学③, 総学④																			
	２年													教育, 心理, 障害, 数学, 物理, 化学, 社工			教育, 心理, 障害, 数学, 物理, 化学, 社工			国際, 生物, 地球, 応理, 工ｼｽ, 看護			国際, 生物, 地球, 応理, 工ｼｽ, 看護								
	３年	資源, 社工, 日日			資源, 社工, 日日																										
	４年																														
4	１年																														
	２年																														
	３年	応理, 工ｼｽ, 情報			応理, 工ｼｽ, 情報																										
	４年																														
5	１年																														
	２年																														
	３年																														
	４年																														
6	１年																														
	２年																														
	３年																														
	４年																														

令和８年度固定時間割(英語１年次)

時限	曜日	月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年													人文・応理・エシス・総学①			人文・応理・エシス・総学①			生物・地球・数・物・化・創成・総学③			生物・地球・数・物・化・創成・総学③			社会・国際・資源・情報・総学⑥			社会・国際・資源・情報・総学⑥		
	２年																														
	３年																														
	４年																														
2	１年													比文・日日・社工・体育①・総学②			比文・日日・社工・体育①・総学②			医学・看護・医療・芸術・総学④			医学・看護・医療・芸術・総学④			教育・心理・障害・知識・体育②・総学⑤			教育・心理・障害・知識・体育②・総学⑤		
	２年																														
	３年																														
	４年																														
3	１年	比文・日日・社工・体育①・総学②			比文・日日・社工・体育①・総学②			教育・心理・障害・知識・体育②・総学⑤			教育・心理・障害・知識・体育②・総学⑤																					
	２年																														
	３年																														
	４年																														
4	１年	人文・応理・エシス・総学①			人文・応理・エシス・総学①			社会・国際・資源・情報・総学⑥			社会・国際・資源・情報・総学⑥																					
	２年																														
	３年																														
	４年																														
5	１年	医学・看護・医療・芸術・総学④			医学・看護・医療・芸術・総学④																										
	２年																														
	３年																														
	４年																														
6	１年	生物・地球・数・物・化・創成・総学③			生物・地球・数・物・化・創成・総学③																										
	２年																														
	３年																														
	４年																														

グローバルコミュニケーション教育センター（CEGLOC）では、春学期及び秋学期の**ABモジュールに必修科目**が開設されています。各自、所属対象の科目を間違えないように履修申請してください。

また、Cモジュール（**斜線の枠**）には、**各学群・学類の専門英語への橋渡しとなる一般学術目的としての英語を学ぶための科目を開設しています**ので、みなさんの履修を推奨します。

（Cモジュールに開設する主な科目）
English Academic Writing
English Academic Presentation

令和８年度固定時間割（英語２年次）

時限	曜日	月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年																														
	２年																														
	３年																														
	４年																														
2	１年																														
	２年																														
	３年																														
	４年																														
3	１年													（再履修）			（再履修）									（再履修）			（再履修）		
	２年													選択・自由科目 全学群			選択・自由科目 全学群									選択・自由科目 全学群			選択・自由科目 全学群		
	３年																														
	４年																														
4	１年													（再履修）			（再履修）									（再履修）			（再履修）		
	２年													選択・自由科目 全学群			選択・自由科目 全学群									選択・自由科目 全学群			選択・自由科目 全学群		
	３年																														
	４年																														
5	１年							（再履修）			（再履修）																				
	２年							選択・自由科目 全学群			選択・自由科目 全学群																				
	３年																														
	４年																														
6	１年							（再履修）			（再履修）																				
	２年							選択・自由科目 全学群			選択・自由科目 全学群																				
	３年																														
	４年																														

令和８年度固定時間割（初修外国語１年次）

時限		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年													比文・日日・社工・体育①・総学②			比文・日日・社工・体育①・総学②			医学群・芸術・総学④			医学群・芸術・総学④			人間学群・知識・体育②・総学⑤			人間学群・知識・体育②・総学⑤		
	２年																														
	３年																														
	４年																														
2	１年													人文・応理・エシス・総学①			人文・応理・エシス・総学①			生物・地球・数・物・化・創成・総学③			生物・地球・数・物・化・創成・総学③			社会・国際・資源・情報・総学⑥			社会・国際・資源・情報・総学⑥		
	２年																														
	３年																														
	４年																														
3	１年	人文・応理・エシス・総学①			人文・応理・エシス・総学①			社会・国際・資源・情報・総学⑥			社会・国際・資源・情報・総学⑥																					
	２年																														
	３年																														
	４年																														
4	１年	比文・日日・社工・体育①・総学②			比文・日日・社工・体育①・総学②			人間学群・知識・体育②・総学⑤			人間学群・知識・体育②・総学⑤																					
	２年																														
	３年																														
	４年																														
5	１年	生物・地球・数・物・化・創成・総学③			生物・地球・数・物・化・創成・総学③																										
	２年																														
	３年																														
	４年																														
6	１年	医学群・芸術・総学④			医学群・芸術・総学④																										
	２年																														
	３年																														
	４年																														

グローバルコミュニケーション教育センター（CEGLOC）では、春学期及び秋学期の**ABモジュールに必修科目**が開設されています。各自、所属対象の科目を間違えないように履修申請してください。

令和８年度固定時間割（初修外国語２年次）

曜日 / 時限		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年																														
	２年																														
	３年																														
	４年																														
2	１年																														
	２年																														
	３年																														
	４年																														
3	１年																														
	２年																									全学対象			全学対象		
	３年																														
	４年																														
4	１年																														
	２年																									社会・他			社会・他		
	３年																														
	４年																														
5	１年																														
	２年							人文・文化 学群・他																								
	３年																														
	４年																														
6	１年																														
	２年							国際・他																							
	３年																														
	４年																														

令和８年度固定時間割（情報）

曜日 / 時限		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年													生物・地球・数学・物理・化学・創成・総学③			生物・地球・数学・物理・化学・創成・総学③			比文・日日・社工・体育①・総学②			比文・日日・社工・体育①・総学②			医学・看護・医療・芸術・総学④			医学・看護・医療・芸術・総学④		
	２年																														
	３年																														
	４年																														
2	１年													生物・地球・数学・物理・化学・創成・総学③			生物・地球・数学・物理・化学・創成・総学③			比文・日日・社工・体育①・総学②			比文・日日・社工・体育①・総学②			医学・看護・医療・芸術・総学④			医学・看護・医療・芸術・総学④		
	２年																														
	３年																														
	４年																														
3	１年	教育・心理障害・知識・体育②・総学⑤			教育・心理障害・知識・体育②・総学⑤			人文・応理・エシス・総学①			人文・応理・エシス・総学①																					
	２年																														
	３年																														
	４年																														
4	１年	教育・心理障害・知識・体育②・総学⑤			教育・心理障害・知識・体育②・総学⑤			人文・応理・エシス・総学①			人文・応理・エシス・総学①																					
	２年																														
	３年																														
	４年																														
5	１年	社会・国際資源・情報・総学⑥			社会・国際資源・情報・総学⑥																											
	２年																編入生対象（データサイエンス）														
	３年																														
	４年																														
6	１年	社会・国際・資源・情報・総学⑥			社会・国際・資源・情報・総学⑥																											
	２年																編入生対象（データサイエンス）														
	３年																														
	４年																														

春学期：情報リテラシー、　秋学期：データサイエンス

令和８年度固定時間割（国語）

時限		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年																			体育②			体育②			体育①			体育①		
	２年																														
	３年																														
	４年																														
2	１年													全学対象・総学⑤・総学⑥			資源・総学④・総学⑤・総学⑥・全学対象														
	２年																														
	３年																														
	４年																														
3	１年	医学・総学③・総学④・全学対象			看護・総学③・総学④・全学対象																										
	２年													全学対象			全学対象														
	３年																														
	４年																														
4	１年																														
	２年																														
	３年																														
	４年																														
5	１年	人文・比文・日日・総学①・総学②・全学対象			人文・比文・日日・総学①・総学②・全学対象																										
	２年																														
	３年																														
	４年																														
6	１年																														
	２年																														
	３年																														
	４年																														

令和８年度固定時間割（芸術）

曜日 / 時限		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年																														
	２年																														
	３年																														
	４年																														
2	１年																														
	２年																														
	３年																														
	４年																														
3	１年							芸術 （絵本制作） （奇数年度開講）																								
	２年																														
	３年																														
	４年																														
4	１年	芸術（書A）			芸術（書B）		芸術 （書C） （秋C+ 集中）							【春学期】 芸術（大学を開くアート・デザインプロデュース演習 1） 応談 春ＡＢモジュール 芸術（大学を開くアート・デザインプロデュース演習 2） 応談 春Ｃ秋Ａモジュール			【秋学期】 芸術（大学を開くアート・デザインプロデュース演習 2） 応談 春Ｃ秋Ａモジュール 芸術（大学を開くアート・デザインプロデュース演習 3） 応談 秋ＢＣモジュール						芸術（塑造実習）					
	２年	芸術 （油彩画実習）																													
	３年																														
	４年	芸術 （日本画実習）																													
5	１年																														
	２年	芸術 （油彩画実習）																													
	３年																														
	４年	芸術 （日本画実習）																								芸術（塑造実習）					
6	１年																														
	２年																														
	３年																														
	４年																														

令和８年度固定時間割（憲法）

時限	曜日	月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年																														
	２年																														
	３年																														
	４年																														
2	１年																														
	２年																														
	３年																														
	４年																														
3	１年																														
	２年							地球、数学、物理、化学																							
	３年																														
	４年																														
4	１年																														
	２年							地球、数学、物理、化学																					比文、日日、生物、資源		
	３年																														
	４年																														
5	１年																														
	２年																											比文、日日、生物、資源		
	３年																														
	４年																														
6	１年																														
	２年																														
	３年																														
	４年																														

・体育、看護、医療　集中
・国際，教育，心理，障害，応理，エシス，社工，情報，創成，知識，芸術　集中　2年次
・人文 集中 3年次

令和８年度固定時間割（哲学）

時限		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年																														
	２年																														
	３年																														
	４年																														
2	１年																														
	２年																														
	３年																														
	４年																														
3	１年																														
	２年																														
	３年																														
	４年																														
4	１年																														
	２年																						哲学通論ＢⅡ								
	３年																														
	４年																														
5	１年																														
	２年																			哲学通論ＣⅠ											
	３年																														
	４年																														
6	１年																														
	２年																														
	３年																														
	４年																														

令和８年度　固定時間割（教職に関する科目）

時限	曜日	月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年													②教職論Ⅰ（5・6組）		②教職論Ⅰ（3・4組）	②教職論Ⅱ（4・5・6組）		①現代教育と教育理念（3・4組）			①現代教育と教育理念（1・2組）			④こころの発達/学習の心理（1・2組）			④こころの発達（3・4組）			④学習の心理（3・4組）
	２年							⑧総合的な学習の時間の指導法			⑧総合的な学習の時間の指導法		⑮【保体】	⑮【英語】 ⑮【仏語】			⑮【英語】 ⑮【仏語】						⑮【理科】			⑮【理科】			⑧総合的な学習の時間の指導法					
	３年							⑫生徒指導			⑫生徒指導		⑮【国語】 ⑬教育相談の実際【体専主対象】	⑮【国語・社会・地歴・公民】 ⑮【書道】 ⑥教育課程編成論【体専限定】		⑮【社会・地歴・公民】	⑮【国語・社会・地歴・公民】 ⑮【書道】 ⑩教育の方法と技術【体専限定】		⑮【国語・社会・地歴・公民】	⑮【数学・理科】		⑮【数学】	⑮【数学・理科】		⑮【数学】						
	４年																														
2	１年															②教職論Ⅰ（3・4組）			①現代教育と教育理念（3・4組）			①現代教育と教育理念（1・2組）			④こころの発達/学習の心理（1・2組）			④こころの発達（3・4組）	②教職論Ⅱ（1・2・3組）		④学習の心理（3・4組）
	２年							⑧総合的な学習の時間の指導法					⑮【保体】	⑦道徳教育 ⑮【英語】			⑦道徳教育 ⑮【保体】			⑧総合的な学習の時間の指導法			③学校経営概説（1・5・6組） ⑧総合的な学習の時間の指導法		⑨特別活動の理論と実践【体専主対象】	⑧総合的な学習の時間の指導法			⑧総合的な学習の時間の指導法		⑧総合的な学習の時間の指導法
	３年												⑬教育相談の実際【体専主対象】	⑮【社会・地歴・公民】 ⑮【国語】 ⑮【英語】		⑮【社会・地歴・公民】	⑮【社会・地歴・公民】 ⑮【国語】 ⑮【英語】		⑮【国語・社会・地歴・公民】	⑮【数学・美術】		⑮【数学】	⑮【数学・美術】		⑮【数学】	⑮【保体】					
	４年																			⑮【美術】			⑮【美術】								
3	１年			①現代教育と教育理念（5・6組）			④こころの発達/学習の心理(5・6組)			①教育史概論（1・2組）			④こころの発達/学習の心理（1・2組）																		
	２年							⑧総合的な学習の時間の指導法			⑧総合的な学習の時間の指導法			⑦道徳教育Ⅰ			⑦道徳教育Ⅱ		⑨特別活動の理論と実践☆秋Ｃ月６とセット	⑦道徳教育Ⅰ【体専主対象】			⑦道徳教育Ⅱ【体専主対象】		⑨特別活動の理論と実践【体専主対象】					⑧総合的な学習の時間の指導法
	３年																			⑮【美術】											
	４年																														
4	１年	①教育史概論（3・4組）		①現代教育と教育理念（5・6組）	③教育の法と制度（3・4・6組）		④こころの発達/学習の心理(5・6組)			①教育史概論（1・2組）	③学校経営概説（2・3・4組）		④こころの発達/学習の心理（1・2組）																		
	２年										⑧総合的な学習の時間の指導法		⑨特別活動の理論と実践																		
	３年	⑤特別支援教育【体専限定】											⑮【保体】																		
	４年																														
5	１年	②教職論Ⅰ（2組体育のみ）		①教育史概論（5・6組）	③教育の法と制度（2・5組体育のみ）		④こころの発達/学習の心理(5・6組)						⑨特別活動の理論と実践																		
	２年			⑮【美術】			⑨特別活動の理論と実践						⑨特別活動の理論と実践																		
	３年	⑭進路指導・キャリア教育【体専主対象】		⑮【美術】 ⑬教育相談の基礎	⑫生徒指導【体専限定】 ⑭進路指導・キャリア教育		⑫生徒指導【体専限定】	⑬教育相談の基礎	⑫生徒指導		⑬教育相談の実際 ⑭進路指導・キャリア教育		⑬教育相談の実際	⑭進路指導・キャリア教育 ⑮【保体】			⑬【保体】		⑮【保体】	⑥教育課程編成論			⑮【情報】			⑮【情報】		⑩教育の方法と技術			
	４年																														
6	１年	②教職論Ⅰ（1・2組体育以外）		①教育史概論（5・6組）	③教育の法と制度（1・2・5組体育以外）		④こころの発達/学習の心理(5・6組)																								
	２年	⑦道徳教育Ⅰ ⑮【美術】		⑮【美術】	⑦道徳教育Ⅱ		⑨特別活動の理論と実践 ⑨特別活動の理論と実践☆秋Ｃ水３とセット																								
	３年	⑥教育課程編成論 ⑮【美術】		⑮【美術】 ⑬教育相談の基礎	⑥教育課程編成論		⑫生徒指導【体専限定】	⑤特別支援教育 ⑬教育相談の基礎		⑫生徒指導	⑬教育相談の実際		⑬教育相談の実際	⑥教育課程編成論			⑥教育課程編成論			⑩教育の方法と技術 ⑮【情報】			⑮【地歴】 ⑮【情報】			⑩教育の方法と技術	⑤特別支援教育				
	４年																														

（備考）※1　１年次にあっては、割り当てられた組（１～６組）ごとに指定された科目を履修すること。なお、体育専門学群（２・５組）にあっては、他枠、指定枠外での開講もあるため、学群の指示に従って履修すること。
※2　２年次以降については、所属する学群・学類の指示に従って履修すること。特に指示がない場合は受講可能な科目を適宜履修すること。ただし、一部に学群・学類単位で履修対象が限定される科目もあるため注意すること。

〈備考〉
①現代教育と教育理念、教育史概論(1年次)
②教職論(1年次)
③教育の法と制度、学校経営概説、教育社会概論(1年次)
（教育社会概論は集中講義）
④こころの発達、学習の心理(1年次)
⑤特別支援教育（3年次）
⑥教育課程編成論(3年次)
⑦道徳教育(2年次)
⑧総合的な学習の時間の指導法(含む)(2年次)
⑨特別活動の理論と実践(2年次)
⑩教育の方法と技術(3年次)
⑪情報通信技術を活用した教育の理論と方法(3年次)
⑫生徒指導(3年次)
⑬教育相談の基礎、教育相談の実際(3年次)
⑭進路指導・キャリア教育(3年次)
⑮教科指導法(2・3年次)
【 】は対応する教科、及び当該教科の課程を有する学群・学類を示す。
⑯教育実習(4年次)
⑰教職実践演習（4年次）

【留意事項】
１．本固定時間割のみならず、集中授業等、枠外で別途開設する場合もあるため、履修にあたっては、年度ごとの開設科目一覧、電子掲示板等で必ず確認すること。
（うち⑮教育実習、⑯教職実践演習については、すべて集中授業として開講する。）
２．２年次以上での履修にあたっては、科目ごとに指定される履修年次での履修を原則するが、他年次での履修も可とする。ただし、授業担当教員の了解を得ること。
３．本固定時間割に科目が位置付けいていても、授業者の関係で指定の枠の時間に開講されなかったり、集中講義に変更になったりすることがあるため、履修にあたっては、年度ごとの開設科目一覧、電子掲示板等で必ず確認すること。

令和８年度固定時間割（博物館に関する科目）

時限	曜日	月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年																														
	２年																														
	３年																														
	４年																														
2	１年																														
	２年	全学（博物館学Ⅰ）			全学（博物館学Ⅱ）																										
	３年	全学（博物館学Ⅰ）			全学（博物館学Ⅱ）																										
	４年																														
3	１年																														
	２年	全学（博物館学Ⅲ）			全学（博物館学Ⅱ）																										
	３年	全学（博物館学Ⅲ）			全学（博物館学Ⅱ）																										
	４年																														
4	１年																														
	２年																														
	３年																														
	４年																														
5	１年																														
	２年																									全学（博物館展示論Ⅰ）		全学（博物館資料保存論Ⅰ）	全学（博物館資料保存論Ⅱ）		全学（博物館情報・メディア基礎論）
	３年																									全学（博物館展示論Ⅰ）		全学（博物館資料保存論Ⅰ）	全学（博物館資料保存論Ⅱ）		全学（博物館情報・メディア基礎論）
	４年																														
6	１年																														
	２年																									全学（博物館展示論Ⅱ）		全学（博物館資料保存論Ⅰ）	全学（博物館教育基礎論）		全学（博物館情報・メディア基礎論）
	３年																									全学（博物館展示論Ⅱ）		全学（博物館資料保存論Ⅰ）	全学（博物館教育基礎論）		全学（博物館情報・メディア基礎論）
	４年																														

※博物館学Ⅰは、春ABCモジュール＋集中で２単位。
博物館学Ⅲは、春ABCモジュール＋集中で２単位。
博物館展示論Ⅱは、春ABモジュール＋集中で１単位。

令和８年度　外国語（日本語）

時限	曜日	月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年																														
	２年																														
	３年																														
	４年																														
2	１年													外国語（日本語）						外国語（日本語）						外国語（日本語）					
	２年																														
	３年																														
	４年																														
3	１年																														
	２年																														
	３年																														
	４年																														
4	１年	外国語（日本語）			外国語（日本語）			外国語（日本語）			外国語（日本語）																				
	２年																														
	３年																														
	４年																														
5	１年																														
	２年																														
	３年																														
	４年																														
6	１年																														
	２年																														
	３年																														
	４年																														

令和８年度固定時間割（英語プログラム用①※）

時限		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年																第1外国語（日本語）						体育（社会・国際・生命・総合理工・BPGI）								
	２年																														
	３年																						体育（医療）								
	４年																														
2	１年													第1外国語（日本語）						体育（社会・国際）						体育（生命）					
	２年																						体育（社会・国際）			体育（BPGI）			体育（生命）		
	３年																												体育（BPGI）		
	４年																														
3	１年	第1外国語（日本語）			第1外国語（日本語）			データサイエンス			情報リテラシー（講義）	情報リテラシー（演習）								体育（総合理工）							第1外国語（日本語）				
	２年																			体育（総合理工）			体育（総合理工）								
	３年																			体育（医療）			体育（総合理工）								
	４年																						体育（医療）								
4	１年	芸術（日本画実習）						データサイエンス			情報リテラシー（講義）	情報リテラシー（演習）																	第1外国語（日本語）		
	２年																						芸術（塑造実習）								
	３年																														
	４年																														
5	１年	芸術（日本画実習）																					芸術（塑造実習）								
	２年																														
	３年																														
	４年																														
6	１年																														
	２年																														
	３年																														
	４年																														

※対象となる英語プログラム

生物学類（2018年度以前入学者）、生物資源学類、地球学類（2019年度以前入学者）、社会・国際学群、総合理工学位プログラム（2020年度以前入学者）、医学群（2022年度以前編入者）、
地球規模課題学位プログラム（2021年度以前入学者）

令和８年度固定時間割（英語プログラム用②※1）

時限		月						火						水						木						金					
		春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C	春A	春B	春C	秋A	秋B	秋C
1	１年																第1外国語（日本語）						体育（社会・国際・生命・総合理工・BPGI）								
	２年																														
	３年																						体育（医療）								
	４年																														
2	１年													第1外国語（日本語）						体育（社会・国際）						体育（生命）					
	２年																						体育（社会・国際）			体育（BPGI）			体育（生命）		
	３年																												体育（BPGI）		
	４年																														
3	１年	第1外国語（日本語）			第1外国語（日本語）			データサイエンス			情報リテラシー（講義）	情報リテラシー（演習）								体育（総合理工）							第1外国語（日本語）				
	２年																			体育（総合理工）			体育（総合理工）								
	３年																			体育（医療）			体育（総合理工）								
	４年																						体育（医療）								
4	１年	芸術（日本画実習）						データサイエンス			情報リテラシー（講義）	情報リテラシー（演習）																	第1外国語（日本語）		
	２年																						芸術（塑造実習）								
	３年																														
	４年																														
5	１年	芸術（日本画実習）																					芸術（塑造実習）								
	２年																														
	３年																														
	４年																														
6	１年																														
	２年																														
	３年																														
	４年																														

※1.　対象となる英語プログラム

生物学類（2019年度以降入学者）、生物資源学類、地球学類（2020年度以降入学者）、社会・国際学群、総合理工学位プログラム（2021年度以降入学者）、医学群（2023年度以降編入者）、地球規模課題学位プログラム（2022年度以降入学者）

※2.「学問への誘い」は、当面は秋Aモジュール開講の「応談」で実施することとし、固定の曜時限は定めません。

開設母体

要件
全学群対象

全学群対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB00221	哲学通論BII	1	1.0	2	秋AB	木4	清水 洋貴	哲学の基本問題について概説する。	全学対象 *哲学通論AII,CII,DIIと同一科目 対面
AB00311	哲学通論CI	1	1.0	2	春AB	木5	馬場 智理	哲学の基本問題について概説する。	全学対象 *哲学通論AI,BI,DIと同一科目 対面
BB00101	日本国憲法	1	2.0	2	秋AB	金4,5	秋山 肇,樋口 惟月	憲法の基本原理と構造を概説する。学生が、憲法の基礎知識を身につけ、社会や日常生活におけるさまざまなケースで、憲法の視点から主体的に考える能力を養うことを目標にする。	比較・日日・生物・資源対象 オンライン(オンデマンド型)
BB00201	日本国憲法	1	2.0	2	春AB	火3,4	春藤 優	憲法の基本原理と構造を概説する。学生が、憲法の基礎知識を身につけ、社会や日常生活におけるさまざまなケースで、憲法の視点から主体的に考える能力を養うことを目標にする。	教育・心理・障害・地球・数学・物理・化学対象 オンライン(オンデマンド型)
BB00301	日本国憲法	1	2.0	1	夏季休業中	集中	古屋 等	憲法の基本原理と構造を概説する。学生が、憲法の基礎知識を身につけ、社会や日常生活におけるさまざまなケースで、憲法の視点から主体的に考える能力を養うことを目標にする。	体育・看護・医療対象 詳細後日周知 オンライン(オンデマンド型)
BB00401	日本国憲法	1	2.0	1	春季休業中	集中	古木 凌	憲法の基本原理と構造を概説する。学生が、憲法の基礎知識を身につけ、社会や日常生活におけるさまざまなケースで、憲法の視点から主体的に考える能力を養うことを目標にする。	芸術・総合学域群対象 詳細後日周知 オンライン(オンデマンド型) 履修申請期間は掲示にて周知する。
BB00501	日本国憲法	1	2.0	1・3	夏季休業中	集中	田村 翔	憲法の基本原理と構造を概説する。学生が、憲法の基礎知識を身につけ、社会や日常生活におけるさまざまなケースで、憲法の視点から主体的に考える能力を養うことを目標にする。	人文(3年次)・ 国際・応理・エシス・社工・情報・創成・知識(1年次)・総合学域群対象 詳細後日周知 オンライン(オンデマンド型) 履修申請期間は掲示にて周知する。
BB00601	日本国憲法	1	2.0	2	夏季休業中	集中	平松 直登	憲法の基本原理と構造を概説する。学生が、憲法の基礎知識を身につけ、社会や日常生活におけるさまざまなケースで、憲法の視点から主体的に考える能力を養うことを目標にする。	全学対象 (2年次以上) 詳細後日周知 オンライン(オンデマンド型) 履修申請期間は掲示にて周知する。

２．専門導入科目（再掲）

専門導入科目は、各学群・学類の専門基礎・専門科目から「専門導入科目」を再掲載したものです。

専門導入科目の履修には、事前登録が必要になります。また、複数クラスで開講する専門導入科目（数学・物理・化学）は、科目番号がクラス毎に分かれますが、事前登録はこの一覧に掲載の科目番号で行ってください。

事前登録の詳細については、別冊子の『「履修／事前登録」案内』を参照してください。

開設母体

要件
専門導入科目(事前登録対象)

専門導入科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB50A11	哲学・宗教学入門	1	1.0	1	秋AB	月2	西村 雄太,土井 裕人,津崎 良典	哲学と宗教学の専門的な理解への導入として、必要な概念や方法について学ぶ。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) オンライン(同時双方向型)
AB50B11	史学入門	1	1.0	1	春BC	NT	岩田 啓介,上田 裕之,柴田 大輔,清水 克志,田中 友香理,三谷 芳幸,村上 宏昭,山本 孟	歴史学研究の基礎について講義する。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
AB50C11	考古学・民俗学入門	1	1.0	1	春BC	NT	滝沢 誠,板橋 悠,谷口 陽子,前田 修,中野 泰,武井 基晃,中村 友香	先史学・考古学・民俗学・文化人類学の基本的な考え方や基礎的な知識、研究の方法論を学ぶ。フィールドワークに基づいて生活文化の総体的理解を深め、物質文化資料や、人々の生活の観察・対話を通じて、過去と現在の人間社会の営みや多様性を考察する方法を身に付ける。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 詳細はmanabaで後日周知
AB50E11	言語分析入門	1	1.0	1	秋AB	NT	小野 雄一,小泉 利恵,田川 拓海	言語に関する基礎的な知識を身に付けるとともに、語彙、文法、意味、使用、習得などについて言語学的に分析するというのはどういうことなのかを知り、実際に言語分析を行うための基礎を養成する。日本語と英語を主な分析対象言語として取りあげる。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
AB50F11	個別言語学入門	1	1.0	1	春BC	NT	佐々木 勲人,黄 賢暻,菊池 そのみ	日本語、中国語、韓国語など東アジアの言語を例にして、個別言語分析の事例を紹介し、言語研究がどのようなものであるかを考える。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
AC56011	日本・アジア領域比較文化研究	1	1.0	1	春BC	木3	長尾 宗典,馬場 美佳,横山 剛,山澤 学,吉森 佳奈子,茂野 智大,稀代 麻也子,山本 真	比較文化学類の日本・アジア領域における文化研究のエッセンスを学修し、文化研究に対する履修者各自の問題意識を深める。	専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
AC56021	英米・ヨーロッパ領域比較文化研究	1	1.0	1	秋AB	金4	馬籠 清子,佐藤 千登勢,加藤 百合,秋山 学,宮﨑 和夫,津田 博司,阿部 幸大,相馬 尚之	比較文化学類の英米・ヨーロッパ領域における文化研究のエッセンスを学修し、文化研究に対する履修者各自の問題意識を深める。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
AC56031	フィールド文化領域比較文化研究	1	1.0	1	春A	火1,2	森本 健弘,塩谷 哲史,木村 周平,松井 圭介,久保 倫子,佐本 英規,渡部 圭一	比較文化学類のフィールド文化領域における文化研究のエッセンスを学修し、文化研究に対する履修者各自の問題意識を深める。	専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
AC56041	表現文化領域比較文化研究	1	1.0	1	秋AB	金6	吉原 ゆかり,小川 美登里,齋藤 一,江藤 光紀,平石 典子,三原 鉄也,ヘーゼルハウス,ヘラト,佐藤 嘉幸,五月女 颯	文化理論、社会理論、比較文学の手法、ポストコロニアル批評、音楽の社会的役割、エコクリティークの手法などに注目しながら、文化や表現、現代的課題についてオムニバス形式で様々な視点から考える。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
AC56051	文化科学領域比較文化研究	1	1.0	1	秋AB	木5	山口 有梨沙,濱田 真,廣瀬 浩司,山口 恵里子,対馬 美千子,白戸 健一郎,カテライ アメリア	比較文化研究について、先端文化学の観点と情報文化学の観点から、代表的な研究を紹介しながら考察する。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
AC56061	思想文化領域比較文化研究	1	1.0	1	春B	火5,6	太田 紘史,平野 貴大,井川 義次,嚴 錫仁,木村 武史	比較文化学類の思想文化領域における文化研究のエッセンスを学修し、文化研究に対する履修者各自の問題意識を深める。 現代哲学、倫理学、東洋思想の諸分野のトピックを概説しながら、現代社会との接点を考える(現代思想コース)。聖典の宗教と口承伝統文化の宗教、また社会的宗教と他界的宗教を対比して、複眼的な宗教理解をめざす(比較宗教コース)。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AE56A11	共生のための社会言語学	1	1.0	1	秋AB	火2	澤田 浩子	多文化社会において生じる「ことば」に関する課題を取り上げながら、社会言語学の基礎的知見を学ぶとともに、ステレオタイプやジェンダーの問題を通して共生社会のあり方を考える。	オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象)
AE56A21	共生のための日本語教育	1	1.0	1	春A	木5,6	田中 祐輔	外国人受け入れが本格化する日本社会における外国人との共生に関して、日本語・コミュニケーションという観点から状況を捉え考える力を育成する。また、外国人日本語学習者に対する誤解について、言語学や第二言語習得研究の成果を元に再考し、多様な日本語話者の存在と日本語教育に関する理解を深める。	オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象)
AE56A31	共生のための人類学	1	1.0	1	春BC	火1	鈴木 伸隆	文化の異なる人々との共生を考える上で、文化的多様性の尊重は重要である。この授業では、文化相対主義、ジェンダー、コミュニティ、エスニシティ、ネーション、アイデンティティ、オリエンタリズム、寛容さといった基本的な概念を人類学的視点から分析することで、未来に向けた共生のあり方を理解する。	オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象)
AE56A41	共生のための歴史学	1	1.0	1	春BC	金3	朴 宣美	近現代日本における多文化社会の形成と変遷について歴史学の視点から考察する。	オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象)
AE56A61	日本文学と文化	1	1.0	1	秋AB	火1	江口 真規,石田 尊	この授業では、人文学の中で日本文学と文化の研究がどのように位置づけられるのかを概説する。文学作品や文化事象を考察するための基本的な研究手法や最新の研究動向を踏まえ、内外の視点を交えて批判的に分析する方法の修得を目指す。	オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象)
BB05011	社会学の最前線	1	1.0	1	秋AB	木6	社会学主専攻全教員	各教員が現在取り組んでいる研究を題材に、社会学研究の最前線を示す。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
BB05021	法学の最前線	1	1.0	1	秋AB	水6	法学主専攻全教員	社会生活上、話題となっている論点を題材にして法学的視点から解説します。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
BB05031	政治学の最前線	1	1.0	1	春A	月1,2	政治学主専攻全教員	具体的なトピックをいくつか取り上げ、政治学の研究のあり方の一端を紹介する。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 受講方法はmanabaで指示する。
BB05041	経済学の最前線	1	1.0	1	春B	木5,6	福住 多一,平沢 照雄,高橋 秀直,田中 醇	経済学の知の更新は日々行われています。この講義ではその一端を紹介します。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
BC50111	国際学I	1	1.0	1	秋AB	金5	大友 貴史,川﨑 レスリー タック,大倉 沙江,日高 薫,佐藤 麻理絵,チョタニ ヴィンドゥ マイ	複雑化する国際的な諸現象は、様々な角度から分析することが可能である。本科目では、いくつかの異なるアプローチならびに特定の国、地域やイシューについての最も基本的な部分に焦点を当て、講義形式で学ぶ。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 「国際学概論I」および「国際学概論II」の単位を取得した者は履修不可。平成30年度以前の国際総合学類入学者に対しては、「国際学I」を「国際学概論I」に読替える。
BC50121	国際学II	1	1.0	1	春A	木3,4	柏木 健一,内藤 久裕,中野 優子,ラムダニ ファトゥワ,ブオングディン トゥアングエン	本科目は経済学分野の入り口としてのガイダンス科目である。日本経済、開発経済学、計量経済学、実証研究を含め、経済学の各分野での最新の研究を紹介する。また、その過程で、経済学の各分野の基本的な概念やその応用例を理解することを目標とする。講義と試験の一部は英語で行う。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 「国際学概論III」の単位を取得した者は履修不可。平成30年度以前の国際総合学類入学者に対しては、「国際学II」を「国際学概論III」に読替える。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BC50131	国際学III	1	1.0	1	秋AB	金3	松島 みどり,柴田 政子,関根 久雄,寺内 大左,藤澤 奈都穂	西洋中心の近代的価値観や諸制度を所与のものとすることなく、人間の文化の多様性を認識・尊重しながら異文化間における広い意味での「対話」を実現するための条件について、とくにグローバリズム、言語、教育、環境、経済などの基本的な概念をキーワードに考える。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 「国際学概論IV」の単位を取得した者は履修不可。平成30年度以前の国際総合学類入学者に対しては、「国際学III」を「国際学概論IV」に読替える。
BC50141	国際学IV	1	1.0	1	春B	金5,6	亀山 啓輔,高橋 伸,白川 直樹,奥島 真一郎	近年、情報通信技術(ICT)の発展は目覚ましく、文理問わず、国際舞台での活躍を目指す学生にとって必須の技術になるとともに、人間の社会生活にも大きな影響を及ぼしている。また、地球規模での環境・資源問題が深刻さを増しており、国際的課題として喫緊の対応が必要になっている。そこで本科目では、情報通信技術(ICT)と環境問題を考えるための視点や基礎的知識について学び、これらの話題についての理解を深める。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 「国際学概論V」の単位を取得した者は履修不可。平成30年度以前の国際総合学類入学者に対しては、「国際学IV」を「国際学概論V」に読替える。
CA10001	人間学I	1	1.0	1	春A	月1,2	人間学群長,高橋 阿貴,松田 壮一郎,藤 桂,徳永 智子,平井 悠介,田中 怜,大村 美保,山田 実,前原 和明	人間学の根底には、個と社会の結節点に人間を位置づけ、社会と人間との関係性を動的にとらえる見方が存在している。教育学、心理学、障害科学、の視点からなされる10名の教員によるオムニバス形式の講義を通じて、個としての人間、社会に生きる人間、人間と社会の関係性という側面を理解し、「人間とは」を多面的に学ぶ。	2021年度以前の人間学群入学者は,これを「人間学」の単位とする。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
CA10051	障害科学I	1	2.0	1	春BC	NT	林 小百合,ナイミ モハマド イドリス,魚野 翔太,河野 禎之,三盃 亜美,佐島 毅,宮本 昌子,柿澤 敏文,野呂 文行,小島 道生,小渕 千絵,飯村 大智,丹治 敬之,前原 和明,鈴木 寿人	人の感覚機能および諸認知機能の発達と障害に関する基礎的知識を教授する。前半は「生理・病理学の立場から障害科学を捉える」、後半は「心理学の立場から障害科学を捉える」で構成する。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
CA10061	障害科学II	1	2.0	1	秋AB	NT	王 青童,青木 瑞樹,左藤 敦子,名川 勝,佐々木 銀河,大村 美保,山中 克夫,米田 宏樹,岡 典子,八重田 淳,森地 徹,宮内 久絵,藤本 啓寛,石塚 祐香,山田 実,細川 大瑛,末吉 彩香	「障害科学」についての基礎的な知識を教授するとともに、その領域についての展望を提示する。前半は「障害原理論・特別支援教育学の立場から障害科学を捉える」、後半は「障害福祉学の立場から障害科学を捉える」で構成する。	専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
CA10201	人間学II	1	1.0	1・2	秋AB	NT	森地 徹,山口 一大,上田 孝典,石塚 祐香,外山 美樹,勝田 光,小渕 千絵,川上 直秋,長田 友紀	「人間学」は、個と社会との関係性を、教育学、心理学、障害科学の視点から、「人間とは何か」を多面的に学習してきた。「人間学IIは、個と社会との関係性を、教員のそれぞれの学問分野の研究実践から、「人間とは何か」を追究する。	学群コア科目(他学群学類にも開放) 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
CB11081	教育基礎論	1	2.0	1	春BC	金5,6	田中 マリア,平井 悠介,京免 徹雄	「教育問題」を講義の入り口に据え、教育学がそれをどのように扱っているのかを講ずる。日常を学問的な視点から捉え直す機会を与える。	教育学類学生は「学校の経営・制度・社会」と併せて受講すること。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) ※必修科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CB11091	学校の経営・制度・社会	1	2.0	1	秋AB	金5,6	小松 孝太郎,遠藤 優介,古田 雄一	教育の思想と理論、教育実践と方法、教育の制度と経営、人間形成と環境・文化の基礎的知識について概説する。	教育学類学生は「教育基礎論」と併せて受講すること。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) ※必修科目
CC11211	心理学概論	1	2.0	1	春BC	月1,2	山田 一夫,綾部 早穂,佐藤 有耕,松田 侑子,高橋 阿貴,川上 直秋,前澤 知輝	心理学の目的と方法,生物学的基礎,心理的発達,感覚,知覚,意識,学習,記憶,思考と言語,基本的動機,情動,知能,社会的認知,社会的相互作用について概説する。教科書として,Atkinson & Hilgard's Introduction to Psychology(約8,000円)を使用するので,受講生は必ず入手してください。	公認心理師科目。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
CC11221	心理学研究法	1	2.0	1	秋AB	月1,2	外山 美樹,佐藤 有耕,山田 一夫,高橋 阿貴,川上 直秋,安 婷婷,仲田 真理子,松田 壮一郎,前澤 知輝	広範な研究分野を持つ心理学が共通の基盤としている実証科学的な研究方法を解説する。	公認心理師科目。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
EB00021	生物学序説	1	1.0	1 - 3	春A	NT5,6	八畑 謙介,大橋 一晴,廣田 充,千葉 智樹,澤村 京一,岡根 泉,前田 義昌,松﨑 仁美,菊池 彰,中野 賢太郎,白鳥 峻志	本講義では、分子細胞生物学、遺伝学、進化系統学、生態学、動物および植物生理学など生物学全般について基礎から解説し、生物学の知識を身につけ生命現象についての理解を深めることをめざす。	総合学域群生の移行における生物学序説の扱いは、EB00001 、EB00011、及びEB00021、いずれも同等である。この科目の単位は生物学類の卒業要件とならない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
EB11131	系統分類・進化学概論	1	1.0	1	秋A	火1,2	石田 健一郎,中野 裕昭,中山 剛,出川 洋介,八畑 謙介,豊福 雅典,澤村 京一	生物学の基礎である生物の系統分類と進化について、教科書に沿って概説する。生物の多様性を生み出した進化の機構、および生物界全体の分類体系を、その基礎となる系統樹や地球環境の変遷等と関連付けながら概説する。また、進化学・分類学の歴史や生物分類に関する国際的なルールについても学ぶ。	専門導入科目(事前登録対象) 対面 英語の教科書使用
EB11221	分子細胞生物学概論	1	1.0	1	春B	木5,6	三浦 謙治,中田 和人,中野 賢太郎,稲葉 一男,千葉 智樹,野﨑 翔平,鶴田 文憲,石川 香,平川 泰久	分子細胞生物学領域に立脚した生命現象の基礎を複数教員のオムニバス形式の講義によって理解させる。特に、真核細胞(植物細胞と動物細胞)の構造と機能、細胞膜の構造と機能、細胞の運動と代謝、エネルギー産生、細胞内情報伝達、細胞分裂のメカニクス、細胞周期とその制御などを取り上げ、総合討論も実施する。	対面(オンライン併用型) 専門導入科目(事前登録対象) 英語の教科書使用
EB11311	遺伝学概論	1	1.0	1	春C	火5,6	澤村 京一,中村 幸治,小林 達彦,桑山 秀一,稲垣 祐司	親の性質を子が受けつぐ「遺伝」の現象はどのような仕組みか。また、どのような生体分子がそれを担っているのであろうか。この授業では生殖・減数分裂・染色体などの基本的事項、古典的なメンデル遺伝学から、遺伝情報の複製、発現および発現調節の分子機構、ゲノムテクノロジー、さらにはゲノムの進化について、キャンベルの教科書に沿って概説する。	専門導入科目(事前登録対象) 対面 英語の教科書使用
EB11611	生態学概論	1	1.0	1	秋A	木3,4	廣田 充,徳永 幸彦,横井 智之,大森 裕子	英文の教科書を用いて、生態学全般にわたる基礎知識を解説する。	専門導入科目(事前登録対象) 対面 英語の教科書使用
EB11721	動物生理学概論	1	1.0	1	秋B	火1,2	櫻井 啓輔,谷口 俊介,志賀 翔太,千葉 親文	動物は地球上の様々な環境にうまく適応して生きている。それは時に私たちの常識をはるかに超えている。本講義では、動物が様々な環境で直面する困難をどのように克服し生命活動を維持しているのかを学ぶ。初めに、食物、体温調節、呼吸、循環、浸透調節、排出に関わる問題に着目し、動物がこれらの問題を解決するために進化させた様々な仕組みの基本原理と多様性について学ぶ。次に、動物の行動を協調的に制御する内分泌系と神経系について学ぶ。さらに、生命活動を次世代につなぐ仕組み(生殖・発生)や防御する仕組み(免疫系)にも踏み込む。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(同時双方向型) 英語の教科書使用
EB11811	植物生理学概論	1	1.0	1	秋B	木3,4	小口 太一,三浦 謙治,菊池 彰,壽崎 拓哉,鈴木 石根,野﨑 翔平	様々な外部刺激により多様な生理反応を引き起こす植物について,主要な生理反応とその制御因子を中心に,植物生理学の基礎的事項を解説する。	対面(オンライン併用型) 専門導入科目(事前登録対象) 英語の教科書使用

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC12201	生物資源学にみる食品科学・技術の最前線	1	1.0	1	春BC	月2	粉川 美踏,北村 豊,吉田 滋樹,中島(神戸) 敏明,ダス ネヴェス マルコス アントニオ,市川 創作,原 田,トファエル アハメド	食料生産に係る学術や産業について,生物資源学類では,生化学的,工学的あるいは経済学的な分野・アプローチで学習・研究を進めている。各授業では,それぞれの分野の基礎知識を解説するとともに,それらを基盤として展開される教員の最新研究を紹介し,国内外の食料供給を支える生物資源学の役割を示す。	定員300名 専門導入科目(事前登録対象) 対面
EC12301	生物資源の開発・生産と持続利用	1	1.0	1	秋AB	水5	上條 隆志,浅野 敦之,興梠 克久,首藤 久人,菅谷 純子,福田 直也,古川 誠一,松倉 千昭,吉岡 洋輔	世界と日本の食料や森林資源の開発と生産の現状を概説し、それらの持続的利用のための課題と解決策について多面的に学習する。	定員300名 専門導入科目(事前登録対象) 対面
EC12401	生物資源と環境	1	1.0	1	秋AB	月2	野村 暢彦,山路 恵子,古川 誠一,浅野 眞希	21世紀は、環境の世紀である。よって、様々な環境課題・問題に対して、各専門分野が融合して取り組む「T型」連携が必須である。生物資源学類では、生物(微生物・植物等)・化学・工学・物理・経済・政策などのアプローチから環境に関わる研究を進めている。それらの基礎知識を解説すると共に、それらを展開する教員の最新研究を紹介しながら、生物資源と環境について学習する。	定員300名 専門導入科目(事前登録対象) 対面
EC12501	生物資源としての遺伝子とゲノム	1	1.0	1	秋AB	木5	内海 真生,高谷 直樹,木下 奈都子	私たちの健康や生活と密接に関係している遺伝子とゲノムの生物資源としての価値について、動物・植物・微生物・環境の視点から学習する。	定員300名 専門導入科目(事前登録対象) 対面
EE11151	地球環境学1	1	1.0	1	春BC	NT	日下 博幸,植田 宏昭,辻村 真貴,山中 勤,松下 文経,加藤 弘亮,釜江 陽一,ドアン グアン ヴァン	地球環境学の基礎を体系的に学ぶ。本講義では、はじめに、地球環境システム全体の概要説明を行う。その後、各論として大気・海洋システム、水循環システムの講義を行う。教科書は「地球環境学」(古今書院)。	「地球環境学A」修得済みの者は履修できない。主専攻必修科目.G科目. 専門導入科目(事前登録対象). 実務経験教員. オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 主専攻必修科目。 G科目
EE11161	地球環境学2	1	1.0	1	秋AB	NT	恩田 裕一,八反地 剛,関口 智寛,池田 敦,松井 圭介,森本 健弘,呉羽 正昭,山下 亜紀郎	地球環境学1に引き続き、地球環境学の基礎を体系的に学ぶ。地形、地生態システム、人間環境システム、人文地域システム、ならびに地球環境学の課題について講義する。教科書は「地球環境学」(古今書院)。	「地球環境学1」を履修していることが望ましい。「地球環境学B」修得済みの者は履修できない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 主専攻必修科目。 G科目
EE11251	地球進化学1	1	1.0	1	春BC	NT	藤野 滋弘,丸岡 照幸,鎌田 祥仁,氏家 恒太郎,上松 佐知子,藤﨑 渉	地球進化学の基礎講義である。惑星の進化と地球の内部構造、古生物、プレートテクトニクス及び地層について述べる。教科書は「改訂版地球進化学」(古今書院)。	「地球進化学A」修得済みの者は履修できない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 主専攻必修科目。 G科目
EE11261	地球進化学2	1	1.0	1	秋AB	木6	角替 敏昭,八木 勇治,黒澤 正紀,池端 慶	地球進化学の基礎講義である。地震、鉱物、変成岩および火成岩について述べる。教科書は「改訂版地球進化学」(古今書院)。	「地球進化学1」を履修していることが望ましい。「地球進化学B」修得済みの者は履修できない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) オンライン(同時双方向型) 主専攻必修科目。 G科目 確認テストは対面で実施

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FBA1451	数学概論	1	1.0	1	春BC	NT	山本 光	代数学,解析学,幾何学,情報数学の各分野の教員が,数学の美しさや楽しさをオムニバス講座で紹介する.	数学する楽しみ(1A12021) の単位を取得しているものは履修できない. 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 成績評価は合否 (P/F) にて判定する.
FCB1401	物理学概論	1	1.0	1	春C	金5,6	溝口 知成,新井田 貴文	物理学の各分野の研究内容やトピックスを平易に解説することで、物理学の全研究分野を概観する。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
FE11161	化学概論	1	1.0	1	春A	NT	沓村 憲樹,二瓶 雅之,岩崎 憲治,笹森 貴裕,坂口 綾,江波 進一,吉田 将人,中村 貴志,神戸 徹也,八木 清	化学類教員の無機合成化学、機能物質化学、放射化学、計算化学、大気物理化学、有機元素化学、生物有機化学、超分子化学、製薬化学、構造生物化学等の研究分野に関連した、自然界における普遍的な法則と未知物質・未知現象の探求、機能性物質の創製と材料開発、環境問題やエネルギー問題の解決、生命現象の解明等の具体的な話題について、オムニバス形式で平易に解説する。	専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
FF17011	応用理工学概論	1	1.0	1	春A	NT	応用理工学類長	この講義では、応用理工学類で行われている広範な先端研究をオムニバス形式の講義で紹介し、そこに至るまでの教育方針について説明します。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
FG16051	工学システム概論	1	1.0	1	春B	NT	磯部 大吾郎	工学システムの現状について幾つかの分野を選んで概説し、それ等を通して工学システムにおいて必要とされる基本的な考え方について学ぶ。	2019年度、2020年度入学の工学システム学類生で、工学システム概論(FG10641)の単位未修得の者は、この科目を履修すること。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
FH61111	経済学の数理	1	1.0	1	春B	水3,4	澤 亮治,阿武 秀和	経済・社会的状況を数理的にモデル化する基礎的な手法を学ぶ。主にゲーム理論およびマッチング理論を扱う。	選択必修科目(2019年度以降入学者) 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(対面併用型) オンライン(オンデマンド型)。確認テストは対面実施予定。
FH61121	経済学の実証	1	1.0	1	秋B	木3,4	小西 葉子	経済学の実証分析(データ分析)の基礎を学ぶ。	選択必修科目(2019年度以降入学者) 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(対面併用型) 確認テストは対面実施予定 「データ・AI 活用 企画・実施・評価」に資する内容である
FH61131	会計と経営	1	1.0	1	春A	木5,6	岡田 幸彦,高野 祐一	理工学群社会工学類への導入として、社会課題を発見・解決するために必須となる会計と経営の基礎知識を習得する。国家経営の最適化(社会経済システム主専攻)、企業経営の最適化(経営工学主専攻)、地域経営の最適化(都市計画主専攻)のために必要な最適限度の会計・経営の知識・スキルの水準を理解する。	選択必修科目(2019年度以降入学者) 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
FH61141	社会と最適化	1	1.0	1	秋A	水3,4	吉瀬 章子,繁野 麻衣子,繆 瑩,フン ドック トゥアン	持続性の高い社会を実現するためには、エネルギー・情報・サービス等の社会資源を最適に活用することが求められている。本講義ではさまざまな数理モデルを用いることで、社会資源がどのように最適に活用できるか、実際の事例に基づいて紹介する。	選択必修科目(2019年度以降入学者) 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(対面併用型) オンライン(オンデマンド型)。確認テストは対面で実施予定。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH61151	都市計画入門	1	1.0	1	春C	火5,6	藤井 さやか,雨宮 護,梅本 通孝,谷口 綾子,甲斐田 直子,山本 幸子	「都市計画」が扱う様々な分野を参照しながら,人々の安全で健康な暮らしと便利で快適な営みを実現するための都市計画の概要について学び,その役割と意義を理解する。	選択必修科目(2019年度以降入学者) 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(対面併用型) オンライン(オンデマンド型)。確認テストは対面実施予定。
FH61161	都市数理	1	1.0	1	秋B	水3,4	和田 健太郎,堤 盛人,鈴木 勉,太田 充,雨宮 護,牛島 光一,木下 陽平,浦田 淳司	都市や地域における様々な現象を数理モデルやデータ解析の手法によって理解するための入門的な方法論について講義する。	選択必修科目(2019年度以降入学者) 「データ・AI活用・企画・実施・評価」に資する内容である 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(対面併用型) オンライン(オンデマンド型)。確認テストは対面実施予定。
GA12111	知能と情報科学	1	1.0	1	春BC	火2	秋本 洋平,五十嵐 康彦,伊藤 誠,滝沢 穂高,山田 武志,合原 一究,二村 保徳,齊藤 秀,福地 一斗,宮本 昌幸	本講義では、大規模なデータ解析および数理アルゴリズムを基盤とし、計算機によって知的かつ高度に情報処理を行う技術について、その基礎から応用まで幅広く学習する。	2020年度までに開設された「知能と情報科学」(GA12101)の単位を修得した者の履修は認めない。 オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象)
GA12201	計算と情報科学	1	1.0	1	春C	木5,6	今倉 暁,町田 文雄,アランニャ,クラウス,塩川 浩昭,高橋 大介,長谷部 浩二,藤田 典久,堀江 和正,高橋 康博,鹿野 豊	情報科学分野の中のそれぞれの学問領域について,その計算的側面に関して概説する。内容は計算モデル、大規模計算、データマイニング、マルチエージェントシステム、データ駆動ネットワーキング、数値計算、遺伝的アルゴリズムなど。	オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象)
GA12301	システムと情報科学	1	1.0	1	秋B	火5,6	山口 佳樹,山際 伸一,佐藤 聡,西出 隆志,大山 恵弘	情報科学への導入となる基礎理論から応用までを概説し、専門的科目への導入としての基礎知識を習得する。本科目は特に、システムを中心に専門性を習得する上での事前知識となる原理や技術、理論について説明する。	オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象)
GA12401	情報科学概論	1	1.0	1	春B	金5,6	亀山 幸義,叶 秀彩,飯塚 里志,天笠 俊之,國廣 昇,辻 美和子,永谷 圭司	情報科学は,情報の基礎理論からスーパーコンピュータやインターネット技術,人工知能までを含む幅広い学問分野である.本講義では,情報科学の中で,これからのディジタル社会を支える基本技術に焦点をあてて学習する.	オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象)
GA13401	情報メディア入門	1	1.0	1	春A	金5,6	木村 成伴,川口 一画	情報メディア入門では情報メディア創成学類の専門領域としての学問分野を概観する。特に、様々な形態の情報メディアの具体例や、基盤となる技術、メディアに接する人間の認知特性について学ぶ。トピックとしては、画像・映像メディアと可視化、音楽・音響メディア、インタラクティブメディア、ロボット、認知科学とヒューマンインタフェース、プログラミング言語とその処理基盤、ネットワークとその利用形態に関するインターネットサイエンスなどから五つ程度が選ばれる。	2019年度以降の入学者対象。情報メディア入門 A,B,C(GA13101,GA13201,GA13301)、情報メディア概論(GC15101)、教養と科学(GC10112,GC10122)のいずれかを修得済みの者は不可。 オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GA13501	コンテンツ入門	1	2.0	1	秋AB	金5,6	陳 漢雄,金 尚泰,落合 陽一,李 晶晶	情報メディア創成学類の専門領域としての各学問分野を概観する。前半5週では、メディアアート、グラフィックデザイン、メタデータ、データ工学とデータベース、音響・音楽情報処理、認知心理学、数理と情報技術などの学問分野を概観する。後半5週では、メディア・コンテンツ産業の潮流や社会的ニーズを理解するため、第一線で活躍するクリエータ、プロデューサ、エンジニアを講師にお招きし、最先端の創作活動や最新のビジネス動向を議論する。	2019年度以降の入学者対象。情報メディア入門 A,B,C(GA13101,GA13201,GA13301)、コンテンツ応用論 (GA10301,GC14301)、情報メディア概論 (GC15101)、教養と科学(GC10112,GC10122)のいずれかを修得済みの者は不可。 オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象)
GA14111	知識情報概論	1	1.0	1	春A	火1,2	宇陀 則彦	知識情報・図書館学類を理解するために、図書館情報学から知識情報学への歴史的展開について説明し、知識共有に関連する諸概念を解説する。知識は何かに記録し、保存しなければすぐに消えてしまう。今この瞬間にも知識は生まれ、消えていく。記録された知識だけが時間と空間を超えられる。人々が知識を共有し、新しい知識を形成していくという現象は人間社会の普遍的営みである。知識情報学は記録を介した知識共有現象を解明する学問である。	(GA14121)の単位修得済みの者は履修不可。 オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象)
GA14121	知識情報概論	1	1.0	1	秋AB	月2	宇陀 則彦	知識情報・図書館学類を理解するために、図書館情報学から知識情報学への歴史的展開について説明し、知識共有に関連する諸概念を解説する。知識は何かに記録し、保存しなければすぐに消えてしまう。今この瞬間にも知識は生まれ、消えていく。記録された知識だけが時間と空間を超えられる。人々が知識を共有し、新しい知識を形成していくという現象は人間社会の普遍的営みである。知識情報学は記録を介した知識共有現象を解明する学問である。	(GA14111)の単位修得済みの者は履修不可。 オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象)
GA14201	知識情報システム概説	1	1.0	1	春BC	木4	阪口 哲男,鈴木 伸崇,関 洋平	ネットワーク社会における知識の構造化、提供、共有のための枠組みについて講義する。	オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員
GA14301	図書館概論	1	2.0	1	秋AB	木3,4	吉田 右子	図書館とは何かについて概説し、これからの図書館の在り方を考える。図書館の歴史と現状、機能と社会的意義、館種別図書館と利用者、図書館職員、類縁機関と関係団体、図書館の課題と展望等について幅広く学ぶ。	オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象)
HB21141	行動生理学の基礎	1	1.0	1	春BC	NT	櫻井 武	動物の行動制御の観点からシステムとしての神経系機能の役割とその作動メカニズムを比較的最近の研究成果をまじえて解説する。大脳皮質と高次機能、大脳辺縁系と情動、大脳基底核と運動、報酬系、摂食行動の制御機構、睡眠覚醒の生理に関して概説する。	【受入上限数250名】 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
HB21161	放射線と生命―人体への影響と医療への貢献―	1	1.0	1	秋AB	NT	櫻井 英幸,磯辺 智範,熊田 博明	1895年にレントゲンがエックス線を発見して以来、放射線が引き起こす物理的および生物学的現象について様々な研究が行われてきた。同時に、放射線を利用することで医学は急速に進歩し、今や医療に放射線は不可欠な存在である。本科目では、「放射線とは何か」から出発し、まずその物理的な特質や相互作用とともに、生物学的効果につき解説する。さらに、福島原発事故以来注目を集めている生活環境での人体への放射線の影響について述べる。後半では、様々な放射線をどのように作り出して利用しているのかを述べ、近年目覚ましい発展を遂げている放射線診断やがん放射線治療において、放射線はどのように利用され医療に貢献しているのかを解説する。	【受入上限数180名】 専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
HB21171	神経回路研究の最前線	1	1.0	1	秋AB	月2	桝 正幸	私たちの脳活動の基礎となる神経回路がどのように作られ、どのように働くのかを、新しい研究成果も含めて概説する。	【受入上限数180名】 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 確認テストのみ対面で実施(教室:5C301)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
HB21181	脳神経疾患の概略を理解する	1	1.0	1	秋AB	NT	斉木 臣二,中馬越 清隆,冨所 康志,塩谷 彩子,藤巻 基紀,片浦 哲志	超高齢社会を迎えてアルツハイマー病やパーキンソン病などの神経変性疾患患者数が増加している。これらを含む、頻度の高い神経疾患について概説するとともに、加齢の分子機構との関係、および神経症候との関連について平易に説明する。	【受入上限数180名】 専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
HB21191	臨床感覚器学	1	1.0	1	秋AB	NT	藤井 慶太郎	種々の感覚(聴覚・視覚・嗅覚・味覚など)にスポットを当て,それぞれの感覚をどのようにして感じているのかを学ぶ。感覚器の構造・機能を理解し,それらが失われたときの状態について理解を深める。	【受入上限数180名】 専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
HB21201	形成外科学入門	1	1.0	1	秋AB	NT	関堂 充,佐々木 薫,渋谷 陽一郎,大島 純弥,相原 有希子,藤田 裕季子	形成外科とは体表の異常、変形、機能を扱う外科である。再建外科・美容外科もその一分野である。人間にとって外観の変形は重要な問題であり、精神状況、社会生活にも大きな影響を及ぼす。当講座では先天異常、外傷、手術などによる変形、欠損、美容的な修正などにつき臨床例とともに講義する。	【受入上限数180名】 専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
HB21211	医科生化学	1	2.0	1	春BC	火1,2	七野 悠一,入江 賢児,福田 綾,桝 和子,岡田 拓也	生体物質の構造、性質、代謝を知ることによって人体がどのような物質から成り立っているのかを理解させる。また、それらの物質が生体システムの中でどのような働きをし、それがどのように制御されることによって正常な生命現象が営まれているのかを教授する。同時に様々な病態の生化学的理解を深める。	【受入上限数220名】 専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型) 確認テストのみ対面で実施(教室:5C213)
HB21221	医科分子生物学	1	2.0	1	秋AB	火1,2	入江 賢児,水野 智亮	生命の基本単位である細胞の構造と機能、遺伝子の構造、遺伝子発現の調節機構、細胞を制御する機構を学習し、ヒトの発育や環境の変化に対応した生命活動の機構や遺伝について理解する。	【受入上限数220名】 専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型) 確認テストのみ対面で実施(教室:5C213)
HB21231	スポーツ医学とは?フロントランナーに聞いてみよう!!	1	1.0	1	秋C	NT	中尾 砂理,鎌田 浩史,下山 寛之,中田 由夫,渡部 厚一,和田 恒彦,福田 崇,羽田 康司,髙橋 英幸,竹越 一博	スポーツ医学のフロントラインで教育・研究をおこなっている教員より、その最新の医学事情を学び、今後のスポーツ分野あるいは医療分野においてスポーツ医学の果たす役割について理解する。	【受入上限数180名】 専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
HB31131	基礎医学研究の最前線	1	1.0	1	春BC	NT	工藤 崇,水野 智亮	筑波大学における最先端の基礎医学研究の実際について学び、その意義と重要性を考える。	【受入上限数220名】 専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
HC21071	人体機能学	1	2.0	1	春BC	木3,4	小金澤 禎史,山田 洋,櫻井 武,征矢 晋吾,平野 有沙,櫻井 勝康,齊藤 夕貴	人体の生理機能について総合的な理解力を養う。	専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
HC21081	人体構造学	1	2.0	1	春BC	水3,4	工藤 崇,武井 陽介,岩田 卓,森川 桃,吉原 雅大,佐々木 哲也	人体を構成する運動器、神経系、内臓について、細胞・組織レベルから肉眼レベルまで、説明できるようになる。	専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
HC30071	看護生命倫理	1	1.0	1	秋B	NT	落合 亮太,岡山 久代,山下 美智代	現代社会では、生命科学や医療の進歩により人間の生存にかかわる多くの問題が生じている。これらの問題は生命科学・医療・法律・倫理・哲学などの多くの側面から検討することが必要である。本講義は、これらの諸問題に関して、看護学の視点から論じ、看護実践の場でどのように活かすか理解を深める。	専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
HC30141	基礎看護学概論	1	1.0	1	春A	水3,4	落合 亮太	看護学の初学者として、看護の基本概念とその関係について学ぶと共に、看護の歴史的な変遷や社会における看護の役割や機能についても理解し、自らの看護観を構築していくための手がかりとする。また、現代の看護学を支えている代表的な理論について学習する。	専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(対面併用型)
HC31081	公衆衛生看護学概論	1	2.0	1	秋AB	木5,6	白谷 佳恵,井坂 ゆかり	公衆衛生看護学の理念と目標を理解し、地域で生活する人々への健康支援における公衆衛生看護学の基本的な概念や特徴を学習する。さらに、地域を基盤とした予防活動の実際と公衆衛生看護が展開される場の特性における看護の役割について理解する。	専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(対面併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
HC33011	精神看護学概論	1	1.0	1	秋C	木5,6	菅谷 智一	精神看護の基礎となる理論を学ぶとともに精神看護の目的及び看護の役割について学ぶ。	専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 対面
HC34001	高齢者看護学概論	1	1.0	1	秋B	水3,4	橋爪 祐美	加齢に伴う心身機能への影響や社会的特徴、日本の高齢者保健医療福祉の動向と施策を概観し、高齢者ケアの特徴と役割を理解する。ヘルスプロモーション、介護予防、加齢と複合した慢性疾患や不完全な回復のなかで自立した生活を送り、安らかなエンドオブライフを迎えるためのケアを理解する。人権の尊重を基盤にヘルスプロモーションと安寧の向上を意図したケアの理解を通して、専門的立場から果しえる役割を学ぶ。	専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
HC36191	生涯発達と家族支援	1	2.0	1	春BC	火5,6	水野 道代,青木 真希子,安梅 勅江,岡山 久代,橋爪 祐美,目 麻里子	人間の成長・発達・加齢の過程の特徴を生涯発達の考え方に基づき多面的に理解した上で、人間の発達段階および発達課題に応じた援助の方法について学ぶ。また、家族看護の視点から家族の位置づけや役割・機能について理解しながら家族支援のあり方を学ぶ。	専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
HE21001	医学史	1	1.0	1	秋AB	月2	三木 春香,森川 一也,高橋 智,磯辺 智範,松原 大祐,鈴木 裕之,関根 郁夫,菅野 幸子,市川 政雄,藤井 猛雄	歴史は現代と未来の礎である。医療史では、医療が発展してきた時代背景を理解し、それに寄与した顕著な人物の功績を辿りながら、医療の体系と展望を各分野からの視点で紹介する。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
HE21051	医療・生命科学とテクノロジー	1	1.0	1	春BC	金3	磯辺 智範,渋谷 和子,川口 敦史,榮 武二,野口 恵美子,西村 健,森川 一也,三好 浩稔,大林 典彦,柴綾	科学は多くのテクノロジーの発達とともに発展してきており、医療も例外ではない。医療分野では、目で見えないものを可視化する、生体の機能や情報を明らかにする、あるいは失われた身体の機能を回復するためのテクノロジーが駆使されている。そこで、この科目ではテクノロジーに焦点をあて、それらが明らかにしてきた生命の姿や病態、および最新の診断・治療技術への繋がりについて解説する。	専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
HE35071	医療科学概論	1	1.0	1	秋AB	金4	三好 浩稔,森川 一也,岡田 浩介,渋谷 和子,安孫子ユミ,小原 直,森戸 直記	医療の現状を臨床検査医学の視座から俯瞰しながら、医療の進歩および医療が抱える諸問題の解決に不可欠な医療科学的センスを涵養する。また、医療科学を習得した臨床検査技師をはじめとするメディカルメディカルサイエンティストが活躍する場の多様性と醍醐味も教授する。	専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
W160511	スポーツの技術を自然科学から考える	1	1.0	1	秋AB	月1	角田 憲治,麻見 直美,小野 誠司,木塚 朝博,松井 崇,藤井 直人,小池 関也,仙石 泰雄,榎本 靖士,中田 由夫,佐渡 夏紀	ヒトのからだの構造とスポーツの技術,バイオメカニクス,生理学,からだの老化などからスポーツ技術を論じるとともに,スポーツと体力,スポーツと栄養,スポーツ障害などについて考える。	専門導入科目(事前登録対象) 対面 オンライン(オンデマンド型)
W160521	オリンピック・スタディーズ	1	1.0	1	春BC	月2	大林 太朗,宮崎 明世,成瀬 和弥,仙石 泰雄,渡部 厚一,嵯峨 寿,福田 崇,澤江 幸則,深澤 浩洋	オリンピックの理念、歴史、マーケティング、スポンサー、レガシー、文化プログラムなど、競技以外の側面について広く学び、オリンピックの総合的理解をうながす。	専門導入科目(事前登録対象) 対面
W160531	スポーツの技術を人文社会科学から考える	1	1.0	1	春BC	月1	長谷川 悦示,國部 雅大,深澤 浩洋,坂本 拓弥,仲澤 眞,成瀬 和弥,大石 純子,大林 太朗,齊藤 まゆみ,中村 剛	スポーツの技術について,技術とは何か,ドーピングと倫理,スポーツとルール,スポーツの文化史,スポーツの学び方・教え方,スポーツと心理,日本人の技術観など,人文社会学的側面からアプローチする。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
YAX2011	アート&デザイン入門	1	1.0	1・2	春BC	月2	川島 史也,寺門 臨太郎,石﨑 和宏,仏山 輝美,齋藤 敏寿,野中 勝利	造形表現および理論研究における各専門領域から、アートとデザインの世界について講述する。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YAX2021	芸術と文化	1	1.0	1・2	秋AB	月1	山本 浩之,水野 裕史,武田 一文,福満 正志郎,田島 直樹,大原 央聡,菅野 智明,上浦 佑太,宮原 克人,小野 裕子	芸術における歴史・理論研究、創作活動を実践的に行う専門領域の視点から、文化としての役割について講述する。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
YAX2031	芸術と社会	1	1.0	1・2	秋AB	月2	直江 俊雄,山田 博之,山田 協太,加藤 研,菅野 圭祐,大友 邦子,原 忠信,林 みちこ	芸術における社会的役割について、教育・デザインを通じての多様な活動と可能性について講述する。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)

複数クラスで開講する専門導入科目(数学) 理工学群開設 ➡ 履修するクラス情報は、理工学群共通(数学)のページで確認してください

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FA01111	数学リテラシー1	1	1.0	1	春A	火5 金3	前島 展也	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー1では,集合と写像についての基本事項,2次の行列と一次変換などについて学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01111を選択して登録すること.応用理工学類(学籍番号奇数)の学生はこのクラスを受講すること.※線形代数I(FBA11X1(X=1,...,5)),解析学IA(FF17114,FF17124),線形代数A(FG10504,FG10514),線形代数B(FG10524,FG10534),線形代数I(FH60611,FH60621)の単位を取得している者は履修できない. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01211	数学リテラシー2	1	1.0	1	春B	火5,6	前島 展也	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー2では,各種の空間図形,空間ベクトル,数列や関数の極限を厳密に議論するためのイプシロン・デルタ論法の初歩を学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01211を選択して登録すること.応用理工学類(学籍番号奇数)の学生はこのクラスを受講すること.※数学基礎(FBA1011),解析学IA(FF17114,FF17124),解析学I(FG10314,FG10324),微積分I(FH60511,FH60521,FH60531)の単位を取得している者は履修できない. 専門導入科目(事前登録対象) 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FA01311	微積分1	1	1.0	1	春BC	月2	金澤 研	1変数関数の微分法,積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01311を選択して登録すること.応用理工学類(学籍番号奇数)の学生はこのクラスを受講すること.※微積分I(FBA10X1(X=2,...,6),FBA14X1(X=6,...,9)),解析学IA(FF17114,FF17124),解析学I(FG10314,FG10324),微積分I(FH60511,FH60521,FH60531)の単位を取得している者は履修できない. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01411	微積分2	1	1.0	1	秋AB	金3	茂木 裕幸	微積分1の続きとして,多変数関数の微分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01411を選択して登録すること.応用理工学類(学籍番号奇数)の学生はこのクラスを受講すること.※微積分I(FBA10X1(X=2,...,6)),微積分II(FBA15X1(X=0,...,3)),解析学IB(FF17214,FF17224),解析学I(FG10314,FG10324),微積分II(FH60541,FH60551)の単位を取得している者は履修できない. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01511	微積分3	1	1.0	1	秋C	水5 金3	大井川 治宏	微積分1,2の続きとして,多変数関数の積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01511を選択して登録すること.応用理工学類(学籍番号奇数)の学生はこのクラスを受講すること.※微積分II(FBA1XY1(XY=07,08,09,10)),微積分III(FBA15X1(X=4,...,7)),解析学IB(FF17214,FF17224),解析学II(FG10354,FG10364),微積分II(FH60541,FH60551)の単位を取得している者は履修できない. 専門導入科目(事前登録対象) 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FA01611	線形代数1	1	1.0	1	春BC	金3	牧村 哲也	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.行列演算,連立1次方程式,行列式.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01611を選択して登録すること.応用理工学類(学籍番号奇数)の学生はこのクラスを受講すること.※線形代数I(FBA11X1(X=1,...,5),FBA1XY1(XY=58,59,60,61)),線形代数IA(FF17314,FF17324),線形代数A(FG10504,FG10514),線形代数I(FH60611,FH60621)の単位を取得している者は履修できない. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01711	線形代数2	1	1.0	1	秋AB	水5	白木 賢太郎	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.ベクトル,線形空間,線形写像.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01711を選択して登録すること.応用理工学類(学籍番号奇数)の学生はこのクラスを受講すること.※線形代数I(FBA11X1(X=1,...,5)),線形代数II(FBA16X1(X=2,...,5)),線形代数IA(FF17314,FF17324),線形代数IB(FF17414,FF17424),線形代数A(FG10504,FG10514),線形代数II(FH60641,FH60651)の単位を取得している者は履修できない. 専門導入科目(事前登録対象) 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FA01811	線形代数3	1	1.0	1	秋C	月2 水4	奥村 宏典	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.固有値・固有ベクトル,対称行列,2次形式とその応用.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01811を選択して登録すること.応用理工学類(学籍番号奇数)の学生はこのクラスを受講すること.※線形代数II(FBA11X1(X=6,...,9)),線形代数III(FBA16X1(X=6,...,9)),線形代数IB(FF17414,FF17424),線形代数A(FG10504,FG10514),線形代数II(FH60641,FH60651)の単位を取得している者は履修できない. 専門導入科目(事前登録対象) 対面

複数クラスで開講する専門導入科目(物理) 物理学類開設 ➡ 履修するクラス情報は、物理学類のページで確認してください

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FCB1201	力学1	1	1.0	1	春B	水5,6	武若 聡,岡田 晋,都甲 薫,新里 高行	質点の運動(1次元・2次元の運動,振動等)を記述する運動方程式(微分方程式)とその解を学び,運動の特性を理解する.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FCB1201を選択して登録すること。応用理工学類・工学システム学類の学生はこのクラスを受講すること。原則として平成31年度以降入学者向け。力学A (FF17514, FF17524)、力学I (FG10414, FG10424)、力学1(FCB1014、FCB1024)、力学A((FC11014、FC11024)」、基礎力学A(FC11134)を履修済みの者は履修できない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 基本的に授業はオンライン(オンデマンド型)で行い、確認テストは対面で実施する。
FCB1241	力学2	1	1.0	1	春C	水5,6	金 熙榮	「力学1」に引き続いて、質点の運動を通しての自然認識を理解することを目的とする。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FCB1241を選択して登録すること。応用理工学類・工学システム学類の学生はこのクラスを受講すること。原則として平成31年度以降入学者向け。力学A (FF17514, FF17524)、力学I (FG10414, FG10424)、力学1(FCB1014、FCB1024)、力学B(FC11034、FC11044)、基礎力学B(FC11144)を履修済みの者は履修できない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 基本的に授業はオンライン(オンデマンド型)で行い、確認テストは対面で実施する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FCB1271	力学3	1	1.0	1	秋AB	水6	金谷 和至	現代科学の根幹をなす力学に関して、物理学法則の基礎的な概念を学習し、その解析法を習得する。特に、剛体の運動、非慣性系での力学、弦の振動と波動について学習する。さらに演習を通して具体的な計算を行う。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FCB1271を選択して登録すること。物理学類、化学類、数学類、地球学類、生物学類の学生はこのクラスを受講すること。原則として平成31年度以降入学者向け。力学A (FF17514, FF17524)、力学II (FG10454, FG10464) 、力学2(FCB1034、FCB1044)、力学C(FC11054、C11064)、基礎力学C(FC11154)を履修済みの者は履修できない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 基本的に授業はオンライン(オンデマンド型)で行い、確認テストは対面で実施する。
FCB1301	電磁気学1	1	1.0	1	秋A	火5,6	安芸 裕久	物理学の基本的な概念である「場」に基づく自然認識の基礎として、電磁気現象とそれを支配する法則、および電磁場の記述に必要な数学(多次元の微分・積分、ベクトル解析など)を学ぶ。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FCB1301を選択して登録すること。総合学域群の学生はこのクラスを受講すること。原則として平成31年度以降入学者向け。電磁気学A (FF18114, FF18124)、電磁気学I (FG10484, FG10494)、電磁気学1(FCB1054、FCB1064)、電磁気学IA(FC11074、FC11084)、基礎電磁気学A(FC11164)を履修済みの者は履修できない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 基本的に授業はオンライン(オンデマンド型)で行い、確認テストは対面で実施する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FCB1341	電磁気学2	1	1.0	1	秋B	火5,6	浅野 侑磨	「電磁気学1」に引き続いて、「場」に基づく自然認識を理解することを目的とする。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FCB1341を選択して登録すること。物理学類、化学類、数学類、地球学類、生物学類の学生はこのクラスを受講すること。原則として平成31年度以降入学者向け。電磁気学A (FF18114, FF18124)、電磁気学I (FG10484, FG10494)、電磁気学2(FCB1074、FCB1084)、電磁気学IB(FC11094、FC11104)」、基礎電磁気学B(FC11174)を履修済みの者は履修できない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 基本的に授業はオンライン(オンデマンドと同時双方向を併用)で行い、確認テストは対面で実施する。
FCB1371	電磁気学3	1	1.0	1	秋C	木3,4	藏増 嘉伸	「電磁気学2」に引き続いて、「場」に基づく自然認識を理解することを目的とする。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FCB1371を選択して登録すること。物理学類、化学類、数学類、地球学類、生物学類の学生はこのクラスを受講すること。原則として平成31年度以降入学者向け。電磁気学A (FF18114, FF18124)、電磁気学II (FG40161, FG50161)、電磁気学2(FCB1074、FCB1084)、電磁気学IC(FC11114、FC11124)、基礎電磁気学C(FC11184)を履修済みの者は履修できない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 基本的に授業はオンライン(オンデマンド型)で行い、確認テストは対面で実施する。

複数クラスで開講する専門導入科目(化学) 化学類開設 ➡ 履修するクラス情報は、化学類のページで確認してください

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FE11171	化学1	1	1.0	1	秋C	月・火1	八木 清,坂口 綾	原子の電子構造、化学結合、酸・塩基、酸化還元等の基本的な考え方を解説する。物理化学、無機化学、分析化学、放射化学の基本を習得し、専門化学導入のための学習基盤をととのえる。	履修する学生は事前登録のメニューから登録すること。 確認テストについては別途クラス分けを行うので、クラス分けされたクラスで受験すること。 医療科学類生および生物資源学類生は自学類開講の授業と重複するため履修不可。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(対面併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FE11181	化学2	1	1.0	1	春BC	月1	沓村 憲樹,神原 貴樹	有機化合物の構造と反応について、基本的な考え方を解説する。有機化学の基本を習得し、2年次以降の学習基盤をととのえる。	履修する学生は事前登録のメニューから登録すること。 確認テストについては別途クラス分けを行うので、クラス分けされたクラスで受験すること。 医療科学類生および生物資源学類生は自学類開講の授業と重複するため履修不可。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(対面併用型)
FE11191	化学3	1	1.0	1	秋AB	月1	佐藤 智生,山岸 洋	熱力学,反応速度を中心に物理化学について基本的な考え方を解説する。物理化学の基本を習得し、2年次以降の学習基盤をととのえる。	履修する学生は事前登録のメニューから登録すること。 確認テストについては別途クラス分けを行うので、クラス分けされたクラスで受験すること。 医療科学類生および生物資源学類生は自学類開講の授業と重複するため履修不可。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(対面併用型)

開設母体

要件
人文・文化学群グローバル科目群

人文・文化学群グローバル科目群

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AA20003	国際共修I	3	2.0	1 - 4	通年	集中	島田 雅晴,木村 周平,鈴木 伸隆,佐々木 勲人	海外で実施される学術イベントに参加し、自身の研究テーマについて発表等をおこなう。文化的・言語的に多様な背景を持つ学生との交流、発表活動を通して、国際的なコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の涵養を図る。	人文・文化学群3学類生のみ対象とする。参加する学術イベントについては、別途案内をおこなう。参加費、旅費等の負担が生じることもある。 対面 日本語・英語を使用する。
AA21703	ベトナム国際研修	3	3.0	2 - 4	夏季休業中	集中	佐々木 勲人	本学の協定校であるホーチミン市師範大学において、ベトナム語の基礎を集中的に学ぶとともに、体験学習を通してベトナムの社会や文化について理解を深める。	対象:全学群　受入先:ホーチミン市師範大学日本語学部 日本語及び英語で行う。 AA21661,AA21701単位修得者は履修不可。 G科目
AA21781	東南アジアの言語と文化I	1	1.0	1 - 4	秋C春季休業中	集中			西暦偶数年度開講。
AA21791	東南アジアの言語と文化II	1	1.0	1 - 4					西暦奇数年度開講。
AA21803	海外プロジェクト研修(ロシア語圏)	3	2.0	1 - 3	夏季休業中	随時	山本 祐規子,梶山 祐治,宗野 ふもと	ロシア語圏という広大な時空間を体感し、現地の社会情勢や対日関係に関する生きた最新情報に触れることで、各自の専門分野の視点からロシア語圏についての考察を深めるとともに、将来のビジョン形成につながる経験を積むこと。	詳細については、掲示板を確認すること。 事前研修(複数回実施)に参加できること。 履修登録は事務で行う。 詳細後日周知 G科目

開設母体

要件
人文・文化学群インターンシップ

人文・文化学群インターンシップ

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AA29113	国内インターンシップ	3	2.0	2 - 4				日本国内の企業、研究所、非営利団体、教育機関等で実際の業務に一定期間従事し、卒業後のキャリア設計を考える機会とすると同時に、就労に必要な実務能力の伸長を目指す。中でも次の3点を、本取組みの主な目的とする。 1.実務の現場を経験し、卒業後のキャリア設計を考える。 2.実践を通じて、ビジネスマナー、仕事の進め方などの実務能力を身につけ、向上させる。 3.大学での学修と社会との接点を見出し、今後の学修・研究への意欲を高める。	2026年度開講せず。
AA29213	海外インターンシップ	3	2.0	2 - 4	通年	随時	山本 祐規子,梶山 祐治,藤澤 奈都穂,宗野 ふもと	在外の企業、研究所、非営利団体、教育機関等で実際の業務に一定期間従事し、海外での仕事に必要な語学力、および国際交渉力などの伸長を目指す。中でも次の3点を、本取組みの主な目的とする。 1.実践を通じた実用的な外国語運用能力の伸長 2.異文化社会の中で逞しく渡り合う国際交渉力の実践 3.海外での就労を視野に入れたキャリア設計、将来ビジョンの形成	詳細後日周知 G科目 指定するインターンシッププログラム参加者のみ履修登録可能。

開設母体　　要件
人文学類

学類共通(専門基礎科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB50A11	哲学・宗教学入門	1	1.0	1	秋AB	月2	西村 雄太,土井 裕人,津崎 良典	哲学と宗教学の専門的な理解への導入として、必要な概念や方法について学ぶ。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) オンライン(同時双方向型)
AB50B11	史学入門	1	1.0	1	春BC	NT	岩田 啓介,上田 裕之,柴田 大輔,清水 克志,田中 友香理,三谷 芳幸,村上 宏昭,山本 孟	歴史学研究の基礎について講義する。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
AB50C11	考古学・民俗学入門	1	1.0	1	春BC	NT	滝沢 誠,板橋 悠,谷口 陽子,前田 修,中野 泰,武井 基晃,中村 友香	先史学・考古学・民俗学・文化人類学の基本的な考え方や基礎的な知識、研究の方法論を学ぶ。フィールドワークに基づいて生活文化の総体的理解を深め、物質文化資料や、人々の生活の観察・対話を通じて、過去と現在の人間社会の営みや多様性を考察する方法を身に付ける。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 詳細はmanabaで後日周知
AB50E11	言語分析入門	1	1.0	1	秋AB	NT	小野 雄一,小泉 利恵,田川 拓海	言語に関する基礎的な知識を身に付けるとともに、語彙、文法、意味、使用、習得などについて言語学的に分析するというのはどういうことなのかを知り、実際に言語分析を行うための基礎を養成する。日本語と英語を主な分析対象言語として取りあげる。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
AB50F11	個別言語学入門	1	1.0	1	春BC	NT	佐々木 勲人,黄 賢暻,菊池 そのみ	日本語、中国語、韓国語など東アジアの言語を例にして、個別言語分析の事例を紹介し、言語研究がどのようなものであるかを考える。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)

哲学(専門基礎科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB60A11	哲学通論-a	1	1.0	1・2	春AB	火1	檜垣 良成	哲学するとはどういうことかを徹底的に体得してもらう(他専攻・他学類歓迎。ただし、電子シラバス熟読のこと)。	オンライン(同時双方向型)
AB60A21	哲学通論-b	1	1.0	1・2	秋AB	火1	檜垣 良成	引き続き哲学するとはどういうことかを徹底的に体得してもらう(他専攻・他学類歓迎。ただし、電子シラバス熟読のこと)。	オンライン(同時双方向型)
AB60B11	倫理学通論-a	1	1.0	1・2	春AB	木4	千葉 建	倫理学の基本的概念と方法について考察する。	対面 日本語での授業であり、それに対応可能な短期留学生は受け入れる
AB60B21	倫理学通論-b	1	1.0	1・2	秋AB	木4	千葉 建	引き続き倫理学の基本的概念と方法について考察する。	対面 日本語での授業であり、それに対応可能な短期留学生は受け入れる
AB60C11	宗教学通論-a	1	1.0	1・2	春AB	金5	土井 裕人	世界の諸宗教伝統や現代世界における宗教をめぐる諸問題について、宗教文化の観点から概説する。	対面(オンライン併用型)
AB60C21	宗教学通論-b	1	1.0	1・2	秋AB	金5	土井 裕人	引き続き、世界の諸宗教伝統や現代世界における宗教をめぐる諸問題について、宗教文化の観点から概説する。	対面(オンライン併用型)
AB60G11	東洋思想-a	1	1.0	1・2	春AB	木6	志田 泰盛	インドの古代の思想史を概観し,日本やアジア文化圏全般に深い影響を与えたインド思想,インド仏教思想に関する基礎知識を習得する。	対面
AB60G21	東洋思想-b	1	1.0	1・2	秋AB	木6	志田 泰盛	春学期に続いて、インドの古代の思想史を概観し、日本やアジア文化圏全般に深い影響を与えたインド思想、インド仏教思想に関する基礎知識を習得する。	対面

哲学・倫理学コース(専門科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB61A11	哲学特講I-a	1	1.0	2 - 4				デカルト『精神指導の規則』について講ずる。	2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AB61A21	哲学特講I-b	1	1.0	2 - 4				デカルト『精神指導の規則』について講ずる(承前)。	2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AB61A31	哲学特講II-a	1	1.0	2 - 4	春AB	月4	津崎 良典	デカルト哲学について講ずる。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB61A41	哲学特講II-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	月4	津崎 良典	デカルト哲学について講ずる(承前)。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB61A51	哲学特講III-a	1	1.0	2 - 4	春AB	火4	西村 雄太	中世キリスト教における人間理解について学ぶ。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB61A61	哲学特講III-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	火4	西村 雄太	中世キリスト教における人間理解についてより深く学ぶ。	対面
AB61A71	哲学特講IV-a	1	1.0	2 - 4	春C	火1,2	檜垣 良成	現代日本における哲学の危機について、〈哲学対話〉を深める(他専攻・他学類歓迎。ただし電子シラバス熟読のこと。受講条件あり)。	対面(オンライン併用型)
AB61A81	哲学特講IV-b	1	1.0	2 - 4	秋C	火1,2	檜垣 良成	現代日本における哲学の危機について、〈哲学対話〉をさらに深める(他専攻・他学類歓迎。ただし電子シラバスを熟読のこと。受講制限あり)。	対面(オンライン併用型)
AB61C11	哲学史I-a	1	1.0	2 - 4				西洋近世哲学史を概観する(16世紀後半から17世紀初頭までのフランス哲学に傾注する)。	西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AB61C21	哲学史I-b	1	1.0	2 - 4				西洋近世哲学史を概観する(17世紀のフランス哲学に傾注する)。	西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AB61C31	哲学史II-a	1	1.0	2 - 4	春AB	水3	津崎 良典	西洋近代哲学史を概観する(18世紀のフランス哲学に傾注する)。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB61C41	哲学史II-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	水3	津崎 良典	西洋近代哲学史を概観する(19世紀から20世紀初頭までのフランス哲学に傾注する)。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB61C51	哲学史III-a	1	1.0	2 - 4	春AB	月3	西村 雄太	西洋中世哲学史の概略を学ぶ。	対面
AB61C61	哲学史III-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	月3	西村 雄太	西洋中世哲学史をより深く学ぶ。	対面
AB61C71	哲学史IV-a	1	1.0	2 - 4	春AB	火3	檜垣 良成	西洋哲学史上の諸問題をテクストに即して極める(他専攻・他学類歓迎。ただし電子シラバス熟読のこと)。	対面(オンライン併用型)
AB61C81	哲学史IV-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	火3	檜垣 良成	西洋哲学史上の諸問題を引き続きテクストに即して極める(他専攻・他学類歓迎。ただし電子シラバス熟読のこと)。	対面(オンライン併用型)
AB61G12	哲学演習I-a	2	1.0	2 - 4				デカルト『精神指導の規則』をラテン語原文で講読する(仏訳または英訳による参加も可能)。	2025年度より2年おき開講。 2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AB61G22	哲学演習I-b	2	1.0	2 - 4				デカルト『精神指導の規則』をラテン語原文で講読する(承前;仏訳または英訳による参加も可能)。	2025年度より2年おき開講。 2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AB61G32	哲学演習II-a	2	1.0	2 - 4	春AB	月6	津崎 良典	デカルト『精神指導の規則』をラテン語原文で講読する(仏訳または英訳による参加も可能)。	2026年度より2年おき開講。 対面(オンライン併用型)
AB61G42	哲学演習II-b	2	1.0	2 - 4	秋AB	月6	津崎 良典	デカルト『精神指導の規則』をラテン語原文で講読する(承前;仏訳または英訳による参加も可能)。	2026年度より2年おき開講。 対面(オンライン併用型)
AB61G52	哲学演習III-a	2	1.0	2 - 4				近世ヨーロッパの哲学的著作をフランス語による原文で講読する(フランス語既習者対象)。	2024年度より2年おき開講。 2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AB61G62	哲学演習III-b	2	1.0	2 - 4				近世ヨーロッパの哲学的著作をフランス語による原文で講読する(フランス語既習者対象)。	2024年度より2年おき開講。 2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AB61G72	哲学演習IV-a	2	1.0	2 - 4				西洋中世哲学の文献を英語訳で読む。	2024年度より2年おき開講。 2026年度開講せず。 対面
AB61G82	哲学演習IV-b	2	1.0	2 - 4				西洋中世哲学の文献をラテン語原文で読む。	2024年度より2年おき開講。 2026年度開講せず。 対面
AB61H12	哲学演習V-a	2	1.0	2 - 4				西洋中世哲学の文献を英語訳で読む。	2026年度開講せず。 対面
AB61H22	哲学演習V-b	2	1.0	2 - 4				西洋中世哲学の文献をラテン語原文で読む。	2026年度開講せず。 対面
AB61H32	哲学演習VI-a	2	1.0	2 - 4	春AB	月5	西村 雄太	西洋中世哲学の文献を英語訳で読む。	2023年度より3年おきに開講。 2026年度より2年おき開講。 対面
AB61H42	哲学演習VI-b	2	1.0	2 - 4	秋AB	月5	西村 雄太	西洋中世哲学の文献をラテン語原文で読む。	2023年度より3年おきに開講。 2026年度より2年おき開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB61J12	哲学史演習I-a	2	1.0	2 - 4				本授業ではハンナ・アーレントの主著の一つである『人間の条件』(1958)より、アーレントの政治理解の根幹を成す「活動」の概念についての精読を行う。	2026年度開講せず。 対面
AB61J22	哲学史演習I-b	2	1.0	2 - 4				本授業ではハンナ・アーレントの主著の一つである『人間の条件』(1958)より、アーレントの政治理解の根幹を成す「活動」の概念についての精読を引き続き行う。	西暦偶数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
AB61J32	哲学史演習II-a	2	1.0	2 - 4	春AB	木4	馬場 智理	本授業では哲学の古典的著作(近代の著作を予定)をテキストとし、その哲学史的背景、および、著者の意図を踏まえながら精読を行う。	西暦偶数年度開講。 対面
AB61J42	哲学史演習II-b	2	1.0	2 - 4	秋C	月4,5	小石川 和永	20世紀を代表する政治哲学者ハンナ・アーレントの主著『全体主義の起原』(1952)第3巻「全体主義」より、「絶滅収容所」をめぐる考察を精読する。ナチス・ドイツによるユダヤ人抹殺政策に象徴される全体主義経験を思想の出発点とするアーレントの問題意識を、一見平易なテクストの精読を通して具体的に把握することを目的とする。	西暦偶数年度開講。 対面
AB62A11	倫理学特講I-a	1	1.0	2 - 4				倫理学の重要文献を取り上げ、学生のレジュメを基に、ディスカッションを通じて、倫理学の根本問題を考える。	西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
AB62A21	倫理学特講I-b	1	1.0	2 - 4				倫理学の重要文献を取り上げ、学生のレジュメを基に、ディスカッションを通じて、倫理学の根本問題を考える。	西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
AB62A31	倫理学特講II-a	1	1.0	2 - 4	春AB	金5	千葉 建	倫理学の重要文献を取り上げ、学生のレジュメを基に、ディスカッションを通じて、倫理学の根本問題を考える。	西暦偶数年度開講。 対面
AB62A41	倫理学特講II-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	金5	千葉 建	倫理学の重要文献を取り上げ、学生のレジュメを基に、ディスカッションを通じて、倫理学の根本問題をさらに考える。	西暦偶数年度開講。 対面
AB62A51	倫理学特講III-a	1	1.0	2 - 4				日本倫理思想史上の根本的な問題を取り上げ、通史的にその帰趨を概観する。	西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
AB62A61	倫理学特講III-b	1	1.0	2 - 4				日本倫理思想史上の根本的な問題を取り上げ、通史的にその帰趨を概観する。	西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
AB62A71	倫理学特講IV-a	1	1.0	2 - 4	春AB	木4	常 瀟琳	日本倫理思想史上の根本的な問題を取り上げ、通史的にその帰趨を概観する。	西暦偶数年度開講。 対面
AB62A81	倫理学特講IV-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	木4	常 瀟琳	日本倫理思想史上の根本的な問題を取り上げ、通史的にその帰趨を概観する。	西暦偶数年度開講。 対面
AB62C11	倫理思想史I-a	1	1.0	2 - 4				西洋倫理思想史をテクストに即して考察する。	西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
AB62C21	倫理思想史I-b	1	1.0	2 - 4				引き続き西洋倫理思想史をテクストに即して考察する。	西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
AB62C31	倫理思想史II-a	1	1.0	2 - 4	春AB	金3	千葉 建	西洋倫理思想史をテクストに即して考察する。	西暦偶数年度開講。 対面
AB62C41	倫理思想史II-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	金3	千葉 建	引き続き西洋倫理思想史をテクストに即して考察する。	西暦偶数年度開講。 対面
AB62C51	倫理思想史III-a	1	1.0	2 - 4				カントのテクストを丁寧に読みながら、倫理学史を考える(初学者から。他専攻・他学類歓迎。ただし実質演習です)。	西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AB62C61	倫理思想史III-b	1	1.0	2 - 4				引き続きカントのテクストを丁寧に読みながら、倫理学史を考える(初学者から。他専攻・他学類歓迎。ただし、実質演習です)。	西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AB62C71	倫理思想史IV-a	1	1.0	2 - 4	春AB	火2	檜垣 良成	カントのテクストを丁寧に読んで現代の哲学的諸問題と対決する(初学者から。他専攻・他学類歓迎)。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB62C81	倫理思想史IV-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	火2	檜垣 良成	カントのテクストを引き続き丁寧に読んで現代の哲学的諸問題と対決する(初学者から。他専攻・他学類歓迎)。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB62E21	倫理思想史V-b	1	1.0	2 - 4	秋C	木2,3	阿久戸 義愛	日本におけるキリスト教倫理思想の形成と展開を読み解く。	対面
AB62G12	倫理学演習I-a	2	1.0	2 - 4				西洋近現代倫理学の代表的な文献を原典講読する。	2024年度より2年おき開講。 2026年度開講せず。 対面
AB62G22	倫理学演習I-b	2	1.0	2 - 4				引き続き西洋近現代倫理学の代表的な文献を原典講読する。	2024年度より2年おき開講。 2026年度開講せず。 対面
AB62G32	倫理学演習II-a	2	1.0	2 - 4				西洋近現代倫理学の代表的な文献を原典講読する。	2025年度より2年おき開講。 2026年度開講せず。 対面
AB62G42	倫理学演習II-b	2	1.0	2 - 4				引き続き西洋近現代倫理学の代表的な文献を原典講読する。	2025年度より2年おき開講。 2026年度開講せず。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB62G52	倫理学演習III-a	2	1.0	2 - 4	春AB	木3	千葉 建	西洋近現代倫理学の代表的な文献を原典講読する。	2026年度より2年おき開講。 対面
AB62G62	倫理学演習III-b	2	1.0	2 - 4	秋AB	木3	千葉 建	引き続き西洋近現代倫理学の代表的な文献を原典講読する。	2026年度より2年おき開講。 対面
AB62G72	倫理学演習IV-a	2	1.0	2 - 4				日本倫理思想史上で重要な古典文献を原典で講読する。	2024年度より2年おき開講。 2026年度開講せず。 対面
AB62G82	倫理学演習IV-b	2	1.0	2 - 4				日本倫理思想史上で重要な古典文献を原典で講読する。	2024年度より2年おき開講。 2026年度開講せず。 対面
AB62H12	倫理学演習V-a	2	1.0	2 - 4				日本倫理思想史上で重要な古典文献を原典で講読する。	2025年度より2年おき開講。 2026年度開講せず。 対面
AB62H22	倫理学演習V-b	2	1.0	2 - 4				日本倫理思想史上で重要な古典文献を原典で講読する。	2025年度より2年おき開講。 2026年度開講せず。 対面
AB62H32	倫理学演習VI-a	2	1.0	2 - 4	春AB	木5	常 瀟琳	日本倫理思想史上で重要な古典文献を原典で講読する。	2026年度より2年おき開講。 対面
AB62H42	倫理学演習VI-b	2	1.0	2 - 4	秋AB	木5	常 瀟琳	日本倫理思想史上で重要な古典文献を原典で講読する。	2026年度より2年おき開講。 対面
AB62J12	倫理思想史演習I-a	2	1.0	2 - 4	春AB	金2	川井 博義	日本倫理思想史に関連する文献をめぐり、学生の発表資料を用いながら議論や意見交換を行う。	対面
AB62K12	哲学・倫理学研究-a	2	2.0	4	春ABC	随時	檜垣 良成,津崎 良典,西村 雄太,千葉 建,常 瀟琳	哲学・倫理学に関する卒業論文の指導を行う。	対面 対面(オンライン併用型)
AB62K22	哲学・倫理学研究-b	2	2.0	4	秋ABC	随時	檜垣 良成,津崎 良典,西村 雄太,千葉 建,常 瀟琳	哲学・倫理学に関する卒業論文の指導を行う。	対面 対面(オンライン併用型)
AB62K38	卒業論文(哲学・倫理学)	8	6.0	4	秋ABC	随時	檜垣 良成,津崎 良典,西村 雄太,千葉 建,常 瀟琳	哲学・倫理学に関する卒業論文。	

宗教学コース(専門科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB63A11	宗教学-a	1	1.0	2・3	春C夏季休業中	集中	土井 裕人	宗教をはじめとする基本概念の成立を検討しながら、宗教をいかに学問的に捉えるか理解を深める。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB63A21	宗教学-b	1	1.0	2・3	秋C春季休業中	集中	土井 裕人	宗教をはじめとする基本概念の成立を検討しながら、宗教をいかに学問的に捉えるか理解を深める。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB63A31	宗教哲学-a	1	1.0	2 - 4	春AB	月3		多様な宗教哲学のあり方と可能性、宗教研究における宗教哲学の位置等について考察する。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB63A41	宗教哲学-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	月3		引き続き、多様な宗教哲学のあり方と可能性、宗教研究における宗教哲学の位置等について考察する。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB63B11	東洋宗教思想史-a	1	1.0	2 - 4	春AB	木4	志田 泰盛	東洋の宗教思想について、インドの古典を中心に概観する。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB63B21	東洋宗教思想史-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	木4	志田 泰盛	引き続き、東洋の宗教思想について、インドの古典を中心に概観する。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB63B31	西洋宗教思想史-a	1	1.0	2 - 4				明治期以降の日本の学者が西洋の宗教思想(特に神秘主義)をどのように解釈したかを通じて、宗教の「本質」がいかに捉えられうるか検討する。詳細はシラバスを必ず参照すること。	西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AB63B41	西洋宗教思想史-b	1	1.0	2 - 4				明治期以降の日本の学者が西洋の宗教思想(特に神秘主義)をどのように解釈したかを通じて、宗教の「本質」がいかに捉えられうるか検討する。詳細はシラバスを必ず参照すること。	西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AB63E12	宗教学演習I-a	2	1.0	2 - 4	春A 春B	月4		一つないしいくつかのトピックについて、近代ないし現代の宗教学・宗教哲学に関するテクストを講読し、その内容について議論を行う。	対面(オンライン併用型)
AB63E22	宗教学演習I-b	2	1.0	2 - 4	秋A 秋B	月4		一つないしいくつかのトピックについて、近代ないし現代の宗教学・宗教哲学に関するテクストを講読し、その内容について議論を行う。	対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB63E52	宗教学演習II-a	2	1.0	2 - 4	春AB	火6	土井 裕人	宗教学コースにおける、主として西洋宗教を扱う学生の卒業論文執筆に向けたプレゼンテーション演習。	対面(オンライン併用型)
AB63E62	宗教学演習II-b	2	1.0	2 - 4	秋AB	火6	土井 裕人	宗教学コースにおける、主として西洋宗教を扱う学生の卒業論文執筆に向けたプレゼンテーション演習。	対面(オンライン併用型)
AB63E72	宗教学演習II-c	2	1.0	2 - 4	春C夏季休業中秋C春季休業中	集中	土井 裕人	宗教学コースにおける、主として西洋宗教を扱う学生の卒業論文執筆に向けたプレゼンテーション演習。	対面(オンライン併用型) 他の日程は別途周知する。
AB63F12	宗教学演習III-a	2	1.0	2 - 4	春AB	水6		サンスクリットの原典講読。初等文法の修了者を対象とする。講読するテキストについては出席者の希望を勘案して決める。シラバスを参照のこと。	対面(オンライン併用型)
AB63F52	宗教学演習IV-a	2	1.0	2 - 4	春AB	金6	土井 裕人	宇宙・世界の構造と宗教思想というテーマを中心に、創造や制作といった観点から文献を精読する。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB63F62	宗教学演習IV-b	2	1.0	2 - 4	秋AB	金6	土井 裕人	宇宙・世界の構造と宗教思想というテーマを中心に、創造や制作といった観点から文献を精読する。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB63F72	宗教学演習IV-c	2	1.0	2 - 4	春C夏季休業中秋C春季休業中	集中	土井 裕人	宇宙・世界の構造と宗教思想というテーマを中心に、創造や制作といった観点から文献を精読する。	「宗教学演習IV-a」および「宗教学演習IV-b」を履修済あるいは履修予定の者に限る。 西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB63G22	東洋宗教思想史演習I-b	2	1.0	2 - 4				漢文またはサンスクリットで文献を講読し、アジアの諸文化の一源流であるインドの文化・宗教思想を知る礎とする。	2026年度開講せず。 対面
AB63G32	東洋宗教思想史演習I-c	2	1.0	2 - 4				東洋の宗教思想について、文献を講読して検討する。	2026年度開講せず。 対面
AB63G52	東洋宗教思想史演習II-a	2	1.0	2 - 4	春A 春B	金4	志田 泰盛	宗教学コースにおける、主として東洋宗教を扱う学生の卒業論文執筆に向けたプレゼンテーション演習。	対面(オンライン併用型)
AB63G62	東洋宗教思想史演習II-b	2	1.0	2 - 4	秋A 秋B	金4	志田 泰盛	宗教学コースにおける、主として東洋宗教を扱う学生の卒業論文執筆に向けたプレゼンテーション演習。	対面(オンライン併用型)
AB63G72	東洋宗教思想史演習II-c	2	1.0	2 - 4	春C夏季休業中秋C春季休業中	集中	志田 泰盛	宗教学コースにおける、主として東洋宗教を扱う学生の卒業論文執筆に向けたプレゼンテーション演習。	対面(オンライン併用型)
AB63H12	西洋宗教思想史演習-a	2	1.0	2 - 4				西洋古代の宗教思想を中心に、講読により検討する。	2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AB63H22	西洋宗教思想史演習-b	2	1.0	2 - 4				西洋古代の宗教思想を中心に、講読により検討する。	2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AB63H32	西洋宗教思想史演習-c	2	1.0	2 - 4				西洋古代の宗教思想を中心に、講読により検討する。	「西洋宗教思想史演習-a」および「西洋宗教思想史演習-b」を履修済あるいは履修中の者に限る。 2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型) 秋学期分の日程は別途周知する。
AB63J13	宗教学実習-A	3	1.0	2 - 4				日本国内の宗教施設等を現地訪問して調査や対話を行うことにより、現場での体験から宗教を研究するために必要な素養を身につける。	宗教学コース(進級予定を含む)以外の学生は、必ず事前相談のこと。 西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型) あくまで専門科目としての実習であり、見学旅行ではない。
AB63J23	宗教学実習-B	3	1.0	2 - 4	秋C春季休業中	集中	土井 裕人	日本国内の宗教施設等を現地訪問して調査や対話を行うことにより、現場での体験から宗教を研究するために必要な素養を身につける。	宗教学コース(進級予定を含む)以外の学生は、必ず事前相談のこと。 西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB63J51	人間社会と宗教	1	1.0	2 - 4	秋AB	月2	山中 弘	社会学の基礎理論について、人間の社会における宗教を手がかりに学ぶ。	原則として、人文・文化学群生に限る。 対面
AB63K12	宗教学研究-a	2	2.0	4	春ABC	随時	志田 泰盛,土井 裕人	卒業論文執筆のための演習	対面(オンライン併用型) 詳細については、主査の教員からの指示に従うこと。
AB63K22	宗教学研究-b	2	2.0	4	秋ABC	随時	志田 泰盛,土井 裕人	卒業論文執筆のための演習	対面(オンライン併用型) 詳細については、主査の教員からの指示に従うこと。
AB63K32	宗教学研究-b	2	2.0	4	春ABC	随時	志田 泰盛,土井 裕人	卒業論文執筆のための演習	春学期末卒業予定者用。 対面(オンライン併用型) 前年度までに「宗教学研究-a」を修得済みの学生のみに限る。履修登録方法については別途周知予定。
AB63K38	卒業論文(宗教学)	8	6.0	4	秋ABC	随時	志田 泰盛,土井 裕人	宗教学に関する卒業論文	対面(オンライン併用型)
AB63K48	卒業論文(宗教学)	8	6.0	4	春ABC	随時	志田 泰盛,土井 裕人	宗教学に関する卒業論文	春学期末卒業予定者用。 対面(オンライン併用型) 履修登録方法については別途周知予定。

史学(専門基礎科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB70A11	日本史概説I-a	1	1.0	1・2	春AB	木5	三谷 芳幸	飛鳥時代・奈良時代の政治・社会を中心に、日本古代史の諸問題を概説する。	対面
AB70A21	日本史概説I-b	1	1.0	1・2	秋AB	木5	三谷 芳幸	奈良時代・平安時代の政治・社会を中心に、日本古代史の諸問題を概説する。	対面
AB70A31	日本史概説II-a	1	1.0	1・2	春AB	金3	田中 友香理	日本史の近代・現代史を思想の形成と流通という視点から概説する。	対面
AB70A41	日本史概説II-b	1	1.0	1・2	秋AB	随時			
AB70B11	古代西アジア史概説-a	1	1.0	1・2	春AB	NT	柴田 大輔	楔形文字文化圏に重点を置き、紀元前三千年紀から二千年紀前半の古代西アジア史を講義する。	この科目は人文・文化学群人文学類の専門基礎科目であるため、受講希望者が多い場合には受講制限をかけ、人文・文化学群の学生、人文・文化学群に進学を希望する総合学域群の学生、並びに教職科目として受講する社会学類・地球学類の学生を優先する可能性がある。 オンライン(オンデマンド型)
AB70B21	古代西アジア史概説-b	1	1.0	1・2	秋AB	NT	山本 孟	楔形文字文化圏に重点を置き、紀元前二千年紀後半から一千年紀の古代西アジア史を講義する。	この科目は、人文・文化学群人文学類の専門基礎科目であるため、受講希望者が多い場合には受講制限をかけ、人文・文化学群の学生、人文・文化学群に進学を希望する総合学域群の学生、並びに教職科目として受講する社会学類・地球学類の学生を優先する可能性がある。 オンライン(オンデマンド型)
AB70C11	中国史概説-a	1	1.0	1・2	春AB	木4	上田 裕之	「草原と中華の関係史」前編:農耕の始まりから12世紀まで。	対面
AB70C21	中国史概説-b	1	1.0	1・2	秋AB	木4	上田 裕之	「草原と中華の関係史」後編:13世紀から現在まで。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB70E11	ヨーロッパ史概説-a	1	1.0	1・2	春AB	金6	村上 宏昭	中近世ヨーロッパの社会史について講義する。	150人を受講人数の上限とする。履修登録者多数の場合は、人文・文化学群と総合学域群の学生を優先したうえで抽選を実施する。 オンライン(オンデマンド型)
AB70E21	ヨーロッパ史概説-b	1	1.0	1・2	秋AB	金6	村上 宏昭	近現代ヨーロッパの社会史について講義する。	150人を受講人数の上限とする。履修登録者多数の場合は、人文・文化学群と総合学域群の学生を優先したうえで抽選を実施する。 オンライン(オンデマンド型)
AB70F11	歴史地理学概説-a	1	1.0	1・2	春AB	木3		歴史地理学とはどのような学問であるかについて、主として人口・都市・交通をテーマとして取り上げ解説する。	対面
AB70F21	歴史地理学概説-b	1	1.0	1・2	秋AB	木3	清水 克志	歴史地理学とはどのような学問であるかについて、主として産業・宗教・文化をテーマとして取り上げ解説する。	対面

日本史学コース(専門科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB71A11	日本史史料学I-a	1	1.0	2・3	春AB	火5	三谷 芳幸	行政文書を中心に、古代史料の検討をおこなう。	西暦偶数年度開講。 対面
AB71A21	日本史史料学I-b	1	1.0	2・3	秋AB	火5	三谷 芳幸	公的帳簿を中心に、古代史料の検討をおこなう。	西暦偶数年度開講。 対面
AB71A31	日本史史料学II-a	1	1.0	2・3	春AB	随時			
AB71A41	日本史史料学II-b	1	1.0	2・3	秋AB	随時			
AB71A51	日本史史料学III-a	1	1.0	2・3	春AB	金4	田中 友香理	公文書を中心に近代史料の検討を行う。	対面
AB71A61	日本史史料学III-b	1	1.0	2・3	秋AB	金4	田中 友香理	私文書を中心に近代史料の検討を行う。	対面
AB71B31	日本史特講II-a	1	1.0	2 - 4	春AB	金2	田中 友香理		対面
AB71B41	日本史特講II-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	金2	田中 友香理		対面
AB71B51	日本史特講III-a	1	1.0	2 - 4	春AB	随時			
AB71B61	日本史特講III-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	随時			
AB71E12	日本史演習I-a	2	2.0	2 - 4	春A 春A 春B	木3 木4 木3,4	三谷 芳幸	古代の法令集『類聚三代格』を輪読し、奈良・平安時代の諸問題について理解を深める。	対面
AB71E22	日本史演習I-b	2	2.0	2 - 4	秋A 秋A 秋B	木3 木4 木3,4	三谷 芳幸	古代の法令集『類聚三代格』を輪読し、日本古代史研究の方法を身につける。	対面
AB71E32	日本史演習II-a	2	2.0	2 - 4	春AB	火3,4	田中 友香理		対面
AB71E42	日本史演習II-b	2	2.0	2 - 4	秋AB	火3,4	田中 友香理		対面
AB71G23	日本史実習-B	3	1.0	2 - 4	秋学期	応談	田中 友香理		原則として、日本史演習VI-a履修済かつ日本演習VI-b履修中の者を対象とする。 含野外調査 対面
AB71G33	日本史実習-C	3	1.0	2 - 4	秋学期	応談	三谷 芳幸	史跡・展示施設を訪問し、史料・遺物を実見することで、日本古代史を立体的に学習する。	原則として、日本史演習I-a履修済かつ日本史演習I-b履修中の者を対象とする。 西暦偶数年度開講。 含野外調査 対面
AB71K12	日本史研究-a	2	2.0	4	春ABC	随時	三谷 芳幸,田中 友香理	卒業論文作成の指導を行なう。	対面
AB71K22	日本史研究-b	2	2.0	4	秋ABC	随時	三谷 芳幸,田中 友香理	卒業論文執筆の指導を行なう。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB71K32	日本史研究-b	2	2.0	4	春ABC	随時	三谷 芳幸,田中 友香理	卒業論文執筆の指導を行う。	春学期末卒業予定者用。 前年度までに「日本史研究-a」を修得済みの学生のみに限る。履修登録方法については別途周知予定。
AB71K38	卒業論文(日本史学)	8	6.0	4	秋ABC	随時	三谷 芳幸,田中 友香理	日本史学に関する卒業論文。	対面
AB71K48	卒業論文(日本史学)	8	6.0	4	春ABC	随時	三谷 芳幸,田中 友香理	日本史に関する卒業論文。	春学期末卒業予定者用。 履修登録方法については別途周知予定。

ユーラシア史学コース(専門科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB72A12	アッカド語初級I	2	1.0	1・2	春A	木3,4	柴田 大輔	アッカド語の初級文法と簡単な楔形文字について学習する。特に名詞について学ぶ。	原則として受講は人文・文化学群と総合学域群第1類の学生に限る。 対面
AB72A22	アッカド語初級II	2	1.0	1・2	春B	木3,4	柴田 大輔	アッカド語の初級文法と簡単な楔形文字について学習する。特に強動詞のG語幹について学ぶ。	受講は「アッカド語初級I」の単位を取得したものに限る。 対面
AB72A32	アッカド語初級III	2	1.0	1・2	秋A	木3,4	柴田 大輔	アッカド語の初級文法と簡単な楔形文字について学習する。特に強動詞のその他の語幹について学ぶ。	受講は「アッカド語初級II」の単位を取得したものに限る。 対面
AB72A42	アッカド語初級IV	2	1.0	1・2	秋B	木3,4	柴田 大輔	アッカド語の初級文法と簡単な楔形文字について学習する。特に弱動詞について学ぶ。	受講は「アッカド語初級III」の単位を取得したものに限る。 対面
AB72A52	ヒッタイト語初級-a	2	1.0	2 - 4	春AB	月4	山本 孟	ヒッタイト語の初級文法について学習する。特に名詞・動詞の規則的な変化について学ぶ。	対面
AB72A62	ヒッタイト語初級-b	2	1.0	2 - 4	秋AB	月4	山本 孟	ヒッタイト語の初級文法について学習する。特に名詞・動詞の不規則な変化について学ぶ。	受講は「ヒッタイト語初級-a」の単位を取得したものに限る。 対面
AB72C12	古代西アジア史文献学I-a	2	1.0	2 - 4	春AB	木6	柴田 大輔	古バビロニア時代の王碑文を講読する。	受講は「アッカド語初級IV」の単位を取得したものに限る。対面。 西暦偶数年度開講。 対面
AB72C22	古代西アジア史文献学I-b	2	1.0	2 - 4	秋AB	木6	柴田 大輔	新アッシリア時代の王碑文を講読する。	受講は「アッカド語初級IV」の単位を取得したものに限る。対面。 西暦偶数年度開講。 対面
AB72C32	古代西アジア史文献学II-a	2	1.0	2 - 4				『ハンムラビ法典』を講読する。	受講は「アッカド語初級IV」の単位を取得したものに限る。対面。 西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
AB72C42	古代西アジア史文献学II-b	2	1.0	2 - 4				古バビロニア時代の平易な書簡を講読する。	受講は「アッカド語初級IV」の単位を取得したものに限る。対面を予定。 西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
AB72C52	古代西アジア史文献学III-a	2	1.0	2 - 4	春A	金3,4	コウブコバ エベリン	Close reading of Akkadian cuneiform texts. The course will be conducted in English.	受講は「古代西アジア史文献学I-b」もしくは「古代西アジア史文献学II-b」の単位を取得したものに限る。対面。 西暦偶数年度開講。 対面
AB72C62	古代西アジア史文献学III-b	2	1.0	2 - 4	春B	金3,4	コウブコバ エベリン	Close reading of Akkadian cuneiform texts. The course will be conducted in English.	受講は「古代西アジア史文献学III-a」の単位を取得したものに限る。対面。 西暦偶数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB72C72	古代西アジア史文献学IV-a	2	1.0	2 - 4	秋A	金3,4	コウブコバ エベリン	Close reading of Akkadian cuneiform texts. The course will be conducted in English.	受講は「古代西アジア史文献学I-b」もしくは「古代西アジア史文献学II-b」の単位を取得したものに限る。対面。 西暦偶数年度開講。 対面
AB72C82	古代西アジア史特講III-a	2	1.0	2 - 4	秋B	金3,4	コウブコバ エベリン	Close reading of Akkadian cuneiform texts. The course will be conducted in English.	受講は「古代西アジア史文献学IV-a」の単位を取得したものに限る。対面。 西暦偶数年度開講。 対面
AB72D12	古代西アジア史文献学V-a	2	1.0	2 - 4				楔形文字アッカド語の原典を講読する。授業は英語で実施する。	受講は「古代西アジア史文献学I-b」もしくは「古代西アジア史文献学II-b」の単位を取得したものに限る。対面。 西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
AB72D22	古代西アジア史文献学V-b	2	1.0	2 - 4				バビロニア語文学・宗教文書を講読する。	受講は「古代西アジア史文献学V-a」の単位を取得したものに限る。対面。 西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
AB72D32	古代西アジア史文献学VI-a	2	1.0	2 - 4				バビロニア語文学・宗教文書を講読する。	受講は「古代西アジア史文献学I-b」もしくは「古代西アジア史文献学II-b」の単位を取得したものに限る。対面を予定。 西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
AB72D42	古代西アジア史文献学VI-b	2	1.0	2 - 4				バビロニア語文学・宗教文書を講読する。	受講は「古代西アジア史文献学VI-a」の単位を取得したものに限る。対面を予定。 西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
AB72F11	古代西アジア史特講I-a	1	1.0	2・3	秋AB	月6	山本 孟	古代西アジア史に関する講義を行う。	西暦偶数年度開講。 対面
AB72F31	古代西アジア史特講II-a	1	1.0	2・3	春AB	月6	河合 望	古代エジプトに関する講義を行う。	西暦偶数年度開講。 オンライン(同時双方向型)
AB72F41	古代西アジア史特講II-b	1	1.0	2・3					西暦偶数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
AB72F51	古代西アジア史特講III-a	1	1.0	2 - 4	春AB	火2	コウブコバ エベリン	A lecture on the history of ancient West Asia. The course will be conducted in English.	英語で授業。 対面
AB72F61	古代西アジア史特講III-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	火2	コウブコバ エベリン	A lecture on the history of ancient West Asia. The course will be conducted in English.	英語で授業。 対面
AB72H12	古代西アジア史演習I-a	2	2.0	3・4	春AB	火3,4	柴田 大輔,山本 孟	古代西アジア史の研究に取り組む学生の演習。自らの研究課題について発表し、また討論する。	受講は「アッカド語初級IV」もしくは「アッカド語初級b」の単位を取得したものに限る。 2026年度より2年おき開講。 対面
AB72H22	古代西アジア史演習I-b	2	2.0	3・4	秋AB	火3,4	柴田 大輔,山本 孟	古代西アジア史の研究に取り組む学生の演習。自らの研究課題について発表し、また討論する。	受講は「アッカド語初級IV」もしくは「アッカド語初級b」の単位を取得したものに限る。対面。 2026年度より2年おき開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB72H32	古代西アジア史演習II-a	2	2.0	3・4				古代西アジア史の研究に取り組む学生の演習。自らの研究課題について発表し、また討論する。	受講は「アッカド語初級IV」もしくは「アッカド語初級b」の単位を取得したものに限る。 2024年度より2年おき開講。 2026年度開講せず。 対面
AB72H42	古代西アジア史演習II-b	2	2.0	3・4				古代西アジア史の研究に取り組む学生の演習。自らの研究課題について発表し、また討論する。	受講は「アッカド語初級IV」もしくは「アッカド語初級b」の単位を取得したものに限る。 2024年度より2年おき開講。 2026年度開講せず。 対面
AB72H52	古代西アジア史演習III-a	2	2.0	3・4				古代西アジア史の研究に取り組む学生の演習。自らの研究課題について発表し、また討論する。	受講は「アッカド語初級IV」もしくは「アッカド語初級b」の単位を取得したものに限る。 2025年度より2年おき開講。 2026年度開講せず。 対面
AB72H62	古代西アジア史演習III-b	2	2.0	3・4				古代西アジア史の研究に取り組む学生の演習。自らの研究課題について発表し、また討論する。	受講は「アッカド語初級IV」もしくは「アッカド語初級b」の単位を取得したものに限る。 2025年度より2年おき開講。 2026年度開講せず。 対面
AB73A12	中国史文献学I-a	2	1.0	1 - 3				『清実録』の講読を通して漢文史料の基礎的な読解能力を身につける。全履修生が各々の担当部分についてレジュメを作成し報告を行う。『大漢和辞典』および『中日大辞典』の使用が最低限のノルマとして課される。	2024年度より2年おき開講。 2026年度開講せず。 対面
AB73A22	中国史文献学I-b	2	1.0	1 - 3				『清実録』の講読を通して漢文史料の読解能力を実践的な水準に高める。全履修生が各々の担当部分についてレジュメを作成し報告を行う。『大漢和辞典』および『中日大辞典』の使用が最低限のノルマとして課される。	2026年度より2年おき開講。 2026年度開講せず。 対面
AB73A32	中国史文献学II-a	2	1.0	1 - 3				『石渠余紀』の食糧政策関係記事の講読を通して漢文史料の基礎的な読解能力を身につける。全履修生が各々の担当部分についてレジュメを作成し報告を行う。「愛知大学中国語語彙データベース」等の使用が最低限のノルマとして課される。	2025年度より2年おき開講。 2026年度開講せず。 対面
AB73A42	中国史文献学II-b	2	1.0	1 - 3				『石渠余紀』の食糧政策関係記事の講読を通して漢文史料の読解能力を実践的な水準に高める。全履修生が各々の担当部分についてレジュメを作成し報告を行う。「愛知大学中国語語彙データベース」等の使用が最低限のノルマとして課される。	2025年度より2年おき開講。 2026年度開講せず。 対面
AB73A52	中国史文献学III-a	2	1.0	1 - 3	春AB	木6	上田 裕之	『石渠余紀』の対外貿易関係記事の講読を通して漢文史料の基礎的な読解能力を身につける。全履修生が各々の担当部分についてレジュメを作成し報告を行う。「愛知大学中国語語彙データベース」等の使用が最低限のノルマとして課される。	2026年度より2年おき開講。 対面
AB73A62	中国史文献学III-b	2	1.0	1 - 3	秋AB	木6	上田 裕之	『石渠余紀』の対外貿易関係記事の講読を通して漢文史料の読解能力を実践的な水準に高める。全履修生が各々の担当部分についてレジュメを作成し報告を行う。「愛知大学中国語語彙データベース」等の使用が最低限のノルマとして課される。	2026年度より2年おき開講。 対面
AB73C12	満洲語文語基礎-a	2	1.0	1 - 3				清朝の公用語である満洲語の文字・文法と満洲語史料の基礎知識を、講義と史料講読を通じて習得する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB73C22	満洲語文語基礎-b	2	1.0	1 - 3				史料講読を通じて、清朝の公用語である満洲語の文法に関する知識を定着させ、満洲語史料の読解力の向上を図る。	この科目の受講は「満洲語文語基礎-a」の単位を既に取得した学生に限る。 西暦奇数年度開講。 対面
AB73C32	満洲語文語-a	2	1.0	1 - 3	春AB	木5	岩田 啓介	清朝の内陸アジア政策に関する満洲語の編纂史料を講読し、満洲語史料を読み解くための実践的知識を獲得する。	この科目の受講は「満洲語文語基礎-b」の単位を既に取得した学生に限る。 西暦偶数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB73C42	満洲語文語-b	2	1.0	1 - 3	秋AB	木5	岩田 啓介	清朝の内陸アジア政策に関する檔案史料(公文書)を講読し、満洲語史料を読み解くための応用的能力を獲得する。	この科目の受講は「満洲語文語-a」の単位を既に取得した学生に限る。 西暦偶数年度開講。 対面
AB73D12	チベット語文語基礎-a	2	1.0	2 - 4				チベット語の文字と文法の基礎を解説し、チベット語史料を読解するための基礎知識を習得する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB73D22	チベット語文語基礎-b	2	1.0	2 - 4				平易なチベット語文書の講読を通じて、チベット語の文法に関する知識を定着させるとともに、チベット語史料の読解力の向上を図る。	この科目の受講は「チベット語文語基礎-a」の単位を既に取得した学生に限る。 西暦奇数年度開講。 対面
AB73F11	中国史特講I-a	1	1.0	2 - 4	春AB	木3	岩田 啓介	17世紀に成立した清朝(ダイチン・グルン)の特徴を、周辺諸勢力との関係を踏まえて多角的な視座から解説する。それを通じて、清朝の統治構造と国家論に関する知識を深めることを目標とする。	西暦偶数年度開講。 対面
AB73F21	中国史特講I-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	木3	岩田 啓介	17~18世紀における清朝と内陸アジア諸勢力との関係について、特にチベットとその境界地帯の勢力に着目して解説する。それを通じて、清朝の内陸アジア政策の特徴とそれを規定した多面的な要因についての理解を深める。	西暦偶数年度開講。 対面
AB73H12	中国史演習I-a	2	2.0	2 - 4	春AB	火3,4	岩田 啓介,上田 裕之	人文学類中国史サブコースのゼミ。自らの研究テーマに関係する先行研究を精読し、そこに批判的検討を加えることを通して、卒業論文に向けて自らの研究課題を明確化していくことを目標とする。	この科目の受講は「中国史文献学」の単位を取得済みまたは履修中の学生に限る。 2026年度より2年おき開講。 対面
AB73H22	中国史演習I-b	2	2.0	2 - 4	秋AB	火3,4	岩田 啓介,上田 裕之	人文学類中国史サブコースのゼミ。自らの研究課題に即して先行研究および史料を調査・収集し、そこに批判的検討を加えることを通して、卒業論文に向けて自らの研究を具体化していくことを目標とする。	この科目の受講は「中国史文献学」の単位を取得済みまたは履修中の学生に限る。 2026年度より2年おき開講。 対面
AB73H32	中国史演習II-a	2	2.0	2 - 4				人文学類中国史サブコースのゼミ。自らの研究テーマに関係する先行研究を精読し、そこに批判的検討を加えることを通して、卒業論文に向けて自らの研究課題を明確化していくことを目標とする。	この科目の受講は「中国史文献学」の単位を取得済みまたは履修中の学生に限る。 2024年度より2年おき開講。 2026年度開講せず。 対面
AB73H42	中国史演習II-b	2	2.0	2 - 4				人文学類中国史サブコースのゼミ。自らの研究課題に即して先行研究および史料を調査・収集し、そこに批判的検討を加えることを通して、卒業論文に向けて自らの研究を具体化していくことを目標とする。	この科目の受講は「中国史文献学」の単位を取得済みまたは履修中の学生に限る。 2024年度より2年おき開講。 2026年度開講せず。 対面
AB73H52	中国史演習III-a	2	2.0	2 - 4				人文学類中国史サブコースのゼミ。自らの研究テーマに関係する先行研究を精読し、そこに批判的検討を加えることを通して、卒業論文に向けて自らの研究課題を明確化していくことを目標とする。	この科目の受講は「中国史文献学」の単位を取得済みまたは履修中の学生に限る。 2025年度より2年おき開講。 2026年度開講せず。 対面
AB73H62	中国史演習III-b	2	2.0	2 - 4				人文学類中国史サブコースのゼミ。自らの研究課題に即して先行研究および史料を調査・収集し、そこに批判的検討を加えることを通して、卒業論文に向けて自らの研究を具体化していくことを目標とする。	この科目の受講は「中国史文献学」の単位を取得済みまたは履修中の学生に限る。 2025年度より2年おき開講。 2026年度開講せず。 対面
AB74A12	ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献講読-a	2	1.0	1・2	春AB	金5	村上 宏昭	ヨーロッパ・アメリカ史の英文入門書を講読する。	この科目の単位取得が、「ヨーロッパ・アメリカ史演習I-a」～「ヨーロッパ・アメリカ史演習III-b」の履修条件になる。 対面
AB74A22	ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献講読-b	2	1.0	1・2	秋AB	金5	村上 宏昭	ヨーロッパ・アメリカ史に関する基礎的な英文研究書・論文を講読する。	この科目の単位取得が、「ヨーロッパ・アメリカ史演習I-a」～「ヨーロッパ・アメリカ史演習III-b」の履修条件になる。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB74C12	ヨーロッパ・アメリカ史文献学I-a	2	1.0	2 - 4	春AB	火4	高岡 慎太郎	ヨーロッパ近現代史に関するドイツ語文献を講読する。	西暦偶数年度開講。 対面
AB74C22	ヨーロッパ・アメリカ史文献学I-b	2	1.0	2 - 4	秋AB	火4	高岡 慎太郎	ヨーロッパ近現代史に関するドイツ語文献を講読する。	西暦偶数年度開講。 対面
AB74C32	ヨーロッパ・アメリカ史文献学II-a	2	1.0	2 - 4				ヨーロッパ近現代史に関するドイツ語文献を講読する。	ドイツ語の初級文法を習得していることが望ましい。 西暦奇数年度開講。 対面
AB74C42	ヨーロッパ・アメリカ史文献学II-b	2	1.0	2 - 4				ヨーロッパ近現代史に関するドイツ語文献を講読する。	ドイツ語の初級文法を習得していることが望ましい。 西暦奇数年度開講。 対面
AB74H12	ヨーロッパ・アメリカ史演習I-a	2	2.0	3・4				ヨーロッパ・アメリカ史の研究に取り組む学生の演習。自ら設定した課題について発表し、討論する。	この科目の受講は「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献購読a」・「同b」もしくは「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献購読-a」・「同-b」の単位を取得したものに限る。 2024年度より2年おき開講。 対面
AB74H22	ヨーロッパ・アメリカ史演習I-b	2	2.0	3・4				ヨーロッパ・アメリカ史の研究に取り組む学生の演習。自ら設定した課題について発表し、討論する。	この科目の受講は「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献購読a」・「同b」もしくは「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献購読-a」・「同-b」の単位を取得したものに限る。 2024年度より2年おき開講。 対面
AB74H32	ヨーロッパ・アメリカ史演習II-a	2	2.0	3・4				ヨーロッパ・アメリカ史の研究に取り組む学生の演習。自ら設定した課題について発表し、討論する。	この科目の受講は「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献購読a」・「同b」もしくは「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献購読-a」・「同-b」の単位を取得したものに限る。 2025年度より2年おき開講。 対面
AB74H42	ヨーロッパ・アメリカ史演習II-b	2	2.0	3・4				ヨーロッパ・アメリカ史の研究に取り組む学生の演習。自ら設定した課題について発表し、討論する。	この科目の受講は「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献購読a」・「同b」もしくは「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献購読-a」・「同-b」の単位を取得したものに限る。 2025年度より2年おき開講。 対面
AB74H52	ヨーロッパ・アメリカ史演習III-a	2	2.0	3・4	春AB	金3,4	村上 宏昭	ヨーロッパ・アメリカ史の研究に取り組む学生の演習。自ら設定した課題について発表し、討論する。	この科目の受講は「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献購読-a」・「同-b」の単位を取得したものに限る。 2026年度より2年おき開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB74H62	ヨーロッパ・アメリカ史演習III-b	2	2.0	3・4	秋AB	金3,4	村上 宏昭	ヨーロッパ・アメリカ史の研究に取り組む学生の演習。自ら設定した課題について発表し、討論する。	この科目の受講は「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献講読-a」・「同-b」の単位を取得したものに限る。 2026年度より2年おき開講。 対面
AB74K12	ユーラシア史研究-a	2	2.0	4	春ABC	随時	柴田 大輔,山本 孟,岩田 啓介,上田 裕之,村上 宏昭	ユーラシア史に関する卒業論文作成の指導を行う。	対面
AB74K22	ユーラシア史研究-b	2	2.0	4	秋ABC	随時	柴田 大輔,山本 孟,岩田 啓介,上田 裕之,村上 宏昭	ユーラシア史に関する卒業論文作成の指導を行う。	対面
AB74K38	卒業論文(ユーラシア史学)	8	6.0	4	秋ABC	随時	柴田 大輔,山本 孟,岩田 啓介,上田 裕之,村上 宏昭	ユーラシア史学に関する卒業論文。	

歴史地理学コース(専門科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB75A11	歴史地誌学-a	1	1.0	2・3				日本列島が内包する地域差や多様性に着目しながら、景観や生活文化の地域的特色と歴史的変化について理解する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB75A21	歴史地誌学-b	1	1.0	2・3	秋C	木4,5		アジア、南北アメリカ、オセアニアといった環太平洋地域をめぐる人びとの移動、移住、観光に着目しながら、近現代日本の地域形成とその特色を動態的に理解する。	西暦偶数年度開講。 対面
AB75A31	歴史地理学研究法-a	1	1.0	2・3				歴史地理学研究における近世および近代史料の扱い方について教授する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB75A41	歴史地理学研究法-b	1	1.0	2・3				歴史地理学研究における読図や作図の方法、GISの活用方法について教授する。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB75A51	歴史地理学特講-a	1	1.0	2・3				ヨーロッパの歴史地理を、系統地理的な分野別に概観することによって、ヨーロッパの空間的な形成過程について概説する。	両日ともに1-5限で実施。7/5は総合研究棟B0110、7/19は1H201にて実施する。 西暦奇数年度開講。 対面 欧米歴史地理学講義aの単位取得者は履修できない。
AB75A61	歴史地理学特講-b	1	1.0	2・3				ヨーロッパの中でも、とくにフランスの歴史地理を取り上げ、その歴史的展開を時間軸に沿って概説する。	両日ともに1~6限実施。(時間は9:10~17:00) 西暦奇数年度開講。 対面 欧米歴史地理学講義bの単位取得者は履修できない。
AB75B12	歴史地理学文献演習I-a	2	1.0	2 - 4				歴史地理学に関する英文のテキストを講読し、それを基に歴史地理学の方法論について解説を加える。	2025年度より2年おき開講。 対面
AB75B22	歴史地理学文献演習I-b	2	1.0	2 - 4				歴史地理学に関する英文のテキストを講読し、それを基に歴史地理学の諸問題について解説を加える。	受講者は「歴史地理学文献演習I-a」を修得したものに限る。 2025年度より2年おき開講。 対面
AB75B42	歴史地理学文献演習II-a	2	1.0	2 - 4	春AB	金4		歴史地理学に関する英文のテキストを講読し、それを基に歴史地理学の対象や方法論について解説を加える。	2026年度より2年おき開講。 対面
AB75B52	歴史地理学文献演習II-b	2	1.0	2 - 4	秋AB	金4		歴史地理学に関する英文のテキストを講読し、それを基に歴史地理学の諸問題について解説を加える。	受講者は「歴史地理学文献演習II-a」を修得したものに限る。 2026年度より2年おき開講。 対面
AB75B72	歴史地理学文献演習III-a	2	1.0	2 - 4				歴史地理学に関する英文のテキストを講読し、それを基に歴史地理学の方法論について解説を加える。	2024年度より2年おき開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB75B82	歴史地理学文献演習III-b	2	1.0	2 - 4				歴史地理学に関する英文のテキストを講読し、それを基に歴史地理学の諸問題について解説を加える。	受講者は「歴史地理学文献演習III-b」を修得したものに限る。 2024年度より2年おき開講。 対面
AB75C12	歴史地理学演習I-a	2	2.0	2 - 4				歴史地理学の研究手法の習得を目的とする。学術雑誌論文の講読を通して、資料の収集と解読法、図化の手法などを学ぶ。	歴史地理学コース希望の学生は2年次から履修すること。 2024年度より2年おき開講。 対面
AB75C22	歴史地理学演習I-b	2	2.0	2 - 4				歴史地理学の研究手法の習得を目的とする。学術雑誌論文の講読を通して、資料の収集と解読法、図化の手法などを学ぶ。	受講者は「歴史地理学演習I-aを修得したものに限る。歴史地理学コース希望の学生は2年次から履修すること。 2024年度より2年おき開講。 対面
AB75C32	歴史地理学演習II-a	2	2.0	2 - 4				歴史地理学の研究手法の習得を目的とする。学術雑誌論文の講読を通して、論文の構成方法、まとめ方などを学ぶ。	歴史地理学コース希望の学生は2年次から履修すること。 2025年度より2年おき開講。 対面
AB75C42	歴史地理学演習II-b	2	2.0	2 - 4				歴史地理学の研究手法の習得を目的とする。学術雑誌論文の購読を通して、資料の収集と解読法、図化の手法などを学ぶ。	受講者は「歴史地理学演習II-a」を修得したものに限る。歴史地理学コース希望の学生は2年次から履修すること。 2025年度より2年おき開講。 対面
AB75C52	歴史地理学演習III-a	2	2.0	2 - 4	春AB	木4,5	清水 克志	歴史地理学の研究手法の習得を目的とする。学術雑誌論文の講読を通して、論文の構成方法、まとめ方などを学ぶ。	歴史地理学コース希望の学生は2年次から履修すること。 2026年度より2年おき開講。 対面
AB75C62	歴史地理学演習III-b	2	2.0	2 - 4	秋AB	木4,5	清水 克志	歴史地理学の研究手法の習得を目的とする。学術雑誌論文の講読を通して、資料の収集と解読法、図化の手法などを学ぶ。	受講者は「歴史地理学演習III-a」を修得したものに限る。歴史地理学コース希望の学生は2年次から履修すること。 2026年度より2年おき開講。 対面
AB75E13	歴史地理学実習-A	3	2.0	2 - 4				歴史地理学研究に必要とされる文献調査、聞き取り調査や野外観察の方法を現地指導する。	歴史地理学コース希望の学生は2年次から履修すること。 2025年度より2年おき開講。 詳細後日周知 対面
AB75E23	歴史地理学実習-B	3	2.0	2 - 4	通年	集中	清水 克志	歴史地理学研究に必要とされる文献調査、聞き取り調査や野外観察の方法を現地指導する。	歴史地理学コース希望の学生は2年次から履修すること。履修は原則として歴史地理学演習の受講者に限る。 2026年度より2年おき開講。 詳細後日周知 対面
AB75E33	歴史地理学実習-C	3	2.0	2 - 4				歴史地理学研究に必要とされる文献調査、聞き取り調査や野外観察の方法を現地指導する。	歴史地理学コース希望の学生は2年次から履修すること。履修は原則として歴史地理学演習の受講者に限る。 2024年度より2年おき開講。 詳細後日周知 対面
AB75K12	歴史地理学研究-a	2	2.0	4	春ABC	随時	清水 克志	歴史地理学コースの学生の卒論指導を春学期に即して行う。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB75K22	歴史地理学研究-b	2	2.0	4	秋ABC	随時	清水 克志	歴史地理学コースの学生の卒論指導を秋学期に即して行う。	対面
AB75K38	卒業論文(歴史地理学)	8	6.0	4	秋ABC	随時	清水 克志	歴史地理学コースの卒業論文である。	対面
AB75K48	卒業論文(歴史地理学)	8	6.0	4	春ABC	随時	清水 克志	歴史地理学コースの卒業論文である。	春学期末卒業予定者用。 対面 履修登録方法については別途周知予定。

考古学・民俗学(専門基礎科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB80A11	先史学概説-a	1	1.0	1・2	春AB	金3	前田 修	西アジアの先史時代を対象に、人類社会の変遷について具体的事例を示しながら解説する。狩猟採集社会、定住の始まり、農耕牧畜の開始と社会の複雑化について取り上げる。	対面
AB80A21	先史学概説-b	1	1.0	1・2	秋AB	金3	板橋 悠	人類史を理解するために先史学では何が行われているのか、具体的な事例を扱いながら目的と方法についての講義をおこなう。とくに年代決定法や空間分析、自然科学とのかかわりについて解説する。	対面
AB80B11	考古学概説-a	1	1.0	1・2	春AB	木3	滝沢 誠	考古学とはどのような学問か。考古学の目的と方法について、研究の到達点と問題点に言及しつつ解説する。とくに、考古学の方法について講義をおこなう。	対面
AB80B21	考古学概説-b	1	1.0	1・2	秋AB	木3	滝沢 誠	考古学とはどのような学問か。考古学の目的と方法について、研究の到達点と問題点に言及しつつ解説する。とくに、日本考古学の成果と課題について講義をおこなう。	対面
AB80C11	民俗学概説	1	1.0	1・2	春AB	金4	中野 泰	日本の民俗学の誕生と、20世紀における展開について、柳田国男等の研究者を取り上げ、その思想と方法に焦点を当てて概説し、家・家族の民俗に焦点をあてながら、民俗学的思考法の課題と可能性を考察する。	考古学・民俗学主専攻希望の学生はAC50E11と合わせて民俗学の専門基礎科目とする 対面(オンライン併用型) manabaで後日通知する
AB80E11	文化人類学概説	1	1.0	1・2	秋AB	木4	中村 友香	諸社会は世界をどのように知覚してきたのか?理解してきたのか?文化的な活動に焦点を当てて、そこに見いだされる人間集団の根本的な問題について考察する。	考古学・民俗学主専攻希望の学生はAC50E01と合わせて文化人類学の専門基礎科目とするオンライン(同時双方向型) 詳細はmanabaで後日通知する

先史学・考古学コース(専門科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB81B11	先史学特講I-a	1	1.0	2 - 4	春AB	火4	板橋 悠	人類史上最も長く利用されてきた道具である石器を手がかりに、過去の社会を読み解くための研究・分析方法を学ぶことを目的とした講義。基礎概念を整理したうえで日本や西アジアの石器研究の動向を論じ、また復元実験資料を用いたハンズオンの機会を設けることで、考古学的視野を拡張し各自の探究の出発点を形成する。	西暦偶数年度開講。 対面
AB81B21	先史学特講I-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	火4	板橋 悠	先史学研究にもとめられる人類史と地球環境史に関する学際的な知識を身に着けることを目的とし、人類が取り巻く環境やその変化にどの様に適応してきたかを論じていく。	西暦偶数年度開講。 対面
AB81B31	先史学特講II-a	1	1.0	2 - 4				先史学研究で扱われる理論を理解し応用することを目的とし、各回で人類が取り巻く環境にどの様に適応してきたかを推測する理論やモデルを取り上げて議論する、 双方向型の授業を行う。	西暦奇数年度開講。 対面
AB81B41	先史学特講II-b	1	1.0	2 - 4				先史学研究で扱われる理論を理解し応用することを目的とし、 先史集団がどのように農耕社会や都市文明を形成してきたかを説明する理論やモデルを取り上げて議論する、双方向型の授業を行う。	西暦奇数年度開講。 対面
AB81B51	先史学特講III-a	1	1.0	2 - 4				西アジア先史時代における生業のあり方を検討し、狩猟採集社会から農耕牧畜社会への移行について論じる。	西暦奇数年度開講。 対面
AB81B61	先史学特講III-b	1	1.0	2 - 4				西アジア先史時代における生業のあり方を検討し、動物と人間の関係性、家畜飼育の様相、遊牧の開始、乳利用の意義などについて解説する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB81B71	先史学特講IV-a	1	1.0	2 - 4	春AB	月4	板橋 悠	西アジア周辺の事例を中心に、下部旧石器時代から上部旧石器時代までを概観する。 特に捕食行動の変遷に焦点を当て、人類の適応戦略の進化を検討する。	西暦偶数年度開講。 対面
AB81B81	先史学特講IV-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	月4	板橋 悠	西アジア周辺の事例を中心に、終末期旧石器時代から新石器時代、および都市文明の時代を概観する。 特に偶蹄類の家畜化に伴う生業の変化とその汎ユーラシアへの影響について検討する。	西暦偶数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB81H13	先史学実習-A	3	1.0	2 - 4				1週間の室内実習を行う。	2023年度より3年おき開講。 対面
AB81H23	先史学実習-B	3	1.0	2 - 4				1週間の室内実習を行う。	2024年度より3年おき開講。 対面
AB81H33	先史学実習-C	3	1.0	2 - 4				1週間の野外・室内実習を行う。	2025年度より3年おき開講。 対面
AB81H43	先史学実習-D	3	1.0	2 - 4	秋C	集中	谷口 陽子,板橋 悠	1週間の室内実習を行う。	2026年度より3年おき開講。 対面
AB82B11	考古学特講I-a	1	1.0	2 - 4				日本列島における国家の出現や基層文化の形成を中心テーマとし、古墳時代をめぐる諸問題について講義を行う。	西暦奇数年度開講。 対面
AB82B21	考古学特講I-b	1	1.0	2 - 4				日本列島における国家の形成を中心テーマとし、古墳時代の社会と文化について講義を行う。	西暦奇数年度開講。 対面
AB82B31	考古学特講II-a	1	1.0	2 - 4	春AB	月5	滝沢 誠	東アジア世界(おもに朝鮮半島)との交流をテーマとし、古墳時代の社会と文化について講義をおこなう。	西暦偶数年度開講。 対面 授業形態は状況に応じてオンラインほかに変更する可能性がある
AB82B41	考古学特講II-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	月5	滝沢 誠	古墳時代の鉄器生産(主に武器・武具)をとりあげ、それらが国家形成期の日本列島社会に果たした役割について講義をおこなう。	西暦偶数年度開講。 対面 授業形態は状況に応じてオンラインほかに変更する可能性がある
AB82B51	考古学特講III-a	1	1.0	2 - 4				遺物から過去の社会を研究する一例として石器研究を取り上げ、概説的な知識から専門的な研究実践のノウハウまで、包括的なスキルを習得することを目指す。おもに、石材の獲得、石器の製作技術、使用方法について解説する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB82B61	考古学特講III-b	1	1.0	2 - 4				遺物から過去の社会を研究する一例として石器研究を取り上げ、概説的な知識から専門的な研究実践のノウハウまで、包括的なスキルを習得することを目指す。おもに、石器の型式について、日本と西アジアの石器をとりあげて解説する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB82B71	考古学特講IV-a	1	1.0	2 - 4	春AB	木4	前田 修	考古学研究における理論と方法の多様性について、生業・技術・交易・ジェンダー研究など実例を取り上げて解説する。	西暦偶数年度開講。 対面
AB82B81	考古学特講IV-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	木4	前田 修	考古学研究における理論と方法の多様性について、住居・服飾・儀礼・埋葬研究などの実例を取り上げて解説する。	西暦偶数年度開講。 対面
AB82H13	考古学実習-A	3	1.0	2 - 4				1週間程度の野外実習を行う。 受講生は、定められた実習期間のうち必要な日数分の野外実習に参加する。	2025年度より3年おき開講。 含野外調査 対面
AB82H23	考古学実習-B	3	1.0	2 - 4	秋B	集中	滝沢 誠,前田 修	約1週間の野外実習を行う。受講生は、定められた実習期間のうち必要な日数分の野外実習に参加する。	2026年度より3年おき開講。 含野外調査 対面
AB82H33	考古学実習-C	3	1.0	2 - 4				1週間の野外実習を行う。受講生は、定められた実習期間のうち必要な日数分の野外実習に参加する。	2023年度より3年おき開講。 含野外調査 対面
AB82H43	考古学実習-D	3	1.0	2 - 4				1週間の野外実習を行う。受講生は、定められた実習期間のうち必要な日数分の野外実習に参加する。	2024年度より3年おき開講。 含野外調査 対面
AB83A11	物質資料研究法-a	1	1.0	1・2	春AB	木6	前田 修	物質資料研究に必要な室内調査(遺物の分析)の基本技術を学ぶ。	履修制限あり 対面
AB83A21	物質資料研究法-b	1	1.0	1・2	秋AB	木6	前田 修	実物資料に触れながら、考古学研究に必要な室内調査(遺物の図化)の基本技術を学ぶ。	履修制限あり 対面
AB83A31	物質資料研究法-c	1	1.0	1・2	春C	集中	前田 修	考古学研究に必要な野外調査の基本技術(地形測量)を学ぶ。屋外で測量機材を用いた作業をする。	履修制限あり 対面
AB83C11	先史学・考古学外書講読I-a	1	1.0	2・3				専門分野の英語書籍、論文を購読し、内容について議論する。要予習。	西暦奇数年度開講。 対面
AB83C21	先史学・考古学外書講読I-b	1	1.0	2・3				専門分野の英語書籍、論文を購読し、内容について議論する。ピア・レビュー形式。要予習。	西暦奇数年度開講。 対面
AB83C31	先史学・考古学外書講読II-a	1	1.0	2・3	春AB	金4	谷口 陽子	専門分野の英語書籍、論文を購読し、内容について議論する。ピア・レビュー形式。要予習。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
AB83C41	先史学・考古学外書講読II-b	1	1.0	2・3	秋AB	金4	谷口 陽子	専門分野の英語書籍、論文を購読し、内容について議論する。ピア・レビュー形式。要予習。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB83E11	考古学方法論I-a	1	1.0	2・3				考古学研究に用いられる自然科学的な方法論を解説する。出土遺物の材質や製作技法、および年代、産地を探るための自然科学的な研究手法や、民族学的な比較研究方法などを、具体的な事例を基に理解を深める。	西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
AB83E21	考古学方法論I-b	1	1.0	2・3				先史時代から利用されている物質を、製作技法・材料の点から解説する。	西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
AB83E31	考古学方法論II-a	1	1.0	2・3	春AB	金2	谷口 陽子	考古民族的な調査法や考古科学によって明らかにされつつある物質生産の歴史と技術を解説する。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
AB83E41	考古学方法論II-b	1	1.0	2・3	秋AB	金2	谷口 陽子	彩色を持つ文化遺産を中心に、古典技法書と考古遺物の化学分析による結果に触れながら考古学的な解釈を行う。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
AB83F12	先史学・考古学演習I-a	2	1.0	2・3				先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2025年度より3年おき開講。 対面
AB83F22	先史学・考古学演習I-b	2	1.0	2・3				先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2025年度より3年おき開講。 対面
AB83F32	先史学・考古学演習I-c	2	1.0	2・3				先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2025年度より3年おき開講。 対面
AB83F42	先史学・考古学演習II-a	2	1.0	2・3	春A 春B	火3	滝沢 誠,谷口 陽子,前田 修,板橋 悠	先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2026年度より3年おき開講。 対面
AB83F52	先史学・考古学演習II-b	2	1.0	2・3	秋A 秋B	火3	滝沢 誠,谷口 陽子,前田 修,板橋 悠	先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2026年度より3年おき開講。 対面
AB83F62	先史学・考古学演習II-c	2	1.0	2・3	春C 秋C	火3	滝沢 誠,谷口 陽子,前田 修,板橋 悠	先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2026年度より3年おき開講。 対面
AB83G12	先史学・考古学演習III-a	2	1.0	2・3				先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2023年度より3年おき開講。 対面
AB83G22	先史学・考古学演習III-b	2	1.0	2・3				先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2023年度より3年おき開講。 対面
AB83G32	先史学・考古学演習III-c	2	1.0	2・3				先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2023年度より3年おき開講。 対面
AB83G42	先史学・考古学演習IV-a	2	1.0	2・3				先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2024年度より3年おき開講。
AB83G52	先史学・考古学演習IV-b	2	1.0	2・3				先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2024年度より3年おき開講。 対面
AB83G62	先史学・考古学演習IV-c	2	1.0	2・3				先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2024年度より3年おき開講。 対面
AB83K12	先史学・考古学研究-a	2	2.0	4	春ABC	水2	滝沢 誠,谷口 陽子,前田 修,板橋 悠	先史学、考古学に関する卒業論文の指導を行う。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB83K22	先史学・考古学研究-b	2	2.0	4	秋ABC	応談	滝沢 誠,谷口 陽子,前田 修,板橋悠	先史学、考古学に関する卒業論文の指導を行う。	対面
AB83K32	先史学・考古学研究-b	2	2.0	4	春ABC	応談	滝沢 誠,谷口 陽子,前田 修,板橋悠	先史学、考古学に関する卒業論文の指導を行う。	春学期末(9月末)卒業予定者用の科目であるため、通常の秋学期末(3月末)卒業予定者は履修しないこと。 対面 履修登録方法については別途周知予定。
AB83K38	卒業論文(先史学・考古学)	8	6.0	4	秋ABC	随時	滝沢 誠,谷口 陽子,前田 修,板橋悠	先史学・考古学に関する卒業論文。	
AB83K48	卒業論文(先史学・考古学)	8	6.0	4	春ABC	随時	滝沢 誠,谷口 陽子,前田 修,板橋悠	先史学・考古学に関する卒業論文。	春学期末(9月末)卒業予定者用の科目であるため、秋学期末(3月末)卒業予定者は履修しないこと。 履修登録方法については別途周知予定。

民俗学・文化人類学コース(専門科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB84A11	民俗学特講-a	1	1.0	2 - 4	春AB	月5	武井 基晃	民俗学の事例分析を通して、調査の視点・研究の方法の検討を行う。	対面 manabaで通知する
AB84A21	民俗学特講-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	月5	武井 基晃	最新の研究事例を検討し、民俗学の理論的展望を考える。	対面 manabaで通知する
AB84A31	民俗学特講-c	1	1.0	2 - 4	春C	月4,5	武井 基晃	東アジアの民俗儀礼について講義する	対面 manabaで通知する
AB84B11	民俗史料講義-a	1	1.0	2 - 4				民俗・生活などについて書かれた近世における一般向けの読み物を扱い、民俗学の史料批判のあり方を検討する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB84B21	民俗史料講義-b	1	1.0	2 - 4				民俗について書かれた様々な資料を幅広く扱い、民俗学における史料批判のあり方を検討する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB84B31	民俗史料講義-c	1	1.0	2 - 4				明治時代に刊行された民俗の報告などを中心に、民俗学における史料批判のあり方を検討する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB84C12	民俗学研究法-a	2	1.0	3	春AB	金3	中野 泰,武井 基晃,渡部 圭一	民俗学の卒業論文に取り組む人文学類の3年生を対象に課題設定のしかたについて指導を行う。	民俗学で卒業論文を書く人文学類生に限る 対面 manabaで通知する
AB84C22	民俗学研究法-b	2	1.0	3	秋AB	金3	中野 泰,武井 基晃,渡部 圭一	民俗学の卒業論文に取り組む人文学類の3年生を対象に調査計画の立てかた、調査成果の報告のしかたや論文作成の指導を行う。	民俗学で卒業論文を書く人文学類生に限る 対面 manabaで通知する
AB84C32	民俗学研究法-c	2	1.0	3	春C秋C	金3	中野 泰,武井 基晃,渡部 圭一	民俗学の卒業論文に取り組む人文学類の3年生を対象に調査成果の分析のしかたや論文作成の指導を行う。	民俗学で卒業論文を書く人文学類生に限る 対面 manabaで通知する
AB84E12	民俗学演習-a	2	1.0	2 - 4	春AB	月3	武井 基晃	民俗学の最新の論文を検討する。特に論文内の問いと答え、目的と成果を明確に意識して読むことを学ぶ。	人文学類と比較文化学類の学生に限る。 対面 詳細はmanabaで通知
AB84E22	民俗学演習-b	2	1.0	2 - 4	秋AB	月3	武井 基晃	問い・目的の立て方を軸に論文を読み、構成や事例の提示のしかたなど論文作成の方法を身に付ける。	人文・文化学群の学生に限る。 対面 詳細はmanaba参照
AB84E32	民俗学演習-c	2	1.0	2 - 4	秋C	月3,4	武井 基晃	民俗学の最新の論文について、特に論文の問いと研究史の連関について学ぶ。	人文学類の学生に限る。 対面
AB84E52	比較民俗学演習-a	2	1.0	2 - 4	春AB	火3	中野 泰	民俗学における比較の意義を、外国語文献も含めて輪読し、検討する。	人文学類と比較文化学類の学生に限る。 対面
AB84E62	比較民俗学演習-b	2	1.0	2 - 4	秋AB	火3	中野 泰	民俗学における比較の意義を、テーマ研究発表・ディスカッションを通じて考察する。	人文学類の学生に限る。 対面
AB84E72	比較民俗学演習-c	2	1.0	2 - 4	春C	火3,4	中野 泰	民俗学における比較の理論的位置づけについて、議論を行い、その位置づけを表現する作法を身に付ける。	人文学類の学生に限る。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB84F11	民俗学調査法-A	1	1.0	2 - 4				民俗学のフィールドワークの調査法について、実際に調査に出るために不可欠な事前指導を行う。人文学類で民俗学を専攻(希望)する学生を対象とし、民俗学の専門基礎科目の履修が参加資格となる。	人文学類の学生に限る 西暦奇数年度開講。 対面
AB84F21	民俗学調査法-B	1	1.0	2 - 4	春BC	水6	中野 泰,武井 基晃	民俗調査のフィールドワークに実際に出ることを想定し、調査法について事前準備を行う。人文学類で民俗学を専攻(希望)する学生を対象とし、民俗学の専門基礎科目の履修が参加資格となる。	人文学類の学生に限る 西暦偶数年度開講。 対面
AB84G15	民俗学実習-A	5	2.0	2 - 4				フィールドワークを行い調査報告書を執筆する。人文学類で民俗学を専攻(希望)する学生を対象とする。民俗学の専門基礎科目、春学期の民俗学調査法の履修が参加資格となる。	人文学類の学生に限る 西暦奇数年度開講。 含野外調査 対面
AB84G25	民俗学実習-B	5	2.0	2 - 4	秋ABC	水6 集中	中野 泰,武井 基晃	フィールドワークを行い調査報告書を執筆する。人文学類で民俗学を専攻(希望)する学生を対象とする。民俗学の専門基礎科目、春学期の民俗学調査法の履修が参加資格となる。	人文学類の学生に限る 西暦偶数年度開講。 含野外調査 対面
AB85A11	文化人類学講義I-a	1	1.0	2 - 4				人類学はフィールドワークと先行の民族誌と理論の間のインタラクティヴな関係から生まれる。フィールドワークで得られたデータをどの記述概念を使って記述して、どの分析概念を使って考察するのかは、極めて重要だ。民族誌を批判的に使いながら、人類学における概念の役割について考察する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB85A21	文化人類学講義I-b	1	1.0	2 - 4				人類学はフィールドワークと先行の民族誌と理論の間のインタラクティヴな関係から生まれる。フィールドワークに基づく事例や民族誌に触れながら、その事象がどのような概念をもって分析されてきたのかについて探求を行う。	西暦奇数年度開講。 対面
AB85A31	文化人類学講義II-a	1	1.0	2 - 4	春AB	火2	中村 友香,木村 周平	民族誌や具体的な事例を通して、ケアの実践や関係を考察する視点、議論や分析概念を学	西暦偶数年度開講。
AB85A41	文化人類学講義II-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	火2		民族誌や具体的な事例を通して、人やもの、自然環境など、多様な存在の関係を考察する視点、議論や分析概念を学ぶ	西暦偶数年度開講。 対面
AB85E12	文化人類学演習I-a	2	1.0	2 - 4				人類学の様々な民族誌を取り上げて、問題の立て方、記述の方法、根拠として使われたデータ、分析概念、導かれた答えについて批判的に検討を加え、民族誌の読み方と書き方について理解を深める。	西暦奇数年度開講。 対面
AB85E22	文化人類学演習I-b	2	1.0	2 - 4				民族誌的著作および文化人類学の論文の読解を通して、問いの立て方、調査手法、学術的な記述法について学ぶ。	西暦奇数年度開講。 対面
AB85E32	文化人類学演習II-a	2	1.0	2 - 4	春AB	火1	中村 友香	民族誌的著作もしくは文化人類学の論文の読解を通して、問いの立て方、調査手法、学術的な記述法について学ぶ。特に、身体に関するテーマを中心とする。	西暦偶数年度開講。
AB85E42	文化人類学演習II-b	2	1.0	2 - 4	秋AB	火1	中村 友香	民族誌的著作もしくは文化人類学の論文の読解を通して、問いの立て方、調査手法、学術的な記述法について学ぶ。特に、環境に関するテーマを中心とする。	西暦偶数年度開講。 対面
AB85F11	文化人類学調査法-A	1	1.0	2 - 4				人類学における調査を実践しながら学び、様々な調査方法の応用可能性と限界について考察する。人文学類で文化人類学を専攻(希望)するものに限り、事前に文化人類学の専門基礎科目を履修しておくこと。	人文学類の学生に限る 西暦奇数年度開講。 対面
AB85F21	文化人類学調査法-B	1	1.0	2 - 4	春AB	水6	中村 友香,佐本 英規	人類学における調査を実践しながら学び、様々な調査方法の応用可能性と限界について考察する。人文学類で文化人類学を専攻(希望)するものに限り、事前に文化人類学の専門基礎科目を履修しておくこと。	人文学類の学生に限る 西暦偶数年度開講。
AB85G15	文化人類学実習-A	5	2.0	2 - 4				フィールドワークの研究計画書を準備した後、5日～6日程度のフィールドワークを集中的に行う。その後、民族誌を執筆して発表する。 人文学類で文化人類学を専攻(希望)するものに限る。 春学期に文化人類学調査法を履修しておくこと。	人文学類の学生に限る 西暦奇数年度開講。 含野外調査 対面
AB85G25	文化人類学実習-B	5	2.0	2 - 4	秋ABC 秋学期	水6 集中	中村 友香,佐本 英規	フィールドワークの研究計画書を準備した後、5日～6日程度のフィールドワークを集中的に行う。その後、民族誌を執筆して発表する。 人文学類で文化人類学を専攻(希望)するものに限る。 春学期に文化人類学調査法を履修しておくこと。	人文学類の学生に限る 西暦偶数年度開講。 含野外調査 対面
AB86K12	民俗学・文化人類学研究-a	2	2.0	4	春ABC	応談	中野 泰,武井 基晃,中村 友香		詳細後日周知 対面
AB86K22	民俗学・文化人類学研究-b	2	2.0	4	秋ABC	応談	中野 泰,武井 基晃,中村 友香		対面
AB86K38	卒業論文(民俗学・文化人類学)	8	6.0	4	秋ABC	随時	中野 泰,武井 基晃,中村 友香		

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考

言語学(専門基礎科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB90A11	言語学概論-a	1	1.0	1	春AB	木3	宮川 創,堤 智昭,山岡 翔	言語学の各分野および人文情報学について概観することで、言語を分析するための基礎について学ぶ。	対面 状況によってはオンラインに変更する可能性があります。
AB90A21	言語学概論-b	1	1.0	1	秋AB	木3	宮川 創,堤 智昭,山岡 翔	言語学の各分野および人文情報学について概観することで、言語を分析するための基礎について学ぶ。	対面 状況によってはオンラインに変更する可能性があります。
AB90A31	音声学概論	1	1.0	1	春AB	木4	黄 賢暟	This course provides an introduction to the study of human speech sounds. Various aspects of speech production and perception will be discussed, involving articulatory apparatus, phonetic transcription, and basic acoustics of speech.	英語で授業。 オンライン(同時双方向型)
AB90B11	応用言語学概論-a	1	1.0	1・2	春AB	火6	平井 明代,小野雄一,小泉 利恵,田川 拓海,土方裕子,柳沢 明文	応用言語学全般にわたり概説する。	オンライン(オンデマンド型) オンライン(同時双方向型)
AB90B21	応用言語学概論-b	1	1.0	1・2	秋AB	火6	平井 明代,小野雄一,小泉 利恵,田川 拓海,土方裕子,柳沢 明文	応用言語学全般にわたり概説する。	オンライン(オンデマンド型) オンライン(同時双方向型)
AB90C11	日本語学概論-a	1	1.0	1・2	春AB	木6	橋本 修	日本語の、主として社会的な側面について解説する。日本語に関する社会調査の例についても一部取り扱う。	G科目 オンライン(オンデマンド型)
AB90C21	日本語学概論-b	1	1.0	1・2	秋AB	木6	菅野 倫匡	主に現代日本語を題材として語彙論・文法論に関わる事項を取り上げながら日本語を観察したり分析したりする方法について解説する。	G科目 オンライン(オンデマンド型) オンライン(同時双方向型)
AB90E11	中国語学概論	1	1.0	1・2	秋AB	木5	佐々木 勲人	中国語の基礎知識を身につけるとともに,中国語学の研究方法について学ぶ。	対面
AB90F11	英語学概論-a	1	1.0	1・2	春AB	火5	和田 尚明	ことばの一定の形式(音調・強勢も含む)に対して意味がどのような規則性で対応するかという問題について、文法化などの通時的変化も考慮しながら検討する。特に、高校までに習った英文法の知識をもとに扱える現象を中心に概観し、英語の意味理解を深めるとともに、意味研究の面白さを伝える。	受講希望者多数の場合、履修制限を設けることがある。 オンライン(オンデマンド型) オンライン(同時双方向型) オンライン(同時双方向型)で授業を行う。ただし、特別な事情があって申し出て、それが認められれば、録画を視聴することで受講すること(オンデマンド型)も可。
AB90F21	英語学概論-b	1	1.0	1・2	秋AB	火5	山村 崇斗,納谷亮平	英語の統語的特性および形態的特性を、日本語や古い英語と対比させながら概観し、形式が語順などの統語面や形態などの語彙面にどのように反映されているかについて考える。また、英語の方言や多様性、他言語との接触についても検討し、国際共通語としての姿を理解する。	履修制限を設けることがある。 対面 オンライン(オンデマンド型)
AB90G11	仏語学概論	1	1.0	1・2	秋AB	金3	ジャクタ ブルノ ダニエル フィリップ	フランス語の特徴をふまえながら、フランス語学について概説する。	対面
AB90H11	独語学概論	1	1.0	1・2	春AB	金5	住大 恭康	ドイツ語・ゲルマン語に関心のある者を対象にドイツ語学を学び,研究するための基本的知識・概念について講義し,ドイツ語の特徴を明らかにする。	CEGLOG開設の「ドイツ語基礎」を履修していなくても受講できる。 オンライン(オンデマンド型)

一般言語学コース(専門科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB91A01	人文情報学	1	1.0	1 - 4	秋AB	火5	堤 智昭	人文情報学に関する講義・演習。人文学分野への情報技術応用に関する講義、及び演習を行う。演習では、情報分野で使われているプログラミング・データベース・ネットワークについて実際にコンピュータを使いながら学習する。	対面
AB91A11	実験音声学	1	1.0	2・3	春AB	木5	黄 賢暟	This course provides training in designing and running a basic phonetic experiment, analyzing quantitative speech data and interpreting the results.	英語で授業。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB91A21	実験言語学	1	1.0	2・3	秋AB	木5	黄 賢暻	This course introduces a range of experimental research across different domains in linguistics, and provide the basics of experimental approaches. Students are expected to be able to make empirical observations for theoretical generalizations.	英語で授業。 対面
AB91A31	記述言語学	1	1.0	2・3	春AB	火4	山岡 翔	未知の言語のデータを収集し、 その言語体系を発見するための方法を身につける。	対面 場合によりオンライン
AB91A51	歴史言語学	1	1.0	2・3	春AB	金3	宮川 創	さまざまな言語を例に、音法則と失われた言語を復元する方法を学ぶ。	対面(オンライン併用型) 状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB91A71	実験言語・音声学	1	1.0	2・3	秋C	集中		言語学・音声学的実験におけるPraat等のツールの利用方法および応用事例を学ぶ。その上で自ら研究プロジェクト構築に取り組む。	対面
AB91B12	一般言語学演習I-a	2	1.0	2 - 4	春AB	火2	山岡 翔	ベトナム語に関する文法書を読み解くことを通して、言語学の諸分野ならびに東南アジアの言語の様相について考える。	対面 場合によりオンライン
AB91B22	一般言語学演習I-b	2	1.0	2 - 4	秋AB	火2	山岡 翔	ベトナム語に関する文法書を読み解くことを通して、言語学の諸分野ならびに東南アジアの言語の様相について考える。	対面 場合によりオンライン
AB91B32	一般言語学演習II-a	2	1.0	2 - 4	春AB	木4	堤 智昭	受講生の研究について、情報工学をはじめとした異分野の技術・思考手法を交えながら、学生主体の演習形式で論じ合う。これにより、分野横断的に活用可能な問題点を見いだす能力、先行研究を整理・批判する能力、新たな知見を生み出し、それを説得的に伝達する能力を身に付ける。	対面 状況によってはオンラインに変更する可能性があります。
AB91B42	一般言語学演習II-b	2	1.0	2 - 4	秋AB	木5	堤 智昭	受講生の研究について、情報工学をはじめとした異分野の技術・思考手法を交えながら、学生主体の演習形式で論じ合う。これにより、分野横断的に活用可能な問題点を見いだす能力、先行研究を整理・批判する能力、新たな知見を生み出し、それを説得的に伝達する能力を身に付ける。	対面 状況によってはオンラインに変更する可能性があります。
AB91C12	一般言語学特殊演習I-a	2	1.0	2 - 4	春AB	木4	宮川 創	Ancient Egyptian: A Linguistic Introduction (Cambridge University Press) を演習形式で講読する。Historical Linguistics (Edinburgh University Press)およびThe Ancient Egyptian Language: An Historical Study (Cambridge University Press) を補助教材として、必要に応じて発表や討論時の参考に用いる。古代エジプト語からコプト語まで、5千年に及ぶエジプト語史を通して歴史言語学の諸概念への理解を深める。各回ごとに各章の内容に関する発表をする者を決め、発表の後は、全体で討論を行う。	対面主体ですが、状況によってオンラインも併用します。 対面
AB91C22	一般言語学特殊演習I-b	2	1.0	2 - 4	秋AB	木4	宮川 創	コプト語を含む古代エジプト語の文献を読解し、英語をはじめとする諸外国語で書かれた研究文献を参照しながら、歴史言語学的に古代エジプト語を分析する。	対面主体ですが、状況によってオンラインも併用します。 対面
AB91F12	古代エジプト語初級-a	2	1.0	1 - 4	春AB	水2	宮川 創	ヒエログリフやコプト文字を学んだ上で、古代エジプト語の基礎を学ぶ。	対面
AB91F22	古代エジプト語初級-b	2	1.0	1 - 4	秋AB	水2	宮川 創	古代エジプト語初級-bに引き続き古代エジプト語の文法を学ぶ。ヒエラティックおよびデモティックも学ぶ。	対面
AB91G12	古代エジプト語中級-a	2	1.0	2 - 4	春AB	木2	宮川 創		対面
AB91G22	古代エジプト語中級-b	2	1.0	2 - 4	秋AB	木2	宮川 創		対面
AB91H12	ベトナム語初級-a	2	1.0	1 - 4	春AB	金4	山岡 翔		対面
AB91H22	ベトナム語初級-b	2	1.0	1 - 4	秋AB	金4	山岡 翔		対面
AB91K12	一般言語学研究-a	2	2.0	4	春学期	随時	黄 賢暻,佐々木 勲人,宮川 創,堤 智昭,山岡 翔,住大 恭康,臼山 利信	卒業研究の構想と資料の収集・分析に関する指導を行う。	
AB91K22	一般言語学研究-b	2	2.0	4	秋学期	随時	黄 賢暻,佐々木 勲人,宮川 創,堤 智昭,山岡 翔,住大 恭康,臼山 利信	卒業論文の書き方に関する指導を行う。	
AB91K38	卒業論文(一般言語学)	8	6.0	4	秋ABC	随時	黄 賢暻,佐々木 勲人,宮川 創,堤 智昭,山岡 翔,住大 恭康,臼山 利信	一般言語学に関する卒業論文。	
AB94A12	中国語文法演習-a	2	1.0	2・3				中国語文法の研究法について、演習形式でその基礎を学ぶ。	担当教員変更の可能性あり。 西暦奇数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB94A22	中国語文法演習-b	2	1.0	2・3				中国語文法の研究法について演習形式で学ぶ。	担当教員変更の可能性あり。 西暦奇数年度開講。 対面
AB94A31	中国語学講義-a	1	1.0	2・3	春AB	月3	佐々木 勲人	陸倹明著《現代漢語語法研究教程(第五版)》を読みながら中国語文法の諸問題について考える。	2026年度より3年おき開講。 対面
AB94A32	中国語演習-a	2	1.0	2・3	春AB	月2	陳 玥	聴説読写の4技能を高めるための総合的な語学トレーニングをおこなう。	対面
AB94A41	中国語学講義-b	1	1.0	2・3	秋AB	月3	佐々木 勲人	陸倹明著《現代漢語語法研究教程(第五版)》を読みながら中国語文法の諸問題について考える。	2026年度より3年おき開講。 対面
AB94A42	中国語演習-b	2	1.0	2・3	秋AB	月2	陳 玥	聴説読写の4技能を更に高めるための総合的な語学トレーニングをおこなう。	対面
AB94B12	中国語学演習I-a	2	1.0	3・4				中国語文法に関する文献を読み進めながら,中国語の特徴について考える。	西暦奇数年度開講。 対面
AB94B22	中国語学演習I-b	2	1.0	3・4				中国語文法に関する文献を読み進めながら,中国語の特徴について考える。	西暦奇数年度開講。 対面
AB94B32	中国語学演習II-a	2	1.0	3・4	春AB	火2	佐々木 勲人	中国東南方言の基礎的構文を学ぶことを通して、方言文法研究の手法を身につける。	西暦偶数年度開講。 対面
AB94B42	中国語学演習II-b	2	1.0	3・4	秋AB	火2	佐々木 勲人	中国東南方言の基礎的構文の分析を通して、方言文法研究の新たなテーマを発掘する能力を身につける。	西暦偶数年度開講。 対面
AB97B11	ドイツ語学講義I-a	1	1.0	2・3				ドイツ語の文法書における記述を参考にしながら,ドイツ語学におけるいくつかのトピックについて講義する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB97B21	ドイツ語学講義I-b	1	1.0	2・3				ドイツ語の文法書における記述を参考にしながら,ドイツ語学におけるいくつかのトピックについて講義する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB97B31	ドイツ語学講義II-a	1	1.0	2・3				ドイツ語で書かれた言語学に関する文献を精読しながら,「ドイツ語学」に関するアクチュアルなトピックを論じる。	西暦偶数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
AB97B41	ドイツ語学講義II-b	1	1.0	2・3				「言語学」としてのドイツ語学における基本的概念を習得し,併せて言語を分析する能力を身に付ける。	西暦偶数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
AB97F12	ドイツ語演習I-a	2	1.0	1 - 3	春AB	火3	住大 恭康	中級程度の文法知識の復習をしながら、ドイツ語読解能力を高める。	西暦偶数年度開講。
AB97F22	ドイツ語演習I-b	2	1.0	1 - 3	秋AB	火3	住大 恭康	中級程度の文法知識をもとにドイツ語読解能力を高める。	西暦偶数年度開講。
AB97F32	ドイツ語演習II-a	2	1.0	2・3				中級程度の文法知識を確認しながら、作文能力を高める。	西暦奇数年度開講。 対面
AB97F42	ドイツ語演習II-b	2	1.0	2・3				中級程度の文法的・語彙的な知識をもとに作文能力を高める。	西暦奇数年度開講。 対面
AB97G12	ドイツ語学演習I-a	2	1.0	2・3				基本文献を読みながら,ドイツ語学における重要な概念を修得し,あわせてドイツ語と他言語を比較する「面白さ」に触れる。	西暦奇数年度開講。 対面
AB97G22	ドイツ語学演習I-b	2	1.0	2・3				基本文献を読みながら,ドイツ語学における重要な概念ならびに方法論を修得する。あわせてドイツ語と他言語を比較し,通言語的に有意義な「一般化」について議論する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB97G32	ドイツ語学演習II-a	2	1.0	3・4	春AB	月3	住大 恭康	ドイツ語の文法と意味に関する論文を講読しながら,既存の考え方を批判的に検討する。	西暦偶数年度開講。
AB97G42	ドイツ語学演習II-b	2	1.0	3・4	秋AB	月3	住大 恭康	ドイツ語における文法と意味の関係を扱った論文を講読しながら,既存の研究を批判的に検討する。	西暦偶数年度開講。
AB98A11	露語文法論-a	1	1.0	2				ロシア語文法に関する主要事項の全体的把握を目指す。ここでは、単数形と複数形、名詞・形容詞変化と動詞変化等について丁寧に解説する。	原則として1年以上のロシア語学習歴があることを本科目の履修条件とする。 2024年度より3年おき開講。
AB98A21	露語文法論-b	1	1.0	2				ロシア語文法に関する主要事項の全体的把握を目指す。ここでは、動詞の体と時制、無人称文と不定人称文等について丁寧に解説する。	原則として1年以上のロシア語学習歴があることを本科目の履修条件とする。 2024年度より3年おき開講。
AB98A31	露語音声学・音韻論-a	1	1.0	2・3				ロシア語音声資料を適宜用いながら、概括的な内容を含むロシア語の関連文献を丁寧に読み、ロシア語の音声に関する研究のあり方を整理・検討する。	2024年度より3年おき開講。
AB98A41	露語音声学・音韻論-b	1	1.0	2・3				ロシア語音声資料を適宜用いながら、概括的な内容を含むロシア語の関連文献を丁寧に読み、ロシア語の音声に関する研究のあり方を整理・検討する	2024年度より3年おき開講。
AB98A61	露語音声学・音韻論-c	1	1.0	2・3					2024年度より3年おき開講。
AB98A71	露語学特講-a	1	1.0	2 - 4				ロシア語学に関するトピックを取り上げ、ロシア語の構造と機能の特性などについて検討する。	原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。 2024年度より3年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB98A81	露語学特講-b	1	1.0	2 - 4				ロシア語学に関するトピックを取り上げ、ロシア語の構造と機能の特性などについて検討する。	原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。 2024年度より3年おき開講。
AB98A91	露語学特講-c	1	1.0	2 - 4				ロシア語学に関するトピックを取り上げ,ロシア語の構造と機能の特性などについて検討する	原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。 2024年度より3年おき開講。
AB98B11	ロシア言語文化特講-a	1	1.0	2 - 4	春AB	火4	加藤 百合	ロシアの言語文化を知るために、ロシア語のテキストを講読して授業を進める。深く精確な読解に必要な文法の基礎力を訓練する。内容に関わる、歴史的文化的な知識については十分説明を加え、背景や国民性についてある程度まとまった理解を涵養する。	西暦偶数年度開講。
AB98B21	ロシア言語文化特講-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	火4	加藤 百合	ロシアの言語文化を知るために、ロシア語のテキストを講読して授業を進める。深く精確な読解に必要な文法の基礎力を訓練する。内容に関わる、歴史的文化的な知識については十分説明を加え、背景や国民性についてある程度まとまった理解を涵養する。	西暦偶数年度開講。
AB98C01	スラヴの言語と文化-b	1	1.0	3・4				スラヴ諸語の中から1言語を取り上げ、その言語構造の基礎と文化を学ぶ。	原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。 2024年度より3年おき開講。
AB98E31	スラヴの言語と文化-a	1	1.0	3・4				スラヴ諸語の中から1言語を取り上げ、その言語構造の基礎と文化を学ぶ。	原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。 2024年度より3年おき開講。
AB98F42	ロシア語演習I-a	2	1.0	1・2	春AB	木4	アファナシエヴァ ナターリア,加藤 百合	平易なロシア語のテキストを読み、ロシア語で内容全体について要約したり、内容の一部について細かく説明したりする訓練を行う。	ロシア語で授業。 対面(オンライン併用型)
AB98F52	ロシア語演習I-b	2	1.0	1・2	秋AB	木4	アファナシエヴァ ナターリア,加藤 百合	平易なロシア語のテキストを読み、ロシア語で内容全体について要約したり、内容の一部について細かく説明したりする訓練を行う。ロシア語演習I-aとは異なるテキストを使用する。	ロシア語で授業。 対面(オンライン併用型)
AB98G42	露語会話作文演習-a	2	1.0	3・4	春AB	木3	アファナシエヴァ ナターリア,加藤 百合	基本文法と基本語彙の復習をしながら、さらなるコミュニケーション能力の向上を目指す。ここでは日常生活に役立つ表現を学ぶ。	ロシア語で授業。 対面(オンライン併用型)
AB98G52	露語会話作文演習-b	2	1.0	3・4	秋AB	木3	アファナシエヴァ ナターリア,加藤 百合	基本文法と基本語彙の復習をしながら、さらなるコミュニケーション能力の向上を目指す。ここでは討論に役立つ表現を学ぶ。	ロシア語で授業。 対面(オンライン併用型)
AB98G72	ロシア語演習II-a	2	1.0	1・2				ロシア文学講読。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB98G82	ロシア語演習II-b	2	1.0	1・2				ロシア文学史講読。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)

応用言語学コース(専門科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB92A11	応用言語学講義I-a	1	1.0	1・2				第二言語としての英語リーディングに焦点をあて、リーディングとはどのような過程であるか、何が原因で読むことが困難になるのかについて概観する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB92A21	応用言語学講義I-b	1	1.0	1・2				第二言語としての英語リーディングに関する知見を深め、リーディングの効果的な指導法や、リーディングと他技能との統合タスクについて検討する。	西暦奇数年度開講。 対面
AB92A31	応用言語学講義II-a	1	1.0	1・2	春AB	木5	柳沢 明文	外国語としての英語の指導・習得を中心に、第二言語習得・学習の研究について、議論や発表を通して理解を深める。特に、語彙や定型表現の学習に焦点を当て、「『効果的』な学習活動・学習教材」について研究を概観する。	対面
AB92A41	応用言語学講義II-b	1	1.0	1・2	秋AB	木5	柳沢 明文	外国語としての英語の指導・習得を中心に、第二言語習得・学習の研究について、議論や発表を通して理解を深める。特に、語彙や定型表現の学習に焦点を当て、研究事例や手法を学ぶことを通して、研究知見についての理解を深める。	対面
AB92A51	応用言語学講義III-a	1	1.0	1・2	秋AB	水3		社会言語学の視点やこれまでの重要な発見を、身近な言語事象を交えながら概観する。III-aでは、言語の多様な姿について理解を深めることを焦点とする。	対面
AB92A61	応用言語学講義III-b	1	1.0	1・2	秋C	水4,5		社会言語学の視点やこれまでの重要な発見を、身近な言語事象を交えながら概観する。III-bでは、言語使用に関わる原理についての諸理論と実際の言語使用を分析するアプローチについて学ぶ。	応用言語学講義III-bの履修は、応用言語学講義III-aを履修済みであることを条件とする。 対面
AB92A71	応用言語学講義IV-a	1	1.0	1・2	春AB	金3	田川 拓海	現代日本語の文章を中心に,文章の振る舞い・特徴を言語学的に究明する基盤となる「文体」「話しことば/書きことば」「結束性」について基本的な概念と言語現象の整理を行うとともに,言語研究における理論・モデルについての基本的な知識を身に付ける。	西暦偶数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB92A81	応用言語学講義IV-b	1	1.0	1・2	秋AB	金3	田川 拓海	現代日本語の文章を中心に,文章の振る舞い・特徴を言語学的に究明する手がかりとなる「文体」「話しことば/書きことば」「結束性」の観点から実際の言語現象の分析・検討を行う。	西暦偶数年度開講。対面
AB92B12	外書講読I-a	2	1.0	1 - 3				英語で書かれた応用言語学研究の方法論に関するテキストを講読する。テキストに書かれた英語の特徴に注意を払いつつ、応用言語学分野の研究法を理解できるようにする。	西暦奇数年度開講。対面
AB92B22	外書講読I-b	2	1.0	1 - 3				英語で書かれた応用言語学研究の方法論に関する文献を講読する。テキストに書かれた英語の特徴に注意を払いつつ、応用言語学の研究手法について理解を深める。	西暦奇数年度開講。対面
AB92B32	外書講読II-a	2	1.0	1 - 3	春AB	金5	小野 雄一	英語で書かれた応用言語学に関する基礎文献の講読を行う。文法、語法などに注意を払いつつ、応用言語学に関する基礎知識の習得に努める。本授業では、言語使用の基礎となる言語理論に関する論文を講読する。	西暦偶数年度開講。対面
AB92B42	外書講読II-b	2	1.0	1 - 3	秋C	金1,2	小野 雄一	英語で書かれた応用言語学に関する基礎文献の講読を行う。文法、語法などに注意を払いつつ、応用言語学に関する基礎知識の習得に努める。本授業では、第二言語習得理論の基礎を扱っている論文を講読する。	西暦偶数年度開講。対面
AB92C12	応用言語学演習I-a	2	1.0	2・3	春AB	金4	土方 裕子	各自の文献研究とミニリサーチを通じて、英語教育学の中でも特にリーディングの分野で用いられる研究手法を修得する。	西暦偶数年度開講。対面
AB92C22	応用言語学演習I-b	2	1.0	2・3	秋AB	金4	土方 裕子	各自の文献研究とミニリサーチを通じて、文処理研究の分野で用いられる研究手法を修得する。	西暦偶数年度開講。対面
AB92C32	応用言語学演習II-a	2	1.0	2・3	春AB	金6	小泉 利恵	教室における外国語としての英語の指導と評価の中で「スピーキングの評価」に焦点を当て、各自の問題意識を基に、先行研究を中心とした、基礎的なミニリサーチを行う。	対面
AB92C42	応用言語学演習II-b	2	1.0	2・3	秋AB	金6	小泉 利恵	教室における外国語としての英語の指導と評価の中で「スピーキングの評価」に焦点を当て、各自の問題意識を基に、先行研究を中心とした、発展的なミニリサーチを行う。	対面
AB92C52	応用言語学演習III-a	2	1.0	2・3	春C	水2,3		会話分析の基本的分析概念を理解し、日常的相互行為を精緻に観察・分析する能力を養う。	西暦偶数年度開講。対面
AB92C62	応用言語学演習III-b	2	1.0	2・3	秋C	水2,3		応用言語学演習III-aで学んだ分析手法を用いて、実際の相互行為場面を分析し、会話分析的視点から一定の知見を引き出すことを試みる。	応用言語学演習III-aを履修済みであることを履修要件とする。西暦偶数年度開講。対面
AB92C72	応用言語学演習IV-a	2	1.0	2・3				現代日本語の文章を研究する上で重要な言語現象および理論・モデルについて、文献を批判的に検討する作業を通して基本的な知識を身に付ける。	西暦奇数年度開講。対面
AB92C82	応用言語学演習IV-b	2	1.0	2・3				文献調査によって、現代日本語の文章研究において何が研究課題になるのかを考える。さらに演習を通して、それらの研究課題について自ら現象の記述と分析を行う能力を身に付ける。	西暦奇数年度開講。対面
AB92F11	応用言語学特講I-a	1	1.0	3・4	春AB	月3	平井 明代	英語教育におけるスピーキング指導と評価について、関連文献を読み、基本的な知識を身に付けることを目標とする。また、その知識を踏まえて、どのように授業を展開していくか、演習・フィードバック・討論を通して、英語教師として指導できる実践力を身に付けることを目指す。	対面
AB92F21	応用言語学特講I-b	1	1.0	3・4	秋AB	月3	平井 明代	英語教育における批判的思考について、関連文献を読んで、基本的な知識を身に付けることを目標とする。また、批判的思考力を育成するにあたり、問題解決に繋がる演習や討論を通して、英語教師として、指導の実践力を身に付けることを目指す。	対面
AB92F31	応用言語学特講II-a	1	1.0	3・4				近年、言語と身体性の関係を追究する学問は目覚しい発展を遂げている。本講義では、「相互行為と身体」のトピックに関わる近年の代表的な研究に触れて基本的な知識を身につけ、相互行為と言語資源、身体資源の関係について考察する。	西暦奇数年度開講。対面(オンライン併用型)
AB92F41	応用言語学特講II-b	1	1.0	3・4				応用言語学特講II-aで学んだことを踏まえ、実際の具体的な相互行為データ(ビデオデータ)について、言語資源と身体資源がどのように相互行為の組織に関わっているかを正確に観察・分析・考察する力を身につける。	応用言語学特講II-bの履修は、応用言語学特講II-aを履修済みであることを条件とする。西暦奇数年度開講。対面(オンライン併用型)
AB92K12	応用言語学研究-a	2	2.0	4	春ABC	随時	平井 明代,小野 雄一,小泉 利恵,田川 拓海,土方 裕子,柳沢 明文	卒業論文に関する研究指導を行う。(日程は別途掲示する。)	対面
AB92K22	応用言語学研究-b	2	2.0	4	秋ABC	随時	平井 明代,小野 雄一,小泉 利恵,田川 拓海,土方 裕子,柳沢 明文	卒業論文に関する研究指導を行う。(日程は別途掲示する。)	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB92K38	卒業論文(応用言語学)	8	6.0	4	秋ABC	随時	平井 明代,小野 雄一,小泉 利恵,田川 拓海,土方 裕子,柳沢 明文	応用言語学に関する卒業論文。	対面

日本語学コース(専門科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB93A11	日本語音韻論-a	1	1.0	2 - 4	春AB	月3	那須 昭夫	現代日本語の音声・音韻の特徴について、子音・母音・拍体系の各側面にわたり解説する。	対面(オンライン併用型)
AB93A21	日本語音韻論-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	月3	那須 昭夫	日本語音韻の史的変遷について解説する。古代語(上代・中古)および中世語を扱う。	対面(オンライン併用型)
AB93A41	日本語文法論-a	1	1.0	2 - 4	春AB	金4	和氣 愛仁	現代日本語の文法に関する講義。格と意味役割、動詞の自他、ヴォイス、テンス、アスペクト等について述べる。	対面
AB93A51	日本語文法論-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	金4	和氣 愛仁	現代日本語の文法に関する講義。モダリティ、とりたて、授受表現、文法の歴史的変化等について述べる。	対面
AB93A71	日本語史-a	1	1.0	2 - 4	春AB	金2	菊池 そのみ	文献資料を読みながら、古典日本語(主に中古語)の文法・語彙について学ぶ。古典日本語と現代日本語との差異を考察する。	G科目 対面(オンライン併用型)
AB93A81	日本語史-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	金2	菊池 そのみ	文献資料を読みながら、日本語の文法・語彙の変遷について学ぶ。日本語史調査の方法についても取り上げる。	G科目 対面(オンライン併用型)
AB93B01	日本語学講読I-a	1	1.0	2 - 4	春AB	火2	橋本 修	古今和歌集を主要な資料として、平安時代の日本語について情報を得る。また、影印を中心とした一次資料の味方についての基礎的な考え方を習得する。	対面(オンライン併用型)
AB93B11	日本語学講読I-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	火2	橋本 修	古今和歌集本文および、滝澤1986、森山2010他の、古今和歌集を主として日本語学・言語学的な観点から扱った論文を講読する。	G科目 対面(オンライン併用型)
AB93B21	日本語学講読II-a	1	1.0	2 - 4	春AB	火4	那須 昭夫	アクセント辞典等の記述を検討しながら、現代日本語アクセントの規則性について理解を深める。	対面(オンライン併用型)
AB93B31	日本語学講読II-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	火4	那須 昭夫	日本語のアクセントの史的変遷について、おもに古代語および中世語のアクセントの特徴を中心に学ぶ。	対面(オンライン併用型)
AB93B41	日本語学講読III-a	1	1.0	2 - 4	春AB	金3	菊池 そのみ	中古後期の和文資料を読む。中古語の語彙について用例に基づいて考察し、理解を深める。	対面(オンライン併用型)
AB93B51	日本語学講読III-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	金3	菊池 そのみ	中古後期の和文資料を読む。中古語の文法について用例に基づいて考察し、理解を深める。	対面(オンライン併用型)
AB93B61	日本語学講読IV-a	1	1.0	2 - 4	春AB	月5	菅野 倫匡	日本語を対象とした言語研究を実施するために必要になるコーパス調査やアンケート調査に関わる文献について紹介・検討する。一部、卒業論文等に関わる文献について研究方法に着目した批判的な検討を含む。	対面(オンライン併用型)
AB93B71	日本語学講読IV-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	月5	菅野 倫匡	日本語学やその関連分野の専門事典・辞典を読み、いくつかの術語について紹介・検討する。一部、卒業論文等に関わる先行研究について用語に着目した批判的な検討を含む。	対面(オンライン併用型)
AB93B81	日本語学講読V-a	1	1.0	2 - 4				日本語学および関連分野の主に研究論文の講読。対象論文は受講者の興味によって決定する。受講者のグループ発表を中心に、担当教員および受講者とのディスカッションを交えて進める。	西暦奇数年度開講。 対面
AB93B91	日本語学講読V-b	1	1.0	2 - 4				日本語学および関連分野の主に研究論文の講読。対象論文は受講者の興味によって決定する。受講者のグループ発表を中心に、担当教員および受講者とのディスカッションを交えて進める。	西暦奇数年度開講。 対面
AB93C01	日本語学講読VI-a	1	1.0	2 - 4	春AB	木4	和氣 愛仁	日本語学および関連分野の主に研究論文の講読。対象論文は受講者の興味によって決定する。受講者のグループ発表を中心に、担当教員および受講者とのディスカッションを交えて進める。	西暦偶数年度開講。 対面
AB93C11	日本語学講読VI-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	木4	和氣 愛仁	日本語学および関連分野の主に研究論文の講読。対象論文は受講者の興味によって決定する。受講者のグループ発表を中心に、担当教員および受講者とのディスカッションを交えて進める。	西暦偶数年度開講。 対面
AB93E12	日本語学演習I-a	2	1.0	2	春AB	金5	和氣 愛仁	コーパス言語学の基礎に関する演習。テキストエディタによる正規表現を用いた文字列検索・置換、表計算ソフトによる用例集計・分析を扱う。	対面
AB93E22	日本語学演習I-b	2	1.0	2	秋AB	金5	和氣 愛仁	コーパス言語学のやや応用的な演習。mecabによる形態素解析、中納言による品詞情報付きコーパス検索、プログラム言語によるテキストデータの分析を扱う。	対面
AB93E42	日本語学演習II-a	2	1.0	3	春AB	木3	菅野 倫匡	日本語を対象とした研究課題の設定から研究計画の立案に至るまでの一連の手順について特に先行研究の整理や検証に重点を置きながら受講者の個々のテーマに即して検討する。	対面(オンライン併用型)
AB93E52	日本語学演習II-b	2	1.0	3	秋AB	木3	菅野 倫匡	日本語を対象とした研究課題の設定から研究計画の立案に至るまでの一連の手順について特に予備調査を叩き台に分析法や一般化の妥当性を吟味することに重点を置きながら受講者の個々のテーマに即して検討する。	対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB93E72	日本語学演習III-a	2	1.0	4	春AB	月6	橋本 修	日本語学、特に日本語史にとって重要な文献資料、先行研究について紹介検討し、言語学・日本語学についての理解を深める。また、研究に際しての参考文献リスト作成、検討等、卒業論文作成への基礎情報についての演習を行うことがある。	対面(オンライン併用型)
AB93E82	日本語学演習III-b	2	1.0	4	秋AB	月6	橋本 修	近年重要とされる日本語学上のトピックについて紹介検討し、学史・理論上の意味付けについて議論する。また、発表演習を行うことにより専門的な内容を他者に理解可能な形で伝え、生産的な形で議論するトレーニングを行う。	対面(オンライン併用型)
AB93K12	日本語学研究-a	2	2.0	4	春ABC	随時	橋本 修,那須 昭夫,和氣 愛仁,菅野 倫匡,菊池 そのみ	日本語学コースの卒業予定者を対象に、各受講者の課題に沿いながら、卒業論文の作成を視野に入れた研究指導を行う。	対面(オンライン併用型)
AB93K22	日本語学研究-b	2	2.0	4	秋ABC	随時	橋本 修,那須 昭夫,和氣 愛仁,菅野 倫匡,菊池 そのみ	日本語学コースの卒業予定者を対象に、卒業論文の作成に向けた研究指導を行う。	対面(オンライン併用型)
AB93K38	卒業論文(日本語学)	8	6.0	4	秋ABC	随時	橋本 修,那須 昭夫,和氣 愛仁,菅野 倫匡,菊池 そのみ	日本語学コースの卒業論文。	

教職課程「国語」の教科に関する科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB93J91	漢文学概論	1	1.0	1 - 4	春AB	火3	荒井 礼	漢文学を理解するために必要な事柄について講義する。	教職「国語」の教科に関する科目 対面

英語学コース(専門科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB95A11	英語文法論・統語論(1)-a	1	1.0	1・2				理論言語学(主に生成文法理論)の観点で、体系的で魅力的な文法研究の動向を探る。とりわけ、英語を中心に言語の基本的な構造について考察する。	履修制限を設けることがある。 西暦奇数年度開講。 対面
AB95A21	英語文法論・統語論(1)-b	1	1.0	1・2				理論言語学(主に生成文法理論)の観点で、体系的で魅力的な文法研究の動向を探る。とりわけ、英語を中心として、言語にみられる要素の依存関係について考察する。	履修制限を設けることがある。 西暦奇数年度開講。 対面
AB95A31	英語文法論・統語論(2)-a	1	1.0	1・2	春AB	水3	山村 崇斗	理論言語学(主に生成文法理論)の観点で、体系的で魅力的な文法研究の動向を探る。とりわけ、英語の基本的な構文について考察する。	履修制限を設けることがある。 西暦偶数年度開講。 対面
AB95A41	英語文法論・統語論(2)-b	1	1.0	1・2	秋AB	水3	山村 崇斗	理論言語学(主に生成文法理論)の観点で、体系的で魅力的な文法研究の動向を探る。とりわけ、英語の移動現象について考察する。	履修制限を設けることがある。 西暦偶数年度開講。 対面
AB95A51	英語意味論・語用論(1)-a	1	1.0	2・3	春AB	月4	金谷 優	最近の意味論・語用論研究の動向を把握するとともに、具体的な言語現象の検討を通して、言語と意味・認知の関係について考察する。主として原因・理由を表す構文とそ構文文法の考え方に焦点をあてる。	履修制限を設けることがある。 西暦偶数年度開講。 対面
AB95A61	英語意味論・語用論(1)-b	1	1.0	2・3	秋AB	木3	宮腰 幸一	身近な英語表現を基にして、意味論・語用論研究の基礎(射程・目標・方法・意義・成果など)を具体的に学ぶ。随所で対応する日本語表現との比較・対照をしながら、日英語の共通点と相違点についても考察する。	履修制限を設けることがある。西暦偶数年度開講。 西暦偶数年度開講。 対面
AB95A71	英語意味論・語用論(2)-a	1	1.0	2・3				身近な英語表現を基にして、意味論・語用論研究の基礎(射程・目標・方法・意義・成果など)を具体的に学ぶ。随所で対応する日本語表現との比較・対照をしながら、日英語の共通点と相違点についても考察する。	履修制限を設けることがある。 西暦奇数年度開講。 対面
AB95A81	英語意味論・語用論(2)-b	1	1.0	2・3				最近の意味論・語用論研究の動向を把握するとともに、具体的な言語現象の検討を通して、言語と意味・認知の関係について考察する。	履修制限を設けることがある。 西暦奇数年度開講。 対面
AB95B11	英語音韻論・形態論(1)-a	1	1.0	2・3				英語音韻論を理解するための基礎として、英語音声学について学ぶ。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB95B21	英語音韻論・形態論(1)-b	1	1.0	2・3				英語音韻論に関する基本的概念と理論的枠組を広範に学ぶ。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型) 春学期開講「英語音韻論・形態論(1)-a」(もしくは他の音声学関連科目)の先修を前提とする。
AB95B31	英語音韻論・形態論(2)-a	1	1.0	2・3	春AB	月3	矢澤 翔	英語の形態論に関する基本的な概念と理論的な枠組みを広範に学習する。	対面を基本とするが、一部オンデマンドを併用する可能性がある。 西暦偶数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB95B41	英語音韻論・形態論(2)-b	1	1.0	2・3	秋AB	月3	矢澤 翔	英語の音韻論と形態論のインターフェースおよびその応用分野について広範に学習する。	対面を基本とするが、一部オンデマンドを併用する可能性がある。 西暦偶数年度開講。 対面
AB95C11	英語論文講読(1)-a	1	1.0	1・2				言語学の入門レベルの英文テキストの読解を通して、英語で書かれた学術論文を正確に読む力を養いながら、言語学の基礎知識と科学的研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。関連する内容を扱うため、秋学期開講の「英語論文講読(1)-b」とセットで履修することが望ましい。 西暦奇数年度開講。 対面 対面を基本とするが、状況次第でオンデマンドになる場合もある。
AB95C21	英語論文講読(1)-b	1	1.0	1・2				春学期に引き続き、言語学の入門レベルの英文テキストの読解を通して、英語で書かれた学術論文を正確に読む力を養いながら、言語学の基礎知識と科学的研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。 西暦奇数年度開講。 対面
AB95C31	英語論文講読(2)-a	1	1.0	1・2	春AB	水5	金谷 優	英語で書かれた言語学の入門レベルのテキストを正確に読み解く訓練をしながら、言語学の基礎知識と研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。 西暦偶数年度開講。 対面
AB95C41	英語論文講読(2)-b	1	1.0	1・2	秋AB	水5	金谷 優	春学期に引き続き、英語で書かれた言語学の入門レベルのテキストを正確に読み解く訓練をしながら、言語学の基礎知識と研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。 西暦偶数年度開講。 対面
AB95C51	英語論文講読(3)-a	1	1.0	2・3				言語学の入門レベルの英文テキストの読解を通して、英語で書かれた学術論文を正確に読む力を養いながら、言語学の基礎知識と科学的研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。開講学期は開講年度により異なる(令和7年度は秋ABモジュール)。 2026年度より4年おき開講。 2026年度開講せず。 対面
AB95C71	英語論文講読(4)-a	1	1.0	2・3				言語学の入門レベルの英文テキストの読解を通して、英語で書かれた学術論文を正確に読む力を養いながら、言語学の基礎知識と科学的研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。開講学期は開講年度により異なる(令和6年度は秋学期)。 2024年度より3年おき開講。 2026年度開講せず。 対面
AB95C81	英語論文講読(4)-b	1	1.0	2・3	秋AB	月4	矢澤 翔	言語学の入門レベルの英文テキストの読解を通して、英語で書かれた学術論文を正確に読む力を養いながら、言語学の基礎知識と科学的研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。開講学期は開講年度により異なる(令和8年度は秋ABモジュール)。 2026年度より4年おき開講。 対面
AB95E12	英語学演習(1)-a	2	1.0	2 - 4	春AB	金4	宮腰 幸一	英語で書かれた言語学のテキストを正確に読み解く訓練をしながら、言語学の基礎知識と研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。 2026年度より3年おき開講。 対面
AB95E22	英語学演習(1)-b	2	1.0	2 - 4	秋AB	木4	宮腰 幸一	春学期に引き続き、英語で書かれた言語学のテキストを正確に読み解く訓練をしながら、言語学の基礎知識と研究の方法論を学ぶ。	春学期の内容を前提とするため、やむを得ない事情(例えば留学など)がない限り、「英語学演習(1)-a」の単位取得者以外の履修は認めない。 2026年度より3年おき開講。 対面
AB95E32	英語学演習(2)-a	2	1.0	2 - 4				英語で書かれた言語学(主に意味論)のテキストを正確に読み解く訓練をしながら、言語学の基礎知識と研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。 2023年度より5年おき開講。 2026年度開講せず。 対面
AB95E42	英語学演習(2)-b	2	1.0	2 - 4				春学期に引き続き、英語で書かれた言語学(主に意味論)のテキストを正確に読み解く訓練をしながら、言語学の基礎知識と研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。 2023年度より5年おき開講。 2026年度開講せず。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB95E52	英語学演習(3)-a	2	1.0	2 - 4				英語の意味・語用論的現象を扱った文献をもとに、英語学的観点から言語現象を観察・分析することを学ぶ。	履修制限を設けることがある。 2024年度より5年おき開講。 2026年度開講せず。 対面
AB95E62	英語学演習(3)-b	2	1.0	2 - 4				英語で書かれた言語学(主に意味論)のテキストを正確に読み解く訓練をしながら、言語学の基礎知識と研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。 2024年度より5年おき開講。 2026年度開講せず。 対面
AB95E72	英語学演習(4)-a	2	1.0	2 - 4				言語学の入門レベルの英文テキストの読解を通して、英語で書かれた学術論文を正確に読む力を養いながら、言語学の基礎的な知識と研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。 2025年度より5年おき開講。 2026年度開講せず。 対面
AB95E82	英語学演習(4)-b	2	1.0	2 - 4				春学期に引き続き、言語学の入門レベルの英文テキストの読解を通して、英語で書かれた学術論文を正確に読む力を養いながら、言語学の基礎的な知識と研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。 2025年度より5年おき開講。 2026年度開講せず。 対面
AB95J12	英語学論文演習-a	2	1.0	3	春AB	月5	和田 尚明	言語学の論文を英語で書くための訓練を行う(基礎編)。	履修制限を設けることがある。 対面
AB95J22	英語学論文演習-b	2	1.0	3	秋AB	月5	和田 尚明	言語学の論文を英語で書くための訓練を行う(応用編)。	履修制限を設けることがある。 対面
AB95K12	英語学研究-a	2	2.0	4	春ABC	随時	金谷 優,和田 尚明,島田 雅晴,矢澤 翔,山村 崇斗,宮腰 幸一,納谷 亮平	英語学の卒業論文を書くための指導を行う(基本編)。	実施日は別に掲示する。 対面
AB95K22	英語学研究-b	2	2.0	4	秋ABC	随時	金谷 優,和田 尚明,島田 雅晴,矢澤 翔,山村 崇斗,宮腰 幸一,納谷 亮平	英語学の卒業論文を書くための指導を行う(実践編)。	実施日は別に掲示する。 対面
AB95K38	卒業論文(英語学)	8	6.0	4	秋ABC	随時	金谷 優,和田 尚明,山村 崇斗,島田 雅晴,宮腰 幸一,矢澤 翔,納谷 亮平	英語学に関する卒業論文。	対面

言語学(その他)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB99A11	比較・対照言語論I-a	1	1.0	2 - 4				日本語と英語の対照を中心として、世界の言語の統語、 意味、形態などに関する事例研究を見ることにより、比較 ・対照言語論の基礎を学び、併せて言語の普遍性と個別性について考察を行う。	履修制限を設けることがある。 西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB99A21	比較・対照言語論I-b	1	1.0	2 - 4				日本語と中国語の特性を「漢字・漢語」という観点から対照し、両言語の異同について考察する。	履修制限を設けることがある。 西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB99A31	比較・対照言語論II-a	1	1.0	2 - 4	春C	月5,6	島田 雅晴,納谷 亮平	生成言語学の観点から言語の比較・対照研究の事例を検討し、個別言語間の違いを超えた言語の普遍性について理解する。	履修制限を設けることがある。 西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AB99A41	比較・対照言語論II-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	木4	黄 賢暻,山岡 翔	日本語・英語のほか、世界の様々な言語の特性の異同について考察し、比較・対照言語研究の射程・目標・方法・意義・成果などを具体的に学ぶ。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)

開設母体

要件
比較文化学類

専門基礎科目(概論)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC50A01	日本文学概論	1	1.0	1・2	春AB	火4	馬場 美佳	文学を考えるためのいくつかのキーワードを提示し、それを視座に古典的・近代的、および現代的表現を比較しつつ、日本文学の特徴を概説していく。	G科目 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型) AC50001の単位取得者は履修できない。
AC50A31	日本研究概論I	1	1.0	1・2	秋AB	木4	長尾 宗典	日本研究とはどのような学問であるのか、過去から現在までの潮流を検討するとともに、日本研究の視点と方法をいくつかのトピックに即して考察する。	G科目 実務経験教員 対面
AC50A41	日本研究概論II	1	1.0	1・2	春AB	木4	山澤 学	日本研究に関する基礎的知識と研究方法について、参考文献や地域資料の講読を通じて、日本史(文化史・社会史)の視点から考察する。日本史における通史を意識しつつ、I.日本をめぐる歴史認識と思想情況(第1~3回)、II.日本史を視る眼(第4~7回)、III.日本研究と「事実」(第8~10回) に関する論点を検討する。	G科目 実務経験教員 対面
AC50A61	中国文学概論	1	1.0	1・2	春AB	火6	稀代 麻也子	中国古典における分類を軸に、中国古典文学について考える。	AC50101の単位取得者は履修できない。 対面
AC50A91	アジア研究概論	1	1.0	1・2	秋AB	金3	山本 真,横山 剛	アジアの社会と文化について、歴史を概説する。地域を東アジア圏、南アジア圏にわけて、時代相の大きな画期に留意しつつ、歴史の展開と地域間の交流を検討する。	AC50151, AC50161の単位取得者は履修できない。 対面
AC50B01	英語圏文学論I	1	1.0	1・2	秋AB	火6	吉原 ゆかり	16世紀から20世紀までのイギリス文学を生み出した歴史的動因や社会的背景との関連を考察しながら、通時的に講義する。同時に、主要作品のエッセンスを、講読と議論を通して学ばせる。	対面
AC50B11	英語圏文学論II	1	1.0	1・2	春AB	金5	阿部 幸大	アメリカにおける戦争小説・戦争映画の歴史を概観し、戦争物語を人種・ジェンダーといった切り口で分析する方法論を学ぶ。	対面
AC50B21	英語圏文学論III	1	1.0	1・2				植民地時代からハーレム・ルネッサンスまでのアフリカ系アメリカ文学史を、テーマやジャンルの変遷に注目しながらその潮流を学ぶ。またディスカッションを通じて、批判的読み・考察力をつける。	2026年度開講せず。 対面
AC50B51	ドイツ語圏文学・文化概論	1	1.0	1・2	秋AB	月2	相馬 尚之	ドイツ語圏の文学と社会の状況を手掛かりにしてドイツ文化の特質を考察する。	AC50301の単位取得者は履修できない。 対面
AC50B81	フランス語圏文学・文化概論I	1	1.0	1・2	春AB	火4	飯田 賢穂	代表的な作品の紹介をとおしてフランス文学史を通観する。	AC50401の単位取得者は履修できない。 対面
AC50C11	欧米研究概論	1	1.0	1・2	春AB	金4	宮﨑 和夫	古代・中世ヨーロッパ史の基本となる事項を講義し,知識の定着を図る.	対面 AC50451の単位取得者は履修できない。
AC50E01	文化人類学概論	1	1.0	1・2	春AB	木4	木村 周平,佐本 英規	文化人類学という学問のものの見方について、世界各地の多様な事例を通じて学ぶ。特に文化とは、人のあり方とは、ということを中心に、環境と生業、親族やジェンダー、経済、グローバル化、人間と非人間などの様々なテーマに関わる内容を扱う。	AC50501の単位取得者は履修できない。 対面
AC50E11	民俗学概論	1	1.0	1・2	秋AB	金4	渡部 圭一	民俗学の理論・方法、民俗学が対象とする事象について基礎的な講義を行う。	AB80321, AC50511の単位取得者は履修できない。 実務経験教員 対面
AC50E41	文化地理学概論	1	1.0	1・2	春AB	火3	森本 健弘	文化地理学とは何かについて、およびその基礎概念である文化地域、文化生態、文化景観等について、具体的な事例を交えつつ講義する。	対面 AC50551の単位取得者は履修できない。
AC50F01	テクスト文化学概論	1	1.0	1・2	秋AB	火2	三原 鉄也,五月女 颯,吉原 ゆかり,齋藤 一,平石 典子	テクスト文化について学ぶ基礎として、さまざまな文学理論・文化批評理論を概観し、広い問題意識を養う。	対面(オンライン併用型) AC50601の単位取得者は履修できない。履修希望者が多数の場合、履修者数の制限を行う。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC50F31	文化創造論概論	1	1.0	1・2	春AB	月6	佐藤 嘉幸,江藤 光紀,小川 美登里	音楽、映画、表象芸術などの文化現象を読み解く能力を習得するとともに、現代思想、社会理論、ジェンダー理論を習得することで、国際性を備えた批判的な視野を得ることができる。	AC50651の単位取得者は履修できない。オンライン(オンデマンド型)。 オンライン(オンデマンド型)
AC50F61	Introduction to One-Planet Relational Studies in Literature and Culture	1	1.0	1・2	春AB	火3	ヘーゼルハウス,ヘラト	This class introduces the basic concepts and methods of “One-Planet Relational Studies”: stewardship and mindfulness, critical thinking and problem solution, agency and discourse, relational and planetary approaches to our common world.	英語で授業。 対面(オンライン併用型)
AC50G01	先端文化学概論	1	1.0	1・2	秋AB	木3	廣瀬 浩司,対馬 美千子,濱田 真,山口 恵里子,山口 有梨沙	文化についてどのような観点から論じることができるか。近現代ヨーロッパを中心にさまざまな文化事象や文化理論を取り上げながら、文化学の多様なあり方について考察する。	対面(オンライン併用型)
AC50G31	情報文化概論	1	1.0	1・2	春AB	金4	白戸 健一郎	本講義は、比較メディア史的及び歴史社会学的観点から現代メディア社会の成立を概観し、現代メディア社会に対する批判的視座をもつことを目的とする。現代社会におけるメディア環境の成立過程や構造を理解することで、現代メディア社会の可能性と限界について考察する。	AC50761, BB11791の単位取得者は履修できない。 BB11691と同一。 対面
AC50H01	現代思想概論	1	1.0	1・2	秋AB	火6	橋本 康二,井川 義次,嚴 錫仁,太田 紘史	東洋と西洋の現代思想を、思想史および哲学的問題という観点から概観する。	現代思想概論IないしII(AC50H11ないしAC50H21)の単位取得者は履修できない。 オンライン(オンデマンド型)
AC50H61	比較宗教概論I	1	1.0	1 - 3	春AB	木3	平野 貴大	人類の宗教史を通じて多様な宗教現象が形成された。今日まで継続しているものもあれば、過去において途絶えたものもある。宗教現象は多様な要素で構成されるため、宗教へのアプローチも多角的になる。本授業では、宗教の学説史において重要な著作や視点を学びながら、具体的な宗教現象についても知識を深めていく。古代宗教、世界宗教を主に取り上げる。	AC50851の単位取得者は履修できない。 対面
AC50H71	比較宗教概論II	1	1.0	1 - 3	秋AB	木3	木村 武史	人類の宗教史を通じて多様な宗教現象が形成された。今日まで継続しているものもあれば、過去において途絶えたものもある。宗教現象は多様な要素で構成されるため、宗教へのアプローチも多角的になる。本授業では、宗教の学説史において重要な著作や視点を学びながら、具体的な宗教現象についても知識を深めていく。先住民宗教、アジア・日本の宗教を取り上げる。	対面 AC50861の単位取得者は履修できない。

専門基礎科目(専門導入基礎演習)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC51562	日本・アジア領域専門導入基礎演習I	2	1.0	2	秋C	木3,4	茂野 智大,馬場 美佳,吉森 佳奈子,稀代 麻也子	【日本文学,中国文学コース専門導入基礎演習】日本文学・中国文学のそれぞれの研究の基礎を、資料等に触れつつ学ぶ。	比較文化学類生に限る。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
AC51572	日本・アジア領域専門導入基礎演習II	2	1.0	2	秋C	火3,4	長尾 宗典,山澤 学	【日本研究コース専門導入基礎演習】「日本」をフィールドとする地域研究の視点や方法を検討する。全員に発表を求める。	比較文化学類生に限る。シラバスを必ず事前に確認すること。 実務経験教員 対面
AC51582	日本・アジア領域専門導入基礎演習III	2	1.0	2	春AB	金3	山本 真,横山 剛	【アジア研究コース専門導入基礎演習】アジア地域の文化・社会について研究するために必要な方法を学ぶ。	比較文化学類生に限る。 対面
AC51602	英米・ヨーロッパ領域専門導入基礎演習I	2	1.0	2	春AB	月2	相馬 尚之,阿部 幸大,馬籠 清子,佐藤 千登勢	【英米・ヨーロッパ領域専門導入基礎演習】各教員の研究テーマに応じて演習を行う。	比較文化学類生に限る。 対面
AC51612	英米・ヨーロッパ領域専門導入基礎演習II	2	1.0	2	秋AB	月2	秋山 学,加藤 百合,津田 博司,宮崎 和夫	【英米・ヨーロッパ領域専門導入基礎演習】欧米諸国の文化を専門的に学んでいく際に必要となる基礎知識を習得する。	比較文化学類生に限る。 対面
AC51642	フィールド文化領域専門導入基礎演習I	2	1.0	2	春AB	火3	渡部 圭一,木村 周平,塩谷 哲史,佐本 英規	【文化人類学コース専門導入基礎演習】比較文化学類のフィールド文化領域文化人類学コースの入門演習。領域・コースにおける学修の基礎を学びつつ、各自の問題意識を深める。	比較文化学類生に限る。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC51652	フィールド文化領域専門導入基礎演習II	2	1.0	2	春AB	水2	森本 健弘	【文化地理学コース専門導入基礎演習】文化研究において場所、地域、あるいは空間に着目する面白さを、文化地理学の視角からの演習を通じて発見しつつ、調査・発表・執筆の基礎的な技法を修得する。	比較文化学類生に限る。 対面
AC51662	フィールド文化領域専門導入基礎演習III	2	1.0	2	秋AB	水2 集中	久保 倫子	【文化地理学コース専門導入基礎演習】文化研究において場所、地域、あるいは空間に着目する面白さを、文化地理学の視角からの地域情報の収集、分析・発表、レポート執筆等を通じて発見する。IIIでは特定地域における情報の収集、分析・発表(事前調査)に加え、現地実習(フィールドワーク)を通じて地域調査の基礎演習を行う。	比較文化学類生に限る。 対面
AC51682	表現文化領域専門導入基礎演習	2	1.0	2	春C	集中	齋藤 一,平石 典子,三原 鉄也,五月女 颯,吉原 ゆかり	【テクスト文化学, 文化創造論, ワンプラネット文学・文化関係学コース専門導入基礎演習】表現文化に関する基本的知識と研究方法を習得する。	比較文化学類生に限る。 対面
AC51722	文化科学領域専門導入基礎演習I	2	1.0	2	春AB	火3	白戸 健一郎,カテライ アメリア	【情報文化学コース専門導入基礎演習】 情報文化に関する基本的知識と研究方法を習得する。	比較文化学類生に限る。 対面
AC51732	文化科学領域専門導入基礎演習II	2	1.0	2	秋AB	火6	濱田 真	【先端文化学コース専門導入基礎演習】 先端文化学コースに関する基本的知識と研究方法を学び、各自の問題意識を深める。	比較文化学類生に限る。 対面(オンライン併用型)
AC51752	思想文化領域専門導入基礎演習I	2	1.0	2	春AB	火6	橋本 康二,井川 義次,嚴 錫仁,太田 紘史	【現代思想コース専門導入基礎演習】 哲学・思想にかかわる東西の古典数点を講読し、哲学・思想にかかわるテキストを読むことの楽しさ、それに触発されて自らが考えることの楽しさを体感する。	比較文化学類生に限る。 対面
AC51762	思想文化領域専門導入基礎演習II	2	1.0	2	秋AB	火6	木村 武史,平野 貴大	【比較宗教コース専門導入基礎演習】 比較宗教に関する基本的知識と研究方法を習得する。	比較文化学類生に限る。 対面

専門基礎科目(第1専門外国語)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC52062	専門英語I-C	2	1.0	3	夏季休業中	集中	阿部 幸大	This course focuses on enhancing students' English reading, writing, speaking, and listening.	履修は、2021年度以前入学者で単位未充足の者に限る。掲示で確認すること。 対面
AC52072	専門英語I-A	2	1.0	2	春AB	木5	タプスフィルド エイミー レイチェル	This course focuses on enhancing students' English reading, writing, speaking, and listening.	オンライン(同時双方向型) 英語で授業。比較文化学類1班対象(班は年度当初に掲示で確認すること)。原則として2022年度以前開講「専門英語IA」AC52002, AC52022, AC52042の単位修得者は履修できない。
AC52082	専門英語I-B	2	1.0	2	秋AB	木5	阿部 幸大	The goal of this class is to expand your vocabulary and improve your listening and comprehension skills by listening to lectures, looking, and analyzing artworks, and discussing your opinions about Japanese visual culture.	比較文化学類1班対象。原則として2022年度以前開講「専門英語IB」AC52012, AC52032, AC52052 の単位修得者は履修できない。 英語で授業。 オンライン(同時双方向型)
AC52092	専門英語I-A	2	1.0	2	春AB	木5	セン ラージ ラキ	This course focuses on developing reading and listening skills and employs a topical approach to the basic concepts of comparative and gender studies.	比較文化学類2班対象(班は年度当初に掲示で確認すること)。原則として2022年度以前開講「専門英語IA」AC52002, AC52022, AC52042の単位修得者は履修できない。 英語で授業。 オンライン(同時双方向型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC52102	専門英語I-B	2	1.0	2	秋AB	木5	阿部 幸大	This course focuses on enhancing students' English reading, writing, speaking, and listening.	英語で授業。 オンライン(同時双方向型) 比較文化学類2班対象。原則として2022年度以前開講「専門英語IB」AC52012, AC52032, AC52052 の単位修得者は履修できない。
AC52112	専門英語I-A	2	1.0	2	春AB	木5	モリス ジェームズ ハリー	This course helps you improve your performance and prepare you to take the TOEFL test. We will practice the four components of TOEFL: Reading, listening, writing and speaking.	比較文化学類3班対象(班は年度当初に掲示で確認すること)。原則として2022年度以前開講「専門英語IA」AC52002, AC52022, AC52042の単位修得者は履修できない。 英語で授業。 オンライン(同時双方向型)
AC52122	専門英語I-B	2	1.0	2	秋AB	木5	阿部 幸大	This course focuses on developing reading and listening skills, while employing a topical focus on the basic concepts of cultural anthropology.	比較文化学類3班対象。原則として2022年度以前開講「専門英語IB」AC52012, AC52032, AC52052 の単位修得者は履修できない。 英語で授業。 オンライン(同時双方向型)
AC53122	専門英語II-1	2	1.0	3	春AB	水2	タプスフィルド エイミー レイチェル	This course focuses on developing students' ability to read, analyse, and evaluate academic publications in English.	英語で授業。 オンライン(同時双方向型) 履修数制限25名。比較文化学類生に限る。専門英語IAとIBの既修者もしくは履修中の者に限る。専門英語II-1A~専門英語II-6B(AC53002~AC53112)の単位取得者は履修できない。
AC53132	専門英語II-2	2	1.0	3	秋AB	水1	阿部 幸大	This course focuses on developing students' English academic writing.	英語で授業。 オンライン(同時双方向型) 履修数制限25名。比較文化学類生に限る。専門英語IAとIBの既修者もしくは履修中の者に限る。専門英語II-1A~専門英語II-6B(AC53002~AC53112)の単位取得者は履修できない。
AC53142	専門英語II-3	2	1.0	3	春AB	木6	モリス ジェームズ ハリー	This course focuses on developing students' oral and presentation skills through structured discussions on a variety of topics and subjects.	英語で授業。 オンライン(同時双方向型) 履修数制限25名。比較文化学類生に限る。専門英語IAとIBの既修者もしくは履修中の者に限る。専門英語II-1A~専門英語II-6B(AC53002~AC53112)の単位取得者は履修できない。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC53152	専門英語II-4	2	1.0	3	秋C	金3,4	阿部 幸大	This course focuses on further developing students' presentation skills and introducing them to strategies for interviews and debates.	英語で授業。 オンライン(同時双方向型) 履修数制限25名。比較文化学類生に限る。専門英語IAとIBの既修者もしくは履修中の者に限る。専門英語II-1A~専門英語II-6B(AC53002~AC53112)の単位取得者は履修できない。
AC53162	専門英語II-5	2	1.0	3	春AB	木4	対馬 美千子	プレゼンテーションやでディスカッションを中心とする活動を通して、英語の実践的コミュニケーション・スキルの向上をめざす。	履修数制限25名。比較文化学類生に限る。専門英語IAとIBの既修者もしくは履修中の者に限る。専門英語II-1A~専門英語II-6B(AC53002~AC53112)の単位取得者は履修できない。 対面(オンライン併用型)

専門基礎科目(第2専門外国語)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AB98F42	ロシア語演習I-a	2	1.0	1・2	春AB	木4	アファナシエヴァ ナターリア,加藤 百合	平易なロシア語のテキストを読み、ロシア語で内容全体について要約したり、内容の一部について細かく説明したりする訓練を行う。	ロシア語で授業。 対面(オンライン併用型)
AC54022	専門ドイツ語	2	1.0	2	秋AB	月4	相馬 尚之	ドイツ語力(中級)の伸長を目指す。授業は日本語、ドイツ語で行う。ドイツ語圏の文学・文化研究を目指す人はむろん、広くドイツに関心のある学生に履修を強く勧める。	初修外国語でドイツ語を選択した学生に限る。AC54002の単位取得者は履修できない。 対面
AC54122	専門フランス語	2	1.0	2	春AB	木1	デルヴロワ ミカエル	仏語力(中級)の伸長を目指す。	初修外国語でフランス語を選択した学生に限る。AC54102の単位取得者は履修できない。 対面
AC54322	専門スペイン語	2	1.0	2	春AB	水3	マルティネス オリベル リサンデル	スペイン語の日常会話。基礎編。	初修外国語でスペイン語を選択した学生に限る。AC54302の単位取得者は履修できない。 対面
AC54422	専門中国語	2	1.0	2	春AB	火4	余 志清	初級の知識の上に立って、中国語能力の向上を目指す。特定のテーマについて、中国語により話し、書く練習を行う。	初修外国語で中国語を選択した学生に限る。AC54402の単位取得者は履修できない。 対面
AC54522	専門韓国語	2	1.0	2	春AB	木4	姜 晶薫	既習の文法や語彙を確認しつつ、基本的な文型及び日常会話で頻出する表現を用いた会話、聴解、読解、作文の練習を行いコミュニケーション能力を高める。あわせて韓国の社会・文化に関する知識も習得する。	初修外国語で韓国語(朝鮮語)を選択した学生に限る。AC54502の単位取得者は履修できない。 対面
AC54622	ギリシャ語初級A	2	1.0	1 - 4	春AB	木3	秋山 学	古典ギリシャ語初等文法の概説(1).	AB75112, AB91432, AC41N02, AC54602の単位取得者は履修できない。 対面
AC54632	ギリシャ語初級B	2	1.0	1 - 4	秋AB	木3	秋山 学	古典ギリシャ語初等文法の概説(2).	AB75122, AB91442, AC41N12, AC54612の単位取得者は履修できない。 対面
AC54722	ラテン語初級A	2	1.0	1 - 4	春AB	金3	秋山 学	古典ラテン語初等文法の概説(1).	AB75132, AB91452, AC41P02, AC54702の単位取得者は履修できない。 対面
AC54732	ラテン語初級B	2	1.0	1 - 4	秋AB	金3	秋山 学	古典ラテン語初等文法の概説(2).	AB75142, AB91462, AC41P12, AC54712の単位取得者は履修できない。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC54822	インド古典語初級A	2	1.0	1 - 4	春AB	金5	横山 剛	サンスクリットの初等文法を学ぶ。	AB63632, AB91412, AC41M02, AC54802の単位取得者は履修できない。 対面
AC54832	インド古典語初級B	2	1.0	1 - 4	秋AB	金5	横山 剛	サンスクリットの初等文法を学ぶ(継続)。	AB63642, AB91422, AC41M12, AC54812の単位取得者は履修できない。 対面
AC54922	アラビア語初級A	2	1.0	1 - 4	春AB	木4	平野 貴大	アラビア語はおよそ1400年前に使われていた言語でありながら、現在までその文法と語彙がほとんど変化していない言語である。本授業ではアラビア語の初級文法を学ぶ。春学期では動詞の活用までの単元を中心に学ぶ。	対面
AC54932	アラビア語初級B	2	1.0	1 - 4	秋AB	木4	平野 貴大	アラビア語はおよそ1400年前に使われていた言語でありながら、現在までその文法と語彙がほとんど変化していない言語である。本授業では、アラビア語の初級文法を学ぶ。秋学期では動詞の活用を中心に学ぶ。	対面
AC54942	アラビア語中級A	2	1.0	2 - 4	春AB	月3	平野 貴大	本授業ではアラビア語で書かれたイスラームに関する小児用教科書や絵本を購読する。毎回全受講生が訳文を発表し、それを全員で検証していく。	対面
AC54952	アラビア語中級B	2	1.0	2 - 4	秋AB	月3	平野 貴大	本授業ではアラビア語で書かれたイスラームに関する絵本を購読する。毎回全受講生が訳文を発表し、それを全員で検証していく。	対面
AC55622	ギリシャ語中級A	2	1.0	2 - 4	春AB	木2	秋山 学	古典ギリシャ語の演習(1).韻文・散文文献の読解演習.	ギリシャ語初級AとBの既修者に限る。 AC41N22, AC55602の単位取得者は履修できない。 対面
AC55632	ギリシャ語中級B	2	1.0	2 - 4	秋AB	木2	秋山 学	古典ギリシャ語の演習(2).散文韻文文献の読解演習(前期の継続).	ギリシャ語初級AとBの既修者に限る。 AC41N32, AC55612の単位取得者は履修できない。 対面
AC55722	ラテン語中級A	2	1.0	2 - 4	春AB	月4	秋山 学	古典ラテン語の演習(1).韻文および散文を教材に読解演習する.	ラテン語初級AとBの既修者に限る。 AC41P22, AC55702の単位取得者は履修できない。 対面
AC55732	ラテン語中級B	2	1.0	2 - 4	秋AB	月4	秋山 学	古典ラテン語の演習(2).韻文・散文を中心にした読解演習(継続).	ラテン語初級AとBの既修者に限る。 AC41P32, AC55712の単位取得者は履修できない。 対面
AC55822	インド古典語中級A	2	1.0	2 - 4	春AB	水3	横山 剛	古代インドの叙事詩『マハーバーラタ』内の挿話のひとつである『ナラ王物語』を用いて、サンスクリットの講読演習を行う。	インド古典語初級AとBの既修者もしくは履修中の者に限る。 AC41M22, AC55802の単位取得者は履修できない。 対面
AC55832	インド古典語中級B	2	1.0	2 - 4	秋AB	水3	横山 剛	古典サンスクリット寓話『ヒトーパデーシャ』を用いて、サンスクリットの講読演習を行う。	インド古典語初級AとBの既修者もしくは履修中の者に限る。 AC41M32, AC55812の単位取得者は履修できない。 対面

専門基礎科目(比較文化研究)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC56011	日本・アジア領域比較文化研究	1	1.0	1	春BC	木3	長尾 宗典,馬場 美佳,横山 剛,山澤 学,吉森 佳奈子,茂野 智大,稀代 麻也子,山本 真	比較文化学類の日本・アジア領域における文化研究のエッセンスを学修し、文化研究に対する履修者各自の問題意識を深める。	専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC56021	英米・ヨーロッパ領域比較文化研究	1	1.0	1	秋AB	金4	馬籠 清子,佐藤 千登勢,加藤 百合,秋山 学,宮崎 和夫,津田 博司,阿部 幸大,相馬 尚之	比較文化学類の英米・ヨーロッパ領域における文化研究のエッセンスを学修し、文化研究に対する履修者各自の問題意識を深める。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
AC56031	フィールド文化領域比較文化研究	1	1.0	1	春A	火1,2	森本 健弘,塩谷 哲史,木村 周平,松井 圭介,久保 倫子,佐本 英規,渡部 圭一	比較文化学類のフィールド文化領域における文化研究のエッセンスを学修し、文化研究に対する履修者各自の問題意識を深める。	専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
AC56041	表現文化領域比較文化研究	1	1.0	1	秋AB	金6	吉原 ゆかり,小川 美登里,齋藤 一,江藤 光紀,平石 典子,三原 鉄也,ヘーゼルハウス, ヘラト,佐藤 嘉幸,五月女 颯	文化理論、社会理論、比較文学の手法、ポストコロニアル批評、音楽の社会的役割、エコクリティークの手法などに注目しながら、文化や表現、現代的課題についてオムニバス形式で様々な視点から考える。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
AC56051	文化科学領域比較文化研究	1	1.0	1	秋AB	木5	山口 有梨沙,濱田 真,廣瀬 浩司,山口 恵里子,対馬 美千子,白戸 健一郎,カテライ アメリア	比較文化研究について、先端文化学の観点と情報文化学の観点から、代表的な研究を紹介しながら考察する。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
AC56061	思想文化領域比較文化研究	1	1.0	1	春B	火5,6	太田 紘史,平野 貴大,井川 義次,嚴 錫仁,木村 武史	比較文化学類の思想文化領域における文化研究のエッセンスを学修し、文化研究に対する履修者各自の問題意識を深める。 現代哲学、倫理学、東洋思想の諸分野のトピックを概説しながら、現代社会との接点を考える(現代思想コース)。聖典の宗教と口承伝統文化の宗教、また社会的宗教と他界的宗教を対比して、複眼的な宗教理解をめざす(比較宗教コース)。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)

専門科目(日本・アジア領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC60A01	日本文学講読1	1	1.0	2・3	春AB	月5	茂野 智大	日本上代文学の作品とその特質について学ぶ。上代ならではの表現や発想、ならびにそれらの背景となる時代性や地域性についての講義を行う。	対面 AC60001の単位取得者は履修できない。
AC60A11	日本文学講読2	1	1.0	2・3	秋AB	月5	茂野 智大	日本上代文学の中で特定のテーマに着目し、その史的展開を学ぶ。上代ならではの表現や発想、ならびにそれらの背景となる時代性や地域性についての講義を行う。	西暦偶数年度開講。 対面 AC60011の単位取得者は履修できない。
AC60A21	日本文学講読3	1	1.0	2・3	春AB	金5	吉森 佳奈子	平安時代の散文作品をよむ。あわせて写本のよみにも習熟する。	対面 AC60021の単位取得者は履修できない。
AC60A31	日本文学講読4	1	1.0	2・3	秋AB	金3	吉森 佳奈子	平安時代の散文作品をよむ。	対面 AC60031の単位取得者は履修できない。
AC60A41	日本文学講読5	1	1.0	2・3				日本近代文学のうち主に明治期の文学について学ぶ。対象とする作品についての語釈・注釈・研究史にかんする講義を行う。	西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 実務経験教員 対面 AC60041の単位取得者は履修できない。
AC60A51	日本文学講読6	1	1.0	2・3				日本近代文学のうち主に大正期の文学について学ぶ。対象とする作品についての語釈・注釈・研究史にかんする講義を行う。	西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 実務経験教員 対面 AC60051の単位取得者は履修できない。
AC60A61	日本文学講読7	1	1.0	2・3	秋AB	火4	馬場 美佳	日本近現代文学のうち主に昭和期以降の文学について、歴史的視点から読解する。対象とする作品について最新の語釈・注釈・評価を学び、作品が生み出された時代の感性や発想のなかで理解を深めることで、文学をめぐる思考を深めていく。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面 AC60061の単位取得者は履修できない。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC60A71	日本文学講読8	1	1.0	2・3				鎌倉期の説話集を読み解くための、さまざまな方法や知識を学ぶ。	西暦偶数年度開講。 2026年度開講せず。 対面 AC60071の単位取得者は履修できない。
AC60B02	日本文学演習1	2	1.0	3・4	春AB	金4	茂野 智大	上代の韻文の分析を通して、上代文学を読むための基礎的な方法論を学ぶ。	対面 AC60102の単位取得者は履修できない。
AC60B12	日本文学演習2	2	1.0	3・4	秋AB	金4	茂野 智大	上代の韻文および散文の分析を通して、上代文学研究の方法論を学ぶ。	対面 AC60112の単位取得者は履修できない。
AC60B22	日本文学演習3	2	1.0	3・4				物語文学をとりあげる。江戸時代末期までの注釈、写本の状況から作品を分析する。	西暦偶数年度開講。 2026年度開講せず。 対面 AC60122の単位取得者は履修できない。
AC60B32	日本文学演習4	2	1.0	3・4				文学史、注釈史の視点から物語をよむ。注釈研究の問題のたて方を学ぶ。	西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面 AC60132の単位取得者は履修できない。
AC60B42	日本文学演習5	2	1.0	3・4				日本近代文学について、受講者自身で調査したい作品を選び、それについて基礎調査・評価史報告・作品解釈の全3回の発表を行ってもらう。	西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 実務経験教員 対面 AC60142の単位取得者は履修できない。
AC60B52	日本文学演習6	2	1.0	3・4				中世の説話文学研究の基礎的な訓練を行う。説話を読むために必要な方法を具体的に経験し、説話を通して得られる様々な情報他について学ぶ。	西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 実務経験教員 対面 AC60152の単位取得者は履修できない。
AC60B62	日本文学演習7	2	1.0	3・4	春AB	火6	馬場 美佳	日本近代文学作品を分析・考察・読解するための基礎を身につける。とくに日本近代文学研究に必要な基礎文献を学ぶ。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面 AC60162の単位取得者は履修できない。
AC60B72	日本文学演習8	2	1.0	3・4	秋AB	火6	馬場 美佳	日本近代文学を対象に、分析・考察・評価について個人発表を行う。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面 AC60172の単位取得者は履修できない。
AC60C01	日本文学史	1	1.0	2・3	秋AB	金5	吉森 佳奈子	日本文学史史概説。	対面
AC60C11	日本文学特講1	1	1.0	2 - 4	春AB	金3	吉森 佳奈子	日本文学研究の問題のたて方を学ぶ。	西暦偶数年度開講。 対面
AC60C21	日本文学特講2	1	1.0	2 - 4				日本文学と地域性について学ぶ。特定の土地にかかわる文学作品を取り上げ、その土地が持つ名や性質がどのような作品を生み、またそれらがその土地に何をもたらしてきたのかを考える。	西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
AC60E01	日本研究講義	1	1.0	2 - 4	春AB	金4	石塚 修	日本文化について、とくに伝統文化について、おもに文献資料により、その実態について考察していく。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
AC60E11	日本研究特論	1	1.0	2 - 4				日本における地域史研究の視点と方法を、具体的な事例から考察する。具体的には、I.地域史の思想、II.ムラの歴史・民俗・景観、III.地域史史料としての農書、以上3つを論点とする。	西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
AC60E21	日本研究I	1	1.0	2 - 4				近世日本地域史研究の視点と方法を、古文書の読解を通じて考察する。本学に保管される旧田村家文書(武蔵国橘樹郡梶ヶ谷村名主史料)を使用する。	西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
AC60E31	日本研究II	1	1.0	2 - 4				日本研究に関わる各種資料の活用方法について、近代以後の活字メディアを中心に考察する。デジタル情報資源の批判的取り扱いについても習得する。	西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
AC60E41	日本研究III	1	1.0	2 - 4	秋AB	火2	山澤 学	近世日本社会史研究の視点と方法を、古文書の読解を通じて考察する。本学に保管される旧田村家文書(武蔵国橘樹郡梶ヶ谷村名主史料)を使用する。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
AC60E51	日本研究IV	1	1.0	2 - 4	秋AB	月4	長尾 宗典	日本研究の視点と方法について、研究史・学説史に関わる論点を取り上げて考察する。デジタル情報資源の批判的取り扱いについても習得する。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC60E71	日本の政治と社会	1	1.0	2 - 4	春AB	月4	長尾 宗典	日本の政治と社会について、民衆の視点から、具体的な事例をもとに論じる。とくに近代日本の出版検閲をめぐる問題に着目し、権力と言論の関係について検討する。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
AC60E81	日本の生活と文化	1	1.0	2 - 4				日本の生活と文化について、民衆の視点から、具体的な事例をもとに論じる。明治後期に地方で発行された雑誌類に着目し、活字文化と地域社会の接点を考察する。	西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
AC60E91	日本の宗教と文化	1	1.0	2 - 4	春AB	火2	山澤 学	日本の宗教・信仰と文化について、民衆の視点から、具体的な事例をもとに論じる。日本における山岳信仰、とくに出羽三山修験道の地域社会への普及・浸透の歴史的展開を、湯殿山木食行者鐵門海を事例とし、検討する。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
AC60F02	日本研究演習I	2	1.0	2 - 4				近世日本社会に関する文献・資料を講読、基礎的知識を養いつつ、日本文化とは何かを考える。	西暦奇数年度開講。 対面
AC60F12	日本研究演習II	2	1.0	2 - 4				近世日本社会に関する文献・資料を講読し、基礎的知識を前提として、意見を交わしながら、日本文化とは何かを考える。	西暦奇数年度開講。 対面
AC60F22	日本研究演習III	2	1.0	2 - 4	春AB	火3	山澤 学	日本の社会・文化に関する文献を講読し、基礎的知識を養いつつ、日本文化とは何かを考える。	西暦偶数年度開講。 対面
AC60F32	日本研究演習IV	2	1.0	2 - 4	秋AB	火3	山澤 学	日本の社会・文化に関する文献・資料を講読し、基礎的知識を前提として、意見を交わしながら、日本文化とは何かを考える。	西暦偶数年度開講。 対面
AC60F42	日本研究演習V	2	1.0	2 - 4				近代日本の生活と文化に関する文献・資料の輪読を通して、基礎的知識を身に着け、近代日本の文化について批判的に再検討する。	西暦奇数年度開講。 対面
AC60F52	日本研究演習VI	2	1.0	2 - 4				近代日本の生活と文化に関する文献・資料の輪読を通して、課題発見の力を養い、近代日本の文化について批判的に再検討する。	西暦奇数年度開講。 対面
AC60F62	日本研究演習VII	2	1.0	2 - 4	春AB	金2	長尾 宗典	近代日本の政治と社会に関する文献・資料の輪読を通して、基礎的知識を身に着け、近代日本の文化について批判的に再検討する。	西暦偶数年度開講。 対面
AC60F72	日本研究演習VIII	2	1.0	2 - 4	秋AB	金2	長尾 宗典	近代日本の政治と社会に関する文献・資料の輪読を通して、課題発見の力を養い、近代日本の文化について批判的に再検討する。	西暦偶数年度開講。 対面
AC60F82	日本研究演習IX	2	1.0	2 - 4				日本文化について、とくに伝統文化について、おもに文献資料により、その実態について考察していく。和本リテラシーについても習得する。	西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
AC60F92	日本研究演習X	2	1.0	2 - 4				日本文化、とくに伝統文化について、おもに文献資料により、その実態について考察していく。	西暦偶数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
AC60G03	日本研究実験実習I	3	2.0	2 - 4				歴史的な場および史料保存機関等の見学、聞き取り調査、資料収集等を通じ、地域社会研究の方法を修得する。	西暦奇数年度開講。 対面
AC60G13	日本研究実験実習II	3	2.0	2 - 4	秋B 秋ABC	集中 水6	長尾 宗典,山澤 学,石塚 修	歴史的な場および史料保存機関等の見学、聞き取り調査、資料収集等を通じ、地域文化研究の方法を修得する。	西暦偶数年度開講。 対面
AC60G23	日本研究実験実習III	3	1.0	2 - 4				歴史的な場および史料保存機関等の見学、聞き取り調査、資料収集等を通じ、日本の思想と社会に関する研究方法を考察する。	原則として日本研究演習IまたはIIの単位修得者に限る。 西暦奇数年度開講。 対面
AC60G33	日本研究実験実習IV	3	1.0	2 - 4	春C	集中	山澤 学	歴史的な場および史料保存機関等の見学、聞き取り調査、資料収集等を通じ、日本の宗教と文化に関する研究方法を考察する。	原則として日本研究演習IIIの単位修得者に限る。 西暦偶数年度開講。 対面
AC60G43	日本研究実験実習V	3	1.0	2 - 4				歴史的な場および史料保存機関等の見学、聞き取り調査、資料収集等を通じ、日本の生活と文化に関する研究方法を考察する。	原則として日本研究演習V~VIIIのうち最低1単位以上を修得済または履修中の者に限る。 西暦奇数年度開講。 対面
AC60G53	日本研究実験実習VI	3	1.0	2 - 4	秋C	集中	長尾 宗典	歴史的な場および史料保存機関等の見学、聞き取り調査、資料収集等を通じ、日本の政治と社会に関する研究方法を考察する。	原則として日本研究演習V~VIIIのうち最低1単位以上を修得済または履修中の者に限る。 西暦偶数年度開講。 対面
AC60H01	中国文学史	1	1.0	2・3	秋AB	火3	稀代 麻也子	唐詩が花開くまでの詩文の伝統と革新について考える。	中国文学史I・II(AC60501, AC60511)の単位取得者は履修できない。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC60H11	中国文学講読I	1	1.0	2・3				混迷の時代を生きた詩人の作品を読む。	AC60521の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC60H21	中国文学講読II	1	1.0	2・3	春AB	木4	稀代 麻也子	激動の時代に生まれた作品を読む。	AC60531の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC60J02	中国文学演習I	2	1.0	3・4				作品を実際に読みながら中国古典の基礎を身につけていく。	AC60562の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC60J12	中国文学演習II	2	1.0	3・4	秋AB	木4	稀代 麻也子	自分で読みながら中国古典を読むための基礎を確認していく。	AC60572の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC60J42	中国文学講読演習I	2	1.0	1 - 4				中国古典読解の基礎を確認し、自分で作品を読む技術を身につける。	西暦奇数年度開講。 対面
AC60J52	中国文学講読演習II	2	1.0	1 - 4	春C	木5,6	稀代 麻也子	古典読解の基礎を確認し、作品について調べ、考え、まとめる力を身につける。	西暦偶数年度開講。 対面
AC60K11	アジアの民族と文化II	1	1.0	2・3				中国の宗教問題、宗教史にかかわるテーマを事例に則して検討する。	アジアの民族と文化II(AC60711)の単位取得者は履修できない。 2026年度開講せず。 対面
AC60L02	アジア文化論演習I	2	1.0	2・3				アジアの少数民族であるチベット民族の歴史・宗教・文化と、現代の少数民族問題、難民問題としてチベット民族が直面する問題を考察する。	AC60742の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC60L12	アジア文化論演習II	2	1.0	2・3				チベット語初級1 文字・発音と基礎文法を学ぶ。構文の理解と簡単な会話を習得する。	AC60752の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC60L22	アジア文化論演習III	2	1.0	2・3				チベット語初級2 構文と読解を学ぶ。辞書の使い方を習得し、物語などを実際に読む。	AC60762の単位取得者は履修できない。チベット語初級1の既習者あるいはチベット語の文字と発音の習得者に限る。 西暦偶数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
AC60L32	アジア文化論演習IV	2	1.0	2・3				アジアにおける仏教を人の生き方として考察する。ブッダの人としての生き方、修行僧の生活、現代日本で修行する人の生き方を探り、仏教の現代的意義を考える。	AC60772の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
AC60L62	アジアの政治と社会演習I	2	1.0	2・3				中国、台湾、華僑に関わる政治史、社会文化史のテキストを講読する。	アジアの政治と社会演習I (AC60782)の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC60L72	アジアの政治と社会演習II	2	1.0	2・3				アジアの政治、社会・文化に関するテキストを講読し、履修者と議論する。演習Iとは異なるテキストを読む。	アジアの政治と社会演習II(AC60792)の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC60L82	アジアの政治と社会演習III	2	1.0	2・3	春AB	金4	山本 真	中国、東アジアに関わる諸問題についてテキスト講読を通じて考察する。テキストはアジアの政治と社会演習I・IIとは異なるものなので、継続履修に差し障りはない。	アジアの政治と社会演習III (AC60802)の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC60L92	アジアの政治と社会演習IV	2	1.0	2・3	秋AB	金4	山本 真	中国や台湾に関するテキストを講読し、それらに関連する諸問題について考察する。	アジアの政治と社会演習IV (AC60812)の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC60M22	アジアの民族と文化演習I	2	1.0	2・3				中国の宗教史に関する漢籍、写本等の原典および論文を講読する。	アジアの民族と文化演習I (AC60822)の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC60M32	アジアの民族と文化演習II	2	1.0	2・3				中国の宗教文化に関する漢籍、写本等の原典および論文を講読する。	アジアの民族と文化演習II (AC60832)の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC60M42	アジアの民族と文化演習III	2	1.0	2・3				中国の民族史に関する漢籍、写本等の原典および論文を講読する。	東洋史文献学VIIa (AB73272)ないしアジアの民族と文化演習III (AC60842)の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
AC60M52	アジアの民族と文化演習IV	2	1.0	2・3				中国の民族文化に関する漢籍、写本等の原典および論文を講読する。	東洋史文献学VIIb (AB73282)ないしアジアの民族と文化演習IV (AC60852)の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
AC60N01	日本・アジア領域特論I	1	1.0	2 - 4				内外における様々な研究成果の紹介を通して,日本・アジア領域におけるトピックスについて講義する。なお授業内容の詳細については、シラバスを参照すること。	IとIIの両方を履修することができる。 2026年度開講せず。 対面
AC60N11	日本・アジア領域特論II	1	1.0	2 - 4				内外における様々な研究成果の紹介を通して,日本・アジア領域におけるトピックスについて講義する。なお授業内容の詳細については、シラバスを参照すること。	IとIIの両方を履修することができる。 2026年度開講せず。 対面
AC60P02	アジア文化資料研究演習I	2	1.0	2・3				インド仏教復興運動を通じて、インドが抱える不可触民等の問題について学ぶとともに、釈迦によって創始され、インドにおいて既に滅んだ仏教とこの数世紀に復興された仏教との連続と不連続について考察する。	西暦奇数年度開講。 対面
AC60P12	アジア文化資料研究演習II	2	1.0	2・3				欧米の言語で書かれた仏教の解説書を講読することで、仏教の基本的な教理を学ぶとともに、インド学仏教学の成立期における西洋人の仏教理解について学ぶ。	西暦奇数年度開講。 対面
AC60P22	アジア文化資料研究演習III	2	1.0	2・3	春AB	水2	横山 剛	インド仏教において大きな勢力を誇った説一切有部の教理は仏教の基礎学としての性格を有する。本授業では、存在論、因果論、宇宙論など、有部教学の要点を学ぶことで、仏教の根幹をなす主要な教理について学ぶ。また、有部説を前提としながら、大乗思想などのその後の思想的な展開についても学ぶ。	西暦偶数年度開講。 対面
AC60P32	アジア文化資料研究演習IV	2	1.0	2・3	秋AB	水2	横山 剛	インドで成立した仏教はその後アジア各地に伝えられることになる。本授業では、中国やチベットといった諸地域への仏教の伝播史について学ぶ。また、それらの地域に仏教が伝えられる際に、仏典がいかに翻訳され、大蔵経というかたちで整理されるに至ったかを学ぶ。	西暦偶数年度開講。 対面

専門科目(英米・ヨーロッパ領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC61A01	英語圏文学・文化研究I	1	1.0	2・3				シェイクスピア演習。シェイクスピア劇の読解の基本的スキルを習得させる。	2026年度開講せず。 対面
AC61A11	英語圏文学・文化研究II	1	1.0	2・3	秋AB	金5	阿部 幸大	冷戦期のアメリカにおける戦争文学・戦争映画を鑑賞し、歴史的・理論的な背景をふまえたうえで戦争物語を批判的に読解する方法論を学ぶ。	対面 対面(オンライン併用型)
AC61A21	英語圏文学・文化研究III	1	1.0	2・3				英語圏のフェミニズム批評理論の基本文献を読み、フェミニズムの歴史とそのなかにおけるブラック・フェミニズムの潮流を理解する。さらに毎回、英語による発表ならびにディスカッションをとおして発信力と批判的思考力を養う。	2026年度開講せず。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC61A31	英語圏文学・文化研究IV	1	1.0	3・4				This seminar pays exclusive attention to Virginia Woolf's Mrs Dalloway.	英語で授業。 2026年度開講せず。 対面 AC61121の単位取得者は履修できない。
AC61A41	英語圏文学・文化研究V	1	1.0	3・4				This course explores how the literary imagination, as put forward by novels such as Mark Twain's The Adventures of Huckleberry Finn (1884) and Joseph Conrad's Heart of Darkness (1899), serves as a medium of resistance to imperialism led by European countries and the United States. This course also traces the political and literary cross-media battle between Theodore Roosevelt and Mark Twain. It examines how a nation's imperial practice leads to a cultural conflict over the principles of the United States, reflecting on Edward Said's Culture and Imperialism (1993). Students will discuss and write reaction papers for each theme presented in class.	この授業は英語で行われます。日程は、2月7日・8日の1限~5限で行います。 英語で授業。 2026年度開講せず。 対面 AC61141の単位取得者は履修できない。
AC61B01	イギリス文化特講I	1	1.0	2・3				現代イギリス文化の形成に大きな影響を与えている、ブリテン・イングランド・連合王国(UK)の歴史について、著名な建築構造物を通して考察する。ヨーロッパ史の知識は必須である。	西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面 AC61191の単位取得者は履修できない。
AC61B11	イギリス文化特講II	1	1.0	2 - 4				19世紀イギリス社会における女性の教育、労働などについての議論を考察する。	西暦偶数年度開講。 2026年度開講せず。 対面 AC61201の単位取得者は履修できない。
AC61B21	アメリカ文化特講I	1	1.0	2・3				アメリカの女性文化 ロマンティックな友情とレズビアニズムの潮流、フェミニズムとの交差について考察する。	西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面 AC61151の単位取得者は履修できない。
AC61B41	カナダ文化特講I	1	1.0	2・3				カナダを代表する女性作家 L.M.Montgomeryの作品とその背景となった社会・文化状況について学び、カナダ文化に関する理解を深める。	2026年度開講せず。 対面 AC61211の単位取得者は履修できない。
AC61B51	カナダ文化特講II	1	1.0	2・3				This course explores the diversity of Canadian cinema, focusing on non-mainstream and non-commercial productions. Our goal is to develop a fuller understanding of Canadian society and culture by looking at its artistic productions.	英語で授業。 2026年度開講せず。 AC61231の単位取得者は履修できない。 シラバスは英語版を見てください。
AC61B61	ジェンダー研究特講	1	1.0	3・4				This class explores the representations of women from classical civilizations to the twenty-first century and considers critical issues surrounding gender and representation.	英語で授業。 2026年度開講せず。 対面 ジェンダー研究特講(AC61221)ないし Media and Gender (BE22741)の単位取得者は履修できない。
AC61C02	英語圏文学・文化演習I	2	1.0	3・4				This course introduces students to a selection of English and American poems and various interpretative approaches to analysing their significance.	西暦偶数年度開講。 英語で授業。 2026年度開講せず。 対面 AC61042の単位取得者は履修できない。 シラバスは英語版を見てください。
AC61C22	英語圏文学・文化演習III	2	1.0	2 - 4				This course studies the twentieth-century American short stories of folk horror and explores the transformation of the sense of horror in rural (North) America. Students will read, discuss, and analyze the texts, and also learn to adapt different interpretative strategies to comment on their significance and explain their understanding through writing a brief reaction paper.	この授業では英語を主に用います。日程は1月24日・25日の1限~5限となります。 西暦奇数年度開講。 英語で授業。 2026年度開講せず。 対面 AC61062の単位取得者は履修できない。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC61E02	ドイツ語圏文学・文化演習I	2	1.0	2 - 4	春AB	火3	茅野 大樹	主にドイツ語で書かれた文学・文化に関わるテクストの読解を通して、ドイツ語圏の思想・歴史・文化・社会を批判的に論じるための基礎的な知識を身につける。演習形式で実施することにより、参加者同士で知識や問題意識を共有し、相互に議論を深める。授業は原則日本語で行うが、必要に応じて英語やドイツ語で対応する。	AC61302の単位取得者は履修できない。 対面
AC61E12	ドイツ語圏文学・文化演習II	2	1.0	2 - 4	秋AB	火3	茅野 大樹	主にドイツ語で書かれた文学・文化に関わるテクストの読解を通して、ドイツ語圏の思想・歴史・文化・社会を批判的に論じるための基礎的な知識を身につける。演習形式で実施することにより、参加者同士で知識や問題意識を共有し、相互に議論を深める。授業は原則日本語で行うが、必要に応じて英語やドイツ語で対応する。	AC61312の単位取得者は履修できない。 対面
AC61E61	ドイツ語圏文学・文化論I	1	1.0	2 - 4	春AB	月3	相馬 尚之	必要に応じて1年次に学んだドイツ語文法の基礎を復習しながら、簡単なドイツ語のテクストを読み進め、基本的なドイツ語力の向上を図る。	AC61361の単位取得者は履修できない。 対面
AC61E71	ドイツ語圏文学・文化論II	1	1.0	2 - 4	秋AB	月3	相馬 尚之	ドイツ文学だけでなくドイツ語圏の文化や社会についてのなるべく多様なドイツ語の文章に接して、ドイツ語力を伸ばしながら、問題意識を深める。	AC61371の単位取得者は履修できない。 対面
AC61F02	ドイツ語翻訳演習I	2	1.0	2 - 4	春AB	水3	相馬 尚之	これまでに学んだドイツ語の文法力や語彙力を駆使し、高めつつ、翻訳技術を身につける。	AB97412, AC61422の単位取得者は履修できない。 対面
AC61F12	ドイツ語翻訳演習II	2	1.0	2 - 4				ドイツ語のさまざまな種類のテクストを読み、翻訳する練習を行う。解釈とともに修辞、文体に応じた日本語文の作り方を検討する。	AB97422, AC61432の単位取得者は履修できない。 2026年度開講せず。 対面
AC61F22	ドイツ語翻訳演習III	2	1.0	2 - 4				実際に多くの日独・独日の翻訳をやってもらいつつ、ドイツ語能力を高め、翻訳技術を身につける。	AB97432, AC61442の単位取得者は履修できない。 2026年度開講せず。
AC61F32	ドイツ語翻訳演習IV	2	1.0	2 - 4				ドイツ語能力を高め、翻訳技術を身につける。(特に、文体およびレトリックに着目する。)(4)	AB97442, AC61452の単位取得者は履修できない。 2026年度開講せず。 対面
AC61G01	フランス語圏文学・文化講読I	1	1.0	2 - 4				フランス語圏文学に関するテキストを読んで考察する。	AC61501の単位取得者は履修できない。 2025年度より3年おき開講。 2026年度開講せず。 対面
AC61G11	フランス語圏文学・文化講読II	1	1.0	2 - 4				フランス語圏文学に関するテキストを精読し、考察する。	2027年度より3年おきに開講。AC61511の単位取得者は履修できない。 2026年度開講せず。 対面
AC61G21	フランス語圏文学・文化講読III	1	1.0	2 - 4	秋AB	火4	飯田 賢穂	フランス語圏文学に関するテキストを読んで考察する。	AC61521の単位取得者は履修できない。 2026年度より3年おき開講。 対面
AC61G31	フランス語圏文学・文化講読IV	1	1.0	2 - 4				フランス語圏文学に関するテキストを精読し、考察する。	2028年度より3年おきに開講。AC61531の単位取得者は履修できない。 2026年度開講せず。 対面
AC61J01	欧米文化論I	1	1.0	2・3	春AB	火3	宮﨑 和夫	大航海時代にスペインやポルトガルの支配下に入った諸地域と他地域との交流と衝突の歴史を通じて、欧米が世界と接続され始めた時代を考察する。	対面 欧米文化論I(AC61601)ないしヨーロッパ・アメリカ史特講Ia(AB75611)の単位取得者は履修できない。
AC61J11	欧米文化論II	1	1.0	2・3	秋AB	火3	宮﨑 和夫	「情熱の国」スペインというロマンス語圏の中でも特異なイメージが形成される要因となった近世スペインの文化と社会の諸相および国際政治における位置づけの変遷を、他の欧米諸国とりわけフランスとの関係のなかで論じる。	対面 欧米文化論II(AC61611)ないしヨーロッパ・アメリカ史特講IIb(AB75621)の単位取得者は履修できない。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC61J21	欧米文化論III	1	1.0	2・3				ロシア現代文化(ロシア語中級)	西暦奇数年度開講。 対面 欧米文化論 III(AC61621)ないし ロシア言語文化特講 a(AB98211)の単位取得者は履修できない。
AC61J31	欧米文化論IV	1	1.0	2・3				ロシア近代文化(ロシア語中級)	西暦奇数年度開講。 対面 欧米文化論 IV(AC61631)ないしロシア言語文化特講 b(AB98221)の単位取得者は履修できない。
AC61J41	欧米文化論V	1	1.0	2・3	春AB	火2	津田 博司	近代イギリス帝国史の講義	対面 欧米文化論V (AC61641)ないしヨーロッパ・アメリカ史特講IIa (AB75631)の単位取得者は履修できない。
AC61J51	欧米文化論VI	1	1.0	2・3	秋AB	火2	津田 博司	現代イギリス帝国史の講義	対面 欧米文化論 VI(AC61651)ないし ヨーロッパ・アメリカ史特講 IIb(AB75641)の単位取得者は履修できない。
AC61J61	欧米文化論VII	1	1.0	2・3	春AB	金3	佐藤 千登勢	20世紀前半のアメリカ合衆国の歴史を概説する。	対面 欧米文化論 VII(AC61661)ないし ヨーロッパ・アメリカ史特講 IIIa(AB75651)の単位取得者は履修できない。
AC61J71	欧米文化論VIII	1	1.0	2・3	秋AB	金3	佐藤 千登勢	20世紀後半のアメリカ合衆国の歴史を概説する。	対面 欧米文化論 VIII(AC61671)ないし ヨーロッパ・アメリカ史特講 IIIb(AB75661)の単位取得者は履修できない。
AC61J81	欧米文化論IX	1	1.0	2・3	春AB	月3	秋山 学	西洋史理解の基礎となる西洋古典古代ギリシア文化史を解説し,歴史理解を深める.	対面 欧米文化論 IX(AC61681)ないし ヨーロッパ・アメリカ史特講 IVa(AB75671)の単位取得者は履修できない。
AC61J91	欧米文化論X	1	1.0	2・3	秋AB	月3	秋山 学	西洋史理解の基礎となる西洋古典古代ローマ文化史を解説し,歴史理解を深める.	対面 欧米文化論 X(AC61691)ないし ヨーロッパ・アメリカ史特講 IVb(AB75681)の単位取得者は履修できな
AC61K01	欧米文化論XI	1	1.0	2・3	春C	木3,4	馬籠 清子	モダニズム期(1920年代まで)の欧米文化・各種芸術を分析する。	対面
AC61K11	欧米文化論XII	1	1.0	2・3	秋C	木3,4	馬籠 清子	モダニズム期(1930年代以降)の欧米文化・各種芸術を分析する。	対面
AC61L02	欧米文化論演習I	2	1.0	3・4	春AB	水3	宮﨑 和夫	「太陽の沈まぬ国」であった頃のスペイン(カトリック帝国)支配下の諸地域や、他地域との関係の歴史を論じた英語またはスペイン語文献を講読する。	対面 欧米文化論演習 I(AC61702)ないし ヨーロッパ・アメリカ文献学 VIa(AB75332)の単位取得者は履修できない。
AC61L12	欧米文化論演習II	2	1.0	3・4	秋AB	水3	宮﨑 和夫	「情熱の国」スペインの、ロマンス語圏の中でも特異なイメージの形成に関連する、英語またはスペイン語で書かれた史料や文献を講読する。	対面 欧米文化論演習 II(AC61712)ないし ヨーロッパ・アメリカ史文献学 VIb(AB75342)の単位取得者は履修できない。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC61L22	欧米文化論演習III	2	1.0	3・4	春AB	火6	加藤 百合	ロシア文学講読	西暦偶数年度開講。 対面 欧米文化論演習III(AC61722)ないしロシア語演習IIa(AB98532)の単位取得者は履修できない。
AC61L32	欧米文化論演習IV	2	1.0	3・4	秋AB	火6	加藤 百合	ロシア文学史講読	西暦偶数年度開講。 対面 欧米文化論演習IV(AC61732)ないしロシア語演習IIb(AB98542)の単位取得者は履修できない。
AC61L42	欧米文化論演習V	2	1.0	3・4	春AB	木3	津田 博司	近代イギリス帝国史の英語文献講読	対面 欧米文化論演習V(AC61742)ないしヨーロッパ・アメリカ史文献学VIIa(AB75352)の単位取得者は履修できない。
AC61L52	欧米文化論演習VI	2	1.0	3・4	秋AB	木3	津田 博司	現代イギリス帝国史の英語文献講読	対面 欧米文化論演習VI(AC61752)ないしヨーロッパ・アメリカ史文献学VIIb(AB75362)の単位取得者は履修できない。
AC61L62	欧米文化論演習VII	2	1.0	3・4	春AB	金4	佐藤 千登勢	アメリカ合衆国の3つのマイノリティ・グループーアフリカ系、アジア系、ヒスパニック/ラティーノーに関する英語文献を講読し、「人種」のカテゴリーがどのように構築されてきたのかを考察する。	対面 欧米文化論演習VII(AC61762)ないしヨーロッパ・アメリカ史文献学VIIIa(AB75372)の単位取得者は履修できない。
AC61L72	欧米文化論演習VIII	2	1.0	3・4	秋AB	金4	佐藤 千登勢	近年のジェンダー史研究に関する文献を講読し、法、科学、暴力、身体、戦争、グローバルなヒトの移動といったテーマが、ジェンダーの視点からどのように捉えられているのかを考察する。	対面 欧米文化論演習VIII(AC61772)ないしヨーロッパ・アメリカ史文献学VIIIb(AB75382)の単位取得者は履修できない。
AC61L82	欧米文化論演習IX	2	1.0	3・4	春AB	木5	秋山 学	まずイタリア語の初級文法を学ぶ。ラテン語あるいはフランス語を学んでいれば比較的容易であるので、速習して旧新約聖書の学習に移る。新約のギリシア語は別途開講されているが、旧約のヘブライ語が足りないので、概要を速習し、原典をひも解いて、旧約の精神性に触れることを目指す。なおイタリア語の学習の際に、ダンテ『神曲』の概要も学びたい。	対面 欧米文化論演習IX(AC61782)ないしヨーロッパ・アメリカ史文献学IXa (AB75412)の単位取得者は履修できない。
AC61L92	欧米文化論演習X	2	1.0	3・4	秋AB	木5	秋山 学	イタリア語文法の速習は終えたと思われるので、旧約聖書原典をヘブライ語で読み進む。春学期の継続を基本とする。余裕があれば、一般のヨーロッパ語とは全く構造の異なるハンガリー語訳を対照させ、併せて旧約の総合的理解を目指す。また、ダンテ『神曲』の併読も継続する。	対面 欧米文化論X(AC61691)ないしヨーロッパ・アメリカ史特講IVb (AB75681)の単位取得者は履修できない。
AC61M02	欧米文化論演習XI	2	1.0	3・4	春AB	木4	馬籠 清子	モダニズム期(1920年代まで)の欧米社会と各種芸術に関する英語文献を購読する。	対面
AC61M12	欧米文化論演習XII	2	1.0	3・4	秋AB	木4	馬籠 清子	モダニズム期(1930年代以降)の欧米社会と各種芸術に関する英語文献を購読する。	対面
AC61N01	英米・ヨーロッパ領域特講I	1	1.0	1 - 4	秋C	火2,3	秋山 学	古典ギリシア語文法の既修者を対象に,リーディングの演習を行う(韻文か散文).ギリシア語上級に相当するので、初級の未修者には履修は難しい。	対面
AC61N11	英米・ヨーロッパ領域特講II	1	1.0	1 - 4	秋C	木2,3	秋山 学	古典ラテン語文法の既修者を対象に,リーディングの演習を行う(韻文か散文)。ラテン語上級に相当するので、初級の未修者には履修は難しい。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC61N21	英米・ヨーロッパ領域特講III	1	1.0	2 - 4	春C	火2,3	秋山 学	古典ギリシア語文法の補講.文法が終わっていれば,リーディングの演習に入る(韻文か散文).	対面
AC61N31	英米・ヨーロッパ領域特講IV	1	1.0	2 - 4	春C	木2,3	秋山 学	古典ラテン語文法の補講.文法が終わっていれば,リーディングの演習に入る(韻文か散文).	対面
AC61N42	英米・ヨーロッパ領域特講V	2	1.0	2 - 4	秋AB	金6	宮﨑 和夫	様々な分野のスペイン語文献を講読する。スペイン語で書かれた資料・文献から、人文・社会科学の卒論研究に必要な情報を読み取れるようになることを目指す。	西暦偶数年度開講。 対面
AC61N52	英米・ヨーロッパ領域特講VI	2	1.0	2 - 4				様々な分野のスペイン語文献を講読する。スペイン語で書かれた資料・文献を日本語に翻訳・要約して、人文・社会科学の卒論で利用できるようになることを目指す。	西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
AC61N61	英米・ヨーロッパ領域特論I	1	1.0	2 - 4	春AB	月6	秋山 学	内外における様々な研究成果の紹介を通して、英米・ヨーロッパ領域におけるトピックスについて講義する。なお授業内容の詳細については、シラバスを参照すること。	IとIIの両方を履修することができる。 西暦偶数年度開講。 対面
AC61N71	英米・ヨーロッパ領域特論II	1	1.0	2 - 4				内外における様々な研究成果の紹介を通して、英米・ヨーロッパ領域におけるトピックスについて講義する。なお授業内容の詳細については、シラバスを参照すること。	IとIIの両方を履修することができる。 西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
AC61N81	英米・ヨーロッパ領域特論III	1	1.0	2 - 4				古代ギリシャから今日に至るまで西洋思想を形成してきた最も重要な哲学理論のいくつかを概説する。	西暦偶数年度開講。 英語で授業。 2026年度開講せず。 対面

専門科目(フィールド文化領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC62A01	文化人類学研究I	1	1.0	2 - 4				古典を含む民族誌的事例研究に基づいて、人類学の主要テーマについて掘り下げて考える。	文化人類学研究I(AC62001)ないし文化人類学講義III(AB85151)の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC62A11	文化人類学研究II	1	1.0	2 - 4	春AB	火6	木村 周平	現代社会における民族誌的事例研究に基づいて、人類学の主要テーマについて掘り下げて考える。	文化人類学研究II(AC62011)ないし文化人類学講義IV(AB85161)の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC62A21	文化人類学研究III	1	1.0	2 - 4				現代社会における民族誌的事例研究を取り上げ、人類学の主要テーマがそれぞれの状況でどのように現れ、変化しているかを考える。	西暦奇数年度開講。 対面
AC62A42	文化人類学研究演習I	2	1.0	2 - 4				現代における人類学の動向を民族誌的著作の読解を通して習得する。	AB85452, AC62042の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC62A52	文化人類学研究演習II	2	1.0	2 - 4	秋AB	火6	木村 周平	現代における人類学の理論的方向性を、古典と現代的な著作の読解を通して学ぶ。	AB85462, AC62052の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC62A62	文化人類学研究演習III	2	1.0	2 - 4				中東・中央アジアに関する民族誌的事例研究に基づいて、人類学の主要テーマについて掘り下げて考える。	AC62062の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC62A72	文化人類学研究演習IV	2	1.0	2 - 4	春AB	月6	塩谷 哲史	人類学における中東・中央アジア研究の理論的方向性を近年刊行された論文の読解を通して学ぶ。	AC62072の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC62A82	文化人類学研究演習V	2	1.0	2 - 4				現代における人類学の研究・実践の仕方について、民族誌的著作の読解を通して学ぶ	西暦偶数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
AC62D02	文化人類学研究演習VII	2	1.0	2 - 4				芸術・芸能・音楽に関する古典を含む人類学的・民族誌的著作の読解を通して、それらを対象とする人類学と隣接諸分野の研究動向について議論する。	西暦奇数年度開講。 対面
AC62D12	文化人類学研究演習VIII	2	1.0	2 - 4	春AB	金3	佐本 英規	芸術・芸能・音楽に関する最新の人類学的・民族誌的著作の読解を通じ、それらを対象とする人類学と隣接諸分野について議論する。	西暦偶数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC62D22	文化人類学研究演習IX	2	1.0	2 - 4				芸術・芸能・音楽に関する人類学的・民族誌的著作の読解を通じ、それらを対象とする人類学と隣接諸分野について議論を深める。	西暦偶数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
AC62B01	民俗学研究I	1	1.0	2 - 4				民俗学が研究の対象としてきたテーマについて掘り下げて考える。	民俗学研究I (AC62021)ないし民俗文化論(AB84131)の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
AC62B11	民俗学研究II	1	1.0	2 - 4	春AB	金2	渡部 圭一	民俗学の主要な理論と、今日的研究課題について掘り下げて考える。	民俗学研究II (AC62031)ないし民俗学方法論(AB84141)の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
AC62B42	民俗学研究演習I	2	1.0	2 - 4				民俗学の主要な研究テーマについて文献を講読する事を通じて考える。	AB84432, AC62082の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC62B52	民俗学研究演習II	2	1.0	2 - 4	秋AB	金2	渡部 圭一	民俗学の研究動向について文献を講読する事を通じて考える。	AB84442, AC62092の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC62B82	民俗学研究演習V	2	1.0	2 - 4				民俗事象および民俗学の方法論から参加者各々がテーマを選び演習形式で授業を行う。	西暦奇数年度開講。 対面
AC62B92	民俗学研究演習VI	2	1.0	2 - 4				民俗事象および民俗学の方法論から参加者各々がテーマを選び演習形式で授業を行う。	西暦偶数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
AC62C01	中東・中央アジア文化研究I	1	1.0	2 - 4				中東・中央アジアの文化/歴史を講義する。	中東・中央アジア文化研究I (AC62121)ないし東洋史特講IVb (AB73581)の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC62C11	中東・中央アジア文化研究II	1	1.0	2 - 4	秋AB	月6	塩谷 哲史	中東・中央アジア現代社会の諸問題を講義する。	中東・中央アジア文化研究II (AC62131)ないし東洋史特講IVa (AB73571)の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC62C31	東南アジア・オセアニア文化研究I	1	1.0	2 - 4				東南アジアまたはオセアニアに関する古典を含む民族誌的研究を学び、当該地域を対象とする人類学的研究の諸テーマについて考察する。	西暦奇数年度開講。 対面
AC62C41	東南アジア・オセアニア文化研究II	1	1.0	2 - 4	秋AB	金3	佐本 英規	東南アジアまたはオセアニアに関する最新の民族誌的研究を学び、当該地域を対象とする人類学的研究の諸テーマについて考察する。	西暦偶数年度開講。 対面
AC62C51	東南アジア・オセアニア文化研究III	1	1.0	2 - 4				東南アジアまたはオセアニアに関する人類学的・民族誌的研究を学び、当該地域を対象とする人類学的研究の諸テーマについて考察する。	西暦奇数年度開講。 対面
AC62E23	文化人類学実習I	3	1.0	2 - 4				文化人類学のフィールドワークの方法を学び、学生各人の問題関心を探り、それに基づいてフィールドワークを実践し、成果をレポートとしてまとめる。	西暦奇数年度開講。 対面
AC62E33	文化人類学実習II	3	1.0	2 - 4	春C 春ABC	集中 木6	佐本 英規,木村 周平,塩谷 哲史,渡部 圭一	文化人類学的なフィールドワークの方法を学び、実践し、成果をレポートとしてまとめる。	西暦偶数年度開講。 対面
AC62E43	民俗学実習I	3	1.0	2 - 4				特定地域でフィールドワークを実践し、成果をレポートとしてまとめる事により、民俗学的なフィールドワークの手法を習得する。	西暦奇数年度開講。 対面
AC62E53	民俗学実習II	3	1.0	2 - 4	秋C 秋ABC	集中 木6	渡部 圭一,佐本 英規,木村 周平,塩谷 哲史	特定地域でフィールドワークを実践し、成果をレポートとしてまとめる事により、民俗学的なフィールドワークの手法を習得する。	西暦偶数年度開講。 対面
AC62F01	比較文化地理学I	1	1.0	2・3				文化地理学の近年の研究動向について講義する。特に、近年の都市変化に関する理論について、欧米および日本の都市における実態を提示しながら説明する。	AC62201の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC62F11	比較文化地理学II	1	1.0	2・3	春C	火3,4	松井 圭介	「場所の政治学」に関する文化地理学の近年の研究動向について講義する。	AC62211の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC62F21	地域地理学I	1	1.0	2・3	春AB	木6	松井 圭介	日本の自然と文化について解説する。	地域地理学I (AC6221)ないし世界地誌I (EE21711)の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC62F31	地域地理学II	1	1.0	2・3				北アメリカの性格を形成している,自然環境,文化要素,人口,都市,農村,産業などをとりあげ説明するとともに,具体的な地域の特徴を説明することを通じて,北米の地域性について考える。	地域地理学II (AC62231)ないし世界地誌II (EE21721)の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 G科目 対面
AC62F42	比較文化地理学演習I	2	1.0	2・3				文化地理学,人文地理学に関する英語文献の講読およびディスカッションを通して,地理学に関わる基本的な考え方を身につける。	AC62292の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC62F52	比較文化地理学演習II	2	1.0	2・3	春C	水3,4	久保 倫子	文化地理学,人文地理学に関する文献(英文文献含む)の講読およびディスカッションを通して,地理学に関わる基本的な考え方を身につける。	AC62302の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC62F62	文化地理学研究演習I	2	1.0	3	春AB	金2	森本 健弘,松井 圭介,久保 倫子	国内外の研究論文の講読、研究事例の理解によって、文化地理学的な研究の手法と考え方、実際の調査方法などを修得する。3年次生を対象とし、関心テーマについての日本語論文の紹介を行う。	AC62372の単位取得者は履修できない。 対面
AC62F72	文化地理学研究演習II	2	1.0	3	秋AB	金2	森本 健弘,松井 圭介,久保 倫子	国内外の研究論文の講読、研究事例の理解によって、文化地理学的な研究の手法と考え方、実際の調査方法などを修得する。3年次生を対象とし、自分の関心テーマについての英語論文の紹介および研究構想の発表を行う。	AC62382の単位取得者は履修できない。 対面
AC62F82	文化地理学研究演習III	2	1.0	3	秋C	金2 集中	久保 倫子,森本 健弘,松井 圭介	文化地理学的な研究の手法と考え方、実際の地域調査・観察方法などを修得するため、論文講読、調査計画設計、予備的調査の立案などを実施する。	文化地理学研究演習I(AC62F62)、文化地理学研究演II(AC62F72)を履修済みであることが望ましい。 AC62372,AC62382の単位取得者は履修できない。 対面
AC62F92	文化地理学研究演習IV	2	1.0	4	春AB	金2	森本 健弘,松井 圭介,久保 倫子	国内外の研究論文の講読、研究事例の理解によって,文化地理学的な研究の手法と考え方、実際の調査方法などを修得する。4年次生を対象とし、研究の計画・準備・調査実施にかかわる発表と討論を行う。	AC62392の単位取得者は履修できない。 対面
AC62G03	文化地理学実験実習I	3	1.0	3	春AB	水3,4	森本 健弘,久保 倫子	文化地理学的な地域研究のための基礎的技法の習得を目的とする。Iでは、地形図の利用方法、空中写真の判読、都市および農村における景観観察・調査の技法,地図作成などについて実習を行う。	文化地理学実験実習II (AC62G13)を併せて履修することが望ましい。AC62253, EE21533の単位取得者は履修できない。 対面
AC62G13	文化地理学実験実習II	3	1.0	3	秋AB	水3,4	森本 健弘,久保 倫子	文化地理学的な地域研究のための基礎的技法の習得を目的とする。IIでは、統計処理と地図作成、地理的情報解析(GIS)の技法などについて実習を行う。	文化地理学実験実習I(AC62G03)を履修済みであることが望ましい。AC62263, EE21543の単位取得者は履修できない。 対面
AC62G23	文化地理学野外実習I	3	2.0	2・3	春C 夏季休業中	水1,2 集中	松井 圭介	地域の課題に関わるテーマを設定して文献や統計資料などを利用した事前調査を行い、複数の地域を訪れての現地観察・比較を実施することを通じて、文化地理学的観察・調査・分析の方法ならびにレポートの書き方等を修得する。5日間の現地実習を行う予定。	AC62273の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC62G33	文化地理学野外実習II	3	2.0	2・3				特定地域を対象にテーマを設定し、文献・統計資料・地図類に基づく事前調査を経て現地での地域調査(フィールドワーク)を実施することにより、文化地理学的事象の観察方法、調査方法やその解析方法、論文の書き方などを修得する。	AC62283の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面 事前指導(金1授業)は教室にて対面で実施,現地実習は対面にて実施予定
AC62H01	フィールド文化領域特論I	1	1.0	2 - 4				内外における様々な研究成果の紹介を通して,フィールド文化領域におけるトピックスについて講義する。なお授業内容の詳細については、シラバスを参照すること。	IとIIの両方を履修することができる。 2026年度開講せず。
AC62H11	フィールド文化領域特論II	1	1.0	2 - 4				内外における様々な研究成果の紹介を通して,フィールド文化領域におけるトピックスについて講義する。なお授業内容の詳細については、シラバスを参照すること。	IとIIの両方を履修することができる。 2026年度開講せず。

専門科目(表現文化領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC63A01	テクスト文化学研究I	1	1.0	2・3	秋AB	火3	三原 鉄也	マンガにおけるメディア展開や多言語展開などを題材に、多様な物語の語り継ぎ手法について考察する。	実務経験教員 対面 AC63001の単位取得者は履修できない。
AC63A11	テクスト文化学研究II	1	1.0	2・3	春AB	木3	五月女 颯	世界の様々なテクストを具体例として、エコクリティシズムを概論的に学ぶ。	対面 AC63011の単位取得者は履修できない。
AC63A21	テクスト文化学研究III	1	1.0	3・4				英語圏の古典的な小説(『ロビンソン・クルーソー』、『ジェイン・エア』、『嵐が丘』、『闇の奥』など)や詩(「荒地」など)、そしてその派生作品について考察する。日本語訳を主に使用し、原典も適宜参照する。	AC63021の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC63A31	テクスト文化学研究IV	1	1.0	3・4	春AB	火3	齋藤 一	英語圏の古典的な小説(『ロビンソン・クルーソー』、『蝿の王』、『渚にて』など)や詩(「荒地」など)、そしてその派生作品について考察する。日本語訳を主に使用し、原典も適宜参照する。	AC63031の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC63A61	比較文学研究	1	1.0	2・3	春AB	火6	平石 典子	比較文学の手法の概説を行い、比較文学研究が文学・文化・社会の「読み」にどのような視野をもたらすかについて考察する。	オンライン(同時双方向型) AC63041の単位取得者は履修できない。
AC63B02	テクスト文化学演習I	2	1.0	2・3	春AB	水2	吉原 ゆかり	英語もしくは日本語を用いながら、多言語・多文化地域の文化を学ぶ	対面 AC63062の単位取得者は履修できない。
AC63B12	テクスト文化学演習II	2	1.0	2・3	秋AB	水2	吉原 ゆかり	指定されたテクスト(文学、映画、漫画などを含む)について、大学生にふさわしい学術論文を作成するための、アカデミック・ライティング・スキル入門編	対面 AC63072の単位取得者は履修できない。
AC63B22	テクスト文化学演習III	2	1.0	3・4	秋AB	木3	五月女 颯	エコクリティシズムなどの論点からテクストを論じるための一連の方法論を演習する。	対面 AC63082の単位取得者は履修できない。
AC63B32	テクスト文化学演習IV	2	1.0	3・4				日本語で出版された最新の文学・文化理論、関連する作品などを取り上げ、演習形式で解読・議論をおこなう。	AC63092の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC63B42	テクスト文化学演習V	2	1.0	3・4				日本語もしくは英語を用いながら、多言語・多文化地域の文学・文化を学ぶ。	AC63102の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC63B62	テクスト文化学演習VII	2	1.0	3・4				日本語で出版された最新の文学・文化理論、関連する作品などを取り上げ、演習形式で解読・議論をおこなう。	西暦奇数年度開講。 対面
AC63C02	比較文学演習I	2	1.0	3・4	春AB	木2	平石 典子	比較文学の手法を用いた文学作品の分析を、演習形式で学ぶ。	オンライン(同時双方向型) AC63112の単位取得者は履修できない。
AC63C12	比較文学演習II	2	1.0	3・4	秋AB	水5	平石 典子	「ジェンダー」をテーマに文学作品の分析・考察を行い、英語での発表、議論も経験する。	オンライン(同時双方向型) AC63122の単位取得者は履修できない。
AC63C42	文化学データ演習I	2	1.0	2 - 4	春AB	月3	三原 鉄也	文化・芸術領域を対象にしたデジタルコンテンツを探索・取得し、活用するための基礎的な技術について学ぶ。デジタルアーカイブを利用した資料の調査・探索やキュレーションコンテンツを作成する演習を行う。	AC63C32の単位取得者は履修できない。 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC63C52	文化学データ演習II	2	1.0	3・4	秋C	集中	三原 鉄也	文化・芸術領域を対象にしたデジタルデータを処理し、活用するための基礎的な技術について学ぶ。文学・文化・芸術分野の実際のデータを用いて調査・分析する演習を行う。GC24501「コンテンツ流通基盤概論」の一部と同時開講。	AC63C32、GC24501の単位取得者は履修できない。GC24501と同時履修不可。 実務経験教員 対面
AC63C62	テクスト文化学研究演習	2	1.0	3・4	秋C	木3,4	五月女 颯,三原 鉄也,吉原 ゆかり,齋藤 一,平石 典子	大学生にふさわしい学術論文を作成するための、コース所属の学生と教員による合同授業。	実務経験教員 対面
AC63C72	表現文化企画実践演習	2	2.0	3・4	春C	集中	三原 鉄也	マンガを主たる題材として、物語表現を二次的・多次的に広め伝える企画を設計・提案する演習を行う。演習は実際のマンガ作品やその制作の事例に基づいたワークショップ・コンペ形式にて行う。	AC63C22の単位取得者は履修できない。 実務経験教員 対面
AC63E01	文化創造論研究I	1	1.0	2 - 4	秋AB	金4	佐藤 嘉幸	〈社会理論研究〉社会理論に関する近現代思想の重要テキストを読む。今年度は、ミシェル・フーコーの講義『主体性と真理』を読解し、『性の歴史』プロジェクトとの関係について考察する。文化創造論研究IIと連続で授業を行うので、必ず両方の授業を履修すること。	AC63301の単位取得者は履修できない。 2026年度より2年おき開講。 対面
AC63E11	文化創造論研究II	1	1.0	2 - 4	秋AB	金5	佐藤 嘉幸	〈社会理論研究〉社会理論に関する近現代思想の重要テキストを読む。今年度は、ミシェル・フーコーの講義『主体性と真理』を読解し、『性の歴史』プロジェクトとの関係について考察する。文化創造論研究Iと連続で授業を行うので、必ず両方の授業を履修すること。	AC63311の単位取得者は履修できない。 2026年度より2年おき開講。 対面
AC63E21	文化創造論研究III	1	1.0	2 - 4				〈エコロジーと文化〉自然と文化、芸術表現の切り結ぶ点について、エコロジー、哲学、文学、エッセー、芸術作品を元に考察する。	AC63321の単位取得者は履修できない。 2024年度より2年おき開講。 対面
AC63E31	文化創造論研究IV	1	1.0	2 - 4				〈社会理論研究〉社会理論に関する近現代思想の重要テキストを読む。今年度は、ミシェル・フーコー『性の歴史』2、3巻を読解し、フーコーのセクシュアリティ理論の意義について議論する。文化創造論研究Vと連続で授業を行うので、必ず両方の授業を履修すること。	AC63331の単位取得者は履修できない 2024年度より2年おき開講。 対面
AC63E41	文化創造論研究V	1	1.0	2 - 4				〈社会理論研究〉	AC63341の単位取得者は履修できない。 2024年度より2年おき開講。 2026年度開講せず。
AC63E51	文化創造論研究VI	1	1.0	2 - 4	春AB	金5	小川 美登里	〈映画におけるサスペンス〉サスペンス映画を歴史的にたどり、映像表現におけるサスペンスのあり方と手法、効果について考察する。AC63F02「文化創造論演習I」との連続講義のため、両方を取る必要がある。	AC63351の単位取得者は履修できない。 2026年度より2年おき開講。 対面
AC63F02	文化創造論演習I	2	1.0	2 - 4	春AB	金6	小川 美登里	〈映画におけるサスペンス〉サスペンス映画を歴史的にたどり、映像表現におけるサスペンスのあり方と手法、効果について考察する。AC63E51「文化創造論研究VI」との連続講義のため、両方を取る必要がある	AC63362の単位取得者は履修できない。 2026年度より2年おき開講。 対面
AC63F32	文化創造論演習IV	2	1.0	2 - 4				文化現象における音楽とイメージの関係について考える。AC63H52「音楽文化論演習I」と連続で行う授業のため、必ず両方の授業を受講すること。一方のみの受講は認められない。	AC63392の単位取得者は履修できない。 2025年度より2年おき開講。 対面
AC63F42	文化創造論演習V	2	1.0	2 - 4				〈社会理論研究〉社会理論に関する近現代の重要テキストを読む。今年度は、ミシェル・フーコーのセクシュアリティ理論を読解し、セクシュアリティ理論の基礎を習得する。文化創造論演習VIと連続で授業を行うので、必ず両方の授業を履修すること。	AC63402の単位取得者は履修できない。 2025年度より2年おき開講。 対面
AC63F52	文化創造論演習VI	2	1.0	2 - 4				〈社会理論研究〉社会理論に関する近現代の重要テキストを読む。今年度は、ミシェル・フーコーのセクシュアリティ理論を読解し、セクシュアリティ理論の基礎を習得する。文化創造論演習Vと連続で授業を行うので、必ず両方の授業を履修すること。	AC63412の単位取得者は履修できない。 2025年度より2年おき開講。 対面
AC63G01	表象芸術論研究I	1	1.0	2 - 4	秋AB	水2	江藤 光紀	万博の歴史をそれぞれの時代の美意識・価値観を踏まえながらたどる。	AC63421の単位取得者は履修できない。 2026年度より2年おき開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC63G11	表象芸術論研究II	1	1.0	2 - 4				20世紀につながる芸術の展開と芸術思潮を論じる。Iを受ける形で、万博を通じた芸術の流れを追う。	AC63431の単位取得者は履修できない。 2024年度より2年おき開講。 2026年度開講せず。 対面
AC63G52	表象芸術論演習I	2	1.0	2 - 4				【万博学】表象芸術論では万博の研究を通じて芸術や文化の営みを社会構造、支配・権力関係、経済的動機など多面的な観点から分析する。 Iは海外の万博および大型博覧会をテーマにする。演習では受講者の発表を取り入れる。	AC63442の単位取得者は履修できない。 2025年度より2年おき開講。 対面
AC63G62	表象芸術論演習II	2	1.0	2 - 4	春AB	水2	江藤 光紀	【万博学】表象芸術論では万博の研究を通じて芸術や文化の営みを社会構造、支配・権力関係、経済的動機など多面的な観点から分析する。 IIは国内の万博および大型博覧会をテーマにする。演習では受講者の発表を取り入れる。	AC63452の単位取得者は履修できない。 2026年度より2年おき開講。 対面
AC63H01	音楽文化論研究I	1	1.0	3・4				社会や文化、芸術における音楽の役割について考える。	AC63461の単位取得者は履修できない。 2024年度より2年おき開講。 対面
AC63H11	音楽文化論研究II	1	1.0	2 - 4				【教養としてのオペラ】オペラは音楽のみならず、文学、演出、バレエなど様々な要素を包含する総合芸術である。研究ではオペラを楽しむための基本となる知識や作品に対するアプローチ方法を学ぶ。	AC63471の単位取得者は履修できない。 2024年度より2年おき開講。 対面
AC63H52	音楽文化論演習I	2	1.0	2 - 4				音楽と文化、社会の関係を考える。AC63F32「文化創造論演習IV」と連続で行う授業のため、必ず両方の授業を受講すること。一方のみの受講は認められない。	AC63482の単位取得者は履修できない。 2025年度より2年おき開講。 対面
AC63H62	音楽文化論演習II	2	1.0	2 - 4				【教養としてのオペラ】オペラは音楽のみならず、文学、演出、バレエなど様々な要素を包含する総合芸術である。演習では受講者の発表を通じてレパートリー化されている名作の概要を学ぶ。	AC63492の単位取得者は履修できない。 2025年度より2年おき開講。 対面
AC63J01	One-Planet Relational Studies in Literature and Culture (lecture) I	1	1.0	2 - 4	秋AB	月5	ヘーゼルハウス, ヘラト	Intermediate lecture in “One-Planet Relational Studies”: case study and overview. (Key words: stewardship and mindfulness, critical thinking and problem solution, agency and discourse, relational and planetary approaches.)	2026年度より2年おき開講。 英語で授業。 対面
AC63J11	One-Planet Relational Studies in Literature and Culture (lecture) II	1	1.0	2 - 4				Advanced lecture in “One-Planet Relational Studies”: case study and overview. (Key words: stewardship and mindfulness, critical thinking and problem solution, agency and discourse, relational and planetary approaches.)	2027年度より2年おきに開講 英語で授業。 2026年度開講せず。 対面
AC63J21	One-Planet Relational Studies in Literature and Culture (lecture) III	1	1.0	2 - 4				This class introduces the basic concepts and methods of “One-Planet Relational Studies”: stewardship and mindfulness, critical thinking and problem solution, agency and discourse, relational and planetary approaches to our common world.	2025年度より2年おき開講。 英語で授業。 対面(オンライン併用型)
AC63K02	One-Planet Relational Studies in Literature and Culture (seminar) I	2	1.0	2 - 4	春AB	火2	ヘーゼルハウス, ヘラト	This class focuses on concepts of social and moral responsibility, such as global citizenship, stewardship and mindfulness.	2026年度より2年おき開講。 英語で授業。 対面
AC63K12	One-Planet Relational Studies in Literature and Culture (seminar) II	2	1.0	2 - 4	秋AB	火2	ヘーゼルハウス, ヘラト	This class focuses on agency and problem solution in current global issues and crises.	2026年度より2年おき開講。 英語で授業。 対面
AC63K22	One-Planet Relational Studies in Literature and Culture (seminar) III	2	1.0	2 - 4				This class focuses on changing historical conceptualizations and discourses in global issues and crises.	2027年度より2年おきに開講 英語で授業。 2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
AC63K32	One-Planet Relational Studies in Literature and Culture (seminar) IV	2	1.0	2 - 4				This class discusses practical and theoretical issues of "One-Planet Relational Studies".	2027年度より2年おきに開講 英語で授業。 2026年度開講せず。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC63K42	One-Planet Relational Studies in Literature and Culture (seminar) V	2	1.0	2 - 4				This class focuses on agency and problem solution in current global issues and crises.	2025年度より2年おき開講。 英語で授業。 対面
AC63K52	One-Planet Relational Studies in Literature and Culture (seminar) VI	2	1.0	2 - 4				This class focuses on agency and problem solution in current global issues and crises.	2025年度より2年おき開講。 英語で授業。 対面
AC63L01	表現文化領域特論I	1	1.0	2 - 4	春AB	集中		内外における様々な研究成果の紹介を通して,表現文化領域におけるトピックスについて講義する。なお授業内容の詳細については、シラバスを参照すること。	IとIIの両方を履修することができる。
AC63L11	表現文化領域特論II	1	1.0	2 - 4	秋AB	集中		内外における様々な研究成果の紹介を通して,表現文化領域におけるトピックスについて講義する。なお授業内容の詳細については、シラバスを参照すること。	IとIIの両方を履修することができる。 対面

専門科目(文化科学領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC64A01	先端文化学研究I	1	1.0	3・4	春AB	木3	山口 有梨沙	[イメージ文化論] 近現代ヨーロッパ(主にイギリス)の様々な「衣服や身体に関するイメージ」を、視覚および物質資料を参照しながら探究する。	対面 AC64001の単位取得者は履修できない。
AC64A21	先端文化学研究III	1	1.0	3・4				[表象文化論]:現代文化や現代社会における表象に関わる問題について文献講読を通して考察する。	2026年度開講せず。 対面 対面(オンライン併用型) AC64021の単位取得者は履修できない。
AC64A31	先端文化学研究IV	1	1.0	3・4	秋AB	木5	対馬 美千子	[表象文化論] : 現代文化や現代社会における表象に関わる問題について文献講読を通して考える。	対面 対面(オンライン併用型) AC64031の単位取得者は履修できない。
AC64A41	先端文化学研究V	1	1.0	3・4	春AB	月6	廣瀬 浩司	[感性文化論] 感性や身体にかかわる具体的な事象(言語、芸術、思想)をとりあげ、その創造的な意義について考察する。	対面 AC64041の単位取得者は履修できない。
AC64A51	先端文化学研究VI	1	1.0	3・4				[感性文化論] 感性にかかわる具体的な事象(芸術、思想)をとりあげ、その創造的な意義について考察する。	2026年度開講せず。 対面 AC64051の単位取得者は履修できない。
AC64A61	先端文化学研究VII	1	1.0	2・3	春AB	木2	山口 恵里子	[イメージ人類学] :芸術と人類学の接点において「イメージ」と身体の関係性について問う。	対面 先端文化学研究VII (AC32781, AC64061) ないし欧米の歴史と文化 (AE12H21)の単位取得者は履修できない。
AC64A71	先端文化学研究IX	1	1.0	2・3				近代から現代にかけてのヨーロッパ(特にドイツ)のさまざまな文化事象や文化理論について考察する。	2026年度開講せず。 対面 AC64071の単位取得者は履修できない。
AC64A91	先端文化学研究X	1	1.0	2・3	秋AB	月5	濱田 真	近代から現代にかけてのヨーロッパ(特にドイツ)のさまざまな文化事象や文化理論について考察する。	対面(オンライン併用型) AC64091の単位取得者は履修できない。
AC64B01	先端文化学研究XI	1	1.0	3・4				近現代ヨーロッパ(特にドイツ)の文化・芸術の特徴を、主要な思想家や芸術家に焦点を当てて考察する。	2026年度開講せず。 対面
AC64B52	先端文化学演習I	2	1.0	2・3	春AB	火4	廣瀬 浩司	[身体・感性文化論演習] : からだの感覚は、文化とどのような関係にあるのか、基本的な文献を講読しつつ、ひとつひとつ丁寧に考える力をつける。	対面 AC32802, AC64102の単位取得者は履修できない。
AC64B62	先端文化学演習II	2	1.0	2・3	秋AB	火4	廣瀬 浩司	[生命・感性文化論演習]:じぶんの身体に問いかけることで、生命とは何か、それは文化、芸術とどう関係しているかを具体的事象にそくして考えるための文献を講読する。希望によりフランス語文献、あるいはその英訳を参照する授業になる。	対面 AC64112の単位取得者は履修できない。
AC64B72	先端文化学演習III	2	1.0	2・3				[表象文化論演習] : 現代文化や現代社会における表象の問題について文献講読、発表・討論を通して考察する。	教室については manabaで周知する。 2026年度開講せず。 対面 AC64122の単位取得者は履修できない。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC64B82	先端文化学演習IV	2	1.0	2・3	秋AB	木6	対馬 美千子	[表象文化論演習] : 現代文化や現代社会における表象の問題について文献講読、発表・討論を通して考える。	教室については manabaで周知する。 対面 対面(オンライン併用型) AC64132の単位取得者は履修できない。
AC64C02	先端文化学演習VI	2	1.0	3・4				[イメージ人類学演習]:イメージのもつ力(効果・効力)について論じる文献を購読し、そのアプローチについて考察を深める。	2026年度開講せず。 対面
AC64C12	先端文化学演習VII	2	1.0	3・4	秋AB	木3	山口 恵里子	[イメージ人類学演習]:イメージのもつ力(効果・効力)について論じる文献を購読し、そのアプローチについて考察を深める。	対面 AC64162の単位取得者は履修できない。
AC64C22	先端文化学演習VIII	2	1.0	3・4				[イメージ人類学演習]:イメージのもつ力(効果・効力)について論じる文献を購読し、そのアプローチを具体的な事例の考察に応用する。	2026年度開講せず。 対面 AC64172の単位取得者は履修できない。
AC64C32	先端文化学演習IX	2	1.0	3・4	秋AB	木1	山口 有梨沙	近現代ヨーロッパ(主にイギリス)の様々な「衣服や身体に関するイメージ」を、文献購読、発表を通して考える。	対面(オンライン併用型) AC64182の単位取得者は履修できない。
AC64C42	先端文化学演習X	2	1.0	3・4	春AB	月5	濱田 真	ドイツを中心にした近現代ヨーロッパのさまざまな文化論を取り上げて、文化の諸問題について考察する。	対面(オンライン併用型) AC64192の単位取得者は履修できない。
AC64C52	先端文化学演習XI	2	1.0	3・4				[文化芸術論]近代から現代にかけてのヨーロッパ(特にドイツ)の芸術論の系譜を辿り、文化と芸術の関係について考察する。	2026年度開講せず。 対面 AC64202の単位取得者は履修できない。
AC64E01	コミュニケーション論	1	1.0	2・3				この授業では、コミュニケーション・プロセスに関する知見を、応用できるようになることを目的とする。	AC64301, BB11401の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 BB11391と同一。 対面
AC64E02	情報文化学演習1	2	1.0	2 - 4				本演習では、情報技術と社会・文化の関係をテーマとし、近年注目されている生成AIやSNSなどで活用され、身近な技術にもなっている人工知能(AI)を中心とする。「AI時代」とも呼ばれている現代を読み解くために、AIと社会・文化に関する最先端の文献を取り上げる。本演習の前半では、AIの開発と実装の背景にある社会のあり方を検討し、AI・データと個人の関係性について考える。後半では、「プライバシー」や「倫理」などのキーワードを中心に、AIの活用とその普及によって生じる課題とその対応策について批判的に議論する。最後に、AIのこれからを考えるために、AIの自然環境への影響を考察する。全体を通して、学術的知識の応用に向けて、事例やケース・スタディを取り上げ、ディスカッションによって、AIの社会的・文化的側面や諸課題に関する理解を深めることを目的とする。	西暦奇数年度開講。 対面
AC64E11	メディア・コミュニケーション論	1	1.0	2・3	春AB	火2	カテライ アメリア	メディア・コミュニケーションの諸課題と対応策を概観し、考察する。その中で、デジタル・メディアに注目し、メディア・リテラシーについても取り上げる。	AC64311, BB11411の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 BB11441と同一。 対面
AC64E12	情報文化学演習2	2	1.0	2 - 4				本演習では、情報技術と社会・文化の関係をテーマとする。人工知能(AI)は多様な場面で導入されながら、その開発と実装の諸課題も浮上している。本演習では、AIの社会的側面やその影響について検討する。演習の前半では、近年の研究で指摘されている課題を取り上げ、AIとバイアスや排除をはじめとする、実際に生じている課題について議論する。後半では、AIが導入されている、教育や職場などの身近な分野を取り上げ、その導入がもたらす影響について考察する。全体を通して、学術的知識の応用に向けて、事例やケース・スタディを取り上げ、ディスカッションによって、AIの社会的・文化的側面や諸課題に関する理解を深めることを目的とする。	西暦奇数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC64E21	広告文化論	1	1.0	2 - 4				本講義は、メディア史という観点から広告文化のありようと社会的背景について理解する。	AC64321の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC64E22	情報文化学演習3	2	1.0	2 - 4	春AB	月2	カテライ アメリア	本演習では、情報技術と社会・文化の関係をテーマとし、近年注目されている生成AIやソーシャル・メディアなどで活用され、身近な技術にもなっている人工知能(AI)を中心とする。情報文化学演習3では、環境・社会・文化の観点から、生成AIの可能性と課題に着目する。	西暦偶数年度開講。 対面
AC64E31	映像文化論	1	1.0	3・4	春AB	月3	白戸 健一郎	映像文化の歴史や現状、諸問題に関する基礎的知識を修得する。テレビ放送やそのコンテンツ、動画プラットフォームの具体的な事例を通して、考察を深める。	AC64331の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC64E32	情報文化学演習4	2	1.0	2 - 4	秋AB	金2	カテライ アメリア	本演習では、情報技術と社会・文化の関係をテーマとし、近年注目されている生成AIやソーシャル・メディアなどで活用され、身近な技術にもなっている人工知能(AI)を中心とする。情報文化学演習4では、ソーシャル・メディアをはじめとする「プラットフォーム」やその裏にある「アルゴリズム」の可能性と課題を取り上げ、その社会的影響について理解を深めることを目的とする。	西暦偶数年度開講。 対面
AC64E41	記号文化論	1	1.0	2 - 4	秋AB	金4	白戸 健一郎	本講義は、メディア史という観点から「世論」形成過程の歴史的構造転換を概観し、その社会的歴史的意義を考えるものである。	AC64421の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC64F02	コミュニケーション論演習1	2	1.0	2 - 4	春AB	月4	白戸 健一郎	コミュニケーションに関わる質的研究の論文を一緒に読む。担当者が論文の枠組みや問題点について発表し、全員で討論を行う。主体的な参加が求められる授業。	AC64342の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC64F12	コミュニケーション論演習2	2	1.0	2 - 4	春AB	月5	白戸 健一郎	コミュニケーション論(マス・コミュニケーション論を含む)の古典を主に扱い、輪読、発表、討論を通じて理論への理解を深める。主体的な参加が求められる。	AC64352の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC64F22	コミュニケーション論演習3	2	1.0	2 - 4				メディア論に関連する文献をその都度指示し、輪読・発表を行います。特に、マス・メディアとコミュニケーションに関して考察する。本演習では対人コミュニケーション能力が重要。	AC64362の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC64F32	コミュニケーション論演習4	2	1.0	2 - 4				メディアと政治に関連する文献をその都度指示し、輪読・発表を行います。特に、メディアと政治に関して考察する。本演習では対人コミュニケーション能力が重要。	AC64372の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC64F42	情報社会論演習1	2	1.0	2 - 4	春AB	金5	白戸 健一郎	メディア論・情報社会論・メディア史に関する先端的文献を輪読し、討論する。演習であるので、主体的な参加が求められる。	AC64392の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC64F52	情報社会論演習2	2	1.0	2 - 4	秋AB	金5	白戸 健一郎	メディア論・情報社会論・メディア史に関する古典的文献を輪読し、討論する。演習であるので、主体的な参加が求められる。	AC64412の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。
AC64F62	情報社会論演習3	2	1.0	2 - 4				メディア論・情報社会論・メディア史に関する先端的文献を輪読し、討論する。演習であるので、主体的な参加が求められる。	AC64402の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC64F72	情報社会論演習4	2	1.0	2 - 4				メディア論・情報社会論・メディア史に関する古典的文献を輪読し、討論する。演習であるので、主体的な参加が求められる。	AC64412の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC64H01	文化科学領域特論I	1	1.0	2 - 4	春AB	集中		内外における様々な研究成果の紹介を通して,文化科学領域におけるトピックスについて講義する。なお授業内容の詳細については、シラバスを参照すること。	IとIIの両方を履修することができる。
AC64H11	文化科学領域特論II	1	1.0	2 - 4	秋AB	集中		内外における様々な研究成果の紹介を通して,文化科学領域におけるトピックスについて講義する。なお授業内容の詳細については、シラバスを参照すること。	IとIIの両方を履修することができる。

専門科目(思想文化領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC65A01	分析哲学	1	1.0	2・3	春AB	水2	橋本 康二	分析哲学において論理、意味、存在などの問題がどのように論じられてきたのかを考察する。	AC65001の単位取得者は履修できない。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC65A11	現代倫理学	1	1.0	2 - 4	春C	金4,5	太田 紘史	自由意志および道徳的責任に関する根本的な係争点を概観するとともに、哲学的諸説が相互に対立しながらどのように進歩してきたのかを検討する。	AC65031の単位取得者は履修できない。 対面
AC65A21	哲学カフェ	1	1.0	2 - 4	春AB	金5	太田 紘史	対話というものが哲学においてどのように変容し多様化してきたかを概観しながら、哲学方法論のさまざまな可能性を検討する。哲学を楽しむ新しいやり方も考えてみる。	AC65041の単位取得者は履修できない。 対面
AC65A41	日本・東洋思想史研究II	1	1.0	2 - 4	秋AB	木3	嚴 錫仁	江戸思想史の展開様相を幅広く考察する。同時代の中国・韓国思想との比較考察も行う。	日本・東洋思想史研究II (AC65191)ないし東洋倫理思想史b (AB62161)の単位取得者は履修できない。 対面
AC65A51	日本・東洋思想史研究III	1	1.0	2 - 4				中国倫理思想を対象として、その内容と東アジア地域における展開様相を幅広く考察する。	西暦奇数年度開講。 対面
AC65A61	比較思想研究	1	1.0	2 - 4	春AB	木5	井川 義次	東西の思想交流についての思想史的研究を行う。東西の世界的思想交流についての思想史の比較を行う。そこでは悠久で不断の中国史情報がノアの洪水等『聖書』情報を否定し西洋史の組み替えを迫ったことや、自他の更新や理性の向上によって世界平和を標榜する『大学』等儒教古典情報のラテン語訳が欧米知識人に衝撃を与えたことについて解説する。	比較思想研究 (AC65061) ないし東洋哲学史a (AB61351)の単位取得者は履修できない。 対面
AC65A71	比較思想史研究	1	1.0	2 - 4	秋AB	木5	井川 義次	理性の時代・啓蒙主義から百科全書派に到るまで、カトリック・イエズス会宣教師たちは布教の効率化のため中国哲学文献を精査し、欧米世界に紹介した。これはフランス革命に至る欧米知識人に「神」なき人間の知徳による世界完成と受け取られ大きな影響をもたらした。本授業ではその実状を東西両洋の文献を通して明らかにする。	比較思想史研究 (AC65071) ないし東洋哲学史b (AB61361)の単位取得者は履修できない。 対面
AC65B02	分析哲学演習	2	1.0	3・4	春AB	水3	橋本 康二	分析哲学の古典的な著作・論文を読む。	AC65082の単位取得者は履修できない。 対面(オンライン併用型)
AC65B12	現代倫理学演習I	2	1.0	2 - 4	秋C	金4,5	太田 紘史	ロボットや人工知能が関わる倫理的問題について考えてみる。授業は日本語テキストの輪読とディスカッションの形で進める。	AC65112の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC65B22	現代倫理学演習II	2	1.0	2 - 4				テクノロジーの根本的な性格および個別的な倫理的問題について考えてみる。授業は日本語テキストの輪読とディスカッションの形で進める。	AC65122の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC65B32	哲学カフェ演習I	2	1.0	2 - 4	秋AB	金5	太田 紘史	哲学の問いは多様さと自由さにあふれている。他者の言葉に耳を傾け、自分の言葉を紡いでみよう。	AC65132の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AC65B42	哲学カフェ演習II	2	1.0	2 - 4				哲学の問いは多様さと自由さにあふれている。他者の言葉に耳を傾け、自分の言葉を紡いでみよう。	AC65142の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
AC65B62	日本・東洋思想史研究演習II	2	1.0	2 - 4	春AB	木3	嚴 錫仁	江戸思想史の文献資料を講読する。	日本・東洋思想史研究演習II (AC65212) ないし東洋倫理思想史演習b(AB62662)の単位取得者は履修できない。 対面
AC65B72	日本・東洋思想史研究演習III	2	1.0	2 - 4	秋AB	木2	嚴 錫仁	儒教思想の文献資料を講読する。	西暦偶数年度開講。 対面
AC65B82	比較思想研究演習	2	1.0	2 - 4	春AB	木4	井川 義次	東西の世界的思想交流についての思想史の比較を行う。東西の思想交流についての思想史的研究を行う。後期はロシアの文豪トルストイや現代哲学の代表人物ハイデッガーも称賛し400種近い西欧語の翻訳がある『老子』やの思想について、書き下しや現代語を通して詳しく講読する。	比較思想研究演習 (AC65162) ないし東洋哲学演習a (AB61612)の単位取得者は履修できない。 対面
AC65B92	比較思想史研究演習	2	1.0	2 - 4	秋AB	木4	井川 義次	後期は東洋世界はもちろん現代欧米世界に強烈な刺激を与えている『荘子』の思想について、書き下しや現代語を通して優しく講読する。	比較思想史研究演習 (AC65172) ないし東洋哲学演習b (AB61622)の単位取得者は履修できない。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC65E01	比較宗教論I	1	1.0	2 - 4	春AB	月4	平野 貴大	イスラーム教徒の数は近年急速に増加しており、およそ20億人と推定される。現代社会において国際的な活躍を目指すならば、イスラームに関する知識は不可欠と言って良い。本授業はイスラームという宗教についてその成り立ちから現代におけるあり方を取り上げる。	比較宗教論I (AC65421) ないし宗教社会学a (AB63051) の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC65E11	比較宗教論II	1	1.0	2 - 4	秋AB	月4	平野 貴大	現代世界におけるイスラームのプレゼンスは大きく増しつつある。本授業ではイスラーム教徒による近代的諸問題に関する見方を解説していく。主に近代化と宗教改革運動、いわゆる原理主義、イスラーム金融、食べ物や化粧品に対しての宗教的合法性(ハラール)の認証、といったテーマを取り上げていく。本授業はあくまでもこれらの諸問題を政治学、社会学、経済学などの観点から論じるのではなく、宗教学的視野から考察するものである。	比較宗教論II (AC65431) ないし宗教社会学b (AB63061) の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC65E21	比較宗教論III	1	1.0	2 - 4				全世界で20億ほどの信徒数を抱えるイスラームにはスンナ派とシーア派の2大宗派が存在する。本講義はスンナ派の教義に着目することで、イスラームに関する基礎的知識と理解を涵養するものである。	AC65441の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC65E31	比較宗教論IV	1	1.0	2 - 4				世界中で20億人もの信徒数を抱えるイスラームにはスンナ派とシーア派の2大宗派が存在する。本講義はシーア派の成り立ちと思想に着目し、イスラームの基礎的知識や理解を涵養する。	AC65451の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC65E41	比較宗教論V	1	1.0	2 - 4	春AB	木6	木村 武史	多種多様な宗教現象を解釈、分析するには多角的な観点からの考察が求められる。同時に、それらの多様な宗教の共通点と相違点についても考えなくてはならない。本講義では、宗教の現象学的研究に焦点を当てる。歴史的かつ具体的事例を取り上げる。	AC65461の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC65E51	比較宗教論VI	1	1.0	2 - 4	秋AB	木6	木村 武史	多種多様な宗教現象を解釈、分析するには多角的な観点からの考察が求められる。同時に、それらの多様な宗教の共通点と相違点についても考えなくてはならない。本講義では、宗教の社会学的研究に焦点を当てる。具体的事例を取り上げならが、その社会学的側面について考える。	AC65471の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC65E61	比較宗教論VII	1	1.0	2 - 4				多種多様な宗教現象を解釈、分析するには多角的な観点からの考察が求められる。同時に、それらの多様な宗教の共通点と相違点についても考えなくてはならない。本講義では、宗教の現象学的研究に焦点を当てる。現代的かつ具体的事例を取り上げる。	AC65481の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC65E71	比較宗教論VIII	1	1.0	2 - 4				多種多様な宗教現象を解釈、分析するには多角的な観点からの考察が求められる。同時に、それらの多様な宗教の共通点と相違点についても考えなくてはならない。本講義では、宗教の比較神話論的研究に焦点を当てる。歴史上の具体的事例を取り上げながら、その神話と象徴的側面について考える。	AC65491の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC65F02	比較宗教演習I	2	1.0	2 - 4	春AB	月5	平野 貴大	世俗が進んだ現代社会においても宗教は人々の思想や行動に大きな影響を及ぼしてきた。とりわけイスラームはその影響が人々の日常の生活において明確に可視化されている。本授業では、イスラームの教義と信徒の宗教実践に関する文献・論文を読解することで、イスラーム教徒の思想と行動原理を学んでいく。	AC65302の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC65F12	比較宗教演習II	2	1.0	2 - 4	秋AB	月5	平野 貴大	世俗が進んだ現代社会においても宗教は人々の思想や行動に大きな影響を及ぼしてきた。本授業では主に世界宗教(仏教、キリスト教、イスラーム)に関する書籍を読解することで、諸宗教の理解を目指す。学生は毎回指定されるテーマについて事前に文献を読むなどして調査し、それについて発表することが求められる。	AC65312の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC65F22	比較宗教演習III	2	1.0	2 - 4				イスラームのスンナ派の中には4大法学派があり、そのうちの1つがハナフィー学派である。同学派の名祖アブー・ハニーファは法学者でありながら、『大フィクフ』という神学書を執筆している。本授業では彼の『大フィクフ』の英訳を購読し、スンナ派イスラームの信条がどのようであるかを原典訳から考察する。	AC65322の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC65F32	比較宗教演習IV	2	1.0	2 - 4				本授業では20世紀のシーア派法学者のムハンマド・レザー・ムザッファルの神学綱領の英訳(原典はアラビア語)を購読し、シーア派イスラームの信条がどのようであるかを原典訳から考察する。	AC65332の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC65F42	比較宗教演習V	2	1.0	2 - 4	春AB	火4	木村 武史	多種多様な宗教現象を解釈、分析するには多角的な観点からの考察が求められる。同時に、それらの多様な宗教の共通点と相違点についても考えなくてはならない。本演習では、宗教の現象学的研究に焦点を当てる。	AC65342の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC65F52	比較宗教演習VI	2	1.0	2 - 4	秋AB	火4	木村 武史	多種多様な宗教現象を解釈、分析するには多角的な観点からの考察が求められる。同時に、それらの多様な宗教の共通点と相違点についても考えなくてはならない。本演習では、宗教の社会学的研究に焦点を当てる。	AC65352の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC65F62	比較宗教演習VII	2	1.0	2 - 4				多種多様な宗教現象を解釈、分析するには多角的な観点からの考察が求められる。同時に、それらの多様な宗教の共通点と相違点についても考えなくてはならない。本演習では、宗教の現象学的研究に焦点を当てる。	AC65362の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC65F72	比較宗教演習VIII	2	1.0	2 - 4				多種多様な宗教現象を解釈、分析するには多角的な観点からの考察が求められる。同時に、それらの多様な宗教の共通点と相違点についても考えなくてはならない。本演習では、宗教の比較神話論的研究に焦点を当てる。	AC65372の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
AC65G03	比較宗教実習I	3	1.0	2・3				日本の社寺等の宗教施設を訪れ、宗教の現場に接する事を目的とする。	比較宗教実習I (AC65503) ないし宗教学実習A (AB63813)の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 含野外調査 対面
AC65G13	比較宗教実習II	3	1.0	2・3	春C	集中	木村 武史	日本の諸宗教の現代的実情を実地調査を通して学ぶ。	比較宗教実習II (AC65513) ないし宗教学実習B (AB63823)の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面
AC65H01	思想文化領域特論I	1	1.0	2 - 4				内外における様々な研究成果の紹介を通して,思想文化領域におけるトピックスについて講義する。なお授業内容の詳細については、シラバスを参照すること。	IとIIの両方を履修することができる。 2026年度開講せず。 対面
AC65H11	思想文化領域特論II	1	1.0	2 - 4				内外における様々な研究成果の紹介を通して,思想文化領域におけるトピックスについて講義する。なお授業内容の詳細については、シラバスを参照すること。	2026年度開講せず。 対面

専門科目(共通)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC66001	比較文化国際研修オリエンテーション	1	1.0	1 - 3	秋C	集中	吉原 ゆかり	異文化交流を目的としたカナダ・プリンスエドワード島大学における約3週間の留学体験プログラムに参加するにあたって必須となる事前留学オリエンテーション	次年度UPEI夏季英語研修に参加希望の学生は本科目の履修必修。日本語と英語で授業。 オンライン(オンデマンド型) オンライン(同時双方向型)
AC66003	比較文化国際研修I	3	3.0	1 - 4				異文化交流を目的としたカナダ・プリンスエドワード島大学における約3週間の留学体験プログラム。	IとIIとの両方を履修することができる。 履修説明会を行う(後日掲示)。人数制限あり。比較文化学類生を優先する。 西暦奇数年度開講。 英語で授業。 対面
AC66013	比較文化国際研修II	3	3.0	1 - 4	夏季休業中	集中	吉原 ゆかり	異文化交流を目的としたカナダ・プリンスエドワード島大学における約3週間の留学体験プログラム。	IとIIとの両方を履修することができる。 履修説明会を行う(後日掲示)。人数制限あり。比較文化学類生を優先する。 西暦偶数年度開講。 英語で授業。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC66023	比較文化国際研修III	3	3.0	1 - 4				チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学と本学の共修による、トルコと日本の多文化共修活動。本学学生を、トルコ(イズミル・チャナッカレ・イスタンブールなど)に派遣、多文化共修活動を行う。	英語で授業。 2026年度開講せず。 対面 人数制限あり。比較文化学類生を優先する。
AC66102	比較文化国際演習I	2	1.0	1 - 4				インドネシア、ガジャマダ大学の教員による英語授業。インドネシアの宗教と文化に関する歴史と政治を取り上げ、特に現在の状況に目を向ける。日々の生活を通して、多様な伝統をいかに維持し、改革し、再構成しようとしているのかを、その多様な表現を通して検討する。最初に歴史的背景を紹介し、現代の宗教的衝突と政治、宗教と文化の関係を取り上げる。特に、先住民族の宗教、女性と宗教、環境問題などにも目を向ける。	英語で授業。 2026年度開講せず。 オンライン(同時双方向型)
AC66112	比較文化国際演習II	2	1.0	1 - 4				高麗大学校(韓国)との国際研修「韓国文化の過去、現在、未来」。韓国伝統文化に対する理解を深め、現代の韓国文化ブームの根幹となる諸般の様相を多角的に考察する授業である。 韓国の歴史、政治、社会文化的現象を様々な文化コンテンツを中心に伝統文化と大衆文化の観点から解釈し、受講生に韓国文化を体系的に把握できる機会を提供する。	英語で授業。 2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型) オンライン(同時双方向型)
AC66122	比較文化国際演習III	2	1.0	1 - 4				フィリピン大学との国際研修。フィリピン現代文化に対する理解を深め、フィリピンと日本の文化交流を多角的に考察する。フィリピンの歴史・文化(文学、食文化、エンターテイメント、観光、コミックス)や、日本のアニメ・漫画のフィリピンにおける人気などにつき学び、受講生がフィリピン文化を体系的に把握できる機会を提供する。使用言語は英語。	英語で授業。 2026年度開講せず。 オンライン(同時双方向型)
AC66132	比較文化国際演習IV	2	1.0	1 - 4				ポンティフィカル・カトリック大学サンパウロ校(ブラジル)との国際研修。ラテンアメリカの大国ブラジルの文化を学ぶ。ブラジルのメディア文化、日系移民史と日系文化、都市文化、ビデオ・アートなど現在の多様なブラジル文化を紹介する。講師はブラジル・サンパウロにあるポンティフィカル・カトリック大学サンパウロ校とサンパウロ連邦大学の先生たちである。	本年度卒業予定者は履修できない。 英語で授業。 2026年度開講せず。 オンライン(同時双方向型) 担当の先生によっては日本語で講義することもある
AC66133	キャリア教育・インターンシップI	3	1.0	2	通年	応談	茂野 智大	各自がインターンシップに参加してレポートを作成し、また、履修者全員が年度末の振り返りを一緒に行いながら、自身の将来について考えを深めていく。	比較文化学類2年次に限る。事前オリエンテーションに必ず出席すること(後日掲示)。AC66103の単位取得者は履修できない。 対面
AC66142	比較文化国際演習V	2	1.0	1 - 4				TUドルトムント大学(ドイツ)との国際研修。第二次世界大戦後の東西分裂に始まり、冷戦後の再統一を経て現在に至るまでのドイツ文化を考察する。食と栄養、ポピュラーカルチャー、教育、ジェンダーとセクシュアリティー、移民・難民政策などの観点から、ドイツ文化の変遷を多角的に扱う。主な使用言語は英語。	英語で授業。 2026年度開講せず。 オンライン(同時双方向型)
AC66143	キャリア教育・インターンシップII	3	1.0	3	通年	応談	茂野 智大	各自がインターンシップに参加してレポートを作成し、また、履修者全員が年度末の振り返りを一緒に行いながら、自身の将来について考えを深めていく。	比較文化学類3年次に限る。事前オリエンテーションに必ず出席すること(後日掲示)。AC66113の単位取得者は履修できない。 対面
AC66152	比較文化国際演習VI	2	1.0	1 - 4				中山大学(台湾)との国際研修「食文化と食文学で台湾を知る」。移民社会である台湾においては、地域や店ごとにさまざまに異なるグルメの数々は移民たちの記憶であり、台湾の歴史のなかで起こった文化の混淆と変容の痕跡でもあった。この授業は、台湾の風土・歴史・文化の多様性を概観しながら、文学テクストや芸術・祭儀の例を通して台湾の食文化やローカルフードについて検討する。さらに「食」を通して問いかけられる地域性や生命多様性の問題を一緒に考える予定である。	英語で授業。 2026年度開講せず。 オンライン(同時双方向型) 今年度の卒業予定者は履修不可

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC66153	キャリア教育・インターンシップIII	3	1.0	4	通年	応談	茂野 智大	各自がインターンシップに参加してレポートを作成し、また、履修者全員が年度末の振り返りを一緒に行いながら、自身の将来について考えを深めていく。	比較文化学類4年次に限る。事前オリエンテーションに必ず出席すること(後日掲示)。AC66123の単位取得者は履修できない。 対面
AC66162	比較文化国際演習VII	2	1.0	1 - 4				チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学(トルコ)との国際研修「文明の交差点:現在トルコ社会と文化」。 多様な文化と言語が共存するトルコはアジア・イスラム・ヨーロッパ文明の交差点ある。授業では移民など人間の移動が昔から多かったトルコの歴史、政治、日常生活と伝統文化を多文化の共存という立場から考察する。受講生はこの授業でトルコの文化や現在の生活様式を、食文化、日常生活諸感覚、教育制度と学生の日常生活、大衆文化や移民との共存などの角度からとらえる。	英語で授業。 2026年度開講せず。 オンライン(同時双方向型)
AC66172	比較文化国際演習VIII	2	1.0	1 - 4				マラヤ大学の教員によるオンライン同時双方向授業。多文化社会・多民族社会のマレーシアの文化、社会についての基礎を学ぶ。映像資料等を用いながら、教えてくれます。言語は英語。	英語で授業。 2026年度開講せず。 オンライン(同時双方向型)
AC66182	比較文化国際演習IX	2	1.0	1 - 4				国立台湾大学との国際演習 アメリカ文学・映画・文化。言語は英語。	英語で授業。 2026年度開講せず。 オンライン(同時双方向型)
AC66202	比較文化国際演習X	2	1.0	1 - 4				世界の大学のシェークスピア国際演習(台湾、韓国、英国、フィリピン、ウクライナ)。言語は英語。	英語で授業。 2026年度開講せず。 オンライン(同時双方向型)
AC66212	比較文化国際演習XI	2	1.0	1 - 4				トルコ(テュルキエ)、韓国、台湾、筑波大学教員による、現地の食文化・若者文化、現地で人気な日本文化、日本文化研究の最前線について学ぶ。言語は英語を基本とし、補助的に、日本語、韓国語、中国語を用いる。	今年度の卒業予定者は履修不可 英語で授業。 2026年度開講せず。 オンライン(同時双方向型)

専門科目(卒業論文基礎演習)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC67002	日本・アジア領域卒業論文基礎演習I	2	1.0	3	春AB	随時	稀代 麻也子,茂野 智大,馬場 美佳,吉森 佳奈子,石塚 修,山澤 学,長尾 宗典,山本 真,横山 剛	日本・アジア領域に所属して卒業論文を執筆するために、各自の問題意識を深めるとともに、研究の対象・方法を考える。履修にあたっては各コース世話人教員の指示に従うこと。	比較文化学類生に限る。 対面
AC67012	日本・アジア領域卒業論文基礎演習II	2	1.0	3	秋AB	随時	稀代 麻也子,馬場 美佳,茂野 智大,吉森 佳奈子,石塚 修,山澤 学,長尾 宗典,山本 真,横山 剛	日本・アジア領域に所属して卒業論文を執筆するために、各自の問題意識を深めるとともに、論文執筆の具体的な計画を考える。履修にあたっては各コース世話人教員の指示に従うこと。	比較文化学類生に限る。 対面
AC67022	英米・ヨーロッパ領域卒業論文基礎演習I	2	1.0	3	春AB	応談	秋山 学,加藤 百合,佐藤 千登勢,津田 博司,宮﨑 和夫,阿部 幸大,馬籠 清子,飯田 賢穂,茅野 大樹,相馬 尚之	英米・ヨーロッパ領域に所属して卒業論文を執筆するために、各自の問題意識を深めるとともに、研究の対象・方法を考える。履修にあたっては領域・コース世話人教員の指示に従うこと。	比較文化学類生に限る。 対面
AC67032	英米・ヨーロッパ領域卒業論文基礎演習II	2	1.0	3	秋AB	応談	秋山 学,加藤 百合,佐藤 千登勢,津田 博司,宮﨑 和夫,阿部 幸大,馬籠 清子,飯田 賢穂,茅野 大樹,相馬 尚之	英米・ヨーロッパ領域に所属して卒業論文を執筆するために、各自の問題意識を深めるとともに、論文執筆の具体的な計画を考える。履修にあたっては領域・コース世話人教員の指示に従うこと。	比較文化学類生に限る。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC67042	フィールド文化領域卒業論文基礎演習I	2	1.0	3	春AB	応談	渡部 圭一,森本 健弘,木村 周平,塩谷 哲史,松井 圭介,久保 倫子,佐本 英規	フィールド文化領域に所属して卒業論文を執筆するために、各自の問題意識を深めるとともに、研究の対象・方法を考える。履修にあたっては各領域・コース世話人教員の指示に従うこと。	比較文化学類生に限る。 対面
AC67052	フィールド文化領域卒業論文基礎演習II	2	1.0	3	秋AB	応談	渡部 圭一,森本 健弘,木村 周平,塩谷 哲史,松井 圭介,久保 倫子,佐本 英規	フィールド文化領域に所属して卒業論文を執筆するために、各自の問題意識を深めるとともに、論文執筆の具体的な計画を考える。履修にあたっては各領域・コース世話人教員の指示に従うこと。	比較文化学類生に限る。 対面
AC67062	表現文化領域卒業論文基礎演習I	2	1.0	3	春AB	随時	齋藤 一,吉原 ゆかり,平石 典子,三原 鉄也,江藤 光紀,佐藤 嘉幸,小川 美登里,五月女 颯,ヘーゼルハウス, ヘラト	卒業論文執筆に向けて、ディスカッション、発表、個別指導などを行う。テクスト文化学コースは木曜4時限に開講予定。文化創造論コースは水曜6時限に開講予定。	比較文化学類生に限る。 対面
AC67072	表現文化領域卒業論文基礎演習II	2	1.0	3	秋AB	随時	三原 鉄也,齋藤 一,吉原 ゆかり,平石 典子,江藤 光紀,佐藤 嘉幸,小川 美登里,ヘーゼルハウス,ヘラト,五月女 颯	卒業論文執筆に向けて、ディスカッション、発表、個別指導などを行う。テクスト文化学コースは木曜4時限に開講予定。文化創造論コースは随時開講予定。	比較文化学類生に限る。 対面
AC67082	文化科学領域卒業論文基礎演習I	2	1.0	3	春AB	随時	廣瀬 浩司,濱田 真,対馬 美千子,白戸 健一郎,山口 恵里子,山口 有梨沙,カテライ アメリア	文化科学領域の卒業論文執筆のための基礎的な能力を習得する。履修にあたっては各領域・コース世話人教員の指示に従うこと。	比較文化学類生に限る。 対面
AC67092	文化科学領域卒業論文基礎演習II	2	1.0	3	秋AB	随時	廣瀬 浩司,濱田 真,対馬 美千子,白戸 健一郎,山口 恵里子,山口 有梨沙,カテライ アメリア	文化科学領域の卒業論文執筆のための基礎的な能力を習得する。履修にあたっては各領域・コース世話人教員の指示に従うこと。	比較文化学類生に限る。 対面
AC67102	思想文化領域卒業論文基礎演習I	2	1.0	3	春AB	応談	橋本 康二,太田 紘史,嚴 錫仁,井川 義次,木村 武史,平野 貴大	卒業論文作成のため、主指導教員、副指導教員を中心に、随時、基礎的な指導を行なう。履修にあたっては各領域・コース世話人教員の指示に従うこと。	比較文化学類生に限る。 対面
AC67112	思想文化領域卒業論文基礎演習II	2	1.0	3	秋AB	応談	橋本 康二,太田 紘史,嚴 錫仁,井川 義次,木村 武史,平野 貴大	卒業論文作成のため、主指導教員、副指導教員を中心に、随時、基礎的な指導を行なう。履修にあたっては各領域・コース世話人教員の指示に従うこと。	比較文化学類生に限る。 対面

専門科目(卒業論文)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AC70002	卒業論文演習	2	3.0	4	春ABC	随時	比較文化学類関係教員	卒業論文に関する指導を行う。	9月卒業予定者対象。 対面
AC70012	卒業論文演習	2	3.0	4	秋ABC	随時	比較文化学類関係教員	卒業論文に関する指導を行う。	3月卒業予定者対象。 対面
AC70028	卒業論文	8	6.0	4	春ABC	随時	比較文化学類関係教員	卒業論文を作成する。	9月卒業予定者対象。 対面
AC70038	卒業論文	8	6.0	4	秋ABC	随時	比較文化学類関係教員	卒業論文を作成する。	3月卒業予定者対象。 対面

開設母体　　要件

日本語・日本文化学類

専門基礎科目(必修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AE51A21	日本語・日本文化研究法	1	1.0	1・2	秋AB	火3	石田 尊,鈴木 伸隆	文献探索、レポート作成の方法を含め、日本語、日本文化をどのように学び、研究するかについて考える。	日本語・日本文化学類正規生に限る。 対面 CDP
AE51K11	Japan-Expert総論	1	1.0	1	春C	金5,6	三好 優花,鈴木 伸隆,石田 尊,柴山 大賀,トゴバタラ ガンチメゲ,上條 隆志,古川 誠一,小山 慎一,山本 浩之	筑波大学のエクスパートから、日本が世界に誇る専門分野の概要を学ぶことで、グローバル人材となるための知識と見識を深める。	対面 実務経験教員 Japan-Expert(学士)プログラム生に限る。

専門基礎科目(概論)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AE53B11	現代日本語概論I	1	1.0	1・2	春AB	金4	石田 尊	現代日本語の音声・音韻、語彙、文法、談話(文章)について講義を行う。	対面
AE53B21	現代日本語概論II	1	1.0	1・2	秋ABC	応談	石田 尊	この講義では、現代日本語の基本的特徴に加え、表記、文章、方言、日本語の歴史等について講義する。	2022年度以前入学の者で、かつ教職課程の履修者に限る。 対面(オンライン併用型) オンライン授業5回と面談または対面授業5回とで実施する。
AE53B31	言語学概論	1	1.0	1・2	秋AB	木4	澤田 浩子,石田 尊,今田 水穂	人間言語の特徴とはどのようなものなのかという問題を念頭に置きながら、科学的言語研究のための歴史的背景、方法論、具体的分析方法などについて学ぶ。	対面
AE53B41	日本語教育概論	1	1.0	1・2	秋AB	木6	田中 祐輔	日本語教育について理論と実践の両輪から幅広く学ぶ科目である。世界の日本語学習ニーズ、共生社会における日本語教育の役割と日本語教師に求められる資質、日本語の教授法、語彙と文法の説明の方法、日本語教科書と使い方、国際交流と日本語教育の歩み、国家資格や役立つ検定試験の対策などについて解説する。	対面
AE53B51	日本の文学概論	1	1.0	1・2	春AB	火3	江口 真規	日本の文学が海外の文学との関わりの中でどのように形成され評価されてきたのか、主に英語圏を中心とする日本文学の翻訳・受容との比較を通して学ぶ。	対面 短期留学生の場合、人文・文化学群に所属している留学生に限る。日本語能力中上級以上。日本の近現代文学を原文で読める能力が必要。
AE53B61	現代日本社会概論	1	1.0	1・2	春AB	金5	鈴木 伸隆	この授業では現代日本社会が直面する課題に着目しながら、新しい社会の仕組みやつながりを創出するための考え方や視点を学ぶ。	対面

専門基礎科目(専門英語)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AE54B11	専門英語A-I	1	1.0	2	春AB	火1	山本 祐規子	人、モノ、情報が国境を越えて絶えず飛び交う社会において、英語でのコミュニケーションは、グローバル社会で活躍する人材の前提条件になっているといっても過言ではない。本講義は、英語の基礎的な知識を応用し、実践的なコミュニケーションスキルを向上させることを目的としている。さまざまな英語媒体の教材を通じ、その概要をとらえ、理解し、自分なりの考えを英語で表現する演習を継続的に行うことによって、実践的な英語力の向上を目指す。	日本語・日本文化学類正規生に限る。1クラス対象。 英語で授業。 対面
AE54B21	専門英語A-II	1	1.0	2	春AB	火2	山本 祐規子	人、モノ、情報が国境を越えて絶えず飛び交う社会において、英語でコミュニケーションは、グローバル社会で活躍する人材の前提条件になっているといっても過言ではない。本講義は、英語の基礎的な知識を応用し、実践的なコミュニケーションスキルを向上させることを目的としている。さまざまな英語媒体の教材を通じ、その概要をとらえ、理解し、自分なりの考えを英語で表現する演習を行うことにより、実践的な英語力の向上を目指す。	日本語・日本文化学類正規生に限る。2クラス対象。 英語で授業。 対面
AE54B31	専門英語B-I	1	1.0	2	秋AB	火6	安永 麻里絵	この授業では、ヨーロッパから見た日本語・日本文化を大きなテーマとして、日蘭交流史をはじめ日本語・日本文化について英語で書かれた文献を読み解きながら、日本語・日本文化研究における英語の役割についての理解を深めます。また、これと並行して実践的なアカデミック・イングリッシュの表現を学びます。	日本語・日本文化学類正規生に限る。1クラス対象。 オンライン(同時双方向型) オンデマンド型も併用。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AE54B41	専門英語B-II	1	1.0	2	秋AB	金6	安永 麻里絵	この授業では、ヨーロッパから見た日本語・日本文化を大きなテーマとして、日蘭交流史をはじめ日本語・日本文化について英語で書かれた文献を読み解きながら、日本語・日本文化研究における英語の役割についての理解を深めます。また、これと並行して実践的なアカデミック・イングリッシュの表現を学びます。	日本語・日本文化学類正規生に限る。2クラス対象。 オンライン(同時双方向型) オンデマンド型も併用。
AE54B51	専門英語C-I	1	1.0	3	春AB	金2	渡部 宏樹	日系アメリカ人の歴史を文献と視聴覚教材を利用して学ぶことで、日本語・日本文化学類での専門教育に必要な高度な英語力を身につける。またデジタル・ツールを英語学習に取り入れる方法を学ぶ。なお本学の規定でTOEIC® IPテストを受検することが単位認定の要件となる。	日本語・日本文化学類正規生に限る。1クラス対象。 オンライン(オンデマンド型)
AE54B61	専門英語C-II	1	1.0	3	春AB	金1	渡部 宏樹	日系アメリカ人の歴史を文献と視聴覚教材を利用して学ぶことで、日本語・日本文化学類での専門教育に必要な高度な英語力を身につける。またデジタル・ツールを英語学習に取り入れる方法を学ぶ。なお本学の規定でTOEIC® IPテストを受検することが単位認定の要件となる。	日本語・日本文化学類正規生に限る。2クラス対象。 オンライン(オンデマンド型)

専門基礎科目(実践力養成)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AE55A12	日本語教育学特別演習I	2	1.0	1 - 4				登録日本語教員養成課程のコアカリキュラムに準拠し、日本語教員試験、日本語教育能力検定試験に対応可能な実践的な知識を身につけることを目指す。	2026年度開講せず。 対面 実務経験教員 履修登録者が多い場合、人数制限を行う場合もある。
AE55A22	日本語教育学特別演習II	2	1.0	1 - 4	春C	火3,4	三好 優花	登録日本語教員養成課程のコアカリキュラムに準拠し、日本語教員試験、日本語教育能力検定試験に対応可能な実践的な知識を身につけることを目指す。	対面 実務経験教員 履修登録者が多い場合、人数制限を行う場合もある。
AE55A32	日本語教育学特別演習III	2	1.0	1 - 4				登録日本語教員養成課程のコアカリキュラムに準拠し、日本語教員試験、日本語教育能力検定試験に対応可能な実践的な知識を身につけることを目指す。	2026年度開講せず。 対面 実務経験教員 履修登録者が多い場合、人数制限を行う場合もある。
AE55A42	日本語教育学特別演習IV	2	1.0	1 - 4				登録日本語教員養成課程のコアカリキュラムに準拠し、日本語教員試験、日本語教育能力検定試験に対応可能な実践的な知識を身につけることを目指す。	2026年度開講せず。 実務経験教員 履修登録者が多い場合、人数制限を行う場合もある。
AE55B13	海外語学研修I	3	2.0	1 - 4	通年	応談	日本語・日本文化学類長	海外で実施される語学研修に参加し、外国語運用能力と異文化適応能力を育成する。ただし、対象となる語学研修は、学類で定める所定の基準を満たすもののみとする。	日本語・日本文化学類正規生に限る。履修にあたっては担当教員との事前相談を要する。
AE55B23	海外語学研修II	3	2.0	1 - 4	通年	応談	日本語・日本文化学類長	海外で実施される語学研修に参加し、外国語運用能力と異文化適応能力を育成する。ただし、対象となる語学研修は、学類で定める所定の基準を満たすもののみとする。	日本語・日本文化学類正規生に限る。履修にあたっては担当教員との事前相談を要する。
AE55B33	海外語学研修III	3	3.0	1 - 4	通年	応談	日本語・日本文化学類長	海外で実施される語学研修に参加し、外国語運用能力と異文化適応能力を育成する。ただし、対象となる語学研修は、学類で定める所定の基準を満たすもののみとする。	日本語・日本文化学類正規生に限る。履修にあたっては担当教員との事前相談を要する。
AE55B43	海外語学研修IV	3	3.0	1 - 4	通年	応談	日本語・日本文化学類長	海外で実施される語学研修に参加し、外国語運用能力と異文化適応能力を育成する。ただし、対象となる語学研修は、学類で定める所定の基準を満たすもののみとする。	日本語・日本文化学類正規生に限る。履修にあたっては担当教員との事前相談を要する。

専門基礎科目(学際)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AE56A11	共生のための社会言語学	1	1.0	1	秋AB	火2	澤田 浩子	多文化社会において生じる「ことば」に関する課題を取り上げながら、社会言語学の基礎的知見を学ぶとともに、ステレオタイプやジェンダーの問題を通して共生社会のあり方を考える。	オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象)
AE56A21	共生のための日本語教育	1	1.0	1	春A	木5,6	田中 祐輔	外国人受け入れが本格化する日本社会における外国人との共生に関して、日本語・コミュニケーションという観点から状況を捉え考える力を育成する。また、外国人日本語学習者に対する誤解について、言語学や第二言語習得研究の成果を元に再考し、多様な日本語話者の存在と日本語教育に関する理解を深める。	オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象)
AE56A31	共生のための人類学	1	1.0	1	春BC	火1	鈴木 伸隆	文化の異なる人々との共生を考える上で、文化的多様性の尊重は重要である。この授業では、文化相対主義、ジェンダー、コミュニティ、エスニシティ、ネーション、アイデンティティ、オリエンタリズム、寛容さといった基本的な概念を人類学的視点から分析することで、未来に向けた共生のあり方を理解する。	オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象)
AE56A41	共生のための歴史学	1	1.0	1	春BC	金3	朴 宣美	近現代日本における多文化社会の形成と変遷について歴史学の視点から考察する。	オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AE56A61	日本文学と文化	1	1.0	1	秋AB	火1	江口 真規,石田 尊	この授業では、人文学の中で日本文学と文化の研究がどのように位置づけられるのかを概説する。文学作品や文化事象を考察するための基本的な研究手法や最新の研究動向を踏まえ、内外の視点を交えて批判的に分析する方法の修得を目指す。	オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象)

専門科目(日本語)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AE13A11	日本語の音声・音韻	1	1.0	2	秋C	集中	金 瑜眞	現代日本語の音声的特徴に関する基礎的な知識を身に付ける。具体的には、話し言葉の語形、日本語学習者の音声的特徴、アクセント、イントネーション、子音、母音などについて観察・分析する能力を養う。	オンライン(同時双方向型)
AE13A12	日本語の音声・音韻演習	2	1.0	3・4				「日本語の音声・音韻」で得られた知見を発展させ、ガ行鼻音、オノマトペ、外来語の表記、アクセントの機能、プロソディ等について考察する。	2026年度開講せず。
AE13A21	日本語の文法I	1	1.0	2	春AB	月2	石田 尊	文の単位を中心にした文法を考える。格、ヴォイス、アスペクト、テンス、モダリティ等の問題を取り上げ、日本語の文を文法的に観察し、分析する基礎的能力を養う。	対面
AE13A31	日本語の文法II	1	1.0	3・4	春AB	火5	石田 尊	文の単位を中心にした文法を考える。語順、主語、他動性等の問題を取り上げ、日本語の文を構造的に観察し、分析する能力を養う。	西暦偶数年度開講。 対面
AE13A32	日本語の文法演習I	2	1.0	2	秋AB	月2	石田 尊	日本語の文法を対象とする論文をいくつか取り上げ、それらの議論の方法や手順、主張などを読み解いていくことで、日本語の文法を対象とする言語学的な研究の実際について理解を深める。	対面
AE13A61	日本語の語彙	1	1.0	2	春AB	木3	今田 水穂	日本語の語彙の意味的側面と文法的側面、それに基づく語彙の体系について理解を深める。	西暦偶数年度開講。 対面
AE13A62	日本語の語彙演習	2	1.0	2	秋AB	木3	今田 水穂	動詞を中心に様々な側面からの語彙の分析に関する文献を読み、その分析方法を検討することによって、語彙分析の方法を学ぶ。	西暦偶数年度開講。 対面
AE13A71	日本語コーパス分析	1	1.0	2				日本語研究においてコーパスがどのように位置づけられ、どのように用いることができるのか、研究事例をもとに考える。	西暦奇数年度開講。 対面 自然言語をデータとして活用する手法を学ぶ。
AE13A72	日本語コーパス分析演習	2	1.0	2				コロケーションや語彙など、具体的なトピックに基づき、コーパスを用いて用例を収集し、分析を行う	西暦奇数年度開講。 対面 自然言語をデータとして活用する手法を学ぶ。
AE13A81	日本語の談話	1	1.0	2	春AB	月6	澤田 浩子	談話分析に関する知見を学び、日本語のコミュニケーションにおける産出と理解の両面について理解を深める。	対面
AE13A82	日本語の談話演習	2	1.0	2	秋AB	月6	澤田 浩子	談話分析に関する知見をもとに、日本語のコミュニケーションを対象にデータを収集し、分析する力を養う。	自然談話をデータとして活用する手法を学ぶ。 対面
AE13A91	日本語の語用論	1	1.0	2	春AB	火4	小野 正樹	語用論の観点から注目すべき言語現象を、慣習的な日本語の用例を用いて解説し、語用論の課題に対して、コミュニケーション理論の側からのアプローチを試みる。コミュニケーションの諸理論の概説を通して、発話の目的とは何かを解き明かしていく。	対面
AE13A92	日本語の語用論演習	2	1.0	2	秋AB	火4	小野 正樹	日本語を中心として、発話機能の観点から、どのような発話機能を必要として、日本語の教科書ではどのように扱われているかを見ながら、我々は、日常的にこうした発話を行う場合に、どのような点に留意する必要があるかを、コーパスや調査に基づき、実証的に考える。	対面
AE13B11	日本語音韻史	1	1.0	2				日本語音韻体系の歴史的変化の様子を検討していく。上代日本語から現代日本語に至る流れの中で、日本語の音韻体系にどのようなことが起こったのかを、具体的な資料などを確認しながら考察する。	西暦奇数年度開講。 対面
AE13B21	日本語文法史	1	1.0	2	春AB	月5	石田 尊	日本語文法体系の歴史的変化の様子を検討していく。上代日本語から現代日本語に至る流れの中で、日本語の文法体系にどのようなことが起こったのかを、具体的な資料などを確認しながら考察する。	西暦偶数年度開講。 対面
AE13B31	日本語方言論	1	1.0	3・4				これまでの日本語方言研究においてどのような調査がなされ、明らかにされてきたのかを概観しつつ、特に方言文法の問題を中心に考察を行っていく。	西暦奇数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AE13B51	世界の言語と日本語	1	1.0	3・4	春AB	火2	日髙 晋介	この授業では、言語類型論における具体的なトピックを取り上げながら、日本語を世界の言語と比較・対照します。語順、文法構造などの観点から、日本語がどのような特徴を持つ言語であるかを相対的に理解することを目指します。さらに、日本語の特徴を他言語と比較することで、言語の普遍性や多様性についても考察します。この過程を通じて、日本語話者としての視点を広げ、日本語に対する深い理解と新たな気づきを得ることを目指します。	対面
AE13B61	言語研究の方法	1	1.0	2	秋AB	金2	茂木 俊伸	(卒業論文等で)「言語を研究する」とはどういうことかを具体的にイメージできるよう,方法論の側面から支援する授業です。 皆さんがこれまで初年次教育やレポート執筆等の機会に学んできた知識・技術を再構築しながら,日本語学(現代日本語)分野のさまざまな事例をもとに,アイディアから「研究」にたどり着くための考え方や方法について学びます。	オンライン(オンデマンド型)
AE13B62	言語研究の方法演習	2	1.0	3・4				言語構造の普遍的および個別的側面について理論的に考えるとともに、言語構造に関する議論を具体的データからどのように組立てるかを学ぶ。	2026年度開講せず。
AE13B71	言語と文化I	1	1.0	2				文化的な影響が見られる言語表現について考察する。具体的に、積極的/消極的、絶対的/相対的、開放的/閉鎖的などの文化的特徴が言語表現の方向性(上から下/下から上、左から右/右から左、内から外/外から内、全体から部分/部分から全体、原因から結果/結果から原因、動きから停止/停止から動きなど)にどう現れるのかを調べる。	2026年度開講せず。 対面
AE13B72	言語と文化演習I	2	1.0	2				広告言語、放送(ジャンル別)言語の特徴・機能を調査する。	2026年度開講せず。 対面
AE13B81	言語と文化II	1	1.0	3・4				辞書での多義語を対象として、意味派生の方向を分析する。分析結果を他言語と比較し、個別言語の特徴を明らかにする。なお、重義の語彙や表現の曖昧さを解決する方法を考える。	2026年度開講せず。 対面
AE13B82	言語と文化演習II	2	1.0	3・4				語彙の目的別分類法、分類・提示基準について調査し、分類を実践する。特に、語種別(例えばカタカナ語と非カタカナ語)の使用目的・効果などについて考察する。	2026年度開講せず。 対面
AE13B91	言語と論理	1	1.0	3・4	秋AB	月4	今田 水穂	言語の形式化の基礎となる集合および命題論理、述語論理、様相論理などの論理を学び、これらと言語との関わりについて考察する。	西暦偶数年度開講。 対面

専門科目(多文化共生・日本語教育)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AE13E11	日本語教育文法論	1	1.0	2	春AB	月1	稗田 奈津江	日本語記述文法と日本語教育文法の違いを理解し、日本語教育の理論および実践の両面から基礎的能力を養う。	オンライン(同時双方向型)
AE13E21	日本語技能指導論	1	1.0	3・4	秋AB	月1	稗田 奈津江	「話す」「聞く」「読む」「書く」の四技能の指導に関して、日本語教育の理論および実践の両面から基礎的能力を養う。	オンライン(同時双方向型)
AE13E31	第二言語習得論	1	1.0	3・4	秋C春季休業中	集中	金 瑜眞	第二言語習得研究分野における基礎的なトピックをとりあげ、日本語教育への応用について考える。	オンライン(同時双方向型)
AE13E41	外国人児童生徒教育論	1	1.0	2 - 4	春B	集中	澤田 浩子	日本における外国人児童生徒教育をめぐる諸問題について、異文化接触、第二言語習得、日本語教育学、学校教育、地域社会での実践等、多角的な視野から取り上げる。本講義を受講することで受講生は、将来どのような分野に進んでも、外国人児童生徒教育に関わる支援のリーダーシップを取れるような考え方を身につけることができる。	6/6,6/20 対面
AE13E51	異文化間心理学	1	1.0	2 - 4	夏季休業中	集中	田中 共子	異文化間心理学の着想と知見を紹介し、その教育応用について講義する。AUC-GS学習モデルを用いた心理教育的セッションを体験的に理解しながら、教材作成に取り入れる方法を考える。実証研究の論文を読み、後続研究への展開を考える。	短期留学生は、日本語の講義の理解と討論・発表が可能な方に限る。 対面
AE13E61	日本語教育心理学	1	1.0	3・4	春季休業中	集中	福田 倫子	日本語を含む言語学習および教育に関わる心理(認知面・情意面)の基本的な概念を学ぶ。自身の言語学習を振り返りつつ、理論と経験を結びつけながら理解する。言語の学習や教育での応用についても考える。	対面
AE13E62	日本語教育心理学演習	2	1.0	3・4				日本語教育における心理学的研究の考え方や手法を学び、実際にデータをとって分析・考察を行う。その際、研究は小グループで行う。	2026年度開講せず。
AE13E71	海外の日本語教育と日本学	1	1.0	3・4	春AB	火3	小野 正樹	日本語教育を、自国文化普及政策のソフトパワーとして捉え、日本語教育政策について、現状の課題から政策までを講義する。	対面
AE13E72	海外の日本語教育と日本学演習	2	1.0	3・4	秋AB	火3	小野 正樹	日本語教育を、自国文化普及政策のソフトパワーとして捉え、日本語政策について、現状の課題から政策までの課題を各自が設定した課題を参加者で議論し、理解を深める。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AE13E91	多文化の中の日本	1	1.0	3・4	春AB	木3	鈴木 伸隆	グローバル化する日本社会の異文化接触・交流がもたらす葛藤や対立を、国際共通語としての英語、ユネスコ世界遺産、国際児のアイデンティティの3つから論じることで、錯綜する日本の多文化状況を理解する。	対面
AE13E92	多文化の中の日本演習	2	1.0	3・4	秋AB	木3	鈴木 伸隆	『アファーマティブ・アクション』(南川文里著、中公新書)を講読し、平等実現のために制度導入の是非を討議する。	対面
AE13F21	日本語教育史	1	1.0	2	春AB	木4	田中 祐輔	現代に至るまでの日本語教育の歴史を、使用された教科書や活動した日本語教育関係者、関連機関、主な出来事の視点から概観するとともに、そこから浮かび上がる世界史や日本史との関わり、そして、日本語教育の課題と未来への展望について学ぶための科目である。本科目では、日本語教育の歴史を振り返りながら、現在の日本語教育と共生社会への示唆と、受講生自身の今後の実践と研究に役立つ知見、そして、日本語教育の将来ビジョン策定に資する指針を得ることを目標とする。	対面
AE13F22	日本語教育史演習	2	1.0	2	秋AB	水5	田中 祐輔	社会調査と歴史調査の手法を学びながら、現代に至るまでの日本語教育の歴史と現況を概観するとともに、そこから浮かび上がる世界史や日本史、現代社会、災害と日本語教育との関わり、現在の日本語教育に引き継がれた課題と展望について学ぶための科目である。本科目では、受講生自身が社会調査と歴史調査の手法を学びながら日本語教育の状況と問題を調べ、共生社会実現に向けた示唆と、受講生自身の今後の活動と学修に役立つ知見、そして、日本語教育の将来ビジョン策定に資する指針を得ることを目標とする。	対面

専門科目(日本文化)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AE13G11	日本の政治と社会	1	1.0	3・4	春AB	金3	長尾 宗典	近代日本の政治と社会について、いくつかの重要なトピックに即して講義する。	対面 比較文化学類生は、AC60E71と本科目を同時に卒業に必要な単位に含めることができない。
AE13G12	日本の政治と社会演習	2	1.0	3・4	秋AB	金3	長尾 宗典	近代日本の政治と社会に関する文献を講読し、歴史的な視点から日本の社会を捉える方法を身につける。	対面
AE13G21	東洋の歴史と文化	1	1.0	2	秋AB	水2	朴 宣美	現代韓国の歴史と文化を考察する。南北分断、民主化運動、民主化以後の国民意識などを取り上げる	対面(オンライン併用型) 対面とオンデマンド型の組み合わせ
AE13G31	近代日本の文化交流	1	1.0	3・4	春AB	木2	朴 宣美	社会文化史、ジェンダー史の視点から、「近代日本」における人々の移動・交流・変化する意識について考察する。	対面
AE13G32	近代日本の文化交流演習	2	1.0	3・4	秋AB	木2	朴 宣美	近現代日本における戦争観、歴史教育問題をテーマにして議論し、テキスト批判トレーニングを行う。	対面
AE13G41	日本の宗教と芸能	1	1.0	3・4	秋A 秋B	木5	山澤 学	日本近世~近現代における宗教・芸能・社会について，具体的な事例を取り上げながら学修する。	対面 実務経験教員
AE13G51	日本文学の歴史	1	1.0	2	秋学期	応談		各時代の文献および注釈書を読み解きながら、日本文学の特質とその変遷を概観する。	開講日程調整中 対面
AE13G72	日本文学とその特質演習I	2	1.0	3・4				日本の古典文学作品にみられる表現を読み解くことにより、その特質を演習形式によって実践的に学ぶ。	2026年度開講せず。 対面
AE13G91	国語科教育と文学	1	1.0	2 - 4				中等教育の国語科でよく扱われる文学教材を中心にして、その内容や授業方法について考察する。教員免許を取得して実際に国語科教員になることを熱望する人材のみ受講していただきたい。	2026年度開講せず。 対面
AE13G92	国語科教育と文学演習	2	1.0	2 - 4				中等教育の国語科でよく扱われる文学教材を中心にして、その内容や授業方法について考察する。教員免許を取得して実際に国語科教員になることを熱望する人材のみ受講していただきたい。	2026年度開講せず。 対面
AE13H11	中国文学と日本文学	1	1.0	2				日本の古典文学作品にみられる表現が、いかに中国文学の影響のもとに成り立っているのか、和漢の古典籍や注釈書を読み解くことによって概観する。	2026年度開講せず。 対面
AE13H12	中国文学と日本文学演習I	2	1.0	3・4	秋学期	応談		日本が独自の文字文化を持たないなか、どのように漢字や中国文学を受容して自ら文字表現したのか、和漢の古典籍を比較しながら演習形式によって実践的に学ぶ。	開講日程調整中 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AE13H91	世界文学と日本文学	1	1.0	2	春AB	金3	江口 真規	アニマル・スタディーズの理論を概観したうえで、クッツェーやカフカ、宮沢賢治などの文学作品を講読し、文学・文化を人と動物の関係から考察する。	対面 短期留学生の場合、人文・文化学群に所属している留学生に限る。
AE13H92	世界文学と日本文学演習I	2	1.0	2	秋AB	火2	江口 真規	日本語で書かれた短編小説の精読を通して、文学作品の分析と研究方法を演習形式で学ぶ。特に作品に描かれた動物の表象に着目し、海外文学との比較から考察を行う。	対面 短期留学生の場合、日本語・日本文化学類に所属している留学生に限る。日本語能力中上級以上。日本の近現代文学を原文で読める能力が必要。
AE13J12	世界文学と日本文学演習II	2	1.0	3・4	春AB	金4	江口 真規	具体的な作品の分析とテキストの講読・発表を通して、文学・文化の研究方法と文学理論(ジェンダー批評やポストコロニアル批評等)の歴史を学ぶ。	西暦偶数年度開講。 対面
AE13M11	日本文化特講I	1	1.0	2 - 4	秋AB	金1	鈴木 伸隆	近年、観光はまちづくりや地域振興にソフトパワーとして大きな役割を果たしている。自衛隊の基地ですら、観光資源として利用されている現状がある。この授業では、観光という文脈の中で、地域固有の文化がどのように資源として発見され、商品化されていくかを、資源となる対象(自然、歴史、景観、伝統芸能)、その担い手(主体)、資源化される過程に注目して、論じる。	対面

専門科目(国際・協働)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AE14A42	日本語・日本文化共同研究IV	2	1.0	2 - 4	秋B	集中	豊田 紘子	日本の地域社会を理解するうえで基本となるマチとムラについて、フィールドワーク(巡検)を行う。2回実施する巡検では、教員が現地を案内・解説するとともに、留学生と日本人学生からなるグループが事前に調査した内容を発表し、歴史的・文化的な景観やそこに展開する生活文化の特色について考察する。	交通費・見学入館料・食事代などは自己負担とする。 履修希望者多数の場合は人数制限を行う(25名程度)。事前学習、現地見学合わせて土日に3日間の予定で開講する。 対面(オンライン併用型) G科目
AE14B13	言語教育対話実習I	3	1.0	2 - 4	春AB	火4 応談	岩崎 拓也	日本人学生および留学生による未習外国語の模擬授業および意見交換を通して、指導技術の向上を目指すとともに、学習者の立場を理解し、学習がどのようにして起こるのかに対する理解を深める。	受講者数多数の場合は不可となる場合がある。また、基本的には通年での履修を認めない。 対面 G科目
AE14B23	言語教育対話実習II	3	1.0	2 - 4	秋AB	火4 応談	岩崎 拓也	日本人学生および留学生による未習外国語の模擬授業および意見交換を通して、指導技術の向上を目指すとともに、学習者の立場を理解し、学習がどのようにして起こるのかに対する理解を深める。	受講者数多数の場合は不可となる場合がある。また、基本的には通年での履修を認めない。 対面 G科目
AE14C23	日本語教育国際研修	3	3.0	2 - 4	秋AB 秋C	応談 集中	渡部 宏樹,澤田 浩子	マレーシアの中等教育機関及びマレーシア工科大学にて、3週間、日本語を教える。	事前に説明会を実施するので履修希望者は必ず出席すること。人数制限あり。インターンシップ科目。 対面 CDP 実務経験教員
AE14C73	日本語教育実習A	3	3.0	2 - 4	春AB 春C	水4,5 随時	田中 祐輔,日髙 晋介,鏡 耀子	カリキュラム作成、教案・教材教具作成、模擬実習、教壇に立っての本実習等を通して、日本語教育の方法論と技術を学ぶ。	対面 実務経験教員 受講生数次第で履修を制限することがある。
AE14C83	日本語教育実習B	3	3.0	2 - 4	春AB 春C	水4,5 随時	澤田 浩子,鏡 耀子	高等学校に在籍する外国にルーツのある生徒への教育実践(カリキュラム作成、教案・教材教具作成、模擬実習、教壇実習等)を通して、日本語教育の方法論と技術を学ぶ。	対面 実務経験教員 受講生数次第で履修を制限することがある。
AE14E13	日本語・日本文化国際研修I	3	3.0	2 - 4				スロベニア・リュブリャーナ大学で2週間の異文化理解プログラムを行う。(1)日本の言語・文化・社会に関する研究発表を行い、現地の大学生と学術交流を行う。(2)民族学博物館、国立美術館、現地小中学校等の見学。(3)スロベニア語の基本的な特徴を理解し、日常会話を習得する。	事前に説明会を実施するので履修希望者は必ず出席すること。人数制限あり。 西暦奇数年度開講。 対面 G科目 実務経験教員
AE14E23	日本語・日本文化国際研修II	3	3.0	2 - 4	秋C 春季休業中	水5,6 集中	澤田 浩子	スロベニア・リュブリャーナ大学で2週間の異文化理解プログラムを行う。(1)日本の言語・文化・社会に関する研究発表を行い、現地の大学生と学術交流を行う。(2)民族学博物館、国立美術館、現地小中学校等の見学。(3)スロベニア語の基本的な特徴を理解し、日常会話を習得する。	事前に説明会を実施するので履修希望者は必ず出席すること。人数制限あり。 西暦偶数年度開講。 対面 G科目 実務経験教員

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AE14E33	日本語・日本文化国際研修III	3	3.0	2 - 4	春B 秋A	水2 集中	朴 宣美	日韓の歴史問題への理解を深めるため韓国で実習を行う。	人数制限あり。事前に説明会を実施するので履修希望者は必ず出席すること。 対面 G科目
AE14F43	国際・協働インターンシップI	3	3.0	2 - 4	通年	応談	澤田 浩子	国内外で行う多文化共生に関わる社会的活動(ボランティアや企業研修)に対して、インターンシップとして単位を付与する。	履修にあたっては担当教員との相談を要する。インターンシップ科目。 対面 CDP 実務経験教員
AE14F53	国際・協働インターンシップII	3	3.0	2 - 4	通年	応談	澤田 浩子	国内外で行う多文化共生に関わる社会的活動(ボランティアや企業研修)に対して、インターンシップとして単位を付与する。	履修にあたっては担当教員との相談を要する。インターンシップ科目。 対面 CDP 実務経験教員
AE14G13	日本語方言研究フィールド実習I	3	3.0	2 - 4				特定の地点でのフィールドワークを中心とした実習科目である。春ABの期間に調査対象となる地域の言語的な状況を確認・検討し、また言語調査に必要な基本的な知識やスキルを学ぶ。夏季休業中には現地での実習を行う。秋ABの期間には、現地調査の結果の整理と報告の作成を行う。また併せて他の年度の調査結果との比較検討を行う。	人数制限あり。 西暦奇数年度開講。 対面
AE14G23	日本語方言研究フィールド実習II	3	3.0	2 - 4	春AB秋AB 夏季休業中	金6 集中	石田 尊	特定の地点でのフィールドワークを中心とした実習科目である。春ABの期間に調査対象となる地域の言語的な状況を確認・検討し、また言語調査に必要な基本的な知識やスキルを学ぶ。夏季休業中には現地での実習を行う。秋ABの期間には、現地調査の結果の整理と報告の作成を行う。また併せて他の年度の調査結果との比較検討を行う。	人数制限あり。 西暦偶数年度開講。 対面
AE14G33	日本語談話研究フィールド実習I	3	3.0	2 - 4				日本語における言語コミュニケーションについてフィールドワーク調査を行い、レポートを作成する。現地での滞在調査を通じて、言語と人間・文化・社会との関わりを学ぶ。	事前に説明会を実施するので履修希望者は必ず出席すること。人数制限あり。 西暦奇数年度開講。 対面
AE14G43	日本語談話研究フィールド実習II	3	3.0	2 - 4	春C 夏季休業中	月5,6 集中	澤田 浩子	日本語における言語コミュニケーションについてフィールドワーク調査を行い、レポートを作成する。現地での滞在調査を通じて、言語と人間・文化・社会との関わりを学ぶ。	事前に説明会を実施するので履修希望者は必ず出席すること。人数制限あり。 西暦偶数年度開講。 対面
AE14G53	日本文化研究フィールド実習I	3	3.0	2 - 4				今日、日本の地域社会を取り巻く「まちづくり」という現象は、観光という大きな流れと不可分に結びついている。この実習ではまちづくりに焦点を当て、特に現地での聞き取りからデータ収集し、レポートをまとめるという一連の作業を通して、フィールド調査の基礎を実践的に学ぶ。	4月下旬から5月上旬(予定)にかけて説明会を実施するので履修希望者は必ず出席すること。人数制限あり。 西暦奇数年度開講。 対面
AE14G63	日本文化研究フィールド実習II	3	3.0	2 - 4	春C 夏季休業中	木2,3 集中	鈴木 伸隆	今日、日本の地域社会を取り巻く「まちづくり」という現象は、観光という大きな流れと不可分に結びついている。この実習ではまちづくりに焦点を当て、特に現地での聞き取りからデータ収集し、レポートをまとめるという一連の作業を通して、フィールド調査の基礎を実践的に学ぶ。	5月初旬(予定)に説明会を実施するので履修希望者は必ず出席すること。人数制限あり。 西暦偶数年度開講。 対面
AE14H12	外国人児童生徒支援研究I	2	1.0	2 - 4	春C	集中	澤田 浩子	茨城県の外国人児童生徒に対する日本語支援に関して、実践を念頭においた研究を行う。	AE14H22の単位取得者は履修不可。 7/4,7/18 対面(オンライン併用型) 実務経験教員
AE14H22	外国人児童生徒支援研究II	2	1.0	1 - 3	秋C	集中	澤田 浩子	茨城県の外国人児童生徒に対する日本語支援に関して、実践を念頭においた研究を行う。	AE14H12の単位取得者は履修不可。 1/30,2/13 対面(オンライン併用型) 実務経験教員
AE14H23	外国人児童生徒支援実習I	3	3.0	2 - 4	通年 春季休業中	金7 随時	澤田 浩子	茨城県の外国人児童生徒に対する日本語支援に関して、インターネットを通じた日本語支援の実践を行う。	原則として「外国人児童生徒支援研究」を受講していることを履修の条件とする。 対面 実務経験教員
AE14H33	外国人児童生徒支援実習II	3	3.0	2 - 4	通年 春季休業中	金7 随時	澤田 浩子	茨城県の外国人児童生徒に対する日本語支援に関して、インターネットを通じた日本語支援の実践を行う。	原則として「外国人児童生徒支援研究」を受講していることを履修の条件とする。 対面 実務経験教員

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AE14H52	外国人児童生徒支援プロジェクト研究	2	1.0	3・4	春A	集中	澤田 浩子	茨城県の外国人児童生徒に対する日本語支援のプロジェクトに参与しながら、プロジェクトの運営や地域との連携などコーディネーターとして活動するために、実践を念頭においた研究を行う。	原則として「外国人児童生徒支援研究」「外国人児童生徒支援実習」を受講していることを履修の条件とする。 4/18-19 対面 実務経験教員
AE14H63	外国人児童生徒支援プロジェクト実習I	3	3.0	3・4	通年	応談	澤田 浩子	茨城県の外国人児童生徒に対する日本語支援のプロジェクトに参与しながら、プロジェクトの運営や地域との連携などコーディネーターとしての実践を行う。	原則として「外国人児童生徒支援研究」「外国人児童生徒支援実習」「外国人児童生徒支援プロジェクト研究」を受講していることを履修の条件とする。 対面 実務経験教員
AE14H73	外国人児童生徒支援プロジェクト実習II	3	3.0	3・4	通年	応談	澤田 浩子	茨城県の外国人児童生徒に対する日本語支援のプロジェクトに参与しながら、プロジェクトの運営や地域との連携などコーディネーターとしての実践を行う。	原則として「外国人児童生徒支援研究」「外国人児童生徒支援実習」「外国人児童生徒支援プロジェクト研究」を受講していることを履修の条件とする。 対面 実務経験教員

専門科目(Japan-Expertインターンシップ)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AE18K13	Japan-Expertインターンシップ I	3	3.0	3・4	通年	応談	三好 優花	海外または国内で日本語教育実習・日本語教育に関連したインターンシップを行う。 カリキュラム作成、教案・教材教具作成、模擬実習、教壇に立っての本実習等を通して、日本語教育の方法論と技術を学ぶ。	Japan-Expert日本語教師養成コース学生に限る。インターンシップ科目。 西暦偶数年度開講。 対面 実務経験教員
AE18K23	Japan-Expertインターンシップ II	3	3.0	3・4				海外または国内で日本語教育実習・日本語教育に関連したインターンシップを行う。 カリキュラム作成、教案・教材教具作成、模擬実習、教壇に立っての本実習等を通して、日本語教育の方法論と技術を学ぶ。	Japan-Expert日本語教師養成コース学生に限る。インターンシップ科目。 西暦奇数年度開講。 対面 実務経験教員

卒業論文

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AE10A12	総合演習導入I	2	1.0	2	秋C	随時	日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文作成にむけて問題発見のための指導を行う。	対面
AE10A22	総合演習導入II	2	1.0	2	通年	随時	日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文作成にむけて問題発見のための指導を行う。	留学または休学した学生対象の科目であり、履修にあたっては相談を要する。 対面
AE10B12	総合演習I-a	2	3.0	3	春AB 春ABC	水6 随時	石田 尊,今田 水穂	研究テーマごとにグループを編成し、複数教員による指導体制の中で、先行研究の調査・整理を行い、自身の研究テーマにおける研究方法の理解を図る。その後、教員とのチュートリアルを通して、卒業論文テーマレポートを作成する。	対面
AE10B22	総合演習I-b	2	3.0	3	春AB 春ABC	水6 随時	小野 正樹,澤田 浩子,田中 祐輔,三好 優花	研究テーマごとにグループを編成し、複数教員による指導体制の中で、先行研究の調査・整理を行い、自身の研究テーマにおける研究方法の理解を図る。その後、教員とのチュートリアルを通して、卒業論文テーマレポートを作成する。	対面
AE10B32	総合演習I-c	2	3.0	3	春AB 春ABC	水6 随時	江口 真規	研究テーマごとにグループを編成し、複数教員による指導体制の中で、先行研究の調査・整理を行い、自身の研究テーマにおける研究方法の理解を図る。その後、教員とのチュートリアルを通して、卒業論文テーマレポートを作成する。	対面
AE10B42	総合演習I-d	2	3.0	3	春AB 春ABC	水6 随時	鈴木 伸隆,朴 宣美	研究テーマごとにグループを編成し、複数教員による指導体制の中で、先行研究の調査・整理を行い、自身の研究テーマにおける研究方法の理解を図る。その後、教員とのチュートリアルを通して、卒業論文テーマレポートを作成する。	対面
AE10B92	総合演習III	2	3.0	3	秋ABC	随時	日本語・日本文化学類関係教員	研究テーマごとにグループを編成し、複数教員による指導体制の中で、先行研究の調査・整理を行い、自身の研究テーマにおける研究方法の理解を図る。その後、教員とのチュートリアルを通して、卒業論文テーマレポートを作成する。	AE10B12/AE10B22/AE10B32/AE10B42に相当。 留学または休学した学生対象の科目であり、履修にあたっては相談を要する。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AE10C12	総合演習II-a	2	3.0	3	秋AB 秋ABC	水6 随時	石田 尊,今田 水穂	研究テーマごとにグループを編成し、複数教員による指導体制の中で、リサーチクエスチョンの明確化と、研究計画の立案に取り組む。その後、教員とのチュートリアルを通して、卒業論文調査票を作成し、それに基づき主指導教員・副指導教員を決定する。	対面
AE10C22	総合演習II-b	2	3.0	3	秋AB 秋ABC	水6 随時	小野 正樹,澤田 浩子,田中 祐輔,三好 優花	研究テーマごとにグループを編成し、複数教員による指導体制の中で、リサーチクエスチョンの明確化と、研究計画の立案に取り組む。その後、教員とのチュートリアルを通して、卒業論文調査票を作成し、それに基づき主指導教員・副指導教員を決定する。	対面
AE10C32	総合演習II-c	2	3.0	3	秋AB 秋ABC	水6 随時	江口 真規	研究テーマごとにグループを編成し、複数教員による指導体制の中で、リサーチクエスチョンの明確化と、研究計画の立案に取り組む。その後、教員とのチュートリアルを通して、卒業論文調査票を作成し、それに基づき主指導教員・副指導教員を決定する。	対面
AE10C42	総合演習II-d	2	3.0	3	秋AB 秋ABC	水6 随時	鈴木 伸隆,朴 宣美	研究テーマごとにグループを編成し、複数教員による指導体制の中で、リサーチクエスチョンの明確化と、研究計画の立案に取り組む。その後、教員とのチュートリアルを通して、卒業論文調査票を作成し、それに基づき主指導教員・副指導教員を決定する。	対面
AE10C92	総合演習IV	2	3.0	3	春ABC	随時	日本語・日本文化学類関係教員	研究テーマごとにグループを編成し、複数教員による指導体制の中で、リサーチクエスチョンの明確化と、研究計画の立案に取り組む。その後、教員とのチュートリアルを通して、卒業論文調査票を作成し、それに基づき主指導教員・副指導教員を決定する。	AE10C12/AE10C22/AE10C32/AE10C42に相当。 留学または休学した学生対象の科目であり、履修にあたっては相談を要する。 対面
AE10D12	卒業論文演習I	2	3.0	4	春AB	随時	日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文作成のための指導を行う。	対面
AE10D22	卒業論文演習III	2	3.0	4	秋AB	随時	日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文作成のための指導を行う。	AE10D12に相当。留学または休学した学生対象の科目であり、履修にあたっては相談を要する。 対面
AE10E12	卒業論文演習II	2	3.0	4	秋AB	随時	日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文作成のための指導を行う。	対面
AE10E22	卒業論文演習IV	2	3.0	4	春AB	随時	日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文作成のための指導を行う。	AE10E12に相当。留学または休学した学生対象の科目であり、履修にあたっては相談を要する。 対面
AE10F18	卒業論文	8	6.0	4	秋ABC	随時	日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文を作成する。	対面
AE10F28	卒業論文	8	6.0	4	春ABC	随時	日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文を作成する。	留学または休学した学生対象の科目であり、履修にあたっては相談を要する。 対面

日本語・日本文化研修留学生

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
AE81N13	日本語・日本文化実験実習	3	1.0	1	秋B 秋AC	集中 随時	田中 祐輔	学外での研修を通して日本文化に直接接する。研修前には事前学習を行い、研修後は各自のテーマでレポートを作成する。	日本語・日本文化研修留学生対象。 対面
AE82N22	日本語・日本文化基礎研究	2	1.0	1	秋AB	随時	田中 祐輔	修了レポート作成のための予備指導を行う。	日本語・日本文化研修留学生対象。 対面
AE82N32	日本語・日本文化特別研究	2	2.0	1	春AB	随時	江口 真規,田中 祐輔	修了レポート作成のための指導を行う。	日本語・日本文化研修留学生対象。 対面
AE82N48	日本語・日本文化修了レポート	8	2.0	1	春ABC	随時	江口 真規,田中 祐輔	各自の研究テーマについて、各指導教員のもとで修了レポートを作成する。	日本語・日本文化研修留学生対象。 対面

開設母体

要件
社会・国際学群グローバル科目群

社会・国際学群グローバル科目群

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BA20021	地球規模課題へのアプローチ	1	2.0	1 - 4	秋A 秋B	月3,4	潘 亮,藤澤 奈都穂,佐本 英規	国際社会は、2015年に国連総会で採択された持続可能な開発目標(SDGs)のもと、2030年までに「誰一人取り残さない(no one will be left behind)」社会を実現するため、経済、社会、環境など、様々な分野の広範な課題に統合的に取り組んでいる。SDGsには17の開発目標が設定され、先進国、途上国を問わず各国政府、地方自治体、民間企業、NGO、有識者をはじめ、私たち一人ひとりが、それぞれの立場で役割を果たすことが求められている。とりわけ国際機関やグローバルな活動を展開する企業、団体等は、それぞれの専門分野における知見と技術、ネットワーク、実績をもとに様々な分野のパートナーとの連携、協働を推進している。その活動は、国や組織の枠を超え、グローバルな視点でリーダーシップを発揮する人材によって支えられている。本講義では、地球規模課題に取り組む人々の実践的な話を通じて、履修学生が自らのキャリア形成について考える機会を提供することを目的とする。	G科目 対面(オンライン併用型) 【受入上限数60名】 平成30年度総合科目Ⅰ「地球規模課題へのアプローチ」(1205011)と同一内容のため、重複履修は不可。
BA20022	地球規模課題と地域社会I	2	1.0	1 - 4				様々な地球規模課題と新興国・途上国における地域社会との関わりについて、グローバルな視点と現地に暮らす人々のローカルな視点の双方を踏まえて議論する。	対面(オンライン併用型) TG+プログラム生限定 西暦奇数年度開講。
BA20032	地球規模課題と地域社会II	2	1.0	1 - 4	秋AB	木6	佐本 英規	様々な地球規模課題と新興国・途上国における地域社会との関わりについて、グローバルな視点と現地に暮らす人々のローカルな視点の双方を踏まえて議論する。	対面(オンライン併用型) TG+プログラム生限定 西暦偶数年度開講。

開設母体

要件

TSUKUBA 社会国際学初年次チュートリアルプログラム(T-FEP)

TSUKUBA 社会国際学初年次チュートリアルプログラム(T-FEP)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BA91012	社会学の最前線チュートリアル	2	1.0	1				「社会学の最前線」の各回内容に関する質疑応答と討論を通じて各自の問題関心を深め、進級後の研究テーマを探究する。また、その研究テーマを追究するために効果的な進級後のカリキュラムの組み方について指導助言をおこなう。	今年度の「社会学の最前線」を履修中であること。原則として1年次生のみ履修可。 2026年度開講せず。 対面
BA91022	法学の最前線チュートリアル	2	1.0	1				「法学の最前線」の各回内容に関する質疑応答と討論を通じて各自の問題関心を深め、進級後の研究テーマを探究する。また、その研究テーマを追究するために効果的な進級後のカリキュラムの組み方について指導助言をおこなう。	今年度の「法学の最前線」を履修中であること。原則として1年次生のみ履修可。 2026年度開講せず。 対面
BA91032	政治学の最前線チュートリアル	2	1.0	1				「政治学の最前線」の各回内容に関する質疑応答と討論を通じて各自の問題関心を深め、進級後の研究テーマを探究する。また、その研究テーマを追究するために効果的な進級後のカリキュラムの組み方について指導助言をおこなう。	今年度の「政治学の最前線」を履修中であること。原則として1年次生のみ履修可。 2026年度開講せず。 対面
BA91042	経済学の最前線チュートリアル	2	1.0	1				「経済学の最前線」の各回内容に関する質疑応答と討論を通じて各自の問題関心を深め、進級後の研究テーマを探究する。また、その研究テーマを追究するために効果的な進級後のカリキュラムの組み方について指導助言をおこなう。	今年度の「経済学の最前線」を履修中であること。原則として1年次生のみ履修可。 2026年度開講せず。 対面
BA92012	国際学Iチュートリアル	2	1.0	1				国際学I(国際政治・国際法分野)の各回内容に関する質疑応答と討論を通じて各自の問題関心を深め、進級後の研究テーマを探究する。また、その研究テーマを追究するために効果的な進級後のカリキュラムの組み方について指導助言をおこなう。	今年度の「国際学I」を履修中であること。原則として1年次生のみ履修可。総合学域群生の履修を優先するが、定員に満たない場合は、社会・国際学群→他学群の優先順位で、他学群生の履修も認める。履修希望者が定員を上回った場合は選抜をおこなう。定員、履修条件、選抜方法、開講日等の詳細はシラバスを参照のこと。 2026年度開講せず。 対面
BA92022	国際学IIチュートリアル	2	1.0	1				国際学II(経済学分野)の各回内容に関する質疑応答と討論を通じて各自の問題関心を深め、進級後の研究テーマを探究する。また、その研究テーマを追究するために効果的な進級後のカリキュラムの組み方について指導助言をおこなう。授業の一部は英語でおこなう。	今年度の「国際学II」を履修中であること。原則として1年次生のみ履修可。総合学域群生の履修を優先するが、定員に満たない場合は、社会・国際学群→他学群の優先順位で、他学群生の履修も認める。履修希望者が定員を上回った場合は選抜をおこなう。定員、履修条件、選抜方法、開講日等の詳細はシラバスを参照のこと。 2026年度開講せず。 対面
BA92032	国際学IIIチュートリアル	2	1.0	1				国際学III(文化・社会開発分野)の各回内容に関する質疑応答と討論を通じて各自の問題関心を深め、進級後の研究テーマを探究する。また、その研究テーマを追究するために効果的な進級後のカリキュラムの組み方について指導助言をおこなう。	今年度の「国際学III」を履修中であること。原則として1年次生のみ履修可。総合学域群生の履修を優先するが、定員に満たない場合は、社会・国際学群→他学群の優先順位で、他学群生の履修も認める。履修希望者が定員を上回った場合は選抜をおこなう。定員、履修条件、選抜方法、開講日等の詳細はシラバスを参照のこと。 2026年度開講せず。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BA92042	国際学IVチュートリアル	2	1.0	1				国際学IV(情報・環境分野)の各回内容に関する質疑応答と討論を通じて各自の問題関心を深め、進級後の研究テーマを探究する。また、その研究テーマを追究するために効果的な進級後のカリキュラムの組み方について指導助言をおこなう。	今年度の「国際学IV」を履修中であること。原則として1年次生のみ履修可。総合学域群生の履修を優先するが、定員に満たない場合は、社会・国際学群→他学群の優先順位で、他学群生の履修も認める。履修希望者が定員を上回った場合は選抜をおこなう。定員、履修条件、選抜方法、開講日等の詳細はシラバスを参照のこと。 2026年度開講せず。 対面

開設母体　　要件
社会学類

社会学類専門導入科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BB05011	社会学の最前線	1	1.0	1	秋AB	木6	社会学主専攻全教員	各教員が現在取り組んでいる研究を題材に、社会学研究の最前線を示す。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
BB05021	法学の最前線	1	1.0	1	秋AB	水6	法学主専攻全教員	社会生活上、話題となっている論点を題材にして法学的視点から解説します。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
BB05031	政治学の最前線	1	1.0	1	春A	月1,2	政治学主専攻全教員	具体的なトピックをいくつか取り上げ、政治学の研究のあり方の一端を紹介する。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 受講方法はmanabaで指示する。
BB05041	経済学の最前線	1	1.0	1	春B	木5,6	福住 多一,平沢 照雄,高橋 秀直,田中 醇	経済学の知の更新は日々行われています。この講義ではその一端を紹介します。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)

社会学

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BB11011	社会学基礎論	1	2.0	1・2	春AB	月3,4	加島 卓	本講義では、近代社会の歩みとともに誕生、発展してきた社会学という学問について、基礎的な概念や理論、問いの立て方について概説する。社会学的な思考方法を身につけ、社会を生きる自らの経験を再帰的に検討する力を養い、社会問題への想像力を高め、社会学的な観点から検討できるようになることを目標とする。	5/18(月)3,4限のみ共同利用棟A101にて実施。社会学類の専門基礎科目であり、履修希望者多数の場合には、社会学類生の履修を優先することがある。 対面(オンライン併用型) 主専攻必修科目。 短期留学生による申請の可否は授業担当教員の判断による。
BB11021	現代社会論	1	2.0	1・2	秋AB	月3,4	三品 拓人	本講義では、第一に現代社会がどのような趨勢にあるのかを解説する。グローバル化、個人化、リスク社会化、液状化、脱工業化などをはじめ様々な社会変動が生じている。現代社会が従来の社会とどのように異なっているのか、またこの先どうなるのかを考えることを目指す。第二に、現代社会のより身近なトピックを扱いながら、個々の学生たちが、現代社会の多様な問題を的確に把握・考察できるようになることを目指す。	▼社会・国際学群 コア・カリキュラム BC11801と同一。 BC11801と同一。 対面(オンライン併用型) 主専攻必修科目。 短期留学生の履修は、日本語の読み書きと会話が不自由なくできる場合に可。
BB11141	ジェンダー社会論	1	2.0	2 - 4				本講義では、私たちが日常生活において「当たり前」だと思っている社会的・文化的事象が、人を男/女に区分する知であるジェンダーによっていかに規定されているのかを学ぶ。ジェンダーの構築性やその歴史的背景、社会運動・制度・規範・身体など多様な領域における事例から、日常の経験を批判的に読み解く視点を身につける。	社会教育主事 2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型) 履修登録前に必ずシラバスを確認すること。
BB11161	社会運動論	1	2.0	2 - 4	春AB	金3,4	鈴木 彩加	本講義では、社会運動を理解し分析するための理論である社会運動論を概説する。あわせて、日本国内における社会運動の歴史的展開と、それらが社会にどのような変化をもたらしてきたのかを検討する。社会のなかで人びとが変化を生み出す過程を読み解くための基礎的な視点を養うことを目指す。	対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BB11171	福祉社会学	1	2.0	2 - 4				本講義では、福祉社会学の様々な知見を通して、人や社会に対する理解を深めていただきます。福祉制度は時代や文化をはじめとする、マクロな社会状況によって大きく異なっています。本講義を受講することで、現代福祉をめぐる動向や社会問題に詳しくなり、福祉に関して深い考察力を身につけることができます。 講義は大まかには、1部で概論、2部でメゾ、3部でトピックベースという3段階で構成しています。講師は、福祉施設の一つである児童養護施設の現場職員としての経験があります。その中で、社会的養護を含む子ども家庭福祉分野に関連する「福祉」を通して様々な社会学の学びを得てきました。福祉を勉強することの興味深さを少しでも受講生の方にお伝えできたら嬉しいです。	2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
BB11211	科学社会学	1	2.0	2 - 4	春C	集中	目黒 茜	本講義は科学・技術と社会の関係性について社会学的な研究を紹介するとともに、具体的な事例から近現代社会においてい当該テーマがどのように問われてきたのかを検討していく。	詳細後日周知 対面(オンライン併用型)
BB11251	知識社会学	1	2.0	2 - 4	春AB	月3,4	葛山 泰央	〈狂気の歴史〉の再考をテーマに、西欧近代社会における狂気を巡る言説の歴史を、狂気と非理性との関係、精神異常の形象と精神病院の誕生、狂気と人間の真実とが形作る人間学的円環、異常者/犯罪者を取り巻く諸言説の闘争、精神医学の知と権力などの主題を再検討しつつ考察する。	対面(オンライン併用型)
BB11291	文化社会学	1	2.0	2 - 4				文化はいかにして社会学の問題となるのか。また、社会学はいかにして文化を研究することができるのか。この授業ではメディア論、都市論、消費社会論、若者論、文化研究(カルチュラル・スタディーズ)などをテーマに資本主義と私たちの関係に注目し、現代日本のさまざまな文化的現象を社会学的に説明できるようになることを目指す。	2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
BB11361	歴史社会学	1	2.0	2 - 4				近現代社会を対象とする社会学の研究において、歴史を検討することは重要なアプローチのひとつとなってきた。本講義では、近現代日本におけるセクシュアリティの歴史に着目し、歴史社会学的な研究がどのように展開されてきたかを検討するとともに、具体的な事例から様々な現代社会における課題とのつながりを考察する。	2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
BB11391	コミュニケーション論	1	1.0	2・3				この授業では、コミュニケーション・プロセスに関する知見を、応用できるようになることを目的とする。	AC64301, BB11401の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 AC64E01と同一。 対面
BB11441	メディア・コミュニケーション論	1	1.0	2・3	春AB	火2	カテライ アメリア	メディア・コミュニケーションの諸課題と対応策を概観し、考察する。その中で、デジタル・メディアに注目し、メディア・リテラシーについても取り上げる。	AC64311, BB11411の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 AC64E11と同一。 対面
BB11451	文化・開発論	1	2.0	2・3	春AB	火5,6	寺内 大左	途上国における開発が地域の社会・文化に及ぼす影響や地域の社会・文化に配慮した開発の在り方について学んでいく。	▼社会・国際学群 コア・カリキュラム BC51101と同一。 対面 平成18年度までの「国際コミュニケーション論 II」に相当
BB11511	地域社会学	1	2.0	2 - 4	春AB	金3,4	五十嵐 泰正	現代の地域におけるコミュニティの衰退と再建について、国内外の事例を参照しながらさまざまな問題領域にわたって検討する。	対面(オンライン併用型)
BB11521	メディアと情報化の社会学	1	2.0	2 - 4				「メディアが社会を変える」という考え方を技術決定論という。また「社会がメディアのあり方を選んでいく」という考え方を社会決定論という。この授業では技術決定論と社会決定論をテーマにマス・メディアからデジタル・メディアに至るまでさまざまな事例を取り上げ、メディア論的な考え方を身につけ、社会学的に説明できるようになることを目指す。	2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BB11531	農村社会学	1	2.0	2				土地資源を主な生産・生活手段としてきた農山村社会は,戦後の経済成長にともなって大きな変動をとげている。この講義では,農山村社会の構造的な特徴と変動過程について理論的・実証的に考察し,現代日本社会および地域社会に内在する農山村的特質と,農山村社会の再構築について論じる。	基幹科目(2024年度以前入学者対象)横断領域科目「食料」「環境」「国際」 履修生の上限を100名とし、上限を超えた場合には、生物資源学類生/社会学類生/他学類生の順に抽選。 西暦奇数年度開講。 EC24051と同一。 対面
BB11561	労働社会学	1	2.0	2 - 4	春AB	火2,3	森 直人	労働世界のありようを社会学的に分析するための理論と概念を解説し、雇用慣行の歴史的形成や労働問題の変容と現在について論じる。	対面(オンライン併用型)
BB11571	都市社会学	1	2.0	2 - 4				都市空間を把握するための基礎的な分析視角や社会理論をおさえながら、グローバルな流動化の影響を色濃く受ける現代の都市/地域のいくつかの領域(観光、商業、居住など)について考察してゆく。	2026年度開講せず。 対面
BB11591	現代社会学の系譜	1	2.0	2 - 4				〈社会学以前の社会学的思考〉を、古典的文献や関連する史資料の読解を通して検討するなかで、比較社会学的・歴史社会学的な想像力の現在を探究する。	2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型) 短期留学生による申請の可否は授業担当教員の判断による。
BB11601	社会階層論	1	2.0	2 - 4				社会階層論の主要な理論と概念を解説し、社会移動、階層文化、生活構造、貧困・社会的排除といった視角から、社会の階層化メカニズムについて考察する。	2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
BB11641	家族社会学	1	2.0	2 - 4				この授業では、家族社会学の領域における基本的概念や考え方を学ぶとともに、現代社会における家族および家族をめぐる状況を各種データをふまえながら論じる。家族とは普遍的なものではなく、社会構造や法律、政治、経済といった外的要因から影響を受け、つねに変化し続けてきた/いるものであることを理解し、家族をめぐる社会的諸現象を社会学的に論じられるようになることを目指す。	2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
BB11661	教育社会学	1	2.0	2 - 4				教育を方法的社会化として把握し分析の対象とする教育社会学の基本的な視角と概念を解説し、機能領域としての教育の固有性や学校という教育組織の特性とその社会的機能について具体的トピックを取りあげつつ論じる。	2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
BB11691	情報文化概論	1	1.0	2	春AB	金4	白戸 健一郎	本講義は、比較メディア史的及び歴史社会学的観点から現代メディア社会の成立を概観し、現代メディア社会に対する批判的視座をもつことを目的とする。現代社会におけるメディア環境の成立過程や構造を理解することで、現代メディア社会の可能性と限界について考察する。	AC50761, BB11791の単位取得者は履修できない。 AC50G31と同一。 対面
BB11772	ジャーナリズム特別演習	2	2.0	3・4	秋ABC	水6 応談	鴨志田 公男	全国紙の科学環境部記者と科学・環境担当の論説委員を計30年以上にわたって務めた教員の経験をもとに、ジャーナリスティックな文章(例えば新聞記事)の作成法を学ぶ。これと並行し、就職試験などで出される「作文」や「論文」の作成能力も養成する。	参加資格は特にないが、本演習は少人数で行うことが理想なため、希望者が多い場合は、何らかの方法で参加者を選抜する場合がある。 実務経験教員 対面
BB11811	スポーツ社会学	1	2.0	1	秋AB	木・金3	下竹 亮志	現代社会におけるスポーツの位置とその文化的特徴について、消費社会、メディアとの関係で捉え、人種、民族、ジェンダー、ナショナリティといった社会学の視点から人々の生きている日常を踏まえて、分析・考察を行う。	体育専門学群生は必ずW870041を登録すること。 W870041と同一。 対面 履修者が290名を越えた場合は、体育専門学群生及び社会学類3、4年生を優先する。
BB11861	Transnational Social Policy	1	2.0	2 - 4				Globalization has brought many changes in social life, including increasing flows of financial resources, goods and persons. Among the new challenges these changes pose to governments and civil society is the need to create new social agenda and to develop social policies. The aim of this course is to discuss these challenges for the 21st Century from a transnational perspective.	Biennial Course (offered in odd years) 西暦奇数年度開講。 BC11471, BE22401と同一。 英語で授業。 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BB11871	Sociology of Contemporary Japan	1	2.0	1・2				The aim of this course is to analyze the social and economic changes in Japan, with particular focus on changes in the nature of work in society and its implications in Contemporary Japanese society, including complex issues such as migration, foreign workers, ageing society, job hunting, working poor and inequality.	Limited to 35 students. 西暦奇数年度開講。 BE21181と同一。 英語で授業。 G科目 対面 Equivalent to "Social Issues in Contemporary Japan (BE21181)"
BB11881	Public Policy	1	2.0	2 - 4	春AB	木4,5	ウラノ エジソン ヨシアキ	The objective of this course is to provide students with the basic concepts of public policies to enable them to understand, analyze and discuss the various public policies that affect our lives on a daily basis, by focusing mainly in the field of social policies, such as health care systems, income redistribution and labour policies.	Limited to 35 students. 西暦偶数年度開講。 BC11461, BE22051と同一。 英語で授業。 G科目 対面
BB11932	社会学研究法A	2	1.0	2・3	春AB	水4	鈴木 彩加,三品 拓人	社会学主専攻で卒論執筆予定の学生に対し、社会学的探究を進める上で必要となる社会調査(質的調査・量的調査)に関する基礎知識の習得を目指す。	対面(オンライン併用型) 主専攻必修科目。
BB11942	社会学研究法B	2	1.0	2・3	秋AB	水5	目黒 茜,葛山 泰央	社会学主専攻で卒論執筆予定の学生に対し、社会学的探究を進める上で必要となる社会学的文献の選び方・読み方、論文の書き方の習得を目指す。	対面(オンライン併用型) 主専攻必修科目。
BB11997	卒業論文演習	7	4.0	4	通年	応談	社会学主専攻全教員	卒業論文執筆のための演習形式の指導を行う。	「卒業論文」と併せて履修すること。 対面(オンライン併用型) 主専攻必修科目。
BB11998	卒業論文	8	6.0	4	通年	随時	社会学主専攻全教員	卒業論文執筆のための指導を行う。	「卒業論文演習」と併せて履修すること。 対面(オンライン併用型) 主専攻必修科目。
BB16132	社会学演習Ia	2	3.0	2 - 4				フェミニズムおよびジェンダーに関する社会学的課題をテーマに、主要文献の講読を行う。文献の論点・構成・方法を丁寧に読み解くことを通じて、学術文献を精読するための基本的スキルを身につける。	2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型) 履修予定者はシラバスを事前に確認し、第1週に実施するガイダンスに必ず参加すること。
BB16142	社会学演習Ib	2	3.0	2 - 4				フェミニズムおよびジェンダーに関する社会学的課題をテーマに、主要文献の講読を行う。あわせて、インタビュー記述や自由記述データ、新聞・雑誌記事などの、質的データの分析方法を演習形式で学ぶ。	2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型) 履修登録予定者はシラバスを事前に確認し、第1回目に実施するオリエンテーションに必ず参加すること。
BB16152	社会学演習Ic	2	3.0	2 - 4				フェミニズムおよびジェンダーに関する社会学的課題をテーマに、主要文献の講読を行う。あわせて、論理的な文章構成や引用方法など、学術的な文章を書くための基本的スキルの修得をめざす。	2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
BB16232	社会学演習IIa	2	3.0	2 - 4				プロフェッション(専門職・職業)と社会の関係性をテーマに、文献の輪読と事例分析を行う。教育・医療・福祉など諸領域における専門職の役割と社会構造との交差を視野に収め、歴史的・現代的な課題を検討する。	2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
BB16242	社会学演習IIb	2	3.0	2 - 4	春AB秋AB 通年	金6 応談	目黒 茜	プロフェッション(専門職・職業)と社会の関係性をテーマに、文献の輪読と事例分析を行う。専門職コミュニティの形成過程や、職業実践における人びとの相互行為・ネットワークに着目した分析を行う。	対面(オンライン併用型)
BB16252	社会学演習IIc	2	3.0	2 - 4				プロフェッション(専門職・職業)と社会の関係性をテーマに、文献の輪読と事例分析を行う。専門職研究における史料分析や社会調査の方法論的課題を踏まえ、事例を通じて分析手法の検討を行う。	2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
BB16332	社会学演習IIIa	2	3.0	2 - 4				〈構造主義〉以後の社会学的課題をテーマに、関連する文献やテクストの読解と検討を通して、言説分析や権力分析の可能性について探究する。	2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BB16342	社会学演習IIIb	2	3.0	2 - 4	春AB秋AB通年	月5応談	葛山 泰央	〈構造主義〉以後の社会学的課題をテーマに、関連する文献やテクストの読解と検討を通して、言説分析や権力分析の可能性について探究する。	対面(オンライン併用型)
BB16352	社会学演習IIIc	2	3.0	2 - 4				〈構造主義〉以後の社会学的課題をテーマに、関連する文献やテクストの読解と検討を通して、言説分析や権力分析の可能性について探究する。	2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
BB16432	社会学演習IVa	2	3.0	2 - 4					2026年度開講せず。 対面 延長または休日・休業期間中に補講を行う。次年度の「社会調査実習」と連動した科目になるため、2年間続けての履修が望ましい。
BB16442	社会学演習IVb	2	3.0	2 - 4	春AB秋AB通年	火6応談	五十嵐 泰正	路上利活用をめぐる諸分野の議論および食の社会学、インバウンド観光客の増加の影響を含む国内各地の現状を踏まえ、毀誉褒貶に晒されている「路上飲食」「路上飲み」について多角的に考える。	対面 ゼミの時間を延長する場合がある。次年度の「社会調査実習」と連動した科目になるため、2年間続けての履修が望ましい。
BB16452	社会学演習IVc	2	3.0	2 - 4					2026年度開講せず。 対面 延長または休日・休業期間中に補講を行う場合がある。次年度の「社会調査実習」と連動した科目になるため、2年間続けての履修が望ましい。
BB16532	社会学演習Va	2	3.0	2 - 4					2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
BB16542	社会学演習Vb	2	3.0	2 - 4	春AB秋AB通年	木6応談	三品 拓人	今年度の前半は、子育て支援の現場研究を元に、質的研究についても理解を深めることを目指す。具体的には戸江哲理著『和みを紡ぐ――子育てひろばの会話分析』の文献購読を行う。後半は、福祉や子どもに関する様々なトピックについて自分で調べたり、広く学ぶことを目指す。具体的には、履修者それぞれが選んだテーマで個人報告を実施し、全体で議論を行う。	対面(オンライン併用型)
BB16552	社会学演習Vc	2	3.0	2 - 4					2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
BB16632	社会学演習VIa	2	3.0	2 - 4				メディアやデザインをテーマにした文化社会学の演習を行う。この演習では文献講読と質的調査(雑誌分析やフィールドワーク)を行う。特にメディアやデザインの歴史的な変遷と現代的な動向の関係に注目する。	2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
BB16642	社会学演習VIb	2	3.0	2 - 4	春AB秋AB通年	月6応談	加島 卓	メディアやデザインをテーマにした文化社会学の演習を行う。この演習では文献講読と質的調査(雑誌分析やフィールドワーク)を行う。特にメディアやデザインの現代的な動向と産業的な構造の関係に注目する。	対面(オンライン併用型)
BB16652	社会学演習VIc	2	3.0	2 - 4				メディアやデザインをテーマにした文化社会学の演習を行う。この演習では文献講読と質的調査(雑誌分析やフィールドワーク)を行う。特にメディアやデザインの産業的な構造と歴史的な変遷の関係に注目する。	2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
BB16832	社会学演習VIIIa	2	3.0	2 - 4				移住者の生活と労働について研究を進めるうちに、一国を単位とした政策の限界と、特に国境を越えた社会政策の可能性についてもっと知りたいと強く考えるようになりました。 国際人口移動の増加や企業のグローバルな展開などにより、国家を単位とした公共政策が社会保障、雇用、所得再分配などのニーズに応えられなくなってきています。こうした「矛盾」を念頭におきながら、社会政策の新たな枠組みについて一緒に考えましょう。社会政策、国際社会学、労働社会学がゼミの主な研究分野となっています。	受講前に担当教員に相談すること。英語と日本語で対応する。 2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BB16842	社会学演習VIIIb	2	3.0	2 - 4	春AB秋ABC通年	金5応談	ウラノ エジソンヨシアキ	移住者の生活と労働について研究を進めるうちに、一国を単位とした政策の限界と、特に国境を越えた社会政策の可能性ついてもっと知りたいと強く考えるようになりました。 国際人口移動の増加や企業のグローバルな展開などにより、国家を単位とした公共政策が社会保障、雇用、所得再分配などのニーズに応えられなくなってきています。こうした「矛盾」を念頭におきながら、社会政策の新たな枠組みについて一緒に考えましょう。 社会政策、国際社会学、労働社会学がゼミの主な研究分野となっています。	受講前に担当教員に相談すること。英語と日本語で対応する。 対面(オンライン併用型)
BB16852	社会学演習VIIIc	2	3.0	2 - 4				移住者の生活と労働について研究を進めるうちに、一国を単位とした政策の限界と、特に国境を越えた社会政策の可能性ついてもっと知りたいと強く考えるようになりました。国際人口移動の増加や企業のグローバルな展開などにより、国家を単位とした公共政策が社会保障、雇用、所得再分配などのニーズに応えられなくなってきています。こうした「矛盾」を念頭におきながら、社会政策の新たな枠組みについて一緒に考えましょう。社会政策、国際社会学、労働社会学がゼミの主な研究分野となっています。	受講前に担当教員に相談すること。英語と日本語で対応する。 2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
BB16932	社会学演習IXa	2	3.0	2 - 4				社会的不平等を扱う社会階層論や貧困・社会的排除に関する実証研究をベースとしたテキスト群を輪読する。人びとが織りなす関係や相互行為に着目した検討をおこなう。	2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
BB16942	社会学演習IXb	2	3.0	2 - 4	春AB秋AB通年	月6応談	森 直人	社会的不平等を扱う社会階層論や貧困・社会的排除に関する実証研究をベースとしたテキスト群を輪読する。教育/労働/福祉といった諸領域の交差・関係を視野に収めた検討をおこなう。	対面(オンライン併用型)
BB16952	社会学演習IXc	2	3.0	2 - 4				社会的不平等を扱う社会階層論や貧困・社会的排除に関する実証研究をベースとしたテキスト群を輪読する。教育/労働/福祉といった諸領域の交差・関係を視野に収めた検討をおこなう。	2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
BB19133	社会調査実習Ia	3	6.0	2 - 4					フィールド調査や実習を休暇中や休日などに行うことがある。社会学研究法Aを履修済か履修中であることが望ましい。 2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
BB19143	社会調査実習Ib	3	6.0	2 - 4	春AB秋AB通年	火6応談	鈴木 彩加	フェミニズムおよびジェンダーに関する社会学的課題をテーマに、質的社会調査を実施する。インタビューや文献・資料収集などを通してデータを収集し、成形、分析、考察へと進む一連のプロセスを学ぶ。調査を通じて、社会現象を自らの問いとして捉え、質的調査の基礎的な技能を身につけることを目指す。	フィールド調査や実習を休暇中や休日などに行うことがある。社会学研究法Aを履修済か履修中であることが望ましい。 対面(オンライン併用型)
BB19153	社会調査実習Ic	3	6.0	2 - 4					2026年度開講せず。
BB19233	社会調査実習IIa	3	6.0	2 - 4					2026年度開講せず。 対面 前年度の「社会学調査実習IIc」と連動した科目になるため、2年間続けての履修が望ましいが、この実習からの履修も可。
BB19243	社会調査実習IIb	3	6.0	2 - 4					2026年度開講せず。 対面 対面(オンライン併用型) 前年度の「社会学演習IV」と連動した科目になるため、2年間続けての履修が望ましいが、この実習からの履修も可(詳細は履修条件欄参照)。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BB19253	社会調査実習IIc	3	6.0	2 - 4					2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型) 週末、夜間、長期休みなどに行われる場合がある現地での実習に積極的に参加すること。

法学

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BB20001	法学概論	1	2.0	1	春AB	火5,6	木山 幸輔	法に対する基本的な考え方を導入する。法の歴史を導入する。法学と他社会科学領域の関係を考えるための導入を行う。	▼社会・国際学群 コア・カリキュラム BC51151と同一。 対面(オンライン併用型) 社会学類・国際総合学類・総合学域群・教職課程履修者以外の学生については履修を認めない。
BB20021	民事法概論	1	2.0	1・2	春C夏季休業中	集中	星野 豊	民事法の存在意義と基本的な性格について、受講者の感覚を基に検討してみる。	CDP 対面(オンライン併用型) 令和9年度より社会学類法学主専攻のカリキュラムを変更するために、令和9年度以降は授業内容が大幅に変更される予定である。よって、令和8年度中に履修することを推奨する。
BB21651	保険法	1	2.0	2 - 4	秋C春季休業中	集中	星野 豊	保険法について学習する。	対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB22001	憲法I	1	2.0	1 - 4	春BC	木3,4	秋山 肇	日本国憲法の人権に関する規定を総合的、かつ批判的に学びます。この授業の主たる言語は日本語です。Students will learn provisions on human rights in the Japanese constitutional law critically. This course's main language of instruction is Japanese.	社会学類を含め、全ての学類・専門学群・学位プログラムの学生の履修を歓迎します。This course welcomes students of both College of Social Sciences and other colleges, schools and programmes. BC11711と同一。 対面(オンライン併用型) 令和9年度より社会学類法学主専攻のカリキュラムを変更するために、令和9年度以降は授業内容が大幅に変更される予定である。よって、令和8年度中に履修することを推奨する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BB22031	憲法II	1	2.0	1 - 4	秋AB	木3,4	秋山 肇	日本国憲法の統治機構に関する規定を総合的、かつ批判的に学びます。この授業の主たる言語は日本語です。Students will learn provisions on the structure of government in the Japanese constitutional law critically. This course's main language of instruction is Japanese.	社会学類を含め、全ての学類・専門学群・学位プログラムの学生の履修を歓迎します。This course welcomes students of both College of Social Sciences and other colleges, schools and programmes. BC11721と同一。 対面(オンライン併用型) 令和9年度より社会学類法学主専攻のカリキュラムを変更するために、令和9年度以降は授業内容が大幅に変更される予定である。よって、令和8年度中に履修することを推奨する。
BB23011	刑法総論	1	3.0	1 - 4	秋ABC	金3,4	蔡 芸琦	刑法の基礎理論及び犯罪論の重要課題に関して、正確な知識を身につけることを目標とする。	対面(オンライン併用型) 令和9年度より社会学類法学主専攻のカリキュラムを変更するために、令和9年度以降は授業内容が大幅に変更される予定である。よって、令和8年度中に履修することを推奨する。
BB23021	刑法各論	1	3.0	2 - 4	春ABC	金3,4	蔡 芸琦	刑法各則の主な犯罪類型の構造について学ぶ。	対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB23511	刑事訴訟法	1	2.0	3・4	春AB	月5,6	周 筱	刑事手続の基本構造を学び、捜査、公判、判決に至るまでの法的枠組みや関連法規の解釈を理解する。また、現代の刑事司法制度が抱える課題についても考察する。	対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB23531	刑事政策	1	2.0	2 - 4	秋AB	月5,6	周 筱	犯罪原因や防止策に関する理論を学びつつ、現行の刑事政策の実情を検討し、効果的な対応策を考察する。	対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB24011	民法総則	1	3.0	1・2	秋ABC	木3,4	篠原 翼	関連する条文及び判例を参考にしつつ,民法総則の基本的素養を身につけ,実生活でも役立てられるようにする。	社会学類を含め、全ての学類・専門学群・学位プログラムの学生の履修を歓迎します。対面(オンライン併用型) 対面(オンライン併用型) 令和9年度より社会学類法学主専攻のカリキュラムを変更するために、令和9年度以降は授業内容が大幅に変更される予定である。よって、令和8年度中に履修することを推奨する。
BB24041	物権	1	3.0	2 - 4	秋ABC	木5,6	篠原 翼	基本的な物権の知識を事例を踏まえながら検討する。	対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BB24071	担保物権	1	3.0	1 － 3	春C夏季休業中	集中	星野 豊	担保物権について検討する。	対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB24101	債権総論	1	3.0	1 － 3	春C夏季休業中	集中	星野 豊	債権総論について検討する。	対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB24131	契約	1	3.0	1・2	春ABC	木3,4	篠原 翼	関連する条文及び判例を参考にしつつ,契約法の基本的素養を身につけ,実生活でも役立てられるようにする。	社会学類を含め、全ての学類・専門学群・学位プログラムの学生の履修を歓迎します。対面(オンライン併用型) 対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB24161	事務管理・不当利得・不法行為	1	3.0	1 － 3	秋C春季休業中	集中	星野 豊	事務管理・不当利得・不法行為について検討する。	対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB24231	親族・相続	1	3.0	1 － 3	秋C春季休業中	集中	星野 豊	親族及び相続について検討する	対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB24241	信託法	1	2.0	3・4	春C夏季休業中	集中	星野 豊	信託法に関する問題点を検討する。	対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB25001	商法I	1	2.0	2・3	秋AB	火5,6	楠 茂樹	企業の取引と組織を理解する上での前提となる、商法総則・商行為分野を解説する。同じ取引や組織でも「商業」として行われる取引や組織は民法の世界とどう異なるのか。「商い」とは何か、「商法」とは何か、といった根本問題から議論を始め、商法総則・商行為分野の個々の法的規律の内容を解き明かす。授業は講義形式で行われるが、受講生とのやりとりも重視する。担当教員から指示された文献、資料等を事前に読み込み授業に臨んでください。質疑応答等の授業への貢献、指定された提出物の内容によって成績評価を行います。	社会学類を含め、全ての学類・専門学群・学位プログラムの学生の履修を歓迎します(ただ、商法の基礎となる民法の基本的知識を持ち合わせていることを前提とします)。 対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB25011	経済法	1	2.0	2 － 4	秋AB	火3,4	楠 茂樹	この授業では、独占禁止法の全般的解説を行う。具体的には、(1)不当な取引制限、(2)私的独占、(3)不公正な取引方法、(4)反競争的な企業結合、(5)事業者団体の反競争的行為、の禁止規定の5つの柱、そして(6)適用除外規定、(7)公正取引委員会の組織、(8)行政処分、(9)刑事制裁、(10)民事救済、(11)公正取引委員会によるアドボカシー(競争唱導)活動を扱う。関連で、(12)下請法、(13)景品表示法、(14)官製談合防止法も講義する。なお、昨今社会問題化している入札不正について5回の講義を予定している。 授業は講義形式で行われるが、受講生とのやりとりも重視する。担当教員から指示された文献、資料等を事前に読み込み授業に臨んでください。質疑応答等の授業への貢献、指定された提出物の内容、プレゼンテーション(受講生による報告)によって成績評価を行います。	社会学類を含め、全ての学類・専門学群・学位プログラムの学生の履修を歓迎します(ただ、日本国憲法、民法、刑法の基本的知識を持ち合わせていることが望ましい)。 対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BB25081	会社法	1	3.0	2 - 4	春C夏季休業中	集中	星野 豊	会社法について学習する	令和4年度まで開講されていた「会社法I」「会社法II」とは、重ねて卒業要件単位として算入できない 対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB25191	金融商品取引法	1	2.0	2 - 4	秋C春季休業中	集中	星野 豊	金融商品取引法について学習する。	令和4年度まで開講されていた「金融商品取引法I」「金融商品取引法II」とは、重ねて卒業要件単位として算入できない 対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB26151	民事訴訟法A	1	3.0	3	春C夏季休業中	集中	星野 豊	民事訴訟法について概説する。	「BB26001 民事訴訟法I」と「BB26031 民事訴訟法II」の双方を履修済みの学生は履修不可。 対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB26181	民事訴訟法B	1	3.0	1 - 3	秋C春季休業中	集中	星野 豊	執行法、倒産法、保全法について検討する。	「BB26131 執行・倒産・保全法」を履修済みの学生は履修不可。 対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB27041	スポーツ法	1	2.0	2 - 4	春AB	火3,4	篠原 翼	越境的に展開するスポーツを規律する法として理解されるスポーツ法を軸に,スポーツに関連する国際条約から形成される国際スポーツ法,EU法や欧州司法裁判所の判例によって形成されるEUスポーツ法,国内法によって形成される国内スポーツ法を包括的に学習する。	社会学類を含め、全ての学類・専門学群・学位プログラムの学生の履修を歓迎します。対面(オンライン併用型) 対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB27061	学校トラブルと法	1	1.0	1 - 4	秋C	集中	星野 豊	学校で生じているトラブルに対して、法的手段がどのように機能し、あるいは機能しないのかを検討する。	対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB27554	法哲学	4	2.0	2 - 4				法哲学における基本的立場および論点について概説する。対話技法の練習を行う。	2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
BB27574	法哲学特論	4	2.0	2 - 4				法哲学および関連分野における特定テーマについて講義・討論する。	来年度以降開講しない可能性がある。受講を希望する者は、事前に問い合わせをすること。 2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BB28001	国際関係法入門	1	2.0	2 - 4	春AB	木5,6	篠原 翼	国際公法と国際私法の基本知識を学び,その全体像を理解する。	こちらの授業は社会学類の学生向けに設計されております。その他の学群・学類・プログラムに所属する学生も「国際公法」および「国際私法」に興味ある学生は歓迎します。 対面(オンライン併用型) 対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB28031	国際法I	1	2.0	2 - 4	春AB	木3,4	鈴木 悠	この講義では、国際法の中でも、特に国際人権法に関する国際法に焦点を当てる。現在、人権は国内外において最も重要な問題の一つとなっている。各国の国内判例、国際裁判所の判例、国連の人権理事会や条約機関の決定や一般的意見、欧州、米州およびアフリカの地域的な人権保障制度の決定や判例などを通して、国際的な人権保障の現状と課題について理解を深める。また、管轄権免除、国際刑事法、国家責任法、国際紛争処理についても学ぶ。	原則として社会・国際学群の学生に限る。 西暦偶数年度開講。 BC11081と同一。 対面 「国際組織法」と隔年開講
BB28071	International Human Rights Law	1	2.0	2 - 4	秋C	火1,2 木3,4	秋山 肇	This course is composed of three parts. Part I “Invitation to International Human Rights Law” covers the basics of humanity, international society and international law. Part II “Basics of International Human Rights Law” discusses the basics of international human rights law such as the Universal Declaration of Human Rights and International Covenants on Human Rights. Part III “Issues” deals with issues in international human rights law such as women, children, refugees and stateless persons. In the third part, students may be required to make an oral presentation depends on the number of students.	This course welcomes native and non-native English speakers of both Undergraduate Program of International Social Studies (TISS) of the School of Social and International Studies and other colleges and programmes. BE22391と同一。 英語で授業。 対面
BB28091	国際組織法	1	2.0	2 - 4				国際組織設立文書である国際連合憲章に基づき創設され、国際共同社会における人権保障や安全保障、地球環境保護等に関わる国際連合その他の国際組織体ないしレジームの現代的な展開につき、国際法学の視点から総論的な解説を行う。	西暦奇数年度開講。 BC11071と同一。 対面 原則として社会・国際学群の学生に限る。
BB28204	開発法学	4	1.0	2 - 4	春C	火3,4	中空 萌	法と開発をめぐる理論的・実践的課題とこれからの可能性について、様々な国、社会、現場の「法」を見つめてきた文化人類学の視点から考えます。	対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB28211	法人類学	1	2.0	2 - 4	秋AB	火3,4	中空 萌	法人類学と聞いて、すぐにイメージが浮かぶ人は多くないと思います。この授業では、法律の条文や判例の解釈ではなく、世界各地の多様な社会や現場でのフィールドワークを通して「法とは何か」を問いなおす、この分野の基本的な考え方と最近の展開について学びます。	対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB28811	スイス法	1	1.0	2 - 4	秋C	火3,4	篠原 翼	スイス連邦は非常に小さい国であるが,金融や国際仲裁の中心地であり,国際機関や国際スポーツ連盟,国際NGOが数多く本部を置いている。このようにして世界的に重要な国として位置付けれているスイス連邦の法制度や政治制度の基本知識を身につけ,日本との関わりを理解することを目的する。	社会学類を含め、全ての学類・専門学群・学位プログラムの学生の履修を歓迎します。英語を使用する可能性があります。 対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BB28834	比較憲法	4	1.0	2 - 4	春C	木5,6	秋山 肇	世界各国の憲法を批判的に学びます。この授業の主たる言語は日本語です。Students will learn various constitutional laws critically. Main language of instruction of this course is Japanese.	社会学類を含め、全ての学類・専門学群・学位プログラムの学生の履修を歓迎します。This course welcomes students of both College of Social Sciences and other colleges, schools and programmes. 対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB28841	平和と法	1	2.0	1 - 4	春C夏季休業中	集中	秋山 肇	法の視点を踏まえて平和の定義を検討し、さまざまな事例を取り上げながら平和を実現する方法を議論する。 This course examines definitions of peace referring the a legal perspective and discusses the way to realise peace with the discussion on many cases.	社会学類を含め、全ての学類・専門学群・学位プログラムの学生の履修を歓迎します。This course welcomes students of both College of Social Sciences and other colleges, schools and programmes. 7/11, 8/17-19 対面(オンライン併用型) 第1回から第5回は、7/11 10:10-18:00(適宜休憩時間をとる)にオンライン(同時双方向を原則とするが、録画の視聴も可能)で実施予定。第6回から第20回は、8/17-8/19(各日10:10-18:00、適宜休憩をとる)に対面を予定。 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB28851	国籍・無国籍と法	1	2.0	2 - 4	春C	火5,6 木1,2	秋山 肇	歴史を踏まえ、国籍・無国籍に関連する国内法・国際法を検討し、グローバル時代における国籍の役割を議論する。 This course examines national and international law related to nationality and statelessness referring to history and discusses the role of nationality in this globalised era.	社会学類を含め、全ての学類・専門学群・学位プログラムの学生の履修を歓迎します。This course welcomes students of both College of Social Sciences and other colleges, schools and programmes. 対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB28861	デジタル社会と法	1	2.0	2 - 4	秋C春季休業中	集中	篠原 翼	現代社会におけるテクノロジーと法の関係性を考える。	社会学類を含め、全ての学類・専門学群・学位プログラムの学生の履修を歓迎します。 2/15-19 対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BB29002	憲法演習I	2	2.0	3・4	春AB	木5,6	秋山 肇	自らの問題意識に基づいて、日本国憲法や他国の憲法に関わる諸問題について研究します。この授業の主たる言語は日本語ですが、必要に応じて英語を使用することがあります。Students will conduct research on constitutional law based on their interests. This course's main language of instruction is Japanese, but English may be occasionally used if necessary.	社会学類を含め、全ての学類・専門学群・学位プログラムの学生の履修を歓迎します。This course welcomes students of both College of Social Sciences and other colleges, schools and programmes. 西暦偶数年度開講。 対面 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB29012	憲法演習II	2	2.0	3・4	秋AB	木5,6	秋山 肇	憲法及び法を包括的かつ批判的に分析するための理論や現象を学んだ上で、自らの問題意識に基づいて、日本国憲法や他国の憲法に関わる諸問題について研究します。この授業の主たる言語は日本語ですが、必要に応じて英語を使用することがあります。After introducing theories and perspectives to examine constitutional law and law in general critically, students will conduct research on constitutional law based on their interests. This course's main language of instruction is Japanese, but English may be occasionally used if necessary.	社会学類を含め、全ての学類・専門学群・学位プログラムの学生の履修を歓迎します。This course welcomes students of both College of Social Sciences and other colleges, schools and programmes. 西暦偶数年度開講。 対面 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB29022	憲法演習III	2	2.0	3・4				自らの問題意識に基づいて、日本国憲法や他国の憲法に関わる諸問題について研究します。この授業の主たる言語は日本語ですが、必要に応じて英語を使用することがあります。Students will conduct research on constitutional law based on their interests. This course's main language of instruction is Japanese, but English may be occasionally used if necessary.	社会学類を含め、全ての学類の学生の履修を歓迎します。This course welcomes students of both College of Social Sciences and other colleges. 西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
BB29032	憲法演習IV	2	2.0	3・4				憲法及び法を包括的かつ批判的に分析するための理論や現象を学んだ上で、自らの問題意識に基づいて、日本国憲法や他国の憲法に関わる諸問題について研究します。この授業の主たる言語は日本語ですが、必要に応じて英語を使用することがあります。After introducing theories and perspectives to examine constitutional law and law in general critically, students will conduct research on constitutional law based on their interests. This course's main language of instruction is Japanese, but English may be occasionally used if necessary.	社会学類を含め、全ての学類の学生の履修を歓迎します。This course welcomes students of both College of Social Sciences and other colleges. 西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
BB29042	国際法演習I	2	2.0	3・4				国際法の視点から国際社会で発生する諸事象を考える。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
BB29052	国際法演習II	2	2.0	3・4				国際法の視点から国際社会で発生する諸事象を考える。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
BB29112	刑法演習I	2	2.0	3・4				刑法に関する社会問題について議論することを通じて、刑法についての理解を深めるとともに、異なる考えを持った人を説得する力を身につけることを目標とする。	刑法総論及び刑法各論を履修していること。 西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
BB29132	刑法演習II	2	2.0	3・4				刑法に関する社会問題について議論することを通じて、刑法についての理解を深めるとともに、異なる考えを持った人を説得する力を身につけることを目標とする。	刑法総論及び刑法各論を履修していること。 西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BB29142	刑法演習III	2	2.0	3・4	春BC	月3,4	蔡 芸琦	刑法に関する社会問題について議論することを通じて、刑法についての理解を深めるとともに、異なる考えを持った人を説得する力を身につけることを目標とする。	刑法総論及び刑法各論を履修していること。 西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB29152	刑法演習IV	2	2.0	3・4	秋BC	月3,4	蔡 芸琦	刑法に関する社会問題について議論することを通じて、刑法についての理解を深めるとともに、異なる考えを持った人を説得する力を身につけることを目標とする。	刑法総論及び刑法各論を履修していること。 西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB29362	民法演習III	2	4.0	3・4	通年	応談	星野 豊	民法に関する問題点を多様な角度から検討する。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB29372	民法演習IV	2	4.0	3・4				民法に関する問題点を多様な角度から検討する。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
BB29382	信託法演習	2	4.0	3・4	通年	応談	星野 豊	信託法に関する問題点を多様な角度から検討する。	対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB29392	裁判技術論演習	2	4.0	3・4	通年	応談	星野 豊	紛争の解決とは何かについて、理論的実践的に検討する。	対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB29521	商法演習V	1	4.0	3・4	春ABC夏季休業中 秋ABC春季休業中	応談	星野 豊	商法に関する専門的課題について議論する。	対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB29532	経済法演習I	2	2.0	3・4				この演習では、入札不正に焦点を当てて、独占禁止法(さらには刑法、官製談合防止法)の適用のあり方について研究する。入札不正もいわゆる「談合型」といわれる業者間の競争制限の合意から、昨今では「抜け駆け型」といわれる、特定の業者のみが(を)有利になる(する)タイプの不正が目立つようになり、「官製談合」の概念もその変化に対応して拡大してきた。この演習では、入札不正の歴史的変遷を踏まえつつ、関連する法令における諸課題の現代的展開を討究する。受講生には予め指示された文献を読み込むこと、全員参加で徹底した討論を行うことを求める。	社会学類を含め、全ての学類・専門学群・学位プログラムの学生の履修を歓迎します(ただ、経済法や刑法の基本的知識があることを前提とします)。 西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
BB29582	経済法演習II	2	2.0	3・4				この演習では、「官製談合と官製談合防止法を研究する」という統一テーマの下、毎回取り上げるトピックについて徹底した自由討議を行うことを内容とするものである。「同業者同士でひとたび会合を持つならば、価格引き上げの企てに至る」とのアダム・スミスの言葉からも分かるように、競争制限の抑止は洋の東西を問わず長い間、問われ続けてきた課題である。そして官製談合は被害者である発注者側の関与が存在する競争制限の特殊形態である。この演習では「被害者側による犯罪への関与」の背景事情と対応策を徹底的に討論する。	社会学類を含め、全ての学類・専門学群・学位プログラムの学生の履修を歓迎します。 西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BB29592	経済法演習III	2	2.0	3・4	春C	火5,6 金3,4	楠 茂樹	冷戦構造崩壊後の資本主義経済制度の哲学的、思想的基礎を研究する。	社会学類を含め、全ての学類・専門学群・学位プログラムの学生の履修を歓迎します(ただ、経済法や刑法の基本的知識があることを前提とします)。 西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB295A2	経済法演習IV	2	2.0	3・4	秋C	火5,6 金3,4	楠 茂樹	ビジネス社会における諸法令の関係を広く扱い、経済学や政策学といった隣接学問分野等、多角的な観点からの研究を進める。	社会学類を含め、全ての学類・専門学群・学位プログラムの学生の履修を歓迎します(ただ、経済法や刑法の基本的知識があることを前提とします)。 西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB29752	スポーツ法/Eスポーツ法演習I	2	2.0	2 - 4	春AB	火5,6	篠原 翼	スポーツ法/Eスポーツ・ゲーム法について多角的な視点から学ぶ。	社会学類を含め、全ての学類・専門学群・学位プログラムの学生の履修を歓迎します。対面(オンライン併用型)。 西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB29762	スポーツ法/Eスポーツ法演習II	2	2.0	2 - 4	秋AB	火5,6	篠原 翼	スポーツ法/Eスポーツ・ゲーム法について多角的な視点から学ぶ。	社会学類を含め、全ての学類・専門学群・学位プログラムの学生の履修を歓迎します。対面(オンライン併用型)。 西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB29862	法哲学演習III	2	2.0	3・4				法哲学に関する文献の輪読や、研究報告や哲学対話等を行う。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
BB29872	法哲学演習IV	2	2.0	3・4				法哲学に関する文献の輪読や、研究報告や哲学対話等を行う。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
BB29912	刑事政策と法演習I	2	2.0	3・4	春AB	火5,6	周 筱	少年犯罪、高齢者犯罪、女性犯罪など具体的な犯罪を題材に、犯罪要因や処遇政策について討論する。これにより、現行刑事政策の実情を深く理解し、その課題を分析する。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BB29922	刑事政策と法演習II	2	2.0	3・4	秋AB	火5,6	周 筱	少年犯罪、高齢者犯罪、女性犯罪など具体的な犯罪を題材に、犯罪要因や処遇政策について討論する。これにより、現行刑事政策の実情を深く理解し、その課題を分析する。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB29932	刑事政策と法演習III	2	2.0	3・4				少年犯罪、高齢者犯罪、女性犯罪など具体的な犯罪を題材に、犯罪要因や処遇政策について討論する。これにより、現行刑事政策の実情を深く理解し、その課題を分析する。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
BB29942	刑事政策と法演習IV	2	2.0	3・4				少年犯罪、高齢者犯罪、女性犯罪など具体的な犯罪を題材に、犯罪要因や処遇政策について討論する。これにより、現行刑事政策の実情を深く理解し、その課題を分析する。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
BB29952	法人類学演習I	2	2.0	3・4				「法」と「文化人類学」の掛け算である法人類学について、古典と最新の文献の講読とディスカッション、受講生自らの問題意識に即して行うフィールドワークを通して理解を深めます。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
BB29962	法人類学演習II	2	2.0	3・4				「自然の権利」や「AIと法」といった新しいトピックへの法人類学や他の分野の理論的視点を学びます。その上で、関連する法の現場での集中的なフィールドワーク、関係者へのインタビューを実施し、実践的にこれらの問題を考えることを目指します。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
BB29972	法人類学演習III	2	2.0	3・4	春BC	木3,4	中空 萌	「法」と「文化人類学」の掛け算である法人類学について、古典と最新の文献の講読とディスカッション、ミニフィールドワークを通して理解を深めます。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB29982	法人類学演習IV	2	2.0	3・4	秋C 春季休業中	木3,4 応談	中空 萌	「自然の権利」や「AIと法」といった新しいトピックへの法人類学や他の分野の理論的視点を学びます。その上で、関連する法の現場での集中的なフィールドワーク、関係者へのインタビューを実施し、実践的にこれらの問題を考えることを目指します。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型) 令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。
BB29998	卒業論文	8	4.0	4	通年	随時	法学主専攻全教員		対面(オンライン併用型) 指導教員の指示に従うこと。令和9年度以降は、社会学類法学主専攻のカリキュラム変更のため、開講されない予定。

政治学

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BB31011	政治学概論	1	2.0	1・2	春AB	火1,2	山本 英弘	政治学の入門的な講義を行う。政治学を専門的に学んでいくために必要な理論や概念等を概説する。また、国際的な視点から政治の多様性について考察する。	旧科目名「政治学」。「政治学」の単位取得者は履修不可。 対面 対面(オンライン併用型) 主専攻必修科目。
BB31031	国際政治史	1	2.0	1・2	秋AB	木5,6	南山 淳	本講義では、ヨーロッパにおける30年戦争終結後のウエストファリア・システムの成立から21世紀に至るまでの国際政治秩序をめぐる歴史構造と、その変動過程について、戦争と平和のサイクルという巨視的な視点から検討する。	旧科目名「政治外交史」。「政治外交史」の単位取得者は履修不可。 BC11651と同一。 対面 主専攻必修科目。
BB31102	政治学外書講読I(英語)	2	1.0	2・3	春AB	火5	崔 宰栄	政治学に関する英語文献を講読する。	対面 社会学類の学生の受講を優先する。
BB31131	比較政治学	1	2.0	2 - 4	秋AB	月1,2	鈴木 創	比較政治学の主要な理論や概念を紹介し,各国の現実の政治がどのように位置づけられるかを考察する。	西暦偶数年度開講。 対面
BB31141	アメリカの政治	1	2.0	2 - 4				アメリカの政治制度と政治過程の特質を,主として国内政治に焦点を置いて論じる。	西暦奇数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BB31151	国際政治学	1	2.0	2 - 4				「社会科学」としての国際政治学と現実の国際政治現象は不可分の関係にあるという観点から現代国際政治の展開を体系的に論じる。	西暦奇数年度開講。 対面
BB31171	国際関係史序説	1	2.0	1 - 3	春AB	木5,6	大友 貴史	19世紀から20世紀なかばまでの国際関係の展開を分析します。主に三十年戦争、ヨーロッパ協調、第一次世界大戦、第二次世界大戦について考察します。	BC51031と同一。 対面 原則として国際及び社会の学生のみ履修可
BB31201	国際安全保障論	1	2.0	3・4	春AB	木5,6	南山 淳	グローバル化する安全保障政治の構造的特質について、安全保障研究の新しい動向を踏まえながら、理論的に検証する。	平成30年度までの「国際紛争論I」(BB31181)および「国際紛争論II」(BB31191)の要所に対応。「国際紛争論I」または「国際紛争論II」の単位取得者は履修不可。 西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
BB31231	地方自治論	1	2.0	2 - 4	秋AB	月4,5	河合 晃一	本授業は地方自治に関する基礎的概念や理論、基本的な地方政治・行政に関する制度等を中心に講義する。具体的には、国と地方自治体の関係(中央・地方関係)や統治機構としての地方自治体、地方自治体の組織・人事管理に関わる仕組みについて、そして住民と行政の関係といったトピックを主に扱い、これらに関する制度や理論を踏まえながら地方自治の実態を捉え説明するための力を養うことが本授業の目的である。	西暦偶数年度開講。 対面
BB31241	行政学	1	2.0	2 - 4				本授業は行政学の基礎的概念や理論、基本的な政治・行政制度等を中心に講義する。具体的には、官僚(公務員)の行動様式や行政活動に関わるルールとしての制度、そして行政組織の組織・人事管理に関わる仕組みについて、理論を踏まえながら行政の実態を捉え説明するための力を養うことが本授業の目的である。	西暦奇数年度開講。 BC11731と同一。 対面
BB31321	日本政治思想	1	2.0	2 - 4				「昭和」期の知識人の言動を題材にして,今日的問題がいかにして形成されてきたかを考える。	西暦奇数年度開講。 BC11621と同一。 2026年度開講せず。 対面
BB31371	現代日本外交史	1	2.0	3・4				主に占領期から現代までの日本の対外関係の展開を国内政治経済の変動と国際環境の変化のなかで考察する。	西暦奇数年度開講。 BC11041と同一。 対面(オンライン併用型)
BB31451	アジアの国際関係	1	2.0	2 - 4	春AB	木3,4	外山 文子	今日のアジアは大きなパラダイム転換を向かえている。第二次世界大戦以後、アジア諸国は米国と共産主義国との間で展開された冷戦の枠組みの中で自らの命運を左右されてきた。冷戦が終結した1990年代以降は、米国による人権保護推進、民主化促進といった国際的潮流の中で民主化が進展した。ところが21世紀に入ってから、地域全体に権威主義化の流れが出来つつある。背後には中国の政治経済的影響力の拡大が存在する。本講義では、アジア地域の政治や国際関係をいかに理解すべきかについて学ぶ。	BC11221と同一。 対面 新型コロナの状況などによって、対面もしくはオンライン(オンデマンド型)での実施。
BB31461	アジア政治	1	2.0	2 - 4	秋AB	火3,4	茅根 由佳	本講義はインドネシアを中心に、20世紀初頭から現代までの東南アジア各国政治、経済、社会について理解を深めることを目的とする。講義では、植民地独立から現代までの政治史を検討するにあたって重要な時代毎の争点について知識を深める。また政治指導者だけでなく、反体制派や知識人の視点からも各時代を照射することで、多角的に東南アジアの政治史を捉えたい。	BC11021と同一。 対面(オンライン併用型)
BB31471	東アジア国際関係史	1	2.0	2 - 4	通年	応談		この講義の狙いは,19世紀から現代までの東アジア国際秩序の変遷を概観し,東アジアの国際関係の現状についての理解を深めることにある。授業では、国際関係をより深く理解するための、いくつかの理論的枠組みを紹介する。	BC11231と同一。 詳細後日周知 2026年度開講未定
BB31481	現代中国研究	1	2.0	2 - 4	通年	応談		この講義の目的は,中国政治とそれを取り巻くアジア太平洋のダイナミズムに接近するために、必要な基本知識と分析視覚を提供することです。具体的には、中国の政治体制、体制の継続と変容、そして国際政治における中国の役割という3つの柱を中心に分析を進めます。	BC11051と同一。 詳細後日周知 2026年度開講未定

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BB31491	計量分析入門	1	2.0	2 - 4	秋AB	月2 木3	崔 宰栄	計量分析は、社会のさまざまな分野における現象や実態を取り巻く膨大な情報をもとに、物事の意味付け、簡略化、客観化、推定などを行うための分析手法であり、社会科学をはじめとする多くの分野で用いられている。 本授業では、計量分析を正しく理解し活用するために必要な基礎統計の概念と考え方について講義する。具体的には、基礎集計や記述統計といった統計の基本概念から、相関分析・回帰分析などの関連分析の初歩までを扱い、社会現象を数量的に捉えるための基礎的な分析力を身につけることを目的とする。	BB41651と同一。 対面
BB31501	国境を越える政治	1	2.0	2 - 4	春AB	火4,5	明石 純一	本授業では、政治学や国際関係論の理論的基礎を踏まえつつ、現代の移民や難民、国籍や市民権、エスニシティやディアスポラといった諸問題の考察を通じて、今日の国際社会の理解を深める。	西暦偶数年度開講。 G科目 対面
BB31502	政治学外書講読II(英語)	2	1.0	2・3	秋AB	火5	崔 宰栄	政治学に関する英語文献を講読する。	社会学類の学生の受講を優先する。 対面
BB31531	国際政治経済学	1	2.0	2 - 4				本授業では、国際政治経済学の視点から、グローバルなテーマや課題の考察を通じて、現代社会の理解を深める。ここでいうグローバルなテーマや課題には、戦争と平和、紛争と難民、人間の安全保障、人権・人道レジーム、グローバルガバナンス、貧困と開発、国連SDGs、科学技術、国際交流・異文化理解、ソフトパワーなど、多様な事柄が含まれる。本授業では、政治と経済、あるいは国家と市場の関係や、アクター(政府、国際機関、多国籍企業、NGO等)間の相互作用に目を向け、時の情勢に応じて様々な具体的事例を取り上げながら、現代社会のあり様を多角的に検討していく。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
BB31541	ヨーロッパの国際関係	1	2.0	2 - 4	春AB	金3,4	東野 篤子	なぜ第二次世界大戦後の欧州諸国は統合の道を選んだのか。本講義では、単一市場や単一通貨などを生み出した欧州連合(EU)が、どのような歴史的系を辿って発展してきたのかを時系列的に検討する。	原則的対面実施、場合によってはオンライン実施となることがある。 BC11241と同一。 対面(オンライン併用型)
BB31551	ヨーロッパ政治	1	2.0	2 - 4	秋AB	金3,4	東野 篤子	欧州諸国の政治と外交について、西欧、南欧、北欧、中・東欧、東欧等の区分毎に解説していく。欧州連合(EU)および北大西洋条約機構(NATO)に加盟する欧州諸国が本講義での主な対象となるが、それ以外の諸国についても解説する。	原則対面実施、場合によってはオンライン実施となることがある。 BC11291と同一。 対面(オンライン併用型)
BB31581	政治変動論	1	2.0	1 - 3	春AB	月2,3	茅根 由佳	本講義は権威主義体制の持続や民主化など、主に発展途上国における政治体制の変動について理解を深めることを目的とする。構造・制度・アクターという3つの側面に注目した理論的枠組みを踏まえて、政治変動が生じる要因を説明する。毎回の授業では、政治変動の各局面に関連する主要な政治理論を取り上げ、個別の政治発展の事例について検討していく。	BC51171と同一。 対面(オンライン併用型)
BB31631	市民社会論	1	2.0	2 - 4	秋AB	火1,2	大倉 沙江	本講義は、市民社会の実態と機能について概説をし、市民社会の基礎理論と日本を中心とした先進諸国の現状について学習することを目的とする。とくに経済団体、農業団体、労働団体、政治団体、市民団体など市民社会を構成する諸組織を取り上げ、それらが政治や社会の在り方にどのようなインパクトを与えているのかについて考える。	西暦偶数年度開講。 BC11301と同一。 対面(オンライン併用型)
BB31641	政治参加論	1	2.0	2 - 4				本講義は、投票、選挙活動、地域活動、役職者との接触など、政治参加の基礎的な概念を紹介し、受講生が政治現象を理解するための一助となることを目標とする。とくに、戦後日本人の政治参加の特質を国際比較の観点から考察し、それが日本における統治のあり方にどのようなインパクトを与えてきたのかについて解説を行う。	西暦奇数年度開講。 BC11601と同一。 対面(オンライン併用型)
BB31902	政治学入門演習	2	2.0	2	春AB秋AB	金5	山本 英弘,崔 宰栄	政治学の基礎概念について,2年生を対象として,政治学研究への入門指導を2期に分けて行う。	社会学類の学生の受講を優先する。 対面 旧科目番号BB32122。「政治学入門演習」の単位取得者は履修不可。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BB31998	卒業論文	8	6.0	4	通年	随時	政治学主専攻全教員		対面(オンライン併用型)
BB32402	政治学演習I	2	2.0	3	春AB秋AB	応談	政治学主専攻全教員	政治学の専門的なテーマについて演習形式で指導を行う。	対面
BB32412	政治学演習II	2	2.0	3	春AB秋AB	応談	政治学主専攻全教員	政治学の専門的なテーマについて演習形式で指導を行う。	対面
BB32422	政治学演習III	2	2.0	4	春AB秋AB	応談	政治学主専攻全教員	政治学の専門的なテーマについて演習形式で指導を行う。	対面
BB32432	政治学演習IV	2	2.0	4	春AB秋AB	応談	政治学主専攻全教員	政治学の専門的なテーマについて演習形式で指導を行う。	対面

経済学

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BB41051	経済学基礎論	1	2.0	1・2	春AB	木3,4	福住 多一	ミクロ経済学とマクロ経済学の初級レベルの内容を講義する。	原則、社会・国際学群および総合学域群の学生のみ履修可能。その他の学生は初回に相談してください。 対面
BB41061	現代経済史	1	2.0	1・2	春AB	金5,6	田中 醇	社会は人々の間の約束事です。過去から現在まで社会は変化してきました。現代の社会のルールも過去の社会のルールの中から生み出されてきました。これからの社会のルールも今の社会から生み出されるはずです。過去から現在までの社会のルールの変遷を学ぶことで、これからの社会がどうなるかを考えてみましょう。	社会学類以外の学生については,受講者の制限を行うことがあります。 日本語での講義です。
BB410A1	現代金融概論	1	1.0	1 - 4	秋C	集中	高橋 秀直,福住 多一,屋敷 利紀	金融の実像、金融・貨幣の将来、そして経済学とゲーム理論の視点に基づいた文理融合型の金融リテラシーを、バランスよく身につける.	オンライン(対面併用型)
BB41101	基礎経済数学	1	2.0	1・2	秋AB	木3,4	福住 多一	高校1・2年生レベルの数学の復習をしつつ、それらがどのように経済学に応用されるのかを講義する。内容は、1次関数と競争市場、2次関数と寡占市場、数列と貯蓄、級数と割引現在価値、ベクトルと予算制約、1変数関数の微分と利潤最大化、多変数関数の微分と効用最大化である。多変数関数の微分は、高校1・2年生レベルよりも、わずかに進んだ内容であるため、詳しく解説する。	原則、社会・国際学群および総合学域群の学生のみ履修可能とします。その他の学生は、初回に相談してください。 BC11971と同一。 対面
BB41131	ミクロ経済学	1	2.0	2・3	春AB	月3,4	福住 多一	経済理論の基礎である市場メカニズムの基本的な性質を講義する。初級から中級レベルのミクロ経済学の講義によって、競争市場における消費者・生産者の理論,部分均衡理論,一般均衡理論をカバーする。	BC11861と同一。 対面
BB41141	マクロ経済学	1	2.0	2・3	秋AB	月3,4	福住 多一	マクロ経済学理論の基本を講義する。基礎(家計の消費・貯蓄行動,企業の設備投資行動,資産・金融市場),長期理論(閉鎖経済の均衡,開放経済の均衡,ソローの経済成長モデル),短期理論(労働市場の理論,IS-LM・総需要総供給モデル,開放経済のマンデル・フレミングモデル)をカバーする。	BC11871と同一。 対面
BB41161	実証分析入門	1	2.0	2 - 4	春AB	火5,6	藤本 丈史	本講義では、計量経済学の基礎理論を解説し、社会科学における統計的因果推論を学習する。また、Stataという統計ソフトを用いて、計量経済学の各手法を実際のデータ分析に用いる。	2021年度までの経済統計論に該当する。 対面
BB41171	ゲーム理論入門	1	2.0	1・2	春AB秋AB	金3	福住 多一	ゲーム理論の基本を,経済学・政治学・法学・社会学への応用例を交えて講義する。戦略形・展開形によるゲームの表現方法,ナッシュ均衡点・部分ゲーム完全均衡点・ベイジアンナッシュ均衡点・完全ベイジアン均衡点をカバーする。	履修希望者が多数の場合、社会・国際学群および総合学域群に所属していない学生に対しては、履修制限をする場合があります。 対面
BB41181	公共政策分析	1	2.0	2 - 4	春AB	木1,2	内藤 久裕	このクラスでは、標準的な財政学(Public Finance)を講義することによって、財政政策、公共政策を分析し、これらの政策はどのような効果があるのか、その政策にともなうコストはどのようなものかを分析します。また望ましい政策のあり方も議論します。トピックは、政策評価の理論的基準、統計的手法、国債政策、公共財、外部性、投票制度、所得再分配、労働政策(最低賃金、解雇規制)、年金政策、医療政策です。	西暦偶数年度開講。 BC11451と同一。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BB411A1	金融論	1	2.0	2 - 4	春AB	金5,6	髙橋 秀直	本講義は、金融の基本的な概念を体系的に学ぶ科目である。 金融市場の仕組みや理論を理解するために必要な基礎を身につけ、 現代社会における金融現象を分析できる力を養うことを目的とする。	対面
BB41201	情報と契約の経済学	1	2.0	2 - 4	秋AB	金3,4	颯々野 大志	ミクロ経済学・ゲーム理論を用い、情報の非対称性を伴う状況下で経済主体のインセンティブを考慮した適切な制度設計について講義する。モラルハザード、逆選択、不完備契約をカバーする。株主と経営者、雇用主と被雇用者、メーカーとサプライヤー、これらの間の契約などを例に取り上げる。	対面
BB41231	現代経営史	1	2.0	2 - 4	秋AB	火3,4	田中 醇	日本の商家経営や株式会社の定着過程・財閥の形成などを通して、日本の企業組織の成立とその意義、現代の企業組織が成立する歴史的背景への理解を深めることを目標とする。適宜、アメリカやイギリスなどとの比較を交えながら講義を行っていく。	対面
BB41271	公共経済学	1	2.0	2 - 4				「市場の失敗」と呼ばれる現象の発生原因を解明し、その解消策を考えるのが公共経済学の基本的な課題である。具体的には、外部性、公共財、非凸性、不確実性から生ずる市場の失敗とその解消法、および集団的意思決定についての規範的理論について講義する。	西暦奇数年度開講。 BC11751と同一。 オンライン(オンデマンド型) オンライン(同時双方向型)
BB41301	経済数学	1	2.0	2・3	春AB	木5,6	福住 多一	基礎経済数学から引き続き、経済理論への数学の応用の仕方を講義する。行列の計算・確率・積分および、それらの経済学への応用例を紹介する。	原則、社会・国際学群の学生のみ履修可能。その他の学生は、初回に相談してください。 BC11981と同一。 対面
BB41341	計量経済学	1	2.0	2 - 4	春AB	水1,2	髙橋 裕紀	計量経済学の基礎となる回帰分析の理論を講義する。統計学(統計的推定・仮説検定)・微分積分学(偏微分)などの知識を前提とする。	計量分析システムエリア FH26021と同一。 対面(オンライン併用型)
BB41361	日本経済論	1	2.0	2 - 4	秋C	火・木2,3	平沢 照雄	日本経済の現状について,企業経営の改革,情報化・知識経済化の進展といった側面に注目しつつ明らかにする。	対面
BB41391	日本経済史	1	2.0	2 - 4				日本経済における経済的規制および社会的規制(労働条件)について歴史的視点から検討する。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
BB41401	開発途上国における諸問題	1	2.0	2 - 4	秋AB	金4,5	中野 優子	The goal of this course is to understand contemporary and important economic and social issues in developing countries. We also analyze statistical data related to the topics.	BC12121, BE22871と同一。 英語で授業。 対面
BB41411	地域経済論	1	2.0	2 - 4	春AB	火2,3	平沢 照雄	グローバル競争下における地域経済の現状について検討する。そのうえで地域経済の再生・活性化について代表的な事例を取り上げながら考える。	対面(オンライン併用型)
BB41441	都市経済学	1	2.0	2 - 4	秋AB	木1,2	太田 充,牛島 光一	都市経済学と立地論の分析手法の基礎を習得し、都市・地域・国際交易に関する政策についての知識を学ぶ。	地域科学エリア。 BC12701, FH48021と同一。 G科目 対面(オンライン併用型) 確認テストは対面実施予定。
BB41461	仕事の経済学	1	2.0	2 - 4	春BC	集中	清山 玲	働き方改革、ワーク・ライフ・バランス、就職活動、ダイバーシティ経営、女性活躍、最低賃金や年収の壁など、仕事に関連する主要テーマを取り上げる。卒業後に、ワーク・ライフ・バランスしながら社会で活躍するために必要な知識、職業観とスキルの涵養を目的とする。	対面
BB41481	開発経済学	1	2.0	2 - 4	秋AB	火5,6	藤本 丈史	本講義ではミクロ経済学と計量経済学を分析ツールとして開発経済学を講義する。農業、金融、健康衛生、教育、経済成長、資源管理などに関する開発経済学の諸問題を扱う。	日本語による授業。 BB41421、BC12731, BE22261 をすでに修得したものは履修不可。 BC12731と同一。 対面
BB41521	財政学	1	2.0	2 - 4	夏季休業中	集中	釣 雅雄	財政制度、政府支出、租税、財政赤字と政府債務、社会保障、財政政策といった「財政学」の基本テーマについて、理論と制度の両面から講義する。	公共システムエリア(2019年度以降入学者),国際・公共システムエリア(2018年度以前入学者) FH27061と同一。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BB41541	Economic History	1	2.0	2 - 4	秋AB	月3,4	高橋 秀直	この講義の目的は、ヨーロッパにおける経済発展の歴史の基本的議論と19世紀から現在までの日本経済の発展の両方を照らし合わせて検討します。現代の特徴を歴史的視点を踏まえて検討する癖を身に着けてください。	英語での講義です。英語版シラバスを見てください BE22241と同一。 英語で授業。 対面
BB41561	Mathematical Economics	1	2.0	1 - 3	春AB	火1,2	生藤 昌子	This course introduces students to the most fundamental analytical tools of mathematics for economics. It provides the necessary skills and training to use mathematical approach in economic analysis. The goal of this course is to give the students skills to apply the mathematical methods to solution of economics problems.	Identical to BB41561 and BC16011.Lectures are conducted in English.Online(Asynchronous) BC16011, BE22851と同一。 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型)
BB41581	現代中国経済論	1	2.0	2 - 4	春AB	水1,2	陳 玉雄	現代における中国経済の発展についての講義です。産業、金融、国有企業などの様々なトピックを扱います。	対面授業、日本語での科目です。 対面
BB41601	国際貿易論	1	2.0	2 - 4				As the economy becomes more globalized, it is becoming necessary to study the basic mechanism of international trade and its impact on welfare. In this course, we first study the concept of comparative advantage and study why countries will be engaged in international trade. Then, we study the impact on welfare by using several models. (The Ricardian, Heckscher-Ohlin and Specific Factor Model). Then, we study the monopoly model and its implication for international trade theory. In addition, we discuss the impact of international factor movement such as immigration and foreign direct investment.	西暦奇数年度開講。 BC11411, BE22271, FH25051と同一。 英語で授業。 対面
BB41611	進化と学習のゲーム理論	1	2.0	2 - 4	春AB秋AB	月5	宮下 春樹	進化ゲーム理論の基礎を学び、集団の意思決定を分析します。ゲーム理論の基本を解説しながら、進化的安定戦略、進化動学、確率進化動学をカバーします。	対面
BB41621	マッチング理論	1	2.0	1 - 4				マッチング市場で効率良く公平な結果を生み出す制度設計の基本を講義する。受入れ保留(DA)アルゴリズム、TTCアルゴリズムなど、代表的なアルゴリズムの理論的性質を学び、さらに学校選択、研修医マッチング、講義科目配分マッチング、腎臓交換などの応用例も紹介する。	奇数年度開講 西暦偶数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
BB41631	上級経済数学	1	2.0	2 - 4	春AB秋AB	応談	福住 多一	学部上級レベルのゲーム理論と数理経済学の理解に必要である、集合・論理、ベクトル空間、距離空間、の基本を学ぶ。これらにもとづき解析学の基礎をカバーする。	原則、社会学類経済学主専攻の経済学演習を履修中もしくは履修した学生のみ履修可。その他の学生で履修を希望する場合は、事前に相談すること。 対面
BB41641	経済動学	1	2.0	3・4	春C	集中	福住 多一	動学的最適化理論にもとづく経済学理論を講義する。長期の経済成長についてラムゼーモデル・世代重複モデル・内生的成長理論、そして短期経済変動についてニュー・ケインジアンモデルを講義する。	西暦偶数年度開講。 対面
BB41651	計量分析入門	1	2.0	2 - 4	秋AB	月2 木3	崔 宰栄	計量分析は、社会のさまざまな分野における現象や実態を取り巻く膨大な情報をもとに、物事の意味付け、簡略化、客観化、推定などを行うための分析手法であり、社会科学をはじめとする多くの分野で用いられている。 本授業では、計量分析を正しく理解し活用するために必要な基礎統計の概念と考え方について講義する。具体的には、基礎集計や記述統計といった統計の基本概念から、相関分析・回帰分析などの関連分析の初歩までを扱い、社会現象を数量的に捉えるための基礎的な分析力を身につけることを目的とする。	BB31491と同一。 対面
BB41691	年金制度と資産運用の基礎(三井住友信託銀行寄付講座)	1	1.0	2 - 4	春C	水1,2	鈴木 博之,山内 勝間	公的年金制度・企業年金制度そして年金資産運用の基礎を講義する。SDGsの概念が年金運用においても注目を浴びている背景やその投資手法との関係も学ぶ。	オンライン(オンデマンド型)
BB41732	経済学入門演習I-1	2	2.0	1 - 3	秋AB 秋C	月6 集中	宮下 春樹	入門レベルの演習を通して、ゲーム理論やミクロ経済学が持つ汎用性への理解を深める。	対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BB45382	経済学演習III-2春	2	2.0	3・4	春AB	金3,4	高橋 秀直	統計的手法を学び、経済史を含む経済学および社会科学研究に利用できるようになることを目指す。	留学または休学を除き、秋学期も演習IIIを履修すること。 2026年度より3年おき開講。 オンライン(同時双方向型)
BB45392	経済学演習III-2秋	2	2.0	3・4	秋AB	金3,4	高橋 秀直	統計的手法を学び、経済史を含む経済学および社会科学研究に利用できるようになることを目指す。	留学または休学を除き、春学期も演習IIIを履修すること。 2026年度より3年おき開講。 対面
BB45782	経済学演習VII-2春	2	2.0	3・4	春AB	金5,6	福住 多一	ゲーム理論・ミクロ経済学理論・ミクロ的基礎を持つマクロ経済学理論の学部上級レベル程度のテキスト・研究論文を選び輪読する。また、これらの理論や実験研究の基礎演習を行う。	留学または休学を除き、秋学期も演習VIIを履修すること。緊急事態宣言の発出等の際はオンラインで実施する。 対面
BB45792	経済学演習 VII-2 秋	2	2.0	3・4	秋BC	金5,6	福住 多一	ゲーム理論・ミクロ経済学理論・ミクロ的基礎を持つマクロ経済学理論の学部上級レベル程度のテキスト・研究論文を選び輪読する。また、これらの理論や実験研究の基礎演習を行う。	留学または休学を除き、春学期も演習VIIを履修すること。緊急事態宣言の発出等の際はオンラインで実施する。 2026年度より3年おき開講。 対面
BB45882	経済学演習VIII-2春	2	2.0	3・4	春AB	火5,6	田中 醇	広く社会経済史・経営史的なテーマについてともに学んでいく。対象とする地域や時代、詳細なテーマについては、相談しながら決めていく。	対面
BB45892	経済学演習VIII-2秋	2	2.0	3・4	秋AB	火5,6	田中 醇	広く社会経済史・経営史的なテーマについてともに学んでいく。対象とする地域や時代、詳細なテーマについては、相談しながら決めていく。	対面
BB46082	経済学演習 X-2 春	2	2.0	3・4	春AB	月5,6	藤本 丈史	応用ミクロ実証分析の研究に必要な計量経済学とその数学的基礎を、関連テキストの輪読を通じて学ぶ。適宜、応用経済学に関する論文を輪読する。	留学または休学を除き、秋学期も演習Xを履修すること。緊急事態宣言の発出等の際はオンラインで実施する。 対面
BB46092	経済学演習 X-2 秋	2	2.0	3・4	秋AB	月5,6	藤本 丈史	応用ミクロ実証分析の研究に必要な計量経済学とその数学的基礎を、関連テキストの輪読を通じて学ぶ。適宜、応用経済学に関する論文を輪読する。	留学または休学を除き、春学期も演習Xを履修すること。緊急事態宣言の発出等の際はオンラインで実施する。 対面
BB48008	卒業論文	8	6.0	4	通年	随時	経済学主専攻全教員		年度当初に履修登録すること。 対面(オンライン併用型) 研究テーマを指導教員と相談すること。

開設母体

要件
国際総合学類

専門基礎科目(必修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BC50111	国際学I	1	1.0	1	秋AB	金5	大友 貴史,川﨑 レスリー タック,大倉 沙江,日高 薫,佐藤 麻理絵,チョタニ ヴィンドゥ マイ	複雑化する国際的な諸現象は、様々な角度から分析することが可能である。本科目では、いくつかの異なるアプローチならびに特定の国、地域やイシューについての最も基本的な部分に焦点を当て、講義形式で学ぶ。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 「国際学概論I」および「国際学概論II」の単位を取得した者は履修不可。平成30年度以前の国際総合学類入学者に対しては、「国際学I」を「国際学概論I」に読替える。
BC50121	国際学II	1	1.0	1	春A	木3,4	柏木 健一,内藤 久裕,中野 優子,ラムダニ ファトゥワ,ブオングディン トゥアングエン	本科目は経済学分野の入り口としてのガイダンス科目である。日本経済、開発経済学、計量経済学、実証研究を含め、経済学の各分野での最新の研究を紹介する。また、その過程で、経済学の各分野の基本的な概念やその応用例を理解することを目標とする。講義と試験の一部は英語で行う。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 「国際学概論III」の単位を取得した者は履修不可。平成30年度以前の国際総合学類入学者に対しては、「国際学II」を「国際学概論III」に読替える。
BC50131	国際学III	1	1.0	1	秋AB	金3	松島 みどり,柴田 政子,関根 久雄,寺内 大左,藤澤 奈都穂	西洋中心の近代的価値観や諸制度を所与のものとすることなく、人間の文化の多様性を認識・尊重しながら異文化間における広い意味での「対話」を実現するための条件について、とくにグローバリズム、言語、教育、環境、経済などの基本的な概念をキーワードに考える。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 「国際学概論IV」の単位を取得した者は履修不可。平成30年度以前の国際総合学類入学者に対しては、「国際学III」を「国際学概論IV」に読替える。
BC50141	国際学IV	1	1.0	1	春B	金5,6	亀山 啓輔,高橋 伸,白川 直樹,奥島 真一郎	近年、情報通信技術(ICT)の発展は目覚ましく、文理問わず、国際舞台での活躍を目指す学生にとって必須の技術になるとともに、人間の社会生活にも大きな影響を及ぼしている。また、地球規模での環境・資源問題が深刻さを増しており、国際的課題として喫緊の対応が必要になっている。そこで本科目では、情報通信技術(ICT)と環境問題を考えるための視点や基礎的知識について学び、これらの話題についての理解を深める。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 「国際学概論V」の単位を取得した者は履修不可。平成30年度以前の国際総合学類入学者に対しては、「国際学IV」を「国際学概論V」に読替える。

専門基礎科目(選択)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BC51011	国際関係論	1	2.0	1 - 3	春AB	火1,2	日高 薫	国際関係論の入門的講義である。世界で起きている様々な国際政治現象を分析的に捉え理論的に解釈できるようになることを目的とする。そのために、まずは導入として現在の国際社会の来歴を学んだ上で、紛争や開発、人権、国際制度、グローバル化といった主要テーマ・基本概念を広範に取り上げて、それらをめぐる政治力学を理解していく。	▼社会・国際学群 コア・カリキュラム 対面(オンライン併用型)
BC51021	比較政治学	1	2.0	1 - 3	秋AB	木3,4	外山 文子	本講義は、(1)政治学の基礎知識を得る、(2)比較分析をするという2点を学習の目標とする。政治学の基礎知識としては、まず政治とは何かを学んだあと、政治体制、統治機構、市民参加制度について学習する。次に、比較分析の視点を得るために、民主主義および権威主義の持続性、民主主義の質、ポピュリズム、社会運動などついて学ぶ。	対面 新型コロナの状況などによって、対面もしくはオンライン(オンデマンド型)での実施。
BC51031	国際関係史序説	1	2.0	1 - 3	春AB	木5,6	大友 貴史	19世紀から20世紀なかばまでの国際関係の展開を分析します。主に三十年戦争、ヨーロッパ協調、第一次世界大戦、第二次世界大戦について考察します。	BB31171と同一。 対面 原則として国際及び社会の学生のみ履修可

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BC51051	国際法概論	1	2.0	1・2	春AB	水3,4	吉田 脩	国際法の基礎概念につき解説する。特に、国際法の法源、国際機構法ないし国際連合法、個人(人権法)、戦争・安全保障問題に着目する。岩沢雄司(国連国際司法裁判所(ICJ)裁判官)著『国際法』(東京大学出版会、2020年)を教科書として授業を進め、併せて、英米語その他の外国語テキストも使用する。	原則として国際の学生のみ履修可。履修希望者が多い場合には、履修者の制限を行うことがある。 対面
BC51061	初級ミクロ経済学	1	2.0	1・2	春AB	月・金4	中野 優子	This course is an introduction to the study of microeconomics. By the end of the course, you will understand economic approaches to think about issues like: behavior of firms, market competition, rent controls, international trade and tariffs, externalities, and many more. Course is delivered in Japanese.	対面
BC51071	国際経済論	1	2.0	1	通年	応談		This course will introduce students to basic international economic theories and their applications to real world data mainly about Japan's international trade and finance. I will emphasize the usefulness of basic international economic theories in understanding international economic issues. This course does NOT require BC51061 Introductory Microeconomics or BC51081 Intro-Intermediate Macroeconomics as a prerequisite. In class, I will explain all necessary background to understand this course.	社会・国際学群の学生に限る。 BE21201と同一。 英語で授業。 詳細後日周知 2026年度開講未定
BC51081	マクロ経済学概論	1	2.0	2	秋AB	木1,2	内藤 久裕	This course covers the basic concepts in macroeconomics. Topics include the IS-LM model, aggregate demand, aggregate supply and the Phillips curve, monetary and fiscal policy, rational expectations, real business cycle models, micro foundations, and long-run economic growth.	BE21231と同一。 英語で授業。 対面 Only those who are able to participate in face-to-face classes are eligible.
BC51101	文化・開発論	1	2.0	1 - 3	春AB	火5,6	寺内 大左	途上国における開発が地域の社会・文化に及ぼす影響や地域の社会・文化に配慮した開発の在り方について学んでいく。	▼社会・国際学群 コア・カリキュラム BB11451と同一。 対面 平成18年度までの「国際コミュニケーション論 II」に相当
BC51111	数理科学I	1	2.0	1	春AB	木5,6	亀山 啓輔,横田 壮真	主に一変数関数の微分積分について学ぶ。例えば統計学や機械学習などを後に履修、あるいは独習するときに役に立つように、微分積分についての基礎知識を習得することを目標にする。	原則として国際総合学類の学生のみ履修可 対面
BC51124	数理科学II	4	2.0	1	秋AB	月3,4	藤井 浩光	行列の性質と計算など初歩的な線形代数と、その簡単な応用を学ぶ。主として社会科学分野への応用を念頭に置き、コンピュータを用いた行列の計算も習得する。	国際総合学類の学生のみ対象 対面
BC51134	情報科学I	4	2.0	1	春AB	金3,4	高橋 伸	Python言語の基本を学ぶ。情報科学を学ぶための基本的なアルゴリズム,プログラム開発法を学ぶ。前半はデータ型、代入文、ループ文、メソッドについて、後半は、オブジェクト、クラス、継承、スーパ・サブクラスについて学ぶ.	国際総合学類の学生のみ対象 対面
BC51141	情報メディア概論	1	2.0	1 - 3	秋AB	木5,6	鈴木 大三	『マルチメディア』の誕生とその技術の目覚ましい発展は社会構造を変え、『情報・知識の時代』が到来した。本講義では、マルチメディアの概念、マルチメディアを支える基盤技術、国際標準化の役割、マルチメディア・アプリケーション、マルチメディアが社会に及ぼす影響などについて、概念・仕組みを中心に学ぶ。	国際総合学類の学生のみ対象 対面
BC51151	法学概論	1	2.0	1	春AB	火5,6	木山 幸輔	法に対する基本的な考え方を導入する。法の歴史を導入する。法学と他社会科学領域の関係を考えるための導入を行う。	▼社会・国際学群 コア・カリキュラム BB20001と同一。 対面(オンライン併用型) 社会学類・国際総合学類・総合学域群・教職課程履修者以外の学生については履修を認めない。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BC51161	Media Politics	1	2.0	1 - 3	秋AB	火5,6	川崎 レスリータック	From “traditional” media, such as newspapers and television, to new media formats including websites, blogs and social media channels, in this course, students will examine the intersection between media and politics from historical and theoretical perspectives. Special emphasis is placed on the use of visual images through various media channels, including the internet and social media by political actors. International comparisons are encouraged and expected.	BE21241と同一。 英語で授業。 対面
BC51171	政治変動論	1	2.0	1 - 3	春AB	月2,3	茅根 由佳	本講義は権威主義体制の持続や民主化など、主に発展途上国における政治体制の変動について理解を深めることを目的とする。構造・制度・アクターという3つの側面に注目した理論的枠組みを踏まえて、政治変動が生じる要因を説明する。毎回の授業では、政治変動の各局面に関連する主要な政治理論を取り上げ、個別の政治発展の事例について検討していく。	BB31581と同一。 対面(オンライン併用型)
BC51181	統計科学	1	2.0	1 - 3	通年	応談		This course is a formal introduction to Statistics. No prior knowledge of probability and statistics is required as all concepts will be developed from the ground up. We will cover a range of topics including descriptive statistics, basics of probability, random variables, distribution and density functions, sampling distributions, point estimation, confidence intervals, and hypothesis testing. If time allows, a preview of the regression analysis will be provided. The details of regression analysis will be covered in Introductory Econometrics, which is a continuation of this course.	2016年度までのBC12031「統計科学」の単位を取得した者は履修不可. BE22321と同一。 英語で授業。 詳細後日周知 2026年度開講未定
BC51191	社会科学のためのデータサイエンス	1	2.0	1・2	春AB	水1,2	ラムダニ ファトゥワ	This course is Data Science for Social Sciences. This course will provide an understanding of the fundamental principles and applications of Data Science. A special focus of the course will be to illustrate the utility of Data Science in Social Science studies. Basic techniques for data obtaining, wrangling, curating, managing, processing, exploring, questioning, analysing, and communicating the result will be introduced. Ethical and reproducibility issues will also be discussed.	英語で授業。 対面
BC51314	English Discussion Seminar (A)	4	2.0	1・2	秋AB	水5,6	井出 里咲子	The broad purpose of this course is to help students practice their English-language communication skills. During this course, students will have opportunities to develop their discussion skills through individual, pairwork, and group activities. Students are encouraged to engage with other students on an equal basis in a free and open discussion forum. Notes: 1.The topics, exercises, and assessment activities may differ according to each instructor. 2.Registration priority will be given to non-native English-speaking students.	国際総合学類生のうち、新入生と総合学域群からの移行者については別途クラス分けを指示する。原則として、国際総合学類の学生のみ履修可。履修上限は30~40名以内で科目担当者が決定。 BC51331を履修済みの学生は履修できない。 英語で授業。 対面
BC51324	English Discussion Seminar (B)	4	2.0	1・2	秋AB	水5,6	イスマイロフ ムロド	The broad purpose of this course is to help students practice their English-language communication skills. During this course, students will have opportunities to develop their discussion skills through individual, pairwork, and group activities. Students are encouraged to engage with other students on an equal basis in a free and open discussion forum. Notes: 1. The topics, exercises, and assessment activities may differ according to each instructor. 2. Registration priority will be given to non-native English-speaking students.	国際総合学類生のうち、新入生と総合学域群からの移行者については別途クラス分けを指示する。原則として、国際総合学類の学生のみ履修可。履修上限は30~40名以内で科目担当者が決定。 BC51331を履修済みの学生は履修できない。 英語で授業。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BC51334	English Discussion Seminar (C)	4	2.0	1・2	秋AB	水5,6	川﨑 レスリー タック	The broad purpose of this course is to help students practice their English-language communication skills. During this course, students will have opportunities to develop their discussion skills through individual, pairwork, and group activities. Students are encouraged to engage with other students on an equal basis in a free and open discussion forum. Notes: 1.The topics, exercises, and assessment activities may differ according to each instructor. 2.Registration priority will be given to non-native English-speaking students.	国際総合学類生のうち、新入生と総合学域群からの移行者については別途クラス分けを指示する。原則として、国際総合学類の学生のみ履修可。履修上限は30~40名以内で科目担当者が決定。 BC51331を履修済みの学生は履修できない。 英語で授業。 対面
BC51344	English Discussion Seminar (D)	4	2.0	1・2	秋AB	水5,6	チョタニ ヴィンドゥ マイ	The broad purpose of this course is to help students practice their English-language communication skills. During this course, students will have opportunities to develop their discussion skills through individual, pairwork, and group activities. Students are encouraged to engage with other students on an equal basis in a free and open discussion forum. 1.The topics, exercises, and assessment activities may differ according to each instructor. 2.Registration priority will be given to non-native English-speaking students.	国際総合学類生のうち、新入生と総合学域群からの移行者については別途クラス分けを指示する。原則として、国際総合学類の学生のみ履修可。履修上限は30~40名以内で科目担当者が決定。 BC51331を履修済みの学生は履修できない。 英語で授業。 対面
BC51574	English Debate	4	2.0	2 - 4	春AB	水5,6	ブオング ディン トゥアン グエン	This is an introductory course for students who are eager to improve their English discussion skills. Because this is an introductory course, students are given the opportunity to learn and practice effective delivery of their ideas and attentive listening to others' opinions as a preparation for discussion. Discussion topics will be related to global issues, and students are expected to actively participate.	国際総合学類の学生のみ対象。2年次学生と総合学域群からの移行者については別途クラス分けを指示する。3年次以上の学生については、学籍番号奇数番の学生のみ対象。 BC51571を履修済みの学生は履修できない。 英語で授業。 対面
BC51584	English Debate	4	2.0	2 - 4	春AB	水5,6	イスマイロフ ムロド	This is an introductory course for students who are eager to improve their English discussion skills. Because this is an introductory course, students are given the opportunity to learn and practice effective delivery of their ideas and attentive listening to others' opinions as a preparation for discussion. Discussion topics will be related to global issues, and students are expected to actively participate.	国際総合学類の学生のみ対象。2年次学生と総合学域群からの移行者については別途クラス分けを指示する。3年次以上の学生については、学籍番号偶数番の学生のみ対象。 BC51581を履修済みの学生は履修できない。 英語で授業。 対面

専門科目(国際関係学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BC11021	アジア政治	1	2.0	2 - 4	秋AB	火3,4	茅根 由佳	本講義はインドネシアを中心に、20世紀初頭から現代までの東南アジア各国政治、経済、社会について理解を深めることを目的とする。講義では、植民地独立から現代までの政治史を検討するにあたって重要な時代毎の争点について知識を深める。また政治指導者だけでなく、反体制派や知識人の視点からも各時代を照射することで、多角的に東南アジアの政治史を捉えたい。	BB31461と同一。 対面(オンライン併用型)
BC11041	現代日本外交史	1	2.0	2 - 4				主に占領期から現代までの日本の対外関係の展開を国内政治経済の変動と国際環境の変化のなかで考察する。	西暦奇数年度開講。 BB31371と同一。 対面(オンライン併用型)
BC11051	現代中国研究	1	2.0	2 - 4	通年	応談		この講義の目的は,中国政治とそれを取り巻くアジア太平洋のダイナミズムに接近するために、必要な基本知識と分析視覚を提供することです。具体的には、中国の政治体制、体制の継続と変容、そして国際政治における中国の役割という3つの柱を中心に分析を進めます。	BB31481と同一。 詳細後日周知 2026年度開講未定

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BC11071	国際組織法	1	2.0	2 - 4				国際組織設立文書である国際連合憲章に基づき創設され、国際共同社会における人権保障や安全保障、地球環境保護等に関わる国際連合その他の国際組織体ないしレジームの現代的な展開につき、国際法学の視点から総論的な解説を行う。	西暦奇数年度開講。 BB28091と同一。 対面 原則として社会・国際学群の学生に限る。
BC11081	国際法I	1	2.0	2 - 4	春AB	木3,4	鈴木 悠	この講義では、国際法の中でも、特に国際人権法に関する国際法に焦点を当てる。現在、人権は国内外において最も重要な問題の一つとなっている。各国の国内判例、国際裁判所の判例、国連の人権理事会や条約機関の決定や一般的意見、欧州、米州およびアフリカの地域的な人権保障制度の決定や判例などを通して、国際的な人権保障の現状と課題について理解を深める。また、管轄権免除、国際刑事法、国家責任法、国際紛争処理についても学ぶ。	原則として社会・国際学群の学生に限る。 西暦偶数年度開講。 BB28031と同一。 対面 「国際組織法」と隔年開講
BC11091	国際法II	1	2.0	1・2	秋AB	水3,4	吉田 脩	既修の「国際法概論」で得られた基礎知識を基に、国際法の応用問題を総論的に採り上げる。	対面 「国際法概論」の既修者に限る。
BC11121	国際政治学	1	2.0	2 - 4	秋AB	火5,6	大友 貴史	This course examines various theories and cases to understand the dynamics of international politics.	BE22071と同一。 英語で授業。 対面
BC11141	国際機構論	1	2.0	1 - 4	春AB	集中	相良 祥之	国際紛争、テロ、感染症、気候変動、難民。こういった国境を超える課題には主権国家のみならず、国際社会が組織化して向き合ってきた。本講義では、そうして組織化されてきた国際機構による国際秩序維持・形成やグローバルガバナンスについて考察する。特に国連とその関連機関、その機能や行財政、そして国際機関における意思決定を学ぶ。講師はニューヨークの国連本部において国際の平和と安全、また紛争地における人道支援や開発援助といった実務に携わった経験を有している。国際紛争の解決や、紛争や災害により故郷を追われた人々に対し、国際機構が果たせる役割はどのようなものがあり、またどのような限界があるのか、歴史と現実に基づき考察する。授業は月一回、土曜集中。評価はレポートの作成、発表および質疑応答により行う。	原則として社会・国際学群の学生に限る。 4/18,5/9,5/23,6/6,6/20 対面 ※詳細はTWINSで告知
BC11221	アジアの国際関係	1	2.0	2 - 4	春AB	木3,4	外山 文子	今日のアジアは大きなパラダイム転換を向かえている。第二次世界大戦以後、アジア諸国は米国と共産主義国との間で展開された冷戦の枠組みの中で自らの命運を左右されてきた。冷戦が終結した1990年代以降は、米国による人権保護推進、民主化促進といった国際的潮流の中で民主化が進展した。ところが21世紀に入ってから、地域全体に権威主義化の流れが出来つつある。背後には中国の政治経済的影響力の拡大が存在する。本講義では、アジア地域の政治や国際関係をいかに理解すべきかについて学ぶ。	BB31451と同一。 対面 新型コロナの状況などによって、対面もしくはオンライン(オンデマンド型)での実施。
BC11231	東アジア国際関係史	1	2.0	2 - 4	通年	応談		この講義の狙いは,19世紀から現代までの東アジア国際秩序の変遷を概観し,東アジアの国際関係の現状についての理解を深めることにある。授業では、国際関係をより深く理解するための、いくつかの理論的枠組みを紹介する。	BB31471と同一。 詳細後日周知 2026年度開講未定
BC11241	ヨーロッパの国際関係	1	2.0	2 - 4	春AB	金3,4	東野 篤子	なぜ第二次世界大戦後の欧州諸国は統合の道を選んだのか。本講義では、単一市場や単一通貨などを生み出した欧州連合(EU)が、どのような歴史的系を辿って発展してきたのかを時系列的に検討する。	原則的対面実施、場合によってはオンライン実施となることがある。 BB31541と同一。 対面(オンライン併用型)
BC11281	日本政治	1	2.0	2 - 4	春AB	金3,4	潘 亮	明治憲法体制の成立(1890年代)から第二次世界大戦終戦(1945年)までの日本政治の変遷を内政と外交双方の視点から議論する。	西暦偶数年度開講。 対面
BC11291	ヨーロッパ政治	1	2.0	2 - 4	秋AB	金3,4	東野 篤子	欧州諸国の政治と外交について、西欧、南欧、北欧、中・東欧、東欧等の区分毎に解説していく。欧州連合(EU)および北大西洋条約機構(NATO)に加盟する欧州諸国が本講義での主な対象となるが、それ以外の諸国についても解説する。	原則対面実施、場合によってはオンライン実施となることがある。 BB31551と同一。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BC11301	市民社会論	1	2.0	2 - 4	秋AB	火1,2	大倉 沙江	本講義は、市民社会の実態と機能について概説をし、市民社会の基礎理論と日本を中心とした先進諸国の現状について学習することを目的とする。とくに経済団体、農業団体、労働団体、政治団体、市民団体など市民社会を構成する諸組織を取り上げ、それらが政治や社会の在り方にどのようなインパクトを与えているのかについて考える。	西暦偶数年度開講。 BB31631と同一。 対面(オンライン併用型)
BC11311	中央アジアの国家と社会	1	2.0	2 - 4	秋AB	月5,6	ダダバエフ テイムール	ソ連崩壊後いまだ転換期にある中央アジア地域を検討する。国際関係(特に国際政治)、地域研究、紛争研究等の複数の視点から、主にカザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタンとウズベキスタンを取り上げる。中央アジア概説を導入とし、その後、地域主義、地域社会、紛争、統合といったテーマを扱う。	対面 原則対面実施・場合によってオンラインを検討する。
BC11351	Globalization and Development	1	2.0	2 - 4	春BC	集中	コリー アナ	This course examines the politics of development in the era of globalization, exploring major issues and problems being encountered and confronted by the developing countries in the contemporary period. The aims of the course are: · To broaden students' knowledge of major development issues and the impact of globalization on developing countries. · To provide students with a good introduction to globalization theory and to the politics of development. Academic goal: To help promote the TISS Program's objective of developing global citizens who can respond to the needs of a global society.	2nd , 3rd , 5th and 6th periodCourse information will be announced later BE22471と同一。 英語で授業。 G科目 対面
BC11391	外交法政策論	1	1.0	1 - 4	春C	集中	大高 準一郎	講師の外務省本省や在外公館における二国間・多国間外交に関する実務経験の紹介や、履修生によるグループ・ディスカッションを通じて、国際法が関連する分野を含め、国際社会の諸課題や日本の外交政策について理解を深める。	原則として社会・国際学群の学生に限る。 7/20,21 対面(オンライン併用型) 平成30年度以前の国際総合学類入学者に対しては、「外交法政策論」を「国際学概論II」に読替える。実施教室・時間割はTWINS掲示板参照。
BC11411	国際貿易論	1	2.0	2 - 4				As the economy becomes more globalized, it is becoming necessary to study the basic mechanism of international trade and its impact on welfare. In this course, we first study the concept of comparative advantage and study why countries will be engaged in international trade. Then, we study the impact on welfare by using several models. (The Ricardian, Heckscher-Ohlin and Specific Factor Model). Then, we study the monopoly model and its implication for international trade theory. In addition, we discuss the impact of international factor movement such as immigration and foreign direct investment.	西暦奇数年度開講。 BB41601, BE22271, FH25051と同一。 英語で授業。 対面
BC11431	国際金融論	1	2.0	2 - 4	春AB	木3,4	チャン ランアンズーン	本授業では、国際金融の理解に不可欠な基本知識である国民経済計算や国際収支会計などをはじめに学習し、その上で分析の鍵となる為替市場と金融市場との関係について学習する。そして短期・長期の為替レートの決定要因、国際金融と財政・金融政策の相互作用のメカニズムについて理解を深める。	公共システムエリア(2019年度以降入学者),国際・公共システムエリア(2018年度以前入学者) FH27031と同一。 オンライン(対面併用型)
BC11451	公共政策分析	1	2.0	2 - 4	春AB	木1,2	内藤 久裕	このクラスでは、標準的な財政学(Public Finance)を講義することによって、財政政策、公共政策を分析し、これらの政策はどのような効果があるのか、その政策にともなうコストはどのようなものかを分析します。また望ましい政策のあり方も議論します。トピックは、政策評価の理論的基準、統計的手法、国債政策、公共財、外部性、投票制度、所得再分配、労働政策(最低賃金、解雇規制)、年金政策、医療政策です。	西暦偶数年度開講。 BB41181と同一。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BC11461	Public Policy	1	2.0	2 - 4	春AB	木4,5	ウラノ エジソン ヨシアキ	The objective of this course is to provide students with the basic concepts of public policies to enable them to understand, analyze and discuss the various public policies that affect our lives on a daily basis, by focusing mainly in the field of social policies, such as health care systems, income redistribution and labour policies.	Limited to 35 students. 西暦偶数年度開講。 BB11881, BE22051と同一。 英語で授業。 G科目 対面
BC11471	Transnational Social Policy	1	2.0	2 - 4				Globalization has brought many changes in social life, including increasing flows of financial resources, goods and persons. Among the new challenges these changes pose to governments and civil society is the need to create new social agenda and to develop social policies. The aim of this course is to discuss these challenges for the 21st Century from a transnational perspective.	Biennial Course (offered in odd years) 西暦奇数年度開講。 BB11861, BE22401と同一。 英語で授業。 G科目 対面
BC11501	国際文化論	1	2.0	2 - 4				この講義では、私たちの生活を支える物質文化を国際的な関係の中から捉えなおし、あるべき姿を考えます。私たちの身近なモノ(国際商品)の消費と国際的な環境問題、社会問題がどのように関係しているのかを具体的に学んでいきます。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
BC11511	言語人類学	1	2.0	2 - 4	春AB	火1,2	井出 里咲子	Linguistic anthropology is a study of how language shapes and is shaped by culture, society, and human interaction. It examines the ways people use language to construct identities, convey cultural norms, and influence power dynamics. We will learn the roles and functions of language in creating universal as well as cultural-specific worldviews, while addressing issues of language death, revitalization, and the impact of globalization on the ways in which we live our lives as linguistic beings.	BE22501と同一。 英語で授業。 対面 (旧「人類言語学」)
BC11551	人類学特講	1	2.0	2 - 4	秋C	集中	早川 公	本科目は、文化人類学の考え方の修得をつうじて、「世界をわかりなおす」ための知識や態度を身につけます。講義では、気候変動、科学技術、経済問題。授業では、講義に加えて人類学的態度を具現化するためのエクササイズを通じて、受講者自身が「プチ人類学者」として現代社会の諸問題をとらえられるようになることを目指します。授業は文化人類学を専攻する学生だけでなく、そうでない学生の受講も歓迎します。	対面
BC11601	政治参加論	1	2.0	2 - 4				本講義は、投票、選挙活動、地域活動、役職者との接触など、政治参加の基礎的な概念を紹介し、受講生が政治現象を理解するための一助となることを目標とする。とくに、戦後日本人の政治参加の特質を国際比較の観点から考察し、それが日本における統治のあり方にどのようなインパクトを与えてきたのかについて解説を行う。	西暦奇数年度開講。 BB31641と同一。 対面(オンライン併用型)
BC11621	日本政治思想	1	2.0	2 - 4				「昭和」期の知識人の言動を題材にして,今日的問題がいかにして形成されてきたかを考える。	西暦奇数年度開講。 BB31321と同一。 2026年度開講せず。 対面
BC11651	国際政治史	1	2.0	1・2	秋AB	木5,6	南山 淳	本講義では、ヨーロッパにおける30年戦争終結後のウエストファリア・システムの成立から21世紀に至るまでの国際政治秩序をめぐる歴史構造と、その変動過程について、戦争と平和のサイクルという巨視的な視点から検討する。	旧科目名「政治外交史」。「政治外交史」の単位取得者は履修不可。 BB31031と同一。 主専攻必修科目。 対面 「対面形式」を原則とするが、新型コロナウイルスの感染状況によっては「オンデマンド形式」に切り替える可能性もあるので、履修者は、授業開始前に必ずmanabaの授業掲示板で確認すること。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BC11711	憲法I	1	2.0	1・2	春BC	木3,4	秋山 肇	日本国憲法の人権に関する規定を総合的、かつ批判的に学びます。この授業の主たる言語は日本語です。Students will learn provisions on human rights in the Japanese constitutional law critically. This course's main language of instruction is Japanese.	社会学類を含め、全ての学類・専門学群・学位プログラムの学生の履修を歓迎します。This course welcomes students of both College of Social Sciences and other colleges, schools and programmes. BB22001と同一。 対面(オンライン併用型) 令和9年度より社会学類法学主専攻のカリキュラムを変更するために、令和9年度以降は授業内容が大幅に変更される予定である。よって、令和8年度中に履修することを推奨する。
BC11721	憲法II	1	2.0	1・2	秋AB	木3,4	秋山 肇	日本国憲法の統治機構に関する規定を総合的、かつ批判的に学びます。この授業の主たる言語は日本語です。Students will learn provisions on the structure of government in the Japanese constitutional law critically. This course's main language of instruction is Japanese.	社会学類を含め、全ての学類・専門学群・学位プログラムの学生の履修を歓迎します。This course welcomes students of both College of Social Sciences and other colleges, schools and programmes. BB22031と同一。 対面(オンライン併用型) 令和9年度より社会学類法学主専攻のカリキュラムを変更するために、令和9年度以降は授業内容が大幅に変更される予定である。よって、令和8年度中に履修することを推奨する。
BC11731	行政学I	1	2.0	2 - 4				本授業は行政学の基礎的概念や理論、基本的な政治・行政制度等を中心に講義する。具体的には、官僚(公務員)の行動様式や行政活動に関わるルールとしての制度、そして行政組織の組織・人事管理に関わる仕組みについて、理論を踏まえながら行政の実態を捉え説明するための力を養うことが本授業の目的である。	西暦奇数年度開講。 BB31241と同一。 対面
BC11751	公共経済学	1	2.0	2 - 4				「市場の失敗」と呼ばれる現象の発生原因を解明し、その解消策を考えるのが公共経済学の基本的な課題である。具体的には、外部性、公共財、非凸性、不確実性から生ずる市場の失敗とその解消法、および集団的意思決定についての規範的理論について講義する。	西暦奇数年度開講。 BB41271と同一。 オンライン(オンデマンド型) オンライン(同時双方向型)
BC11801	現代社会論	1	2.0	1・2	秋AB	月3,4	三品 拓人	本講義では、第一に現代社会がどのような趨勢にあるのかを解説する。グローバル化、個人化、リスク社会化、液状化、脱工業化などをはじめ様々な社会変動が生じている。現代社会が従来の社会とどのように異なっているのか、またこの先どうなるのかを考えることを目指す。第二に、現代社会のより身近なトピックを扱いながら、個々の学生たちが、現代社会の多様な問題を的確に把握・考察できるようになることを目指す。	▼社会・国際学群 コア・カリキュラム BC11801と同一。 BB11021と同一。 対面(オンライン併用型) 主専攻必修科目。 短期留学生の履修は、日本語の読み書きと会話が不自由なくできる場合に可。
BC11851	安全保障論	1	2.0	2 - 4	秋AB	木1,2	日高 薫	本講義では、安全保障分野における国際的な政治現象を体系的に理解し考察するための基礎知識と分析枠組みを提供する。各回では戦争、軍縮・不拡散、同盟、内戦、テロリズムといった個別テーマを取り上げて、それらをどのように理解することができるのか、各政治主体はどのようなメカニズムで対立・協調に至るのか、といった点について具体的な事例に触れつつ解説していく。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BC11861	ミクロ経済学	1	2.0	2 － 4	春AB	月3,4	福住 多一	経済理論の基礎である市場メカニズムの基本的な性質を講義する。初級から中級レベルのミクロ経済学の講義によって、競争市場における消費者・生産者の理論,部分均衡理論,一般均衡理論をカバーする。	BB41131と同一。 対面
BC11871	マクロ経済学	1	2.0	2・3	秋AB	月3,4	福住 多一	マクロ経済学理論の基本を講義する。基礎(家計の消費・貯蓄行動,企業の設備投資行動,資産・金融市場),長期理論(閉鎖経済の均衡,開放経済の均衡,ソローの経済成長モデル),短期理論(労働市場の理論,IS-LM・総需要総供給モデル,開放経済のマンデル・フレミングモデル)をカバーする。	BB41141と同一。 対面
BC11881	ジャパニーズ・エコノミー	1	2.0	2 － 4	通年	応談		The main purpose of this course is to understand basic historical facts about the Japanese Economy. We analyze those facts both empirically and theoretically and relate most Japanese issues to those in the U.S. The goal of this course for Japanese students is to explain to foreign people about the Japanese economy in English, and that for international students is to be more interested in Japan. As a prerequisite, this course requires BC51061 Introductory Microeconomics and BC51071 International Economics, or equivalent.	BE22221と同一。 英語で授業。 詳細後日周知 2026年度開講未定
BC11911	Japanese Foreign Policy	1	2.0	2 － 4				This course examines the historical background of modern Japan's foreign policymaking from early 1890s till the end of the Second World War (1945). Main emphasis of the lectures will be placed on the interaction between Japanese domestic politics and foreign affairs.	西暦奇数年度開講。 BE22031と同一。 英語で授業。 対面(オンライン併用型)
BC11961	Japan and the World	1	2.0	2 － 4	秋AB	金3,4	潘 亮	This course focuses on the history of Japan's domestic politics and foreign relations from the end of the Second World War till the end of 1970s.	西暦偶数年度開講。 BE22021と同一。 英語で授業。 対面
BC11971	基礎経済数学	1	2.0	1・2	秋AB	木3,4	福住 多一	高校1・2年生レベルの数学の復習をしつつ、それらがどのように経済学に応用されるのかを講義する。内容は、1次関数と競争市場、2次関数と寡占市場、数列と貯蓄、級数と割引現在価値、ベクトルと予算制約、1変数関数の微分と利潤最大化、多変数関数の微分と効用最大化である。多変数関数の微分は、高校1・2年生レベルよりも、わずかに進んだ内容であるため、詳しく解説する。	原則、社会・国際学群および総合学域群の学生のみ履修可能とします。その他の学生は、初回に相談してください。 BB41101と同一。 対面
BC11981	経済数学	1	2.0	1 － 4	春AB	木5,6	福住 多一	基礎経済数学から引き続き、経済理論への数学の応用の仕方を講義する。行列の計算・確率・積分および、それらの経済学への応用例を紹介する。	原則、社会・国際学群の学生のみ履修可能。その他の学生は、初回に相談してください。 BB41301と同一。 対面
BC16011	Mathematical Economics	1	2.0	2 － 4	春AB	火1,2	生藤 昌子	This course introduces students to the most fundamental analytical tools of mathematics for economics. It provides the necessary skills and training to use mathematical approach in economic analysis. The goal of this course is to give the students skills to apply the mathematical methods to solution of economics problems.	Identical to BB41561 and BC16011.Lectures are conducted in English.Online(Asynchronous) BB41561, BE22851と同一。 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型)
BC16021	History of Economic Thought	1	2.0	2 － 4	秋AB	木5,6	モゲス アブ ギルマ	The course is about the history, philosophy and evolution of economic ideas and thoughts. We review critically the different schools of economic thoughts from the classical to the modern schools to provide students with a comprehensive understanding of the origin, evoultion, arguments, and philosophy of economics and the economists behind such powerful ideas.	BE22821と同一。 英語で授業。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BC16071	人間の安全保障論	1	2.0	2 - 4	秋AB	月3,4	佐藤 麻理絵	従来の国家を単位とする安全保障から、人間一人ひとりに着目する「人間の安全保障」概念は、開発援助や平和構築などの分野で実践されてきました。本講義では、国際関係学の観点より、同概念を基軸とする政策や実践について議論していきます。扱うテーマとしては、人権、紛争予防と平和維持、人道的行動と介入、貧困削減など、平和や開発、人権の領域にまたがる問題群を取り上げ、同概念の限界についても批判的に検討します。	西暦偶数年度開講。 対面
BC16091	アメリカ政治外交論	1	2.0	2 - 4				主として第二次世界大戦以降のアメリカの政治外交、およびアメリカをめぐる国際関係の動きを理解するための基礎的な知識・分析枠組みを提供する。具体的には、外交政策の決定過程や国内政治との連関、折々の国際関係・政策課題(伝統的安全保障、民主主義の促進、多国間主義、内戦・テロリズム、...)への各政権の対応などを理論的背景の下に考察していくことで、受講生がアメリカ外交をめぐる諸問題を分析的に捉えることができるようになることを目指す。	西暦奇数年度開講。 対面
BC16101	現代中東政治	1	2.0	2 - 4				中東諸国は20世紀半ばに誕生して以来、革命や内戦、戦争、イスラーム復興などの変革と再編の波にさらされてきました。また、アラブ性や部族、イスラームという既存の国家理論を超越する要素も横たわり存在しています。本講義では、中東地域の政治変動や戦争と平和に関連する諸事象について、理論的な考察を加えるとともに、主要な事例を取り上げて学びます。中東地域が震源であることに鑑み、難民事象も一つの焦点とします。	西暦奇数年度開講。 対面
BC16301	International Relations in the Asia-Pacific	1	2.0	2 - 4				This course on International Relations in the Asia Pacific will start with an understanding of the Asia-Pacifc: its historical origins and the nature of international relations in the region. Moving forward, we will apply basic international relations theories - realism, liberalism and constructivism - to ongoing and emerging political dynamics in the Asia-Pacific region. In this course,we will pose questions and examine the following: (1) the role of great powers such as China and the U.S. in the region; (2) problems and prospects for regional security and economic cooperation; (3) the evolution of regional institutions; (4) the rise of middle powers and what this means for the future of the region; (5) we will also study emerging, non-traditional security threats and the challenges posed by them.	西暦奇数年度開講。 英語で授業。 対面
BC16311	Politics and International Relations in South Asia	1	2.0	2 - 4	春AB	金1,2	チョタニ ヴィンドゥ マイ	Politics and International Relations in South Asia is designed to introduce students to the history, politics and international relations of South Asia. The course pays the greatest attention to the region's largest country, India, but will also incorporate the experiences of Pakistan, Sri Lanka, Bangladesh, and Nepal in substantial measure.	西暦偶数年度開講。 英語で授業。 対面 No background in South Asia is necessary to take this course, but previous participation in IR foundation courses is recommended.
BC16321	国際人権と法	1	1.0	1 - 4	春AB	集中	針ケ谷 健志	国際人権法の概要の解説、社会問題や時事の人権法的観点からの検討、国際人権法が国内においてどのように実施されているか、特に日本の訴訟の場面でどのように当事者において利用され、裁判所において判断がされているか、という点を中心に講義を行い、国際人権法や国際法と国内法の関係についての理解を深めることを目指します。	原則として社会・国際学群の学生に限る。 5/16,5/30,6/13 対面 ※詳細はTWINSで告知

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BC16331	Introduction to International Law	1	2.0	1・2	秋AB	木3,4	マダニ ツィアディン セイェッド	This course provides a comprehensive introduction to the foundational principles and structures of international law. It explores the sources of international law, including treaties, customary law, and general principles, and examines how states, international organizations, and individuals interact within the international legal framework. Through case studies and discussions, students will gain insights into the legal mechanisms that govern global issues and resolve disputes between states. The course serves as a stepping stone for further study in specialized areas of international law.	BE22591と同一。 英語で授業。 対面
BC16341	International Humanitarian Law	1	2.0	1・2	秋AB	木5,6	マダニ ツィアディン セイェッド	This course offers an in-depth exploration of International Humanitarian Law (IHL), focusing on the legal frameworks designed to protect individuals during armed conflicts. Students will study the core principles of IHL, including the Geneva Conventions, the distinction between combatants and civilians, and the treatment of war crimes. The course will also tackle contemporary issues such as the role of non-state actors, and humanitarian interventions. Through case analyses and discussions, students will develop a critical understanding of the legal dimensions of warfare and conflict resolution. Depending on the number of students, they may require to make oral presentations (individually or within teams).	BE22761と同一。 英語で授業。 対面

専門科目(国際開発学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BC12061	計量経済学	1	2.0	2 - 4	通年	応談		This course is an introduction to econometrics. We will begin with the linear regression model and its estimation and inference. Then we will cover linear models with endogeneity, linear panel models, limited dependent variables, and models used in program evaluations. This course prerequires Introductory Statistics.	BE22231と同一。 英語で授業。 詳細後日周知 2026年度開講未定
BC12081	国際開発論	1	2.0	2 - 4				本講義では、開発経済学の主要理論とアプローチについて説明し、発展途上国の経済発展における諸課題について概説することを目的とする。特に、開発経済学の歴史やパラダイム転換を踏まえ、人口転換論、二重構造論、経済成長論、貧困と不平等、教育と開発等のテーマを扱う。経済発展の諸理論やモデルを学びことで、学生が開発経済学への理解を深めるとともに、発展途上国の経済発展に関する分析において、興味深い問題設定を行えるようになることを目指す。	西暦奇数年度開講。 対面
BC12121	開発途上国における諸問題	1	2.0	2 - 4	秋AB	金4,5	中野 優子	The goal of this course is to understand contemporary and important economic and social issues in developing countries. We also analyze statistical data related to the topics.	BB41401, BE22871と同一。 英語で授業。 対面
BC12131	北アフリカの経済と社会	1	2.0	2 - 4	春AB	月5,6	柏木 健一	本講義では、中東・北アフリカ諸国の経済と社会を開発経済学の視角から分析し、同諸国の経済発展と社会の安定に関する主要論点、分析枠組、問題等を概説する。特に、欧州の植民地からの独立後に焦点をあて、パレスチナ問題やアラブ革命の影響を踏まえつつ、中東・北アフリカ経済のグローバル化における諸課題を分析することにより、中東・北アフリカ諸国の社会と経済を分析する新たな枠組を拓くことを主眼とする。	西暦偶数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BC12201	開発人類学	1	2.0	2 - 4	秋AB	火1,2	関根 久雄	開発に実践的に関わる人類学の姿を、第二次世界大戦前に植民地において行われた実用的人類学やアメリカ先住民統治に用いられた応用人類学、戦後、新興独立国を対象とした開発人類学の実態から紐解いた上で、人間や社会を中心に据えた開発とは何か、そのような開発に人類学がどのようにコミットしうるのかについて、具体的な事例をまじえながら解説する。	対面
BC12211	地域開発論	1	2.0	2 - 4	春AB	月1,2	関根 久雄	途上国における社会開発を目的とした諸活動の系譜をたどり、それに関わる理論、概念および社会開発の方向性やその担い手に関する基本的事項を整理した上で、事例を用いて社会開発の実践過程を地域的・文化的側面に配慮しながら批判的に考察し、より実効力のある援助の姿や、解釈の枠組みについて考える。	対面
BC12221	Social Development	1	2.0	2 - 4	秋AB	水1,2	松島 みどり	People's well-being cannot be achieved by economic growth alone, and the important role of social development has became widely recognised in international development practice. This course is offered for students firstly to increase understandings of why and how social development became a main stream of development by learning historical background and development theory. Secondly, we focus on some key concept and practice including human development, capability approach, participatory approach, and social capital. In the latter half of the course, we learn social development in relation to important development topics namely, poverty, human capital, labour and employment, micro finance, social protection, and human rights and human security. With some examples of on-going development programmes, students will discuss significance and applications of social development in practical field, and how we can improve development programmes towards sustainable development.	西暦偶数年度開講。 BE22451と同一。 英語で授業。 対面 平成20年度まで「社会開発論II」に相当
BC12231	教育開発論	1	2.0	2 - 4	秋C	集中	北村 友人	途上国の教育現状を把握し,途上国が抱える種々の課題を理解する。それを先進国と対比関連づけて分析する。	実務経験教員 対面 授業実施の詳細についてはmanabaにて連絡
BC12241	International Education(国際教育論)	1	2.0	2 - 4				This course invites both overseas and Japanese students. The major purpose of the course is to enable students to learn about issues and current trends in educational studies in international perspectives. It deals with themes, such as development, colonial legacy and global interaction, in education.	西暦奇数年度開講。 BE22521と同一。 英語で授業。 対面(オンライン併用型)
BC12251	日本教育概論(Outline of Japanese Education)	1	2.0	2 - 4	秋AB	火3,4	柴田 政子	This course is offered to students who are interested in the historical development of Japanese education. The course looks at the processes of the foundation of the Japanese education system and the formation of a modern state in Japan. Special reference is made to the past and present dimensions of patterns of the cross-national transfer of policy for education. Thus international and comparative perspectives are welcome throughout the course.	西暦偶数年度開講。 BE22551と同一。 英語で授業。 対面(オンライン併用型)
BC12291	Social Anthropology(社会人類学)	1	2.0	2 - 4	秋C	集中	山田 亨	In this course, you will learn the basic concepts and ideas of anthropology. Anthropology involves the systematic, comparative study of groups of people from all over the world and the knowledge those groups have that defines their cultures. We will draw on what we learn about other cultures to learn something about our own culture(s) and about ourselves.	英語で授業。 対面 授業実施についてはmanabaにて連絡

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BC12342	開発と金融	2	2.0	2 - 4	春AB	木3,4	鈴木 英明	This course will discuss what modality of finance will be needed for achieving 2030 Sustainable Development Goals (SDGs), based on the understanding that conventional types of development finance such as ODAs will be vastly inadequate for SDGs. The discussion will take up a variety of new financing modalities for development, taking into account ongoing works at global forum such as the World Bank. This course will be conducted in English. Students need to expect heavy workload in terms of reading requirement and class presentation.	授業、クラス発表、エセー等すべて英語で行います。英語での学習、留学に関心がある人に向いています。 BE22302と同一。 実務経験教員 対面 世界銀行元日本代表理事
BC12352	International Financial Institutions and Economic Development in Southeast Asia	2	2.0	2 - 4				This course will aim at applying the macroeconomic knowledge to analyze the actual economic development and macroeconomic issues in emerging economies in Southeast Asia on the basis of reports by the World Bank and the IMF. The course will focus on COVID-19's economic impacts and policy responses. This course will be conducted in English.	Equivalent to "International Financial Institutions and Economic Development in Emerging Economies in Southeast Asia" (BE22292). BE22292と同一。 英語で授業。 2026年度開講せず。 実務経験教員 対面
BC12361	社会開発論	1	2.0	2 - 4				国際開発の現場において、戦後の経済成長を主眼においた開発政策から、人々の厚生をより包括的に考える「社会開発」が次第に重要視されるようになってきた。本授業では、「社会開発」の系譜を国際開発の歴史的変遷を踏まえ体系的に理解し、人間開発論、ソーシャル・キャピタル、住民参加といったキーワードをもとに社会開発論への理解を深める。そして、貧困、人的資本、雇用、マイクロファイナンス、社会保障、人権・人間の安全保障といった社会問題の現状とその背景にある原因について考えることを通して、社会開発の意義と重要性を議論する。そして、社会開発プロジェクトの例などから、現在の開発プロジェクトを考察し、有効な開発政策について考える。	西暦奇数年度開講。 対面
BC12401	応用数学	1	2.0	2 - 4	秋AB	月1,2	亀山 啓輔	線形代数や解析学の発展として,画像修復などの逆問題解法として用いられる行列方程式の近似解法,主成分分析や判別法などのデータ解析手法,基礎的なパターン認識手法について,講義と計算機実習により学ぶ.	オンライン(オンデマンド型)
BC12434	情報科学II	4	3.0	2 - 4	秋ABC	月3,4	高橋 伸	情報科学Iの継続として、プログラミングの基礎を復習するとともに、基本的アルゴリズムとプログラム開発法を応用プログラムの作成を通して学ぶ。	国際総合学類の学生のみ対象 対面
BC12454	データ解析	4	2.0	2 - 4	春AB	木5,6	鈴木 大三	複雑な社会現象、自然現象、技術動向、経済変動などのデータの変化を定量的に把握し、分析・予測するための統計的手法を学ぶ。解析手法の原理を理解し、Excelの統計処理プログラムを使って、演習課題に取り組む。	国際総合学類の学生のみ対象 対面
BC12521	水環境論	1	2.0	2 - 4	春AB	水1,2	白川 直樹	河川を中心とした水環境について、自然の特性、人間の働きかけ、そして両者の関係という三つの面から学ぶ。	FG46801と同一。 対面
BC12541	都市文化共生計画	1	2.0	1 - 3	秋AB	火1,2	松原 康介	現代は多文化共生の時代である。今後の都市空間は、日本文化、欧米文化だけでなく、中国、韓国、インド、イスラームといった、アジアの諸文化との共生が求められる。本講義の前半では、一見複雑で無秩序に見えるアジア諸国の都市空間の構成を、歴史と現地映像から読み解いていく。後半では、現代におけるアジア的空間の非アジア都市への伝播の実態を踏まえて、多文化共生の都市計画に必要なアイディアや方法とは何かを考えていく。	FH46061と同一。 対面(オンライン併用型) 履修者上限90名 1~3年次生のみ受講可
BC12551	住環境計画概論	1	2.0	2 - 4	春AB	木3,4	雨宮 護,山本 幸子	最も身近な建築である住まいは、建築の基本であると同時に、都市をつくる重要な構成要素でもある。本講義では、日本における住まいの歴史、戦後の社会状況・ライフスタイルの変化が都市・農村の住宅や居住環境に与えた影響と今日的課題について解説する。さらに少子高齢・人口減少の進行とグローバル化の進展、ストック活用型社会におけるこれからの住まいづくり、まちづくりについて考える。	環境とまちづくりエリア。 FH46021と同一。 対面(オンライン併用型) 対面を基本とする。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BC12561	宇宙開発	1	1.0	2 - 4				ソ連の人工衛星スプトニークの打ち上げ以来50年.世界各国は宇宙開発にしのぎを削ってきた.現在,国際宇宙ステーションの建設が進み,「LIVING WITH STAR」のコンセプトのもと,宇宙で生活をするための技術開発を進めている.スペースシャトル建設の経緯をたどり、米国宇宙プログラムの問題点、現在進めている商用宇宙輸送システム COTS, 商用有人打ち上げシステムCCDevについて概観する.	西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。
BC12571	環境政策論	1	2.0	2 - 4	秋AB	火3,4	奥島 真一郎	本科目では、主に経済学的な観点から、環境保全のための政策手段やその評価手法について考察する。加えて、様々な価値観、ディシプリンと政策インプリケーションとの関係について考察し、「環境問題」や「環境政策」に対する多様な視点を涵養する。また、地球温暖化問題や廃棄物問題など具体的な環境問題についての理解を深める。	国際総合学類開講、社会工学類共通科目。 FH48061と同一。 対面(オンライン併用型) 国際開発学主専攻専門科目。社会工学類学生の取り扱い:地域科学エリア。
BC12591	教育援助政策論	1	2.0	2 - 4				国際開発援助の基礎知識を習得するとともに、途上国の教育の現状・課題を知悉する。次に国際開発援助の伝統的アクターである先進国・国際連合機関・開発金融機関・NGOの教育開発援助の特質を講義する。最後に21世紀になって国際開発援助アクターとして注目される中進国(含開発途上国)の南南協力、企業についての新たな潮流・影響を分析する。	西暦偶数年度開講。 CB25061と同一。 2026年度開講せず。 対面
BC12601	音声聴覚情報処理	1	1.0	3・4	春C	金3,4	山田 武志	音声入出力の基本となる音声処理について概説する。人間の音声器官・聴覚器官の構造や機能について述べ,音声分析,特徴抽出,音声認識などの方法について学ぶ。	GB41511と同一。 オンライン(オンデマンド型) 2019年度までに開設された「音声聴覚情報処理」(GB41501)の単位を修得した者の履修は認めない。
BC12621	信号処理	1	2.0	3・4	春AB	金3,4	亀山 啓輔,鈴木 大三	前半は連続信号の解析方法とその応用について講述し,演習によりそれらを使いこなす能力を身につける.フーリエ解析,線形システム,ラプラス変換,フィルタ設計などを扱う.後半はディジタル通信・マルチメディア処理で重要な役割を果す信号処理の基礎について概説する.周波数分析の概念を紹介して標本化定理にふれ,ディジタルフィルタの考え方と設計法,適応信号処理の基礎等について学ぶ.	主専攻共通科目 GB40411と同一。 対面 2020年度までに開設された「信号処理概論」(GB40101)または2020年度までに開設された「ディジタル信号処理」(GB40401)または2019年度までに開設された「ディジタル信号処理」(GB41401)の単位を修得した者の履修は認めない。
BC12624	コンピュータグラフィックス基礎	4	2.0	3・4	秋AB	火3,4	三谷 純,金森 由博,遠藤 結城	コンピュータグラフィックスに関する座標変換,形状モデリング,レンダリングなどの基礎的な理論を学ぶ.また,PythonによるOpenGLライブラリを用いたプログラミング演習を通して学習内容の理解を深めるとともに,自ら新たなCGアプリケーションを開発できるようになることを目指す.	GB13704, GC23304と同一。 対面
BC12651	情報セキュリティ	1	2.0	3・4	春AB	金1,2	西出 隆志,國廣 昇,面 和成	電子社会の進展にともなってセキュリティ対策の重要性が増している。そこで、情報セキュリティに関する基礎理論を習得し、それが実際にどう使われているかを学ぶ。基礎理論では暗号を中心とし、応用ではインターネット上に展開されるシステムのセキュリティ対策を中心に講義する。	主専攻共通科目 GB40111と同一。 対面 2019年度までに開設された「情報セキュリティ」(GB42101)の単位を修得した者の履修は認めない。
BC12671	ヒューマンインタフェース	1	2.0	3・4	春AB	木5,6	古川 宏,川口 一画	ユーザの側に立ったヒューマンインタフェースの考え方について説明する。身近な道具や日用品におけるヒューマンインタフェース,ヒューマンインタフェースの原理,インタフェース設計などについて学ぶ。GUIや視覚的インタフェース技術について学習し,これらの考え方にもとづき簡単なインタフェース設計ができるようになることを目指す。	主専攻共通科目 GB40301, GE71101と同一。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BC12681	人工生命概論	1	1.0	2 - 4				人工生命は、あらゆる生命にヒントを得て、生命的なシステム作る。あるいは作ることを通して生命を理解することを目的とした研究分野です。本講義では、生命の中心的な性質のひとつである、「創発」を生み出すアルゴリズムについて学びます。身体性を使う、集団を使う、進化を使う、という3つの異なるアプローチを通して、創発や適応を実装できる知識を身につけることを目指します。 必要に応じて、Pythonで書かれたコードを走らせながら体感的に学びます。	GB32301と同一。 2026年度開講せず。
BC12701	都市経済学	1	2.0	2 - 4	秋AB	木1,2	太田 充,牛島 光一	都市経済学と立地論の分析手法の基礎を習得し、都市・地域・国際交易に関する政策についての知識を学ぶ。	地域科学エリア。 BB41441, FH48021と同一。 G科目 対面(オンライン併用型) 期末試験は対面実施予定。
BC12712	都市計画演習	2	4.0	2	秋AB	月3-6	甲斐田 直子,鈴木 勉,谷口 綾子,谷口 守,松原 康介,和田 健太郎	(社会工学類・国際総合学類共通)「変貌するつくば市の現状と問題点,将来を探る」という課題のもと,現地調査を通して都市地域の空間を実際に体験するとともに,基礎資料の収集・解析によって地域特性を把握し,その地域における都市・地域計画上の課題を自ら発見提示し,問題解決の方法や考え方の基礎を体験的に習得することを目的とする.具体的には,担当教員毎に課題の領域が設定されるので,それぞれの課題領域で班を構成し,教員の指導を受けながら,現地調査や資料調査,データ解析,関係者との討論等を通じて,計画課題の発見と問題解決に資する提案を行う実践的能力を習得する.	必修科目(都市計画主専攻)。都市計画共通。 FH45122と同一。 対面(オンライン併用型) 教室:3E403、 3C4052020年度までにFH45123を修得したものの履修不可。2018年度以前入学者に対してはFH45123に読み替える。履修希望者が多い場合は社会工学類2~4年次生及び国際総合学類3・4年次生を優先する。「データ・AI 活用 企画・実施・評価」に資する内容である。
BC12721	都市計画原論	1	2.0	1・2	春AB	月1,2	谷口 守	我々が暮らす都市はどのように形成されたのだろうか。また、そこに存在する様々な問題はどのように解決していけばよいのだろうか。本講義は都市のなりたちとその課題、都市を構成するインフラや建築物、およびその計画の方法や将来展開について、国内外の多様な事例をひもとく事を通じ、本分野の入門として幅広い知識と知恵を身につけることを目的とする。	都市計画共通。 FH45201と同一。 対面 2年次履修推奨科目(都市計画主専攻)。 2019年度までにFH63071を修得したものの履修不可。 2018年度以前入学者はFH63071の履修に代えることができる。
BC12731	開発経済学	1	2.0	2 - 4	秋AB	火5,6	藤本 丈史	本講義ではミクロ経済学と計量経済学を分析ツールとして開発経済学を講義する。農業、金融、健康衛生、教育、経済成長、資源管理などに関する開発経済学の諸問題を扱う。	日本語による授業。 BB41421、BC12731, BE22261 をすでに修得したものは履修不可。 BB41481と同一。 対面
BC12751	都市計画の思想史	1	2.0	1 - 3	春C	火・木1,2	松原 康介	都市計画を学ぶこととは、一義的には都市を制御するための技術を習得し職能として身に着けることを意味するが、その成立の背景で積み重ねられてきた多くの試行錯誤の歴史を知ることは、都市計画と人間の関わりのあり方を客観的にとらえ、技術と倫理の関わり方を考える力を養うことにつながる。本講義では、都市計画の基礎的なトピックを対象に、その成立に関わった人々の考え方や言葉を「しつこく丁寧に掘り下げて」議論する。テキストや写真、図面など、できるだけ多くの生資料に触れて頂く。 国際の学生にとっては、世界史もふまえた広い切り口からの都市計画への入門講座として位置付けられる。また、社工生にとっては、普段学んでいる技術としての都市計画の成立の背景に、どんな人々のどのような考え方が潜んでいたのかを再認識する機会として頂きたい(もちろん、他学類の学生も歓迎します)。	FH45081と同一。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BC12831	都市計画の歴史	1	2.0	1・2	春AB	木1,2	藤川 昌樹	古代から現代に至る都市・建築の歴史を概説し,各時代の空間の特色と政治・経済・社会・技術的背景との関連について考察を進める。また、現代に残された歴史的環境を保存するための制度・事例についても論述する。	都市計画共通。 FH45211と同一。 対面 2年次履修推奨科目(都市計画主専攻)。 2019年度までにFH63081を修得したものの履修不可。 2018年度以前入学者はFH63081の履修に代えることができる。
BC12871	コンピュータネットワーク	1	2.0	3・4	春AB	木5,6	佐藤 聡,津川 翔	データ通信における伝送と交換の基礎およびLAN,WAN,インターネットなどのコンピュータネットワークを構築するための基礎となるアーキテクチャについて解説する。	主専攻共通科目 GB30101, GC25301と同一。 対面(オンライン併用型) 情報メディア創成学類の「情報通信概論」(GC25101)の単位を修得した者の履修は認めない。2018年度以前の入学の情報科学類生の受講は認めない。
BC12881	機械学習	1	2.0	3・4	春AB	火1,2	秋本 洋平	人間による判断や認識と同等の機能をコンピュータを用いて実現する機械学習や人工知能の理論と方法を、教師付き学習、教師なし学習を中心に理解する。	主専攻共通科目 GB40501と同一。 対面 2020年度までに開設された「機械学習」(GB42404)の単位を修得した者の履修は認めない。
BC12883	知能情報メディア実験A	3	3.0	3	春ABC	水3,4 金5,6	萬 礼応,冨安 洋史,古川 宏,滝沢 穂高,伊藤 誠,齊藤 裕一,崔 子歆,金森 由博,遠藤 結城,天笠 俊之,髙橋 大成,孟 成柱	認識・理解や学習・獲得などの知的情報処理や,音声・画像などの情報メディアの生成,入出力,効率的な蓄積・伝達に関する理論と技術の修得を目指し,それらに関するテーマの中から幾つか選択して具体的課題に取り組む。	GB46403と同一。 対面(オンライン併用型) 開講日注意(テーマごとに設定。詳細は主専攻実験ウェブページ参照)情報科学類生と国際総合学類生に限る。
BC12893	知能情報メディア実験B	3	3.0	3	秋ABC	水3,4 金5,6	萬 礼応,冨安 洋史,古川 宏,乾 孝司,秋本 洋平,三谷 純,天笠 俊之,髙橋 大成	認識・理解や学習・獲得などの知的情報処理や,音声・画像などの情報メディアの生成,入出力,効率的な蓄積・伝達に関する理論と技術の修得を目指し,それらに関するテーマの中から幾つか選択して具体的課題に取り組む。	GB46503と同一。 対面(オンライン併用型) 開講日注意(テーマごとに設定。詳細は主専攻実験ウェブページ参照)情報科学類生と国際総合学類生に限る。
BC12921	Health Economics	1	2.0	2 - 4	春AB	木5,6	モゲス アブ ギルマ	Health Economics is an applied economics course that analyzes issues in health, medical care and health finance. The demand for health and medical care services and the economic behavior of health service providers and the operation of health insurance markets are analyzed with economic tools of analysis and perspectives. The role of the government sector in the provision, regulation and financing of health care services are addressed within the context of health sector policies both in developed and developing countries.	BE22861と同一。 英語で授業。 対面
BC12931	北アフリカの文化と社会	1	2.0	2 - 4	秋AB	水3,4	喜田川 たまき	本講義では、北アフリカ地域における社会構造の基盤であるイスラームとインディジナスな文化であるアマジグとの併存について考察する。画一的に語られることの多いイスラーム社会の多様性の理解を目指すとともに、近代化による文化変容やナショナリズム、伝統文化を利用した原理主義化の抑制政策とその反動など、現代社会が直面する文化的諸問題を論じる。	対面
BC12941	環境人類学	1	2.0	2 - 4	秋AB	火5,6	寺内 大左	本講義では、環境人類学と密接に関係する文化生態学、民族生態学、政治生態学、マルチスピーシーズ人類学の概要を学ぶ。そして、世界の多様な環境で生じている問題を人類学の視点から学んでいく。	西暦偶数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BC12951	地理情報システム概論	1	2.0	2 - 4	秋AB	木3,4	ラムダニ ファトゥワ	This course provides basic understanding of the fundamental concepts, principles, functions, and applications of Geographic Information Systems (GIS) in the domain of social science. A special focus of the course will be to illustrate the utility of GIS in applied studies such as data acquiring, inputting, storing, managing, analysing, and mapping geospatial data. We will cover widely used database such as Landsat-8 and Sentinel-2, nighttime imagery, global impervious surface area, and world land cover. We will learn using free and open-source GIS software like QGIS and GeoDa for case-based focus on real-world applications. There is no prerequires course to take this course, however basic understanding of statistic is an advantage. This course will be conducted in English.	英語で授業。 対面
BC12961	国際農業開発論	1	2.0	2 - 4				農業は、私たちの生活を支える基本的な営みである一方で、人口、土地所有、食料安全保障、エネルギー、文化、環境といった、社会の様々な側面における課題とも密接にかかわっている。本講義では、世界の農業生産地域とグローバルレベルの社会的な課題のつながりを、事例を交えて紹介しながら、農業や農村を軸とした、持続可能な開発について検討する。	西暦奇数年度開講。 対面
BC12971	ラテンアメリカの環境と社会	1	2.0	2 - 4	秋AB	火1,2	藤澤 奈都穂	本講義では、ラテンアメリカの天然資源や環境の利用・開発・保全に関連する問題に焦点を当て、異なる価値観や権力がそれらにどのような影響を及ぼしてきたかを概観する。グローバルな価値観や市場の需要がトップダウンで国家や地域社会に伝達される一方で、ボトムアップの動きが国際社会のパラダイムシフトを主導する側面もある。持続可能な社会の実現に向けて、ラテンアメリカから学べることを議論する。	西暦偶数年度開講。 対面

専門ゼミナール

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BC13114	国際学ゼミナールI	4	3.0	3	通年	随時	国際総合学類各教員	標準履修年次は3年次で,各教員の指導の下に行うゼミナール。	国際総合学類の学生のみ対象 対面(オンライン併用型)
BC13124	国際学ゼミナールII	4	3.0	4	通年	随時	国際総合学類各教員	標準履修年次は4年次で,各教員の指導の下に行うゼミナール。	国際総合学類の学生のみ対象 対面(オンライン併用型)
BC13312	独立論文	2	3.0	3	通年	随時	国際総合学類各教員	選んだ研究課題について教員の指導のもとで論文を作成する。	対面(オンライン併用型) 国際総合学類の学生のみ対象
BC13322	独立論文	2	3.0	3・4	春C秋ABC	随時	国際総合学類各教員	選んだ研究課題について教員の指導のもとで論文を作成する。	対面(オンライン併用型) 国際総合学類の学生のみ対象

インターンシップ

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BC15103	インターンシップI	3	2.0	2 - 4	通年	応談	吉田 脩,大友 貴史	学生が,企業,研究所,非営利団体などの現場で,大学では得られない経験と自らの能力・適性を客観的に判断する機会を得る。インターンシップ開始前の企業・学類間の了解および終了後の企業からの報告が単位認定の条件。	国際総合学類の学生のみ対象 別途申請(履修ガイド参照) CDP 対面(オンライン併用型)
BC15113	インターンシップII	3	1.0	2 - 4	通年	応談	吉田 脩,大友 貴史	学生が,企業,研究所,非営利団体などの現場で,大学では得られない経験と自らの能力・適性を客観的に判断する機会を得る。インターンシップ開始前の企業・学類間の了解および終了後の企業からの報告が単位認定の条件。	国際総合学類の学生のみ対象 別途申請(履修ガイド参照) CDP 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BC15210	海外研修I	0	2.0	1 - 3	通年	随時	寺内 大左	本研修はインドネシア共和国パプア州で約2週間、学生それぞれが設定するテーマに基づいてフィールドワークに取組む。そして、異文化社会、国際関係、国際協力について学ぶ。	国際総合学類の学生のみ対象。 対面 人数上限あり(最大10人:学内選考あり)。

卒業論文

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BC14908	卒業論文	8	6.0	4	通年	随時	国際総合学類各教員	卒業論文を作成する。	必修 対面(オンライン併用型)
BC14918	卒業論文	8	6.0	4	春AB	随時	国際総合学類各教員	卒業論文を作成する。	必修 5月に卒論提出予定の学生のみ対象 対面(オンライン併用型)

開設母体　　要件

人間学群学群コア・カリキュラム(専門基礎科目)

人間学群学群コア・カリキュラム(専門基礎科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CA10001	人間学I	1	1.0	1	春A	月1,2	人間学群長,高橋 阿貴,松田 壮一郎,藤 桂,徳永 智子,平井 悠介,田中 怜,大村 美保,山田 実,前原 和明	人間学の根底には、個と社会の結節点に人間を位置づけ、社会と人間との関係性を動的にとらえる見方が存在している。教育学、心理学、障害科学、の視点からなされる10名の教員によるオムニバス形式の講義を通じて、個としての人間、社会に生きる人間、人間と社会の関係性という側面を理解し、「人間とは」を多面的に学ぶ。	2021年度以前の人間学群入学者は,これを「人間学」の単位とする。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
CA10051	障害科学I	1	2.0	1	春BC	NT	林 小百合,ナイミ モハマド イドリス,魚野 翔太,河野 禎之,三盃 亜美,佐島 毅,宮本 昌子,柿澤 敏文,野呂 文行,小島 道生,小渕 千絵,飯村 大智,丹治 敬之,前原 和明,鈴木 寿人	人の感覚機能および諸認知機能の発達と障害に関する基礎的知識を教授する。前半は「生理・病理学の立場から障害科学を捉える」、後半は「心理学の立場から障害科学を捉える」で構成する。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
CA10061	障害科学II	1	2.0	1	秋AB	NT	王 青童,青木 瑞樹,左藤 敦子,名川 勝,佐々木 銀河,大村 美保,山中 克夫,米田 宏樹,岡 典子,八重田 淳,森地 徹,宮内 久絵,藤本 啓寛,石塚 祐香,山田 実,細川 大瑛,末吉 彩香	「障害科学」についての基礎的な知識を教授するとともに、その領域についての展望を提示する。前半は「障害原理論・特別支援教育学の立場から障害科学を捉える」、後半は「障害福祉学の立場から障害科学を捉える」で構成する。	専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
CA10091	キャリアデザイン入門	1	1.0	1	秋C	水5,6	大村 美保,京免 徹雄,糸井 千尋	大学卒業後の自分の進路について,講義とグループディスカッション,および人間学群の専門性と関連の深い職種・進路先からの外部講師による講演を通して考える。	人間学群学生に限る。ただし,総合学域群で人間学群への移行を希望する学生の受講は認める。CDP 対面(オンライン併用型)
CA10113	人間フィールドワークI	3	1.0	1・2	春C秋ABC	随時	遠藤 優介,菅原 大地,三盃 亜美	人間学群で学ぶこと(教育学、心理学、障害科学)に関係するフィールドワークについて幅広く知るとともに、人間に関する実践的活動・実践的研究の基礎を学習する。	人間学群学生に限る。人間学群学生は履修することが望ましい。 対面(オンライン併用型)
CA10123	人間フィールドワークII	3	1.0	2・3	通年	随時	遠藤 優介,菅原 大地,三盃 亜美	教育学、心理学、障害科学と関連する、大学内外におけるフィールドワークに参加し、人間に関する実践的活動の基礎を体験的に学習する。	人間学群学生に限る。フィールドワークIを履修していること。 対面(オンライン併用型)
CA10133	人間フィールドワークIII	3	1.0	3・4	通年	随時	遠藤 優介,菅原 大地,三盃 亜美	教育学、心理学、障害科学と関連する、大学内外におけるフィールドワークに参加し、人間に関する実践的活動の基礎を体験的に学習する。	人間学群学生に限る。フィールドワークIおよびIIを履修していること。 対面(オンライン併用型)
CA10141	国際教育政策概論	1	1.0	2・3	春B	集中	タスタンベコワ クアニシ	During this course, we will learn and discuss the main principles of UNESCO's educational policies and its recent trends. The main topics are "Four Pillars of Education", "Education for All", "Women and Girls Education", "Education for Sustainable Development", "Global Citizenship Education", "Post-2015 agenda", "Sustainable Development Goals"	2021年度までのCB11111と同一。CB11111の単位を取得済みのものの履修は認めない。 英語で授業。 G科目 対面 2-5限(7/3のみ3-4限)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CA10161	Current Topics in Disability Sciences	1	1.0	1 - 4	秋C	木5,6	宮内 久絵,ナイミ モハマド イドリス	This is an English lecture series covering contemporary areas in disability sciences. The lectures are intended to introduce various topics from basic information to the latest research findings relating to not only disability sciences, but also social welfare and special education in Japan and around the world. Through making discussions about these pieces of information, the students are expected to get deep understanding of the topics.	2021年度までのCE12101と同一。CE12101の単位を取得済みのものの履修は認めない。 英語で授業。 G科目 オンライン(オンデマンド型) オンライン(同時双方向型)
CA10201	人間学II	1	1.0	1・2	秋AB	NT	森地 徹,山口 一大,上田 孝典,石塚 祐香,外山 美樹,勝田 光,小渕 千絵,川上 直秋,長田 友紀	「人間学」は、個と社会との関係性を、教育学、心理学、障害科学の視点から、「人間とは何か」を多面的に学習してきた。「人間学IIは、個と社会との関係性を、教員のそれぞれの学問分野の研究実践から、「人間とは何か」を追究する。	学群コア科目(他学群学類にも開放) 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)

開設母体　　要件
教育学類

学類共通(専門基礎)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CB11051	教育インターンシップ基礎論	1	1.0	2	春AB	月5	川上 若奈,教育学類長,太田 知彩,田中 怜,陳 鑫	この授業では、教育インターンシップ実践演習において実際に教育現場を訪問することに先立ち、どのような教育現場があるのか、そこではどのような人たちが働いているのか、さらには、どの人たちはどのような教育活動を展開しているのかを、調べ学習やゲストの講話を通して理解することを目的とする。	教育学類生に限る 実務経験教員 対面 ※必修科目
CB11062	教育インターンシップ実践演習	2	1.0	2	春C 秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談	川上 若奈,教育学類長,太田 知彩,田中 怜,陳 鑫	この授業では、学校教育現場或いは地域教育現場のいずれか一方の教育現場を選び、主として開講期間中に合計で2日間程度、実際にその教育現場を訪問し、当該教育現場においてどのような教育活動が展開されているかを観察することを目的とする。	教育学類生に限る 実務経験教員 対面 ※必修科目
CB11081	教育基礎論	1	2.0	1	春BC	金5,6	田中 マリア,平井悠介,京免 徹雄	「教育問題」を講義の入り口に据え、教育学がそれをどのように扱っているのかを講ずる。日常を学問的な視点から捉え直す機会を与える。	教育学類学生は「学校の経営・制度・社会」と併せて受講すること。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) ※必修科目
CB11091	学校の経営・制度・社会	1	2.0	1	秋AB	金5,6	小松 孝太郎,遠藤優介,古田 雄一	教育の思想と理論、教育実践と方法、教育の制度と経営、人間形成と環境・文化の基礎的知識について概説する。	教育学類学生は「教育基礎論」と併せて受講すること。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) ※必修科目
CB11101	国際教育協力論	1	2.0	2・3	春AB	水5,6	江藤 双恵,名畑目真吾,金 玹辰,太田 知彩	1ヵ月ほどのタイへの派遣(日本語教員の補助)を目的として,そのための講義を行う。国際教育協力の知識と考え方を習得するとともに,タイでの日本語補助教員としてのボランティア活動ができる資質を養う。 国際教育協力のあり方を概観し,ボランティア活動をするためのタイの社会,文化,教育について学ぶ。タイ語とタイにおける日本語指導について学ぶ。過去にタイへ派遣された学生たちの体験談を聞き,モチベーションを高めるとともに引き継ぎをおこなう。国際協力実習でタイにおける実習を行うためには,この講義の履修が条件である。実習においては,基本的な社会ルールとマナーを守ること,および実習校で受けた助言をよく理解し,省察することが求められる。これらの点についても,この授業を受講する時点から意識すること。 また,履修希望者は,水曜日第5時限の第1回の授業に必ず参加すること。その他,授業中の指示に従うこと。	キーワード:タイ語,タイ文化,タイの社会と教育,日本語教育,教育実践,ボランティア,国際協力 G科目 対面 タイにおける実習を行うためには,この講義(春学期AB,水曜日5･6時限)の履修が条件である。4年生の履修は原則として認めない。なお,タイの情勢や感染症の拡大状況等によって,実習の中止や予定変更があり得ることを理解して受講すること。タイにおける実習は教育学類生･人間学群生が優先であり,教職課程の履修が条件となる。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CB11103	国際教育協力実習	3	2.0	2・3	夏季休業中	集中	金 玹辰,名畑目 真吾,太田 知彩	タイにおいて日本語の補助教師として活動する。なお,旅費は実費を受講者が負担する。8～9月,11～12月,2月～3月を目途にそれぞれ1~2名前後が実習を行う。派遣先により,教える対象は高校生もしくは大学生となる。タイでの日本語補助教員としてのボランティア活動を体験し,国際的な視野を広げるとともに異文化理解,人間尊重の精神などを習得する。 ・はじめの1週間 タイでの現地教員によるオリエンテーション,ホームステイ先との交流 ・約2~3週間 主に高校生を対象として,タイの大学の附属高校などで日本語授業の補助教師としてのボランティア活動。指導内容は,日本語の発音,書き方,会話,文化,習慣など多岐にわたるが,現地での進み具合により担当教員の指示に従う。 タイでの授業の取り組み方などを総合して評価する。 他の授業を休んで参加することにもなるので,関係の先生と十分に話し合うこと。人数の制限があるので,希望の期間に実習が行えないこともある。独学でもタイ語の習得をすすめる。実習においては,基本的な社会ルールとマナーを守ること。実習校で受けた助言をよく理解し,省察すること。	キーワード:タイ,学校,実習 G科目 対面 国際教育協力論の単位を修得していることを条件とする。人数を制限する。事前実習申込を行った者のみ。教育学類生,人間学群学生を優先する。教職課程の履修が条件となる。4年生の履修は原則として認めない。
CB11137	教育学研究法A	7	2.0	2	春AB	月3,4	徳永 智子,タスタンベコワ クアニシ,國分 麻里,蒔苗 直道	前半の1/2では、論文の構成、文献の扱い、プレゼンの作法(練習を含む)など基本的な研究入門を扱う。後半の1/2では、分かりやすい教育学に関する論文(英文を含む)を題材に、論文の目的、展開、構成、結論の書き方について学ぶ。	教育学類生に限る。 実務経験教員 対面 ※必修科目
CB11147	教育学研究法B	7	2.0	2	秋AB	月3,4	京免 徹雄,川上 若奈,太田 知彩	原理、思想、歴史、学校研究、政策研究、国際比較、教科教育など、教育学のいずれかの分野または複数について扱う。担当教員が、自分の研究や最近の研究成果を題材に、どのように研究方法を活用しているかを解説し、その後、実際に受講者が調査や文献検討を行い、研究方法の活用力を習得する。	教育学類生に限る。 実務経験教員 対面 ※必修科目
CB11151	教育学実践演習	1	1.0	3	通年	随時	教育学類全教員,教育学類長	教育実践に関する演習を通して,教育事象の総合的な理解を図るとともに,教育研究の基礎を学ぶ。卒業研究指導につながる,教員と学生の指導関係を構築する。	教育学類生に限る 実務経験教員 対面 ※必修科目

学類共通(専門)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CB21918	卒業研究	8	6.0	4	通年	随時	教育学類全教員,教育学類長	年2回の卒業研究指導会(構想発表会と中間発表会)で発表し、そこでの指導を踏まえて、4年間の学習の成果を「卒業論文」としてまとめる。	教育学類生に限る 実務経験教員 対面 ※必修科目
CB21928	卒業研究	8	6.0	4	春学期	随時	教育学類全教員,教育学類長	年2回の卒業研究指導会(構想発表会と中間発表会)で発表し、そこでの指導を踏まえて、4年間の学習の成果を「卒業論文」としてまとめる。	教育学類生に限る 実務経験教員 対面 ※必修科目 9月卒業予定の学生のみ対象

人間形成系列(専門)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CB22011	教育哲学	1	2.0	2	春AB	金1,2	平井 悠介	個性の育成と社会性の育成をはじめとした、教育を取り巻く価値の二項対立に注目しながら、現代の教育に関わるさまざまな問題と、教育のあり方とを検討していく。その際、現代の教育課題を検討の対象にすえ、近代教育理論・教育思想に課題解決の糸口を求めながら、問題の本質を深く探究していく。	対面
CB22021	日本教育史	1	2.0	2	秋AB	金5,6	平田 諭治	時代状況と関連づけながら、近代以降「教育」に枠づけられる、人間形成の展開・構造・特質を探究する。日本の「学校」の位相を中心に、テキストを用いて通史的に検討・考察する。	対面
CB22022	日本教育史演習	2	1.0	3				時代状況と関連づけながら、近代以降「教育」に枠づけられる、人間形成の展開・構造・特質を探究する。日本の「学校」の位相を中心に、専門的な論文や資料を用いて検討・考察する。	西暦奇数年度開講。 対面
CB22031	外国教育史	1	2.0	2				古代ギリシア・ローマから20世紀に至るまでの教育の思想と実践の変化をヨーロッパの歴史の中で位置づけ、教育と社会・文化の相互連関に注目して講義する。	2026年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CB22041	道徳教育論	1	2.0	2				シュタイナー教育における人間形成 シュタイナー教育およびその道徳教育について,その基盤となっている人間観や社会観から読み解くことによって,心理主義化する現代の学校教育や道徳教育の問題点を指摘し,その解決策を模索する。	2026年度開講せず。
CB22042	道徳教育論演習	2	1.0	3				道徳教育の諸理論について検討するとともに、その教材を開発する。	2026年度開講せず。
CB22051	比較道徳教育論	1	2.0	2	春AB秋AB	水2	川上 若奈	本科目は、諸外国の道徳教育の理論や実践などを知り、それらを日本の道徳教育の理論や実践などと比較することによって、各々の道徳教育の特質に対する理解を深めようとするものである。また、そのような学習を通して、多様な道徳教育の在り方やその可能性についても考える。	西暦偶数年度開講。 対面
CB22052	比較道徳教育論演習	2	1.0	3				「道徳教育」を「人間形成」という広い視野からとらえ直し、国内外・学校内外問わず、様々な人間形成の在り方を比較することによって、現在、日本の道徳教育の特質や問題点に関する理解を深める。原則として、連続コマで開催する。具体的には、1コマ目で個人ないしグループで関心のあるテーマをひとつ決めて、それを道徳教育との関連においてまとめ、発表してもらう。そして、その発表内容を踏まえた討議を2コマ目で行う。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
CB22071	教育思想論	1	2.0	2				本科目は、「教育とは何か」という根源的な問いをはじめ、現代に生きる我々が日ごろ、無自覚・無意識的に自明の理として前提としてしまっている教育の概念や考え方などについて、それらを改めて相対化し、問い直してみようとするものである。具体的には「教育」を広く「人間形成」という観点からとらえ直したうえで、いくつかの代表的な教育思想をとりあげ、そこで問われている諸々の論点について考察を進めていく。	西暦奇数年度開講。 対面 2-6限
CB22081	キャリア教育論	1	2.0	2	春AB秋AB	火6	藤田 晃之	キャリア教育に先行して実践されてきた職業指導・進路指導の歴史的展開と理論的背景、キャリア教育提唱後の推進施策及び学校における諸実践の特質と課題に関する講義を通して、キャリア教育についての理解を深め、今後の在り方を探る。	実務経験教員 対面
CB22112	教育哲学演習	2	1.0	3	秋AB	火3	平井 悠介	個性の伸張(個人の自由の拡大)と社会性の育成(社会の維持・発展を担う市民の育成)という、対立的要素を含んだ二つの教育目的をいかに両立させるか、という近代教育が抱えてきた課題について、現代の教育に関わるさまざまな問題を取り上げながら、考察していく。受講生各自が、関心のあるテーマから問題を見つけ、その問題を自ら、もしくは協働して、さまざまな側面から考えていく演習を行う。	対面
CB22122	キャリア教育論演習	2	1.0	3	春AB	月3	藤田 晃之	日本を含め、世界の多くの国におけるキャリア教育(及び類似の教育実践)を支える基礎理論は、ドナルド・E・スーパーをはじめとしたアメリカ合衆国(以下、アメリカ)の研究者らによって構築されたものである。では、当のアメリカの学校では、どのようなキャリア教育が行われているのだろうか。本演習の前半ではアメリカの学校教育について日本語で書かれた文献を、後半ではアメリカの教育関係者向けに書かれた英語の文献を読みながら、アメリカにおけるキャリア教育実践の特質と課題を探る。	原則として、前年度までにキャリア教育論を履修し、単位を取得した学生のみが履修できる。 実務経験教員 対面
CB22132	外国教育史演習	2	1.0	3				西洋教育史および教育思想史に関する古典および研究書(論文)の読解を中心に授業を進め、相互討議のなかで問題意識と歴史認識を深めていく。	2026年度開講せず。
CB22141	アジア教育史	1	2.0	2	春C 秋C	木3,4 集中	國分 麻里	春学期は、朝鮮教育史を中心にる講義および文献の購読を通して、基礎的な研究成果を学ぶ。秋学期はアジア教育史に関する文献の購読および報告を通して、アジアの教育史に関する理解を深める。	実務経験教員 対面
CB22142	アジア教育史演習	2	1.0	3				韓国において朝鮮教育史に関する2泊3日の巡検を行なう。近世の科挙制度に関する建物や、近代教育史の史資料や当時の状況などを自分の目で確かめ、考えることが目的である。	※詳細については担当教員に確認すること。 2026年度開講せず。 実務経験教員 対面 2027年度より西暦奇数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CB22172	教育思想論演習	2	1.0	3	秋C	木5,6	田中 マリア	本科目は、「教育とは何か」という根源的な問いをはじめ、現代に生きる我々が日ごろ、無自覚・無意識的に自明の理として前提としてしまっている教育の概念や考え方などについて、それらを改めて相対化し、問い直してみようとするものである。具体的には「教育」を広く「人間形成」という観点からとらえ直したうえで、代表的な教育思想家たちの論を手掛かりに、そこで問われている諸々の論点について考察を深めていく。共通の著書を輪読するか、受講者による任意の思想・書籍について討議するか、初回の授業で参加者と相談しながら決定する。	「教育思想論」を履修していない者でも参加可。 西暦偶数年度開講。 対面

学校教育開発系列(専門)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CB23011	教育課程論	1	2.0	2	秋AB	金1,2	田中 怜	教育課程とは、学校において教え・学ばれる意図的に組織された教育内容の総体を指す。その内容は普遍(不変)的ではないため、本来であれば時代や場所によって多様に編まれうる。しかし学校教育を通して染みついた被教育経験は、しばしばそのことを忘却の彼方に追いやってしまう。そこで本講義は受講者の被教育経験を手掛かりにしつつも、それをカリキュラム研究の眼で反省的・多視点的に捉え直していく。特に初等教育段階の教育課程を対象に据え、受講者が慣れ親しんだはずの教育内容を異化(Verfremdung)し学びほぐす(Umlernen)ことが目指される。	対面
CB23021	学習指導論	1	2.0	2	秋AB	木1,2	樋口 直宏	授業を構成する要素や、主要な教授法と形態等について研究しながら、教育方法の基礎理論について講義する。具体的には、小学校の実践例を中心に取り上げながら、授業の設計や教材、教育機器、指導技術や学習形態等について考える。	対面
CB23031	教育工学	1	2.0	2	秋C春季休業中	集中		教育工学的視点から授業設計を行うために必要な基礎的知識を習得する。そのために、各種の学力調査や教育政策の動向などを踏まえ、最新の授業方法と情報技術の活用について考察する。また、これらの技術を活用した教材制作や授業方法のプレゼンテーションなどの発表を行う。	社会教育主事 学芸員 西暦偶数年度開講。 対面 2-6限
CB23041	視聴覚教育論	1	2.0	2				視聴覚教育が果たす役割および視聴覚教材の構成とその運用について文献と最近の話題から検討する。	社会教育主事 学芸員 西暦奇数年度開講。 対面 2-6限
CB23051	学習情報処理論	1	2.0	2				学習指導および授業をとりまく諸条件のうち、ICT教育、授業分析、教育評価を中心に取り扱う。ICT教育については、教具・教材ソフト・メディアリテラシー・情報モラル教育等を、授業分析については、定量的および質的分析方法を、教育評価については、学力に関する理論、学力調査の動向、および教育評価の方法を中心に考察する。	社会教育主事 学芸員 西暦奇数年度開講。 対面
CB23061	教育臨床学	1	2.0	2				現代の教育における様ざまな問題―学校、子ども、児童、教師、家庭との連携などに関する問題―を理解し、児童への援助を可能にするため、教育臨床学に関連する基礎理論を概説する。具体的には、児童・生徒の発達の様相、その問題、発達のつまずきの理解、児童・生徒の成長と発達の援助の基礎について学ぶ。	2026年度開講せず。 対面
CB23062	教育臨床学演習	2	1.0	3				現代の児童・生徒の問題、あるいは学校、教師、保護者、教育環境や地域社会の問題の理解、究明、援助について演習と実習を通して学ぶ。教育臨床に関する学術論文を受講生がレポートし、集団討議する。また援助の技法を学ぶ。	2026年度開講せず。 対面
CB23071	社会認識教育論	1	2.0	2	春AB秋AB	火1	唐木 清志	学校教育で展開されている社会認識を高めるための教育について、その理論と方法について概説する。具体的には、サービス・ラーニング、多文化教育、まちづくり学習、主権者教育、人権教育などを取り上げる予定である。	対面
CB23091	数学教育論	1	2.0	2	春AB秋AB	火2	清水 美憲	数学教育の新教育課程の目標と内容、数学の教授・学習、学力評価、教材開発等について、最新の話題を取り入れながら多面的に検討する。	小学校(教科又は教職に関する科目/選択必修) 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CB23101	科学教育論	1	2.0	2	秋AB	火3,4	小松 孝太郎	算数・数学教育やICT活用教育の立場から科学教育を捉えた上で,それらの教授・学習や教材開発等について検討する。	対面
CB23121	児童文学論	1	2.0	2				春学期は、廣野氏の『批評理論入門』をテキストにして文学作品を論じる方法について学ぶ。秋学期は、受講生各自が選択した児童文学作品について、自ら設定した課題についての検討結果を報告し、参加者全員の討議を経たうえで論文をまとめる。	西暦奇数年度開講。 対面
CB23131	理科教育論	1	2.0	2	秋C	集中	遠藤 優介	教科「理科」の成立・発展過程、理科教育の目的・目標、諸外国における科学(理科)教育、理科の教授・学習と科学論、教材開発等を中心に取り上げ、最新の教育動向を踏まえながら、現代理科教育の展開と課題について学ぶ。	対面 ※2020年度までの「科学教育論(CB23101)」を履修済みの者については、履修を認めない。 詳細後日周知
CB23151	数学教育史	1	2.0	2				数学教育の発展や歴史的展開を概観する。日本の数学教育および海外の動向について、英文講読や調査等、適宜、受講者による課題発表を含める。	西暦奇数年度開講。 対面
CB23172	カリキュラム開発演習	2	2.0	3	秋AB	木1,2	田中 怜	本演習ではカリキュラム開発についてカリキュラム研究の視点から発展的な理解を得るため、関連文献の精読を通した発表と議論を行う。	対面
CB23222	学習指導論演習	2	1.0	3	春AB	月4	樋口 直宏	学習指導および教育方法の諸問題について、受講者の発表をもとに討論を行う。基本文献の講読および授業の実際についても学び、受講生の問題関心を深める。	対面
CB23242	児童文学論演習	2	1.0	3	春AB	木4	勝田 光	リリアン・スミスの『児童文学論』をテキストにして、良い児童文学の基準、各ジャンルの代表的な作品を学ぶ。授業の後半では、児童文学作品を選び、リテラチャー・サークルの方法を用いて読む。なお、テキストの購読する章とリテラチャー・サークルで読む児童文学作品は、受講生の興味・関心に基づいて決めます。	西暦偶数年度開講。 対面
CB23252	数学教育論演習	2	1.0	3	春AB	木3	清水 美憲	数学教科書、国内外の学力調査問題の分析及び討議を通して、数学教育のカリキュラム、授業、学力評価、教材開発等に関する理解を深める。	対面
CB23271	特別活動論	1	2.0	2	春AB秋AB	月6	京免 徹雄	特別活動(学級・ホームルーム活動、児童会・生徒会活動、学校行事、クラブ活動)は、様々な集団活動に自主的・実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」のための資質・能力を培う取組です。近年は、社会情動(非認知)的スキルの育成に有効だとして海外からも注目されていますが、その特質はどこにあるのでしょうか。本授業では、特別活動の歴史、思想、理論について「集団」や「自治」といった視点から考察した上で、それらがどのように実践に反映されているか、検討していきます。 授業は、講義・資料読解・映像視聴などの内的活動と、発表・ディスカッションなどの外的活動をペアにして進めていきます。前半は、学級・ホームルーム活動に着目して、合意形成および意思決定の機能について理解を深めます。後半は児童会・生徒会活動および学校行事に焦点を当て、子どもによる自治(的)活動の可能性について追及します。また、特別活動がキャリア教育やシティズンシップ教育にどのように貢献しうるかについても検討します。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CB23272	特別活動論演習	2	1.0	3	春AB	火2	京免 徹雄	特別活動(学級・ホームルーム活動、児童会・生徒会活動、学校行事、クラブ活動)は、様々な集団活動に自主的・実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」のための資質・能力を培う取組です。日本型教育モデル“TOKKATSU”として、近年は海外からも注目されていますが、一方で理論やエビデンスを十分に活用しないまま、経験則(教師の暗黙知)で実践されているという弱点も抱えています。 本授業では、日本特別活動学会の学会誌である『日本特別活動学会紀要』に掲載された論文を精読することで、人文・社会科学の観点から特別活動を考察し、その特質および教育効果のあるカリキュラム、実践、評価について探求していきます。具体的には、各回のテーマに沿った形で、毎回2本の研究論文について担当者を決めて発表し、ディスカッションを行います(受講者の人数によって、扱う論文の本数は変更する可能性があります)。	対面
CB23282	海外授業研究演習	2	1.0	2・3				教師に限らず英語で仕事をすることが普遍的に求められる時代です。本授業では、日本の授業研究として知られる授業研究の方法を、小学校低学年の算数教材を通して英語で学びます。また、実際に海外実習する場合も含めて、様々な教科で求められる授業づくり方法を英語で習得します。	2026年度開講せず。 G科目 対面
CB23283	海外授業研究実習	3	1.0	2・3				東南アジアの関係大学で1か月間の実習を行います。	海外授業研究演習(CB23282)を履修済みの者に限る。 英語で授業。 2026年度開講せず。 G科目 対面
CB23321	生徒・進路指導論	1	2.0	3	秋C 夏季休業中	火1,2 集中	大谷 奨,花屋 哲郎	小学校教員として、生徒・進路指導を行う上で必要な知識、技能を身に付けることを目的とする。	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 8/27,8/28 詳細後日周知 対面
CB23331	教育相談論	1	2.0	3	夏季休業中	集中	中井 大介	小学校教員として、教育相談を行う上で必要な知識、技能を身に付けることを目的とする。	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 2-6限 9/8-9,9/15-16 詳細後日周知 対面
CB23381	初等特別支援教育	1	1.0	3	秋AB	金2	小渕 千絵,宮内 久絵,德永 智子,飯村 大智,石塚 祐香,丹治 敬之,林 小百合,藤本 啓寛	小学校教員として、特別支援教育を行う上で必要な知識・技能を身に付けることを目的とする。	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る オンライン(オンデマンド型)
CB23391	初等総合的な学習の時間の指導法	1	1.0	3	夏季休業中	集中	粕谷 昌良,盛山 隆雄	本授業では、小学校における総合的な学習の時間の意義、目標、指導内容について理解を深めるために、講義と総合的な学習の時間の諸活動を通して教材研究及び指導法の演習を行う。	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る1-5限 8/29,8/30 実務経験教員 対面
CB23401	教育心理学	1	1.0	1	春季休業中	集中	大六 一志	通常の学級にいる,特別な教育的ニーズのある子(特別支援の必要な子,発達障害のある子,不健全な養育を受けている子,日本語ネイティブではない子など)について,彼らの行動に対する理解の仕方を説明するとともに,通常の学級でできること,通常の学級でやるべきことを解説する。	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る/新課程科目 2/22,2/27 詳細後日周知 対面 1-5限
CB23431	教職論	1	2.0	1	春AB秋AB	金4	朝倉 雅史	教職の意義、教員の役割、職務内容について、原理論的アプローチ、制度論的アプローチ、社会論的アプローチという三つの視角から概説する。	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 対面
CB23441	日本史概論	1	1.0	1・2	秋C	集中	大庭 大輝	歴史学習とは異なる歴史学としての日本史について、その基本的な枠組みや学問的特徴を理解する。論争史に目配せをしながら、古代から近現代までの時代像や、歴史上の画期について理解することを目標とする。	原則として、教員免許状取得予定者に限る。 西暦偶数年度開講。 対面 2-6限

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CB23451	地理学概論	1	1.0	1・2				人文地理学と自然地理学の両面にわたる系統地理学を中心とした講義。地形学、気候学、経済地理学、都市地理学、文化地理学を扱う。なお、高等学校で「地理」を履修したか否かに関わらず、科学としての地理学を学ぶため、地理の知識(地名や物産の知識など)は重視しない。	原則として、教員免許状取得予定者に限る。 西暦奇数年度開講。 対面 2-6限
CB23461	地誌概論	1	1.0	1・2	夏季休業中	集中	井田 仁康	各地域の地理的事象を総合的に把握し、その地域の特徴を理解するのが地誌である。地域の理解は、そこに住む人間の理解にもつながる。人文的現象と自然的現象との関りあいを、地域という枠組みで解明していく。日本および世界各地の地誌を探究する。	原則として、教員免許状取得予定者に限る。 西暦偶数年度開講。 対面 1-5限
CB23471	社会学概論	1	1.0	1・2	春AB	火6	徳永 智子	人間は社会によって作られ、また新たな社会を作り出していく存在である。社会学とは社会の記述と分析を通して、新たな社会を構想する学問である。本講では社会学の基本的な考え方やものの見方を提示し、具体的な事例を考察することによって私たちが生きる現代社会への理解を深める。	原則として、教員免許状取得予定者に限る。 西暦偶数年度開講。 対面
CB23481	心理学概論	1	1.0	1・2				心理学は,心と行動の学問であり,科学的な手法によって研究される。本講義では,心理学の基本的な概念,理論,研究方法について概観する。心理学の知見は教育の分野で多岐にわたり活用されている。心理学がどのように人間の行動や思考を探求してきたか,またどのように教育現場に応用できるかを学ぶ。特に,教育心理学や発達心理学のトピックを深く掘り下げ,教育現場で生じる課題に心理学的な視点からアプローチする方法を具体的な事例を交えて考察する。授業では,講義形式に加えて,グループディスカッションやケーススタディを通じて理解を深める機会を提供する。	原則として、教員免許状取得予定者に限る。 西暦奇数年度開講。 対面 2-6限
CB23491	哲学概論	1	1.0	1・2				教師として子どもをいかに教え育てるかを考えていく前提として、教育の主体と客体である人間とはそもそもどのような存在であるかを理解する必要がある。古代から現在に至るまで、人間のあり方を探究してきた哲学者の思想をたどりながら、個としての人間存在、人間と社会、人間と超越について、講義および議論を通じて探究していく。	原則として、教員免許状取得予定者に限る。 西暦奇数年度開講。 対面
CB23501	初等教科教育法(国語)	1	2.0	2	春AB	土5,6	長田 友紀,白坂 洋一,弥延 浩史,迎 有果	小学校教員として、国語の授業を行う上で必要な知識、技能を身に付けることを目的とする。具体的な教材について授業ができるようにする。	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 実務経験教員 対面
CB23511	初等教科教育法(社会)	1	2.0	2	春AB	土3,4	唐木 清志,由井薗 健,粕谷 昌良	第一に、市民を育成し、社会のよき形成者を育てる為に行われてきた社会科教育の経緯をたどり、社会科教育の本質的課題を捉える。第二に、現在行われている初等社会科教育の現状を捉え、その実践について理解する。第三に、初等社会科教育の実践をどのように作っていけばよいのかを考え、教材開発、授業設計、実践、振り返りの過程を体験し、実践力を養う。	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 実務経験教員 対面
CB23521	初等教科教育法(算数)	1	2.0	3	春AB	土1,2	蒔苗 直道,中田 寿幸,田中 英海	本授業では、小学校における算数科教育の意義、目標、指導内容について理解を深めるために、講義と算数科教育の諸活動を通して教材研究及び指導法の演習を行う。	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 実務経験教員 対面
CB23531	初等教科教育法(理科)	1	2.0	3	春AB	土3,4	遠藤 優介,辻 健,志田 正訓	小学校理科の目標及び内容についてのポイントを理解し、物質・エネルギーにかかわるA区分及び生命・地球にかかわるB区分をそれぞれの実験法や用具、観察法や観察手続きなどを、実際の授業のプロセスに合わせて体験し、理科教育における多様な観察法・指導技術とその授業構想や指導案の作成等の知識と技能を習得する。	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 実務経験教員 対面
CB23541	初等教科教育法(生活)	1	2.0	2	秋AB	土3,4	遠藤 優介,粕谷 昌良,富田 瑞枝	本授業では、小学校における生活科教育の意義、目標、指導内容について理解を深めるために、講義と生活科教育の諸活動を通して教材研究及び指導法の演習を行う。	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 実務経験教員 対面
CB23551	初等教科教育法(音楽)	1	2.0	2	春AB	土1,2	平野 次郎,笠原 壮史,髙倉 弘光	本授業では、小学校における音楽科教育の意義、目標、指導内容について理解を深めるために、講義と音楽科教育の諸活動（表現・鑑賞）を通して教材研究および指導法の演習を行う。音楽科における「表現」領域の内容は、歌唱・器楽・音楽づくりに分けられるが、これらを更に具体的な活動に分けて演習を行う。「鑑賞」領域については、基本的な考え方から具体的事例を基に指導法を学ぶ。また、「まとめ」として、グループによる模擬授業を行う。	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CB23561	初等教科教育法(図画工作)	1	2.0	2	秋C	集中	北川 智久,笠 雷太	学習指導要領が示す材料を基に造形遊びをする活動、表したいことを絵や立体、工作に表す活動、作品などを鑑賞の活動等の諸領域に関する各学年の題材構築方法と実践方法を理解・研究する。	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 1/16,1/23,1/30,2/6 詳細後日周知 実務経験教員 対面
CB23571	初等教科教育法(家庭)	1	2.0	2	春BC	集中	横山 みどり	『学習指導要領解説 家庭編』の内容にも触れながら、家庭科の授業における教師の役割や育みたい力について、実際の子どもたちの姿と関連づけながら考えていく。また、調理や被服製作の実習や模擬授業を通して、安全上の配慮や個に応じた指導についても具体的な方法を検討する。さらに、担当教員の長年の小学校における経験(現在を含む)から、今日的な課題(少子高齢化・児童虐待の増加など)の家庭科授業への生かし方について学ぶ。	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 6/28,7/5,7/19,7/26 詳細後日周知 実務経験教員 対面
CB23581	初等教科教育法(体育)	1	2.0	2	春C	集中	眞榮里 耕太,齋藤直人,山崎 和人	小学校学習指導要領の内容を理解して、各運動領域の内容や授業のあり方について考察する。また、模擬授業を通して体育授業の具体を学ぶとともに、単元計画・指導案の作成について理解し、具体案を作成する。	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 7/4,7/12,7/18,7/25 詳細後日周知 実務経験教員 対面
CB23591	初等教科教育法(外国語)	1	2.0	2	夏季休業中	集中	黒木 愛	本授業では、小学校における外国語(英語)教育の意義、目標、指導内容について理解を深めるために、講義と外国語(英語)活動を通して教材研究及び指導法の演習を行う。	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 8/20,8/21,8/24,9/5 詳細後日周知 実務経験教員 対面 2-6限
CB23601	初等国語	1	1.0	2	春AB	木6	長田 友紀	小学校国語科の目標や内容を踏まえた上で、国語の基礎的な知識や教養を学ぶ	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 対面
CB23611	初等社会	1	1.0	2	秋C	木5,6	金 玹辰	小学校社会科の学習目的を、学習指導要領などから読み解き、社会科の学習とは何かを明らかにする。そのうえで、学習内容、学習方法、学習プロセスについて考察をすすめ、最終的に社会科を学習する意味を考える。なお、自分の考えなどをまとまてもらうために、随時、レポートなどをかし、受け身の授業だけなく、自分から考えることを実践させる。	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 対面
CB23621	初等算数	1	1.0	2	秋C	木3,4	蒔苗 直道	算数科の領域(「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」)の内容について、研究課題の解決を通じて考究する。それぞれの研究課題については、学生による報告やそれに関する討議、数学的な作業を通して理解を深めていく。	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 対面
CB23631	初等理科	1	1.0	2	夏季休業中	集中	板橋 夏樹	日本の小学校児童の理科学力の特徴を踏まえ、また小学校学習指導要領の改訂のポイントと内容を学び、小学理科の代表的な実験・観察・教材を実施・検討し、小学校の理科授業づくりに必要な知識と技能を習得する。	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 9/19,9/20 詳細後日周知 実務経験教員 対面
CB23641	初等生活	1	1.0	2	夏季休業中	集中	遠藤 優介	小学校生活科の教科としての性格、目標、内容領域等の基本的事項について講義するとともに、内容領域に関連した具体的な活動を行いながら、生活科の授業づくりについて検討する。	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 9/2,9/3 詳細後日周知 対面 1-5限
CB23651	初等音楽	1	1.0	2	夏季休業中	集中	笹野 恵理子	小学校音楽科における音楽科教育の意義を理解するとともに,授業を構成するために必要な知識や基礎的な技能等について,実技やワークショップを通じて実践的に学ぶ。	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 8/18,8/19 詳細後日周知 対面
CB23661	初等図画工作	1	1.0	2	夏季休業中	集中	石﨑 和宏,吉田奈穂子	本授業では、小学校学習指導要領の目標を理解した上で、表現制作を体験し、鑑賞の基礎を学ぶ。	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 8/31,9/1 詳細後日周知 対面
CB23671	初等体育	1	1.0	2	夏季休業中	集中	三田部 勇,長谷川悦示,片岡 千恵	本授業では、小学校学習指導要領の「体育」の目標、内容並びに学習指導論について、発達の段階を踏まえて講義する。	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 9/4,9/7 詳細後日周知 対面
CB23681	初等道徳教育論	1	2.0	2	秋AB	土1,2	田中 マリア,加藤宣行	本授業では、道徳の時間と道徳教育の位置づけや意義を明確にし、それを踏まえてどのような道徳授業が子どもの心を育てるのかを、実践を通して、そのベースとなる理論を帰納的に明らかにする。	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CB23691	初等家庭	1	1.0	2	夏季休業中	集中	石島 恵美子	参加型の学習形態を中心として、必要に応じて講義形式により授業をすすめる。生活に関わる科学的事象、社会的事象を理解するために調査研究活動を行い、小学校家庭科の対象領域の全容を理解する。	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 9/17,9/18 詳細後日周知 対面 1-5限
CB23703	教育実習(小学校)	3	5.0	3	春BC	集中	樋口 直宏,唐木 清志,長田 友紀,名畑目 真吾,小松 孝太郎,古田 雄一	筑波大学附属小学校において、合計で4週間の教育実習を行う。	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 6/22-7/17 詳細後日周知 対面
CB23711	教職実践演習(小)	1	2.0	4	秋A 夏季休業中	集中	樋口 直宏,唐木 清志,長田 友紀,名畑目 真吾,小松 孝太郎,古田 雄一	講義・演習並びに学校現場の見学・訪問を通して、教職課程の他の科目の履修や教職課程外での様々な活動を通じて身につけた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されているのかを、大学が自らの養成する教員像や到達目標等に照らして最終的に確認するとともに必要な知、技能を改善することとする。	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 10/3,11/2,9/26 詳細後日周知 対面
CB23721	初等外国語	1	1.0	2	春AB	木4	名畑目 真吾	英語の音声や文字,言語習得理論など小学校外国語教育に必要な基礎的知識について講義する。また,それらの知識を授業実践において活用できるようになったり,授業実践に必要な英語力を身につけるためにグループワークや発表などの活動を行う。	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る/新課程科目 対面 感染症の拡大状況によってはオンライン(オンデマンド)に切り替えることもある。
CB23731	初等特別活動論	1	1.0	3	秋B	集中	京免 徹雄	学校は子どもたちが学ぶ場所であると当時に、生活する場所でもあります。教科において、言語・数量・情報などの基礎的スキルや、それらを活用する思考力・判断力・表現力などを育成するのに対して、教科外活動である特別活動では、集団生活における自治的活動を通して実践力、すなわち人間関係を形成する力や社会に参画する力を身に付け、児童1人1人の自己実現を目指します。特に、21世紀を生き抜くための資質・能力の重要性が指摘される中で、非認知(社会情動)的能力の発達に寄与できる特別活動への期待が高まっています。 特別活動の特質は、集団での「生活づくり」を通じて「なすことによって学ぶ」ことにあります。したがって本授業では、児童が自主的・自律的に活動を展開し、集団や社会の形成者になっていけるよう、教員がどのように指導すればよいのかを考えていきます。 授業の進め方は、まず小学校における特別活動の4つの領域である学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事に着目し、その理論、教育目標・内容、指導方法について、講義によって検討します。さらに、実際に特別活動の指導計画を作成し、それを発表・実践・評価していきます。	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る/新課程科目 11/29,12/6 対面 2-6限
CB23741	初等情報通信技術を活用した教育の理論と方法	1	1.0	3	夏季休業中	集中	小松 孝太郎	情報通信技術の活用の意義について基本的な事項を扱った後に,情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方について考察する。さらに,情報活用能力や情報モラルを育成するための指導法について,初等教育の各教科の特性を考慮しながら検討する。	8/25,8/26 詳細後日周知 対面 2-6限

教育計画・設計系列(専門)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CB24011	教育制度論	1	2.0	2	春AB	木1,2	藤井 穂高	今日、さまざまな教育改革が行われているが、ではどのような学校教育が望ましいのか。本講義では、「学校教育制度をつくってみる」という観点から、学校教育を構成する主要な制度的要素を取り上げ、現行制度の根拠とその改革の可能性を検討する。	社会教育主事 対面
CB24012	教育制度論演習	2	1.0	3	春AB	月2	藤井 穂高	教育政策において、「資質・能力」(コンピテンシー)がどのように論じられているのか、国内外の施策を取り上げ、その内容を検討する。	対面
CB24021	学校論	1	2.0	2					社会教育主事。 2026年度開講せず。 対面
CB24022	学校論演習	2	1.0	3					2026年度開講せず。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CB24031	学校経営論	1	2.0	2	春AB秋AB	水1	濱田 博文	近代学校というシステムにおいて「経営」が必要とされるようになったのはなぜか?「学校経営」という概念はこれまでどのように理解されてきたのか、また、捉え直されてきたのか?学校教育が多様で複雑な課題に直面し様々な教育改革が進められる現代において、「学校経営」のあり方をどのように考えればよいのか?―これらの問いを中心に据えて、講義と討議を織り交ぜながら進めていく。	対面
CB24032	学校経営論演習	2	1.0	3	春AB	木5	濱田 博文	学校をよりよくしていくということはどういうことか?よりよい学校を創造するうえで「組織」「経営」という概念で括られる諸条件はどのような機能や意味をもつのか?そしてどのようにあるべきであり、実際にはどのようにありうるのか?―これらの問いを中心に据えて、文献読解、受講者自身の調査と発表、討議、そして学校訪問調査などを織り交ぜながら進めていく。	対面
CB24041	教育法制論	1	2.0	2	春AB秋AB	木3	宮口 誠矢	本授業では、日本の教育法制の基本構造と、その構成原理を扱う。教育を法の観点から考察するために必要となる基礎的な知識と視点を身につけるとともに、教育をめぐる規範的対立や国外の制度・動向にも目を向けながら、「教育と法」をめぐる諸課題について理解を深める。授業は講義を中心に進めるが、受講生による討議も適宜行う。	社会教育主事。 対面
CB24042	教育法制論演習	2	1.0	3	春AB	木2	宮口 誠矢	本授業では、「教育と法」に関する主要な理論的課題を取り上げる。受講生による発表と討議を通して、教育法制に関する諸問題を多角的に検討し、望ましい教育法制のあり方について考察を深める。	対面
CB24051	教育行財政論	1	2.0	2				教育行財政の仕組みと改革動向について,イギリスを比較検討の対象としつつ,日本の教育行財政制度の課題を探る。	社会教育主事。 西暦偶数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
CB24052	教育法制・行財政論演習	2	1.0	3				日本の1960年代以降の教育関連の裁判事例を概観した上で、どのような争点が扱われ、近年はどのような特徴が見られるのかを、判例を取り上げて検討する。	2026年度開講せず。 対面
CB24111	比較教育制度論	1	2.0	2				日々の教育実践を支えている教育制度は、いつごろどのような考え方から作られたのか、その制度に問題はないのか、あるとすれば、どこをどう変えるとよいものになるのか、それらは外国と比べてどのような特徴を有しているのか等、教育制度をめぐる様々な問いを立てて検討する。	2026年度開講せず。 対面
CB24171	比較学校経営論	1	2.0	2				「国際的な視点や比較文化的な観点から、日本の教育はどのような特徴を持つのか」「インクルーシブ教育、多様性を尊重した教育を実現するためにはどのようなシステムの改革が必要か」「ケアする学校とは何か」―今年度はこれらの問いに答えるために、「海外(オーストラリア、北欧など)との比較」を視点として、日本の教育、学校、学級のメリットとデメリット、及び今後のシステム改革の方向性を解説する。秋学期には、グループを基盤とした学習発表の機会を設ける。	興味がある学生はぜひ受講して下さい。共に学びましょう。授業における使用言語は日本語です。 2026年度開講せず。 対面 2-6限
CB24172	比較学校経営論演習	2	1.0	3				諸外国と日本の教育について学ぶ。各国の教育改革、学校経営改革などを検討し、新しい時代の学校と教師の在り方などについて考察する。現在と未来の社会情勢をふまえて、初等中等教育の最新の政策と課題について論究する。	2026年度開講せず。 対面 2-6限
CB24181	教育行政論	1	2.0	2	春AB秋AB	火5	古田 雄一	本講義では、教育の営みを支える教育行政や教育政策に注目し、現状や課題、あり方について考える。関連する諸テーマを幅広く扱いながら、それらに関する基本的な知識を学ぶとともに、教育行政・政策を捉え、分析する視点を養うことを目指す。講義を中心に、適宜意見交換なども織り交ぜながら進める。	対面
CB24182	教育行政論演習	2	1.0	3	春AB	金4	古田 雄一	近年の教育政策や教育改革の動向を取り上げ、その内容や背景、影響や課題などについて、受講者の発表や討議に基づいて多角的に検討し合い、これからの日本の公教育のあり方について考究する。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CB24191	教師教育論	1	2.0	2	春AB秋AB	月1	朝倉 雅史	教員の養成・採用・研修を連続的に捉える「教師教育」という概念がなぜ誕生したのか、どのように変遷してきたのか。「優れた教師」は偶然の産物ではなく、時代と社会の変化の中でつくられてきた。この講義では、教師教育に関わる制度と文化、政策について基本的な知識を学ぶ。そして教育や学校の在り方から教師教育を問うと共に、教師教育の在り方から教育や学校の在り方を問う視点を養う。	対面
CB24192	教師教育論演習	2	1.0	3	秋AB	火2	朝倉 雅史	「優れた教師とは何か」「優れた教師をどのように育てるか」についての情報は、世の中に溢れかえっている。それらは研究の中でどのように語られ、実践現場ではどのように語られているのか?これらの問いを中心にして、文献の読解と受講者間の対話、調査を進め、教師教育を取り巻く現状と課題を描き出していく。	対面
CB24912	比較教育制度論演習	2	1.0	3					2026年度開講せず。 対面

地域・国際教育系列(専門)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CB25021	生涯学習論	1	2.0	2	夏季休業中	集中	橋田 慈子	生涯学習の理論・歴史・現状。現在の生涯学習に通じる考え方が、どのような時代背景から提唱され、普及していったかを、国際的動向を視野に入れて講義する。	学芸員 社会教育主事 対面(オンライン併用型) 3-6限,日程期間内にオンデマンド授業有
CB25041	比較教育文化論	1	2.0	2・3				途上国・新興国の教育現状を自分たちが受けてきた教育と比較し、検討する。	社会教育主事。 西暦奇数年度開講。 対面
CB25042	比較教育文化論演習	2	1.0	2・3	夏季休業中	集中	タスタンベコワ クアニシ	この授業では、比較教育文化論実習の一環として行う外国への8日間の訪問実習に向けて、当該国の教育制度・政策の基礎を学習し、実習活動の準備をする。 2026年度はポーランドの大学での実習に向けてポーランドの教育制度・政策の基礎を学習する。	比較教育文化論実習に向けた事前学習 対面 社会教育主事。
CB25043	比較教育文化論実習	3	2.0	2・3	通年	集中	教育学類長,タスタンベコワ クアニシ	ポーランド等海外への国際実習を通じて、教育や文化の現状を学習するとともに、日本や他国との比較を行い、それぞれの特徴を考察する。	モスクワへの国際実習 実務経験教員 対面
CB25051	国際教育論	1	2.0	2	秋AB	火3,4	タスタンベコワ クアニシ	この授業では、日本における外国人の子どもたちの教育問題を取り上げる。外国人子どもたちの教育保障(教育への権利、親の就学義務)に焦点を当てて、関連文献、文部科学省政策文書・統計を解読し、テーマに関連するドキュメンタリーを鑑賞・分析し、討論を行う。	社会教育主事 対面
CB25061	教育援助政策論	1	2.0	2				国際開発援助の基礎知識を習得するとともに、途上国の教育の現状・課題を知悉する。次に国際開発援助の伝統的アクターである先進国・国際連合機関・開発金融機関・NGOの教育開発援助の特質を講義する。最後に21世紀になって国際開発援助アクターとして注目される中進国(含開発途上国)の南南協力、企業についての新たな潮流・影響を分析する。	西暦偶数年度開講。 BC12591と同一。 2026年度開講せず。 対面
CB25062	比較教育文化・教育援助政策論演習	2	1.0	3				途上国の教育について、参考文献(英文)を読む。	2026年度開講せず。 対面
CB25081	環境教育論	1	2.0	2				環境教育の歴史、目標、内容、方法についての基礎的理解を図ることを目的とする。環境教育の発展過程・現状・課題を探りながら、環境教育の目的や方法と環境教育の授業の構成と展開の特質等を学び、今後の環境教育のあり方を考察する。可能なかぎり環境教育の授業の観察(ビデオ等)、野外での活動・観察も含める。	社会教育主事 2026年度開講せず。 実務経験教員 対面
CB25091	人権・平和教育論	1	2.0	2	春C	集中	田中 マリア	人権・平和に関する一般的な知識を学ぶ。とくにグローバル化のなかで、国際社会においてスタンダードとなっている人権教育と、日本にみる平和教育について考える。	西暦偶数年度開講。 対面 2-6限
CB25141	言語教育論	1	2.0	2	秋AB	木5,6	長田 友紀,名畑目 真吾	言語教育に関する基本的な知識を学ぶとともに、現在の言語教育が抱える問題点について考える。	西暦偶数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CB25151	子どもと外国語	1	2.0	2				音声言語や文字言語,語彙や文法などの観点から子どもの外国語学習・習得について専門的に学ぶ。また,講義を通して得た専門的な知識をもとに実際の授業や教材を分析し,現代の教育課題を理論的・批判的に考える。	西暦奇数年度開講。 対面
CB25162	生涯学習論演習I	2	1.0	3	秋AB	金2	上田 孝典	近年の社会教育・生涯学習の理論と実践に関する文献について、検討を行う。	社会教育主事 対面
CB25172	生涯学習論演習II	2	1.0	3	春AB	木4	丹間 康仁	この演習では、社会変動下での地域における生涯学習の基盤経営という視点から、子どもから大人までの学びあいを創り出す教育と社会のあり方について理論的に探究する。学校教育と社会教育を架橋する理論的な枠組みを捉えるため、文献や資料の内容を理解したうえで要約と論点を発表し、相互に意見を交流することで、地域学習支援と地域教育経営に関する理論的な知見を導き出す。	社会教育主事 対面(オンライン併用型)
CB25181	地域と教育	1	2.0	2	春AB	金5 集中	金 玹辰	授業概要:地理学の概念の一つに、地方的特殊性と一般的共通性というものがある。日本の教育でいえば、学習指導要領を一般的共通性、それぞれの地域に応じた教育内容が地方的特殊とみなすことができよう。本授業では、後者の地方的特殊性、すなわち地域に応じた教育内容を講義しようとするものである。主として日本国内を対象とするが、外国にも目を向ける。講義を中心としながら、受講者の調べ活動も含めた授業とする。	西暦偶数年度開講。 対面
CB25191	比較高等教育論	1	2.0	2				学生間の活発な議論を通して日本の大学の課題を発見し、その課題の解決のために他国の制度をモデルとした改革案の作成を試みる。	2026年度開講せず。 対面
CB25192	比較高等教育論演習	2	1.0	3				大学の授業で用いられる教育技法の一つである「ディベート」について,多様な技法を学ぶとともに,理論的思考力の育成を目的とする模擬授業を計画実践する。	2026年度開講せず。 対面
CB25201	社会教育論	1	2.0	2	春AB	金1,2	丹間 康仁	この授業では、生涯学習社会を実現する社会教育の原理と歴史をテーマに、学齢期に閉じない教育のあり方を探究する。学習者の特性に応じた教育のあり方や多様な機関の連携に基づく教育システムについて学修する。学習空間づくりと学び合うコミュニティづくりを通して、社会とかかわる学びを培っていくための方策について、具体的な実践事例に触れながら講義する。学びの多様化と複雑化が進む現代に求められる社会教育の空間、事業、職員、行政のあり方について議論する。	社会教育主事、学芸員 オンライン(オンデマンド型)
CB25211	教員政策と国際協力	1	2.0	2				本授業では教員を中心に据え、途上国の教育について学習します。社会の変化とともに学校教育に求められる教育成果や授業形態は大きく変化しています。その中で教員が如何に養成され、採用、配置されているか確認します。その上で学校や社会における教員の在り方を各国の「教師観」を中心に検討していきます。	2026年度開講せず。 オンライン(オンデマンド型)
CB25221	教育改革の国際比較	1	2.0	2	秋AB	火3,4	菊地 かおり	諸外国の教育改革に着目し、各国が取り組む教育をめぐる現代的な諸課題について、日本も含めた国際比較の観点から考察する。授業では、前提となる各国の教育理念・制度・政策についての理解を深めつつ、シティズンシップ教育、移民の教育、ユネスコが推進する国際的な教育プログラム、新自由主義的な教育改革、国際学力調査など、受講生の関心を加味しつつテーマを決定し、国際的な教育改革の動向と各国の対応について検討する。外国語(主として英語)の原典を参照しながら授業を進める。	対面
CB25311	教育社会学I	1	2.0	2	秋AB	木5,6	徳永 智子	教育社会学は、教育に関わる事象を社会現象としてみて、社会学の視点と方法で研究する学問である。教育社会学や関連領域の基本概念および理論を紹介しつつ、家族、学校、階層と教育、ノンフォーマル教育、教育問題、マイノリティと教育など、教育社会学が扱う幅広いテーマへの理解を深めていく。前半は、教育社会学の基礎を学び、後半はグローバリゼーションと教育のテーマを主に扱う。	社会教育主事 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CB25312	教育社会学演習I	2	1.0	3	秋AB	木4	徳永 智子	教育社会学や関連領域の基本概念および理論を学び、様々な教育事象を社会学的な観点から分析する力を身に着ける。階層と教育、若者とトランジション、グローバリゼーションと教育、ジェンダー・セクシュアリティと教育、若者文化、質的研究方法など、教育社会学が扱う幅広いテーマや方法論への理解を深めていく。毎回、受講生が文献に基づく報告をし、全員で討論する。	対面
CB25322	教育社会学探究I	2	2.0	3	秋AB	火4		文献を講読し、討議・検討することで、社会学的な探究を必要とする問題に着目する。次いで、問題のテーマ化を図りながら探究の視点を定めることにより、探究すべき課題を導出する。さらに、課題解明のための方法を学習し、調査を企画設計する。質問紙やインタビュー・ガイドの作成を試みると同時に、調査の実施、データの分析、結果の報告について学習する。	社会教育主事（2014年度までの「教育調査実習」に該当する。） 対面
CB25411	教育社会学II	1	2.0	2	春AB秋AB	火2	太田 知彩	本講義では、教育社会学における量的研究法の基礎理解を目的とする。具体的には、変数の考え方、記述統計、クロス集計、相関分析、回帰分析などの基礎的手法を学習したうえで、実際に統計ソフト(RまたはSPSS)を用いたデータ分析を行う。教育に関する社会調査データを題材とし、分析結果を適切に読み取り、教育現象を社会学的に分析する力を身につけることを目指す。	対面
CB25412	教育社会学演習II	2	1.0	3	春AB	火4	太田 知彩	本演習では、受講生の関心に基づいて教育社会学の論文(『教育社会学研究』や『子ども社会研究』等)を毎回1本精読し、受講生の報告と討議を行う。この作業を通じて、教育社会学研究における課題導出や研究方法論の決定、データ分析、結果の報告といった一連の過程について理解を深める。	対面

専門研究(専門)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CB26014	教育学専門研究	4	2.0	4	通年	応談	教育学類全教員, 教育学類長	卒業研究を履修中または履修済みの、大学院への進学希望者を対象に、研究に求められる各種力量の育成・深化を図る。受講者の既習事項に鑑みて、指導教員が内容を構成する。	担当教員との連絡を綿密にとること 実務経験教員 対面

社会教育主事養成コース(専門)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CB27011	現代社会と社会教育	1	2.0	2・3	秋AB	火3,4	上田 孝典	現代に生きる人々が必要とされる学びとは何かについて、現代社会に関わる課題と社会教育の実践から検討する。	社会教育主事 対面
CB27021	生涯学習の理論的検討	1	2.0	2・3	通年	集中	種村 文孝	生涯学習の理論について習得する。日本や諸外国の生涯学習に関する歴史、制度、政策を踏まえながら、実践の違いについて比較検討する。また日本の生涯学習をめぐる各地の取り組みについて検討し、「学習」の公共性について理解を深める。	社会教育主事 西暦偶数年度開講。 対面 2-6限
CB27031	生涯学習実践分析	1	2.0	2・3				日本各地の生涯学習に関する制度とその事業展開について調査を行い、対象、目的、方法、テーマや内容などについて検討を行う。これらの事例分析を通じて、生涯学習の実践の在り方についての理解を深める。	社会教育主事。 西暦奇数年度開講。 対面
CB27082	社会教育課題研究	2	2.0	2・3				この授業では、社会における人間の暮らしや生き方をテーマに、少子高齢化が進むなかで地域再生を目指す学びのプロセスについて探究する。社会教育における学びには、問題解決への主体的な関わりを通して、既存の価値観や行動を変容させる自己教育のプロセスがみられる。社会の客体から主体へと人間が成長するプロセスを支える社会教育の理論に基づき、地域社会への幅広い視野から学習と教育のあり方について、自らテーマを設定し研究を行う。	社会教育主事 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CB27083	社会教育実習	3	1.0	2・3	春AB秋AB 春C秋C	水4 集中	丹間 康仁	この授業では、地域における社会教育施設等において実習を行う。また、基礎自治体における社会教育の条件整備を捉えるため、公民館、図書館、博物館または教育委員会等に実際に足を運んで、施設・機関の意義や職務の実態に触れる。事前・事後指導では、ディスカッションまたはプレゼンテーション方式により、実習にあたっての目標設定や実習後のふりかえりを行う。実習成果については各履修者が原稿を執筆して、実習報告書を刊行する。具体的な実施場所と日程については、掲示およびオリエンテーションで説明する。	社会教育主事(2020年度入学生から対象) 対面
CB27091	社会教育経営論I	1	2.0	2・3	春C	火3,4 集中	丹間 康仁	この授業では、社会教育・生涯学習に関する基礎的な理解を踏まえて、連携・協働、ガバナンス、マネジメント等の経営論的な視点から、地域づくりにおける社会教育の意義や、学校と地域の関係構築のなかで生まれる社会教育の可能性について具体的な方法と戦略を学ぶ。	社会教育主事(2020年度入学生から対象) 対面(オンライン併用型)
CB27101	社会教育経営論II	1	2.0	2・3	秋C	火3,4 集中	丹間 康仁	この授業では、教育経営の主体として地域が位置づく論理を理解し、子どもたちの学びを地域と学校の協働体制によって生み出すための基礎的な知識と基本的な視点を獲得する。学校教育と社会教育の双方の視点から、学びあいに基づく持続可能な社会づくりの展望を描き、少子高齢型人口減少社会に適合する地域教育システムのあり方を描く。	社会教育主事(2020年度入学生から対象) 対面(オンライン併用型)

開設母体　　要件
心理学類

学類共通(専門基礎科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CC11182	心理学英語セミナー	2	2.0	2	秋AB	金1,2	川上 直秋,松田 壮一郎,菅原 大地,仲田 真理子,糸井 千尋,前澤 知輝	心理学の複数の領域における英語の基礎的文献の講読を通じて,英語の読解力・表現力を高めると同時に,心理学研究における考え方,研究の進め方,論文のまとめ方について学ぶ。	心理学類学生に限る。 対面
CC11211	心理学概論	1	2.0	1	春BC	月1,2	山田 一夫,綾部 早穂,佐藤 有耕,松田 侑子,高橋 阿貴,川上 直秋,前澤 知輝	心理学の目的と方法,生物学的基礎,心理的発達,感覚,知覚,意識,学習,記憶,思考と言語,基本的動機,情動,知能,社会的認知,社会的相互作用について概説する。教科書として,Atkinson & Hilgard's Introduction to Psychology(約8,000円)を使用するので,受講生は必ず入手してください。	公認心理師科目。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
CC11221	心理学研究法	1	2.0	1	秋AB	月1,2	外山 美樹,佐藤 有耕,山田 一夫,高橋 阿貴,川上 直秋,安 婷婷,仲田 真理子,松田 壮一郎,前澤 知輝	広範な研究分野を持つ心理学が共通の基盤としている実証科学的な研究方法を解説する。	公認心理師科目。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
CC11231	心理学統計法I	1	2.0	1	春AB	金3,4	山口 一大,藤田 和也	本授業では,心理統計学の各種手法を学ぶ上で必要となる基礎的な事項について講義を行う。具体的には,平均,分散,相関係数といった記述的指標や確率モデルと標本分布の関係について学び,推定と検定の基本的な考え方について学習する。	公認心理師科目。 対面(オンライン併用型) 人間学群生に限る。
CC11241	心理学統計法II	1	2.0	1	秋AB	金3,4	山口 一大,藤田 和也	本授業では,心理学の研究でよく使用される各種手法について,それぞれの手法により明らかにできることとその具体的な適用方法に関し,利用できるソフトウェアなどの紹介も含めて講義を行う。具体的には,カイ2乗検定,(重)回帰分析,t検定,分散分析,因子分析,共分散構造分析について,先の観点から解説を行う。	公認心理師科目。 対面(オンライン併用型) 人間学群生に限る。
CC11253	心理学統計法実習	3	1.0	1	秋C	木・金5,6	山口 一大,藤田 和也	心理学統計法IおよびIIで学んだ各種手法について,実習形式で学び,理解の定着を図る。	対面 心理学類生に限る。 「心理学統計法I」と「心理学統計法II」を履修した学生に限る。
CC11273	心理学実験	3	2.0	2	春AB	月3-6	松田 壮一郎,高橋 阿貴,川上 直秋,千島 雄太,仲田 真理子,豊島 理公,糸井 千尋,前澤 知輝,井上 真里	心理学にかかわる基礎知識と技術を体験的に修得するため,各種の実験と実習を行う。	公認心理師科目。心理学類生に限る。 対面
CC11283	心理学研究実習I	3	3.0	3	春ABC	月3-6	心理学類全教員	実験研究と調査研究の実習を行い、基本的な心理学の研究法を学ぶ。具体的な研究テーマは、初回のオリエンテーションにおいて決定する。実験研究および調査研究のそれぞれについて、研究発表とレポート作成を行う。	対面 心理学類生に限る。初回オリエンテーションの情報は別途周知するので、注意すること。
CC11293	心理学研究実習II	3	3.0	3	秋ABC	月3-6	心理学類全教員	実験研究と調査研究の実習を行い、基本的な心理学の研究法を学ぶ。具体的な研究テーマは、初回のオリエンテーションにおいて決定する。実験研究および調査研究のそれぞれについて、研究発表とレポート作成を行う。	対面 心理学類生に限る。受講希望者は事前に教員と相談の上で受講を決定すること。初回オリエンテーションの情報は別途周知するので、注意すること。

専門科目共通

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CC21011	心理学史	1	1.0	2・3				心理学の歴史的展開について講義し、現代心理学のあり方を反省的に考える。	西暦奇数年度開講。 対面 2-6限 詳細は掲示とシラバスを参照。
CC21061	心理データ解析	1	2.0	2・3	秋AB	木3,4	藤田 和也,山口 一大	本授業では、「心理学統計法II」で取り上げた各種手法について、その理論的な側面に焦点を当てて解説を行い、各種手法に関するより深い理解を目指す。	心理学類生に限る。 西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
CC21113	心理学体験実習I	3	0.5	1	通年	随時	千島 雄太,綾部 早穂	心理学の領域において実施されている研究(実験・面接・調査)の研究対象者として研究に参加することで、研究の方法論や研究の実践について体験学習する。	心理学類学生に限る。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CC21123	心理学体験実習II	3	0.5	2	通年	随時	綾部 早穂,千島 雄太	心理学類のOB/OGへのインタビューやインタラクションを通して、心理学学修延長上のキャリアパスについて自調・自考し、履修生が主体的に体験学習を進める。	心理学類学生に限る。 対面
CC21141	精神疾患とその治療	1	1.0	1 - 3	秋C	集中	白鳥 裕貴	以下の内容を講義する。 (1)精神疾患総論(代表的な精神疾患についての成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援を含む。) (2)向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化 (3)医療機関との連携	公認心理師科目。心理学類生に限る。 オンライン(オンデマンド型)
CC21211	臨床心理学概論	1	2.0	2	春AB	火3,4	浅野 憲一,松田 侑子	臨床心理学は心理学の一研究分野であるとともに、心理臨床を実践する際の基礎となる学問でもある。臨床心理学の入門コースである本講義では、1.臨床心理学の成り立ち、2.臨床心理学の代表的な理論を含む、基礎理論および臨床の実際について概説する。	公認心理師科目。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
CC21221	学習・言語心理学	1	2.0	2	春AB	火1,2	松田 壮一郎,糸井 千尋	以下の内容を講義する。 (1)人の行動が変化する過程 (2)言語の習得における機序	公認心理師科目。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
CC21231	社会・集団・家族心理学	1	2.0	2	秋AB	火1,2	藤 桂,川上 直秋	以下の内容を講義する。 (1)対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程 (2)人の態度及び行動 (3)家族,集団及び文化が個人に及ぼす影響	公認心理師科目。社会教育主事。 対面(オンライン併用型)
CC21241	発達心理学	1	2.0	2	秋AB	火3,4	安藤 智子,佐藤 有耕,市倉 加奈子	以下の内容を講義する。 (1)認知機能の発達及び感情・社会性の発達 (2)自己と他者の関係の在り方と心理的発達 (3)誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達 (4)発達障害等非定型発達についての基礎的な知識及び考え方 (5)高齢者の心理	公認心理師科目。 実務経験教員 対面(オンライン併用型) 一部でオンデマンドで実施。詳細は年度当初にシラバスで告知します
CC21251	教育・学校心理学	1	2.0	2・3	春AB	木5,6	外山 美樹,飯田 順子	以下の内容を講義する。 (1)教育現場において生じる問題及びその背景 (2)教育現場における心理社会的課題及び必要な支援	公認心理師科目。 対面
CC21261	産業・組織心理学	1	2.0	2・3	秋AB	木3,4	尾野 裕美	以下の内容を講義する。 (1)組織における人の行動 (2)職場における諸問題及び必要な支援	公認心理師科目。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
CC21291	知覚・認知心理学	1	2.0	2	春AB	火5,6	綾部 早穂,前澤 知輝	以下の内容を講義する。 (1)人の感覚・知覚等の機序及びその障害 (2)人の認知・思考等の機序及びその障害	公認心理師科目。 実務経験教員 対面
CC21311	感情・人格心理学	1	2.0	2	秋AB	火5,6	菅原 大地,千島 雄太	以下の内容を講義する。 (1)感情に関する理論及び感情喚起の機序 (2)感情が行動に及ぼす影響 (3)人格の概念及び形成過程 (4)人格の類型,特性等	公認心理師科目。 対面
CC21321	神経・生理心理学	1	2.0	2	秋AB	金5,6	山田 一夫,高橋 阿貴,仲田 真理子,パスクアロット アキッレ	以下の内容を講義する。 (1)脳神経系の構造及び機能 (2)記憶,感情等の生理学的反応の機序 (3)高次脳機能障害の概要	公認心理師科目。 対面
CC21331	健康・医療心理学	1	2.0	2・3	春AB	木1,2	大塚 泰正,市倉 加奈子	以下の内容を講義する。 (1)ストレスと心身の疾病との関係 (2)医療現場における心理社会的課題及び必要な支援 (3)保健活動が行われている現場における心理社会的課題及び必要な支援 (4)災害時等に必要な心理に関する支援	公認心理師科目。 対面(オンライン併用型)
CC21341	福祉心理学	1	1.0	2・3	春C	木3,4	松田 壮一郎,森地 徹,大村 美保,山中 克夫,名川 勝	以下の内容を講義する。 (1)福祉現場において生じる問題及びその背景 (2)福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援 (3)虐待についての基本的知識	公認心理師科目。人間学群生に限る。 実務経験教員 対面
CC21351	司法・犯罪心理学	1	2.0	2・3	春AB	木3,4	原田 隆之	以下の内容を講義する。 (1)犯罪・非行,犯罪被害及び家事事件についての基本的知識 (2)司法・犯罪分野における問題に対して必要な心理に関する支援	公認心理師科目。 実務経験教員 対面
CC21361	人体の構造と機能及び疾病	1	1.0	1 - 3	秋A	集中	鳥海 和広	以下の内容を講義する。 (1)心身機能,身体構造及びさまざまな疾病と障害 (2)心理的支援が必要な主な疾病	公認心理師科目。人間学群生に限る。 対面 2-6限。詳細は掲示とシラバスを参照。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CC21371	関係行政論	1	1.0	1 - 3	秋B	集中	山田 恵太	以下の内容を講義する。 (1)保健医療分野に関する法律,制度 (2)福祉分野に関する法律,制度 (3)教育分野に関する法律,制度 (4)司法・犯罪分野に関する法律,制度 (5)産業・労働分野に関する法律,制度	公認心理師科目。人間学群生に限る。 対面 2-6限。詳細は掲示とシラバスを参照。
CC21381	公認心理師の職責	1	1.0	2	春C	火5,6	慶野 遥香,安 婷婷,北原 祐理	心理専門職の国家資格である公認心理師の職責について学ぶ。 具体的には、以下の8項目を中心に、その概要を学ぶ。 (1)公認心理師の役割 (2)公認心理師の法的義務及び倫理 (3)心理に関する支援を要する者等の安全の確保 (4)情報の適切な扱い (5)保健医療,福祉,教育その他の分野における公認心理師の具体的な業務 (6)自己課題発見・解決能力 (7)生涯学習への準備 (8)多職種連携及び地域連携	公認心理師科目。公認心理師受験資格取得を希望する心理学類生に限る。 実務経験教員 対面
CC21412	心理的アセスメント	2	2.0	2・3	秋AB	木5,6	浅野 憲一,水野 雅之,菅原 大地,糸井 千尋	以下の内容を演習する。 (1)心理的アセスメントの目的及び倫理 (2)心理的アセスメントの観点及び展開 (3)心理的アセスメントの方法(観察,面接及び心理検査) (4)適切な記録及び報告	「臨床心理学」領域の演習に相当。公認心理師科目。公認心理師受験資格取得を希望する心理学類生に限る。 西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
CC21422	心理学的支援法	2	2.0	2・3				以下の内容について講義と演習を行う。 1代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史,概念,意義,適応及び限界 2コンサルテーション・訪問支援・地域支援・心の健康教育 3心理学的支援の基礎(ラポール・面接構造・プライバシーへの配慮など) 41～3を踏まえた心理支援の実際 5心理支援に関するエビデンス	「臨床心理学」領域の演習に相当。公認心理師科目。公認心理師受験資格取得を希望する心理学類生に限る。 西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
CC21432	心理演習	2	2.0	3	秋C	応談	伊藤 宗親,水野 雅之,生田目 光,慶野 遥香	知識及び技能の基本的な水準の修得を目的とし、次の(ア)から(オ)までに掲げる事項について、具体的な場面を想定した役割演技(ロールプレイング)を行い、かつ、事例検討で取り上げる。 (ア)心理に関する支援を要する者等に関する以下の知識及び技能の修得 (1)コミュニケーション (2)心理検査 (3)心理面接 (4)地域支援 等 (イ)心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成 (ウ)心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチ (エ)多職種連携及び地域連携 (オ)公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解	3年次秋B終了までに、取得可能な公認心理師科目すべて(「心理的アセスメント」と「心理学的支援法」については、そのいずれか)の単位を取得していること。公認心理師科目。公認心理師受験資格取得を希望する心理学類生に限る。 実務経験教員 対面 履修申請期間については別途掲示に従うこと。
CC21443	心理実習	3	3.0	4	通年	随時	浅野 憲一,伊藤 宗親,大塚 泰正,飯田 順子,松田 侑子,生田目 光,糸井 千尋,中村 聡美,森 丈弓	実習生は,次の(ア)から(ウ)までに掲げる事項について,主要な4分野(保健医療,教育,司法・犯罪,産業・労働)の施設において,見学等による実習を行いながら,当該施設の実習指導者又は実習担当教員による指導を受ける。 (ア)心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ (イ)多職種連携及び地域連携 (ウ)公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解	3年次終了時までに本科目を除くすべての公認心理師科目(「心理的アセスメント」と「心理学的支援法」についてはそのいずれか)の単位を取得していること。公認心理師科目。公認心理師受験資格取得を希望する心理学類生に限る。 実務経験教員 対面 履修申請期間については別途掲示に従うこと。
CC21511	心理学特講1	1	1.0	2 - 4				心理学における最新のトピックを取り上げ,それについて講義する。	「実験」領域。 西暦奇数年度開講。 対面 詳細は掲示とシラバスを参照。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CC21521	心理学特講2	1	1.0	2 - 4	夏季休業中	集中	福林 直	心理学における最新のトピックを取り上げ,それについて講義する。	「社会」領域。 西暦偶数年度開講。 9/15,9/16 詳細は掲示とシラバスを参照。
CC21531	心理学特講3	1	1.0	2 - 4				心理学における最新のトピックを取り上げ,それについて講義する。	「教育」領域。 西暦奇数年度開講。 対面
CC21541	心理学特講4	1	1.0	2 - 4	秋C	集中	髙橋 あすみ	心理学における最新のトピックを取り上げ,それについて講義する。	「臨床」領域。 西暦偶数年度開講。 詳細は掲示とシラバスを参照。
CC21551	心理学特講5	1	1.0	2 - 4				心理学における最新のトピックを取り上げ,それについて講義する。	「発達」領域。 西暦奇数年度開講。 対面
CC21561	心理学特講6	1	1.0	2 - 4	夏季休業中	集中	分寺 杏介	心理学における最新のトピックを取り上げ,それについて講義する。	「方法・分析」領域。 西暦偶数年度開講。 詳細は掲示とシラバスを参照。
CC21918	卒業研究	8	6.0	4	通年	随時	心理学類全教員	教員の指導のもとに卒業研究を遂行し、卒業論文にまとめて提出し、発表会において発表し質疑応答を行う。	対面
CC21928	卒業研究	8	6.0	4	春学期	随時	心理学類全教員	教員の指導のもとに卒業研究を遂行し、卒業論文にまとめて提出し、発表会において発表し質疑応答を行う。	9月卒業予定の学生のみ対象 対面
CC21958	卒業研究セミナー	8	2.0	3	秋C	随時	心理学類全教員	教員の指導のもとに卒業研究遂行に必要な準備を行う。	3年次にTOEIC IPテストを受験した者のみ(2024.4.13修正) 対面
CC22113	行動神経科学実験実習	3	1.0	3	通年	応談	高橋 阿貴,仲田 真理子	行動神経科学分野(行動神経生物学・行動神経内分泌学)の研究室での実際の実験・研究に参加し、研究課題の理解、実験手法の習得を行う。	「心理学上級(社会行動の神経科学講義)」または「心理学上級(社会行動の神経科学演習)」を履修していることが望ましい。 対面
CC24041	青年心理学	1	2.0	2	秋AB	金3,4	佐藤 有耕	青年の自己理解に役立つ知見を講義し、受講生が講義内容をきっかけに自身の青年期を振り返り、自身について整理していくことを求める。	社会教育主事。 実務経験教員 対面 学群2年次生以上に限る。
CC24203	発達臨床心理学実践実習	3	2.0	2 - 4	通年	応談	松田 侑子	教員によるスーパーヴィジョンのもとに行われる、子どもを対象とした実際の心理臨床活動の一端に触れる 1.子ども相談室の相談事例への継続的参加 子ども相談室の相談事例のチームに観察者として参加し,各回のケースに参加する.これには,セッション中の観察室からの子どもの遊戯療法のプロセスの観察・記録(筆記記録,ビデオ撮影)とともに,各回の事前・事後のミーティングとそこでの討論への参加が含まれる.所要時間は1回約2時間30分~3時間程度.なお,コロナ禍のため相談室活動が停止している場合には,動画視聴に変更する場合がある. 2.講義 春学期に発達臨床心理学の講義を行う.日程・場所未定(追って知らせる)「遊戯療法の理論と実際」(講師 濱口佳和) 3.学年末のレポート提出 各自が担当したケースでの観察者としての経験について,学年末にレポートの提出を求めます.必ず提出してください.	「発達臨床心理学演習」を履修済みまたは現在履修中である学生に限る。 対面(オンライン併用型)
CC26122	臨床心理学実践演習	2	2.0	3・4				担当教員の指導のもとで実践的な演習を行う。	担当教員の許可を得た心理学類生に限る。 西暦偶数年度開講。 2026年度開講せず。 対面

専門科目(上級)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CC27404	心理学上級2(発達臨床心理学演習)	4	2.0	3・4	春AB	火3,4	松田 侑子	幼児期から青年期までの子どもの社会性とパーソナリティの発達、心理社会的不適応、問題行動、精神疾患および親の発達や育児の問題についての内外の文献を輪読し、専門分野の理解を深める。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CC27424	心理学上級2(社会行動の神経科学講義)	4	2.0	3・4	春A 春A 春B	火5 火6 火5,6	高橋 阿貴,仲田 真理子	「こころ」の理解を目指す行動神経科学の分野はどんどん発展してきており、様々な行動に関わる生物学的な基盤が明らかになりつつある。本講義では、情動や社会性、学習記憶など様々な行動について、どのような脳領域そして神経回路が関与するのか(行動神経科学)に加えて、行動が遺伝するしくみ(行動遺伝学)、ホルモンが中枢神経系に作用して行動に影響を与えるしくみ(行動神経内分泌学)、免疫系と中枢神経系の相互作用(精神神経免疫学)という多様な観点から学ぶ。基本的には対面講義を行うが、必要がある場合はオンライン講義(同時双方型)への変更を行う。	対面
CC27434	心理学上級2(社会行動の神経科学演習)	4	2.0	3・4	秋AB	火5,6	仲田 真理子,高橋 阿貴	行動神経科学、行動遺伝学、行動神経内分泌学、精神神経免疫学分野の最近の文献を講読しながら、社会行動を中心としたさまざまな行動の遺伝的・生物学的基盤に関する研究法や研究の成果について討論し、理解を深める。	対面
CC27444	心理学上級2(知覚・認知心理学)	4	2.0	3・4	春AB	木1,2	前澤 知輝,綾部 早穂	感覚系を通して私たちは環境の状態を知り,知識を獲得する。本講では,日頃気にとめることのない感覚知覚や認知機能の働きが実際には非常に複雑な過程の上に成立していることを示し,それらの働きを理解するための実験研究の一端を紹介していく。	対面
CC27454	心理学上級2(青年心理学演習)	4	2.0	3・4	春AB	金3,4	佐藤 有耕	卒業研究の遂行に資するために、心理学の論文を読むことを中心にして、青年の心理に関する研究についての理解を深める。	心理学類3年次以上に限る。 対面
CC27464	心理学上級2(計量心理学)	4	2.0	3・4	春AB	金5,6	山口 一大,藤田 和也	計量心理学のテキスト・論文を購読しながら,心理学で利用される様々な統計モデルに関係するテーマについて,数式を交えながら理解する。受講者は,計量心理学領域での諸問題について議論を行い,心理学研究の中で計量心理学的モデルについて,理解を深める。	心理学類生に限る。 オンライン(同時双方向型)
CC27474	心理学上級2(行動神経科学演習)	4	2.0	3・4				生理心理学、行動薬理学、行動神経科学の分野の最近の文献を講読しながら、行動の生物学的基礎・神経基盤に関する研究法や研究の成果について討論し、理解を深める。	西暦奇数年度開講。 対面
CC27484	心理学上級2(教育・学校心理学)	4	2.0	3・4				教育心理学・学校心理学の基本的な理論を学び、教育実践との関わりについて考えていく。また、教育心理学・学校心理学の分野の文献を講読し、教育心理学・学校心理学の方法論や最新の研究成果についての知識を深める。また、授業を通して、発表レジュメのまとめ方、プレゼンテーションの仕方といったような卒業研究に結びつくようなスキルの獲得を目指す。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
CC27494	心理学上級2(産業社会心理学)	4	2.0	3・4	秋AB	木5,6	大塚 泰正,川上 直秋,尾野 裕美	産業社会心理学のさまざまなトピックに関する文献購読や個人・グループ発表等を行う。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
CC27504	心理学上級2(犯罪心理学演習)	4	2.0	3・4	秋AB	木3,4	原田 隆之	司法・犯罪分野の理論,制度,臨床などについて,教科書を輪読しながら理解を深める。さらに,事例検討,臨床技法の実践などもあわせて行う。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
CC27704	心理学上級1(社会心理学演習)	4	1.0	3・4	春AB	火2	藤 桂	対人関係,特にインターネット,メディア,コミュニケーションなどに関わる文献購読を行い,社会心理学における様々なテーマや研究手法について理解を深める。また,現代における社会現象との関連付けや,受講生間でのディスカッションを通して,受講生各自の興味・関心を明確化する。	オンライン(同時双方向型)
CC27714	心理学上級1(感情・人格心理学)	4	1.0	3・4	春AB	木3	千島 雄太,菅原 大地,生田目 光	感情・人格心理学の最新知見を習得する演習を中心とした授業で、グループでテーマを決めて発表を行う。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CC27724	心理学上級1(行動デザイン)	4	1.0	3・4	春C	火3,4	松田 壮一郎	本授業では、人間の行動や意思決定が、どのような状況や条件のもとで生じているのかを観察可能な形で整理し、行動が変わる(あるいは変わりにくい)理由を考える。 心理学の基礎的知見を参照しながら、個人の性格や内面だけに原因を求めるのではなく、行動が起こる場面・選択肢・環境条件に注目する視点を学ぶ。 授業では、身近な事例、社会的トピック、簡単なデータやケースを用い、分析・整理・提案を行う演習を中心に進める。 専門的な数式や高度な統計解析は扱わず、「説明できる形で考える」「他者に伝わる形で整理する」ことを重視する。	西暦偶数年度開講。 対面
CC27734	心理学上級1(臨床心理学)	4	1.0	3・4	春C	木3,4	浅野 憲一,糸井 千尋	臨床心理学及び発達臨床心理学についての理論を学び、具体的な研究や実践についての理解を深める。	対面
CC27744	心理学上級1(発達臨床心理学)	4	1.0	3・4				人の誕生から成人に至る発達過程の発達臨床的課題とその支援について講義・演習を行う。特に心理社会的発達の基盤となるアタッチメント理論とその臨床的応用について映像の視聴や事例の検討を通して理解を深める。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)

開設母体

要件
障害科学類

学類共通

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CE11011	障害科学実践入門	1	2.0	1	夏季休業中	応談	左藤 敦子,米田 宏樹,丹治 敬之,飯村 大智,佐島 毅,石塚 祐香	附属視覚特別支援学校、聴覚特別支援学校、桐が丘特別支援学校、大塚特別支援学校、及び久里浜特別支援学校の見学・授業参観をとおして、障害のある子どもと彼らへの支援の実際について理解を深める。	障害科学類生に限る。 詳細後日周知 対面(オンライン併用型)
CE11021	障害原理論I	1	2.0	1	春AB	木3,4	岡 典子	障害および障害のある人々にかかわる問題について、歴史、政治、科学の発展、教育や福祉など幅広い視点から考えていくことで、「障害とは何か」について基礎的な知識を得る。	対面
CE11101	障害科学研究法入門	1	2.0	2	春AB	月3,4	山中 克夫,林 小百合,森地 徹,名川 勝,岡 典子,野呂 文行,小島 道生,佐島 毅,小渕 千絵	障害科学研究にかかわる基礎知識と技術について講義する。	障害科学類生に限る。 対面(オンライン併用型)
CE11113	障害科学研究法実習	3	1.0	2	秋AB	月3,4	山中 克夫,林 小百合,森地 徹,石塚 祐香,名川 勝,岡 典子,佐島 毅,小島 道生,小渕 千絵	障害科学研究にかかわる基礎知識と技術を体験的に修得するため,各種の実験と実習を行う。	障害科学研究法入門とあわせて履修すること。障害科学類生に限る。 対面
CE11121	障害者福祉論I	1	1.0	1	秋A	木5,6	名川 勝	障害者福祉の理念、歴史、ならびに障害者基本法などの基本法制を概観し、障害とそれに関わる問題について福祉的観点から考えるための基盤と課題を論じる。	社会福祉士国家試験受験資格指定科目、「同II」と併せて受講することが望ましい。 対面(オンライン併用型)
CE11131	障害者福祉論II	1	1.0	1	秋B	木5,6	森地 徹,大村 美保	障害者総合支援法・児童福祉法による障害福祉に関わるサービス及び相談支援を中心に説明するとともに、障害者虐待防止法、障害者雇用促進法、バリアフリー新法、医療観察法などの他の法制度について紹介して、専門職連携も含めた障害者の生活支援について基盤と課題を論じる。	社会福祉士国家試験受験資格指定科目、「同I」と併せて受講することが望ましい。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
CE11141	障害者教育基礎理論I	1	1.0	1	秋AB	木4	岡 典子	障害のある子どもの教育に係る基礎的事項を理解する。障害者教育基礎理論Iでは、とくに国内外の歴史、教育を支える思想や理念、教育の発展にかかわる背景的要因などを中心に学ぶ。	対面
CE11151	障害者教育基礎理論II	1	1.0	1	秋AB	火6	米田 宏樹	障害のある子どもの教育に係る基礎的事項を理解する。障害者教育基礎理論IIでは、とくに特別支援教育の制度、教育実践の現状と課題を中心に学ぶ。	実務経験教員 対面(オンライン併用型)
CE12014	障害科学セミナー	4	1.0	1	秋AB	月5	飯村 大智,小渕 千絵	障害とは何か、障害と人間・社会についての考察を目的として,比較的易しいテキストを使用し,演習形式を取り入れた学習を行う。	障害科学類学生に限る。 対面
CE12201	障害教育福祉工学	1	1.0	1 - 4	春C	集中		障害科学の教育と福祉の領域における科学的・合理的スキルとして、または、その変革の可能性の1つとして、テクノロージーを用いた学習や活動に関する基礎的知識を学習する。また、障害科学の教育や福祉の現場における最新テクノロージーや情報の活用、これらの技術を活用した教材・機器・設備などの情報についても探究する。	対面 2-6限
CE12301	障害者・障害児心理学	1	1.0	2・3	秋C	木3,4	魚野 翔太,小島 道生,佐島 毅,大村 美保,飯村 大智,小渕 千絵	以下の内容を講義する。 (1)身体障害,知的障害及び精神障害の概要 (2)障害者・障害児の心理社会的課題及び必要な支援	公認心理師科目 実務経験教員 対面(オンライン併用型)

専門科目共通

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CE21091	言語障害と心理	1	1.0	2	秋AB	金2	宮本 昌子,飯村 大智	言語障害の理解と支援の背景となる心理学について学び、また支援方法の理論的背景を探り、様々な言語障害を理解し支援するための基礎力の習得を目指す。	実務経験教員 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CE21411	視覚障害児の心理・生理・病理	1	2.0	2	春A 春B	木2,5	柿澤 敏文 佐島 毅	視覚障害のある幼児、児童又は生徒の視機能の低下の要因となる病理面と心理面及び生理面の特徴とそれらの相互作用、さらに、幼児、児童又は生徒一人一人の知覚や認知の特性等を解説し、家庭や関係機関との連携について紹介する。	2023年度以降入学生対象。科目を構成する心理パートは2025年度までのCE21071、生理・病理パートは2025年までのCE21011と同一。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
CE21421	聴覚障害児の心理・生理・病理	1	2.0	2	春AB 秋AB 秋AB	火1 木6 集中	小渕 千絵	聴覚障害のある幼児、児童又は生徒の聴覚器官の生理と病理及び心理的側面及び生理面の特徴並びにそれらの相互作用について理解し、幼児、児童又は生徒一人一人の聞こえや言語発達の状態等を理解するとともに、家庭や関係機関との連携について理解する。具体的には、聴覚障害教育・福祉に関連する聴覚器官の生理機能について、外耳、中耳、内耳、そして中枢聴覚系の概要とともに、聴覚障害教育・福祉に関連する聴覚活用を支援する上で必要な音響学および人工内耳の基礎について講述する。また、聴覚障害児の心理的発達に関する基礎的知識にふれ、聴覚障害と社会(環境)との相互作用の側面から、聴覚障害児の発達についての理解を深める。	2023年度以降入学生対象。科目を構成する心理パートは2025年度までのCE21081、生理・病理パートは2025年までのCE21021と同一。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
CE21431	知的障害児の心理・生理・病理	1	2.0	2	春AB	火5 水4	小島 道生,魚野 翔太	知的・発達障害のある幼児、児童又は生徒の知的障害の要因となる病理面や併存症・合併症と心理面及び生理面の特徴並びにそれらの相互作用について理解し、幼児、児童又は生徒一人一人の知的障害の状態や適応行動の困難さ及び認知の特性を理解するとともに、家庭や関係機関との連携について解説する。	2023年度以降入学生対象。科目を構成する心理パートは2025年度までのCE21121、生理・病理パートは2025年までのCE21061と同一。 対面(オンライン併用型)
CE21441	肢体不自由児の心理・生理・病理	1	2.0	2	秋A 秋AB 秋AB	金5,6 火2 集中	前原 和明,鈴木 寿人	肢体不自由のある幼児、児童又は生徒の起因疾患となる病理面と心理面及び生理面の特徴並びにそれらの相互作用について理解し、幼児、児童又は生徒一人一人の肢体不自由の状態や感覚機能の発達、知能の発達及び認知の特性を理解するとともに、家庭や関係機関との連携について理解する。	2023年度以降入学生対象。科目を構成する心理パートは2025年度までのCE21101、生理・病理パートは2025年までのCE21041と同一。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
CE21451	病弱児の心理・生理・病理	1	2.0	2・3	秋B 秋AB	金5,6 集中	鈴木 寿人,深澤 美華恵	病弱(身体虚弱を含む)の幼児、児童又は生徒の病気等に関する病理面と心理面及び生理面の特徴並びにそれらの相互作用について理解し、幼児、児童又は生徒一人一人の病気や障害の状態、社会性の発達及び認知の特性を理解するとともに、家庭や学校間、関係機関との連携について理解する。	2023年度以降入学生対象。科目を構成する心理パートは2025年度までのCE21111、生理・病理パートは2025年までのCE21051と同一。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
CE21918	卒業研究I	8	2.0	3	通年	随時	森地 徹,石塚 祐香	関心のある研究テーマについてレビューレポートを作成する。この取り組みを通じてテーマに関連する教員への相談を重ね、次年度の「卒業研究II」の準備とする。	詳細後日周知 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CE21928	卒業研究II	8	4.0	4	通年	随時	左藤 敦子,三盃 亜美,丹治 敬之,大村 美保,宮内 久絵,佐々木 銀河,名川 勝,岡 典子,柿澤 敏文,野呂 文行,宮本 昌子,山田 実,小島 道生,佐島 毅,八重田 淳,山中 克夫,米田 宏樹,和田 恒彦,森地 徹,工藤 滋,小渕 千絵,河野 禎之,魚野 翔太,飯村 大智,石塚 祐香,藤本 啓寛,林 小百合,前原 和明,沖中 美世乃,玉井 伸典,鈴木 寿人,細川 大瑛	指導教員の指導の下で卒業研究を完成させる。	対面(オンライン併用型)
CE21948	卒業研究II	8	4.0	4	春学期	随時	左藤 敦子,三盃 亜美,丹治 敬之,大村 美保,宮内 久絵,佐々木 銀河,名川 勝,岡 典子,柿澤 敏文,野呂 文行,宮本 昌子,山田 実,小島 道生,佐島 毅,八重田 淳,山中 克夫,米田 宏樹,和田 恒彦,森地 徹,工藤 滋,小渕 千絵,河野 禎之,魚野 翔太,飯村 大智,石塚 祐香,藤本 啓寛,林 小百合,前原 和明,沖中 美世乃,玉井 伸典,鈴木 寿人,細川 大瑛		9月卒業予定の学生のみ対象 オンライン(対面併用型)

障害原理論

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CE22011	障害原理論II	1	2.0	2	秋AB	火3,4	岡 典子	そもそも「障害とは何か」という根本的な問いについて理解を深めるため、特に社会と障害の関係に焦点をあてて講述する。	対面

視覚障害学

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CE23011	視覚障害教育概論	1	1.0	2	秋AB	木1 集中		視覚障害児教育の基本的配慮事項と視覚障害児の指導法の概要について講述する。	2012年度以前の視覚障害児の指導法に相当。 対面 2-6限
CE23021	視覚障害自立活動	1	2.0	3	春B	集中		視覚障害児の自立活動について、その意義、目的、内容、指導方法、指導計画、評価等について講述する。	2024年以前入学者に限る。 対面(オンライン併用型)
CE23031	視覚障害指導法	1	2.0	3	秋AB	木5 集中	宮内 久絵	視覚障害の特性に応じた各教科の指導法の基礎と実際について理解を深める。附属視覚特別支援学校での授業については対面を予定しているが、状況に応じてオンライン(オンデマンド型)変更にある場合がある。	2012年度までの視覚障害教科指導法に相当。 詳細後日周知 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CE23051	視覚障害アセスメント	1	1.0	3	春AB	火3	佐島 毅	視覚障害児者の視機能評価や発達評価,心理評価などを取り上げ,講述・実習する。	対面
CE23061	点字の実際	1	1.0	3	夏季休業中	集中	皆川 あかり,佐島 毅	点字の歴史、構成、表記法などの理論的な面を学ぶとともに、点字器、点字タイプライターを用いた実習を行う。また、パソコン点訳の理論と実際について実習をまじえて学ぶ。	西暦偶数年度開講。 8/8,8/17 実務経験教員 対面 2-6限
CE23071	視覚障害の理解と支援	1	1.0	3	春AB	月3	柿澤 敏文	視覚障害の知見について理解を深め、教育的支援の方法を考える。	CE23041視覚障害の理解と支援(旧科目2単位)の単位を修得済みのものは,本授業を履修することはできない。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)

聴覚障害学

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CE24011	聴覚障害児の教育と指導法	1	1.0	2	秋AB	月5	左藤 敦子	聴覚障害児教育の原理、発達的な特徴と教育の場、及び日本語や教科の指導法の概要について講述する。	対面
CE24021	聴覚障害児の言語指導	1	1.0	3	春B	集中	左藤 敦子	聴覚障害児の言語・音声・コミュニケーションの発達、およびその指導に関する理論と方法・成果について講述する。	対面(オンライン併用型) 2-6限
CE24031	聴覚障害とリテラシー	1	1.0	3	春B	集中	小渕 千絵	聴覚障害児の読み書きの困難さの原点を探り、その教育的示唆を得るために、聴覚障害児のリテラシー基礎と実際に関する知識と理解を深める。	対面(オンライン併用型) 2-6限
CE24041	聴覚障害とコミュニケーション	1	1.0	3	秋A	集中	左藤 敦子,能美 由希子	聴覚障害児のコミュニケーションの特徴、手段、表現活動等について講述する。	詳細後日周知 対面(オンライン併用型)
CE24051	聴覚補償論	1	1.0	3	秋AB	火1	小渕 千絵	聴覚活用における他の感覚情報との併用の効果、補聴器フィッティングの基礎について講述するとともに、近年の聴覚障害学校における聴覚補償による教育の現状と課題について講述する。	対面(オンライン併用型)
CE24061	聴覚障害自立活動特講	1	1.0	3	秋C	集中	小渕 千絵,左藤 敦子,太田 康子	聴覚障害児の自立活動について,その意義,目的,内容,方法,指導計画および指導技術について述べる。	実務経験教員 対面(オンライン併用型)

言語障害学

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CE25051	言語障害の理解と支援	1	1.0	3	秋AB	木3	宮本 昌子,飯村 大智	言語障害の生理・心理・教育について,言語病理学が蓄積した知見と最新の研究,教育現場からの報告による視点を踏まえ説明する。特に,ことばの教室で扱う「言語発達障害」,「構音障害」,「発話流暢性障害」を中心に,適切な評価と支援・指導の在り方について概説する。	2018年度以前障害科学類入学者は、履修細則に規定する「言語障害生理病理特講」の単位を修得したものとみなすことができる。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)

運動障害学

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CE26011	肢体不自由児の教育	1	1.0	3	春AB	火5	前原 和明	運動障害教育における今日の主要な教育課題として、障害の重度・重複化、多様化にともなう個別化した教育内容、教育方法、移行期支援、医療的ケアなどを取り上げる。内外の参考文献を通して講述する。その際に、歴史的視座から医療、福祉等の領域との連携のあり方についても論及する。	2023年度までの運動障害教育学に相当。 西暦偶数年度開講。 オンライン(オンデマンド型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CE26021	肢体不自由児の指導法	1	1.0	2	秋B	集中	前原 和明,有井 香織,岡本 義治	特別支援学校(肢体不自由教育領域)では,その対象者の多くが脳疾患でしめられている。肢体不自由教育領域において複雑化する問題状況を分析し,「授業」の創造と評価に関わる基礎的,実践的な課題について整理・論究する。	2023年度までの運動障害児の指導法に相当。 桐が丘特別支援学校における特別支援教育実習に必須。一部授業時間外に実施の場合あり。 詳細後日周知 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
CE26031	重複障害の理解と支援	1	1.0	3	秋AB	火5	佐島 毅,前原 和明	重複障害児の指導について、その意義と概要について講義する。また、医療的ケアと関連し、関連諸機関の共同によるアプローチについても考える。	対面(オンライン併用型)

健康・高齢障害学

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CE27011	病弱児の指導法	1	1.0	3	秋AB	集中	深澤 美華恵,小渕 千絵	健康障害児・者の指導法について、特に幼児期・学齢期・青年期に焦点をあてて講義を行う。	2023年度までで健康障害の指導法に相当。 詳細後日周知 オンライン(オンデマンド型)
CE27021	病弱教育の自立活動指導法	1	1.0	3				健康障害児(病弱児)の自立活動について、全般的な説明をするとともに、「健康の保持」「心理的安定」を中心に詳述する。	2023年度までの健康障害教育の自立活動指導法に相当。西暦奇数年度開講。 西暦奇数年度開講。 詳細後日周知 オンライン(オンデマンド型)
CE27041	高齢障害学I	1	1.0	3	春A	集中	山田 実,小山 真吾	加齢・老化などに関するパラダイム,高齢期の病気,障害,制限について学ぶ。特にフレイルの機序や改善、予防について解説する。	詳細後日周知 実務経験教員 対面(オンライン併用型) 2-6限
CE27051	高齢障害学II	1	1.0	3	春AB	火2	山中 克夫	認知症の人、家族、現場の職員に対する系統的相談支援、認知症の非薬物的アプローチ(心理社会的アプローチ中心)について学ぶ。	介護概論I、II、高齢障害学Iを併せて受講することが望ましい。 2018年度以前開設の「高齢障害学」の単位を修得したものは履修できない。 実務経験教員 対面

知的・発達・行動・情緒障害学

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CE28011	知的障害学校教育論(指導法)	1	1.0	2	秋AB	木4	米田 宏樹	知的障害児に関する教育課程ならびに指導法について論述するとともに、授業分析などを通して知的障害教育の技術や諸問題を探る。	CE28041「知的障害者の生活と教育福祉」を履修済みであることが望ましい。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
CE28041	知的障害者の生活と教育・福祉	1	1.0	2	春AB	火2	米田 宏樹	知的障害のある人々に必要な教育的・福祉的支援を概観するとともに、「支援を受けながら自己実現を図る」力をつけていくための指導と支援のあり方について講述する。	秋AB「知的障害学校教育論」を履修予定の者は、あらかじめこの科目を履修することが望ましい。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
CE28061	発達障害学校教育論(指導法)	1	1.0	3	春AB	木2	丹治 敬之	LD・ADHD・高機能広汎性発達障害など、(軽度)発達障害にある児童・生徒に関する教育課程ならびに指導法について論述するとともに、子どもの認知特性に配慮した個別指導計画立案について述べる。	実務経験教員 対面
CE28071	発達障害の理解と支援	1	1.0	3	秋AB	木2	丹治 敬之	通常学級に在籍するような学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)、高機能自閉症(HFA)等に関する基本的な理解と最近の知見について講義をし、さらに支援の方法を事例的に検討し理解を深める。	実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CE28091	応用行動分析学の基礎	1	1.0	2	春AB	金1	佐々木 銀河	応用行動分析学の原理と基本的技法、並びに、発達障害児者に適応する際に留意すべき事柄について学ぶ。	実務経験教員 対面(オンライン併用型)
CE28101	応用行動分析学の展開	1	1.0	2	秋AB	金1	石塚 祐香	応用行動分析学において用いられる様々な応用的技法について解説する。	「応用行動分析学の基礎」を履修済みであることが望ましい。 実務経験教員 対面
CE28103	自閉症スペクトラム障害臨床実習	3	2.0	3	通年	金4,5	野呂 文行,佐々木 銀河,石塚 祐香	応用行動分析学を学習した学生で、より具体的な支援方法の学習を希望するものに対して、自閉症スペクトラム障害の幼児の指導に参加させ、基本的なアプローチの技術の修得を目指す。	オリエンテーションはmanabaにて周知予定。「応用行動分析学の基礎」・「応用行動分析学の展開」の単位を取得していることが望ましい。 実務経験教員 対面
CE28141	学習障害概論	1	1.0	4	秋AB	月2	三盃 亜美	学習障害の定義、背景となる認知能力の弱さ、などについて学んだ後、学習障害のある子どもの実際を理解する。さらに、学習障害の背景となる認知障害を理解し、自立にむけて何を支援すべきか考える。	対面

特別支援教育学

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CE29031	障害児教育総論	1	1.0	2	秋AB	集中	米田 宏樹,左藤 敦子	障害児教育における教育課程編成の原理と実際について概説する。とくに,法令や学習指導要領に規定される特例を用いた弾力的な教育課程の編成について整理し,特別支援教育における教育課程の編成及び教育課程開発の在り方について考究する。	実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
CE29043	特別支援教育実習	3	3.0	3	春A 春B 春C 秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談	左藤 敦子,米田 宏樹,丹治 敬之,飯村 大智,佐島 毅,石塚 祐香	障害のある子どもたちの指導に必要な知識、技能、態度を習得するため、特別支援学校において3週間の実習を行う。	実習の履修要件を満たしていること。 障害科学類学生以外は4年次。 詳細後日周知 対面

障害福祉学

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CE31011	社会福祉原論I	1	2.0	2	春AB	木5,6	藤本 啓寛	社会福祉の原理・理論・論点、欧米・日本における社会福祉の歴史的展開、社会福祉の思想・哲学、社会問題とその構造的背景について学修する。	社会福祉士国家試験受験資格指定科目。社会教育主事。 実務経験教員 オンライン(同時双方向型)
CE31021	社会福祉原論II	1	2.0	2	秋AB	木5,6	藤本 啓寛	社会福祉政策におけるニーズ(必要)やリソース(資源)、構成要素、過程と評価、包括的支援の現状と課題、供給と利用の過程、国際比較について学修する。	社会福祉原論Iを履修済みであること。 社会福祉士国家試験受験資格指定科目。 社会教育主事。 実務経験教員 オンライン(同時双方向型)
CE31181	社会福祉調査論	1	2.0	3	春AB	金3,4	河野 禎之	社会福祉調査の意義と目的等の基本的事項を習得するとともに、実践的な課題への取り組みを通じて、質的・量的な調査法の具体的な方法論を身に付けることを目的とする。そのため、社会福祉調査に必要な方法を、量的・質的調査に渡って概観する。また福祉のフィールドに調査テーマを設定し、調査の目的と計画の設定、データ収集、分析、考察などを模擬的に実施、検討する	履修者は2025年以降入学者は心理学統計法I(2024年以前入学者は心理学統計法II)、障害科学研究法入門、障害科学研究法実習の単位取得者に限る。社会福祉士国家試験受験資格指定科目。 対面(オンライン併用型) 対面授業(ただし、一部はオンライン(オンデマンド型)で行う)。どの回が対面授業なのか等の授業の具体的なスケジュールはManabaにて周知する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CE31281	相談援助の基盤と専門職I	1	2.0	2	春AB	火3,4	森地 徹	社会福祉士の役割(総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発を含む)と意義について検討し,相談援助の概念と範囲について講述する。	社会福祉士国家試験受験資格指定科目 実務経験教員 対面
CE31291	相談援助の基盤と専門職II	1	2.0	3	春AB	火5,6	八重田 淳	様々な機関や施設で相談援助に関わる専門職の役割と機能,専門職の職業倫理と倫理的ジレンマの解決方法,多職種・多機関連携におけるコーディネートとサービスマネジメントの役割,国際ソーシャルワークの現状と課題について概説する。	社会福祉士国家試験受験資格指定科目 対面
CE31381	社会学概論	1	2.0	1 - 4	春AB	木3,4	藤本 啓寛	本科目では,現代社会を理解するための一助として社会学という学問について学び,社会を見る目を養うことをめざす.具体的には社会学の基本的な概念や理論,学説を学ぶとともに,社会学の視点から現代社会の論点を考えてみることで,われわれが生きている「社会」がどのような特徴をもっているのか,またそうした社会がわれわれの生活にどのような影響を与えているのかを理解する.	社会福祉士国家試験受験指定科目、人間学群生に限る。 オンライン(同時双方向型)
CE31401	相談援助の理論と方法I	1	2.0	2	春AB	金1,2	大村 美保	(総論)社会福祉援助実践の方法論(=ソーシャルワーク論)の基礎となる援助の思想と歴史,援助(ケア)の視点と技法(援助実践モデルとアプローチ)について具体的な事例を活用しながら検討したい。さらに,対人援助職としてのあり方について問いかけながら,各自の相談援助の方法論を考える契機としたい。	社会福祉士国家試験受験資格指定科目。2012年度までのCE31151と同一。 実務経験教員 対面
CE31411	相談援助の理論と方法II	1	2.0	3	春AB	木3,4	名川 勝	(援助過程)相談援助の過程について、受理面接(インテイク、エンゲイジメント)から終結、効果測定、アフターケアまでを概観するとともに、意義や目的、方法、留意点などについて具体事例を交えつつ講述する。	社会福祉士国家試験受験資格指定科目。2012年度までのCE31171と同一。 対面
CE31421	相談援助の理論と方法III	1	2.0	2	秋AB	金5,6	河野 禎之	相談援助の理論について個別援助における基本的事項を習得するとともに、実践的な課題への取り組みを通じて、相談援助に関する具体的な方法論を身に付けることを目的とする。そのため、個別援助の方法論としての面接技法(コミュニケーション・スキル/ラポール形成/自己覚知と他者理解)及び、相談援助実践のための面接の意義、目的、方法、留意点のほか、ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実際について講述する	社会福祉士国家試験受験資格指定科目 対面(オンライン併用型) 対面授業(ただし、一部オンライン(オンデマンド型)で行う。どの回が対面授業なのか等の授業の具体的なスケジュールはManabaにて周知する
CE31431	相談援助の理論と方法IV	1	2.0	2	秋AB	火5,6	山中 克夫	ケースマネジメント,ケアマネジメント,アウトリーチ,相談援助における社会的資源の活用,集団を活用した相談援助について,具体例(多くは高齢者)を紹介しながら,その目的や方法について概説する。	社会福祉士国家試験受験資格指定科目。2012年度までのCE31161と同一。 実務経験教員 対面
CE31451	地域福祉の理論と方法I	1	2.0	1 - 4	春C夏季休業中	集中	名川 勝	地域における社会福祉の実践と計画がますます重要になってきている。今日の地域福祉実践(コミュニティーワーク)の意義および基礎理論及び地域福祉ニーズと社会資源の把握と地域ネットワークなど基本事項について講義する。	社会福祉士国家試験受験資格指定科目。2012年度までのCE31101と同一。人間学群生に限る。2024年度から偶数年度隔年開講。 西暦偶数年度開講。 対面
CE31461	地域福祉の理論と方法II	1	2.0	3	秋AB	月3,4	名川 勝,森地 徹	地域福祉の推進方法について、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発、福祉ニーズの把握、福祉サービスの評価などを講述する。また事例や研究に基づきながら検討を行う。	社会福祉士国家試験受験資格指定科目。地域福祉の理論と方法Iを履修しておくこと。 2012年度までのCE31501と同一。 実務経験教員 対面
CE31481	医学概論I	1	1.0	2	春C	金1,2	鈴木 寿人	医学に関する一般的な知識のうち、主として人の成長・発達と老化、身体構造と心身の機能、疾病の概要について講述する。	医学概論IIと同時に履修すること。 社会福祉士国家試験受験資格指定科目。社会福祉士ならびに教科福祉教員免許取得希望者に限る。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CE31491	医学概論II	1	1.0	2	春C	金3,4	鈴木 寿人	医学に関する一般的な知識のうち、主として障害の概要、リハビリテーションの概要、国際生活機能分類(ICF)の基本的考え方と概要、健康のとらえ方について講述する。	医学概論Iと同時に履修すること。社会福祉士国家試験受験資格指定科目。社会福祉士ならびに教科福祉教員免許取得希望者に限る。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
CE31551	社会福祉経営論	1	2.0	2	春AB	木1,2	森地 徹	福祉サービスに係る組織や団体(社会福祉法人,医療法人,NPO法人,市民団体,自治会等)について理解し,福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論とサービス提供組織の管理運営とその実際について講述する。	社会福祉士国家試験受験資格指定科目。2012年度までのCE31331と同一。 対面
CE31571	社会保障論I	1	2.0	1 - 4				現代社会における社会保障制度の課題(少子高齢化と社会保障制度とその関係を含む)及び,社会保障の概念や対象及び理念等についてその発達過程について講義する。	社会福祉士国家試験受験資格指定科目。2012年度までのCE31191と同一。2023年度より西暦奇数年度開講。人間学群生に限る。 西暦奇数年度開講。 オンライン(オンデマンド型) オンライン(同時双方向型)
CE31581	社会保障論II	1	2.0	1 - 4	秋C春季休業中	集中	坂口 昌宏,森地 徹	公的保険制度と民間保険制度の関係及び社会保障制度の体系と概要(年金保険制度と医療保険制度を含む),さらに,諸外国における社会保障制度の概要についても理解を深める。	社会福祉士国家試験受験資格指定科目。2012年度までのCE31201と同一。2023年度より西暦奇数年度開講。人間学群生に限る。4年次については社会福祉士取得を目指す者以外の履修は認めない。 オンライン(オンデマンド型) オンライン(同時双方向型)
CE31601	高齢者福祉論	1	2.0	2	秋AB	火3,4	山中 克夫	加齢や高齢者を理解するうえで重要と思われるパラダイムを紹介した後、データをもとに少子高齢社会の現状や課題について理解を深める。そのうえで、高齢者福祉に関する法,、施策、支援について歴史的・体系的に概観する。	社会福祉士国家試験受験資格指定科目。2012年度までのCE31111と同一。 実務経験教員 対面
CE31641	介護技術	1	1.0	2 - 4				介護技術の習得はもとより、医療・介護従事者が有しておくべき知識の整理を行う。例えば、パーキンソン病の方を街で見かけた際、どのようなサポートが行えるのだろうか?腕が挙らない方の更衣はどのようにすべいだろうか?勿論、本講義を聴講しただけで、このようなことに対して適切な対処がとることは難しいが、考える材料にはなると思われる。代表的な疾病の理解も深めながら、それぞれの障害に対する介助方法を学んでほしい。	2-6時限。原則として介護概論を履修した者を対象とする。2012年度までのCE31241と同一。西暦奇数年度開講。 西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
CE31661	児童福祉論	1	2.0	2	秋AB	木3,4	藤本 啓寛	児童の権利と児童福祉の理念、児童・家庭の生活実態と社会環境、児童・家庭福祉制度・法律・専門職、その他児童・家庭福祉の諸支援について学修する。	社会福祉士国家試験受験資格指定科目。2012年度までのCE31131と同一。 実務経験教員 オンライン(同時双方向型)
CE31681	公的扶助論	1	2.0	1 - 4	秋A	集中	金井 聡	ワーキングプア、子ども、女性、高齢者の貧困・孤立・格差について理解を深め、貧困の意味を考える。また日本と海外の公的扶助制度(生活保護等)の課題、民間の取り組み、ベーシックインカム等の新しい議論を学ぶ。	社会福祉士国家試験受験資格指定科目。2012年度までのCE31091と同一。人間学群生に限る。 西暦偶数年度開講。 詳細後日周知 対面
CE31701	保健医療論	1	2.0	2	秋C	集中	岩田 直子,福田 潤,森地 徹	相談援助活動において必要となる医療保険制度(診療報酬に関する内容を含む)や,保健医療サービスを理解し,保健医療に関わる専門職(医師,保健師,看護師,医療ソーシャルワーカー,作業療法士,理学療法士,言語聴覚士等)の役割と実際,連携(チームアプローチ)について講述する。さらに、精神保健全般、医学・医療の歴史、医学の最新トピックスについても講述する。	社会福祉士国家試験受験資格指定科目。社会福祉士取得希望者ならびに障害科学類生に限る。2012年度までのCE31041と同一。 対面 2-6限

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CE31741	権利擁護と成年後見制度	1	2.0	3	秋AB	金5,6	名川 勝	相談援助において必須である権利擁護の理念と実際の支援のあり方について説明する。また関連法とりわけ成年後見制度の講述を行い、他者の意思決定や生活に関わることの重要性と支援者の役割、課題について示す。	社会福祉士国家試験受験資格指定科目。2012年度までのCE31031と同一。 対面(オンライン併用型)
CE31761	更生保護制度I	1	1.0	1 - 4				刑事司法制度、犯罪者や非行少年の社会内処遇を行う更生保護制度、この制度におけるケースのアセスメント、処遇、関係者との連携などについて理解し、ソーシャルワーカーとして刑事司法に関わる際に必要となる知識・技術・態度を学ぶ。特に、更生保護制度Iにおいては、刑事司法や更生保護制度の概要や社会内処遇の理論に関する基礎的な事項を扱う。	社会福祉士国家試験受験資格指定科目。2012年度までのCE31211と同一。2022年度までの更生保護制度と同一。人間学群生に限る。 西暦奇数年度開講。 対面 2-6限
CE31851	ソーシャルワーク実習指導	1	3.0	3・4	通年	随時	森地 徹,名川 勝,山中 克夫,大村 美保,河野 禎之,藤本 啓寛	ソーシャルワーク実習の意義について学ぶ。さらに、相談援助にかかわる知識と技術について、具体的かつ実際的に理解し実践的な技術を体得する。	社会福祉士国家試験受験資格指定科目。ソーシャルワーク実習と合わせて履修すること。 2012年度までのCE31591と同一。 対面
CE31903	介護実習(事前及び事後指導を含む)	3	2.0	3	春A 春B 春C 秋A 秋B 秋C 夏季休業中	随時	名川 勝,森地 徹	社会福祉施設等において,社会福祉援助技術,介護技術等に関する技術と知識/態度の学習のための現場実習を行う。	介護概論、介護技術を履修した者に限る。福祉科教員免許の取得希望者に限る 高校(福祉) 。 詳細後日周知 実務経験教員 対面
CE31913	高齢福祉実践基礎実習	3	3.0	3・4	春B 春C 夏季休業中	随時	山中 克夫	認知症の人に対する心理社会的アプローチの代表的な技法(例:グループによる認知活性化療法)について、高齢者介護の現場での実習を通じ学んでいく。	実務経験教員 対面
CE31921	介護概論I	1	1.0	2				介護保険制度の成立、基本的枠組み、体系について学ぶ。また、認知症ケア・介護、終末期ケア・介護について知る。	2023年度より奇数年度隔年開講。 西暦奇数年度開講。 詳細後日周知 実務経験教員 対面
CE31931	介護概論II	1	1.0	2	秋B	集中	山田 実,小山 真吾	高齢者の身体的特性および医療や介護のニーズについて学ぶ。また、介護全般の目的やプロセスを知り、日常生活動作に関する自立支援や介護、医療的ニーズの高い利用者に対する介護、ケアマネジメントと住環境について学ぶ。	2-6時限。詳細後日周知。対面授業(ただし、一部はオンライン(オンデマンド型)で行う)。2024年度より偶数年度隔年開講。 西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型) 2-6限
CE32031	更生保護制度II	1	1.0	1 - 4				刑事司法制度、犯罪者や非行少年の社会内処遇を行う更生保護制度、この制度におけるケースのアセスメント、処遇、関係者との連携などについて理解し、ソーシャルワーカーとして刑事司法に関わる際に必要となる知識・技術・態度を学ぶ。特に、更生保護制度IIにおいては、犯罪や非行を誘発する要因と改善更生を促進する要因について、理論や実践を学び、社会内処遇の課題について考える。	社会福祉士国家試験受験資格指定科目。人間学群生に限る。西暦奇数年度開講。 西暦奇数年度開講。 対面 2-6限
CE33012	ソーシャルワーク演習A	2	2.0	2・3	秋AB	火1,2	森地 徹	社会福祉における対人援助職として必要とされる「自己理解と他者理解」,コミュニケーションと面接技法,グループワーク,の進め方等について,演習形式の体験型学習を進める。	社会福祉士国家試験受験指定科目、CE31802と同一、2021年度以降の入学者で社会福祉士国家試験受験資格取得希望者もしくは福祉科の教員免許の取得希望者に限る。 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CE33022	ソーシャルワーク演習B	2	1.0	2・3	秋C	火1,2	森地 徹	社会福祉における対人援助職として必要とされる記録の方法,事例研究の進め方等について,演習形式の体験型学習を進める。	社会福祉士国家試験受験指定科目、CE31802と同一、2021年度以降の入学者で社会福祉士国家試験受験資格取得希望者もしくは福祉科の教員免許の取得希望者に限る。 実務経験教員 対面
CE33032	ソーシャルワーク演習C	2	3.0	3・4	春ABC	火3,4	山中 克夫	高齢者介護・高齢者家族支援事例を題材とした具体的な相談援助場面及びグループワークを想定した実技指導を行う。	社会福祉士国家試験受験指定科目、CE31802と同一、2021年度以降の入学者で社会福祉士国家試験受験資格取得希望者もしくは福祉科の教員免許の取得希望者に限る。 授業は2A115(福祉演習・実習室)で行う。 実務経験教員 対面
CE33042	ソーシャルワーク演習D	2	3.0	3・4	春ABC	月3,4	名川 勝	「虐待(障害者・高齢者)事例」及び「権利擁護と成年後見制度に関わる事例」をめぐる生活問題事例を題材とした具体的な相談援助場面及び相談援助の過程を想定した実技指導を行う。	社会福祉士国家試験受験指定科目、CE31802と同一、2021年度以降の入学者で社会福祉士国家試験受験資格取得希望者もしくは福祉科の教員免許の取得希望者に限る。 実務経験教員 対面
CE33052	ソーシャルワーク演習E	2	1.0	3・4	秋C	随時	森地 徹,名川 勝,山中 克夫,河野 禎之,藤本 啓寛	ソーシャルワーク実習及びソーシャルワーク実習指導での経験を振り返りながら各自の実習における,アセスメント,計画,実施状況と評価を再検討する。	社会福祉士国家試験受験指定科目、CE31802と同一、2021年度以降の入学者で社会福祉士国家試験受験資格取得希望者もしくは福祉科の教員免許の取得希望者に限る。 詳細後日周知 実務経験教員 対面
CE33063	ソーシャルワーク実習I	3	1.0	2・3	夏季休業中	随時	森地 徹,名川 勝,山中 克夫,大村 美保,河野 禎之,藤本 啓寛	福祉事務所において社会福祉士という専門職の現場における専門性,専門職倫理とその役割を理解する。実習に加え,事前・事後指導ならびに教員による巡回指導を含む。	社会福祉士国家試験受験指定科目、2021年度以降の入学者で社会福祉士国家試験受験資格取得希望者に限る。 詳細後日周知 実務経験教員 対面
CE33073	ソーシャルワーク実習II	3	1.0	2・3	春C 秋A 秋B 秋C 春季休業中 夏季休業中	随時	森地 徹,名川 勝,山中 克夫,大村 美保,河野 禎之,藤本 啓寛	福祉施設及び機関において社会福祉士という専門職の現場における専門性,専門職倫理とその役割を理解する。実習に加え,事前・事後指導ならびに教員による巡回指導を含む。	社会福祉士国家試験受験指定科目、2021年度以降の入学者で社会福祉士国家試験受験資格取得希望者に限る。 詳細後日周知 実務経験教員 対面
CE33083	ソーシャルワーク実習III	3	6.0	3・4	春C 秋A 夏季休業中	随時	森地 徹,名川 勝,山中 克夫,大村 美保,河野 禎之,藤本 啓寛	社会福祉士という専門職の現場における専門性,専門職倫理とその役割を理解し,さらに,対象者(施設利用者)との実際場面における関わりを通して相談援助職のあり方と意義を体験的に学ぶ。実習に加え,事前・事後指導ならびに教員による週1回の巡回指導を含む。	社会福祉士国家試験受験指定科目、2021年度以降の入学者で社会福祉士国家試験受験資格取得希望者もしくは福祉科の教員免許の取得希望者に限る。 CE31873と同一。 詳細後日周知 実務経験教員 対面

物理療法

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
CE32021	物理療法	1	2.0	1 - 4	春AB	木5,6	和田 恒彦,工藤 滋,沖中 美世乃,玉井 伸典	物理療法(鍼・灸・マッサージを含む)について、歴史や現状、日常遭遇しやすい病気を例に、病因、予防法、治療法などの具体的対策を論ずる。	対面(オンライン併用型)

開設母体

要件
アセアン横断型グローバル課題挑戦的教育プログラム

アセアン横断型グローバル課題挑戦的教育プログラム

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EZA0212	トランスアセアン・グローバルアジェンダ・ディベート演習	2	1.0	1 - 4	春AB	水5,6	野村 名可男	「大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業」およびAIMSプログラムにおいて推奨されている多文化共修の一環として、東南アジア地域及び日本での地域課題とのその解決を焦点として、外国人学生と日本人学生によるグループディスカッション、課題発表さらにディベートを実施する。	英語で授業。 対面 基本的にはAIMSプログラム参加者対象(AIMSプログラム参加者以外の履修希望者は担当教員に別途連絡すること)。担当教員が履修者に対して本科目のTWINSでの履修登録可能期間を個別に案内し、参加者はその期間内に履修登録を行う。 EZA0222修得者の履修は認めない。
EZA0222	トランスアセアン・グローバルアジェンダ・ディベート演習	2	1.0	1 - 4	秋AB	水5,6	野村 名可男	「大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業」およびAIMSプログラムにおいて推奨されている多文化共修の一環として、東南アジア地域及び日本での地域課題とのその解決を焦点として、外国人学生と日本人学生によるグループディスカッション、課題発表さらにディベートを実施する。	英語で授業。 対面 基本的にはAIMSプログラム」参加者対象(AIMSプログラム参加者以外の履修希望者は担当教員に別途連絡すること)。 担当教員が履修者に対して本科目のTWINSでの履修登録可能期間を個別に案内し、参加者はその期間内に履修登録を行う。 EZA0212修得者の履修は認めない。
EZA1010	グローバル課題インターンシップ	0	1.0	1 - 4	春ABC	応談	野村 名可男	「大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業」およびAIMSプログラムにおいて推奨されている多文化共修の一環として、地球規模課題に取り組んでいる筑波研究学園都市内の国立研究所や民間企業における就業体験や研究実習を通し、課題解決のための研究手法、プロジェクト管理などについての基礎知識を学ぶ。地元中小企業等での現場研修も随時実施する。	英語で授業。 対面 基本的にはAIMSプログラム」参加者対象(AIMSプログラム参加者以外の履修希望者は担当教員に別途連絡すること)。 担当教員が履修者に対して本科目のTWINSでの履修登録可能期間を個別に案内し、参加者はその期間内に履修登録を行う。 EZA1020修得者の履修は認めない。
EZA1020	グローバル課題インターンシップ	0	1.0	1 - 4	秋ABC	応談	野村 名可男	「大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業」およびAIMSプログラムにおいて推奨されている多文化共修の一環として、地球規模課題に取り組んでいる筑波研究学園都市内の国立研究所や民間企業における就業体験や研究実習を通し、課題解決のための研究手法、プロジェクト管理などについての基礎知識を学ぶ。地元中小企業等での現場研修も随時実施する。	英語で授業。 対面 基本的には「AIMSプログラム」参加者対象(AIMSプログラム参加者以外の履修希望者は担当教員に別途連絡すること)。 担当教員が履修者に対して本科目のTWINSでの履修登録可能期間を個別に案内し、参加者はその期間内に履修登録を行う。 EZA1010修得者の履修は認めない。

開設母体

要件
生物学類

生物学類

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EB00001	生物学序説	1	1.0	1 - 3	夏季休業中	集中	八畑 謙介,大橋 一晴,廣田 充,千葉 智樹,澤村 京一,岡根 泉,前田 義昌,松﨑 仁美,菊池 彰,中野 賢太郎,白鳥 峻志	本講義では、分子細胞生物学、遺伝学、進化系統学、生態学、動物および植物生理学など生物学全般について基礎から解説し、生物学の知識を身につけ生命現象についての理解を深めることをめざす。	総合学域群生の移行における生物学序説の扱いは、EB00001 、EB00011、及び EB00021、いずれも同等である。この科目の単位は生物学類の卒業要件とならない。 9/24-9/30 オンライン(オンデマンド型) 履修生の上限を250名とし、上限を超えた場合には、抽選を行う。
EB00003	生物学実験	3	1.0	2	春C	木3-6	中野 賢太郎,大橋 一晴,横井 智之,小林 達彦,熊野 匠人	生物学の各分野から代表的な観察・実験の項目を選んで実施し,生命現象の基本について理解させる。	人数制限あり。教職課程(理科)履修者優先。履修希望者は6/10までに履修登録すること。学研災に加入していること。 対面 EC12173,EC12623,EE11643,FB00143,FCA1923,FE00143,FF00633修得者の履修は認めない。
EB00021	生物学序説	1	1.0	1 - 3	春A	NT5,6	八畑 謙介,大橋 一晴,廣田 充,千葉 智樹,澤村 京一,岡根 泉,前田 義昌,松﨑 仁美,菊池 彰,中野 賢太郎,白鳥 峻志	本講義では、分子細胞生物学、遺伝学、進化系統学、生態学、動物および植物生理学など生物学全般について基礎から解説し、生物学の知識を身につけ生命現象についての理解を深めることをめざす。	総合学域群生の移行における生物学序説の扱いは、EB00001 、EB00011、及び EB00021、いずれも同等である。この科目の単位は生物学類の卒業要件とならない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
EB09113	生物学セミナーI: 雪国の冬の動物ガイド	3	1.0	1・2	春季休業中	集中	八畑 謙介,佐藤 幸恵,藤田 麻里,竹中 將起	アニマルトラッキング,バードウォッチングや越冬節足動物の観察などを通して,典型的な中部山岳地帯の積雪期における動物を中心とした生物の生き様に触れ,生物に対する実物に即した認識を深める。A five-day residential course held at the Sugadaira Research Station. The aim of this course, through animal tracking, bird watching, collecting insects, is to provide genuine experience of the qualities of nature and wild animals in snowy areas.	英語で授業。 2/22-2/26 学研災に加入していること。 対面 EB09103修得者の履修は認めない。
EB09213	生物学セミナーII: 海岸動植物の観察	3	1.0	1・2	春季休業中	集中	谷口 俊介,中野 裕昭	フィールドに出て海岸動物の採集と観察を行う。主に潮間帯の砂浜や磯において採集や計測を行い,実験室で生物の形態や行動の観察を行う。海岸の生物多様性と生物間の相互関係について学ぶことを目的とする。In this course at Shimoda Marine Research Center, students will survey marine animals on a rocky reef, and conduct field collections of planktonic and benthic animals. This will be followed by lectures and laboratory observations, providing a deeper understanding of marine life.	英語で授業。 3/8-3/12 学研災に加入していること。 対面 EB09203修得者の履修は認めない。
EB09910	インターンシップI	0	1.0	1 - 4	通年	応談	生物学類長	知識基盤社会を牽引する人材として、日本の理系学生にはコミュニケーション能力やリーダーシップカの向上が求められている。これらの力はグローバルに活躍する人材にとっても不可欠である。コミュニケーション能力やリーダーシップカは座学のみでは身につかず、実際に自ら活動することが必要である。主として、サイエンスコミュニケーション活動などを認定対象とする。事前にインターンシップ実施計画書を提出し履修認定を受けること。	生物学類生の認定者に限る。 対面(オンライン併用型) 生物学類生は基礎科目として履修できる。 成績評価は合格・不合格による。 履修登録は事務で行う。 インターンシップ科目認定者が受講する場合に限り開講する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EB09920	インターンシップII	0	1.0	1 - 4	通年	応談	生物学類長	知識基盤社会を牽引する人材として、日本の理系学生にはコミュニケーション能力やリーダーシップカの向上が求められている。これらの力はグローバルに活躍する人材にとっても不可欠である。コミュニケーション能力やリーダーシップカは座学のみでは身につかず、実際に自ら活動することが必要である。主として、自然保護団体のボランティア、企業や役所のインターンシップなどを認定対象とする。事前にインターンシップ実施計画書を提出し履修認定を受けること。	生物学類生の認定者に限る。 対面(オンライン併用型) 生物学類生は基礎科目として履修できる。 成績評価は合格・不合格による。 履修登録は事務で行う。 インターンシップ科目認定者が受講する場合に限り開講する。
EB09930	インターンシップIII	0	1.0	1 - 4	通年	応談	生物学類長	知識基盤社会を牽引する人材として、日本の理系学生にはコミュニケーション能力やリーダーシップカの向上が求められている。これらの力はグローバルに活躍する人材にとっても不可欠である。コミュニケーション能力やリーダーシップカは座学のみでは身につかず、実際に自ら活動することが必要である。主として、海外高等教育機関における研修などを認定対象とする。事前にインターンシップ実施計画書を提出し履修認定を受けること。	生物学類生の認定者に限る。 対面(オンライン併用型) 生物学類生は基礎科目として履修できる。 成績評価は合格・不合格による。 履修登録は事務で行う。 インターンシップ科目認定者が受講する場合に限り開講する。
EB10013	基礎生物学実験I	3	1.0	1	春AB	金4-6	横井 智之,守野 孔明,櫻井 啓輔,石川 香,小口 太一,中山 剛,廣田 充,鈴木 石根,蓑田 歩,千葉 親文,カスコロブレス マルティン ミゲル,野﨑 翔平,島田 裕子,岡本 直樹,佐奈喜 祐哉,上山 拓己,鶴田 文憲,千葉 智樹,桑山 秀一,澤村 京一,伊藤 希,岡根 泉,谷本 啓司,松﨑 仁美,出川 洋介,大森 裕子,平川 泰久,臼井 健郎,増本 翔太,白鳥 峻志,稲垣 祐司,中山 卓郎,藤田 麻里,賴本 隼汰,濱 祐太郎,春本 敏之,向山 海凪,志賀 翔太,鈴木 重勝,鈴木 大地	生命現象を自然科学的に観察する能力と実験科学上の基礎技術を養成することを目標とする。主として生体の基本形態と動的機能を観察や,生体の構造と構成分子の特徴を知るための基礎的実験を行う。	生物学類生に限る。 学研災に加入していること。 対面 原則的にEB10023とセットで受講すること。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EB10023	基礎生物学実験II	3	1.0	1	秋AB	金4-6	横井 智之,守野 孔明,櫻井 啓輔,石川 香,小口 太一,中山 剛,廣田 充,鈴木 石根,蓑田 歩,千葉 親文,カスコロブレス マルティン ミゲル,野﨑 翔平,島田 裕子,岡本 直樹,佐奈喜 祐哉,上山 拓己,鶴田 文憲,千葉 智樹,桑山 秀一,澤村 京一,伊藤 希,岡根 泉,谷本 啓司,松﨑 仁美,出川 洋介,大森 裕子,平川 泰久,臼井 健郎,増本 翔太,白鳥 峻志,稲垣 祐司,中山 卓郎,藤田 麻里,賴本 隼汰,志賀 翔太,濱 祐太郎,鈴木 大地	生命現象を自然科学的に観察する能力と実験科学上の基礎技術を養成することを目標とする。主として生体の基本形態と動的機能を観察や,生体の構造と構成分子の特徴を知るための基礎的実験を行う。	生物学類生に限る。 学研災に加入していること。 対面 原則的にEB10013とセットで受講すること。
EB10033	基礎生物学実験III	3	1.0	1	秋C	火・金4-6	横井 智之,櫻井 啓輔,守野 孔明,石川 香,小口 太一,中山 剛,廣田 充,鈴木 石根,蓑田 歩,千葉 親文,カスコロブレス マルティン ミゲル,野﨑 翔平,島田 裕子,岡本 直樹,佐奈喜 祐哉,上山 拓己,鶴田 文憲,千葉 智樹,桑山 秀一,澤村 京一,伊藤 希,岡根 泉,谷本 啓司,松﨑 仁美,出川 洋介,大森 裕子,平川 泰久,臼井 健郎,増本 翔太,白鳥 峻志,稲垣 祐司,中山 卓郎,藤田 麻里,賴本 隼汰,志賀 翔太,濱 祐太郎,鈴木 大地	生命現象を自然科学的に観察する能力と実験科学上の基礎技術を養成することを目標とする。主として生体の基本形態と動的機能を観察や,生体の構造と構成分子の特徴を知るための基礎的実験を行う。	生物学類生に限る。英語対応あり。 学研災に加入していること。 対面
EB10063	基礎生物学実験I	3	1.0	1	春C夏季休業中	集中	蓑田 歩,櫻井 啓輔,中山 剛,守野 孔明,大橋 一晴,横井 智之,アーヴィング ルイス ジョン,島田 裕子,岡本 直樹,中野 賢太郎,澤村 京一,稲垣 祐司,中山 卓郎,ヘンパサトポン コビット,春本 敏之,佐奈喜 祐哉	生命現象を自然科学的に観察する能力と実験科学上の基礎技術を養成することを目標とする。主として生体の基本形態と動的機能を観察や,生体の構造と構成分子の特徴を知るための基礎的実験を行う。	生物対象 英語で授業。 7/13-7/15 学研災に加入していること。 対面 原則的にEB10073とセットで受講すること。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EB10073	基礎生物学実験II	3	1.0	1	春C夏季休業中	集中	蓑田 歩,櫻井 啓輔,中山 剛,守野 孔明,大橋 一晴,横井 智之,アーヴィング ルイスジョン,島田 裕子,岡本 直樹,中野 賢太郎,澤村 京一,稲垣 祐司,中山 卓郎,ヘンパサトポン コビット,春本 敏之,佐奈喜 祐哉	生命現象を自然科学的に観察する能力と実験科学上の基礎技術を養成することを目標とする。主として生体の基本形態と動的機能を観察や,生体の構造と構成分子の特徴を知るための基礎的実験を行う。	生物対象 英語で授業。 7/16, 7/17, 7/21, 7/22, 7/24 学研災に加入していること。 対面 原則的にEB10063とセットで受講すること。
EB10672	クラスセミナー	2	1.0	1	秋AB	水3	横井 智之,白鳥 峻志,熊野 匠人,鈴木 大地,中野 賢太郎,菊池 彰,アーヴィング ルイス ジョン	生物学の諸分野のトピックスを題材に、グループ討論を通じて考え、考えをまとめる能力を育成する。	生物対象 CDP 成績評価は合格・不合格による。 対面
EB11131	系統分類・進化学概論	1	1.0	1	秋A	火1,2	石田 健一郎,中野 裕昭,中山 剛,出川 洋介,八畑 謙介,豊福 雅典,澤村 京一	生物学の基礎である生物の系統分類と進化について、教科書に沿って概説する。生物の多様性を生み出した進化の機構、および生物界全体の分類体系を、その基礎となる系統樹や地球環境の変遷等と関連付けながら概説する。また、進化学・分類学の歴史や生物分類に関する国際的なルールについても学ぶ。	専門導入科目(事前登録対象) 対面 英語の教科書使用
EB11151	系統分類・進化学概論	1	1.0	1	秋C	火・水2	石田 健一郎,中野 裕昭,中山 剛,出川 洋介,八畑 謙介,豊福 雅典,澤村 京一	Outlines the phylogeny and evolution of living organisms, which are the basis of biology, along with textbooks. This lecture deals with the evolutionary mechanisms that created biological diversity, and the taxonomy of the entire biological world, in relation to the underlying phylogenetic tree and changes in the global environment. You will also learn about the history of evolutionary science and taxonomy and the international rules on taxonomy.	This lecture is planned as face-to-face, but it may be changed to online depending on the situation. See Syllabus or recent information from manaba for detail. 英語で授業。 対面
EB11221	分子細胞生物学概論	1	1.0	1	春B	木5,6	三浦 謙治,中田 和人,中野 賢太郎,稲葉 一男,千葉 智樹,野﨑 翔平,鶴田 文憲,石川 香,平川 泰久	分子細胞生物学領域に立脚した生命現象の基礎を複数教員のオムニバス形式の講義によって理解させる。特に、真核細胞(植物細胞と動物細胞)の構造と機能、細胞膜の構造と機能、細胞の運動と代謝、エネルギー産生、細胞内情報伝達、細胞分裂のメカニクス、細胞周期とその制御などを取り上げ、総合討論も実施する。	対面(オンライン併用型) 専門導入科目(事前登録対象) 英語の教科書使用
EB11251	分子細胞生物学概論	1	1.0	1	秋AB	火2	三浦 謙治,中田 和人,中野 賢太郎,千葉 智樹,野﨑 翔平,鶴田 文憲,石川 香,平川 泰久,稲葉 一男	分子細胞生物学領域に立脚した生命現象の基礎を複数教員のオムニバス形式の講義によって理解させる。特に、真核細胞(植物細胞と動物細胞)の構造と機能、細胞膜の構造と機能、細胞の運動と代謝、エネルギー産生、細胞内情報伝達、細胞分裂のメカニクス、細胞周期とその制御などを取り上げ、総合討論も実施する。	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 英語で授業。 対面 EG02111修得者の履修を認めない。
EB11311	遺伝学概論	1	1.0	1	春C	火5,6	澤村 京一,中村 幸治,小林 達彦,桑山 秀一,稲垣 祐司	親の性質を子が受けつぐ「遺伝」の現象はどのような仕組みか。また、どのような生体分子がそれを担っているのであろうか。この授業では生殖・減数分裂・染色体などの基本的事項、古典的なメンデル遺伝学から、遺伝情報の複製、発現および発現調節の分子機構、ゲノムテクノロジー、さらにはゲノムの進化について、キャンベルの教科書に沿って概説する。	専門導入科目(事前登録対象) 対面 英語の教科書使用
EB11351	遺伝学概論	1	1.0	1・2	秋C	月1,2	澤村 京一,谷本 啓司,小林 達彦,桑山 秀一,稲垣 祐司	親の性質を子が受けつぐ「遺伝」の現象はどのような仕組みか。また、どのような生体分子がそれを担っているのであろうか。この授業では生殖・減数分裂・染色体などの基本的事項、古典的なメンデル遺伝学から、遺伝情報の複製、発現および発現調節の分子機構、ゲノムテクノロジー、さらにはゲノムの進化について、キャンベルの教科書に沿って概説する。	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 This lecture is planned as face-to-face, but it may be changed to online depending on the situation. 英語で授業。 対面(オンライン併用型) 英語の教科書使用

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EB11611	生態学概論	1	1.0	1	秋A	木3,4	廣田 充,徳永 幸彦,横井 智之,大森 裕子	英文の教科書を用いて、生態学全般にわたる基礎知識を解説する。	専門導入科目(事前登録対象) 対面 英語の教科書使用
EB11651	生態学概論	1	1.0	1	秋AB	水5	廣田 充,徳永 幸彦,大橋 一晴,横井 智之,佐藤 幸恵,増本 翔太,ハーベイ ベンジャミン ポール	英文の教科書を用いて、生態学全般にわたる基礎知識を解説する。	This lecture is planned as online. See Syllabus or recent information from manaba for detail. 英語で授業。 オンライン(対面併用型) オンライン(同時双方向型)
EB11721	動物生理学概論	1	1.0	1	秋B	火1,2	櫻井 啓輔,谷口 俊介,志賀 翔太,千葉 親文	動物は地球上の様々な環境にうまく適応して生きている。それは時に私たちの常識をはるかに超えている。本講義では、動物が様々な環境で直面する困難をどのように克服し生命活動を維持しているのかを学ぶ。初めに、食物、体温調節、呼吸、循環、浸透調節、排出に関わる問題に着目し、動物がこれらの問題を解決するために進化させた様々な仕組みの基本原理と多様性について学ぶ。次に、動物の行動を協調的に制御する内分泌系と神経系について学ぶ。さらに、生命活動を次世代につなぐ仕組み(生殖・発生)や防御する仕組み(免疫系)にも踏み込む。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(同時双方向型) 英語の教科書使用
EB11751	動物生理学概論	1	1.0	1・2	春AB	水3	櫻井 啓輔,フォークト カスパー,カスコロブレス マルティン ミゲル	Animals are living on Earth by adapting themselves to various environmental conditions well. It sometimes goes far beyond our common sense. In this course, we learn how living animals overcome difficulties which they encounter in changing environment and how they keep their activity and metabolism to survive in such environment. At first, focusing on issues concerning foods, body temperature, respiration, circulation, osmoregulation and excretion, we learn basic principles and diversity of mechanisms which animals evolved to solve these issues. Next, we learn the endocrine system and the nervous system both of which coordinately regulate animal behavior. We further go onto the mechanisms underlying alternation of generations (reproduction and development) and a defense mechanism (immune system) in animals.	See Syllabus or recent information from manaba for detail. 英語で授業。 対面
EB11811	植物生理学概論	1	1.0	1	秋B	木3,4	小口 太一,三浦 謙治,菊池 彰,壽崎 拓哉,鈴木 石根,野崎 翔平	様々な外部刺激により多様な生理反応を引き起こす植物について,主要な生理反応とその制御因子を中心に,植物生理学の基礎的事項を解説する。	対面(オンライン併用型) 専門導入科目(事前登録対象) 英語の教科書使用
EB11851	植物生理学概論	1	1.0	1・2	春AB	木4	小口 太一,小野 道之,菊池 彰,壽崎 拓哉,鈴木 石根,三浦 謙治,渡邉 和男,岩井 宏暁	This lecture describes the fundamentals of plant physiology, focusing on major physiological responses and their controling factors in plants that cause various physiological responses by various environmental stimulus.	This lecture is planned as face-to-face, but it may be changed to online depending on the situation. See Syllabus or recent information from manaba for detail. 英語で授業。 対面
EB12012	専門語学(英語)AI	2	1.0	2	春AB	水4	廣田 充,櫻井 啓輔,臼井 健郎,前田 義昌	This course encourages students to take a more active and assertive approach to their studies and provides an opportunity to develop practical skills in information searching and oral presentation.	生物対象英語で授業。 英語で授業。 対面
EB12122	専門語学(英語)AII	2	1.0	2	秋AB	水4	八畑 謙介,守野 孔明,石川 香,澤村 京一,アーヴィング ルイス ジョン,壽崎 拓哉,増本 翔太	生物学のエポックメイキングな論文をを丁寧に通読し、クリティカルシンキングやクリティカルリーディングの基礎を学ぶ。将来,専門分野の論文・文献を読む際,大きな抵抗を感ぜずに取り組むことができるよう養成する。	生物対象 チューター制 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EB12512	専門語学(英語)AI	2	1.0	2	通年	応談	生物学類長	This course encourages students to take a more active and assertive approach to their studies and provides an opportunity to develop practical skills in information searching and oral presentation.	生物対象 英語で授業。 対面(オンライン併用型) 留学等特別な事情があると認められた者が受講する場合に限り開講する。 履修登録は事務で行う。
EB12522	専門語学(英語)AII	2	1.0	2	通年	応談	生物学類長	生物学のエポックメイキングな論文をを丁寧に通読し、クリティカルシンキングやクリティカルリーディングの基礎を学ぶ。将来,専門分野の論文・文献を読む際,大きな抵抗を感ぜずに取り組むことができるよう養成する。	生物対象 対面(オンライン併用型) 留学等特別な事情があると認められた者が受講する場合に限り開講する。 履修登録は事務で行う。
EB13012	専門語学(英語)BI	2	1.0	3	春AB	水4	生物学類長	生物学に関する外国語の論文・文献などを将来十分に読みこなせるようにするための基本的な力を養う。そのために生物学各分野の論文・文献を教材にして、クリティカルシンキングやクリティカルリーディングを練習し、また、必要と考えられる基礎的な生物学専門用語や表現方法などをチューター制で詳しく学習する。	生物対象 チューター制 対面(オンライン併用型) 英語対応可(要相談)
EB13022	専門語学(英語)BII	2	1.0	3	秋AB	水4	生物学類長	生物学に関する外国語の論文・文献などを将来十分に読みこなせるようにするための基本的な力を養う。そのために生物学各分野の論文・文献を教材にして、クリティカルシンキングやクリティカルリーディング、プレゼンテーションの能力を強化し、また、必要と考えられる基礎的な生物学専門用語や表現方法などをチューター制で詳しく学習する。	生物対象 チューター制 対面(オンライン併用型)
EB13032	専門語学(英語)BIII	2	1.0	3	秋C 春季休業中	応談	生物学類長	生物学演習の指導教員のもとで、生物学各専門分野の論文・文献をまとまった本数熟読し、クリティカルシンキングやクリティカルリーディングの力を養い、また、各専門分野の生物学専門用語や表現方法などをチューター制で詳しく学習する。	生物対象 チューター制 対面(オンライン併用型) 履修登録は事務で行う。
EB13114	科学コミュニケーションI	4	1.0	2	秋C	月4,5	和田 洋	To communicate science effectively it is important to have a clear understanding, in broad fundamental terms, of what science actually is, and how it is conducted. In this course we will confirm our own understanding of science, its strengths, and its limitations. We will then look at how science is presented to the general public, specifically how it is portrayed in the news and in other fictional media, and consider how this may affect public understanding and attitudes toward science. Students will be encouraged to develop their own ideas and opinions toward these complex topics.	生物対象(for Students in Biology.) 履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 英語で授業。 対面
EB13124	科学コミュニケーションII	4	1.0	3	春AB	水6	和田 洋	This course will explore informal learning environments and their importance for science communication. We will discuss the merits and pitfalls of some new media formats for communicators and researchers to share their science.	生物対象 履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 英語で授業。 対面
EB13214	科学コミュニケーションI	4	1.0	2	秋AB	水5	和田 洋	To communicate science effectively it is important to have a clear understanding, in broad fundamental terms, of what science actually is, and how it is conducted. In this course we will confirm our own understanding of science, its strengths, and its limitations. We will then look at how science is presented to the general public, specifically how it is portrayed in the news and in other fictional media, and consider how this may affect public understanding and attitudes toward science. Students will be encouraged to develop their own ideas and opinions toward these complex topics.	生物対象 履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EB13224	科学コミュニケーションII	4	1.0	3	春AB	水5	和田 洋	This course will explore informal learning environments and their importance for science communication. We will discuss the merits and pitfalls of some new media formats for communicators and researchers to share their science.	生物対象 履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 対面(オンライン併用型)
EB13612	専門語学(英語)BI	2	1.0	3	通年	応談	生物学類長	生物学に関する外国語の論文・文献などを将来十分に読みこなせるようにするための基本的な力を養う。そのために生物学各分野の論文・文献を教材にして、クリティカルシンキングやクリティカルリーディングを練習し、また、必要と考えられる基礎的な生物学専門用語や表現方法などをチューター制で詳しく学習する。	生物対象 対面(オンライン併用型) 留学等特別な事情があると認められた者が受講する場合に限り開講する。 履修登録は事務で行う。
EB13622	専門語学(英語)BII	2	1.0	3	通年	応談	生物学類長	生物学に関する外国語の論文・文献などを将来十分に読みこなせるようにするための基本的な力を養う。そのために生物学各分野の論文・文献を教材にして、クリティカルシンキングやクリティカルリーディング、プレゼンテーションの能力を強化し、また、必要と考えられる基礎的な生物学専門用語や表現方法などをチューター制で詳しく学習する。	生物対象 対面(オンライン併用型) 留学等特別な事情があると認められた者が受講する場合に限り開講する。 履修登録は事務で行う。
EB13632	専門語学(英語)BIII	2	1.0	3	通年	応談	生物学類長	生物学演習の指導教員のもとで、生物学各専門分野の論文・文献をまとまった本数熟読し、クリティカルシンキングやクリティカルリーディングの力を養い、また、各専門分野の生物学専門用語や表現方法などをチューター制で詳しく学習する。	生物対象 対面(オンライン併用型) 留学等特別な事情があると認められた者が受講する場合に限り開講する。 履修登録は事務で行う。
EB13724	科学コミュニケーションI	4	1.0	2	通年	応談	生物学類長	To communicate science effectively it is important to have a clear understanding, in broad fundamental terms, of what science actually is, and how it is conducted. In this course we will confirm our own understanding of science, its strengths, and its limitations. We will then look at how science is presented to the general public, specifically how it is portrayed in the news and in other fictional media, and consider how this may affect public understanding and attitudes toward science. Students will be encouraged to develop their own ideas and opinions toward these complex topics.	生物対象 留学等特別な事情があると認められた者が受講する場合に限り開講する。 履修登録は事務で行う。 対面
EB13734	科学コミュニケーションII	4	1.0	3	通年	応談	生物学類長	This course will explore informal learning environments and their importance for science communication. We will discuss the merits and pitfalls of some new media formats for communicators and researchers to share their science.	生物対象 留学等特別な事情があると認められた者が受講する場合に限り開講する。 履修登録は事務で行う。 対面
EB13892	生物学演習	2	1.0	3	秋C 春季休業中	応談	生物学類長	自主的な文献研究を中心として,専門分野に関するデータの収集・分析法,研究計画のたて方,研究法等について個人で学習し,専門分野における問題解決力を修得する。レポート提出が義務づけられている。	生物対象 対面(オンライン併用型) 履修登録は事務で行う。
EB13972	生物学演習	2	1.0	3	通年	応談	生物学類長	自主的な文献研究を中心として,専門分野に関するデータの収集・分析法,研究計画のたて方,研究法等について個人で学習し,専門分野における問題解決力を修得する。レポート提出が義務づけられている。	生物対象 対面(オンライン併用型) 留学等特別な事情があると認められた者が受講する場合に限り開講する。 履修登録は事務で行う。
EB14012	専門語学(英語)DI	2	1.0	4	春AB	応談	生物学類長	卒業研究の指導教員のもとで,専門にかかわる外国語の論文などの読解力を養い,内容について討議し,あわせて外国語による表現力の養成を図る。	生物対象 対面(オンライン併用型) 履修登録は事務で行う。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EB14022	専門語学(英語)DII	2	1.0	4	春C秋A	応談	生物学類長	卒業研究の指導教員のもとで,専門にかかわる外国語の論文などの読解力を養い,内容について討議し,あわせて外国語による表現力の養成を図る。	生物対象 対面(オンライン併用型) 履修登録は事務で行う。
EB14032	専門語学(英語)DIII	2	1.0	4	秋BC	応談	生物学類長	卒業研究の指導教員のもとで,専門にかかわる外国語の論文などの読解力を養い,内容について討議し,あわせて外国語による表現力の養成を図る。	生物対象 対面(オンライン併用型) 履修登録は事務で行う。
EB14812	専門語学(英語)DI	2	1.0	4	通年	応談	生物学類長	卒業研究の指導教員のもとで,専門にかかわる外国語の論文などの読解力を養い,内容について討議し,あわせて外国語による表現力の養成を図る。	生物対象 対面(オンライン併用型) 留学等特別な事情があると認められた者が受講する場合に限り開講する。 履修登録は事務で行う。
EB14822	専門語学(英語)DII	2	1.0	4	通年	応談	生物学類長	卒業研究の指導教員のもとで,専門にかかわる外国語の論文などの読解力を養い,内容について討議し,あわせて外国語による表現力の養成を図る。	生物対象 対面(オンライン併用型) 留学等特別な事情があると認められた者が受講する場合に限り開講する。 履修登録は事務で行う。
EB14832	専門語学(英語)DIII	2	1.0	4	通年	応談	生物学類長	卒業研究の指導教員のもとで,専門にかかわる外国語の論文などの読解力を養い,内容について討議し,あわせて外国語による表現力の養成を図る。	生物対象 対面(オンライン併用型) 留学等特別な事情があると認められた者が受講する場合に限り開講する。 履修登録は事務で行う。
EB14907	生物学研究法	7	6.0	4	通年	応談	生物学類長	各人の研究課題に応じて、生物学的解析などに基づきデータを取得する方法や、得られたデータを解析する方法について解説する。学生は、実際の実験と観察の過程で得られた結果から結論を得て問題点を明らかにした過程について報告する。報告内容に関して学生と教員が討議し、結論の妥当性や問題点について吟味し、今後の方策を検討する。本科目の履修を通じて、卒業研究を遂行するための基礎的な研究能力を修得する。	留学等特別な事情があると認められた者が受講する場合に限り開講する。 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 英語対応可(要相談) 対面
EB14908	卒業研究	8	6.0	4	通年	応談	生物学類長	指導教員の指導のもとに,テーマを設定して研究を進めることを通して,自ら問題を解決する能力を修得させる。	生物対象 留学等特別な事情があると認められた者が受講する場合に限り開講する。 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 英語対応可(要相談) 対面
EB14912	論文作成・プレゼンテーション	2	1.0	4	春ABC	応談	生物学類長,原田 隆平,岡根 泉,松崎 仁美	卒業研究レポートの作成準備と作成支援、卒業研究発表会における成果発表の準備・発表を行う。	対面(オンライン併用型) 履修登録は事務で行う。 英語対応可(要相談)
EB14917	生物学研究法S	7	3.0	4	春ABC	随時	生物学類長	各人の研究課題に応じて、生物学的解析などに基づきデータを取得する方法や、得られたデータを解析する方法について解説する。学生は、実際の実験と観察の過程で得られた結果から結論を得て問題点を明らかにした過程について報告する。報告内容に関して学生と教員が討議し、結論の妥当性や問題点について吟味し、今後の方策を検討する。本科目と生物学研究法Fの履修を通じて、卒業研究を遂行するための基礎的な研究能力を修得する。	学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 英語対応可(要相談) 対面 生物学研究法Fとセットで履修すること。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EB14918	卒業研究S	8	3.0	4	春ABC	随時	生物学類教員	指導教員の指導のもとに、テーマを設定して研究を進めることを通して、自ら問題を解決する基礎的な能力を修得させる。	学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 英語対応可(要相談) 対面 卒業研究Fとセットで履修すること。
EB14922	論文作成・プレゼンテーション	2	1.0	4	秋学期	応談	生物学類長,原田 隆平,岡根 泉,松﨑 仁美	卒業研究レポートの作成準備と作成支援、卒業研究発表会における成果発表の準備・発表を行う。	対面(オンライン併用型) 履修登録は事務で行う。 英語対応可(要相談)
EB14927	生物学研究法F	7	3.0	4	秋ABC	随時	生物学類長	各人の研究課題に応じて、生物学的解析などに基づきデータを取得する方法や、得られたデータを解析する方法について解説する。学生は、実際の実験と観察の過程で得られた結果から結論を得て問題点を明らかにした過程について報告する。報告内容に関して学生と教員が討議し、結論の妥当性や問題点について吟味し、今後の方策を検討する。本科目と生物学研究法Sの履修を通じて、卒業研究を遂行するための基礎的な研究能力を修得する。	学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 英語対応可(要相談) 対面 生物学研究法Sとセットで履修すること。
EB14928	卒業研究F	8	3.0	4	秋ABC	随時	生物学類教員	指導教員の指導のもとに,テーマを設定して研究を進めることを通して,自ら問題を解決する能力を修得させる。	学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 英語対応可(要相談) 対面 卒業研究Sとセットで履修すること。
EB15124	理論生物学の基礎II	4	1.0	2 - 4	春C	木1,2	徳永 幸彦	生物現象の背後にある理論を理解する上で必要となる基礎を解説する。特に、生物現象を記述したりモデル化するための、現代数学の技術を紹介する。	生物学類生に限る。20名程度を上限とし、履修の可否を試験等で(事前)判定することがある。 実施様態の詳細など、履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 情報コース オンライン(同時双方向型)
EB15134	理論生物学の基礎III	4	1.0	2 - 4	秋C	木4,5	伊藤 希	生物現象の背後にある理論の習得に必要な、形式論理学ならびに集合論について概説する。CC-BY-ND 4.0	生物学類生に限る。20名程度を上限とし、履修の可否を試験等で(事前)判定することがある。 当該年度末に卒業を予定している者の履修は原則として認めない. 履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認のこと。 情報コース 対面 指定された課題を事前にこなしていることを前提に,討論を中心としたいわゆる反転授業として実施する.
EB15144	Practical Statistics in Biology	4	1.0	2・3	秋C	応談	アーヴィング ルイス ジョン	このコースでは、英語でRソフトウェア環境で様々な統計手法を実装する方法を学びます。 このコースはEG02031と合わせて受講するのが最適です	英語で授業。 GloBEコース
EB15321	有機化学I	1	1.0	1	春AB	月3	臼井 健郎	生物学や生物化学を理解するために必要な基礎的な有機化学を修得させる。ここでは有機化学の基礎である炭素と炭化水素化合物の特性から始め、アルコール、フェノール、エーテルまでを講義する。	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 対面
EB15331	有機化学II	1	1.0	1	秋AB	金3	田中 俊之	生物学や生物化学を理解するために必要な基礎的な有機化学を修得させる。ここでは、カルボニル化合物を中心に、アルデヒドとケトン、カルボン酸とその誘導体及びアミンについて講義する。	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EB16073	水圏生物学実習	3	1.0	2	春季休業中	集中	谷口 俊介,中野 裕昭	生命の“ふるさと”である海に生息する多様な動物植物の生活を,分類・形態・発生・生理・生態等多くの側面から観察,実験することを通して,生命現象に対する実物に即した認識を深める。 This course aims to understand biodiversity through the collection of coastal and planktonic marine organisms and observation of their body plan and development.	英語で授業。 3/8-3/12 事前の履修調整で許可を受けていること。 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 対面 EB16013, EG36013修得者の履修は認めない。
EB16093	陸域生物学実習	3	1.0	2・3	春季休業中	集中	八畑 謙介,佐藤 幸恵,藤田 麻里,竹中 將起	アニマルトラッキング、バードウォッチングや越冬節足動物の観察などを通して、典型的な中部山岳地帯の積雪期における動物を中心とした生物の生き様に触れ、生物に対する実物に即した認識を深める。 The aim of this course, through animal tracking, bird watching, collecting insects, is to provide genuine experience of the qualities of nature and wild animals in snowy areas.	英語で授業。 2/22-2/26 事前の履修調整で許可を受けていること。 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 対面 EB16053, EB16063,EG29103修得者の履修は認めない。 日本語対応可
EB16132	海棲動物分類学演習	2	1.0	2・3	春C	応談	八畑 謙介,中野 裕昭	動物界には膨大な多様性があり、そのほぼ全ての動物門の代表が海に産する。動物界の多様性および分類と系統進化の基礎知識を身につけるとともに、海棲動物の採集と観察の方法を学び技術を習得する。	事前の履修調整で許可を受けていること。 履修登録は事務で行う。 対面 EB16133と同時履修が必要。
EB16133	動物分類学臨海実習	3	1.0	2・3	春C	集中	八畑 謙介,中野 裕昭	動物界のほぼ全ての動物門の代表例は海に産する。下田臨海実験センターにおいて実際に多くの動物を採集・観察することにより、動物界の多様性と分類の基礎を学ぶとともに海棲動物の採集法と観察法を習得する。	7/13-7/17 事前の履修調整で許可を受けていること。 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 対面 EB16113修得者の履修は認めない。EB16132と同時履修が必要。
EB16172	陸棲動物分類学演習	2	1.0	2・3	春C	応談	八畑 謙介,佐藤 幸恵,藤田 麻里,竹中 將起	動物界の約3/4の種類数を占める膨大な種多様性を有する昆虫類を主な対象として、分類、系統、進化に関する基礎的知識を身につけるとともに、採集、標本作成、解剖、観察の基礎的な方法を学び、技術を修得する。	事前の履修調整で許可を受けていること。 履修登録は事務で行う。 対面 EB16173と同時履修が必要。
EB16173	動物分類学野外実習	3	1.0	2・3	春C	集中	八畑 謙介,佐藤 幸恵,藤田 麻里,竹中 將起	動物界の約3/4の種類数を占める膨大な種多様性を有する昆虫類を主な対象として、実際の活動を通して、分類、系統、進化に関する基礎的知識を身につけるとともに、採集、標本作成、解剖、観察の基礎的な方法を学び、技術を修得する。	7/27-8/1 事前の履修調整で許可を受けていること。 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 対面 EB16153修得者の履修は認めない。EB16172と同時履修が必要。
EB16232	海産植物分類学演習	2	1.0	2・3	春季休業中	応談	白鳥 峻志,中山 剛,石田 健一郎	海藻・植物プランクトンの標本作製,形態観察,解剖,同定の基礎的諸方法を習得する。多様な生活様式を示す海洋生物が如何に環境と関わり,適応しているかを学ぶ。	事前の履修調整で許可を受けていること。 履修登録は事務で行う。 対面 EB16233と同時履修が必要。
EB16233	植物分類学臨海実習	3	1.0	2・3	春季休業中	集中	中山 剛,白鳥 峻志,石田 健一郎	海藻・植物プランクトンの野外観察・採集を行い,標本作製,形態観察,解剖,同定の基礎的諸方法を習得する。多様な生活様式を示す海洋生物が如何に環境と関わり,適応しているかを学ぶ。	3/22-3/26 事前の履修調整で許可を受けていること。 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 対面 EB16213修得者の履修は認めない。EB16232と同時履修が必要。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EB16272	菌類分類学演習	2	1.0	3	夏季休業中	応談	出川 洋介,中山 剛	真菌類および偽菌類の系統分類の基礎を学ぶ。キノコ・地衣・粘菌などの大型菌類については野外採集、顕微鏡観察による分類同定技術を、カビ、コウボ、水生菌などの微小菌類については野外サンプリングと培養の技術についても修得する。	事前の履修調整で許可を受けていること。 履修登録は事務で行う。 英語対応可(要相談) 対面 EB16273と同時履修が必要。
EB16273	菌類分類学野外実習	3	1.0	3	夏季休業中	集中	出川 洋介,中山 剛	真菌類および偽菌類をフィールドで探索し、その膨大な多様性を体感するとともに、それらを体系的に理解するための系統分類の基礎を学ぶ。キノコ・地衣・粘菌などの大型菌類については野外採集、顕微鏡観察による分類同定技術を、カビ、コウボ、水生菌などの微小菌類については野外サンプリングと培養技術についても修得する。	9/14-9/18 事前の履修調整で許可を受けていること。 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 英語対応可(要相談) 対面 EB16263修得者の履修は認めない。EB16272と同時履修が必要。
EB16333	水圏生態学実習	3	1.0	2・3	夏季休業中	集中	大森 裕子,ハーベイ ベンジャミン ポール	沿岸海域の動植物を対象として海洋生態学の研究手法を学び、生物群集や生態系の成り立ちについて理解することを目的とする。岩礁潮間帯における生物群集の分布調査、行動解析、環境と生物群集の調査を通じて、生物間相互作用や環境-生物間相互作用を学ぶ。	8/24-8/28 事前の履修調整で許可を受けていること。 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 英語対応可(要相談) 対面 EB16313修得者の履修は認めない。
EB16372	陸域生態学演習	2	1.0	2・3	夏季休業中	応談	横井 智之,廣田 充,増本 翔太	陸域生態学実習で得られた植物や小動物(特に昆虫類)に関する結果を踏まえ、 生態学的な観点からの仮説検証型の研究手法を習得する。具体的には、グループごとの野外実習(陸域生態学実習)から得られた結果を基に、仮説の構築、調査、そして解析および考察を繰り返し行う。併せて、他の受講者や教員とともにディスカッションを行う事で、 データの解析法や研究に必要とされるロジックの組み立て方などを学ぶ。	陸域生態学実習(EB16373)後に日程調整し実施する。 事前の履修調整で許可を受けていること。 履修登録は事務で行う。 対面 EB16373と同時履修が必要。
EB16373	陸域生態学実習	3	1.0	2・3	夏季休業中	集中	横井 智之,廣田 充,増本 翔太	冷温帯の森林や草原等の実習地の観察後に、植物や小動物(特に昆虫類)および環境要因を対象とした調査計画の立案から実際の野外調査、およびデータ解析を実施しつつ、実習を通じて研究に必要なロジックの組み立て方を習得する.	長野県(偶数年)と茨城県(奇数年)で交互に実施する。 7/27-7/31 事前の履修調整で許可を受けていること。 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 対面 EB16353修得者の履修は認めない。EB16372と同時履修が必要。
EB16433	動物発生学臨海実習	3	1.0	3	春C	集中	笹倉 靖徳	発生学の基本的実習の材料として,海産種のホヤを中心にして、受精卵から幼生までの初期発生過程に重点を置いて実験・観察を行い、初期発生期に生じる卵割、細胞分化、形態形成についての理解を深める。また、発生のメカニズムを研究する手法について紹介する。(本実習で行う実験では、一部「遺伝子組み換え実験」を含む)	7/6-7/10 事前の履修調整で許可を受けていること。 遺伝子組換え実験を含む 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 英語対応可(要相談) 対面 EB16413修得者の履修は認めない。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EB16953	生物学公開臨海実習	3	1.0	2・3	春C	集中	下田臨海実験センター教員	伊豆半島は東岸に相模灘、西岸には駿河湾があり、そのいずれも海岸付近の浅海から急激に水深が深くなり、沿岸域で200メートルを超える深海に達する。このように近い距離にある2つの海域であるが、伊豆半島を挟んでいること、黒潮から受ける影響に差があることなどから、同じ水深域でも異なる生物が生息していることが明らかになっている。下田臨海実験センターは伊豆半島の先端近くにあり、センターの研究調査船「つくばII」により、伊豆半島の東岸と西岸、いずれも調査することが可能である。この実習では、下田臨海実験センターとつくばIIを利用し、相模灘と駿河湾、および浅海と深海という異なった海域の生態系・生物多様性の共通点・相違点を理解すること、そして、海産動物の採集法と観察法を習得することを目指す。	8/3-8/7 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 英語対応可(要相談) 対面 EB16973修得者の履修は認めない。
EB19017	生物寺子屋IA	7	1.0	2・3	通年	応談	生物学類長	生物学のトピックス、技法などについて、受講生が能動的に調査・探求することで、理解を深めていくチューター制で授業を行う。	生物対象 チューター制 対面(オンライン併用型) 履修登録は事務で行う。
EB19027	生物寺子屋IB	7	1.0	2・3	通年	応談	生物学類長	生物学のトピックス、技法などについて、受講生が能動的に調査・探求することで、理解を深めていくチューター制で授業を行う。	生物対象 チューター制 対面(オンライン併用型) 履修登録は事務で行う。 生物寺子屋IAを履修していること。
EB19037	生物寺子屋IC	7	1.0	2・3	通年	応談	生物学類長	生物学のトピックス、技法などについて、受講生が能動的に調査・探求することで、理解を深めていくチューター制で授業を行う。	生物対象 チューター制 対面(オンライン併用型) 履修登録は事務で行う。 生物寺子屋IBを履修していること。
EB19047	生物寺子屋ID	7	1.0	2・3	通年	応談	生物学類長	生物学のトピックス、技法などについて、受講生が能動的に調査・探求することで、理解を深めていくチューター制で授業を行う。	生物対象 チューター制 対面(オンライン併用型) 履修登録は事務で行う。 生物寺子屋ICを履修していること。
EB19116	研究室特別実習AI	6	1.0	1	通年	応談	生物学類長	学術論文の読み方や研究の進め方、実験技術を習うとともに、独自の研究テーマを持って自主的に研究を行う。 チューター制	研究マインド応援プログラム認定者に限る。 履修登録は事務で行う。 対面
EB19126	研究室特別実習AII	6	1.0	1	秋BC 春季休業中	応談	生物学類長	学術論文の読み方や研究の進め方、実験技術を習うとともに、独自の研究テーマを持って自主的に研究を行う。 チューター制	研究室特別実習AIを履修していること。 履修登録は事務で行う。 対面 認定者が受講する場合に限り開講する。
EB19136	研究室特別実習AIII	6	1.0	1	春季休業中	応談	生物学類長	学術論文の読み方や研究の進め方、実験技術を習うとともに、独自の研究テーマを持って自主的に研究を行う。 チューター制	研究室特別実習AIIを履修していること。 履修登録は事務で行う。 対面 認定者が受講する場合に限り開講する。
EB19216	研究室特別実習BI	6	1.0	2	通年	応談	生物学類長	学術論文の読み方や研究の進め方、実験技術を習うとともに、独自の研究テーマを持って自主的に研究を行う。 チューター制	研究マインド応援プログラム認定者に限る。 履修登録は事務で行う。 対面
EB19226	研究室特別実習BII	6	1.0	2	秋BC 春季休業中	応談	生物学類長	学術論文の読み方や研究の進め方、実験技術を習うとともに、独自の研究テーマを持って自主的に研究を行う。 チューター制	研究室特別実習BIを履修していること。 履修登録は事務で行う。 対面 認定者が受講する場合に限り開講する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EB19236	研究室特別実習BIII	6	1.0	2	春季休業中	応談	生物学類長	学術論文の読み方や研究の進め方、実験技術を習うとともに、独自の研究テーマを持って自主的に研究を行う。 チューター制	研究室特別実習BIIを履修していること。 履修登録は事務で行う。 対面 認定者が受講する場合に限り開講する。
EB19316	研究室特別実習CI	6	1.0	3	通年	応談	生物学類長	学術論文の読み方や研究の進め方、実験技術を習うとともに、独自の研究テーマを持って自主的に研究を行う。 チューター制	研究マインド応援プログラム認定者に限る。 履修登録は事務で行う。 対面
EB19326	研究室特別実習CII	6	1.0	3	秋BC 春季休業中	応談	生物学類長	学術論文の読み方や研究の進め方、実験技術を習うとともに、独自の研究テーマを持って自主的に研究を行う。 チューター制	研究室特別実習CIを履修していること。 履修登録は事務で行う。 対面 認定者が受講する場合に限り開講する。
EB19336	研究室特別実習CIII	6	1.0	3	春季休業中	応談	生物学類長	学術論文の読み方や研究の進め方、実験技術を習うとともに、独自の研究テーマを持って自主的に研究を行う。 チューター制	研究室特別実習CIIを履修していること。 履修登録は事務で行う。 対面 認定者が受講する場合に限り開講する。
EB50011	微生物学I	1	1.0	2・3	春AB	月2	豊福 雅典,徳納 吉秀	初めて微生物学に接する学生のための入門講座。微生物の形・生理と名前、構造や系統分類など、微生物学の基本的な内容について解説する。次に、微生物によるエネルギーの獲得および消費を詳説する。	実施様態の詳細など、履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 多様性コース 対面
EB50021	微生物学II	1	1.0	2・3	夏季休業中	集中	千葉 洋子	様々な微生物のゲノム比較研究の成果に基づき、微生物の系統進化およびエネルギー代謝の多様性と進化について概説する。そのもとで、個々の微生物の代謝的性質と生息環境との関連、微生物コンソーシアム、微生物と地球環境、真核生物の起源などのトピックスに焦点をあて、最新の知見を紹介する。	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 9/24,9/25 多様性コース 対面
EB50111	動物系統分類学I	1	1.0	2・3	春AB	水3	八畑 謙介	生物の中でも複雑な体制を発達させた動物。その動物界を構成する全ての動物門について多様な体制と生活史を概観し，進化の道すじを考察する。	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 対面(オンライン併用型) 多様性コース EB50511修得者の履修は認めない。
EB50121	動物系統分類学II	1	1.0	2・3	秋AB	水3	和田 洋,中野 裕昭,本多 正尚,守野 孔明	動物系統分類学Iで学んだ多細胞動物の体制について、より深く進化生物学的な視点から学んでいく。特に、多細胞体制の進化、左右相称動物の進化、脊索動物の起源、脊椎動物の起源、分類学の理論的な背景などを取り上げる。	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 対面(オンライン併用型) 多様性コース EB50131,EB50171修得者の履修は認めない。
EB50146	動物系統分類学実験I	6	2.0	2・3	春A	月・火4-6	八畑 謙介	身近な水生・陸生・寄生性の動物を実際に採集・観察することにより、それぞれの動物群の特徴と、それらの間の系統関係を学ぶ。	事前の履修調整で許可を受けていること。 多様性コース 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 対面 EB50143修得者の履修は認めない。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EB50156	動物系統分類学実験II	6	2.0	2・3	春B	月・火 4-6	守野 孔明,本多 正尚,鈴木 大地	棘皮動物(ウニ、ヒトデ、ナマコなど)、軟体動物(アサリ、ホタテガイ、サザエなど)、脊椎動物(ヤツメウナギ、ヌタウナギ、カメなど)を対象に、比較解剖を行い、共通したボディープランが、生活戦略に応じてどのように改変されてきたかを学ぶ。一部の動物については、発生過程の比較も行い、幼生の形態の進化についても理解を深める。また、分類学における統計の基礎についても学ぶ。 In this course you learn about comparative anatomy of echinoderms (sea urchin, starfish and sea cucumber), molluscs (bivalves, gastropods, and cephalopods), and vertebrates (lamprey, hagfish, turtles). You also observe embryogenesis for some species to learn evolution of larval forms. In addition, you learn basic statistics in taxonomy.	英語で授業。 事前の履修調整で許可を受けていること。 多様性コース 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 対面 EB50153, EG30153修得者の履修は認めない。
EB50171	動物系統分類学II	1	1.0	2・3	春AB	月3	和田 洋	多細胞動物の多様性を、進化生物学的な視点から科学的に理解する方法論を習得する。特に、多細胞体制の成立と起原、二胚葉動物、軟体動物、棘皮動物、脊索動物の体制の進化について、詳細に解説し、現生動物の比較から進化の歴史を再構築する方法について習得する。 Students will learn the methodology to understand the diversity of multicellular animals from the viewpoint of evolutionary biology. In particular, learn in detail the origin of the metazoans, the evolution of the diploblasts, mollusks, echinoderms, and chordates, and learn how to reconstruct the evolutionary history by comparing modern animals.	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 西暦偶数年度開講。 英語で授業。 多様性コース GloBEコース 対面 EB50121,EB50131修得者の履修は認めない。
EB50211	植物系統分類学I	1	1.0	2・3	春AB	金2	石田 健一郎	植物界を構成する多様な分類群を系統分類学的視点より各論的に詳説し,各分類群の認識を深める。原核藻類,紅色植物,黄色植物,過鞭毛植物,ハプト植物,ユーグレナ植物などを学ぶ。 Diversity, classification, morphology, ultrastructure, life history and phylogeny of non-green algae – glaucophytes, rhodophytes, cryptophytes, chlorarachniophytes, euglenophytes, dinoflagellates, haptophytes, and stramenopiles.	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 This lecture is planned as face-to-face, but it may be changed to online depending on the situation. See Syllabus or recent information from manaba for detail. 英語で授業。 多様性コース GloBEコース I・II・IIIを通年で履修することが望ましい。 対面 EG20211修得者の履修は認めない。
EB50221	植物系統分類学II	1	1.0	2・3	秋AB	金2	中山 剛	植物界を構成する多様な分類群を系統分類学的視点より各論的に詳説し,各分類群の認識を深める。緑藻類と陸上植物を中心に学ぶ。 Diversity, classification, morphology, ultrastructure, life history and phylogeny of green plants, including chlorophytes and land plants.	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 英語で授業。 多様性コース I・II・IIIを通年で履修することが望ましい。 対面 EG30221修得者の履修は認めない。
EB50231	植物系統分類学III	1	1.0	2・3	秋C	木1,2	出川 洋介	キノコ、カビ、コウボなど、真菌類(動物と姉妹群をなす単系統群としての菌界Kingdom Fungi)という生物について総論的に概説した後に、各々の門ごとに、全分類群の多様性と系統分類を各論的に紹介する。現存種数約10万種、推定総種数150万~500万ともいわれる真核微生物の一員である菌類が如何にしてこのように多様化したのか、映像資料も参照しながら体系的に理解を深める。	多様性コース I・II・IIIを通年で履修することが望ましい。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EB50246	植物系統分類学実験I	6	2.0	2・3	春A	木・金 4-6	中山 剛,石田 健一郎	陸上植物の多様性について,野外採集と標本作製,さまざまな器官の観察,光学・電子顕微鏡用試料の作成と観察などを通して理解し,その分類学的基礎を学ぶ。また形態形質の進化と系統推定との関わりについても学ぶ。	植物系統分類学Iの事前又は同時履修が必要。 事前の履修調整で許可を受けていること。 多様性コース 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 対面 EB50243修得者の履修は認めない。
EB50266	植物系統分類学実験II	6	2.0	2・3	春B	木・金 4-6	白鳥 峻志,中山 剛,石田 健一郎	藻類(陸上植物以外の光合成生物)を中心とした原生生物の生物学的・系統的多様性について,池沼での採集,培養株の作成,光学・電子顕微鏡用試料の作成と観察などを通して学ぶ。 Collecting, observing, identifying and culturing unicellular freshwater protists (algae and protozoa). Students will use light and electron microscopes and a few basic molecular techniques.	植物系統分類学Iの事前又は同時履修が必要。 英語で授業。 事前の履修調整で許可を受けていること。 多様性コース 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 対面 EB50263, EG30263修得者の履修は認めない。
EB51111	動物生態学I	1	1.0	2・3	春AB	火1	徳永 幸彦,佐藤 幸恵	伝統的な個体群動態論の基礎を簡単な数学モデルを用いて説明するとともに、生活史や生存戦略の実例を紹介し、生物の進化について、個体、個体群、群集など様々なレベルから解説する。	実施様態の詳細など、履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 多様性コース オンライン(同時双方向型)
EB51121	動物生態学II	1	1.0	2・3	秋AB	火1	横井 智之,藏滿 司夢	地球上には多くの生物が存在し、複雑な相互関係をもって生活している。さまざまな生物の生活史や行動習性を例に挙げて解説し、生物個体のふるまいから個体群や群集の構造と機能の基礎、生物保全のためのアプローチまでを理解する。	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 多様性コース 対面 EB51131修得者の履修は認めない。
EB51211	植物生態学I	1	1.0	2・3	春AB	火3	廣田 充,大森 裕子,増本 翔太	海洋に生息する海藻（草）および植物プランクトンの生態について、特にそれらの物質代謝の特徴と海洋環境との関係を中心に理解深める。	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 多様性コース 対面 EB51021,EG31021修得者の履修は認めない。 偶数年は日本語開講、奇数年は英語開講
EB51221	植物生態学II	1	1.0	2・3	秋AB	水2	大橋 一晴,井上 智美,田中 法生	草や樹が子孫を残すために行っている実に様々な繁殖戦略を紹介した上で、それを理解する基本となる理論の概説、生態学に分子生物学的な手法を取り入れた分子生態学の最新成果の紹介、生物多様性保全問題についての解説を行う。また、花粉の運搬を担うポリネーターと植物の利害の不一致という観点から、動物の採餌行動をつかさどる原理やその認知生理学的基盤に関する知見をもとに、花がたどった進化をさぐる「花生態学」の最近の潮流を紹介する。	奇数年度は日本語、偶数年度は英語で開講。 実施様態の詳細など、履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 英語で授業。 多様性コース 対面 奇数年は日本語開講、偶数年は英語開講

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EB51363	高原生態学実習	3	1.0	2・3	夏季休業中	集中	大橋 一晴,横井 智之	氷期の日本列島には広大な草原が広がっていました。そこで生息していた動植物は、氷期が終 了した後は、自然撹乱や人間活動によって維持される「半自然草原」を主な逃避地として生き のびてきました。日本人に古くからなじみ深い秋の七草もそうです。現在、有史以来の草原減少 が急速に進んでいます。しかしながら、スキー場や牧場において草刈りや火入れがおこなわれて いる菅平高原には、豊かな草原と貴重な野生動植物が、未だに多く残っています。この草原での 調査や作業によって、太古から繰り広げられてきた訪花昆虫と植物の結びつきや、人間と草原と の結びつきについて探究するのが、本実習の主なねらいです。	8/24-8/28 事前の履修調整で許可を受けていること。 多様性コース 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 英語対応可(要相談) 対面 EB51353修得者の履修は認めない。
EB52011	進化遺伝学I	1	1.0	2・3	春AB	水2	澤村 京一	生物の進化を遺伝学的な視点に立って理解する。そのために必要な遺伝学の基礎知識を復習するとともに、集団遺伝・進化遺伝・量的遺伝の初歩を学ぶ。進化の原動力とも言える種分化に的を絞り、最新の話題を提供する。	詳細はシラバス、manabaを確認のこと 多様性コース 対面
EB52026	進化遺伝学実験	6	2.0	2・3	秋AB	木4-6	澤村 京一	ショウジョウバエの野生集団および突然変異体を用いて各種交配実験を行う。実験および演習を通して,進化的意味について遺伝学的な立場から考察する。	事前の履修調整で許可を受けていること。 多様性コース 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 対面 EB52023修得者の履修は認めない。
EB59062	モデル生物多様性演習	2	1.0	2・3	夏季休業中	応談	佐藤 幸恵,出川 洋介	現代生物学の多くの研究は、酵母や線虫、ハダニなどの「モデル生物」によって支えられている。本演習では、モデル生物に関する講義で習得した知識、モデル生物多様性実習で体験したモデル生物種やその近縁種の多様な実体、グループ討論をもとに、研究計画を立てることにより、興味深い生命現象を進化させてきた自然の生態系と、そこでの多様な生き物との関わりを理解することを目的とする。モデル生物に興味のある学生だけでなく、将来、生物学関係の教育に携わりたい学生も歓迎する。	事前の履修調整で許可を受けていること。 多様性コース 履修登録は事務で行う。 英語対応可(要相談) 対面 EB59063と同時履修が必要。
EB59063	モデル生物多様性実習	3	1.0	2・3	夏季休業中	集中	佐藤 幸恵,出川 洋介,神崎 菜摘	現代生物学の多くの研究は、酵母や線虫、ハダニなどの「モデル生物」によって支えられている。本実習では、野外に出かけてモデル生物種やその近縁種の多様な実体を体感することにより、興味深い生命現象を進化させてきた自然の生態系と、そこでの多様な生き物との関わりを理解することを目的とする。モデル生物に興味のある学生だけでなく、将来、生物学関係の教育に携わりたい学生も歓迎する。	8/24-8/28 事前の履修調整で許可を受けていること。 多様性コース 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 英語対応可(要相談) 対面 EB59053修得者の履修は認めない。EB59062と同時履修が必要。
EB59101	プロティストロジー(原生生物学)特講	1	1.0	2 - 4	秋C	金2,3	中山 剛,桑山 秀一,矢吹 彬憲,出川 洋介,白鳥 峻志	真核生物の細胞がもつ基本的な構造と機能の大部分は、プロティスト(原生生物)の進化の過程で獲得された。本講義では、進化において重要な位置にあるプロティストの多様性、細胞の構造と機能、進化、生態系での役割等を最新トピックを交えてわかりやすく解説し、プロティストについての知識を深め、プロティストの面白さと重要性の理解を目指す。 Topics in protistology. Cellular evolution, cell biology, sex and reproduction, phylogeny and ecology of protists will be the subjects of this lecture.	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。This lecture is planned as face-to-face, but it may be changed to online depending on the situation. See Syllabus or recent information from manaba for detail. 英語で授業。 多様性コース 対面 EG39101修得者の履修は認めない。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EB59131	脊椎動物進化学	1	1.0	2・3	秋AB	水2	鈴木 大地	脊椎動物の誕生から始まる多様な形態の進化の歴史を古生物学的な知見から概説する。とくに、地球環境の変動や陸上への進出など、環境に応じた体制の進化についての理解を深めることを目指す。 脊椎動物進化学:主に古生物学的な知見に基づいて進化の歴史を概説する 脊椎動物形態学:比較形態学の知見に発生学的な知見を交えて、主要な形態の特徴の進化を概説する	多様性コース 対面 EB59151修得者の履修は認めない。
EB59141	脊椎動物形態学	1	1.0	2・3	秋C	木4,5	鈴木 大地,矢野 十織,平沢 達矢	多様な脊椎動物の形態を比較して、その進化生物学的な背景を解説する。特に、脊椎動物の起源、硬骨魚類の鰭形態、陸上化に伴う形態進化、陸上脊椎動物の各系統の形態進化について、比較形態学的な視点から解説する。	西暦偶数年度は日本語で授業。西暦奇数年度は英語で授業。履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 多様性コース 対面
EB59151	Vertebrate Evolution	1	1.0	2 - 4	秋AB	月3	アーヴィング ルイス ジョン	This course looks at the major transitions during vertebrate evolution, particularly focussing on the transition between water and land, and the adaptations which facilitated that transition. The diversification of animal life on land, and the subsequent return of some groups to water will be studied. This course will have a strong evolutionary biology focus.	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 英語で授業。 多様性コース GloBEコース 対面 EB59131修得者の履修は認めない。
EB59161	節足動物学特講	1	1.0	2・3				生物で最も大きな種多様性をもつ節足動物。その節足動物門を構成する全分類群とそれらの多様な体制を概観し, 進化の道すじを考察する。	TWINS や manaba を介して公開される情報に注意していてください。 西暦奇数年度開講。 多様性コース 対面
EB59201	植物進化学特講	1	1.0	2・3	春C	集中	横山 潤	植物がどのように陸上に上がり、その後、どのような進化過程を経て、体制、形態、生活史において現在みられるような多様性を持つに至ったかを、比較形態学、分子系統学、進化発生学などの最新の研究成果をふまえて講義する。	西暦偶数年度開講。 7/16,7/17 多様性コース 対面
EB60014	プログラミングI	4	1.0	2・3	秋AB	木1	徳永 幸彦	生物現象を記述したりモデル化するための、基本となるプログラム技術を解説し、簡単な個体ベースモデルを構築するための技術を紹介する。 In this lecture, students learn programing techniques for manipulating a variety of data. They will also learn simulation techniques with individual-based models. The programming language used is Ruby.	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 英語で授業。 情報コース オンライン(同時双方向型) EG20014修得者の履修は認めない。
EB61011	生物物理学I	1	1.0	2・3	春AB	金3	伊藤 希	生命現象を支える分子集合状態の巧妙で温和な反応系の散逸緩和過程について,情報とエネルギーの流れの観点から検討する.	FCC3901と同一。 情報コース 対面 指定された課題を事前にこなしていることを前提に,討論を中心としたいわゆる反転授業として実施する.FC13801修得者の履修は認めない。内容的に生物物理学IIとは互いに独立であり,生物物理学IIのみを履修しても支障はない.
EB61021	生物物理学II	1	1.0	2・3	秋AB	水1	庄司 光男	生物物理学IIでは、生体機能を司るタンパク質や核酸、生体膜などの分子構造やその性質を理解するとともに、それらの生体機能を実験的に、あるいは理論的に解析する方法について学ぶ。	FCC3911と同一。 情報コース 対面 FC13811修得者の履修は認めない。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EB61083	生物物理学実験	3	1.0	2・3	秋AB	木4,5	伊藤 希,櫻井 啓輔,原田 隆平	生命現象を物理学的な手段でとらえる方法として，生体膜の等価回路の作成，神経活動のコンピューター・シミュレーション，膜電位発生のモデル実験，生体のリズムに関するモデル実験，生体分子の分子動力学シミュレーションによる機能解析，人工知能による生体分子の構造予測などを行う.	FCC3923と同一。 事前の履修調整で許可を受けていること。 情報コース 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 対面 FC13823修得者の履修は認めない。
EB62011	ゲノム生物学I	1	1.0	2・3	春AB	火1	桑山 秀一	ゲノムは生物の性質を決める遺伝情報の総体である。この授業では、「ゲノム」の成り立ちおよび構造と機能について学ぶが、ゲノム解析に必要な分子生物学とバイオインフォマティクスの手法にも力を入れて解説する。 Lectures will cover basic knowledge on the structure and function of the genome, as well as technologies for DNA and genome analyses.	英語で授業。 情報コース GloBEコース 対面 EG22011修得者の履修は認めない。
EB62021	ゲノム生物学II	1	1.0	2・3	秋AB	火2	中村 幸治	ゲノムを構成する各遺伝子は、協調的に発現されて、その生物学的情報が活用されなければならない。この授業では、クロマチン構造が、ゲノム発現に及ぼす影響や原核生物と真核生物における転写機構の相違点について学ぶ。さらに、転写後のRNAの運命を概説し、ゲノム情報の可変性・多様性が起因する機構について解説する。	情報コース 対面
EB62031	ゲノム生物学III	1	1.0	2・3	春AB	火2	中田 和人	ゲノムを有するオルガネラの生物学的特性とその異常による病態発症機構について最新の知見を交え考える。さらに遺伝子発現やシグナル伝達などに係わる種々の制御機構について分子レベルで解説する。	情報コース 対面 EB71111修得者の履修は認めない。
EB62066	ゲノム生物学実験	6	2.0	2・3	春B	木・金4-6	桑山 秀一,稲垣 祐司	大腸菌とプラスミド核酸を用いた分子生物学的実験操作の基礎を習得する。実習では真核生物（細胞性粘菌等）を用い、試薬作製やPCRから形質転換、形質転換体での発現物質の検出の一連の流れを体系的に学ぶ。また、インターネットを利用した DNA ゲノム配列情報の取得とコンピュータによる解析についても学習する。	事前の履修調整で許可を受けていること。 情報コース 遺伝子組換え実験を含む 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 対面 EB62063, EB63193修得者の履修は認めない。
EB62104	バイオインフォマティクス	4	1.0	2・3	春季休業中	集中	重信 秀治,守野 孔明,賴本 隼汰	バイオインフォマティクスは、情報科学的視点から生物学上の重要な問題を定式化し、コンピューターと大規模データを用いて解決する分野である。この講義では、特にゲノム・トランスクリプトームといった大規模な配列情報の解析の原理・有用性・活用法の基礎について、講義および演習を通じて学ぶ。	授業言語は英語(日本語対応可)20名程度を上限とし、必要に応じ履修制限のための事前評価を行う事がある。その際には、生物学類(特に情報コース)の標準履修年次の学生を優先する。 英語で授業。 2/18,2/19 情報コース 対面
EB62201	システムバイオロジー	1	1.0	2 - 4	夏季休業中	集中	大浪 修一	分子間反応の集積として生じる生命現象を一つのシステムとして捉え,遺伝子発現制御,個体発生,細胞間の同期等を計算機を用いて解析する新しい生物学について,その手法と結果を紹介する。	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 9/15,9/16 情報コース 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EB63031	生物多様性情報学	1	1.0	2・3	秋C	火2,3	伊藤 希	生物多様性に関する情報学のうち,分類学と直接かかわる生物多様性データベースを中心に取扱う。話題はデータベースに関する技術的なものから,言語哲学,集合論,分類学をめぐる社会学など多岐にわたる。CC-BY-ND 4.0	当該年度末に卒業を予定している者の履修は原則として認めない. 履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認のこと。 情報コース 対面 指定された課題を事前にこなしていることを前提に,討論を中心としたいわゆる反転授業として実施する.
EB63111	分子進化学I	1	1.0	2・3	春AB	月2	稲垣 祐司	分子進化学はDNAやタンパク質などの情報高分子に基づいて生物の進化を解明することを目指す研究分野である。本講義では,分子進化の基礎概念および分子系統樹法の基礎について解説する。	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください 英語で授業。 オンライン(対面併用型) 情報コース GloBEコース
EB63121	分子進化学II	1	1.0	2・3	秋AB	月2	稲垣 祐司,原田 隆平	分子進化学Iに引き続き,分子系統樹法のうちとくに最尤法について詳細な内容を解説し,生物の系統進化研究への具体的な応用例を紹介する。また,分子系統樹法と立体構造の情報を組み合わせたタンパク質機能予測解析の背景から実例までを解説する。(生物サテライト室にて随時演習を行う。)	試験のみ対面実施の予定。 人数制限(40名程度)あり,制限を越えた場合は生物学類生を優先。 情報コース オンライン(同時双方向型) オンライン(オンデマンド型)
EB63131	分子進化学III	1	1.0	2・3	秋AB	月3	平川 泰久,守野 孔明	分子進化学分野の2つのトピックスについて解説する。1)共生学と分子進化:細胞内共生による葉緑体の誕生において,共生者である光合成生物が葉緑体へとオルガネラ化する過程を分子進化の面から解説する。2)発生学と分子進化:動物の多様なボディープランは,発生過程の進化によってもたらされており,分子レベルで記述することが可能である。このような分子発生進化学の研究の現状を解説する。	情報コース 対面
EB63141	進化発生生物学	1	1.0	2・3				この授業では、ゲノムの分子進化と形態の進化がどのように関連しているかについて焦点を当てる。多様な分子進化プロセスについて学んだ後、発生過程で、ゲノムの情報からどのように読み出され形態を構築するかを学ぶ。分子進化と発生生物学について学んだことを統合し、形態進化がゲノムの分子進化として説明されたいくつかのトピックを紹介する。 This course will focus on how molecular evolution of the genome and evolution of the morphology are related. After learned about several kinds of molecular evolutionary processes, students will learn how the genome construct the 3D morphology during embryogenesis. Combining what they learned about molecular evolution and developmental biology, students will learn several topics where the morphological evolution is linked with the molecular evolution of genome.	西暦奇数年度開講。 英語で授業。 情報コース 対面
EB63151	進化発生生物学	1	1.0	2・3	秋C	水4,5	和田 洋	この授業では、ゲノムの分子進化と形態の進化がどのように関連しているかについて焦点を当てる。多様な分子進化プロセスについて学んだ後、発生過程で、ゲノムの情報からどのように読み出され形態を構築するかを学ぶ。分子進化と発生生物学について学んだことを統合し、形態進化がゲノムの分子進化として説明されたいくつかのトピックを紹介する。	情報コース 対面
EB64011	数理生物学I	1	1.0	2・3	春AB	木3	大橋 一晴	生物学の研究で扱われるデータのほとんどは、全体の一部だけを調べる「標本調査」によって得られる。本講義では、このようなデータの処理に必要な統計学の初歩的な知識と、その背景となる基本概念について解説する。	情報コース 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EB64021	数理生物学II	1	1.0	2・3	秋AB	金3	徳永 幸彦	生物現象を記述するための統計的手法として、ランダマイゼーションなどのコンピューターを駆使したノンパラメトリックな手法を解説する。 This lecture introduces the dark side of statistics. Starting with randomization techniques, students learn relationships among different domains of statistical ideas: parametric, nonparametric, null hypothesis significance testing, information-theoretic methods, and the Bayesian methods.	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 英語で授業。 情報コース オンライン(同時双方向型) EG34021修得者の履修は認めない。
EB64111	理論生態学	1	1.0	2・3	春AB	木1	徳永 幸彦	数理モデルなどによる理論的研究と、野外データに基づく生態学的研究の橋渡しをする手法として、実験個体群を用いた理論生態学的研究を紹介する。 This course illustrates theoretical aspects of ecology with examples of laboratory experiments to connect mathematical expressions with ecological phenomena in nature.	実施様態の詳細など、履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 英語で授業。 情報コース オンライン(同時双方向型) EG34111修得者の履修は認めない。
EB64163	理論生態学野外実習	3	1.0	3	夏季休業中	集中	徳永 幸彦	全国各地のフィールドで,コンピューターなどを使ったシミュレーションと野外調査結果を比較しながら、理論生態学の思考方法を体得する。 Students learn theoretical thinking in the field in Japan by comparing results of field experiments and observation with those generated by computer simulations.	9/26-9/30 事前の履修調整で許可を受けていること。 情報コース 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 英語対応可(要相談) 対面 EB64153 修得者の履修は認めない。
EB69401	理論集団遺伝学	1	1.0	2・3				集団遺伝学は 20 世紀初頭にダーウィンの進化理論とメンデルの遺伝理論とを統合する研究体系として誕生し,進化機構論の理論的な支柱として発展を遂げた。ゲノム解析の進む今日,育種や医療に関する応用研究も盛んに進められている。本講義では,集団遺伝学理論の初歩を解説し,集団中に存在する遺伝的な変異を素材に,生物の多様性が進化する仕組みを講義する。中でも,生物進化において偶然が果たす役割を理解することを主要な目標とする。	実施様態の詳細など、履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 西暦奇数年度開講。 情報コース オンライン(同時双方向型)
EB71011	細胞生物学I	1	1.0	2・3	春AB	金3	中野 賢太郎	細胞はすべての生物の基本構成単位である。 本講義ではおもに、1)細胞の形づくりと運動を担う細胞骨格とモータータンパク質、 2)細胞の内外を隔て必要な物質と情報をやりとりする細胞膜と膜タンパク質、3)細胞分裂と細胞周期、4)細胞接着と組織形成の基本的な仕組みについて解説する。	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 分子細胞コース 対面
EB71021	細胞生物学II	1	1.0	2・3	秋AB	月2	三浦 謙治,鶴田 文憲,石川 香	癌化や老化およびアポトーシス(細胞死)などの細胞に起こる増殖・形態・機能変化の具体的な現象を例にとり,主に細胞の増殖制御に関わる分子メカニズムについて,分子細胞生物学的視点から分かり易く解説する。	奇数年:日本語 偶数年:英語 分子細胞コース 対面 EB71121修得者の履修は認めない。
EB71031	細胞生物学III	1	1.0	2・3	秋AB	木3	千葉 智樹	生命活動の実行因子であるタンパク質は動的な平衡状態にあり、その制御にはタンパク質の合成経路のみならず分解経路が関与する。個々のタンパク質は選択的に分解されており、その制御は生体の恒常性維持など生命の生存に必須である。本講義では、選択的タンパク質分解を制御する分子機序とその生理的重要性を最新の知見を交えて解説する。 Proteins are in a dynamic state, which is regulated by protein synthesis and degradation pathways. Each protein is degraded in a degree of selectivity, and its regulation is essential for the cell homeostasis and viability. In this class, we will learn the latest findings on the molecular mechanism of selective protein degradation and its physiological importance.	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 This lecture is planned as face-to-face, but it may be changed to online depending on the situation. See Syllabus or recent information from manaba for detail. 英語で授業。 分子細胞コース GloBEコース 対面 EB71131,EG35131修得者の履修は認めない。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EB71083	細胞生物学実験	3	1.0	2・3	秋C	木3-6	中野 賢太郎	さまざまな細胞運動について、それを支える分子基盤の構造と性質について調べるための実験を行う。おもに、細胞の増殖と運動などの記録と解析、および細胞内物質輸送と細胞骨格について生化学的解析、蛍光顕微鏡による局在解析などを行う。	事前に分子細胞生物学概論を受講していること。細胞生物学Iと併せて受講することが望ましい。 事前の履修調整で許可を受けていること。 分子細胞コース 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 対面 EB71073 修得者の履修は認めない。
EB71156	分子生物学実験	6	2.0	2・3	春A	木・金 4-6	千葉 智樹,鶴田 文憲,三浦 謙治,野﨑 翔平	マウス胎児を使用した発現解析実験、細胞におけるストレス応答など分子細胞生物学の実験手法を習得する。 Learn experimental techniques for molecular cell biology, such as gene expression analysis using mouse embryo and stress response analysis of cells.	英語で授業。 事前の履修調整で許可を受けていること。 分子細胞コース 遺伝子組換え実験を含む 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 対面 EB71153, EG35153修得者の履修は認めない。
EB72111	発生生物学I	1	1.0	2・3	春AB	水1	丹羽 隆介,笹倉 靖徳,小林 悟,春本 敏之,谷口 俊介	本授業では、動物発生過程に必要な遺伝子レベル・細胞レベル・組織レベルのメカニズムの基礎を学ぶ。	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 対面(オンライン併用型) 分子細胞コース 人間生物コース
EB72121	発生生物学II	1	1.0	2・3	秋AB	火3	丹羽 隆介,小林 悟,谷口 俊介,笹倉 靖徳,岡本 直樹,佐奈喜 祐哉,春本 敏之	動物発生生物学の重要なトピックをいくつか取り上げ、その内容を理解するとともに、最先端の発生生物学の現状を知る。	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 英語で授業。 対面(オンライン併用型) 分子細胞コース 人間生物コース GloBEコース
EB72166	発生生物学実験I	6	2.0	2・3	春A	月・火 4-6	丹羽 隆介,島田 裕子,岡本 直樹,上山 拓己,佐奈喜 祐哉,春本 敏之	代表的モデル生物であるキイロショウジョウバエを用いて、発生過程を制御する遺伝子の機能と、それを追求するための手法についての理解を深める。おもには、初期胚、幼虫、そして卵巣といった各発生段階の個体・組織における遺伝子発現部位およびタンパク質の局在を、in situ ハイブリダイゼーション法や免疫組織化学染色法を用いて観察する。また、発生に必要な遺伝子の機能阻害によってどういった異常が生じるのかを観察し、遺伝子と発生の関係について考察する。	事前の履修調整で許可を受けていること。 分子細胞コース 人間生物コース 遺伝子組換え実験を含む 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 英語対応可(要相談) 対面 EB72163, EB72153修得者の履修は認めない。
EB72176	発生生物学実験II	6	2.0	2・3	春B	月・火 4-6	中田 和人,千葉 親文,石川 香,カスコロブレス マルティン ミゲル	脊椎動物の複数の分類群(魚類・両生類・鳥類・哺乳類)について、受精や初期発生、形態形成や細胞分化といった一連の個体発生過程を観察し、異なる分類群における発生過程の共通点ならびに相違点を考察する。また、骨髄球と末梢血の血球観察ならびに器官の再生実験を通して、未分化な細胞と分化した細胞の生物学的な特性を理解する。	事前の履修調整で許可を受けていること。 分子細胞コース 人間生物コース 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 対面 EB72173, EB72153修得者の履修は認めない。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EB72263	生殖生物学臨海実習	3	1.0	3	夏季休業中	集中	谷口 俊介,柴 小菊	細胞生物学の研究材料として多くの利点をもつ海産無脊椎動物を用いて,精子鞭毛運動,精子−卵相互作用,細胞分化に関する実習を行い,これらの現象を司る分子機構について学ぶ。遺伝子組換え実験を含む。	9/7-9/11 事前の履修調整で許可を受けていること。 分子細胞コース 遺伝子組換え実験を含む 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 英語対応可(要相談) 対面 EB72253 修得者の履修は認めない。
EB72911	海洋生物学I	1	1.0	2・3	春AB	水3	中野 裕昭,ハーベイ ベンジャミン ポール	Lecture will give you several topics on physical, chemical and biological properties of ocean to understand the physiology, reproduction, development, biodiversity and ecology of marine invertebrates and fish. This class will especially focus on the following aspects of marine life: life cycle, locomotion, sensory reception, biomineralization, biogeochemical distribution, photosynthesis, respiration, calcification, nitrogen fixation and the impact of climate change. We will give examples of marine organisms under planktonic and benthic conditions and coral reef. The history and present situation of marine biology research will be also included.	英語で授業。 オンライン(対面併用型) 分子細胞コース GloBEコース EG22911修得者の履修は認めない。
EB72921	海洋生物学II	1	1.0	2・3	秋AB	水3	谷口 俊介,笹倉 靖徳,中野 裕昭,ハーベイ ベンジャミン ポール	Lecture will provide several topics on marine organisms, including fertilization, cilia and flagella, gene-manupulation, development, self-non-self recognition, evolution, animal behavior, population ecology and marine environment. The teaching staff of Shimoda Marine Research Center will tell you about recent progress of their own research.	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。This lecture is planned as face-to-face, but it may be changed to online depending on the situation. See Syllabus or recent information from manaba for detail. 英語で授業。 オンライン(対面併用型) 分子細胞コース EG32921修得者の履修は認めない。
EB73111	動物生理学I	1	1.0	2・3	春AB	月1	櫻井 啓輔,千葉 親文,志賀 翔太	動物は多様かつ変化する環境の中で生きている。動物の行動を制御する神経系は、生物が進化させた環境適応の仕組みの中で、最も優れたもののの一つである。本講義では、神経系の動作原理と多様性について理解するため、ニューロンの電気的膜特性とシナプスにおける信号伝達の様式について学ぶ。次に、これらの理解を基礎として、神経系がどのように環境から信号(刺激)を受容し、情報を統合するのか(知覚)、どのように情報を保持するのか(記憶と学習)、どのように環境に働きかけるのか(運動)について学ぶ。	実施様態の詳細など、履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 分子細胞コース オンライン(同時双方向型) FC13831修得者の履修は認めない。
EB73121	動物生理学II	1	1.0	2・3	秋A 秋B	月1	丹羽 隆介,岡本 直樹 丹羽 隆介	動物の様々な生命現象のホメオスタシス(恒常性)を支える代謝、自律神経、内分泌系、そして臓器連環の重要性を学ぶ。	manabaでの連絡やTwins掲示板を随時注視すること 分子細胞コース 対面
EB73151	動物生理学I	1	1.0	2・3	春AB	火2	フォークト カスパー	Basics of neurophysiology.1. Introduction and electrochemical gradients. 2. Passive properties of membranes and cytoplasm. 3. Action potentials. 4. Voltage-gated ion channels. 5. Ligand gated ion channels. 6. The synapse and synaptic release. 7. Basic circuits - the spinal cord and basic reflexes. 8. Sensory systems. 9. Synaptic plasticity, learning and memory. 10. The nervous system in waking and sleep.	Open in even number years. Lecture is conducted in English. 西暦偶数年度開講。 英語で授業。 分子細胞コース GloBEコース 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EB73176	動物生理学実験	6	2.0	2・3	春季休業中	集中	櫻井 啓輔,カスコロブレス マルティン ミゲル,志賀 翔太,鈴木 大地,千葉 親文	運動・感覚神経,骨格筋,心臓,中枢神経系を用いて,神経情報を介した動物の刺激-反応,およびその調節機構について,実験と討論を通じて理解を深める。あわせて,生体電気の計測法も習得する。	3/15-3/19 事前の履修調整で許可を受けていること。 分子細胞コース 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 対面 EB73173修得者の履修は認めない。
EB74104	Plant Ecophysiology	4	1.0	2・3	春AB	木3	アーヴィング ルイス ジョン		英語で授業。 分子細胞コース GloBEコース 対面
EB74111	植物生理学I	1	1.0	2・3	春AB	金1	三浦 謙治,アーヴィング ルイス ジョン,古川 純	高等植物の生活史における様々な生理現象と環境要因との関わりについて個体から細胞レベルの観点から最新の分子的知見も交えながら概説する。 In this lecture, the relationship between various physiological phenomena and the environmental factors in the life history of higher plant will be overviewed for the understanding from the viewpoint at whole plant to cell levels with adding the latest molecular biological findings.	英語で授業。 分子細胞コース GloBEコース 対面 EG24111修得者の履修は認めない。
EB74131	植物生理学II	1	1.0	2・3	秋AB	金1	壽崎 拓哉	近年飛躍的に研究が進んでいる高等植物の分裂組織形成・器官分化制御機構、環境応答、植物微生物共生等の植物生理学上の重要な課題に焦点を絞りつつ、植物生理学の最近の進歩を紹介する。	実施様態の詳細など、履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。植物生理学II(EB74131)は、奇数年度は日本語、偶数年度は英語で開講となります。 分子細胞コース 対面 EG34131修得者の履修は認めない。
EB74166	植物生理学実験	6	2.0	2・3	秋A	月・火4-6	壽崎 拓哉,アーヴィング ルイス ジョン,古川 純	植物の発生や環境応答の仕組みを、遺伝子やタンパク質の働きに注目して解析し、植物生理学に関する理解を深める。また、植物の表現型の観察、無機栄養や酵素活性の測定、顕微鏡観察を含む基本的実験法を習得する。	英語で授業。 事前の履修調整で許可を受けていること。 分子細胞コース 遺伝子組換え実験を含む 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 対面 EB74163, EG34163修得者の履修は認めない。
EB74211	代謝生理化学I	1	1.0	2・3	春C	集中	鈴木 石根	細胞の基本的な物質およびエネルギー代謝および制御系について解説する。特に、炭素代謝、窒素代謝、硫黄代謝等の一次代謝系に焦点を合わせる。先端研究の例を取り上げつつ講義をするが、生化学の基礎知識の充実に資するよう丁寧な解説を行う。 The main topics for this course will be photosynthetic energy conversion, primary and secondary carbon metabolism including C3, C4 and CAM metabolisms, photorespiration, and mitochondrial respiration.	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。This lecture is planned as face-to-face, but it may be changed to online depending on the situation. See Syllabus or recent information from manaba for detail. 英語で授業。 7/10-7/12 分子細胞コース GloBEコース 対面 EG24211修得者の履修は認めない。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EB74286	代謝生理化学実験	6	1.0	2・3	秋A	金4-6	前田 義昌	Experimental measurements of gas metabolism in photosynthesis, photorespiration and respiration, and glycolate metabolism by microlagae. Mechanisms for acclimation to CO2 stress, N-limitation and P-limitation at molecular level in microlagae. Analysis of the function of selenium in marine coccolithophorids using radioactive Se-125.	Prerequisite: Metabolic and Physiological Chemistry I. 事前の履修調整で許可を受けていること。 分子細胞コース 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 英語対応可(要相談) 対面 EB74273, EB74276 or EG34273 credit holders are ineligible.
EB80011	生物化学I	1	1.0	2・3	春AB	水2	田中 俊之	生物有機化学や生物科学,更には食品科学に関連する研究において重要な役割を果たす分析手法(紫外可視分光法,赤外分光法および質量分析法)の基礎を解説する。	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 応用生物コース 対面 2028年度以降開講せず
EB80021	生物化学II	1	1.0	2・3	秋AB	水2	田中 俊之	生物有機化学や生物科学,更には食品科学に関連する研究において重要な役割を果たす分析手法(核磁気共鳴分光法他) の基礎を解説する。	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 応用生物コース 対面 2028年度以降開講せず
EB80043	応用生物化学実験I	3	3.0	2・3	春A	月・火・木・金4-6	田中 俊之,谷本 啓司,松﨑 仁美	生体を構成する主要成分であるタンパク質、糖、核酸などの基本的な定性・定量法を習得する。また、酵素反応の動力学的な解析法を実習し、酵素の性質について学ぶ。	事前の履修調整で許可を受けていること。 応用生物コース 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 対面
EB80053	応用生物化学実験II	3	3.0	2・3	秋B	月・火・木・金4-6	臼井 健郎,熊野 匠人,松山 茂	前半は、1. カビ、酵母、放線菌、細菌の観察と同定, 2. 酵素の発現誘導条件に関する実験, 3. ヨーグルトからの乳酸菌の単離　について実験を行い、微生物を用いた基礎的な実験技術を学ぶ。後半は、生物活性物質を合成し,有機合成の基礎的な実験技術を習得するとともに、バイオアッセイの実際について学ぶ。	事前の履修調整で許可を受けていること。 応用生物コース 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 対面
EB80211	生物活性化学I	1	1.0	2・3	春AB	月1	臼井 健郎	微生物、動植物が生産する天然低分子化合物のうち、主に人の治療目的に研究・開発されている化合物を中心に、その発見と標的分子解明までの道筋、作用機構について、また基礎生物学に与えた影響について解説する。	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 応用生物コース 対面
EB81111	生体機能分子学I	1	1.0	2・3	春AB	火3	小林 達彦,水野 聖哉,鈴木 颯	本講の2/3は、微生物における代謝生理、ゲノムプロジェクト・DNAチップによる生体機能の解析、分子進化工学を概説する。また、酵素・タンパク質の機能や遺伝子発現制御を分子レベルで解説するとともに、それらの物質生産への応用を概説する。残りの1/3では、生体機能解析のための動物における発生工学を概説する。	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 応用生物コース 対面 2027年以降開講せず
EB81121	生体機能分子学II	1	1.0	2・3	秋AB	月3	谷本 啓司,松﨑 仁美	哺乳動物の機能分子による生体調節、遺伝子発現制御メカニズムやエピジェネティクス、幹細胞やゲノム編集などの発生工学に関する基礎から最新の知見までを紹介する。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 応用生物コース 対面
EB82011	機能微生物学I	1	1.0	2・3	春AB	金2	岡根 泉	微生物は自然界の様々な場所で生活しており,その生活様式も多様である。そのうち他の生物に寄生している微生物の生理的・生態的機能について解説する。	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 応用生物コース 対面
EB82021	機能微生物学II	1	1.0	2・3	秋AB	火1	岡根 泉	微生物は自然界の様々な場所で生活しており,その生活様式も多様である。そのうち他の生物と相利または片利共生している微生物ならびに特定な環境下で腐生生活している微生物の生理的・生態的機能について解説する。	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 応用生物コース 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EB82111	動物制御学I	1	1.0	2・3	春AB	金1	藏滿 司夢	昆虫の消化系、呼吸系、循環系、神経系、生殖系、食性、栄養、変態、休眠、感覚、行動などの生理機能について概説し、昆虫の体のしくみを理解する。	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 応用生物コース 対面
EB82121	動物制御学II	1	1.0	2・3	秋AB	金1	藏滿 司夢	昆虫の生理生態学に基づき、総合的害虫管理(IPM)を目的とした、化学的防除、物理的防除、耕種的防除、生物的防除、遺伝的防除、など各種防除法について解説し、昆虫機能利用についても述べる。	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 西暦偶数年度開講。 応用生物コース 対面
EB82131	化学生態学	1	1.0	2・3	秋AB	金4	横井 智之,松山 茂,山路 恵子,木下 奈都子,藏滿 司夢	植物と昆虫、植物と微生物、昆虫と昆虫などの個体間相互作用について、同種間で作用するフェロモン、異種間で作用するアレロケミカルスなどを中心に化学的側面からの様々な現象を紹介する。 This lecture introduces chemical aspects of relationships between individual insects, animals, plants and microorganisms of the same (pheromone) or different (allelochemicals) species.	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 英語で授業。 応用生物コース 対面 EG32131修得者の履修は認めない。
EB83111	植物バイオテクノロジーI	1	1.0	2・3	春AB	火3	菊池 彰,小口 太一	植物に関するバイオテクノロジーを身近な事例を基に紹介し、従来の技術との比較や科学的裏打ち情報を提供することにより本技術に対する理解を促す。	日本語で実施。履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 応用生物コース 対面 EB83141修得者の履修は認めない。
EB83121	植物バイオテクノロジーII	1	1.0	2・3	秋AB	火3	小口 太一,壽崎 拓哉,菊池 彰	植物の持つ能力を最大限に活かし、さらに新しく改良するため、人類はさまざまな試みを展開してきた。植物バイオテクノロジーと総称できる多様な挑戦について、技術的・研究的側面に加え、生物科学と社会をつなぐ多様な事項を含めて概論する。	応用生物コース 対面
EB83176	植物バイオテクノロジー実験	6	2.0	2・3	秋A	木・金4-6	小口 太一,三浦 謙治,菊池 彰	遺伝形質の発現と変異、遺伝子組換え植物、ゲノム編集植物などの解析をテーマとして、実験・観察し、分子生物学、生化学、分子遺伝学の基礎的な実験手法を習得する。	事前の履修調整で許可を受けていること。 応用生物コース 遺伝子組換え実験を含む 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 対面 EB83173修得者の履修は認めない。
EB89101	酵母の分子生物学特講	1	1.0	2・3				微生物の中でも,真核生物の生命現象を分子レベルで解析する上で重要な酵母(特に出芽酵母)の遺伝学,遺伝子工学,分子生物学,細胞生物学に関する基礎的事項について,応用面も含めて講義する。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやTwins等の情報を確認してください。 西暦奇数年度開講。 応用生物コース
EB89994	代謝生理特講	4	1.0	2・3	春AB	金3	蓑田 歩	すべての生命活動を支える「代謝」を軸に、細胞がエネルギーを獲得し、体をつくり、環境変化に応答して生きていく仕組みを理解する。本コースの前半では、自分自身が一つの細胞であると仮定し、「どのようにして生きていくためのエネルギーと体をつくり、予測不能な環境変化を生き抜くのか」という視点から生命現象を学ぶ。断片的に学んできた知識を体系化することで、代謝および生理学をより自由に、主体的に理解し、楽しむための基礎を身につける。後半では、プレゼンテーションを通じて、論文を読み解き、自らの言葉で説明する力を養う。	第1～7回の講義後に、内容を簡単にまとめたレポートをmanabaに提出する。あわせて、後半に行うプレゼンテーション及びディスカッションへの積極的な参加も評価の対象とする。 成績評価方法: 1~7回の簡単なレポート提出:60%, プレゼンテーション(ディスカッションを含む) 40% 応用生物コース 対面 偶数年は日本語開講、奇数年は英語開講

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EB89996	植物環境応答実験	6	1.0	2・3	秋B	火4-6	蓑田 歩	本実習では、光合成生物を対象に、光や環境条件の変化に対して細胞がどのように応答しているのかを、実験を通じて理解する。光合成、呼吸、電子伝達、代謝物などの生理応答を定量的に測定し、複数のデータを統合して考察・プレゼンテーションを行うことで、細胞の生存戦略を理解する力を養う。	成績評価方法 各回の実験シートの提出:50% 最終プレゼンテーション(ディスカッションを含む):50% 事前の履修調整で許可を受けていること。 応用生物コース 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 英語対応可(要相談) 対面 EB74273, EB74276 or EG34273 credit holders are ineligible.
EB90011	人間生物学I	1	5.0	3	秋AB	月4-6 火4,5	入江 賢児,高橋 智	生物としてのヒトの正常機能と異常について,基本的概念から医学の分野まで学ぶ。基礎医学領域を中心に,分子レベルから生体システムレベルにわたる講義、特定の疾患についてその発生や病態の分子メカニズム等の講義も行う。	人間生物コース 生物学類人間生物コース専攻者に限る。 オンライン(同時双方向型) オンライン(オンデマンド型) 原則的に人間生物学IIと同時履修すること。
EB90021	人間生物学II	1	2.0	3	秋C	月4-6 火4,5	高橋 智	人体構造学は医学の基礎をなす学問である。この授業では,講義と肉眼解剖実習を通して,人体の構造の基本を学ぶ。	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 人間生物コース 生物学類人間生物コース専攻者に限る。 オンライン(同時双方向型) オンライン(オンデマンド型) 原則的に人間生物学Iと同時履修すること。
EB91121	神経解剖学	1	1.0	2・3	秋AB	金2	武井 陽介,桝 和子,佐々木 哲也,坂口 昌徳,岡田 拓也,岩田 卓,吉原 雅大	ヒトを含む哺乳動物中枢神経系の構造と機能,個体発生について概説する。この講義の狙いは,「脳研究」への基礎知識と足掛かりを与えることにある。	実施様態の詳細など、履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 人間生物コース 対面
EB91271	免疫生物学	1	1.0	2・3	夏季休業中	集中	渋谷 和子,小田 ちぐさ,リン ユーシェン	免疫(生物)学全般を概説する。免疫系を構成する細胞の分化,免疫グロブリン・T細胞レセプター・MHC分子などの抗原認識分子の構造と機能を学び,脊椎動物の精緻な免疫系がどのように進化してきたかを考察する。	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 8/28,8/29 人間生物コース オンライン(オンデマンド型)
EB91321	寄生生物学	1	1.0	2・3	秋C	金4,5	大前 比呂思,奈良 武司,永宗 喜三郎,有末 伸子	主要な人体寄生性原虫・蠕虫の生活環における感染と宿主特異性,免疫応答,病害性などについて学び,さらに,寄生現象における媒介動物の生物学的意義を理解する。	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 人間生物コース 対面
EB91411	細菌学	1	1.0	2・3	秋AB	金1	森川 一也,尾花 望,牛島 由理	肉眼では直接見ることのできない細菌がどのようにして生命現象を営むか,分子レベルで概観する。また,それらが,どのように人と関わり合うか,益と害を知り,病原性,抗菌剤,ワクチンなどの基本的事項を学ぶ。	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 人間生物コース 対面
EB91521	ウイルス学	1	1.0	2・3	秋AB	水1	川口 敦史,加藤 広介	生物と無生物の境界にあるウイルスの生物学的特性を学び,それが生体に寄生して増殖する時,生体にどのような変化が起きるかについて,病原性、造腫瘍性なども含めて,可能な限り分子生物学的レベルで基本的事項を学ぶ。	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 人間生物コース 対面
EB91611	放射線生物学	1	1.0	2・3	秋AB	木3	宇佐美 徳子	放射線が生物に与える影響(エネルギー吸収,励起・イオン化,ラジカル形成,生体高分子の変化,突然変異,致死,がん化など)について系統的に説明する.	西暦偶数年度開講。 人間生物コース 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EB92121	人類学	1	2.0	2・3	秋AB	金3,4	中田 和人,足立 和隆,米田 穣,坂上 和弘,神澤 秀明,水野 文月,藤田 祐樹,森田 航	本講義では、霊長類としてのヒトの位置づけとその進化をマクロ（形態学、生体力学、生態学）とミクロ（分子生物学）の観点から学外の専門の先生方も加え、幅広く概説する。	人間生物コース 対面
EB99181	人体発生学特講	1	1.0	2・3	夏季休業中	集中	鈴木 大地,原田 理代,平手 良和	人体発生の過程は複雑である。講義では,生殖細胞の形成,受精より着床および胎盤形成の過程と主要器官の発生を,できるだけ平易に扱い,人体構築の理解の基礎について述べる。	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 9/28-9/30 人間生物コース 対面

開設母体　　要件
生物資源学類

専門基礎科目(必修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC11203	生物資源科学実習	3	1.0	1・2	春B	集中	生物資源学類長,他	生物資源に関係する業務・研究の現場を小人数で見学し,生物資源についての具体的なイメージを持つと共に,見学内容についての報告会を開催し,生物資源を考察する際の視点を明確にする。	生物資源学類生に限る。令和4年度以前入学者対象。 CDP 対面
EC11212	生物資源科学演習	2	1.0	1	秋AB	火1	福田 直也,阿部 淳一 ピーター,杉本 卓也,古川 純	ファーストイヤーセミナーに引き続き,現代の生物資源科学が扱う学問領域や課題について,演習や調査・発表を通じて学び,今後の勉学への理解を深める。	生物資源学類学生に限る。 対面
EC11262	生物資源科学演習	2	1.0	2	春C	集中	繁森 英幸	現代の生物資源科学が扱う学問領域や課題について,演習や調査・発表を通じて学び,今後の勉学への理解を深める。	総合学域群から生物資源学類に移行した学生に限る。 対面

専門基礎科目(選択)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC12131	化学	1	3.0	1	春ABC 秋ABC	水2 木3	平川 秀彦,松山 茂,南雲 陽子,小川 和義	酸と塩基、化学平衡、酸化還元反応など化学の原理一般にわたり、分析化学の基礎となる「一般化学」に加え、 化学現象をエントロピー、エンタルピーを用いて説明する「物理化学」の一部と、原子や分子の構造、化学結合の本質などを学ぶの「量子化学」の一部と、炭素化合物やアルコールなどを対象とした「有機化学」の一部とを併せて講義する。	EC12101、EC12111、EC12121 を修得済みの者は履修できない。 対面
EC12153	生物資源フィールド学実習	3	1.0	1	春AB	月3,4	瀬古澤 由彦,加藤 盛夫,松倉 千昭,王 寧,吉岡 洋輔,福田 直也,康 承源,野中 聡子,菅谷 純子,浅野 敦之,川田 清和,津田 吉晃,トファエル アハメド,浅野 眞希,阿部 淳一 ピーター,古川 誠一,安久 絵里子,岡根 泉,藏滿 司夢	T-PIRC農場と山岳科学センター筑波実験林をフィールドとした実習を通じて、農林業に関わる生産現場での作業体験を行うとともに、関連技術を学ぶ。実習を行う分野は、園芸、畜産、農業機械、作物生産、作物育種、森林管理、病害虫防除であり、いずれも、現場における基礎的な作業を行う。	生物資源学類1、2年次生に限る。 対面
EC12162	数理科学演習	2	1.0	1	秋AB	水3	小林 幹佳	生物資源科学に関連した数学の基礎と,実際の応用について,例題を中心として紹介し,訓練する。	EC12062又はEC12262を修得済みの者は履修できない。 対面
EC12163	化学実験	3	1.0	1	秋AB	金4-6	山田 小須弥,繁森 英幸,小川 和義,中川 明子,野村 名可男,楊 英男,南雲 陽子,桝尾 俊介,宮前 友策,浦山 俊一	無機化学,物理化学及び有機合成化学実験を通じて,平衡・速度の概念を理解する。同時に,反応生成物の分離・精製・確認を行い基本操作を習熟する。	EC12113修得済みの者は履修できない。初回ガイダンスについては、シラバスを参照のこと。 EG50163と同一。 対面 使用する実験室についてはmanabaを確認すること。
EC12171	物理学	1	3.0	1	春ABC 秋ABC	金4 水4	奈佐原 顕郎,粉川 美踏,杉本 卓也	生物資源学類全般の学習・研究の基礎として必要となる物理学を学ぶ。EC12331「基礎数学」で扱う数学を前提知識とする。	EC12081、EC12181 、EC12191を修得した者は履修できない。お知らせと課題出題提出はmanabaを通じて行うので, 必ずmanabaを参照・利用すること。他学類生の履修も歓迎する。 対面
EC12173	生物学実験	3	1.0	1	秋BC	金4-6	野中 聡子,高橋 真哉,阿部 淳一 ピーター,八幡 穣,大徳 浩照,平川 秀彦,竹下 典男,松山 茂	生物学の各分野から、生物資源学類に必要な観察・実験の項目を選んで実施し、生命現象の基本について理解させる。	定員100名。生物資源学類生優先。 EC12623,EE11643,FB00143,FCA1923,FE00143,FF00633,EB00003を修得済みの者は履修できない。 EG50193と同一。 対面 使用する実験室についてはmanabaを確認すること。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC12201	生物資源学にみる食品科学・技術の最前線	1	1.0	1	春BC	月2	粉川 美踏,北村 豊,吉田 滋樹,中島(神戸) 敏明,ダス ネヴェス マルコス アントニオ,市川 創作,原 田,トファエル アハメド	食料生産に係る学術や産業について,生物資源学類では,生化学的,工学的あるいは経済学的な分野・アプローチで学習・研究を進めている。各授業では,それぞれの分野の基礎知識を解説するとともに,それらを基盤として展開される教員の最新研究を紹介し,国内外の食料供給を支える生物資源学の役割を示す。	定員300名 専門導入科目(事前登録対象) 対面
EC12301	生物資源の開発・生産と持続利用	1	1.0	1	秋AB	水5	上條 隆志,浅野 敦之,興梠 克久,首藤 久人,菅谷 純子,福田 直也,古川 誠一,松倉 千昭,吉岡 洋輔	世界と日本の食料や森林資源の開発と生産の現状を概説し、それらの持続的利用のための課題と解決策について多面的に学習する。	定員300名 専門導入科目(事前登録対象) 対面
EC12331	基礎数学	1	3.0	1	春ABC 秋AB 秋C	金3 月3 火6	奈佐原 顕郎	生物資源学類全般の学習・研究の基礎として必要となる数学を学ぶ。特に，物理学，化学，経済学，統計学入門，物理学実験，化学実験，数理科学演習，実用解析I，IIなどで必要となる数学を学ぶ。グループワークに参加すること。	EC12051、EC12311、EC12321を修得済みの者は履修できない。 対面
EC12371	統計学入門	1	1.0	2	春AB	水4	首藤 久人	統計学の知識は調査・実験の計画立案、データ解析や卒業研究執筆に不可欠です。統計学入門では生物資源学類生が必要となる統計の基礎的な考え方と初歩的な利用方法を講述する。	生物資源学類2年次生以上に限る。 EC12071、EC12271 を修得済みの者は履修できない。 対面
EC12401	生物資源と環境	1	1.0	1	秋AB	月2	野村 暢彦,山路 恵子,古川 誠一,浅野 眞希	21世紀は、環境の世紀である。よって、様々な環境課題・問題に対して、各専門分野が融合して取り組む「T型」連携が必須である。生物資源学類では、生物(微生物・植物等)・化学・工学・物理・経済・政策などのアプローチから環境に関わる研究を進めている。それらの基礎知識を解説すると共に、それらを展開する教員の最新研究を紹介しながら、生物資源と環境について学習する。	定員300名 専門導入科目(事前登録対象) 対面
EC12501	生物資源としての遺伝子とゲノム	1	1.0	1	秋AB	木5	内海 真生,高谷 直樹,木下 奈都子	私たちの健康や生活と密接に関係している遺伝子とゲノムの生物資源としての価値について、動物・植物・微生物・環境の視点から学習する。	定員300名 専門導入科目(事前登録対象) 対面
EC12601	資源生物学	1	1.0	1	春AB	火6	内海 真生	高等学校までに学んだ生物学諸分野の知識をより体系的に修得できるように、また生物資源(農学)と関連の深い生物学に関する基礎的な内容について体系的に講義する。	定員120名。EC12061を修得済みの者は履修できない。 対面

専門科目必修(専門語学I)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC13112	専門語学(英語)I	2	1.0	2	春A 春B	火3	礒田 博子,粉川 美踏,南雲 陽子,竹下 典男	英文の科学書を読解する講義を行う。これによって,英語で書かれた専門書に大きな抵抗を感ぜずに取り組むことができるようにする。	生物資源学類生に限る 対面
EC13122	専門語学(英語)I	2	1.0	2	秋A 秋B	火3	礒田 博子,粉川 美踏,南雲 陽子,竹下 典男	英文の科学書を読解する講義を行う。これによって,英語で書かれた専門書に大きな抵抗を感ぜずに取り組むことができるようにする。	生物資源学類生に限る 対面

専門科目必修(専門語学II)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC14112	専門語学(英語)II	2	1.0	3	春A 春B	火2	松倉 千昭,康 承源,石賀 康博	農林生物学コースに関係する様々な分野の英文教科書・学術論文をテキストとした講読を通して,専門分野の英文読解能力を養う。さらに,国際会議での発表や英語学術論文を作成するための論理構成力・手法を学ぶ。	農林生物学コース対象 対面
EC14122	専門語学(英語)II	2	1.0	3	秋A 秋B	火4	柴 博史,瀬古澤 由彦,高橋 真哉	農林生物学コースに関係する様々な分野の英文教科書・学術論文をテキストとした講読を通して,専門分野の英文読解能力を養う。さらに,国際会議での発表や英語学術論文を作成するための論理構成力・手法を学ぶ。	農林生物学コース対象 対面
EC14212	専門語学(英語)II	2	1.0	3	春A 春B	火4	平川 秀彦,山田 小須弥,山路 恵子,柏原 真一,木村 圭志,應 蓓文,浦山 俊一,高橋 将人	応用生命化学コースに関係する様々な分野の英文教科書・学術論文をテキストとした講読を通して,専門分野の英文読解能力を養う。さらに,国際会議での発表や英語学術論文を作成するための論理構成力・手法を学ぶ。	応用生命化学コース対象 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC14222	専門語学(英語)II	2	1.0	3	秋A 秋B	火4	平川 秀彦,繁森 英幸,春原 由香里,青柳 秀紀,市川 創作,加香 孝一郎,橋本 義輝,松山 茂,竹下 典男	応用生命化学コースに関係する様々な分野の英文教科書・学術論文をテキストとした講読を通して,専門分野の英文読解能力を養う。さらに,国際会議での発表や英語学術論文を作成するための論理構成力・手法を学ぶ。	応用生命化学コース対象 対面
EC14312	専門語学(英語)II	2	1.0	3	春AB	金3	奈佐原 顕郎,内田 太郎,トファエル アハメド,小林 幹佳,小幡谷 英一	環境工学コースに関係する様々な分野の英文教科書・学術論文をテキストとした講読を通して,専門分野の英文読解能力を養う。さらに,国際会議での発表や英語学術論文を作成するための論理構成力・手法を学ぶ。	環境工学コース対象 対面
EC14322	専門語学(英語)II	2	1.0	3	秋AB	火4	奈佐原 顕郎,ダスネヴェス マルコス アントニオ,山川 陽祐,ヤバールモスタセロ ヘルムート	環境工学コースに関係する様々な分野の英文教科書・学術論文をテキストとした講読を通して,専門分野の英文読解能力を養う。さらに,国際会議での発表や英語学術論文を作成するための論理構成力・手法を学ぶ。	環境工学コース対象 対面
EC14412	専門語学(英語)II	2	1.0	3	春AB	火4	興梠 克久,髙田 純	社会経済学コースに関係する様々な分野の英文教科書・学術論文をテキストとした講読を通して,専門分野の英文読解能力を養う。さらに,国際会議での発表や英語学術論文を作成するための論理構成力・手法を学ぶ。	社会経済学コース対象。 対面
EC14422	専門語学(英語)II	2	1.0	3	秋AB	火4	興梠 克久,首藤 久人	社会経済学コースに関係する様々な分野の英文教科書・学術論文をテキストとした講読を通して,専門分野の英文読解能力を養う。さらに,国際会議での発表や英語学術論文を作成するための論理構成力・手法を学ぶ。	社会経済学コース対象 対面
EC14502	専門語学(英語)II	2	1.0	3	通年	応談	生物資源学類長,他	各コースに関係する様々な分野の英文教科書・学術論文をテキストとした講読を通して,専門分野の英文読解能力を養う。さらに,国際会議での発表や英語学術論文を作成するための論理構成力・手法を学ぶ。	生物資源学類長が特別に認めた者以外は履修できない。 対面

専門科目必修(卒業研究)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC51008	卒業研究	8	10.0	4	春ABC	随時	生物資源学類長,他	指導教員の下で設定した生物資源学分野の研究テーマについて研究を進め,自ら問題を解決する方法を学ぶ。得られた研究成果を研究室セミナー等で発表し,質疑応答を経て発表能力を身につける。最終的に得られた成果を卒業研究要旨等にまとめ,卒業研究発表会で発表を行う。	2021年度入学者対象,学類長が特別に認めた者に限る。 主専攻必修科目。 CDP 対面
EC51908	卒業研究	8	6.0	4	通年	随時	生物資源学類長,他	指導責任教員,指導担当教員の指導の下で,各自に与えられた課題について研究を行い,結果をまとめて提出する。	2020年度以前入学者対象 主専攻必修科目。 CDP 対面
EC51928	卒業研究	8	6.0	4	秋ABC	随時	生物資源学類長,他	指導責任教員、指導担当教員の指導の下で、各自に与えられた課題について研究を行い、結果をまとめて提出する。	2020年度以前入学者対象。学類長が特別に認めた者に限る。 主専攻必修科目。 CDP 対面
EC51948	卒業研究	8	6.0	4	春ABC	随時	生物資源学類長,他	指導責任教員,指導担当教員の指導の下で,各自に与えられた課題について研究を行い,結果をまとめて提出する。	2020年度以前入学者対象,学類長が特別に認めた者に限る。 主専攻必修科目。 CDP 対面
EC51958	卒業研究I	8	5.0	4	春学期	随時	生物資源学類長	指導教員の下で設定した生物資源学分野の研究テーマについて研究を進め,自ら問題を解決する方法を学ぶ。得られた研究成果を研究室セミナー等で発表し,質疑応答を経て発表能力を身につける。	2022年度以降入学者対象 主専攻必修科目。 CDP 対面
EC51968	卒業研究II	8	5.0	4	春学期	随時	生物資源学類長	卒業研究Iに引き続き生物資源学分野の研究を行い,研究の進め方を修得する。得られた研究成果を研究室セミナー等で発表し,質疑応答を経て発表能力を身につける。最終的に得られた成果を卒業研究要旨等にまとめ,卒業研究発表会で発表を行う。	2022年度以降入学者対象 EC51958又はEC51978を履修済みの者に限る 主専攻必修科目。 CDP 対面
EC51978	卒業研究I	8	5.0	4	秋学期	随時	生物資源学類長	指導教員の下で設定した生物資源学分野の研究テーマについて研究を進め,自ら問題を解決する方法を学ぶ。得られた研究成果を研究室セミナー等で発表し,質疑応答を経て発表能力を身につける。	2022年度以降入学者対象 主専攻必修科目。 CDP 対面
EC51988	卒業研究II	8	5.0	4	秋学期	随時	生物資源学類長	卒業研究Iに引き続き研究を行い,研究の進め方を修得する。得られた研究成果を研究室セミナー等で発表し,質疑応答を経て発表能力を身につける。最終的に得られた成果を卒業研究要旨等にまとめ,卒業研究発表会で発表を行う。	2022年度以降入学者対象 EC51958又はEC51978を履修済みの者に限る 主専攻必修科目。 CDP 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC51998	卒業研究	8	10.0	4	春ABC夏季休業中 秋ABC春季休業中	随時	生物資源学類長	指導教員の下で設定した生物資源学分野の研究テーマについて研究を進め,自ら問題を解決する方法を学ぶ。得られた研究成果を研究室セミナー等で発表し,質疑応答を経て発表能力を身につける。最終的に得られた成果を卒業研究要旨等にまとめ,卒業研究発表会で発表を行う。	2021年度入学者対象 主専攻必修科目。 CDP 対面

専門科目I(農林生物学コース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC21011	植物生理学	1	2.0	2	春AB	水1,2	菅谷 純子,松倉 千昭,草野 都	資源植物を学ぶ上で必要な,植物の生活環境における重要な生理現象について,形態変化や細胞機能分裂も含めて概説する。また,植物の生長・分化や生殖における植物ホルモンの作用や作用機構,および植物と環境要因との関わりについて基礎知識を解説する。具体的には,植物の形態,光合成,物質循環,植物ホルモン,環境応答などである。	基幹科目 実務経験教員 対面
EC21031	植物遺伝学	1	2.0	2	秋AB	水1,2	柴 博史,野中 聡子,王 寧	資源植物を中心に,生物資源の遺伝特性を活用するために必要な遺伝と変異に関する基礎的理論について概説する。	基幹科目 対面
EC21051	作物生産利用学	1	2.0	2	秋AB	火1,2	加藤 盛夫,松倉 千昭,王 寧	食用作物や工芸作物などの土地利用型作物を対象とし,その生産・利用に当たって基本となる生物学的特性,自然環境条件に対する反応,収量と品質の成立条件,作付体系,持続的生産システムなどについて講述する。	横断領域科目「食料」 対面
EC21061	園芸学	1	2.0	2	秋AB	金5,6	菅谷 純子,福田 直也	果樹,蔬菜,観賞用植物などの園芸作物の生産を学ぶ基礎として,栽培,育種,生殖生理,収穫後生産物の生理などについて講述する。	横断領域科目「食料」 対面
EC21071	資源植物保護学	1	2.0	2	秋C	月・金1,2	古川 誠一,石賀 康博	農作物としての植物資源を加害する病害虫と診断,およびその被害に対する予防,防除について概説し,農作物の生産,運搬,貯蔵のなかで保護のもつ重要性を認識させる。	横断領域科目「食料」 対面
EC21091	資源動物学	1	1.0	2	秋AB	火4	浅野 敦之	家畜を中心とする資源動物は、人類に有益な機能や形態を特化させることで,人々の生活に貢献してきた。家畜の生体機構を支える生命現象は畜産のみならず、食品、医薬品開発に応用されている。本講義は主要な資源動物の種特性を歴史および生物学的側面から概説し、さらに生存維持に欠かせない繁殖、成長、エネルギー獲得などの基本的仕組みとその応用がもたらす恩恵など講述する。	EC21081を修得済みの者は履修できない。 対面
EC25011	生態学	1	2.0	2	春AB	月3,4	上條 隆志,清野 達之,川田 清和,津田 吉晃	生態系や個体群など生物のマクロな世界を対象とする生態学の基礎と、それを元とした環境保全、生物多様性保全、生物資源の持続的利用についても講述する。	基幹科目 (コース共通) 農林生物学コース 環境工学コース 横断領域科目「環境」 対面
EC25013	農林生物学基礎実験	3	1.0	2	春AB	火4,5	高橋 真哉,野中 聡子,木下 奈都子,古川 誠一,菅谷 純子,瀬古澤 由彦,浅野 敦之,川田 清和,吉岡 洋輔,阿部 淳一 ピーター,柴 博史,草野 都,飯島 大智,藏滿 司夢	農林生物(資源生物)の生理および生態についての分析・解析法と形態観察法の基礎を修得する。	(コース共通) 農林生物学コース 応用生命化学コース 対面 第1回(4月14日)の前までに、ガイダンスビデオを視聴すること。
EC25051	分子生物学	1	2.0	2	秋AB	木1,2	中村 顕	生命現象はその全てが遺伝子に予めプログラムされている。本講義では,遺伝子の複製,転写,翻訳というセントラルドグマの各段階や遺伝子発現調節について,そのメカニズムを含めて講義する。	基幹科目 (コース共通) 農林生物学コース 応用生命化学コース 環境工学コース 対面
EC25061	生物資源経済学	1	2.0	2	春AB	金3,4	首藤 久人	経済発展と農業,食料の需要と供給,資源・環境と農業,農産物貿易,フードシステムといった食料・農業を取り巻く諸問題について,経済学的な視点から講述する。	基幹科目 横断領域科目「食料」「環境」 (コース共通) 農林生物学コース 社会経済学コース 対面
EC25081	森林管理学	1	2.0	2	秋AB	月1,2	興梠 克久	森林資源の管理と利用,保全に関する理論的枠組み(森林科学、特に林政学,森林計画学,森林利用学)と歴史および現状を紹介し,持続的森林管理の構築に向けた課題を検討する。	基幹科目(2025年度以降入学者対象) (コース共通) 農林生物学コース 社会経済学コース 横断領域科目「環境」 対面
EC25133	生物資源生産科学実習I	3	1.0	2	春AB	木4,5	瀬古澤 由彦,加藤 盛夫,松倉 千昭,王 寧,福田 直也,康 承源,清野 達之,トファエル アハメド,安久 絵里子	本実習は,生物資源生産科学入門のための基礎的実習科目である。実習はT-PIRC農場と山岳科学センター筑波実験林で行われ,生物資源生産学の理論と技術を体験的に理解・習得することを通じ,生物資源生産科学への認識を深めることを目的とする。	生物資源学類生優先。【定員50名】(コース共通)農林生物学コース 応用生命化学コース 環境工学コース 社会経済学コース EC25123を修得済みの者は履修できない。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC25143	生物資源生産科学実習II	3	1.0	2	秋AB	木4,5	瀬古澤 由彦,加藤 盛夫,松倉 千昭,王 寧,福田 直也,康 承源,浅野 敦之,清野 達之,津田 吉晃,トファエル アハメド,安久 絵里子	本実習は,生物資源生産科学入門のための基礎的実習科目である。実習はT-PIRC農場と山岳科学センター筑波実験林で行われ,生物資源生産学の理論と技術を体験的に理解・習得することを通じ,生物資源生産科学への認識を深めることを目的とする。	生物資源学類生優先。【定員50名】(コース共通)農林生物学コース 応用生命化学コース 環境工学コース 社会経済学コース EC25123を修得済みの者は履修できない。 対面
EC25153	分析化学基礎実験	3	2.0	2	春C	集中	加香 孝一郎,吉田 滋樹,浅野 眞希,古川 純,橋本 義輝,春原 由香里,市川 創作	定量分析を行う上で、基礎的なガラス器具や機器の取り扱いを学び、分析化学の基礎的な実験を行う。各実験項目に含まれる実験操作に加えて、その化学反応や理論を学ぶとともに、測定結果の取り扱いについても理解を深める。	(コース共通)農林生物学コース 応用生命化学コース 環境工学コース 対面 使用する実験室についてはmanabaを確認すること。

専門科目I(応用生命化学コース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC22051	環境化学	1	2.0	2	春AB	木1,2	山路 恵子,浅野 眞希	土壌・水・大気に関する基礎的な化学的諸側面を述べ,種々の原因によるそれらの汚染のプロセス,影響評価,さらに生物圏とのかかわり及びその意味について講述する。	【受入上限数100名】生物資源学類生を優先とする。横断領域科目「環境」 対面
EC22071	植物機能化学	1	2.0	2	秋AB	金3,4	繁森 英幸,古川 純,宮前 友策,山田 小須弥,春原 由香里	植物は動物と異なり、自らの意志でその生活の場を変えることができないために、無機的(光、重力、水など)および有機的(他の生物など)環境変化に敏感に応答し、生命の維持や種の繁栄を図っていると考えられている。本講義では、植物の成長や分化に関わる植物ホルモンの作用や植物の生活環に関わる生理活性物質の役割について解説する。さらに、植物の栄養、食糧や機能性食品としての植物、特殊環境下における植物の応答、植物の示す不思議な生理現象の化学的な解明についてトピックスを交えながら概説する。	横断領域科目「食料」 実務経験教員 対面
EC22081	細胞生物学	1	2.0	2	秋AB	水5,6	木村 圭志,柏原 真一,兼森 芳紀	さまざまな生命現象を細胞レベルで概説し,細胞質と各種細胞小器官の機能とシグナル認識・応答ネットワーク機構などを習得する。	対面
EC22091	生命科学のための物理化学	1	1.0	2	春AB	木3	市川 創作,小川 和義	自然界におけるいろいろな現象は,体系化された熱力学を学習することによって論理的に理解することができる。生化学,生物学及びこれらの応用分野における物理化学的諸現象についても同様である。そのため,まず熱力学について説明し,エンタルピーやエントロピーの概念を理解する。そのうえで,化学ポテンシャル,相平衡,気体,溶液,化学平衡などについての基本的事項を解説する。	EC22061を修得済みの者は履修できない。 対面
EC22101	微生物学	1	2.0	2	秋AB	火1,2	中島(神戸) 敏明	微生物は生物界の3つのドメイン(細菌,古細菌,真核生物)のすべてにわたって分布し,高等動植物が存在できない極限環境にも幅広く生息している。微生物は多様な物質を栄養源・エネルギー源として生育し,地球上の物質循環を担っている生物群である。本講義では,微生物の特徴,分離・培養,代謝,遺伝から応用まで,微生物学のエッセンスをわかりやすく解説する。	対面
EC22111	基礎生物化学工学	1	2.0	2	秋AB	月1,2	青柳 秀紀,市川 創作,野村 名可男,平川 秀彦,小川 和義,高橋 将人	生物化学工学は、生物または生物が関与する有用物質を定量的・経済的に取り扱うために生まれた学問であり、その対象は発酵、食品製造・加工、環境浄化、ワクチン等医薬品製造、有用天然物の分離精製、人工臓器等の再生医療、バイオ燃料生産など、極めて広範囲に及ぶ。このため、現在の私たちの社会・産業は生物化学工学なしに成立しない。しかし、その対象が広がったために、「生物化学工学とは何か」がわかりにくくなっているのも事実である。そこで、この授業では具体的な例を示しながら生物化学工学を概観し、生物化学工学を学ぶことの重要性を理解すると共に、生物化学工学を理解するために必要な事項等を含めた生物化学工学の基礎を講義する。	対面
EC22113	バイオテクノロジー基礎実験	3	2.0	2	秋AB 夏季休業中	月4-6 集中	青柳 秀紀,繁森 英幸,高谷 直樹,野村 暢彦,柏原 真一,兼森 芳紀,野村 名可男,宮前 友策,高橋 将人	本実験では、バイオテクノロジー(環境、生化学、微生物、動・植物、生物化学工学)に関する研究を行う上でその基礎となる実験手法や幅広い考え方を総合的に学ぶ。	70名を限度とする。 対面
EC22131	食品バイオテクノロジー	1	1.0	2	春AB	木6	吉田 滋樹,中島(神戸) 敏明	食品分野ではバイオテクノロジーを用いた種々の商品が開発されている。本授業では、動物、植物、微生物が持つ様々な機能や内在する成分を利用した食品開発や食品加工について、具体例を交えて解説する。	横断領域科目「食料」 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC22141	酵素化学	1	1.0	2	秋C	火5,6	橋本 義輝	生命現象の多くは酵素と呼ばれる触媒分子によりコントロールされている。酵素の理解は、生命科学の基礎研究にとどまらず、医薬品や食品開発等の産業面においても不可欠である。本講義では、酵素の役割、種類、性質等の基礎知識だけでなく、その応用についても学ぶ。	対面
EC25013	農林生物学基礎実験	3	1.0	2	春AB	火4,5	高橋 真哉,野中 聡子,木下 奈都子,古川 誠一,菅谷 純子,瀬古澤 由彦,浅野 敦之,川田 清和,吉岡 洋輔,阿部 淳一,ピーター,柴 博史,草野 都,飯島 大智,藏滿 司夢	農林生物(資源生物)の生理および生態についての分析・解析法と形態観察法の基礎を修得する。	(コース共通) 農林生物学コース 応用生命化学コース 対面 第1回(4月14日)の前までに、ガイダンスビデオを視聴すること。
EC25021	生化学	1	2.0	2	春AB	水5,6	加香 孝一郎,大徳 浩照,宮前 友策	生体の主要な構成成分であるタンパク質,脂質,糖質,核酸の構造と機能,さらには代謝反応について,実際の生命現象との関わり合いを例にとり解説する。	基幹科目(コース共通) 応用生命化学コース 環境工学コース 対面
EC25031	分析化学	1	2.0	2	秋AB	水3,4	古川 純,宮前 友策	さまざまな生命現象に関与する物質の抽出・分離・精製方法と物質の構造・機能解析法やその応用について概説する。	(コース共通) 応用生命化学コース 環境工学コース 実務経験教員 対面
EC25041	有機化学	1	2.0	2	春AB	火1,2	柏原 真一,繁森 英幸	低分子だけでなく高分子を含めた有機化合物の基本的構造と反応について概説し,生命現象をつかさどる物質の化学的基礎を習得する。	基幹科目 (コース共通) 応用生命化学コース 環境工学コース 対面
EC25051	分子生物学	1	2.0	2	秋AB	木1,2	中村 顕	生命現象はその全てが遺伝子に予めプログラムされている。本講義では,遺伝子の複製,転写,翻訳というセントラルドグマの各段階や遺伝子発現調節について,そのメカニズムを含めて講義する。	基幹科目 (コース共通) 農林生物学コース 応用生命化学コース 環境工学コース 対面
EC25133	生物資源生産科学実習I	3	1.0	2	春AB	木4,5	瀬古澤 由彦,加藤 盛夫,松倉 千昭,王 寧,福田 直也,康 承源,清野 達之,トファエル アハメド,安久 絵里子	本実習は,生物資源生産科学入門のための基礎的実習科目である。実習はT-PIRC農場と山岳科学センター筑波実験林で行われ,生物資源生産学の理論と技術を体験的に理解・習得することを通じ,生物資源生産科学への認識を深めることを目的とする。	生物資源学類生優先。【定員50名】(コース共通)農林生物学コース 応用生命化学コース 環境工学コース 社会経済学コース EC25123を修得済みの者は履修できない。 対面
EC25143	生物資源生産科学実習II	3	1.0	2	秋AB	木4,5	瀬古澤 由彦,加藤 盛夫,松倉 千昭,王 寧,福田 直也,康 承源,浅野 敦之,清野 達之,津田 吉晃,トファエル アハメド,安久 絵里子	本実習は,生物資源生産科学入門のための基礎的実習科目である。実習はT-PIRC農場と山岳科学センター筑波実験林で行われ,生物資源生産学の理論と技術を体験的に理解・習得することを通じ,生物資源生産科学への認識を深めることを目的とする。	生物資源学類生優先。【定員50名】(コース共通)農林生物学コース 応用生命化学コース 環境工学コース 社会経済学コース EC25123を修得済みの者は履修できない。 対面
EC25153	分析化学基礎実験	3	2.0	2	春C	集中	加香 孝一郎,吉田 滋樹,浅野 眞希,古川 純,橋本 義輝,春原 由香里,市川 創作	定量分析を行う上で、基礎的なガラス器具や機器の取り扱いを学び、分析化学の基礎的な実験を行う。各実験項目に含まれる実験操作に加えて、その化学反応や理論を学ぶとともに、測定結果の取り扱いについても理解を深める。	(コース共通)農林生物学コース 応用生命化学コース 環境工学コース 対面 使用する実験室についてはmanabaを確認すること。

専門科目I(環境工学コース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC23011	実用解析I	1	1.0	2	春AB	月2	小林 幹佳,杉本 卓也	生物資源学や農学で対象とする種々の現象をモデル化するための基礎となる方程式の導出と解法さらにはその実用的な理解を深める。	基幹科目 対面
EC23021	実用解析II	1	1.0	2	秋AB	金5	杉本 卓也,小林 幹佳	実用解析Iの理解に基づいて,偏微分方程式への応用を志向したテンソル解析を扱う。テンソル解析についてはアインシュタインの総和規約,行列式,余因子展開に付随するテンソルの基礎を扱い,流れ方程式への応用については応力テンソルの対称性,フーリエ変換を使った流れ方程式の解法およびその発展を扱う。	対面
EC23041	材料力学	1	2.0	2	秋AB	月3,4	小幡谷 英一	機械や構造物に外力が作用したときの各部に生じる応力や変形,材料の強度に関する基礎的な知識を習得する。	EC23041 を修得したものは履修できない。 対面
EC23081	高分子科学	1	2.0	2	秋C	月・金3,4	小幡谷 英一,中川 明子	セルロースをはじめとする天然高分子の構造や化学的性質、高分子を利用する上で重要となる粘弾性の基礎を学ぶ。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC23133	環境工学基礎実験	3	1.0	2	春AB	金5,6	中川 明子,内海 真生,小林 幹佳,雷 中方,杉本 卓也,原 田,粉川 美踏,小幡谷 英一,ゲオンゾン レスター カンケ	水,土,圃場,森林,大気などの生産環境やバイオマス,食品などの生物資源を対象として,これらの特性を明らかにする諸理論,試験,計測,解析のための基礎的手法を理解・習得する。また実験を通じて,環境工学的なアプローチや科学技術研究における問題の発見とその解決のための実践的能力を養成する。	生物資源学類生に限る(受入上限数30名)。EC23113、EC23113、EC23123を修得済みの者は履修できない。EG60663と同一。 対面
EC23203	生物資源科学情報処理実習	3	1.0	2	秋AB	火5,6	水野谷 剛,ヤバール モスタセロ ヘルムート	実験や実習で収集したデータの処理技法について生物資源学類の授業に関連した題材を取り上げる。	EC23103を修得済みの者は履修できない。 対面
EC23211	熱・物質移動の科学I	1	1.0	2	春AB	金1	粉川 美踏	熱および物質移動に関する基礎理論を平易に解説する。熱や物質移動理論の生体や自然界への適用及び応用例を講述する。	基幹科目 EC23051 を修得済みの者は履修できない。 対面
EC23231	土の物理学I	1	1.0	2	春AB	水3	杉本 卓也	不均一な場である土壌,水環境を解析するための物理学および移動現象論的方法論の基礎を学ぶ。特に生物生産,環境保全,食品,生物材料の基礎を学ぶ立場から必要となる土壌物理学の基礎と関連する基礎的なコロイド界面科学について取り扱う。	基幹科目「土の物理学」(EC23061)を修得済みの者は履修できない。 対面
EC23241	土の物理学II	1	1.0	2	秋AB	火4	小林 幹佳,杉本 卓也	土の物理学Iで学んだ基礎を踏まえ、土の理工学的な性質や土に関わる諸問題に対する工学的アプローチの基礎を習得する。	EC23061 を修得済みの者は履修できない。 対面
EC23251	流れの科学I	1	1.0	2	春AB	月1	小林 幹佳	水を中心に流れに関する現象とそこで成立する基本的な力学的法則について講述し,現象の理解と工学的応用を考える.静水力学,ベルヌイの定理,エネルギーの損失,運動量の法則などを内容とする.	基幹科目 EC23071 を修得済みの者は履修できない。 対面
EC23261	流れの科学II	1	1.0	2	秋AB	木3	小林 幹佳	流れの科学I,実用解析Iの理解をもとに,流れ場を記述する方法について学ぶ.オイラーの運動方程式,ナビエ・ストークス方程式やそれらの応用などを内容とする.	EC23071 を修得済みの者は履修できない。 対面
EC25011	生態学	1	2.0	2	春AB	月3,4	上條 隆志,清野 達之,川田 清和,津田 吉晃	生態系や個体群など生物のマクロな世界を対象とする生態学の基礎と、それを元とした環境保全、生物多様性保全、生物資源の持続的利用についても講述する。	基幹科目（コース共通）農林生物学コース 環境工学コース 横断領域科目「環境」 対面
EC25021	生化学	1	2.0	2	春AB	水5,6	加香 孝一郎,大徳 浩照,宮前 友策	生体の主要な構成成分であるタンパク質,脂質,糖質,核酸の構造と機能,さらには代謝反応について,実際の生命現象との関わり合いを例にとり解説する。	基幹科目(コース共通)応用生命化学コース 環境工学コース 対面
EC25031	分析化学	1	2.0	2	秋AB	水3,4	古川 純,宮前 友策	さまざまな生命現象に関与する物質の抽出・分離・精製方法と物質の構造・機能解析法やその応用について概説する。	(コース共通) 応用生命化学コース 環境工学コース 実務経験教員 対面
EC25041	有機化学	1	2.0	2	春AB	火1,2	柏原 真一,繁森 英幸	低分子だけでなく高分子を含めた有機化合物の基本的構造と反応について概説し,生命現象をつかさどる物質の化学的基礎を習得する。	基幹科目 (コース共通) 応用生命化学コース 環境工学コース 対面
EC25051	分子生物学	1	2.0	2	秋AB	木1,2	中村 顕	生命現象はその全てが遺伝子に予めプログラムされている。本講義では,遺伝子の複製,転写,翻訳というセントラルドグマの各段階や遺伝子発現調節について,そのメカニズムを含めて講義する。	基幹科目 (コース共通) 農林生物学コース 応用生命化学コース 環境工学コース 対面
EC25071	森林資源経済学	1	2.0	2・3	秋AB	集中	興梠 克久,立花 敏	森林の持続可能な管理・利用に向けた方策を検討すべく,森林資源の態様や変化,林産物の生産・消費と流通・貿易,市場の失敗や経済評価,木材産業等に関して理論的実証的に講述する。	基幹科目(2024年度以前入学者対象)(コース共通) 環境工学コース 社会経済学コース 横断領域科目「環境」「国際」 西暦偶数年度開講。 対面
EC25133	生物資源生産科学実習I	3	1.0	2	春AB	木4,5	瀬古澤 由彦,加藤 盛夫,松倉 千昭,王 寧,福田 直也,康 承源,清野 達之,トファエル アハメド,安久 絵里子	本実習は,生物資源生産科学入門のための基礎的実習科目である。実習はT-PIRC農場と山岳科学センター筑波実験林で行われ,生物資源生産学の理論と技術を体験的に理解・習得することを通じ,生物資源生産科学への認識を深めることを目的とする。	生物資源学類生優先。【定員50名】(コース共通)農林生物学コース 応用生命化学コース 環境工学コース 社会経済学コース EC25123を修得済みの者は履修できない。 対面
EC25143	生物資源生産科学実習II	3	1.0	2	秋AB	木4,5	瀬古澤 由彦,加藤 盛夫,松倉 千昭,王 寧,福田 直也,康 承源,浅野 敦之,清野 達之,津田 吉晃,トファエル アハメド,安久 絵里子	本実習は,生物資源生産科学入門のための基礎的実習科目である。実習はT-PIRC農場と山岳科学センター筑波実験林で行われ,生物資源生産学の理論と技術を体験的に理解・習得することを通じ,生物資源生産科学への認識を深めることを目的とする。	生物資源学類生優先。【定員50名】(コース共通)農林生物学コース 応用生命化学コース 環境工学コース 社会経済学コース EC25123を修得済みの者は履修できない。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC25153	分析化学基礎実験	3	2.0	2	春C	集中	加香 孝一郎,吉田 滋樹,浅野 眞希,古川 純,橋本 義輝,春原 由香里,市川 創作	定量分析を行う上で、基礎的なガラス器具や機器の取り扱いを学び、分析化学の基礎的な実験を行う。各実験項目に含まれる実験操作に加えて、その化学反応や理論を学ぶとともに、測定結果の取り扱いについても理解を深める。	(コース共通)農林生物学コース　応用生命化学コース　環境工学コース 対面 使用する実験室についてはmanabaを確認すること。

専門科目I(社会経済学コース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC24051	農村社会学	1	2.0	2				土地資源を主な生産・生活手段としてきた農山村社会は,戦後の経済成長にともなって大きな変動をとげている。この講義では,農山村社会の構造的な特徴と変動過程について理論的・実証的に考察し,現代日本社会および地域社会に内在する農山村的特質と,農山村社会の再構築について論じる。	基幹科目(2024年度以前入学者対象)横断領域科目「食料」「環境」「国際」　履修生の上限を100名とし、上限を超えた場合には、生物資源学類生/社会学類生/他学類生の順に抽選。 西暦奇数年度開講。 BB11531と同一。 対面
EC24132	統計学基礎演習	2	1.0	2	春C夏季休業中	応談	首藤 久人	統計学入門で修得した知識を実際の統計分析に応用するために,オープンソースウェアの統計解析ソフトRを用いた統計分析の演習を行う。	生物資源学類生のうち,「統計学入門」の単位を修得した学生に限る。 対面
EC24141	国際資源開発経済学	1	2.0	2	秋AB	月5,6	首藤 久人	各国の農業発展経路の類似性や差異,農業における生産活動と資源・環境保全との関係についての経済学的アプローチ,多国間の食料・農産物貿易といった資源と経済発展をとりまく国際的な諸問題について講述する.	横断領域科目「食料」「国際」　EC24021を修得済みの者は履修できない。 対面
EC24152	農林業政策学基礎演習A	2	2.0	2	春AB	月5,6	興梠 克久,髙田 純	食料・農業・農村白書および森林・林業白書の題材を演習形式で輪読し、相互に討論を行う。あわせて農林業政策の現状と課題を解明するための統計・資料類の読解力を養う。	対面
EC24162	農林業政策学基礎演習B	2	1.0	2	春C	月5,6	興梠 克久,髙田 純	食料・農業・農村政策および森林・林業政策の最新トピックについて演習形式で討論を行う。	対面
EC25061	生物資源経済学	1	2.0	2	春AB	金3,4	首藤 久人	経済発展と農業,食料の需要と供給,資源・環境と農業,農産物貿易,フードシステムといった食料・農業を取り巻く諸問題について,経済学的な視点から講述する。	基幹科目 横断領域科目「食料」「環境」（コース共通）農林生物学コース 社会経済学コース 対面
EC25071	森林資源経済学	1	2.0	2・3	秋AB	集中	興梠 克久,立花 敏	森林の持続可能な管理・利用に向けた方策を検討すべく,森林資源の態様や変化,林産物の生産・消費と流通・貿易,市場の失敗や経済評価,木材産業等に関して理論的実証的に講述する。	基幹科目(2024年度以前入学者対象)(コース共通) 環境工学コース 社会経済学コース　横断領域科目「環境」「国際」 西暦偶数年度開講。 対面
EC25081	森林管理学	1	2.0	2	秋AB	月1,2	興梠 克久	森林資源の管理と利用,保全に関する理論的枠組み(森林科学、特に林政学,森林計画学,森林利用学)と歴史および現状を紹介し,持続的森林管理の構築に向けた課題を検討する。	基幹科目(2025年度以降入学者対象) (コース共通) 農林生物学コース　社会経済学コース 横断領域科目「環境」 対面
EC25133	生物資源生産科学実習I	3	1.0	2	春AB	木4,5	瀬古澤 由彦,加藤 盛夫,松倉 千昭,王 寧,福田 直也,康 承源,清野 達之,トファエル アハメド,安久 絵里子	本実習は,生物資源生産科学入門のための基礎的実習科目である。実習はT-PIRC農場と山岳科学センター筑波実験林で行われ,生物資源生産学の理論と技術を体験的に理解・習得することを通じ,生物資源生産科学への認識を深めることを目的とする。	生物資源学類生優先。 【定員50名】(コース共通)農林生物学コース 応用生命化学コース 環境工学コース 社会経済学コース EC25123を修得済みの者は履修できない。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC25143	生物資源生産科学実習II	3	1.0	2	秋AB	木4,5	瀬古澤 由彦,加藤 盛夫,松倉 千昭,王 寧,福田 直也,康 承源,浅野 敦之,清野 達之,津田 吉晃,トファエル アハメド,安久 絵里子	本実習は,生物資源生産科学入門のための基礎的実習科目である。実習はT-PIRC農場と山岳科学センター筑波実験林で行われ,生物資源生産学の理論と技術を体験的に理解・習得することを通じ,生物資源生産科学への認識を深めることを目的とする。	生物資源学類生優先。【定員50名】(コース共通)農林生物学コース 応用生命化学コース 環境工学コース 社会経済学コース EC25123を修得済みの者は履修できない。対面

専門科目II(農林生物学コース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC31011	作物学	1	2.0	3	春AB秋AB	月2	加藤 盛夫,松倉 千昭	普通作物のうち世界で栽培されているイネ科作物、マメ類、イモ類、雑穀などの食用作物を対象に,その来歴,品種,生理生態的特性,栽培管理技術,品質など,生産・利用のうえで知っておくべき要点を講述する。	横断領域科目「食料」対面
EC31012	植物科学の動向	2	1.0	2・3				本授業では植物科学における最新の研究動向に着目する。害虫ストレス、環境ストレス、化学生態学、植物間コミュニケーション、バイオイメージング、合成生物学、精密農業などから、毎年異なる分野を設定する。近年報告された論文を読み、授業でディスカッションを行う。特に、最新の重要な技術に注目する。	EG60012と同一。隔年で日本語と英語で開講。定員18名 EC21011(植物生理学)、EC25051(分子生物学)履修済みの物に限る。それ以外は直接教員へ連絡すること。西暦奇数年度開講。対面
EC31031	作物生産システム学	1	1.0	3				農業の近代化によって発展した生産技術を体系的に理解すると共に作付体系の概念や長期作付試験などから作物生産の持続性や作物生産システムの将来のあるべき姿について考える。	横断領域科目「食料」2026年度開講せず。対面
EC31041	蔬菜生産学	1	2.0	3	春AB 秋AB	火3 火2	福田 直也,康 承源,野中 聡子	わが国における蔬菜栽培の現状を概観し,蔬菜の種類・品種の特徴を述べ,育種・栽培技術,施設利用,作型などの現状について解説する。	横断領域科目「食料」対面
EC31051	果樹生産利用学	1	2.0	3	春AB秋AB	金2	菅谷 純子,瀬古澤 由彦	果樹産業,果樹の種類と繁殖,栽培環境,果実発育と栄養生理,栽培技術,収穫後果実の生理と取り扱い等について総論的に解説し,さらに代表的な常緑果樹,落葉果樹,熱帯果樹ついての各論を講述する。	横断領域科目「食料」対面
EC31061	植物病理学	1	2.0	3	春AB秋AB	金3	石賀 康博,阿部 淳一 ピーター	植物病理学の内容を概説し、特に病原体の分類、生理、生態等の生物学的諸性質、宿主植物と病原体との相互作用、様々な病害防除法の利点と問題点について解説する。さらに、主要農作物、森林樹木の重要な病気について、診断に必要な病徴、病原体の形態、防除に必要な植物への感染・伝染経路、ならびに防除法について具体的に紹介する。	横断領域科目「食料」対面
EC31071	応用動物昆虫学	1	2.0	3	春AB秋AB	木3	古川 誠一	昆虫を含めた様々な動植物が生物資源生産において影響を及ぼしている。これらの生物の特性や機能を理解することで、より適切な総合的有害生物管理(IPM)を行うことができる。この講義では、農業上重要な昆虫を取り上げ、その形態、生理、行動、生態、適応性、機能利用などについて詳説し、様々な管理手段をいかに組み合わせて害虫管理を行うべきかを解説する。	横断領域科目「食料」対面
EC31111	工芸作物学	1	1.0	3	春AB	水6	加藤 盛夫,林 久喜	収穫物が工業的変換過程を経て人類に利用されている繊維料作物,油料作物,糖料作物,澱粉料作物,嗜好料作物などの工芸作物について,その多様性,特徴と利用ならびに生産について体系的に講述する。	横断領域科目「国際」西暦偶数年度開講。対面
EC31171	植物寄生菌学	1	2.0	3	春AB秋AB	木1	阿部 淳一 ピーター,岡根 泉	植物には、病害を引き起こす植物病原菌、植物と共生している菌根菌や内生菌など、様々な菌類が寄生している。これら広義の植物寄生菌類の形態的、生態的、生理的特徴と菌類の分類体系について解説するとともに、主要な植物寄生菌類の分類、形態、寄生様式、生活環などを詳述する。	横断領域科目「環境」対面
EC31211	森林植物学	1	2.0	3	春AB	水1,2	上條 隆志	わが国の森林に自生する樹木を中心に,世界の森林植物の分類,見分け方,分布,名称,利用などについて具体的に解説する。	横断領域科目「環境」対面
EC31213	森林育成学実験	3	1.0	3	秋AB	木4-6	川田 清和,上條 隆志,清野 達之,津田 吉晃	森林を含む生態系の調査・実験・解析方法を学ぶ。農林生物学実験の森林コースと同一内容で行う。なお,農林生物学実験を履修するものは,本実験を履修することはできない。	「農林生物学実験」(EC31413)を履修するものは,本実験を履修することはできない。EC31293を修得済みの者は履修できない。対面
EC31253	植物寄生菌学実験	3	1.0	3・4	秋A 夏季休業中	水2,3 集中	岡根 泉,阿部 淳一 ピーター,石賀 康博	自然界において重要な役割を演じている菌類のうち,植物に寄生あるいは共生している菌類の採集法,観察法および同定法を修得させる。さらに,野外実習を通してこれら菌類の生態ならびに生態系における機能を学習させる。	夏期休業中に野外実習を実地する。15名を上限とする。対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC31271	動物生産学	1	1.0	3				食料が主目的だった動物生産は,発生工学技術の著しい進歩により,医薬品生産,病理疾患モデルの作製,絶滅危惧動物の保護の技術基盤になっている。本講義においては,動物生産の背景や技術理論を,生物学的・倫理的側面から解説する。さらに動物生産が利用する中核的生命科学現象を分かりやすく説明し、新たな動物作成や遺伝子操作技術の理論と実際、ならびにそのリスクについても言及する。	横断領域科目「食料」 EC31081を修得済みの者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
EC31301	動物機能生理学	1	1.0	3	春AB	水3	浅野 敦之	遺伝的に特殊化された資源動物の成り立ちを理解するには、各動物が身につけた機能と形態を繋ぐ生理機構を理解する必要がある。また生体における生理機構の種特異性は、生命科学の進歩を介して、医療、福祉、農業、食品分野など広く貢献している。本講義では、様々な資源動物において有用機能と制御に関わる生体機構を生理学的側面から解説する。また動物における生殖、発生分化、成長の類似と特異性を説明し、最新知見を合わせて食料生産、生命工学、病気治療技術への応用と展望を紹介する。	EC31201を修得済みの者は履修できない。 対面
EC31331	昆虫分子生物学	1	1.0	3・4	秋C	木3,4	古川 誠一	地球上の動物の中で最も種類が多く,多様な機能を示す昆虫類を対象に,分子レベルでその特徴を探っていく。ゲノム研究なども参考に,普遍的な生命現象だけでなく,昆虫類に特有な機能・生物間相互作用等も学ぶ。	対面
EC31371	飼料作物学	1	1.0	2・3				栄養価値の高い飼料作物を経済的に生産する観点から、飼料作物の種類、生理生態的特性および栄養的特性、栽培管理技術、飼料作物の収穫・調製・貯蔵システム、家畜と飼料作物の相互関係、飼料作物の給与などについて紹介する。	横断領域科目「食料」 西暦奇数年度開講。 対面
EC31381	植物ウイルス学	1	1.0	2・3				ウイルスの分類体系を紹介するとともに、植物に感染するウイルスの形態、複製、変異、伝染様式、媒介虫との関係、並びに、これらによって起こる植物の病徴発現、抵抗性、予防や治療法などに関する知見を体系的に概説し,あわせて今後の問題点を指摘する。	西暦奇数年度開講。 対面
EC31391	食品機能学	1	1.0	3	秋AB	水4	礒田 博子,高橋 真哉,フェルドウシ ファラハナ	本講義では,伝承的な食と薬の文化を持つ世界の様々な食資源の機能性に着目した研究事例を紹介する。生活習慣病をはじめとする種々の疾病の予防につながる機能性食品や化粧品の素材として利用される食資源由来機能性成分の実例を挙げ,その作用機序等について解説する。	横断領域科目「食料」 「国際」 実務経験教員 対面
EC31413	農林生物学実験	3	3.0	3	春AB秋AB	木4-6	高橋 真哉,野中 聡子,浅野 敦之,阿部 淳一 ピーター,礒田 博子,王 寧,上條 隆志,川田 清和,康 承源,木下 奈都子,草野 都,柴 博史,菅谷 純子,清野 達之,瀬古澤 由彦,津田 吉晃,福田 直也,古川 誠一,松倉 千昭,吉岡 洋輔,フェルドウシ ファラハナ,岡根 泉,藏滿 司夢,ロンバルド ファビエン クロード レノー,石賀 康博	春AB(第1回から第10回)と秋AB(第11回から第14回)では農林生物学の基礎的技術と解析法を習得するため、受講生全員が分子生物学的実験手法、生化学的実験手法、形態観察手法、遺伝学的実験手法などを学ための実験課題に取り組む。秋AB(第15回から第20回)では4年次で配属を希望する教員のもと学生実験を行う。	組換えDNA実験を含まない。秋ABの曜時限については、担当教員により応談になることもある。第1回(4月16日)の前までに、ガイダンスビデオを視聴すること。これとは別に教員の紹介等を対面ガイダンスで実施する。また、グループ分けのため、第1回の2日前までに履修登録をすること。R9年度以降、実験科目の再編のため、本科目は廃止になる可能性があります。 対面
EC31422	生物統計学演習	2	1.0	3	春C	月3,4	吉岡 洋輔	農林生物学分野の研究で広く用いられている統計解析ソフトを用いた演習を通して,生物統計学の各種解析法の理解を深める。	定員50名。農林生物学コース学生優先。 EC31421を修得済みの者は履修できない。 対面
EC31431	園芸生産技術論	1	1.0	3・4	秋C	金1,2	菅谷 純子,瀬古澤 由彦,福田 直也	蔬菜・花き・果樹を対象とした園芸生産における栽培技術は植え付けから収穫まで多様である。わけてもセル成形苗生産・施設栽培・発育モデル(休眠覚醒発芽予測)などは、園芸作物に特化した繁殖・育苗・環境制御に関わる生産技術である。これらについて概説するとともに、技術の背景にある植物の生理生態学的特性や、技術開発の基礎となる原理などについて説明する。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC31443	森林生物学実習	3	1.0	3	夏季休業中	集中	上條 隆志,清野 達之,山川 陽祐	山岳科学センター井川・八ヶ岳演習林及びその周辺の森林において、森林植物の観察、採集を行う。植物標本を作製するとともに、森林植物の分類学的、生態学的な知識を習得する。暖温帯、冷温帯、亜高山帯における80種から100種の樹木を観察・採集する。	宿泊の関係上、人数制限を行う場合がある。「森林植物学」(EC31211)を履修していることが望ましい。本実習履修希望者は必ずガイダンスに出席のこと。参集する場所についてはTWINS掲示板で確認すること。 対面
EC31461	森林遺伝学	1	1.0	3・4	春C	集中	津田 吉晃	森林生物の遺伝的な基礎知識を習得し、進化生物学、集団遺伝学的な知見から考えられる生態系から種、種内集団レベルの歴史的変遷や遺伝的多様性の知見を加味した保全方法や持続的な森林管理について学ぶ	EC31351 を修得済みの者は履修できない。 対面
EC31502	農林生物学コース専門演習	2	1.0	3	秋C	応談	松倉 千昭 他、農林生物学コース全教員	農林生物学コースで卒業研究を実施するにあたり必要となる手法や文献情報の入手方法並びに英語論文の読解力などの基礎能力を演習形式で身につける。	農林生物学コースの学生は全員履修を原則とする。 対面
EC31513	生物生産システム学実習	3	2.0	3	春AB 秋AB	金4,5 月4,5	瀬古澤 由彦,福田 直也,加藤 盛夫,康 承源,松倉 千昭,王 寧	T-PIRC農場で実施する。本実習は、植物資源を生産するための基本である栽培に関する基礎知識・技術の習得を目的とする。受講生は、作物学コース、園芸学コースのいずれかを選択する。	生物資源生産科学実習I・IIを受講していることが望ましい。 対面
EC31523	食と緑の農林生物学インターンシップ	3	2.0	3・4	通年	応談	松倉 千昭,高橋 真哉	農林業、食品、環境などに関連する国・地方公共団体、国立研究開発法人等の研究機関、他大学、民間企業、およびNPO法人などが公募するインターンシップに参加し、農林生物学分野に関連する知識・技術を習得する。	(インターンシップ)生物資源学類生に限る。CDP 対面
EC31533	アニマルサイエンス実験実習	3	1.0	2・3	春A 春B 春C	金4,5 集中 集中	浅野 敦之,長尾 慶和	家畜、畜産生産物、動物細胞の機能に関する基礎知識を学ぶと共に、それらの評価・分析方法を習得する。本科目は実験と実習をハイブリットで実施する。また実習の一部を宇都宮大学附属農場で実施する。	定員40名 農林生物学コース生優先 7/10-7/11 対面 春C集中は宇都宮大学附属農場にて実施(7/10-11予定)
EC31541	森林育成学	1	1.0	3	春C	集中	清野 達之,川田 清和	森林の持つ様々な機能や人工林の育成方法について解説する。森林を育成・保全するための基礎的な知識について、国内外の森林や林木の育種に関しての内容から講述する。	EC31091を修得済みの者は履修できない。 7/2-7/3 対面
EC31551	花卉学	1	2.0	3	春AB	月5,6	康 承源	花卉(観賞植物)の対象となる植物遺伝資源について、それぞれの育種、生産、流通体系を解説し、切花・鉢物・種苗生産ならびに社会園芸での利用面についても講述する。	EC31141及びEC31531を修得済みの者は履修できない。 対面
EC31561	発現・代謝ネットワーク制御学	1	1.0	3	春AB	火4	柴 博史,草野 都	本科目では、植物を対象としてセントラルドグマを拡張した新たな概念について 学習する。特にオミックスの観点から遺伝情報、エピジェティックな遺伝子発現 制御およびこれらの最終産物として位置付けられる代謝物レベルでの制御機構の 解明に必要な知識や測定技術を紹介する。本科目を通して植物が過酷な環境で生 き抜く生命活動を包括的に捉えることの重要性について概説する。	対面
EC35013	森林総合実習	3	1.0	3	夏季休業中	集中	清野 達之,小幡谷 英一,中川 明子,津田 吉晃	山岳科学センター八ヶ岳・川上演習林において、森林動植物の観察、樹木調査、森林管理の体験をするとともに、樹木の生態・生理に関する知識、動物と森林の関わりや森林の利用を習得して樹木と森林の役割を総合的に理解する。	(コース共通)農林生物学コース 環境工学コース EC31323を修得済みの者は履修できない。履修人数の制限を行う場合がある。実習のガイダンスと人数調整を行なうので本実習履修希望者は必ず出席すること。参集する場所についてはTWINS掲示板で確認すること。 対面
EC35021	植物育種学	1	2.0	3	春AB 秋AB	月4 金4	吉岡 洋輔,野中 聡子	作物の品種改良には,対象作物における遺伝的変異の創出・拡大,希望型の選抜・固定化および品種・系統の維持・増殖等に関する知識と技術が必要とされる。本講義では(1)育種学の基礎,(2)植物遺伝資源の収集と保存,(3)遺伝的変異の創出・拡大技術と育種法,および(4)主要作物における育種目標について概説する。	(コース共通) 農林生物学コース、環境工学コース、横断領域科目「食料」「国際」 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC35101	林業経営体論	1	2.0	3	春AB	月1,2	興梠 克久	森林環境と人間社会の諸々の相互関係を社会科学的に追究する一環として,持続可能な地域森林管理(SFM)の主体形成の理論的枠組み(主として政治経済学、環境社会学および村落社会学等),実証研究の紹介およびSFM構築に向けた課題を検討する。	「森林環境社会論」(EC34071)、「林業経営体論」(EC34071)を修得した者は履修できない。（コース共通） 農林生物学コース　社会経済学コース 横断領域科目「環境」「国際」 対面

専門科目II(応用生命化学コース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC32011	分子情報制御学	1	2.0	3	春AB	火5,6	木村 圭志	人間のからだはさまざまな分子のネットワークによって維持されている。本講義では,これらの分子機構に焦点をあて,細胞の増殖・分化・老化・がん化との関係についても解説する。	対面
EC32021	微生物オムニバス	1	1.0	3	春C	金1,2	竹下 典男,應 蓓文,浦山 俊一,八幡 穣,橋本 義輝	環境、医薬・農学、発酵・バイオ工学など幅広い分野に関わる微生物(細菌、真菌、ウイルスなど)について、最新のテクノロジーとホットトピックなサイエンスをオムニバス形式で紹介する。	定員130名。生物資源学類生優先。 対面
EC32031	分子発生制御学	1	2.0	3	春AB	木1,2	柏原 真一,兼森 芳紀	ひとつの受精卵から個体が発生していく現象の高次制御機構を分子(遺伝子)・細胞レベルで解説し,生命の連続性を理解させる。また,その発生制御機構が食料・医薬品生産や生殖・再生医療,および環境問題などへどのように応用できるかに関しても概説する。	対面
EC32051	生物化学工学I	1	1.0	3	春AB	木3	青柳 秀紀,高橋 将人	微生物細胞の培養に関連する生物化学工学的内容を概説する。主な内容は微生物細胞の諸特性,微生物細胞の代謝と細胞増殖,微生物細胞の反応速度論,培地の殺菌,微生物細胞の培養操作。	対面
EC32061	生物化学工学II	1	1.0	3	春AB	火3	市川 創作,平川 秀彦	バイオサイエンスの進歩は多くの産業の発展に貢献してきた。その発展を実現してきた生物化学工学の基礎を体系的に学ぶ一環として、本科目では、固定化酵素やバイオリアクターの基礎的理解、及び有用物質の生産技術などに焦点を当てる。	対面
EC32081	細胞培養工学	1	1.0	3	秋AB	火3	青柳 秀紀	植物バイオの基盤となる植物細胞,プロトプラスト,組織,器官の細胞培養工学に関する歴史と現状,植物バイオの可能性と社会的意義について概説する。主な内容は植物細胞の諸特性,植物細胞培養の動力学,培養環境の定量的評価,代謝工学,有用物質生産や環境浄化を行う各種バイオリアクター。	対面
EC32121	応用微生物学	1	2.0	3	秋AB	水3,4	高谷 直樹	微生物は自然界の物質循環に不可欠な存在であるばかりでなく,古くから発酵食品等に利用されてきた。現在,応用微生物学の分野は,農学,工学,理学,医学,環境等の分野にまたがり重要な位置を占めている。微生物の持つ有用な機能を理解出来るように,微生物に関する基礎知識から応用面まで解説する。	対面
EC32131	微生物分子遺伝学	1	2.0	3	春AB	月1,2	野村 暢彦	微生物における分子生物学を中心に講義する。セントラルドグマは動物・植物・微生物全てにおいて共通であるが,微生物だからこそ有する遺伝子あるいは発現調節機構も多く存在する。それらについての基礎を解析手法もあわせて講義する。また,医薬・食品・化学さらに環境などの分野に関与する微生物の分子遺伝学についても講義を展開する。	対面
EC32161	土壌科学	1	2.0	3	秋AB	金3,4	浅野 眞希	農耕地・森林生態系の基盤として極めて重要な土壌について,その基本的な諸側面(土壌の生成・構造・機能)を解説した後,土壌の管理・保全方法ならびに土壌の環境変化応答などの応用的な諸側面について解説する。講義を通して,土壌資源の現状と将来を考える。	横断領域科目「環境」 対面
EC32171	植物栄養学	1	2.0	3	春AB	火1,2	古川 純	植物は自然界から効率よく栄養元素を取り込み、自身の成長や分化に利用しています。植物における必須元素の機能と代謝を中心に肥料、土壌および環境との関連について本科目で説明します。当該学術分野における最近の研究についても各時間で紹介します。	対面
EC32181	植物環境感応学	1	2.0	3	秋AB	金1,2	山田 小須弥,山路 恵子	地球温暖化や化学物質による土壌汚染など,人類の活動に伴う環境変動に対する植物の感知・応答機能について概説し,こうした感応機能を利用した環境保全や修復,ならびに,環境変動に対する植物の適応性について考察する。さらに、無機的あるいは有機的ストレスに対する植物の応答メカニズムについて、関連する植物ホルモンならびに生理活性物質の働きを中心に概説する。	横断領域科目「環境」 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC32191	生物資源天然物化学	1	2.0	3	春AB	金1,2	繁森 英幸,宮前 友策	植物が具備する様々な環境応答機能に着目し,それぞれの機能発現に密接に関与する植物ホルモンを含む生理活性物質について,その発見の経緯,構造と機能及び最近の研究動向を解説する。また,植物の生理活性物質と生活,植物と動物や微生物との生物間コミュニケーションに関わる化学物質ならびに植物と環境間で働く物質について,天然物化学,生物有機化学的観点から解説するとともに,これらの物質が関与する医薬品や農薬の開発に関しても最近のトピックスを交えながら紹介する。	横断領域科目「食料」 対面
EC32201	システム生物工学	1	1.0	3	春C	火3,4	應 蓓文,アンドリュー ウタダ,竹下 典男	(微)生物の振る舞いを定量的に理解するための原理、技術と応用を学ぶ。生物学、工学、情報科学、数理統計学など分野横断型の知の融合を理解する。	日本語と英語、両方で講義する。 EG60691と同一。 対面
EC32213	応用生命化学コース専門実験	3	6.0	3	春ABC	水・木・金4-6	柏原 真一,木村 圭志,加香 孝一郎,兼森 芳紀,松山 茂,南雲 陽子,市川 創作,青柳 秀紀,野村 名可男,小川 和義,中村 顕,高谷 直樹,中島(神戸) 敏明,野村 暢彦,橋本 義輝,應 蓓文,浅野 眞希,吉田 滋樹,山路 恵子,山田 小須弥,繁森 英幸,宮前 友策,桝尾 俊介,アンドリュー ウタダ,浦山 俊一,八幡 穣,平川 秀彦,竹下 典男,古川 純,春原 由香里,高橋 将人	本実験は,応用生命化学コース3年次生を対象に,同コースで卒業研究を行うのに必要な実験手法や考え方を習得する。	遺伝子組換え実験を含む内容のため、遺伝子組換え実験従事者登録されていない者は履修できない。 対面 使用する実験室についてはmanabaを確認すること。
EC32221	生物プロセス工学	1	1.0	3	春AB	金3	野村 名可男	生物プロセス工学の視点から、動物細胞工学の基礎知識である、哺乳類動物細胞の培養の意義、細胞の増殖制御機構の特性、細胞周期、増殖促進因子の情報伝達、細胞外足場の作用機序、細胞の不死化、癌化の発生機構、再生医療への応用について概説する。また、生物プロセス工学で扱う、環境生態工学の基礎知識についても概説する。これにより、汎用性の高い生物プロセス工学の基本的な学問手法や対象の多様性について修得する。	横断領域科目「環境」 EC32071、EC32111、EG60581、EG60111を修得済みの者は履修できない。 EG60701と同一。 英語で授業。 G科目 対面
EC32231	土壌微生物生態学	1	1.0	2・3				細菌・糸状菌・放線菌などの土壌微生物の分類と生態について解説する。特に,土壌生態系の物質循環において重要な役割を果たす各種微生物について,その生化学的反応や研究方法について概説する。	横断領域科目「環境」 西暦奇数年度開講。 対面
EC32233	土壌調査法実習	3	1.0	3	春C	集中	浅野 眞希,津田 吉晃	調査対象地域に分布する森林土壌の生成環境(土壌生成因子)についての理解を深め、土壌断面の観察とその記載に基づく土壌調査法を実習する。この実習を通して、森林生態系における土壌の役割について考える。	詳細はシラバス参照のこと。事前に実習ガイダンスを行うので受講希望者は必ず出席すること。EC32223を修得した者は履修できない。8/7-8/9開講予定(開講日が変更される場合がある。実習ガイダンスにて開講日を連絡する)。筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所にて開講。 対面
EC32241	食品栄養化学	1	1.0	3	春AB	月6	吉田 滋樹	糖,脂質,タンパク質,ビタミンなどの食品の主要構成成分の生体における働き,およびその吸収や代謝について講義すると共に,食の不適当な摂取と疾病との関連についても概説する。	横断領域科目「食料」 対面
EC32251	食品化学	1	1.0	3	春AB	水3	吉田 滋樹	食品の種々の構成成分の構造とその化学的性質,それらの性質に基づいた食品成分の分析法、食品の加工特性や成分変化、食品成分の機能性および安全性などについて解説する。	横断領域科目「食料」 対面
EC32282	応用生命化学コース専門演習I	2	2.0	3	秋AB	木4,5	松山 茂,橋本 義輝,吉田 滋樹,中島(神戸) 敏明,野村 名可男,兼森 芳紀,浦山 俊一	生命科学実験で頻繁に用いる実験手法の原理や、それら実験手法の実際の具体的応用例について演習形式で学ぶ。	対面
EC32292	応用生命化学コース専門演習II	2	2.0	3	秋C	応談	松山 茂 他、応用生命化学コース卒業研究指導教員	卒業研究を始めるにあたり、関連分野の英語論文の検索方法や関連データの取得方法を学ぶと共に、英語論文の読解力を身につける。さらに、読んだ英語論文を実際の研究に役立てるノウハウを学ぶ。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC32301	生体模倣化学	1	1.0	3	秋AB	月4	小川 和義	高分子化学の基礎を述べた後に、生体系(主として細胞内)で起こる物質(分子)認識、物質輸送、物質変換、及びエネルギー変換の機構を科学的に捕え、人工の材料を用いて生体系と類似の機能を発現させる為の手法と、その人工材料系の生物工学や医工学の分野への応用に関して口述する。	対面
EC32311	環境植物生態化学	1	2.0	3	春AB	月4,5	山路 恵子,春原 由香里	生態系における植物の化学的反応についてとりあげる。授業全般を,人類の活動に伴う生態系の変化に対する植物の反応と,他の生物(植物,微生物,昆虫)との関わり合いにおける植物の反応との2つに分けて,化学的視点から概説し,植物の持つ化学的な環境応答機構について考察する。	EC42031を修得済みの者は履修できない。 対面
EC32341	バイオサイエンストピック	1	1.0	3	春C	集中	柏原 真一,木村 圭志,大徳 浩照,兼森 芳紀,南雲 陽子	バイオサイエンスに関する先端コンセプトやテクノロジーなどを概説し,将来の基礎・応用研究の方向性を模索する。	EC32041を修得済みの者は履修できない。 対面
EC35031	ゲノム情報生物学	1	2.0	3	春AB	水1,2	加香 孝一郎,大徳 浩照	遺伝子・細胞・個体を形成するゲノムとエピゲノムに関する理解が進みつつあり、歴史的発見(DNA→RNA→タンパク質という古典的セントラルドグマ)から最新のセントラルドグマへの変遷を講義形式で概説します。	(コース共通) 応用生命化学コース 環境工学コース 対面
EC35041	環境保全科学	1	2.0	3	秋AB	火1,2	浅野 眞希	自然環境の保全と環境保全にかかわる生態系の機能について概説し,生物多様性,地球温暖化等の諸問題について理解を深める。さらに,里山,湿原および森林の保全の課題を取り上げ,その対策や研究手法について解説する。	(コース共通) 応用生命化学コース 環境工学コース 横断領域科目「環境」 対面

専門科目II(環境工学コース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC33006	環境工学実験演習	6	2.0	3	春AB	火4-6	小林 幹佳,石井 敦,杉本 卓也	水, 土, 微生物, 植物などの環境資源・生物資源を適切に保全・利活用する上で必要となる工学的手法を実験と演習を通して身につける. 水や物質の移動・循環を理解するための水環境工学的手法や土壌物理・化学に関わる手法を身につける.	EC33073、EC33173 を修得した者は履修できない。 対面
EC33111	水資源環境工学	1	2.0	3	春AB	月5,6	石井 敦	水資源の需要と供給,水資源利用のあり方について講述する。水資源から見た河川の特性,水資源開発施設の計画と管理,農業用水と都市用水の利用,水利権および水管理制度などを対象とし,開発途上国における灌漑の開発と管理についても講述する。	横断領域科目「環境」 EC33121、EC33111 を修得済みの者は履修できない。 対面
EC33171	生物機械工学	1	2.0	3	春AB	月1,2	トファエル アハメド	農林業,畜産業などに利用される農業機械、農業ロボット、精密農業におけるフィールドセンシングや制御技術を解説する。また、エネルギー源として利用される内燃機関や電動化、バイオマスエネルギー利用問題とのかかわりを解説する。	対面
EC33211	森林材料利用化学	1	1.0	3	春AB	金2	中川 明子	生物材料(特に木材)の細胞壁構造および化学成分的特徴と利用技術(紙パルプ製造法、抽出成分、木材保存)について解説する。	横断領域科目「国際」 EC33211を履修済みのものは履修できない。 対面
EC33241	測量学	1	2.0	3	春AB	水5,6	奈佐原 顕郎	測量器械理論, 水準測量, 測地学, 多角測量, 誤差論, 写真測量, 応用測量(リモートセンシング等)などについて講述する.	FB13801と同一。 対面
EC33311	流域保全学	1	1.0	3	春A	火1,2	内田 太郎,奈佐原 顕郎,山川 陽祐	土砂災害, 水災害, 環境問題に対処し, 流域を保全していくために,上流から下流への水・土の移動現象を論じるとともに森林・生態系への影響, 災害対策について人間活動との関わりから解説する。	EC33301を修得済みの者は履修できない。 対面
EC33313	食と緑の環境工学インターンシップ	3	2.0	3	秋ABC夏季休業中	応談	小林 幹佳 他 環境工学コース教員	環境工学コースの研究分野(土・水と森林、環境工学とエコロジー、食品とバイオエネルギー、農業機械・ロボット、木材とバイオマス)にかかわりの深い国や地方、民間の研究機関、行政組織やNPO、農場や工場などの現場で職業体験を行い、自己のキャリアアップに資する。	原則として環境工学コースの学生を対象とする。 CDP 対面
EC33321	砂防学	1	1.0	3	春B	火1,2	内田 太郎,奈佐原 顕郎,山川 陽祐	国内外で深刻な土砂災害が頻発している。また、気候変動により、将来さらなる被害の発生が懸念されている。本講義では、土砂災害の実態、発生機構、対策技術について学習する。その上で、国土の保全、防災全般について考える。	EC33311 を受講していることが望ましい。 対面
EC33361	Environmental Colloid Engineering	1	1.0	3・4	春C	火5,6	小林 幹佳,ゲオンゾン レスター カンケ	Applications of colloid and interface science to environmental issue and its basis are given. Focus will be placed on the floccuation which is important to control soil and water quality. Current topics related to microbiology and ecosystem will be lectured.	EG60161と同一。 英語で授業。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC33363	森林水文・砂防学実習	3	1.0	3	春C	集中	山川 陽祐,奈佐原 顕郎,内田 太郎,大澤 光	山岳科学センター井川演習林などをフィールドとして、森林流域での水・土砂流出の調査法を習得する。実際に計測されたデータを題材として、森林の水環境や、山地での土砂移動プロセスを理解し、流域環境のあり方や管理の課題について考察する。	説明会を実施して参加の意思を確認するのでTWINS掲示を確認すること。 7/27-7/31 対面
EC33391	木材加工学	1	1.0	3	春AB	金1	小幡谷 英一	最も有用な生物資源材料である木材を有効利用するためには、その特性を理解した上で、用途に応じて適切に加工しなければならない。本講義では、物理加工および化学加工に関する最新の論文を題材にして、木材の加工に関わる理論と技術を学ぶ。	EC33191を修得済みの者は履修できない。 対面
EC33393	生物機械工学実習	3	1.0	3	春C	集中	トファエル アハメド,安久 絵里子	農業機械を用いた農作業を通じて、機械の操作、利用技術を習得するとともに、ガソリンエンジンの分解組立を行い内燃機関への理解を深める。また、農作業利用、農業情報利用のためのUAV(ドローン)による操縦技術を学ぶ。	受入れ上限数を15名程度とする。また、希望履修者数が多い場合は、環境工学コースに所属する学生を優先する場合がある。日程はシラバスを参照。 7/13-7/16 対面
EC33446	測量学実習演習	6	2.0	3	春AB	金4-6	石井 敦,小林 幹佳,杉本 卓也	「測量学(EC33241)」の講義の内容を踏まえ,各種測量について実習と演習を行う.主として農林地を対象とした測量の理論と技術を身に付ける.	「測量学」を履修すること.EC33443「測量学実習」を履修済みのものは履修できない. 対面
EC33523	木材加工学実習	3	2.0	3	秋AB	水3-6	小幡谷 英一,中川 明子	様々な主工具を用いた木製品の製作を通じ、中学技術の教員に必要な木材加工の基礎知識と応用技術を学ぶとともに、実験系の研究を行う上で不可欠な、材料選択、構造設計、材料加工の技術を習得する。	EC33423を修得済みの者は履修できない。 対面
EC33551	木質バイオマス工学	1	1.0	3	夏季休業中	集中	中川 明子,山田 竜彦	木質バイオマス利用の様々な技術開発例を通じて、地域資源およびバイオマス利用の意義や化学工学の基礎知識を身に着ける。とりわけ産業化が期待されているリグニン系の新素材や、セルロースナノファイバーなどのバイオベース材料の開発について、最新の開発例を解説することで、その化学工学の技術と社会的な意義を学習する。	横断領域科目「環境」 西暦偶数年度開講。 9/19,9/26 対面
EC33581	流域計測工学	1	2.0	3	秋AB	月5,6	奈佐原 顕郎,山川 陽祐,内田 太郎	防災・農林業・国土保全・水資源管理などを「流域」で考える上で，光，水，植生，地形などに関する基本的なデータが必要である。本講義では，これらについて，地上・航空機(ドローンを含む)・人工衛星リモートセンシングを組み合わせた各種の計測法を学ぶ。物理学的背景，原理，実際の操作，データ解析，観測計画について理解を深める。	EC33141 、EC33581を修得済みの者は履修できない。 対面
EC33591	環境修復生物工学	1	1.0	3	秋AB	月4	内海 真生,楊 英男	地球規模の環境問題や環境汚染、浄水・下水処理に対して植物や微生物の働きを最大限活用することが求められている。ファイトレメディエーション、バイオレメディエーションの基礎および応用について具体的な手法やその展開、さらには、その問題点などを講述する。	対面
EC33601	水圏環境工学	1	2.0	3	春AB	水1,2	内海 真生,楊 英男,雷 中方	上水道及び下水道の処理プロセスに関し,先端の高度処理を含め,処理技術の動向,要素技術,仕組みおよびシステム化について講述する他、海洋を含む水圏での微生物と物質循環との関係に関しても講述する。	対面
EC33613	機械・食品工学実験	3	1.0	3	春AB	木4,5	北村 豊,楊 英男,雷 中方,トファエル アハメド,ダス ネヴェス マルコス アントニオ,原田	生物機械工学および食品プロセス工学の講義と関連させながら、一連の「ものづくり」体験を通して、当該学問分野の知識、実験・解析手法を習得させる。具体的には、ソーラーカー、温室、農産物、食品、機能性食素材、食品残渣(バイオマス)、食品廃水等を対象とする単位操作(設計、試験、施工、環境計測・制御、乾燥、粉砕、減容、物性測定、微細化、コロイド化など)に関する実験を行う。	受入上限数20名程度 対面
EC33623	木質材料学実験	3	1.0	3	春AB	水3,4	中川 明子,小幡谷 英一,コン ペイフ	各種材料試験、主要成分の化学分析、木質材料やパルプの製造を通して、木材、木質材料、紙の力学的特性および化学的性質を理解する。	「バイオマス資源工学実験」(EC33463)、「生物材料学実験」(EC33433)を修得した者は履修できない。 対面
EC33651	再生可能エネルギーと生物資源循環技術	1	2.0	3	秋AB	金3,4	ダス ネヴェス マルコス アントニオ,雷 中方,原田,北村 豊	生物資源の高度利用の一環として、バイオマスのエネルギーや素材への変換や利用技術について解説する。また自然エネルギーに関する最新技術や普及動向などについても言及して、再生可能エネルギーを活用する資源循環型社会の構築について考察する。	国立台湾大学とのジョイント講義(一部遠隔授業)。EC33281、EC33041 を修得済みの者は履修できない。EG60661と同一。 英語で授業。 対面
EC33671	食品プロセス工学	1	2.0	3	春AB	木2,3	粉川 美踏,北村 豊,ダス ネヴェス マルコス アントニオ	農産物や食品の品質や安全性を損なうことなく効率よく生産・加工するための単位操作(選別、殺菌、乾燥、粉砕、冷蔵、冷凍、濃縮、乳化・分散、沈降・遠心分離、平衡、抽出、吸着、保存、ろ過、膜分離、蒸留、蒸発、発酵、酵素処理など)を解説する。	EC33101、EC42021 を修得済みの者は履修できない。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC33692	生物資源工学技術演習	2	3.0	3・4	秋ABC	月2,3	トファエル アハメド,北村 豊,ダス ネヴェス マルコス アントニオ	生物資源の利活用における技術や工学の体系すなわちBiosystems Engineeringに関する専門的かつ最新の研究や知見を,論文の概要作成やプレゼンテーションなどの演習を通じて学習する。	授業の多くを京都大学・国立台湾大学との共同・オンライン(英語)により行う。EC33682を修得済みの者は履修できない。EG60022と同一。英語で授業。遠隔授業 対面
EC33706	Laboratory & Exercise in Environmental Colloid Engineering	6	1.0	2 - 4	秋B	木4-6	小林 幹佳,杉本 卓也,ゲオンゾン レスター カンケ	Students learn the fundamental and applications of colloidal and environmental engineering through experiments and excercise.	It is desirable for participants to take "Environmental Colloid Engineering" beforehand or later.EG60706と同一。英語で授業。 対面
EC35013	森林総合実習	3	1.0	3	夏季休業中	集中	清野 達之,小幡谷 英一,中川 明子,津田 吉晃	山岳科学センター八ヶ岳・川上演習林において、森林動植物の観察、樹木調査、森林管理の体験をするとともに、樹木の生態・生理に関する知識、動物と森林の関わりや森林の利用を習得して樹木と森林の役割を総合的に理解する。	(コース共通)農林生物学コース 環境工学コース EC31323を修得済みの者は履修できない。履修人数の制限を行う場合がある。実習のガイダンスと人数調整を行なうので本実習履修希望者は必ず出席すること。参集する場所についてはTWINS掲示板で確認すること。 対面
EC35021	植物育種学	1	2.0	3	春AB 秋AB	月4 金4	吉岡 洋輔,野中 聡子	作物の品種改良には,対象作物における遺伝的変異の創出・拡大,希望型の選抜・固定化および品種・系統の維持・増殖等に関する知識と技術が必要とされる。本講義では(1)育種学の基礎,(2)植物遺伝資源の収集と保存,(3)遺伝的変異の創出・拡大技術と育種法,および(4)主要作物における育種目標について概説する。	(コース共通) 農林生物学コース、環境工学コース、横断領域科目「食料」「国際」 対面
EC35031	ゲノム情報生物学	1	2.0	3	春AB	水1,2	加香 孝一郎,大徳 浩照	遺伝子・細胞・個体を形成するゲノムとエピゲノムに関する理解が進みつつあり、歴史的発見(DNA→RNA→タンパク質という古典的セントラルドグマ)から最新のセントラルドグマへの変遷を講義形式で概説します。	(コース共通) 応用生命化学コース 環境工学コース 対面
EC35041	環境保全科学	1	2.0	3	秋AB	火1,2	浅野 眞希	自然環境の保全と環境保全にかかわる生態系の機能について概説し,生物多様性,地球温暖化等の諸問題について理解を深める。さらに,里山,湿原および森林の保全の課題を取り上げ,その対策や研究手法について解説する。	(コース共通) 応用生命化学コース 環境工学コース 横断領域科目「環境」 対面
EC35071	環境経済評価論	1	1.0	3	春AB	月4	水野谷 剛	環境総合評価に必要な環境経済学的知識、評価手法とその実践例の解説を行う。	EC33021、EC33611、EC33621、EC33641を修得済みの者は履修できない。(コース共通)環境工学コース 社会経済学コース 対面
EC35081	農村・農地工学	1	2.0	3	秋AB	月1,2	石井 敦	食糧自給率の向上が緊急の課題となっているなか,農地の生産力を高めることが必要となり,また,農村には生産だけでなく農村環境の保全が求められるようになっており,農村あるいは農業を多角的に理解しなければならない。この講義では,農村の土地利用計画,水田や畑の保全・整備に関わる計画等について講述する。	「生産基盤工学(EC33151)」、「農村計画学(EC33271)」、「農村・農地工学(EC33151)」を修得済みの者は履修できない。(コース共通) 環境工学コース 社会経済学コース 対面
EC35091	食品衛生管理と品質評価学	1	2.0	3	秋AB	水5,6	粉川 美踏,北村 豊,ダス ネヴェス マルコス アントニオ,内海 真生	農産物や食品の物理・生化学的特性,健康機能性および加工流通のためのポストハーベスト・食品加工の技術を学習する。また食品の安全安心のための基礎知識やマネージメントシステム,関係法令や認証制度についても解説する。	国立台湾大学とのジョイント講義(一部遠隔授業)。(コース共通)環境工学コース 社会経済学コース EG60671と同一。 対面

専門科目II(社会経済コース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC34012	社会調査論演習A	2	2.0	3	春AB	火5,6	興梠 克久,髙田 純	社会調査を実施するために必要な調査構想、事前準備、調査票作成、分析等について演習を通して理解を深める。	原則として社会経済学コースの学生に限る。社会調査論演習Bを受講することが望ましい。 対面
EC34021	食料経済分析論	1	2.0	3	秋AB	木5,6	首藤 久人	食料および関連市場を対象に,経済学の諸概念,経済発展の問題,数量分析の基礎を学ぶ。	横断領域科目「食料」「国際」 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC34022	社会調査論演習B	2	2.0	3	春AB	木5,6	首藤 久人,興梠 克久,高田 純	社会調査データを分析するために必要な調査項目作成、データマネジメント、可視化,定量分析手法等について演習を通して理解を深める。	原則として社会経済学コースの学生に限る。 社会調査論演習Aを受講することが望ましい。 対面
EC34041	フードシステム論	1	2.0	3	秋AB	火5,6	首藤 久人	日本並びに海外の食料をめぐる諸問題,その背景にあるアグリビジネス企業や食料消費行動の特徴,ならびにそれらを理解するため体系的な視座について,比較的新しい研究成果も踏まえつつ講述する。	横断領域科目「食料」「国際」 対面
EC34132	森林管理学演習	2	2.0	3	秋AB	火1,2	興梠 克久	森林管理学にかかわる文献および資料を取り上げ,その購読と討論を通じて,現在の森林管理問題について認識を深める。	対面
EC34142	社会経済学コース演習	2	2.0	3	通年	応談	興梠 克久,首藤 久人,高田 純	卒業研究の課題設定,方法論の選択,仮説の構築,文献資料の検索,統計資料の分析,フィールド調査など,卒業研究にあたって基礎的な考え方と方法論を指導責任教員のもとで学ぶ。	社会経済学コース卒業研究予定者に限る。各指導教員と応談 対面
EC34151	農林業改良普及論	1	1.0	2・3				農林業の振興と農家の生活改善及び農林業の担い手育成に大きな役割を果たしている普及事業の歴史と現状を概説し,普及原理と普及方法の基礎的理論を講述する。	西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
EC34161	森林資源調査論	1	1.0	2・3	夏季休業中	集中	村上 拓彦,興梠 克久	森林資源を持続的に管理,利用していくためには,対象となる森林資源を正確に調査することが必要となる。森林を構成する林木や林分材積,成長量などの測定に関する理論と方法および森林資源調査への空中写真,森林GPS,森林GISの利用方法を学ぶ。	西暦偶数年度開講。 対面
EC34171	資源環境経済学	1	1.0	2・3				資源,環境問題の全体を鳥瞰するとともに,経済学の話題を挟みながら農業と環境,農林業における資源問題,環境問題を理解し,経済学的,制度的な課題を学ぶ。	西暦奇数年度開講。 対面
EC34191	森林教育論	1	1.0	2・3				本講義では,来るべき持続可能な社会における自然とのかかわり方について考え,問題に取り組む力をつける。森林と人間のかかわりを,森林と人間の歴史から環境思想,環境教育,森林教育まで幅広い視点からとらえ,実際の森林を題材に,課題の摘出から問題解決へのプロセスをグループワークで体験する参加型授業である。	EC34191 を履修済みの者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面
EC34203	林政学実習	3	1.0	3	秋A 夏季休業中	集中	興梠 克久,高田 純	森林政策に関するフィールド調査法とデータの収集・取りまとめに関する実習を行う。	原則として社会経済学コースの学生(3年次)に限る。事前にガイダンスを実施する。 西暦偶数年度開講。 対面
EC34213	農業経済学実習	3	1.0	3	春C 夏季休業中	水2 集中	首藤 久人,高田 純	実務の現場における実態調査により、農業経済の諸相への理解を深める。	原則として社会経済学コースの学生に限る。「社会調査論演習A」を受講していることが望ましい。 対面
EC34223	森林管理学実習	3	1.0	4				森林管理に関するフィールド調査法に関する実習を行う。	生物資源学類生対象、原則として社会経済学コースの学生(4年次)に限る。 西暦奇数年度開講。 対面
EC34233	木育学実習	3	1.0	2・3	通年	集中	興梠 克久	木育に関する実習を行う。つくば市内で開催されている木育イベントを視察・体験し、木育に関する専門知識を学ぶとともに、子育て期間における木育の在り方および森林・木材産業のかかわり方についての問題意識を持つ。	遠隔授業 詳細後日周知 対面
EC34281	International Agricultural and Forestry Policies I	1	1.0	3・4	夏季休業中	集中	首藤 久人	Lectures will cover the topics in policies for agriculture, food, forestry, and environmental management related to agriculture and forestry in the world.	平成29年度までの「International Agricultural and Forestry Polices」(EC34081)を履修済みの者は履修できない。 EG60611と同一。 西暦偶数年度開講。 EG60611と同一。 英語で授業。 実務経験教員 対面
EC34381	International Agricultural and Forestry Policies II	1	1.0	3・4				Lectures will cover the topics in policies for agriculture, food, forestry, and environmental management related to agriculture and forestry in the world.	平成29年度までの「International Agricultural and Forestry Polices」(EC34081)を履修済みの者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 西暦奇数年度開講。 EG60621と同一。 英語で授業。 実務経験教員 対面
EC34391	地域計画学	1	1.0	2・3	通年	集中	高田 純	我が国における農業政策及び法令の意義や背景について整理するとともに、今日の農業経営の実態について解説し、農業生産や農村振興を担う地域のあり方について講述する。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC35071	環境経済評価論	1	1.0	3	春AB	月4	水野谷 剛	環境総合評価に必要な環境経済学的知識、評価手法とその実践例の解説を行う。	EC33021、EC33611、EC33621、EC33641を修得済みの者は履修できない。(コース共通)環境工学コース 社会経済学コース 対面
EC35081	農村・農地工学	1	2.0	3	秋AB	月1,2	石井 敦	食糧自給率の向上が緊急の課題となっているなか,農地の生産力を高めることが必要となり,また,農村には生産だけでなく農村環境の保全が求められるようになっており,農村あるいは農業を多角的に理解しなければならない。この講義では,農村の土地利用計画,水田や畑の保全・整備に関わる計画等について講述する。	「生産基盤工学(EC33151)」、「農村計画学(EC33271)」、「農村・農地工学(EC33151)」を修得済みの者は履修できない。(コース共通) 環境工学コース 社会経済学コース 対面
EC35091	食品衛生管理と品質評価学	1	2.0	3	秋AB	水5,6	粉川 美踏,北村 豊,ダス ネヴェス マルコス アントニオ,内海 真生	農産物や食品の物理・生化学的特性,健康機能性および加工流通のためのポストハーベスト・食品加工の技術を学習する。また食品の安全安心のための基礎知識やマネージメントシステム,関係法令や認証制度についても解説する。	国立台湾大学とのジョイント講義(一部遠隔授業)。(コース共通)環境工学コース 社会経済学コース EG60671と同一。 対面
EC35101	林業経営体論	1	2.0	3	春AB	月1,2	興梠 克久	森林環境と人間社会の諸々の相互関係を社会科学的に追究する一環として,持続可能な地域森林管理(SFM)の主体形成の理論的枠組み(主として政治経済学、環境社会学および村落社会学等),実証研究の紹介およびSFM構築に向けた課題を検討する。	「森林環境社会論」(EC34071)、「林業経営体論」(EC34071)を修得した者は履修できない。(コース共通)農林生物学コース 社会経済学コース 横断領域科目「環境」「国際」 対面

専門科目II(横断領域科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC41013	国際農業研修I	3	2.0	1 - 3	通年	応談	野村 名可男,生物資源学類長,他	アジア地域の協定校及び企業等において,講義・体験実習・野外調査を通じて当該国における農業の特色及び地域性などを学び,さらに現地の学生・教員・企業者との交流を通じて国際的な視野に立ったキャリア意識を醸成する。なお、本年度の研修は「大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業」およびAIMSプログラムにおいて推奨されている多文化共修の一環として開催する。	(インターンシップ) 国外。生物資源学類生優先 EG60063と同一。 英語で授業。 CDP 対面
EC41023	国際農業研修II	3	2.0	1 - 3	夏季休業中	応談	石井 敦,生物資源学類長,他	JICAまたはその他の機関(海外の機関を含む)が提供するインターンシッププログラム等に参加し,農業技術あるいは生物資源の利用・保全・開発等に関する国際的理解の促進とキャリア形成を支援する。	(インターンシップ) 国内。 CDP 対面
EC41053	全国森林公開実習I	3	1.0	2 - 4	通年	応談	生物資源学類長,他,山川 陽祐	全国19大学の演習林が他大学生を対象に実施する特別授業であり,各大学が提供する実習プログラムの中から課題を選択し,生態系や環境が異なる演習林等における実習,造林・搬出・測量などの技術的な実習,地域の伝統的な林業を対象とした実習などを行うことにより,森林資源の保全と利用について理解を深める。 (注)本学の学生が履修する場合には下記の点に注意する。1履修希望学生は希望大学演習林のホームページ等から必要書類を取得し,履修申請書,受入大学への依頼書及び履修願,学生教育研究災害傷害保険加入証明書等を提出する。2受入大学によっては対象学生の所属や学年に制限があるので注意する。また,履修人数に上限があるので,希望しても受け入れられない場合がある。	(インターンシップ) 対面
EC41133	国際農業研修III	3	2.0	1 - 3	通年	応談	野村 名可男,生物資源学類長,他	欧州の協定校及び企業等において、講義・体験実習・野外調査等を通じて当該国における農業の特色及び地域性などを学び、さらに現地の学生・教員・企業者との交流を通じて国際的な視野に立ったキャリア意識を醸成する。なお、本年度の研修は「大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業」およびAIMSプログラムにおいて推奨されている多文化共修の一環として開講する。	(インターンシップ)国外。 EG60023と同一。 英語で授業。 CDP 対面
EC41143	国際農業研修IV	3	2.0	1 - 3				北米地域の協定校及び企業等において、講義・体験実習・野外調査等を通じて当該国における農業の特色及び地域性などを学び、さらに現地学生・教員・企業者との交流を国際的な視野に立ったキャリア意識を醸成する。	(インターンシップ)国外。 西暦奇数年度開講。 EG60033と同一。 CDP 対面
EC41153	国際農業研修V	3	2.0	1 - 3	通年	応談	川田 清和,生物資源学類長,他	乾燥地域の協定校および企業等において、講義・体験実習・野外調査を通じて当該国における農業の特色及び地域性などを学び、さらに現地の学生・教員・企業者との交流を通じて国際的な視野に立ったキャリア意識を育成する。	(インターンシップ)国外。 西暦偶数年度開講。 EG60043と同一。 英語で授業。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC41163	国際農業研修VI	3	2.0	1 - 3	通年	応談	阿部 淳一 ピーター,王 寧,生物資源学類長,他	ASEAN諸国等と台湾の協定校及び企業等において、講義・体験実習・野外調査を通じて当該国における農業の特色及び地域性などを学び、さらに現地の学生・教員・企業者との交流を通じて国際的な視野に立ったキャリア意識を醸成する。	(インターンシップ)国外。 EG60053と同一。 英語で授業。 対面
EC41173	国際農業研修VII	3	2.0	1 - 3	春C	応談	野村 名可男,生物資源学類長,他	海外の農村におけるPBLを通した開発支援を目的とした国際援助の在り方について学修する。附属坂戸高校と共同で実施する。なお、本年度の研修は「大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業」およびAIMSプログラムにおいて推奨されている多文化共修の一環として開講する。	(インターンシップ)国外。 英語で授業。 対面
EC42001	環境有機農業論	1	2.0	3・4				有機農業推進に関する日本の方針などを紹介しながら、有機栽培に関する技術の開発や普及および食育等について説明・解説する。本来作物(植物)が要求する元素を確認した上で、有機的農業で極めて重要となる土壌作りに関して、科学的な解説と実践的な事例を紹介しながら進める。本講義は、オムニバススタイルで行う。	横断領域科目「食料」「環境」 2026年度開講せず。 対面 2026年度から奇数年開講。
EC42023	有機農業実習	3	1.0	3・4	春学期	随時	浅野 眞希	無肥料、無農薬圃場(自然栽培圃場)において、有機農業、とくに自然栽培法について学習する(3泊4日の宿泊学習)。自家採種、無肥料、無農薬による栽培法について理解を深める。圃場の土壌調査から行う。	詳細はシラバス参照のこと。事前に実習ガイダンスを行うので、受講希望者は必ず出席すること。EC42013 を修得済みの者は履修できない。横断領域科目「食料」。 対面
EC42071	造園学	1	1.0	3・4	秋B	集中	上條 隆志,黒田 乃生,伊藤 弘,飯田 義彦	人の生活環境の構成に果たす造園学の役割とその基本的視点について, 風景, 緑地, 庭園, 造園に用いる樹木などに着目しながら講述するとともに, その計画や設計,施工,管理に際して必須な基礎的概念や基本的知見について説明する。	横断領域科目「環境」 2025年度以降開講されない場合がある。 対面

生物資源学類その他(JTP)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EC00011	特別研究I	1	1.0	1	春ABC	随時	野村 名可男、生物資源学類各教員	Seminar on the special research field for each individual student	短期留学生のみ対象 対面
EC00021	特別研究II	1	1.0	1	秋ABC	随時	野村 名可男、生物資源学類各教員	Seminar on the special research field for each individual student	短期留学生のみ対象 対面
EC00031	特別研究III	1	1.0	1	春C秋A	随時	野村 名可男、生物資源学類各教員	Seminar on the special research field for each individual student	短期留学生のみ対象 対面
EC00103	Japan-Expert アグロノミストインターンシップI	3	2.0	3	春学期	応談	古川 誠一	食料生産、省エネルギー、環境保全に関わりの深い、国や地方、 民間の行政組織や研究機関、NPO、農場や工場などの現場で 職業体験を行い、自己をキャリアアップする。	インターンシップ科目。Japan-Expert アグロノミスト養成コース生対象。EC00203を修得済の者は履修できない。インターンシップ等の説明会を実施する。 対面
EC00203	Japan-Expert アグロノミストインターンシップII	3	2.0	3	秋学期	応談	古川 誠一	食料生産、省エネルギー、環境保全に関わりの深い、国や地方、 民間の行政組織や研究機関、NPO、農場や工場などの現場で 職業体験を行い、自己をキャリアアップする。	インターンシップ科目。Japan-Expert アグロノミスト養成コース生対象。EC00103を修得済の者は履修できない。インターンシップ等に関する説明会を実施する。 対面
EC00303	生物資源学インターンシップS	3	1.0	1 - 4	春学期	応談	生物資源学類長	大学での学修と社会組織での実習・経験を結びつけることで、学修成果を深化させ、新たな学習の意欲を喚起するとともに、自己の職業適性や将来設計について考える機会を提供する。 インターンシップ先は国内外の行政組織・研究機関・NPO法人や企業等の現場で、就業体験もしくは技術研修等を行い自己のキャリアアップに資する。	学類長が認めた生物資源学類生に限る。学研災に加入していること。EC00313を修得済みの者は履修できない。 対面
EC00313	生物資源学インターンシップF	3	1.0	1 - 4	秋学期	応談	生物資源学類長	大学での学修と社会組織での実習・経験を結びつけることで、学修成果を深化させ、新たな学習の意欲を喚起するとともに、自己の職業適性や将来設計について考える機会を提供する。 インターンシップ先は国内外の行政組織・研究機関・NPO法人や企業等の現場で、就業体験もしくは技術研修等を行い自己のキャリアアップに資する。	学類長が認めた生物資源学類生に限る。学研災に加入していること。EC00303を修得済みの者は履修できない。 対面

開設母体　　要件
地球学類

地球学類(その他)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EE00001	地学序説	1	1.0	1 - 4	春C	水1,2	鎌田 祥仁,上松 佐知子,八木 勇治,角替 敏昭,黒澤 正紀,丸岡 照幸,八反地 剛,釜江 陽一,高橋 純子,山中 勤	地球の内部および表層の構造・運動・変遷について、宇宙との関連性や環境問題・自然災害等の視点などを踏まえながら講述する。学習指導要領「中学理科」「地学基礎」「地学」に記された基礎的事項および関連事項を網羅的に理解し、授業指導に生かすことができるようになることを到達目標とする。	地球学類生および教職課程で「理科」の免許状を取得できない学類の在籍者は履修できない。総合学域群生で理科の免許状取得を希望する者の履修は妨げない。 オンライン(オンデマンド型) 成績は、小テストもしくはレポートで評価する。
EE11333	地学実験	3	1.0	2	春C	水3-6	日下 博幸,藤野 滋弘,高橋 純子,上松 佐知子,池端 慶,興野 純,黒澤 正紀,丸岡 照幸,奥脇 亮,田中 康平,ドアン グアン ヴァン,池田 敦,山中 勤,ロフィクル ウマム	地図・航空写真・気象の基礎的な野外観察・観測法,地層・化石・岩石・鉱物などの基礎的な取り扱い方・観察方法・データ処理を実習する。教科書は「地球学調査・解析の基礎」(古今書院)。	地球学類生は履修できない。 対面 一部オンラインで実施する可能性がある.
EE51968	卒業研究	8	12.0	4	通年	随時	地球学類全教員	指導教員の下で卒業研究を行い、論文にまとめて発表・提出する。	対面
EE51978	卒業研究	8	12.0	4	春ABC	応談	地球学類全教員	指導教員の下で卒業研究を行い、論文にまとめて発表・提出する。	留学等特別な事情があると認められた者が受講する場合に限り開講する。履修登録は事務で行う。 対面
EE51988	卒業研究	8	12.0	4	秋ABC	応談	地球学類全教員	指導教員の下で卒業研究を行い、論文にまとめて発表・提出する。	留学等特別な事情があると認められた者が受講する場合に限り開講する。履修登録は事務で行う。 対面

地球学類共通(1年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EE11151	地球環境学1	1	1.0	1	春BC	NT	日下 博幸,植田 宏昭,辻村 真貴,山中 勤,松下 文経,加藤 弘亮,釜江 陽一,ドアン グアン ヴァン	地球環境学の基礎を体系的に学ぶ。本講義では、はじめに、地球環境システム全体の概要説明を行う。その後、各論として大気・海洋システム、水循環システムの講義を行う。教科書は「地球環境学」(古今書院)。	「地球環境学A」修得済みの者は履修できない。主専攻必修科目. G科目. 専門導入科目(事前登録対象). 実務経験教員. オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 主専攻必修科目。 G科目
EE11161	地球環境学2	1	1.0	1	秋AB	NT	恩田 裕一,八反地 剛,関口 智寛,池田 敦,松井 圭介,森本 健弘,呉羽 正昭,山下 亜紀郎	地球環境学1に引き続き、地球環境学の基礎を体系的に学ぶ。地形、地生態システム、人間環境システム、人文地域システム、ならびに地球環境学の課題について講義する。教科書は「地球環境学」(古今書院)。	「地球環境学1」を履修していることが望ましい。「地球環境学B」修得済みの者は履修できない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 主専攻必修科目。 G科目
EE11251	地球進化学1	1	1.0	1	春BC	NT	藤野 滋弘,丸岡 照幸,鎌田 祥仁,氏家 恒太郎,上松 佐知子,藤崎 渉	地球進化学の基礎講義である。惑星の進化と地球の内部構造、古生物、プレートテクトニクス及び地層について述べる。教科書は「改訂版地球進化学」(古今書院)。	「地球進化学A」修得済みの者は履修できない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 主専攻必修科目。 G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EE11261	地球進化学2	1	1.0	1	秋AB	木6	角替 敏昭,八木 勇治,黒澤 正紀,池端 慶	地球進化学の基礎講義である。地震、鉱物、変成岩および火成岩について述べる。教科書は「改訂版地球進化学」(古今書院)。	「地球進化学1」を履修していることが望ましい。「地球進化学B」修得済みの者は履修できない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) オンライン(同時双方向型) 主専攻必修科目。 G科目 確認テストは対面で実施
EE12103	地球学実験	3	1.0	2	春AB 春C	月4,5 集中	日下 博幸,藤野 滋弘,高橋 純子,上松 佐知子,池端 慶,興野 純,黒澤 正紀,丸岡 照幸,田中 康平,山下 亜紀郎,八反地 剛,山中 勤,鎌田 祥仁	地球環境学に関連する地図・航空写真・気象の基礎的な野外観察・観測法、地球進化学に関連する地層・化石・岩石・鉱物などの基礎的な取り扱い方・観察方法・データ処理を実習する。教科書は「地球学調査・解析の基礎」(古今書院)。	地球学類生に限る。 対面

地球学類共通(2年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EE11711	地球学専門英語1A	1	1.0	2	春AB	木6	氏家 恒太郎,八反地 剛	地球学に関する英語の論文・専門書などを講読し,読解力を錬成する。また,地球学における英語での表現法を学ぶ。	2クラスに分けて講義を行う。 対面 主専攻必修科目。
EE11721	地球学専門英語1B	1	1.0	2	秋AB	木5	山中 勤,興野 純	地球学に関する英語の論文・専門書などを講読し,読解力を錬成する。また,地球学における英語での表現法を学ぶ。	2クラスに分けて講義を行う。主専攻必修科目. 対面 「地球学専門英語I(EE11701)」を修得済みの者は履修できない。 対面 主専攻必修科目。
EE11831	地球統計学	1	1.0	2	秋AB	金1	高橋 純子,八木 勇治	地球学において,取得したデータの処理・解釈に必要となる,基礎的な統計解析方法について,紹介する。基礎的な統計手法の概念から始まり,実際の応用事例を課題として用いながら,わかりやすく解説する。	「地球環境学A・B・1・2」「地球進化学A・B・1・2」のいずれかを履修していること. 対面
EE11871	地球情報学	1	1.0	2	秋A	金3 金4	日下 博幸,釜江 陽一,ドアン グアン ヴァン	Linuxコマンドの基礎およびFortran95とPythonによるプログラミングの講義と実習を行う。	「地球環境学A・B・1・2」「地球進化学A・B・1・2」のいずれかを履修していること.対面 対面
EE11881	地球基礎数学・物理学	1	2.0	2	春AB	金1,2	津旨 大輔,ドアン グアン ヴァン,八木 勇治	地球学に必要な基礎的な数学と物理学を取り扱う。線型代数、常微分方程式、ベクトル解析、フーリエ級数、偏微分程式などの物理数学や、連続体力学の基礎に関して解説する。	「地球環境学A・B・1・2」「地球進化学A・B・1・2」のいずれかを履修していること. 対面
EE11891	地球基礎化学	1	1.0	2	秋AB	金2	丸岡 照幸	地球学類の専門科目に関連する物理化学・無機化学・分析化学の基礎を概説する。	「地球環境学A・B・1・2」「地球進化学A・B・1・2」のいずれかを履修していること. 対面
EE11911	地球学野外調査法	1	2.0	2	秋AB	月4,5	鎌田 祥仁,山中 勤,高橋 純子,池田 敦,黒澤 正紀,氏家 恒太郎,上松 佐知子,久保 倫子,山下 亜紀郎,日下 博幸	前半では地質調査に必要な基礎的事項(地質図の読み方,書き方,岩石鑑定など)について解説する。後半には大気・環境動態・地形現象および人文地理・地誌に関する野外調査・観測・解析手法を解説する。	「地球環境学1・2」「地球進化学1・2」のいずれかを履修していること。 「地球学野外調査法(EE11901)」を取得済みの者は履修できない。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EE12123	インターンシップB	3	1.0	2 - 4	通年	応談	加藤 弘亮,上松 佐知子	企業、研究所、非営利団体などの現場において、大学では得られない経験を通じて学生が自らの能力-適性を客観的に判断する機会を得る。インターンシップ開始前の企業・学類間の了解および終了後の企業からの報告が単位認定の条件。なお、各自のインターンシップの見通しがついた段階で履修登録すること。	地球学類の学生のみ対象。 実務経験教員 対面 学研陪Bコース(インターン陪)加入必須

地球環境学主専攻

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EE21141	人文地理学	1	1.0	2	春AB	火1	松井 圭介	人文地理学の課題と内容、基本的な考え方などについて、位置、分布、地域、環境、景観、空間的相互作用などの主要な概念ごとに、具体的な事例をあげながら説明する。	「人文地理学(EE21131)」を修得済みの者は履修できない。対面 対面
EE21153	人文地理学野外実験A	3	1.0	2・3				人文地理学的事象の観察・分析方法,そして地理的データの収集方法などを修得し,人文地理学的野外調査の基本的な方法,観点や成果のまとめ方を学ぶ。地域および日程については,実施前に掲示する。人文地理学・地誌学実験を履修していることが望ましい。	「人文地理学野外実験A(EE21113)」を修得済みの者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 対面 西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
EE21163	人文地理学野外実験B	3	1.0	2・3	通年	集中	久保 倫子,森本 健弘	人文地理学的事象の観察・分析方法,そして地理的データの収集方法などを修得し,人文地理学的野外調査の基本的な方法,観点や成果のまとめ方を学ぶ。地域および日程については,実施前に掲示する。人文地理学・地誌学実験を履修していることが望ましい。	「人文地理学野外実験B(EE21123)」を修得済みの者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面 西暦偶数年度開講。 対面
EE21241	地誌学	1	1.0	2	春AB	木1	山下 亜紀郎	まず、地誌学的研究の基礎である各種の地域概念や地域モデルについて説明し、次に、具体的な研究事例として、おもに日本も含めたアジアの都市発展と環境問題について紹介する。	「地誌学(EE21231)」を修得済みのものは履修できない。対面 対面
EE21253	地誌学野外実験A	3	1.0	2・3	通年	集中	呉羽 正昭,堤 純	ある特定地域を選定し,現地での各種の調査法を習得し,また,地域の観察方法や諸事象の地表上の展開様式を実際の事例を通して学ぶ。	「地誌学野外実験A(EE21213)」を修得済みの者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 対面 西暦偶数年度開講。 対面
EE21263	地誌学野外実験B	3	1.0	2・3				ある特定地域を選定し,現地での各種の調査法を習得し,また,地域の観察方法や諸事象の地表上の展開様式を実際の事例を通して学ぶ。	西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
EE21301	都市地理学	1	1.0	3	秋AB	火3	久保 倫子	都市地理学の基本的事項として,都市化,都市システム,都市の内部構造などについて,日本および世界の各地の事例を取り上げながら学習する。	「歴史地理学特講III-B」を修得済みの者は履修できない。対面 対面
EE21321	農村地理学	1	1.0	3・4	秋AB	金3	森本 健弘	現代の農村は農業(第一次産業)の文脈のみで理解できる地域ではなく,経済・社会・文化の面で多様な性格をもつ空間となっている.こうした視点から現代農村の地理学を考える.	対面
EE21362	人文地理学演習A	2	1.0	3	春AB	金4	松井 圭介,久保 倫子	人文地理学に関する論文の講読、論文のまとめ方、問題設定・事前調査等を学ぶ。4年次生は、卒業論文の経過報告を行う。人文地理学・地誌学分野で卒業論文を作成しようとする者は、「人文地理学演習B」「地誌学演習A・B」「人文地理学・地誌学セミナーA・B」をあわせて履修すること。	対面
EE21401	経済地域論	1	1.0	3・4	春AB	金3	堤 純	地域構造をとらえる着眼点,具体的な研究事例について講義する。とくに,経済的な条件が自然条件や社会・文化的な要因と連動して地域を変容させるプロセスをテーマとしてとりあげる。	対面
EE21411	観光地域論	1	1.0	3・4	春AB	火2	呉羽 正昭	地域構造をとらえる着眼点,具体的な研究事例について講義する。とくに,日本の観光地域を対象として,その空間的展開や変容プロセスに関するテーマをとりあげる。	対面
EE21472	地誌学演習A	2	1.0	3	春AB	金5	呉羽 正昭,堤 純,山下 亜紀郎	地誌学に関する論文の講読、論文のまとめ方、問題設定・事前調査等を学ぶ。4年次生は、卒業論文の経過報告を行う。地誌学・人文地理学分野で卒業論文を作成しようとする者は、「地誌学演習B」「人文地理学演習A・B」「人文地理学・地誌学セミナーA・B」をあわせて履修すること。	対面
EE21492	人文地理学・地誌学セミナーA	2	1.0	3	春C 秋A 夏季休業中	応談	松井 圭介,久保 倫子	人文地理学・地誌学に関する調査・分析を実施することで、その実際的方法を習得する。人文地理学・地誌学分野で卒業論文を作成しようとする者は、「人文地理学・地誌学セミナーB」「人文地理学演習A・B」「地誌学演習A・B」をあわせて履修すること。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EE21502	人文地理学・地誌学セミナーB	2	1.0	3	春C 秋A 夏季休業中	応談	呉羽 正昭,堤 純,山下 亜紀郎	人文地理学・地誌学に関する調査・分析結果を報告書にまとめることで、その実際的方法を習得する。人文地理学・地誌学分野で卒業論文を作成しようとする者は、「人文地理学・地誌学セミナーA」「人文地理学演習A・B」「地誌学演習A・B」をあわせて履修すること。	対面
EE21512	人文地理学演習B	2	1.0	3	秋AB	金4	松井 圭介,久保 倫子	人文地理学に関する論文の講読、論文のまとめ方、問題設定・事前調査等を学ぶ。4年次生は、卒業論文の経過報告を行う。人文地理学・地誌学分野で卒業論文を作成しようとする者は、「人文地理学演習A」「地誌学演習A・B」「人文地理学・地誌学セミナーA・B」をあわせて履修すること。	「人文地理学演習B(EE21372)」を修得済みの者は履修できない。 対面
EE21522	地誌学演習B	2	1.0	3	秋AB	金5	呉羽 正昭,堤 純,山下 亜紀郎	地誌学に関する論文の講読、論文のまとめ方、問題設定・事前調査等を学ぶ。4年次生は、卒業論文の経過報告を行う。地誌学・人文地理学分野で卒業論文を作成しようとする者は、「地誌学演習A」「人文地理学演習A・B」「人文地理学・地誌学セミナーA・B」をあわせて履修すること。	「地誌学演習B(EE21482)」を修得済みの者は履修できない。 対面
EE21533	人文地理学・地誌学実験A	3	1.0	3	春AB	水3,4	山下 亜紀郎,松井 健一	地表上に展開する人文地理学・地誌学的現象の各種調査法、計量的分析法を具体的な事例をもとにして習得する。	原則地球学類生に限る。「人文地理学・地誌学実験B」をあわせて履修すること。「文化地理学実験実習I」を修得済みの者は履修できない。 対面
EE21543	人文地理学・地誌学実験B	3	1.0	3	秋AB	水3,4	山下 亜紀郎,松井 健一	地表上に展開する人文地理学・地誌学的現象の各種調査法、計量的分析法を具体的な事例をもとにして習得する。	原則地球学類生に限る。「人文地理学・地誌学実験A」をあわせて履修すること。「文化地理学実験実習II」を修得済みの者は履修できない。 対面
EE21552	人文地理学・地誌学演習C	2	1.0	3	秋C	集中	松井 圭介,呉羽 正昭,堤 純,山下 亜紀郎,久保 倫子	人文地理学・地誌学に関する卒業論文の課題設定と研究計画の立て方等を学ぶ。人文地理学または地誌学分野で卒業論文を作成しようとする者は、「人文地理学演習A・B」「地誌学演習A・B」「人文地理学・地誌学セミナーA・B」をあわせて履修すること。	オンライン(同時双方向型)と対面の併用。 「人文地理学演習B(EE21372)」「地誌学演習B(EE21482)」を修得済みの者は履修できない。下記日程以外にもオリエンテーション等が実施される場合がある。 対面
EE21681	世界地誌II	1	1.0	3・4				さまざまな国の人々の暮らしや文化、歴史について特定の地理的環境と関連させて考察する。特に、ブラジル、カナダ、バングラデシュ、ベトナム、キルギス、モンゴル、ブータンなどの国における水環境と山岳地帯・高原地域に焦点をあてる。こうした知識から世界各地における多様な暮らしを比較的に分析する視野を涵養し、国際的視野を醸成する。	西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面 G科目
EE21691	世界地誌I	1	1.0	3・4	春AB	木6	辻村 真貴	半乾燥域、温帯湿潤域、熱帯湿潤域など様々な気候条件下にある、各国の歴史、政治、社会、生活、文化等を、水環境を切り口に解説し、多様な考え方・慣習等における相互理解の重要性を理解する。	対面を基本とし、状況によりオンライン(同時双方向、オンデマンド)を併用する。 西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型) G科目
EE21731	世界地誌III	1	1.0	3・4	秋AB	木6	堤 純	世界で最も美しく暮らしやすい国の一つといわれるオーストラリア。「温暖な気候に恵まれ,豊富な農産・鉱物資源に恵まれ,陽気でフレンドリーなオージーの暮らす大らかで豊かな国」という印象の強いオーストラリアだが,1970年代中盤までは,白豪主義を掲げ,アジア系移民を受け付けない,全くの「別人」だった。そのオーストラリアが,日本と「相思相愛」の関係になるまでの道は決して平坦ではなかった。この授業では,自然条件,歴史,文化的背景,経済状況,そして国際社会における役割など多様な視点から地誌学的に,この国の素顔に迫る。	西暦偶数年度開講。 西暦偶数年度開講。 対面 G科目
EE21741	世界地誌IV	1	1.0	3・4				ヨーロッパの自然と文化について解説する。	西暦奇数年度開講。 対面 G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EE21751	地域計画論	1	1.0	3・4	通年	集中		非常勤講師による講義のため、予算の都合で開講されない場合がある。	非常勤講師による講義のため、予算の都合で開講されない場合がある。 詳細後日周知
EE21761	地生態学	1	1.0	3・4	通年	集中			非常勤講師による。 詳細後日周知
EE21791	地理情報システム(GIS)	1	2.0	2 - 4	春AB	水5,6	山下 亜紀郎,森本 健弘,松下 文経,池田 敦	地理情報システムの基本とその地理学への応用を実践を交えて教授する.	対面
EE22113	地形学野外実験A	3	1.0	2	秋B	集中	八反地 剛,池田 敦,関口 智寛	典型的な地形の発達する地域を対象として、様々な地形やその構成物質を観察し、それらを地形プロセスに関連付けて整理・考察する。	「地形学(EE22131)」を履修していること。事前に参加申込みをして認められたものに限る。 対面
EE22123	地形学野外実験B	3	1.0	3	夏季休業中	集中	池田 敦,八反地 剛,関口 智寛	地形や地形プロセスに関する調査・研究が行われている対象地域において、地形や地形プロセスの見方・考え方、およびそれらの調査法を学び、野外調査の意義を理解する。	「地形学演習A」を履修していること。事前に参加申込みをして認められたものに限る。 対面
EE22131	地形学	1	1.0	2	秋AB	火2	池田 敦,八反地 剛,関口 智寛	地球内部のエネルギーによって生じる変動地形・火山地形と、大気や水の動態を反映する多種の風化・侵食・堆積プロセスとそれらが生む地形を概説する。	対面(オンライン併用型) オンラインは50%以下。日本語開講科目につき短期留学生受け入れ不可だが、日本語レベルによっては受け入れ可とする。
EE22221	大気科学	1	1.0	2	春AB	火2	釜江 陽一,ドアン グアン ヴァン	放射・熱収支、大気循環、総観規模擾乱、接地境界層、降水過程、気候変動・異常気象といった基礎的な大気現象の仕組みを学ぶ。広く地球科学に関わる調査研究の際に役立つと思われる、天気予報や気象データの原理・収集方法に関する解説も行う。	「大気科学(EE22211)」を修得済みの者は履修できない。日本語開講科目につき短期留学生受け入れ不可だが、日本語レベルによっては受け入れ可とする。 対面
EE22223	大気科学野外実験	3	1.0	2・3	通年	応談	日下 博幸	気象観測機器の使用方法、野外での気象観測、およびデータ収集に関する基礎を実習する。観測計画に関する議論、地形の視察、施設見学も含む。	授業内容により履修人数の制限あり。「大気科学野外実験A(EE22203)」を修得済みの者は履修できない。 対面
EE22351	水文科学	1	1.0	2	春AB	木2	山中 勤,辻村 真貴	水文科学の基礎的概念である水循環を支配している諸法則について述べ,降水,蒸発,流出,浸透等の諸過程を解説する。また,水循環の諸過程における現象解明のために用いられる測定手法について解説し,いくつかの実例をもとに水文現象解明のプロセスを紹介する。教科書は「水文科学」(共立出版)	「水文科学(EE22321)」を修得済みの者は履修できない。
EE22353	水文科学野外実験	3	1.0	2・3	通年	集中	山中 勤,辻村 真貴	水文学に関する基礎的な野外調査の方法を修得することを目的とし,水文諸要素の観測を現地で行う。得られた資料の整理・解析を通じて,野外調査・観測の意義を理解する。	「水文科学」を履修していること。「水文科学野外実験A(EE22343)」「水文科学野外実験B(EE22683)」を修得済みの者は履修できない。授業内容により履修人数の制限あり。
EE22401	斜面プロセス学	1	1.0	3	春AB	木3	八反地 剛	山地や丘陵地の斜面で生起するマスムーブメントや侵食プロセスについて,基礎的,応用的な観点から論ずる。	対面(オンライン併用型) オンラインは50%以下。日本語開講科目につき、短期留学生受け入れ不可ですが、日本語レベルによっては受け入れ可。
EE22402	地形学演習A	2	1.0	3	春AB	木2	池田 敦,八反地 剛,関口 智寛,パークナー トーマス	論文の読解能力を養うことを目的として各自が地形に関連のある論文(日本語)の内容を紹介する形式で演習を行う。また、研究法を重点的に討論する。	原則として「地形学」を履修済であること。 対面
EE22411	堆積プロセス学	1	1.0	3	秋AB	木3	関口 智寛	河川・海岸で生起する流体運動と堆積プロセス,それによって形成される堆積地形について論ずる。	「地形プロセス実験」を同時履修すること。CRiES環境動態研究棟会議室で行う。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EE22412	地形学演習B	2	1.0	3	秋AB	木2	八反地 剛,池田 敦,関口 智寛,パークナー トーマス	専門的知識の収集および読解能力を養うことを目的として、各自が地形に関連のある文献(外国語を含む)の内容を紹介する形式で演習を行う。	原則として「地形学演習A」を履修済であること。 対面
EE22433	地形プロセス実験	3	1.0	3	秋AB	木4,5	八反地 剛,関口 智寛,池田 敦	測量・読図・空中写真判読、山地斜面における地形プロセスの基礎的実験、ならびに河川・海岸での流体運動や堆積プロセスに関する水理実験等を行う。	「堆積プロセス学」を同時履修すること。 「地形プロセス実験A(EE22413)」または「同B(EE22423)」を修得済みの者は履修できない。 対面 7回目以降、 CRiES環境動態研究棟会議室で行う。
EE22471	氷河凍土学	1	1.0	3	春AB	金1	池田 敦	氷河や凍土の生成と動態、それらに伴う地形変化、第四紀の氷床変動について論ずる。	原則的に「地形学」を履修済であること。 対面(オンライン併用型) 日本語開講科目につき短期留学生受け入れ不可だが、日本語レベルによっては受け入れ可。
EE22501	大気力学	1	1.0	3	春AB	火3	釜江 陽一,ドアン グアン ヴァン	大気の運動及びその平衡状態である気候の理解のために必要な大気力学・熱力学の基礎を説明すると共に、大気大循環のメカニズムについて解説する。	対面
EE22511	気象学	1	1.0	3	春BC	水2	日下 博幸	マイクロスケールとメソスケール現象の基礎理論を理解する。理論式や概念モデルを用いた定量的な解析を行い、その結果について議論する。	「大気科学」「大気力学」「気候システム学」の受講が望ましい。 対面
EE22521	気候システム学	1	1.0	3	秋AB	火2	植田 宏昭	大気・海洋・陸面間の相互作用の視点から,地球の気候シス テムのメカニズム を説明し,地球 温暖化や異常気象などに代表される地球規模の気候変動現象への多角的なアプローチ方法を修得する。	対面
EE22542	大気科学演習A	2	1.0	3	春AB	火5	釜江 陽一,ドアン グアン ヴァン,日下 博幸	大気科学の講義に付随する詳細な解説・演習作業・論文講読などを実施する。テーマ別の全体発表や卒業研究に向けた基礎的なガイダンスを行う。	対面
EE22552	大気科学演習B	2	1.0	3	秋AB	火5	釜江 陽一,植田 宏昭	大気科学の講義に付随する詳細な解説・演習作業・論文講読などを実施する。テーマ別の全体発表や卒業研究に向けた基礎的なガイダンスを行う。	対面
EE22562	大気科学演習C	2	1.0	3	秋AB	火3	釜江 陽一,植田 宏昭,日下 博幸,ドアン グアン ヴァン	大気科学の講義に付随する詳細な解説・演習作業・論文講読などを実施する。テーマ別の全体発表や卒業研究に向けた基礎的なガイダンスを行う。	対面
EE22563	大気科学実験A	3	1.0	3	春A 春B	金3,4	釜江 陽一,ドアン グアン ヴァン,植田 宏昭,日下 博幸	GMT, GrADS, Fortran95, Python等を用いた気象データの可視化と定量的解析方法の基礎習得を行う。	「大気科学実験A(EE22573)」を修得済みの者は履修できない。 対面
EE22593	大気科学実験B	3	1.0	3	秋AB	金3,4	日下 博幸,ドアン グアン ヴァン,植田 宏昭,釜江 陽一	数値モデルの基礎を学び、Fortran95とPythonを用いた数値モデルの開発方法を学ぶ。 さらには、Pythonを用いたデータ処理、データの可視化、統計解析、機械学習の基礎を学ぶ。	「大気科学実験A(EE22563)」を履修していること。「大気科学実験B(EE22583)」を修得済みの者は履修できない。 対面
EE22602	水文科学演習A	2	1.0	3	春AB	火4	山中 勤,辻村 真貴	水文学に関する基礎的文献の講読を中心として、そこで提示される問題点や研究法について討議する。	「水文科学」を履修済であること。 対面
EE22612	水文科学演習B	2	1.0	3	秋AB	火4	山中 勤,辻村 真貴	水文学に関する基礎的文献の講読を中心として、そこで提示される問題点や研究法について討議する。	「水文科学」を履修済であること。
EE22691	海洋学	1	1.0	3・4	夏季休業中	集中	釜江 陽一	海洋は地球の気候システムに重要な役割をもつ。本講義では、深さ1000mまでの表層に着目し、水温・塩分分布の特徴や黒潮などの風成循環の物理プロセスを解説する。そして、エルニーニョ現象や地球温暖化に関する知識を整理し、気候変動/変化における海洋の役割についても議論する。	非常勤講師による 詳細後日周知

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EE22693	水文科学実験	3	1.0	3	春AB	月4,5	山中 勤,辻村 真貴	水文学における実験・観測について、基本的に必要な機器の操作・方法を修得する。また、得られたデータの解析方法・整理方法などを重点的に解説し、これを修得する。	「水文科学」を履修済であること。「水文科学実験A(EE22633,EE22623)」または「水文科学実験B(EE22643,EE22653)」を修得済みの者は履修できない。 対面
EE22701	地圏水文学	1	1.0	3	春A	月2 火1	辻村 真貴	地下水のあり方に関し、涵養、流動、流出からなる地下水流動系、地表水と地下水の循環プロセス、地質・地形条件と地下水の関係、地下水の起源、流動経路、滞留時間という履歴情報、社会的な地下水問題の諸相、地下水ガバナンスについて、総合的に学ぶ。	「水文科学」を履修済であること。対面を基本とし、状況によりオンライン(同時双方向、オンデマンド)を併用する。
EE22721	流域水文学	1	1.0	3	秋AB	月2	山中 勤	流域を単位とし,そこに生起している水循環の実態,環境や人間活動との関係など,水循環の場としての流域のしくみについて詳述する。また,重要な水文過程については現象の理解や予測のための方法論にも焦点をあてる。『参考書は「水文科学」(共立出版)』	「水文科学」を履修済であること。
EE22801	水土環境動態論	1	1.0	3	秋AB	火1	恩田 裕一,津旨 大輔,加藤 弘亮,高橋 純子,五十嵐 康記	水循環及び土砂流出プロセスと環境動態の相互作用について、同位体を用いた手法や水文地形学的な観点から解説する。	対面
EE22811	水環境リモートセンシング	1	1.0	3	秋AB	水5	松下 文経	リモートセンシングの基本原理・解析手法と,それを水環境研究への応用などを講義する。	対面 感染拡大状況によっては,対面からオンラインに切り替える場合がある.
EE22812	環境動態解析学演習A	2	1.0	3	春AB	金2	恩田 裕一,津旨 大輔,松下 文経,加藤 弘亮,高橋 純子,五十嵐 康記	環境動態解析学に関する基礎的文献の講読を中心として,そこで提示される問題点や研究法について討議すると共に,卒業研究を逐次発表させ指導する。	対面
EE22822	環境動態解析学演習B	2	1.0	3	秋AB	金2	恩田 裕一,津旨 大輔,松下 文経,加藤 弘亮,高橋 純子,五十嵐 康記	環境動態解析学に関する基礎的文献の講読を中心として,そこで提示される問題点や研究法について討議すると共に,卒業研究を逐次発表させ指導する。	対面
EE22833	環境動態解析学野外実験	3	1.0	3	夏季休業中	集中	松下 文経,津旨 大輔,恩田 裕一,加藤 弘亮,高橋 純子,五十嵐 康記	環境動態解析学に関する基礎的な野外調査の方法を修得することを目的とし,現地において観測・資料収集等の野外調査を行う。得られた資料の整理・解析を通じて,野外調査・観測の意義を理解する。	対面
EE22841	環境動態解析学	1	1.0	2	秋AB	木2	恩田 裕一,津旨 大輔,松下 文経,加藤 弘亮,高橋 純子,五十嵐 康記	地球環境動態の解析,シミュレーション方法,環境問題の現状,原因,対策手法を講義する。	対面
EE22843	環境動態解析学実験	3	1.0	3	春AB	水4,5	恩田 裕一,津旨 大輔,松下 文経,加藤 弘亮,高橋 純子,五十嵐 康記	環境動態解析学における実験・観測を実際に行ってみることにより,機器の操作・方法やさまざまな研究法を修得する。また,得られたデータの解析方法・整理方法などを重点的に解説し,これを修得する。	対面
EE23041	地球学専門英語2A	1	1.0	3	春AB	月3	ドアン グアン ヴァン,植田 宏昭,加藤 弘亮,恩田 裕一	地球科学に関する英語の論文・専門書・学術雑誌などを読解し,専門用語と学術文章の構造を理解する。	地球環境学主専攻必修科目。2クラスに分けて講義を行う。オンラインの可能性あり。「地球学専門英語IIA(EE23011)」を修得済みの者は履修できない。 対面 オンラインの可能性あり。
EE23051	地球学専門英語2B	1	1.0	3	秋AB	月3	ドアン グアン ヴァン,植田 宏昭,加藤 弘亮,恩田 裕一	地球科学に関する英語の論文・専門書・学術雑誌などを読解し,専門用語と学術文章の構造を理解する。	地球環境学主専攻必修科目。2クラスに分けて講義を行う。 オンラインの可能性あり。「地球学専門英語IIB(EE23021)」を修得済みの者は履修できない。 対面 オンラインの可能性あり。
EE51908	卒業研究	8	10.0	4	通年	随時	地球学類全教員	指導教員の下で卒業研究を行い,論文にまとめて発表・提出する。	令和2年度以前入学者対象 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EE51928	卒業研究	8	10.0	4	春ABC	応談	地球学類全教員	指導教員の下で卒業研究を行い,論文にまとめて発表・提出する。	令和2年度以前入学者対象 留学等特別な事情があると認められた者が受講する場合に限り開講する。履修登録は事務で行う。 対面
EE51948	卒業研究	8	10.0	4	秋ABC	応談	地球学類全教員	指導教員の下で卒業研究を行い,論文にまとめて発表・提出する。	令和2年度以前入学者対象 留学等特別な事情があると認められた者が受講する場合に限り開講する。履修登録は事務で行う。 対面

地球進化学主専攻

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EE31061	地球学専門英語2A	1	1.0	3	春AB	月3	角替 敏昭,田中 康平	地球科学に関する英語の論文・専門書・学術雑誌などを読解し,専門用語と学術文章の構造を理解する。	地球進化学主専攻必修科目。 対面 主専攻必修科目。
EE31071	地球学専門英語2B	1	1.0	3	秋AB	月3	角替 敏昭,田中 康平	地球科学に関する英語の論文・専門書・学術雑誌などを読解し,専門用語と学術文章の構造を理解する。	地球進化学主専攻必修科目。 対面 主専攻必修科目。
EE31131	地球物質科学A	1	1.0	2	春AB	水1	興野 純	地球で起きている多様な現象を理解するためには,地球上の固体物質を構成している鉱物を物理化学的視点から理解する必要がある.本講義では,最新の研究結果を織り交ぜながら,様々な場所に観られる鉱物の構造や挙動,物性,成因についての理解を深める.	地球物質科学(EE31121)を修得済みの者は履修できない. 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
EE31133	地質学基礎野外実験I	3	1.0	2	春A	集中	角替 敏昭,黒澤 正紀,興野 純,氏家 恒太郎	火成岩,変成岩,堆積岩地域等を対象にして,基礎的な野外観察結果に対する考え方を学ぶ。	地域及び日程については,実施前に連絡する。 対面
EE31141	地球物質科学B	1	1.0	2	秋AB	水1	角替 敏昭,池端 慶	隕石から地殻・マントル・地球内部物質まで,地球を構成している物質の多様性と安定性の基礎的原理を理解し,それらの物質の変遷や履歴の基本的知識を解説する。	地球物質科学(EE31121)を修得済みの者は履修できない. 対面(オンライン併用型)
EE31143	地質学基礎野外実験II	3	1.0	2	夏季休業中	集中	藤野 滋弘,鎌田 祥仁,上松 佐知子,氏家 恒太郎,田中 康平,角替 敏昭,八木 勇治,藤﨑 渉,興野 純,奥脇 亮,黒澤 正紀,池端 慶,丸岡 照幸	民宿を利用した2泊3日の地質調査実習.(埼玉県秩父郡小鹿野町周辺) 堆積岩が分布する地域において,各種堆積岩の観察同定,ルートマップや柱状図の作成などの野外実習を行うことで,対象地域の層序・構造を理解する. <地球学類生に限る>	対面
EE31161	生物圏地球科学A	1	1.0	2	春AB	火6	鎌田 祥仁,藤野 滋弘	地球史における生命活動の実体とそれを取り巻く物質の変遷を中心として,地球環境システムの仕組みと変遷についての基本的知識を解説する。	生物圏地球科学(EE31101)を修得済みの者は履修できない。 受講生は地球学類生に限る。 実務経験教員 対面
EE31171	生物圏地球科学B	1	1.0	2	秋AB	火6	上松 佐知子,松本 廣直	生命史を理解するための基礎的知識として,化石として保存され易い分類群について、それらの概要を解説する.	生物圏地球科学(EE31101)を修得済みの者は履修できない. 対面
EE31181	地球変動・資源科学A	1	1.0	2	秋AB	月6	藤﨑 渉	固体地球を構成する物質の循環に関する基礎について解説する.地球内部-表層システムの物質循環,濃集,散逸について講義を行う.	地球変動・資源科学(EE31111)を修得済みの者は履修できない. 対面
EE31191	地球変動・資源科学B	1	1.0	2	春AB	月6	八木 勇治,氏家 恒太郎,奥脇 亮	固体地球を構成する物質の変動に関する基礎について解説する.固体地球の変動とそのメカニズムの基礎について講義を行う.	地球変動・資源科学(EE31111)を修得済みの者は履修できない. 対面
EE31221	地史学・古生物学A	1	1.0	3・4	春AB	水3	田中 康平	古生物学の基礎的概念を具体的例をもって解説する.	古生物学(EE31201)を修得済みの者は履修できない. 対面
EE31223	地史学・古生物学実験	3	1.0	3	秋AB	火3,4	上松 佐知子,田中 康平,松本 廣直	地殻表層部の地層や岩石に記録されている多様な生命体やそれらを取り巻く地層についての情報を,どのように解析・解読するかを実践的に学習する.	生物圏地球科学実験(EE31513)を修得済みの者は履修できない. 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EE31231	地史学・古生物学B	1	1.0	3・4	秋AB	水3	上松 佐知子	地史学の基本概念を解説し、太古代から新生代までの層序および地球環境変遷について概説する。	地史学(EE31211)を修得済みの者は履修できない. 対面
EE31232	地史学・古生物学演習	2	1.0	3・4	春AB	水4	上松 佐知子,松本 廣直	地史学・古生物学に関する基礎的な,あるいは最新の論文を調査し内容を討論することで、地史学・古生物学の考え方と実際的な方法を習得する。	地史学・古生物学演習(EE31542)を修得済みの者は履修できない。 対面
EE31243	地質学野外実験I	3	1.0	3・4				ある地域を対象に種々の地層や化石、構造などを観察し、その地域の地質学的な成り立ちを学ぶ。	地球進化学主専攻対象。受講制限あり。担当教員・実施日程・実施場所等は、決まり次第周知する。 西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面 含野外調査
EE31283	地質学野外実験II	3	1.0	3・4	夏季休業中	集中	上松 佐知子,田中 康平	ある地域を対象に種々の地層や化石、構造などを観察し、これまでの授業で習得した調査手法や技術を野外において実践する。	地球進化学主専攻対象。受講制限あり。担当教員・実施日程・実施場所等は、決まり次第周知する。 西暦偶数年度開講。 対面 含野外調査
EE31293	地質学総合野外実験	3	1.5	3	夏季休業中	集中	角替 敏昭,氏家 恒太郎	日本の地質学研究史で重要な地域を巡検し,現地の地層・地史・古生物・構造・岩石・鉱物・資源等を観察して,それらを総合的に理解し論理を学ぶ.	地球進化学主専攻対象。受講制限あり。 対面 含野外調査
EE31383	地質学野外実験III	3	1.0	3・4				ある地域を対象に種々の岩石や鉱物などを観察し、その地域の地質学的な成り立ちを学ぶ。	地球進化学主専攻対象。受講制限あり。担当教員・実施日程・実施場所等は、決まり次第周知する。 西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面 含野外調査
EE31413	地質学野外実験IV	3	1.0	3・4	夏季休業中	集中	池端 慶	ある地域を対象に種々の岩石や鉱物などを観察し、これまでの授業で習得した調査手法や技術を野外において実践する。	地球進化学主専攻対象。受講制限あり。担当教員・実施日程・実施場所等は、決まり次第周知する。 西暦偶数年度開講。 対面 含野外調査
EE31451	地質学特別講義I	1	1.0	3・4				本講義では、非常勤講師による最近の地球進化学に関わる様々な研究成果について紹介する。	非常勤講師による講義のため、予算の都合で開講されない場合がある。 西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 実施形態は未定.
EE31461	地質学特別講義II	1	1.0	3・4	通年	集中		本講義では,非常勤講師による最近の地球進化学に関わる様々な研究成果について紹介する.	非常勤講師による講義のため、予算の都合で開講されない場合がある。 西暦偶数年度開講。 実施形態は未定.
EE31471	地質学特別講義III	1	1.0	3・4				本講義では,非常勤講師による最近の地球進化学に関わる様々な研究成果について紹介する.	非常勤講師による講義のため,予算の都合で開講されない場合がある. 西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 実施形態は未定.
EE31481	地質学特別講義IV	1	1.0	3・4	通年	集中		本講義では,非常勤講師による最近の地球進化学に関わる様々な研究成果について紹介する.	非常勤講師による講義のため,予算の都合で開講されない場合がある. 西暦偶数年度開講。 実施形態は未定.
EE31531	地層学A	1	1.0	3・4	春AB	金2	藤野 滋弘	様々な環境でできる地層の特徴や,相対的海水準変動が地層に与える変化など,地層が記録している情報から環境とその変化を読み取るための基礎知識を学ぶ。	地層学(EE31551)を修得済みの者は履修できない. 実務経験教員 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EE31532	地層学演習	2	1.0	3・4	春AB	木5	鎌田 祥仁,藤野 滋弘	地質学に関する基本的な,あるいは最新のテーマを取り上げ,内外文献の調査,討論を通して地層学の考え方と実際的な方法を習得する。	地層学演習(EE31562)を修得済みの者は履修できない. 実務経験教員 対面
EE31541	地層学B	1	1.0	3・4	秋AB	金2	鎌田 祥仁	地層,特に中古生層に記録された情報を読み取り方や区分方法,地層の堆積環境と地層形成場などについて学ぶ。	地層学(EE31551)を修得済みの者は履修できない. 対面 日本語開講科目につき、短期留学生受け入れ不可ですが、日本語レベルによっては受け入れ可
EE31543	地層学実験	3	1.0	3・4	春AB 夏季休業中	木3,4 集中	鎌田 祥仁,藤野 滋弘	地殻表層部の地層や岩石に記録されている多様な生命体やそれらを取り巻く地層についての情報を,どのように解析・解読するかを実践的に学習する。	生物圏地球科学実験(EE31513)を修得済みの者は履修できない. 実務経験教員 対面
EE31561	地球変動科学A	1	1.0	3・4	春AB	火1	氏家 恒太郎	固体地球の変動とそのメカニズムを理解するための講義を行う。地質構造を幾何学的・運動的・力学的側面から体系的に理解するための講義を行う。	地球変動科学(EE31571)を修得済みの者は履修できない. 対面
EE31572	地球変動科学演習	2	1.0	3・4	春AB	火2	氏家 恒太郎,八木 勇治,奥脇 亮	固体地球の変動とそのメカニズムの理解を深めるために、構造地質学や地震学に関する基礎的及び最新のテーマを取り上げ、文献の輪読や演習問題に取り組む。	地球変動科学演習(EE31582)を修得済みの者は履修できない. 対面
EE31581	地球変動科学B	1	1.0	3・4	秋AB	火2	八木 勇治,奥脇 亮	固体地球の変動とそのメカニズムを理解するための講義を行う。地震等のダイナミックな変動について、地球物理学を用いて理解するための講義を行う。	地球変動科学(EE31571)を修得済みの者は履修できない. 対面 オンライン(同時双方向型) 対面、オンライン（同時双方向型）で実施する可能性もある
EE31583	地球変動科学実験	3	1.0	3	春AB	火3,4	氏家 恒太郎,八木 勇治,奥脇 亮	固体地球を構成する物質の変動に関わる、物性測定、地震波解析、地質構造解析、組織解析、化学分析の諸手法について実践的な手法を習得する。	地球変動・資源科学実験(EE31533)を修得済みの者は履修できない. 対面
EE31601	岩石学A	1	1.0	3・4	春AB	木2	池端 慶	主に火成岩,火山砕屑物を対象として,その構成鉱物,組織,産状などについて述べ,これらの岩石の物理化学的生成条件と地球における形成過程など,基本的な事項について説明する。	岩石学(EE31591)を修得済みの者は履修できない. 対面(オンライン併用型)
EE31621	岩石学B	1	1.0	3・4	秋AB	木2	角替 敏昭	主に変成岩を対象として,その構成鉱物,組織,産状などについて述べ,これらの岩石の物理化学的生成条件と地球における形成過程など,基本的な事項について説明する。	岩石学(EE31591)を修得済みの者は履修できない. 対面
EE31623	岩石学実験	3	1.0	3	春AB	金3,4	池端 慶	固体地球の主要な構成物質である岩石・鉱物をどのように同定しその履歴を解読するかについて、主に顕微鏡を使用した観察・同定法を通じて学習する。	地球物質科学実験(EE31523)を修得済みの者は履修できない。 対面
EE31643	国際地質学総合野外実験A	3	2.0	2・3	秋C春季休業中	集中	鎌田 祥仁	タイ国チュラロンコン大学理学部地質教室の学生とともに、タイ国において野外実習を実施する。タイ国の代表的な地質を観察しながら衝突型造山運動について学ぶ。実習は英語による。	西暦偶数年度開講。 対面
EE31653	国際地質学総合野外実験B	3	2.0	2・3				タイ国チュラロンコン大学理学部地質教室の学生とともに、国内の野外実習に参加し、関東地方の代表的な地質観察をもとに沈み込み型造山運動を学ぶことを目的とする。実習は英語による。	西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面
EE31661	地球資源科学A	1	1.0	3・4	春AB	月1	丸岡 照幸	惑星などの太陽系天体における元素の分布、濃縮・分散・循環といった元素の移動に関わる現象を概説する。	地球資源科学(EE31611)を修得済みの者は履修できない. 対面
EE31671	地球資源科学B	1	1.0	3・4	秋AB	月1	丸岡 照幸	惑星などの太陽系天体における元素の分布、濃縮・分散・循環といった元素の移動に関わる現象を概説する。	地球資源科学(EE31611)を修得済みの者は履修できない. 対面
EE31672	地球資源科学演習	2	1.0	3・4	春AB	月2	丸岡 照幸,藤崎 渉	地球資源科学に関する基礎的な,あるいは最新のテーマを取り上げ,計算問題の演習,内外文献の調査,討論を通して,地球資源科学の考え方と実際的な方法を習得する。	地球資源科学演習(EE31622)を修得済みの者は履修できない. 対面
EE31673	地球資源科学実験	3	1.0	3	秋AB	木3,4	丸岡 照幸,藤崎 渉	固体地球を構成する物質の循環に関わる、鉱石鉱物同定、組織解析、化学分析の諸手法について実践的な手法を習得する。	地球変動・資源科学実験(EE31533)を修得済みの者は履修できない. 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
EE31681	鉱物学A	1	1.0	3・4	春AB	金1	黒澤 正紀,興野 純	ケイ酸塩鉱物を中心に、鉱物の結晶構造や物性などの特徴を体系的に講義し,地球科学上の諸現象との関連も含めて具体的に解説する。	鉱物学(EE31631)を修得済みの者は履修できない. オンライン(オンデマンド型)
EE31691	鉱物学B	1	1.0	3・4	秋AB	金1	興野 純,黒澤 正紀	鉱物及び組織の生成機構,結晶構造の構成原理,物性発現機構に関する内容を体系的に講義し,地球科学上の諸現象との関連も含めて具体的に解説する。	鉱物学(EE31631)を修得済みの者は履修できない. 実務経験教員 対面
EE31692	岩石学・鉱物学演習	2	1.0	3・4	春AB	月4	興野 純,池端 慶,角替 敏昭	岩石学と鉱物学に関する基礎的な,あるいは最新のテーマを取り上げ,内外文献の調査,討論を通して,岩石学と鉱物学の考え方と実際的な方法を習得する。	岩石学・鉱物学演習(EE31602)を修得済みの者は履修できない. 実務経験教員 対面
EE31693	鉱物学実験	3	1.0	3	秋AB	金3,4	黒澤 正紀,興野 純	鉱物の同定及び物性測定,結晶構造解析に関する実験を通して,鉱物学に必要な結晶学の知識や,回折法、分光法などの基礎的な知識を理解し習得する.	地球物質科学実験(EE31523)を修得済みの者は履修できない. 実務経験教員 対面
EE51918	卒業研究	8	10.0	4	通年	随時	地球学類全教員	指導教員の下で卒業研究を行い,論文にまとめて発表・提出する。	令和2年度以前入学者対象 対面
EE51938	卒業研究	8	10.0	4	春ABC	応談	地球学類全教員	指導教員の下で卒業研究を行い,論文にまとめて発表・提出する。	令和2年度以前入学者対象 留学等特別な事情があると認められた者が受講する場合に限り開講する。履修登録は事務で行う。 対面
EE51958	卒業研究	8	10.0	4	秋ABC	応談	地球学類全教員	指導教員の下で卒業研究を行い,論文にまとめて発表・提出する。	令和2年度以前入学者対象 留学等特別な事情があると認められた者が受講する場合に限り開講する。履修登録は事務で行う。 対面

開設母体

要件
理工学群学群共通科目

理工学群学群共通科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FA00011	科学技術倫理	1	1.0	2・3	秋AB	集中	大嶋 建一	人類が安住できる地球の寿命はオゾン層の破壊,温暖化,大規模な事故などで年代と共に短縮されつつある。 その責任の多くは科学技術の発展と密接な関係がある。そのため,これらの危機を認識し,人類の安全,福祉に貢献する技術者の育成が必要である。本講義は人類が直面した危機の事例を多く紹介し,技術者として必要な倫理の基礎知識を理解させる。	理工学群対象 対面
FA00021	知的財産と技術移転	1	1.0	2・3	秋B	集中	上原 健一,森田 昌彦	知的財産権について,特許法を中心にわが国の制度を産業界の実例を踏まえて概観し,最近の重要な変化について論じる。また,最近の産官学連携活動を,雛形となった米国の1980年代以降の制度と仕組みを比較し,問題点や課題等を論じる。	理工学群対象。 対面 世話人:亀田

開設母体

要件
理工学群学群共通科目(数学)

理工学群学群共通科目(数学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FA01111	数学リテラシー1	1	1.0	1	春A	火5 金3	前島 展也	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー1では,集合と写像についての基本事項,2次の行列と一次変換などについて学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01111を選択して登録すること.応用理工学類(学籍番号奇数)の学生はこのクラスを受講すること.※線形代数I(FBA11X1(X=1,...,5)),解析学IA(FF17114,FF17124),線形代数A(FG10504,FG10514),線形代数B(FG10524,FG10534),線形代数I(FH60611,FH60621)の単位を取得している者は履修できない. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01121	数学リテラシー1	1	1.0	1	春A	火5 金3	岡田 朗	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー1では,集合と写像についての基本事項,2次の行列と一次変換などについて学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01111を選択して登録すること.応用理工学類(学籍番号偶数)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01111の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01131	数学リテラシー1	1	1.0	1	春A	火5 金3	河本 浩明	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー1では,集合と写像についての基本事項,2次の行列と一次変換などについて学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01111を選択して登録すること.工学システム学類(1,2クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01111の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01141	数学リテラシー1	1	1.0	1	春A	火5 金3	井澤 淳	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー1では,集合と写像についての基本事項,2次の行列と一次変換などについて学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01111を選択して登録すること.工学システム学類(3,4クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01111の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01151	数学リテラシー1	1	1.0	1	春A	火5 金3	鈴木 勉	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー1では,集合と写像についての基本事項,2次の行列と一次変換などについて学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01111を選択して登録すること.社会工学類(1,2クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01111の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FA01161	数学リテラシー1	1	1.0	1	春A	火5 金3	佐野 幸恵	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー1では,集合と写像についての基本事項,2次の行列と一次変換などについて学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01111を選択して登録すること.社会工学類(3,4クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01111の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01171	数学リテラシー1	1	1.0	1	春A	火5 金3	平山 至大	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー1では,集合と写像についての基本事項,2次の行列と一次変換などについて学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01111を選択して登録すること.数学類の1年次の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01111の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01181	数学リテラシー1	1	1.0	1	春A	火5 金3	平山 至大	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー1では,集合と写像についての基本事項,2次の行列と一次変換などについて学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01111を選択して登録すること.物理学類の1年次の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01111の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01191	数学リテラシー1	1	1.0	1	春A	火5 金3	三原 朋樹,増岡 彰	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー1では,集合と写像についての基本事項,2次の行列と一次変換などについて学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01111を選択して登録すること.化学類の1年次の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01111の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA011A1	数学リテラシー1	1	1.0	1	春A	火5 金3	三原 朋樹,増岡 彰	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー1では,集合と写像についての基本事項,2次の行列と一次変換などについて学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01111を選択して登録すること.地球学類の1年次の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01111の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA011B1	数学リテラシー1	1	1.0	1	春A	火5 金3	濱中 翔太,矢田 和善	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー1では,集合と写像についての基本事項,2次の行列と一次変換などについて学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01111を選択して登録すること. 生物学類の学生, および数学類, 物理学類, 化学類, 地球学類の2年次以上の学生は, このクラスを受講すること.履修条件はFA01111の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FA011C1	数学リテラシー1	1	1.0	1	春A	火5 金3	竹内 有哉,及川 一誠	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー1では,集合と写像についての基本事項,2次の行列と一次変換などについて学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01111を選択して登録すること.総合学域群の学生はこのクラスを受講すること. 履修条件はFA01111の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA011D1	数学リテラシー1	1	1.0	1	春A	火5 金3	丹下 基生	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー1では,集合と写像についての基本事項,2次の行列と一次変換などについて学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01111を選択して登録すること.総合学域群の学生はこのクラスを受講すること. 履修条件はFA01111の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA011E1	数学リテラシー1	1	1.0	1	春A	火5 金3	坂本 龍太郎,筧 知之	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー1では,集合と写像についての基本事項,2次の行列と一次変換などについて学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01111を選択して登録すること.総合学域群の学生はこのクラスを受講すること. 履修条件はFA01111の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01211	数学リテラシー2	1	1.0	1	春B	火5,6	前島 展也	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー2では,各種の空間図形,空間ベクトル,数列や関数の極限を厳密に議論するためのイプシロン・デルタ論法の初歩を学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01211を選択して登録すること.応用理工学類(学籍番号奇数)の学生はこのクラスを受講すること.※数学基礎(FBA1011),解析学IA(FF17114,FF17124),解析学I(FG10314,FG10324),微積分I(FH60511,FH60521,FH60531)の単位を取得している者は履修できない. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01221	数学リテラシー2	1	1.0	1	春B	火5,6	岡田 朗	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー2では,各種の空間図形,空間ベクトル,数列や関数の極限を厳密に議論するためのイプシロン・デルタ論法の初歩を学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01211を選択して登録すること.応用理工学類(学籍番号偶数)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01211の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01231	数学リテラシー2	1	1.0	1	春B	火5,6	長谷川 学,中尾 篤史,松本 啓吾	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー2では,各種の空間図形,空間ベクトル,数列や関数の極限を厳密に議論するためのイプシロン・デルタ論法の初歩を学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01211を選択して登録すること.工学システム学類(1,2クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01211の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FA01241	数学リテラシー2	1	1.0	1	春B	火5,6	羽田野 祐子,中尾 篤史,松本 啓吾	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー2では,各種の空間図形,空間ベクトル,数列や関数の極限を厳密に議論するためのイプシロン・デルタ論法の初歩を学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01211を選択して登録すること.工学システム学類(3,4クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01211の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01251	数学リテラシー2	1	1.0	1	春B	火5,6	吉瀬 章子	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー2では,各種の空間図形,空間ベクトル,数列や関数の極限を厳密に議論するためのイプシロン・デルタ論法の初歩を学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01211を選択して登録すること.社会工学類(1,2クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01211の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01261	数学リテラシー2	1	1.0	1	春B	火5,6	黒瀬 雄大	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー2では,各種の空間図形,空間ベクトル,数列や関数の極限を厳密に議論するためのイプシロン・デルタ論法の初歩を学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01211を選択して登録すること.社会工学類(3,4クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01211の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01271	数学リテラシー2	1	1.0	1	春B	火5,6	平山 至大	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー2では,各種の空間図形,空間ベクトル,数列や関数の極限を厳密に議論するためのイプシロン・デルタ論法の初歩を学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01211を選択して登録すること.数学類の1年次の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01211の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01281	数学リテラシー2	1	1.0	1	春B	火5,6	平山 至大	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー2では,各種の空間図形,空間ベクトル,数列や関数の極限を厳密に議論するためのイプシロン・デルタ論法の初歩を学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01211を選択して登録すること.物理学類の1年次の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01211の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01291	数学リテラシー2	1	1.0	1	春B	火5,6	三原 朋樹,佐垣 大輔	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー2では,各種の空間図形,空間ベクトル,数列や関数の極限を厳密に議論するためのイプシロン・デルタ論法の初歩を学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01211を選択して登録すること.化学類の1年次の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01211の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA012A1	数学リテラシー2	1	1.0	1	春B	火5,6	三原 朋樹,佐垣 大輔	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー2では,各種の空間図形,空間ベクトル,数列や関数の極限を厳密に議論するためのイプシロン・デルタ論法の初歩を学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01211を選択して登録すること.地球学類の1年次の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01211の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FA012B1	数学リテラシー2	1	1.0	1	春B	火5,6	濱中 翔太,矢田 和善	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー2では,各種の空間図形,空間ベクトル,数列や関数の極限を厳密に議論するためのイプシロン・デルタ論法の初歩を学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01211を選択して登録すること. 生物学類の学生, および数学類, 物理学類, 化学類, 地球学類の2年次以上の学生は, このクラスを受講すること. 履修条件はFA01211の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA012C1	数学リテラシー2	1	1.0	1	春B	火5,6	竹内 有哉,及川 一誠	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー2では,各種の空間図形,空間ベクトル,数列や関数の極限を厳密に議論するためのイプシロン・デルタ論法の初歩を学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01211を選択して登録すること.総合学域群の学生はこのクラスを受講すること. 履修条件はFA01211の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA012D1	数学リテラシー2	1	1.0	1	春B	火5,6	丹下 基生	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー2では,各種の空間図形,空間ベクトル,数列や関数の極限を厳密に議論するためのイプシロン・デルタ論法の初歩を学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01211を選択して登録すること.総合学域群の学生はこのクラスを受講すること. 履修条件はFA01211の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA012E1	数学リテラシー2	1	1.0	1	春B	火5,6	山本 光	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー2では,各種の空間図形,空間ベクトル,数列や関数の極限を厳密に議論するためのイプシロン・デルタ論法の初歩を学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01211を選択して登録すること.総合学域群の学生はこのクラスを受講すること. 履修条件はFA01211の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01311	微積分1	1	1.0	1	春BC	月2	金澤 研	1変数関数の微分法,積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01311を選択して登録すること.応用理工学類(学籍番号奇数)の学生はこのクラスを受講すること.※微積分I(FBA10X1(X=2,...,6),FBA14X1(X=6,...,9)),解析学IA(FF17114,FF17124),解析学I(FG10314,FG10324),微積分I(FH60511,FH60521,FH60531)の単位を取得している者は履修できない. 専門導入科目(事前登録対象) 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FA01321	微積分1	1	1.0	1	春BC	月2	冨田 成夫	1変数関数の微分法,積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01311を選択して登録すること.応用理工学類(学籍番号偶数)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01311の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01331	微積分1	1	1.0	1	春BC	月2	長谷川 学,中尾 篤史,松本 啓吾	1変数関数の微分法,積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01311を選択して登録すること.工学システム学類(1,2クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01311の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01341	微積分1	1	1.0	1	春BC	月2	羽田野 祐子,中尾 篤史,松本 啓吾	1変数関数の微分法,積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01311を選択して登録すること.工学システム学類(3,4クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01311の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01351	微積分1	1	1.0	1	春BC	月2	和田 健太郎	1変数関数の微分法,積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01311を選択して登録すること.社会工学類(1,2クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01311の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01361	微積分1	1	1.0	1	春BC	月2	浦田 淳司	1変数関数の微分法,積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01311を選択して登録すること.社会工学類(3,4クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01311の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01371	微積分1	1	1.0	1	春BC	月2	木下 保	1変数関数の微分法,積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01311を選択して登録すること.数学類の学生(2024年度以降入学者)はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01311の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FA01381	微積分1	1	1.0	1	春BC	月2	木下 保	1変数関数の微分法,積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01311を選択して登録すること.物理学類の学生(2024年度以降入学者)はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01311の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01391	微積分1	1	1.0	1	春BC	月2	相山 玲子,佐垣 大輔	1変数関数の微分法,積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01311を選択して登録すること.化学類の学生(2024年度以降入学者)はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01311の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA013A1	微積分1	1	1.0	1	春BC	月2	相山 玲子,佐垣 大輔	1変数関数の微分法,積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01311を選択して登録すること.地球学類の学生(2024年度以降入学者)はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01311の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA013C1	微積分1	1	1.0	1	春BC	月2	浅井 健彦,グエン チエト ヴァン	1変数関数の微分法,積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01311を選択して登録すること.総合学域群の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01311の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA013D1	微積分1	1	1.0	1	春BC	月2	大嶋 建一	1変数関数の微分法,積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01311を選択して登録すること.総合学域群の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01311の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FA01411	微積分2	1	1.0	1	秋AB	金3	茂木 裕幸	微積分1の続きとして,多変数関数の微分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01411を選択して登録すること.応用理工学類(学籍番号奇数)の学生はこのクラスを受講すること.※微積分I(FBA10X1(X=2,...,6)),微積分II(FBA15X1(X=0,...,3)),解析学IB(FF17214,FF17224),解析学I(FG10314,FG10324),微積分II(FH60541,FH60551)の単位を取得している者は履修できない. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01421	微積分2	1	1.0	1	秋AB	金3	大井川 治宏	微積分1の続きとして,多変数関数の微分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01411を選択して登録すること.応用理工学類(学籍番号偶数)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01411の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01431	微積分2	1	1.0	1	秋AB	金3	掛谷 英紀	微積分1の続きとして,多変数関数の微分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01411を選択して登録すること.工学システム学類(1,2クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01411の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01441	微積分2	1	1.0	1	秋AB	金3	新里 高行	微積分1の続きとして,多変数関数の微分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01411を選択して登録すること.工学システム学類(3,4クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01411の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01451	微積分2	1	1.0	1	秋AB	金3	繆 瑩	微積分1の続きとして,多変数関数の微分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01411を選択して登録すること.社会工学類(1,2クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01411の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FA01461	微積分2	1	1.0	1	秋AB	金3	髙橋 裕紀	微積分1の続きとして,多変数関数の微分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01411を選択して登録すること.社会工学類(3,4クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01411の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01471	微積分2	1	1.0	1	秋AB	金3	照井 章	微積分1の続きとして,多変数関数の微分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01411を選択して登録すること.数学類の学生(2024年度以降入学者)はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01411の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01481	微積分2	1	1.0	1	秋AB	金3	照井 章	微積分1の続きとして,多変数関数の微分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01411を選択して登録すること.物理学類の学生(2024年度以降入学者)はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01411の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01491	微積分2	1	1.0	1	秋AB	金3	木下 保	微積分1の続きとして,多変数関数の微分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01411を選択して登録すること.化学類の学生(2024年度以降入学者)はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01411の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA014A1	微積分2	1	1.0	1	秋AB	金3	木下 保	微積分1の続きとして,多変数関数の微分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01411を選択して登録すること.地球学類の学生(2024年度以降入学者)はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01411の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA014C1	微積分2	1	1.0	1	秋AB	金3	大嶋 建一	微積分1の続きとして,多変数関数の微分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01411を選択して登録すること.総合学域群の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01411の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FA014D1	微積分2	1	1.0	1	秋AB	金3	八森 正泰	微積分1の続きとして,多変数関数の微分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01411を選択して登録すること.総合学域群の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01411の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01511	微積分3	1	1.0	1	秋C	水5 金3	大井川 治宏	微積分1,2の続きとして,多変数関数の積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01511を選択して登録すること.応用理工学類(学籍番号奇数)の学生はこのクラスを受講すること.※ 微積分II(FBA1XY1(XY=07,08,09,10)),微積分III(FBA15X1(X=4,...,7)),解析学IB(FF17214,FF17224),解析学II(FG10354,FG10364),微積分II(FH60541,FH60551)の単位を取得している者は履修できない. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01521	微積分3	1	1.0	1	秋C	水5 金3	岡田 朗	微積分1,2の続きとして,多変数関数の積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01511を選択して登録すること.応用理工学類(学籍番号偶数)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01511の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01531	微積分3	1	1.0	1	秋C	水5 金3	掛谷 英紀	微積分1,2の続きとして,多変数関数の積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01511を選択して登録すること.工学システム学類(1,2クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01511の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01541	微積分3	1	1.0	1	秋C	水5 金3	新里 高行	微積分1,2の続きとして,多変数関数の積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01511を選択して登録すること.工学システム学類(3,4クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01511の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FA01551	微積分3	1	1.0	1	秋C	水5 金3	繆 瑩	微積分1,2の続きとして,多変数関数の積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01511を選択して登録すること.社会工学類(1,2クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01511の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01561	微積分3	1	1.0	1	秋C	水5 金3	八森 正泰	微積分1,2の続きとして,多変数関数の積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01511を選択して登録すること.社会工学類(3,4クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01511の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01571	微積分3	1	1.0	1	秋C	水5 金3	福島 竜輝	微積分1,2の続きとして,多変数関数の積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01511を選択して登録すること.数学類の学生(2024年度以降入学者)はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01511の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01581	微積分3	1	1.0	1	秋C	水5 金3	福島 竜輝	微積分1,2の続きとして,多変数関数の積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01511を選択して登録すること.物理学類の学生(2024年度以降入学者)はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01511の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01591	微積分3	1	1.0	1	秋C	水5 金3	相山 玲子,永野幸一	微積分1,2の続きとして,多変数関数の積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01511を選択して登録すること.化学類の学生(2024年度以降入学者)はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01511の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA015A1	微積分3	1	1.0	1	秋C	水5 金3	相山 玲子,永野幸一	微積分1,2の続きとして,多変数関数の積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01511を選択して登録すること.地球学類の学生(2024年度以降入学者)はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01511の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FA015C1	微積分3	1	1.0	1	秋C	水5 金3	吉田 昭二	微積分1,2の続きとして,多変数関数の積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01511を選択して登録すること.総合学域群の学生はこのクラスを受講すること. 履修条件はFA01511の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA015D1	微積分3	1	1.0	1	秋C	水5 金3	高安 亮紀,磯部大吾郎	微積分1,2の続きとして,多変数関数の積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01511を選択して登録すること.総合学域群の学生はこのクラスを受講すること. 履修条件はFA01511の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01611	線形代数1	1	1.0	1	春BC	金3	牧村 哲也	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.行列演算,連立1次方程式,行列式.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01611を選択して登録すること.応用理工学類(学籍番号奇数)の学生はこのクラスを受講すること.※線形代数I(FBA11X1(X=1,...,5),FBA1XY1(XY=58,59,60,61)),線形代数IA(FF17314,FF17324),線形代数A(FG10504,FG10514),線形代数I(FH60611,FH60621)の単位を取得している者は履修できない. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01621	線形代数1	1	1.0	1	春BC	金3	江角 直道	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.行列演算,連立1次方程式,行列式.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01611を選択して登録すること.応用理工学類(学籍番号偶数)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01611の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01631	線形代数1	1	1.0	1	春BC	金3	河合 新	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.行列演算,連立1次方程式,行列式.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01611を選択して登録すること.工学システム学類(1,2クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01611の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FA01641	線形代数1	1	1.0	1	春BC	金3	井澤 淳	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.行列演算,連立1次方程式,行列式.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01611を選択して登録すること.工学システム学類(3,4クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01611の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01651	線形代数1	1	1.0	1	春BC	金3	リュウ ティエンシャン	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.行列演算,連立1次方程式,行列式.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01611を選択して登録すること.社会工学類(1,2クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01611の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01661	線形代数1	1	1.0	1	春BC	金3	作道 真理	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.行列演算,連立1次方程式,行列式.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01611を選択して登録すること.社会工学類(3,4クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01611の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01671	線形代数1	1	1.0	1	春BC	金3	木村 健一郎,増岡彰	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.行列演算,連立1次方程式,行列式.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01611を選択して登録すること.数学類の学生(2024年度以降入学者)はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01611の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01681	線形代数1	1	1.0	1	春BC	金3	木村 健一郎,増岡彰	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.行列演算,連立1次方程式,行列式.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01611を選択して登録すること.物理学類の学生(2024年度以降入学者)はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01611の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01691	線形代数1	1	1.0	1	春BC	金3	石井 敦	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.行列演算,連立1次方程式,行列式.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01611を選択して登録すること.化学類の学生(2024年度以降入学者)はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01611の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FA016A1	線形代数1	1	1.0	1	春BC	金3	石井 敦	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.行列演算,連立1次方程式,行列式.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01611を選択して登録すること.地球学類の学生(2024年度以降入学者)はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01611の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA016C1	線形代数1	1	1.0	1	春BC	金3	東郷 訓	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.行列演算,連立1次方程式,行列式.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01611を選択して登録すること.総合学域群の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01611の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA016D1	線形代数1	1	1.0	1	春BC	金3	河本 浩明	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.行列演算,連立1次方程式,行列式.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01611を選択して登録すること.総合学域群の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01611の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01711	線形代数2	1	1.0	1	秋AB	水5	白木 賢太郎	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.ベクトル,線形空間,線形写像.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01711を選択して登録すること.応用理工学類(学籍番号奇数)の学生はこのクラスを受講すること.※線形代数I(FBA11X1(X=1,...,5)),線形代数II(FBA16X1(X=2,...,5)),線形代数IA(FF17314,FF17324),線形代数IB(FF17414,FF17424),線形代数A(FG10504,FG10514),線形代数II(FH60641,FH60651)の単位を取得している者は履修できない. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01721	線形代数2	1	1.0	1	秋AB	水5	江角 直道	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.ベクトル,線形空間,線形写像.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01711を選択して登録すること.応用理工学類(学籍番号偶数)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01711の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FA01731	線形代数2	1	1.0	1	秋AB	水5	髙谷 剛志	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.ベクトル,線形空間,線形写像.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01711を選択して登録すること.工学システム学類(1,2クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01711の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01741	線形代数2	1	1.0	1	秋AB	水5	塚田 正人	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.ベクトル,線形空間,線形写像.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01711を選択して登録すること.工学システム学類(3,4クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01711の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01751	線形代数2	1	1.0	1	秋AB	水5	木下 陽平	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.ベクトル,線形空間,線形写像.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01711を選択して登録すること.社会工学類(1,2クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01711の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01761	線形代数2	1	1.0	1	秋AB	水5	堤 盛人	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.ベクトル,線形空間,線形写像.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01711を選択して登録すること.社会工学類(3,4クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01711の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01771	線形代数2	1	1.0	1	秋AB	水5	木村 健一郎,丹下基生	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.ベクトル,線形空間,線形写像.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01711を選択して登録すること.数学類の学生(2024年度以降入学者)はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01711の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01781	線形代数2	1	1.0	1	秋AB	水5	木村 健一郎,丹下基生	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.ベクトル,線形空間,線形写像.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01711を選択して登録すること.物理学類の学生(2024年度以降入学者)はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01711の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FA01791	線形代数2	1	1.0	1	秋AB	水5	石井 敦	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.ベクトル,線形空間,線形写像.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01711を選択して登録すること.化学類の学生(2024年度以降入学者)はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01711の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA017A1	線形代数2	1	1.0	1	秋AB	水5	石井 敦	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.ベクトル,線形空間,線形写像.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01711を選択して登録すること.地球学類の学生(2024年度以降入学者)はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01711の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA017C1	線形代数2	1	1.0	1	秋AB	水5	山本 芳嗣	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.ベクトル,線形空間,線形写像.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01711を選択して登録すること.総合学域群の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01711の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA017D1	線形代数2	1	1.0	1	秋AB	水5	川崎 真弘	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.ベクトル,線形空間,線形写像.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01711を選択して登録すること.総合学域群の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01711の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01811	線形代数3	1	1.0	1	秋C	月2 水4	奥村 宏典	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.固有値・固有ベクトル,対称行列,2次形式とその応用.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01811を選択して登録すること.応用理工学類(学籍番号奇数)の学生はこのクラスを受講すること.※線形代数II(FBA11X1(X=6,...,9)),線形代数III(FBA16X1(X=6,...,9)),線形代数IB(FF17414,FF17424),線形代数A(FG10504,FG10514),線形代数II(FH60641,FH60651)の単位を取得している者は履修できない. 専門導入科目(事前登録対象) 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FA01821	線形代数3	1	1.0	1	秋C	月2 水4	石井 宏幸	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.固有値・固有ベクトル,対称行列,2次形式とその応用.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01811を選択して登録すること.応用理工学類(学籍番号偶数)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01811の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01831	線形代数3	1	1.0	1	秋C	月2 水4	川崎 真弘	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.固有値・固有ベクトル,対称行列,2次形式とその応用.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01811を選択して登録すること.工学システム学類(1,2クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01811の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01841	線形代数3	1	1.0	1	秋C	月2 水4	塚田 正人	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.固有値・固有ベクトル,対称行列,2次形式とその応用.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01811を選択して登録すること.工学システム学類(3,4クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01811の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01851	線形代数3	1	1.0	1	秋C	月2 水4	木下 陽平	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.固有値・固有ベクトル,対称行列,2次形式とその応用.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01811を選択して登録すること.社会工学類(1,2クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01811の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01861	線形代数3	1	1.0	1	秋C	月2 水4	和田 健太郎	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.固有値・固有ベクトル,対称行列,2次形式とその応用.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01811を選択して登録すること.社会工学類(3,4クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01811の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01871	線形代数3	1	1.0	1	秋C	月2 水4	木村 健一郎,増岡彰	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.固有値・固有ベクトル,対称行列,2次形式とその応用.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01811を選択して登録すること.数学類の学生(2024年度以降入学者)はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01811の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FA01881	線形代数3	1	1.0	1	秋C	月2 水4	木村 健一郎,増岡 彰	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.固有値・固有ベクトル,対称行列,2次形式とその応用.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01811を選択して登録すること.物理学類の学生(2024年度以降入学者)はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01811の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01891	線形代数3	1	1.0	1	秋C	月2 水4	小野 肇	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.固有値・固有ベクトル,対称行列,2次形式とその応用.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01811を選択して登録すること.化学類の学生(2024年度以降入学者)はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01811の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA018A1	線形代数3	1	1.0	1	秋C	月2 水4	小野 肇	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.固有値・固有ベクトル,対称行列,2次形式とその応用.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01811を選択して登録すること.地球学類の学生(2024年度以降入学者)はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01811の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA018C1	線形代数3	1	1.0	1	秋C	月2 水4	山本 芳嗣	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.固有値・固有ベクトル,対称行列,2次形式とその応用.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01811を選択して登録すること.総合学域群の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01811の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA018D1	線形代数3	1	1.0	1	秋C	月2 水4	白木 賢太郎	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.固有値・固有ベクトル,対称行列,2次形式とその応用.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01811を選択して登録すること.総合学域群の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01811の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面

開設母体　　要件
数学類

数学類(専門基礎科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FBA1451	数学概論	1	1.0	1	春BC	NT	山本 光	代数学,解析学,幾何学,情報数学の各分野の教員が,数学の美しさや楽しさをオムニバス講座で紹介する.	数学する楽しみ (1A12021) の単位を取得しているものは履修できない. 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 成績評価は合否 (P/F) にて判定する.
FBA1461	微積分I	1	1.0	1	春BC	月2	木下 保	1変数関数の微分,積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	数学類対象.履修できるのは2023年度以前に入学したものに限る. シラバスは FA01371 と同一.※微積分I (FBA10X1, X=2,...,6),微積分1 (FA013X1, X=1,...,9,A,C,D)または微分積分A (GA153X1, X=1,..,4) の単位を取得しているものは履修できない. 対面
FBA1471	微積分I	1	1.0	1	春BC	月2	木下 保	1変数関数の微分,積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	物理学類対象. 履修できるのは2023年度以前に入学したものに限る. シラバスは FA01381 と同一. ※履修条件は FBA1461 の※と同じ. 対面
FBA1481	微積分I	1	1.0	1	春BC	月2	相山 玲子,佐垣 大輔	1変数関数の微分,積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	化学類対象.履修できるのは2023年度以前に入学したものに限る. シラバスは FA01391 と同一.※履修条件は FBA1461 の※と同じ. 対面
FBA1491	微積分I	1	1.0	1	春BC	月2	相山 玲子,佐垣 大輔	1変数関数の微分,積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	地球学類対象.履修できるのは2023年度以前に入学したものに限る.シラバスは FA013A1 と同一.履修条件は FBA1461 の※と同じ. 対面
FBA1501	微積分II	1	1.0	1	秋AB	金3	照井 章	微分と積分に関する基礎的内容を講義する. 微積分IIでは, 主に多変数の微分(偏微分)を扱う.	数学類対象. 履修できるのは2023年度以前に入学したものに限る. シラバスは FA01471 と同一. ※微積分I (FBA10X1, X=2,...,6),微積分2 (FA014X1, X=1,...,9,AC,D)または微分積分A (GA153X1, X=1,..,4) の単位を取得しているものは履修できない. 対面
FBA1511	微積分II	1	1.0	1	秋AB	金3	照井 章	微分と積分に関する基礎的内容を講義する. 微積分IIでは, 主に多変数の微分(偏微分)を扱う.	物理学類対象. 履修できるのは2023年度以前に入学したものに限る. シラバスは FA01481 と同一. 履修条件は FBA1501 の※と同じ. 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FBA1521	微積分II	1	1.0	1	秋AB	金3	福島 竜輝,木下保	微分と積分に関する基礎的内容を講義する. 微積分IIでは, 主に多変数の微分(偏微分)を扱う.	化学類対象. 履修できるのは2023年度以前に入学したものに限る. シラバスは FA01491と同一. 履修条件は FBA1501の※と同じ. 対面
FBA1531	微積分II	1	1.0	1	秋AB	金3	木下 保	微分と積分に関する基礎的内容を講義する. 微積分IIでは, 主に多変数の微分(偏微分)を扱う.	地球学類対象. 履修できるのは2023年度以前に入学したものに限る. シラバスは FA014A1と同一. 履修条件は FBA1501の※と同じ. 対面
FBA1541	微積分III	1	1.0	1	秋C	水5 金3	福島 竜輝	微分と積分に関する基礎的内容を講義する. 微積分IIIでは, 主に多変数の積分(重積分)および級数を扱う.	数学類対象.履修できるのは2023年度以前に入学したものに限る. シラバスは FA01571と同一.※微積分II (FBA1XY1, XY=07,08,09,10) または微積分3 (FA015X1, X=1,...,9,AC,D) の単位を取得しているものは履修できない. 対面
FBA1551	微積分III	1	1.0	1	秋C	水5 金3	福島 竜輝	微分と積分に関する基礎的内容を講義する. 微積分IIIでは, 主に多変数の積分(重積分)および級数を扱う.	物理学類対象.履修できるのは2023年度以前に入学したものに限る.シラバスは FA01581 と同一.履修条件は FBA1541 の※と同じ. 対面
FBA1561	微積分III	1	1.0	1	秋C	水5 金3	相山 玲子,永野幸一	微分と積分に関する基礎的内容を講義する. 微積分IIIでは, 主に多変数の積分(重積分)および級数を扱う.	化学類対象.履修できるのは2023年度以前に入学したものに限る. シラバスは FA01591と同一.履修条件は FBA1541 の※と同じ. 対面
FBA1571	微積分III	1	1.0	1	秋C	水5 金3	相山 玲子,永野幸一	微分と積分に関する基礎的内容を講義する. 微積分IIIでは, 主に多変数の積分(重積分)および級数を扱う.	地球学類対象.履修できるのは2023年度以前に入学したものに限る.シラバスは FA015A1 と同一.履修条件は FBA1541 の※と同じ. 対面
FBA1581	線形代数I	1	1.0	1	春BC	金3	木村 健一郎,増岡彰	行列や線形空間,線形写像などの線形代数の基礎的内容を講義する.	数学類対象. 履修できるのは2023年度以前に入学したものに限る. シラバスは FA01671と同一. ※線形代数I (FBA11X1, X=1,...,5),線形代数1 (FA016X1, X=1,...,9,A,C,D)または線形代数A (GA152X1, X=1,..,4) の単位を取得しているものは履修できない. 対面
FBA1591	線形代数I	1	1.0	1	春BC	金3	木村 健一郎,増岡彰	行列や線形空間,線形写像などの線形代数の基礎的内容を講義する.	物理学類対象. 履修できるのは2023年度以前に入学したものに限る. シラバスは FA01681と同一. 履修条件は FBA1581の※と同じ. 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FBA1601	線形代数I	1	1.0	1	春BC	金3	石井 敦	行列や線形空間,線形写像などの線形代数の基礎的内容を講義する.	化学類対象.履修できるのは2023年度以前に入学したものに限る. シラバスは FA01691 と同一.※履修条件は FBA1581 の※と同じ. 対面
FBA1611	線形代数I	1	1.0	1	春BC	金3	石井 敦	行列や線形空間,線形写像などの線形代数の基礎的内容を講義する.	地球学類対象.履修できるのは2023年度以前に入学したものに限る.シラバスは FA016A1 と同一.履修条件は FBA1581 の※と同じ. 対面
FBA1621	線形代数II	1	1.0	1	秋AB	水5	木村 健一郎,丹下基生	行列や線形空間,線形写像などの線形代数の基礎的内容を講義する.	数学類対象. 履修できるのは2023年度以前に入学したものに限る. シラバスは FA01771 と同一. ※線形代数I (FBA11X1, X=1,...,5),線形代数2 (FA017X1, X=1,...,9,A,C,D) または線形代数A (GA152X1, X=1,..,4) の単位を取得しているものは履修できない. 対面
FBA1631	線形代数II	1	1.0	1	秋AB	水5	木村 健一郎,丹下基生	行列や線形空間,線形写像などの線形代数の基礎的内容を講義する.	物理学類対象. 履修できるのは2023年度以前に入学したものに限る. シラバスは FA01781 と同一. 履修条件は FBA1621 の※と同じ. 対面
FBA1641	線形代数II	1	1.0	1	秋AB	水5	石井 敦	行列や線形空間,線形写像などの線形代数の基礎的内容を講義する.	化学類対象.履修できるのは2023年度以前に入学したものに限る. シラバスは FA01791 と同一.履修条件は FBA1621 の※と同じ. 対面
FBA1651	線形代数II	1	1.0	1	秋AB	水5	石井 敦	行列や線形空間,線形写像などの線形代数の基礎的内容を講義する.	地球学類対象.履修できるのは2023年度以前に入学したものに限る.シラバスは FA017A1 と同一.履修条件は FBA1621 の※と同じ. 対面
FBA1661	線形代数III	1	1.0	1	秋C	月2 水4	木村 健一郎,増岡彰	行列や線形空間,線形写像などの線形代数の基礎的内容を講義する.	数学類対象. 履修できるのは2023年度以前に入学したものに限る. シラバスは FA01871 と同一. ※線形代数II (FBA11X1, X=6,...,9) または線形代数3 (FA018X1, X=1,...,9,A,C,D) の単位を取得しているものは履修できない. 対面
FBA1671	線形代数III	1	1.0	1	秋C	月2 水4	木村 健一郎,増岡彰	行列や線形空間,線形写像などの線形代数の基礎的内容を講義する.	物理学類対象. 履修できるのは2023年度以前に入学したものに限る. シラバスは FA01881 と同一. 履修条件は FBA1661 の※と同じ. 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FBA1681	線形代数III	1	1.0	1	秋C	月2 水4	小野 肇	行列や線形空間,線形写像などの線形代数の基礎的内容を講義する.	化学類対象.履修できるのは2023年度以前に入学したものに限る.シラバスは FA01891 と同一.履修条件は FBA1661 の※と同じ. 対面
FBA1691	線形代数III	1	1.0	1	秋C	月2 水4	小野 肇	行列や線形空間,線形写像などの線形代数の基礎的内容を講義する.	地球学類対象.履修できるのは2023年度以前に入学したものに限る.シラバスは FA018A1 と同一.履修条件は FBA1661 の※と同じ. 対面
FBA1701	数学リテラシー3	1	1.0	1	春C	火3,4	山本 光	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー3ではイプシロンデルタ論法に基づく,極限の厳密な扱い方を学ぶ.	主に数学類対象.数学基礎（FBA1011）の単位を取得しているものは履修できない. 対面
FBA1711	数学リテラシー3	1	1.0	1	春C	火3,4	山本 光	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー3ではイプシロンデルタ論法に基づく,極限の厳密な扱い方を学ぶ.	主に物理学類対象.数学基礎（FBA1011）の単位を取得しているものは履修できない. 対面
FBA1722	微積分演習S	2	1.0	1	春BC	月3	大谷内 奈穂,木下保	微積分に関する演習問題を解くことで,微積分についての理解を深める.	数学類対象. ※微積分I演習（FBA12X2, X=0,...,5）の単位を取得しているものは履修できない. 対面
FBA1732	微積分演習S	2	1.0	1	春BC	月3	大谷内 奈穂,木下保	微積分に関する演習問題を解くことで,微積分についての理解を深める.	物理学類対象. 履修条件は FBA1722 の※と同じ. 対面
FBA1742	微積分演習S	2	1.0	1	春BC	月3	濱中 翔太,福島竜輝	微積分に関する演習問題を解くことで,微積分についての理解を深める.	化学類対象. 履修条件は FBA1722 の※と同じ. 対面
FBA1752	微積分演習S	2	1.0	1	春BC	月3	濱中 翔太,福島竜輝	微積分に関する演習問題を解くことで,微積分についての理解を深める.	地球学類対象. 履修条件は FBA1722 の※と同じ. 対面
FBA1762	線形代数演習S	2	1.0	1	春BC	水3	山本 光	線形代数に関する演習問題を解くことで,線形代数についての理解を深める.	数学類対象. ※線形代数I演習（FBA13X2, X=2,...,7）の単位を取得しているものは履修できない. 対面
FBA1772	線形代数演習S	2	1.0	1	春BC	水3	山本 光	線形代数に関する演習問題を解くことで,線形代数についての理解を深める.	物理学類対象.履修条件は FBA1762 の※と同じ. 対面
FBA1782	線形代数演習S	2	1.0	1	春BC	水3	坂本 龍太郎,佐垣大輔	線形代数に関する演習問題を解くことで,線形代数についての理解を深める.	化学類対象.履修条件は FBA1762 の※と同じ. 対面
FBA1792	線形代数演習S	2	1.0	1	春BC	水3	坂本 龍太郎,佐垣大輔	線形代数に関する演習問題を解くことで,線形代数についての理解を深める.	地球学類対象.履修条件は FBA1762 の※と同じ. 対面
FBA1802	微積分演習F	2	1.0	1	秋AB	月3	三原 朋樹,福島竜輝	微積分に関する演習問題を解くことで,微積分についての理解を深める.	数学類対象. ※微積分II演習（FBA1XY2, XY=26,...,31）の単位を取得しているものは履修できない. 対面
FBA1812	微積分演習F	2	1.0	1	秋AB	月3	三原 朋樹,福島竜輝	微積分に関する演習問題を解くことで,微積分についての理解を深める.	物理学類対象. 履修条件は FBA1802 の※と同じ. 対面
FBA1822	微積分演習F	2	1.0	1	秋AB	月3	濱中 翔太,丹下基生	微積分に関する演習問題を解くことで,微積分についての理解を深める.	化学類対象. 履修条件は FBA1802 の※と同じ. 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FBA1832	微積分演習F	2	1.0	1	秋AB	月3	濱中 翔太,丹下 基生	微積分に関する演習問題を解くことで,微積分についての理解を深める.	地球学類対象. 履修条件は FBA1802 の※と同じ. 対面
FBA1842	線形代数演習F	2	1.0	1	秋AB	水3	及川 一誠	線形代数に関する演習問題を解くことで,線形代数についての理解を深める.	数学類対象. ※線形代数II演習 (FBA1XY2, XY=38,...,43) の単位を取得しているものは履修できない. 対面
FBA1852	線形代数演習F	2	1.0	1	秋AB	水3	及川 一誠	線形代数に関する演習問題を解くことで,線形代数についての理解を深める.	物理学類対象. 履修条件は FBA1842 の※と同じ. 対面
FBA1862	線形代数演習F	2	1.0	1	秋AB	水3	坂本 龍太郎,佐垣 大輔	線形代数に関する演習問題を解くことで,線形代数についての理解を深める.	化学類対象. 履修条件は FBA1842 の※と同じ. 対面
FBA1872	線形代数演習F	2	1.0	1	秋AB	水3	坂本 龍太郎,佐垣 大輔	線形代数に関する演習問題を解くことで,線形代数についての理解を深める.	地球学類対象. 履修条件は FBA1842 の※と同じ. 対面

数学類(専門科目・専門基礎科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FB12071	ベクトル解析と幾何	1	1.5	2	春ABC	月3	永野 幸一	ベクトル解析の基礎について論述する.	対面
FB12082	ベクトル解析と幾何演習	2	1.5	2	春ABC	月4	永野 幸一	ベクトル解析と幾何の講義に基づき問題演習を行う.	対面
FB12131	線形代数続論	1	1.5	2	春ABC	金4	伊藤 敦	ベクトル空間の線形変換についてジョルダン標準型など基本事項を述べる.	対面
FB12142	線形代数続論演習	2	1.5	2	春ABC	金5	坂本 龍太郎,増岡 彰	「線形代数続論」の講義に基づいて演習する.	対面
FB12231	代数入門	1	1.5	2	秋ABC	金4	木村 健一郎,伊藤 敦	雪の結晶,正4面体,あみだくじ,整列,多項式など,我々の身近にある具体的な例を通じて,現代数学にはなくてはならない「群」や「環」という代数系の基礎事項を学ぶ.	対面
FB12242	代数入門演習	2	1.5	2	秋ABC	金5	三原 朋樹,伊藤 敦	「代数入門」の講義に基づき演習する.	対面
FB12331	集合入門	1	1.5	2	春ABC	水4	塩谷 真弘	集合と写像に関する基礎的な事項について解説する.	対面
FB12342	集合入門演習	2	1.5	2	春ABC	水5	竹内 耕太,塩谷 真弘	集合論に関連する問題を解く. この演習を通じて集合入門の講義内容の理解を深める.	対面
FB12431	トポロジー入門	1	1.5	2	秋ABC	月3	平山 至大	位相空間に関する基礎的な事柄について解説する.	対面
FB12442	トポロジー入門演習	2	1.5	2	秋ABC	月4	平山 至大	トポロジー入門の講義に基づき問題演習を行う.	対面
FB12531	微分方程式入門	1	1.5	2	春ABC	金2	桑原 敏郎	関数項級数および微分方程式の基礎について論述する.	対面
FB12542	微分方程式入門演習	2	1.5	2	春ABC	火2	桑原 敏郎	微分方程式入門の講義に基づき問題演習を行う.	対面
FB12632	計算機演習	2	1.5	2	秋ABC	火6	照井 章,及川 一誠	計算機による数値/数式計算の技術や,数学における計算機の利用方法の習得を目的とし,数式処理システムやプログラミング言語を用いた演習を行う.	対面
FB12721	統計学	1	1.5	2	秋ABC	水4	矢田 和善	データによる実証なくしては自然科学は成立しない.本講義では,データの見方・考え方について平易に解説する.	対面
FB12732	統計学演習	2	1.5	2	秋ABC	水5	大谷内 奈穂,矢田 和善	統計学の講義に基づき問題演習を行う.	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FB12801	数学外書輪講I	1	3.0	2	通年	月5	川村 一宏, 小野 肇	興味ある数学のトピックスに関する外書を少人数のクラスに分けて輪講を行う.	学籍番号の下5桁が10700以上11500未満の学生が対象者である. G科目 対面
FB12811	数学外書輪講I	1	3.0	2	通年	月5	金子 元, 濱中 翔太	興味ある数学のトピックスに関する外書を少人数のクラスに分けて輪講を行う.	学籍番号の下5桁が10700未満の学生が対象者である. G科目 対面
FB12821	数学外書輪講I	1	3.0	2	通年	月5	三原 朋樹, 丹下 基生	興味ある数学のトピックスに関する外書を少人数のクラスに分けて輪講を行う.	学籍番号の下5桁が11500以上の学生が対象者である. G科目 対面
FB12901	関数論	1	1.5	2	秋ABC	火2	松浦 浩平, 桑原 敏郎	1変数の複素関数論の基本事項を講義する. その内容は, 正則関数, コーシーの積分定理, ベキ級数, ローラン展開, 留数計算, 解析接続等である.	対面
FB12912	関数論演習	2	1.5	2	秋ABC	火3	桑原 敏郎	関数論の講義に基づき問題演習を行う.	対面
FB12931	曲面論	1	1.5	2	秋ABC	月2	相山 玲子, 小野 肇	曲面論の基礎について解説する.	曲面論 (FB13351) の単位を取得済みのものは履修できない. 対面
FB12942	曲面論演習	2	1.5	2	秋ABC	木2	相山 玲子, 山本 光	「曲面論」の理解を深めるための演習を行う.	曲面論演習 (FB13362) の単位を取得済みのものは履修できない. 対面
FB12951	数学類キャリアパスセミナー	1	1.0	2	秋ABC	木3	竹山 美宏	社会における数学のニーズを学ぶと同時に, 数学類卒業後にどのような進路が考えられるかを紹介する.	数学類生に限る 詳細後日周知 対面 成績評価は合否 (P/F) にて判定する.
FB13061	代数学IA	1	3.0	3	春ABC	水5 金2	カーナハン スコット ファイレイ	単因子, 体の基本的な事項を解説する.	対面
FB13071	代数学IB	1	3.0	3	秋ABC	水5 金2	金子 元	環と群の基本的な事項を解説する.	対面
FB13141	トポロジーA	1	1.5	3	春ABC	水2	石井 敦	基本群に関する基礎的な事柄について解説する.	対面
FB13151	トポロジーB	1	1.5	3	秋ABC	水2	丹下 基生	ホモロジー論に関する基礎的な事柄について解説する.	対面
FB13241	多様体入門	1	1.5	3	春ABC	月4	永野 幸一	微分幾何学の基礎である可微分多様体について基本概念を講義する.	対面
FB13252	多様体入門演習	2	1.5	3	春ABC	月5	永野 幸一	「多様体入門」の理解を深めるための演習を行う.	対面
FB13261	偏微分方程式	1	1.5	3	春ABC	金3	松浦 浩平, 濱名 裕治	偏微分方程式は, 自然科学のさまざまな分野で現れ, 先人たちはその解を求めるために工夫を凝らしてきました. その中でも波の伝導を記述する波動方程式と熱の伝導を記述する熱方程式を中心に解説します.	2024年度, 2026年度に開講し, 2027年度以降は開講しない(廃止) 西暦偶数年度開講。 オンライン(オンデマンド型)
FB13271	関数解析入門	1	1.5	3	秋ABC	火3	木下 保	ヒルベルト空間, バナッハ空間などの関数空間の取り扱いについて講義する.	西暦偶数年度開講。 対面
FB13282	関数解析入門演習	2	1.5	3	秋ABC	火4	松浦 浩平, 濱名 裕治	「関数解析入門」の理解を深めるため演習を行う.	2024年度, 2026年度に開講し, 2027年度以降は開講しない(廃止) 西暦偶数年度開講。 対面
FB13371	ルベーグ積分	1	1.5	3	春ABC	火3	福島 竜輝	測度論およびルベーグ積分論の基本的事項について解説する.	対面
FB13382	ルベーグ積分演習	2	1.5	3	春ABC	火4	福島 竜輝	「ルベーグ積分」の講義の理解を深めるための演習を行う.	対面
FB13441	確率論I	1	1.5	3	春ABC	水4	濱名 裕治	ランダムウォークを題材に確率過程の基礎的な事項について講義します.	対面
FB13451	数理論理学I	1	1.5	3	春ABC	金4	塩谷 真弘	命題論理と第一階の述語論理の形式的体系を定義し, その性質を調べる. 完全性定理の証明を行う. その他.	対面
FB13461	数理統計学I	1	1.5	3	春ABC	水3	青嶋 誠	「統計学」の知識を前提にして, 統計的推測の基礎理論について, 推定論を解説する.	対面
FB13471	計算機数学I	1	1.5	3	春ABC	月3	照井 章	計算数学, 理論計算機科学の研究の基礎となるアルゴリズムとその効率の基本的事項について学ぶ.	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FB13501	数学外書輪講II	1	2.0	3	春ABC 秋A	月6	カーナハン スコット ファイレイ	興味ある数学のトピックスに関する外書を少人数のクラスに分けて輪講を行う.	学籍番号の下5桁が10800未満の学生が対象者である. G科目 対面
FB13511	数学外書輪講II	1	2.0	3	春ABC 秋A	月6	増岡 彰	興味ある数学のトピックスに関する外書を少人数のクラスに分けて輪講を行う.	学籍番号の下5桁が11600以上の学生が対象者である. G科目 対面
FB13521	数学外書輪講II	1	2.0	3	春ABC 秋A	月6	及川 一誠	興味ある数学のトピックスに関する外書を少人数のクラスに分けて輪講を行う.	学籍番号の下5桁が10800以上11600未満の学生が対象者である. G科目 対面
FB13601	確率論II	1	1.5	3・4	秋ABC	月4	濱名 裕治	前世紀初頭に誕生したルベーグ積分論を基礎として確率論が定式化され,そのことが現代確率論の飛躍的な発展につながりました.数理ファイナンスにまで応用されるに至り,ますます広がりを見せています.現代確率論の基礎知識である確率変数,期待値,確率変数列の収束,極限定理を数学として定式化された枠組みを用いて解説します.	対面
FB13611	数理論理学II	1	1.5	3・4	秋ABC	金4	竹内 耕太,塩谷 真弘	数理論理学の基礎と応用について論じる.	対面
FB13621	数理統計学II	1	1.5	3・4	秋ABC	水3	青嶋 誠	「数理統計学I」の知識を前提にして,検定論を解説する.さらに,社会調査の統計学について統計リテラシーを解説し,データ解析の方法論について統計的モデリングを解説する.	対面
FB13631	計算機数学II	1	1.5	3・4	秋ABC	月3	及川 一誠	計算機による数値計算の基礎を学ぶ.	対面
FB13801	測量学	1	2.0	3	春AB	水5,6	奈佐原 顕郎	測量器械理論, 水準測量, 測地学, 多角測量, 誤差論, 写真測量, 応用測量(リモートセンシング等)などについて講述する.	EC33241と同一。 対面
FB13901	卒業予備研究	1	3.0	3	秋BC	随時	山本 光,大谷内 奈穂,数学類教員	卒業研究の指導教員を選び,その指導教員のもとで,卒業研究に必要となる基礎知識を習得する.	数学類生に限る. 対面
FB14151	数学特論A	1	1.0	4				講師を招いて,普段の授業では学べないような内容の講義や,最先端の数学への入門的な講義をしてもらう.	西暦奇数年度開講。 詳細後日周知 対面
FB14161	数学特論B	1	1.0	4				講師を招いて,普段の授業では学べないような内容の講義や,最先端の数学への入門的な講義をしてもらう.	西暦奇数年度開講。 詳細後日周知 対面
FB14181	数学特別講義II	1	1.0	4	秋B	集中	金子 元	講師を招いて,普段の授業では学べないような内容の講義や,最先端の数学への入門的な講義をしてもらう.	西暦偶数年度開講。 詳細後日周知 対面
FB14191	数学特別講義III	1	1.0	4	秋B	集中	木下 保	講師を招いて,普段の授業では学べないような内容の講義や,最先端の数学への入門的な講義をしてもらう.	西暦偶数年度開講。 詳細後日周知 対面
FB14211	代数学II	1	1.5	4	春A	集中	増岡 彰	代数方程式のガロア理論について解説する.	対面 自然系学系棟D509で実施する
FB14221	代数学III	1	1.5	4	夏季休業中	集中	坂本 龍太郎,伊藤 敦	リー代数の入門的解説を行う.	西暦偶数年度開講。 詳細後日周知 対面
FB14231	代数学IV	1	1.5	4				環と加群のやや進んだ話題を解説する.	西暦奇数年度開講。 詳細後日周知 対面
FB14241	トポロジーC	1	1.5	4	春ABC	金5	平山 至大	トポロジー入門およびトポロジーA,Bの続論として,いくつかの事柄について解説する.	西暦偶数年度開講。 対面
FB14251	微分幾何学	1	1.5	4				リーマン幾何学の基礎,部分多様体論,多様体上の微分形式から話題を選んで解説する.	西暦奇数年度開講。 対面
FB14261	関数解析	1	1.5	4				関数解析学の基礎を解説する.	西暦奇数年度開講。 対面
FB14271	複素解析	1	1.5	4	春ABC	月4	竹内 有哉,竹山 美宏	複素変数の微分方程式,リーマン面,楕円関数,リーマンのゼータ関数,等角写像,有理関数の値分布論,などから話題を選んで解説する.	対面
FB14908	卒業研究	8	9.0	4	通年	随時	石井 敦,三原 朋樹,数学類教員	卒業予備研究で学んだ内容を活用し,より最先端の数学を学び,研究し,卒業研究として発表する.	数学類生に限る. 対面

開設母体

要件
物理学類

物理学類(専門基礎科目・数物化共通)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FCA1011	物理学序説	1	1.0	2・3	春C	火3,4	笹 公和,池沢 道男,谷口 伸彦,比村 治彦,受川 史彦	物理学の基礎を俯瞰するとともに、物理学を通じて自然界の様々な現象を理解する。これらにより、物理学を一般的かつ包括的に学習する。	教員免許の取得を目的とする者に限る。物理学類生は受講不可。 確認テストは実施しない。対面での実施を予定する。詳細はmanabaに記載する。

物理学類(専門基礎科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FCB1201	力学1	1	1.0	1	春B	水5,6	武若 聡,岡田 晋,都甲 薫,新里 高行	質点の運動(1次元・2次元の運動,振動等)を記述する運動方程式(微分方程式)とその解を学び,運動の特性を理解する.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FCB1201を選択して登録すること。応用理工学類・工学システム学類の学生はこのクラスを受講すること。原則として平成31年度以降入学者向け。力学A (FF17514, FF17524)、力学I (FG10414, FG10424)、力学1(FCB1014、FCB1024)、力学A((FC11014、FC11024)」、基礎力学A(FC11134)を履修済みの者は履修できない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 基本的に授業はオンライン(オンデマンド型)で行い、確認テストは対面で実施する。
FCB1211	力学1	1	1.0	1	春B	水5,6	岡田 晋,武若 聡,都甲 薫,新里 高行	質点の運動(1次元・2次元の運動,振動等)を記述する運動方程式(微分方程式)とその解を学び,運動の特性を理解する。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FCB1201を選択して登録すること。物理学類、化学類、数学類、地球学類、生物学類の学生はこのクラスを受講すること。原則として平成31年度以降入学者向け。力学A (FF17514, FF17524)、力学I (FG10414, FG10424) 、力学1(FCB1014、FCB1024)、力学A((FC11014、FC11024)」、基礎力学A(FC11134)を履修済みの者は履修できない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 基本的に授業はオンライン(オンデマンド型)で行い、確認テストは対面で実施する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FCB1221	力学1	1	1.0	1	春B	水5,6	都甲 薫,武若 聡,岡田 晋,新里 高行	質点の運動(1次元・2次元の運動,振動等)を記述する運動方程式(微分方程式)とその解を学び,運動の特性を理解する.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FCB1201を選択して登録すること。医学類・医療科学学類の学生はこのクラスを受講すること。原則として平成31年度以降入学者向け。力学A (FF17514, FF17524)、力学I (FG10414, FG10424) 、力学1(FCB1014、FCB1024)、力学A((FC11014、FC11024)」、基礎力学A(FC11134)を履修済みの者は履修できない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 基本的に授業はオンライン(オンデマンド型)で行い、確認テストは対面で実施する。
FCB1231	力学1	1	1.0	1	春B	水5,6	新里 高行,岡田 晋,武若 聡,都甲 薫	質点の運動(1次元・2次元の運動,振動等)を記述する運動方程式(微分方程式)とその解を学び,運動の特性を理解する.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FCB1201を選択して登録すること。総合学域群の学生はこのクラスを受講すること。原則として平成31年度以降入学者向け。力学A (FF17514, FF17524)、力学I (FG10414, FG10424) 、力学1(FCB1014、FCB1024)、力学A((FC11014、FC11024)」、基礎力学A(FC11134)を履修済みの者は履修できない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 基本的に授業はオンライン(オンデマンド型)で行い、確認テストは対面で実施する。
FCB1241	力学2	1	1.0	1	春C	水5,6	金 熙榮	「力学1」に引き続いて、質点の運動を通しての自然認識を理解することを目的とする。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FCB1241を選択して登録すること。応用理工学類・工学システム学類の学生はこのクラスを受講すること。原則として平成31年度以降入学者向け。力学A (FF17514, FF17524)、力学I (FG10414, FG10424)、力学1(FCB1014、FCB1024)、力学B(FC11034、FC11044)、基礎力学B(FC11144)を履修済みの者は履修できない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 基本的に授業はオンライン(オンデマンド型)で行い、確認テストは対面で実施する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FCB1251	力学2	1	1.0	1	春C	水5,6	石塚 成人	「力学1」に引き続いて、質点の運動を通しての自然認識を理解することを目的とする。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FCB1241を選択して登録すること。物理学類、化学類、数学類、地球学類、生物学類の学生はこのクラスを受講すること。原則として平成31年度以降入学者向け。力学A (FF17514, FF17524)、力学I (FG10414, FG10424)、力学1(FCB1014、FCB1024)、力学B(FC11034、FC11044)、基礎力学B(FC11144)を履修済みの者は履修できない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 基本的に授業はオンライン(オンデマンド型)で行い、確認テストは対面で実施する。
FCB1261	力学2	1	1.0	1	春C	水5,6	相山 康道	「力学1」に引き続いて、質点の運動を通しての自然認識を理解することを目的とする。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FCB1241を選択して登録すること。総合学域群の学生はこのクラスを受講すること。原則として平成31年度以降入学者向け。力学A (FF17514, FF17524)、力学I (FG10414, FG10424)、力学1(FCB1014、FCB1024)、力学B(FC11034、FC11044)、基礎力学B(FC11144)を履修済みの者は履修できない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 基本的に授業はオンライン(オンデマンド型)で行い、確認テストは対面で実施する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FCB1271	力学3	1	1.0	1	秋AB	水6	金谷 和至	現代科学の根幹をなす力学に関して、物理学法則の基礎的な概念を学習し、その解析法を習得する。特に、剛体の運動、非慣性系での力学、弦の振動と波動について学習する。さらに演習を通して具体的な計算を行う。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FCB1271を選択して登録すること。物理学類、化学類、数学類、地球学類、生物学類の学生はこのクラスを受講すること。原則として平成31年度以降入学者向け。力学A (FF17514, FF17524)、力学II (FG10454, FG10464) 、力学2(FCB1034、FCB1044)、力学C(FC11054、C11064)、基礎力学C(FC11154)を履修済みの者は履修できない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 基本的に授業はオンライン(オンデマンド型)で行い、確認テストは対面で実施する。
FCB1281	力学3	1	1.0	1	秋AB	水6	山﨑 剛	現代科学の根幹をなす力学に関して、物理学法則の基礎的な概念を学習し、その解析法を習得する。特に、剛体の運動、非慣性系での力学、弦の振動と波動について学習する。さらに演習を通して具体的な計算を行う。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FCB1271を選択して登録すること。総合学域群の学生はこのクラスを受講すること。原則として平成31年度以降入学者向け。力学A (FF17514, FF17524)、力学II (FG10454, FG10464) 、力学2(FCB1034、FCB1044)、力学C(FC11054、C11064)、基礎力学C(FC11154)を履修済みの者は履修できない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 基本的に授業はオンライン(オンデマンド型)で行い、確認テストは対面で実施する。
FCB1291	力学3	1	1.0	1	秋AB	水6	松田 哲也	現代科学の根幹をなす力学に関して、物理学法則の基礎的な概念を学習し、その解析法を習得する。特に、剛体の運動、非慣性系での力学、弦の振動と波動について学習する。さらに演習を通して具体的な計算を行う。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FCB1271を選択して登録すること。応用理工学類・工学システム学類の学生はこのクラスを受講すること。原則として平成31年度以降入学者向け。力学A (FF17514, FF17524)、力学II (FG10454, FG10464) 、力学2(FCB1034、FCB1044)、力学C(FC11054、C11064)、基礎力学C(FC11154)を履修済みの者は履修できない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 基本的に授業はオンライン(オンデマンド型)で行い、確認テストは対面で実施する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FCB1301	電磁気学1	1	1.0	1	秋A	火5,6	安芸 裕久	物理学の基本的な概念である「場」に基づく自然認識の基礎として、電磁気現象とそれを支配する法則、および電磁場の記述に必要な数学(多次元の微分・積分、ベクトル解析など)を学ぶ。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FCB1301を選択して登録すること。総合学域群の学生はこのクラスを受講すること。原則として平成31年度以降入学者向け。電磁気学A (FF18114, FF18124)、電磁気学I (FG10484, FG10494)、電磁気学1(FCB1054、FCB1064)、電磁気学IA(FC11074、FC11084)、基礎電磁気学A(FC11164)を履修済みの者は履修できない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 基本的に授業はオンライン(オンデマンド型)で行い、確認テストは対面で実施する。
FCB1311	電磁気学1	1	1.0	1	秋A	火5,6	野村 晋太郎	物理学の基本的な概念である「場」に基づく自然認識の基礎として、電磁気現象とそれを支配する法則、および電磁場の記述に必要な数学(多次元の微分・積分、ベクトル解析など)を学ぶ。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FCB1301を選択して登録すること。物理学類、化学類、数学類、地球学類、生物学類の学生はこのクラスを受講すること。原則として平成31年度以降入学者向け。電磁気学A (FF18114, FF18124)、電磁気学I (FG10484, FG10494)、電磁気学1(FCB1054、FCB1064)、電磁気学IA(FC11074、FC11084)、基礎電磁気学A(FC11164)を履修済みの者は履修できない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 基本的に授業はオンライン(オンデマンド型)で行い、確認テストは対面で実施する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FCB1321	電磁気学1	1	1.0	1	秋A	火5,6	矢野 裕司	物理学の基本的な概念である「場」に基づく自然認識の基礎として、電磁気現象とそれを支配する法則、および電磁場の記述に必要な数学(多次元の微分・積分、ベクトル解析など)を学ぶ。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FCB1301を選択して登録すること。応用理工学類・工学システム学類の学生はこのクラスを受講すること。原則として平成31年度以降入学者向け。電磁気学A (FF18114, FF18124)、電磁気学I (FG10484, FG10494)、電磁気学1(FCB1054、FCB1064)、電磁気学IA(FC11074、FC11084)、基礎電磁気学A(FC11164)を履修済みの者は履修できない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 基本的に授業はオンライン(オンデマンド型)で行い、確認テストは対面で実施する。
FCB1331	電磁気学1	1	1.0	1	秋A	火5,6	吉田 恭	物理学の基本的な概念である「場」に基づく自然認識の基礎として、電磁気現象とそれを支配する法則、および電磁場の記述に必要な数学(多次元の微分・積分、ベクトル解析など)を学ぶ。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FCB1301を選択して登録すること。医学類・医療科学類の学生はこのクラスを受講すること。原則として平成31年度以降入学者向け。電磁気学A (FF18114, FF18124)、電磁気学I (FG10484, FG10494)、電磁気学1(FCB1054、FCB1064)、電磁気学IA(FC11074、FC11084)、基礎電磁気学A(FC11164)を履修済みの者は履修できない。専門導入科目(事前登録対象) 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 基本的に授業はオンライン(オンデマンド型)で行い、確認テストは対面で実施する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FCB1341	電磁気学2	1	1.0	1	秋B	火5,6	浅野 侑磨	「電磁気学1」に引き続いて、「場」に基づく自然認識を理解することを目的とする。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FCB1341を選択して登録すること。物理学類、化学類、数学類、地球学類、生物学類の学生はこのクラスを受講すること。原則として平成31年度以降入学者向け。電磁気学A (FF18114, FF18124)、電磁気学I (FG10484, FG10494)、電磁気学2(FCB1074、FCB1084)、電磁気学IB(FC11094、FC11104)」、基礎電磁気学B(FC11174)を履修済みの者は履修できない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 基本的に授業はオンライン(オンデマンドと同時双方向を併用)で行い、確認テストは対面で実施する。
FCB1351	電磁気学2	1	1.0	1	秋B	火5,6	武内 勇司	「電磁気学1」に引き続いて、「場」に基づく自然認識を理解することを目的とする。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FCB1341を選択して登録すること。総合学域群の学生はこのクラスを受講すること。原則として平成31年度以降入学者向け。電磁気学A (FF18114, FF18124)、電磁気学I (FG10484, FG10494)、電磁気学2(FCB1074、FCB1084)、電磁気学IB(FC11094、FC11104)」、基礎電磁気学B(FC11174)を履修済みの者は履修できない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 基本的に授業はオンライン(オンデマンドと同時双方向を併用)で行い、確認テストは対面で実施する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FCB1361	電磁気学2	1	1.0	1	秋B	火5,6	早田 康成	「電磁気学1」に引き続いて、「場」に基づく自然認識を理解することを目的とする。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FCB1341を選択して登録すること。応用理工学類・工学システム学類の学生はこのクラスを受講すること。原則として平成31年度以降入学者向け。電磁気学A (FF18114, FF18124)、電磁気学I (FG10484, FG10494)、電磁気学2(FCB1074、FCB1084)、電磁気学IB(FC11094、FC11104)」、基礎電磁気学B(FC11174)を履修済みの者は履修できない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 基本的に授業はオンライン(オンデマンドと同時双方向を併用)で行い、確認テストは対面で実施する。
FCB1371	電磁気学3	1	1.0	1	秋C	木3,4	藏増 嘉伸	「電磁気学2」に引き続いて、「場」に基づく自然認識を理解することを目的とする。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FCB1371を選択して登録すること。物理学類、化学類、数学類、地球学類、生物学類の学生はこのクラスを受講すること。原則として平成31年度以降入学者向け。電磁気学A (FF18114, FF18124)、電磁気学II (FG40161, FG50161)、電磁気学2(FCB1074、FCB1084)、電磁気学IC(FC11114、FC11124)、基礎電磁気学C(FC11184)を履修済みの者は履修できない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 基本的に授業はオンライン(オンデマンド型)で行い、確認テストは対面で実施する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FCB1381	電磁気学3	1	1.0	1	秋C	木3,4	松石 清人	「電磁気学2」に引き続いて、「場」に基づく自然認識を理解することを目的とする。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FCB1371を選択して登録すること。応用理工学類・工学システム学類の学生がこのクラスを受講すること。原則として平成31年度以降入学者向け。電磁気学A (FF18114, FF18124)、電磁気学II (FG40161, FG50161)、電磁気学2(FCB1074、FCB1084)、電磁気学IC(FC11114、FC11124)、基礎電磁気学C(FC11184)を履修済みの者は履修できない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 基本的に授業はオンライン(オンデマンド型)で行い、確認テストは対面で実施する。
FCB1391	電磁気学3	1	1.0	1	秋C	木3,4	矢島 秀伸	「電磁気学2」に引き続いて、「場」に基づく自然認識を理解することを目的とする。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FCB1371を選択して登録すること。総合学域群の学生はこのクラスを受講すること。原則として平成31年度以降入学者向け。電磁気学A (FF18114, FF18124)、電磁気学II (FG40161, FG50161)、電磁気学2(FCB1074、FCB1084)、電磁気学IC(FC11114、FC11124)、基礎電磁気学C(FC11184)を履修済みの者は履修できない。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 基本的に授業はオンライン(オンデマンド型)で行い、確認テストは対面で実施する。
FCB1401	物理学概論	1	1.0	1	春C	金5,6	溝口 知成,新井田 貴文	物理学の各分野の研究内容やトピックスを平易に解説することで、物理学の全研究分野を概観する。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
FCB1743	物理学実験	3	1.0	2	秋C	木3-6	物理学類教職実験担当	実験を通じて物理学の基本的な概念を理解するとともに、機器の取り扱い方や測定データの処理法を学ぶ。	関数電卓あるいはノートPCを持参するのが望ましい。 対面 物理学類生は受講できない。

物理学類(専門科目・専門基礎科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FCC2202	物理学入門	2	1.0	1・2	秋C	金5,6	守友 浩,福島 肇	自然界の様々な現象を通じて、物理学を一般的かつ包括的に学習する。学習効果を高めるために、力学を中心とした「演習」形式の授業を行う。	物理学類生に限る。ただし、春学期に専門導入科目の「力学I」(FCB1231)及び「力学2」(FCB1261)が履修済みであり、物理学類への移行を志望する総合学域群の学生も履修できる。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FCC2231	量子力学序論	1	1.0	2	春C	火4,5	中務 孝	ミクロの世界を記述する量子力学の基礎を学ぶ。物質波を記述するシュレディンガー方程式と波動関数の意味を習得する。講義に加え、適宜演習的学習を組み合わせる。「解析力学」(FCC2464)を履修していることが望ましい。	令和6年度までの「量子力学序論」(FCC2234)を履修済みのものは履修できない。 対面
FCC2235	計算物理学I	5	1.0	2	春AB	火2	伊敷 吾郎	物理学類生対象。数式処理ソフトウェアMathematicaを用いて、実際に計算機を使用して物理の問題を解く。必要な計算機の知識は授業内で解説するので、予備知識は必要ない。	令和元年度までの「計算物理学1」(FCC2505)を履修済みのものは履修できない。 対面 サテライト室の端末を用いて対面形式の授業を行う。Mathematicaをインストールできるパソコンを持っている場合は、サテライト室の端末の代わりに各自のパソコンを使って受講することもできる。Mathematicaのインストール方法は最初の授業で解説する。
FCC2241	量子論入門	1	1.0	2	春B	火5,6	中務 孝	ミクロの世界を記述する量子力学の基礎を学ぶための準備。古典力学の限界と量子力学の必要性、前期量子論および波動の概説する。講義に加え、適宜演習的学習を組み合わせる。「解析力学」(FCC2464)を同時に履修することが望ましい。	令和6年度以前入学生向け。「量子力学序論」(FCC2231)とセットで履修することが望ましい。令和6年度までの「量子力学序論」(FCC2234)を履修済みのものは履修できない。令和7年度以降の入学者は履修できない。 対面
FCC2244	量子力学I	4	3.0	2	秋ABC	月4 火3	石塚 成人,山﨑 剛	「量子力学序論」で学んだ基本概念に基づき、量子力学的状態の性質や量子力学の理論的構造を勉強し、それを用いて 原子内の電子状態を理解する。講義に加え、適宜演習的学習を組み合わせる。「解析力学」を同時に履修することが望ましい。	令和元年度までの「量子力学2」(FCC2064)を履修済みのものは履修できない。 対面
FCC2345	計算物理学II	5	1.0	2	秋AB	金5	秋山 進一郎	物理学類生対象.Linuxの基本について学ぶ.Python, C, Fortran等を用いて,プログラミングの基礎を学ぶ.	令和元年度までの「計算物理学2」(FCC3505)を履修済みのものは履修できない. 対面
FCC2374	専門電磁気学I	4	2.0	2	春AB	水4,5	久保 敦	「電磁気学1・2・3」で学んだ知識をもとに、電磁気学をさらに系統的に学習する。	令和元年度までの「電磁気学3」(FCC2034)を履修済みのものは履修できない。 対面
FCC2384	専門電磁気学II	4	2.0	2	秋AB	木5,6	吉川 耕司	「専門電磁気学I」に継続して、電磁気学を系統的に学習する。電磁場の波動的性質と場の理論としての取り扱いについて学ぶ。講義に加え、充分な演習的学習を行う。	令和元年度までの「電磁気学4」(FCC2044)を履修済みのものは履修できない。 対面
FCC2403	科学英語I	3	1.0	2	秋AB	月2	重田 育照	e-ラーニングシステムを使い、英語表現に慣れ親しむ。ヒヤリング能力、語彙力、表現力の養成を目指す。CEGLOCのeラーニングサーバを用いたオンライン形式とする。	令和元年度までの「科学英語1」(FCC2603)を履修済みのものは履修できない。 対面 対面授業。ただし状況によってはオンラインに変更の可能性あり。
FCC2414	熱物理学	4	2.0	2	秋AB	月5,6	西堀 英治	巨視的な体系の間での熱、エネルギー、仕事のやりとりおよび平衡状態について学ぶ。巨視的な系の挙動は熱力学第2法則(エントロピー増大の法則)によって支配される事が示される。熱的諸現象を記述するために有用な各種の概念(エントロピー、自由エネルギー等)が導入され、相転移、化学反応等の現象に応用される。	令和元年度までの「熱物理学」(FCC2091)を履修済みのものは履修できない。対面とオンライン(オンデマンド)とのハイブリッド授業 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FCC2444	物理数学I	4	3.0	2	春ABC	月・金2	清水 則孝	古典力学、量子力学、電磁気学、相対性理論、どの教科書を見ても、必ず微分方程式が現れる。物理学の基本原理のほとんどは「微分形」で書かれているため、微分方程式を解くということが必須になる。この授業では、その解法(積分)、およびフーリエ解析(フーリエ変換の計算など)を学ぶ。講義と演習的学習をほぼ1対1の割合で含む。	令和元年度までの「物理数学1」(FCC2074)を履修済みのものは履修できない。 対面
FCC2454	物理数学II	4	3.0	2	秋ABC	火・金2	毛利 健司	物理数学Iに引き続いて、複素関数論(コーシーの積分定理、留数定理、ローラン展開など)を主に学ぶ。講義と演習的学習をほぼ1対1の割合で含む。	令和元年度までの「物理数学2」(FCC2084)を履修済みのものは履修できない。 対面
FCC2464	解析力学	4	2.0	2	春AB	木2 金5	石橋 延幸	ニュートン力学を再構築し、物理の基本法則である最小作用の原理・正準原理に基づいた解析力学の体系(ラグランジュ形式・ハミルトン形式の理論)を概説する。この理論の理解に必要な数学的知識(変分法)は、授業中に解説する。解析力学は、量子力学を学ぶための基礎知識として必須である。演習的学習を含む。	令和元年度までの「力学3」(FCC2014)を履修済みのものは履修できない。 対面
FCC2531	特殊相対性理論	1	1.0	2	秋AB	火5	中條 達也	特殊相対論の基礎を学ぶ。特殊相対性の要請と光速不変の原理から出発し、時間の測定と同時性の相対性・Lorentz変換などの特殊相対論の基礎概念を学んだ後、Maxwell方程式の4元共変表現と相対論的力学を学ぶ。	令和元年度までの「特殊相対性理論」(FCC2101)を履修済みのものは履修できない。 対面
FCC2554	連続体力学	4	1.0	2	春AB	木3	谷口 伸彦	連続体(振動と波動,弾性体,流体)の力学を学び,「場」の考え方の理解を深めることを目的とする。振動波動現象,弾性体の記述と性質,弾性エネルギー,弾性波,流体の記述とその運動の基礎を学習する。	令和元年度までの「連続体物理学」(FCC2021)を履修済みのものは履修できない。 対面
FCC2561	流体力学	1	1.0	2	秋AB	火4	福島 肇	流体の運動と性質について基礎となる考え方を理解し,これをもとに物理の基本法則に基づいて流体を記述する基本方程式を学ぶ。そして,基本方程式に基づいて,完全流体の運動,水の波,渦運動,音波,衝撃波,粘性流体の運動,流体の安定性について学ぶ。	対面
FCC2713	課題探究実習セミナー1	3	2.0	2・3	通年	応談	小波藏 純子,庄司 光男	専門的な物理学の探求と研究においては基礎科目の十分な理解が必要であるとともに、十分な目的意識を持ちつつ、研究手法、柔軟な思考力、課題探求力などの修得が重要である。そこで専門的な研究の一端になるべく早い時期から触れ、このような能力の習得を目標に、特定の課題に関して具体的かつ主体的な学習や研究活動を少人数のグループで行う。	CDP 対面 コースの選定等についてはメーリングリストで詳細なアナウンスがあるので、受講を希望する場合はメールをよく確認しておくこと。履修登録についての注意点:この授業の履修登録期間は4/25までとなっています。希望のコースを受講できない等の理由で履修を取りやめる場合は必ず4/25までに履修登録の解除を行ってください。また、履修登録は課題説明会後に受講するコースが正式決定してから行っても構いません。この授業の情報は全て、メーリングリスト、teams等でお知らせします。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FCC2723	課題探究実習セミナー2	3	2.0	2・3	通年	応談	小波藏 純子,庄司 光男	専門的な物理学の探求と研究においては基礎科目の十分な理解が必要であるとともに、十分な目的意識を持ちつつ、研究手法、柔軟な思考力、課題探求力などの修得が重要である。そこで専門的な研究の一端になるべく早い時期から触れ、このような能力の習得を目標に、特定の課題に関して具体的かつ主体的な学習や研究活動を少人数のグループで行う。	CDP 対面 コースの選定等についてはメーリングリストで詳細なアナウンスがあるので、受講を希望する場合はメールをよく確認しておくこと。 履修登録についての注意点:この授業の履修登録期間は4/25までとなっています。希望のコースを受講できない等の理由で履修を取りやめる場合は必ず4/25までに履修登録の解除を行ってください。また、履修登録は課題説明会後に受講するコースが正式決定してから行っても構いません。この授業の情報は全て、メーリングリスト、teams等でお知らせします。
FCC2733	物理学実験I	3	2.0	2	春AB	月3-6	物理学類2年実験担当	物理学の基礎的な実験を行うことを通じて、基本的な物理法則を理解するとともに、実験データの取り扱い、実験装置操作法、データ解析とレポート作成の方法、コンピュータープログラミングによる測定装置制御などの実験物理学的手法の基礎を習得する。	令和元年度までの「物理学実験2」(FCC2703)を履修済みの者は履修できない。 対面(オンライン併用型) 対面。履修希望者は、第1回目のガイダンスに必ず出席すること。
FCC3094	専門電磁気学III	4	2.0	3	春AB	月3,4	大谷 実	「専門電磁気学I」「専門電磁気学II」の発展としてより高度な事項を学習する。先ず、電磁波の基礎的性質(伝播・回折・散乱等)を学ぶ。次に、運動する荷電粒子からの電磁波の放射の基礎を理解し、制動放射・シンクロトロン放射、トムソン散乱等を導く。さらに、電磁場中の荷電粒子の運動および物質中を通過する荷電粒子の特性を学習する。演習的学習を含む。	令和2年度までの「電磁気学5」(FCC3014)を履修済みのものは履修できない。 対面
FCC3101	実験物理学I	1	1.0	2	春AB	木4	笹 公和	各種の物理実験を遂行するために必要な一般的技術関連の情報について講義をおこなう。実験における安全(電気、機械、重量物、高圧ガス、放射線、その他)、物理単位と測定機器、測定データの解析と統計処理、誤差論、真空技術、放射線計測について解説する。	対面 詳細はmanabaに記載する。
FCC3111	実験物理学II	1	1.0	2	秋AB	水4	神田 晶申	さまざまな基礎・応用研究を行う上での数学的基礎である周波数応答、伝達関数、ラプラス変換による微分方程式の解法等の基礎知識等を電気回路を例にとって習得する。	令和元年度までの「物理実験学2」(FCC3081)を履修済みのものは履修できない。 対面
FCC3134	量子力学II	4	3.0	3	春ABC	火3 金2	初貝 安弘,溝口 知成	「量子力学序論」、「量子力学I」に連続した科目であり、引き続いて量子力学の基礎を学ぶ。主な授業内容は、角運動量(軌道角運動量とスピン)の量子論と対称性の議論である。また、回転対称性に関する3次元回転群SO (3)と特殊ユニタリ群SU (2)の関係および連続群論の考え方を学ぶ。講義に加え、十分な演習的学習も行う。	令和2年度までの「量子力学3」(FCC3024)を履修済みのものは履修できない。 対面
FCC3144	量子力学III	4	3.0	3	秋ABC	火・金2	日野原 伸生,宮城 宇志	「量子力学II」に連続した科目であり、量子力学における摂動論、同種粒子理論、場の量子化(第二量子化)、散乱理論を学ぶ。講義に加え、十分な演習的学習を行う。	令和2年度までの「量子力学4」(FCC3034)を履修済みのものは履修できない。 対面
FCC3154	統計力学I	4	3.0	3	春ABC	月・水2	齋藤 稔,吉田 恭	巨視的な現象(熱平衡状態の熱力学的現象)を記述する微視的な理論体系を、ニュートン力学や量子力学から議論を始めて「手作り」で構築する。授業内容は、熱力学の復習、期待値と母関数、位相空間とリゥヴィユ方程式、アンサンブル(集団)の導入とリゥヴィユの定理、量子系のアンサンブル、エントロピー、エルゴードの問題、ミクロ・カノニカル集団、カノニカル集団、グランド・カノニカル集団、量子系の統計力学(アインシュタイン・モデル、理想ファルミ気体と電子比熱、理想ボーズ気体とボーズ・アインシュタイン凝縮)である。講義に加え、充分な演習的学習を行う。	令和2年度までの「統計力学1」(FCC3044)を履修済みのものは履修できない。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FCC3164	統計力学II	4	3.0	3	秋ABC	月・水2	岡田 晋,高 燕林	統計力学の応用、熱平衡状態における揺らぎの性質、臨界現象(揺らぎの発散)を学ぶ。授業内容は、アインシュタインの揺らぎ理論、熱力学量の揺らぎ、揺らぎの時間相関、揺らぎのスペクトル分解、一般化された感受率、線形応答理論と遥動散逸定理、相転移の熱力学、臨界現象とランダウ現象論、臨界揺らぎ(オーダー・パラメータの揺らぎ)と遥動散逸定理、臨界現象のモデル(イジング・モデル、ハイゼンベルグ・モデル)と解法(厳密解、転送行列法、平均場近似)である。講義に加え、充分な演習的学習を行う。	令和2年度までの「統計力学2」(FCC3054)を履修済みのものは履修できない。 対面
FCC3174	一般相対性理論	4	2.0	3	春AB	金4,5	大須賀 健	一般相対性理論の基本概念および基礎知識について解説する。ブラックホール時空の性質や、重力赤方偏移、重力レンズ、重力波といった一般相対性理論によって導かれる現象についても解説する。一般相対性理論の理解に必要となる曲がった空間での数学は授業中に解説する。演習的学習を含む。	令和2年度までの「一般相対性理論(FCC3061)」を履修済みの者は履修できない。 対面
FCC3181	実験物理学III	1	1.0	3	春AB	火4	江角 晋一,佐藤 構二,飯田 崇史,小沢 顕,神田 晶申,池沢 道男,平田 真史,吉川 正志,久野 成夫,本多 俊介	素粒子物理学、原子核物理学、宇宙物理学、物性物理学、プラズマ物理学の各分野の最先端研究の概要と実験的側面について講義する。	対面
FCC3525	計算物理学III	5	1.0	3	春AB	火2	大野 浩史	物理学類生対象。Fortran、C、C++、Python、Julia等のプログラミング言語を用いて、古典力学から量子力学までの種々の問題を計算機上で解く。また、結果を可視化する手法を習得し、物理現象のより深い理解を目指す。授業時間外に実際に計算機を用いた予習・復習を行う事を前提に授業を行う。	「計算物理学II」の履修を前提とする。令和元年度までの「計算物理学2」(FCC3505)が履修済み、かつ、令和2年度までの「計算物理学3」(FCC3515)を履修済みのものは履修できない。 対面
FCC3535	計算物理学IV	5	1.0	3	秋AB	木5	萩原 聡	物理学類生対象。Fortran言語やC言語などのプログラミング言語を用いて、古典力学から量子力学までの種々の問題を計算機上で解き、結果を可視化する手法を習得し、物理現象のより深い理解を目指す。また、数人のグループに分かれて自由に設定した課題に取り組み、最後に発表会を行う。授業時間外に、実際に計算機を用いた予習・復習を行う事を前提に授業を行う。	「計算物理学II」と「計算物理学III」の履修を前提とする。令和2年度までの「計算物理学3」(FCC3515)を履修済みのものは履修できない。 対面(オンライン併用型)
FCC3655	科学英語II	5	2.0	3	秋AB	木3,4	ワグナー アレクサンダー タケシ	専門分野に特有な英語表現,数式等の読み方,英語による口頭発表の仕方など専門分野に必要な英語力を身につける。	令和2年度までの「科学英語2」(FCC3601)を履修済みのものは履修できない。 英語で授業。 対面
FCC3733	物理学実験II	3	6.0	3	通年	水3-6	物理学類3年実験担当	素粒子物理学、原子核物理学、プラズマ物理学、物性物理学、宇宙物理学の中から精選された実験テーマに取り組むことにより現代物理学の理解を深め、各分野における実験研究の基礎を習得する。(1)「μ粒子の寿命測定とZ粒子の質量測定」、(2)「α線、β線、γ線の測定」、(3)「プラズマと原子過程、マイクロ波」、(4)「物質の磁性」、「半導体物理」、「低温実験・超伝導現象」、「X線回折と可視吸収」から2テーマ、(5)「宇宙観測」の計6テーマを行う。	令和2年度までの「物理学実験3」(FCC3703)を履修済みの者は履修できない。 対面 「物理学実験II」を履修する学生は、第1回のガイダンスに必ず出席すること。
FCC3801	素粒子物理学概論	1	1.0	3	秋AB	火3	受川 史彦	素粒子物理学を主に実験面から理解する。素粒子の分類や基本的相互作用の概説から始め、相互作用前後での保存量や実験で測定される物理量、質量、スピン、パリティ等の素粒子の基本的性質の測定法を論ずる。粒子加速器や粒子検出器についても言及する。	令和2年までの「素粒子物理学概論(FCC4031)」を履修済みの者は履修できない。 対面
FCC3811	原子核物理学概論	1	1.0	3	秋C	月3,4	小沢 顕,江角 晋一	原子核の基本的性質と特徴的な振る舞いを解説し、それらの性質を説明する原子核模型の歴史的発展を述べる。また、原子核物理学の現代的課題についてその展望を与える。	令和2年度までの「原子核物理学概論(FCC4041)」を履修済みの者は履修できない。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FCC3821	宇宙物理学概論	1	1.0	3	秋AB	金4	森 正夫	天文学の基礎事項及び、宇宙の広がりと恒星やブラックホール、銀河や銀河団、大規模構造等の宇宙の階層構造等の基礎知識について講義する。さらに、 ビッグバン宇宙論を基礎とした現代宇宙論とダークマターと天体の形成・進化について概観する。	令和2年までの「宇宙物理学概論(FCC4061)」を履修済みの者は履修できない。 対面
FCC3831	物性物理学概論	1	1.0	3	秋AB	金3	溝口 知成,丸山 実那	物性物理、特に固体における物理性質を記述するための基本的概念と手法を学ぶ。金属・半導体・絶縁体が示す様々な物理的性質を、周期ポテンシャル中の電子の古典的・量子的挙動により理解できることを興味深いトピックを織りまぜながら解説する。量子力学と統計力学の初歩的知識を前提とする。	令和2年までの「物性物理学概論(FCC4051)」を履修済みの者は履修できない。 対面
FCC3841	プラズマ物理学概論	1	1.0	3	秋AB	金5	吉川 正志	プラズマの基本的概念を理解することを第一の目標とする。プラズマが気体や液体と異なる特性について触れ、プラズマ物理学の基礎となる荷電粒子の電磁場中での運動、特に、個々の粒子の運動と案内中心の運動について学習する。さらに、荷電粒子集合としての電磁流体的取り扱いの基本を学び、また、プラズマ中の波動についての初歩を学ぶ。核融合プラズマ等でこのよ うな特性がどう適用されているかの例についても触れ、特に、核融合プラズマの加熱や電流駆動の応用について学ぶ。	令和2年度までの「プラズマ物理学概論(FCC4021)」を履修済みの者は履修できない。 対面
FCC3851	生物物理学概論	1	1.0	3	秋C	月5,6	庄司 光男,齋藤 稔,段 練	現代の生命科学は、物理科学や情報科学などの分野と連続して存在し、今さらに飛躍的に進展しつつある。本講義では、その基礎となる概念と知見を整理し、生物物理学の応用と新しい生命科学の創出について触れる。	令和2年度までの「生物物理科学(FCC4011)」を履修済みの者は履修できない。 対面
FCC3901	生物物理学I	1	1.0	2・3	春AB	金3	伊藤 希	生命現象を支える分子集合状態の巧妙で温和な反応系の散逸緩和過程について,情報とエネルギーの流れの観点から検討する.	EB61011と同一。 情報コース 対面 指定された課題を事前にこなしていることを前提に,討論を中心としたいわゆる反転授業として実施する.FC13801修得者の履修は認めない。内容的に生物物理学IIとは互いに独立であり,生物物理学IIのみを履修しても支障はない.
FCC3911	生物物理学II	1	1.0	2・3	秋AB	水1	庄司 光男	生物物理学IIでは、生体機能を司るタンパク質や核酸、生体膜などの分子構造やその性質を理解するとともに、それらの生体機能を実験的に、あるいは理論的に解析する方法について学ぶ。	EB61021と同一。 情報コース 対面 FC13811修得者の履修は認めない。
FCC3923	生物物理学実験	3	1.0	2・3	秋AB	木4,5	伊藤 希,櫻井 啓輔,原田 隆平	生命現象を物理学的な手段でとらえる方法として, 生体膜の等価回路の作成, 神経活動のコンピューター・シミュレーション, 膜電位発生のモデル実験, 生体のリズムに関するモデル実験, 生体分子の分子動力学シミュレーションによる機能解析, 人工知能による生体分子の構造予測などを行う.	EB61083と同一。 事前の履修調整で許可を受けていること。 情報コース 学研災に加入していること。 履修登録は事務で行う。 対面 FC13823修得者の履修は認めない。
FCC4071	プラズマ物理学	1	1.0	4	春AB	木3	坂本 瑞樹	プラズマの基本的性質や集団運動としてのプラズマ特有の現象や応用を理解するとともにプラズマ生成の基礎過程、プラズマと材料との相互作用について理解を深める。さらに、プラズマの波動、安定性およびプラズマ閉じ込め等、核融合研究の基礎となっている物理現象について具体的に学ぶ。	平成24年度までの「プラズマ物理学III(FC14021)」を履修済みの者は履修できない。 対面
FCC4081	素粒子物理学	1	1.0	4	春AB	月3	藏増 嘉伸	素粒子物理学の理論的基礎を論ずる。ディラックの相対論的運動方程式を学んだ後、素粒子標準理論の礎となっているゲージ原理や対称性の自発的破れなどの基本概念の理解を目的とする。	平成24年までの「素粒子物理学II(FC14041)」を履修済みの者は履修できない。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FCC4091	原子核物理学	1	1.0	4	春AB	月4	矢花 一浩	原子核の基本的な性質について学ぶ。授業内容は、核力の性質、結合エネルギー魔法数と平均場、原子核の形と励起状態、原子核の崩壊様式、元素合成などである。	平成24年度までの「原子核物理学II(FC14061)」を履修済みの者は履修できない。 対面
FCC4101	物性物理学	1	1.0	4	春AB	金5	守友 浩	固体内での電子の基本的性質とそれに基づく物質の性質を理解する。結晶中の電子に対するブロッホの定理、電子のバンド構造、固体の結合エネルギー、熱的性質等について学ぶ。熱力学、量子力学、統計力学の基礎知識を前提とする。	平成24年度までの「物性物理学II(FC14081)」を履修済みの者は履修できない。 対面
FCC4111	宇宙物理学	1	1.0	4	春AB	金4	久野 成夫	宇宙を構成している主要天体の構造と性質を学習することによって、宇宙を理解する。具体的には、星間物質、銀河系、銀河、銀河団、活動的銀河、宇宙の大規模構造、重力レンズなどを学ぶ。	平成24年度までの「宇宙物理学II(FC14201)」を履修済みの者は履修できない。 対面
FCC4808	卒業研究	8	10.0	4	通年	随時	物理学類全教員	各自の指導教員の下で研究を行い、結果を論文にまとめて提出するとともに、口頭で発表を行う。	3年次にCEGLOCが実施する英語試験(TOEIC IP等)を受験していること。 対面

開設母体　　要件
化学類

化学類(その他)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FE00031	化学序説	1	1.0	1 - 3	春C	NT	百武 篤也	化学の世界への導入として、身近な物質や現象を通し、無機化学、有機化学、物理化学の基礎を学ぶ。また、我々の社会や生活において、近年課題となっている事象について、環境・地球化学や放射化学を学びながら理解を深める。	他学類教職履修者用。化学類生の履修は認めない。 オンライン(オンデマンド型)

化学類(専門基礎科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FE11012	化学基礎セミナー	2	1.0	2	春AB	木3	八木 清,小谷 弘明	興味のある化学分野について自主的に学習し、学習した内容を相互に発表し合うことで、化学に対する探究心を養う。	2025年度入学生に限る 対面
FE11161	化学概論	1	1.0	1	春A	NT	沓村 憲樹,二瓶 雅之,岩崎 憲治,笹森 貴裕,坂口 綾,江波 進一,吉田 将人,中村 貴志,神戸 徹也,八木 清	化学類教員の無機合成化学、機能物質化学、放射化学、計算化学、大気物理化学、有機元素化学、生物有機化学、超分子化学、製薬化学、構造生物化学等の研究分野に関連した、自然界における普遍的な法則と未知物質・未知現象の探求、機能性物質の創製と材料開発、環境問題やエネルギー問題の解決、生命現象の解明等の具体的な話題について、オムニバス形式で平易に解説する。	専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
FE11171	化学1	1	1.0	1	秋C	月・火1	八木 清,坂口 綾	原子の電子構造、化学結合、酸・塩基、酸化還元等の基本的な考え方を解説する。物理化学、無機化学、分析化学、放射化学の基本を習得し、専門化学導入のための学習基盤をととのえる。	履修する学生は事前登録のメニューから登録すること。 確認テストについては別途クラス分けを行うので、クラス分けされたクラスで受験すること。 医療科学類生および生物資源学類生は自学類開講の授業と重複するため履修不可。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(対面併用型)
FE11181	化学2	1	1.0	1	春BC	月1	沓村 憲樹,神原 貴樹	有機化合物の構造と反応について、基本的な考え方を解説する。有機化学の基本を習得し、2年次以降の学習基盤をととのえる。	履修する学生は事前登録のメニューから登録すること。 確認テストについては別途クラス分けを行うので、クラス分けされたクラスで受験すること。 医療科学類生および生物資源学類生は自学類開講の授業と重複するため履修不可。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(対面併用型)
FE11191	化学3	1	1.0	1	秋AB	月1	佐藤 智生,山岸 洋	熱力学,反応速度を中心に物理化学について基本的な考え方を解説する。物理化学の基本を習得し、2年次以降の学習基盤をととのえる。	履修する学生は事前登録のメニューから登録すること。 確認テストについては別途クラス分けを行うので、クラス分けされたクラスで受験すること。 医療科学類生および生物資源学類生は自学類開講の授業と重複するため履修不可。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(対面併用型)

化学類(専門科目・専門基礎科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FE12143	化学実験	3	1.0	2	春AB	月4 月5,6	志賀 拓也,菅又 功,小谷 弘明,加藤 かざし,沖田 和也	基礎的な化学実験技術を習得し,同時に実験の意味を正しく理解する.最初に行う(1回目)実験ガイダンスにおいて化学実験上の注意事項を学ぶ.その後,無機分析化学分野,物理化学分野,有機化学分野に関する基礎実験を行う.	化学類対象 対面
FE12153	化学実験	3	1.0	2	春C	月3-6	志賀 拓也,小谷 弘明,三原 のぞみ,正田 浩一朗	実験を行うことにより、講義で学んだ知識を一層身近なものとして認識させるとともに、種々の実験技術を習得させる。実験では、無機化合物、有機化合物の分析や合成及び物理化学的な測定などを行う。	教職免許取得目的の者対象。化学類生の履修は認めない。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FE12163	化学実験II	3	2.0	2	秋ABC	月4 月5,6	志賀 拓也,小谷 弘明,三原 のぞみ,原田 彩佳,正田 浩一朗,沖田 和也,重河 優大	化学実験技術を習得し,それとともに実験の意味を正しく理解することを目的とする.無機・分析化学分野,物理化学分野,有機化学分野に関する基礎実験を行う. FE12143の化学実験よりもやや高度な実験課題を行うので,2回で1つの実験課題を行う.	化学類対象FE12143の化学実験を受講していることが望ましい. 対面
FE12201	無機化学I	1	3.0	2	通年	月2	二瓶 雅之	無機化学の基礎として、元素と無機化合物の性質について解説する。特に,無機化合物の構造や結合、性質が元素のどのような性質に基づくものか、またエネルギー的にどのように理解できるかについて述べる。	対面
FE12301	分析化学	1	3.0	2	通年	金3	長友 重紀	本科目では、誤差と分析データの処理方法、化学平衡論の基礎とこれを利用した容量分析・重量分析法、ポテンショメトリーとボルタンメトリーによる電気化学的分析法、紫外・可視吸光光度法等の分光分析法、分離分析に関連した溶媒抽出、クロマトグラフィーについて解説する。	講義は日本語で行う。 対面
FE12371	応用分析化学	1	1.0	2	秋BC	木3	山﨑 信哉	本科目では、分析化学に関する基礎と発展的な内容について学ぶ。具体的には、実験データの処理方法、化学平衡論の基礎と化学反応速度論に関するについて解説する。	「分析化学」を履修していることが望ましい。 対面
FE12401	物理化学I	1	3.0	2	通年	金2	八木 清	物理化学的視点と考え方の習得を目標に,マクロな物質系におけるエネルギー移動,そのミクロな原子・分子の運動に基づく理解について学ぶ。	「化学3」を履修していることが望ましい。 対面
FE12411	物理化学II	1	3.0	2	通年	月3	江波 進一	古典力学から量子力学への橋渡し、量子力学の起源、量子論の原理、運動の量子論、原子と分子の電子構造について学ぶ。	「化学1」を履修していることが望ましい。 対面
FE12601	有機化学I	1	3.0	2	春ABC	火・木2	沓村 憲樹,笹森 貴裕	沓村担当分:反応有機,構造有機及び合成有機化学を理解するために必要な基礎的分野として,有機化学の歴史,有機分子の結合論,有機化合物の命名法,反応性を支配する因子,酸塩基の概念,反応機構論,立体化学などを取り上げて講義する。 笹森担当分:有機化合物の構造と反応性の関係を色々な化学結合の物理的要素,結合距離,結合角,結合エネルギーと関連させて論じる。芳香族性と芳香族化合物,芳香族化合物の反応,立体化学的諸問題,分子の立体配置,配座,光学異性,幾何異性,不斉合成反応,酸と塩基について講じる。	「化学2」を履修していることが望ましい。 対面
FE12611	有機化学II	1	3.0	2	秋ABC	火・木2	笹森 貴裕,沓村 憲樹	笹森担当分:有機化合物の構造と反応性の関係を色々な化学結合の物理的要素,結合距離,結合角,結合エネルギーと関連させて論じる。芳香族性と芳香族化合物,芳香族化合物の反応,立体化学的諸問題,分子の立体配置,配座,光学異性,幾何異性,不斉合成反応,酸と塩基について講じる。 沓村担当分:反応有機,構造有機及び合成有機化学を理解するために必要な基礎的分野として,有機化学の歴史,有機分子の結合論,有機化合物の命名法,反応性を支配する因子,酸塩基の概念,反応機構論,立体化学などを取り上げて講義する。	「化学2」を履修していることが望ましい。 対面
FE12701	生物化学	1	3.0	2	通年	金4	岩崎 憲治	分子生物学のセントラルドグマを中心に遺伝子の発現の仕組みから、タンパク質の構造まで解説する。さらに、感染症や免疫の基礎、創薬への構造生物化学の応用まで学ぶ。高校で生物学を学んでいなくとも理解できるように基礎から解説する。	対面
FE12801	基礎化学外書講読	1	3.0	2	通年	月1	リー ヴラディミール ヤロスラヴォヴィッチ	英語に親しみを持ち,内容を正しく理解することに重点を置く。教材は専門授業にも参考となる化学的に興味が持てるものを使用する。	英語で授業。 対面
FE13011	有機分子構造解析	1	2.0	3	春ABC秋A	月2	菅又 功	化合物の構造決定に必要な各種機器分析法(赤外分光法,質量分析法,核磁気共鳴分光法,紫外可視吸光光度法,蛍光分光法,ラマン分光法など)の測定原理と応用について詳述する。	分子構造解析(FE13001)の単位を修得済みの者は履修できない。 実務経験教員 対面
FE13012	有機分子構造解析演習	2	1.0	3	秋BC	月2	菅又 功	有機化学分野の内容について、主として演習形式の授業を行う。本演習は講義(有機化学I~IV)の内容について理解を深めるために重要であり、化学類生は履修することが極めて望ましい。	分子構造解析(FE13001)および専門化学演習(FE13552)の単位を修得済みの者は履修できない。 実務経験教員 対面
FE13101	無機化学II	1	3.0	3	春ABC	火4 木3	小島 隆彦	前半では,ウエルナー型金属錯体の電子構造(配位子場分裂、スペクトル項など),金属錯体の反応(配位子交換反応及びその反応機構,酸化還元反応(電子移動のマーカス理論の初歩を含む),光化学反応)を扱う。後半では,有機金属錯体に関して,18電子則,π逆供与,分子軌道に基づく構造と性質の理解を促し,酸化的付加及び還元的脱離を含む基本的な反応形態について述べた後,代表的な触媒反応及びその機構について言及する。	「無機化学I」を履修していることが望ましい。 短期留学生の履修については、日本語の講義(板書を含む)が理解できる日本語能力があること。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FE13123	専門化学実験I	3	7.0	3	春ABC	水・木・金 4-6	山村 泰久,西村 賢宣,佐藤 智生,百武 篤也,沼舘 直樹,柴田 桂成,原田 彩佳,加藤 かざし,坂口 綾,山﨑 信哉,石塚 智也,志賀 拓也,小谷 弘明,三原 のぞみ,岡澤 一樹,重河 優大	前半では,物理化学的性質の測定法と解析法を各種物理化学実験を行うことにより学ぶ。後半では,無機物を対象として,化学的手法により分析を行うことを通して,定性・定量分析の基本操作を経験的に体得する。	2022年度入学生までを対象。履修希望者は支援室に申し出ること。「化学実験(FE12143)」および「化学実験II(FE12163)」を履修していることが望ましい。 実務経験教員 対面
FE13133	無機・分析化学専門実験	3	4.0	3	春C秋A	水・木・金 4-6	石塚 智也,志賀 拓也,山﨑 信哉,坂口 綾,小谷 弘明,三原 のぞみ,重河 優大	無機物を対象として,化学的手法により分析を行うことを通して,定性・定量分析の基本操作を経験的に体得する。また、遷移金属錯体の合成に関して、以下の点に注目して実験を進める。1)遷移金属錯体の分子構造、2)遷移金属錯体の磁気的性質、3)遷移金属錯体の光学的性質、4)遷移金属錯体の電気化学的性質、5)有機金属化合物の合成	2023年度入学生以降を対象。「化学実験(FE12143)」および「化学実験II(FE12163)」を履修していることが望ましい。 対面
FE13221	物理化学III	1	3.0	3	春ABC	月4 水3	石橋 孝章	量子化学の初歩的部分(波動関数の重ね合わせの原理,物理量と演算子の関係,Schrödinger方程式)の復習の後,調和振動子の量子論,時間に依存する摂動法による光と分子の相互作用,二原子分子の核の運動の量子論について述べる。 さらに,多原子分子の核の運動の量子論,分子振動の群論的な取り扱い,赤外・ラマン分光の初歩的な事項について述べる。	「物理化学II((FE12411)」を履修していることが望ましい。 対面
FE13231	物理化学IV	1	3.0	3	秋ABC	月4 金3	西村 賢宣,山村 泰久	気体および液体の分子運動について述べ,さらに化学反応速度の数学的表現について実例を挙げながら解説する。また,分子間相互作用と液体や固体の構造と物性などについて解説する。さらに,物質のミクロな性質とバルクの物理量をつなぐ統計熱力学について解説する。	「化学1, 3」「物理化学I, II, III」を履修していることが望ましい。 対面
FE13242	物理化学演習I	2	1.0	3	春AB	火3	松井 亨,佐藤 智生,柴田 桂成,沼舘 直樹,岡澤 一樹,沖田 和也	物理化学分野の内容について、主として演習形式の授業を行う。本演習は、講義形式の授業内容についての理解を完全なものとするのに重要であり、化学類生は履修することが極めて望ましい。	専門化学演習(FE13552)の単位を修得済みの者は履修できない。 実務経験教員 対面
FE13252	物理化学演習II	2	1.0	3	春C秋A	火3	松井 亨,佐藤 智生,柴田 桂成,沼舘 直樹,岡澤 一樹,沖田 和也	物理化学分野の内容について、主として演習形式の授業を行う。本演習は、講義形式の授業内容についての理解を完全なものとするのに重要であり、化学類生は履修することが極めて望ましい。	専門化学演習(FE13552)の単位を修得済みの者は履修できない。 実務経験教員 対面
FE13262	物理化学演習III	2	1.0	3	秋BC	火3	松井 亨,佐藤 智生,柴田 桂成,沼舘 直樹,岡澤 一樹,沖田 和也	物理化学分野の内容について、主として演習形式の授業を行う。本演習は、講義形式の授業内容についての理解を完全なものとするのに重要であり、化学類生は履修することが極めて望ましい。	専門化学演習(FE13552)の単位を修得済みの者は履修できない。 実務経験教員 対面
FE13273	物理化学専門実験	3	4.0	3	春AB	水・木・金 4-6	山村 泰久,西村 賢宣,佐藤 智生,百武 篤也,柴田 桂成,沼舘 直樹,原田 彩佳,加藤 かざし,岡澤 一樹	物理化学的性質の測定法と解析法を各種物理化学実験を行うことにより学ぶ。	2023年度入学生以降を対象。「化学実験(FE12143)」および「化学実験II(FE12163)」を履修していることが望ましい。 実務経験教員 対面
FE13301	有機化学III	1	3.0	3	春ABC	月5 水2	中村 貴志,吉田 将人	合成反応を中心として有機化学の基礎から応用まで一貫した内容を解説する。特に,炭素-炭素結合生成反応,官能基変換反応および有機金属やヘテロ元素反応剤等を用いる有機合成上重要な反応と,分子設計について解説する。	「有機化学I」および「有機化学II」を履修していることが望ましい。 実務経験教員 対面
FE13311	有機化学IV	1	3.0	3	秋ABC	月5 水2	吉田 将人,中村 貴志	生体には,様々な有機化合物が存在し,生物現象に深く関わっている。本講義では,生物現象の有機化学的理解を深めるべく,カルボニル化合物に関する有機化学、糖やアミノ酸といった一次代謝産物に関する有機化学について解説する。	「有機化学I~III」を履修していることが望ましい。 実務経験教員 対面
FE13313	有機化学専門実験	3	4.0	3	秋BC	水・木・金 4-6	吉田 将人,菅又 功,中村 貴志,正田 浩一朗	有機化学の基礎実験を主とする。1)有機化合物の定性分析。2)機器及び化学的手法による官能基の定性。3)有機化合物の合成,例えば,酵素反応,環状付加反応,Grignard反応,芳香族置換反応等。4)未知有機化合物の定性,定量。	2023年度入学生以降を対象。「化学実験(FE12143)」および「化学実験II(FE12163)」を履修していることが望ましい。 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FE13333	専門化学実験II	3	7.0	3	秋ABC	水・木・金4-6	石塚 智也,志賀 拓也,山﨑 信哉,坂口 綾,小谷 弘明,三原 のぞみ,吉田 将人,菅又 功,中村 貴志,正田 浩一朗	(秋A)遷移金属錯体の合成実験を主とし、以下の点に注目して実験を進める。1)遷移金属錯体の磁気的性質、2)遷移金属錯体の光学的性質、3)有機金属化合物の合成 (秋BC)有機化学の基礎実験を主とする。1)有機化合物の定性分析。2)機器及び化学的手法による官能基の定性。3)有機化合物の合成,例えば,酵素反応,環状付加反応,Grignard反応,芳香族置換反応等。4)未知有機化合物の定性,定量。	2022年度入学生までを対象。履修希望者は支援室に申し出ること。「化学実験(FE12143)」および「化学実験II(FE12163)」を履修していることが望ましい。 実務経験教員 対面
FE13611	放射化学	1	1.0	3	春AB	火2	坂口 綾	放射化学は多くの化学・自然科学が複合した境界領域に位置する学問分野であるとともに、現代社会に生きる人間として備えておくべき基礎知識を提供してくれる分野である。本授業内では、物質の根源を元素ではなく原子核ととらえ、核構造、同位体、壊変、放射線、核反応の基礎から、放射線・放射能を利用する応用について解説する。	短期留学生の履修については、配布資料(日本語または英語)をもとに、日本語の講義が理解できること。 対面
FE13621	無機元素化学	1	2.0	3	春C秋ABC	金2	石塚 智也,志賀 拓也	本科目は、主に典型元素からなる化合物に関する化学を概説し、元素が持つ周期性や、周期表の異なる族に属する元素の性質の違いを、総合的に理解することを目指す。前半ではp-ブロック元素の化学、後半では水素、およびs-ブロック元素、f-ブロック元素の化学を扱う。	「無機化学I」を履修していることが望ましい。 対面
FE13631	無機物質化学	1	1.0	3	秋AB	木3	神戸 徹也	無機物質および材料について、その構造および性質および応用について解説する。 特に、電子やイオンにより引き出される機能について、半導体材料や触媒を含む基礎的な内容から、最近の進展も含めて解説する。	対面
FE13711	先端化学外書講読	1	1.0	3	春AB	月3	化学類全教員	化学の専門分野における英語の解説書,論文などを講読し,化学の専門知識を学ぶ。同時に化学における英語での表現法を学ぶ。	実務経験教員 対面
FE14021	計算化学	1	1.0	3・4	春AB	金3	八木 清,松井 亨	現在化学の分野で用いられている代表的な計算プログラムを紹介する。特に,分子力学法と半経験的分子軌道法については,データの入力法や計算結果の解釈などを実習する。	対面(オンライン併用型)
FE14051	生物分子化学	1	1.0	3・4	秋AB	火4	百武 篤也	生命活動に関与する有機化合物(糖、アミノ酸、複素環)の化学的性質やその合成法、および標的分子への相互作用について学ぶ。また、それらを含む生物活性物質の設計と合成、作用機序を概観することで、生物に作用する有機分子の構造と機能について学ぶ。	対面
FE14091	無機・分析化学特論I	1	1.0	3・4					2026年度開講せず。
FE14101	無機・分析化学特論II	1	1.0	3・4					2026年度開講せず。
FE14111	物理化学特論I	1	1.0	3・4	春学期	集中			開講する場合は、後日掲示する。
FE14121	物理化学特論II	1	1.0	3・4					2026年度開講せず。
FE14131	有機化学特論I	1	1.0	4	通年	応談	笹森 貴裕,沓村 憲樹,吉田 将人,中村 貴志	有機化学における構造,反応,合成,理論に関して幅広く講義する。国内外より招聘したそれぞれの専門家により,セミナー形式で最近の有機化学の現状について深く解説する。	詳細については、笹森(sasamori@chem.tsukuba.ac.jp)までお問合せください 実務経験教員 対面
FE14141	有機化学特論II	1	1.0	3・4					2026年度開講せず。
FE14151	生体関連化学特論I	1	1.0	3・4	夏季休業中	集中			開講する場合は、後日掲示する。
FE14161	生体関連化学特論II	1	1.0	3・4	秋学期	集中			開講する場合は、後日掲示する。
FE14171	無機・分析化学特論III	1	1.0	3・4	秋学期	集中			開講する場合は、後日掲示する。
FE14181	物理化学特論III	1	1.0	3・4					2026年度開講せず。
FE14191	有機化学特論III	1	1.0	3・4					2026年度開講せず。
FE14281	有機化学特論IV	1	1.0	3・4					2026年度開講せず。
FE14301	無機・分析化学特論IV	1	1.0	3・4					2026年度開講せず。
FE14311	物理化学特論IV	1	1.0	3・4					2026年度開講せず。
FE14808	卒業研究	8	14.0	4	通年	随時	化学類全教員	配属された研究室の指導教員の下で研究を行い、結果を論文形式にまとめて提出するとともに、口頭でも発表する。	実務経験教員 対面

開設母体

要件
応用理工学類

応用理工学類(標準1年次必修科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FF17011	応用理工学概論	1	1.0	1	春A	NT	応用理工学類長	この講義では、応用理工学類で行われている広範な先端研究をオムニバス形式の講義で紹介し、そこに至るまでの教育方針について説明します。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)

応用理工学類(標準2年次必修科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FF18604	電磁気学A	4	1.0	2	春AB	水3	関場 大一郎	1年次に学習した電磁気学1の内容を整理するとともに、より深く電磁気学を学ぶ。豊富な演習をこなすことで、問題を解く力と応用力を身に付ける。	1・2クラス 専門基礎科目 必修科目 対面
FF18614	電磁気学A	4	1.0	2	春AB	水3	櫛田 創	1年次に学習した電磁気学1の内容を整理するとともに、より深く電磁気学を学ぶ。豊富な演習をこなすことで、問題を解く力と応用力を身に付ける。	3.4クラス 専門基礎科目 必修科目 対面(オンライン併用型)
FF18624	電磁気学B	4	1.0	2	春C	火1 金2	松石 清人	1年次に学習した電磁気学2の内容を整理するとともに、より深く電磁気学を学ぶ。豊富な演習をこなすことで、問題を解く力と応用力を身に付ける。	1・2クラス 専門基礎科目 必修科目 対面
FF18634	電磁気学B	4	1.0	2	春C	火1 金2	梅田 享英	1年次に学習した電磁気学2の内容を整理するとともに、より深く電磁気学を学ぶ。豊富な演習をこなすことで、問題を解く力と応用力を身に付ける。	3・4クラス 専門基礎科目 必修科目 対面
FF18644	電磁気学C	4	1.0	2	秋AB	木2	丸本 一弘	1年次に学習した電磁気学3の内容を整理するとともに、より深く電磁気学を学ぶ。豊富な演習をこなすことで、問題を解く力と応用力を身に付ける。	1・2クラス 専門基礎科目 必修科目 対面
FF18654	電磁気学C	4	1.0	2	秋AB	木2	黒田 眞司	1年次に学習した電磁気学3の内容を整理するとともに、より深く電磁気学を学ぶ。豊富な演習をこなすことで、問題を解く力と応用力を身に付ける。	3・4クラス 専門基礎科目 必修科目 対面
FF18664	解析学A	4	1.0	2	春A	月2 金1	金澤 研	理工学への応用を念頭において、ベクトル解析の基礎を講義する。ベクトルの微分・積分を扱う。講義を中心に、随時、演習を行う。	1・2クラス 専門基礎科目 必修科目 対面
FF18674	解析学A	4	1.0	2	春A	月2 金1	鈴木 修吾	理工学への応用を念頭において、ベクトル解析の基礎を講義する。ベクトルの微分・積分を扱う。講義を中心に、随時、演習を行う。	3・4クラス 専門基礎科目 必修科目 対面
FF18684	解析学B	4	1.0	2	春BC	金1	茂木 裕幸	理工学への応用を念頭において、ベクトル解析、複素関数論の基礎を講義する。ベクトルの微分・積分と共に、複素平面の復習を経て、複素関数の微分を扱う。講義を中心に随時、演習を行う。	1・2クラス 専門基礎科目 必修科目 対面
FF18694	解析学B	4	1.0	2	春BC	金1	鈴木 修吾	理工学への応用を念頭において、ベクトル解析、複素関数論の基礎を講義する。ベクトルの微分・積分と共に、複素平面の復習を経て、複素関数の微分を扱う。講義を中心に随時、演習を行う。	3・4クラス 専門基礎科目 必修科目 対面
FF18704	解析学C	4	1.0	2	秋AB	金2	小林 伸彦	理工学への応用を念頭において、解析学Bに引き続き、複素関数論を講義する。複素関数の各種定理と応用を扱う。講義を中心に随時、演習を行う。	1・2クラス 専門基礎科目 必修科目 対面
FF18714	解析学C	4	1.0	2	秋AB	金2	岡田 朗	理工学への応用を念頭において、解析学Bに引き続き、複素関数論を講義する。複素関数の各種定理と応用を扱う。講義を中心に随時、演習を行う。	3・4クラス 専門基礎科目 必修科目 対面(オンライン併用型)
FF18724	線形代数A	4	1.0	2	春AB	木1	大野 裕三	線形代数1~3に引き続き、線形代数の基本事項を講義する。抽象線形空間、線形写像、関数空間を扱う。講義を中心に随時、演習を行う。	1・2クラス 専門基礎科目 必修科目 対面
FF18734	線形代数A	4	1.0	2	春AB	木1	関口 隆史	線形代数1~3に引き続き、線形代数の基本事項を講義する。抽象線形空間、線形写像、関数空間を扱う。講義を中心に随時、演習を行う。	3・4クラス 専門基礎科目 必修科目 対面
FF18744	線形代数B	4	1.0	2	秋AB	水2	小泉 洸生	線形代数Aに引き続き、線形代数の基本事項を講義する。固有値問題、スペクトル分解、線形連立微分方程式を扱う。講義を中心に随時、演習を行う。	1・2クラス 専門基礎科目 必修科目 対面
FF18754	線形代数B	4	1.0	2	秋AB	水2	武内 修	線形代数Aに引き続き、線形代数の基本事項を講義する。固有値問題、スペクトル分解、線形連立微分方程式を扱う。講義を中心に随時、演習を行う。	3・4クラス 専門基礎科目 必修科目 対面
FF18761	化学A	1	1.0	2	春AB	木2	山本 洋平	物理化学の基礎理論一般を習得することを目的として、気体の分子運動論、実在気体、ファンデルワールスの状態方程式、熱力学第一法則などについて学ぶ。	専門基礎科目 必修科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FF18771	化学B	1	1.0	2	秋B	火1,2	山本 洋平	物理化学の基礎を習得することを目的として、標準生成エンタルピー、結合エンタルピー、標準反応エンタルピー、キルヒホフの法則、エントロピーの概念、混合によるエントロピー変化、化合物の沸点とトルートンの規則、化学反応によるエントロピー変化、化学反応の自発性について学ぶ。	専門基礎科目 必修科目 対面(オンライン併用型)
FF18784	力学A	4	1.0	2	春AB	金2	藤田 淳一	力学1、2、3に続いて力学の基本事項を学習する。基本原理の応用、粒子系の力学(衝突、回転と角運動量、重力)や様々な波動現象の扱い方を取りあげる。講義を中心に随時、演習を行う。	1・2クラス 専門基礎科目 必修科目 対面
FF18794	力学A	4	1.0	2	春AB	金2	仝 暁民	力学1、2、3に続いて力学の基本事項を学習する。基本原理の応用、粒子系の力学(衝突、回転と角運動量、重力)や様々な現象の扱い方を取りあげる。講義を中心に随時、演習を行う。	3・4クラス 専門基礎科目 必修科目 対面
FF18804	熱力学	4	2.0	2	春AB	水2 金4	所 裕子	熱力学第1法則,第2法則,熱力学諸関数および相転移と相平衡の概念について述べ、平衡状態における物質の諸性質について学ぶ。	1・2クラス 専門基礎科目 必修科目 対面(オンライン併用型)
FF18814	熱力学	4	2.0	2	春AB	水2 金4	伊藤 良一	熱力学第1法則,第2法則,熱力学諸関数および相転移と相平衡の概念について述べ、平衡状態における物質の諸性質について学ぶ。	3・4クラス 専門基礎科目 必修科目 対面(オンライン併用型)
FF19203	応用理工化学実験	3	3.0	2	春ABC	月3-6	山岸 洋,柏木 隆成,桑原 純平,甲田 優太,近藤 剛弘,辻村 清也,所 裕子	基礎的な実験課題を通して、化学実験の基本原理と操作を習得する。内容は、無機化学、物理化学、分析化学、有機化学の各分野にわたり、化合物合成、組成決定、反応、性質解明などを行う。	1班対象 班分けは授業開始前の掲示に従うこと。専門基礎科目 必修科目 対面
FF19213	応用理工化学実験	3	3.0	2	秋ABC	月3-6	山岸 洋,柏木 隆成,桑原 純平,甲田 優太,近藤 剛弘,辻村 清也,所 裕子	基礎的な実験課題を通して、化学実験の基本原理と操作を習得する。内容は、無機化学、物理化学、分析化学、有機化学の各分野にわたり、化合物合成、組成決定、反応、性質解明などを行う。	2班対象 班分けは授業開始前の掲示に従うこと。専門基礎科目 必修科目 対面
FF19303	応用理工物理学実験	3	3.0	2	春ABC	月3-6	磯部 高範,藤森 利彦,牧村 哲也,大井川 治宏,小倉 暁雄,嵐田 雄介	基礎的な実験課題を通して、物理実験の基本原理と操作を習得する。内容は、論理回路、電子回路、電気伝導、放射線計測、光などを行う。	2班対象 班分けは授業開始前の掲示に従うこと。専門基礎科目 必修科目 対面
FF19313	応用理工物理学実験	3	3.0	2	秋ABC	月3-6	磯部 高範,藤森 利彦,牧村 哲也,大井川 治宏,小倉 暁雄,嵐田 雄介	基礎的な実験課題を通して、物理実験の基本原理と操作を習得する。内容は、論理回路、電子回路、電気伝導、放射線計測、光などを行う。	1班対象 班分けは授業開始前の掲示に従うこと。専門基礎科目 必修科目 対面
FF19401	基礎実験学	1	1.0	2	春A	月1 木6	木島 正志,梅田 享英	実験を行う際の心構えや準備、計測の仕方と誤差、データの記録やグラフの使い方、安全な物質の取り扱い、研究倫理など、実験を進める上で大切になる基礎事項について概観する。	専門科目 必修科目 対面(オンライン併用型)

応用理工学類(標準2年次選択科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FF15504	電気回路	4	2.0	2	春BC	水4 金5	矢野 裕司	線形受動素子で構成される電気回路を扱う枠組みを学ぶ。正弦波交流信号と線形受動素子の複素表示を基に、線形回路に関する諸定理を交えて各種線形回路の解析を行う。	専門基礎科目 選択科目 対面
FF15514	解析力学A	4	1.0	2	秋AB	金4	寺田 康彦	1年次に学習した力学および2年次に学習した力学Aを数学的・概念的に整備発展させた解析力学について学ぶ。ラグランジュ形式について学び、系の運動をどう一般化すると計算が便利になるかを学ぶ。力学の原理と問題を見直し、解き、応用力をつける。	1・2クラス 専門基礎科目 選択科目 対面
FF15524	解析力学A	4	1.0	2	秋AB	金4	森 龍也	1年次に学習した力学および2年次に学習した力学Aを数学的・概念的に整備発展させた解析力学について学ぶ。ラグランジュ形式について学び、系の運動をどう一般化すると計算が便利になるかを学ぶ。力学の原理と問題を見直し、解き、応用力をつける。	3・4クラス 専門基礎科目 選択科目 対面
FF15534	解析力学B	4	1.0	2	秋C	水2 金4	寺田 康彦	解析力学Aに引き続き、解析力学について学ぶ。ハミルトン形式について学び、量子力学の基礎となる前期量子論について学ぶ。力学の原理と問題を見直し、解き、応用力をつける。	1・2クラス 専門基礎科目 選択科目 対面
FF15544	解析力学B	4	1.0	2	秋C	水2 金4	森 龍也	解析力学Aに引き続き、解析力学について学ぶ。ハミルトン形式について学び、量子力学の基礎となる前期量子論について学ぶ。力学の原理と問題を見直し、解き、応用力をつける。	3・4クラス 専門基礎科目 選択科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FF15554	アナログ電子回路	4	1.0	2	秋AB	木1	牧村 哲也	アナログ電子回路を扱う枠組みを学ぶ。ダイオード、トランジスタの等価表現に基づき、トランジスタおよび演算増幅器の設計・解析を行う。	専門基礎科目 選択科目 対面
FF15564	確率論	4	1.0	2	春B	水5,6	安野 嘉晃	確率論で用いられる基本概念を学び、実際的な確率論、統計学を学ぶための基礎を身につける。その後、二項分布、多項分布、正規分布など有用な確率分布について学ぶ。さらに、複数の確率変数がある場合の確率の取り扱いについても学ぶ。	専門基礎科目 選択科目 対面
FF15574	統計学	4	1.0	2	秋AB	火4	都甲 薫	確率論の知識を基礎として用いながら、実際に生起した事象の性質を捉える数学的手法を学ぶ。まず、集団の概念を導入し、さらに、平均や分散など集団の特性を簡潔に表現するための数学的手法を学ぶ。また、確率および統計の技術を用いることで実際に得られたデータの特性を検討する手法である推定および検定について学ぶ。	専門基礎科目 選択科目 対面
FF15584	応用理工学情報処理	4	2.0	2	秋AB	水5,6	前島 展也	C言語を用いたプログラミングに関して,その基礎から数値計算などへの応用までを講義と演習により学ぶ。	1班対象 専門基礎科目 選択科目 対面
FF15594	応用理工学情報処理	4	2.0	2	秋AB	木5,6	安野 嘉晃	C言語を用いたプログラミングに関して,その基礎から数値計算などへの応用までを講義と演習により学ぶ。	2班対象 専門基礎科目 選択科目 対面
FF15604	応用理工学情報処理	4	2.0	2	秋AB	金5,6	渡辺 紀生	C言語を用いたプログラミングに関して,その基礎から数値計算などへの応用までを講義と演習により学ぶ。	3班対象 専門基礎科目 選択科目 対面
FF16111	応用数学I	1	3.0	2	秋ABC	水4 金1	長谷 宗明	物理学や工学の問題を解析するうえで必要不可欠な応用数学について学ぶ。フーリエ級数、フーリエ変換、偏微分方程式、ラプラス変換、微分方程式における演算子法や級数法。講義を中心に随時演習を行う。	1・2クラス 専門科目 選択科目 対面(オンライン併用型)
FF16121	応用数学I	1	3.0	2	秋ABC	水4 金1	石井 宏幸	物理学や工学の問題を解析するうえで必要不可欠な応用数学について学ぶ。フーリエ級数、フーリエ変換、偏微分方程式、ラプラス変換、微分方程式における演算子法や級数法。講義を中心に随時演習を行う。	3・4クラス 専門科目 選択科目 対面(オンライン併用型)
FF16301	先端科学・工学概論	1	1.0	2	春BC	火2	蓮沼 隆	最先端の科学・研究トピックについて紹介する中で、量子力学を基本原理とするさまざまな電子技術や計測・制御技術について学ぶ。本年度は、電子デバイス、パワーエレクトロニクス、光エレクトロニクス、スピンエレクトロニクス、そして半導体欠陥評価、計5分野のオムニバス形式で行う。	原則、主専攻未進級者対象 専門科目 選択科目 対面
FF16401	材料物性工学概論	1	1.0	2	秋AB	月1	谷本 久典,鈴木 義和,前島 展也,金 熙榮,黒田 眞司,辻本 学	種々の材料の性質、機能について解説する。具体的には、物性工学主専攻担当の教員が、セラミックス材料、金属材料、半導体材料、超伝導材料、さらには計算機を用いた材料科学に関する研究内容について最新のトピクスを交えながらオムニバス形式で紹介することを通じて、主専攻で行われている研究内容についての理解を深める。	原則、主専攻未進級者対象 専門科目 選択科目 対面(オンライン併用型)
FF16711	計測実験学	1	1.0	2	春BC	月1	長谷川 友里,佐々木 正洋,服部 利明,関口 隆史,渡辺 紀生	(1) 真空技術と計測(気体分子の性質、真空排気の原理、真空計測) (2) 光と計測(光とは、光源、検出器、光計測) (3) 光とX線による顕微計測(回折限界、各種光学顕微鏡、X線CT) (4) 電子による顕微計測(電子顕微鏡の原理、二次電子・反射電子、低真空SEM)	原則、主専攻未進級者対象 専門科目 選択科目 対面
FF16801	分子工学概論	1	1.0	2	秋AB	月2	大石 基	最先端の分子工学について、物質・分子工学主専攻の教員によるオムニバス講義を行う。	原則、主専攻未進級者対象 専門科目 選択科目 対面
FF16901	応用物理工学概論	1	1.0	2	春BC	月2	羽田 真毅	応用物理工学について、応用物理主専攻の教員による9分野のオムニバス講義を行う。	原則、主専攻未進級者対象 専門科目 選択科目 対面(オンライン併用型)

応用理工学類(応用物理主専攻:標準3・4年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FF20051	専門英語1	1	1.0	3	春AB	金1	セライヤン セルバクマー	Improve reading and writing skills related to technical English.	専門基礎科目 必修科目 英語で授業。 主専攻必修科目。 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FF20061	専門英語2	1	1.0	3	秋AB	金3	シャーミン ソニア	Improve presentation skills related to technical English.	専門基礎科目 必修科目 FF30061と同一。 英語で授業。 主専攻必修科目。 G科目 対面
FF20071	専門英語3	1	1.0	3	秋BC	金6	浦 朋人	e-ラーニングシステムを使い、英語表現に慣れ親しむ。ヒヤリング能力、語彙力、表現力の養成を目指す。	専門基礎科目 必修科目 英語で授業。 主専攻必修科目。 G科目 オンライン(オンデマンド型)
FF20113	応用物理専攻実験A	3	2.0	3	春ABC	火3-5	応用理工学類・応用物理主専攻主任,長谷川 友里,渡辺 紀生,寺田 康彦	応用物理における重要なテーマ(走査トンネル顕微鏡、真空蒸着およびX線回折技術、計算機制御)について基本的な実験を行い,その体験を通して応用物理の研究において必要な技術を習得するとともに,将来へ向けての応用能力を養うことを目的とする。	1班対象 班分けは授業開始前の掲示に従うこと。専門科目 必修科目。応用物理主専攻学生に限る。 主専攻必修科目。 対面
FF20123	応用物理専攻実験A	3	2.0	3	秋ABC	火3-5	応用理工学類・応用物理主専攻主任,長谷川 友里,渡辺 紀生,寺田 康彦	応用物理における重要なテーマ(走査トンネル顕微鏡、真空蒸着およびX線回折技術、計算機制御)について基本的な実験を行い,その体験を通して応用物理の研究において必要な技術を習得するとともに,将来へ向けての応用能力を養うことを目的とする。	2班対象 班分けは授業開始前の掲示に従うこと。専門科目 必修科目。応用物理主専攻学生に限る。 主専攻必修科目。 対面
FF20133	応用物理専攻実験B	3	2.0	3	秋ABC	火3-5	応用理工学類・応用物理主専攻主任,服部 利明,冨田 成夫,羽田 真毅	応用物理における重要なテーマ(レーザー光学、オプトエレクトロニクス、電子分光)について基本的な実験を行い,その体験を通して応用物理の研究において必要な技術を習得するとともに,将来へ向けての応用能力を養うことを目的とする。	1班対象 班分けは授業開始前の掲示に従うこと。専門科目 必修科目。応用物理主専攻学生に限る。 主専攻必修科目。 対面
FF20143	応用物理専攻実験B	3	2.0	3	春ABC	火3-5	応用理工学類・応用物理主専攻主任,服部 利明,冨田 成夫,羽田 真毅	応用物理における重要なテーマ(レーザー光学、オプトエレクトロニクス、電子分光)について基本的な実験を行い,その体験を通して応用物理の研究において必要な技術を習得するとともに,将来へ向けての応用能力を養うことを目的とする。	2班対象 班分けは授業開始前の掲示に従うこと。専門科目 必修科目。応用物理主専攻学生に限る。 主専攻必修科目。 対面
FF22001	応用物理特論	1	1.0	3	秋AB	火2	応用理工学類・応用物理主専攻主任	応用物理主専攻の各研究室の研究内容をわかりやすく紹介する。	専門科目 自由科目 対面
FF25001	量子力学I	1	3.0	3	春ABC	月3 水4	武内 修	量子力学の基礎を理解する。シュレディンガー方程式,波動関数と物理量の関係等を理解する。また,中心力場における1体問題を取扱い,水素原子のエネルギー固有値,波動関数等を学習する。	専門科目 選択科目 FF35001と同一。 対面
FF25011	量子力学II	1	3.0	3	秋ABC	月2 金4	小林 伸彦	量子力学Iで学んだことを基礎として,行列表現,角運動量の一般化,摂動論と変分法,電子のスピン,多粒子系の波動関数等について解説する。	専門科目 選択科目 FF35011と同一。 対面
FF25021	統計力学I	1	3.0	3	春AB 春C 春C	水・金5 水5 金4	佐野 伸行	統計力学は,ミクロな法則とマクロな物性をむすぶ体系であり,工学の基礎となる。特にエントロピー,温度,化学ポテンシャルについて統計力学の考え方を解説し,様々な問題に適用していく。	専門科目 選択科目 FF35021と同一。 対面
FF25091	固体物理学1	1	1.0	3	春AB	火2	山田 洋一	固体の性質をミクロな立場から理解するための基礎を学ぶ。原子が規則的に配列した結晶の幾何学的性質(対称性)から物理的性質がどのように導かれるかを理解する。結晶における波の回折、格子振動について解説し、固体の電子物性、光物性の理解につなげる。	専門科目 選択科目 FF35091と同一。 対面
FF25101	固体物理学2	1	2.0	3	秋AB	月1 金5	奥村 宏典	固体の性質をミクロな立場から理解するための基礎を学ぶ。原子が規則的に配列した結晶の幾何学的性質(対称性)から物理的性質がどのように導かれるかを理解する。結晶中の電子状態の基礎理論であるエネルギーバンド構造を学び、それに基づいて半導体および金属の電気伝導と光物性を理解する。	専門科目 選択科目 FF35101と同一。 対面(オンライン併用型)
FF25111	化学C	1	1.0	3	春AB	月5	木島 正志	化学A,Bで習った物理化学を基礎に化学Cでは、純物質の相平衡、混合物の性質を化学熱力学の観点から学習する。	専門科目 選択科目 FF35111, FF45111, FF55111と同一。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FF25121	化学D	1	1.0	3	秋AB	水2	木島 正志	化学Cに引き続き化学Dでは、化学平衡の原理を化学熱力学の観点から理解し、化学平衡の応用(酸塩基、緩衝作用、溶解度)を学習する。	専門科目 選択科目 FF35121, FF45121, FF55121と同一。 対面(オンライン併用型)
FF25131	化学E	1	1.0	3	秋BC	水5	辻村 清也	化学Eでは反応速度論、速度論に基づく化学反応の解釈について学習する。	専門科目 選択科目 FF35131, FF45131, FF55131と同一。 対面
FF25141	生命科学1	1	1.0	3	春AB	木2	大石 基	本講義では、生物をはじめて学ぶ人でも理解できるように生命(生物学)の基本を解説する。とくに、細胞を中心とした生命現象のしくみや、面白さ、美しさなどを理解し、どのような分野の人でも必要となる生命科学の知識を身につけることを目標とする。	専門科目 選択科目 FF35141, FF45141, FF55141と同一。 対面
FF25151	生命科学2	1	1.0	3	秋A	火・木6	大石 基,辻村 清也	本講義では、生物をはじめて学ぶ人でも理解できるように生命(生物学)の基本を解説する。とくに、細胞を中心とした生命現象のしくみや、面白さ、美しさなどを理解し、どのような分野の人でも必要となる生命科学の知識を身につけることを目標とする。	専門科目 選択科目 FF35151, FF45151, FF55151と同一。 対面
FF25161	生命科学3	1	1.0	3	秋BC	木6	辻村 清也	生体内でのシグナル伝達、発生と分化、生殖のしくみについて学ぶ。	専門科目 選択科目 FF35161, FF45161, FF55161と同一。 対面
FF26231	半導体電子工学1	1	1.0	3	春BC	木1	末益 崇	半導体デバイスの動作原理を理解するために不可欠な、キャリア密度、キャリアの輸送、キャリアの発生・再結合等の基本事項を学び、半導体デバイスの構成要素であるpn接合ダイオードの動作原理までを学ぶ。	専門科目 選択科目 FF36221, FF46181, FF56221と同一。 対面
FF26241	半導体電子工学2	1	1.0	3	秋AB	水6	矢野 裕司	半導体電子工学1の内容を基に、ダイオードやトランジスタなど各種半導体デバイスの動作原理を理解する。主にpnダイオード、ショットキーダイオード、バイポーラトランジスタ、MOSFET、発光素子、受光素子などを学ぶ。	専門科目 選択科目 FF36231, FF46191, FF56231と同一。 対面
FF26251	光物性工学I	1	1.0	3	秋A	月5 水4	日野 健一	古典振動子模型およびマクスウェル方程式に基づき, 物質による光の反射, 屈折, 吸収, 散乱等を電磁波に対する電子やイオンの応答によるミクロな視点から理解する。	専門科目 選択科目 FF36241, FF46211, FF56241と同一。 対面(オンライン併用型)
FF26261	光物性工学II	1	1.0	3	秋B	月5 水4	日野 健一	量子力学の枠組みに基づき, 固体中の光学遷移過程, 非線形光学過程, 光と物質の非平衡系ダイナミクスに関連する諸現象を理解する。	専門科目 選択科目 FF36251, FF46221, FF56251と同一。 対面(オンライン併用型)
FF26271	デジタル電子回路	1	1.0	3	春BC	水2	寺田 康彦	ディジタルICの機能と構成方法,基本的論理回路(カウンタ,ラッチ等)の動作原理。マイクロプロセッサのアーキテクチャとコンピュータの構成方法。コンピュータ技術の歴史・現状の概観と将来展望。	専門科目 選択科目 FF36261, FF46231と同一。 対面
FF26281	応用数学II	1	2.0	3	春AB 春C	金2 火・金2	鈴木 修吾	理工学で必要となる数学的手法について学ぶ。特に、汎関数の極値問題を扱う変分法や直交多項式をはじめとする特殊関数に重点をおいて授業を進める。	専門科目 選択科目 FF36271, FF46241, FF56261と同一。 対面
FF26291	固体物理学特論	1	1.0	3	秋AB	月3	上殿 明良,牧野 俊晴	固体の微視的性質を理解するための基礎を学ぶ。金属,半導体,セラミック中の点欠陥,原子拡散,転位,またこれらに関連する事項について講義する。	専門科目 選択科目 FF36281と同一。 対面
FF26301	物理計測	1	1.0	3	秋AB	木5	藤田 淳一	基本的計測技術とその原理について、特にX線、真空技術、低温技術などの実験基礎技術とその物理的背景、光・電子・プローブ顕微鏡技術、さらに電圧・時間標準などの計量標準について解説する。	専門科目 選択科目 FF36291と同一。 対面
FF26321	光学	1	1.0	3	春C	水・金3	嵐田 雄介	波動光学的な考え方をベースにした幾何光学の結像公式とレンズおよび鏡面等の組み合わせ光学系の諸性質を学ぶ。波動光学では、干渉・回折・偏光の諸性質を解析的な式の導出によって求め、理解を深める。	専門科目 選択科目 FF36311, FF56271と同一。 対面
FF26331	応用原子物理	1	1.0	3	秋AB	木4	冨田 成夫	高速荷電粒子を利用する先端技術は理工学のみならず生物,医療,環境,考古学、宇宙関連分野にわたっている。本授業では、それらの基礎をなす原子の構造や物質内での散乱過程について関連計測技術を含め総合的に学ぶ。	専門科目 選択科目 対面
FF26351	統計力学II	1	2.0	3	秋AB 秋C	木3 木3,4	梅田 享英	統計力学Iに引き続き、統計力学の基本原理とその具体的応用を講義する。統計集団と熱力学関数、ギブス・エネルギーと化学反応、相転移とランダウ理論、縮退した半導体統計、気体運動論と輸送過程。	専門科目 選択科目 FF36381と同一。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FF26361	レーザー光学	1	1.0	3	秋BC	金2	羽田 真毅	レーザーの基礎として、光(電磁波)のモード、電磁波のコヒーレンス、誘導放出による光の増幅などについて述べた上で、各種レーザーの発振機構、特性、非線形光学などについて議論する。超短パルスレーザーとそれを用いた超高速分光も解説する。	専門科目 選択科目 FF36391, FF46331, FF56451と同一。 対面
FF26371	プラズマ工学	1	1.0	3	秋BC	木2	江角 直道	'プラズマとは'に始まり,プロセスプラズマから核融合プラズマまでの多様な工学的応用の基礎過程を学ぶとともに,プラズマ理工学分野の現状を解説する。	専門科目 選択科目 FF36411と同一。 対面
FF26381	計測工学	1	1.0	3	春BC	月2	重川 秀実	測定の精度や測定値、誤差の扱いから、データの記録やグラフの使い方などについて学習し、計測・実験技術の基礎を身につけることを目標とする。	専門科目 選択科目 FF36421と同一。 対面
FF26391	制御工学	1	1.0	3	秋BC	水5	磯部 高範	制御系を設計するための基本的原理、方法を学ぶ。ブロック線図、線形システムの取り扱いなどを理解し、線形制御システムの解析手法や設計手法などへの応用を行う。	専門科目 選択科目 FF36431と同一。 対面
FF26401	表面・界面工学	1	1.0	4	春AB	水3	佐々木 正洋	現代の「ハイテク」において異種物質界面,固体表面の高度な制御が求められる。本講義では,原子スケールの表面計測から表面反応,界面制御に至る多彩な技術と,この技術を支える表面科学を系統的に解説する。	専門科目 選択科目 FF36441, FF46341, FF56461と同一。 対面
FF26411	回折結晶学	1	1.0	3	春C	火・金1	高橋 美和子	結晶学の基礎(結晶の幾何学、実格子と逆格子)と回折法を基本原理(回折現象、散乱因子、フーリエ変換)について解説し、回折技術を使った実験法及び解析法(X線回折、電子回折、中性子回折)について詳述する。	専門科目 選択科目 FF36451, FF46351, FF56471と同一。 対面(オンライン併用型)
FF26501	材料・計測情報科学A	1	1.0	3	春BC	水6	三俣 千春	材料研究・計測分野において利用されるデータサイエンスの方法を学習する。基礎としてデータトレンド解析法やデータの信頼性評価などをPython言語によるプログラミングを通じて習得する。演習のレポートにより理解度を評価する。	専門科目 選択科目 FF36501, FF46401, FF56501と同一。 対面(オンライン併用型)
FF26511	材料・計測情報科学B	1	1.0	3	秋AB	水3	三俣 千春	材料研究・計測分野において利用されるデータサイエンスの方法を学習する。基礎として学んだデータ処理方法を発展させ、ベイズ統計やガウス分布関数を利用するPythonプログラムに取り組む。演習のレポートにより理解度を評価する。	専門科目 選択科目 FF36511, FF46411, FF56511と同一。 対面(オンライン併用型)
FF26524	データサイエンス演習	4	1.0	3	秋AB	火1	三俣 千春	データサイエンスで利用される計算プログラムの基礎を学ぶ。データ処理に適したプログラム言語として広く利用されているPythonの利用によってプログラミングの技法を身につける。レポートにより理解の度合いを評価する。	専門科目 選択科目 FF36524, FF46424, FF56524と同一。 対面(オンライン併用型)
FF29928	卒業研究A	8	4.0	4	春学期	随時	応用理工学類各教員	指導教員の下で卒業研究テーマを決定し、研究テーマに関連する文献等を調べ、研究計画を立てて研究を実施する。	専門科目 必修科目 主専攻必修科目。 対面
FF29938	卒業研究A	8	4.0	4	秋学期	随時	応用理工学類各教員	指導教員の下で卒業研究テーマを決定し、研究テーマに関連する文献等を調べ、研究計画を立てて研究を実施する。	専門科目 必修科目 主専攻必修科目。 対面
FF29948	卒業研究B	8	4.0	4	春学期	随時	応用理工学類各教員	「卒業研究A」に引き続いて、指導教員の下で卒業研究を実施し、研究結果を論文にまとめて提出するとともに、口頭で研究発表を行う。	専門科目 必修科目。 「卒業研究A」を取得していること。 主専攻必修科目。 対面
FF29958	卒業研究B	8	4.0	4	秋学期	随時	応用理工学類各教員	「卒業研究A」に引き続いて、指導教員の下で卒業研究を実施し、研究結果を論文にまとめて提出するとともに、口頭で研究発表を行う。	専門科目 必修科目。 「卒業研究A」を取得していること。 主専攻必修科目。 対面

応用理工学類(電子・量子工学主専攻:標準3・4年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FF30051	専門英語1	1	1.0	3	春AB	金3	セライヤン セルバクマー	Improve reading and writing skills related to technical English.	専門基礎科目 必修科目 英語で授業。 主専攻必修科目。 G科目 対面
FF30061	専門英語2	1	1.0	3	秋AB	金3	シャーミン ソニア	Improve presentation skills related to technical English.	専門基礎科目 必修科目 FF20061と同一。 英語で授業。 主専攻必修科目。 G科目 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FF30071	専門英語3	1	1.0	3	秋BC	金6	鶴田 諒平	e-ラーニングシステムを使い、英語表現に慣れ親しむ。ヒヤリング能力、語彙力、表現力の養成を目指す。	専門基礎科目 必修科目 英語で授業。 主専攻必修科目。 G科目 オンライン(オンデマンド型)
FF30113	電子・量子工学専攻実験A	3	2.0	3	春ABC	火3-5	応用理工学類・電子・量子工学主専攻主任,上殿 明良,櫻井 岳暁,柳原 英人	電子・量子工学における重要なテーマ(X線回折、半導体の電気伝導とホール効果、磁気測定)について基本的な実験を行い,その体験を通じて電子・量子工学の研究に必要な技術を習得するとともに,将来に向けての応用能力を養うことを目的とする。	1班対象 班分けは授業開始前の掲示に従うこと。専門科目 必修科目。電子・量子工学主専攻学生に限る。 主専攻必修科目。 対面
FF30123	電子・量子工学専攻実験A	3	2.0	3	秋ABC	火3-5	応用理工学類・電子・量子工学主専攻主任,上殿 明良,櫻井 岳暁,柳原 英人	電子・量子工学における重要なテーマ(X線回折、半導体の電気伝導とホール効果、磁気測定)について基本的な実験を行い,その体験を通じて電子・量子工学の研究に必要な技術を習得するとともに,将来に向けての応用能力を養うことを目的とする。	2班対象 班分けは授業開始前の掲示に従うこと。専門科目 必修科目。電子・量子工学主専攻学生に限る。 主専攻必修科目。 対面
FF30133	電子・量子工学専攻実験B	3	2.0	3	秋ABC	火3-5	応用理工学類・電子・量子工学主専攻主任,岩室 憲幸,蓮沼 隆,末益 崇	電子・量子工学における重要なテーマ(MOSと半導体/金属接合の作製と評価-I、-II、光エレクトロニクス)について基本的な実験を行い,その体験を通じて電子・量子工学の研究に必要な技術を習得するとともに,将来に向けての応用能力を養うことを目的とする。	1班対象 班分けは授業開始前の掲示に従うこと。専門科目 必修科目。電子・量子工学主専攻学生に限る。 主専攻必修科目。 対面
FF30143	電子・量子工学専攻実験B	3	2.0	3	春ABC	火3-5	応用理工学類・電子・量子工学主専攻主任,岩室 憲幸,蓮沼 隆,末益 崇	電子・量子工学における重要なテーマ(MOSと半導体/金属接合の作製と評価-I、-II、光エレクトロニクス)について基本的な実験を行い,その体験を通じて電子・量子工学の研究に必要な技術を習得するとともに,将来に向けての応用能力を養うことを目的とする。	2班対象 班分けは授業開始前の掲示に従うこと。専門科目 必修科目。電子・量子工学主専攻学生に限る。 主専攻必修科目。 対面
FF32201	電子・量子工学特論	1	1.0	3	秋AB	火2	応用理工学類・電子・量子工学主専攻主任	電子・量子工学主専攻を担当する教員が行っている最新の研究内容を、わかりやすく紹介する。	専門科目 自由科目 オンライン(オンデマンド型)
FF35001	量子力学I	1	3.0	3	春ABC	月3 水4	武内 修	量子力学の基礎を理解する。シュレディンガー方程式,波動関数と物理量の関係等を理解する。また,中心力場における1体問題を取扱い,水素原子のエネルギー固有値,波動関数等を学習する。	専門科目 選択科目 FF25001と同一。 対面
FF35011	量子力学II	1	3.0	3	秋ABC	月2 金4	小林 伸彦	量子力学Iで学んだことを基礎として,行列表現,角運動量の一般化,摂動論と変分法,電子のスピン,多粒子系の波動関数等について解説する。	専門科目 選択科目 FF25011と同一。 対面
FF35021	統計力学I	1	3.0	3	春AB 春C 春C	水・金5 水5 金4	佐野 伸行	統計力学は,ミクロな法則とマクロな物性をむすぶ体系であり,工学の基礎となる。特にエントロピー,温度,化学ポテンシャルについて統計力学の考え方を解説し,様々な問題に適用していく。	専門科目 選択科目 FF25021と同一。 対面
FF35091	固体物理学1	1	1.0	3	春AB	火2	山田 洋一	固体の性質をミクロな立場から理解するための基礎を学ぶ。原子が規則的に配列した結晶の幾何学的性質(対称性)から物理的性質がどのように導かれるかを理解する。結晶における波の回折、格子振動について解説し、固体の電子物性、光物性の理解につなげる。	専門科目 選択科目 FF25091と同一。 対面
FF35101	固体物理学2	1	2.0	3	秋AB	月1 金5	奥村 宏典	固体の性質をミクロな立場から理解するための基礎を学ぶ。原子が規則的に配列した結晶の幾何学的性質(対称性)から物理的性質がどのように導かれるかを理解する。結晶中の電子状態の基礎理論であるエネルギーバンド構造を学び、それに基づいて半導体および金属の電気伝導と光物性を理解する。	専門科目 選択科目 FF25101と同一。 対面(オンライン併用型)
FF35111	化学C	1	1.0	3	春AB	月5	木島 正志	化学A,Bで習った物理化学を基礎に化学Cでは、純物質の相平衡、混合物の性質を化学熱力学の観点から学習する。	専門科目 選択科目 FF25111, FF45111, FF55111と同一。 対面(オンライン併用型)
FF35121	化学D	1	1.0	3	秋AB	水2	木島 正志	化学Cに引き続き化学Dでは、化学平衡の原理を化学熱力学の観点から理解し、化学平衡の応用(酸塩基、緩衝作用、溶解度)を学習する。	専門科目 選択科目 FF25121, FF45121, FF55121と同一。 対面(オンライン併用型)
FF35131	化学E	1	1.0	3	秋BC	水5	辻村 清也	化学Eでは反応速度論、速度論に基づく化学反応の解釈について学習する。	専門科目 選択科目 FF25131, FF45131, FF55131と同一。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FF35141	生命科学1	1	1.0	3	春AB	木2	大石 基	本講義では、生物をはじめて学ぶ人でも理解できるように生命(生物学)の基本を解説する。とくに、細胞を中心とした生命現象のしくみや、面白さ、美しさなどを理解し、どのような分野の人でも必要となる生命科学の知識を身につけることを目標とする。	専門科目 選択科目 FF25141, FF45141, FF55141と同一。 対面
FF35151	生命科学2	1	1.0	3	秋A	火・木6	大石 基,辻村 清也	本講義では、生物をはじめて学ぶ人でも理解できるように生命(生物学)の基本を解説する。とくに、細胞を中心とした生命現象のしくみや、面白さ、美しさなどを理解し、どのような分野の人でも必要となる生命科学の知識を身につけることを目標とする。	専門科目 選択科目 FF25151, FF45151, FF55151と同一。 対面
FF35161	生命科学3	1	1.0	3	秋BC	木6	辻村 清也	生体内でのシグナル伝達、発生と分化、生殖のしくみについて学ぶ。	専門科目 選択科目 FF25161, FF45161, FF55161と同一。 対面
FF36221	半導体電子工学1	1	1.0	3	春BC	木1	末益 崇	半導体デバイスの動作原理を理解するために不可欠な、キャリア密度、キャリアの輸送、キャリアの発生・再結合等の基本事項を学び、半導体デバイスの構成要素であるpn接合ダイオードの動作原理までを学ぶ。	専門科目 選択科目 FF26231, FF46181, FF56221と同一。 対面
FF36231	半導体電子工学2	1	1.0	3	秋AB	水6	矢野 裕司	半導体電子工学1の内容を基に、ダイオードやトランジスタなど各種半導体デバイスの動作原理を理解する。主にpnダイオード、ショットキーダイオード、バイポーラトランジスタ、MOSFET、発光素子、受光素子などを学ぶ。	専門科目 選択科目 FF26241, FF46191, FF56231と同一。 対面
FF36241	光物性工学I	1	1.0	3	秋A	月5 水4	日野 健一	古典振動子模型およびマクスウェル方程式に基づき，物質による光の反射，屈折，吸収，散乱等を電磁波に対する電子やイオンの応答によるミクロな視点から理解する。	専門科目 選択科目 FF26251, FF46211, FF56241と同一。 対面(オンライン併用型)
FF36251	光物性工学II	1	1.0	3	秋B	月5 水4	日野 健一	量子力学の枠組みに基づき，固体中の光学遷移過程，非線形光学過程，光と物質の非平衡系ダイナミクスに関連する諸現象を理解する。	専門科目 選択科目 FF26261, FF46221, FF56251と同一。 対面(オンライン併用型)
FF36261	デジタル電子回路	1	1.0	3	春BC	水2	寺田 康彦	ディジタルICの機能と構成方法,基本的論理回路(カウンタ,ラッチ等)の動作原理。マイクロプロセッサのアーキテクチャとコンピュータの構成方法。コンピュータ技術の歴史・現状の概観と将来展望。	専門科目 選択科目 FF26271, FF46231と同一。 対面
FF36271	応用数学II	1	2.0	3	春AB 春C	金2 火・金2	鈴木 修吾	理工学で必要となる数学的手法について学ぶ。特に、汎関数の極値問題を扱う変分法や直交多項式をはじめとする特殊関数に重点をおいて授業を進める。	専門科目 選択科目 FF26281, FF46241, FF56261と同一。 対面
FF36281	固体物理学特論	1	1.0	3	秋AB	月3	上殿 明良,牧野 俊晴	固体の微視的性質を理解するための基礎を学ぶ。金属,半導体,セラミック中の点欠陥,原子拡散,転位,またこれらに関連する事項について講義する。	専門科目 選択科目 FF26291と同一。 対面
FF36291	物理計測	1	1.0	3	秋AB	木5	藤田 淳一	基本的計測技術とその原理について、特にX線、真空技術、低温技術などの実験基礎技術とその物理的背景、光・電子・プローブ顕微鏡技術、さらに電圧・時間標準などの計量標準について解説する。	専門科目 選択科目 FF26301と同一。 対面
FF36311	光学	1	1.0	3	春C	水・金3	嵐田 雄介	波動光学的な考え方をベースにした幾何光学の結像公式とレンズおよび鏡面等の組み合わせ光学系の諸性質を学ぶ。波動光学では、干渉・回折・偏光の諸性質を解析的な式の導出によって求め、理解を深める。	専門科目 選択科目 FF26321, FF56271と同一。 対面
FF36321	磁性体工学	1	1.0	3	秋C	月・水4	柳原 英人	物質の磁気的な性質や磁場に対する応答は、基礎的な物性評価や電子材料として幅広く利用されている。この講義では電磁気学を基礎として磁気分極の物理的な性質を説明し、物質の磁気的性質(強磁性)を紹介する。また磁気共鳴、メスバウアー効果など磁気計測について説明する。	専門科目 選択科目 FF46251, FF56281と同一。 対面
FF36331	誘電体工学	1	1.0	3	春AB	金4	小島 誠治	電子材料としてさまざまな用途に用いられている強誘電体の基礎について学ぶ。物質の誘電的性質、光学的性質、相転移現象や代表的な強誘電体を紹介する。また、最近の工学的応用について触れる。	専門科目 選択科目 FF46261, FF56291と同一。 対面
FF36351	情報通信工学概論	1	1.0	3	春BC	水1	中村 篤志	情報通信技術の進展が社会生活に与えるインパクトについて理解するとともに、情報流通基盤としてのネットワークの各構成技術について、広い視野から理解することを目標とする。特に、光ファイバ通信技術を基本にネットワークの成り立ちを理解する。	専門科目 選択科目 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FF36361	集積回路工学1	1	1.0	3	秋BC	水1	蓮沼 隆	集積回路の概要、基本構造と作製方法、構成素子、回路単位などを概述し、集積回路技術の基本的な理解を図る。	専門科目 選択科目 対面
FF36371	集積回路工学2	1	1.0	4	春AB	木2	蓮沼 隆	スケーリング則や微細化ルールなどを概述し、集積回路の作製方法、回路設計やレイアウト技術の基本的な理解を図る。	専門科目 選択科目 対面
FF36381	統計力学II	1	2.0	3	秋AB 秋C	木3 木3,4	梅田 享英	統計力学Iに引き続き、統計力学の基本原理とその具体的応用を講義する。統計集団と熱力学関数、ギブス・エネルギーと化学反応、相転移とランダウ理論、縮退した半導体統計、気体運動論と輸送過程。	専門科目 選択科目 FF26351と同一。 対面
FF36391	レーザー光学	1	1.0	3	秋BC	金2	羽田 真毅	レーザーの基礎として、光(電磁波)のモード、電磁波のコヒーレンス、誘導放出による光の増幅などについて述べた上で、各種レーザーの発振機構、特性、非線形光学などについて議論する。超短パルスレーザーとそれを用いた超高速分光も解説する。	専門科目 選択科目 FF26361, FF46331, FF56451と同一。 対面
FF36401	パワー半導体デバイス	1	1.0	3	秋C	月・木5	岩室 憲幸	電気は生活に欠かせないエネルギー源であり、これにかかわるグリーンエレクトロニクス技術は世界で注目されている。本講義では、一般家庭への電力輸送および電気機器の高効率なエネルギー変換に欠かせないパワー半導体デバイスについて、その各種デバイスの構造、動作原理ならびにその特徴について学ぶ。	専門科目 選択科目 実務経験教員 対面
FF36411	プラズマ工学	1	1.0	3	秋BC	木2	江角 直道	'プラズマとは'に始まり,プロセスプラズマから核融合プラズマまでの多様な工学的応用の基礎過程を学ぶとともに,プラズマ理工学分野の現状を解説する。	専門科目 選択科目 FF26371と同一。 対面
FF36421	計測工学	1	1.0	3	春BC	月2	重川 秀実	測定の精度や測定値、誤差の扱いから、データの記録やグラフの使い方などについて学習し、計測・実験技術の基礎を身につけることを目標とする。	専門科目 選択科目 FF26381と同一。 対面
FF36431	制御工学	1	1.0	3	秋BC	水5	磯部 高範	制御系を設計するための基本的原理、方法を学ぶ。ブロック線図、線形システムの取り扱いなどを理解し、線形制御システムの解析手法や設計手法などへの応用を行う。	専門科目 選択科目 FF26391と同一。 対面
FF36441	表面・界面工学	1	1.0	4	春AB	水3	佐々木 正洋	現代の「ハイテク」において異種物質界面,固体表面の高度な制御が求められる。本講義では,原子スケールの表面計測から表面反応,界面制御に至る多彩な技術と,この技術を支える表面科学を系統的に解説する。	専門科目 選択科目 FF26401, FF46341, FF56461と同一。 対面
FF36451	回折結晶学	1	1.0	3	春C	火・金1	高橋 美和子	結晶学の基礎(結晶の幾何学、実格子と逆格子)と回折法を基本原理(回折現象、散乱因子、フーリエ変換)について解説し、回折技術を使った実験法及び解析法(X線回折、電子回折、中性子回折)について詳述する。	専門科目 選択科目 FF26411, FF46351, FF56471と同一。 対面(オンライン併用型)
FF36501	材料・計測情報科学A	1	1.0	3	春BC	水6	三俣 千春	材料研究・計測分野において利用されるデータサイエンスの方法を学習する。基礎としてデータトレンド解析法やデータの信頼性評価などをPython言語によるプログラミングを通じて習得する。演習のレポートにより理解度を評価する。	専門科目 選択科目 FF26501, FF46401, FF56501と同一。 対面(オンライン併用型)
FF36511	材料・計測情報科学B	1	1.0	3	秋AB	水3	三俣 千春	材料研究・計測分野において利用されるデータサイエンスの方法を学習する。基礎として学んだデータ処理方法を発展させ、ベイズ統計やガウス分布関数を利用するPythonプログラムに取り組む。演習のレポートにより理解度を評価する。	専門科目 選択科目 FF26511, FF46411, FF56511と同一。 対面(オンライン併用型)
FF36524	データサイエンス演習	4	1.0	3	秋AB	火1	三俣 千春	データサイエンスで利用される計算プログラムの基礎を学ぶ。データ処理に適したプログラム言語として広く利用されているPythonの利用によってプログラミングの技法を身につける。レポートにより理解の度合いを評価する。	専門科目 選択科目 FF26524, FF46424, FF56524と同一。 対面(オンライン併用型)
FF39928	卒業研究A	8	4.0	4	春学期	随時	応用理工学類各教員	指導教員の下で卒業研究テーマを決定し、研究テーマに関連する文献等を調べ、研究計画を立てて研究を実施する。	専門科目 必修科目 主専攻必修科目。 対面
FF39938	卒業研究A	8	4.0	4	秋学期	随時	応用理工学類各教員	指導教員の下で卒業研究テーマを決定し、研究テーマに関連する文献等を調べ、研究計画を立てて研究を実施する。	専門科目 必修科目 主専攻必修科目。 対面
FF39948	卒業研究B	8	4.0	4	春学期	随時	応用理工学類各教員	「卒業研究A」に引き続いて、指導教員の下で卒業研究を実施し、研究結果を論文にまとめて提出するとともに、口頭で研究発表を行う。	専門科目 必修科目。 「卒業研究A」を取得していること。 主専攻必修科目。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FF39958	卒業研究B	8	4.0	4	秋学期	随時	応用理工学類各教員	「卒業研究A」に引き続いて、指導教員の下で卒業研究を実施し、研究結果を論文にまとめて提出するとともに、口頭で研究発表を行う。	専門科目 必修科目。 「卒業研究A」を取得していること。 主専攻必修科目。 対面

応用理工学類(物性工学主専攻:標準3・4年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FF40051	専門英語1	1	1.0	3	春AB	水1	イスラム モニル ムハマド	Improve reading and writing skills related to technical English.	専門基礎科目 必修科目 英語で授業。 主専攻必修科目。 G科目 対面
FF40061	専門英語2	1	1.0	3	秋AB	水1	シャーミン ソニア	Improve presentation skills related to technical English.	専門基礎科目 必修科目 FF50061と同一。 英語で授業。 主専攻必修科目。 G科目 対面
FF40071	専門英語3	1	1.0	3	秋BC	金6		e-ラーニングシステムを使い、英語表現に慣れ親しむ。ヒヤリング能力、語彙力、表現力の養成を目指す。	専門基礎科目 必修科目 英語で授業。 主専攻必修科目。 G科目 オンライン(オンデマンド型)
FF40113	物性工学専攻実験A	3	2.0	3	春ABC	木3-5	応用理工学類・物性工学主専攻主任,高橋 美和子,鈴木 義和,金 熙榮,谷本 久典,藤岡 淳	物性工学における重要なテーマ(X線回折、半導体の電気伝導とホール効果、金属物性基礎)について基本的な実験を行い,その体験を通して物性工学の研究において必要な技術を修得するとともに,将来へ向けての応用能力を養うことを目的とする。	1班対象 班分けは授業開始前の掲示に従うこと。専門科目 必修科目。物性工学主専攻学生に限る。 主専攻必修科目。 対面
FF40123	物性工学専攻実験A	3	2.0	3	秋ABC	木3-5	応用理工学類・物性工学主専攻主任,高橋 美和子,鈴木 義和,金 熙榮,谷本 久典,藤岡 淳	物性工学における重要なテーマ(X線回折、半導体の電気伝導とホール効果、金属物性基礎)について基本的な実験を行い,その体験を通して物性工学の研究において必要な技術を修得するとともに,将来へ向けての応用能力を養うことを目的とする。	2班対象 班分けは授業開始前の掲示に従うこと。専門科目 必修科目。物性工学主専攻学生に限る。 主専攻必修科目。 対面
FF40133	物性工学専攻実験B	3	2.0	3	秋ABC	木3-5	応用理工学類・物性工学主専攻主任,柏木 隆成,金澤 研,松石 清人,丸本 一弘	物性工学における重要なテーマ(単結晶の育成、磁気測定、電磁波分光)について基本的な実験を行い,その体験を通して物性工学の研究において必要な技術を修得するとともに,将来へ向けての応用能力を養うことを目的とする。	1班対象 班分けは授業開始前の掲示に従うこと。専門科目 必修科目。物性工学主専攻学生に限る。 主専攻必修科目。 対面
FF40143	物性工学専攻実験B	3	2.0	3	春ABC	木3-5	応用理工学類・物性工学主専攻主任,柏木 隆成,金澤 研,松石 清人,丸本 一弘	物性工学における重要なテーマ(単結晶の育成、磁気測定、電磁波分光)について基本的な実験を行い,その体験を通して物性工学の研究において必要な技術を修得するとともに,将来へ向けての応用能力を養うことを目的とする。	2班対象 班分けは授業開始前の掲示に従うこと。専門科目 必修科目。物性工学主専攻学生に限る。 主専攻必修科目。 対面
FF42001	物性工学特論	1	1.0	3	秋AB	火2	応用理工学類・物性工学主専攻主任	物性工学主専攻の各研究室の研究内容を紹介し、最先端の物性工学について学ぶ。	専門科目 自由科目 オンライン(オンデマンド型)
FF45001	量子力学I	1	3.0	3	春ABC	月3 水4	小泉 裕康	量子力学の基礎を理解する。シュレディンガー方程式,波動関数と物理量の関係等を理解する。また,中心力場における1体問題を取扱い,水素原子のエネルギー固有値,波動関数等を学習する。	専門科目 選択科目 FF55001と同一。 オンライン(オンデマンド型)
FF45011	量子力学II	1	3.0	3	秋ABC	月2 金4	小泉 裕康	量子力学Iで学んだことを基礎として,行列表現,角運動量の一般化,摂動論と変分法,電子のスピン,電磁場中の荷電粒子等について解説する。	専門科目 選択科目 FF55011と同一。 オンライン(オンデマンド型)
FF45021	統計力学I	1	3.0	3	春ABC	水・金5	鈴木 博章	統計力学は,ミクロな法則とマクロな物性をむすぶ体系であり,工学の基礎となる。特にエントロピー,温度,化学ポテンシャルについて統計力学の考え方を解説し,様々な問題に適用していく。	専門科目 選択科目 FF55021と同一。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FF45091	固体物理学1	1	1.0	3	春AB	火2	黒田 眞司	固体の種々の性質を量子力学に基づくミクロな立場から理解するための基礎を学ぶ。原子や分子が規則正しく配列した状態(結晶)では、周期性を反映して特有の性質や現象が生じることを理解する。さらに原子、分子間の結合の形態により種々の異なった性質を持つ固体の存在を概観した後、結晶中の原子の振動である格子振動について学ぶ。	専門科目 選択科目 FF55091と同一。 対面
FF45101	固体物理学2	1	2.0	3	秋AB	月1 金5	藤岡 淳	固体物理学1に引き続き、固体の種々の性質が量子力学に基づくミクロな視点からどのように理解されるかを学習する。固体中の電子を自由電子と見なすモデルにより固体の電気的・熱的性質がどのように説明できるかを学んだ後、結晶中の電子状態の基礎理論であるエネルギー・バンド構造を学び、さらにそれに基づき金属の電気伝導や様々な物性を理解する。	専門科目 選択科目 FF55101と同一。 対面(オンライン併用型)
FF45111	化学C	1	1.0	3	春AB	月5	木島 正志	化学A,Bで習った物理化学を基礎に化学Cでは、純物質の相平衡、混合物の性質を化学熱力学の観点から学習する。	専門科目 選択科目 FF25111, FF35111, FF55111と同一。 対面(オンライン併用型)
FF45121	化学D	1	1.0	3	秋AB	水2	木島 正志	化学Cに引き続き化学Dでは、化学平衡の原理を化学熱力学の観点から理解し、化学平衡の応用(酸塩基、緩衝作用、溶解度)を学習する。	専門科目 選択科目 FF25121, FF35121, FF55121と同一。 対面(オンライン併用型)
FF45131	化学E	1	1.0	3	秋BC	水5	辻村 清也	化学Eでは反応速度論、速度論に基づく化学反応の解釈について学習する。	専門科目 選択科目 FF25131, FF35131, FF55131と同一。 対面
FF45141	生命科学1	1	1.0	3	春AB	木2	大石 基	本講義では、生物をはじめて学ぶ人でも理解できるように生命(生物学)の基本を解説する。とくに、細胞を中心とした生命現象のしくみや、面白さ、美しさなどを理解し、どのような分野の人でも必要となる生命科学の知識を身につけることを目標とする。	専門科目 選択科目 FF25141, FF35141, FF55141と同一。 対面
FF45151	生命科学2	1	1.0	3	秋A	火・木6	大石 基,辻村 清也	本講義では、生物をはじめて学ぶ人でも理解できるように生命(生物学)の基本を解説する。とくに、細胞を中心とした生命現象のしくみや、面白さ、美しさなどを理解し、どのような分野の人でも必要となる生命科学の知識を身につけることを目標とする。	専門科目 選択科目 FF25151, FF35151, FF55151と同一。 対面
FF45161	生命科学3	1	1.0	3	秋BC	木6	辻村 清也	生体内でのシグナル伝達、発生と分化、生殖のしくみについて学ぶ。	専門科目 選択科目 FF25161, FF35161, FF55161と同一。 対面
FF46181	半導体電子工学1	1	1.0	3	春BC	木1	末益 崇	半導体デバイスの動作原理を理解するために不可欠な、キャリア密度、キャリアの輸送、キャリアの発生・再結合等の基本事項を学び、半導体デバイスの構成要素であるpn接合ダイオードの動作原理までを学ぶ。	専門科目 選択科目 FF26231, FF36221, FF56221と同一。 対面
FF46191	半導体電子工学2	1	1.0	3	秋AB	水6	矢野 裕司	半導体電子工学1の内容を基に、ダイオードやトランジスタなど各種半導体デバイスの動作原理を理解する。主にpnダイオード、ショットキーダイオード、バイポーラトランジスタ、MOSFET、発光素子、受光素子などを学ぶ。	専門科目 選択科目 FF26241, FF36231, FF56231と同一。 対面
FF46201	凝縮系物理	1	1.0	3	秋AB	火5	黒田 眞司	現在のエレクトロニクスの根幹をなす半導体の諸物性を固体物理学の観点から学ぶ。固体のバンド構造とそれに基づく電子の運動、半導体のキャリアの分布とキャリアを制御する手法としての不純物ドーピングについて学ぶ。さらに結晶中の原子の結合と電子状態に関する多様な見方に触れた後、異種の半導体からなるヘテロ構造と低次元の電子状態について学ぶ。	専門科目 選択科目 対面
FF46211	光物性工学I	1	1.0	3	秋A	月5 水4	日野 健一	古典振動子模型およびマクスウェル方程式に基づき，物質による光の反射，屈折，吸収，散乱等を電磁波に対する電子やイオンの応答によるミクロな視点から理解する。	専門科目 選択科目 FF26251, FF36241, FF56241と同一。 対面(オンライン併用型)
FF46221	光物性工学II	1	1.0	3	秋B	月5 水4	日野 健一	量子力学の枠組みに基づき，固体中の光学遷移過程，非線形光学過程，光と物質の非平衡系ダイナミクスに関連する諸現象を理解する。	専門科目 選択科目 FF26261, FF36251, FF56251と同一。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FF46231	デジタル電子回路	1	1.0	3	春BC	水2	寺田 康彦	ディジタルICの機能と構成方法,基本的論理回路(カウンタ,ラッチ等)の動作原理。マイクロプロセッサのアーキテクチャとコンピュータの構成方法。コンピュータ技術の歴史・現状の概観と将来展望。	専門科目 選択科目 FF26271, FF36261と同一。 対面
FF46241	応用数学II	1	2.0	3	春AB 春C	金2 火・金2	鈴木 修吾	理工学で必要となる数学的手法について学ぶ。特に、汎関数の極値問題を扱う変分法や直交多項式をはじめとする特殊関数に重点をおいて授業を進める。	専門科目 選択科目 FF26281, FF36271, FF56261と同一。 対面
FF46251	磁性体工学	1	1.0	3	秋C	月・水4	柳原 英人	物質の磁気的な性質や磁場に対する応答は、基礎的な物性評価や電子材料として幅広く利用されている。この講義では電磁気学を基礎として磁気分極の物理的な性質を説明し、物質の磁気的性質(強磁性)を紹介する。また磁気共鳴、メスバウアー効果など磁気計測について説明する。	専門科目 選択科目 FF36321, FF56281と同一。 対面
FF46261	誘電体工学	1	1.0	3	春AB	金4	小島 誠治	電子材料としてさまざまな用途に用いられている強誘電体の基礎について学ぶ。物質の誘電的性質、光学的性質、相転移現象や代表的な強誘電体を紹介する。また、最近の工学的応用について触れる。	専門科目 選択科目 FF36331, FF56291と同一。 対面
FF46271	金属材料学I	1	2.0	3	秋AB	月3,6	木塚 徳志	金属材料学の基礎である原子間結合、結晶構造、凝固組織、格子欠陥、拡散現象、相変態、状態図、塑性変形、回復と再結晶等について講義する。特に、金属学基礎と金属組織に重点を置く。	専門科目 選択科目 FF56301と同一。 オンライン(オンデマンド型)
FF46281	金属材料学II	1	1.0	3	秋C	月3,6	木塚 徳志	金属材料学の基礎である原子間結合、結晶構造、凝固組織、格子欠陥、拡散現象、相変態、状態図、塑性変形、回復と再結晶等について講義する。特に、格子欠陥に重点を置く。	専門科目 選択科目 オンライン(オンデマンド型)
FF46291	無機材料工学I	1	1.0	3	秋AB	火3	鈴木 義和	セラミックス概論、元素の特徴、セラミックスの化学結合、結晶とガラス、相平衡と状態図、セラミックス粉末、焼結と加工、電気的性質、光学的性質、磁気的性質について講義する。	専門科目 選択科目 FF56311と同一。 オンライン(オンデマンド型)
FF46301	無機材料工学II	1	1.0	3	秋C	火・金3	鈴木 義和	セラミックスの熱的性質、化学的性質、力学的性質、さまざまなセラミックスプロセス、原料鉱物と工業原料、複合材料・多孔質材料・ナノ材料、セラミックス材料の評価、材料設計とマテリアルズインフォマティックスについて講義する。	専門科目 選択科目 FF56321と同一。 オンライン(オンデマンド型)
FF46321	統計力学II	1	2.0	3	秋AB 秋C	火4 火4,5	鈴木 修吾	統計力学Iで学んだ基本原理の具体的応用を述べる。古典力学に従う粒子の集団としての気体,量子力学に従う粒子の集団としての固体,粒子間相互作用が重要な系(相転移),気体運動論等。	専門科目 選択科目 FF56441と同一。 対面
FF46331	レーザー光学	1	1.0	3	秋BC	金2	羽田 真毅	レーザーの基礎として、光(電磁波)のモード、電磁波のコヒーレンス、誘導放出による光の増幅などについて述べた上で、各種レーザーの発振機構、特性、非線形光学などについて議論する。超短パルスレーザーとそれを用いた超高速分光も解説する。	専門科目 選択科目 FF26361, FF36391, FF56451と同一。 対面
FF46341	表面・界面工学	1	1.0	4	春AB	水3	佐々木 正洋	現代の「ハイテク」において異種物質界面,固体表面の高度な制御が求められる。本講義では,原子スケールの表面計測から表面反応,界面制御に至る多彩な技術と,この技術を支える表面科学を系統的に解説する。	専門科目 選択科目 FF26401, FF36441, FF56461と同一。 対面
FF46351	回折結晶学	1	1.0	3	春C	火・金1	高橋 美和子	結晶学の基礎(結晶の幾何学、実格子と逆格子)と回折法を基本原理(回折現象、散乱因子、フーリエ変換)について解説し、回折技術を使った実験法及び解析法(X線回折、電子回折、中性子回折)について詳述する。	専門科目 選択科目 FF26411, FF36451, FF56471と同一。 対面(オンライン併用型)
FF46401	材料・計測情報科学A	1	1.0	3	春BC	水6	三俣 千春	材料研究・計測分野において利用されるデータサイエンスの方法を学習する。基礎としてデータトレンド解析法やデータの信頼性評価などをPython言語によるプログラミングを通じて習得する。演習のレポートにより理解度を評価する。	専門科目 選択科目 FF26501, FF36501, FF56501と同一。 対面(オンライン併用型)
FF46411	材料・計測情報科学B	1	1.0	3	秋AB	水3	三俣 千春	材料研究・計測分野において利用されるデータサイエンスの方法を学習する。基礎として学んだデータ処理方法を発展させ、ベイズ統計やガウス分布関数を利用するPythonプログラムに取り組む。演習のレポートにより理解度を評価する。	専門科目 選択科目 FF26511, FF36511, FF56511と同一。 対面(オンライン併用型)
FF46424	データサイエンス演習	4	1.0	3	秋AB	火1	三俣 千春	データサイエンスで利用される計算プログラムの基礎を学ぶ。データ処理に適したプログラム言語として広く利用されているPythonの利用によってプログラミングの技法を身につける。レポートにより理解の度合いを評価する。	専門科目 選択科目 FF26524, FF36524, FF56524と同一。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FF49928	卒業研究A	8	4.0	4	春学期	随時	応用理工学類各教員	指導教員の下で卒業研究テーマを決定し、研究テーマに関連する文献等を調べ、研究計画を立てて研究を実施する。	専門科目 必修科目 主専攻必修科目。 対面
FF49938	卒業研究A	8	4.0	4	秋学期	随時	応用理工学類各教員	指導教員の下で卒業研究テーマを決定し、研究テーマに関連する文献等を調べ、研究計画を立てて研究を実施する。	専門科目 必修科目 主専攻必修科目。 対面
FF49948	卒業研究B	8	4.0	4	春学期	随時	応用理工学類各教員	「卒業研究A」に引き続いて、指導教員の下で卒業研究を実施し、研究結果を論文にまとめて提出するとともに、口頭で研究発表を行う。	専門科目 必修科目。 「卒業研究A」を取得していること。 主専攻必修科目。 対面
FF49958	卒業研究B	8	4.0	4	秋学期	随時	応用理工学類各教員	「卒業研究A」に引き続いて、指導教員の下で卒業研究を実施し、研究結果を論文にまとめて提出するとともに、口頭で研究発表を行う。	専門科目 必修科目。 「卒業研究A」を取得していること。 主専攻必修科目。 対面

応用理工学類(物質・分子工学主専攻:標準3・4年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FF50051	専門英語1	1	1.0	3	春AB	火3	セライヤン セルバクマー	Improve reading and writing skills related to technical English.	専門基礎科目 必修科目 英語で授業。 主専攻必修科目。 G科目 対面
FF50061	専門英語2	1	1.0	3	秋AB	水1	シャーミン ソニア	Improve presentation skills related to technical English.	専門基礎科目 必修科目 FF40061と同一。 英語で授業。 主専攻必修科目。 G科目 対面
FF50071	専門英語3	1	1.0	3	秋BC	金6	岡本 翔	e-ラーニングシステムを使い、英語表現に慣れ親しむ。ヒヤリング能力、語彙力、表現力の養成を目指す。	専門基礎科目 必修科目 英語で授業。 主専攻必修科目。 G科目 オンライン(オンデマンド型)
FF50113	物質・分子工学専攻実験A	3	2.0	3	春ABC	木3-5	応用理工学類・物質・分子工学主専攻主任,高橋 美和子,鈴木 義和,森 龍也,金 熙榮,谷本 久典	物質・分子工学における重要なテーマ(X線回折、ラマン分光法、金属物性基礎)について基本的な実験を行い,その体験を通して物質・分子工学の研究において必要な技術を修得するとともに,将来へ向けての応用能力を養うことを目的とする。	1班対象 班分けは授業開始前の掲示に従うこと。専門科目 必修科目。物質・分子工学主専攻学生に限る。 主専攻必修科目。 対面
FF50123	物質・分子工学専攻実験A	3	2.0	3	秋ABC	木3-5	応用理工学類・物質・分子工学主専攻主任,高橋 美和子,鈴木 義和,森 龍也,金 熙榮,谷本 久典	物質・分子工学における重要なテーマ(X線回折、ラマン分光法、金属物性基礎)について基本的な実験を行い,その体験を通して物質・分子工学の研究において必要な技術を修得するとともに,将来へ向けての応用能力を養うことを目的とする。	2班対象 班分けは授業開始前の掲示に従うこと。専門科目 必修科目。物質・分子工学主専攻学生に限る。 主専攻必修科目。 対面
FF50133	物質・分子工学専攻実験B	3	2.0	3	秋ABC	木3-5	応用理工学類・物質・分子工学主専攻主任,大木 理,山本 洋平,桑原 純平,神原 貴樹,後藤 博正	物質・分子工学における重要なテーマ(DNAの融解温度測定と遺伝子型解析、ラクトンの酸加水分解、スチレンの重合とポリスチレンの分子量測定)について基本的な実験を行い,その体験を通して物質・分子工学の研究において必要な技術を修得するとともに,将来へ向けての応用能力を養うことを目的とする。	1班対象 班分けは授業開始前の掲示に従うこと。専門科目 必修科目。物質・分子工学主専攻学生に限る。 主専攻必修科目。 対面
FF50143	物質・分子工学専攻実験B	3	2.0	3	春ABC	木3-5	応用理工学類・物質・分子工学主専攻主任,大石 基,山本 洋平,桑原 純平,神原 貴樹,後藤 博正	物質・分子工学における重要なテーマ(DNAの融解温度測定と遺伝子型解析、ラクトンの酸加水分解、スチレンの重合とポリスチレンの分子量測定)について基本的な実験を行い,その体験を通して物質・分子工学の研究において必要な技術を修得するとともに,将来へ向けての応用能力を養うことを目的とする。	2班対象 班分けは授業開始前の掲示に従うこと。専門科目 必修科目。物質・分子工学主専攻学生に限る。 主専攻必修科目。 対面
FF52101	物質・分子工学特論	1	1.0	3	秋AB	火2	応用理工学類・物質・分子工学主専攻主任	物質・分子工学主専攻の各研究室の研究内容をわかりやすく紹介する。	専門科目 自由科目 オンライン(オンデマンド型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FF55001	量子力学I	1	3.0	3	春ABC	月3 水4	小泉 裕康	量子力学の基礎を理解する。シュレディンガー方程式,波動関数と物理量の関係等を理解する。また,中心力場における1体問題を取扱い,水素原子のエネルギー固有値,波動関数等を学習する。	専門科目 選択科目 FF45001と同一。 オンライン(オンデマンド型)
FF55011	量子力学II	1	3.0	3	秋ABC	月2 金4	小泉 裕康	量子力学Iで学んだことを基礎として,行列表現,角運動量の一般化,摂動論と変分法,電子のスピン,電磁場中の荷電粒子等について解説する。	専門科目 選択科目 FF45011と同一。 オンライン(オンデマンド型)
FF55021	統計力学I	1	3.0	3	春ABC	水・金5	鈴木 博章	統計力学は,ミクロな法則とマクロな物性をむすぶ体系であり,工学の基礎となる。特にエントロピー,温度,化学ポテンシャルについて統計力学の考え方を解説し,様々な問題に適用していく。	専門科目 選択科目 FF45021と同一。 対面
FF55091	固体物理学1	1	1.0	3	春AB	火2	黒田 眞司	固体の種々の性質を量子力学に基づくミクロな立場から理解するための基礎を学ぶ。原子や分子が規則正しく配列した状態(結晶)では、周期性を反映して特有の性質や現象が生じることを理解する。さらに原子、分子間の結合の形態により種々の異なった性質を持つ固体の存在を概観した後、結晶中の原子の振動である格子振動について学ぶ。	専門科目 選択科目 FF45091と同一。 対面
FF55101	固体物理学2	1	2.0	3	秋AB	月1 金5	藤岡 淳	固体物理学1に引き続き、固体の種々の性質が量子力学に基づくミクロな視点からどのように理解されるかを学習する。固体中の電子を自由電子と見なすモデルにより固体の電気的・熱的性質がどのように説明できるかを学んだ後、結晶中の電子状態の基礎理論であるエネルギー・バンド構造を学び、さらにそれに基づき金属の電気伝導や様々な物性を理解する。	専門科目 選択科目 FF45101と同一。 対面(オンライン併用型)
FF55111	化学C	1	1.0	3	春AB	月5	木島 正志	化学A,Bで習った物理化学を基礎に化学Cでは、純物質の相平衡、混合物の性質を化学熱力学の観点から学習する。	専門科目 選択科目 FF25111, FF35111, FF45111と同一。 対面(オンライン併用型)
FF55121	化学D	1	1.0	3	秋AB	水2	木島 正志	化学Cに引き続き化学Dでは、化学平衡の原理を化学熱力学の観点から理解し、化学平衡の応用(酸塩基、緩衝作用、溶解度)を学習する。	専門科目 選択科目 FF25121, FF35121, FF45121と同一。 対面(オンライン併用型)
FF55131	化学E	1	1.0	3	秋BC	水5	辻村 清也	化学Eでは反応速度論、速度論に基づく化学反応の解釈について学習する。	専門科目 選択科目 FF25131, FF35131, FF45131と同一。 対面
FF55141	生命科学1	1	1.0	3	春AB	木2	大石 基	本講義では、生物をはじめて学ぶ人でも理解できるように生命(生物学)の基本を解説する。とくに、細胞を中心とした生命現象のしくみや、面白さ、美しさなどを理解し、どのような分野の人でも必要となる生命科学の知識を身につけることを目標とする。	専門科目 選択科目 FF25141, FF35141, FF45141と同一。 対面
FF55151	生命科学2	1	1.0	3	秋A	火・木6	大石 基,辻村 清也	本講義では、生物をはじめて学ぶ人でも理解できるように生命(生物学)の基本を解説する。とくに、細胞を中心とした生命現象のしくみや、面白さ、美しさなどを理解し、どのような分野の人でも必要となる生命科学の知識を身につけることを目標とする。	専門科目 選択科目 FF25151, FF35151, FF45151と同一。 対面
FF55161	生命科学3	1	1.0	3	秋BC	木6	辻村 清也	生体内でのシグナル伝達、発生と分化、生殖のしくみについて学ぶ。	専門科目 選択科目 FF25161, FF35161, FF45161と同一。 対面
FF56211	機器分光分析	1	1.0	3	春AB	月2	辻村 清也	物質の構造解析、微量定量分析に必要不可欠である種々の機器分光分析法の原理と装置・応用について学ぶ。各種機器分光分析法の基本原理や装置を理解すると共に、実際の物質の同定や定量分析などに必要な基本的知識を習得するための演習を行う。	専門科目 選択科目 対面
FF56221	半導体電子工学1	1	1.0	3	春BC	木1	末益 崇	半導体デバイスの動作原理を理解するために不可欠な、キャリア密度、キャリアの輸送、キャリアの発生・再結合等の基本事項を学び、半導体デバイスの構成要素であるpn接合ダイオードの動作原理までを学ぶ。	専門科目 選択科目 FF26231, FF36221, FF46181と同一。 対面
FF56231	半導体電子工学2	1	1.0	3	秋AB	水6	矢野 裕司	半導体電子工学1の内容を基に、ダイオードやトランジスタなど各種半導体デバイスの動作原理を理解する。主にpnダイオード、ショットキーダイオード、バイポーラトランジスタ、MOSFET、発光素子、受光素子などを学ぶ。	専門科目 選択科目 FF26241, FF36231, FF46191と同一。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FF56241	光物性工学I	1	1.0	3	秋A	月5 水4	日野 健一	古典振動子模型およびマクスウェル方程式に基づき，物質による光の反射，屈折，吸収，散乱等を電磁波に対する電子やイオンの応答によるミクロな視点から理解する。	専門科目 選択科目 FF26251，FF36241，FF46211と同一。 対面(オンライン併用型)
FF56251	光物性工学II	1	1.0	3	秋B	月5 水4	日野 健一	量子力学の枠組みに基づき，固体中の光学遷移過程，非線形光学過程，光と物質の非平衡系ダイナミクスに関連する諸現象を理解する。	専門科目 選択科目 FF26261，FF36251，FF46221と同一。 対面(オンライン併用型)
FF56261	応用数学II	1	2.0	3	春AB 春C	金2 火・金2	鈴木 修吾	理工学で必要となる数学的手法について学ぶ。特に、汎関数の極値問題を扱う変分法や直交多項式をはじめとする特殊関数に重点をおいて授業を進める。	専門科目 選択科目 FF26281，FF36271，FF46241と同一。 対面
FF56271	光学	1	1.0	3	春C	水・金3	嵐田 雄介	波動光学的な考え方をベースにした幾何光学の結像公式とレンズおよび鏡面等の組み合わせ光学系の諸性質を学ぶ。波動光学では、干渉・回折・偏光の諸性質を解析的な式の導出によって求め、理解を深める。	専門科目 選択科目 FF26321，FF36311と同一。 対面
FF56281	磁性体工学	1	1.0	3	秋C	月・水4	柳原 英人	物質の磁気的な性質や磁場に対する応答は、基礎的な物性評価や電子材料として幅広く利用されている。この講義では電磁気学を基礎として磁気分極の物理的な性質を説明し、物質の磁気的性質(強磁性)を紹介する。また磁気共鳴、メスバウアー効果など磁気計測について説明する。	専門科目 選択科目 FF36321，FF46251と同一。 対面
FF56291	誘電体工学	1	1.0	3	春AB	金4	小島 誠治	電子材料としてさまざまな用途に用いられている強誘電体の基礎について学ぶ。物質の誘電的性質、光学的性質、相転移現象や代表的な強誘電体を紹介する。また、最近の工学的応用について触れる。	専門科目 選択科目 FF36331，FF46261と同一。 対面
FF56301	金属材料学I	1	2.0	3	秋AB	月3,6	木塚 徳志	金属材料学の基礎である原子間結合、結晶構造、凝固組織、格子欠陥、拡散現象、相変態、状態図、塑性変形、回復と再結晶等について講義する。特に、金属学基礎と金属組織に重点を置く。	専門科目 選択科目 FF46271と同一。 オンライン(オンデマンド型)
FF56311	無機材料工学I	1	1.0	3	秋AB	火3	鈴木 義和	セラミックス概論、元素の特徴、セラミックスの化学結合、結晶とガラス、相平衡と状態図、セラミックス粉末、焼結と加工、電気的性質、光学的性質、磁気的性質について講義する。	専門科目 選択科目 FF46291と同一。 オンライン(オンデマンド型)
FF56321	無機材料工学II	1	1.0	3	秋C	火・金3	鈴木 義和	セラミックスの熱的性質、化学的性質、力学的性質、さまざまなセラミックスプロセス、原料鉱物と工業原料、複合材料・多孔質材料・ナノ材料、セラミックス材料の評価、材料設計とマテリアルズインフォマティックスについて講義する。	専門科目 選択科目 FF46301と同一。 オンライン(オンデマンド型)
FF56331	高分子科学I	1	1.0	3	春A	月・水6	後藤 博正	高分子、特に合成高分子の合成法に関してラジカル重合法を中心に述べる。	専門科目 選択科目 対面
FF56341	高分子科学II	1	1.0	3	春B	月・水1	甲田 優太	開環重合・縮合重合を概説するとともに高分子の基礎物性に関する概説をする。	専門科目 選択科目 対面
FF56351	触媒化学	1	1.0	3	秋BC	火6	藤谷 忠博,桑原 純平	エネルギー資源の変換、化学品生産、環境汚染物質除去などのプロセスに触媒がどのように使用されているかを解説する。また、固体触媒および錯体触媒の構造、物性、機能に関する基礎的な化学について解説する。	専門科目 選択科目 対面
FF56361	電気化学A	1	1.0	3	春AB	火4	鈴木 博章	電気化学平衡,電極反応等の電気化学の基礎について解説する。	専門科目 選択科目 対面
FF56371	電気化学B	1	1.0	3	秋AB	金3	鈴木 博章	電気化学Aに引き続き、半導体電極、溶液の導電率等の基礎、およびめっき、実用電池等の電気化学の応用について解説する。	専門科目 選択科目 対面
FF56381	有機化学1	1	1.0	3	春AB	火5	後藤 博正	有機化合物における化学結合,立体化学,酸塩基の概念,構造解析,反応機構の基本的事項を解説した後,各種化合物の化学的性質と反応について述べる。	専門科目 選択科目 対面
FF56391	有機化学2	1	1.0	3	春C	月4,5	後藤 博正	求核置換反応や脱離反応などについて有機電子論をもとに解説する。	専門科目 選択科目 対面
FF56401	有機化学3	1	1.0	3	秋AB	火5	後藤 博正	カルボン酸、ケトンなどにおけるカルボニル基の反応やアミンおよび芳香族について講義する。	専門科目 選択科目 対面
FF56411	有機化学4	1	1.0	3	秋C	月・水1	神原 貴樹	有機化学反応を電子論と軌道論の立場から解説し、有機化学の理解を深める。	専門科目 選択科目 対面
FF56421	生体材料	1	1.0	3	春C	月・水1	大石 基	本講義では、生体環境を理解し、生体環境下で利用する材料設計、特性や応用に関する講義を行う。	専門科目 選択科目 対面
FF56441	統計力学II	1	2.0	3	秋AB 秋C	火4 火4,5	鈴木 修吾	統計力学Iで学んだ基本原理の具体的応用を述べる。古典力学に従う粒子の集団としての気体,量子力学に従う粒子の集団としての固体,粒子間相互作用が重要な系(相転移),気体運動論等。	専門科目 選択科目 FF46321と同一。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FF56451	レーザー光学	1	1.0	3	秋BC	金2	羽田 真毅	レーザーの基礎として、光(電磁波)のモード、電磁波のコヒーレンス、誘導放出による光の増幅などについて述べた上で、各種レーザーの発振機構、特性、非線形光学などについて議論する。超短パルスレーザーとそれを用いた超高速分光も解説する。	専門科目 選択科目 FF26361, FF36391, FF46331と同一。 対面
FF56461	表面・界面工学	1	1.0	4	春AB	水3	佐々木 正洋	現代の「ハイテク」において異種物質界面,固体表面の高度な制御が求められる。本講義では,原子スケールの表面計測から表面反応,界面制御に至る多彩な技術と,この技術を支える表面科学を系統的に解説する。	専門科目 選択科目 FF26401, FF36441, FF46341と同一。 対面
FF56471	回折結晶学	1	1.0	3	春C	火・金1	高橋 美和子	結晶学の基礎(結晶の幾何学、実格子と逆格子)と回折法を基本原理(回折現象、散乱因子、フーリエ変換)について解説し、回折技術を使った実験法及び解析法(X線回折、電子回折、中性子回折)について詳述する。	専門科目 選択科目 FF26411, FF36451, FF46351と同一。 対面(オンライン併用型)
FF56501	材料・計測情報科学A	1	1.0	3	春BC	水6	三俣 千春	材料研究・計測分野において利用されるデータサイエンスの方法を学習する。基礎としてデータトレンド解析法やデータの信頼性評価などをPython言語によるプログラミングを通じて習得する。演習のレポートにより理解度を評価する。	専門科目 選択科目 FF26501, FF36501, FF46401と同一。 対面(オンライン併用型)
FF56511	材料・計測情報科学B	1	1.0	3	秋AB	水3	三俣 千春	材料研究・計測分野において利用されるデータサイエンスの方法を学習する。基礎として学んだデータ処理方法を発展させ、ベイズ統計やガウス分布関数を利用するPythonプログラムに取り組む。演習のレポートにより理解度を評価する。	専門科目 選択科目 FF26511, FF36511, FF46411と同一。 対面(オンライン併用型)
FF56524	データサイエンス演習	4	1.0	3	秋AB	火1	三俣 千春	データサイエンスで利用される計算プログラムの基礎を学ぶ。データ処理に適したプログラム言語として広く利用されているPythonの利用によってプログラミングの技法を身につける。レポートにより理解の度合いを評価する。	専門科目 選択科目 FF26524, FF36524, FF46424と同一。 対面(オンライン併用型)
FF59928	卒業研究A	8	4.0	4	春学期	随時	応用理工学類各教員	指導教員の下で卒業研究テーマを決定し、研究テーマに関連する文献等を調べ、研究計画を立てて研究を実施する。	専門科目 必修科目 主専攻必修科目。 対面
FF59938	卒業研究A	8	4.0	4	秋学期	随時	応用理工学類各教員	指導教員の下で卒業研究テーマを決定し、研究テーマに関連する文献等を調べ、研究計画を立てて研究を実施する。	専門科目 必修科目 主専攻必修科目。 対面
FF59948	卒業研究B	8	4.0	4	春学期	随時	応用理工学類各教員	「卒業研究A」に引き続いて、指導教員の下で卒業研究を実施し、研究結果を論文にまとめて提出するとともに、口頭で研究発表を行う。	専門科目 必修科目。 「卒業研究A」を取得していること。 主専攻必修科目。 対面
FF59958	卒業研究B	8	4.0	4	秋学期	随時	応用理工学類各教員	「卒業研究A」に引き続いて、指導教員の下で卒業研究を実施し、研究結果を論文にまとめて提出するとともに、口頭で研究発表を行う。	専門科目 必修科目。 「卒業研究A」を取得していること。 主専攻必修科目。 対面

応用理工学類(共通・インターンシップ他)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FF13103	インターンシップI	3	1.0	3・4	通年	応談	応用理工学類長	実社会での就業体験を行うことにより,職業に対する意識を高めるとともに大学での学業の意義を再確認する。企業,官公庁等の実務現場や研究所での実習を含む。終了後のレポートと派遣先の評価を加味し単位を与える。	専門科目 自由科目 応用理工学類生に限る 前もって担当教員に連絡し手続きを行うこと CDP 実務経験教員 対面
FF13203	インターンシップII	3	1.0	3・4	通年	応談	応用理工学類長	実社会での就業体験を行うことにより,職業に対する意識を高めるとともに大学での学業の意義を再確認する。企業,官公庁等の実務現場や研究所での実習を含む。終了後のレポートと派遣先の評価を加味し単位を与える。	専門科目 自由科目 応用理工学類生に限る 前もって担当教員に連絡し手続きを行うこと CDP 実務経験教員 対面
FF14003	応用理工学特別実習I	3	1.0	1 - 3	通年	応談	応用理工学類長	学生の自発的な創造への意欲を増進させ、自ら考える力を養うために特定のテーマを選び、設計、製作、評価を含む実践的な実習を行う。完成に向けてグループ議論、共同作業、分担作業などの計画、実践も含まれる。	専門科目 自由科目 応用理工学類生に限る 前もって担当教員に連絡し手続きを行うこと CDP 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FF14103	応用理工学特別実習II	3	1.0	3・4	夏季休業中	集中	応用理工学類長,応用理工学類・物質・分子工学主専攻主任	大学で学習する科学や技術に関する学問が、実社会でどのように活用されているかを企業や研究機関における研究現場や製造現場を見学することにより学ぶ。対象となる事項を事前学習することにより見学に備え、レポートにより理解の度合いを評価する。	専門科目 自由科目 応用理工学類生に限る 前もって担当教員に連絡し手続きを行うこと CDP 対面

応用理工学類(JTP)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FF00208	特別研究	8	8.0	1	通年	応談	応用理工学類各教員	A student picks up a laboratory from among all the staff belonging to the school. There he/she studies the engineering aspects of his/her choice by attending seminars, performing experiments, or other practices concerning the engineerring study. As a summary, the student is required to write a thesis.	短期留学生のみ対象 対面
FF00308	特別研究I	8	3.0	1	春ABC	応談	応用理工学類各教員	A student picks up a laboratory from among all the staff belonging to the school. There he/she studies the engineering aspects of his/her choice by attending seminars, performing experiments, or other practices concerning the engineerring study .	短期留学生のみ対象 対面
FF00408	特別研究II	8	3.0	1	秋ABC	応談	応用理工学類各教員	A student picks up a laboratory from among all the staff belonging to the school. There he/she studies the engineering aspects of his/her choice by attending seminars, performing experiments, or other practices concerning the engineerring study .	短期留学生のみ対象 対面

開設母体　　要件
工学システム学類

工学システム学類(共通)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FA01131	数学リテラシー1	1	1.0	1	春A	火5 金3	河本 浩明	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー1では,集合と写像についての基本事項,2次の行列と一次変換などについて学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01111を選択して登録すること.工学システム学類(1,2クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01111の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01141	数学リテラシー1	1	1.0	1	春A	火5 金3	井澤 淳	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー1では,集合と写像についての基本事項,2次の行列と一次変換などについて学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01111を選択して登録すること.工学システム学類(3,4クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01111の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01231	数学リテラシー2	1	1.0	1	春B	火5,6	長谷川 学,中尾 篤史,松本 啓吾	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー2では,各種の空間図形,空間ベクトル,数列や関数の極限を厳密に議論するためのイプシロン・デルタ論法の初歩を学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01211を選択して登録すること.工学システム学類(1,2クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01211の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01241	数学リテラシー2	1	1.0	1	春B	火5,6	羽田野 祐子,中尾 篤史,松本 啓吾	大学数学の基礎を学ぶ.数学リテラシー2では,各種の空間図形,空間ベクトル,数列や関数の極限を厳密に議論するためのイプシロン・デルタ論法の初歩を学ぶ.また,授業中に適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01211を選択して登録すること.工学システム学類(3,4クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01211の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01331	微積分1	1	1.0	1	春BC	月2	長谷川 学,中尾 篤史,松本 啓吾	1変数関数の微分法,積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01311を選択して登録すること.工学システム学類(1,2クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01311の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01341	微積分1	1	1.0	1	春BC	月2	羽田野 祐子,中尾 篤史,松本 啓吾	1変数関数の微分法,積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01311を選択して登録すること.工学システム学類(3,4クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01311の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01431	微積分2	1	1.0	1	秋AB	金3	掛谷 英紀	微積分1の続きとして,多変数関数の微分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01411を選択して登録すること.工学システム学類(1,2クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01411の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FA01441	微積分2	1	1.0	1	秋AB	金3	新里 高行	微積分1の続きとして,多変数関数の微分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01411を選択して登録すること.工学システム学類(3,4クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01411の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01531	微積分3	1	1.0	1	秋C	水5 金3	掛谷 英紀	微積分1,2の続きとして,多変数関数の積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01511を選択して登録すること.工学システム学類(1,2クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01511の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01541	微積分3	1	1.0	1	秋C	水5 金3	新里 高行	微積分1,2の続きとして,多変数関数の積分法を中心に講述する.また,適宜演習を行う.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01511を選択して登録すること.工学システム学類(3,4クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01511の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01631	線形代数1	1	1.0	1	春BC	金3	河合 新	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.行列演算,連立1次方程式,行列式.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01611を選択して登録すること.工学システム学類(1,2クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01611の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01641	線形代数1	1	1.0	1	春BC	金3	井澤 淳	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.行列演算,連立1次方程式,行列式.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01611を選択して登録すること.工学システム学類(3,4クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01611の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01731	線形代数2	1	1.0	1	秋AB	水5	髙谷 剛志	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.ベクトル,線形空間,線形写像.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01711を選択して登録すること.工学システム学類(1,2クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01711の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01741	線形代数2	1	1.0	1	秋AB	水5	塚田 正人	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.ベクトル,線形空間,線形写像.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01711を選択して登録すること.工学システム学類(3,4クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01711の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FA01831	線形代数3	1	1.0	1	秋C	月2 水4	川崎 真弘	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.固有値・固有ベクトル,対称行列,2次形式とその応用.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01811を選択して登録すること.工学システム学類(1,2クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01811の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01841	線形代数3	1	1.0	1	秋C	月2 水4	塚田 正人	具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する.固有値・固有ベクトル,対称行列,2次形式とその応用.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01811を選択して登録すること.工学システム学類(3,4クラス)の学生はこのクラスを受講すること.履修条件はFA01811の※と同じ. 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FG10651	工学システム原論	1	1.0	2	春AB	金6	磯部 大吾郎,蔵田 武志,傳田 正利	工学システムに関わる技術者として必要とされる考え方について学ぶ。そのために学類で学習する分野を概観し、その中で技術者として考えるべき事柄を例示する。また、技術と社会の関わりについて述べる。	必修科目 対面(オンライン併用型)
FG10704	線形代数総論A	4	1.0	2	春AB	月1	森田 昌彦,伊達 央,若槻 尚斗,中尾 篤史,松本 啓吾,イム ユチャン	線形代数1, 2, 3の続きとして、講義と演習を通じて、線形代数についての理解を深め定着を図る。講義には発展的な内容も含まれる。線形空間,基底と次元、線形写像と表現行列、などを扱う。	必修科目。確認テストは原則対面で実施。 オンライン(対面併用型)
FG10724	線形代数総論B	4	2.0	2	秋AB 春C秋C	月2 木2	森田 昌彦,伊達 央,若槻 尚斗,中尾 篤史,松本 啓吾,イム ユチャン	線形代数1, 2, 3および線形代数総論Aの続きとして、講義と演習を通じて、線形代数についての理解を深め定着を図る。講義には発展的な内容も含まれる。線形変換、内積空間、固有値と固有ベクトル、などを扱う。	必修科目。確認テストは原則対面で実施。 オンライン(対面併用型)
FG10744	解析学総論	4	1.0	2	春AB	金5	長谷川 学	微積分1, 2, 3の続きとして、講義と演習を通じて、実関数の微積分についての理解を深め定着を図る。講義には発展的な内容も含まれる。関数と極限、微分、積分、偏微分、重積分、級数などを扱う.	必修科目。 対面
FG10764	常微分方程式	4	2.0	2	春AB	水3,4	澁谷 長史,武若 聡,河合 新,川崎 真弘	微分,積分法を基礎に,主として常微分方程式の解法について講述する。また適宜演習を行う。	必修科目 対面(オンライン併用型)
FG10784	複素解析	4	2.0	2	秋AB	木1,2	井澤 淳,鈴木 研悟,望山 洋	複素関数論の講義と演習を行う。内容は複素数,正則関数,微分とコーシー・リーマンの関係式,積分とコーシーの積分公式,テーラ及びローラン展開,留数定理とその応用などである。	必修科目 対面
FG10814	力学総論	4	1.0	2	春AB	木2	松田 昭博,大楽 浩司	力学1, 2, 3の続きとして、講義と演習を通じて、力学についての理解を深め定着を図る。講義には発展的な内容も含まれる。質点の力学、仕事とエネルギー、剛体の力学、解析力学、などを扱う。	必修科目 対面(オンライン併用型)
FG10834	電磁気学総論	4	1.0	2	春BC	木6	小平 大輔,横田 茂	電磁気学1, 2, 3の続きとして、講義と演習を通じて、電磁気学についての理解を深め定着を図る。講義には発展的な内容も含まれる。マクスウェル方程式の解釈、その展開としての物質中での電磁界および電磁波、などを扱う.	必修科目 オンライン(オンデマンド型)
FG10851	流体力学基礎	1	1.0	2	春AB	火2	藤野 貴康	粘性と流れ、定常流と非定常流、層流と乱流など様々な流れを概説する。また、数学的に記述するための座標系、速度、圧力などについて説明し、完全流体の力学(静水圧、質量保存則、ベルヌーイの定理)等について講義する。	必修科目 対面
FG10864	材料力学基礎	4	1.0	2	春BC	火1	金久保 利之	弾性一次元部材に関して、部材の内力、変形、応力、歪に関する基礎的事項および諸定理等を紹介する。演習も行う。	必修科目 対面
FG10874	プログラミング序論A	4	2.0	2	春AB	金1,2	宇津呂 武仁,星野 准一,蜂須 拓	講義と演習を通じてC言語によるプログラミングの基礎を学ぶ。	必修科目 オンライン(オンデマンド型) 工学システム学類生に限る。
FG10904	プログラミング序論B	4	1.0	2	春C	金1,2	北原 格,蜂須 拓	講義と演習を通じてC言語によるプログラミングの基礎を学ぶ。	必修科目 オンライン(対面併用型) 工学システム学類生に限る。
FG10911	熱力学基礎	1	1.0	2	春AB	金4	金川 哲也	熱力学の基本法則を中心に、熱力学の基礎を習得する。	必修科目 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG11011	計測工学	1	2.0	3・4	秋AB	金1,2	伊達 央	工業計測の基礎。SI単位系,各種物理量・工業量(長さ,変位,圧力,流量,時間,温度,電圧,電流など)の計測原理と計測装置。計測して得た信号の利用法など。	対面(オンライン併用型)
FG12011	バイオシステム基礎	1	2.0	2	秋AB	水1,2	河本 浩明,上原 皓,斉木 臣二,町野 毅	システム・情報科学、脳神経科学,システム生理学,医療福祉,生命科学,AIロボット,再生医療などが融合複合した「サイバニクス」を中心に新分野の基礎を習得する.	対面(オンライン併用型)
FG12021	材料学基礎	1	1.0	2	春C	木4,5	新宅 勇一	金属材料の基礎的な反応における結晶組織の変化を理解するために、代表的な結晶構造と状態図について概説する。	材料学I(FG42231,FG52231)履修者は履修不可 対面
FG13403	インターンシップ	3	1.0	3	通年	応談	山本 亨輔	企業、官公庁の研究所、非営利団体などの現場における工学系の就業体験を通じて、自らの能力涵養、適性の客観的評価を図るとともに、将来の進路決定に役立てる。開始前に受入先と学類の了解があることと、終了後速やかに報告書を学類に提出することが単位取得の条件。	工学システム学類学生に限る CDP 対面 担当:インターンシップ委員会履修方法等については掲示等でアナウンスするので、必ず確認すること
FG16011	宇宙工学	1	1.0	1・2	秋AB	木4	横田 茂,藤野 貴康,大門 優,亀田 敏弘,有田 誠,水谷 忠均,橋本 博文,山浦 雄一,新舘 恭嗣,福田 盛介	衛星などの宇宙応用,打ち上げ用ロケットなどから将来の宇宙空間での生活環境まで宇宙科学の工学的側面を多数の専門家により講義形式で講述する。	世話人:横田 対面
FG16043	コンテンツ工学システム	3	1.0	1 - 3	春ABC	金4	橋本 悠希,謝 淳,延原 肇,若槻 尚斗	コンテンツ工学技術(CG,VR・デバイス,音楽・映像メディア,自然言語処理,ウェブ検索サービスなど)とコンテンツ表現法の基礎を学んで,独自のコンテンツを制作する一連のプロセスを体験します。工学,芸術・デザイン,ビジネスなどの異種分野の協調も重視します。	講義および実習を通じて、データ・AI活用企画・実施・評価に関する知識習得を目指す。 2020, 2021年度開講のコンテンツ表現工学の単位修得者は履修不可. 対面 半分以上授業を対面で実施する.詳細はmanabaを参照.希望者多数で定員を超えた場合は、人数制限をすることがあります.
FG16051	工学システム概論	1	1.0	1	春B	NT	磯部 大吾郎	工学システムの現状について幾つかの分野を選んで概説し、それ等を通して工学システムにおいて必要とされる基本的な考え方について学ぶ。	2019年度、2020年度入学の工学システム学類生で、工学システム概論(FG10641)の単位未修得の者は、この科目を履修すること。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
FG16403	アカデミック・インターンシップ	3	1.0	3	通年	応談	山本 亨輔	自らの能力涵養、適性の客観的評価を図るとともに、将来の進路決定に役立てることを目的として、他大学、官公庁の研究所、非営利団体などの現場における工学系の研究体験を行う。あるいは、海外で開催される国際会議に参加し、研究発表ならびに情報収集を行うとともに、参加者との交流等を通じて見聞を広める。なお、研究体験の場合は、開始前に受入先と学類の了解があることと、終了後速やかに報告書を学類に提出することが単位取得の条件。	工学システム学類学生に限る CDP 対面 担当:インターンシップ委員会履修方法等については掲示等でアナウンスするので、必ず確認すること
FG16567	研究者体験2026	7	1.0	1 - 3	春A 春B 春C 秋A 秋B 秋C 夏季休業中	集中	善甫 啓一,中務 孝,棚橋 沙由理,土井 裕人,土方 裕子,藏滿 司夢,川口 一画	ARE(先導的研究者体験プログラム)に採択された研究課題を実施することを通じて、研究者に必要とされる論理的な文章の書き方や研究計画について学ぶ。実習では起業体験者の話を聞いて起業を身近なこととして捉えるとともに、研究発表会に参加して研究遂行に必要な技術を習得するとともにコミュニケーション能力を伸ばす。	ARE(先導的研究者体験プログラム)採択者 対面(オンライン併用型)
FG16666	宇宙開発工学演習2026	6	2.0	2・3	通年	随時	亀田 敏弘	小型衛星開発プロジェクトに携わり宇宙開発工学に必要な理論と技術を実践的に習得する。夏季に海外大学生とプロジェクトに関する意見交換を含む海外短期派遣を実施する。	対面(オンライン併用型)
FG17011	電気回路	1	2.0	2	秋BC	木5,6	秋元 祐太朗	電気・電子回路の基礎知識,解析法等について講義する.線形受動素子,正弦波交流と複素数表示,インピーダンスとアドミッタンス,共振回路,相互誘導回路,ブリッジ回路,フィルタ,一般回路の定理,交流電力.	対面
FG17031	確率統計	1	2.0	2	春AB	火3,4	古賀 弘樹	工学システムを解析する上で有力な道具となる確率論と統計学の基礎を講義する。	対面
FG17061	応用数学A	1	2.0	2	春AB 春C	木1 水3,4	金川 哲也,山本 亨輔	理工学の諸分野で必要とされる数学的手法であるベクトル解析、フーリエ解析、ラプラス変換とその応用について講義する。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG18101	工学者のための倫理	1	1.0	4	春AB	木5	山本 亨輔,大楽 浩司,井澤 淳,千葉 建	事例に基づいたグループディスカッションやロールプレイングを通じ,工学者の持つべき倫理観・価値観について考える。	必修科目 CDP 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
FG18102	専門英語A	2	1.0	2	春AB	木5	ヤェム ヴィボル,グエン チエト ヴァン,バラダス ビクター	工学システム学類生が1,2年で学ぶ数学や工学テーマを取り上げ、主に英語による授業を行う。	必修科目。2年1,2クラス対象 対面
FG18112	専門英語A	2	1.0	2	春AB	木5	ヤェム ヴィボル,グエン チエト ヴァン,バラダス ビクター	工学システム学類生が1,2年で学ぶ数学や工学テーマを取り上げ、主に英語による授業を行う。	必修科目。2年3,4クラス対象。 対面
FG19103	工学システム基礎実験A	3	2.0	2	春ABC	月3-5	中内 靖,藪野 浩司,上原 皓,星野 准一,澁谷 長史,髙谷 剛志,山口 友之,橋本 悠希,文字 秀明,金久保 利之,八十島 章,山本 亨輔,松島 亘志,武若 聡,磯部 大吾郎,松田 昭博,三目 直登,塚田 正人,謝 淳,中尾 篤史,新里 高行	動的システム、回路とコンピュータ、センサとアクチュエータ、機構、固体の力学、流体の粘性、温度の計測など、幾つかの基本的なテーマで実験を行い、基本法則、実験技術、レポートの作成方法について学ぶ。さらに製図の基礎についてもこの中で実習する。	必修科目工学システム学類生に限る世話人:山口, 八十島 対面
FG19113	工学システム基礎実験B	3	2.0	2	秋ABC	月3-5	中内 靖,藪野 浩司,上原 皓,星野 准一,澁谷 長史,髙谷 剛志,山口 友之,橋本 悠希,文字 秀明,金久保 利之,八十島 章,山本 亨輔,松島 亘志,武若 聡,磯部 大吾郎,松田 昭博,三目 直登,塚田 正人,謝 淳,中尾 篤史,新里 高行	動的システム、回路とコンピュータ、センサとアクチュエータ、機構、固体の力学、流体の粘性、温度の計測など、幾つかの基本的なテーマで実験を行い、基本法則、実験技術、レポートの作成方法について学ぶ。さらに製図の基礎についてもこの中で実習する。	必修科目工学システム学類生に限る世話人:山口, 八十島 対面
FG19208	卒業研究A	8	4.0	4	春ABC	随時	工学システム学類各教員	指導教員の指導のもと、研究計画を立案する。立案された計画をまとめた「研究計画書」を作成し、その内容を発表する。	必修科目 対面
FG19218	卒業研究B	8	4.0	4	秋ABC	随時	工学システム学類各教員	研究計画書を踏まえて卒業研究を進める。卒業論文の題目を決定し、登録する。卒業研究の研究内容を卒業論文にまとめ、提出する。卒業研究発表会において、卒業研究の研究内容を説明する。	必修科目 対面
FG19228	卒業研究a	8	4.0	4	秋ABC	随時	工学システム学類各教員	指導教員の指導のもと、研究計画を立案する。立案された計画をまとめた「研究計画書」を作成し、その内容を発表する。	学類長が認めたもの。 必修科目 (本科目または卒業研究Aを履修) 対面
FG19238	卒業研究b	8	4.0	4	春ABC	随時	工学システム学類各教員	研究計画書を踏まえて卒業研究を進める。卒業論文の題目を決定し、登録する。卒業研究の研究内容を卒業論文にまとめ、提出する。卒業研究発表会において、卒業研究の研究内容を説明する。	学類長が認めたもの。 必修科目 (本科目または卒業研究Bを履修) 対面
FG19348	特別卒業研究B	8	4.0	3	秋ABC	随時	工学システム学類各教員	研究計画書を踏まえて卒業研究を進める。卒業論文の題目を決定し、登録する。卒業研究の研究内容を卒業論文にまとめ、提出する。卒業研究発表会において、卒業研究の研究内容を説明する。	早期卒業生対象 対面
FG19358	特別卒業研究A	8	4.0	3	春ABC	随時	工学システム学類各教員	指導教員の指導のもと、研究計画を立案する。立案された計画をまとめた「研究計画書」を作成し、その内容を発表する。	早期卒業生対象 対面

工学システム学類(知的工学システム/知的・機能工学システム)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG20204	プログラミング序論C	4	2.0	2	秋AB	金1,2	橋本 悠希,ハサン モダル	C言語によるプログラミングを例として,非数値的な処理のアルゴリズムやデータ構造について学ぶ。	FG30204と同一。 オンライン(オンデマンド型) 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 主専攻必修科目。 工学システム学類生に限る。他学類生が受講する場合は担当教員と相談すること。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG20214	プログラミング序論D	4	1.0	2	秋C	金1,2	亀田 能成	講義や演習を通じて、C言語のプログラミング技術やライブラリの使い方を学ぶ。	FG30214と同一。 対面 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 主専攻必修科目。 工学システム学類生に限る。
FG20222	専門英語B	2	1.0	2	秋AB	金4	黒田 嘉宏,河合 新	知的・機能工学システム主専攻生を対象に,工学分野の専門的な授業を英語で行う.	主専攻必修科目。 FG30222と同一。 対面
FG20232	専門英語演習	2	1.0	3	春AB	木4	中内 靖,山口 友之	英語運用能力の測定手段であるTOEIC対策用の教材を用い,リスニング,語彙,語法,読解等の能力の強化を行う.	主専攻必修科目。工学システム学類生に限る。所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 FG30232と同一。 対面
FG21261	機械設計	1	2.0	2	秋BC	水3,4	山口 友之,江並 和宏	機械システムの設計と実装の手法について紹介する。機械図面,機械要素,運動伝達装置などについて説明する。	FG31261, FG41641, FG51641と同一。 対面
FG21311	フィードバック制御	1	2.0	3・4	春BC	木1,2	望山 洋,河合 新	システム制御の基礎的考え方から始め,動的要素のモデル化及び特性の表現方法(伝達関数)フィードバックの概念,制御系の解析方法(周波数特性,安定性)などを学ぶ。	FG31311, FG41251, FG51251と同一。 対面
FG21321	線形システム制御	1	2.0	3・4	春BC	金3,4	グエン チエト ヴァン	状態方程式に基づく制御理論と制御システムの設計法について述べる。動的システムの表現法,状態フィードバック制御,状態オブザーバ,動的出力フィードバック制御,制御系の実装など。	FG31321と同一。 対面
FG21331	信頼性工学	1	2.0	3	秋BC	火3,4	岡島 敬一	機械や構造物をシステム全体としてできるだけ低コストで正常に機能させることを目的として,確率・統計論に基づいて各構成要素やシステムが正常に機能する性質(信頼性)を定量的に評価し,設計,製造,運用へ反映させる手法について講義する。	FG31331, FG41581, FG51581と同一。 対面
FG22291	メカトロニクス機構解析	1	2.0	2	秋AB	水5,6	相山 康道,矢野 博明	機械システム設計に欠かせない,機械の構造を表すモデル(機構)の種類やそれらの基礎的な動作解析手法について解説する。また,メカトロニクスに題材を絞り,材料力学,材料学の基礎を学ぶ。部材のたわみの計算,軽量でたわみを小さくする方法など。併せて演習も行う。	FG32291と同一。 対面
FG23381	研究・開発原論	1	2.0	3	秋AB	火5,6	善甫 啓一,三浦 亜美,野呂瀬 葉子,石田 尚	工学システム学類の学生が卒業後(含修士修了後)に従事するであろうと思われる国の機関,民間企業等の研究・開発体制の概要を平易に解説する。この際,数回の事例研究を実習することによって理解の促進を図るとともに,研究環境整備や工業所有権の知的財産権の重要性と問題点等についても言及する。一部,ビデオ教材の使用や部外講師による講演を実施する。	FG33381と同一。 対面(オンライン併用型)
FG23411	情報通信システム論I	1	1.0	3・4	春AB	集中	小原 寿美子,田中 宏和,古賀 弘樹,萩原 淳一郎,井手口 恒太,山本 秀人	移動通信の技術,誤り訂正符号,暗号,情報技術に関する知的財産権など,情報通信システムに関するいくつかのトピックスについて,学外の研究者・技術者を招き講義を行う。	FG33411と同一。 対面 世話人:古賀
FG23471	情報通信システム論II	1	1.0	3・4	秋AB	集中	片桐 祥雅,桑木 伸夫,海老原 格,西村 仁志,伊藤 智史	光ファイバ,マルチメディア情報処理,無線アンテナ,生体における 情報通信など,情報通信に関するいくつかのトピックスについて, 学外の研究者・技術者を招き講義を行う.	FG33471と同一。 対面 世話人:海老原
FG24221	論理回路	1	2.0	2	秋AB	火1,2	宇津呂 武仁	目的:論理回路の解析と設計法について講述する。 内容:ブール代数,組合せ回路,記憶素子,順序回路,計算機各種構成要素,論理システム。	FG34221と同一。 オンライン(同時双方向型)
FG24241	離散数学	1	2.0	2	秋AB	火3,4	延原 肇	工学的なシステムを構築する上で重要な基礎となる離散数学を講義する。集合、論理、グラフ、代数系、関係、束論の基礎および応用についての知識を、講義および演習を通して身につける。	FG34241と同一。 対面
FG24284	数値解析	4	2.0	3	秋AB	木1,2	黒田 嘉宏	連立一次方程式、常微分方程式、偏微分方程式の計算機による解析方法と、その誤差解析を解説する。また演習により実際にプログラミングをおこなう。	FG34284と同一。 対面
FG24301	知的情報処理	1	2.0	3	秋AB	水3,4	井澤 淳,澁谷 長史	生体における情報処理システムとして脳の認識系・記憶系・運動系などを取り上げ概説する。また,知的情報処理の一つとして機械学習の基礎について講義する。	FG34301と同一。 対面(オンライン併用型)
FG24331	ディジタル信号処理	1	2.0	3	春AB	金1,2	若槻 尚斗	信号処理の基礎理論と代表的な算法について概説する。主な内容は,線形システムの考え方,信号の時間・周波数表現,サンプリング定理,フーリエ変換,Z変換,FFT,デジタルフィルタ等。	FG34331と同一。 対面
FG24341	電子回路	1	2.0	3	春AB	月1,2	前田 祐佳	アナログ電子回路に関する講義(一部演習)を行う。主な内容は,ダイオード,トランジスタ,FETの素子特性,小信号増幅回路,帰還回路,電力増幅回路,OPアンプ回路,発振回路など。	FG34341, FG44731, FG54731と同一。 対面
FG24361	システム最適化	1	2.0	3	春AB	火1,2	高安 亮紀,遠藤 靖典	システムの表現,評価手法,制約条件が与えられたとき,目的関数を最適化するための基本的な数理的技法(LP,NLP,組み合わせ最適化など)について講義する。	FG34361と同一。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG24371	画像処理	1	2.0	3	秋AB	月1,2	北原 格	画像処理の基礎について述べる。画像の入力・記述。図形の表現・変換・表示について学ぶ。	FG34371と同一。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
FG24381	ヒューマンインタフェース	1	2.0	3	春AB	金1,2	黒田 嘉宏	ヒューマンインタフェースとは人間を中心にした工学システムのあり方を考える学問である。人間のモデル化手法を紹介した後で,各種のインタフェースのシステム構築法について論じる。	FG34381と同一。 対面
FG24391	人工知能	1	2.0	3	春AB	水1,2	田中 文英	人工知能に関する基本的な事項について概説する。古典的な人工知能から、近年の深層学習、大規模言語モデル、生成AIに到るまで、手法の応用を含めて説明する。	FG34391と同一。 対面
FG24421	情報理論	1	2.0	3	秋BC	金3,4	古賀 弘樹	情報の圧縮,伝送,暗号化などの概念をシャノン理論に基づいて解説する。	FG34421と同一。 対面
FG24434	システムダイナミックス	4	2.0	3	秋AB	火1,2	藪野 浩司	初年級の数学,物理学をベースに, 力学系の取り扱いについて講述する。また適宜演習を行う。	FG34434と同一。 実務経験教員 対面
FG24481	通信工学	1	2.0	3	春AB	金5,6	海老原 格	様々な技術の融合体である通信システムに着目し,その要素技術であるチャネルの特性,伝送方式,伝送制御,信号処理について講述する.	FG34481と同一。 オンライン(オンデマンド型)
FG24491	コンピュータとネットワーク	1	2.0	2	秋AB	金5,6	延原 肇,上原 皓	コンピュータの動作原理と各構成要素の構造/動作を学ぶ。またコンピュータを管理するソフトウェアであるオペレーティングシステム、および複数のコンピュータを接続するネットワークの構造と動作についても学ぶ。	FG34491と同一。 実務経験教員 対面
FG24711	データ構造とアルゴリズム	1	2.0	3	春AB	水3,4	亀田 能成	非数値的な処理のプログラミングにおいて,様々なデータ構造とアルゴリズムにおける処理の方法とその効率について学ぶ。	FG34711と同一。 オンライン(オンデマンド型)
FG24741	メカトロニクス機能要素概論	1	2.0	3	秋AB	金3,4	境野 翔	メカトロニクス技術をサポートする機能技術要素を解説し,自動作業をする機械装置や生産設備の設計などの基礎となる内容を学習する。	FG34741と同一。 対面(オンライン併用型)
FG24781	応用数学B	1	1.0	2	秋A	木5,6	高安 亮紀,松田 昭博	工学へ応用される数学,いわゆる応用数学の中から,偏微分方程式を中心に講述する.固体や流体の力学,その工学応用分野の基礎方程式が偏微分方程式で与えられているため,偏微分方程式は応用上も極めて重要である.事前に「微積分1」「微積分2I」「微積分3」「常微分方程式」を履修済であることが望ましいが,既習事項は本講義内で適宜補うため,必須ではない.	FG34781, FG44391, FG54391と同一。 対面
FG25361	パターン認識	1	2.0	3	秋AB	水5,6	掛谷 英紀	パターン認識の基本的手法(幾何的手法,統計的手法,学習アルゴリズム,時系列パターンの認識など)を順に解説する。	FG35381と同一。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
FG25374	応用プログラミング	4	2.0	3	秋BC	水1,2	星野 准一	オブジェクト指向の基本理念をオブジェクト指向プログラミング言語の講義と演習により修得させる。	FG35904と同一。 実務経験教員 オンライン(同時双方向型)
FG25391	機械学習A	1	1.0	3・4	秋C	火5,6	手塚 太郎	機械学習の基本概念を確率論や情報理論を基礎として学ぶ。線形回帰を発展させた構造としてのニューラルネットワークを捉える。深層学習の基礎となる勾配降下法と誤差逆伝播法について理解する。	FG35391と同一。 対面
FG25401	機械学習B	1	1.0	3・4	秋C	水5,6	手塚 太郎	機械学習において現在もっとも広く使われている手法のひとつである深層学習の特性を学ぶ。畳み込みニューラルネットワークやリカレントネットワークなどの代表的なネットワーク構造について、それらがどのような強みと限界を持っているのかを知る。さらに変分オートエンコーダや深層強化学習など、特定のタスクに対する深層学習の利用についても理解を深める。	FG35401と同一。 対面
FG25411	ニューロエンジニアリング基礎	1	−	−	秋C	火1,2	井澤 淳,手塚 太郎,川崎 真弘,プエンテス サンドラ ミレイナ,バラダス ビクター		
FG25901	ロボット工学	1	2.0	3	春AB	金5,6	鈴木 健嗣	「ロボット」に関わる理論,要素技術とその集積,システムの目的と実現法について論じる.ここでは,マニュピレータや移動ロボットに関する運動のメカニズムと動力学など,3次元空間における動作と作業に関する基本理論から,視覚,力センサなどロボット用のセンサ技術,行動の計画と実行,ロボット言語とコントローラ,及び人間機械系の設計など,ロボットの知能化技術について講義する.	FG35371と同一。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG29213	知的・機能工学システム実験	3	6.0	3	春ABC 秋ABC 秋ABC	火3-5 木3-5 金5,6	矢野 博明,北原 格,若槻 尚斗,延原 肇,前田 祐佳,河合 新,相山 康道,鈴木 健嗣,海老原 格,善甫 啓一,家永 直人,ヤェム ヴィボル,蜂須 拓	春ABC火345, 秋ABC 木345は, 制御系設計,システムの最適化,センサとディジタル信号処理,センサとアナログ信号処理,画像処理,メカトロニクスなどに関する実験を行う. 秋ABC金56は,複数の実験テーマから一つを選択して,秋学期を通してテーマ毎にこれまでに修得した広範囲な工学知識を基に,具体的なシステムをデザインする能力を養う.そして,デザインしたシステムを複数のメンバーと協調して完成させる過程で,チームとして特定のプロジェクトをマネジメントする力を養成する. 最終的に提出される課題(レポートやプレゼンテーション)により実験成果を評価する.	工学システム学類生に限る FG39213と同一。 対面 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 主専攻必修科目。 世話人:矢野。

工学システム学類(機能工学システム)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG30204	プログラミング序論C	4	2.0	2	秋AB	金1,2	橋本 悠希,ハサン モダル	C言語によるプログラミングを例として,非数値的な処理のアルゴリズムやデータ構造について学ぶ。	FG20204と同一。 オンライン(オンデマンド型) 主専攻必修科目。 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 工学システム学類生に限る。他学類生が受講する場合は担当教員と相談すること。
FG30214	プログラミング序論D	4	1.0	2	秋C	金1,2	亀田 能成	講義や演習を通じて、C言語のプログラミング技術やライブラリの使い方を学ぶ。	FG20214と同一。 対面 主専攻必修科目。 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 工学システム学類生に限る。
FG30222	専門英語B	2	1.0	2	秋AB	金4	黒田 嘉宏,河合 新	知的・機能工学システム主専攻生を対象に,工学分野の専門的な授業を英語で行う.	主専攻必修科目。 FG20222と同一。 対面
FG30232	専門英語演習	2	1.0	3	春AB	木4	中内 靖,山口 友之	英語運用能力の測定手段であるTOEIC対策用の教材を用い,リスニング,語彙,語法,読解等の能力の強化を行う.	主専攻必修科目。工学システム学類生に限る。所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 FG20232と同一。 対面
FG31261	機械設計	1	2.0	2	秋BC	水3,4	山口 友之,江並 和宏	機械システムの設計と実装の手法について紹介する。機械図面,機械要素,運動伝達装置などについて説明する。	FG21261, FG41641, FG51641と同一。 対面
FG31311	フィードバック制御	1	2.0	3・4	春BC	木1,2	望山 洋,河合 新	システム制御の基礎的考え方から始め,動的要素のモデル化及び特性の表現方法(伝達関数)フィードバックの概念,制御系の解析方法(周波数特性,安定性)などを学ぶ。	FG21311, FG41251, FG51251と同一。 対面
FG31321	線形システム制御	1	2.0	3・4	春BC	金3,4	グエン チエト ヴァン	状態方程式に基づく制御理論と制御システムの設計法について述べる。動的システムの表現法,状態フィードバック制御,状態オブザーバ,動的出力フィードバック制御,制御系の実装など。	FG21321と同一。 対面
FG31331	信頼性工学	1	2.0	3	秋BC	火3,4	岡島 敬一	機械や構造物をシステム全体としてできるだけ低コストで正常に機能させることを目的として,確率・統計論に基づいて各構成要素やシステムが正常に機能する性質(信頼性)を定量的に評価し,設計,製造,運用へ反映させる手法について講義する。	FG21331, FG41581, FG51581と同一。 対面
FG32291	メカトロニクス機構解析	1	2.0	2	秋AB	水5,6	相山 康道,矢野 博明	機械システム設計に欠かせない,機械の構造を表すモデル(機構)の種類やそれらの基礎的な動作解析手法について解説する。また,メカトロニクスに題材を絞り,材料力学,材料学の基礎を学ぶ。部材のたわみの計算,軽量でたわみを小さくする方法など。併せて演習も行う。	FG22291と同一。 対面
FG33381	研究・開発原論	1	2.0	3	秋AB	火5,6	善甫 啓一,三浦 亜美,野呂瀬 葉子,石田 尚	工学システム学類の学生が卒業後(含修士修了後)に従事するであろうと思われる国の機関,民間企業等の研究・開発体制の概要を平易に解説する。この際,数回の事例研究を実習することによって理解の促進を図るとともに,研究環境整備や工業所有権の知的財産権の重要性と問題点等についても言及する。一部,ビデオ教材の使用や部外講師による講演を実施する。	FG23381と同一。 対面(オンライン併用型)
FG33411	情報通信システム論I	1	1.0	3・4	春AB	集中	小原 寿美子,田中 宏和,古賀 弘樹,萩原 淳一郎,井手口 恒太,山本 秀人	移動通信の技術,誤り訂正符号,暗号,情報技術に関する知的財産権など,情報通信システムに関するいくつかのトピックスについて,学外の研究者・技術者を招き講義を行う。	FG23411と同一。 対面 世話人:古賀
FG33471	情報通信システム論II	1	1.0	3・4	秋AB	集中	片桐 祥雅,桑木 伸夫,海老原 格,西村 仁志,伊藤 智史	光ファイバ,マルチメディア情報処理,無線アンテナ,生体における 情報通信など,情報通信に関するいくつかのトピックスについて, 学外の研究者・技術者を招き講義を行う.	FG23471と同一。 対面 世話人:海老原
FG34221	論理回路	1	2.0	2	秋AB	火1,2	宇津呂 武仁	目的:論理回路の解析と設計法について講述する。 内容:ブール代数,組合せ回路,記憶素子,順序回路,計算機各種構成要素,論理システム。	FG24221と同一。 オンライン(同時双方向型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG34241	離散数学	1	2.0	2	秋AB	火3,4	延原 肇	工学的なシステムを構築する上で重要な基礎となる離散数学を講義する。集合、論理、グラフ、代数系、関係、束論の基礎および応用についての知識を、講義および演習を通して身につける。	FG24241と同一。 対面
FG34284	数値解析	4	2.0	3	秋AB	木1,2	黒田 嘉宏	連立一次方程式、常微分方程式、偏微分方程式の計算機による解析方法と、その誤差解析を解説する。また演習により実際にプログラミングをおこなう。	FG24284と同一。 対面
FG34301	知的情報処理	1	2.0	3	秋AB	水3,4	井澤 淳,澁谷 長史	生体における情報処理システムとして脳の認識系・記憶系・運動系などを取り上げ概説する。また,知的情報処理の一つとして機械学習の基礎について講義する。	FG24301と同一。 対面(オンライン併用型)
FG34331	ディジタル信号処理	1	2.0	3	春AB	金1,2	若槻 尚斗	信号処理の基礎理論と代表的な算法について概説する。主な内容は,線形システムの考え方,信号の時間・周波数表現,サンプリング定理,フーリエ変換,Z変換,FFT,デジタルフィルタ等。	FG24331と同一。 対面
FG34341	電子回路	1	2.0	3	春AB	月1,2	前田 祐佳	アナログ電子回路に関する講義(一部演習)を行う。主な内容は,ダイオード,トランジスタ,FETの素子特性,小信号増幅回路,帰還回路,電力増幅回路,OPアンプ回路,発振回路など。	FG24341, FG44731, FG54731と同一。 対面
FG34361	システム最適化	1	2.0	3	春AB	火1,2	高安 亮紀,遠藤 靖典	システムの表現,評価手法,制約条件が与えられたとき,目的関数を最適化するための基本的な数理的技法(LP,NLP,組み合わせ最適化など)について講義する。	FG24361と同一。 対面
FG34371	画像処理	1	2.0	3	秋AB	月1,2	北原 格	画像処理の基礎について述べる。画像の入力・記述。図形の表現・変換・表示について学ぶ。	FG24371と同一。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
FG34381	ヒューマンインタフェース	1	2.0	3	春AB	金1,2	黒田 嘉宏	ヒューマンインタフェースとは人間を中心にした工学システムのあり方を考える学問である。人間のモデル化手法を紹介した後で,各種のインタフェースのシステム構築法について論じる。	FG24381と同一。 対面
FG34391	人工知能	1	2.0	3	春AB	水1,2	田中 文英	人工知能に関する基本的な事項について概説する。古典的な人工知能から、近年の深層学習、大規模言語モデル、生成AIに到るまで、手法の応用を含めて説明する。	FG24391と同一。 対面
FG34421	情報理論	1	2.0	3	秋BC	金3,4	古賀 弘樹	情報の圧縮,伝送,暗号化などの概念をシャノン理論に基づいて解説する。	FG24421と同一。 対面
FG34434	システムダイナミックス	4	2.0	3	秋AB	火1,2	藪野 浩司	初年級の数学,物理学をベースに, 力学系の取り扱いについて講述する。また適宜演習を行う。	FG24434と同一。 実務経験教員 対面
FG34481	通信工学	1	2.0	3	春AB	金5,6	海老原 格	様々な技術の融合体である通信システムに着目し,その要素技術であるチャネルの特性,伝送方式,伝送制御,信号処理について講述する.	FG24481と同一。 オンライン(オンデマンド型)
FG34491	コンピュータとネットワーク	1	2.0	2	秋AB	金5,6	延原 肇,上原 皓	コンピュータの動作原理と各構成要素の構造/動作を学ぶ。またコンピュータを管理するソフトウェアであるオペレーティングシステム、および複数のコンピュータを接続するネットワークの構造と動作についても学ぶ。	FG24491と同一。 実務経験教員 対面
FG34711	データ構造とアルゴリズム	1	2.0	3	春AB	水3,4	亀田 能成	非数値的な処理のプログラミングにおいて,様々なデータ構造とアルゴリズムにおける処理の方法とその効率について学ぶ。	FG24711と同一。 オンライン(オンデマンド型)
FG34741	メカトロニクス機能要素概論	1	2.0	3	秋AB	金3,4	境野 翔	メカトロニクス技術をサポートする機能技術要素を解説し,自動作業をする機械装置や生産設備の設計などの基礎となる内容を学習する。	FG24741と同一。 対面(オンライン併用型)
FG34781	応用数学B	1	1.0	2	秋A	木5,6	高安 亮紀,松田 昭博	工学へ応用される数学,いわゆる応用数学の中から,偏微分方程式を中心に講述する.固体や流体の力学,その工学応用分野の基礎方程式が偏微分方程式で与えられているため,偏微分方程式は応用上も極めて重要である.事前に「微積分1」「微積分2I」「微積分3」「常微分方程式」を履修済であることが望ましいが,既習事項は本講義内で適宜補うため,必須ではない.	FG24781, FG44391, FG54391と同一。 対面
FG35371	ロボット工学	1	2.0	3	春AB	金5,6	鈴木 健嗣	「ロボット」に関わる理論,要素技術とその集積,システムの目的と実現法について論じる.ここでは,マニュピレータや移動ロボットに関する運動のメカニズムと動力学など,3次元空間における動作と作業に関する基本理論から,視覚,力センサなどロボット用のセンサ技術,行動の計画と実行,ロボット言語とコントローラ,及び人間機械系の設計など,ロボットの知能化技術について講義する.	FG25901と同一。 対面(オンライン併用型)
FG35381	パターン認識	1	2.0	3	秋AB	水5,6	掛谷 英紀	パターン認識の基本的手法(幾何的手法,統計的手法,学習アルゴリズム,時系列パターンの認識など)を順に解説する。	FG25361と同一。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
FG35391	機械学習A	1	1.0	3・4	秋C	火5,6	手塚 太郎	機械学習の基本概念を確率論や情報理論を基礎として学ぶ。線形回帰を発展させた構造としてのニューラルネットワークを捉える。深層学習の基礎となる勾配降下法と誤差逆伝播法について理解する。	FG25391と同一。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG35401	機械学習B	1	1.0	3・4	秋C	水5,6	手塚 太郎	機械学習において現在もっとも広く使われている手法のひとつである深層学習の特性を学ぶ。畳み込みニューラルネットワークやリカレントネットワークなどの代表的なネットワーク構造について、それらがどのような強みと限界を持っているのかを知る。さらに変分オートエンコーダや深層強化学習など、特定のタスクに対する深層学習の利用についても理解を深める。	FG25401と同一。 対面
FG35904	応用プログラミング	4	2.0	3	秋BC	水1,2	星野 准一	オブジェクト指向の基本理念をオブジェクト指向プログラミング言語の講義と演習により修得させる。	FG25374と同一。 実務経験教員 オンライン(同時双方向型)
FG39213	知的・機能工学システム実験	3	6.0	3	春ABC 秋ABC 秋ABC	火3-5 木3-5 金5,6	矢野 博明,北原 格,若槻 尚斗,延原 肇,前田 祐佳,河合 新,相山 康道,鈴木 健嗣,海老原 格,善甫 啓一,家永 直人,ヤェム ヴィボル,蜂須 拓	春ABC火345, 秋ABC 木345は, 制御系設計,システムの最適化,センサとディジタル信号処理,センサとアナログ信号処理,画像処理,メカトロニクスなどに関する実験を行う. 秋ABC金56は,複数の実験テーマから一つを選択して,秋学期を通してテーマ毎にこれまでに修得した広範囲な工学知識を基に,具体的なシステムをデザインする能力を養う.そして,デザインしたシステムを複数のメンバーと協調して完成させる過程で,チームとして特定のプロジェクトをマネジメントする力を養成する. 最終的に提出される課題(レポートやプレゼンテーション)により実験成果を評価する.	工学システム学類生に限る FG29213と同一。 対面 主専攻必修科目。 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 世話人:矢野。

工学システム学類(環境開発工学/エネルギー・メカニクス)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG40222	専門英語B	2	1.0	2	秋AB	金5	武若 聡,浅井 健彦	演習を中心として,工学分野における英語力を高め,英語でプレゼンテーションを行いレポートを作成する能力を養うことを目的とする。	主専攻必修科目。 FG50222と同一。 対面(オンライン併用型) 主専攻必修科目。 提出物により成績を定めることを基本とする.期末試験を行う場合には1回目の講義で説明する.
FG40232	専門英語演習	2	1.0	3	春AB	木3	沈 颺	英語運用能力の測定手段であるTOEIC対策用の教材を用い,リスニング,語彙,語法,読解等の能力の強化を行う。	主専攻必修科目。工学システム学類生に限る。 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 FG50232と同一。 対面 主専攻必修科目。
FG40354	数値計算法	4	3.0	2	秋ABC	火1,2	松田 哲也,三目 直登,森田 直樹	科学技術計算の基礎である,連立一次方程式,固有値問題,数値微分,数値積分,微分方程式等の解法を座学とプログラミングで学ぶ。また、数値計算ソフトウェアを利用し、問題解決する能力を培う。ここで作成する各種プログラムは,サブルーチンとして後の計算機応用科目で利用することがある。	主専攻必修科目。所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 FG50354と同一。 対面(オンライン併用型)
FG41251	フィードバック制御	1	2.0	3・4	春BC	木1,2	望山 洋,河合 新	システム制御の基礎的考え方から始め,動的要素のモデル化及び特性の表現方法(伝達関数)フィードバックの概念,制御系の解析方法(周波数特性,安定性)などを学ぶ。	FG21311, FG31311, FG51251と同一。 対面
FG41581	信頼性工学	1	2.0	3	秋BC	火3,4	岡島 敬一	機械や構造物をシステム全体としてできるだけ低コストで正常に機能させることを目的として,確率・統計論に基づいて各構成要素やシステムが正常に機能する性質(信頼性)を定量的に評価し,設計,製造,運用へ反映させる手法について講義する。	FG21331, FG31331, FG51581と同一。 対面
FG41631	機器運動学	1	1.0	3	春AB	木4	磯部 大吾郎	自動車,船舶,航空機,スペースプレーンおよびロケットなどの輸送機器を中心に,物体の3次元運動の力学について概説する。	FG51631と同一。 対面
FG41641	機械設計	1	2.0	2	秋BC	水3,4	山口 友之,江並 和宏	機械システムの設計と実装の手法について紹介する。機械図面,機械要素,運動伝達装置などについて説明する。	FG21261, FG31261, FG51641と同一。 対面
FG42251	コンクリート工学	1	2.0	3	春AB	月5,6	金久保 利之	主要な構造用材料の一つであるコンクリートの構成材料(セメント,骨材,混和材料,水),製造方法,諸性質,施工等に関する基礎的事項を,実際に構造物あるいは部材を設計・施工する観点に立って講述する。	対面
FG42271	応用材料学	1	1.0	2	秋C	月1,2	新宅 勇一	材料の巨視的な変形挙動と微視的なメカニズムの関係について概説し、さらに材料強度を決定づける破壊挙動に関して紹介する。	FG52271と同一。 対面
FG42281	電磁材料学	1	1.0	3	秋C	月5,6	山浦 一成,藤野 貴康	電気・電子分野で使用されている材料物性を理解するための基礎理論、材料の種類と性質、その使われ方について概説する。	FG42281と同一。 FG52281と同一。 オンライン(オンデマンド型) 電気学会寄付講義。世話人:藤野

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG42621	複合材料学	1	2.0	3	春AB	金3,4	松田 昭博	異なる材料を上手に組み合わせることによって,より優れた性能を示す新しい材料を設計することができる。この授業では,複合材料の機械的性質,設計解析および応用に関する基礎事項を学習する。	FG52621と同一。 対面
FG43651	産業技術論I	1	1.0	3	春B	集中	小島 康平,横田 茂	工業製品の例として、ロケットエンジンを題材に、おもに工学的な視点から、製品に求められる機能やその機能が必要とされる考え方を紹介する。	FG53651と同一。 対面 世話人:横田
FG43661	産業技術論II	1	1.0	3	春C	集中	牛島 栄,篠田 昇二,武若 聡,児玉 哲哉	「生産技術による製品革新」と題してマーケットやユーザのニーズの変化と,それを製品に具現化するための製品技術および生産技術に関する話題を種々の具体例を通して紹介する。また,企業の環境への取り組みの実態についても紹介する。特に、建設系および機械系産業界における各種技術開発の仕組みについて現状を説明し、持続可能な循環型社会の構築に向けた社会基盤整備および次世代の技術開発の方向性についても解説する。	FG53661と同一。 対面(オンライン併用型) 世話人:武若.
FG43811	設計計画論	1	1.0	3	秋A	火3,4	武若 聡,金久保 利之,篠﨑 由依	社会基盤整備事業および建築構造物を対象とし,計画段階から,設計,契約,施工を経て維持管理までの流れについて概説するとともに,一連の過程における設計・計画に関する基本的事項や考え方を学ぶ。	2019年度以降の入学者対象。設計計画論(FG43821)履修者は履修不可。 対面(オンライン併用型)
FG44361	エネルギー工学のための物理化学	1	1.0	2	秋A	水5,6	秋元 祐太朗	環境・エネルギー分野にとって物質を構成している原子・分子をミクロな視点で見ることは非常に大切である。本講義では原子の構造や化学結合,分子運動や状態変化などについて理解が深まるよう,量子論の基礎事項について概説する。	FG54361と同一。 対面 2024年度まで開講された 物理化学概論(FG44361, FG54361)の単位を修得した者は履修できない. FG54361と同一。 対面
FG44391	応用数学B	1	1.0	2	秋A	木5,6	高安 亮紀,松田 昭博	工学へ応用される数学,いわゆる応用数学の中から,偏微分方程式を中心に講述する.固体や流体の力学,その工学応用分野の基礎方程式が偏微分方程式で与えられているため,偏微分方程式は応用上も極めて重要である.事前に「微積分1」「微積分2I」「微積分3」「常微分方程式」を履修済であることが望ましいが,既習事項は本講義内で適宜補うため,必須ではない.	FG24781, FG34781, FG54391と同一。 対面
FG44411	熱工学	1	1.0	2	秋C	金1,2	大門 優	基礎科目としての熱力学の内容を前提とし,その応用(エンジン,圧縮機など)と発展(不可逆性,実在気体,エクセルギなど)について学ぶ。演習も含む。	FG54411と同一。 対面
FG44421	応用熱力学	1	2.0	2	秋AB	金1,2	金川 哲也	熱力学基礎からさらに踏み込んで、エントロピーと自由エネルギーが主役を演ずる単元を中心に学ぶ。	FG54421と同一。 対面(オンライン併用型)
FG44691	伝熱工学	1	2.0	3	春AB	水5,6	金子 暁子	伝熱の基礎現象として,定常熱伝導,非定常熱伝導,強制対流熱伝達,自然対流熱伝達,沸騰熱伝達,凝縮熱伝達,ふく射熱伝達などについて概説する。さらに,応用機器として,熱交換機について基礎的事項を説明する。	FG54691と同一。 対面
FG44701	気体力学	1	1.0	3	秋AB	月5	横田 茂	圧縮性流体の力学について学ぶ。音速,マッハ数,垂直衝撃波,ラバールノズルの断熱流など,高速流体力学の基礎を講述し,航空工学,ロケット工学への応用についても触れる。	FG54701と同一。 対面
FG44731	電子回路	1	2.0	3	春AB	月1,2	前田 祐佳	アナログ電子回路に関する講義(一部演習)を行う。主な内容は,ダイオード,トランジスタ,FETの素子特性,小信号増幅回路,帰還回路,電力増幅回路,OPアンプ回路,発振回路など。	FG24341, FG34341, FG54731と同一。 対面
FG45434	構造力学I	4	2.0	2	秋BC	火5,6	八十島 章	建築物,橋などの構造設計の際に必要となる,トラス,ラーメンなどの構造骨組が地震,風,自重などの外力を受けたときに柱,梁などの構造部材に生じる応力,変形を求める方法について,演習を行いながら解説する。	FG55434と同一。 対面(オンライン併用型)
FG45441	パワーエレクトロニクス	1	2.0	3	春AB	火1,2	安芸 裕久	家電製品から電力系統まで広く応用されているパワーエレクトロニクスについて、その基礎・原理、デバイス、変換回路および応用の実例について解説する。	FG55441と同一。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
FG45451	土質力学	1	2.0	3	春AB	金5,6	松島 亘志	土の基本特性,土の中の水,地盤内の応力分布,土の圧密など,土質力学の基礎的知識について講述する。	対面(オンライン併用型)
FG45564	応用材料力学I	4	1.0	2	秋A	金3,4	金久保 利之,森田 直樹	弾性性状における不静定梁の応力、変形、長柱の座屈、棒材のねじり、エネルギーに関する諸定理等を紹介する。演習も行う。	FG55564と同一。 対面
FG45581	応用流体力学	1	2.0	2	秋AB	火3,4	金川 哲也	連続体力学の一部としての流体力学を講述する。質量・運動量・エネルギーの保存則を表現する偏微分方程式を基軸に議論を進める。Newton流体の運動を記述するNavier-Stokes方程式を導き、流体のさまざまな運動を数理的に調べる。	FG55581と同一。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG45604	応用材料力学II	4	2.0	2	秋BC	金3,4	亀田 敏弘,西尾 真由子	応力とひずみの一般的記述とそれらの関係(構成方程式)について述べる。また各種工学材料の力学的性質についても学ぶ。材料力学Iで学んだ棒材の力学をより一般的な立場から見直す。板の2次元問題も紹介する。	FG55604と同一。 対面
FG45611	振動工学	1	3.0	2	秋ABC	水1,2	庄司 学,松田 哲也,浅井 健彦	構造物や機械の自由振動と強制振動に関わる基礎理論を1質点系,多質点系,及び,連続体(弦,はり,膜)の順番で学習する.工学上重要な共振や振動モードの考え方を修得することがポイントとなる.また,ハミルトンの原理とラグランジュの方程式,及び,回転体の振動に関わる応用的な内容についても学習する.	FG55611と同一。 対面
FG45721	構造力学II	1	2.0	3	秋AB	金3,4	磯部 大吾郎	建設・土木,機械・航空・エネルギーなどの分野で重要な構造要素であるはり,板などにより構成された構造物を対象とした変位法について学ぶ。また,変位法の中でも近似解法の一種である有限要素法について学び,実習を行う。	FG55721と同一。 対面
FG45751	防災工学	1	2.0	3	秋AB	木1,2	庄司 学,八十島 章	建物や社会基盤施設等の構造システムの防災・減災に直結した,地震,強風,降雨等による大きな外乱に対する広範囲な工学知識を得させ,大きな外乱とそれを受ける構造システムの被害を定量的に捉えるための,確率・統計理論をベースとした専門知識を講述する.	対面
FG45774	電力工学	4	2.0	3	秋AB	月1,2	安芸 裕久,小平 大輔	電力系統(発電端から需要端まで)を対象として、主に電力輸送およびそれに伴う諸現象を解析的に理解することを目的とし、送電線・変圧器の等価回路、単位法や潮流計算を中心に、電力系統の定常特性および電圧・無効電力制御の基礎を講義する。	FG55774と同一。 実務経験教員 対面
FG45781	電磁力工学	1	2.0	2	秋BC	水5,6	藤野 貴康	工学分野における電磁力応用の基礎について学ぶ。電気・力学系、電磁流体力学(MHD)、MHD加速・発電などの基礎を理解する。	FG55761と同一。 対面
FG45791	鉄筋コンクリート構造学	1	1.0	3	秋AB	金5	八十島 章	鉄筋コンクリート構造の力学的性質と構造特性を解説する。主要な構造部材である柱,梁,耐震壁,柱梁接合部などの部材性状と抵抗機構について講義する。また,鉄筋コンクリート造建物の構造設計の基本的な考え方についても解説する。	対面(オンライン併用型)
FG45801	鋼構造学	1	1.0	3	秋AB	金6	山本 亨輔	鋼材の種類と機械的性質。建築架構の種類と特徴。中心圧縮柱の座屈,梁の横座屈,板要素の座屈,引張,圧縮,曲げ,せん断等に対する構造部材の設計,ボルト,溶接接合,鋼製橋の設計。	対面(オンライン併用型)
FG45831	地盤工学	1	1.0	3	秋AB	水1	松島 亘志	土のせん断強度,土圧,地盤の支持力,斜面安定,基礎工,液状化,環境問題など,土質力学および地盤工学の基礎的知識について講述する。	FG45771履修者は履修不可。 対面(オンライン併用型)
FG45851	流体工学	1	2.0	3	春BC	金1,2	文字 秀明,白川 直樹	管路および開水路内の非圧縮性流体の流れについて講述する。	FG55851と同一。 対面
FG45861	エネルギー機器学	1	2.0	3	秋AB	水5,6	金子 暁子,文字 秀明	発電所などの大規模集中型エネルギー施設や冷凍・空調・コジェネレーションなどの小型分散型エネルギー設備などのエネルギー機器において用いられるポンプ・タービンなどのターボ機械やボイラ・熱交換機器などの熱機器の動作原理や熱流体現象について学ぶ。	FG55861と同一。 対面
FG45871	水素エネルギー工学	1	1.0	3	秋BC	火5	岡島 敬一	水素エネルギー利用システムにおいてキーテクノロジーとなる燃料電池に関して、原理、電気化学に基づいた理想効率・起電力の計算方法、電圧-電流特性を理解するとともに、実際の機器としての応用と最新の動向を学ぶことを目的とする。	FG45871と同一。 FG55871と同一。 実務経験教員 対面
FG45876	建築設計製図I	6	3.0	3・4	春ABC	水5,6	浅井 健彦,金久保 利之,八十島 章	具体的な課題による,建築構造物の設計製図演習を行う。本講義では,木造建築物を主体とする。	対面
FG45881	燃焼工学	1	2.0	3	秋AB	火1,2	大門 優	燃焼の基礎と応用を学ぶ。特に、火炎の基本的性質や汚染物質の生成機構、各種内燃機関中で生じる燃焼現象について詳しく解説する。	FG55881と同一。 対面
FG45886	建築設計製図II	6	2.0	3・4	秋AB	月1,2	金久保 利之,八十島 章,浅井 健彦	具体的な課題による建築構造物の設計製図演習を行う。本講義では鉄筋コンクリート造建築物(集合住宅を含む)を対象とする。	対面
FG45896	建築設計製図III	6	2.0	3・4	秋C	月1-4	金久保 利之,八十島 章,浅井 健彦	具体的な課題による建築構造物の設計製図演習を行う。本講義では鉄筋コンクリート造建築物を主体とする。	対面
FG45901	建築設備	1	2.0	3・4	秋BC	火1,2	北原 博幸,金久保 利之	建築設備の基礎理論を論じるとともに,設備の種類と各種設備機器の機能を解説する。空気調和設備,給排水衛生設備などの計画・設計法の概要を理解させるとともに,地球環境時代における建築設備と持続可能性の関係について考察する。	対面 世話人:金久保
FG45911	建築環境工学	1	2.0	2 - 4	春AB	月1,2	北原 博幸,金久保 利之	建築環境工学の基礎理論を論じるとともに,熱・空気・音・光環境の快適性を解説する。快適な建築環境の形成技術を理解させるとともに,地球環境時代における建築環境計画手法と持続可能なライフスタイルについて考察する。	FG55911と同一。 対面 世話人:金久保
FG46781	環境リモートセンシング	1	1.0	3	秋AB	水2	武若 聡,児玉 哲哉,亀井 雅敏	リモートセンシングの原理,応用などについて概説する。大気圏,陸域,水域環境などの解析事例を学び,リモートセンシングの有用性を理解する。	FG56781と同一。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG46791	地圏気圏の環境論	1	1.0	3	秋AB	水3	羽田野 祐子	環境問題一般についての基礎知識を身につけ,自然環境中における物質移動に関する工学的手法について学ぶ。	FG56791と同一。 対面
FG46801	水環境論	1	2.0	3	春AB	水1,2	白川 直樹	河川を中心とした水環境について、自然の特性、人間の働きかけ、そして両者の関係という三つの面から学ぶ。	BC12521と同一。 対面
FG46821	エネルギー学入門	1	2.0	3	春AB	水3,4	鈴木 研悟	世界が持続可能な発展を遂げていくためには経済成長の中で、省資源と環境保全を図る社会を築いていくことが求められている。本講義では、世界およびわが国のエネルギー・環境問題を、資源、経済、環境の点から多角的・総合的に理解し、エネルギー・環境面から持続可能な社会発展の方向性とこれを実現するための技術開発のあり方について学ぶ。	FG56821と同一。 対面
FG49873	エネルギー・メカニクス専門実験	3	3.0	3	春ABC	火3-6	白川 直樹,金子 暁子,藤野 貴康,秋元 祐太朗,庄司 学,松田 哲也,西尾 真由子,金川 哲也,森田 直樹,安芸 裕久,大門 優	固体材料,流体,熱流体,燃料電池,内燃機関の実験を実施する。実験の計画,データの整理,結果の考察をレポートにまとめる演習を行う。	工学システム学類生に限る。 FG59873と同一。 対面 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 主専攻必修科目。 世話人:白川直樹
FG49883	エネルギー・メカニクス応用実験	3	3.0	3	秋ABC	木3-6	新宅 勇一,亀田 敏弘,横田 茂,大楽 浩司,鈴木 研悟,小平 大輔	システム及び機器のデザイン能力・チームワーク力を養うために、小型エネルギーシステムの設計・製作・運用、マイコン制御の自律飛行船の設計・製作・運用を行う。	工学システム学類生に限る。 FG59883と同一。 対面 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 主専攻必修科目。 世話人:亀田敏弘

工学システム学類(エネルギー工学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG50222	専門英語B	2	1.0	2	秋AB	金5	武若 聡,浅井 健彦	演習を中心として,工学分野における英語力を高め,英語でプレゼンテーションを行いレポートを作成する能力を養うことを目的とする。	主専攻必修科目。 FG40222と同一。 対面(オンライン併用型) 主専攻必修科目。 提出物により成績を定めることを基本とする.期末試験を行う場合には1回目の講義で説明する.
FG50232	専門英語演習	2	1.0	3	春AB	木3	沈 颳	英語運用能力の測定手段であるTOEIC対策用の教材を用い,リスニング,語彙,語法,読解等の能力の強化を行う。	主専攻必修科目。工学システム学類生に限る。 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 FG40232と同一。 対面 主専攻必修科目。
FG50354	数値計算法	4	3.0	2	秋ABC	火1,2	松田 哲也,三目 直登,森田 直樹	科学技術計算の基礎である,連立一次方程式,固有値問題,数値微分,数値積分,微分方程式等の解法を座学とプログラミングで学ぶ。また、数値計算ソフトウェアを利用し、問題解決する能力を培う。ここで作成する各種プログラムは,サブルーチンとして後の計算機応用科目で利用することがある。	主専攻必修科目。所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 FG40354と同一。 対面(オンライン併用型)
FG51251	フィードバック制御	1	2.0	3・4	春BC	木1,2	望山 洋,河合 新	システム制御の基礎的考え方から始め,動的要素のモデル化及び特性の表現方法(伝達関数)フィードバックの概念,制御系の解析方法(周波数特性,安定性)などを学ぶ。	FG21311, FG31311, FG41251と同一。 対面
FG51581	信頼性工学	1	2.0	3	秋BC	火3,4	岡島 敬一	機械や構造物をシステム全体としてできるだけ低コストで正常に機能させることを目的として,確率・統計論に基づいて各構成要素やシステムが正常に機能する性質(信頼性)を定量的に評価し,設計,製造,運用へ反映させる手法について講義する。	FG21331, FG31331, FG41581と同一。 対面
FG51631	機器運動学	1	1.0	3	春AB	木4	磯部 大吾郎	自動車,船舶,航空機,スペースプレーンおよびロケットなどの輸送機器を中心に,物体の3次元運動の力学について概説する。	FG41631と同一。 対面
FG51641	機械設計	1	2.0	2	秋BC	水3,4	山口 友之,江並 和宏	機械システムの設計と実装の手法について紹介する。機械図面,機械要素,運動伝達装置などについて説明する。	FG21261, FG31261, FG41641と同一。 対面
FG52271	応用材料学	1	1.0	2	秋C	月1,2	新宅 勇一	材料の巨視的な変形挙動と微視的なメカニズムの関係について概説し、さらに材料強度を決定づける破壊挙動に関して紹介する。	FG42271と同一。 対面
FG52281	電磁材料学	1	1.0	3	秋C	月5,6	山浦 一成,藤野 貴康	電気・電子分野で使用されている材料物性を理解するための基礎理論、材料の種類と性質、その使われ方について概説する。	FG42281と同一。 FG42281と同一。 オンライン(オンデマンド型) 電気学会寄付講義。世話人:藤野

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG52621	複合材料学	1	2.0	3	春AB	金3,4	松田 昭博	異なる材料を上手に組み合わせることによって,より優れた性能を示す新しい材料を設計することができる。この授業では,複合材料の機械的性質,設計解析および応用に関する基礎事項を学習する。	FG42621と同一。 対面
FG53651	産業技術論I	1	1.0	3	春B	集中	小島 康平,横田 茂	工業製品の例として、ロケットエンジンを題材に、おもに工学的な視点から、製品に求められる機能やその機能が必要とされる考え方を紹介する。	FG43651と同一。 対面 世話人:横田
FG53661	産業技術論II	1	1.0	3	春C	集中	牛島 栄,篠田 昇二,武若 聡,児玉 哲哉	「生産技術による製品革新」と題してマーケットやユーザのニーズの変化と,それを製品に具現化するための製品技術および生産技術に関する話題を種々の具体例を通して紹介する。また,企業の環境への取り組みの実態についても紹介する。特に、建設系および機械系産業界における各種技術開発の仕組みについて現状を説明し、持続可能な循環型社会の構築に向けた社会基盤整備および次世代の技術開発の方向性についても解説する。	FG43661と同一。 対面(オンライン併用型) 世話人:武若.
FG54361	エネルギー工学のための物理化学	1	1.0	2	秋A	水5,6	秋元 祐太朗	環境・エネルギー分野にとって物質を構成している原子・分子をミクロな視点で見ることは非常に大切である。本講義では原子の構造や化学結合,分子運動や状態変化などについて理解が深まるよう,量子論の基礎事項について概説する。	FG54361と同一。 対面 2024年度まで開講された 物理化学概論(FG44361, FG54361)の単位を修得した者は履修できない. FG44361と同一。 対面
FG54391	応用数学B	1	1.0	2	秋A	木5,6	高安 亮紀,松田 昭博	工学へ応用される数学,いわゆる応用数学の中から,偏微分方程式を中心に講述する.固体や流体の力学,その工学応用分野の基礎方程式が偏微分方程式で与えられているため,偏微分方程式は応用上も極めて重要である.事前に「微積分1」「微積分21」「微積分3」「常微分方程式」を履修済であることが望ましいが,既習事項は本講義内で適宜補うため,必須ではない.	FG24781, FG34781, FG44391と同一。 対面
FG54411	熱工学	1	1.0	2	秋C	金1,2	大門 優	基礎科目としての熱力学の内容を前提とし,その応用(エンジン,圧縮機など)と発展(不可逆性,実在気体,エクセルギなど)について学ぶ。演習も含む。	FG44411と同一。 対面
FG54421	応用熱力学	1	2.0	2	秋AB	金1,2	金川 哲也	熱力学基礎からさらに踏み込んで、エントロピーと自由エネルギーが主役を演ずる単元を中心に学ぶ。	FG44421と同一。 対面(オンライン併用型)
FG54691	伝熱工学	1	2.0	3	春AB	水5,6	金子 暁子	伝熱の基礎現象として,定常熱伝導,非定常熱伝導,強制対流熱伝達,自然対流熱伝達,沸騰熱伝達,凝縮熱伝達,ふく射熱伝達などについて概説する。さらに,応用機器として,熱交換機について基礎的事項を説明する。	FG44691と同一。 対面
FG54701	気体力学	1	1.0	3	秋AB	月5	横田 茂	圧縮性流体の力学について学ぶ。音速,マッハ数,垂直衝撃波,ラバールノズルの断熱流など,高速流体力学の基礎を講述し,航空工学,ロケット工学への応用についても触れる。	FG44701と同一。 対面
FG54731	電子回路	1	2.0	3	春AB	月1,2	前田 祐佳	アナログ電子回路に関する講義(一部演習)を行う。主な内容は,ダイオード,トランジスタ,FETの素子特性,小信号増幅回路,帰還回路,電力増幅回路,OPアンプ回路,発振回路など。	FG24341, FG34341, FG44731と同一。 対面
FG55434	構造力学I	4	2.0	2	秋BC	火5,6	八十島 章	建築物,橋などの構造設計の際に必要となる,トラス,ラーメンなどの構造骨組が地震,風,自重などの外力を受けたときに柱,梁などの構造部材に生じる応力,変形を求める方法について,演習を行いながら解説する。	FG45434と同一。 対面(オンライン併用型)
FG55441	パワーエレクトロニクス	1	2.0	3	春AB	火1,2	安芸 裕久	家電製品から電力系統まで広く応用されているパワーエレクトロニクスについて、その基礎・原理、デバイス、変換回路および応用の実例について解説する。	FG45441と同一。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
FG55564	応用材料力学I	4	1.0	2	秋A	金3,4	金久保 利之,森田 直樹	弾性性状における不静定梁の応力、変形、長柱の座屈、棒材のねじり、エネルギーに関する諸定理等を紹介する。演習も行う。	FG45564と同一。 対面
FG55581	応用流体力学	1	2.0	2	秋AB	火3,4	金川 哲也	連続体力学の一部としての流体力学を講述する。質量・運動量・エネルギーの保存則を表現する偏微分方程式を基軸に議論を進める。Newton流体の運動を記述するNavier-Stokes方程式を導き、流体のさまざまな運動を数理的に調べる。	FG45581と同一。 対面(オンライン併用型)
FG55604	応用材料力学II	4	2.0	2	秋BC	金3,4	亀田 敏弘,西尾 真由子	応力とひずみの一般的記述とそれらの関係(構成方程式)について述べる。また各種工学材料の力学的性質についても学ぶ。材料力学Iで学んだ棒材の力学をより一般的な立場から見直す。板の2次元問題も紹介する。	FG45604と同一。 対面
FG55611	振動工学	1	3.0	2	秋ABC	水1,2	庄司 学,松田 哲也,浅井 健彦	構造物や機械の自由振動と強制振動に関わる基礎理論を1質点系,多質点系,及び,連続体(弦,はり,膜)の順番で学習する.工学上重要な共振や振動モードの考え方を修得することがポイントとなる.また,ハミルトンの原理とラグランジュの方程式,及び,回転体の振動に関わる応用的な内容についても学習する.	振動工学I,振動工学II履修者は履修不可。 FG45611と同一。 FG45611と同一。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG55721	構造力学II	1	2.0	3	秋AB	金3,4	磯部 大吾郎	建設・土木,機械・航空・エネルギーなどの分野で重要な構造要素であるはり,板などにより構成された構造物を対象とした変位法について学ぶ。また,変位法の中でも近似解法の一種である有限要素法について学び,実習を行う。	FG45721と同一。 対面
FG55761	電磁力工学	1	2.0	2	秋BC	水5,6	藤野 貴康	工学分野における電磁力応用の基礎について学ぶ。電気・力学系、電磁流体力学(MHD)、MHD加速・発電などの基礎を理解する。	FG45781と同一。 対面
FG55774	電力工学	4	2.0	3	秋AB	月1,2	安芸 裕久,小平 大輔	電力系統(発電端から需要端まで)を対象として、主に電力輸送およびそれに伴う諸現象を解析的に理解することを目的とし、送電線・変圧器の等価回路、単位法や潮流計算を中心に、電力系統の定常特性および電圧・無効電力制御の基礎を講義する。	FG45774と同一。 実務経験教員 対面
FG55851	流体工学	1	2.0	3	春BC	金1,2	文字 秀明,白川 直樹	管路および開水路内の非圧縮性流体の流れについて講述する。	FG45851と同一。 対面
FG55861	エネルギー機器学	1	2.0	3	秋AB	水5,6	金子 暁子,文字 秀明	発電所などの大規模集中型エネルギー施設や冷凍・空調・コジェネレーションなどの小型分散型エネルギー設備などのエネルギー機器において用いられるポンプ・タービンなどのターボ機械やボイラ・熱交換機器などの熱機器の動作原理や熱流体現象について学ぶ。	FG45861と同一。 対面
FG55871	水素エネルギー工学	1	1.0	3	秋BC	火5	岡島 敬一	水素エネルギー利用システムにおいてキーテクノロジーとなる燃料電池に関して、原理、電気化学に基づいた理想効率・起電力の計算方法、電圧-電流特性を理解するとともに、実際の機器としての応用と最新の動向を学ぶことを目的とする。	FG45871と同一。 FG45871と同一。 実務経験教員 対面
FG55881	燃焼工学	1	2.0	3	秋AB	火1,2	大門 優	燃焼の基礎と応用を学ぶ。特に、火炎の基本的性質や汚染物質の生成機構、各種内燃機関中で生じる燃焼現象について詳しく解説する。	FG45881と同一。 対面
FG55911	建築環境工学	1	2.0	2 - 4	春AB	月1,2	北原 博幸,金久保 利之	建築環境工学の基礎理論を論じるとともに,熱・空気・音・光環境の快適性を解説する。快適な建築環境の形成技術を理解させるとともに,地球環境時代における建築環境計画手法と持続可能なライフスタイルについて考察する。	FG45911と同一。 対面 世話人:金久保
FG56781	環境リモートセンシング	1	1.0	3・4	秋AB	水2	武若 聡,児玉 哲哉,亀井 雅敏	リモートセンシングの原理,応用などについて概説する。大気圏,陸域,水域環境などの解析事例を学び,リモートセンシングの有用性を理解する。	FG46781と同一。 対面(オンライン併用型)
FG56791	地圏気圏の環境論	1	1.0	3・4	秋AB	水3	羽田野 祐子	環境問題一般についての基礎知識を身につけ,自然環境中における物質移動に関する工学的手法について学ぶ。	FG46791と同一。 対面
FG56821	エネルギー学入門	1	2.0	3	春AB	水3,4	鈴木 研悟	世界が持続可能な発展を遂げていくためには経済成長の中で、省資源と環境保全を図る社会を築いていくことが求められている。本講義では、世界およびわが国のエネルギー・環境問題を、資源、経済、環境の点から多角的・総合的に理解し、エネルギー・環境面から持続可能な社会発展の方向性とこれを実現するための技術開発のあり方について学ぶ。	FG46821と同一。 対面
FG59873	エネルギー・メカニクス専門実験	3	3.0	3	春ABC	火3-6	白川 直樹,金子 暁子,藤野 貴康,秋元 祐太朗,庄司 学,松田 哲也,西尾 真由子,金川 哲也,森田 直樹,安芸 裕久,大門 優	固体材料,流体,熱流体,燃料電池,内燃機関の実験を実施する。実験の計画,データの整理,結果の考察をレポートにまとめる演習を行う。	工学システム学類生に限る。 FG49873と同一。 対面 主専攻必修科目。 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 世話人:白川直樹
FG59883	エネルギー・メカニクス応用実験	3	3.0	3	秋ABC	木3-6	新宅 勇一,亀田 敏弘,横田 茂,大楽 浩司,鈴木 研悟,小平 大輔	システム及び機器のデザイン能力・チームワーク力を養うために、小型エネルギーシステムの設計・製作・運用、マイコン制御の自律飛行船の設計・製作・運用を行う。	工学システム学類生に限る。 FG49883と同一。 対面 主専攻必修科目。 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 世話人:亀田敏弘

工学システム学類(その他)(JTP学生のみ対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG06041	工学システム特別講義	1	1.0	1	秋AB	金4		This course will review some introductory topics relevant to engineering, such as human-computer interaction, measurement, and control.	auditor students only オンライン(対面併用型)
FG06058	特別研究A	8	4.0	1	春ABC	随時	工学システム学類各教員	The students will conduct individual research under the supervision of a professor.	auditor students only 対面
FG06068	特別研究B	8	4.0	1	秋ABC	随時	工学システム学類各教員	The students will conduct individual research under the supervision of a professor.	auditor students only 対面

開設母体　　要件
社会工学類

社会工学類共通:専門基礎科目(必修・選択)2019年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH60012	社会工学演習	2	3.0	2	春ABC	金5,6	秋山 英三,澤 亮治,大久保 正勝,岡田 幸彦,フンドック トゥアン,有馬 澄佳,有田 智一,村上 暁信,梅本 通孝	社会工学を体系として,方法,手法,応用の3種類にわたって概観し,社会工学の基本概念を理解する。具体的事例により,社会工学的問題解決についての手法の初歩を習得する。	必修科目(2019年度以降入学者)。1年次生は履修不可。 ※「データ・AI 活用企画・実施・評価」に資する科目 対面(オンライン併用型) オンライン(同時双方向型)+(オンデマンド型)。状況によって一部対面に変更する。 履修希望者が多い場合は社会工学類2~4年次生を優先する。
FH60341	社会工学英語	1	2.0	2	秋AB	金3,4	讃井 知,金澤 輝代士,川島 宏一,甲斐田 直子	社会工学に関する基礎的概念を英語で学ぶ。	必修科目(2019年度以降入学者)。1年次生は履修不可。 対面(オンライン併用型) オンライン対面併用。
FH60474	プログラミング入門A	4	2.0	1	秋AB	木5,6	志田 洋平	プログラミングの有用性と必要性を理解し、単純な処理を行うプログラムを書いて、実行できるようになることを目指す。	必修科目(2021年度以降入学者)。2021年度から昨年度までに入学した社会工学類の学生対象。履修希望者は4月~秋A開始の専門導入科目の事前登録期限までにWEB Formで登録すること。FormのURLはシラバスに掲載される。TWINSでの履修登録は初回授業以降に行うこと。 定員を超過した場合は履修調整をする場合がある。他学類の学生は若干名履修を認めるが、履修希望者が上限を超えた場合には総合学域群の学生を優先して抽選する。原則的に「プログラミング入門B」(FH60574)と同一年度に履修すること。 対面(オンライン併用型)
FH60484	プログラミング入門A	4	2.0	1	秋AB	木5,6	太田 充	プログラミングの有用性と必要性を理解し、単純な処理を行うプログラムを書いて、実行できるようになることを目指す。	必修科目(2021年度以降入学者)。今年度入学の社会工学類1,2クラスの学生のみ履修可。原則的に「プログラミング入門B」(FH60584)と同一年度に履修すること。 対面(オンライン併用型)
FH60494	プログラミング入門A	4	2.0	1	秋AB	木5,6	佐野 幸恵,秋山 英三	プログラミングの有用性と必要性を理解し、単純な処理を行うプログラムを書いて、実行できるようになることを目指す。	必修科目(2021年度以降入学者)。今年度入学の社会工学類3,4クラスの学生のみ履修可。原則的に「プログラミング入門B」(FH60594)と同一年度に履修すること。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH60574	プログラミング入門B	4	1.0	1	秋C	木5,6	志田 洋平	プログラミングの有用性と必要性を理解し、単純な処理を行うプログラムを書いて、実行できるようになることを目指す。	必修科目(2021年度以降入学者)。2021年度から昨年度までに入学した社会工学類の学生対象。履修希望者は4月~秋A開始の専門導入科目の事前登録期限までにWEB Formで登録すること。FormのURLはシラバスに掲載される。TWINSでの履修登録は初回授業以降に行うこと。 定員を超過した場合は履修調整をする場合がある。他学類の学生は若干名履修を認めるが、履修希望者が上限を超えた場合には総合学域群の学生を優先して抽選する。原則的に「プログラミング入門A」(FH60474)と同一年度に履修すること。 対面(オンライン併用型)
FH60584	プログラミング入門B	4	1.0	1	秋C	木5,6	太田 充	プログラミングの有用性と必要性を理解し、単純な処理を行うプログラムを書いて、実行できるようになるこ とを目指す。	必修科目(2021年度以降入学者)。今年度入学の社会工学類1,2クラスの学生のみ履修可。原則的に「プログラミング入門A」(FH60484)と同一年度に履修すること。 対面(オンライン併用型)
FH60594	プログラミング入門B	4	1.0	1	秋C	木5,6	佐野 幸恵,秋山 英三	プログラミングの有用性と必要性を理解し、単純な処理を行うプログラムを書いて、実行できるようになることを目指す。	必修科目(2021年度以降入学者)。今年度入学の社会工学類3,4クラスの学生のみ履修可。原則的に「プログラミング入門A」(FH60494)と同一年度に履修すること。 対面(オンライン併用型)
FH60811	統計学	1	2.0	1	秋AB	金5,6	イリチュ 美佳	データを分析する上での基礎的な手法やモデルについて講義する。主な内容は、統計的方法の性質、標本データの記述、確率の基本的考え方、確率分布、標本抽出、母数の推定、仮説検定。	選択必修科目(2019年度以降入学者)。1年次生は学籍番号(9桁)の下2桁を3で割った余りが0の学生対象。2018年度以前に「統計I(FH60711,FH60721)」を修得したものの履修は不可。 対面 「データ・AI 活用 企画・実施・評価」に資する内容である。
FH60821	統計学	1	2.0	1	秋AB	金5,6	原田 信行	データを分析する上での基礎的な手法やモデルについて講義する。主な内容は、統計的方法の性質、標本データの記述、確率の基本的考え方、確率分布、標本抽出、母数の推定、仮説検定。	選択必修科目(2019年度以降入学者)。1年次生は学籍番号(9桁)の下2桁を3で割った余りが1の学生対象。2018年度以前に「統計I(FH60711,FH60721)」を修得したものの履修は不可。 対面 本科目は「データ・AI 活用 企画・実施・評価」に資する内容である。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH60831	統計学	1	2.0	1	秋AB	金5,6	牛島 光一	データを分析する上での基礎的な手法やモデルについて講義する。主な内容は、統計的方法の性質、標本データの記述、確率の基本的考え方、確率分布、標本抽出、母数の推定、仮説検定。	選択必修科目(2019年度以降入学者)。1年次生は学籍番号(9桁)の下2桁を3で割った余りが2の学生対象。2018年度以前に「統計I(FH60711,FH60721)」を修得したものの履修は不可。 対面 本科目は「データ・AI活用 企画・実施・評価」に資する内容である。
FH61111	経済学の数理	1	1.0	1	春B	水3,4	澤 亮治,阿武 秀和	経済・社会的状況を数理的にモデル化する基礎的な手法を学ぶ。主にゲーム理論およびマッチング理論を扱う。	選択必修科目(2019年度以降入学者) 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(対面併用型) オンライン(オンデマンド型)。確認テストは対面実施予定。
FH61121	経済学の実証	1	1.0	1	秋B	木3,4	小西 葉子	経済学の実証分析(データ分析)の基礎を学ぶ。	選択必修科目(2019年度以降入学者) 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(対面併用型) 確認テストは対面実施予定 「データ・AI 活用 企画・実施・評価」に資する内容である
FH61131	会計と経営	1	1.0	1	春A	木5,6	岡田 幸彦,高野 祐一	理工学群社会工学類への導入として、社会課題を発見・解決するために必須となる会計と経営の基礎知識を習得する。国家経営の最適化(社会経済システム主専攻)、企業経営の最適化(経営工学主専攻)、地域経営の最適化(都市計画主専攻)のために必要な最適限度の会計・経営の知識・スキルの水準を理解する。	選択必修科目(2019年度以降入学者) 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
FH61141	社会と最適化	1	1.0	1	秋A	水3,4	吉瀬 章子,繁野 麻衣子,繆 瑩,フン ドック トゥアン	持続性の高い社会を実現するためには、エネルギー・情報・サービス等の社会資源を最適に活用することが求められている。本講義ではさまざまな数理モデルを用いることで、社会資源がどのように最適に活用できるか、実際の事例に基づいて紹介する。	選択必修科目(2019年度以降入学者) 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(対面併用型) オンライン(オンデマンド型)。確認テストは対面で実施予定。
FH61151	都市計画入門	1	1.0	1	春C	火5,6	藤井 さやか,雨宮 護,梅本 通孝,谷口 綾子,甲斐田 直子,山本 幸子	「都市計画」が扱う様々な分野を参照しながら,人々の安全で健康な暮らしと便利で快適な営みを実現するための都市計画の概要について学び,その役割と意義を理解する。	選択必修科目(2019年度以降入学者) 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(対面併用型) オンライン(オンデマンド型)。確認テストは対面実施予定。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH61161	都市数理	1	1.0	1	秋B	水3,4	和田 健太郎,堤 盛人,鈴木 勉,太田 充,雨宮 護,牛島 光一,木下 陽平,浦田 淳司	都市や地域における様々な現象を数理モデルやデータ解析の手法によって理解するための入門的な方法論について講義する。	選択必修科目(2019年度以降入学者) 「データ・AI活用・企画・実施・評価」に資する内容である 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(対面併用型) オンライン(オンデマンド型)。確認テストは対面実施予定。

社会工学類(社会経済:計量分析システムエリア)2019年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH26012	計量分析システム演習	2	2.0	2 - 4	春AB	金1,2	チャン ランアンズーン,小西 葉子	数値計算手法とその経済学への応用を学ぶ。また、実証分析に必要なデータビジュアライゼーション、統計学、計量経済学の手法も学ぶ。	エリア演習。計量分析システムエリア。 オンライン(対面併用型) 確認テストとフィードバックは対面実施予定。 履修希望者が多い場合は社会工学類3・4年次生を優先する。
FH26021	計量経済学	1	2.0	2 - 4	春AB	水1,2	髙橋 裕紀	計量経済学の基礎となる回帰分析の理論を講義する。統計学(統計的推定・仮説検定)・微分積分学(偏微分)などの知識を前提とする。	計量分析システムエリア BB41341と同一。 対面(オンライン併用型)
FH26031	マクロ計量分析	1	2.0	2 - 4	秋AB	木1,2	大久保 正勝	経済時系列データの分析に必要な計量経済学の方法を解説する。また、必要に応じてマクロ経済や金融分析への応用例を紹介する。	計量分析システムエリア オンライン(対面併用型)
FH26041	金融論	1	2.0	2 - 4	秋AB	木3,4	原田 信行	ミクロ・マクロ経済学という分析手段を使って、金融システムを理論的・実証的に分析することで、経済における金融および金融政策の役割を考察する。	計量分析システムエリア 対面
FH26061	計量時系列分析	1	2.0	2 - 4	春AB	火3,4	三崎 広海	実証分析で使用する時系列解析の諸手法を概説すると共に、統計ソフトウェアを用いたデータ解析を通じて具体的な適用方法を習得する。	計量分析システムエリア 対面(オンライン併用型)
FH26071	日本経済論	1	2.0	2 - 4	春BC	集中	高安 雄一	様々な経済指標を通じて日本経済の現状および課題について理解を深める。	計量分析システムエリア オンライン(オンデマンド型)

社会工学類(社会経済:公共システムエリア)2019年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH27012	公共システム演習	2	2.0	2 - 4	秋AB	火5,6	作道 真理	公共経済学分野の実証研究でよく用いられる手法を学び、社会経済的な現象を実際のデータおよびコンピュータを用いて分析する。	エリア演習。公共システムエリア(2019年度以降入学者),国際・公共システムエリア(2018年度以前入学者)。2018年度までの「国際・公共システム演習」に相当。 オンライン(同時双方向型) 履修希望者が多い場合は社会工学類3・4年次生を優先する。
FH27031	国際金融論	1	2.0	2 - 4	春AB	木3,4	チャン ランアンズーン	本授業では、国際金融の理解に不可欠な基本知識である国民経済計算や国際収支会計などをはじめに学習し、その上で分析の鍵となる為替市場と金融市場との関係について学習する。そして短期・長期の為替レートの決定要因、国際金融と財政・金融政策の相互作用のメカニズムについて理解を深める。	公共システムエリア(2019年度以降入学者),国際・公共システムエリア(2018年度以前入学者) BC11431と同一。 オンライン(対面併用型)
FH27051	公共経済学	1	2.0	2 - 4	夏季休業中	集中	岸下 大樹	環境問題・公共財の過小供給や格差・不平等の存在といった市場の機能不全に対処するには,政府による適切な介入が必要となる.どのような政策介入をすべきかを考える学問である公共経済学の主要トピックについて理論と実証の両面から学習する.	公共システムエリア(2019年度以降入学者),国際・公共システムエリア(2018年度以前入学者) オンライン(対面併用型) 授業実施形態などは変更の可能性があるため、最新のシラバスを確認すること。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH27061	財政学	1	2.0	2 - 4	夏季休業中	集中	釣 雅雄	財政制度、政府支出、租税、財政赤字と政府債務、社会保障、財政政策といった「財政学」の基本テーマについて、理論と制度の両面から講義する。	公共システムエリア(2019年度以降入学者),国際・公共システムエリア(2018年度以前入学者) BB41521と同一。 対面(オンライン併用型)
FH27081	マクロ経済学	1	2.0	2 - 4	秋AB	火1,2	大久保 正勝,チャン ランアンズーン	国内総生産、利子率、成長率などが一国経済の中でどのように決定されるかを考える。また、政府や中央銀行が実施する財政・金融政策がどのように経済活動に影響するかを議論する。	公共システムエリア(2019年度以降入学者)。 オンライン(対面併用型) 2018年度以前入学者はFH63021(専門基礎科目)を履修すること。
FH27091	ネットワーク科学	1	2.0	2 - 4	秋AB	月1,2	佐野 幸恵	社会現象から自然現象まで、あらゆるところに存在する「関係性」を数理的に扱うネットワーク科学を学ぶ。講義では具体例を交えながらPythonを使った実習も行う。	公共システムエリア 対面(オンライン併用型)
FH27101	社会政策	1	2.0	2 - 4	秋AB	火3,4	岡本 翔平	本講義では、労働政策や社会保障といった社会政策について学ぶ。特に、経済学の基本的な考え方を用いて、社会政策が必要とされる理由、効率性や公平性の観点から見たその役割、社会政策の成り立ちや諸制度について、理解を深める。	公共システムエリア 対面

社会工学類(社会経済:戦略行動システムエリア)2019年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH24012	戦略行動システム演習	2	2.0	2 - 4	春AB	火1,2	上市 秀雄	統計分析用プログラムSPSSを利用した統計処理の基本概念と方法を演習を通して習得する。	戦略行動システムエリア 対面(オンライン併用型) 履修希望者が多い場合は、社会工学類3・4年次生を優先する。
FH24021	ゲーム論	1	2.0	2 - 4	秋AB	水1,2	澤 亮治	この講義では、社会を複数の利己的なエージェントから成るシステムと考え、複数の人の意思決定が関わる状況を分析するための数学的及び数理的基礎を学ぶ。	戦略行動システムエリア 対面(オンライン併用型)
FH24031	意思決定論	1	2.0	2 - 4	夏季休業中	集中	藤井 陽一朗	効用モデル、リスク態度、トレード・オフなどの習得を通して、リスク下でののぞましい意思決定について学習する。さらに、社会・経済問題における代表的な対応策である保険を通して、リスク・マネジメントの手法について学習する。	戦略行動システムエリア オンライン(対面併用型)
FH24044	進化ゲーム論	4	2.0	2 - 4	春AB	月5,6	秋山 英三	社会科学に大きな影響を与えたダーウィン進化論と学習理論を概観し,進化ゲーム論の初歩を学ぶ。人間の進化・学習(適応)が身近な社会現象を生み出すメカニズムを,具体例を通して追求する。	戦略行動システムエリア 対面(オンライン併用型)
FH24071	経済行動論	1	2.0	2 - 4	春AB	金3,4	上市 秀雄	人間の経済行動に心理学的な側面からアプローチし,経済行動の理念および経済行動に影響を及ぼす各要因について概観する。	戦略行動システムエリア 対面(オンライン併用型)
FH24101	ミクロ経済学	1	2.0	2 - 4	春AB	火5,6	阿武 秀和	完全競争市場における資源配分に関する講義を行う。	戦略行動システムエリア(2019年度以降入学者)。 対面(オンライン併用型) 対面(オンライン併用型)で行う。確認テストは対面実施予定。 2018年度以前入学者はFH63031(専門基礎科目)を履修すること。
FH24111	実証ミクロ経済学	1	2.0	2 - 4	秋AB	金5,6	作道 真理	ミクロ的な実証分析、及び、政策評価に必要となる技術習得を目標とする。	戦略行動システムエリア オンライン(対面併用型)

社会工学類(社会経済共通)専門科目(その他)2019年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH25011	社会経済特別講義I(社会経済データ分析入門)	1	1.0	2 - 4	春C	集中	坂地 泰紀	社会経済分野の先端的かつ専門的な講義を行う。	オンライン(オンデマンド型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH25031	社会経済特別講義III(脳と社会)	1	1.0	2 - 4	夏季休業中	集中	奥田 次郎	社会経済分野の先端的かつ専門的な講義を行う。	対面
FH25051	国際貿易論	1	2.0	2 - 4				As the economy becomes more globalized, it is becoming necessary to study the basic mechanism of international trade and its impact on welfare. In this course, we first study the concept of comparative advantage and study why countries will be engaged in international trade. Then, we study the impact on welfare by using several models. (The Ricardian, Heckscher-Ohlin and Specific Factor Model). Then, we study the monopoly model and its implication for international trade theory. In addition, we discuss the impact of international factor movement such as immigration and foreign direct investment.	西暦奇数年度開講。 BB41601, BC11411, BE22271と同一。 英語で授業。 対面

社会工学類(経営工学:マネジメントエリア)2019年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH32012	マネジメント演習	2	2.0	2 - 4	秋AB	木3,4	岡田 幸彦,有馬 澄佳	アクセンチュア×筑波大学による、日本初の実課題・実データによる産学連携AI開発演習である。筑波大学は、“サービス工学×AI”の入門支援を行う。ウエルシア薬局は、現実のPOSデータと課題提供を行う。アクセンチュアは、ビジネス・アナリティクスおよびAIデザインの講義・ハンズオンを担当する。受講生は、これらの筑波大学にしかない演習環境下で、ウエルシア薬局をクライアントとする経営支援AI開発と導入提案を行う。	エリア演習。マネジメントエリア。2-4年対象(3年次を推奨) オンライン(対面併用型) 2018年度までの「マネジメント実習」に相当
FH32031	マーケティング	1	2.0	2 - 4	夏季休業中	集中	高橋 一樹,勝又 壮太郎,岡田 幸彦	マーケティングは、経営学の中核領域の1つであり、理論と実践が結び付いて発展してきた。そこで本授業では、伝統的な理論を前半、現代的な実践を後半とし、前半を勝又(大阪大学教授、社会工学類卒)、後半を高橋(電通、社会工学類卒、博士(社会工学))が担当する。	マネジメントエリア 詳細後日周知 対面 2018年度までの「マーケティング工学」に相当。
FH32041	ファイナンス	1	2.0	2 - 4	春AB	木1,2	高野 祐一	ファイナンスに関する重要な内容(財務諸表分析、投資の意思決定法、債券と株式の評価、平均 - 分散ポートフォリオ理論、資本資産評価モデル、資本コストの推定、オプション理論など)を幅広く取り上げて講義する。	マネジメントエリア 対面
FH32081	経営学	1	2.0	2 - 4	秋AB	火3,4	岡田 幸彦	経営(management)の本質は、人を動かすことである。そして経営は、特に商売(business)において欠かせない行為だと考えられてた。さらに、商売を行う営利企業だけでなく、非営利組織、さらには都市・地域や国家等にとっても、経営が重要だと考えられるようになってきた。本授業では、経営に関する王道の理論を習得するとともに、最先端の理論と実務を理解する。これらを通じて、経営の不易流行を理解することを目指す。	マネジメントエリア 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH32091	生産・品質管理	1	2.0	2 - 4	春C	火・金 3,4	有馬 澄佳,石井 善弘	生産・品質管理の概論、需要予測と生産計画、統計的品質管理手法、在庫理論、信頼性工学について解説する。	マネジメントエリア 対面(オンライン併用型) 講義はオンライン(オンデマンド型)、対面を併用。最終発表は対面形式。

社会工学類(経営工学:情報技術エリア)2019年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH33012	情報技術演習	2	2.0	2 - 4				前半の5週はオブジェクト指向プログラミングの入門実習を行う。 後半の5週は経営最適化のためのデータベース技術(RDBとSQL)を演習形式で身につける。	エリア演習。情報技術エリア。 2026年度開講せず。 オンライン(オンデマンド型) オンライン(オンデマンド型)+(同時双方向型)。社会工学類2-4年。2019年度までの「情報技術実験」に相当。
FH33021	計算機科学	1	2.0	2 - 4	秋AB	火5,6	繁野 麻衣子	データ構造とアルゴリズム,計算の複雑性の基礎について学び,コンピュータ・ネットワーク上での応用例を幾つか紹介する.	情報技術エリア 対面
FH33051	シミュレーション	1	2.0	2 - 4				できるだけ少ない実験で偏りのないデータを得るための技術(実験計画法)、および、コンピュータ上で実験するための計算技法(計算機シミュレーション)を学ぶ。	情報技術エリア 2026年度開講せず。 対面
FH33061	情報システム	1	2.0	2 - 4	春AB	月5,6	繆 瑩,フン ドック トゥアン	情報システムの基本構成や形態などについて解説し,情報システムの数理モデル化のための待ち行列理論・確率過程について概説する.モデルの解析結果によりシステム設計の方針を説明する.また,ネットワークセキュリティの脅威と対策,暗号システムと認証方式,鍵管理方式についても解説する。	情報技術エリア 対面
FH33071	データ解析	1	2.0	2 - 4	秋AB	火1,2	黒瀬 雄大,志田 洋平,末重 拓己	統計学の基本的な原理を学習し、データ解析手法の実践をする。また具体的なプログラミングコーディングを通じて、データ解析の練習を行う。	情報技術エリア 対面(オンライン併用型)
FH33081	経営と機械学習	1	2.0	2 - 4	秋AB	木5,6	高野 祐一	経営上のデータ分析で有用な機械学習手法(線形回帰、ロジスティック回帰、主成分分析、クラスター分析、正則化、決定木、サポートベクトルマシン、深層学習、推薦システム、強化学習など)を幅広く取り上げて講義する。	情報技術エリア 対面

社会工学類(経営工学:数理工学モデル化エリア)2019年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH34012	数理工学モデル化演習	2	2.0	2 - 4	春AB	火5,6	繁野 麻衣子,フン ドック トゥアン,大西 正輝,岩永 二郎	数理工学モデル化エリアの各授業において学んだ,様々な工学的なツール(モデル)に関する基礎知識を,問題演習や実習を通して,さらに「使える」知識として定着させることを目標とする。	エリア演習。数理工学モデル化エリア。社会工学類2-4年(3年次履修推奨) 対面 2018年度までの「数理工学モデル化実習」に相当。 履修希望者が多い場合は社会工学類3・4年次生を優先する。
FH34031	数理最適化法	1	2.0	2 - 4	春C	月・木 3,4	吉瀬 章子,繁野 麻衣子,リュウ ティエンシャン	数理計画におけるいくつかのテーマ(線形計画法,非線形計画法,グラフ理論,組み合せ最適化法等)を取り上げ,代表的な算法や基礎的な理論について概説を与える。	対面(オンライン併用型)
FH34081	数理解析	1	2.0	2 - 4	春AB	金3,4	八森 正泰	1年次の微積分および線形代数に接続し、これまでに学習した基礎的な諸概念を振り返るとともに、それらの応用や発展的な話題を紹介する。	数理工学モデル化エリア 対面
FH34091	応用確率論	1	2.0	2 - 4	春AB	木5,6	フン ドック トゥアン	確率論の基礎及びマルコフ連鎖の概略を説明する.確率空間,確率変数,確率分布,条件付き確率,期待値,条件付き期待値,同時確率分布,確率変数の収束,大数の法則,中心極限定理,マルコフ連鎖等を説明する予定である.	数理工学モデル化エリア 対面(オンライン併用型)
FH34101	数理統計学	1	2.0	2 - 4	秋AB	金1,2	イリチュ 美佳	多変量データを素材とした数理統計学の基礎的知識とそれに基づいた応用や適用手法について学ぶ。	数理工学モデル化エリア 対面(オンライン併用型) オンライン(オンデマンド型)+(同時双方向型)+対面。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH34111	離散数学	1	2.0	2 - 4	春AB	木3,4	繆 瑩,八森 正泰	社会工学における種々の離散的なシステムのモデル化や解析、および、情報処理技術の基礎となる、離散数学・組合せ論の入門・概説的な講義を行う。	数理工学モデル化エリア 対面

社会工学類(経営工学共通)2019年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH35012	問題発見と解決	2	2.0	3・4	秋BC	金5,6	吉瀬 章子,高野 祐一	経営工学専攻で学んだ基礎知識を用いて,自らテーマを設定し,モデル化,ソリューションの導出,ソリューションの検討からなる一連のプロセスを経験するとともに,ディスカッションとプレゼンテーションのトレーニングを行う。学外への視野を広げるため,社会で活躍する方々を招いての事例講義や他大学の学生による交流発表会も予定している。	必修科目(経営工学主専攻) CDP オンライン(同時双方向型) 2018年度までのFH35013に相当。

社会工学類(都市計画:環境とまちづくりエリア)2019年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH46002	住環境設計演習	2	6.0	3・4	春ABC	金3-6	山本 幸子,藤井 さやか,渡辺 俊,藤川 昌樹,雨宮 護,今井 信博,中津 秀之,神田 信孝	都市・建築空間の設計能力向上を目指す演習である。2年次までに開講された設計関連科目(都市計画情報演習,基本製図)を受講した学生が,これまでに習得した基本製図における基礎手法を用い,戸建木造住宅及び集合住宅の設計方法・設計技術を身につける。	エリア演習。環境とまちづくりエリア。原則として「基本製図」既修得者に限る。 対面(オンライン併用型) FH46012またはFH46013の既修得者の履修不可。 2022年度以前入学者はFH45182及びFH46012を履修すること。 履修希望者が多い場合は社会工学類3・4年次生を優先する。
FH46012	住環境計画演習	2	4.0	3・4	春BC	金3-6	藤井 さやか,渡辺 俊,藤川 昌樹,雨宮 護,山本 幸子,神田 信孝,今井 信博,中津 秀之	都市・建築空間の設計能力向上を目指す演習である。2年次までに開講された設計関連科目(基本製図,設計演習I)を受講した学生が,これまでに習得した設計製図における基礎手法を用い,集合住宅の設計方法と設計技術を身につける。	エリア演習。環境とまちづくりエリア。原則として「設計演習I」既修得者に限る。 対面(オンライン併用型) FH46013の既修得者の履修不可。2018年度以前入学者に対してはFH46013に読み替える。 2023年度以降入学者はFH46002を履修すること。 履修希望者が多い場合は社会工学類3・4年次生を優先する。
FH46021	住環境計画概論	1	2.0	2 - 4	春AB	木3,4	雨宮 護,山本 幸子	最も身近な建築である住まいは、建築の基本であると同時に、都市をつくる重要な構成要素でもある。本講義では、日本における住まいの歴史、戦後の社会状況・ライフスタイルの変化が都市・農村の住宅や居住環境に与えた影響と今日的課題について解説する。さらに少子高齢・人口減少の進行とグローバル化の進展、ストック活用型社会におけるこれからの住まいづくり、まちづくりについて考える。	環境とまちづくりエリア。 BC12551と同一。 対面(オンライン併用型) 対面を基本とする。
FH46031	空間デザイン論	1	2.0	2 - 4	秋AB	金1,2	渡辺 俊	建築・都市デザインの潮流を概説するとともに,魅力的な空間を創出するための様々なヴォキャブラリーを紹介する。次に,それらの機能的構成と建築基準法(単体規定)等の建築関連規定について説明する。また,デザイン課題を通して空間設計に必要な基礎的素養を習得する。	環境とまちづくりエリア。 対面 状況によってオンラインに変更する。 住環境計画演習に向けた内容の講義であり,2年次での履修を強く推奨する。 2018年度までの「都市空間の計画とデザイン」に相当。
FH46041	都市緑地計画	1	2.0	2 - 4	秋AB	月1,2	村上 暁信	自然環境や歴史資源,オープンスペース等の保全を基調とした都市・地域計画のあり方について,その歴史的展開や現代的課題,将来方向を,具体例を交えながら体系的に論ずる。	環境とまちづくりエリア。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH46051	現代まちづくり論	1	2.0	2 - 4	春AB	木5,6	藤川 昌樹,有田 智一,藤井 さやか,雨宮 護,村上 暁信,梅本 通孝,飛田 幹男,高山 範理,宮 江介,三牧 浩也	現代のまちづくりの理論的背景として,20世紀の計画理論を批判的に振り返り,計画プロセス,参加,計画行政及び計画手法,計画法規等について論じる。さらに,現代まちづくりの実践がどのような形で展開されているか,中心市街地や都市と農村の混在混住地域の再生,持続可能な環境共生型まちづくり,等のトピックを取り上げて解説する。	環境とまちづくりエリア。 対面 2年次履修推奨科目(都市計画主専攻)。 2018年度までの「現代まちづくりの理論と実践」に相当。
FH46061	都市文化共生計画	1	2.0	1 - 3	秋AB	火1,2	松原 康介	現代は多文化共生の時代である。今後の都市空間は、日本文化、欧米文化だけでなく、中国、韓国、インド、イスラームといった、アジアの諸文化との共生が求められる。本講義の前半では、一見複雑で無秩序に見えるアジア諸国の都市空間の構成を、歴史と現地映像から読み解いていく。後半では、現代におけるアジア的空間の非アジア都市への伝播の実態を踏まえて、多文化共生の都市計画に必要なアイディアや方法とは何かを考えていく。	BC12541と同一。 対面(オンライン併用型) 履修者上限90名 1~3年次生のみ受講可

社会工学類(都市計画:都市構造・社会基盤エリア)2019年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH47012	都市計画マスタープラン演習	2	6.0	3・4	秋ABC	金3-6	岡本 直久,有田 智一,堤 盛人,村上 暁信,木下 陽平,山崎 清,近藤 美則,石井 儀光,浦田 淳司	土浦市を含む茨城県南地域を対象とし,交通予測・土地利用予測ソフトウェアを利用し,地理情報システム(GIS)等を用いた資料作成やプレゼンテーションを通して,都市計画マスタープランや市町村総合計画の策定過程を習得する。最終発表会を土浦市で開催する。	エリア演習。都市構造・社会基盤エリア。 対面 2020年度までにFH47013を修得したものの履修不可。2018年度以前入学者に対してはFH47013に読み替える。 履修希望者が多い場合は社会工学類3・4年次生を優先する。
FH47021	土地利用計画	1	2.0	3・4	春AB	月5,6	藤井 さやか	都市地域における土地利用計画を中心に,国・地域レベルから地区レベルまでの土地利用計画の形態,目的,機能を概説するとともに,地区レベルの市街地整備方策として,都市計画の方法としての地区計画や建築基準法(集団規定)等の法規について基本的な知識を学ぶ。	都市構造・社会基盤エリア。 対面(オンライン併用型) 2018年度までの「土地利用・地区整備計画」に相当。1・2年次での履修不可。
FH47034	都市環境評価論	4	2.0	2 - 4	春AB	水1,2	甲斐田 直子,木下 陽平	良好で快適かつ安全・安心な都市環境を維持、実現するためには、都市の環境を理解することが必要である。本授業では、都市の水環境、気候、土地利用と生態系、生活およびライフスタイルの基礎知識と都市環境を定量的に計測・評価する手法(アセスメント手法等)について概説する。最終週では総合討論を行い、地球環境問題と都市環境問題との関連性について理解を深める。本講義を通じて、環境と調和した都市像を考えて欲しい。	都市構造・社会基盤エリア。 対面(オンライン併用型)
FH47041	都市防災計画	1	2.0	3・4	秋AB	火5,6	梅本 通孝	都市災害の特徴を分析した上で,都市における各種災害の発生・拡大メカニズム,予測手法について事例を踏まえて示し,これらの防止対策及び都市防災計画の立案手法を都市計画との関連で解説する。	都市構造・社会基盤エリア。 対面 確認テストは対面実施予定。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH47051	交通計画	1	2.0	2 - 4	春AB	火3,4	岡本 直久,谷口 綾子,和田 健太郎	交通計画を立案・策定するための能力としての需要予測,ネットワーク解析,費用対効果分析,交通事故分析のための技術力を習得するとともに,モビリティ・マネジメント,観光計画,公共交通計画など,政策の今日的課題について論ずる。	対面(オンライン併用型) 確認テストは対面実施予定。2018年度までの「交通運輸政策」に相当。

社会工学類(都市計画:地域科学エリア)2019年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH48002	都市・地域科学演習	2	3.0	3・4	春ABC	火5,6	太田 充,梅本 通孝,牛島 光一	都市・地域・環境経済学的な手法・テーマ・データで実証分析を行い,政策的な課題を分析する視点・手法を修得する。	エリア演習。地域科学エリア。 対面(オンライン併用型) 2020年度までにFH48012を修得したものの履修不可。2018年度以前入学者に対してはFH48012に読み替える。 履修希望者が多い場合は社会工学類3・4年次生を優先する。
FH48021	都市経済学	1	2.0	2 - 4	秋AB	木1,2	太田 充,牛島 光一	都市経済学と立地論の分析手法の基礎を習得し、都市・地域・国際交易に関する政策についての知識を学ぶ。	地域科学エリア。 BB41441, BC12701と同一。 G科目 対面(オンライン併用型) 確認テストは対面実施予定。
FH48031	地域経営・行政論	1	2.0	2 - 4	秋AB	水1,2	有田 智一	公共政策のあり方及びその担い手の変化に係る近年の新たな世界的潮流及び欧米諸国との比較を踏まえつつ、国土計画、住宅・都市地域政策の事例を通して、公共政策の決定・実施・評価及び今後の都市・地域再生のあり方について議論できる能力を習得する。	地域科学エリア。 オンライン(対面併用型) オンデマンド+一部対面。2年次履修推奨科目(都市計画主専攻)。 2018年度までの「都市と地域の経営・行政論」に相当。
FH48041	政策・公共事業評価	1	2.0	2 - 4	春AB	火1,2	堤 盛人	この講義では、都市・地域・国土を対象とした政策・施策・事業を念頭に、政策評価の現状について説明するとともに、社会資本整備プロジェクトを対象に関する経済分析(費用便益分析)・財務分析・プロジェクトに関する金融について説明する。	地域科学エリア 対面での講義。 確認テストは第10回講義の日に実施。 2018年度までの「都市・地域・国土の政策評価」に相当。
FH48051	都市解析	1	2.0	2 - 4	秋AB	木3,4	鈴木 勉,石井 儀光,嚴 先鏞,大澤 義明	都市をある視点から抽象化すると,点や線や面の織りなすパターンとみなすことができる。そこで,都市機能の面から,これらのパターンを分析する場合の数理的基礎について論ずる。	地域科学エリア。 対面(オンライン併用型)
FH48061	環境政策論	1	2.0	2 - 4	秋AB	火3,4	奥島 真一郎	本科目では、主に経済学的な観点から、環境保全のための政策手段やその評価手法について考察する。加えて、様々な価値観、ディシプリンと政策インプリケーションとの関係について考察し、「環境問題」や「環境政策」に対する多様な視点を涵養する。また、地球温暖化問題や廃棄物問題など具体的な環境問題についての理解を深める。	国際総合学類開講、社会工学類共通科目。 BC12571と同一。 対面(オンライン併用型) 国際開発学主専攻専門科目。社会工学類学生の取り扱い:地域科学エリア。

社会工学類(都市計画共通)2019年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH45013	都市計画インターンシップ	3	2.0	3・4	通年	応談	谷口 綾子,和田 健太郎	都市計画と関連のある官公庁,研究所,企業,非営利団体などで研修を行い,実践的な問題発見と解決能力を身につける。	都市計画共通。必修科目(都市計画主専攻;2018年度以前入学者)。 CDP 対面(オンライン併用型) 社会工学類3・4年次生を優先する。インターンシップは夏季休業中に行う。
FH45051	建築関連法規	1	1.0	2 - 4	秋B	集中	飯田 直彦,五條 渉,石﨑 和志	建築基準法を主体に、都市計画・土地利用関係法令、建設事業関係法令など、建築全般に関する法令を、実例を引用して具体的に講義することにより、法令の基礎的な仕組みを理解する。	都市計画共通。 対面
FH45061	建築経済	1	1.0	2 - 4	秋A	集中	田村 篤	建築活動の経済的側面と建築のライフサイクル,建築の管理に関わる基礎知識を習得する。	都市計画共通。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH45071	建築生産	1	1.0	2 - 4	秋AB	集中	川上 敏男,藤川 昌樹	建築生産の概要について演習・現場をまじえながら理解し,その基礎習得を目指す学生向きの講義である。集中講義ではあるが,見学をふくめ現場での実際のものつくりを建築施工の工程をふまえながら、体感することに取り組む。	都市計画共通。 対面
FH45081	都市計画の思想史	1	2.0	1 - 3	春C	火・木 1,2	松原 康介	都市計画を学ぶこととは、一義的には都市を制御するための技術を習得し職能として身に着けることを意味するが、その成立の背景で積み重ねられてきた多くの試行錯誤の歴史を知ることは、都市計画と人間の関わりのあり方を客観的にとらえ、技術と倫理の関わり方を考える力を養うことにつながる。本講義では、都市計画の基礎的なトピックを対象に、その成立に関わった人々の考え方や言葉を「しつこく丁寧に掘り下げて」議論する。テキストや写真、図面など、できるだけ多くの生資料に触れて頂く。 国際の学生にとっては、世界史もふまえた広い切り口からの都市計画への入門講座として位置付けられる。また、社工生にとっては、普段学んでいる技術としての都市計画の成立の背景に、どんな人々のどのような考え方が潜んでいたのかを再認識する機会として頂きたい(もちろん、他学類の学生も歓迎します)。	BC12751と同一。 対面(オンライン併用型)
FH45092	施設設計演習	2	2.0	3・4	秋AB	月5,6	渡辺 俊,張 昊,松林 道雄,雨宮 護	空間の設計能力向上を目指す建築設計製図演習である。2-3年次に「基本製図」及び「住環境設計演習(住環境計画演習)」等を受講した学生が、これまでに習得した設計製図における基礎手法を踏まえて、先進的な情報処理技術による高度な設計方法を身に着けることを目標とする。	都市計画共通。 対面 状況によってオンラインに変更する。 履修者は建築設計製図の基礎を習得していること。 2022年度までの「設計演習II」に相当。
FH45122	都市計画演習	2	4.0	2	秋AB	月3-6	甲斐田 直子,鈴木 勉,谷口 綾子,松原 康介,和田 健太郎,長崎 滉大	(社会工学類・国際総合学類共通)「変貌するつくば市の現状と問題点,将来を探る」という課題のもと,現地調査を通して都市地域の空間を実際に体験するとともに,基礎資料の収集・解析によって地域特性を把握し,その地域における都市・地域計画上の課題を自ら発見提示し,問題解決の方法や考え方の基礎を体験的に習得することを目的とする.具体的には,担当教員毎に課題の領域が設定されるので,それぞれの課題領域で班を構成し,教員の指導を受けながら,現地調査や資料調査,データ解析,関係者との討論等を通じて,計画課題の発見と問題解決に資する提案を行う実践的能力を習得する.	必修科目(都市計画主専攻)。都市計画共通。 BC12712と同一。 対面(オンライン併用型) 教室:3E403、 3C40520 20年度までにFH45123を修得したものの履修不可。2018年度以前入学者に対してはFH45123に読み替える。履修希望者が多い場合は社会工学類2~4年次生及び国際総合学類3・4年次生を優先する。「データ・AI 活用 企画・実施・評価」に資する内容である。
FH45135	都市計画事例講義	5	3.0	2 - 4	春C秋A 秋AB	集中 木5,6	雨宮 護,藤井 さやか,梅本 通孝,岡本 直久	都市計画に関連する実際の事業や業務の実態に触れるため、卒業生や実務家が関わった多様な都市計画やまちづくりの事例等を取り上げ,実社会における都市計画業務の プロセスや手法を理解し、必要な見識と成功する条件等について議論する。	都市計画共通。見学を3回程度集中で夏季休業中および秋学期中に行う。 対面(オンライン併用型) 対面+オンライン(同時双方向型)。2018年度までの「都市計画事例講義および実習」に相当。社会工学類3・4年次生を優先する。
FH45142	基本製図	2	1.0	2	秋C	火3,4	山本 幸子	社会工学類都市計画主専攻において,都市・建築空間の設計能力向上を目指す学生向けの演習である。住宅の設計に必要な建築の基本図面(配置図,平面図,断面図,立面図等)の描き方と関連する基礎知識を習得する。	都市計画共通。 対面 原則として「都市計画情報演習」既修得者に限る。
FH45182	設計演習I	2	2.0	3・4	春A	金3-6	山本 幸子,藤川 昌樹,渡辺 俊,藤井 さやか,雨宮 護,今井 信博	社会工学類都市計画主専攻において、都市・建築空間の設計能力向上を目指す学生向けの演習である。木造住宅の設計を通して木造建築の基礎を習得し、住宅の計画・建築設計の基礎知識と技術を身につける。	都市計画共通。 対面 原則として「基本製図」既修得者に限る。 2023年度以降入学者はFH46002を履修すること。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH45201	都市計画原論	1	2.0	2 - 4	春AB	月1,2	谷口 守	我々が暮らす都市はどのように形成されたのだろうか。また、そこに存在する様々な問題はどのように解決していけばよいのだろうか。本講義は都市のなりたちとその課題、都市を構成するインフラや建築物、およびその計画の方法や将来展開について、国内外の多様な事例をひもとく事を通じ、本分野の入門として幅広い知識と知恵を身につけることを目的とする。	都市計画共通。 BC12721と同一。 対面 2年次履修推奨科目(都市計画主専攻)。 2019年度までにFH63071を修得したものの履修不可。 2018年度以前入学者はFH63071の履修に代えることができる。
FH45211	都市計画の歴史	1	2.0	2 - 4	春AB	木1,2	藤川 昌樹	古代から現代に至る都市・建築の歴史を概説し,各時代の空間の特色と政治・経済・社会・技術的背景との関連について考察を進める。また、現代に残された歴史的環境を保存するための制度・事例についても論述する。	都市計画共通。 BC12831と同一。 対面 2年次履修推奨科目(都市計画主専攻)。 2019年度までにFH63081を修得したものの履修不可。 2018年度以前入学者はFH63081の履修に代えることができる。
FH45222	都市計画情報演習	2	3.0	2	秋AB	火3-5	渡辺 俊,雨宮 護	都市計画・建築計画を考える上で不可欠な空間的に広がりのある情報(地図・図面など)をコンピュータを用いて作成・分析するための基礎的な方法について、専門的アプリケーション(CAD・GIS)を利用した課題を通じて修得する。	都市計画共通。必修科目(2019年度以降入学者:都市計画主専攻)。 対面 2年次履修推奨科目(都市計画主専攻)。1年次生は履修不可。 2019年度までにFH62033を修得したものの履修不可。2018年度以前入学者に対してはFH62033に読み替える。 履修希望者が多い場合は社会工学類2~4年次生を優先する。

社会工学類共通:卒業研究 2019年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH11918	卒業研究A	8	4.0	4	春学期	応談	社会工学類各教員	指導教員の指導のもとに、学類でのまとめとなる研究を行う。研究の基本的習慣を学ぶとともに、テーマを決め、研究に着手する。	必修科目。 対面
FH11928	卒業研究B	8	4.0	4	秋学期	応談	社会工学類各教員	指導教員の指導のもとに、学類でのまとめとなる研究を行う。テーマに沿って研究を実施する。研究成果を論文にまとめ、発表を行う。	必修科目。 対面
FH11988	早期卒業研究	8	4.0	3	通年	応談	社会工学類各教員	指導教員の指導の下に早期卒業の該当者が研究を行い、研究成果を論文にまとめ、発表を行う。	対面

社会工学類(その他) (JTP学生のみ対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH00048	特別研究A	8	3.0	1 - 4	春学期	応談	社会工学類各教員	The students will do their own research under supervision of faculty members.	短期留学生のみ対象 英語で授業。 対面
FH00058	特別研究B	8	3.0	1 - 4	秋学期	応談	社会工学類各教員	The students will do their own research under supervision of faculty members.	短期留学生のみ対象 英語で授業。 対面

社会工学類共通:専門基礎科目(必修・選択) 2018年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH60013	社会工学実習	3	2.0	1	春ABC	金4-6		社会工学を体系として,方法,手法,応用の3種類にわたって概観し,社会工学の基本概念を明らかにする。具体的事例により,社会工学的問題解決についての手法の初歩を学習する。	必修科目(2018年度以前入学者)。 CDP
FH60214	情報リテラシー・演習	4	2.0	1	春AB	木1,2		計算機の基礎理論の入門的講義、および、計算機の基本的な使い方に関する演習を行う。	必修科目(2018年度以前入学者)。 2018年度以前入学者は、共通(情報)の「情報リテラシー(講義)」「情報リテラシー(演習)」を併せて履修することで本科目の履修に代えることができる。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH60511	微積分I	1	2.0	1・2	春AB	火2 木1		微積分の基礎になる$\varepsilon-\delta$論法を使い,数列の収束や関数の連続性などを教える。また1変数の微分と積分について教える。	選択必修科目(2018年度以前入学者)。 2018年度以前入学者は、「数学リテラシー2(FA01251,FA01261)」「微積分1(FA01351,FA01361)」を併せて履修することで本科目の履修に代えることができる。
FH60541	微積分II	1	2.0	1・2	秋AB	火2 木1		多変数の関数の微分と積分、その応用について学ぶ。具体的には、偏微分、全微分、高次偏導関数、テイラーの定理、極値問題、陰関数定理、重積分、累次積分、広義重積分、変数変換。	選択必修科目(2018年度以前入学者)。 2018年度以前入学者は、「微積分2(FA01451,FA01461)」「微積分3(FA01551,FA01561)」を併せて履修することで本科目の履修に代えることができる。
FH60611	線形代数I	1	2.0	1・2	春AB	火・金1		具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する。内容は,1.行列とベクトル,2.連立方程式の解法,3.行列式。	選択必修科目(2018年度以前入学者)。 2018年度以前入学者は、「数学リテラシー1(FA01151,FA01161)」「線形代数1(FA01651,FA01661)」を併せて履修することで本科目の履修に代えることができる。
FH60641	線形代数II	1	2.0	1・2	秋AB	火・金1		具体例を用いて,線形代数の抽象的な概念を理解する。内容は,1.線形空間,2.線形写像,3.固有値・固有ベクトル,4.さまざまな応用。	選択必修科目(2018年度以前入学者)。 2018年度以前入学者は、「線形代数2(FA01751,FA01761)」「線形代数3(FA01851,FA01861)」を併せて履修することで本科目の履修に代えることができる。
FH60711	統計I	1	2.0	1・2	春AB	火・木4		データを分析する上での具体的な手法やモデル,その応用について講義する。内容は,データの整理,確率の基本的考え方,確率変数,分布関数・密度関数,標本分布,母数の推定,仮説検定。	選択必修科目(2018年度以前入学者)。 2018年度以前入学者は、「統計学(FH60811,FH60821,FH60831,FH60841)」の履修により、本科目の履修に代えることができる。
FH60741	統計II	1	2.0	1・2	秋AB	火・木4		データを分析する上での具体的な手法やモデル,その応用について講義する。	選択必修科目(2018年度以前入学者)。 2018年度以前入学者は、「計量経済学(FH26021)」または「データ解析(FH33071)」の履修により、本科目の履修に代えることができる。代えた科目は専門科目としてはカウントされないので注意すること。
FH62012	社会経済システム情報演習	2	2.0	2	秋AB	木5,6			必修科目(2018年度以前入学者:社会経済システム主専攻)，選択必修科目(2018年度以前入学者:都市計画主専攻)。 2018年度以前入学者は、「計量分析システム演習(FH26012)」または「公共システム演習(FH27012)」または「戦略行動システム演習(FH24012)」の履修により、本科目の履修に代えることができる。代えた科目は専門科目としてはカウントされないので注意すること。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH62033	都市計画情報実習	3	2.0	2	秋AB	火3-5		都市計画・建築計画を考える上で不可欠な空間的に広がりのある情報(地図・図面など)をコンピュータを用いて作成・分析するための基礎的な方法について、専門的アプリケーション(CAD・GIS)を利用した課題を通じて修得する。	選択必修科目(2018年度以前入学者:都市計画主専攻)。 対面 1年次生は履修不可。 2018年度以前入学者はFH45222の履修により本科目の履修に代えることができる。
FH63021	マクロ経済学	1	2.0	1・2	秋AB	火1,2	大久保 正勝, チャン ランアンズーン	国内総生産、利子率、成長率などが一国経済の中でどのように決定されるかを考える。また、政府や中央銀行が実施する財政・金融政策がどのように経済活動に影響するかを議論する。	選択必修科目(2018年度以前入学者)。 オンライン(対面併用型) 2019年度以降入学者はFH27081(専門科目:公共システムエリア)を履修すること。
FH63031	ミクロ経済学	1	2.0	1・2	春AB	火5,6	阿武 秀和	完全競争市場における資源配分に関する講義を行う。	選択必修科目(2018年度以前入学者)。 対面(オンライン併用型) 確認テストは対面試験予定。2019年度以降入学者はFH24101(専門科目:戦略行動システムエリア)を履修すること。
FH63041	経営工学概論	1	2.0	1・2	秋A	応談	繁野 麻衣子	社会工学類の1・2年生を対象に初級レベルの経営工学を講義を行う。経営工学の100キーワードとして選び出された経営工学の基本的概念やコンセプトを学ぶ。	社会工学類生に限る。本科目の履修が必要な場合は、秋Aモジュール開始前までに担当教員に事前に相談すること。 オンライン(対面併用型) 選択必修科目(2018年度以前入学者)。
FH63051	会計学概論	1	2.0	1・2	春AB	応談		前半は,日商簿記検定3級レベルの記帳技術を体得する.後半は,企業会計の全体像を理解する.大手監査法人のご協力のもと,公認会計士の重要な社会的役割についても理解を深める.	オンライン(オンデマンド型) 選択必修科目。2018年度以前入学者は、「会計と経営(FH61131)」「会計学概論別講(FH63251)」を併せて履修することで本科目の履修に代えることができる。
FH63071	都市計画原論	1	2.0	1・2	春AB	月1,2		我々が暮らす都市はどのように形成されたのだろうか。また、そこに存在する様々な問題はどのように解決していけばよいのだろうか。本講義は都市のなりたちとその課題、都市を構成するインフラや建築物、およびその計画の方法や将来展開について、国内外の多様な事例をひもとく事を通じ、本分野の入門として幅広い知識と知恵を身につけることを目的とする。	選択必修科目(2018年度以前入学者)。 2019年度以降入学者はFH45201(都市計画共通)を履修すること。
FH63081	都市計画の歴史	1	2.0	1・2	春AB	木1,2		古代から現代に至る都市・建築の歴史を概説し,各時代の空間の特色と政治・経済・社会・技術的背景との関連について考察を進める。また、現代に残された歴史的環境を保存するための制度・事例についても論述する。	選択必修科目(2018年度以前入学者)。 対面 2018年度以前入学者はFH45211の履修により本科目の履修に代えることができる。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH63251	会計学概論別講	1	1.0	1	春A	応談	岡田 幸彦	会計学に関する概論的授業を行う	対面

社会工学類共通:専門科目　2018年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH11021	社工専門英語	1	1.0	2	秋AB	金3,4	金澤 輝代士	経営工学分野の基礎的概念を英語で学ぶ。	必修科目(2018年度以前入学者)。経営工学主専攻学生に限る。 対面(オンライン併用型) 2019年度以降入学者は履修不可。

社会工学類(社会経済:計量分析システムエリア) 2018年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH26012	計量分析システム演習	2	2.0	2 - 4	春AB	金1,2	チャン ランアンズーン,小西 葉子	数値計算手法とその経済学への応用を学ぶ。また、実証分析に必要なデータビジュアライゼーション、統計学、計量経済学の手法も学ぶ。	エリア演習。計量分析システムエリア。 オンライン(対面併用型) 確認テストとフィードバックは対面実施予定。 履修希望者が多い場合は社会工学類3・4年次生を優先する。
FH26021	計量経済学	1	2.0	2 - 4	春AB	水1,2	髙橋 裕紀	計量経済学の基礎となる回帰分析の理論を講義する。統計学(統計的推定・仮説検定)・微分積分学(偏微分)などの知識を前提とする。	計量分析システムエリア BB41341と同一。 対面(オンライン併用型)
FH26031	マクロ計量分析	1	2.0	2 - 4	秋AB	木1,2	大久保 正勝	経済時系列データの分析に必要な計量経済学の方法を解説する。また、必要に応じてマクロ経済や金融分析への応用例を紹介する。	計量分析システムエリア オンライン(対面併用型)
FH26041	金融論	1	2.0	2 - 4	秋AB	木3,4	原田 信行	ミクロ・マクロ経済学という分析手段を使って、金融システムを理論的・実証的に分析することで、経済における金融および金融政策の役割を考察する。	計量分析システムエリア 対面
FH26061	計量時系列分析	1	2.0	2 - 4	春AB	火3,4	三崎 広海	実証分析で使用する時系列解析の諸手法を概説すると共に、統計ソフトウェアを用いたデータ解析を通じて具体的な適用方法を習得する。	計量分析システムエリア 対面(オンライン併用型)
FH26071	日本経済論	1	2.0	2 - 4	春BC	集中	高安 雄一	様々な経済指標を通じて日本経済の現状および課題について理解を深める。	計量分析システムエリア オンライン(オンデマンド型)

社会工学類(社会経済:国際・公共システムエリア) 2018年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH27012	公共システム演習	2	2.0	2 - 4	秋AB	火5,6	作道 真理	公共経済学分野の実証研究でよく用いられる手法を学び、社会経済的な現象を実際のデータおよびコンピュータを用いて分析する。	エリア演習。公共システムエリア(2019年度以降入学者),国際・公共システムエリア(2018年度以前入学者)。2018年度までの「国際・公共システム演習」に相当。 オンライン(同時双方向型) 履修希望者が多い場合は社会工学類3・4年次生を優先する。
FH27031	国際金融論	1	2.0	2 - 4	春AB	木3,4	チャン ランアンズーン	本授業では、国際金融の理解に不可欠な基本知識である国民経済計算や国際収支会計などをはじめに学習し、その上で分析の鍵となる為替市場と金融市場との関係について学習する。そして短期・長期の為替レートの決定要因、国際金融と財政・金融政策の相互作用のメカニズムについて理解を深める。	公共システムエリア(2019年度以降入学者),国際・公共システムエリア(2018年度以前入学者) BC11431と同一。 オンライン(対面併用型)
FH27051	公共経済学	1	2.0	2 - 4	夏季休業中	集中	岸下 大樹	環境問題・公共財の過小供給や格差・不平等の存在といった市場の機能不全に対処するには,政府による適切な介入が必要となる.どのような政策介入をすべきかを考える学問である公共経済学の主要トピックについて理論と実証の両面から学習する.	公共システムエリア(2019年度以降入学者),国際・公共システムエリア(2018年度以前入学者) オンライン(対面併用型) 授業実施形態などは変更の可能性があるため、最新のシラバスを確認すること。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH27061	財政学	1	2.0	2 - 4	夏季休業中	集中	釣 雅雄	財政制度、政府支出、租税、財政赤字と政府債務、社会保障、財政政策といった「財政学」の基本テーマについて、理論と制度の両面から講義する。	公共システムエリア(2019年度以降入学者),国際・公共システムエリア(2018年度以前入学者) BB41521と同一。 対面(オンライン併用型)
FH27091	ネットワーク科学	1	2.0	2 - 4	秋AB	月1,2	佐野 幸恵	社会現象から自然現象まで、あらゆるところに存在する「関係性」を数理的に扱うネットワーク科学を学ぶ。講義では具体例を交えながらPythonを使った実習も行う。	公共システムエリア 対面(オンライン併用型)
FH27101	社会政策	1	2.0	2 - 4	秋AB	火3,4	岡本 翔平	本講義では、労働政策や社会保障といった社会政策について学ぶ。特に、経済学の基本的な考え方を用いて、社会政策が必要とされる理由、効率性や公平性の観点から見たその役割、社会政策の成り立ちや諸制度について、理解を深める。	公共システムエリア 対面

社会工学類(社会経済:戦略行動システムエリア) 2018年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH24012	戦略行動システム演習	2	2.0	2 - 4	春AB	火1,2	上市 秀雄	統計分析用プログラムSPSSを利用した統計処理の基本概念と方法を演習を通して習得する。	戦略行動システムエリア 対面(オンライン併用型) 履修希望者が多い場合は、社会工学類3・4年次生を優先する。
FH24021	ゲーム論	1	2.0	2 - 4	秋AB	水1,2	澤 亮治	この講義では、社会を複数の利己的なエージェントから成るシステムと考え、複数の人の意思決定が関わる状況を分析するための数学的及び数理的基礎を学ぶ。	戦略行動システムエリア 対面(オンライン併用型)
FH24031	意思決定論	1	2.0	2 - 4	夏季休業中	集中	藤井 陽一朗	効用モデル、リスク態度、トレード・オフなどの習得を通して、リスク下でののぞましい意思決定について学習する。さらに、社会・経済問題における代表的な対応策である保険を通して、リスク・マネジメントの手法について学習する。	戦略行動システムエリア オンライン(対面併用型)
FH24044	進化ゲーム論	4	2.0	2 - 4	春AB	月5,6	秋山 英三	社会科学に大きな影響を与えたダーウィン進化論と学習理論を概観し,進化ゲーム論の初歩を学ぶ。人間の進化・学習(適応)が身近な社会現象を生み出すメカニズムを,具体例を通して追求する。	戦略行動システムエリア 対面(オンライン併用型)
FH24071	経済行動論	1	2.0	2 - 4	春AB	金3,4	上市 秀雄	人間の経済行動に心理学的な側面からアプローチし,経済行動の理念および経済行動に影響を及ぼす各要因について概観する。	戦略行動システムエリア 対面(オンライン併用型)
FH24111	実証ミクロ経済学	1	2.0	2 - 4	秋AB	金5,6	作道 真理	ミクロ的な実証分析、及び、政策評価に必要となる技術習得を目標とする。	戦略行動システムエリア オンライン(対面併用型)

社会工学類(社会経済)専門科目(自由) 2018年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH25011	社会経済特別講義I(社会経済データ分析入門)	1	1.0	2 - 4	春C	集中	坂地 泰紀	社会経済分野の先端的かつ専門的な講義を行う。	オンライン(オンデマンド型)
FH25031	社会経済特別講義III(脳と社会)	1	1.0	2 - 4	夏季休業中	集中	奥田 次郎	社会経済分野の先端的かつ専門的な講義を行う。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH25051	国際貿易論	1	2.0	2 - 4				As the economy becomes more globalized, it is becoming necessary to study the basic mechanism of international trade and its impact on welfare. In this course, we first study the concept of comparative advantage and study why countries will be engaged in international trade. Then, we study the impact on welfare by using several models. (The Ricardian, Heckscher-Ohlin and Specific Factor Model). Then, we study the monopoly model and its implication for international trade theory. In addition, we discuss the impact of international factor movement such as immigration and foreign direct investment.	西暦奇数年度開講。 BB41601, BC11411, BE22271と同一。 英語で授業。 対面

社会工学類(経営工学:マネジメントエリア) 2018年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH32013	マネジメント実習	3	2.0	2 - 4	秋AB	木4-6		経営戦略,管理会計,マーケティングなどについて総合的な理解を深めるため,チーム作業によって,特定の課題解決を想定した実習を行う。	エリア実習。マネジメントエリア。 オンライン(対面併用型) 社会工学類2-4年(3年次履修推奨)。2018年度以前入学の未履修者は「マネジメント演習(FH32012)」を履修すること。
FH32031	マーケティング	1	2.0	2 - 4	夏季休業中	集中	高橋 一樹,勝又壮太郎,岡田 幸彦	マーケティングは、経営学の中核領域の1つであり、理論と実践が結び付いて発展してきた。そこで本授業では、伝統的な理論を前半、現代的な実践を後半とし、前半を勝又(大阪大学教授、社会工学類卒)、後半を高橋(電通、社会工学類卒、博士(社会工学))が担当する。	マネジメントエリア 詳細後日周知 対面 2018年度までの「マーケティング工学」に相当。
FH32041	ファイナンス	1	2.0	2 - 4	春AB	木1,2	高野 祐一	ファイナンスに関する重要な内容(財務諸表分析、投資の意思決定法、債券と株式の評価、平均 - 分散ポートフォリオ理論、資本資産評価モデル、資本コストの推定、オプション理論など)を幅広く取り上げて講義する。	マネジメントエリア 対面
FH32081	経営学	1	2.0	2 - 4	秋AB	火3,4	岡田 幸彦	経営(management)の本質は、人を動かすことである。そして経営は、特に商売(business)において欠かせない行為だと考えられてた。さらに、商売を行う営利企業だけでなく、非営利組織、さらには都市・地域や国家等にとっても、経営が重要だと考えられるようになってきた。本授業では、経営に関する王道の理論を習得するとともに、最先端の理論と実務を理解する。これらを通じて、経営の不易流行を理解することを目指す。	マネジメントエリア 対面
FH32091	生産・品質管理	1	2.0	2 - 4	春C	火・金3,4	有馬 澄佳,石井善弘	生産・品質管理の概論、需要予測と生産計画、統計的品質管理手法、在庫理論、信頼性工学について解説する。	マネジメントエリア 対面(オンライン併用型) 講義はオンライン(オンデマンド型)、対面を併用。最終発表は対面形式。

社会工学類(経営工学:情報技術エリア) 2018年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH33013	情報技術実験	3	2.0	2 - 4				前半の5週はオブジェクト指向プログラミングの入門実習を行う。後半10週はLinuxのネットワークを題材に、システム管理の技術とネットワークの仕組みを学ぶ。	エリア実習。情報技術エリア。 2026年度開講せず。 オンライン(オンデマンド型) 社会工学類2-4年(2年次履修推奨)。2018年度以前入学者は「情報技術演習(FH33012)」を履修すること。
FH33021	計算機科学	1	2.0	2 - 4	秋AB	火5,6	繁野 麻衣子	データ構造とアルゴリズム,計算の複雑性の基礎について学び,コンピュータ・ネットワーク上での応用例を幾つか紹介する.	情報技術エリア 対面
FH33051	シミュレーション	1	2.0	2 - 4				できるだけ少ない実験で偏りのないデータを得るための技術(実験計画法)、および、コンピュータ上で実験するための計算技法(計算機シミュレーション)を学ぶ。	情報技術エリア 2026年度開講せず。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH33061	情報システム	1	2.0	2 - 4	春AB	月5,6	繆 瑩,フン ドック トゥアン	情報システムの基本構成や形態などについて解説し,情報システムの数理モデル化のための待ち行列理論・確率過程について概説する.モデルの解析結果によりシステム設計の方針を説明する.また,ネットワークセキュリティの脅威と対策,暗号システムと認証方式,鍵管理方式についても解説する。	情報技術エリア 対面
FH33071	データ解析	1	2.0	2 - 4	秋AB	火1,2	黒瀬 雄大,志田 洋平,末重 拓己	統計学の基本的な原理を学習し、データ解析手法の実践をする。また具体的なプログラミングコーディングを通じて、データ解析の練習を行う。	情報技術エリア 対面(オンライン併用型)
FH33081	経営と機械学習	1	2.0	2 - 4	秋AB	木5,6	高野 祐一	経営上のデータ分析で有用な機械学習手法(線形回帰、ロジスティック回帰、主成分分析、クラスター分析、正則化、決定木、サポートベクトルマシン、深層学習、推薦システム、強化学習など)を幅広く取り上げて講義する。	情報技術エリア 対面

社会工学類(経営工学:数理工学モデル化エリア) 2018年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH34013	数理工学モデル化実習	3	2.0	2 - 4	春AB	火3-5		数理工学モデル化エリアの各授業において学んだ,様々な工学的なツール(モデル)に関する基礎知識を,問題演習や実習を通して,さらに「使える」知識として定着させることを目標とする。	エリア実習。数理工学モデル化エリア。 対面 社会工学類2-4年(3年次履修推奨)。2018年度以前の未履修者は「数理工学モデル化演習(FH34012)」を履修すること。
FH34031	数理最適化法	1	2.0	2 - 4	春C	月・木3,4	吉瀬 章子,繁野 麻衣子,リュウ ティエンシャン	数理計画におけるいくつかのテーマ(線形計画法,非線形計画法,グラフ理論,組み合せ最適化法等)を取り上げ,代表的な算法や基礎的な理論について概説を与える。	対面(オンライン併用型)
FH34081	数理解析	1	2.0	2 - 4	春AB	金3,4	八森 正泰	1年次の微積分および線形代数に接続し、これまでに学習した基礎的な諸概念を振り返るとともに、それらの応用や発展的な話題を紹介する。	数理工学モデル化エリア 対面
FH34091	応用確率論	1	2.0	2 - 4	春AB	木5,6	フン ドック トゥアン	確率論の基礎及びマルコフ連鎖の概略を説明する.確率空間,確率変数,確率分布,条件付き確率,期待値,条件付き期待値,同時確率分布,確率変数の収束,大数の法則,中心極限定理,マルコフ連鎖等を説明する予定である.	数理工学モデル化エリア 対面(オンライン併用型)
FH34101	数理統計学	1	2.0	2 - 4	秋AB	金1,2	イリチュ 美佳	多変量データを素材とした数理統計学の基礎的知識とそれに基づいた応用や適用手法について学ぶ。	数理工学モデル化エリア 対面(オンライン併用型) オンライン(オンデマンド型)+(同時双方向型)+対面。
FH34111	離散数学	1	2.0	2 - 4	春AB	木3,4	繆 瑩,八森 正泰	社会工学における種々の離散的なシステムのモデル化や解析、および、情報処理技術の基礎となる、離散数学・組合せ論の入門・概説的な講義を行う。	数理工学モデル化エリア 対面

社会工学類(経営工学共通) 2018年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH35012	問題発見と解決	2	2.0	3・4	秋BC	金5,6	吉瀬 章子,高野 祐一	経営工学専攻で学んだ基礎知識を用いて,自らテーマを設定し,モデル化,ソリューションの導出,ソリューションの検討からなる一連のプロセスを経験するとともに,ディスカッションとプレゼンテーションのトレーニングを行う。学外への視野を広げるため,社会で活躍する方々を招いての事例講義や他大学の学生による交流発表会も予定している。	必修科目(経営工学主専攻) CDP オンライン(同時双方向型) 2018年度までのFH35013に相当。

社会工学類(都市計画:環境とまちづくりエリア) 2018年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH46002	住環境設計演習	2	6.0	3・4	春ABC	金3-6	山本 幸子,藤井 さやか,渡辺 俊,藤川 昌樹,雨宮 護,今井 信博,中津 秀之,神田 信孝	都市・建築空間の設計能力向上を目指す演習である。2年次までに開講された設計関連科目(都市計画情報演習,基本製図)を受講した学生が,これまでに習得した基本製図における基礎手法を用い,戸建木造住宅及び集合住宅の設計方法・設計技術を身につける。	エリア演習。環境とまちづくりエリア。原則として「基本製図」既修得者に限る。 対面(オンライン併用型) FH46012またはFH46013の既修得者の履修不可。 2022年度以前入学者はFH45182及びFH46012を履修すること。 履修希望者が多い場合は社会工学類3・4年次生を優先する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH46013	住環境計画実習	3	2.0	3・4	春BC	金3-6		都市・建築空間の設計能力向上を目指す演習である。2年次までに開講された設計関連科目(基本製図,設計演習I)を受講した学生が,これまでに習得した設計製図における基礎手法を用い,集合住宅の設計方法と設計技術を身につける。	環境とまちづくりエリア。 原則として「設計演習I」既修得者に限る。 2018年度以前入学者はFH46012の履修により本科目の履修に読み替える。
FH46021	住環境計画概論	1	2.0	2 - 4	春AB	木3,4	雨宮 護,山本 幸子	最も身近な建築である住まいは、建築の基本であると同時に、都市をつくる重要な構成要素でもある。本講義では、日本における住まいの歴史、戦後の社会状況・ライフスタイルの変化が都市・農村の住宅や居住環境に与えた影響と今日的課題について解説する。さらに少子高齢・人口減少の進行とグローバル化の進展、ストック活用型社会におけるこれからの住まいづくり、まちづくりについて考える。	環境とまちづくりエリア。 BC12551と同一。 対面(オンライン併用型) 対面を基本とする。
FH46031	空間デザイン論	1	2.0	2 - 4	秋AB	金1,2	渡辺 俊	建築・都市デザインの潮流を概説するとともに,魅力的な空間を創出するための様々なヴォキャブラリーを紹介する。次に,それらの機能的構成と建築基準法(単体規定)等の建築関連規定について説明する。また,デザイン課題を通して空間設計に必要な基礎的素養を習得する。	環境とまちづくりエリア。 対面 状況によってオンラインに変更する。 住環境計画演習に向けた内容の講義であり,2年次での履修を強く推奨する。 2018年度までの「都市空間の計画とデザイン」に相当。
FH46041	都市緑地計画	1	2.0	2 - 4	秋AB	月1,2	村上 暁信	自然環境や歴史資源,オープンスペース等の保全を基調とした都市・地域計画のあり方について,その歴史的展開や現代的課題,将来方向を,具体例を交えながら体系的に論ずる。	環境とまちづくりエリア。 対面
FH46051	現代まちづくり論	1	2.0	2 - 4	春AB	木5,6	藤川 昌樹,有田 智一,藤井 さやか,雨宮 護,村上 暁信,梅本 通孝,飛田 幹男,高山 範理,宮 江介,三牧 浩也	現代のまちづくりの理論的背景として,20世紀の計画理論を批判的に振り返り,計画プロセス,参加,計画行政及び計画手法,計画法規等について論じる。さらに,現代まちづくりの実践がどのような形で展開されているか,中心市街地や都市と農村の混在混住地域の再生,持続可能な環境共生型まちづくり,等のトピックを取り上げて解説する。	環境とまちづくりエリア。 対面 2年次履修推奨科目(都市計画主専攻)。 2018年度までの「現代まちづくりの理論と実践」に相当。
FH46061	都市文化共生計画	1	2.0	1 - 3	秋AB	火1,2	松原 康介	現代は多文化共生の時代である。今後の都市空間は、日本文化、欧米文化だけでなく、中国、韓国、インド、イスラームといった、アジアの諸文化との共生が求められる。本講義の前半では、一見複雑で無秩序に見えるアジア諸国の都市空間の構成を、歴史と現地映像から読み解いていく。後半では、現代におけるアジア的空間の非アジア都市への伝播の実態を踏まえて、多文化共生の都市計画に必要なアイディアや方法とは何かを考えていく。	BC12541と同一。 対面(オンライン併用型) 履修者上限90名 1~3年次生のみ受講可

社会工学類(都市計画:都市構造・社会基盤エリア) 2018年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH47013	都市計画マスタープラン実習	3	3.0	3・4	秋ABC	金3-6		土浦市を含む茨城県南地域を対象とし,交通予測・土地利用予測ソフトウェアを利用し,地理情報システム(GIS)等を用いた資料作成やプレゼンテーションを通して,都市計画マスタープランや市町村総合計画の策定過程を習得する。最終発表会を土浦市で開催する。	エリア実習。都市構造・社会基盤エリア。 対面(オンライン併用型) 社会工学類学生に限る。2018年度以前入学者はFH47012の履修により本科目の履修に読み替える。
FH47021	土地利用計画	1	2.0	3・4	春AB	月5,6	藤井 さやか	都市地域における土地利用計画を中心に,国・地域レベルから地区レベルまでの土地利用計画の形態,目的,機能を概説するとともに,地区レベルの市街地整備方策として,都市計画の方法としての地区計画や建築基準法(集団規定)等の法規について基本的な知識を学ぶ。	都市構造・社会基盤エリア。 対面(オンライン併用型) 2018年度までの「土地利用・地区整備計画」に相当。1・2年次での履修不可。
FH47034	都市環境評価論	4	2.0	2 - 4	春AB	水1,2	甲斐田 直子,木下 陽平	良好で快適かつ安全・安心な都市環境を維持、実現するためには、都市の環境を理解することが必要である。本授業では、都市の水環境、気候、土地利用と生態系、生活およびライフスタイルの基礎知識と都市環境を定量的に計測・評価する手法(アセスメント手法等)について概説する。最終週では総合討論を行い、地球環境問題と都市環境問題との関連性について理解を深める。本講義を通じて、環境と調和した都市像を考えて欲しい。	都市構造・社会基盤エリア。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH47041	都市防災計画	1	2.0	3・4	秋AB	火5,6	梅本 通孝	都市災害の特徴を分析した上で,都市における各種災害の発生・拡大メカニズム,予測手法について事例を踏まえて示し,これらの防止対策及び都市防災計画の立案手法を都市計画との関連で解説する。	都市構造・社会基盤エリア。 対面 確認テストは対面実施予定。
FH47051	交通計画	1	2.0	2 - 4	春AB	火3,4	岡本 直久,谷口 綾子,和田 健太郎	交通計画を立案・策定するための能力としての需要予測,ネットワーク解析,費用対効果分析,交通事故分析のための技術力を習得するとともに,モビリティ・マネジメント,観光計画,公共交通計画など,政策の今日的課題について論ずる。	対面(オンライン併用型) 確認テストは対面実施予定。2018年度までの「交通運輸政策」に相当。

社会工学類(都市計画:地域科学エリア) 2018年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH48012	地域科学演習	2	2.0	3・4	春ABC	火5,6		都市・地域・環境経済学的な手法・テーマ・データで実証分析を行い,政策的な課題を分析する視点・手法を修得する。	エリア演習。地域科学エリア。 対面(オンライン併用型) 社会工学類学生に限る。2018年度以前入学者はFH48002の履修により本科目の履修に読み替える。
FH48021	都市経済学	1	2.0	2 - 4	秋AB	木1,2	太田 充,牛島 光一	都市経済学と立地論の分析手法の基礎を習得し、都市・地域・国際交易に関する政策についての知識を学ぶ。	地域科学エリア。 BB41441, BC12701と同一。 G科目 対面(オンライン併用型) 確認テストは対面実施予定。
FH48031	地域経営・行政論	1	2.0	2 - 4	秋AB	水1,2	有田 智一	公共政策のあり方及びその担い手の変化に係る近年の新たな世界的潮流及び欧米諸国との比較を踏まえつつ、国土計画、住宅・都市地域政策の事例を通して、公共政策の決定・実施・評価及び今後の都市・地域再生のあり方について議論できる能力を習得する。	地域科学エリア。 オンライン(対面併用型) オンデマンド+一部対面。2年次履修推奨科目(都市計画主専攻)。 2018年度までの「都市と地域の経営・行政論」に相当。
FH48041	政策・公共事業評価	1	2.0	2 - 4	春AB	火1,2	堤 盛人	この講義では、都市・地域・国土を対象とした政策・施策・事業を念頭に、政策評価の現状について説明するとともに、社会資本整備プロジェクトを対象に関する経済分析(費用便益分析)・財務分析・プロジェクトに関する金融について説明する。	地域科学エリア 対面での講義。 確認テストは第10回講義の日に実施。 2018年度までの「都市・地域・国土の政策評価」に相当。
FH48051	都市解析	1	2.0	2 - 4	秋AB	木3,4	鈴木 勉,石井 儀光,嚴 先鏞,大澤 義明	都市をある視点から抽象化すると,点や線や面の織りなすパターンとみなすことができる。そこで,都市機能の面から,これらのパターンを分析する場合の数理的基礎について論ずる。	地域科学エリア。 対面(オンライン併用型)
FH48061	環境政策論	1	2.0	2 - 4	秋AB	火3,4	奥島 真一郎	本科目では、主に経済学的な観点から、環境保全のための政策手段やその評価手法について考察する。加えて、様々な価値観、ディシプリンと政策インプリケーションとの関係について考察し、「環境問題」や「環境政策」に対する多様な視点を涵養する。また、地球温暖化問題や廃棄物問題など具体的な環境問題についての理解を深める。	国際総合学類開講、社会工学類共通科目。 BC12571と同一。 対面(オンライン併用型) 国際開発学主専攻専門科目。社会工学類学生の取り扱い:地域科学エリア。

社会工学類(都市計画共通) 2018年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH45013	都市計画インターンシップ	3	2.0	3・4	通年	応談	谷口 綾子,和田 健太郎	都市計画と関連のある官公庁,研究所,企業,非営利団体などで研修を行い,実践的な問題発見と解決能力を身につける。	都市計画共通。必修科目(都市計画主専攻:2018年度以前入学者)。 CDP 対面(オンライン併用型) 社会工学類3・4年次生を優先する。インターンシップは夏季休業中に行う。
FH45051	建築関連法規	1	1.0	2 - 4	秋B	集中	飯田 直彦,五條 渉,石﨑 和志	建築基準法を主体に、都市計画・土地利用関係法令、建設事業関係法令など、建築全般に関する法令を、実例を引用して具体的に講義することにより、法令の基礎的な仕組みを理解する。	都市計画共通。 対面
FH45061	建築経済	1	1.0	2 - 4	秋A	集中	田村 篤	建築活動の経済的側面と建築のライフサイクル,建築の管理に関わる基礎知識を習得する。	都市計画共通。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH45071	建築生産	1	1.0	2 - 4	秋AB	集中	川上 敏男,藤川 昌樹	建築生産の概要について演習・現場をまじえながら理解し,その基礎習得を目指す学生向きの講義である。集中講義ではあるが,見学をふくめ現場での実際のものつくりを建築施工の工程をふまえながら、体感することに取り組む。	都市計画共通。 対面
FH45081	都市計画の思想史	1	2.0	1 - 3	春C	火・木 1,2	松原 康介	都市計画を学ぶこととは、一義的には都市を制御するための技術を習得し職能として身に着けることを意味するが、その成立の背景で積み重ねられてきた多くの試行錯誤の歴史を知ることは、都市計画と人間の関わりのあり方を客観的にとらえ、技術と倫理の関わり方を考える力を養うことにつながる。本講義では、都市計画の基礎的なトピックを対象に、その成立に関わった人々の考え方や言葉を「しつこく丁寧に掘り下げて」議論する。テキストや写真、図面など、できるだけ多くの生資料に触れて頂く。 国際の学生にとっては、世界史もふまえた広い切り口からの都市計画への入門講座として位置付けられる。また、社工生にとっては、普段学んでいる技術としての都市計画の成立の背景に、どんな人々のどのような考え方が潜んでいたのかを再認識する機会として頂きたい(もちろん、他学類の学生も歓迎します)。	BC12751と同一。 対面(オンライン併用型)
FH45092	施設設計演習	2	2.0	3・4	秋AB	月5,6	渡辺 俊,張 昊,松林 道雄,雨宮 護	空間の設計能力向上を目指す建築設計製図演習である。2-3年次に「基本製図」及び「住環境設計演習(住環境計画演習)」等を受講した学生が、これまでに習得した設計製図における基礎手法を踏まえて、先進的な情報処理技術による高度な設計方法を身に着けることを目標とする。	都市計画共通。 対面 状況によってオンラインに変更する。 履修者は建築設計製図の基礎を習得していること。 2022年度までの「設計演習II」に相当。
FH45123	都市計画実習	3	3.0	3・4	秋AB	月3-6		特定の地域,都市を取り上げて,都市・地域計画上の問題の発見と図面作成等の作業を通じて地域整備の課題を把握する。	必修科目(都市計画主専攻)。都市計画共通。 対面(オンライン併用型) 社会工学類学生に限る。2018年度以前入学者はFH45122の履修により本科目の履修に読み替える。
FH45135	都市計画事例講義	5	3.0	2 - 4	春C秋A 秋AB	集中 木5,6	雨宮 護,藤井 さやか,梅本 通孝,岡本 直久	都市計画に関連する実際の事業や業務の実態に触れるため、卒業生や実務家が関わった多様な都市計画やまちづくりの事例等を取り上げ,実社会における都市計画業務の プロセスや手法を理解し、必要な見識と成功する条件等について議論する。	都市計画共通。見学を3回程度集中で夏季休業中および秋学期中に行う。 対面(オンライン併用型) 対面+オンライン(同時双方向型)。2018年度までの「都市計画事例講義および実習」に相当。社会工学類3・4年次生を優先する。
FH45142	基本製図	2	1.0	2	秋C	火3,4	山本 幸子	社会工学類都市計画主専攻において,都市・建築空間の設計能力向上を目指す学生向けの演習である。住宅の設計に必要な建築の基本図面(配置図,平面図,断面図,立面図等)の描き方と関連する基礎知識を習得する。	都市計画共通。 対面 原則として「都市計画情報演習」既修得者に限る。
FH45182	設計演習I	2	2.0	3・4	春A	金3-6	山本 幸子,藤川 昌樹,渡辺 俊,藤井 さやか,雨宮 護,今井 信博	社会工学類都市計画主専攻において、都市・建築空間の設計能力向上を目指す学生向けの演習である。木造住宅の設計を通して木造建築の基礎を習得し、住宅の計画・建築設計の基礎知識と技術を身につける。	都市計画共通。 対面 原則として「基本製図」既修得者に限る。2023年度以降入学者はFH46002を履修すること。

社会工学類共通:卒業研究　2018年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FH11918	卒業研究A	8	4.0	4	春学期	応談	社会工学類各教員	指導教員の指導のもとに、学類でのまとめとなる研究を行う。研究の基本的習慣を学ぶとともに、テーマを決め、研究に着手する。	必修科目。 対面
FH11928	卒業研究B	8	4.0	4	秋学期	応談	社会工学類各教員	指導教員の指導のもとに、学類でのまとめとなる研究を行う。テーマに沿って研究を実施する。研究成果を論文にまとめ、発表を行う。	必修科目。 対面
FH11988	早期卒業研究	8	4.0	3	通年	応談	社会工学類各教員	指導教員の指導の下に早期卒業の該当者が研究を行い、研究成果を論文にまとめ、発表を行う。	対面

開設母体

要件
理工学群その他

線形代数基礎

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FA45224	線形代数基礎	4	1.0	1	夏季休業中	集中	宮本 定明	線形代数の基礎的な事項について講義と演習を行う。	応用理工学類、工学システム学類、社会工学類、総合学域群生に限る。応用理工学類、工学システム学類、社会工学類の卒業要件には含まない。成績評価は合否（P/F）にて判定する。 世話人:工学システム学類長 対面

開設母体　　要件
情報学群学群共通

情報学群学群共通

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GA10101	情報社会と法制度	1	2.0	2	秋AB	月5,6	髙良 幸哉	情報化社会における法制度や情報モラル向上に必要な基礎知識を習得することを目指すため、現行の我が国の法制度の基礎を学び、ネットワーク社会における法整備の現状について講義する。	オンライン(オンデマンド型)
GA10201	知的財産概論	1	2.0	2	秋AB	金5,6	村井 麻衣子	知的財産に関する法制度を主要な概念や法理に基づいて学ぶ。著作権法、特許法を中心に、不正競争防止法、商標法など、知的財産諸法についての基礎的な知識を身につけ、知的財産法の法技術的な特色を踏まえた上で、情報化社会における望ましい制度のあり方について考察し、情報の保護と利用についてのバランス感覚や、問題解決能力を身につけることを目的とする。	オンライン(オンデマンド型)
GA12111	知能と情報科学	1	1.0	1	春BC	火2	秋本 洋平,五十嵐 康彦,伊藤 誠,滝沢 穂高,山田 武志,合原 一究,二村 保徳,齊藤 秀,福地 一斗,宮本 昌幸	本講義では、大規模なデータ解析および数理アルゴリズムを基盤とし、計算機によって知的かつ高度に情報処理を行う技術について、その基礎から応用まで幅広く学習する。	2020年度までに開設された「知能と情報科学」(GA12101)の単位を修得した者の履修は認めない。 オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象)
GA12201	計算と情報科学	1	1.0	1	春C	木5,6	今倉 暁,町田 文雄,アランニャ,クラウス,塩川 浩昭,高橋 大介,長谷部 浩二,藤田 典久,堀江 和正,高橋 康博,鹿野 豊	情報科学分野の中のそれぞれの学問領域について,その計算的側面に関して概説する。内容は計算モデル、大規模計算、データマイニング、マルチエージェントシステム、データ駆動ネットワーキング、数値計算、遺伝的アルゴリズムなど。	オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象)
GA12301	システムと情報科学	1	1.0	1	秋B	火5,6	山口 佳樹,山際 伸一,佐藤 聡,西出 隆志,大山 恵弘	情報科学への導入となる基礎理論から応用までを概説し、専門的科目への導入としての基礎知識を習得する。本科目は特に、システムを中心に専門性を習得する上での事前知識となる原理や技術、理論について説明する。	オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象)
GA12401	情報科学概論	1	1.0	1	春B	金5,6	亀山 幸義,叶 秀彩,飯塚 里志,天笠 俊之,國廣 昇,辻 美和子,永谷 圭司	情報科学は,情報の基礎理論からスーパーコンピュータやインターネット技術,人工知能までを含む幅広い学問分野である.本講義では,情報科学の中で,これからのディジタル社会を支える基本技術に焦点をあてて学習する.	オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象)
GA13401	情報メディア入門	1	1.0	1	春A	金5,6	木村 成伴,川口 一画	情報メディア入門では情報メディア創成学類の専門領域としての学問分野を概観する。特に、様々な形態の情報メディアの具体例や、基盤となる技術、メディアに接する人間の認知特性について学ぶ。トピックとしては、画像・映像メディアと可視化、音楽・音響メディア、インタラクティブメディア、ロボット、認知科学とヒューマンインタフェース、プログラミング言語とその処理基盤、ネットワークとその利用形態に関するインターネットサイエンスなどから五つ程度が選ばれる。	2019年度以降の入学者対象。情報メディア入門A,B,C(GA13101,GA13201,GA13301)、情報メディア概論(GC15101)、教養と科学(GC10112,GC10122)のいずれかを修得済みの者は不可。 オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象)
GA13501	コンテンツ入門	1	2.0	1	秋AB	金5,6	陳 漢雄,金 尚泰,落合 陽一,李 晶晶	情報メディア創成学類の専門領域としての各学問分野を概観する。前半5週では、メディアアート、グラフィックデザイン、メタデータ、データ工学とデータベース、音響・音楽情報処理、認知心理学、数理と情報技術などの学問分野を概観する。後半5週では、メディア・コンテンツ産業の潮流や社会的ニーズを理解するため、第一線で活躍するクリエータ、プロデューサ、エンジニアを講師にお招きし、最先端の創作活動や最新のビジネス動向を議論する。	2019年度以降の入学者対象。情報メディア入門A,B,C(GA13101,GA13201,GA13301)、コンテンツ応用論(GA10301,GC14301)、情報メディア概論(GC15101)、教養と科学(GC10112,GC10122)のいずれかを修得済みの者は不可。 オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象)
GA14111	知識情報概論	1	1.0	1	春A	火1,2	宇陀 則彦	知識情報・図書館学類を理解するために、図書館情報学から知識情報学への歴史的展開について説明し、知識共有に関連する諸概念を解説する。知識は何かに記録し、保存しなければすぐに消えてしまう。今この瞬間にも知識は生まれ、消えていく。記録された知識だけが時間と空間を超えられる。人々が知識を共有し、新しい知識を形成していくという現象は人間社会の普遍的営みである。知識情報学は記録を介した知識共有現象を解明する学問である。	(GA14121)の単位修得済みの者は履修不可。 オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GA14121	知識情報概論	1	1.0	1	秋AB	月2	宇陀 則彦	知識情報・図書館学類を理解するために、図書館情報学から知識情報学への歴史的展開について説明し、知識共有に関連する諸概念を解説する。知識は何かに記録し、保存しなければすぐに消えてしまう。今この瞬間にも知識は生まれ、消えていく。記録された知識だけが時間と空間を超えられる。人々が知識を共有し、新しい知識を形成していくという現象は人間社会の普遍的営みである。知識情報学は記録を介した知識共有現象を解明する学問である。	(GA14111)の単位修得済みの者は履修不可。 オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象)
GA14201	知識情報システム概説	1	1.0	1	春BC	木4	阪口 哲男,鈴木 伸崇,関 洋平	ネットワーク社会における知識の構造化、提供、共有のための枠組みについて講義する。	オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員
GA14301	図書館概論	1	2.0	1	秋AB	木3,4	吉田 右子	図書館とは何かについて概説し、これからの図書館の在り方を考える。図書館の歴史と現状、機能と社会的意義、館種別図書館と利用者、図書館職員、類縁機関と関係団体、図書館の課題と展望等について幅広く学ぶ。	オンライン(オンデマンド型) 専門導入科目(事前登録対象)
GA15111	情報数学A	1	2.0	1	春AB	木5,6	西出 隆志,亀山 幸義	本授業では,情報学の基礎となる数学的概念について学ぶ.その中でも特に重要な概念である集合,論理,写像,関係,グラフ,帰納等を取りあげ,その基礎的な事項について講義する.また,講義内容に対する理解を深めるため,演習も行う.	2019年度以降入学の者に限る。情報科学類生は1・2クラスを対象とする。 対面 定員を超過した場合は履修調整をする場合がある(情報科学類生および総合学域群生(情報科学類への移行希望者・学籍番号が奇数)優先)。
GA15121	情報数学A	1	2.0	1	春AB	木5,6	長谷部 浩二	本授業では,情報学の基礎となる数学的概念について学ぶ.その中でも特に重要な概念である集合,論理,写像,関係,グラフ,帰納等を取りあげ,その基礎的な事項について講義する.また,講義内容に対する理解を深めるため,演習も行う.	2019年度以降入学の者に限る。 情報科学類生は3・4クラスを対象とする。 対面 定員を超過した場合は履修調整をする場合がある(情報科学類生および総合学域群生(情報科学類への移行希望者・学籍番号が偶数)優先)。
GA15131	情報数学A	1	2.0	1	春AB	木5,6	若林 啓	本授業では,情報学の基礎となる数学的概念について学ぶ.その中でも特に重要な概念である集合,論理,写像,関係,グラフ,帰納等を取りあげ,その基礎的な事項について講義する.また,講義内容に対する理解を深めるため,演習も行う.	定員を超過した場合は履修調整をする場合がある(情報メディア創成学類生および総合学域群生(情報メディア創成学類への移行希望者)優先)。 2020年度までに「情報数学I」(GC11501)の単位を修得した者の履修は認めない。 対面
GA15141	情報数学A	1	2.0	1	春AB	木5,6	伊藤 寛祥	本授業では,情報学の基礎となる数学的概念について学ぶ.その中でも特に重要な概念である集合,論理,写像,関係,グラフを取りあげ,その基礎的な事項について講義する.また,講義内容に対する理解を深めるため,演習も行う.	知識学類生および総合学域群生(知識学類への移行希望者)優先。 定員を超過した場合は履修調整をする場合がある 。 対面(オンライン併用型)
GA15211	線形代数A	1	2.0	1	春BC	金3,4	建部 修見,保國 恵一	行列の基礎概念を学び,それを基に行列演算,連立1次方程式の解法,行列式の性質や展開について講義と演習を行なう。	情報科学類生は1・2クラスを対象とする。定員を超過した場合は履修調整をする場合がある(情報科学類生および総合学域群生(情報科学類への移行希望者・学籍番号の下一桁が奇数)優先)。履修者の移動調整等のため,春B開始の専門導入科目の事前登録期限までに履修申請をしていること。 7月3日(金)のみ3A308で実施予定。 対面(オンライン併用型) 2018年度までに開設された「線形代数I」(GB10114,GB10124)の単位を修得した者の履修は認めない。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GA15221	線形代数A	1	2.0	1	春BC	金3,4	宮本 昌幸,飯塚 里志	行列の基礎概念を学び,それを基に行列演算,連立1次方程式の解法,行列式の性質や展開について講義と演習を行なう。	情報科学類生は3・4クラスを対象とする。定員を超過した場合は履修調整をする場合がある(情報科学類生および総合学域群生(情報科学類への移行希望者・学籍番号の下一桁が偶数)優先)。履修者の移動調整等のため,春B開始の専門導入科目の事前登録期限までに 履修申請をしていること。7月3日(金)のみ3A312で実施予定。 対面(オンライン併用型) 2018年度までに開設された「線形代数I」(GB10114,GB10124)の単位を修得した者の履修は認めない。
GA15231	線形代数A	1	2.0	1	春BC	金3,4	河辺 徹	行列の基礎概念を学び,それを基に行列演算,連立1次方程式の解法,行列式の性質や展開について講義と演習を行なう。	定員を超過した場合は履修調整をする場合がある(情報メディア創成学類生および総合学域群生(情報メディア創成学類への移行希望者)優先)。 履修者の移動調整等のため,春B開始の専門導入科目の事前登録期限までに履修申請をしていること。 2020年度までに「線形代数I」(GC11301)の単位を修得した者の履修は認めない。 対面
GA15241	線形代数A	1	2.0	1	春BC	金3,4	金 宣経	行列の基礎概念を学び、それを基に行列演算、連立1次方程式の解法、行列式の性質や展開について講義と演習を行なう。	知識情報・図書館学類生および総合学域群生(知識情報・図書館学類への移行希望者)優先。 履修者の移動調整等のため,春B開始の専門導入科目の事前登録期限までに履修申請をしていること。 定員を超過した場合は履修調整をする場合がある 。 対面(オンライン併用型)
GA15311	微分積分A	1	2.0	1	秋AB	金3,4	今井 敏也,堀江 和正	解析学の基礎として,実数,関数,数列ならびに連続性や極限などの基本概念と,1変数関数の微分法および積分法について講義を行う。	情報科学類生は1・2クラスを対象とする。定員を超過した場合は履修調整をする場合がある(情報科学類生および総合学域群生(情報科学類への移行希望者・学籍番号の下一桁が奇数)で情報数学A(GA15111)を履修しているもの)優先)。また,クラス間での履修者の移動調整を行う場合もある。履修者の移動調整等のため,秋A開始の専門導入科目の事前登録期限までに履修申請をしていること。 対面(オンライン併用型) 2018年度までに開設された「解析学I」(GB10314,GB10324)の単位を修得した者 の履修は認めない。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GA15321	微分積分A	1	2.0	1	秋AB	金3,4	高橋 大介,塩川 浩昭	解析学の基礎として,実数,関数,数列ならびに連続性や極限などの基本概念と,1変数関数の微分法および積分法について講義を行う。	情報科学類生は3・4クラスを対象とする。定員を超過した場合は,履修調整を行う場合がある(情報科学類生および総合学域群生(情報科学類への移行希望者・学籍番号の下一桁が偶数)で情報数学A(GA15121)を履修しているもの)優先。また,クラス間での履修者の移動調整を行う場合もある。 履修者の移動調整等のため,秋A開始の専門導入科目の事前登録期限までに履修申請をしていること。 対面(オンライン併用型) 2018年度までに開設された「解析学I」(GB10314,GB10324)の単位を修得した者 の履修は認めない。
GA15331	微分積分A	1	2.0	1	秋AB	金3,4	平田 祥人	解析学の基礎として,実数,関数,数列ならびに連続性や極限などの基本概念と,1変数関数の微分積分法について学ぶ.	定員を超過した場合は,履修調整を行う場合がある(情報メディア創成学類生および総合学域群生(情報メディア創成学類への移行希望者)で情報数学A(GA15131)を履修しているもの)優先。また,クラス間での履修者の移動調整を行う場合もある。履修者の移動調整等のため,秋A開始の専門導入科目の事前登録期限までに履修申請をしていること。 2020年度までに「解析I」(GC11101)の単位を修得した者の履修は認めない。 対面(オンライン併用型)
GA15341	微分積分A	1	2.0	1	秋AB	金3,4	加藤 誠	解析学の基礎として,実数,関数,数列ならびに連続性や極限などの基本概念と,1変数関数の微分法および積分法について講義を行う。	履修者の移動調整等のため,秋A開始の専門導入科目の事前登録期限までに履修申請をしていること。 定員を超過した場合は,履修調整を行う場合がある(知識情報・図書館学類生および総合学域群生(知識情報・図書館学類への移行希望者)で情報数学A(GA15141)を履修しているもの)優先。また,クラス間での履修者の移動調整を行う場合もある。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GA18212	プログラミング入門A	2	2.0	1	秋AB	木5,6	新城 靖,アランニャ, クラウス,ブー サーヴォン	プログラミングの有用性と必要性を理解し、単純な処理を行うプログラムを書けるようになることを目指す。	情報科学類生および総合学域群生(情報科学類への移行希望者)優先。定員を超過した場合は履修調整をする場合がある。履修希望者は4月~秋A開始の専門導入科目の事前登録期限までににWEB Formで登録すること。FormのURLはシラバスに掲載される。同一年度でのプログラミング入門A(GA18212)とプログラミング入門B(GA18312)の両方の履修を前提とする。 対面(オンライン併用型) 反転授業の形態で行う。詳細はシラバスの「学修時間の割当・授業外における学修方法」参照。2020年度までに開設された「プログラミング入門」(GA18112)または2018年度 までに開設された「プログラミング入門A・B」(GB10664,GB10684)の単位を修得 した者の履修は認めない。
GA18222	プログラミング入門A	2	2.0	1	秋AB	木5,6	志築 文太郎,川口一画	プログラミングの有用性と必要性を理解し、単純な処理を行うプログラムを書いて、実行できるようになることを目指す。	情報メディア創成学類生および総合学域群生(情報メディア創成学類生への移行希望者)優先。履修希望者は4月~秋A開始の専門導入科目の事前登録期限までにWEB Formで登録すること。FormのURLはシラバスに掲載される。TWINSでの履修登録は初回授業以降に行うこと。 定員を超過した場合は履修調整をする場合がある。同一年度での「プログラミング入門A」(GA18222)・「プログラミング入門B」(GA18322)の両方の履修を前提とする。情報メディア創成学類生については2019年度以降の入学者対象。2020年度までに「プログラミング入門」の単位を修得した者の履修は認めない。 対面(オンライン併用型)
GA18232	プログラミング入門A	2	2.0	1	秋AB	木5,6	松村 敦,時井 真紀	プログラミングの有用性と必要性を理解し、単純な処理を行うプログラムを書いて、実行できるようになることを目指す。	知識学類生および総合学域群生(知識学類への移行希望者)優先。履修希望者は4月~秋A開始の専門導入科目の事前登録期限までにWEB Formで登録すること。FormのURLはシラバスに掲載される。 定員を超過した場合は履修調整をする場合がある 。 同一年度でのプログラミング入門A・プログラミング入門Bの両方の履修を前提とする。 対面(オンライン併用型) 「プログラミング入門」(GA181*, FH604*)を修得済みの者は履修不可。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GA18312	プログラミング入門B	2	1.0	1	秋C	木5,6	新城 靖,アランニャ, クラウス,ブー サーヴォン	プログラミングの有用性と必要性を理解し、単純な処理を行うプログラムを書けるようになることを目指す。	情報科学類生および総合学域群生(情報科学類への移行希望者)優先。定員を超過した場合は履修調整をする場合がある。履修希望者は4月~秋A開始の専門導入科目の事前登録期限までにWEB Formで登録すること。FormのURLはシラバスに掲載される。同一年度でのプログラミング入門A(GA18212)とプログラミング入門B(GA18312)の両方の履修を前提とする。 対面(オンライン併用型) 反転授業の形態で行う。詳細はシラバスの「学修時間の割当・授業外における学修方法」参照。2020年度までに開設された「プログラミング入門」(GA18112)または2018年度 までに開設された「プログラミング入門A・B」(GB10664,GB10684)の単位を修得 した者の履修は認めない。
GA18322	プログラミング入門B	2	1.0	1	秋C	木5,6	志築 文太郎,川口 一画	プログラミングの有用性と必要性を理解し、単純な処理を行うプログラムを書いて、実行できるようになることを目指す。	情報メディア創成学類生および総合学域群生(情報メディア創成学類生への移行希望者)優先。履修希望者は4月~秋A開始の専門導入科目の事前登録期限までにWEB Formで登録すること。FormのURLはシラバスに掲載される。TWINSでの履修登録は初回授業以降に行うこと。定員を超過した場合は履修調整をする場合がある。同一年度での「プログラミング入門A」(GA18222)・「プログラミング入門B」(GA18322)の両方の履修を前提とする。情報メディア創成学類生については2019年度以降の入学者対象。2020年度までに「プログラミング入門」の単位を修得した者の履修は認めない。 対面(オンライン併用型)
GA18332	プログラミング入門B	2	1.0	1	秋C	木5,6	松村 敦,時井 真紀	プログラミングの有用性と必要性を理解し、単純な処理を行うプログラムを書いて、実行できるようになることを目指す。	知識学類生および総合学域群生(知識学類への移行希望者)優先。履修希望者は4月~秋A開始の専門導入科目の事前登録期限までにWEB Formで登録すること。FormのURLはシラバスに掲載される。 定員を超過した場合は履修調整をする場合がある 。 同一年度でのプログラミング入門A・プログラミング入門Bの両方の履修を前提とする。 対面(オンライン併用型) 「プログラミング入門」(GA181*, FH604*)および「プログラミング演習IA」を修得済みの者は履修不可。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GA40103	体験型システム開発A	3	3.0	3・4	春ABC	水3,4 金5,6	知識情報・図書館学類長	現在のモノづくりの基礎を担っている組み込み技術を、実際の課題に基づく課題解決型学習によって実践的に習得することを目指す。	情報学群 組み込み技術キャンパスOJT受講者対象科目。 オンライン(対面併用型) オンライン（同時双方向型)を基本とする
GA40203	体験型システム開発B	3	3.0	3・4	秋ABC	水3,4 金5,6	知識情報・図書館学類長	現在のモノづくりの基礎を担っている組み込み技術を、実際の課題に基づく課題解決型学習によって実践的に習得することを目指す。	情報学群 組み込み技術キャンパスOJT受講者対象科目。 オンライン(対面併用型) オンライン（同時双方向型)と対面にて実施する。
GA40503	ビジネスシステムデザイン基礎I	3	2.0	1・2	夏季休業中	集中	面 和成,川口 一画,髙橋 大成	ICTを活用して身近な困りごとや未解決な医療課題など社会的問題から解決すべき課題を発見し，企業等との共創で解決方法を提案するためのPBL形式の演習を行う．はじめに適切な課題設定と解決方法提案のための手法を学び，チーム毎に開発テーマを決定する．その後，外部講師(アジャイルコーチ)の指導の元，アジャイル開発手法(スクラム)を用いて漸進的に開発を進める基礎的な能力を習得する．	enPiT関連科目．9月中旬に7日間の集中授業として実施．時限等詳細は掲示板にて周知する．本科目ではWebアプリケーション等の開発を行う．そのための基礎的な知識やスキルを各自で事前習得しておくことが望ましい．機材の関係で履修を制限することがある．人数確認のための事前登録等、履修にあたっての注意事項を4月に開催する個別説明会にて説明を行うため、履修希望者は必ず参加すること．(個別説明会に参加できなかった場合は担当教員に連絡をとること．) 対面(オンライン併用型)
GA40603	ビジネスシステムデザイン実践I	3	2.0	1・2	秋ABC	応談	面 和成,川口 一画,髙橋 大成	ICTを活用して身近な社会課題を解決することを目指して，チームを組んでPBL形式でプロダクト開発を行う．ビジネスシステムデザイン基礎Iでの学習内容を活用し，アジャイル開発手法(スクラム)を用いてプロダクトおよびチームを主体的に改善しながら漸進的に開発を進める実践的な能力を習得する．	enPiT関連科目．ビジネスシステムデザイン基礎I(GA40503)の履修および習得を前提とする．機材の関係で履修を制限することがある． 対面(オンライン併用型)
GA40703	ビジネスシステムデザイン基礎II	3	2.0	3・4	夏季休業中	集中	面 和成,川口 一画,髙橋 大成	ICTを活用して身近な困りごとや未解決な医療課題など社会的問題から解決すべき課題を発見し，企業等との共創で解決方法を提案するためのPBL形式の演習を行う．はじめに適切な課題設定と解決方法提案のための手法を学び，チーム毎に開発テーマを決定する．その後，外部講師(アジャイルコーチ)の指導の元，アジャイル開発手法(スクラム)を用いて漸進的に開発を進める基礎的な能力を習得する．また，開発を通してチーム運営とプロダクト開発を主導する能力を養う．	enPiT関連科目．9月中旬に7日間の集中授業として実施．データの分析手法やAIの活用方法を学び，課題に応じた活用計画の企画・実施・評価を行う実践的な学習を通じて，問題解決能力を養う．本科目ではWebアプリケーション等の開発を行う．そのための基礎的な知識やスキルを各自で事前習得しておくことが望ましい．機材の関係で履修を制限することがある．人数確認のための事前登録等、履修にあたっての注意事項を4月に開催する個別説明会にて説明を行うため、履修希望者は必ず参加すること．(個別説明会に参加できなかった場合は担当教員に連絡をとること．) 対面(オンライン併用型)
GA40803	ビジネスシステムデザイン実践II	3	3.0	3・4	秋ABC	水3,4 金5,6	面 和成,川口 一画,髙橋 大成	ICTを活用して身近な社会課題を解決することを目指して，チームを組んでPBL形式でプロダクト開発を行う．ビジネスシステムデザイン基礎IIでの学習内容を活用し，アジャイル開発手法(スクラム)を用いてプロダクトおよびチームを主体的に改善しながら漸進的に開発を進める実践的な能力を習得する．また，チーム運営とプロダクト開発を主導する能力を養う．	enPiT関連科目．ビジネスシステムデザイン基礎II(GA40703)の履修および習得を前提とする．機材の関係で履修を制限することがある． 対面(オンライン併用型)

開設母体

要件
情報科学類

情報科学類(共通)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GB10234	線形代数B	4	2.0	2	春AB	月1,2	福井 和広	線形代数の基礎。 内容:ベクトル空間,1次写像,核と像,内積空間,固有値・固有ベクトルと対角化	情報科学類1・2クラス対象 オンライン(対面併用型)
GB10244	線形代数B	4	2.0	2	春AB	月1,2	山田 武志	線形代数の基礎。 内容:ベクトル空間,1次写像,核と像,内積空間,固有値・固有ベクトルと対角化	情報科学類3・4クラス対象 対面(オンライン併用型)
GB10444	微分積分B	4	2.0	2	春AB	木3,4	多田野 寛人	多変数関数(主に2変数)の微分積分を中心に講義を行う。内容:偏微分,重積分,級数と一様収束。	情報科学類1・2クラス対象 対面(オンライン併用型) 2019年度以降の入学者対象.
GB10454	微分積分B	4	2.0	2	春AB	木3,4	萬 礼応	多変数関数(主に2変数)の微分積分を中心に講義を行う。内容:偏微分,重積分,級数と一様収束。	情報科学類3・4クラス対象 対面(オンライン併用型) 2019年度以降の入学者対象.
GB10524	微分方程式	4	2.0	2	秋AB	水1,2	國廣 昇,高橋 康博	自然現象を数理モデル化する手段の一つとして微分方程式は有用である.この講義では,線形微分方程式の解法を中心に,微分方程式全般について講義する.	「解析学III」(GB10504)の単位を修得した者の履修は認めない。 対面
GB10804	論理回路	4	2.0	2	春AB	水5,6	杉浦 圭祐,小島 拓也,山口 佳樹	初等的な論理回路から論理サブシステムまでについて,演習を交えながら解説する。	対面
GB11601	確率論	1	2.0	2	春AB	月3,4	宮本 昌幸	確率論の基礎。 内容:確率の公理、確率変数、確率分布、期待値、分散、大数の法則、中心極限定理	オンライン(オンデマンド型) 確認テストのみ対面実施します.「確率・統計」(GB11611)の単位を修得した者の履修は認めない。
GB11621	統計学	1	2.0	2	秋AB	木5,6	秋本 洋平	数理統計学の基礎(統計的推定および統計的仮説検定)とPythonを用いた統計解析の基礎	「確率論」(または同等科目)の履修を前提とする。 対面 講義および確認テストを対面実施する.なお,「統計学」(GB41204)および「統計学(3年生向け)」(GB11631)の単位を修得した者の履修は認めない。
GB11931	データ構造とアルゴリズム	1	3.0	2	秋ABC	月1,2	天笠 俊之,高橋 康博,藤田 典久	ソフトウェアを書く上で基本となるデータ構造とアルゴリズムの考え方について学ぶ。線形構造,木構造,グラフ構造,データ整列,データ探索について学習する。	2013年度までに開設された「データ構造とアルゴリズム」(GB11911, GB11921)の単位を修得した者の履修は認めない。 対面(オンライン併用型)
GB11956	データ構造とアルゴリズム実験	6	2.0	2	秋AB 秋C	月3-5 月3,4	天笠 俊之	データ構造とアルゴリズムに関して,実際にJava言語を用いてプログラムを作成し,そのプログラムが稼働することを確認する。プログラムは,毎週,あるいは隔週に一個の割合で作成する。	1・2クラス 対面(オンライン併用型) 2020年度までに開設された「データ構造とアルゴリズム実験」(GB11936,GB11946)または2014年度までに開設された「データ構造とアルゴリズム実験」(GB11916, GB11926)の単位を修得した者の履修は認めない。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GB11964	コンピュータとプログラミング	4	3.0	2	春ABC	金3 金4	阿部 洋丈,大山 恵弘	コンピュータの構成およびシステムプログラミングの基礎を学ぶため,アセンブリ言語およびC言語によるプログラミングについて講義する。プログラムの作成を実際のマシン上で実習しながら,コンピュータとプログラミングを命令セットアーキテクチャやシステムプログラミングインタフェースのレベルで説明する。命令実行の仕組み,演算命令,制御命令,システムコール,標準ライブラリなどを含む。	2019年度までに開設された「システムプログラミング序論」(GB11954)の単位を修得した者の履修は認めない。 対面
GB11966	データ構造とアルゴリズム実験	6	2.0	2	秋AB 秋C	月3-5 月3,4	藤田 典久	データ構造とアルゴリズムに関して,実際にC言語を用いてプログラムを作成し,そのプログラムが稼働することを確認する。プログラムは,毎週,あるいは隔週に一個の割合で作成する。	3・4クラス 対面 2020年度までに開設された「データ構造とアルゴリズム実験」(GB11936,GB11946)または2014年度までに開設された「データ構造とアルゴリズム実験」(GB11916, GB11926)の単位を修得した者の履修は認めない。
GB12017	論理回路演習	7	2.0	2	秋AB	火5,6	冨安 洋史,庄野 和宏,三宮 秀次	ロジックトレーナー及びマイコンボード等を用いて、計算機及び情報処理装置の基礎を学ぶ。あわせて、データのまとめ方,レポートの書き方を学ぶ。	対面 2020年度までに開設された「論理回路実験」(GB12016)の単位を修得した者の履修は認めない。機材(最大100名程度)の関係から、1年次学生は受講者制限を設けることがある。
GB12201	電気回路	1	2.0	2	秋AB	金1,2	庄野 和宏	電気回路の考え方と基礎的なことがらについて解説する。交流回路と複素表示,回路の基本定理,相互結合素子を含む回路,2端子対回路,周波数特性,過渡現象。	対面
GB12301	数値計算法	1	2.0	2	春AB	火3,4	櫻井 鉄也,今倉 暁,二村 保徳	各種の分野で用いられる数値計算の基本的な概念と手法を学ぶ。講義に並行して演習を行い,理解を深めるとともに,計算やデータ処理,可視化などに便利なツールを習得する。	対面
GB12401	システム制御概論	1	2.0	2	秋AB	金3,4	齊藤 裕一,大矢 晃久	工学の対象となる各種システムとその数理モデルの解析法,およびシステム制御のための基礎について学ぶ.伝達関数によるシステム表現,制御系の時間・周波数応答特性,安定性の解析,サーボ系の設計法等のフィードバック制御の基礎について解説する.具体例として,自動車また航空機の制御系設計について述べる.なお,授業内容の理解を深めるための練習問題の演習なども適宜行う.	対面
GB12601	論理と形式化	1	2.0	2	春AB	火5,6	長谷部 浩二,亀山 幸義	命題論理および一階述語論理の形式的体系と意味論を理解し,論理による形式化の手法を習得する。また,論理を用いたプログラミングなど,情報科学への応用について学習する。	対面(オンライン併用型)
GB12801	論理システム	1	1.0	2	春C	火1,2	金澤 健治,小島 拓也,山口 佳樹	講義を通して論理回路を計算機システム等の実用的なデジタル回路技術に応用するための基礎知識について学ぶ。また,ハードウェア記述言語を利用した論理システムの動作確認方法などについても紹介する.	論理回路の単位を修得していることが望ましい. オンライン(オンデマンド型)
GB12812	論理システム演習	2	1.0	2	春C	木1,2	金澤 健治,杉浦 圭祐,山口 佳樹	ハードウェア記述言語を用いた実用的な論理システム設計手法を習得する。書き換え可能なハードウェア (FPGA) を用い、初等的な計算機システムを題材に、ハードウェアの設計から実装までの一貫した知識・技術の習得を目指す。	FPGAボードとその付属品を受講者1名につき1セット貸与する.数に限りがあるため受講者数制限(70名前後)を設ける.実施形態,履修制限等に関する連絡はmanabaで実施する.履修登録を早めに済ませ,manabaをよく確認すること.連絡を見なかったことによる不利益は一切考慮しない. オンライン(対面併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GB13024	オブジェクト指向プログラミング	4	2.0	2	秋C	水1,2 木3,4	永谷 圭司	大規模なソフトウェアを効率的かつ安全に開発するためには、プログラムを適切な規模の部品(モジュール)に分割し、不要な内部の詳細を意識せずに利用できるよう抽象化することが重要である。また、モジュール同士の組み合わせ方を一定の規則に基づいて設計し、その正しさを自動的に検証できる仕組みも求められる。 これらの要求に応える代表的な技術の一つが、オブジェクト指向プログラミングである。本授業では、Java言語を題材として、オブジェクト指向プログラミングの基本概念を学ぶ。具体的には、モジュールの単位となるオブジェクトやクラス、メソッドを用いたデータの抽象化や再利用の考え方、さらに静的型付けやインターフェースによる安全なプログラム構成について、講義と演習を通して理解を深める。	2020年度までに開設された「オブジェクト指向プログラミング」(GB13022)または2019年度(令和元年度)まで開設された「オブジェクト指向プログラミング実習」(GB13013)の単位を修得した者の履修は認めない。 対面
GB13106	論理システム実験	6	1.5	3・4	秋AB	集中	冨安 洋史,山口 佳樹	実験を通してハードウェア記述言語を用いた実用的な論理回路システムの設計について学ぶ。実験では、各自1式ずつの試作システム(FPGA を実装した回路基板+ステレオカメラモジュール)を利用し、画像処理システムにおける回路設計から実機動作までを通した一貫した知識・経験の習得を目指す。	対面(オンライン併用型)
GB13312	情報特別演習I	2	2.0	2	通年	随時	五十嵐 康彦,金澤 健治,アランニャ,クラウス	受講生の自主的なテーマ設定および解法設計を重視した演習を行う。発案力,実現力,表現力を養うことを目的とする。	情報科学類生に限る。 対面(オンライン併用型)
GB13322	情報特別演習II	2	2.0	3	通年	随時	五十嵐 康彦,金澤 健治,アランニャ,クラウス	受講生の自主的なテーマ設定および解法設計を重視した演習を行う。発案力,実現力,表現力を養うことを目的とする。	情報科学類生に限る。 対面(オンライン併用型)
GB13332	情報科学特別演習	2	2.0	1	通年	随時	五十嵐 康彦,金澤 健治,アランニャ,クラウス	受講生は自身が取り組みたいテーマをアドバイザ教員と相談の上で設定し、演習を行う。グループでの履修が可能。発案力、実現力、表現力を養うことを目的とする。	情報科学類生に限る。 対面(オンライン併用型)
GB13614	Computer Science in English A	4	2.0	3	春AB	月1,2	五十嵐 康彦,ブーサーヴォン	本講義では、基礎的な情報科学を題材にした英語の学術資料を用いて、英語の学術資料を理解し、学習に役立てるため、講義・演習を行う。	英語で授業。 オンライン(オンデマンド型) 一部の説明を日本語でも行う.
GB13624	Computer Science in English B	4	2.0	3	秋AB	水5,6	アランニャ, クラウス,叶 秀彩	The course provides an introduction to elementary concepts of mathematics for computer science. Topics include: formal logic notation, induction, sets and relations, permutations and combinations, counting principles, discrete probability.	2020年度までに開設された「Mathematics for Computer Science」(GB13604)の単位を修得した者の履修は認めない。 英語で授業。 対面
GB13704	コンピュータグラフィックス基礎	4	2.0	2	秋AB	火3,4	三谷 純,金森 由博,遠藤 結城	コンピュータグラフィックスに関する座標変換,形状モデリング,レンダリングなどの基礎的な理論を学ぶ.また,PythonによるOpenGLライブラリを用いたプログラミング演習を通して学習内容の理解を深めるとともに,自ら新たなCGアプリケーションを開発できるようになることを目指す.	BC12624, GC23304と同一。 対面
GB13903	インターンシップI	3	1.0	2 - 4	通年	応談	山口 佳樹,五十嵐 康彦,金澤 健治,二村 保徳	企業の工場や研究所等における技術開発,研究開発などの就業経験を通して,これまでに学習した内容を実践し,実社会に対する見聞を広めるとともに,将来の進路についての有益な情報を得る。	情報科学類学生に限る。 対面 CDP
GB13913	インターンシップII	3	1.0	2 - 4	通年	応談	山口 佳樹,五十嵐 康彦,金澤 健治,二村 保徳	企業の工場や研究所等における技術開発,研究開発などの就業経験を通して,これまでに学習した内容を実践し,実社会に対する見聞を広めるとともに,将来の進路についての有益な情報を得る。	情報科学類学生に限る。 対面 CDP
GB13923	海外インターンシップ	3	2.0	2 - 4	通年	応談	アランニャ, クラウス,山口 佳樹,金澤 健治,五十嵐 康彦,二村 保徳	学類教員のアドバイスのもと、学生が自主的に海外の大学・研究機関等において技術開発や研究開発に従事し,これまでに 学習した技術を実践するとともに、国際的な見聞を広めてコミュニケーション能力を涵養する.	本科目の履修にあたっては科目担当者と事前に連絡を取り承認を得ること。 対面
GB19041	専門語学A	1	1.5	4	春ABC	応談	情報科学類全教員	卒業研究の指導教員のもと、少人数セミナー形式で、専門分野の基礎となる英語文献の講読とその内容の討論を行うとともに、英語文献の概要をまとめたレポートを作成する。	履修開始時に3年次のTOEIC IPテストのスコアを提出すること 対面(オンライン併用型)
GB19051	専門語学B	1	1.5	4	秋ABC	応談	情報科学類全教員	卒業研究の指導教員のもと、少人数セミナー形式で、英語文献の講読とその内容の討論を行うとともに、卒業論文の概要を英語で作成する。	対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GB19061	専門英語基礎	1	1.0	2	秋AB	水5,6	岩渕 誠,高橋 康博	本講義では、研究者や技術者に求められる技術英語ライティング(テクニカルライティング)の基本を学ぶ。主に情報科学に関連する題材を例に、その情報を正確に過不足なく英語で表現する方法を、課題演習を通して学ぶ。	対面
GB19071	専門語学A	1	1.5	4	秋ABC	応談	情報科学類全教員	卒業研究の指導教員のもと、少人数セミナー形式で、専門分野の基礎となる英語文献の講読とその内容の討論を行うとともに、英語文献の概要をまとめたレポートを作成する。	履修開始時に3年次のTOEIC IPテストのスコアを提出すること 対面(オンライン併用型) 学類長が認めた情報科学類生のみ履修可能
GB19081	専門語学B	1	1.5	4	春ABC	応談	情報科学類全教員	卒業研究の指導教員のもと、少人数セミナー形式で、専門分野の基礎となる英語文献の講読とその内容の討論を行うとともに、英語文献の概要をまとめたレポートを作成する。	対面(オンライン併用型) 学類長が認めた情報科学類生のみ履修可能
GB19091	専門語学A	1	2.0	4	春ABC	応談	情報科学類全教員	卒業研究の指導教員のもと、少人数セミナー形式で、専門分野の基礎となる英語文献の講読とその内容の討論を行うとともに、英語文献の概要をまとめたレポートを作成する。	履修開始時に3年次のTOEIC IPテストのスコアを提出すること。 2019年度以降の入学者対象。 対面(オンライン併用型)
GB19101	専門語学B	1	2.0	4	秋ABC	応談	情報科学類全教員	卒業研究の指導教員のもと、少人数セミナー形式で、専門分野の基礎となる英語文献の講読とその内容の討論を行うとともに、英語文献の概要をまとめたレポートを作成する。	履修開始時に3年次のTOEIC IPテストのスコアを提出すること。 2019年度以降の入学者対象。 対面(オンライン併用型)
GB19111	専門語学A	1	2.0	4	秋ABC	応談	情報科学類全教員	卒業研究の指導教員のもと、少人数セミナー形式で、専門分野の基礎となる英語文献の講読とその内容の討論を行うとともに、英語文献の概要をまとめたレポートを作成する。	履修開始時に3年次のTOEIC IPテストのスコアを提出すること。 2019年度以降の入学者対象。 対面(オンライン併用型) 学類長が認めた情報科学類生のみ履修可能。
GB19121	専門語学B	1	2.0	4	春ABC	応談	情報科学類全教員	卒業研究の指導教員のもと、少人数セミナー形式で、専門分野の基礎となる英語文献の講読とその内容の討論を行うとともに、英語文献の概要をまとめたレポートを作成する。	履修開始時に3年次のTOEIC IPテストのスコアを提出すること。 2019年度以降の入学者対象。 対面(オンライン併用型) 学類長が認めた情報科学類生のみ履修可能。
GB19141	特別専門語学A	1	2.0	3・4	春ABC	応談	情報科学類全教員	卒業研究の指導教員のもと、少人数セミナー形式で、専門分野の基礎となる英語文献の講読とその内容の討論を行うとともに、英語文献の概要をまとめたレポートを作成する。	早期卒業者に限る。 対面(オンライン併用型)
GB19151	特別専門語学B	1	2.0	3・4	秋ABC	応談	情報科学類全教員	卒業研究の指導教員のもと、少人数セミナー形式で、英語文献の講読とその内容の討論を行うとともに、卒業論文の概要を英語で作成する。	早期卒業者に限る。 対面(オンライン併用型)
GB19848	特別卒業研究A	8	3.0	3・4	春ABC	応談	情報科学類全教員	指導教員の指導のもとに,卒業のためのまとめとなる研究を行う。	早期卒業予定者及び学類長が認めた3年次編入学者に限る。 対面(オンライン併用型)
GB19858	特別卒業研究B	8	3.0	3・4	秋ABC	応談	情報科学類全教員	指導教員の指導のもとに,卒業のためのまとめとなる研究を行う。	早期卒業予定者及び学類長が認めた3年次編入学者に限る。 対面(オンライン併用型)
GB19948	卒業研究A	8	3.0	4	春ABC	応談	情報科学類全教員	指導教員の指導のもとに,卒業のためのまとめとなる研究を行う。	対面(オンライン併用型)
GB19958	卒業研究B	8	3.0	4	秋ABC	応談	情報科学類全教員	指導教員の指導のもとに,卒業のためのまとめとなる研究を行う。	対面(オンライン併用型)
GB19968	特別研究A	8	4.0	3・4	春ABC	応談	アランニャ, クラウス	受け入れ教員の指導のもと,特定のテーマについて,研究もしくはミニプロジェクトを行う。	情報科学類短期留学生に限る。学類長または受け入れ教員が履修を認めた者に限る。80コマに相当する。春学期。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GB19978	特別研究B	8	4.0	3・4	秋ABC	応談	アランニャ, クラウス	受け入れ教員の指導のもと,特定のテーマについて,研究もしくはミニプロジェクトを行う。	情報科学類短期留学生に限る。学類長または受け入れ教員が履修を認めた者に限る。80コマに相当する。秋学期。 対面(オンライン併用型)
GB19988	卒業研究A	8	3.0	4	秋ABC	応談	情報科学類全教員	指導教員の指導のもとに,卒業のためのまとめとなる研究を行う。	対面(オンライン併用型) 学類長が認めた情報科学類生のみ履修可能
GB19998	卒業研究B	8	3.0	4	春ABC	応談	情報科学類全教員	指導教員の指導のもとに,卒業のためのまとめとなる研究を行う。	対面(オンライン併用型) 学類長が認めた情報科学類生のみ履修可能

情報科学類(ソフトウェアサイエンス)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GB20201	数理アルゴリズムとシミュレーション	1	2.0	3・4	秋AB	木3,4	櫻井 鉄也,今倉 暁,保國 惠一	コンピュータによって科学・工学の様々な現象を扱うためのモデリングとそれを処理するためのアルゴリズムについて講義する。物理シミュレーションやデータ解析で現れる応用事例を通して理解を深める。	主専攻共通科目 対面(オンライン併用型) 2015年度までに開設された「数理アルゴリズム」(GB20201)の単位を修得した者の履修は認めない。
GB20301	人工知能	1	2.0	3・4	秋AB	火3,4	大矢 晃久,萬 礼応,永谷 圭司,藤井 浩光	人工知能について,その情報科学的基礎を学ぶ.知識と推論,問題解決などの基礎を解説するとともに,人工知能論を現実問題に適用する先端的な応用例として知能ロボットなどを取り上げる.また,人工知能に関連する最新の研究を紹介する.	主専攻共通科目 対面(オンライン併用型)
GB20401	オートマトンと形式言語	1	2.0	3・4	秋AB	木5,6	亀山 幸義	オートマトンと形式言語の基礎理論を学習する。取り上げる話題は、チョムスキー階層、有限オートマトンと正規表現、プッシュダウンオートマトンと文脈自由文法、チューリング機械と計算可能性・決定可能性、チャーチ・チューリングの提唱などである。	主専攻共通科目. 2021年度まで開設されていた「オートマトンと形式言語」(GB21601, GC50201)の単位を修得した者の履修は認めない。 GC50291と同一。 対面(オンライン併用型) 講義内容はスライドおよび動画で提供するので、受講生は毎週の授業の前にこれらを使って学習すること。対面授業においては演習と質問対応を行う。確認テストは対面で行う。
GB20601	量子情報科学入門	1	2.0	1	秋C	月5,6 木1,2	鹿野 豊,今井 敏也	量子情報科学に関する基本的な数理構造・実装について学習する。線形代数の復習を含めながら、量子力学の公理、量子ビット、量子テレポーテーション、量子もつれなどに関して取り上げる予定である。	オンライン(オンデマンド型) 講義内容は講義資料(基本的には英語)および動画(日本語で説明。英語字幕あり)で提供する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GB20602	プログラミングチャレンジ	2	2.0	3・4	春AB	火3,4	アランニャ, クラウス	競技プログラミングの課題を用いて様々なアルゴリズムについて勉強する。プログラミング実装に集中される講義。内容:動的プログラミング、グラフ、データ構造、文字列操作、計算幾何、等。	主専攻共通科目 対面(オンライン併用型) 2021年度まで開設されていた「プログラミングチャレンジ」(GB21802)の単位を修得した者の履修は認めない。反転授業の形態で行う。 対面(オンライン併用型) 2021年度まで開設されていた「プログラミングチャレンジ」(GB21802)の単位を修得した者の履修は認めない。オンライン(オンデマンド)が基本,可能な部分は対面を行うこともある.詳細は後日発表.
GB21201	プログラム言語論	1	1.0	3・4	春C	月3,4	亀山 幸義	プログラム言語の基礎概念を系統的に学習する。学習する概念は、ラムダ計算と関数型プログラム言語、型システム、型検査と型推論、抽象化などである。学習内容の理解を深めるため、関数型プログラム言語OCamlを用いた演習を行う。	2020年度まで開設されていた「プログラム言語論I」(GB20111) の単位を修得した者の履修は認めない。 対面(オンライン併用型)
GB22011	システム数理I	1	1.0	3・4	春A	木3,4	合原 一究,河辺 徹,平田 祥人	情報メディア創成学や情報科学,工学の対象となる,動物や生物の行動を含む各種のサイバーフィジカル システムに対し,その数理的モデリング手法及び解析手法ならびに制御手法について講義する.	GC53701と同一。 対面
GB22021	システム数理II	1	1.0	3・4	春C	火5,6	佐野 良夫	情報メディア創成学や情報科学,工学の対象となる各種システムの数理モデルに対し,システムの設計・運用に必要な最適化手法について学ぶ.	GC53801と同一。 対面(オンライン併用型)
GB22031	システム数理III	1	1.0	3・4	春B	水5,6	佐野 良夫	離散最適化・組合せ最適化の分野における基本的な数理モデル、最適化問題、およびアルゴリズムについて講義する。	GC54301と同一。 対面(オンライン併用型)
GB22501	情報線形代数	1	2.0	3・4	秋AB	月1,2	徳永 隆治	「線形代数A・B(またはI・II)」および「微分積分A・B(または解析I・II)」において習得した知識を前提として、これに引き続く線形代数の諸概念と手法が学べる。また、これらの知見が、画像・信号・数値等に関する情報処理系の構築において果たす役割について学ぶ。	GC52201と同一。 GC54601と同一。 対面(オンライン併用型)
GB22621	情報可視化	1	2.0	3・4	春AB	月5,6	三末 和男	膨大なデータや情報が溢れる現代において、コンピュータによって情報を視覚的に提示する技術(情報可視化技術)は、情報処理を目的としたコンピュータと人間を有機的につなぐ重要な技術である。この授業では、情報可視化に関する基礎知識として、情報可視化の枠組、ヒトの視覚に関する認知的な性質、データを表現するための基本的な技術、様々なデータを対象とした表現技術について学ぶ。	2020年度までに開設された「情報可視化」(GC54001)の単位を修得した者の履修は認めない。 GC54091と同一。 オンライン(オンデマンド型) 実務経験教員
GB26403	ソフトウェアサイエンス実験A	3	3.0	3	春ABC	水3,4 金5,6	萬 礼応,冨安 洋史,古川 宏,志築 文太郎,高橋 伸,佐野 良夫,鹿野 豊,天笠 俊之,髙橋 大成	ソフトウェアサイエンスとしてのソフトウェア科学,情報数理の中核的理論,技術を体得することを目的として,プログラミング言語,数値解析,人工知能,感性情報処理,システム制御などの基本的なテーマの中からいくつかを選択して具体的課題に取り組む。	対面(オンライン併用型) 開講日注意(テーマごとに設定。詳細は主専攻実験ウェブページ参照)情報科学類生に限る。
GB26503	ソフトウェアサイエンス実験B	3	3.0	3	秋ABC	水3,4 金5,6	萬 礼応,冨安 洋史,古川 宏,櫻井 鉄也,今倉 暁,大矢 晃久,天笠 俊之,髙橋 大成	ソフトウェアサイエンスとしてのソフトウェア科学,情報数理の中核的理論,技術を体得することを目的として,プログラミング言語,数値解析,人工知能,感性情報処理,システム制御などの基本的なテーマの中からいくつかを選択して具体的課題に取り組む。	対面(オンライン併用型) 開講日注意(テーマごとに設定。詳細は主専攻実験ウェブページ参照)情報科学類生に限る。
GB27001	ソフトウェアサイエンス特別講義A	1	1.0	3・4	秋C	集中	伊藤 誠,吉田 光男 他	ソフトウェアサイエンスの分野で活躍する外部講師による,オムニバス講義。	対面
GB27101	ソフトウェアサイエンス特別講義C	1	1.0	3・4	通年	集中			開設する場合は掲示で周知する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GB27201	ソフトウェアサイエンス特別講義D	1	1.0	3・4	通年	集中			開設する場合は掲示で周知する。
GB27401	ソフトウェアサイエンス特別講義B	1	1.0	3・4	通年	集中			開設する場合は掲示で周知する。

情報科学類(情報システム)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GB30101	コンピュータネットワーク	1	2.0	2	春AB	木5,6	佐藤 聡,津川 翔	データ通信における伝送と交換の基礎およびLAN,WAN,インターネットなどのコンピュータネットワークを構築するための基礎となるアーキテクチャについて解説する。	主専攻共通科目 BC12871, GC25301と同一。 対面(オンライン併用型) 情報メディア創成学類の「情報通信概論」(GC25101)の単位を修得した者の履修は認めない。2018年度以前の入学の情報科学類生の受講は認めない。
GB30201	計算機アーキテクチャ	1	2.0	3・4	春AB	火1,2	山際 伸一,和田 耕一	コンピュータのアーキテクチャとその実現方式及び動作原理について,現実に即して解説する。内容:コンピュータの基本構成,命令セット,データパスと制御,パイプライン制御,記憶階層,マルチプロセッサ,他。	主専攻共通科目 対面
GB30311	データベース概論A	1	2.0	3・4	春AB	木1,2	天笠 俊之,ブーサーヴォン	データベースシステムに関する入門.データベースの基本概念,データモデリング,リレーショナルデータモデル,データベース言語SQL,リレーショナル論理,リレーショナルデータベース設計論,物理的データ格納法,問合せ処理について講述する.【生成AIについて】筑波大学発行の「教育における生成AI活用のガイドライン(学生向け)」を参照し,適切に活用すること.	主専攻共通科目 対面(オンライン併用型) 2020年度までに開設された「データベース概論I」(GB30301)の単位を修得した者の履修は認めない。
GB30401	オペレーティングシステムI	1	2.0	3・4	秋AB	月5,6	阿部 洋丈,加藤 和彦	オペレーティングシステムの基本概念をわかりやすく解説する。オペレーティングシステムの歴史,基本構造,平行プロセス,CPUスケジューリング,デッドロック,実記憶管理,仮想記憶管理,ファイルシステム等について説明する。	主専攻共通科目 対面 教員免許取得希望者対象。オペレーティングシステム(GB30411)の修得者の履修は認めない。
GB30411	オペレーティングシステム	1	2.0	3・4	秋AB	月5,6	阿部 洋丈,加藤 和彦	オペレーティングシステムの基本概念をわかりやすく解説する。オペレーティングシステムの歴史,基本構造,平行プロセス,CPUスケジューリング,デッドロック,実記憶管理,仮想記憶管理,ファイルシステム等について説明する。	主専攻共通科目 対面 オペレーティングシステムI(GB30401)の修得者の履修は認めない。
GB30504	プログラム言語処理	4	2.0	3・4	秋AB	火1,2	干川 尚人	言語処理系(コンパイラとインタープリタ)の入門で,その理論と技法の基礎を解説する。簡単な言語処理系を例に,内部の仕組みを講義と演習にて具体的に紹介する。	主専攻共通科目 対面 対面(オンライン併用型) オンライン(オンデマンド型) 2021年度まで開設されていた「 プログラム言語処理」(GB31301)の単位を修得した者の履修は認めない。
GB30601	ソフトウェア工学	1	2.0	3・4	秋AB	水5,6	大山 恵弘	オブジェクト指向技術を中心に,信頼性の高いソフトウェアを効率的に開発するための手法を学ぶ.オブジェクト指向プログラミング,ソフトウェアメトリクス,UML,デザインパターン,ソフトウェアテスト,ウォーターフォールモデル,リファクタリング,アジャイル開発,エクストリームプログラミング,スクラム等について,演習を行いながら学習する.	主専攻共通科目 対面 2021年度まで開設されていた「ソフトウェア工学」(GB31501)の単位を修得した者の履修は認めない.
GB31111	並列処理アーキテクチャI	1	1.0	3・4	春AB	火5	三宮 秀次,冨安 洋史	並列処理の必要性と並列処理アーキテクチャの基礎を習得する.具体的には,これまでに実現されてきた並列処理アーキテクチャの概要,および,ペトリネットによる並列処理のモデル化と検証手法を理解する.また,ネットワーキングアーキテクチャ,低消費電力化,LSI実現における設計技術などの最近の動向および今後の課題についての知見を得る.	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GB31121	並列処理アーキテクチャII	1	1.0	3・4	秋AB	水2	冨安 洋史	基本的なパイプライン構成によるアーキテクチャから更に進んでスーパースカラ、キャッシュメモリ、広帯域メモリシステムなど、現代の計算機アーキテクチャで広く用いられているものについて学ぶ。	対面
GB31201	VLSI工学	1	2.0	3・4	春AB	火3,4	金澤 健治,小島 拓也,山口 佳樹	VLSI(大規模集積回路)は,スーパーコンピュータからスマートフォン,組み込み機器に至るまで,全ての情報通信システムのハードウェア基盤となる.本講義では,VLSIの構成,動作,設計に関する基本事項を論理VLSI,メモリVLSIを中心に解説する.さらに,高速処理にとって重要な演算回路の構成と設計について解説する.	授業形態の変更等,授業情報はmanabaにて連絡する. 対面
GB31401	システムプログラム	1	2.0	3・4	春BC	水1,2	新城 靖,大山 恵弘	Unixのシステムコールを主な題材としてシステムプログラミング、および、ネットワーク・プログラミングについて講義する。計算機を用いた実習を課す。	対面 各自自分の PC、AC アダプタ、HDMI ケーブルを接続するためのアダプタ等を実習室に持参すること。
GB31611	データベース概論B	1	1.0	3・4	秋A	金3,4	塩川 浩昭,天笠 俊之	データベース概論Iに続いて、データベースシステムに関する以下の内容に中心に講義する。関係データベースの復習、トランザクション処理、問合せ処理、インデックス、グラフ等を含むデータベースの高度利用。	2020年度までに開設された「データベース概論II」(GB31601)の単位を修得した者の履修は認めない。 対面(オンライン併用型)
GB31701	情報検索概論	1	2.0	3・4	秋AB	金1,2	鈴木 釈規	情報検索に関する入門.情報検索の基本概念,ブール検索モデル,索引語の抽出と重み付け,ベクトル空間モデル,索引手法,情報検索システムの評価,クラスタリング,マルチメディア情報検索,XML,WWW検索に関して講述する.	対面(オンライン併用型)
GB31801	オペレーティングシステムII	1	1.0	3・4	秋C	水5,6 金3,4	新城 靖	最近のオペレーティングシステムの実際的な側面を,設計論および実装論の立場から解説する。	実施日程は,別途掲示等で周知する。 対面
GB31901	分散システム	1	1.0	3・4	秋AB	月3	建部 修見,阿部 洋丈	ローカルネットワークおよびインターネットによって接続された分散システムの基本構成原理,基本ソフトウェア,基本アルゴリズム,フォールトトレラント設計を論じる。	対面
GB32201	電子回路	1	2.0	3・4	春AB	木5,6	庄野 和宏	アナログ電子回路に関する講義を行う。主な内容は,半導体素子の特性,トランジスタの信号等価回路,小信号増幅回路,電力増幅回路,帰還増幅回路,演算増幅器とその応用回路,発振回路。	対面
GB32301	人工生命概論	1	1.0	3・4				人工生命は、あらゆる生命にヒントを得て、生命的なシステム作る。あるいは作ることを通して生命を理解することを目的とした研究分野です。本講義では、生命の中心的な性質のひとつである、「創発」を生み出すアルゴリズムについて学びます。身体性を使う、集団を使う、進化を使う、という3つの異なるアプローチを通して、創発や適応を実装できる知識を身につけることを目指します。 必要に応じて、Pythonで書かれたコードを走らせながら体感的に学びます。	BC12681と同一。 2026年度開講せず。
GB36403	情報システム実験A	3	3.0	3	春ABC	水3,4 金5,6	萬 礼応,冨安 洋史,古川 宏,新城 靖,天笠 俊之,ブー サーヴォン,髙橋 大成	情報システムを構築するハードウェア及びソフトウェアに関し,プロセッサ・ネットワーク・システム及び応用プログラム,通信等の要素技術の修得を目指し,それらに関するテーマの中から幾つか選択して具体的課題に取り組む。	対面(オンライン併用型) 開講日注意(テーマごとに設定。詳細は主専攻実験ウェブページ参照)情報科学類生に限る。
GB36503	情報システム実験B	3	3.0	3	秋ABC	水3,4 金5,6	萬 礼応,冨安 洋史,古川 宏,高橋 大介,多田野 寛人,佐藤 聡,木村 成伴,千川 尚人,堀江 和正,大山 恵弘,建部 修見,天笠 俊之,髙橋 大成	情報システムを構築するハードウェア及びソフトウェアに関し,プロセッサ・ネットワーク・システム及び応用プログラム,通信等の要素技術の修得を目指し,それらに関するテーマの中から幾つか選択して具体的課題に取り組む。	対面(オンライン併用型) 開講日注意(テーマごとに設定。詳細は主専攻実験ウェブページ参照)情報科学類生に限る。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GB37001	情報システム特別講義A	1	1.0	3・4	秋C	集中	山際 伸一,宮原 裕人	近年のIoTデバイスの流行によって、実装技術はますます重要になっている。 特にプリント基盤技術はDIYな技術として、無償のツールや格安で即納可能な実装サービスが利用できるようなった。 本講義はそのような背景からプリント基板の実装技術を、実際にデジタル回路を組み上げることによって設計から製作までの一連の設計作業を学習する。 この講義によって、自分でプリント基板を作成できるようになり、ハードウェアを実際に作り上げる基礎力が得られる。	オンライン(同時双方向型) オンライン(リアルタイム)で実施する。(オンデマンドではない)
GB37101	情報システム特別講義B	1	1.0	3・4	春C	集中	高橋 康博,笹田 耕一	Rubyインタプリタ (CRuby/MRI) を題材に、内部構成を概観し、実際に利用されているシステムソフトウェアについて検討する。Ruby における仮想マシン、メモリ管理、スレッド管理や機能拡張管理などRuby 処理系を構成する低レベルコンポーネントを紹介するとともに、言語処理系と OS などのシステムソフトウェアとの関連についても検討する。	2020年度~2022年度の「情報科学特別講義A」(GB17001)の単位を修得した者の履修は認めない。
GB37201	情報システム特別講義C	1	1.0	3・4	通年	集中			詳細は別途掲示等で周知する。
GB37301	情報システム特別講義D	1	1.0	3・4	秋C	集中			開設する場合は掲示で周知する。

情報科学類(知能情報メディア)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GB40111	情報セキュリティ	1	2.0	3・4	春AB	金1,2	西出 隆志,國廣 昇,面 和成	電子社会の進展にともなってセキュリティ対策の重要性が増している。そこで、情報セキュリティに関する基礎理論を習得し、それが実際にどう使われているかを学ぶ。基礎理論では暗号を中心とし、応用ではインターネット上に展開されるシステムのセキュリティ対策を中心に講義する。	主専攻共通科目 BC12651と同一。 対面 2019年度までに開設された「情報セキュリティ」(GB42101)の単位を修得した者の履修は認めない。
GB40301	ヒューマンインタフェース	1	2.0	3・4	春AB	木5,6	古川 宏,川口 一画	ユーザの側に立ったヒューマンインタフェースの考え方について説明する。身近な道具や日用品におけるヒューマンインタフェース,ヒューマンインタフェースの原理,インタフェース設計などについて学ぶ。GUIや視覚的インタフェース技術について学習し,これらの考え方にもとづき簡単なインタフェース設計ができるようになることを目指す。	主専攻共通科目 BC12671, GE71101と同一。 対面
GB40411	信号処理	1	2.0	3・4	春AB	金3,4	亀山 啓輔,鈴木 大三	前半は連続信号の解析方法とその応用について講述し,演習によりそれらを使いこなす能力を身につける.フーリエ解析,線形システム,ラプラス変換,フィルタ設計などを扱う.後半はディジタル通信・マルチメディア処理で重要な役割を果す信号処理の基礎について概説する.周波数分析の概念を紹介して標本化定理にふれ,ディジタルフィルタの考え方と設計法,適応信号処理の基礎等について学ぶ.	主専攻共通科目 BC12621と同一。 対面 2020年度までに開設された「信号処理概論」(GB40101)または2020年度までに開設された「ディジタル信号処理」(GB40401)または2019年度までに開設された「ディジタル信号処理」(GB41401)の単位を修得した者の履修は認めない。
GB40501	機械学習	1	2.0	3・4	春AB	火1,2	秋本 洋平	人間による判断や認識と同等の機能をコンピュータを用いて実現する機械学習や人工知能の理論と方法を、教師付き学習、教師なし学習を中心に理解する。	主専攻共通科目 BC12881と同一。 対面 2020年度までに開設された「機械学習」(GB42404)の単位を修得した者の履修は認めない。
GB40601	情報理論	1	2.0	3・4	秋C	火・金3,4	伊藤 誠,崔 子歆,孟 成柱	情報通信を含む様々な分野で必要となるシャノンの情報理論について講義と演習を行う。内容は,情報とその表現,情報量,情報圧縮のための符号化,信頼性向上のための符号化,情報伝送と信号。	主専攻共通科目。確率論の知識を必要とする。 対面 2021年度まで開設されていた「情報理論」(GB12501)の単位を修得した者の履修は認めない。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GB41104	アドバンストCG	4	2.0	3・4	秋AB	木3,4	金森 由博,藤澤 誠,遠藤 結城	研究分野や産業界で用いられている高度な CG 技術について、レンダリング、モデリング、アニメーション、画像処理に関するプログラミング課題を通じて実践的に学ぶ。具体的には、シェーダプログラミング、大域照明、細分割曲面、形状変形、キャラクターアニメーション、流体シミュレーション、画像の編集加工技術などを含む。これらの内容を通じて、データの統計処理、最小二乗法、偏微分方程式の数値解法、大規模疎行列を含む線形方程式の導出および求解などを体験する。プログラミング言語としては課題に応じて C++ または Python を用いる。	GC54904と同一。 対面
GB41511	音声聴覚情報処理	1	1.0	3・4	春C	金3,4	山田 武志	音声入出力の基本となる音声処理について概説する。人間の音声器官・聴覚器官の構造や機能について述べ,音声分析,特徴抽出,音声認識などの方法について学ぶ。	BC12601と同一。 オンライン(オンデマンド型) 2019年度までに開設された「音声聴覚情報処理」(GB41501)の単位を修得した者の履修は認めない。
GB41611	自然言語処理	1	1.0	3・4	春C	木3,4	山本 幹雄	人工知能・知識処理の代表的な応用例として自然言語処理(日本語や英語などの人間の言葉の理解/処理)を取り上げ,計算機内でのモデル化および処理アルゴリズムについて講義する。	GC53901と同一。 対面(オンライン併用型) 実務経験教員
GB41711	視覚情報科学	1	2.0	3・4	春AB	火5,6	酒井 宏	ヒトの視覚系でどのような情報処理が行われているのかを概説する。大脳生理学・心理物理学・計算神経科学を一体として、視覚の原理を理解することを目指す。網膜・初期視覚野から、色覚・運動視・3次元知覚・物体認識・注意など、視覚全般について講義する。	GC53601と同一。 対面 実務経験教員
GB42201	画像メディア工学	1	2.0	3・4	秋AB	火5,6	滝沢 穂高	画像メディア処理の基礎と応用について講義する。具体的には,画像メディアの入出力,画質改善,2値画像処理,特徴抽出,立体情報の抽出,動画像処理などの画像解析について概説する。	対面
GB42301	画像認識工学	1	2.0	3・4	春AB	木3,4	福井 和広	画像認識処理の基礎と応用について講義する。画像認識・理解のための基本的な考え方やアルゴリズムを線形代数などの数理に基づいて体系的に理解する。	オンライン(対面併用型)
GB46403	知能情報メディア実験A	3	3.0	3	春ABC	水3,4 金5,6	萬 礼応,冨安 洋史,古川 宏,滝沢 穂高,伊藤 誠,齊藤 裕一,崔 子歆,金森 由博,遠藤 結城,天笠 俊之,髙橋 大成,孟 成柱	認識・理解や学習・獲得などの知的情報処理や,音声・画像などの情報メディアの生成,入出力,効率的な蓄積・伝達に関する理論と技術の修得を目指し,それらに関するテーマの中から幾つか選択して具体的課題に取り組む。	BC12883と同一。 対面(オンライン併用型) 開講日注意(テーマごとに設定。詳細は主専攻実験ウェブページ参照)情報科学類生と国際総合学類生に限る。
GB46503	知能情報メディア実験B	3	3.0	3	秋ABC	水3,4 金5,6	萬 礼応,冨安 洋史,古川 宏,乾 孝司,秋本 洋平,三谷 純,天笠 俊之,髙橋 大成	認識・理解や学習・獲得などの知的情報処理や,音声・画像などの情報メディアの生成,入出力,効率的な蓄積・伝達に関する理論と技術の修得を目指し,それらに関するテーマの中から幾つか選択して具体的課題に取り組む。	BC12893と同一。 対面(オンライン併用型) 開講日注意(テーマごとに設定。詳細は主専攻実験ウェブページ参照)情報科学類生と国際総合学類生に限る。
GB47001	知能情報メディア特別講義A	1	1.0	3・4	夏季休業中	集中	佐藤 雄隆,小林 匠,大西 正輝,谷村 勇輔,中田 秀基,福井 和広		2023 年度以前の「情報科学特別講義 E」(GB17401)の単位を修得した者の履修は認めない。 GC59301と同一。
GB47101	知能情報メディア特別講義B	1	1.0	3・4	通年	集中			開設する場合は掲示で周知する。
GB47201	知能情報メディア特別講義C	1	1.0	3・4	通年	集中			開設する場合は掲示で周知する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GB47301	知能情報メディア特別講義D	1	1.0	3・4	通年	集中			開設する場合は掲示で周知する。

開設母体

要件
情報メディア創成学類

専門基礎科目(必修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GC11601	確率と統計	1	2.0	2	春AB	水1,2	山本 幹雄	統計学の基礎となる確率論を学ぶ。確率論の基礎としては、確率の公理、確率変数、確率分布、期待値、中心極限定理などを学習し、その後に統計学で重要な標本分布を学ぶ。	対面(オンライン併用型)
GC11701	微分積分B	1	2.0	2	春AB	木3,4	佐野 良夫	「微分積分A」を受けて,多変数関数(主に2変数)の解析及び級数について,演習も交えて講義する。内容は多変数関数の基本的な性質,微分(偏微分,全微分),重積分, 及び級数の収束,関数級数(主にベキ級数)など。	「解析I」(GC11101,GC11191)または「微分積分A」(GA15331)を履修していること。 対面(オンライン併用型)
GC11801	線形代数B	1	2.0	2	春AB	月1,2	徳永 隆治	「線形代数A」に続き、ベクトル空間、内積空間、線形変換、不変空間(核・像・固有空間)、固有値と対角化、標準形等の線形代数の基本概念が学べる。	「線形代数I」(GC11301,GC11391)または「線形代数A」(GA15231)を履修していること。 対面(オンライン併用型)
GC12104	コンピュータリテラシー	4	1.0	2	春A	火5,6	中井 央	研究・開発環境としての Linux と、文書整形システムである LaTeX を扱う。	「プログラミング」(GC12701)の単位を修得した者の履修は認めない。 実習設備の都合により、70名程度を受講者の上限とする。上限を超えた場合は情報メディア創成学類の学生を優先する。 対面
GC12301	プログラミングII	1	1.0	1	秋AB	応談	三河 正彦	C言語を題材に,プログラミングの考え方,基本的なプログラムの書き方について講義を行う。さらに,より高度なプログラミング技法や,プログラム開発に必要な基本的知識を学ぶ。	情報メディア創成学類の2018年度以前の入学者対象。実施学期は原則表記の通りだが,受講人数によっては受講生との相談により,例えば「集中」として開講する等,変更もあり得る。 対面
GC12401	データ構造とアルゴリズム	1	2.0	2	秋AB	火1,2	金森 由博,乾 孝司	ソフトウェアを書く上で基本となるデータ構造とアルゴリズムの考え方について学ぶ。線形構造, 木構造, グラフ構造, データ整列, データ探索について学習する。	対面(オンライン併用型)
GC12403	データ構造とアルゴリズム実習	3	1.0	2	秋AB	月1,2	乾 孝司,金森 由博	「データ構造とアルゴリズム」で学んだ手法を用いて、実際にプログラムを作成し、そのプログラムが稼動することを確認する。	実習設備の都合により、70名程度を受講者数の上限とする。履修希望者が上限を越えた場合には、情報メディア創成学類の学生を優先する。 対面(オンライン併用型)
GC12791	プログラミング	1	2.0	2	春BC	火5,6	中井 央	プログラミング入門で学んだことを基礎として、発展的な内容として C言語を扱う。	「プログラミング」(GC12701)の単位を修得した者の履修は認めない。 実習設備の都合により、70名程度を受講者の上限とする。上限を超えた場合は情報メディア創成学類の学生を優先する。 対面
GC13101	コンピュータシステムとOS	1	2.0	2	春AB	月5,6	陳 漢雄	コンピュータシステムのアーキテクチャと動作原理,ならびに,オペレーティングシステムの主要な機能について講義する。実習形式でアセンブリ言語によるプログラミングの課題にも取り組む。	実験設備の都合上、70名程度が上限。上限を超えた場合は情報メディア創成学類生を優先 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GC13201	データ工学概論	1	2.0	2	春AB	火1,2	徐 哲林	計算機を用いて大量のデータを管理する技術の概要を学ぶ。また、プログラミング言語からデータベースを操作する埋込みSQL手法と、その際に生じるセキュリティリスク対策についても学習する。	実習設備の都合により、70名程度を受講者数の上限とする。履修希望者が上限を越えた場合には、情報メディア創成学類の学生を優先する。知識情報・図書館学類の学生は「データベース技術」を履修すること. 対面(オンライン併用型)

専門基礎科目(選択科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GC20101	メディア社会学	1	2.0	2	秋C	月・木3,4	寺地 美奈子	メディア研究、知識情報学の基礎としての社会学を学ぶ。哲学の一分野として出発した社会学が、社会調査等で日常生活の具体像に向き合うのはなぜか、その問題意識や方法を考察する。具体的には、ウェーバー社会学の方法を学び、人々の意識や行動を捉える社会調査が、どのように人々の意味世界に迫るか論じる。	GE21401と同一。 オンライン(オンデマンド型) 情報メディア創成学類生はGC20101を、それ以外の学生はGE21401を履修すること。
GC21401	統計分析法	1	2.0	2	秋AB	水5,6	酒井 宏	統計学に基づいた実践的な分析方法について概説する。標本・推定・検定・分散分析・ブートストラップ・回帰・因子分析などの原理と方法を講義する。現実のデータに則した統計分析の方法を演習する。	実習設備の都合により、70名程度を受講者数の上限とする。履修希望者が上限を越えた場合には、情報メディア創成学類の学生を優先する。 対面 実務経験教員 2014年度までに開設された「統計解析」の単位を修得した者の履修は認めない。
GC21501	情報数学B	1	2.0	2	秋AB	月3,4	森継 修一	整数および多項式を題材とした代数学の基本を講義する。特にコンピュータ上での実現を視野におき、数式処理システムを利用した問題解法や数式処理固有のアルゴリズムの解説も視野に入れる。	GE22401と同一。 対面 情報メディア創成学類生はGC21501を、それ以外の学生はGE22401を履修すること。 ただし、2019年度までに情報メディア創成学類で開設された情報数学II(GC21201)の単位を修得した者の履修は認めない。
GC21601	情報数学C	1	2.0	2 - 4	秋AB	水3,4	藤澤 誠	数学のコンピュータサイエンスへの応用として,これまで習得してきた微分積分,線形代数を離散的に計算するための手法を講義する.多くの問題が数学によりモデル化されている中で,それを如何にしてコンピュータを用いて計算するのか,という点を中心として応用例や実際のアルゴリズム等も示しながら解説する.	2018年度までに情報メディア創成学類で開設された「情報数学III」(GC21301)の単位を修得した者の履修は認めない。 対面
GC22101	Webプログラミング	1	2.0	2	秋AB	木1,2	永森 光晴	Webブラウザをユーザインタフェースに用い,サーバと対話的にやりとりをするwebアプリケーションの基本的な作成方法を習得する。HTMLに加え,プログラミング言語にはRuby やJavascriptを用いる。	受講人数は70人程度を上限とする. 対面(オンライン併用型)
GC22201	プログラム言語論	1	2.0	3・4	春AB	木1,2	志築 文太郎	さまざまなプログラミング言語が提供する諸概念を、そのメカニズム、プログラミング手法、適用分野、実現方法などの観点から概説する。	実習設備の都合により、70名程度を受講者数の上限とする。履修希望者が上限を越えた場合には、情報メディア創成学類の学生を優先する。 対面(オンライン併用型)
GC23101	信号とシステム	1	2.0	2	秋AB	水1,2	寺澤 洋子	連続時間信号システム,連続時間信号のディジタル化,ディジタル信号システム,および信号処理技術について,基本概念,重要技術に関する理論と応用を講義し,信号処理の基本技術を習得する。	対面(オンライン併用型)
GC23201	情報理論	1	2.0	2	秋BC	木5,6	工藤 博幸	情報理論とは情報伝送(通信)の数学的理論である。特に,1948年にシャノンが発表した確率論を基礎とした情報理論は,情報伝送のみならず様々な分野で利用されている。シャノンの情報理論について演習を交えて解説する。	対面
GC23304	CG基礎	4	2.0	2	秋AB	火3,4	三谷 純,金森 由博,遠藤 結城	コンピュータグラフィックスに関する座標変換,形状モデリング,レンダリングなどの基礎的な理論を学ぶ.また,PythonによるOpenGLライブラリを用いたプログラミング演習を通して学習内容の理解を深めるとともに,自ら新たなCGアプリケーションを開発できるようになることを目指す.	BC12624, GB13704と同一。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GC23401	パターン認識	1	2.0	3・4	春AB	月3,4	乾 孝司	パターン認識の考え方について、基本概念および具体的なアルゴリズムを順に学習する。また、パターン認識のテキスト処理への応用についても学習する。	対面(オンライン併用型)
GC23501	画像・映像情報処理	1	2.0	3・4	秋AB	月5,6	工藤 博幸,藤澤 誠	画像メディアの生成,加工,認識,伝送などを目的として計算機で画像を処理する技術を画像処理と呼ぶ。本講義では,画像処理の基礎と幾つかの応用的なトピックスについて演習を交えて解説する。	実習設備の都合により、70名程度を受講者数の上限とする。履修希望者が上限を越えた場合には、情報メディア創成学類の学生を優先する。 対面
GC23601	音声・音響学基礎	1	2.0	3・4	春AB	木3,4	寺澤 洋子	この授業では,音声をはじめとする音響現象(音声,楽器音響,室内音響と音環境,心理音響)の基本を理解し,それらを分析する技術を学びます。音が生まれて聞こえるまでを,「振動・共鳴・伝搬・聴取」の4つのプロセスからなる物理的・生理的・心理的現象として捉え,理論的に考えるためのコンセプトと枠組みを学び,音によるコミュニケーションの本質を考察するための土台を養います。	オンライン(対面併用型) 2014年度までに情報メディア創成学類で開設された「音声情報処理」(GC50901)の単位を修得した者の履修は認めない。
GC24101	情報デザインI	1	2.0	2	秋AB	火3,4	金 尚泰	グラフィックデザイン手法を用いた情報デザイン表現は、多様な情報を発信していくための重要な手段の一つである。本講義では、ビジュアルコミュニケーションデザインの視点からグラフィックデザイン手法について学ぶ。特に表現要素を中心とし、タイポグラフィー、色彩、バランス、レイアウト、リズム、パターンなど、グラフィカルな情報表現を体験することで、これからのコンテンツ制作活動に応用できるようになる。	対面 実務経験教員
GC24401	コンテンツ概論	1	2.0	2				書籍、映画、放送、広告などのために作られる“情報の中身”はコンテンツと呼ばれている。これまでのコンテンツは、プロが製作し一般の人々が購読・視聴することが一般的であった。しかし、インターネットやソーシャルメディアの普及に伴い、誰もがコンテンツを制作しメッセージを伝えることが可能になりつつある。 コンテンツはどのように作られ、どのように視聴者に届けられているのだろうか。そして、未来のコンテンツはどのように変わっていくのだろうか。本授業では、実際にコンテンを制作し、その体験を通じてコンテンツの概念や制作手法を学ぶ。	2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
GC24501	コンテンツ流通基盤概論	1	2.0	2	秋C	火・木3,4	永森 光晴,三原 鉄也	インターネット上ではさまざまなコンテンツが提供され,それを流通させるためのいろいろなシステムやサービスが提供されている。本講義では,インターネット上におけるコンテンツ流通サービスやディジタルアーカイブについて概観し,それを支えるメタデータなどの基盤的情報技術、特にWebの視点からの技術に関して理解することを目的とする。	GC14401と同一。情報メディア創成学類の2019年度以降の入学者対象。比較文化学類の「文化学データ演習II」(AC63C52)の単位を取得した者の履修は認めない。またAC63C52との同時受講は認めない。 対面(オンライン併用型)
GC24601	メディアコンテンツ概論	1	2.0	2	秋AB	火5,6	平木 剛史	メディアコンテンツの基盤となる技術、特に五感メディア技術の理解を通じて、その概念と設計論を習得することを目的とする。 具体的には、バーチャルリアリティ(VR)技術を中心に、拡張現実感(AR)や複合現実感(MR)、テレイグジスタンスといった関連技術と、これらの技術を統合的に活用したVRシステムの設計手法や、VR空間を構築するための要素技術について学習する。	対面(オンライン併用型)
GC25301	コンピュータネットワーク	1	2.0	2	春AB	木5,6	佐藤 聡,津川 翔	データ通信における伝送と交換の基礎およびLAN,WAN,インターネットなどのコンピュータネットワークを構築するための基礎となるアーキテクチャについて解説する。	主専攻共通科目 BC12871, GB30101と同一。 対面(オンライン併用型) 情報メディア創成学類の「情報通信概論」(GC25101)の単位を修得した者の履修は認めない。2018年度以前の入学の情報科学類生の受講は認めない。
GC26101	人間計測の方法	1	1.0	2	秋AB	木4	森田 ひろみ	人間の知覚・認知特性を計測する際に用いられる様々な方法を紹介し,そのデータ取得,処理および解釈の際に留意すべき人間計測特有の点について説明する。	対面
GC26201	認知科学	1	2.0	2	春AB	月3,4	森田 ひろみ,飯野 なみ	人間の認知過程を探究する学際的領域としての認知科学について、様々なアプローチからの研究がなされていることを知り、人間の認知の様々な側面を理解する。「人間的要因」は情報メディアやコンテンツを考えていく上でも重要な基礎となる。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GC27202	情報メディア特別演習I	2	2.0	1	通年	応談	工藤 博幸,寺澤 洋子	学生が興味や能力に応じて自主的に設定した演習テーマについて,アドバイザ教員の指導のもと,通年で演習を実施する。企画力,実行力,表現力,プレゼンテーション能力を養うことを目的とする。	情報メディア創成学類の2019年度以降の入学者対象。 対面(オンライン併用型)
GC27302	情報メディア特別演習II	2	2.0	2	通年	応談	工藤 博幸,寺澤 洋子	学生が興味や能力に応じて自主的に設定した演習テーマについて,アドバイザ教員の指導のもと,通年で演習を実施する。企画力,実行力,表現力,プレゼンテーション能力を養うことを目的とする。	情報メディア創成学類の2019年度以降の入学者対象。「情報メディア特別演習I」(GC27202)を履修した学生に限る。 対面(オンライン併用型)
GC27701	ACPC連携講座: ライブ・コンテンツ論	1	2.0	2 - 4	春AB	水5,6	三末 和男	世界的にニーズが高まる「ライブ・エンタテインメント」をコンテンツと捉え,テクノロジーの観点も通して,産業としての最新動向や発展の可能性を学ぶ.全国各地でライブを開催する「プロモーター」で構成される,一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 (ACPC) との連携講座として,公演の主催者やクリエイター,メディア企業,ライブ演出家などから講師を招聘し,多様化・進化するライブの現在形を探る.	(受講制限あり) 対面(オンライン併用型) 実務経験教員
GC27992	現代アート・メディアアート演習	2	2.0	3・4	秋AB	金3,4	村上 史明	異分野の学生同士のコラボレーションにより、映像やインタラクティブアートの要素を含めた、メディアアート作品の提案・制作を行う。	2024年度以前の「YBJ5412(GC27902と同一)ハイブリッドアート演習」を履修した者は履修不可。 YBJ5422と同一。 実務経験教員 対面

専門科目(必修科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GC41103	情報メディア実験A	3	3.0	3	春ABC	水3,4 金5,6	寺澤 洋子,工藤 博幸,情報メディア実験担当各教員	情報メディア創成学類に関わるテーマについて,各担当教員のもと,各学期完結で実験を実施し,結果を報告・発表する。	データの分析手法やAIの活用方法を学び、課題に応じた活用計画の企画・実施・評価を行う実践的な学習を通じて、問題解決能力を養う。同一テーマが複数学期で開講されていても、2度以上選択することはできない。 対面(オンライン併用型)
GC41203	情報メディア実験B	3	3.0	3	秋ABC	水3,4 金5,6	寺澤 洋子,工藤 博幸,情報メディア実験担当各教員	情報メディア創成学類に関わるテーマについて,各担当教員のもと,各学期完結で実験を実施し,結果を報告・発表する。	データの分析手法やAIの活用方法を学び、課題に応じた活用計画の企画・実施・評価を行う実践的な学習を通じて、問題解決能力を養う。同一テーマが複数学期で開講されていても、2度以上選択することはできない。 対面(オンライン併用型)
GC42102	専門英語A	2	1.0	4	春ABC	随時	情報メディア創成学類各教員	卒業研究の指導教員のもと、セミナー形式で、専門分野の基礎となる英語文献の講読または卒業研究の進捗について英語で発表し、その内容の討論を行う。またそれらをまとめたレポートを作成する。	情報メディア創成学類の2019年度以降入学者対象。研究室配属されていない学生は受講不可。 対面(オンライン併用型) オンライン(同時双方向型)
GC42202	専門英語B	2	1.0	4	秋ABC	随時	情報メディア創成学類各教員	卒業研究の指導教員のもと、セミナー形式で、卒業研究の進捗について英語で発表し、その内容の討論を行う。またそれらをまとめたレポートを作成する。	情報メディア創成学類の2019年度以降入学者対象。研究室配属されていない学生は受講不可。 対面(オンライン併用型) オンライン(同時双方向型)
GC42302	専門英語A	2	1.0	4	秋ABC	随時	情報メディア創成学類各教員	卒業研究の指導教員のもと、セミナー形式で、専門分野の基礎となる英語文献の講読または卒業研究の進捗について英語で発表し、その内容の討論を行う。またそれらをまとめたレポートを作成する。	指導教員から指示された該当者は支援室窓口にて履修申請。情報メディア創成学類の2019年度以降入学者対象。研究室配属されていない学生は受講不可。 対面(オンライン併用型) オンライン(同時双方向型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GC42402	専門英語B	2	1.0	4	春ABC	随時	情報メディア創成学類各教員	卒業研究の指導教員のもと、セミナー形式で、卒業研究の進捗について英語で発表し、その内容の討論を行う。またそれらをまとめたレポートを作成する。	指導教員から指示された該当者は支援室窓口にて履修申請。情報メディア創成学類の2019年度以降入学者対象。研究室配属されていない学生は受講不可。 対面(オンライン併用型) オンライン(同時双方向型)
GC48808	卒業研究A	8	3.0	4	春ABC	随時	情報メディア創成学類各教員	情報メディア創成学類での学習の総決算として,指導教員の研究室へ配属のもと,1年間で1つの研究をまとめ上げる。	対面(オンライン併用型)
GC48908	卒業研究B	8	3.0	4	秋ABC	随時	情報メディア創成学類各教員	情報メディア創成学類での学習の総決算として,指導教員の研究室へ配属のもと,1年間で1つの研究をまとめ上げる。	対面(オンライン併用型)

専門科目(選択科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GC50291	オートマトンと形式言語	1	2.0	3・4	秋AB	木5,6	亀山 幸義	オートマトンと形式言語の基礎理論を学習する。取り上げる話題は、チョムスキー階層、有限オートマトンと正規表現、プッシュダウンオートマトンと文脈自由文法、チューリング機械と計算可能性・決定可能性、チャーチ・チューリングの提唱などである。	主専攻共通科目. 2021年度まで開設されていた「オートマトンと形式言語」(GB21601, GC50201)の単位を修得した者の履修は認めない。 GB20401と同一。 対面(オンライン併用型) 講義内容はスライドおよび動画で提供するので、受講生は毎週の授業の前にこれらを使って学習すること。対面授業においては演習と質問対応を行う。確認テストは対面で行う。
GC50501	通信ネットワーク	1	2.0	3・4	秋AB	水1,2	木村 成伴,津川 翔	コンピュータネットワークを構築するための基礎となるネットワークアーキテクチャについて概説し,これを実現するためのデータ通信方式,データ伝送制御方式,データ伝送制御手順などについて述べる。そして,これらの技術を使用して構築されているLANについて説明する。	「情報通信概論」(2018年度以前入学者対象)、もしくは「コンピュータネットワーク」(2019年度以降入学者対象)を履修していることが望ましい。 対面(オンライン併用型)
GC51101	音楽・音響情報処理	1	2.0	3・4	秋BC	金1,2	飯野 なみ	マルチメディア情報の一環としての音楽・音響情報の扱いについて,基礎的な知識・技能を身につけることをねらいとする。解析・創作の両面から,基礎的・理論的背景,基本的な処理技術,応用システムや研究事例の紹介などを,実習も交えて講義する。	対面(オンライン併用型)
GC51701	実世界指向システム	1	2.0	3・4	秋AB	月3,4	三河 正彦	現在のコンピュータはグラフィカルユーザインタフェイス(GUI)が主流で,ユーザはディスプレイに向かって計算機やシステムの操作を行う。一方,計算機もしくは知的システムを現実世界に溶け込ませ,現実世界に対して何らかの作業をさせようとするのが,実世界指向システムである。本授業では,様々な実世界指向システムを紹介するとともに,実世界指向システムを構築するために必要な知識の習得を目指す。現実世界を数学的に表現するための幾何学,現実世界に対して働きかけるデバイスであるロボットを制御するために必要なロボティクス(ロボット工学),画像や音等の情報から現実世界を知るためのセンシング技術について講義する.	対面 実務経験教員
GC51901	マークアップ言語	1	2.0	3・4	春AB	月1,2	永森 光晴	データ交換のための表現形式として様々な分野で活用されているXML(Extensible Markup Language)の基礎とXSLT(XML Stylesheet Language Transformations)等の操作言語について取り上げる。また,理解を深めるために受講者が自ら実験できるようなプログラム例やアプリケーションソフトウェアの利用例も必要に応じて紹介する。	GE71901と同一。 対面(オンライン併用型) 受講人数は70人程度を上限とする
GC52001	データベースシステムI	1	2.0	3・4	春BC	金1,2	若林 啓	リレーショナルデータベースやNoSQLを対象として,データモデル,物理的格納方式,問い合わせ処理,同時実行制御,障害回復などのデータベースシステムの基本事項を講義する.また,アプリケーションごとに適切なデータベース管理システムを選ぶための観点について議論し,理解を深めるための演習を行う.	実習設備の都合により、70名程度を受講者数の上限とする。履修希望者が上限を越えた場合には、情報メディア創成学類の学生を優先する。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GC52101	データベースシステムII	1	2.0	3・4	秋AB	火1,2	陳 漢雄,森嶋 厚行	情報検索,データマイニング,情報統合技術,多様な情報のためのデータ管理・データベース技術など,リレーショナルデータベース管理以外のデータ工学技術について講義する。	実習設備の都合により、70名程度を受講者数の上限とする。履修希望者が上限を越えた場合には、情報メディア創成学類の学生を優先する。 対面(オンライン併用型)
GC52301	先端技術とメディア表現	1	1.0	3・4	春AB	金3	落合 陽一,李 晶晶	インターネットの普及により,メディアの多様化が進んでいる.現代は,マスメディア優勢の時代であった前世紀から,キュレーションメディア,ソーシャルメディア,ヴァーチャルリアリティ,インタラクティブアートなどコンピュータを駆使したメディアの時代に変化し,コンテンツの受容形態と表現が変わりつつある. 本講では,メディア技術の発展史,コンテンツの発展などについて学生自身によるサーヴェイと教員による講義を織り交ぜながらコンテンツビジネスやメディア研究に必要な先端技術,表現についての開発手法を議論する.	(受講制限あり) 対面(オンライン併用型) 実務経験教員
GC52401	コンテンツプロデュース論	1	1.0	3・4	秋C	火5,6	高島 瑛彦	本授業では、主にエンターテインメントの映像コンテンツを題材に、その制作手法と映像技術、映像表現や体験デザインの事例を通じて近年の映像産業の全体像を学びます。 特にXRや没入型メディア、リアルタイムCGなどの基盤となる映像技術やデバイス技術、生成AIの基盤となる深層学習技術等の概要や映像表現の特性等を学び、映像コンテンツ制作の理解を深めます。 また、コンテンツの調査分析や企画立案のプレゼンテーション課題を通し、コンテンツ企画を実践的に行います。	対面 実務経験教員
GC52701	ソフトウェア構成	1	2.0	3・4	春AB	金3,4	中井 央	コンパイラの構成の仕方を通し、ソフトウェアの構成方法について講義を行う。 また、実習室において実際にコンピュータを使用してソフトウェアの構成についての実習も行う。	実習設備の都合により、70名程度を受講者数の上限とする。履修希望者が上限を越えた場合には、情報メディア創成学類の学生を優先する。 対面
GC52801	情報デザインII	1	1.0	3・4	春AB	月3	金 尚泰	人とコンテンツとのインタラクションも踏まえた「グラフィックデザイン手法から考える情報デザイン」をテーマとし、世の中のコンテンツがどのような技術,テクニックを使っているのかといった表現上のポイント,内容,方法を議論する。特に情報デザインIで学習したデザイン基礎を活用、自らコンテンツ制作を行い、これからの制作活動に応用できるようになる。	個別作業物に対する議論を行うため、10名程度を受講者数の上限とする。 対面 実務経験教員
GC52901	インタラクションデザイン	1	2.0	3・4	春AB	火3,4	井上 智雄	情報環境における人のインタラクションについて扱う。有効なデジタルメディア、インタラクティブシステムを開発するために必要な事柄として、人間の特性、事例に基づいたシステムの設計、デジタルメディアによる表現、実環境にあるインタラクティブシステム、システムの評価などについて議論する。	対面
GC53303	ディジタルコンテンツ表現実習	3	1.0	3・4	秋AB	木5,6	落合 陽一,李 晶晶	広告やメーカーなどの現場において,インタラクティブメディアに関するプロトタイピング能力についてのニーズが高まっている.この講義では,ハードウェアやソフトウェアを用いたデジタルコンテンツを学生が主体となって制作する.どういった問題を解決し,そのためにどのような技術を用い,最終的なアウトプットを作り,それをプレゼンテーションするという一連の流れの中でインタラクティブメディアのプロトタイプ作りを実習する.	(受講制限あり) 対面(オンライン併用型) 実務経験教員
GC53401	ディジタルドキュメント	1	2.0	3・4				ディジタルドキュメントは、ハイパーテキスト、ウェブを介した発信、多人数による共同編集等の概念を含む、新しい情報メディアである。本講義では、学術研究分野や電子出版、電子書籍におけるディジタルドキュメントの作成と管理、発信の実例を取り上げ、その機能がどのように実現されるかを解説する。	GE70301と同一。 2026年度開講せず。 実務経験教員 対面 情報メディア創成学類生はGC53401を,それ以外の学生はGE70301を履修すること
GC53502	エンタテインメントコンピューティング演習	2	2.0	3・4	通年	応談	星野 准一	映像・音響メディア技術,VR・デバイス技術,ロボット技術,人工知能技術などを活用したエンタテインメントシステムのデザインプロセスを体験する。	受講人数は20人を上限とする。 対面(オンライン併用型) 実務経験教員
GC53601	視覚情報科学	1	2.0	3・4	春AB	火5,6	酒井 宏	ヒトの視覚系でどのような情報処理が行われているのかを概説する。大脳生理学・心理物理学・計算神経科学を一体として、視覚の原理を理解することを目指す。網膜・初期視覚野から、色覚・運動視・3次元知覚・物体認識・注意など、視覚全般について講義する。	GB41711と同一。 対面 実務経験教員

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GC53701	システム数理I	1	1.0	3・4	春A	木3,4	合原 一究,河辺 徹,平田 祥人	情報メディア創成学や情報科学,工学の対象となる,動物や生物の行動を含む各種のサイバーフィジカル システムに対し,その数理的モデリング手法及び解析手法ならびに制御手法について講義する.	GB22011と同一。 対面
GC53801	システム数理II	1	1.0	3・4	春C	火5,6	佐野 良夫	情報メディア創成学や情報科学,工学の対象となる各種システムの数理モデルに対し,システムの設計・運用に必要な最適化手法について学ぶ.	GB22021と同一。 対面(オンライン併用型)
GC53901	知識・自然言語処理	1	1.0	3・4	春C	木3,4	山本 幹雄	人工知能・知識処理の代表的な応用例として自然言語処理(日本語や英語などの人間の言葉の理解/処理)を取り上げ,計算機内でのモデル化および処理アルゴリズムについて講義する。	GB41611と同一。 対面(オンライン併用型) 実務経験教員
GC54091	情報可視化	1	2.0	3・4	春AB	月5,6	三末 和男	膨大なデータや情報が溢れる現代において、コンピュータによって情報を視覚的に提示する技術(情報可視化技術)は、情報処理を目的としたコンピュータと人間を有機的につなぐ重要な技術である。この授業では、情報可視化に関する基礎知識として、情報可視化の枠組、ヒトの視覚に関する認知的な性質、データを表現するための基本的な技術、様々なデータを対象とした表現技術について学ぶ。	2020年度までに開設された「情報可視化」(GC54001)の単位を修得した者の履修は認めない。 GB22621と同一。 オンライン(オンデマンド型) 実務経験教員
GC54301	システム数理III	1	1.0	3・4	春B	水5,6	佐野 良夫	離散最適化・組合せ最適化の分野における基本的な数理モデル、最適化問題、およびアルゴリズムについて講義する。	GB22031と同一。 対面(オンライン併用型)
GC54601	情報数学D	1	2.0	3・4	秋AB	月1,2	徳永 隆治	「線形代数A・B(またはI・II)」および「微分積分A・B(または解析I・II)」において習得した知識を前提として、これに引き続く線形代数の諸概念と手法が学べる。また、これらの知見が、画像・信号・数値等に関する情報処理系の構築において果たす役割について学ぶ。	GC52201と同一。 GB22501と同一。 対面(オンライン併用型)
GC54701	知覚心理学	1	1.0	3・4	秋AB	火4	森田 ひろみ	「環境から情報を取得し,そこから必要なメッセージを選択し,行動につなげる」という一連の流れに関連する認知過程について,心理学的現象に基づき解説するとともに,脳の情報処理特性についても考察する。	2018年度までに開設された「知覚心理学」(GC54101)の単位を修得した者の履修は認めない。 対面
GC54801	数式処理システム論	1	2.0	3・4	秋AB	木1,2	森継 修一	GC21501「情報数学B」で学んだ情報系数学の基本アルゴリズムの知識を前提として、代数系の計算を数式処理システム上で効率よく行うための各種アルゴリズムの解析とその応用について論じる。	GE72901と同一。 対面
GC54904	アドバンストCG	4	2.0	3・4	秋AB	木3,4	金森 由博,藤澤 誠,遠藤 結城	研究分野や産業界で用いられている高度な CG 技術について、レンダリング、モデリング、アニメーション、画像処理に関するプログラミング課題を通じて実践的に学ぶ。具体的には、シェーダプログラミング、大域照明、細分割曲面、形状変形、キャラクターアニメーション、流体シミュレーション、画像の編集加工技術などを含む。これらの内容を通じて、データの統計処理、最小二乗法、偏微分方程式の数値解法、大規模疎行列を含む線形方程式の導出および求解などを体験する。プログラミング言語としては課題に応じて C++ または Python を用いる。	GB41104と同一。 対面
GC55002	海外特別演習I	2	1.0	1 - 4				筑波大学海外留学支援事業(はばたけ!筑大生)の「海外学会等参加支援プログラム」採択者が履修するための科目である。	情報メディア創成学類生に限る。 2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
GC55102	海外特別演習II	2	1.0	1 - 4				筑波大学海外留学支援事業(はばたけ!筑大生)の「海外学会等参加支援プログラム」採択者が履修するための科目である。	情報メディア創成学類生に限る。 2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
GC55201	Human Information Interaction	1	2.0	3・4	春AB	木3,4	上保 秀夫	Human Information Interaction investigates the interaction between people and information. In this course, students deepen their understanding of elements that shape human information interaction, and apply the knowledge for designing novel interaction models, systems, or services.	GE62501, GE73101と同一。 英語で授業。 対面 G科目 情報メディア創成学類生はGC55201を、知識情報システム主専攻生はGE73101を、それ以外の学生はGE62501を履修すること。 GE60701「レファレンスサイエンス」を修得済みの者は履修不可

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GC55301	Machine Learning and Information Retrieval	1	2.0	3・4	秋AB	火1,2	于 海涛	Machine learning is playing a fundamental role in our daily life from the way we check emails right down to the way we search online. This course will introduce a number of representative machine learning methods, and show how to utilize them to solve the ranking problem in the field of information retrieval.	GE62401, GE72701と同一。 英語で授業。 対面(オンライン併用型) G科目 情報メディア創成学類生はGC55301を、知識情報システム主専攻生はGE72701を、それ以外の学生はGE62401を履修すること。
GC55401	Human-computer Interaction	1	2.0	3・4	秋C	月・木3,4	金 宣経	This course introduces basic concepts in the theory and practice of Human-Computer Interaction (HCI). The course will help students acquire knowledge about fundamental principles, techniques, and methods for designing, prototyping, and evaluating user interfaces.	GE72601と同一。 英語で授業。 対面(オンライン併用型) G科目 情報メディア創成学類生はGC55401を、それ以外の学生はGE72601を履修すること。
GC59301	情報メディア創成特別講義C	1	1.0	1 － 4	夏季休業中	集中	佐藤 雄隆,小林 匠,大西 正輝,谷村 勇輔,中田 秀基,福井 和広		2023 年度以前の「情報科学特別講義 E」(GB17401)の単位を修得した者の履修は認めない。 GB47001と同一。
GC59501	情報メディア創成特別講義E	1	1.0	1 － 4	通年	集中			開講する場合は掲示により周知する。
GC59792	情報メディア創成特別講義G	2	2.0	2	春A	金4,5集中	山田 博之	製品のプロトタイピングを重視した課題を設定し、要件を満たす実働のプロトタイプを作成する。 プロトタイピングの機材利用のために創房を利用する。	2025年度までの情報・プロダクトデザイン演習6相当の科目 YBN13A2と同一。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
GC59802	情報メディア創成特別講義H	2	1.0	2 － 4	春C	集中	萩野 泰士,寺澤 洋子	迅速なソフトウェア開発を支援するために,ノーコード・ローコードといったソースコードを書かずに開発ができるツール群が近年注目を浴びている。 これによって,ソフトウェア開発が省力化できることに加え,さまざまなバックグラウンドを持つエンジニアの参画が可能になっており,今後もより広く普及していくと考えられる。 本科目では,ソフトウェア開発に今まで挑戦する機会が少なかった学生を対象として想定し,ノーコード・ローコードという「とっつきやすい」枠組みを利用することで,ソフトウェア開発の流れを体験・実践させ,ソフトウェア開発の全体像を掴んでもらうことを目標とする。	時限等詳細は掲示板にて周知する。 7/13(1-4限),7/14(1-4限),7/15(1-2限) 対面 実務経験教員

開設母体

要件
知識情報・図書館学類

専門基礎科目(必修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE10201	哲学	1	2.0	2	秋AB	火3,4	横山 幹子	西洋哲学の歴史を概観し、哲学史に関する基礎的な知識を習得することを目指す。論理学の基本的な考え方にも触れる。そして、それらを学ぶことを通して、「考えること」の意味と重要性について考える契機を与える。	対面
GE10911	統計	1	2.0	2	春AB	水5,6	武田 将季	数理統計学の基礎を講義する。内容は、統計の意味、代表値、確率、母集団と標本、正規分布、統計的推定、仮説検定の考え方などである。	オンライン(オンデマンド型)
GE11012	知識情報演習I-1	2	2.0	2	春AB	火1,2	阪口 哲男,小泉 公乃	メタデータ(図書館目録、ダブリンコアなど)の作成と検索システムの構築に関する演習を行う。	知識1,3クラス対象。 対面 履修希望者が実習室定員を超える場合は初回に受講調整。
GE11022	知識情報演習I-2	2	2.0	2	春AB	水1,2	鈴木 伸崇,原 淳之	メタデータ(図書館目録、ダブリンコアなど)の作成と検索システムの構築に関する演習を行う。	知識2,4クラス対象。 対面 履修希望者が実習室定員を超える場合は初回に受講調整。
GE11112	知識情報演習II-1	2	2.0	2	春C秋A	火1,2	原 淳之,芳鐘 冬樹	情報や文献の探索に関する実践的演習を行うとともに、パスファインダーやサブジェクトゲートウェイなどを作成して探索方法を人に伝える方法についても学ぶ。	知識1,3クラス対象。 対面(オンライン併用型) 履修希望者が75名を超える場合は初回に受講調整。
GE11122	知識情報演習II-2	2	2.0	2	春C秋A	水1,2	原 淳之,池内 淳	情報や文献の探索に関する実践的演習を行うとともに、パスファインダーやサブジェクトゲートウェイなどを作成して探索方法を人に伝える方法についても学ぶ。	知識2,4クラス対象。 対面(オンライン併用型) 履修希望者が75名を超える場合は初回に受講調整。
GE11212	知識情報演習III-1	2	2.0	2	秋BC	火1,2	小泉 公乃,上保 秀夫	前半は、分類法と索引法のツールおよび主題分析の方法に関する演習を行う。後半は、情報検索システムの処理過程を学習すると共に、情報検索システムの構築に関する演習を行う。	知識1,3クラス対象。 対面(オンライン併用型) 履修希望者が75名を超える場合は初回に受講調整。
GE11222	知識情報演習III-2	2	2.0	2	秋BC	水1,2	西川 開,于 海涛	前半は、分類法と索引法のツールおよび主題分析の方法に関する演習を行う。後半は、情報検索システムの処理過程を学習すると共に、情報検索システムの構築に関する演習を行う。	知識2,4クラス対象。 対面(オンライン併用型) 履修希望者が75名を超える場合は初回に受講調整。
GE11612	専門英語A1	2	1.0	2	春ABC	水3	長谷部 郁子	大学での学習に必要な英語の能力を作文力を中心に発展させる。	GE11712(秋ABC水3)とセットで履修すること。 履修申請期限は4月16日(水)まで。 対面 知識学類生に限る
GE11632	専門英語A1	2	1.0	2	春ABC	水4	長谷部 郁子	大学での学習に必要な英語の能力を作文力を中心に発展させる。	GE11732(秋ABC水4)とセットで履修すること。 履修申請期限は4月16日(水)まで。 対面 知識学類生に限る
GE11642	専門英語A1	2	1.0	2	春ABC	水4	ポーリー マーティン エドモンド	「一般学術目的の英語」(どの学問分野でも通用する学術的英語)に重点を置き、学術研究の場で英語が駆使できるようになることを目指して、それにふさわしい教養と言語技能を養う。	GE11742(秋ABC水4)とセットで履修すること 履修申請期限は4月16日(水)まで。 対面 知識学類生に限る
GE11712	専門英語A2	2	1.0	2	秋ABC	水3	長谷部 郁子	大学での学習に必要な英語の能力を作文力を中心に発展させる。	GE11612(春ABC水3)とセットで履修すること 対面 知識学類生に限る
GE11732	専門英語A2	2	1.0	2	秋ABC	水4	長谷部 郁子	大学での学習に必要な英語の能力を作文力を中心に発展させる。	GE11632(春ABC水4)とセットで履修すること 対面 知識学類生に限る
GE11742	専門英語A2	2	1.0	2	秋ABC	水4	ポーリー マーティン エドモンド	「一般学術目的の英語」(どの学問分野でも通用する学術的英語)に重点を置き、学術研究の場で英語が駆使できるようになることを目指して、それにふさわしい教養と言語技能を養う。	GE11642(春ABC水4)とセットで履修すること 対面 知識学類生に限る
GE12112	アカデミックスキルズ	2	1.0	1	秋AB	水3	宇陀 則彦	情報検索、レポートライティング、プレゼンテーションなど、大学生の3R'sに相当する基本的な知的生産技法を少人数クラスで学ぶ。	知識1年1クラスと2年次以上対象。 対面 知識学類生に限る CDP

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE12122	アカデミックスキルズ	2	1.0	1	秋AB	水3	鈴木 伸崇	情報検索、レポートライティング、プレゼンテーションなど、大学生の3R'sに相当する基本的な知的生産技法を少人数クラスで学ぶ。	知識1年2クラス対象。 対面 知識学類生に限る CDP
GE12132	アカデミックスキルズ	2	1.0	2	春AB	水3	小泉 公乃	情報検索、レポートライティング、プレゼンテーションなど、大学生の3R'sに相当する基本的な知的生産技法を少人数クラスで学ぶ。	知識2年3クラス対象。 対面 知識学類生に限る CDP
GE12142	アカデミックスキルズ	2	1.0	2	春AB	水3	伊藤 寛祥	情報検索、レポートライティング、プレゼンテーションなど、大学生の3R'sに相当する基本的な知的生産技法を少人数クラスで学ぶ。	知識2年4クラス対象。 対面 知識学類生に限る CDP

専門基礎科目(選択)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE20401	量的調査法	1	2.0	2	秋AB	木3,4	叶 少瑜	質問紙調査の種類や適切な標本抽出の方法、調査票の設計、調査の実施、作表とグラフ化、クロス集計と仮説検定など、質問紙調査と分析のための知識を講義する。	対面(オンライン併用型)
GE20511	多変量解析	1	2.0	2	春C	月3 月4 木3,4	大澤 文人	データ解析の基礎として、重回帰分析や主成分分析、判別分析など基礎的な多変量解析手法を演習付きで講義する。	対面(オンライン併用型) 知識学類生に限る
GE20601	情報探索論	1	2.0	2	春AB	木5,6	辻 慶太	情報探索のための情報の蓄積・更新、情報探索の基本的な方法・理論および情報探索のプロセスについて、利用者の探索行動の特性および情報要求と関連づけながら学ぶ。	対面
GE20701	質的調査法	1	2.0	2	春AB	木3,4	照山 絢子	この授業では、社会学・文化人類学における質的調査の柱であるエスノグラフィー(参与観察とインタビュー)に焦点を当てて、そのさまざまなアプローチを概観する。質的調査に基づいて書かれた文献に多く触れることで理論の応用方法を学ぶ。	対面
GE20801	情報行動論	1	2.0	2	秋C	火・金 5,6	松林 麻実子	情報の獲得と発信に関連する認知的、行動的、社会的諸要素の理解と、情報獲得のための行動様式等について学ぶ。	対面
GE20901	知識発見基礎論	1	2.0	2	秋C	火3,4 木1,2	松原 正樹	創造性を伴う知識発見の認知過程について学ぶ。またより良く生きるための自己変容を伴う知識発見を実践的に学ぶ。	対面(オンライン併用型) 履修希望者が80名を超えた場合,初回授業で受講調整(初回授業に参加できない事情がある者は事前に授業担当者に連絡すること)
GE21001	知識資源組織化論	1	2.0	2	春AB	月3,4	江草 由佳	知識資源の効果的かつ効率的な利用を目的として行われる、情報の分析、記述に基づく知識資源の組織化に関する基本的な考え方を学ぶ。	対面(オンライン併用型)
GE21101	データベース概説	1	2.0	2	春AB	火3,4	鈴木 伸崇	データベース技術の基礎概念を学ぶ。具体的には、データベースの定義と種類、データモデリングの考え方、リレーショナルモデルの基礎、データベース管理システム(DBMS)の基本機能、データベース設計と管理などを、体系的に講義と演習を通じて学ぶ。	対面(オンライン併用型)
GE21201	コンピュータシステムとネットワーク	1	2.0	2	秋AB	月3,4	阪口 哲男	現代社会で欠かせないコンピュータシステムとネットワークについての基本構成と動作原理を学ぶ。ハードウェア、ソフトウェアの各構成要素、システム間のデータ送受の基本的な手順と通信規約の役割を解説し、それらを総合した応用等についても概説する。	対面
GE21301	自然言語解析基礎	1	2.0	2	秋AB	月1,2	関 洋平	人間の日常言語の内容を計算機で解析する自然言語解析は、機械翻訳、Web 検索、対話システム、質問応答、音声認識、仮名漢字変換などで実用的な成果をあげている。本講義は、自然言語処理の概要、形態素解析、言語モデル、構文解析、意味解析など自然言語解析の基礎理論を幅広く講義する。	履修希望者が90名を超えた場合,初回授業で受講調整(初回授業に参加できない 事情がある者は事前に授業担当者に連絡すること)。 対面(オンライン併用型)
GE21401	メディア社会学	1	2.0	2	秋C	月・木 3,4	寺地 美奈子	メディア研究、知識情報学の基礎としての社会学を学ぶ。哲学の一分野として出発した社会学が、社会調査等で日常生活の具体像に向き合うのはなぜか、その問題意識や方法を考察する。具体的には、ウェーバー社会学の方法を学び、人々の意識や行動を捉える社会調査が、どのように人々の意味世界に迫るか論じる。	GC20101と同一。 オンライン(オンデマンド型) 情報メディア創成学類生はGC20101を、それ以外の学生はGE21401を履修すること。
GE21701	生涯学習と図書館	1	2.0	2	春AB	月5,6	吉田 右子	生涯学習の意義、関連法と社会教育行政、生涯学習施設の運営、他機関との連携、海外の生涯学習の動向について概説する。図書館における生涯学習の支援の在り方について、国内と海外の事例を幅広く学ぶ。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE21812	テクスト解釈-1	2	2.0	2	秋AB	木5,6	白井 哲哉	主に江戸時代の古文書を対象に、テクストの音読・翻刻・解釈の技術に関する基礎的なトレーニングを行い、紙媒体文字メディアの調査研究の方法を理解する。	実務経験教員 対面
GE21822	テクスト解釈-2	2	2.0	2	秋AB	木5,6	村田 光司	主として前近代ヨーロッパの文字テクスト(歴史的事件や神話・伝承などに関する記録群)を対象として、記録の内容や情報源、伝達といった諸要素の基礎的な分析を行い、文字資料を多面的に読解・調査するため必要な能力を養う。	対面(オンライン併用型)
GE21862	テクスト解釈-3	2	2.0	2	秋AB	木5,6	松永 瑠成	江戸時代の川柳は、当時の言葉・文化・風俗に加えて、日本の歴史や文芸などの知識がなければ読み解くことができない。本科目では、川柳の解釈をとおして、過去のメディアを読み解くために必要な知識・技術・能力を養う。また、メディアを読み解き得られた情報をもとに思考する方法を学ぶ。	対面
GE22101	経営・組織論	1	2.0	2	春AB	金5,6	大庭 一郎	この講義では,図書館の経営や情報システムの構築に必要な,経営概念,経営管理,意思決定,組織,人間行動等についての基礎を概説する。経営管理機能は,一般に人々が共通の目標を達成するために協同で活動する場合に,常に存在する機能である。そこで,この講義では,経営管理一般についての入門的解説に重点を置いて講義を展開し,あわせて,経営管理論の視点から図書館や情報システムのとらえ方について解説する。	実務経験教員 対面
GE22201	機械学習	1	2.0	2	秋C	月5,6 木5,6	山本 修平	現在の人工知能の進歩を支える機械学習について講義と演習を行う。教師あり学習および教師なし学習を主な対象として、それらの代表的なアルゴリズムについて学ぶ。機械学習システムを適切に開発・利用するための方法論にも触れる。	対面
GE22401	情報数学B	1	2.0	2	秋AB	月3,4	森継 修一	整数および多項式を題材とした代数学の基本を講義する。特にコンピュータ上での実現を視野におき、数式処理システムを利用した問題解法や数式処理固有のアルゴリズムの解説も視野に入れる。	GC21501と同一。 対面 情報メディア創成学類生はGC21501を、それ以外の学生はGE22401を履修すること。 ただし、2019年度までに情報メディア創成学類で開設された情報数学II(GC21201)の単位を修得した者の履修は認めない。
GE22501	システム思考	1	2.0	2	秋AB	木1,2	真榮城 哲也	システム思考は,対象物や現象を,複数の要因のつながりとして捉え,要因間の相互作用を理解することを目的とする.問題の見えている部分を近視眼的・表層的に捉えるのではなく,全体像を様々な要素のつながりとして理解し,問題の本質を明らかにする. 対象物や現象が,複数の要素から構成され,全体の性質が要素間の相互作用によって決定付けられると捉える視点の考え方や方法論,デザインについて解説する.また,手法の習得のための演習を行う.応用対象として自然界と社会の両者を扱う.	対面
GE22601	ユーザ研究実験法	1	2.0	2	秋AB	火5,6	上保 秀夫	本科目では、情報行動をとる主体に着目するユーザ研究のうち、特に実験法について実践を通して学ぶ。さらに、検索エンジンなどの情報システム評価にユーザ研究を取り入れる方法について理解を深める。	対面
GE22701	アーカイブズ基礎	1	2.0	2	春AB	火5,6	白井 哲哉,バールィシェフ エドワルド,村田 光司	記録情報資源としてのアーカイブズ(記録、資料)やその保存活用機関であるアーカイブズ(施設)に関する基礎的な知識や考え方、またデジタル時代におけるアーカイブズの現状や課題を概説して、図書館情報学や博物館情報学との関連を踏まえたアーカイブズをめぐる学問領域への理解を深める。	実務経験教員 対面

専門基礎科目(自由)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE32013	知的探求の世界II-1	3	1.0	3	春ABC秋A	応談	若林 啓	マルチエージェント強化学習のシミュレーション実験を通して,強化学習の動作原理を実践的に学ぶ.また,受講者自身で設定する研究課題に取り組むことで,協調やコミュニケーションといった社会的行動が創発するメカニズムについての計算論的な理解を深める.	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
GE32033	知的探求の世界II-3	3	1.0	3	春ABC秋A	応談		TRECやCLEF,NTCIRなどの評価型ワークショップにて提案されている,情報検索タスクに取り組むことで,情報検索アルゴリズムや自然言語処理,機械学習などの手法について実践的に学ぶ.	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
GE32043	知的探求の世界II-4	3	1.0	3	春ABC秋A	応談	李 昇姫	人間の感性は測定可能であるか。直感的かつ抽象的なイメージから実用的な情報に可視化する方法を探る。	西暦偶数年度開講。 対面
GE32053	知的探求の世界II-5	3	1.0	3				【ソースコード講読2】 ソースコードが公開されているソフトウェアの読み解きを通じて、そこに使われている諸技術や様々なノウハウ、慣習などについて学ぶ。また、簡単なプログラム例を作成することで、それらについての理解を深める。	西暦奇数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE32063	知的探求の世界II-6	3	1.0	3	春ABC秋A	応談		ビッグデータ,機械処理とヒューマンコンピューテーションを利用したヒューマン・イン・ザ・ループAIを実現するための手法を実践的に学びます.これらを組み合わせて,人手だけ,もしくは機械だけでは解決が困難な問題を解くために必要になる技術を習得することができます.また,卒業研究などで必要となるプロセスの体験ができます.	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
GE33013	知的探求の世界I-1	3	2.0	2				マルチエージェント強化学習のシミュレーション実験を通して,強化学習の動作原理を実践的に学ぶ.また,受講者自身で設定する研究課題に取り組むことで,協調やコミュニケーションといった社会的行動が創発するメカニズムについての計算論的な理解を深める.	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
GE33023	知的探求の世界I-2	3	2.0	2	通年	応談	上保 秀夫,松林麻実子	生成AIモデルの情報検索行動データを収集し、それに対する量的分析と質的分析に取り組むことで、情報行動分析手法を実践的に学ぶとともに、生成AIモデルのふるまいに関する深い洞察を得る。	2026年度より2年おき開講。 対面
GE33033	知的探求の世界I-3	3	2.0	2				TRECやCLEF,NTCIRなどの評価型ワークショップにて提案されている,情報検索タスクに取り組むことで,情報検索アルゴリズムや自然言語処理,機械学習などの手法について実践的に学ぶ.	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
GE33043	知的探求の世界I-4	3	2.0	2				人間の感性は測定可能であるか。直感的かつ抽象的なイメージから実用的な情報に可視化する方法を探る。	西暦奇数年度開講。 対面
GE33053	知的探求の世界I-5	3	2.0	2	通年	応談	阪口 哲男	【ソースコード講読I】 ソースコードが公開されているソフトウェアの読み解きを通じて、そこに使われている諸技術や様々なノウハウ、慣習などについて学ぶ。また、簡単なプログラム例を作成することで、それらについての理解を深める。	西暦偶数年度開講。 対面
GE33063	知的探求の世界I-6	3	2.0	2				ビッグデータ,機械処理とヒューマンコンピューテーションを利用したヒューマン・イン・ザ・ループAIを実現するための手法を実践的に学びます.これらを組み合わせて,人手だけ,もしくは機械だけでは解決が困難な問題を解くために必要になる技術を習得することができます.また,卒業研究などで必要となるプロセスの体験ができます.	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)

専門科目(学類共通)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE40201	学習指導と学校図書館	1	2.0	3	秋AB	火5,6	小野 永貴	学校には必ず学校図書館があり、様々なメディアが提供されている。この学校図書館の機能とメディアを駆使し、効果的な教科教育や探究学習指導が行える人材になるべく、「読書・学習・情報」の3観点から指導手法や学習支援の枠組みを理解する。そして、発達段階に応じた読解力・探究力・情報リテラシー育成の在り方について考究する。	実務経験教員 対面(オンライン併用型) 対面5回+オンライン5回で実施。オンラインの回は原則的にリアルタイム型とするが、録画映像も公開する。対面の回も講義を収録し、来校できなかった者に向けて配信する予定。(学生の事情を考慮し部分的にオンデマンド受講を認める場合もある)
GE40301	学校図書館メディアの構成	1	2.0	3	秋AB	火1,2	池内 淳	学校図書館メディアおよび専門職としての司書教諭を理解し、学校図書館メディアを用いた学校教育活動の支援に関する認識を深め、多様なメディアを扱うことを可能とする、実際的な知識と技術を学ぶ。	対面(オンライン併用型)
GE40401	読書と豊かな人間性	1	2.0	3	春AB	金5,6	鈴木 佳苗	児童・生徒の読書の現状や読書の影響について理解し、発達段階に即した読書教育の理念と方法について学ぶ。	履修希望者が100名を超える場合は、受講調整を行います(知識情報・図書館学類の学生を優先します)。初回の授業(金曜日5-6時限)に出席できない場合は、5時限目開始より前に必ず連絡してください(受講調整を行う場合には、事前に連絡がないと履修できない可能性があります)。 対面(オンライン併用型)
GE40501	情報メディアの活用	1	2.0	3	秋AB	火3,4	大澤 文人	活字メディア、視聴覚メディア、教育用ソフトウェア、ネットワーク上の情報資源等多様な情報メディアの特性を踏まえて、それらを教育現場で活用していく方法について学ぶ。	対面(オンライン併用型) 履修希望者が100名を超える場合は初回に受講調整

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE40603	インターンシップ	3	2.0	3	夏季休業中	集中	村井 麻衣子,白井 哲哉,大澤 文人,松永 瑠成	図書館や企業などの職場における就業経験を通して、知識や情報と職業の関わり、知識や情報に関わる職業人としてのあり方を理解する。知識や情報と社会の関係、情報化、情報倫理、情報技術に加え、職業倫理、職業観、勤労観などを、職場での体験から学ぶ。	本科目の履修は原則として3年次生以上に限る. 対面(オンライン併用型) 知識学類生に限る CDP 受講生は学研災付帯賠AコースまたはBコースへの加入必須.
GE40703	国際インターンシップ	3	2.0	3・4	通年	応談	鈴木 佳苗,原 淳之,バールィシェフ エドワルド,金 宣経	海外の図書館や情報センターにおいて、図書館・情報業務を経験する。	対面(オンライン併用型) 知識学類生に限る CDP
GE42002	国際学術演習A	2	1.0	1 - 4				筑波大学海外留学支援事業(はばたけ!筑大生)の「海外学会等参加支援プログラム」採択者が履修するための科目である.	履修申請は海外出張手続きの際に学群教務窓口に申し出ること。成績はP/Fで評価。 2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型) 知識学類生に限る G科目
GE42102	国際学術演習B	2	1.0	1 - 4				筑波大学海外留学支援事業(はばたけ!筑大生)の「海外学会等参加支援プログラム」採択者が履修するための科目である.	履修申請は海外出張手続きの際に学群教務窓口に申し出ること。成績はP/Fで評価。 2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型) 知識学類生に限る G科目
GE50712	専門英語B-1	2	1.0	3	春AB	月4	芳鐘 冬樹	専門科目や卒業研究に必要な英語読解力を専門書の講読等を通じて習得する。 図書館情報学分野の英語で書かれた学術雑誌の論文を教材として用いる。学術論文は特有の構成を持つ文章であるので,それを踏まえた理解の方法について解説する。	対面(オンライン併用型) 知識科学主専攻生対象.
GE50722	専門英語B-2	2	1.0	3	春AB	月4	陳 映廷	This course aims to make students familiar with academic English. Students will learn how to read and write research papers. Also, students will practice making a presentation and listening to others' research presentations. This course is designated for undergraduate students and will be based on entire activities of conducting research.	英語で授業。 対面(オンライン併用型) 知識情報システム主専攻生対象.
GE50732	専門英語B-3	2	1.0	3	春AB	月4	バールィシェフ エドワルド	専門科目や卒業研究に必要な英語能力をミニ・レクチャーの聴解、学術的なテキストの講読、アカデミック・ライフ関連の会話や作文の練習等を通じて習得する。	対面 情報資源経営主専攻生対象.
GE50812	専門英語C-1	2	1.0	3	秋AB	月4	陳 映廷	This course supports students with basic English skills as they learn to read, understand, and present academic papers in English. The curriculum emphasizes effective summarizing, paraphrasing, and presentation skills, with careful guidance on the responsible use of AI tools.	対面(オンライン併用型) 知識科学主専攻生対象
GE50822	専門英語C-2	2	1.0	3	秋AB	月4	バールィシェフ エドワルド	専門科目や卒業研究に必要な英語読解力や表現力を学術的なテキストの講読や作文の練習等を通じて習得する。	知識情報システム主専攻生対象. 対面 確認テストは対面で実施。
GE50832	専門英語C-3	2	1.0	3	秋AB	月3	小泉 公乃	この授業では、はじめに、専門科目や卒業研究に必要な英文読解力を学術論文の精読を通じて修得する。そのうえで、英語による発表・議論の映像資料の聴解を通して、国際会議等でコミュニケーションをするための基礎的な力を身に付けることを目指す。学術論文の精読では、主に図書館情報学分野を主題として扱う。英語による発表・議論の映像資料は、分野を問わず優良なものを扱う。	オンライン(オンデマンド型) 情報資源経営主専攻生対象.
GE51118	卒業研究A	8	3.0	4	春ABC	随時	知識情報・図書館学類担当教員	研究の実行や論文の執筆を通じて,まとまった大きさの思索の展開あるいは調査分析や研究開発等を経験し,問題の構想力,解決力と創造性を養う.	対面(オンライン併用型) 知識学類生に限る
GE51128	卒業研究A	8	3.0	4	秋ABC	随時	知識情報・図書館学類担当教員	研究の実行や論文の執筆を通じて,まとまった大きさの思索の展開あるいは調査分析や研究開発等を経験し,問題の構想力,解決力と創造性を養う.	指導教員から指示された該当者は支援室窓口で履修申請すること。 対面(オンライン併用型) 知識学類生に限る
GE51218	卒業研究B	8	3.0	4	秋ABC	随時	知識情報・図書館学類担当教員	研究の実行や論文の執筆を通じて,まとまった大きさの思索の展開あるいは調査分析や研究開発等を経験し,問題の構想力,解決力と創造性を養う.	対面(オンライン併用型) 知識学類生に限る

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE51228	卒業研究B	8	3.0	4	春ABC	随時	知識情報・図書館学類担当教員	研究の実行や論文の執筆を通じて,まとまった大きさの思索の展開あるいは調査分析や研究開発等を経験し,問題の構想力,解決力と創造性を養う.	指導教員から指示された該当者は支援室窓口で履修申請すること。 対面(オンライン併用型) 知識学類生に限る

専門科目(知識科学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE60113	知識科学実習A	3	1.0	3	春A 春B 春B	月5,6 月5 月6	知識科学主専攻担当教員	本実習の目的は、知識科学主専攻を構成する各領域の研究方法や技術を経験して主専攻分野の総合的な理解に結びつけることである。学期毎に3-4回程度の小テーマを複数設定し、主としてグループワーク(内容に応じて個人作業)で実習をすすめる。	対面(オンライン併用型) GE60103「知識科学実習」を修得済みの者は履修不可。
GE60123	知識科学実習B	3	1.0	3	秋AB	月5,6	知識科学主専攻担当教員	本実習の目的は、知識科学主専攻を構成する各領域の研究方法や技術を経験して主専攻分野の総合的な理解に結びつけることである。学期毎に3-4回程度の小テーマを複数設定し、主としてグループワーク(内容に応じて個人作業)で実習をすすめる。	対面(オンライン併用型) GE60103「知識科学実習」を修得済みの者は履修不可。
GE60201	テクニカルコミュニケーション	1	2.0	3・4	春AB	火5,6	平湯 あつし,加藤 誠	専門情報を正確にわかりやすく伝えることを意図した、文書の企画・構成・表現設計等に必要とされる知識・技術・考え方を、マニュアル制作などを題材に学ぶ。また、実際の専門職としてのテクニカルコミュニケーターの業務や活動を演習を通して学ぶ。	履修希望者が75名を超える場合は初回に受講調整を行う。授業の奇数回をオンライン授業(オンデマンド型)、偶数回をオンライン授業(リアルタイム進行)で行う。 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
GE60501	知識論	1	2.0	3・4	春AB	火3,4	横山 幹子	知識の哲学の観点から、「知識」についての問題を取り扱う。知識の哲学における「知識」のとらえ方の歴史を踏まえた上で、「知識」についての現代の多様な考え方の一部を紹介する。	対面
GE60601	知識形成論	1	2.0	3・4	秋AB	木5,6	辻 慶太	社会における知識の形成に寄与し,またテキストの形で表現・形成された知識そのものと言える辞書的な言語資源,即ち百科事典,国語辞書,専門用語辞書,シソーラス,オントロジー等について,その歴史や現状,意義や問題点,作成方法などを学習する。	対面
GE60801	学術メディア論	1	2.0	3・4	春AB	金3,4	松林 麻実子	学術コミュニティを対象として、情報の生産・流通・利用に関する学術情報流通モデル、学術情報メディア等を総合的に学ぶ。	対面
GE61001	コミュニティ情報論	1	2.0	3・4				数量的なモデル・分析を通じて共同体における知識・情報の利用とそれにもとづく様々な活動について学ぶ。	2026年度開講せず。
GE61101	図書館建築論	1	2.0	3・4	秋AB	水5,6	川島 宏	図書館は人(司書)と資料(図書)と施設(建築)で成り立っている。授業では、図書館施設の歴史や現在、そして将来に向けて、施設構築や運営の考え方・手法等を多角的に展開する。多くの魅力ある事例を紹介し、知識習得に留まることなく、施設のあり方を「自ら考える」契機を提供する。	講師(一級建築士) 実務経験教員 対面
GE61301	情報評価	1	2.0	3・4	春AB	火1,2	芳鐘 冬樹	情報の生産、流通、蓄積、提供、利用の諸側面における情報評価の意義と方法論について、学術情報を中心に学ぶ。また、計量情報学的モデル・指標の基礎と、それらの情報評価への応用の実際についても幅広く学ぶ。	対面
GE61801	データ構造とアルゴリズム	1	2.0	3・4	秋AB	木1,2	伊藤 寛祥	高速な検索の基礎となるファイル構造と探索アルゴリズムについて講義する.各種アルゴリズムの計算量を数学的に解析し,それらの比較を行うことを通して,高速アルゴリズムの設計手法を議論する.	GE71801と同一。 対面(オンライン併用型) 知識科学主専攻生はGE61801を, それ以外の学生はGE71801を履修すること.
GE61901	情報検索システム	1	2.0	3・4	春AB	金1,2	関 洋平	本講義では、文書データベースを対象にした情報検索システムについて講義する。具体的には、情報検索の基本原理、システムの実装方法、評価方法、設計と管理、応用事例についての講義と実習を行う。	履修希望者が90名を超えた場合,初回授業で受講調整(初回授業に参加できない 事情がある者は事前に授業担当者に連絡すること)。 GE70501と同一。 対面(オンライン併用型) 知識科学主専攻生はGE61901を、それ以外の学生はGE70501を履修すること。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE62001	生命情報学	1	2.0	3・4	春AB	木5,6	真榮城 哲也	生命が持つ情報の側面（遺伝情報や脳活動,関係性ネットワーク）について学ぶ。さらに,近年の生物学の研究において,必須となっている情報学の考え方や手法を,関連する生命現象とともに学ぶ。	対面
GE62101	知識コミュニケーション	1	2.0	3・4	秋AB	火5,6	照山 絢子	前半においてはコミュニケーション学の理論的な基礎を概観し、後半は各論としてさまざまな角度からコミュニケーションの多様な形態と実践について考えていく。	対面
GE62301	ソーシャルメディア分析	1	2.0	3・4	秋AB	水1,2	叶 少瑜	ソーシャルメディアの概念と現状,その使用による影響・分析手法などについて論じる。	対面(オンライン併用型)
GE62401	Machine Learning and Information Retrieval	1	2.0	3・4	秋AB	火1,2	于 海涛	Machine learning is playing a fundamental role in our daily life from the way we check emails right down to the way we search online. This course will introduce a number of representative machine learning methods, and show how to utilize them to solve the ranking problem in the field of information retrieval.	GC55301, GE72701と同一。 英語で授業。 対面(オンライン併用型) G科目 情報メディア創成学類生はGC55301を、知識情報システム主専攻生はGE72701を、それ以外の学生はGE62401を履修すること。
GE62501	Human Information Interaction	1	2.0	3・4	春AB	木3,4	上保 秀夫	Human Information Interaction investigates the interaction between people and information. In this course, students deepen their understanding of elements that shape human information interaction, and apply the knowledge for designing novel interaction models, systems, or services.	GC55201, GE73101と同一。 英語で授業。 対面 G科目 情報メディア創成学類生はGC55201を、知識情報システム主専攻生はGE73101を、それ以外の学生はGE62501を履修すること。 GE60701「レファレンスサイエンス」を修得済みの者は履修不可
GE62601	身体知	1	2.0	3・4	春AB	月1,2	松原 正樹	身体感覚を通じて身心を観察する観想的実践や身体知の研究手法について学び、身体性に基づく人間の知を体験的に理解する。受講者一人ひとりの生活に現れる身体知に関する問いを探求し、観察・洞察・議論を行う形式で授業を行う。	対面 履修希望者が24名を超えた場合,初回授業で受講調整(初回授業に参加できない事情がある者は事前に授業担当者に連絡すること)
GE62701	メディア技術と文化	1	2.0	3・4	春AB	木1,2	寺地 美奈子	われわれが普段接しているメディアの技術的側面に着目し、技術と人間・社会との関わりという文化的現象について学ぶ。各メディア媒体、放送や通信サービス、インターネット上のサービスがどのような背景から誕生し、私たちの生活をいかに変容させ、社会にいかなる影響を与えているのかを考察し、メディア技術と文化のあり方を探る。	対面(オンライン併用型)
GE62801	日本図書と文字メディア	1	2.0	3・4	秋AB	火3,4	松永 瑠成	本科目では、古典籍をはじめとする日本図書および文字メディアに関する基礎的知識とその取扱い方法、および正確な書誌のとり方などを学習する。また、デジタル技術が普及する現代における日本図書・文字メディアの活用方法についても教授する。	対面

専門科目(知識情報システム)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE70113	知識情報システム実習A	3	1.0	3	春AB	月5,6	知識情報システム主専攻担当教員	知識情報システム主専攻の専門科目に関連した実習を行う。	対面(オンライン併用型) GE70103 「知識情報システム実習」を修得済みの者は履修不可。
GE70123	知識情報システム実習B	3	1.0	3	秋AB	月5,6	知識情報システム主専攻担当教員	知識情報システム主専攻の専門科目に関連した実習を行う。	対面(オンライン併用型) GE70103 「知識情報システム実習」を修得済みの者は履修不可。
GE70201	情報サービスシステム	1	2.0	3・4	春AB	火3,4	松村 敦	高度情報化社会の情報提供サービスの将来像に関して、求められる情報サービスと技術を、オリジナル情報提供者、キャリア、利用者などそれぞれの立場から学ぶ。	対面(オンライン併用型)
GE70301	ディジタルドキュメント	1	2.0	3・4				ディジタルドキュメントは、ハイパーテキスト、ウェブを介した発信、多人数による共同編集等の概念を含む、新しい情報メディアである。本講義では、学術研究分野や電子出版、電子書籍におけるディジタルドキュメントの作成と管理、発信の実例を取り上げ、その機能がどのように実現されるかを解説する。	GC53401と同一。 2026年度開講せず。 実務経験教員 対面 情報メディア創成学類生はGC53401を,それ以外の学生はGE70301を履修すること

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE70401	ディジタルライブラリ	1	2.0	3・4	春AB	木3,4	宇陀 則彦	ディジタルライブラリの誕生から図書館サービスとして定着するまでの流れを説明し、学術情報基盤を前提としたディジタルライブラリの機能について考察する。また、ディジタルアーカイブやディジタルミュージアムとの違いについても論じる。	対面
GE70501	情報検索システム	1	2.0	3・4	春AB	金1,2	関 洋平	本講義では、文書データベースを対象にした情報検索システムについて講義する。具体的には、情報検索の基本原理、システムの実装方法、評価方法、設計と管理、応用事例についての講義と実習を行う。	履修希望者が90名を超えた場合,初回授業で受講調整(初回授業に参加できない 事情がある者は事前に授業担当者に連絡すること)。 GE61901と同一。 対面(オンライン併用型) 知識科学主専攻生はGE61901を、それ以外の学生はGE70501を履修すること。
GE70601	Webプログラミング	1	2.0	3・4	春AB	木1,2	阪口 哲男	インターネットでは、Webの機構を用いて様々な情報提供や取引、人や組織間のコミュニケーションが行われている。Web上で情報提供やコミュニケーションの機能を実現するための、サーバ側プログラミングの基本原理と実際、セキュリティ問題などを解説し、事例を紹介する。実習を含む。	対面
GE70701	マルチメディアシステム	1	2.0	3・4	春AB	火1,2	大澤 文人	マルチメディア工学の基礎、ディジタル情報の編集加工、マルチメディア表現などを講義と実習を通じて学ぶ。また、技術面だけでなくマルチメディアサービスと社会の関連についても学ぶ。	対面(オンライン併用型) 情報科免許希望者の2年次生の受講を認めます。
GE70801	データ表現と処理	1	2.0	3・4				XMLなどの文書データの表現と処理について概説する。具体的には、XMLデータとそのスキーマ言語、電子書籍(EPUB)、XMLと関係モデルとの関連,XPathによるXMLデータの検索・加工などについて説明する。	2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
GE70901	データベース技術	1	2.0	3・4				データベースシステムを実際に構築する際の諸技術と必要知識について,リレーショナルデータベースを主な対象にして,APIをとおしたアプリケーションとの連携,スキーマ定義,インデックスの利用と効果などを、演習を交えながら学ぶ.	2026年度開講せず。 オンライン(対面併用型)
GE71001	情報デザインとインタフェース	1	2.0	3・4	春AB	火5,6	時井 真紀	実験結果はグラフや画像で可視化すると、データに潜む情報が直感的に読み取れる。機器の操作にはアイコンやメニューによるGUIがわかりやすい。人とマシン間の情報の取得と提供をスムーズに行うための、データ可視化技術や直感的なGUI作成法について、講義と実習を通じて学ぶ。	対面(オンライン併用型)
GE71101	ヒューマンインタフェース	1	2.0	3・4	春AB	木5,6	古川 宏,川口 一画	ユーザの側に立ったヒューマンインタフェースの考え方について説明する。身近な道具や日用品におけるヒューマンインタフェース,ヒューマンインタフェースの原理,インタフェース設計などについて学ぶ。GUIや視覚的インタフェース技術について学習し,これらの考え方にもとづき簡単なインタフェース設計ができるようになることを目指す。	主専攻共通科目 BC12671, GB40301と同一。 対面
GE71801	データ構造とアルゴリズム	1	2.0	3・4	秋AB	木1,2	伊藤 寛祥	高速な検索の基礎となるファイル構造と探索アルゴリズムについて講義する.各種アルゴリズムの計算量を数学的に解析し,それらの比較を行うことを通して,高速アルゴリズムの設計手法を議論する.	GE61801と同一。 対面(オンライン併用型) 知識科学主専攻生はGE61801を, それ以外の学生はGE71801を履修すること.
GE71901	マークアップ言語	1	2.0	3・4	春AB	月1,2	永森 光晴	データ交換のための表現形式として様々な分野で活用されているXML(Extensible Markup Language)の基礎とXSLT(XML Stylesheet Language Transformations)等の操作言語について取り上げる。また,理解を深めるために受講者が自ら実験できるようなプログラム例やアプリケーションソフトウェアの利用例も必要に応じて紹介する。	GC51901と同一。 対面(オンライン併用型) 受講人数は70人程度を上限とする
GE72501	メディアアート	1	2.0	3・4	春C	火・金3,4	落合 陽一,李 晶晶	メディア装置の発明を伴う芸術活動が近年盛んに行われるようになってきている.文化的表現の手法として計算機科学や応用物理や生物などの工学的発明を伴った表現について国内外で注目が集まりつつある.本講義では,メディア技術史とメディア表現技術を概観し,斬新な表現方法について考察する.	対面(オンライン併用型) 履修希望者が30名を超える場合は受講調整。制作課題のための材料費は一部自己負担有り,詳細はシラバス参照のこと

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE72601	Human-computer Interaction	1	2.0	3・4	秋C	月・木 3,4	金 宣経	This course introduces basic concepts in the theory and practice of Human-Computer Interaction (HCI). The course will help students acquire knowledge about fundamental principles, techniques, and methods for designing, prototyping, and evaluating user interfaces.	GC55401と同一。 英語で授業。 対面(オンライン併用型) G科目 情報メディア創成学類生はGC55401を、それ以外の学生はGE72601を履修すること。
GE72701	Machine Learning and Information Retrieval	1	2.0	3・4	秋AB	火1,2	于 海涛	Machine learning is playing a fundamental role in our daily life from the way we check emails right down to the way we search online. This course will introduce a number of representative machine learning methods, and show how to utilize them to solve the ranking problem in the field of information retrieval.	GC55301, GE62401と同一。 英語で授業。 対面(オンライン併用型) G科目 情報メディア創成学類生はGC55301を、知識情報システム主専攻生はGE72701を、それ以外の学生はGE62401を履修すること。
GE72801	知識資源の分類と索引	1	2.0	3・4				本講義では,大量の知識資源の中から特定の主題に関する知識資源を容易に発見できるようにするための方法として,分類および索引について講述する.前半では,代表的な分類法の紹介と共に,分類の基本的な事項について説明する.後半では,統制語や自由語による索引法について述べる.また,分類と索引の自動化についても触れ,Web上の知識資源への応用についても紹介する.	2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
GE72901	数式処理システム論	1	2.0	3・4	秋AB	木1,2	森継 修一	GC21501「情報数学B」で学んだ情報系数学の基本アルゴリズムの知識を前提として、代数系の計算を数式処理システム上で効率よく行うための各種アルゴリズムの解析とその応用について論じる。	GC54801と同一。 対面
GE73101	Human Information Interaction	1	2.0	3・4	春AB	木3,4	上保 秀夫	Human Information Interaction investigates the interaction between people and information. In this course, students deepen their understanding of elements that shape human information interaction, and apply the knowledge for designing novel interaction models, systems, or services.	GC55201, GE62501と同一。 英語で授業。 対面 G科目 情報メディア創成学類生はGC55201を、知識情報システム主専攻生はGE73101を、それ以外の学生はGE62501を履修すること。 GE60701「レファレンスサイエンス」を修得済みの者は履修不可
GE73201	博物館情報学	1	2.0	3・4	秋AB	金3,4	永井 正勝	博物館資料のドキュメンテーションならびに博物館資料のデジタル化と利活用について検討する。	対面(オンライン併用型)
GE73301	Human Factors and Ergonomics	1	2.0	3・4	秋AB	木5,6	陳 映廷	This course introduces human factors and cognitive ergonomics for collaborative knowledge work, focusing on how people perceive, decide, and act when interacting with computers and others. Students work in small groups to analyze one persona and build an English group report through weekly micro-tasks and milestones (no final exam).	英語で授業。 対面 G科目

専門科目(情報資源経営)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE80113	情報資源経営実習A	3	1.0	3	春AB	月5,6	情報資源経営主専攻担当教員	情報資源経営主専攻の専門科目に関連した実習を行う。	対面(オンライン併用型) GE80103「情報資源経営実習」を修得済みの者は履修不可。
GE80123	情報資源経営実習B	3	1.0	3	秋AB	月5,6	情報資源経営主専攻担当教員	情報資源経営主専攻の専門科目に関連した実習を行う。	対面(オンライン併用型) GE80103「情報資源経営実習」を修得済みの者は履修不可。
GE80301	学術情報基盤論	1	2.0	3・4	春AB	火3,4	西川 開	論文や研究データといった学術情報が流通する基本的な仕組みや政策動向、および学術情報流通(scholarly communication)という事象に関連する研究領域の動向について学ぶ。	実務経験教員 対面
GE80501	情報サービス経営論	1	2.0	3・4	春AB	水1,2	池内 淳	図書館サービスの考え方と構造の理解を図り、資料提供、情報提供、連携・協力、課題解決支援、障碍者・高齢者・多文化サービス等の各種のサービス、著作権、接遇・コミュニケーション等の基本を解説します。	対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE80801	情報サービス構成論	1	2.0	3・4	秋AB	金1,2	大庭 一郎	レファレンスサービスは,図書館や情報サービス機関等において,情報を求めている利用者に対して,レファレンス担当者によって提供される人的援助である。現代の図書館では,各種のレファレンス資料を活用しながら,多様なレファレンスサービスを展開することが求められている。この講義では,広義のレファレンスサービスを対象として,レファレンスサービスの目的,構成,方法,各種情報源の利用法,参考調査図書館の組織と運営,等について総合的に解説する。	実務経験教員 対面
GE80901	コレクションとアクセス	1	2.0	3・4	秋AB	月1,2	原 淳之	図書館におけるコレクション形成の意義と方法を、図書館資料の多様性とメディアとしての特質、資料選択に関わる理念と方針、収集と選択の方法、蓄積と保存と評価、出版制度と流通などの面から幅広く学ぶ。	対面
GE81101	メディア教育の実践と評価	1	2.0	3・4	秋AB	木3,4	鈴木 佳苗	メディアリテラシーの育成を中心に、国内外のメディア教育の現状と課題などについて概説する。	対面(オンライン併用型)
GE81201	学校図書館論	1	2.0	3・4	春AB	木3,4	小野 永貴	学校には必ず学校図書館が存在する。そして、学校図書館の専門的職務を担うのが司書教諭である。本科目は、司書教諭に関する導入科目として、学校図書館の世界を俯瞰的に理解し、理念と現実の両面から学校図書館を捉える。最終的には、学校図書館の活性化と効果的な教育実践に向けた提言ができるよう、経営的視点の素地を形成することを目標とする。	実務経験教員 対面(オンライン併用型) 対面5回+オンライン5回で実施。オンラインの回は原則的にリアルタイム型とするが、録画映像も公開する。対面の回も講義を収録し、来校できなかった者に向けて配信する予定。(学生の事情を考慮し部分的にオンデマンド受講を認める場合もある)
GE81301	情報法	1	2.0	3・4	春AB	金3,4	髙良 幸哉	ネットワーク社会において新たに発生するようになった法的諸問題に接しながら、法律学の体系に関する主要な概念や法理に基づいて習得し、ネットワークにおいて現実に発生している諸問題の現状と法的対応について講義する。	対面(オンライン併用型)
GE81401	知的財産権論A	1	2.0	3・4	秋AB	木5,6	村井 麻衣子	ネットワーク社会における著作権を中心に、特許等の知的財産権全般について学ぶとともに、図書館活動や各種の情報活動の観点から、知的財産権が持つ意義について学ぶ。	対面(オンライン併用型) オンデマンドと同時双方向併用
GE81901	図書館文化史論	1	2.0	3・4				図書館の現在や未来を語る上で,図書館および記録メディアの歴史についての理解は不可欠である。本科目では,図書館とかかわりの深い記録メディアの歴史を理解するとともに,海外および日本の図書館の歴史的発展,またその文化史的意義について学ぶ。	2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
GE82601	パブリックガバナンス	1	2.0	3・4	秋AB	金5,6	小泉 公乃	パブリックガバナンス(共治)が、政治、政治哲学、公共経営、経営管理、図書館情報学など幅広い学問領域で議論されてきている。この中心には、市民とコミュニティが位置付けられており、知識・情報サービスを市民に提供する図書館はパブリックガバナンスの基盤となる。また、パブリックガバナンスの概念も情報技術の影響を受け、イーガバナンスなどの電子的な領域にまで拡張してきている。この授業では、パブリックガバナンスにおける図書館の意義・役割を学修する。	対面(オンライン併用型)
GE82802	PBL型図書館サービスプログラム開発	2	2.0	3・4	通年	応談	松村 敦,武田 将季	WBS(Work Breakdown Structure)によってプロジェクトを構築し,図書館サービスプログラム(高齢者の認知症予防プログラム)の提案企画書等を作成し,発表,相互評価を行う.	事前に受講説明会を開催しますので履修希望者は必ず参加してください. 受講説明会後にTWINSへの履修登録が可能になります. 対面(オンライン併用型) 知識学類生に限る 受講生は場合により,学研災付帯賠Aコースへの加入が必要
GE82901	アーカイブズ資源	1	2.0	3・4	春AB	木5,6	村田 光司,白井 哲哉,バールィシェフ エドワルド	記録情報資源としてのアーカイブズの多様な媒体・形態やその歴史的な展開を、古代メソポタミアの粘土板から21世紀のボーン・デジタル記録に至るまで、世界各地の事例を通して論じる。また記録媒体に応じた保存管理・修復技術の特徴や、デジタル時代における記録保存の課題を学ぶ。	実務経験教員 対面
GE83001	アーカイブズ管理	1	2.0	3・4	秋AB	木1,2	バールィシェフ エドワルド,白井 哲哉,村田 光司	現代の情報社会において、記録情報資源であるアーカイブズの保存利用施設として設置された文書館の現状や、そこで働く専門的職員のアーキビストが日常的に取り組んでいる現状を学ぶ。また、アーカイブズの管理における理論と実践の発展、デジタル時代におけるその課題を学び、文書館、アーキビスト、アーカイブズ学に対する理解を深める。	実務経験教員 対面

開設母体　　要件
医学類

専門基礎科目(医学対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FCB1231	力学1	1	1.0	1	春B	水5,6	新里 高行,岡田 晋,武若 聡,都甲 薫	質点の運動(1次元・2次元の運動,振動等)を記述する運動方程式(微分方程式)とその解を学び,運動の特性を理解する.	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FCB1201を選択して登録すること。総合学域群の学生はこのクラスを受講すること。原則として平成31年度以降入学者向け。力学A (FF17514, FF17524)、力学I (FG10414, FG10424)、力学1(FCB1014、FCB1024)、力学A((FC11014、FC11024)」、基礎力学A(FC11134)を履修済みの者は履修できない。専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 基本的に授業はオンライン(オンデマンド型)で行い、確認テストは対面で実施する。
FCB1331	電磁気学1	1	1.0	1	秋A	火5,6	吉田 恭	物理学の基本的な概念である「場」に基づく自然認識の基礎として、電磁気現象とそれを支配する法則、および電磁場の記述に必要な数学(多次元の微分・積分、ベクトル解析など)を学ぶ。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FCB1301を選択して登録すること。医学類・医療科学類の学生はこのクラスを受講すること。原則として平成31年度以降入学者向け。電磁気学A (FF18114, FF18124)、電磁気学I (FG10484, FG10494)、電磁気学1(FCB1054、FCB1064)、電磁気学IA(FC11074、FC11084)、基礎電磁気学A(FC11164)を履修済みの者は履修できない。専門導入科目(事前登録対象) 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 基本的に授業はオンライン(オンデマンド型)で行い、確認テストは対面で実施する。
FE11181	化学2	1	1.0	1	春BC	月1	沓村 憲樹,神原 貴樹	有機化合物の構造と反応について、基本的な考え方を解説する。有機化学の基本を習得し、2年次以降の学習基盤をととのえる。	履修する学生は事前登録のメニューから登録すること。 確認テストについては別途クラス分けを行うので、クラス分けされたクラスで受験すること。 医療科学類生および生物資源学類生は自学類開講の授業と重複するため履修不可。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(対面併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FE11191	化学3	1	1.0	1	秋AB	月1	佐藤 智生,山岸 洋	熱力学,反応速度を中心に物理化学について基本的な考え方を解説する。物理化学の基本を習得し、2年次以降の学習基盤をととのえる。	履修する学生は事前登録のメニューから登録すること。 確認テストについては別途クラス分けを行うので、クラス分けされたクラスで受験すること。 医療科学類生および生物資源学類生は自学類開講の授業と重複するため履修不可。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(対面併用型)
HB11411	生物学I	1	1.0	1	春AB	木6	中野 賢太郎	大学教養レベルの生物学について、高校生物未履修者も対象に解説する。細胞学や遺伝学などの基礎を含め、生物学を幅広く扱う予定である。	医学類生に限る。 オンライン(オンデマンド型)
HB11421	生物学II	1	1.0	1	秋C	金1,2	櫻井 啓輔,小林 悟,丹羽 隆介,古川 誠一,和田 洋,本多 正尚	様々な生物の環境適応の例を通して、動物を構成する器官系-主に神経系・内分泌系・生殖系・免疫系-の働きの基本原理と多様性について学ぶ。また、生物の進化の基本的な考え方、系統学と分類学の概念と応用について概説する。加えて、比較生物学的な見地から動物の体を理解するために、消化吸収系、循環系、内分泌系、発生生殖などの系統進化的な側面について概説する。	医学類生に限る。この科目の単位は生物学類の卒業要件とならない。高校で生物学を選択しなかった者は,自習して授業に臨むこと。 対面(オンライン併用型)
HB11672	Clinical Communication in English I	2	1.0	2				The aim of the Clinical Communication in English (CCE) course is to equip students with the communicative skills they will need to function in English-language clinical settings. The course contents will be taught in four modules, divided between the CCE-I and CCE-II courses.	医学類生に限る。Aクラス対象。英語で授業。 英語で授業。 2026年度開講せず。 対面
HB11682	Clinical Communication in English I	2	1.0	2	春AB	水1	宮増 フラミニア,コスミン ミハイル フロレスク	The aim of the Clinical Communication in English (CCE) course is to equip students with the communicative skills they will need to function in English-language clinical settings. The course contents will be taught in four modules, divided between the CCE-I and CCE-II courses.	医学類生に限る。Bクラス対象。英語で授業。 英語で授業。 対面
HB11692	Clinical Communication in English I	2	1.0	2	春AB	水1	宮増 フラミニア,コスミン ミハイル フロレスク	The aim of the Clinical Communication in English (CCE) course is to equip students with the communicative skills they will need to function in English-language clinical settings. The course contents will be taught in four modules, divided between the CCE-I and CCE-II courses.	医学類生に限る。Cクラス対象。英語で授業。 英語で授業。 対面
HB11702	Clinical Communication in English II	2	1.0	2	秋AB	水1	宮増 フラミニア,コスミン ミハイル フロレスク	The aim of the Clinical Communication in English course is to equip students with the communicative skills they will need to function in English-language clinical settings. In this second part of the course, students will rotate through their remaining two CCE modules.	医学類生に限る。Aクラス対象。英語で授業。 英語で授業。 対面
HB11712	Clinical Communication in English II	2	1.0	2	秋AB	水1	宮増 フラミニア,コスミン ミハイル フロレスク	The aim of the Clinical Communication in English course is to equip students with the communicative skills they will need to function in English-language clinical settings. In this second part of the course, students will rotate through their remaining two CCE modules.	医学類生に限る。Bクラス対象。英語で授業。 英語で授業。 対面
HB11722	Clinical Communication in English II	2	1.0	2	秋AB	水1	宮増 フラミニア,コスミン ミハイル フロレスク	The aim of the Clinical Communication in English course is to equip students with the communicative skills they will need to function in English-language clinical settings. In this second part of the course, students will rotate through their remaining two CCE modules.	医学類生に限る。Cクラス対象。英語で授業。 英語で授業。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
HB13232	学術英語	2	1.0	3	春ABC秋AB	集中	コスミン ミハイル フロレスク	本科目の目的は、海外の大学で学生生活を送ることを想定し、必要な学術英語や日常会話の運用能力を e-learning教材を用いて修得することである。インターネットを利用するため、学内外で、自分のペースで、自由な時間に繰り返し学習することができる。	医学類生に限る。 英語で授業。 4/21-11/20 eラーニング科目 詳細後日周知 オンライン(対面併用型) 1回目、最終回の授業及び確認テストは対面で実施する。

基礎科目関連科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
HB21101	医学のための心の科学	1	1.0	1	春C	月3,4	森田 展彰,大谷 保和,新田 千枝	医師として必要な心理学の知識を提供する。面接のしかた、心理検査の方法と応用、ストレスの評価とコントロール、こころと体の関係、患者と家族との関係、人間の精神発達、心理的背景をもつ問題(ひきこもり、自殺、児童虐待、アディクション、PTSDなど)などを学ぶ。	対面
HB21141	行動生理学の基礎	1	1.0	1	春BC	NT	櫻井 武	動物の行動制御の観点からシステムとしての神経系機能の役割とその作動メカニズムを比較的最近の研究成果をまじえて解説する。大脳皮質と高次機能、大脳辺縁系と情動、大脳基底核と運動、報酬系、摂食行動の制御機構、睡眠覚醒の生理に関して概説する。	【受入上限数250名】 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
HB21151	海外プロジェクト概論(ロシア語圏)	1	1.0	1 - 3	春季休業中	集中	臼山 利信,山本 祐規子,小林 佑介,宗野 ふもと	ロシア語圏諸国の医科大学や医療機関、研究機関等を訪問し、訪問先の言語・文化・社会・医療制度への理解を深め、将来のキャリア形成に役立てる。受講者には国内外での発表が課せられる。	医学類生、看護学類生に限る。 詳細後日周知 対面
HB21161	放射線と生命―人体への影響と医療への貢献―	1	1.0	1	秋AB	NT	櫻井 英幸,磯辺 智範,熊田 博明	1895年にレントゲンがエックス線を発見して以来、放射線が引き起こす物理的および生物学的現象について様々な研究が行われてきた。同時に、放射線を利用することで医学は急速に進歩し、今や医療に放射線は不可欠な存在である。本科目では、「放射線とは何か」から出発し、まずその物理的な特質や相互作用とともに、生物学的効果につき解説する。さらに、福島原発事故以来注目を集めている生活環境での人体への放射線の影響について述べる。後半では、様々な放射線をどのように作り出して利用しているのかを述べ、近年目覚ましい発展を遂げている放射線診断やがん放射線治療において、放射線はどのように利用され医療に貢献しているのかを解説する。	【受入上限数180名】 専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
HB21171	神経回路研究の最前線	1	1.0	1	秋AB	月2	桝 正幸	私たちの脳活動の基礎となる神経回路がどのように作られ、どのように働くのかを、新しい研究成果も含めて概説する。	【受入上限数180名】 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 確認テストのみ対面で実施(教室:5C301)
HB21181	脳神経疾患の概略を理解する	1	1.0	1	秋AB	NT	斉木 臣二,中馬越 清隆,冨所 康志,塩谷 彩子,藤巻 基紀,片浦 哲志	超高齢社会を迎えてアルツハイマー病やパーキンソン病などの神経変性疾患患者数が増加している。これらを含む、頻度の高い神経疾患について概説するとともに、加齢の分子機構との関係、および神経症候との関連について平易に説明する。	【受入上限数180名】 専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
HB21191	臨床感覚器学	1	1.0	1	秋AB	NT	藤井 慶太郎	種々の感覚(聴覚・視覚・嗅覚・味覚など)にスポットを当て,それぞれの感覚をどのようにして感じているのかを学ぶ。感覚器の構造・機能を理解し,それらが失われたときの状態について理解を深める。	【受入上限数180名】 専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
HB21201	形成外科学入門	1	1.0	1	秋AB	NT	関堂 充,佐々木 薫,渋谷 陽一郎,大島 純弥,相原 有希子,藤田 裕季子	形成外科とは体表の異常、変形、機能を扱う外科である。再建外科・美容外科もその一分野である。人間にとって外観の変形は重要な問題であり、精神状況、社会生活にも大きな影響を及ぼす。当講座では先天異常、外傷、手術などによる変形、欠損、美容的な修正などにつき臨床例とともに講義する。	【受入上限数180名】 専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
HB21211	医科生化学	1	2.0	1	春BC	火1,2	七野 悠一,入江 賢児,福田 綾,桝 和子,岡田 拓也	生体物質の構造、性質、代謝を知ることによって人体がどのような物質から成り立っているのかを理解させる。また、それらの物質が生体システムの中でどのような働きをし、それがどのように制御されることによって正常な生命現象が営まれているのかを教授する。同時に様々な病態の生化学的理解を深める。	【受入上限数220名】 専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型) 確認テストのみ対面で実施(教室:5C213)
HB21221	医科分子生物学	1	2.0	1	秋AB	火1,2	入江 賢児,水野 智亮	生命の基本単位である細胞の構造と機能、遺伝子の構造、遺伝子発現の調節機構、細胞を制御する機構を学習し、ヒトの発育や環境の変化に対応した生命活動の機構や遺伝について理解する。	【受入上限数220名】 専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型) 確認テストのみ対面で実施(教室:5C213)
HB21231	スポーツ医学とは?フロントランナーに聞いてみよう!!	1	1.0	1	秋C	NT	中尾 砂理,鎌田 浩史,下山 寛之,中田 由夫,渡部 厚一,和田 恒彦,福田 崇,羽田 康司,髙橋 英幸,竹越 一博	スポーツ医学のフロントラインで教育・研究をおこなっている教員より、その最新の医学事情を学び、今後のスポーツ分野あるいは医療分野においてスポーツ医学の果たす役割について理解する。	【受入上限数180名】 専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
HB21240	アジア救急医学集中講座	0	1.0	1 - 6	春季休業中	集中	小林 佑介	コンケン大学において毎年2月ないし2-3月に世界中から救急医学に関して高い関心を持つ医学生が集まって行われる救急医学に特化した教育研修ならびに技能・知識を競うオンラインワークショップへの参加。本学医学類生にとって、アジア各国の医学生との競合的環境の中で救急医学に関する実践的知識・技能を整理あるいは習得する有意義な機会である。日タイの連携強化を図る国際的人材交流という視点も有し、医学生の国際感覚を養う機会でもある。	英語で授業。 実務経験教員 対面 医学類生に限る。定員6-8名程度。定員を超過した場合は選考を実施する。
HB31131	基礎医学研究の最前線	1	1.0	1	春BC	NT	工藤 崇,水野 智亮	筑波大学における最先端の基礎医学研究の実際について学び、その意義と重要性を考える。	【受入上限数220名】 専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)

専門科目(医学対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
HB31107	医学の基礎	7	11.0	1	秋ABC夏季休業中	集中	工藤 崇,水野 智亮	生化学、組織学、分子細胞生物学、感染生物学、免疫学、生理学などの基礎をPBLチュートリアル形式で学ぶとともに2、3年次の機能・構造と病態コースでの横断的・統合的な学習に必要な自習能力をつける。	医学類生に限る。 10/1-12/24,1/6-2/16,9/7-9/30 実務経験教員 対面
HB31122	医療概論I	2	2.0	1	春AB	水3,4 木4,5	近藤 正英,堀内 明由美,濵野 淳	人間としての規範、社会人としての規範に基づき、将来医師になる者としての自覚を持ちながら学習する態度を身につけるために、医療の様々な側面を知り、患者の思いや立場を配慮することの重要性を、講義、PBLチュートリアル、レポート作成を通して学ぶ。	医学類生に限る。 CDP 実務経験教員 対面
HB31123	医療・福祉現場でのふれあい等	3	2.0	1・2	春AB 春C	火5-7 集中	近藤 正英,堀内 明由美,濵野 淳	医療現場(附属病院,介護老人保健施設等)での患者さんの身の回りの世話や介護,附属病院施設等見学,高齢者・妊婦疑似体験実習等を通して医療現場での実際を早期に体験する。 医療現場における医療者としてのマナー(服装,個人情報保護等)を学ぶ。	医学類生に限る。総合学域群からの医学類移行学生は、2年次で履修すること。 7/3,7/7-7/8,7/14-7/15,7/17,7/21-7/22,7/24,7/28-7/29,7/31,8/4-8/5 CDP 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
HB31141	医学統計学	1	1.0	1	秋AB	月3	五所 正彦,丸尾 和司,石井 亮太	1.統計学の基礎概念を理解し、医学的問題への応用方法を習得する。 2.医学・生物学に起因する統計学上の問題と、その特徴を理解する。 3.医学データの収集方法、統計解析手法の基本を習得する。	医学類生に限る。M2の対象学生については動画を視聴すること。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
HB32122	医療概論I-B	2	2.0	2	春C 春季休業中	集中	近藤 正英,堀内 明由美,濵野 淳	人間としての規範、社会人としての規範に基づき、将来医師になる者としての自覚を持ちながら学習する態度を身につけるために、医療の様々な側面を知り、患者の思いや立場を配慮することの重要性を、講義、PBLチュートリアル、レポート作成を通して学ぶ。	総合学域群からの医学類移行学生対象。 7/13,7/17,7/22,4/6,4/8 CDP 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
HB32127	機能・構造と病態I	7	27.0	2	春AB秋ABC春季休業中夏季休業中	集中	石川 栄一,松原 大祐	人体解剖実習を行うとともに、病理学、薬理学、解剖学、臨床基礎、消化器系、循環器系、神経系、呼吸器系、内分泌代謝系等、基礎から臨床、社会までPBLチュートリアル形式で横断的・統合的な学習を行う。	医学類生に限る。 4/14-6/24,10/1-12/24,1/6-2/16,4/9-4/13,9/1-9/30 実務経験教員 対面
HB32157	医療概論II	7	2.0	2	春BC秋C 夏季休業中	集中	前野 哲博,堀内 明由美,小曽根 早知子	全人的医療を提供できる医療人に求められる能力について包括的に学ぶ。本科目では医学類の学習進度に合わせて、在宅ケア、職種間連携、行動科学、プロフェッショナリズム,情報倫理について学ぶ。	6/25-7/16,1/13,1/18,8/21-8/28 CDP 実務経験教員 対面
HB32212	English Medical Terminology I	2	1.0	2	秋ABC夏季休業中	火2	宮増 フラミニア	Students will acquire a foundation in basic medical English terminology needed for medical practice and research.	医学類生に限る。 英語で授業。 対面
HB32235	医学の基礎B	5	9.0	2	通年	月1,2	石川 栄一,松原 大祐	医学の基礎となる生理学, 薬理学, 組織学, 病理学, 生化学, 分子細胞生物学, 免疫学について提示された課題などを中心に演習によってヒトの構造, 機能の基礎を学ぶ。	医学類2年次編入学生及び総合学域群からの医学類移行学生対象。 詳細後日周知 実務経験教員 オンライン(対面併用型)
HB33127	機能・構造と病態II	7	37.0	3	春AB秋ABC春季休業中夏季休業中	集中	本間 康弘,堀 愛	機能・構造と病態Iに引き続き、感覚系、血液系、免疫・アレルギー系、生殖系、歯と口腔疾患、妊娠と分娩、小児、皮膚・形成系、腎・泌尿系、精神系、麻酔・救急、腫瘍学総論、運動系、社会医学など基礎から臨床、社会までをPBLチュートリアル形式で横断的・統合的な学習を行う。	医学類生に限る。 4/14-6/24,10/1-12/24,1/6-2/16,4/9-4/13,9/1-9/30 実務経験教員 対面
HB33157	医療概論III	7	3.0	3	春C秋AB	集中	前野 哲博,堀内 明由美,小曽根 早知子	全人的医療を提供できる医療人に求められる能力について包括的に学ぶ。本科目では医学類の教育進度に合わせて、ヘルスプロモーション、行動科学、職種間連携の基礎について学ぶ。	医学類生に限る。 7/6-7/16,10/6,11/27,12/7-12/11 CDP 実務経験教員 対面(オンライン併用型) 7月-11月にグループごとに地域実習を行う。
HB33212	English Medical Terminology II	2	2.0	3	通年	木1	宮増 フラミニア	Students will acquire a foundation in basic medical English terminology needed for medical practice and research.	医学類生に限る。 英語で授業。 対面
HB34117	医療概論IV	7	2.0	4	春AB夏季休業中	集中	前野 哲博,堀内 明由美,乃村 俊史,佐藤 幸夫	クリニカル・クラークシップの臨床実習に備えて、患者さんとのコミュニケーションのとり方、守秘義務、医療安全等、医師としての基本知識、態度を学ぶ。また、基礎医学、臨床医学等の最先端分野を学ぶ。本講義はPre-CC準備教育、アドヴァンストコースから構成される。	医学類生に限る。 5/18-5/29,8/31-9/4 CDP 実務経験教員 対面
HB34147	クリニカル・クラークシップ準備学習	7	18.0	4	春ABC	集中	乃村 俊史,佐藤 幸夫,前野 哲博	臨床実習に参加するために必要な、知識・技能・態度を獲得する。本講義は小括講義、症候・病態からのアプローチ、診察法演習、Pre-CCにより構成される。	医学類生に限る。 4/9-4/13,4/14-5/15,6/1-6/12,6/29-7/1,7/2-7/18 対面
HB34153	社会医学実習	3	2.0	4	春B	集中	笹原 信一朗,渡邊 多永子	地域における公衆衛生活動に参加し、疫学的アプローチ・環境調査・食品衛生・健康管理、保健・医療・福祉の連携の実際及び公衆衛生行政における医師の役割等を学ぶ。また、実験を通して社会医学に関する具体的な測定法などを学ぶ。	医学類生に限る。 6/15-6/26 実務経験教員 対面
HB34163	M4クリニカル・クラークシップ(Phase IA)	3	11.0	4	秋学期	集中	乃村 俊史,佐藤 幸夫,松原 大祐	4年次に行うクリニカル・クラークシップ。学生は、内科、外科、麻酔・救急、小児科、産婦人科、精神科、形成外科、口腔外科、病理の臨床実習をクリニカル・クラークシップ方式で行う。学生は医療チームの一員として日常の診療に加わり、診療活動を通してチーム医療、コミュニケーションのとり方、診察技法、カルテ記載、治療計画の立て方、治療法、疾患の概要、プレゼンテーションの仕方、医師としてのあり方等を学ぶ。	医学類学生に限る。 10/5-11/11,11/12-12/24,1/6-2/16,2/17-3/31 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
HB35153	M5クリニカル・クラークシップ (Phase IB、Phase IIA)	3	22.0	5	春ABC夏季休業中 秋ABC春季休業中	集中	井上 貴昭,斉木 臣二,関谷 元博	5年次に行うクリニカル・クラークシップ。本講義はPhaseIB、PhaseIIA、研究室実習から構成される。	医学類生に限る。 4/6-7/31,8/31-3/31 実務経験教員 対面
HB36151	医学総括	1	10.0	6	春C秋AB夏季休業中	集中	羽田 康司,木澤 義之	最終学年までに得た知識を系統的に整理し、臨床の各部門、疾患に対する理解を深め、社会医学全般を含め、疾患の予防法、診断法、治療法を実践できる医師としての基盤を確実なものとするために、講義を通じて学ぶ。本講義は運動系、眼系、耳鼻咽喉系、皮膚系、精神、呼吸系、循環系、消化系、血液系、自己免疫系、脳神経系、内分泌代謝系、腎泌尿系、診断治療学、小児、婦人・周産期、人間集団医学、感染症、医療総論から構成される。	医学類生に限る。 7/8-7/31,10/1-11/11,12/10-12/11,8/24-9/30 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
HB36163	医療概論V	3	2.0	6	春AB春季休業中	集中	前野 哲博,堀内 明由美,鈴木 將玄,小曽根 早知子	地域医療の現場での実習を通して、地域の特性を生かした保健・医療・福祉・医療安全について学ぶとともに、附属病院での医療とは異なる地域医療の特徴とその魅力、職種間連携について学ぶ。	医学類生に限る。 4/14-6/5,4/6-4/13 実務経験教員 対面
HB36173	M6クリニカル・クラークシップ (Phase IIB)	3	4.0	6	春AB春季休業中	集中	羽田 康司,木澤 義之	6年次に行うクリニカル・クラークシップ。	医学類生に限る。 4/14-6/5,4/6-4/13 実務経験教員 対面
HB36183	M6アドヴァンスト・エレクティヴズ	3	11.0	6	春BC	集中	羽田 康司,木澤 義之,関谷 元博	自分の希望や将来の進路に合わせて興味のある分野を掘り下げる実習で、 学生が自ら実習プランをたてて実施する。学外実習・附属病院実習・研究室実習・海外実習のいずれか、または組み合わせて実施する。	医学主専攻対象。 6/8-7/3 実務経験教員 対面
HB36193	研究室実習	3	15.0	6	春ABC春季休業中	集中	関谷 元博	医学に関連する専門分野の研究室へ行き、実際の研究を体験することにより、医学研究の進め方を身につける。また、実地体験に基づいて教員と議論を深め、医学研究の考え方を習得する。	新医学主専攻対象。 4/14-7/3,4/6-4/13 実務経験教員 対面

専門外国語(医学対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
HB37142	専門語学(英語)E	2	1.0	2・3	秋AB	水6	宮増 フラミニア	This course is designed to increase students' confidence and ability to discuss, debate, and make presentations in English on a range of current topics and issues in medicine and medical research. The aim of the course is to develop students' international understanding and professionalism towards becoming a member of the global medical community.	医学類生に限る。英語で授業。 対面
HB37162	専門語学(英語)G	2	3.0	3 - 6	通年	水1	小金澤 禎史,岡田 拓也,秋山 慎太郎	United States Medical Licensing Examination (USMLE)アメリカ合衆国の外国医学部卒業生むけ資格試験受験をめざす医学生のためのクラス	医学類学生に限る。人数制限有り (10名程度)。 対面(オンライン併用型)
HB37232	専門語学(英語)N	2	1.0	2 - 4	春BC	集中	コスミン ミハイル フロレスク	Preparation for the IELTS Exam This course is for students planning to take the IELTS exam in preparation for application to study abroad or to participate in an overseas clinical clerkship. The focus of the course will be on improving students' abilties in three of the skills tested at the Academic Module level: Listening,Writing,and Speaking Students will also learn strategies for taking the exam.	医学類生に限る。主に4年次生を対象とする。 詳細後日周知 対面
HB37242	専門語学(英語)O	2	1.0	4 - 6	夏季休業中	集中	コスミン ミハイル フロレスク	This course focuses on preparing students who are interested in taking the Occupational English Test (OET) for Medicine, which is currently the standard English language proficiency test for medical professionals who want to practice medicine in an English-speaking country (UK, Australia, USA, etc.). The main goal is to give students a chance to familiarize themselves with the test format, with a special focus on the Writing Section. Another goal of the course is to improve students' clinical communication skills in general.	医学類生に限る。主に海外臨床実習を考える4・5・6年次生対象。 IELTSスコア6.0(CEFRB2レベル)以上が望ましい。 英語で授業。 詳細後日周知 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
HB37252	専門語学(英語)P	2	1.0	5	秋C	集中	宮増 フラミニア	In this course, students will learn about the theory and protocols of modern molecular biology lab techniques using practical, scientific English. The course will be taught in the context of current research being carried out within the Univerity. No previous lab experience required.	新医学専攻学生対象 詳細後日周知 対面
HB37512	専門語学(ロシア語)	2	1.0	1 - 3	春季休業中	集中	梶山 祐治,臼山 利信	予めロシア語の知識は必要としない。ロシア語の最初歩(文字と発音)から学習する。その過程で医学の分野における専門用語、簡単な専門的表現を学ぶ。ロシア語圏(中央ユーラシア地域)での医療視察研修で役立つ表現についても適宜学習する。	海外プロジェクト概論(ロシア語 圏)(HB21151)または国際生命医科学研修(HE41170)を履修する学生は原則として必須とする。 オンライン(同時双方向型)

専門科目(自由科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
HB31152	研究室演習	2	2.0	1	秋ABC	随時	川口 敦史,関谷 元博	興味のある専門分野の研究室へ行き,「研究」を体験する。医学研究の現場で教員と接しながら,小グループで研究課題について討論したり,論文を抄読し,専門分野の理解力を高め,自分の考え方を磨く。また,週末・休暇を利用し,継続的に実験研究も行い,M5以降の新医学専攻へ引き続いて進むことができる。	医学類生に限る。 実務経験教員 対面
HB32102	研究室演習I	2	3.0	2	通年	随時	川口 敦史,関谷 元博	興味のある専門分野の研究室へ行き,「研究」を体験する。医学研究の現場で教員と接しながら,小グループで研究課題について討論したり,論文を抄読し,専門分野の理解力を高め,自分の考え方を磨く。また,週末・休暇を利用し,継続的に実験研究も行い,M5以降の新医学専攻へ引き続いて進むことができる。	医学類学生に限る。 実務経験教員 対面
HB32424	臨床解剖学	4	1.0	2	春AB	金1	武井 陽介,佐々木 哲也,岩田 卓,森川 桃,吉原 雅大	臨床的側面を交えて運動器および循環器の正常構造について講義する。	医学類2年生に限る。 対面
HB33112	研究室演習II	2	3.0	3	通年	随時	川口 敦史,関谷 元博	興味のある専門分野の研究室へ行き,「研究」を体験する。医学研究の現場で教員と接しながら,小グループで研究課題について討論したり,論文を抄読し,専門分野の理解力を高め,自分の考え方を磨く。また,週末・休暇を利用し,継続的に実験研究も行い,M5以降の新医学専攻へ引き続いて進むことができる。	医学類生に限る。 実務経験教員 対面
HB34112	研究室演習III	2	3.0	4	通年	随時	川口 敦史,関谷 元博	興味のある専門分野の研究室へ行き,「研究」を体験する。医学研究の現場で教員と接しながら,小グループで研究課題について討論したり,論文を抄読し,専門分野の理解力を高め,自分の考え方を磨く。また,週末・休暇を利用し,継続的に実験研究も行い,M5以降の新医学専攻へ引き続いて進むことができる。	医学類生に限る。 実務経験教員 対面

開設母体　　要件
看護学類

看護学

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
HC19007	国際ヘルスケア学術協定校研修	7	2.0	1 - 4	通年	応談	柴山 大賀,伊藤 智子,トゴバタラ ガンチメゲ	国際協定校主催の語学コースに参加し、海外の日常生活や文化に触れながら語学を学習する。また海外の保健・医療・福祉施設でのインターンシップを通じて、海外の医療制度の実際を理解する。	英語で授業。 実務経験教員 対面
HC19017	国際ヘルスケア学術協定校研修II	7	1.0	1 - 4	通年	応談	トゴバタラ ガンチメゲ,柴山 大賀,伊藤 智子	国際協定校主催の保健・医療・福祉施設での約1週間のインターンシップを通じて、海外のヘルスケアシステムの実際を理解する。	英語で授業。 実務経験教員 対面
HC20001	人間関係論	1	1.0	2	春AB	火3	橋爪 祐美,山下 美智代,非常勤講師	人間関係の意義、社会的相互作用、コミュニケーション論など、人間関係に関する基礎理論を学び、さらに、看護における人間関係について理解を深める。	看護学類学生に限る 実務経験教員 対面
HC20021	心の健康と相談活動	1	1.0	2	春AB	火4	菅谷 智一,白谷 佳恵	様々な職種や経験を有する講師による心の健康に関する講義を通して、人の心の健康の多様な捉え方を学ぶとともに、心の健康を維持・促進するための相談活動の場や方法について理解を深める。	看護学類学生に限る 実務経験教員 対面
HC20121	行動科学	1	1.0	2	春C	月1,2	柴山 大賀	行動変容を促す健康行動理論とその基盤となる行動科学を学び、保健医療現場での応用を考える。	看護学類生に限る 実務経験教員 対面
HC20142	看護専門英語	2	2.0	3	春A	随時	柴山 大賀,トゴバタラ ガンチメゲ,メイヤーズ トーマス デイヴィッド	看護ケア実践に必要な医療用語を習得し、国内外の外国人患者-看護師間のコミュニケーションや職種間連携に必要な英会話を学ぶ。TOEIC試験対策を通し、日常生活に必要な英語力を向上させる。	対面(オンライン併用型) 2021年度以前入学者用
HC20151	コミュニティ・エンパワメント論	1	1.0	2	春C	水1,2	安梅 勅江	コミュニティ・エンパワメントの理論について学習するとともに、具体的な事例を通じた演習を通じ、ケア実践に活用するための技術を取得する。	実務経験教員 対面
HC20152	看護専門英語	2	1.0	3	春A 春B	月3,4 水3,4	柴山 大賀,トゴバタラ ガンチメゲ,メイヤーズ トーマス デイヴィッド	看護ケア実践に必要な医療用語を習得し、国内外の外国人患者-看護師間のコミュニケーションや職種間連携に必要な英会話を学ぶ。TOEIC試験対策を通し、日常生活に必要な英語力を向上させる。	2022年度以降入学生用 英語で授業。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
HC21031	臨床薬理学	1	1.0	2	秋BC	集中	本間 真人	種々の疾患の治療,予防に用いられる医薬品の基礎的および臨床薬理学的知識,また,医薬品の取り扱い方法について学ぶ。看護活動を展開するうえで必要となる人体への薬理作用を中心に薬物治療を理解する能力を身につける。	看護学類学生に限る。「薬理学 疾病の成り立ちと回復の促進3」医学書院を使用。 実務経験教員. 対面 実務経験教員 対面
HC21071	人体機能学	1	2.0	1	春BC	木3,4	小金澤 禎史,山田 洋,櫻井 武,征矢 晋吾,平野 有沙,櫻井 勝康,齊藤 夕貴	人体の生理機能について総合的な理解力を養う。	専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
HC21081	人体構造学	1	2.0	1	春BC	水3,4	工藤 崇,武井 陽介,岩田 卓,森川 桃,吉原 雅大,佐々木 哲也	人体を構成する運動器、神経系、内臓について、細胞・組織レベルから肉眼レベルまで、説明できるようになる。	専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
HC21091	人体の代謝と栄養	1	1.0	2	秋A	水3,4	柴山 大賀	代謝学の基礎を生化学的、分子生物学的知識を含めて理解する	看護学類学生に限る 実務経験教員 対面
HC21151	遺伝と健康	1	1.0	2	秋A 秋B	火3 月1	野口 恵美子,宮寺 浩子,岩田 裕子,青木 真希子	ヒトや微生物の染色体の全ゲノムの配列が明らかになり,今後これらを利用した医療技術の急速な進展が予想される。そこで,その基本となる組み替えDNA技術の基礎を教授し,病原体の検出法や疾病の遺伝子診断技術,染色体検査について解説する。	HC21151と同一。対面またはオンライン(オンデマンド型) HE32051と同一。 オンライン(オンデマンド型) 対面またはオンライン(オンデマンド型)
HC21191	疾病の治療と看護I	1	2.0	2	秋A 秋B	金5,6 水5,6	山下 美智代,阿部 吉樹,医学医療系教員	成人期の人々をモデルとして、代表的な疾病の成り立ちとその治療方法、および患者の回復を促進するための看護について学ぶ。	看護学類生に限る 2022年度以降入学生用 実務経験教員 対面
HC21211	疾病の治療と看護II	1	2.0	2	秋B	水1-4	落合 亮太,秋山 直美,増田 有葉	患者の心身に生じる主要な症状や症候の病態生理の基礎知識を習得することを目的とする。主要な症状や徴候に関して、各症状や徴候の定義、関連する解剖生理ならびに病態生理、原因・誘因、主な随伴症状、一般的な成り行きについて学習し理解を深める。	看護学類学生に限る 2022年度以降入学生用 実務経験教員 対面
HC21221	子どもの健康と障害	1	1.0	2	春ABC	集中	涌水 理恵	小児期に特有な小児科疾患と小児外科疾患を中心として、子どもの健康が障害された状態やそれによって生起する問題点などを学ぶ。	2022年度以降入学生用 実務経験教員 対面
HC21231	老化と健康	1	1.0	2	春B	水5,6	橋爪祐美,目 麻里子,医学医療系教員	高齢者の健康問題として、加齢による心身機能の変化と病態を理解し、高齢者の生活機能をアセスメントするための基礎を学ぶ	2022年度以降入学生用 実務経験教員 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
HC22021	疫学	1	2.0	2	秋A	月・水 1,2	井坂 ゆかり,トゴバタラ ガンチメゲ	統計学の手法を用い、集団を対象とした学問である疫学の方法論を学び、保健医療現場での実際の研究についても紹介する。	実務経験教員 対面(オンライン併用型) 看護学類学生に限る
HC22081	保健統計学	1	2.0	2	春AB	木1,2	阿部 吉樹,伊藤 智子	保健統計資料の見方を学び、自ら、保健医療の現場や研究で得られるデータを解釈する上で必要な統計学の基礎知識を身につける。	実務経験教員 対面
HC22091	国際保健学	1	1.0	3	春C	水3,4	安梅 勅江	国際的なヘルスプロモーションの事例を検討する中から、エンパワメントの技法を用いた国際保健学の理論と技術、今後の展開方策について学習する。	実務経験教員 対面
HC22101	医療経済学	1	1.0	3	春C	木1,2	柴山 大賀,近藤 正英	医療サービスの経済学的特殊性およびわが国をはじめ,諸外国の医療制度,医療財源,医療費などの現状と今後の展望について学ぶ。	HE22121と同一。 実務経験教員 対面
HC22151	障害理解	1	1.0	2	秋B	火3,4	菅谷 智一,増田 有葉	身体障害児・者と知的障害児・者の概要及び福祉制度について講述する。また、障害理解、障害者文化、バリアフリーなどについての内外の実際と制度について解説する。	看護学類学生に限る 実務経験教員 対面
HC22231	保健医療福祉行政論I	1	1.0	3	春AB	金1	伊藤 智子,森田 展彰,近藤 正英,堀 愛,笹原 信一朗,菅野 幸子,井坂 ゆかり,木原 朋未	保健・医療・福祉に関わる関係法規について、その制定の趣旨や内容の理解を深めることを目的とし、医療関係職種として備えるべき基礎的な知識について、専門家として関わっている各分野の教員が教授する。	医療科学類との合同科目 HE22011と同一。 実務経験教員 対面
HC22241	保健医療福祉行政論II	1	1.0	3	春季休業中	集中	伊藤 智子, 非常勤講師	保健医療福祉行政論Iの知識をもとに、看護職との関わりを学び、日々変化する行政の問題を理解し、自ら問題点を把握し検討する過程を通じ、自己の職業観確立の基礎をつくる。	看護学類学生に限る 実務経験教員 対面 日程等詳細は後日通知
HC22251	環境保健	1	1.0	3	春C	木3,4	我妻 ゆき子,堀 大介,道喜 将太郎	人々の暮らしを取り巻く環境について、現状や課題と健康への関連について学び、健康を支援するために環境に働きかけてゆく必要性について理解を深める。	看護学類学生に限る 実務経験教員 対面
HC30071	看護生命倫理	1	1.0	1	秋B	NT	落合 亮太,岡山 久代,山下 美智代	現代社会では、生命科学や医療の進歩により人間の生存にかかわる多くの問題が生じている。これらの問題は生命科学・医療・法律・倫理・哲学などの多くの側面から検討することが必要である。本講義は、これらの諸問題に関して、看護学の視点から論じ、看護実践の場でどのように活かすか理解を深める。	専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
HC30141	基礎看護学概論	1	1.0	1	春A	水3,4	落合 亮太	看護学の初学者として、看護の基本概念とその関係について学ぶと共に、看護の歴史的な変遷や社会における看護の役割や機能についても理解し、自らの看護観を構築していくための手がかりとする。また、現代の看護学を支えている代表的な理論について学習する。	専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(対面併用型)
HC30181	看護過程	1	2.0	2	秋C	金3-6	落合 亮太,秋山 直美,増田 有葉	看護実践の方法の一つである看護過程について学習する。看護専門科目に共通する問題解決思考のプロセスについての理解を深め、看護過程の展開方法を学ぶ。	看護学類学生に限る 2022年度以降入学生用 実務経験教員 対面
HC30183	看護技術実習	3	1.0	2	夏季休業中	集中	落合 亮太,秋山 直美,増田 有葉	基本看護技術演習で学んだことを実際の臨床場面で実施・展開する。病院においてどんな看護技術がどのように提供されているか学び、臨床実践を行うのに必要な知識、技術、態度を統合し、臨床における看護技術の実践を学ぶ。	実務経験教員 対面 看護学類学生に限る詳細後日通知
HC30191	基本看護技術	1	3.0	2	春A	水5,6 金3-6	落合 亮太,秋山 直美,増田 有葉	看護技術習得を縦軸に、実施の根拠となるエビデンスを横軸において展開する。情報収集、コミュニケーション、安全管理、終末期のケアなどを基盤に、看護の基本的技術について演習する。基本看護技術演習とセットで展開する。	看護学類学生に限る 2022年度以降入学生用 実務経験教員 対面
HC30192	基本看護技術演習	2	2.0	2	春BC	金3-6	落合 亮太,秋山 直美,増田 有葉	日常生活援助に関わる基本看護技術である環境の整備、食事の援助、排泄援助、活動・休息の援助、清潔・衣生活の援助を中心に、基本的技術(basic skills)を演習によって習得する。また共通技術項目としてスタンダードプリコーション(手洗い、手指消毒など)、活動(移乗動作、体位変換など)、バイタルサインズなどの技術を学ぶ。	看護学類学生に限る 2022年度以降入学生用 実務経験教員 対面
HC30193	看護過程実習	3	2.0	2	秋C春季休業中	集中	落合 亮太,秋山 直美,増田 有葉	1・2年次までに学習した基礎看護学領域やその他の学問領域から得た知識、技術、理論などを用い、対象に応じた看護過程を展開できる基礎的な能力を習得する。	実務経験教員 対面 看護学類学生に限る詳細後日通知
HC30201	フィジカルアセスメント	1	2.0	2	秋B	金3-6	落合 亮太,秋山 直美,増田 有葉	対象者の健康状態を把握するために必要な問診やフィジカルイグザミネーションの基本技法を学び、フィジカルアセスメントの知識と方法について学習する。	看護学類生に限る2022年度以降入学者用 実務経験教員 対面
HC31081	公衆衛生看護学概論	1	2.0	1	秋AB	木5,6	白谷 佳恵,井坂 ゆかり	公衆衛生看護学の理念と目標を理解し、地域で生活する人々への健康支援における公衆衛生看護学の基本的な概念や特徴を学習する。さらに、地域を基盤とした予防活動の実際と公衆衛生看護が展開される場の特性における看護の役割について理解する。	専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(対面併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
HC31111	職域における保健活動	1	1.0	2	秋C	月3,4	井坂 ゆかり,白谷 佳恵,阿部 吉樹	学校および職域における保健活動の定義と概要、法的根拠、活動における基本的事項について学ぶ。その上で、学校および職域における保健医療職の果たす役割について自らの考えや今後の展望を考察する。	実務経験教員 対面(オンライン併用型)
HC32051	臨床看護学概論	1	1.0	2	春C	火3,4	水野 道代,阿部 吉樹	臨床で看護を実践する上で利用可能な理論について学ぶと共に、健康レベルに対応した健康問題の特徴とその解決方法について理解する。また、看護診断と看護過程を展開するために必要な知識を身に着ける。	看護学類学生に限る 実務経験教員 対面
HC32071	臨床看護方法論	1	2.0	3	春AB	随時	阿部 吉樹,山下 美智代	成人期の人々をモデルとして、健康障害や治療によって生じる人間の反応についてアセスメントし、疾病の経過とそれに伴う心理的・社会的側面に考察を加え、人間の総合的理解にもとづいた看護過程を展開する能力を養う。	看護学類学生に限る 実務経験教員 対面 2021年度以前入学者用
HC32081	臨床看護方法論	1	3.0	3	春AB	金2-4	阿部 吉樹,山下 美智代	成人期の人々をモデルとして、健康障害や治療によって生じる人間の反応についてアセスメントし、疾病の経過とそれに伴う心理的・社会的側面に考察を加え、人間の総合的理解にもとづいた看護過程を展開する能力を養う。	看護学類学生に限る 2022年度以降入学生用 実務経験教員 対面
HC32083	臨床看護学実習(クリティカルケア)	3	2.0	3	秋BC	集中	山下 美智代,阿部 吉樹	生命を脅かす健康問題のリスクが高い患者に対して、健康障害とその治療の理解をもとに看護過程を展開し、健康状態の回復や悪化の予防、健康障害や治療により生じる苦痛を緩和する看護援助を習得する。	看護学類生に限る 実務経験教員 対面 日程等詳細は後日通知
HC32093	臨床看護学実習(セルフケア)	3	2.0	3	秋A 秋B 夏季休業中	集中	阿部 吉樹,山下 美智代,伊藤 智子,水野 道代	病いとともに生きる患者をセルフケアの観点から総合的に理解し、看護上の問題解決と援助のための看護過程を展開し、実践する能力を習得する。	看護学類生に限る 実務経験教員 対面 日程等詳細は後日通知
HC33011	精神看護学概論	1	1.0	1	秋C	木5,6	菅谷 智一	精神看護の基礎となる理論を学ぶとともに精神看護の目的及び看護の役割について学ぶ。	専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 対面
HC33023	精神看護学実習	3	2.0	3	秋ABC夏季休業中	集中	菅谷 智一,目 麻里子	精神に障害をもった人に接し,個人の背景や特徴を踏まえた看護過程を展開しながら,臨床場面での精神看護技術を習得する。また、地域で生活する精神障害者の健康増進の実際を知ることで、対象者を理解し、精神科看護における看護の役割を理解する。	看護学類学生に限る 実務経験教員 対面 日程等詳細は後日通知
HC33061	精神看護方法論	1	2.0	3	春A 春B	火1,2 月1,2	菅谷 智一,松﨑 朝樹,袖山 紀子,高橋 卓巳	精神の健康問題を抱えている対象者の治療と看護アプローチを学ぶ。また、対象者のアセスメント方法、生活支援のための具体的な看護方法を学ぶ。さらにグループワークを通して対象者の生活状況をアセスメントし、健康回復のための援助方法を導く看護過程の展開方法を学ぶ。	看護学類生に限る2022年度以降入学生用 実務経験教員 対面
HC34001	高齢者看護学概論	1	1.0	1	秋B	水3,4	橋爪 祐美	加齢に伴う心身機能への影響や社会的特徴、日本の高齢者保健医療福祉の動向と施策を概観し、高齢者ケアの特徴と役割を理解する。ヘルスプロモーション、介護予防、加齢と複合した慢性疾患や不完全な回復のなかで自立した生活を送り、安らかなエンドオブライフを迎えるためのケアを理解する。人権の尊重を基盤にヘルスプロモーションと安寧の向上を意図したケアの理解を通して、専門的立場から果しえる役割を学ぶ。	専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
HC34051	高齢者看護方法論	1	2.0	2	春BC	月3,4	目 麻里子,橋爪 祐美	高齢者の心身・社会的な特徴を理解し、高齢者を対象とした看護過程について学習する。高齢者に対する具体的な看護方法と看護の役割について学ぶ。	看護学類生に限る 2022年度以降入学生用 実務経験教員 対面
HC34083	高齢者看護学実習	3	2.0	2	夏季休業中	集中	目 麻里子,橋爪 祐美	高齢者とその家族を対象とした看護師の役割と、看護過程の展開方法について学ぶ。	看護学類生に限る 2022年度以降入学生用 実務経験教員 対面 日程等詳細は後日通知
HC35033	母性看護学実習	3	2.0	3	秋A 秋B 夏季休業中	随時	青木 真希子,岡山 久代	臨床の場において,看護過程を用い母性看護の対象に看護を展開する能力を養う。	看護学類学生に限る 実務経験教員 対面 2021年度以前入学者用
HC35043	ウィメンズヘルス看護学実習	3	2.0	3	秋A 秋B 夏季休業中	集中	青木 真希子,岡山 久代	臨床の場において,看護過程を用い母性看護の対象に看護を展開する能力を養う。	看護学類学生に限る 2022年度以降入学生用 実務経験教員 対面 日程等詳細は後日通知
HC35051	ウィメンズヘルス看護学概論	1	1.0	2	春BC	火2	岡山 久代,青木 真希子	ウィメンズヘルス看護と母性看護について、現代の社会的背景を踏まえた特徴を学ぶ。 また、ライフスサイクルにおける女性の健康問題を理解し、各期に応じた女性への看護について学ぶ。	看護学類学生に限る 実務経験教員 対面
HC35201	母性看護方法論	1	2.0	3	春AB	随時	青木 真希子,岡山 久代	妊娠準備・妊娠・分娩・産褥・新生児といった周産期における対象を看護の視点から理解し、看護展開をするための基礎的な知識について学ぶ。	看護学類学生に限る 実務経験教員 対面 2021年度以前入学者用

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
HC35211	ウィメンズヘルス看護学方法論	1	2.0	3	春AB	木1,2	青木 真希子,岡山 久代	妊娠準備・妊娠・分娩・産褥・新生児といった周産期における対象を看護の視点から理解し、看護展開をするための基礎的な知識について学ぶ。	看護学類学生に限る 2022年度以降入学生用 実務経験教員 対面
HC36131	小児・発達看護方法論	1	1.0	3	春AB	随時	涌水 理恵	さまざまな健康障害を持つ子どもとその家族に対して、成長発達や家族の視点、健康障害を持つ子どもが必要とする日常生活援助などの学びを統合し、健康障害を持つ子どもと家族の看護について学ぶ。 また、必要な看護技術と子どもの生活に欠かすことのできない遊びを安全かつ効果的に実施する技法を身につける。さらに、看護過程の展開に関して、症状のアセスメント、看護問題の抽出、看護計画の立案について具体的疾患事例を通して学ぶ。	看護学類学生に限る 2021年度以前入学者用 実務経験教員 対面
HC36143	小児・発達看護学実習(保育所・施設ふれあい実習)	3	1.0	3	夏季休業中	随時	安梅 勅江,涌水 理恵,非常勤講師	保育所および、療育センターにて実習を行う。子どもの発達段階に応じた特性を理解し、子どもとの関係性の構築、および、子どもが安全安楽な社会生活を送るための援助方法を学ぶ。また、施設の役割や療養者生活状況、提供する看護援助について学ぶ。	看護学類学生に限る 実務経験教員 対面 2021年度以前入学者用
HC36153	小児・発達看護学実習(病院実習)	3	1.0	3	秋A 秋B 夏季休業中	随時	涌水 理恵	病院実習を行い、受け持ち患児と関係性を築きながら、患児の特性に合わせた看護計画を立案する。看護計画の立案を通して、小児看護における看護師の役割および、療養生活の援助方法について学ぶ。	看護学類学生に限る 実務経験教員 対面 2021年度以前入学者用
HC36161	子どもの発達支援学概論	1	1.0	2	春AB	月2	涌水 理恵,安梅 勅江	小児看護の対象や基礎となる理念を学び、小児看護についての理解を深める。小児の成長・発達の特徴と小児と家族へ看護の役割について学ぶ。具体的には、子どもと家族を取り巻く社会環境と生活環境の理解および子どもの成長・発達と家族の発達課題の理解を通して、対象の健康維持・増進のための看護の基礎となる知識・視点を修得する。	2022年度以降入学生用 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
HC36171	子どもの発達支援方法論	1	2.0	3	春AB	火3,4	涌水 理恵	さまざまな健康障害を持つ子どもとその家族に対して、成長発達や家族の視点、健康障害を持つ子どもが必要とする日常生活援助などの学びを統合し、健康障害を持つ子どもと家族の看護について学ぶ。 また、必要な看護技術と子どもの生活に欠かすことのできない遊びを安全かつ効果的に実施する技法を身につける。さらに、看護過程の展開に関して、症状のアセスメント、看護問題の抽出、看護計画の立案について具体的疾患事例を通して学ぶ。	看護学類学生に限る 2022年度以降入学生用 実務経験教員 対面
HC36173	子どもの発達支援実習(保育所・施設ふれあい実習)	3	1.0	3	夏季休業中	集中	安梅 勅江,涌水 理恵,工藤 理恵,非常勤講師	保育所および、療育センターにて実習を行う。子どもの発達段階に応じた特性を理解し、子どもとの関係性の構築、および、子どもが安全安楽な社会生活を送るための援助方法を学ぶ。また、施設の役割や療養者生活状況、提供する看護援助について学ぶ。	看護学類学生に限る 2022年度以降入学生用 実務経験教員 対面
HC36183	子どもの発達支援実習(病院実習)	3	1.0	3	秋A 秋B 夏季休業中	集中	涌水 理恵,工藤 理恵	病院実習を行い、受け持ち患児と関係性を築きながら、患児の特性に合わせた看護計画を立案する。看護計画の立案を通して、小児看護における看護師の役割および、療養生活の援助方法について学ぶ。	看護学類学生に限る 2022年度以降入学生用 実務経験教員 対面
HC36191	生涯発達と家族支援	1	2.0	1	春BC	火5,6	水野 道代,青木 真希子,安梅 勅江,岡山 久代,橋爪 祐美,目 麻里子	人間の成長・発達・加齢の過程の特徴を生涯発達の考え方に基づき多面的に理解した上で、人間の発達段階および発達課題に応じた援助の方法について学ぶ。また、家族看護の視点から家族の位置づけや役割・機能について理解しながら家族支援のあり方を学ぶ。	専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
HC37001	在宅看護概論	1	1.0	3	春A	随時	伊藤 智子,柴山 大賀	在宅看護活動の歴史、背景を理解した上で、その仕組みと特性、看護師の役割について学修する。	2021年度以前入学者用 実務経験教員 対面 看護学類学生に限る
HC37011	在宅看護方法論	1	1.0	3	春B	随時	伊藤 智子,柴山 大賀	具体的事例の展開を通じて、在宅における療養者・家族、生活環境の多様性を知るとともに、対象の総合的理解に基づいた看護過程を展開する能力を養う。	2021年度以前入学者用 実務経験教員 対面 看護学類学生に限る
HC37013	在宅看護実習	3	2.0	3	秋BC	随時	伊藤 智子,柴山 大賀	茨城県内の訪問看護ステーションでの実習を通じ、疾病や障害を持ちながら在宅で生活する療養者とその家族の健康状態および生活環境を総合的にアセスメントし、対象にあった在宅看護を展開する能力を修得する。訪問看護に関わる法律や制度および各関係職種・各機関との連携・協働について理解し、ディスカッションを通じて、在宅ケアチームの一員として看護の専門性について考察する。	看護学類生に限る 2021年度以前入学者用 実務経験教員 対面 日程等詳細は後日通知
HC37021	地域・在宅看護論	1	1.0	3	春A	水3,4	伊藤 智子,柴山 大賀	地域・在宅看護活動の歴史、背景を理解した上で、その仕組みと特性、地域・在宅における看護師の役割について学修する。	看護学類学生に限る 2022年度以降入学生用 実務経験教員 対面
HC37031	地域・在宅看護方法論	1	2.0	3	春BC	月3,4	伊藤 智子,柴山 大賀	具体的事例の展開を通じて、地域・在宅における療養者・家族、生活環境の多様性を知るとともに、対象の総合的理解に基づいた看護過程を展開する能力を養う。	看護学類学生に限る 2022年度以降入学生用 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
HC37033	地域・在宅看護論実習	3	2.0	3	秋BC	集中	伊藤 智子,柴山 大賀	茨城県内の訪問看護ステーションやその他の施設での実習を通じ、疾病や障害を持ちながら地域・在宅で生活する療養者とその家族の健康状態および生活環境を総合的にアセスメントし、対象にあった地域・在宅看護を展開する能力を修得する。訪問看護に関わる法律や制度および各関係職種・各機関との連携・協働について理解し、ディスカッションを通じて、地域・在宅ケアチームの一員として看護の専門性について考察する。	看護学類学生に限る 2022年度以降入学生用 実務経験教員 対面
HC37041	家族病理とメンタルヘルス	1	1.0	2	春A	水3,4	菅谷 智一	家族の病理と家族成員のメンタルヘルスについて理解し、家族の病理をふまえた、家族への介入方法を理解する。また、対象者及び家族のメンタルヘルスケアについて具体的な方法を学ぶ。	看護学類学生に限る 2022年度以降入学生用 実務経験教員 対面
HC40003	ヘルスプロモーション実習I	3	2.0	3	夏季休業中	集中	橋爪 祐美,目 麻里子	主として高齢者の健康生活と幸福を意図した看護ケアを実践するために、看護職および他の専門職からなるInterdisciplinary チームの実態を学び、医療と福祉の場での多職種連携と、看護の役割と課題を理解する。 高齢者対象の医療施設と介護施設におけるリスクマネジメントの重要性と実際を理解する。(多職種連携の理解)	看護学類学生に限る 実務経験教員 対面 日程等詳細は後日通知
HC40011	ヘルスプロモーションと看護	1	1.0	3	春C	火1,2	青木 真希子,岡山 久代,安梅 勅江,水野 道代,伊藤 智子,菅谷 智一,トゴバタラ ガンチメゲ,工藤 理恵,井坂 ゆかり	地域社会で生活する個人、家族、集団に対する、さまざまなライフステージに応じた健康の維持・増進に向けた保健医療領域の活動の現状ならびに支援方法について理解する。地域のなかで病や障害を持ちながら生活する人や家族に焦点を当てた健康の維持や回復促進、QOL向上を目的とした看護の支援方法について考察する。	看護学類学生に限る 実務経験教員 対面
HC40013	ヘルスプロモーション実習II	3	2.0	3	春季休業中	集中	伊藤 智子,柴山 大賀,安梅 勅江,涌水 理恵,阿部 吉樹,菅谷 智一,山下 美智代,井坂 ゆかり	地域社会で生活する個人、家族、集団に対する、さまざまなライフステージに応じた健康の維持・増進に向けた保健医療領域の活動の現状ならびに支援方法を実際に体験する。地域のなかで病や障害を持ちながら生活する人や家族に焦点を当てた健康の維持や回復促進、QOL向上を目的とした看護の支援方法について学修する。	看護学類学生に限る 実務経験教員 対面 日程等詳細は後日通知
HC40023	応用看護学実習	3	2.0	4	春BC	集中	岡山 久代 他看護学類教員	看護に関連する領域を学生自身の関心によって選択し、それぞれの場所(病院、関連施設など)で実習を行う。この実習における看護過程を通して、看護の理念、知識、方法の統合をはかる。	看護学類生に限る 実務経験教員 対面 詳細後日通知
HC40031	看護マネジメント	1	1.0	3	春B	金5,6	柴山 大賀	看護職としてケアやサービスをマネジメントするために必要な知識と技術の基本について学ぶ。	看護学類学生に限る 実務経験教員 対面
HC40041	災害看護学	1	1.0	3	春C	火3,4	山下 美智代	災害および災害看護に関する基礎的知識を理解し、被災者特性に応じた災害看護の展開について学ぶ。また、災害が人々の生活や精神健康に及ぼす影響とケアについて学ぶ。	看護学類学生に限る 実務経験教員 対面
HC40051	国際看護学	1	1.0	2	春AB	月1	柴山 大賀	グローバルで持続可能な社会の実現に向けて、国内外や国境を越えて広がる病いや健康課題について学び、看護の果たす役割を考える。	実務経験教員 対面
HC40061	研究方法概論	1	2.0	3	春AB	木3,4	目 麻里子,トゴバタラ ガンチメゲ,菅谷 智一,岡山 久代,阿部 吉樹,柴山 大賀,伊藤 智子,落合 亮太,白谷 佳恵	看護学的視点から研究についての概説と研究の手法,学術論文の構成,評価および倫理的な進め方について学ぶ。	看護学類学生に限る 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
HC40072	応用看護学演習I(OSCE)	2	1.0	3	春C	集中	菅谷智一,橋爪祐美,秋山直美,阿部吉樹,井坂ゆかり,工藤理恵,大川加奈,山下美智代,ほか看護学類教員	臨地実習開始前の段階における知識・技能・態度と基本的な看護技術の修得状況を確認する。客観的臨床能力試験(OSCE)では臨床的な状況で求められる情報収集力と分析力および判断力と、それを適切な態度で実践する技能の達成度について評価する。	実務経験教員 対面 看護学類学生に限る 日程等詳細は後日通知
HC40082	応用看護学演習II(IBT)	2	1.0	4	秋ABC	随時	菅谷智一,橋爪祐美,秋山直美,阿部吉樹,井坂ゆかり,工藤理恵,大川加奈,山下美智代,ほか看護学類教員	専門的看護実践の基礎的な知識獲得の達成度について、看護学類の教育理念と目標に基づいて評価するために行われる。過去の看護師国家試験の問題を対象として、知識の獲得の度合いを測定する。	看護学類生に限る 実務経験教員 対面(オンライン併用型) 日程等詳細は後日通知
HC40092	看護学探究演習	2	6.0	4	通年	随時	看護学類全教員	1~3年次に学習した看護学の理論・方法論、看護実践における看護の機能、各専門領域における課題、看護研究における倫理的側面等について理解を深め、教員の指導の下自らの看護課題を設定・探究し、各自の学習の成果を発表する。	看護学類生に限る 2021年度以前入学者用 2022年度以降入学者はHC40122を履修登録すること 実務経験教員 対面
HC40112	医療チーム連携演習	2	1.0	4	秋B	集中	安梅勅江ほか看護学類教員	チュートリアルの学習方法で、オリエンテーション・コアタイム・グループワーク・自己学習・全体討論で構成する。グループで専門領域事例の中から1事例を検討する。 ケア、多職種連携、エンパワメントを踏まえた多角的な生活者支援の視点を学習する。	看護学類学生に限る 実務経験教員 対面(オンライン併用型) 日程等詳細は後日通知

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
HC40121	看護学探究概説	1	2.0	2	春季休業中	集中	岡山 久代 他看護学類教員	看護学の専門領域についてこれまでに学習した看護学の理論、方法論を活用し、様々な看護の場、または様々な健康のレベルにある対象者を理解し、看護の専門性を追求する。これまでの学習してきたことを統合して自己の看護に対する考えを深める。	看護学類生に限る 2022年度以降入学者用 実務経験教員 対面 日程等詳細は後日通知
HC40122	看護学探究演習	2	4.0	4	通年	随時	看護学類全教員		看護学類学生に限る 2022年度以降入学生用 実務経験教員 対面
HC41001	公衆衛生看護活動論	1	2.0	3	春C	月5,6 水5,6	白谷 佳恵,井坂 ゆかり,山下 美智代	地域住民の健康づくりや疾病予防活動を中心に、公衆衛生看護活動の展開技術、個人・家族・集団・地域への支援方法、対象別公衆衛生看護活動について学習し公衆衛生看護活動の基本を理解する。	看護学類保健師選択学生に限る 実務経験教員 対面
HC41003	公衆衛生看護学実習	3	3.0	4	春ABC	集中	井坂 ゆかり,白谷 佳恵	茨城県内の保健所および市町村保健センターでの実習を通して、保健所および保健センターの機能、公衆衛生看護の担い手である保健師の役割を学ぶとともに保健師に必要な技法等を習得させる。	看護学類保健師選択学生に限る 実務経験教員 対面 日程等詳細は後日通知
HC41031	公衆衛生看護活動方法論	1	4.0	4	春A	集中	白谷 佳恵,井坂 ゆかり	地域で生活している個人および集団、コミュニティの健康を護り、支援する公衆衛生看護活動方法について教授する。公衆衛生看護活動過程、個および集団へのアプローチ方法としての活動手段の理論、技法等を実践的教育方法にて授業する。地域診断方法、地域保健活動計画の策定方法、家庭訪問、健康相談、健康教育の活動方法の各技法等を習得させる。	看護学類保健師選択学生に限る 4/14-17,4/20-23 実務経験教員 対面 日程等詳細は後日通知
HC41052	公衆衛生看護学応用論	2	4.0	4	通年	随時	井坂 ゆかり,白谷 佳恵		看護学類保健師選択学生に限る 2022年度以降入学生用 実務経験教員 対面
HC41061	公衆衛生看護管理論	1	2.0	4	秋B	集中	白谷 佳恵,井坂 ゆかり	公衆衛生看護管理の理念と目的、公衆衛生看護管理の仕組み、公衆衛生看護管理の具体的な対象である、組織・人材、社会資源管理、情報管理、予算管理、事業評価そしてリスクマネジメントおよび健康危機管理等の現状と方法について教授する	看護学類保健師選択学生に限る 11/5,11/10,11/12,11/17,11/19,12/1,12/3 実務経験教員 対面
HC42001	養護概説	1	1.0	3	春BC	集中	落合亮太,非常勤講師,増田 有葉	複雑多様化した児童生徒の健康の実態を通して養護教諭の行う学校保健活動を理解するとともに、児童生徒のヘルスプロモーションにおける養護教諭の役割について学習する。さらに児童生徒の発達課題に応じた養護教諭の健康支援の実際について学習する。	養護教諭課程選択履修生に限る 実務経験教員 対面
HC90002	国際ヘルスケア演習	2	4.0	4	春ABC	随時	安梅 勅江	グローバルな視点から、特定の国や地域における健康問題をその背景とともに理解する。また、それぞれに対するヘルスケアの役割と実践活動を探究する。	2021年10月以降入学者用 Japan-Expert(学士)プログラム・ヘルスケアコース生対象 実務経験教員 対面
HC90003	ヘルスケア実習I(介護施設)	3	4.0	3				介護施設でのケア利用者とその家族の背景と健康問題を理解しながら、利用者中心で、利用者の尊厳を重んじた利用者に優しいヘルスケアの実践を学ぶ。	Japan-Expert(学士)プログラム・ヘルスケアコース生対象 西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面 日程等詳細は後日通知
HC90011	国際ヘルスケア概論	1	1.0	3	春B	集中	安梅 勅江,トゴバタラ ガンチメゲ,柴山 大賀	グローバルな視点でヘルスケアの政策を実践する上で活用できる基礎的知識を教授する。	Japan-Expert(学士)プログラム・ヘルスケアコース生対象 実務経験教員 対面
HC90012	国際ヘルスケア演習	2	6.0	4	春ABC	随時	安梅 勅江	グローバルな視点から、特定の国や地域における健康問題をその背景とともに理解する。また、それぞれに対するヘルスケアの役割と実践活動を探究する。	Japan-Expert(学士)プログラム・ヘルスケアコース生対象 実務経験教員 対面
HC90013	ヘルスケア実習II(医療施設)	3	4.0	4	春BC	集中	トゴバタラ ガンチメゲ,落合 亮太,増田 有葉	医療施設でのケア利用者とその家族の背景と健康問題を理解しながら、利用者中心で、利用者の尊厳を重んじた利用者に優しいヘルスケアの実践を学ぶ。	Japan-Expert(学士)プログラム・ヘルスケアコース生対象 実務経験教員 対面 日程等詳細は後日通知

開設母体　　要件
医療科学類

医療科学

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
HE13001	医療科学キャリアセミナー	1	1.0	2	通年	随時	牛島 由理,三好 浩稔	医療科学類生としてのキャリアをイメージするために、在学期間中や卒業後の進路に関する情報が得られるセミナーなどに参加し、将来像について考察する。 これらの機会を通して、希望職種に関する情報を積極的に取り込むとともに、いつまでにどのような行動や能力が求められるのかを把握することで、自分が考える将来に向けての一助とする。	通年、随時実施する。 形式:演習。 対面(オンライン併用型)
HE13011	科学実験の基礎	1	1.0	2	春A	火3,4	蕨 栄治,渡邊 幸秀	講義と演習を通し、試薬、実験機器、実験動物の取り扱い、実験廃液処理のルールに関する基本的知識、手技を習得する。また、実験に必要な細かい観察力・注意力を養う。	医療科学類2年次生に限る。 対面
HE20013	人体構造学実習	3	1.0	2	春C	集中	佐々木 哲也,岩田 卓,吉原 雅大,森川 桃,藤野 三法	正常なヒトの組織標本を顕微鏡を用いて観察し、人体を構成する器官がいかなる組織から作られているかを理解するとともに、それらの組織を構成する細胞の種類と特徴を理解する。さらに実習の最後に、ご遺体を観察することにより肉眼レベルでの人体の構造を確認する。	医療科学類学生に限る。実務経験教員、対面(オンライン併用型) 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
HE20033	人体機能学実習	3	1.0	2	秋B	集中	小金澤 禎史,山田 洋,櫻井 武,國松 淳,征矢 晋吾,高橋 徹	人体の生理機能を実際に計測することにより、人体の機能及びそのメカニズムについての理解を深める。	対面
HE20053	生化学実習	3	1.0	2	春BC	集中	久武 幸司,福田 綾,西村 健	糖質、脂質、蛋白質、核酸、酵素などの生体物質を臓器より実際に抽出、精製し、それらの性質を調べて生体物質の役割を理解する。また生体物質の解析方法の基本操作やその問題点の把握、解析に必要な基本的な考え方などを教授する。	医療科学類学生に限る。 詳細後日周知 対面(オンライン併用型)
HE20142	イメージング総論	2	1.0	2・3	春C夏季休業中	集中	田中 佐代子,大庭 良介,藏滿 司夢,八木 勇治,小林 麻己人,岡﨑 実那子	サイエンスを視覚的・効果的に表現することを目的とする。グループ別に課題が出題され、最終的にイラスト作品1点を提出する。	人数制限あり(25名)。 YBL5302と同一。 オンライン(同時双方向型)
HE21001	医学史	1	1.0	1	秋AB	月2	三木 春香,森川 一也,高橋 智,磯辺 智範,松原 大祐,鈴木 裕之,関根 郁夫,菅野 幸子,市川 政雄,藤井 猛雄	歴史は現代と未来の礎である。医療史では、医療が発展してきた時代背景を理解し、それに寄与した顕著な人物の功績を辿りながら、医療の体系と展望を各分野からの視点で紹介する。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
HE21021	微生物学	1	2.0	2	春AB	水1,2	森川 一也,川口 敦史,加藤 広介,牛島 由理,福重 瑞穂,宮腰 昌利,阿部 吉樹	細菌、ウイルス、真菌、寄生虫などの微生物についてその違いを解説し、細胞の構造、代謝生理、遺伝や変異などの生物学的な特徴を理解させる。また、自然界には有用微生物と有害微生物があり、ヒト及び環境において微生物が及ぼす影響を理解させる。	対面(オンライン併用型)
HE21033	微生物学実習	3	1.0	2	春B	集中	森川 一也,牛島 由理	細菌、真菌などの微生物の生物学的特徴について学び、無菌操作法、培養法、染色法を中心に微生物を取り扱うための基本手技を教授し、光学顕微鏡による観察に習熟させる。	医療科学類学生用。記載している実施日程以外の授業日は担当教員より指示する。 詳細後日周知 対面
HE21041	基礎医学総論	1	2.0	2	春A 春B	水3,4 金3,4	大石 陽,水谷 英二,渋谷 和子,大根田 修,野口 恵美子,森川 一也,大林 典彦,ホー キョン,三好 浩稔,高橋 智,櫻井 武,入江 賢児,武井 陽介,小金澤 禎史,桝 正幸,村谷 匡史,川口 敦史,柳沢 裕美,柳沢 正史,水野 聖哉,小林 麻己人,松原 大祐,ラザルス ミハエル,蕨 栄治,川﨑 綾,坂口 昌徳,大庭 良介,岩田 卓,小原 直,牛島 由理,沖田 結花里	人体の生理機能の正常と異常の違いから説き起こし,病気がおこる原因を感染,免疫,遺伝,薬理などの基礎的側面から教授する。ヒトを疾病から守り,健康を増進させるという医学の最も基本となる概念のその基礎から解説する。	オンライン(オンデマンド型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
HE21051	医療・生命科学とテクノロジー	1	1.0	1	春BC	金3	磯辺 智範,渋谷 和子,川口 敦史,榮 武二,野口 恵美子,西村 健,森川 一也,三好 浩稔,大林 典彦,柴綾	科学は多くのテクノロジーの発達とともに発展してきており、医療も例外ではない。医療分野では、目で見えないものを可視化する、生体の機能や情報を明らかにする、あるいは失われた身体の機能を回復するためのテクノロジーが駆使されている。そこで、この科目ではテクノロジーに焦点をあて、それらが明らかにしてきた生命の姿や病態、および最新の診断・治療技術への繋がりについて解説する。	専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
HE21061	微生物学A	1	2.0	1	春A	集中	森川 一也,川口 敦史,加藤 広介,牛島 由理,福重 瑞穂,宮腰 昌利,阿部 吉樹	細菌、ウイルス、真菌などの微生物についてその違いを解説し、細胞の構造、代謝生理、遺伝や変異などの生物学的な特徴を理解させる。また、自然界には有用微生物と有害微生物があり、ヒト及び環境において微生物が及ぼす影響を理解させる。	オンライン(オンデマンド型)
HE21101	生命倫理学	1	1.0	3・4	秋C	月2,3	小原 直,會田 雄一	遺伝子診断、遺伝子治療,臓器移植、人工臓器、体外受精、緩和医療など現在の医療は個人の尊厳、プライバシーの保護、脳死判定など多くの倫理問題を含んでいる。現代医療が直面する生命倫理問題を学習する。医の倫理委員会(ヒトを対象とする研究)審査申請にかかる実務を模擬演習する。	実務経験教員 オンライン(オンデマンド型) 「CDP(学問と社会)」
HE22001	保健衛生論	1	2.0	2	春A	火1,2 木3,4	村木 功,市川 政雄,澤田 典絵,野田 愛,新開 泰弘,森田 展彰,菅野 幸子,山海 知子	公衆衛生学の基礎的事項を学び,今日における公衆衛生上の課題を捉える方法論としての疫学的アプローチを紹介する。	対面(オンライン併用型)
HE22011	医療法制	1	1.0	3	春AB	金1	伊藤 智子,森田 展彰,近藤 正英,堀 愛,笹原 信一朗,菅野 幸子,井坂 ゆかり,木原 朋未	保健・医療・福祉に関わる関係法規について、その制定の趣旨や内容の理解を深めることを目的とし、医療関係職種として備えるべき基礎的な知識について、専門家として関わっている各分野の教員が教授する。	医療科学類学生に限る HC22231と同一。 実務経験教員 対面
HE22021	計量生物学	1	1.0	3	秋C	金1,2	伊藤 智子,丸尾 和司,村木 功	統計学の考え方の基礎並びに医療や医学研究で得られた実験・観察データを解析する種々の方法を学び、実際の臨床研究、疫学研究への応用事例から医療統計学への理解を深める。	実務経験教員 対面
HE22031	実践英語(TOEFL対策)	1	1.0	2	春AB	木2	コスミン ミハイル フロレスク	TOEFL ITPの得点力向上に役立つリスニングのトレーニングを行う。さらに、コミュニケーションスキルや英語一般の理解力の向上も目指す。	医療科学類学生に限る。授業資料をmanabaで配付。 英語で授業。 対面
HE22121	医療経済学	1	1.0	2	春C	木1,2	柴山 大賀,近藤 正英	医療サービスの経済学的特殊性およびわが国をはじめ,諸外国の医療制度,医療財源,医療費などの現状と今後の展望について学ぶ。	HC22101と同一。 実務経験教員 対面
HE23021	医用工学	1	1.0	1・2	秋A	火5,6	三好 浩稔	医療分野では、様々な機器を用いて診断・治療が行われる。これらを安全に行うために、生体情報の種類や特徴、代表的な計測機器の原理と使用上の注意点、および安全基準などについて解説する。あわせて、基本的な電気回路についても説明する。	対面
HE23033	医用工学実習	3	1.0	1・2	秋C	火・金5,6	三好 浩稔,大川 敬子	医用電子計測機器の基礎的電子モジュールを組立て諸特性を測定させ、電子機器の動作の理解を深めさせる。また、心電計の周波数特性を測定し、医用機器の特性の理解を深める。接地抵抗や機器の漏れ電流の測定を通して医用安全の確保の仕方を身につけさせる。	医療科学類学生で「医用工学」既履修者に限る。 全て対面で行う。
HE23041	電磁気学I	1	1.0	1・2	春C	金1,2	磯辺 智範,榮 武二,森 祐太郎	電磁気学の基礎を修得するとともに、臨床検査で用いられる機器の動作原理を理解し、電磁気学に関する知見と洞察を深めることを目標とする。	医療科学類学生に限る。 オンライン(オンデマンド型)
HE23053	キャリアデザイン研修	3	1.0	3	通年	随時	蕨 栄治	医療機関・研究施設等での体験 学習(インターンシップ)や各種医学会議への参加を通して、社会が医療科学に求めている役割について考察する。	詳細後日周知 実務経験教員 オンライン(対面併用型) 対面とオンライン(同時双方向とオンデマンド併用)
HE24002	主体性演習	2	2.0	1	通年	随時	野口 恵美子,森戸 直記	自ら目的を設定し、それを達成するために必要な行動を自分で考え、責任をもって行動する。活動予定を担当教員にあらかじめ提出し、危機管理、倫理等の問題がなければ、対象分野、活動地域、内容には制限を設けない。活動内容はレポートおよびプレゼンテーションとしてとりまとめる。このような一連の取り組みをとおして主体的に行動する習慣と自信を身につける。	詳細後日周知 対面(オンライン併用型) 履修登録者には実施方法を指示する。
HE24021	医科学のための英語I	1	2.0	1				医科学関連の論文や文献について担当教員の解説を受けつつ精読し、また、英語でのプレゼンテーションの実例を動画ならびに担当教官による事例で学習する。	4月22日開講中止 2026年度開講せず。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
HE24221	医科学英語論文講読の基礎	1	1.0	2・3	秋AB	金3	福田 綾,船越 祐司	医科学英語の論文(文献)を読むことで医科学の技術や最新情報を得ることは、医療科学分野の学習や研究をするものにとって情報収集の基盤です。将来、自ら医科学研究を計画し推進するに当たって、医科学英語論文の構造を理解しながら、英文で研究成果を発信するための基盤を形成するために、「医科学英語論文の読み方」の基礎を教授する。	日本語と英語で授業(バイリンガル)。医療科学類生に限る。 対面
HE30001	臨床病態学	1	2.0	2	秋AB	集中	三木 春香,小原 直,岡田 浩介,森戸 直記	様々な疾患についての病態生理について詳細に教授する。またそれらの病態と各種臨床検査の成績との関連について解説し,様々な病態において変化する血清酵素などの成分の変動の仕組みを理解させる。患者からもたらされる臨床検査の情報をいかに的確に診断や治療に応用したら良いのか,基本的なものの考え方を十分理解させる。	詳細後日周知 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
HE30021	臨床薬理学	1	1.0	3	春AB	月2	大林 典彦,大石 陽	臨床で用いられるいろいろな薬物について,特有の効果を発現するメカニズムについて学ぶ。薬物の適応症と禁忌について理解させる。これらを通じて生体機能についての理解を深める。	実務経験教員 対面
HE30031	病態検査学	1	3.0	3	秋ABC	集中	岡田 浩介,小原 直,森戸 直記,會田 雄一,前野 哲博,竹越 一博,塩澤 利博,野澤 大輔,村越 伸行,森島 祐子,人見 重美,平谷 太吾,坪井 洋人,小川 良子,土屋 輝一郎,中馬越 清隆,斉木 臣二,井汲 彰,佐藤 晋爾,星 智也,山本 昌良,山﨑 浩,船山 徹	様々な疾患の臨床検査がどのように行われるか,臨床検査データの理解のしかたやそれらのデータから何を読み取るかを各診療科別に解説する。授業は総論と各論からなり,オムニバス方式で行う。	詳細後日周知 実務経験教員 対面(オンライン併用型) 授業スケジュールを参照すること。
HE30033	臨床薬理学実習	3	1.0	3	秋C	月・金4,5	大林 典彦,橋本 幸一,町野 毅,山田 武史,大石 陽	生理活性物質とその作用機序について理解し,薬物の作用機序について,実習を通して学ぶ。また、医薬品開発における臨床試験のプロセス、重要性を、ロールプレイを通して学ぶ。	医療科学類学生に限る。 詳細後日周知 実務経験教員 対面
HE31001	病理組織学	1	2.0	2	秋BC	水2,3	沖田 結花里,加藤 光保,渡邊 幸秀,川西 邦夫	病理学は医学の基盤となる学問である。病理学組織学では、ヒトに起きる様々な病気について、その原因、発症機序と症状との因果関係を論理的に説明できるように学ぶ。総論において病気の本態について学び,各論では臨床的に重要な病気について具体的な例を提示し学習する。同時に医学英語にも親しめるよう、英語の資料を使う。	対面(オンライン併用型) 対面とオンライン(ライブ同時双方向)とオンデマンドを併用する。
HE31013	病理組織学実習	3	2.0	3	春AB	集中	沖田 結花里,柴 綾,村田 佳彦	病気を診断する病理検査学の実習として、生体から採取された組織に,試薬や器具を用いて検査の目的に合わせた適切な標本を作成する技術とその背景論理を身につける。具体的には組織標本、細胞診などの検体材料の取り扱い、固定、包埋、薄切、染色方法、さらに適正な標本とはどういうものであるかについて、病理診断を支援するという立場から説明する。	医療科学類学生に限る。 詳細後日周知 対面(オンライン併用型)
HE31021	細胞検査学	1	2.0	3	春AB	集中	松原 大祐,坂本 規彰,松岡 亮太,水口 剛雄,石井 良征,秋山 梓,河合 瞳,村田 佳彦,當銘 良也,南 優子,近藤 譲,中川 智貴	細胞検査学は,患者に侵襲を与えない病理検査法で,治療効果判定,経過観察,予後の推定などに広く用いられている。細胞検査学では,細胞検査の手法の基本原理,医療への役割を理解し,主要な疾患についてその細胞像を学ぶ。また,実際の標本を用いて,1)正常細胞と病的細胞の違い,2)婦人科領域,呼吸器領域,消化器,尿路系,内分泌臓器,体腔液など,各臓器の主要な疾患について,組織像と対比させながらその細胞像についての理解を促す。細胞検査学の履修には病理組織学を受講しておくことが望ましい。	対面
HE31031	血液検査学	1	2.0	2	秋B 秋C	月2,3 火3,4	小原 直	血液の組成,血液の生理的機能,血球の産生とその調節機構,造血因子および造血微小循環などについて教授する。主要な血液疾患の病態生理とその診断のための血液学的検査法の原理と手法,血球の形態学的検査の原理と手法について教授する。白血病の病理的診断(FAB分類),リンパ腫の病理的診断法を教授する。	実務経験教員 対面(オンライン併用型)
HE31043	血液検査学実習	3	1.0	3	春B	集中	小原 直,會田 雄一	血液検査のうちヘモグロビン濃度,ヘマトクリット,赤血球数,網赤血球数,赤血球指数(恒数),赤血球浸透圧抵抗試験,補体感受性試験,赤血球沈降速度,白血球数,白血球分画,白血球機能,末梢血塗抹標本の作成と血球形態観察の基本的手技を教授する。また,血球に関する特殊検査のうち,アルカリホスファターゼ染色,ペルオキシダーゼ染色,エステラーゼ染色などについて教授する。白血病のFAB分類を教授する。	医療科学類学生に限る。2グループに分けて行うことがある。 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
HE32002	生化学成分検査学	2	3.0	2	春ABC	月3,4	岡田 浩介,森戸 直記,蕨 栄治,會田 雄一,松坂 賢,宮本 崇史,村越 伸行	血清や尿などの検体中の生体成分の生化学分析について基礎的事項から専門的事項にわたって広く講義する。測定法が進歩し,多岐にわたっており,また専門的知識が要求されるようになった現状をふまえ,最新のテクノロジーにいたるまで理解を深めさせる。定量分析法や分離分析法の原理など基礎的検査学から,酵素分析法,自動分析法などについて分かりやすく解説する。また生化学成分検査の生理的・臨床的意義と診断への応用について解説し,検査結果をどのように臨床に活かすかを教授する。	医療科学類学生に限る。 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
HE32013	生化学成分検査学実習	3	2.0	2	秋A 秋BC	月4,5 月4-6	岡田 浩介,森戸 直記,蕨 栄治,會田 雄一	血清の生化学成分検査について,糖質,電解質,蛋白,非蛋白性窒素,脂質,酵素及びホルモンの定量検査についての検査手技を十分修得させる。また,検査結果をどう評価したらよいかの考え方や,病態解析のための検査法の組み立て方,および精度管理について学生自身が計画を立案して問題解決を図れるような実力を涵養する。	医療科学類学生に限る。 実務経験教員 対面
HE32021	凝固・線溶学	1	1.0	3	春A	火2,3	小原 直	血液の凝固・線溶系の生理的機構を教授し,その失調に伴う出血傾向や血栓症に関する基本的検査法について教授する。凝固・線溶系の検査法の原理と手法,血小板の機能検査の原理と手法についても教授する。	医療科学類生に限る。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
HE32051	遺伝子検査学	1	1.0	2	秋A 秋B	火3 月1	野口 恵美子,宮寺 浩子,岩田 裕子,青木 真希子	ヒトや微生物の染色体の全ゲノムの配列が明らかになり,今後これらを利用した医療技術の急速な進展が予想される。そこで,その基本となる組み替えDNA技術の基礎を教授し,病原体の検出法や疾病の遺伝子診断技術,染色体検査について解説する。	HC21151と同一。対面またはオンライン(オンデマンド型) HC21151と同一。 オンライン(オンデマンド型) 対面またはオンライン(オンデマンド型)
HE32053	遺伝子検査学実習	3	1.0	3	春A	集中	野口 恵美子,宮寺 浩子	大腸菌への遺伝子導入法や遺伝子多型の検出法について学ぶ。遺伝子増幅技術による検査法,染色体検査法に習熟させる。	医療科学類学生に限る。実施の詳細な日程・時間は担当教員より指示する。 詳細後日周知 対面(オンライン併用型) 遺伝子組み換え実験を含む。
HE32061	RI検査技術学	1	1.0	2	秋C	金3,4	磯辺 智範,森 祐太郎	本科目では、放射線物理、放射線計測、放射安全管理を中心とした放射線科学の基礎について解説する。さらに、これらの医学応用として、放射性同位元素(radioisotope:RI)を使用した検査(核医学検査)について、放射性医薬品、撮像装置、撮像原理、画像処理、各種核医学検査の実施手技について教授する。	医療科学類生に限る。 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
HE32071	医学物理学概論	1	1.0	2	春A	金3,4	磯辺 智範,榮 武二,森 祐太郎,熊田 博明,押田 夏海	医学物理学は物理工学的な知識と技術を医学に応用する学問である。本科目では、医学への応用に必要な医学物理学に関連して、放射線と放射能、放射線科学(放射線物理、放射線計測、放射線生物、放射線防護)、データ解析など、放射線を中心とした物理工学の基礎について解説する。	医療科学類生に限る。 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
HE32081	法医学概論	1	1.0	2	秋A	月・水2	高橋 遥一郎,菅野 幸子,新村 涼香	法医学は広範囲、ときに複合する分野にわたる社会上の諸問題を解決するために、あらゆる科学を動員する。本授業では、自然科学に基づき研究・開発されてきた方法や技術を社会問題解決に応用する方法を理解する。また、人間の死に臨み、あるいは死体に直面した時、医療者として法や倫理に従った正当かつ適切な対応ができるように、病死、突然死、外因死などを科学的に究明し、正しく判断し行動できる技能や技術の基礎を学ぶ。	対面 医療科学類生に限る。 原則対面(一部の授業でオンラインの可能性あり)
HE33001	病原微生物学	1	2.0	2・3	春AB	水1,2	森川 一也,牛島 由理,福重 瑞穂,尾花 望,人見 重美,船越 祐司,川口 敦史,小倉 由希乃	感染症の原因となる細菌、ウイルス、真菌、寄生虫等について解説し,病原体とは何か,どのような種類があり,人体にどのような影響を及ぼすのかを理解させる。さらに感染症を診断するための検査法について教授する。	臨床検査技師国家試験受験を前提とした講義内容が中心となる。 対面(オンライン併用型) 授業方法については、状況によって変更がある。
HE33041	免疫検査学	1	2.0	2	秋BC	木1,2	渋谷 和子,小田 ちぐさ,リン ユーシェン	免疫系が自己・非自己を識別する仕組みや免疫記憶のメカニズムについて解説し,免疫機構の基礎を理解させる。免疫不全,アレルギー,移植免疫,腫瘍免疫など,広範な領域に広がった現代の免疫学について最新の知見をまじえながら講義する。また,免疫血清検査について基礎となる原理と手技を解説する。	対面
HE33043	病原微生物学実習I	3	1.0	3	秋A	集中	森川 一也,牛島 由理	病原微生物学で学習したことをもとに具体的な方法を学ぶ。病原細菌の性状と同定法,染色法,感受性試験法などの検査方法を身に付けさせる。また病原微生物の無菌操作,滅菌などの取扱い法について習熟させる。	医療科学類生に限る。 一部実務経験教員。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
HE33053	免疫検査学実習	3	1.0	3	春A	集中	渋谷 和子,小田 ちぐさ,三木 春香,リン ユーシェン	種々の免疫学検査方法の原理を教授し、基本手技を習熟させる。	医療科学類学生に限る。記載している実施日程以外の授業日は担当教員より指示する。 詳細後日周知 対面
HE33061	輸血学	1	1.0	3	春C	集中	大根田 修,山下 年晴	輸血の歴史は長く,輸血が臓器移植の1つであるという認識は最近のものである。輸血の歴史について明らかにするとともに,臨床輸血学の基礎知識を教授し,輸血にかかわる検査法の理論と意義について詳しく解説する。	詳細後日周知 オンライン(オンデマンド型) 基本は対面で実施するが,状況によりオンラインに変更。
HE33063	病原微生物学実習II	3	1.0	3	秋A	集中	川口 敦史,森川 一也,船越 祐司,加藤 広介,小倉 由希乃	ウイルスの血清診断(HA,HI法),インフルエンザウイルスの増殖と力価測定などを実際に行い,ウイルスの検出,同定のための基礎的手技を身に付けさせる。また寄生虫の同定のための基礎的手技についても学習する。	医療科学類学生に限る。 詳細後日周知 対面
HE33073	輸血学実習	3	1.0	3	春C	集中	福田 慎一,大根田 修,山下 年晴	輸血に関係する検査法(血液型判定,交差適合試験等)に習熟させる。これらは臨床で最も高頻度に行われる検査の領域のひとつであり,不適切な処理により重大な医療事故につながりやすい危険性をはらんでいる。検査に携わる医療人としての心構えを涵養すると共に,検査手技を十分身につけ臨床に応用できるよう指導する。	医療科学類学生に限る。 詳細後日周知 対面
HE34001	生理機能検査学	1	4.0	3	春ABC	集中	森戸 直記,小原 直,岡田 浩介,町野 智子,石津 智子,中馬越 清隆,田中 秀峰,松本 信,廣瀬 由紀,藤井 慶太郎,北澤 晴奈,増子 裕典,際本 拓未,増田 洋亮,鶴淵 隆夫,早川 幹人,石川 栄一,柳沢 正史,三木 春香,伊藤 嘉朗,足立 将大	生理機能検査(循環機能検査,呼吸機能検査,脳波検査,平衡機能検査,経皮的ガス分圧測定,睡眠時無呼吸の検査など)について,その基礎となる生理学的事項から説き起こし,検査の基本手技と臨床的意義,結果の評価法について教授する。	詳細後日周知 実務経験教員 対面 日程は授業カレンダーで確認すること。
HE34004	神経科学特論	4	1.0	3・4	秋C	火1 水3	櫻井 武,平野 有沙,征矢 晋吾,齊藤 夕貴,高橋 徹	神経科学の基礎と基礎的な実験手法を包括的に学ぶ	対面
HE34013	生理機能検査学実習	3	2.0	3	秋ABC	集中	三木 春香,沖田 結花里,牛島 由理,押田 夏海	循環器機能検査(心電図検査,心音図検査,脈波検査),呼吸器機能検査(換気機能検査,代謝機能検査,心肺運動負荷試験),神経機能検査(脳波検査,誘発反応検査,重心動揺検査)等,臨床の場で実際に行われている生理機能検査を実施する。各生理機能検査の臨床的意義とその評価法を習得する。	医療科学類学生に限る。 11/20,24,30,12/3,4,11,14,17,18,21-24,1/6 実務経験教員 対面
HE34035	画像検査学	5	3.0	3	春ABC	集中	磯辺 智範,町野 智子,森 祐太郎,髙田 健太,押田 夏海	講義と実習を組合わせて実施する。講義では、医療現場で用いられる画像検査について超音波検査とMR検査を中心に、検査の特性、原理、撮像技術、画像解剖について解説する。実習では、超音波検査、MR検査の特性、原理、撮像技術について実際に撮像を行いながら(動画の利用等を含む)学ぶ。また、サーベイメータを用いた実習を通して放射線の基本特性を学び、放射線画像の成り立ちを理解する。さらに、ワークステーションを用いて3次元画像を作成する実習を通して人体解剖を理解し、正常画像と疾患画像を比較して読影法について学ぶ。	医療科学類生に限る。 詳細後日周知 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型) 4/14-
HE34101	先端脳科学	1	1.0	3・4	春AB	金2	小金澤 禎史,山田 洋,國松 淳,征矢 晋吾,平野 有沙	細胞間の情報伝達の二大調節機構の一つである神経系の基礎知識を解説し、具体例を挙げて脊椎動物の脳神経系の機能、情報処理機構、統合機能について最新の知見を織り交ぜながら解説する。	対面
HE34131	ゲノム医科学	1	1.0	3	春A	木2,3	川﨑 綾,福島 紘子,宮本 崇史,土屋 尚之	「遺伝子検査学」で学習した人類遺伝学・ヒトゲノム解析の考え方・手法に基づく近年のヒトゲノム多様性解析の成果、その疾患研究や医療への応用の現状と将来への展望を、特にリウマチ・膠原病、がん、代謝疾患に関する最新の研究成果を題材に講義する。	対面 資料配布をmanabaで行う。一部変則日程あり。
HE35002	生体機能診断ワークショップ	2	1.0	3	春季休業中	集中	會田 雄一,三木 春香	将来、医療チームの一員として臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士の役割を果たすべく、国家資格を取得する前の学生の間に「患者さんの生体機能情報をいかに診断し治療・ケアに反映させるか」という課題を、異なる専門領域のメンバーとともに解決することを体験する。	医療科学類学生に限る。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
HE35011	検査情報管理学	1	1.0	3	春BC	月1	會田 雄一,岡田 浩介	あらかじめ配布した患者データを判読し、どのような機序で異常値となり、どのような病態、疾患が考えられるか、また、除外診断、確定診断にはどのような検査を行うべきかを‘対話形式の授業’を通して考察し、検査情報を解釈し活用する能力を涵養する。	医療科学類学生に限る。 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
HE35021	医療情報管理学	1	1.0	4	春BC	火3	森戸 直記,大川 敬子,和田 哲郎,橋本 幸一,村谷 匡史,石井 亮太,山田 武史,野口 裕史,土岐 浩介,讃岐 勝,村木 功	医療機関における患者の診療情報の取り扱い、応招義務と守秘義務、インフォームドコンセント、医療情報システムの基盤とITの活用、臨床研究、地域医療や感染症予防における情報提供のあり方などについて教授する。	実務経験教員 対面(オンライン併用型)
HE35041	医学検査学フロンティア	1	2.0	4	秋A 秋BC	随時	磯辺 智範,會田 雄一,森川 一也,大根田 修,小原 直,渋谷 和子,岡田 浩介,森戸 直記,三好 浩稔,福重 瑞穂,沖田 結花里 會田 雄一,磯辺 智範,森川 一也,大根田 修,小原 直,渋谷 和子,岡田 浩介,森戸 直記,三好 浩稔,福重 瑞穂,沖田 結花里	臨床検査学における学問と技術の進歩の最前線とポイントを解説する。また、本科目は4学年を通しての総括的な講義でもあり、臨床検査全般の知識を整理する。	医療科学類学生に限る。 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
HE35051	多職種連携医療学概論	1	1.0	1 - 4	夏季休業中	集中		臨床検査技師をはじめとするメディカルスタッフが臨床の現場において、チームを形成して有効な医療を提供するには多くの専門職と連携して、専門的な技術と知識を結集する必要がある。臨床検査学、診療放射線技術学、理学療法学の基本的な知識を概説し、多職種の連携の意義について講義する。	2024年度入学者までが対象。 実務経験教員 対面
HE35053	医学検査学実習	3	1.0	2	秋BC	木3,4	森戸 直記,岡田 浩介,會田 雄一	尿や血清、髄液、穿刺液などについての検査法及び基本分析法を実際に行わせ、十分検査手技に習熟させる。結果の解釈や問題点の抽出ができる能力を養成する。	医療科学類学生に限る。 実務経験教員 対面
HE35061	医学検査学	1	1.0	2	春BC	月1	森戸 直記,會田 雄一,岡田 浩介,横山 千恵	血液をはじめとする体液、とくに尿・糞便等に含まれる種々の成分を分析するための理論と方法を習得し,診断の糸口となるスクリーニング検査法について理解を深める。	医療科学類学生に限る。 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
HE35071	医療科学概論	1	1.0	1	秋AB	金4	三好 浩稔,森川 一也,岡田 浩介,渋谷 和子,安孫子 ユミ,小原 直,森戸 直記	医療の現状を臨床検査医学の視座から俯瞰しながら、医療の進歩および医療が抱える諸問題の解決に不可欠な医療科学的センスを涵養する。また、医療科学を習得した臨床検査技師をはじめとするメディカルメディカルサイエンティストが活躍する場の多様性と醍醐味も教授する。	専門導入科目(事前登録対象) 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
HE35081	検査機器学	1	1.0	2	春BC	月2	會田 雄一,岡田 浩介	臨床検査に用いられる検査機器の原理・機構、性能特性について学習するとともに、その臨床的重要性について理解を深める。	医療科学類生に限る。 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
HE36111	細胞・発生工学	1	1.0	3	春AB	月3	小林 麻己人,三輪 佳宏,柳沢 裕美,水野 聖哉	医学・生物学領域で広く使われている細胞及びモデル動物を用いたバイオテクノロジーの原理と応用について教授する。体作りや細胞分化のしくみを分子レベルで講じた上で、イメージング・再生・創薬・予防医学など最先端の医科学研究を紹介する。全10回。	対面
HE36121	ためになる内分泌代謝学	1	1.0	1 - 4	秋A	水3,4	関谷 元博,松坂 賢,大﨑 芳典,宮本 崇史,岩﨑 仁,會田 雄一,島野 仁	内科学のうち、内分泌代謝学を取り扱う。内分泌については、総論的な内容に加えて、各内分泌臓器の疾患を解説する。代謝については、糖代謝や脂質代謝などの総論的な内容とともに、代謝異常を取り上げる。基礎研究と内科診療にあたる研究医と、基礎医学研究者がコラボする異色の授業である。	対面(オンライン併用型)
HE36151	胚操作・動物実験法(実験動物学)	1	1.0	2・4	春C	水1,2	水野 聖哉,鈴木 颯,鈴木 歩	マウスを用いた生殖工学的手法(体外受精、初期胚操作、多能性幹細胞)と発生工学的手法(遺伝子改変操作、キメラマウス作製)について最新技術をまじえ教授する。	対面
HE36161	ためになる血液学	1	1.0	1・2	秋C	月1,2	坂田(柳元) 麻実子,錦井 秀和,栗田 尚樹,加藤 貴康,坂本 竜弘,長谷川 雄一,萩原 將太郎,服部 圭一朗,末原 泰人,安部 佳亮	血液は酸素運搬・免疫・止血など生体にとって極めて重要な役割を担っている。本授業では、血液細胞の正常機能および血液疾患には具体的にどのような疾患があるのかを理解する。そして、それらの病態や発症機序について学び、説明できるようになる。また、クローン性増殖についての概念を会得し、説明できるようになる。関連した検査・治療や合併症についても学ぶ。	対面
HE36191	バイオインフォマティクス	1	1.0	3・4	春C	金3,4	土屋 貴穂,尾崎 遼	生命現象をデジタル化する大規模計測技術(オミクス計測技術、特に次世代シークエンサー)および情報科学的視点から生命現象を捉えるバイオインフォマティクス(特に大規模データ解析・可視化・解釈の方法論)について理解する。	オンライン(オンデマンド型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
HE36201	自己免疫疾患・アレルギー疾患の病態と臨床	1	1.0	3	春C	水3 金1	松本 功,坪井 洋人,近藤 裕也,浅島 弘充,三木 春香,大山 綾子,安部 沙織,北田 彩子,杉田 稔貴	全身性自己免疫疾患およびアレルギー疾患の病態、臨床症状、血液検査所見、画像検査所見、治療の解説	対面
HE36211	検査医学とスポーツ医学の密接な接点	1	1.0	2	秋A	金5,6	竹越 一博,會田 雄一	検査医学とスポーツ医学の密接な接点を紹介する。	実務経験教員 対面(オンライン併用型)
HE36221	実践的オンラインコンテンツ・ツール活用論	1	1.0	1・2	春A	火5,6	土屋 貴穂,尾崎 遼	複雑化する生命医科学の現場では、自身が取り組む課題や状況変化に応じて、教育課程や現場で教わっていない新たな知識やスキルを習得する必要がある。その際、オンラインのコンテンツやツールの活用は多いに助けになる。今や、インターネット上の動画教材などのオンラインコンテンツの充実により、知識・スキルへのアクセスが容易になった。加えて、ウェブ上で利用が可能なウェブツール・ウェブサーバーやフリーソフトウェアといった「ツール」を活用することで、自らが利用できる技術の幅が広がっている。 この授業では、特にバイオインフォマティクス・データサイエンス・AIの活用を例に、オンラインのツール・コンテンツについての概要や意義を理解するとともに、実践も交えつつ主体的に活用する態度を体得することを目的とする。	英語で授業。 オンライン(オンデマンド型) 日本語および英語で教材が提供され、どちらの言語でも受講できる。
HE37101	医療工学	1	1.0	3・4	春C	月2,3	三好 浩稔	生体情報の計測に用いられる機器や一部の治療機器について、その原理や構造に関する講義を受ける。また、生体の物理的固有性についても理解する。 講義内容に関連して、国家試験で出題された問題を用いて演習することで内容の理解を深めるとともに、問題の傾向を知る。	実務経験教員 対面
HE37141	人工臓器学	1	1.0	3・4	春B	集中	三好 浩稔,大川 敬子,坂本 裕昭,山崎 浩	人工心臓、人工肺、人工腎臓、人工弁などの代表的な人工臓器について、その原理、開発の歴史、臨床応用や問題点について解説する。また、人工臓器を開発するために必要な考え方や、性能の評価法についても教授する。	詳細後日周知 実務経験教員 対面
HE38001	漢方医学のパラダイム	1	1.0	2 - 4	夏季休業中	集中	大庭 良介	漢方医学の身体の捉え方(気血水、五臓六腑、経絡)および理論(陰陽五行説、六気)について解説し、漢方医学の特徴を理解させる。加えて、生薬・方剤について傷寒雑病論に基づいて詳しく解説する。特に、生薬の伝統的な本草学における捉え方、「方剤(生薬の組み合わせ)と証(症状の組み合わせ)」という基本的な漢方薬の使用方法について具体的な方剤を挙げて解説する。傷寒雑病論の六病位に基づく症状の捉え方および対応する方剤の紹介に加え、精神症状や咳や生理といった特定症状の漢方における捉え方と対応する方剤についても解説する。また、気功についても解説する。一連の学習を通じて、漢方医学と西洋医学における心身や病気の捉え方の相違について理解を深めるとともに、相互の橋渡しができる視点を身につける。	自由科目。夏季開講。 8/19-21 詳細後日周知 対面
HE39012	ケア・コロキウム	2	1.0	4	秋B	集中	森戸 直記	疾病や障害を有する人とその家族に対する質の高いケアのあり方について、各専門領域の知識をもつ学生が一堂に会し、事例検討等のグループワークを通して専門職種の理解を深めるとともに、チームワークの意義を学ぶ。加えて、当事者の力を引き出すエンパワメントの方法および効果を体験する。	HB33137, HC38052 と同一。 対面(オンライン併用型)
HE39013	臨床実習	3	8.0	4	秋A 秋B 夏季休業中	集中	三木 春香,磯辺 智範,小原 直	大学病院と関連医療機関での臨地実習を通じて、医療の現場を支える臨床検査技術と医療人としての職業倫理観について習得する。特に、検査システム、検査技術、検査結果の評価、安全管理などを理解するとともに、他の医療職との連携(チーム医療)の重要性を体感し、医療の現場における臨床検査技師の使命について学ぶ。	医療科学主専攻は必修科目、国際医療科学主専攻は選択科目である。日程等の詳細はオリエンテーション時に案内する。 対面
HE39023	卒業研究	3	4.0	4	春ABC秋AB	随時	小原 直	医療科学にかかわる基礎的および応用的な研究を行う。これにより医科学、検査技術学の研究遂行に必要な基礎的技能の修得および問題解決能力の体得を図る。	医療科学類医療科学主専攻学生に限る。 対面
HE39033	臨床実習	3	12.0	4	秋A 秋B 夏季休業中	集中	三木 春香,磯辺 智範,小原 直,押田 夏海	大学病院と関連医療機関での臨地実習を通じて、医療の現場を支える臨床検査技術と医療人としての職業倫理観について習得する。特に、検査システム、検査技術、検査結果の評価、安全管理などを理解するとともに、他の医療職との連携(チーム医療)の重要性を体感し、医療の現場における臨床検査技師の使命について学ぶ。	令和4年度以降入学者用。医療科学主専攻は必修科目、国際医療科学主専攻は選択科目である。日程等の詳細はオリエンテーション時に案内する。 9/7-11,9/14-18,9/21-25,9/28-10/2,10/5-9,10/12-16,10/19-23,10/26-30,11/2-6,11/9-13,11/16-20, 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
HE39505	医療安全管理学	5	2.0	3	秋AB	木1-3	磯辺 智範,小原 直,岡田 浩介,會田 雄一,森 祐太郎,森戸 直記	講義と実習を組合わせて実施する。講義では、患者に安全・安心な医療を提供するため、医療事故の事例とその原因、および対処方法を解説し、医療従事者として事故防止に努めるために必要な知識を身につけさせる。実習では、味覚検査、嗅覚検査、鼻腔・咽頭からの検体採取、肛門からの検体採取、皮膚・爪の検体採取等、臨床検査に関わる専門的手技を中心に、それらを安全に実施するための技術と知識を習得する。	医療科学類生に限る。 実務経験教員 対面(オンライン併用型) 医療科学類生に限る。 講義はオンライン(オンデマンド型)、実習は対面で実施。日程等の詳細はオリエンテーション時に説明する。

国際医療科学

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
HE40011	病原微生物学	1	2.0	3・4	秋AB	応談	森川 一也	This course offers a series of lectures and discussions regarding the molecular mechanisms underlying in bacterial pathogens. Students will learn hot topics and techniques in molecular bacteriology fields.	医療科学類 留学生に限る。 英語で授業。 対面(オンライン併用型) 対面またはオンデマンド
HE40061	医科学専門語学 I	1	3.0	3	秋ABC	集中	坂口 昌徳,高橋 智,濱田 理人,入江 賢児,大林 典彦,川口 敦史,松坂 賢,宮腰 昌利	医科学の基本的考え方、研究手法などについて英語で習得する。	医療科学類国際医療科学主専攻学生に限る。 英語で授業。 詳細後日周知 対面(オンライン併用型) オンライン又は対面。
HE40071	医科学専門語学 II	1	3.0	4	春AB 春C	月・金1 月・木1	小田 ちぐさ,渡邊 幸秀,沖田 結花里,村谷 匡史,ヴォン キャットカン,榮 武二,熊田 博明,水谷 英二,斉藤 毅,坂口 昌徳	医科学の基本的考え方、研究手法などについて英語で習得する。	医療科学類国際医療科学主専攻学生に限る。 英語で授業。 対面(オンライン併用型) オンライン又は対面。
HE40081	医療科学特論I	1	1.0	3	秋AB	水3	ホー キョン	医科学の各専門領域に関する主体的な学習、討論を通して医科学研究の理解を深める。	医療科学類国際医療科学主専攻学生に限る。 英語で授業。 対面(オンライン併用型) 対面及びオンデマンドでの授業。
HE40091	医療科学特論II	1	1.0	4	春BC	火4	ホー キョン	医科学の各専門領域に関する主体的な学習、討論を通して医科学研究の理解を深める。	医療科学類国際医療科学主専攻学生に限る。 英語で授業。 対面
HE40102	医科学演習	2	1.0	3	秋BC	随時	小原 直	医科学に関する演習課題について主体的に調査、解答を行い、医科学の理解をさらに深める。	医療科学類国際医療科学主専攻学生に限る。 英語で授業。 対面
HE40112	研究演習	2	2.0	3	秋BC	随時	小原 直	指導教員の指導のもとにテーマを設定して研究を行う。これにより医科学研究遂行に必要な基礎的技能の修得および問題解決能力の体得を図る。	医療科学類国際医療科学主専攻学生に限る。 英語で授業。 対面
HE40113	卒業研究	3	8.0	4	春ABC秋AB	随時	小原 直	指導教員の指導のもとにテーマを設定して研究を行う。これにより医科学研究遂行に必要な基礎的技能の修得および問題解決能力の体得を図る。	医療科学類国際医療科学主専攻学生に限る。 英語で授業。 対面
HE40131	血液検査学	1	2.0	3	秋ABC	随時	小原 直	血液の組成、血液の生理的機能、血球の産生とその調節機構、造血因子および造血微小循環などについて教授する。主要な血液疾患の病態生理とその診断のための血液学的検査法の原理と手法、血球の形態学的検査の原理と手法について教授する。白血病の病理的診断(FAB分類)、リンパ腫の病理的診断法を教授する。	国際医療科学主専攻G30コース学生向け。 実施時間に制限があるため、原則オンラインで行う。 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型)
HE40141	凝固・線溶学	1	1.0	3	秋ABC	随時	小原 直	血液の凝固・線溶液系の生理的機構を教授し、その失調に伴う出血傾向や血栓症に関する基本的検査法について教授する。凝固・線溶系の検査法の原理と手法、血小板の機能検査の原理と手法について教授する。	実施時間に制限があるため、原則オンラインで行う。国際医療科学主専攻G30コース学生向け。 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型)
HE40151	臨床病態学	1	2.0	3	秋AB	応談		様々な疾患についての病態生理について詳細に教授する。またそれらの病態と各種臨床検査の成績との関連について解説し、様々な病態において変化する血液酵素などの成分の変動の仕組みを理解させる。患者からもたらされる臨床検査の情報をいかに的確に診断や治療に応用したら良いのか、基本的なものの考え方を十分理解させる。	Students should obtain permission of the instructor before taking this course. This courses will not be provided in 2024. Lecture is conducted in English. 英語で授業。 2022年度入学者までが対象。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
HE40161	血管生物学のトピックス	1	1.0	3・4	秋AB	集中	柳沢 裕美,木村 健一,石井 柳太郎,エルナ ラジャ,浅野 恵一	To provide basic knowledge and understanding of vascular biology, ranging from normal vascular development and physiology to molecular mechanisms of vascular diseases, as well as novel diagnostic and therapeutic approaches. The course aims to solicit active participation of students in lectures and journal clubs.	原則英語、場合によっては日本語でも授業。 英語で授業。 詳細後日周知 対面
HE40201	免疫検査学	1	2.0	3・4	通年	応談	小田 ちぐさ,渋谷 和子,リン ユーシェン	免疫システムの基本を学ぶとともに、免疫学の最近のトピックスを紹介し、議論する。	国際医療科学主専攻G30コース学生向け。 英語で授業。 英語で授業。
HE40231	臨床薬理学	1	1.0	3	春C	随時	ラザルス ミハエル,大石 陽	Learn the mechanisms of various drugs used in clinical practice and understand the indications and contraindications of drugs. Through these studies, students deepen their understanding of physiological functions in living organisms.	国際医療科学主専攻G30コース学生向け。 英語で授業。 対面
HE40263	医科学演習	3	1.0	3	通年	随時	小原 直	医科学に関する演習課題について主体的に調査、解答を行い、医科学の理解をさらに深める。	国際医療科学主専攻G30コース学生に限る。 英語で授業。 対面
HE40272	研究演習	2	2.0	3	秋BC	随時	小原 直	指導教員の指導のもとにテーマを設定して研究を行う。これにより医科学研究遂行に必要な基礎的技能の修得および問題解決能力の体得を図る。	国際医療科学主専攻G30コース学生に限る。 英語で授業。 対面
HE40273	卒業研究	3	8.0	4	通年	随時	小原 直	指導教員の指導のもとにテーマを設定して研究を行う。これにより医科学研究遂行に必要な基礎的技能の修得および問題解決能力の体得を図る。	国際医療科学主専攻G30コース学生に限る。 英語で授業。 対面
HE41170	国際生命医科学研修	0	1.0	2 - 4	通年	随時	森川 一也	国際学会参加や短期間の調査研究をとおして、海外の担当者あるいは研究者と意見交換し、国際的な研究の動向を把握し、自身のキャリアに活かす。	英語で授業。 対面
HE41175	国際生命医科学	5	1.0	3・4	通年	随時	船越 祐司	海外大学で生命科学・医科学関連領域の講義・実習等科目を履修する。	医療科学類生に限る。 英語で授業。 詳細後日周知 オンライン(同時双方向型) 対面かオンラインかは後日決定する。
HE41181	健幸医科学グループワーク	1	1.0	3	秋C	水1,2	ホー キョン,メイヤーズ トーマス デイヴィッド	英語環境で行う自主的な活動を通して積極的なコミュニケーションの姿勢を身につける。	医療科学類生に限る。 平成31年度以降入学者用。 英語で授業。 対面(オンライン併用型) 対面及びオンデマンドでの授業。
HE41190	国際生命医科学研修II	0	1.0	2 - 4	通年	随時	森川 一也	国際学会参加や短期間の調査研究をとおして、海外の担当者あるいは研究者と意見交換し、国際的な研究の動向を把握し、自身のキャリアに活かす。	医療科学類生に限る。 英語で授業。 対面
HE41200	国際生命医科学研修III	0	1.0	2 - 4	通年	随時	森川 一也	国際学会参加や短期間の調査研究をとおして、海外の担当者あるいは研究者と意見交換し、国際的な研究の動向を把握し、自身のキャリアに活かす。	医療科学類生に限る。 英語で授業。 対面
HE41210	国際生命医科学研修IV	0	1.0	2 - 4	通年	随時	森川 一也	国際学会参加や短期間の調査研究をとおして、海外の担当者あるいは研究者と意見交換し、国際的な研究の動向を把握し、自身のキャリアに活かす。	医療科学類学生に限る。 英語で授業。 対面
HE41215	国際生命医科学II	5	1.0	3・4	通年	随時	船越 祐司	海外大学で関連領域の講義・実習等科目に参加し、現地教授や学生とコミュニケーションを取るなかで国際感覚を身につけつつ、生命科学・医科学関連の専門知識を養う。	医療科学類生に限る。 英語で授業。 オンライン(同時双方向型) 対面かオンラインかは後日決定する。
HE41220	国際生命医科学研修V	0	1.0	2 - 4	通年	随時	森川 一也	国際学会参加や短期間の調査研究をとおして、海外の担当者あるいは研究者と意見交換し、国際的な研究の動向を把握し、自身のキャリアに活かす。	医療科学類生に限る。 英語で授業。 対面
HE41225	国際生命医科学III	5	1.0	3・4	通年	随時	船越 祐司	海外大学で関連領域の講義・実習等科目に参加し、現地教授や学生とコミュニケーションを取るなかで国際感覚を身につけつつ、生命科学・医科学関連の専門知識を養う。	医療科学類生に限る。 英語で授業。 オンライン(同時双方向型) 対面かオンラインかは後日決める。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
HE41241	遺伝子検査学	1	1.0	3	春BC	随時	野口 恵美子,宮寺 浩子,川﨑 綾	Students will learn the basic knowledge of DNA, chromosome and genetics of the diseases through lectures and e-learning. The date of the classes will be announced. The instructor will provide materials (handout, text and e-learning materials) and students are expected to learn the materials prior to the class. At the class, the instructor and students will discuss the contents of the materials provided and students will take short tests.	国際医療科学主専攻G30コース学生向け。 英語で授業。 詳細後日周知 対面

開設母体　　要件

体育専門学群

卒業研究

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W140008	卒業研究	8	6.0	4	通年	随時	齊藤 まゆみ,渡辺 良夫,大藏 倫博	体育専門学群での学習の総決算として、配属された研究室の指導体制の下で一つの研究をまとめる。	卒業予定者は春Aの登録期間中に履修登録を行うこと。

専門語学B(卒業研究領域別)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W140102	専門語学B(英語)	2	2.0	3	春AB秋AB	月3	深澤 浩洋,坂本 拓弥,大林 太朗,田 暁潔,下竹 亮志	体育科学に関する人文・社会学の専門書を講読し,英文の読解力を養う。	必修(体育・スポーツ哲学、体育史・スポーツ人類学、スポーツ社会学)TOEIC IP受験必須 対面
W140112	専門語学B(英語)	2	2.0	3	春AB秋AB	月3	大石 純子,仲澤 眞	体育科学に関する人文・社会学の専門書を講読し,英文の読解力を養う。	必修(武道学、スポーツ産業学)TOEIC IP受験必須 対面
W140122	専門語学B(英語)	2	2.0	3	春AB秋AB	月3	姜 泰安	体育科学に関する人文・社会学の専門書を講読し,英文の読解力を養う。	必修TOEIC IP受験必須 対面
W140132	専門語学B(英語)	2	2.0	3	春AB秋AB	月3	永田 真一,國部 雅大	体育科学に関する人文・社会学の専門書を講読し,英文の読解力を養う。	必修TOEIC IP受験必須 対面
W140142	専門語学B(英語)	2	2.0	3	春AB秋AB	月3	本谷 聡	体育科学や運動学に関する専門書を講読し,英文の読解力を養う。	必修 TOEIC IP受験必須 対面
W140152	専門語学B(英語)	2	2.0	3	春AB秋AB	月3	大山 卞 圭悟,角川 隆明	体育科学や運動学に関する専門書を講読し,英文の読解力を養う。	必修 TOEIC IP受験必須 対面
W140162	専門語学B(英語)	2	2.0	3	春AB秋AB	月3	渡邉 仁,寺山 由美	体育科学や運動学に関する専門書を講読し,英文の読解力を養う。	必修 TOEIC IP受験必須 対面
W140172	専門語学B(英語)	2	2.0	3	春AB秋AB	月3	中西 康己,池田 英治	体育科学や運動学に関する専門書を講読し,英文の読解力を養う。	必修 TOEIC IP受験必須 対面
W140182	専門語学B(英語)	2	2.0	3	春AB秋AB	月3	中山 雅雄,會田 宏,古川 拓生,藤本 元,嶋﨑 達也	体育科学や運動学に関する専門書を講読し,英文の読解力を養う。	必修 TOEIC IP受験必須 対面
W140192	専門語学B(英語)	2	2.0	3	春AB秋AB	月3	川村 卓,奈良 隆章,野中 由紀	体育科学や運動学に関する専門書を講読し,英文の読解力を養う。	必修 TOEIC IP受験必須 対面
W140202	専門語学B(英語)	2	2.0	3	春AB秋AB	月3	岡田 弘隆,有田 祐二	体育科学や運動学に関する専門書を講読し,英文の読解力を養う。	必修 TOEIC IP受験必須 対面
W140212	専門語学B(英語)	2	2.0	3	春AB秋AB	月3	岡本 正洋,麻見 直美,武政 徹	体育科学に関する自然科学の専門書を講読し,英文の読解力を養う。	必修 TOEIC IP受験必須 対面
W140222	専門語学B(英語)	2	2.0	3	春AB秋AB	月3	佐渡 夏紀	体育科学に関する自然科学の英文の専門書を講読し, 英文の読解力を養う。	必修 TOEIC IP受験必須 対面
W140232	専門語学B(英語)	2	2.0	3	春AB秋AB	月3	木塚 朝博,大藏 倫博,小野 誠司,辻 大士,角田 憲治	体育科学に関する自然科学の専門書を講読し,英文の読解力を養う。	必修 TOEIC IP受験必須 対面
W140242	専門語学B(英語)	2	2.0	3	春AB秋AB	月3	中田 由夫,髙橋 英幸,井汲 彰,小﨑 恵生	体育科学に関する自然科学の専門書を講読し,英文の読解力を養う。	必修TOEIC IP受験必須 対面
W140252	専門語学B(英語)	2	2.0	3	春AB秋AB	月3	久野 譜也,片岡 千恵,門間 貴史	体育科学に関する自然科学の専門書を講読し,英文の読解力を養う。	必修TOEIC IP受験必須 対面
W140262	専門語学B(独語)	2	2.0	3	春AB秋AB	月3	中村 剛,新竹 優子	体育科学に関する自然科学の専門書を講読し,独文の読解力を養う。	必修 TOEIC IP受験必須 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W140272	専門語学B(英語)	2	2.0	3	春AB秋AB	月3	平田 浩祐	体育科学に関する自然科学の専門書を講読し,英文の読解力を養う。	必修 TOEIC IP受験必須 対面

分野別専門科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W150011	スポーツ哲学	1	1.0	1	春AB	金4	深澤 浩洋,坂本 拓弥	「スポーツとは何か」をめぐって、その概念について講ずる。スポーツを構造として捉え、その知的契機、身体的契機、感性的契機から論究するとともに、スポーツの関係的な在り方にも言及する。	対面 体育専門学群1年生,4年生及び、教職(保健体育)履修者を優先
W150021	スポーツ倫理学	1	1.0	3	春AB	木1	坂本 拓弥	スポーツをめぐる倫理的諸問題(暴力、ドーピング、差別等)について、スポーツ哲学分野における基本的な論点を学ぶとともに、具体的な事例の考察を通して、受講生自身の実践的な思考を深めていく。	対面
W150041	武道学II	1	1.0	3	秋AB	木2	酒井 利信	武道学Iの内容を踏まえ、武道における技術論、心法論、身心関係論等を、画像・映像を援用しつつ学習する。このことにより世界的な視座から、武道の日本文化としての独自性を理解する。	武道学Iの単位を取得していること。 対面
W150061	現代スポーツ論	1	1.0	3				現代スポーツの特徴と課題について、スポーツと身体文化、スポーツと政治、スポーツと経済、スポーツと多様性といった多面的な視点から考察する。特に、メディア、人種、ジェンダー、ナショナリズム、マイノリティなどをめぐる現代の諸現象とスポーツの関係について、社会学的な視座から議論する。	西暦奇数年度開講。 対面
W150091	メンタルトレーニングの原理と方法	1	1.0	3	春AB	木3	雨宮 怜	競技力向上あるいは実力発揮のための心理スキルトレーニング(メンタルトレーニング)の理論と方法を学ぶ。	対面
W150102	アダプテッド・スポーツ科学	2	1.0	2	秋A	月1,2	齊藤 まゆみ,澤江 幸則,永田 真一	アダプテッド・スポーツに関する基本的な理解と最近の知見について講義をし、実践方法についてアダプテッド・スポーツ実技やグループワークを通して事例的に理解する。	実技を行なうため、受講生が100名を超えた場合は抽選を行う。そのため、秋Aモジュール開始科目の事前登録締切までに履修申請をすること。 対面
W150111	運動学習心理学	1	1.0	3	秋AB	木1	國部 雅大	運動学習における学習者・指導者のための心理技法と理論、および人間の運動制御に関するモデルや原理について講義する。	対面
W150121	スポーツ健康心理学	1	1.0	3				適切な身体活動によるメンタルヘルスの増進と,心身のセルフコントロールによるスポーツパフォーマンスの向上に関して,その理論と実践法を具体的に解説する。	2026年度開講せず。 対面
W150131	スポーツと企業	1	1.0	3	春AB	金5	嵯峨 寿	企業にとってのスポーツやアスリートの価値について、その具体的な内容、訴求方法、市場効果などをユニークな事例を参考にしながら理解を深める。	対面
W150141	レジャー論	1	1.0	3	秋AB	火4	仲澤 眞	レジャーの概念、歴史を総括し、現代社会におけるレジャーの意味を社会の変化の中で考え、これからのライフスタイルとレジャーの機能、スポーツの役割について概説する。	体育専門学群生に限る。 対面
W150151	スポーツ政策学II	1	1.0	2	秋AB	水3	齋藤 健司,成瀬 和弥	スポーツ政策に関する主要な政策課題を取り上げ、それと関連するスポーツ政策学の基礎的理論的な理解を深める。	社会教育主事 対面
W150161	運動観察論	1	1.0	3	秋AB	金3	中村 剛	運動指導は学習者の動きを観察するところから始められる。運動観察を通じて学習者の動きに何を見抜くことができるのかによって、その後の指導の成否が大きく左右される。したがって、運動観察能力を向上させることは指導者を養成する上できわめて重大な課題となる。本講義においては、スポーツ運動学の立場から、運動観察能力とはどのようなもので、それはどのような専門的能力によって支えられているのかということについて概説する。	対面
W150171	スポーツ技術論	1	1.0	3	春AB	火2	新竹 優子	スポーツにおける技術概念およびスポーツ技術の基本問題をスポーツ運動学の立場から概説する。とくに、スポーツの技術を「できる」と密接に関係している身体知の視点から取り上げるとともに、スポーツ技術の現象学的性格について論じる。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W150181	スポーツ戦術論	1	1.0	2	秋C	水1,2	會田 宏	スポーツの実践現場で用いられている戦術理論について学習する。また,コーチや選手の経験から生まれた,勝つための戦い方の実践例を通して,スポーツにおける戦術力の構造について学習する。	体育専門学群2年生以上に限る。 対面
W150191	身体表現論	1	1.0	3	春AB	木2	寺山 由美	多様に広がる身体運動文化の表現について学習する。具体的には,日常的な身体表現,身体表現の中の美的な要素,スポーツやダンスに見られる身体表現などの視点について,文献,VTRを通して理解し,それぞれ関心のある運動種目におけるパフォーマンス向上に活用するための能力を養う。	対面
W150211	動きの解剖学	1	1.0	3	春AB	木3	平田 浩祐	運動器(筋,骨格,神経系)が連携してどのようにして運動を引き起こすのかということを解剖学,生理学,力学の観点から学ぶ.(キーワード:筋,骨,神経)	体育専門学群の解剖学を受講していることを前提に,本授業を実施する.但し,体育専門学群の解剖学を受講していなくても,運動器(骨や筋)の解剖学的な基礎知識を有する場合は受講可とする. 対面
W150221	運動適応生理学	1	1.0	3	秋AB	木1	武政 徹,藤井 直人	運動時や運動トレーニング後に生ずる生理的適応反応について、分子機構(ミクロ)から運動パフォーマンス(マクロ)までの範囲での生理的メカニズムについて概説する。	運動生理学の単位を取得していること 対面
W150231	コンディショニングのスポーツ生化学	1	1.0	3	春AB	金3	岡本 正洋,松井 崇	競技パフォーマンスと健康の維持・増進に有用なスポーツコンディショニングのあり方を、運動時の代謝、内分泌、自律神経活動の応答や適応変化から考察する。	対面
W150241	健康体力マネジメント	1	1.0	3	秋AB	月4	大藏 倫博,辻 大士	中年・高齢期における健康増進(健康づくり、健康支援、介護予防)法に関する諸問題について、また、健康関連体力を向上させるための具体的な健康運動指導法、健康支援法について解説する。	西暦偶数年度開講。 対面
W150251	発育発達学	1	1.0	3	秋AB	木2	角田 憲治,木塚 朝博,中山 紗織,片岡 千恵,田 暁潔,渡邉 仁	誕生から成熟するまでの人体・体力・運動能力の発育発達について理解を深める。また、本邦における体力や運動習慣の経時的推移から、諸外国の社会的・文化的背景を踏まえた発育発達まで広範に学習する。これらの学びを通して、体育・スポーツが子どもの発育発達にどのように貢献できるかを考察する。	対面
W150261	パフォーマンスと体力	1	1.0	3	春AB	金3	小野 誠司,木塚 朝博,鍋倉 賢治	体力学領域の基礎的知識を復習しながら、それらが生活のパフォーマンスに、競技のパフォーマンスに、どのように結びつくのかを解説することによって、各自に必要な体力について見直す力を習得する。	体力学の単位を取得していること。 対面
W150271	運動とスポーツの栄養学(実践)	1	1.0	2	秋AB	金2	麻見 直美,下山 寛之	競技力を高めるための食生活、および健康の維持増進と食生活について学ぶ	240人を越える場合は、運動栄養学I履修済の学生を優先する 対面
W150291	アンチ・ドーピング	1	1.0	3	春AB	金4	渡部 厚一,齋藤 健司,井汲 彰,大林 太朗	スポーツ界の暗部ともいうべきドーピング。わが国は国際的にはドーピング違反は少ないものの,年間数件の陽性がみられる。ドーピングの現状,歴史,注意点などについて解説する。	240名上限体育専門学群生優先 G科目 対面
W150301	スポーツ医学II(内科系)	1	1.0	3	秋AB	月1	渡部 厚一,中田 由夫,小﨑 恵生	スポーツ医学(内科系)の基礎知識を学び、運動・スポーツが疾患・症候の予防・治療・リハビリテーションに果たす役割や競技力向上に関連するコンディショニングについて学習する	対面
W150311	スポーツ医学III(外科系)	1	1.0	3	秋AB	木2	髙橋 英幸,井汲 彰	健康スポーツ及び競技スポーツが引き起こす各外傷・障害について医学的な見地から解説し、その治療の方法・方針や予後そして予防対策について講義する。	対面
W150321	スポーツバイオメカニクスII	1	1.0	3	春AB	火3	佐渡 夏紀,広野 泰子	スポーツ運動をバイオメカニクス的に理解する場合に必要な基礎知識を身につけるとともに,走,跳,投,打をはじめとするスポーツ運動のバイオメカニクスを理解する.	対面
W150331	スポーツ用具の力学とバイオメカニクス	1	1.0	3	春C	集中	小池 関也	スポーツに使用されている各種用具のしくみ,およびスポーツ動作のバイオメカニクス的な特徴について解説する.	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W150361	健康社会学	1	1.0	3	秋AB	木3	門間 貴史	我が国の子供から高齢者まで各ライフステージにおける健康問題の現状、それらと心理・行動・社会環境・保健政策・保健サービスとの関連性について学習する。これにより、健康の社会的決定要因と健康課題の解決に向けた支援策に関する基本知識を習得する。	対面

キャリア支援科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W160041	体育のカリキュラムマネジメント	1	1.0	3				学校における体育的活動(教科体育・体育的行事・運動部活動など)の総合的構造的なカリキュラムデザインの視点を理解し、個別プログラムの系統的なカリキュラム編成の手法を体験的に学習する。	教職「大学が独自に設定する科目」に該当 西暦奇数年度開講。 対面
W160131	体育・スポーツ・健康科学のための統計学	1	1.0	3・4	秋AB	金2	角田 憲治	学校体育分野、コーチング分野、健康科学分野の各分野において、どのようにデータが収集され、統計解析が行われているかを国内外の事例(政府統計や論文等)から広範に学習する。また、ExcelやPythonといった特別なデータ分析環境が整っていない場合でも利用可能なツールを用いて、基本的なデータ整理や統計解析の方法を実践的に学ぶ。プログラミングの実践に際しては、生成AIによる入力支援を積極的に活用しつつ、その留意点を都度解説する。本授業を通して、学群卒業後に、各分野(大学院含む)で実践・応用可能なデータ分析スキルの土台作りを行う。	対面
W160141	コミュニティ・スポーツの経営・政策論	1	1.0	3	秋B	集中	姜 泰安	地域のスポーツ経営施策をめぐる現在の課題を理解するとともに、経営理論を参考にしながら、その解決策や方向性を検討する。	社会教育主事 西暦偶数年度開講。 対面
W160151	体育・スポーツ行政学	1	1.0	3	秋C	金3,4	成瀬 和弥	本授業では、体育・スポーツ行政に関わる組織や制度などその基本構造について学ぶとともに、実際のスポーツ行政課題を取り上げて、その解決に向けてグループワークを実施し、実践的な政策形成能力の養成を目指す。	社会教育主事 対面
W160171	スポーツ法学	1	1.0	3	春AB	火3	齋藤 健司	スポーツに関する基本的な法律、判例、法制度及び法的諸問題を概説し、スポーツ法学の理論及びスポーツ法政策の現状と課題に関する基礎的な理解を深める。	社会教育主事 対面
W160221	運動療法論	1	1.0	3	春A 春B	木1	渡部 厚一,柴田 愛,中田 由夫,小崎 恵生	内科的疾患およびその危険因子を有する生活習慣病保有者の運動処方・運動トレーニング・運動療法について学習する	対面
W160281	スポーツリスクマネジメント論	1	1.0	3	春AB	金1	齋藤 健司	スポーツに関するリスクマネジメントの基礎理論を概説するとともに、実際のスポーツ現場における安全対策、危機管理対策、事故防止策、法的防御策、保険管理及び事件事故とその法的責任論に関する基礎知識の理解を深める。	社会教育主事 対面
W160341	スポーツを通じた開発	1	1.0	2	秋AB	金1	田 暁潔	国際社会では、地球化と地域化の2極化が進展し、国際的な相互依存が深化する世界構造に於いて、産官民学の個別・協働による「摩擦の改善」、「平和な日常」、「持続可能な発展」を目指す様々な取組が続けられている。本講義では、社会構造とスポーツの特性を概観し、スポーツの功罪を把握した上で、安定的な社会構造の構築を目指す「スポーツを通じた開発」の役割について考察する。	G科目 対面 定員:150名
W160352	体育・スポーツにおける英語コミュニケーション演習	2	1.0	4	秋AB	火5	佐藤 貴弘	This course covers the common English terminology associated with research in sport, exercise, and health science. Classes shall rely considerably on group work in providing opportunities for both written and (especially) oral communication.	対面 体育・スポーツ科学の為の英語演習では、国際論文誌の読み方、キーワード探し、研究論文構成、実践的なジャーナル、参考文献の引用方法を学ぶことを目的とする。また英語演習の中でプレゼンテーションする能力を向上させる事を目的とする。講義は英語で行うが希望によっては、日本語で行う場合もある。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W160361	スポーツキャリア形成A	1	1.0	1	秋AB	火5	宮崎 明世,藤井 直人,寺山 由美	体育・スポーツの専門家として社会で活躍するために、どのようなキャリアの選択肢があるか、どのような学習をすればそのキャリアたどり着くのか、を具体的かつ多面的に概説し、将来のキャリアに関心を向けるとともに、体育専門学群での学習内容の位置づけ及び体育・スポーツに関する理論と実践の関連を理解する。	必修体育専門学群生のみ受講可 CDP 対面
W160381	スポーツキャリア形成B	1	1.0	2	秋AB	水2	川村 卓	スポーツ・体育・健康に関する多様な専門領域で活躍している社会人との交流と、具体的な進路の検討および就職への準備を通して、自己と社会に関する理解を深め、自分の将来やキャリアについて実践的に考える。	必修授業の後半は3クラスに分かれる。体育専門学群生のみ受講可 CDP 対面(オンライン併用型)
W160405	介護予防運動の理論と実技	5	1.0	3	秋AB	集中	大藏 倫博	介護予防(要介護化予防)の考え方や介護保険制度について理解を深めるとともに、運動を通じた高齢者への支援の仕方を身につける。	健康運動指導士 対面
W160443	キャリア形成インターンシップA	3	1.5	3	通年	随時	大藏 倫博	有疾病者や高齢者の健康体力水準を高めるためのエクササイズ・プログラムを立案し、それを実際の現場で提供することを目標とする。	健康運動指導士。キャリア形成インターンシップA~Bについて,キャリア支援科目として認定する単位数は1.5単位とし,それ以上取得した単位は自由科目とする。 ・健康運動指導士の資格取得を考えている履修者は大藏倫博先生まで連絡を取り指示を受けて下さい。 対面 学外での実施
W160453	キャリア形成インターンシップB	3	1.5	3	通年	随時	仲澤 眞	民間スポーツ施設やアスレティックリハビリテーション施設の現場を観察したり、マネジメント業務を体験したりしながら、その内容の理解を深める。	・健康運動指導士の資格取得を考えている履修者は大藏倫博先生まで連絡を取り指示を受けて下さい。・キャリア形成インターンシップA~Bについては、キャリア支援科目として認定する単位数は1.5単位となり、それ以上取得した単位は自由科目となります。 対面 学外での実施
W160472	体育授業観察・分析法演習	2	2.0	3	通年	随時	長谷川 悦示,宮崎 明世,三田部 勇,佐藤 貴弘	体育指導現場の参観や補助的参加,指導記録の分析,記録法実習などを通じて,体育指導の実践的理解を深める。	4月のガイダンスに必ず参加すること。 教職「大学が独自に設定する科目」に該当 対面
W160511	スポーツの技術を自然科学から考える	1	1.0	1	秋AB	月1	角田 憲治,麻見 直美,小野 誠司,木塚 朝博,松井 崇,藤井 直人,小池 関也,仙石 泰雄,榎本 靖士,中田 由夫,佐渡 夏紀	ヒトのからだの構造とスポーツの技術,バイオメカニクス,生理学,からだの老化などからスポーツ技術を論じるとともに,スポーツと体力,スポーツと栄養,スポーツ障害などについて考える。	専門導入科目(事前登録対象) 対面 オンライン(オンデマンド型)
W160521	オリンピック・スタディーズ	1	1.0	1	春BC	月2	大林 太朗,宮崎 明世,成瀬 和弥,仙石 泰雄,渡部 厚一,嵯峨 寿,福田 崇,澤江 幸則,深澤 浩洋	オリンピックの理念、歴史、マーケティング、スポンサー、レガシー、文化プログラムなど、競技以外の側面について広く学び、オリンピックの総合的理解をうながす。	専門導入科目(事前登録対象) 対面
W160531	スポーツの技術を人文社会科学から考える	1	1.0	1	春BC	月1	長谷川 悦示,國部 雅大,深澤 浩洋,坂本 拓弥,仲澤 眞,成瀬 和弥,大石 純子,大林 太朗,齊藤 まゆみ,中村 剛	スポーツの技術について,技術とは何か,ドーピングと倫理,スポーツとルール,スポーツの文化史,スポーツの学び方・教え方,スポーツと心理,日本人の技術観など,人文社会学的側面からアプローチする。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W160541	経営者と探究するスポーツビジネス実践論	1	1.0	1・2	秋C	集中	大山 高	「スポーツを仕事にする」の、その先へ。 本講義では、変化の激しいスポーツビジネスの現在地を、業界を牽引するゲストスピーカーとともに探究します。単なる知識の習得にとどまらず、実践現場のリアルな事例から、未来のビジネスを構想する力を養います。 ■この授業で得られる「4つの特別な体験」 1. 業界トップランナーにより、スポーツ企業におけるDX戦略、チームやリーグのブランド戦略、そして商品開発の舞台裏など、最前線の知見を直接学ぶことができます。 2. ゼビオグループ社員と直接議論を交わす機会を設けています。自分のアイデアが現場のプロにどう響くのか、真剣勝負の場で試すことができます。 3. 講義を通じて各講師や企業との関係性を築くことができ、自分自身の将来のキャリアを具体的に考える貴重なきっかけとなります。 4. 事前課題、講義、事後課題を通じて、自ら問いを立て、ブラッシュアップしていくプロセスを重視します。	対面
W160551	体育学探究チュートリアル	1	1.0	1	秋AB	金5	寺山 由美,木塚 朝博,中田 由夫,片岡 千恵,平田 浩祐,大林 太朗,坂本 拓弥,下山 寛之,下竹 亮志,中山 紗織,松尾 博一	大学において自ら探究してみたい学問的な課題を見つけ、その探究の進め方を計画し、また、実際に文献調査や教員への聞き取りなどを行いながら、探究を進めてみることを試みる。それらのためにアドバイスを行うチューター教員が配置され、このような探究への相談や助言が行われる。	【事前登録対象ではない】【定員30名】◆履修希望者は必ず7月15日(水)までに事前アンケートにお答えください。◆TWINSからの履修登録については9月上旬ごろ、アンケート回答者に対してご連絡します。学生側からは履修登録できないのでご注意ください。その他回答方法等の詳細はシラバスで必ず確認してください。 対面
W160561	保健体育指導のための基礎科学	1	1.0	3	春AB	火3	平田 浩祐,藤井 直人,岡本 正洋,松井 崇,佐渡 夏紀,國部 雅大,小野 誠司,木塚 朝博,角田 憲治,麻見 直美,下山 寛之	保健体育教師が体育授業および保健授業を指導するにあたって身に付けておくべき健康や体力に関する専門的知識について講義する。	教職「大学が独自に設定する科目」に該当 対面(オンライン併用型) 保健体育教師を志望する者のみ受講可
W160571	スポーツと教育	1	1.0	2	秋C	水1,2	成瀬 和弥,大林 太朗,宮崎 明世	本授業では、学校体育に関する組織や制度などその構造について多角的に学ぶことにより、教員に求められる実践的な能力の養成を目指す。学校体育における今日の主要な教育課題を取り上げるとともに、学校体育の本質を理解し、実践的な知見を深める。主なテーマとして、学校体育に関わる組織や制度、オリンピック教育の意義や内容、運動部活動の現状と課題を取り上げる。	対面
W160581	保健体育教育論	1	1.0	3	秋AB	月4	長谷川 悦示,三田部 勇,齊藤 まゆみ,澤江 幸則,片岡 千恵	体育科教育、アダプテッド体育、保健科教育の指導に必要な専門的知識およびそれらの教育の考え方・進め方、実際に指導に関わる保健体育教師の役割について講義し、指導方法を事例的に検討する。	教職「大学が独自に設定する科目」に該当 対面
W160591	学校武道教育論	1	1.0	3	秋AB	火3	大石 純子,有田 祐二,岡田 弘隆,増地 克之	武道文化に関する知識を拡充しつつ、武道における教育的契機、武道の教育的意義について考える。	体育専門学群生に限る 対面
W160601	健康スポーツ政策とサクセスフルエイジング	1	1.0	2	秋C	集中	久野 譜也,大藏 倫博,辻 大士	我が国は、これから世界初の超高齢社会に入り、さまざまな社会的課題を突き付けられることになる。これまで、健康施策は、厚生施策の一領域であったが、近年のエビデンスの集積により、国及び地方自体の総合政策として取り組まなければならないほど、重要政策となった。本講義では、トピックを中心に現状を概説する。また、生活機能の観点に加え、身体的、社会文化的、産業政策的側面から、真に健康で快適な人生を送るために必要な方策を体育人の立場から考察する。	健康運動指導士 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W160611	実践的セルフリフレクション(基礎)	1	1.0	1	秋C	集中	藤本 元,松尾 博一,稲垣 和希,中村 剛,藤井 範久,會田 宏,木塚 朝博,谷川 聡,麻見 直美,福田 崇	各自の競技実践あるいは指導実践活動の中で応用可能性のある測定・評価手法を学習するとともに、各自の競技実践あるいは指導実践活動の課題に応じた目標設定、評価、省察を通して能動的に変化を起こすための計画の立案方法を学ぶ。	対面
W160621	実践的セルフリフレクション(応用)	1	1.0	2				各自の競技実践あるいは指導実践活動の中から自身や指導する選手の課題を見つけ、その解決に向けた目標設定、評価、省察を通した能動的な変化のプロセスを通して、その後の選手や指導者としての継続的な資質・能力の向上に資する知識と習慣を学ぶ。	2026年度開講せず。

実技系科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W170011	保健体育科(体力づくり運動)指導法	1	1.0	1	春AB	火1,2	小野 誠司,麻見 直美,下山 寛之,雨宮 怜,木越 清信,谷川 聡,榎本 靖士,仙石 泰雄,大藏 倫博,辻 大士,中田 由夫,平田 浩祐,長谷川 聖修,角田 憲治,竹村 雅裕,井汲 彰	体育専門学群における主体的な問題解決能力を育成するための実習である.9種類の実習をから各自のデータを収集することを通して,PDCAサイクルを活用して,4年間での競技力向上や体格・体力・運動能力の向上方法について考える.	必修 対面
W171012	種目別コーチング演習I	2	1.0	1	秋C	金4,5	コーチング学分野担当教員	本授業は,自分の専門種目の理論を構造的に理解することで,基礎的なコーチング理論の獲得に寄与しようとするものである。具体的には,自分の専門種目のコーチングを支えて基礎づける「理論知」をこれまでの研究成果や事例を通して学修することで,コーチングを展開する上での基礎的基盤の形成を図ろうとするものである。	必修 対面
W171022	種目別コーチング演習II	2	2.0	2	秋AB	金4,5	コーチング学分野担当教員	本授業は,種目ごとに分かれて,専門種目としての実技力のさらなる向上・発展という意図のもとに実施される。	必修,教室は決定後周知 対面
W171032	種目別コーチング演習III	2	2.0	3	秋AB	金4,5	コーチング学分野担当教員	本授業は,種目ごとに分かれて,専門種目としての指導力のさらなる向上・発展のための学修を行う。	教室は決定後周知 対面

卒業研究領域科目【体育・スポーツ学分野】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W180012	体育・スポーツ学共通演習A	2	1.0	3	秋AB	水3	深澤 浩洋,大石 純子	体育・スポーツ学に関連する文献・論文を取り上げ、大意の把握に努めながら読み進めると共に、レジュメの作成方法などについて学習する。	「体育・スポーツ哲学」「体育史・スポーツ人類学」「武道学」「スポーツ社会学」必修 対面
W180022	体育・スポーツ学共通演習B	2	1.0	3	春AB	月2	齋藤 健司,成瀬 和弥	体育・スポーツの経営政策をめぐる現代的課題を取り上げ、経営学、行政学、政策学、産業学の視点からその解決策や方向性について議論する。	「体育・スポーツ経営学」「スポーツ政策学」「スポーツ産業学」必修 対面
W180032	体育・スポーツ学共通演習C	2	1.0	3	秋AB	水3	宮崎 明世,國部 雅大,澤江 幸則	体育科教育学、アダプテッド・スポーツ学並びに体育心理学の基本的概念、研究テーマ並びに研究方法論について理解する。	「体育科教育学」「体育心理学」「アダプテッド体育・スポーツ学」必修 対面
W180042	体育哲学演習I	2	2.0	3	春AB	水2,3	深澤 浩洋,坂本 拓弥	研究方法に関連する基本文献の講読を通し、哲学的研究のための基礎学力、特に問題発見能力を養う。	対面
W180052	体育哲学演習II	2	1.0	3	秋AB	金1	深澤 浩洋,坂本 拓弥	体育哲学に関連する文献を講読し、哲学的研究の実践的能力を養う。また、文献検索・蒐集法や論文作成の方法について理解を深める。	対面
W180062	体育哲学演習III	2	2.0	4	秋AB	金1,2	深澤 浩洋,坂本 拓弥	体育哲学に関する具体的テーマを扱った文献を講読し、ディスカッションを行いながら研究テーマの展開に役立てる。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W180072	体育史・スポーツ人類学演習I	2	2.0	3	春AB	水2,3	田 暁潔,大林 太朗	グローバリゼーションの進展に伴って、国内および国際社会で生起しているスポーツに関わる様々な現象を 「史学」、「人類学」、「開発学」的思考に基づいて考察・研究するために、「体育史」、「スポーツ人類学」ならびに「スポーツ開発学」などの基本文献を購読し、基礎学力を養い、研究方法について学習する。	対面
W180082	体育史・スポーツ人類学演習II	2	1.0	3	秋AB	水4	田 暁潔,大林 太朗	体育史およびスポーツ人類学に関するテーマを設定し、それについての資料の収集とフィールドワークに関する研究方法について学ぶ	対面
W180092	体育史・スポーツ人類学演習III	2	2.0	4	秋AB	木3,4	田 暁潔,大林 太朗	体育史やスポーツ人類学の方法で卒業研究論文を書くための素養を身につける	対面
W180102	武道学演習I	2	2.0	3	春AB	応談	酒井 利信,大石 純子	武道学分野における基本的な文献を読み込み、学問としての武道の全体像を俯瞰する。	対面
W180112	武道学演習II	2	1.0	3	秋AB	応談	酒井 利信,大石 純子	武道学分野における先行研究を読み、問題設定の仕方、方法論等を学習する。	対面
W180122	武道学演習III	2	2.0	4	秋AB	応談	酒井 利信,大石 純子	卒業研究のテーマを設定し、先行研究からとり扱う史料を選定して精読し、自分なりの考えをまとめられるよう学習する。	対面
W180132	スポーツ社会学演習I	2	2.0	3	春AB 秋AB	水3 応談	下竹 亮志,宮澤 優士	社会学、文化研究に関するテキストを用いながら、現代社会におけるスポーツや身体文化の状況を分析する視角を身につける。それとともに、各自の発表や質疑応答を通して、議論する能力を高める。	対面
W180142	スポーツ社会学演習II	2	1.0	3	秋AB	応談	下竹 亮志	スポーツ社会学の基礎理論を学び、具体的な研究テーマの発見につなげていける思考様式を身につける。	対面
W180152	スポーツ社会学演習III	2	2.0	4	秋AB	応談	下竹 亮志	社会学、文化人類学、文化研究に関する研究法を学び、議論する。そのことから現代社会におけるスポーツ、保健体育科教育、学校運動部活動、さらに身体文化を捉える視座を構築する。	対面
W180162	体育・スポーツ経営学演習I	2	2.0	3	春AB	水2,3	姜 泰安	体育・スポーツ経営学をめぐる内外の文献及び資料を購読し、体育・スポーツ経営学理論の理解を深めるとともに、専攻学生の研究課題及び研究方法が確立できるようにする。	「体育・スポーツ経営学」必修 対面
W180172	体育・スポーツ経営学演習II	2	1.0	3	秋AB	水3	姜 泰安	多様なスポーツ経営領域における経営方法論について、内外の文献や資料を参考に討論し、経営課題や解決策について理解を深める。	「体育・スポーツ経営学」必修 対面
W180182	体育・スポーツ経営学演習III	2	2.0	4	秋AB	木2,3	姜 泰安	体育・スポーツ経営学に関する内外の研究資料を参照しながら、経営学研究法について検討する。	「体育・スポーツ経営学」必修 対面
W180192	スポーツ政策学演習I	2	2.0	3	春AB 秋AB	月1 月2	齋藤 健司,成瀬 和弥	スポーツ政策学に関連する基礎文献を購読し、基本的な調査研究方法を学ぶことによって、スポーツ政策学の基礎理論を学び、実践的な能力を養う。	対面
W180202	スポーツ政策学演習II	2	1.0	3	秋C	月4	齋藤 健司,成瀬 和弥	スポーツ政策に関する個別の政策課題や問題を討議し、その解決策や分析・研究方法の理解を深める。	対面
W180212	スポーツ政策学演習III	2	2.0	4	春AB秋AB	月4	齋藤 健司,成瀬 和弥	スポーツ政策学に関する各自の研究課題を設定し、関連する先行研究の検討を通して課題解決のための方法を学ぶ。	体育専門学群生に限る 対面
W180222	スポーツ産業学演習I	2	2.0	3	春AB 秋AB	水3 応談	仲澤 眞,嵯峨 寿	スポーツ産業学研究に必要な理論や実務的な知見について学ぶとともに、当該領域の研究方法論について学習する。	対面
W180232	スポーツ産業学演習II	2	1.0	3	秋AB	木3	仲澤 眞,嵯峨 寿	スポーツ関連産業について、事例をとりあげ具体的にビジネスモデルを学ぶ。学生同士のディスカッションを行い、ディベート力、プレゼンテーション力を養う。	対面
W180242	スポーツ産業学演習III	2	2.0	4	秋AB	木4,5	仲澤 眞,嵯峨 寿	レジャーの本質的価値の理解をもとに、スポーツの産業化が及ぼすスポーツ文化への影響、公共性や公益性に配慮するスポーツ産業のあり方などについて学習する。	対面
W180252	体育科教育学演習I	2	2.0	3	春AB	月1,2	長谷川 悦示,宮崎 明世,佐藤 貴弘	体育科教育学の研究成果並びに研究方法について理解する。	対面
W180262	体育科教育学演習II	2	1.0	3	秋AB	金1	長谷川 悦示,宮崎 明世,佐藤 貴弘	体育科教育学の研究成果を踏まえ、自分が設定したテーマに即して研究のデザイン、データの収集、分析方法について検討する。	対面
W180272	体育科教育学演習III	2	2.0	4	秋AB	木4,5	長谷川 悦示,宮崎 明世,佐藤 貴弘	体育の授業研究を進める際に必要な研究デザイン,情報収集,分析方法並びに解釈の仕方について,先行研究を事例に検討していく。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W180282	体育心理学演習I	2	2.0	3	春AB	月1,2	國部 雅大,雨宮 怜	体育心理学における実験・調査について理解を深め、データ収集、分析、心理的考察の方法を実践的に学ぶ。主な課題として、知覚運動学習、パーソナリティテスト、質問紙調査法の実際を取り上げる。	対面
W180292	体育心理学演習II	2	1.0	3	秋AB	月2	國部 雅大,雨宮 怜	スポーツ心理学に関する英文文献を読んで討論することを通して,専門的な知識と読解力を深めるとともに,心理学的思考を訓練する。	対面
W180302	体育心理学演習III	2	2.0	4	秋AB	木2,3	國部 雅大,雨宮 怜	体育スポーツ心理学における研究計画の設定と実験・調査の実施方法を理解するとともに,心理統計学の理論とデータ解析法を学び,心理学的研究の手法を習得する。	対面
W180312	アダプテッド体育・スポーツ学演習I	2	2.0	3	春AB	月1,2	齊藤 まゆみ,澤江 幸則,永田 真一	アダプテッド・スポーツの理論と方法を実践的な指導場面を通じて学習する。	対面
W180322	アダプテッド体育・スポーツ学演習II	2	1.0	3	秋A 秋B	金1 月2	齊藤 まゆみ,澤江 幸則,堀田 愛	アダプテッド体育・スポーツ学に関する文献を購読し、これまでの研究成果や最近の研究動向について学習する。	対面
W180332	アダプテッド体育・スポーツ学演習III	2	2.0	4	秋AB	木2,3	齊藤 まゆみ,澤江 幸則	アダプテッド体育・スポーツ学に関する文献を購読し、研究方法論について発表・討論する。	対面

卒業研究領域科目【コーチング学分野】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W181012	スポーツ運動学演習I	2	2.0	3	春AB	水2,3	新竹 優子,中村 剛	発生運動学に関する基本文献を精読することによって、発生運動学における基本概念を理解するとともに、発生運動学の運動認識の仕方、理論体系および研究方法について学習する。	対面
W181022	スポーツ運動学演習II	2	2.0	3	秋AB	月2 水3	中村 剛,新竹 優子	発生運動学に関する基本文献を精読することによって、発生運動学における基本概念を理解するとともに、発生運動学の運動認識の仕方、理論体系および研究方法について学習する。	対面
W181032	スポーツ運動学演習III	2	2.0	4	秋AB	木2,3	中村 剛,新竹 優子	運動の実践現場における学習および指導上の問題について討議することによって、運動学的認識を深めるとともに、運動学的な視座から現場の運動問題を取り上げることの素養を身につける。	対面
W181042	コーチング論・トレーニング学演習I	2	2.0	3	春AB	応談	前村 公彦,河合 季信,松元 剛,谷川 聡,木内 敦詞,松尾 博一,中山 紗織	コーチング学およびトレーニング学における理論と方法論に関する理解を深めるとともに,この分野における実践研究の基礎を学ぶ.	対面
W181052	コーチング論・トレーニング学演習II	2	2.0	3	秋AB	応談	前村 公彦,河合 季信,松元 剛,谷川 聡,木内 敦詞,松尾 博一,中山 紗織	コーチング学およびトレーニング学に関する内外の文献に当たりながら,これまでの研究方法論の問題点を探るとともに,新しいコーチング学研究およびトレーニング学研究のあり方や方法論を創造する.	対面
W181062	コーチング論・トレーニング学演習III	2	2.0	4	秋AB	応談	前村 公彦,河合 季信,松元 剛,谷川 聡,木内 敦詞,松尾 博一,中山 紗織	コーチング学およびトレーニング学に関するあり方や方法論を理解し,現在のスポーツ界や体育実践における問題点を抽出し,それらを解決するための方略について論考する.	対面
W181072	体操コーチング論演習I	2	2.0	3	春AB	月1,2	本谷 聡	体操に関する基本的な知識を得るとともに,指導現場に役立つ観点からの実践的な研究法について理解を深める。	対面
W181082	体操コーチング論演習II	2	2.0	3	秋AB	月2 水3	本谷 聡	体操に関する国内の文献を抄録し,討議する。また,研究の進め方について学習する。	対面
W181092	体操コーチング論演習III	2	2.0	4	秋AB 秋C	木2 木1,2	本谷 聡	体操に関する国外の文献や資料を抄録し,討議する。また,論文作成のための知識や技能を養う。	対面
W181102	体操競技コーチング論演習I	2	2.0	3	春AB	月1,2	渡辺 良夫,齋藤 卓	体操競技の技の技術,評価,採点法などについて学習する。	対面
W181112	体操競技コーチング論演習II	2	2.0	3	秋AB	月2 金1	渡辺 良夫,齋藤 卓	体操競技の男子6種目女子4種目に関して,基礎技術と発展技について理解を深める.	対面
W181122	体操競技コーチング論演習III	2	2.0	4	秋AB	木2 随時	渡辺 良夫,齋藤 卓	体操競技の技術指導について,理論を理解し実習を行う.	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W181132	陸上競技コーチング論演習I	2	2.0	3	春AB	月2 水3	大山 卞 圭悟,木越 清信	内外の文献を講読し,陸上競技の技術・トレーニング・指導について検討する。	対面
W181142	陸上競技コーチング論演習II	2	2.0	3	秋AB	月2 水3	大山 卞 圭悟,木越 清信	内外の文献を講読し,陸上競技の技術・トレーニング・指導について検討する。	対面
W181152	陸上競技コーチング論演習III	2	2.0	4	秋AB	木2,3	大山 卞 圭悟,木越 清信	卒業論文の作成に関する研究法,論文のまとめ方などについて学習する。	対面
W181162	水泳競技コーチング論演習I	2	2.0	3	春AB	水2,3	仙石 泰雄,角川 隆明	水泳に関する基礎的な科学データ収集法およびデータ分析方法を学習する。また、水泳に関する文献を収集・購読し、実践現場につながる研究課題を探る。	対面
W181172	水泳競技コーチング論演習II	2	2.0	3	秋AB	水3 金1	角川 隆明	水泳に関する内外の文献をもとに研究課題を設定し、課題解決の方法論および論文作成法を学習する。	対面
W181182	水泳競技コーチング論演習III	2	2.0	4	秋AB	随時	仙石 泰雄	水泳の指導方法論について、学校体育の教材研究、水中運動プログラム作り、競技トレーニング・コーチングの指導法等を理解する。	対面
W181192	舞踊論演習I	2	2.0	3	春AB	水2,3	寺山 由美	舞踊の特性,由来,方法などについて,国内,国外の文献やVTR鑑賞を通して学習し,論文作成のための知識や技能を養う。	対面
W181202	舞踊論演習II	2	2.0	3	秋AB	水3 金1	寺山 由美	舞踊の特性,由来,方法などについて,国内,国外の文献やVTR鑑賞を通して学習し,論文作成のための知識や技能を養う。	対面
W181212	舞踊論演習III	2	2.0	4	秋AB	木3,4	寺山 由美,平山 素子	舞踊の特性,由来,方法などについて,国内,国外の文献やVTR鑑賞を通して学習し,論文作成のための知識や技能を養う。	対面
W181222	野外運動論演習I	2	2.0	3	春AB 春C	水2,3 集中	渡邉 仁	キャンプの計画・運営・評価等の方法論について実践を通して学習するとともに,キャンプ技術と指導法について習得する。	対面
W181232	野外運動論演習II	2	2.0	3	秋AB 秋C	水3 集中	坂本 昭裕,高橋 達己	冬季野外運動の代表的種目であるスキーを取り上げ,冬季野外運動の計画・運営・評価等の方法論について実践を通して学習するとともに,スキー技術と指導法について習得する。	対面
W181242	野外運動論演習III	2	1.0	3	春AB	月2	渡邉 仁	野外運動における各種活動種目に関して,内外の研究をもとに,研究法を主体とした学習を進める。また,学生個人の研究課題に即応した資料研究や討論を行うことにより,野外運動の研究技法を身につける。	対面
W181252	野外運動論演習IV	2	1.0	3	秋AB	月2	坂本 昭裕	野外運動における各種活動種目に関して,内外の研究をもとに,研究法を主体とした学習を進める。また,学生個人の研究課題に即応した資料研究や討論を行うことにより,野外運動の研究技法を身につける。	対面
W181262	バスケットボールコーチング論演習I	2	2.0	3	春AB	水3	池田 英治	バスケットボールの技術,戦術,体力,およびそれらのトレーニング法と指導法について,文献精読を通じて専門的知識を学修する。また,基礎的な統計学の手法についても学修する。	対面
W181272	バスケットボールコーチング論演習II	2	2.0	3	秋AB	水3	池田 英治	バスケットボールの技術,戦術,体力,およびそれらのトレーニング法と指導法について,文献精読と討論を通じて専門的知識を学修する。また,アカデミック・ライティングやプレゼンテーションの手法についても学修する。	対面
W181282	バスケットボールコーチング論演習III	2	2.0	4	秋AB	木4,5	池田 英治	バスケットボールコーチングにおける卒業論文の作成に必要な知識と技能を学修する。	対面
W181292	バレーボールコーチング論演習I	2	2.0	3	春AB	水3	中西 康己,秋山 央	バレーボールの競技特性,技術,戦術等の理解を深める。	対面
W181302	バレーボールコーチング論演習II	2	2.0	3	秋AB	水3	中西 康己,秋山 央	バレーボールに関する文献,資料を精読し,専門的な理解を深める。	対面
W181312	バレーボールコーチング論演習III	2	2.0	4	秋AB	応談	中西 康己	バレーボールに関する文献,資料を精読し,研究動向や研究方法を理解する。	対面
W181322	ハンドボールコーチング論演習I	2	2.0	3	春AB	水2,3	會田 宏,藤本 元,加藤 亮介	ハンドボールのコーチングに関する文献を精読し,合理的なコーチングおよびトレーニングに必要な理論について学習する。	対面
W181332	ハンドボールコーチング論演習II	2	2.0	3	秋AB	水3 金1	會田 宏,藤本 元,加藤 亮介	コーチングおよびトレーニングの場において解決すべき問題を科学的に分析・検討する方法,得られた知見を発表する方法について学習する。	対面
W181342	ハンドボールコーチング論演習III	2	2.0	4	秋AB	応談	會田 宏,藤本 元,山田 永子,加藤 亮介	ハンドボールコーチング論領域における卒業論文の作成に必要な知識と技能を養成する。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W181352	サッカーコーチング論演習I	2	2.0	3	春AB	月2 水3	中山 雅雄,小井土 正亮,安藤 梢	サッカーに関する先行研究を検討し,技術,戦術,体力について理解を深め,各自の研究課題に取り組むための基礎を習得する	対面
W181362	サッカーコーチング論演習II	2	2.0	3	秋AB	月2 水3	中山 雅雄,小井土 正亮,安藤 梢	サッカーに関わる研究課題に対してそれを検討するための具体的な方法を習得する.	対面
W181372	サッカーコーチング論演習III	2	2.0	4	秋AB	木1,2	中山 雅雄,小井土 正亮,安藤 梢	サッカーの関する各自の研究テーマを設定し,卒業論文としてまとめるために必要な能力を習得する	対面
W181382	ラグビーコーチング論演習I	2	2.0	3	春AB	月2 水3	古川 拓生	ラグビーのコーチング理論について,文献・ビデオ等を使って学習するとともに活発な討論を通して理解を深める.	対面
W181392	ラグビーコーチング論演習II	2	2.0	3	秋AB	月2 水3	嶋﨑 達也	ラグビーのコーチング理論について,文献・ビデオ等を使って学習するとともに活発な討論を通して理解を深める.	対面
W181402	ラグビーコーチング論演習III	2	2.0	4	秋AB	木2,3	古川 拓生,嶋﨑 達也	ラグビーのコーチング理論について,文献・ビデオ等を使って学習するとともに活発な討論を通して理解を深める.	対面
W181412	ラケットバットスポーツコーチング論演習I	2	2.0	3	春AB	水2,3	川村 卓,安藤 真太郎,吹田 真士,三橋 大輔,奈良 隆章,野中 由紀	ラケットバットスポーツの特性を学び,その指導法の基礎を演習する	対面
W181422	ラケットバットスポーツコーチング論演習II	2	2.0	3	秋AB	随時	川村 卓,安藤 真太郎,吹田 真士,三橋 大輔,奈良 隆章,野中 由紀	ラケットバットスポーツに特有な戦略,戦術,戦法等を学び,合わせてその指導法について演習する.	対面
W181432	ラケットバットスポーツコーチング論演習III	2	2.0	4	秋AB	随時	川村 卓,安藤 真太郎,吹田 真士,三橋 大輔,奈良 隆章,野中 由紀	ラケットバットスポーツの卒業論文の完成に向けて,必要な研究方法を具体的に学ぶ	対面
W181442	柔道コーチング論演習I	2	2.0	3	春AB	月2 水3	岡田 弘隆,増地 克之	柔道に関する研究方法について、文献資料を参考にして運動学的理論を深めるため討議する。	対面
W181452	柔道コーチング論演習II	2	2.0	3	秋AB	水3 金1	岡田 弘隆,増地 克之	柔道に関する文献をもとに、柔道の歴史、技術、指導、安全指導、3つの形について学習する。	金曜日1限は第2多目的道場 対面
W181462	柔道コーチング論演習III	2	2.0	4	春AB	木2,3	岡田 弘隆,増地 克之	柔道に関する研究方法について文献資料を通して理論的に学習する。また、個人の課題に応じた資料研究や討論を行う。	対面
W181472	剣道コーチング論演習I	2	2.0	3	春AB	月・水2	有田 祐二	剣道の技術や指導法について文献講読及び討論を通じて学習する。	対面
W181482	剣道コーチング論演習II	2	2.0	3	秋AB	月2 水3	有田 祐二	剣道の研究法について、研究資料や文献講読を通して学習する。	対面
W181492	剣道コーチング論演習III	2	2.0	4	秋AB	随時	有田 祐二	剣道の研究に関する資料や文献を講読して、研究の動向や方法などについて学習する。	対面
W181502	弓道コーチング論演習I	2	2.0	3	春AB	応談	松尾 牧則	講義及び実習・演習を通して学習する。弓、矢、ゆがけ等の弓道具の調整・管理方法を学び、射術と弓具の関係を理解して、弓道コーチングに役立てることができるようにする。	対面
W181512	弓道コーチング論演習II	2	2.0	3	秋AB	応談	松尾 牧則	講義及び実習・演習を通して学習する。伝統的射術と現代の競技の関係を理解し、弓道コーチングに役立てられるようにする。	対面
W181522	弓道コーチング論演習III	2	2.0	4	秋AB	応談	松尾 牧則	講義及び実習・演習を通して学習する。伝統的射術と現代の競技の関係を理解し、弓道コーチングに役立てられるようにする。	対面

卒業研究領域科目【健康体力学分野】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W182012	健康体力学共通演習	2	2.0	3	春AB	水2,3	健康体力学研究分野研究指導担当教員,角田 憲治,竹村 雅裕,井汲 彰	健康体力学の各領域における基礎的知見を実験を通して学習すると共に,各領域における研究方法を学習する。	対面
W182022	応用解剖学演習I	2	2.0	3	春AB秋AB	応談	平田 浩祐	応用解剖領域の研究テーマおよび研究方法について、専門書や学術論文の講読と実験機材を用いた実習により学ぶ。	対面
W182032	応用解剖学演習II	2	2.0	4	春AB秋AB	応談	平田 浩祐	応用解剖領域の研究テーマおよび研究方法について、専門書や学術論文の講読と実験機材を用いた実習により学ぶ。	対面
W182042	運動生理学演習I	2	2.0	3	春AB秋AB	応談	武政 徹,藤井 直人	運動生理学に関する内外の研究文献を学習し,運動やスポーツの生理学的理解を深めると共に,卒業研究に役立てる.	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W182052	運動生理学演習II	2	2.0	4	春AB 秋AB	火1,2 応談	武政 徹,藤井 直人	運動生理学に関する内外の研究文献を学習し,運動やスポーツの生理学的理解を深めると共に,卒業研究に役立てる.	対面
W182062	運動生化学演習I	2	2.0	3	春AB秋AB	随時	岡本 正洋,松井 崇	運動生化学に関する内外の研究文献を学習し、運動やスポーツの生化学的理解を深めるとともに、卒業研究に役立てる。	対面
W182072	運動生化学演習II	2	2.0	4	秋AB	随時	岡本 正洋,松井 崇	運動生化学に関する内外の研究文献を学習し、運動やスポーツの生化学的理解を深めるとともに、卒業研究に役立てる。	対面
W182082	運動栄養学演習I	2	2.0	3	春A 春B 秋AB	月2 応談 金1	麻見 直美,下山 寛之	栄養学、食生活および運動(スポーツ)領域における知識を深めるため、専門図書、総説等の購読を中心に行う。	主に5C117で実施する 対面
W182092	運動栄養学演習II	2	2.0	4	秋AB	応談	麻見 直美,下山 寛之	運動(スポーツ)栄養学、栄養生化学などの領域における知識を深めるため、専門図書、総説等の購読を中心に行う。	対面
W182102	スポーツバイオメカニクス演習I	2	2.0	3	春AB 秋AB	月2 水3	小池 関也,佐渡 夏紀,藤井 範久	スポーツ運動をバイオメカニクス的に研究するために必要な各種の実験手段やデータ処理法を実際の運動を分析することにより学ぶ.	体育総合実験棟(SPEC)102で実施 対面
W182112	スポーツバイオメカニクス演習II	2	2.0	4	秋AB	木2 集中	小池 関也,佐渡 夏紀,藤井 範久	バイオメカニクス関係の論文を講読し,データ処理法,データの解釈などを学び,卒業研究に必要な知識や技術を学ぶ.	体育総合実験棟(SPEC)102で実施 対面
W182122	体力学演習I	2	2.0	3	春AB秋AB	月2	小野 誠司,木塚 朝博,鍋倉 賢治,榎本 靖士,吉村 悠成	体力科学、体力・運動能力、体力トレーニング、運動遊びなどに関する国内外の学術論文、解説、著書、マニュアルなどを参考に、体力学領域における文献研究及び研究方法について演習する。	対面
W182132	体力学演習II	2	2.0	4	秋AB	応談	小野 誠司,木塚 朝博,鍋倉 賢治,榎本 靖士	体力科学、体力・運動能力、体力トレーニング、運動遊びなどに関する国内外の学術論文、解説、著書、マニュアルなどを参考に、体力学領域における研究方法、研究計画、プレゼンテーションについて演習する。	対面
W182142	健康増進学演習I	2	2.0	3	春AB秋AB	応談	大藏 倫博,辻 大士	健康増進学領域における研究デザインの作成方法、対象者の選定方法、測定項目の評価方法および研究のまとめ方などを修得する。	対面
W182152	健康増進学演習II	2	2.0	4	秋AB	応談	大藏 倫博,辻 大士	健康増進学領域の研究を進める。	対面
W182162	体育測定評価学演習I	2	2.0	3	春AB秋AB	応談	角田 憲治	体育測定評価領域における研究デザインの設計方法、測定方法、統計解析方法について学習する。	対面
W182172	体育測定評価学演習II	2	2.0	4	秋AB	応談	角田 憲治	体育測定評価領域におけるデータ収集から論文化までの一連の研究方法について、国内外の学術論文の精読と、実際の調査・測定により体系的に学ぶ。	対面
W182182	内科系スポーツ医学演習I	2	2.0	3	春AB秋AB	応談	渡部 厚一,柴田 愛,中田 由夫,小崎 恵生	内科系スポーツ医学領域の基礎的知識を習得し、卒業研究のテーマ設定に役立てる	対面
W182192	内科系スポーツ医学演習II	2	2.0	4	秋AB	応談	渡部 厚一,柴田 愛,中田 由夫,小崎 恵生	内科系スポーツ医学領域に関連する文献などを講読し、知識を深め、卒業研究に役立てる	対面
W182202	外科系スポーツ医学演習I	2	2.0	3	春AB秋AB	応談	髙橋 英幸,竹村 雅裕,福田 崇,井汲 彰	スポーツ医学に関する研究論文を読む・理解する・分析する・整理する・要約する・発表することを通じてスポーツ外傷・障害、アスレティックリハビリテーション、コンディショニング、予防手段の知識の習得を図る。	対面
W182212	外科系スポーツ医学演習II	2	2.0	4	秋AB	応談	髙橋 英幸,竹村 雅裕,福田 崇,井汲 彰	スポーツ医学に関する研究手法、測定・評価機器の使用方法について学習し、スポーツ外傷・障害の評価への利用、アスレティックリハビリテーション・コンディショニングをする際の適用・応用についてディスカッションする。	対面
W182242	健康教育学演習I	2	2.0	3	春AB秋AB	応談	久野 譜也,片岡 千恵,門間 貴史,和田 真理絵	健康教育に関する諸問題を教育学,保健学,社会学,心理学,統計学の側面から討議する。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W182252	健康教育学演習II	2	2.0	4	秋AB	応談	久野 譜也,片岡 千恵,門間 貴史	健康教育学領域における研究法について,実践的に理解を深める。	対面

学群総合科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W810012	専門語学A	2	1.0	2	春AB	月5	齋藤 健司	体育科学に関する専門書を講読し,英語の読解力を養うとともに,基礎的な用語に慣れさせる。	必修、体育・スポーツ専門英語基礎演習と合わせて履修すること。 対面
W810022	専門語学A	2	1.0	2	春AB	月5	角田 憲治	体育科学に関する専門書を講読し,英語の読解力を養うとともに,基礎的な用語に慣れさせる。	必修、体育・スポーツ専門英語基礎演習と合わせて履修すること。 対面
W810032	専門語学A	2	1.0	2	春AB	月5	藤本 元	体育科学に関する専門書を講読し,英語の読解力を養うとともに,基礎的な用語に慣れさせる。	必修、体育・スポーツ専門英語基礎演習と合わせて履修すること。 対面
W810042	専門語学A	2	1.0	2	春AB	月5	藤井 直人	体育科学に関する専門書を講読し,英語の読解力を養うとともに,基礎的な用語に慣れさせる。	必修、体育・スポーツ専門英語基礎演習と合わせて履修すること。 対面
W810052	専門語学A	2	1.0	2	春AB	月5	宮崎 明世	体育科学に関する専門書を講読し,英語の読解力を養うとともに,基礎的な用語に慣れさせる。	必修、体育・スポーツ専門英語基礎演習と合わせて履修すること。 対面
W810062	専門語学A	2	1.0	2	春AB	月5	新竹 優子	体育科学に関する専門書を講読し,英語の読解力を養うとともに,基礎的な用語に慣れさせる。	必修、体育・スポーツ専門英語基礎演習と合わせて履修すること。 対面
W810072	専門語学A	2	1.0	2	春AB	月5	小﨑 恵生	体育科学に関する専門書を講読し,英語の読解力を養うとともに,基礎的な用語に慣れさせる。	必修、体育・スポーツ専門英語基礎演習と合わせて履修すること。 対面
W810082	専門語学A	2	1.0	2	春AB	月5	大山 卞 圭悟	体育科学に関する専門書を講読し,英語の読解力を養うとともに,基礎的な用語に慣れさせる。	必修、体育・スポーツ専門英語基礎演習と合わせて履修すること。 対面
W810092	専門語学A	2	1.0	2	春AB	月5	中田 由夫	体育科学に関する専門書を講読し,英語の読解力を養うとともに,基礎的な用語に慣れさせる。	必修、体育・スポーツ専門英語基礎演習と合わせて履修すること。 対面
W810102	専門語学A	2	1.0	2	春AB	月5	中村 剛	体育科学に関する専門書を講読し,英語の読解力を養うとともに,基礎的な用語に慣れさせる。	必修、体育・スポーツ専門英語基礎演習と合わせて履修すること。 対面
W810112	専門語学A	2	1.0	2	春AB	月5	深澤 浩洋,佐藤 貴弘	体育科学に関する専門書を講読し,英語の読解力を養うとともに,基礎的な用語に慣れさせる。	必修、体育・スポーツ専門英語基礎演習と合わせて履修すること。 対面
W810122	専門語学A	2	1.0	2	春AB	月5	姜 泰安,キム セッビョル エステラ	体育科学に関する専門書を講読し,英語の読解力を養うとともに,基礎的な用語に慣れさせる。	必修、体育・スポーツ専門英語基礎演習と合わせて履修すること。 対面
W815011	体育科学シンポジウム	1	1.0	1	秋C	水3,4	寺山 由美,平田 浩祐	体育、スポーツ、健康に関連する諸科学について、その現状、社会貢献活動、将来展望などをめぐってシンポジウムを展開する。ディスカッションなどの協同的な営みを通じて関係諸領域の知と本学群の可能性や意義について理解を深める。	必修,体育専門学群生に限る 対面
W816011	専門基礎共通演習	1	1.0	2	秋AB	火5	中山 紗織,齋藤 卓	各研究領域の概要について知り、幅広い体育学諸領域から自身の興味関心の在り処を探る。	必修,体育専門学群生に限る 対面

専門英語基礎演習

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W862102	体育・スポーツ専門英語基礎演習	2	1.0	2	秋AB	月5	齋藤 健司	専門語学Aで学んだ基礎的な用語や英語を体育・スポーツの場面で活用することを学ぶ。	必修 対面
W862202	体育・スポーツ専門英語基礎演習	2	1.0	2	秋AB	月5	角田 憲治	専門語学Aで学んだ基礎的な用語や英語を体育・スポーツの場面で活用することを学ぶ。	必修 対面
W862302	体育・スポーツ専門英語基礎演習	2	1.0	2	秋AB	月5	藤本 元	専門語学Aで学んだ基礎的な用語や英語を体育・スポーツの場面で活用することを学ぶ。	必修 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W862402	体育・スポーツ専門英語基礎演習	2	1.0	2	秋AB	月5	藤井 直人	専門語学Aで学んだ基礎的な用語や英語を体育・スポーツの場面で活用することを学ぶ。	必修 対面
W862502	体育・スポーツ専門英語基礎演習	2	1.0	2	秋AB	月5	宮崎 明世	専門語学Aで学んだ基礎的な用語や英語を体育・スポーツの場面で活用することを学ぶ。	必修 対面
W862602	体育・スポーツ専門英語基礎演習	2	1.0	2	秋AB	月5	新竹 優子	専門語学Aで学んだ基礎的な用語や英語を体育・スポーツの場面で活用することを学ぶ。	必修 対面
W862702	体育・スポーツ専門英語基礎演習	2	1.0	2	秋AB	月5	小﨑 恵生	専門語学Aで学んだ基礎的な用語や英語を体育・スポーツの場面で活用することを学ぶ。	必修 対面
W862802	体育・スポーツ専門英語基礎演習	2	1.0	2	秋AB	月5	大山 卞 圭悟	専門語学Aで学んだ基礎的な用語や英語を体育・スポーツの場面で活用することを学ぶ。	必修 対面
W862902	体育・スポーツ専門英語基礎演習	2	1.0	2	秋AB	月5	中田 由夫	専門語学Aで学んだ基礎的な用語や英語を体育・スポーツの場面で活用することを学ぶ。	必修 対面
W863002	体育・スポーツ専門英語基礎演習	2	1.0	2	秋AB	月5	中村 剛	専門語学Aで学んだ基礎的な用語や英語を体育・スポーツの場面で活用することを学ぶ。	必修 対面
W863102	体育・スポーツ専門英語基礎演習	2	1.0	2	秋AB	月5	深澤 浩洋,佐藤 貴弘	専門語学Aで学んだ基礎的な用語や英語を体育・スポーツの場面で活用することを学ぶ。	必修 対面
W863202	体育・スポーツ専門英語基礎演習	2	1.0	2	秋AB	月5	姜 泰安,キム セッビョル エステラ	専門語学Aで学んだ基礎的な用語や英語を体育・スポーツの場面で活用することを学ぶ。	必修 対面

体育・スポーツ学領域

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W870011	体育哲学	1	1.0	2	秋B	月1,2	深澤 浩洋,坂本 拓弥	「体育とは何か」について、哲学的にその概念基盤に論究するとともに、体育の可能性に言及する。体育の実践原理や意義を知り、現状を批判的に検討する思考態度を身につけることを目指す。	教職「保健体育」必修 体育専門学群生に限る。他の学群生で教職(保健体育)を履修している者は受講可。 対面
W870021	体育史・スポーツ人類学	1	2.0	2	秋AB	火3 木2	大林 太朗,田 暁潔	日本及び諸外国の体育・スポーツについて、今日にいたるまでの人間とスポーツの関わりの歩みについて学ぶ。	対面
W870031	武道学I	1	1.0	2	春AB	月4	大石 純子,柴田 直生	武道学において重要な「武道」「形・型(かた)」「流派」等の諸概念を学習したうえで、武道の歴史を特に柔道・剣道・弓道を取り上げ鳥瞰図的に把握する。このことにより日本独自の運動文化である武道の特徴を理解する。	体育専門学群生に限る 対面
W870041	スポーツ社会学	1	2.0	1	秋AB	木・金3	下竹 亮志	現代社会におけるスポーツの位置とその文化的特徴について、消費社会、メディアとの関係で捉え、人種、民族、ジェンダー、ナショナリティといった社会学の視点から人々の生きている日常を踏まえて、分析・考察を行う。	体育専門学群生は必ずW870041を登録すること。 BB11811と同一。 対面 履修者が290名を越えた場合は、体育専門学群生及び社会学類3、4年生を優先する。
W870051	体育・スポーツ経営学	1	2.0	2	春AB	火4,5	姜 泰安	体育・スポーツの経営管理をめぐる基礎的理論について、経営の構造論・スポーツ事業論及び経営過程論を中心に講義する。	対面
W870061	体育・スポーツ心理学	1	2.0	1	春AB	火5 水3	國部 雅大,雨宮 怜	身体運動の心理的特性、運動学習理論、パーソナリティおよび動機づけを中心として、スポーツ・体育心理学の基本事項を理解する。	対面
W870071	スポーツ産業学	1	1.0	2	春AB	火3	仲澤 眞	レジャー・スポーツ産業を対象に人文,社会科学的な視点から検討し,レジャー・スポーツ産業に関する基本的な知見を学習するとともに,当該領域における当面の問題を明らかにし,基本的研究課題を理解する.	体育専門学群生に限る 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W870081	スポーツ政策学I	1	1.0	2	春AB	水2	齋藤 健司,成瀬 和弥	スポーツ政策に関する諸事実を理解するとともに、スポーツ政策学の基礎理論を学ぶ。	社会教育主事 対面

コーチング学領域

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W880011	運動学I	1	1.0	2	春AB	水3	中村 剛,新竹 優子	運動ができる(うまくなる)ようになるための、現場の学習場面および指導場面において重要になる発生運動学(スポーツ運動学)の基礎理論を学習する。運動学Iでは、運動形成や運動発達、運動質などの理論を学ぶとともに、さらに、創発と促発の身体知について学習して、現場の運動の指導実践において重要な身体知理論の基礎を学ぶ。	教職「保健体育」必修 対面
W880021	運動学II	1	1.0	2	秋AB	月4	新竹 優子,中村 剛	運動ができる(うまくできる)ようになるための実践理論であり、現場の学習場面および指導場面において重要になる発生運動学(スポーツ運動学)の基礎理論について学習する。運動学IIでは、運動の学習位相論についてより深く学習する。	対面
W880031	一般コーチング学	1	1.0	2	春AB	月2	前村 公彦,中山 紗織	優れたコーチになるために必要とされる諸要因,すなわち指導行動と育成行動を理解し,選手の競技力と人間力を向上させ続ける能力を身につける.具体的には,選手やチームを導くリーダーシップと適切な人間関係を構築する能力,選手を取り巻く様々な内的および外的な環境要因をマネジメントする能力,コーチング現場において発生する諸問題を合理的に解決する問題解決型思考スキル,勝利を継続的に獲得していくためのマインドセット,リスクマネジメントについて学習する.	一般トレーニング学を受講しているものに限って受講を認める.250名を超えた場合は体育専門学群生を優先する. 対面
W880041	一般トレーニング学	1	1.0	2	春AB	木2	前村 公彦,中山 紗織	スポーツトレーニングを効果的に推進するための適切な目標と課題の設定法,課題解決法や手段の選択と創造法,時間資源と時系列的な関連性を考慮した計画立案法,効果的な実践法,トレーニング成果のアセスメント法(測定・評価・診断法)について知るとともに,体力トレーニング,技術トレーニング,戦術トレーニングなどの個別理論・方法論について学習する.	一般コーチング学を受講しているものに限って受講を認める.250名を超えた場合は体育専門学群生優先する. 対面
W880051	個別コーチング学	1	1.0	1	秋C	木・金3	大山 卞 圭悟,池田 英治	個別のスポーツ種目におけるコーチングについて概説する	対面
W880061	個別トレーニング学	1	1.0	1	秋C	火1,2	大山 卞 圭悟,池田 英治	個別のスポーツ種目におけるトレーニングについて概説する	対面

健康体力学領域

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W890011	解剖学	1	1.0	1	春AB	月2	平田 浩祐	体育を専攻とする学生に必要な知識として、 身体の構造とその働きについて講義する。	体育専門学群生に限る 対面
W890021	生理学	1	1.0	1	春AB	月1	武政 徹,小野 誠司,藤井 直人,松井 崇,岡本 正洋	本講義においては筋系,神経系,循環系,呼吸系に関する構造と機能について,将来運動に伴うからだの構造や機能変化を理解するのに役立つ器官について解説する.	対面
W890031	運動生理学	1	1.0	1	秋AB	月2	武政 徹,藤井 直人	運動時の筋、神経、呼吸、循環、体温調節反応の基本的な生理反応およびトレーニングによって生じる変化に関する生理的メカニズムを概説する。	体育専門学群の1,4年生を優先します。受講生が多くなった場合、受講制限をすることがあります。 対面
W890041	運動生化学	1	1.0	1	秋AB	金4	岡本 正洋,松井 崇	スポーツや運動時の代謝、内分泌、自律神経応答の変化、並びにトレーニングによるそれらの変容(適応)がパフォマンスや健康に及ぼす効果等を中心に講義する。	対面
W890051	運動とスポーツの栄養学(基礎)	1	1.0	1	秋AB	水3	麻見 直美,下山 寛之	運動・スポーツと栄養・食生活の基礎を学ぶ	350人程度を上限とし超える場合は、体育専門学群生を優先し、他学群学生は抽選とする。 対面 オンライン(オンデマンド型)
W890061	スポーツバイオメカニクスI	1	1.0	1	春AB	木3	小池 関也,平山 大作	身体運動を力学的に考えるための基礎となる諸法則を説明し,バイオメカニクス的観点から運動を分析する基礎的知識を講義する。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W890071	体力学	1	1.0	2	秋AB	火4	小野 誠司,木塚 朝博,鍋倉 賢治	体力には、いろいろな捉え方や考え方があり、その概念の多様性と構成の複合性を解説することによって、発達加齢段階、スキルレベル、競技レベルに応じて適切に科学的知識を利用できる力を習得する。	対面
W890081	健康増進学	1	1.0	2	春AB	月1	大藏 倫博,辻 大士	中年・高齢者の健康づくり・疾病予防・介護予防の観点から健康増進学について概説する。前半は、中年期の疾病予防や健康づくりの観点から、健康度を評価する方法や健康関連体力の測定法について説明する。後半は、高齢期の介護予防の観点から、生活機能および健康と関連が深いと考えられる身体・認知機能について解説する。	体育専門学群の2年生以上に限る 対面
W890091	体育測定評価学(統計学を含む)	1	1.0	2	秋AB	水1	角田 憲治	競技スポーツから健康科学においてデータがどのように収集され、活用されているかを国内外の知見から学ぶ。基本的な統計解析における数理モデルの理論と、統計ソフトおよびプログラミングを用いた分析方法を学習する。また、機械学習によるデータ分析の実際ついて触れる。	対面
W890101	スポーツ医学I(救急処置を含む)	1	1.0	2	春AB	金2	渡部 厚一,髙橋 英幸,井汲 彰	スポーツ医学の基礎的知識を習得し、救急蘇生法についても学ぶ。	教職「保健体育」必修 体育専門学群生に限る。他の学群生で教職(保健体育)を履修している者は受講可。 対面
W890111	衛生・公衆衛生学	1	1.0	2	春AB	水1	門間 貴史	ある程度の生物学的な説明とともに,人間集団を単位として健康がいかに社会的な出来事と関連しているか,またどのようにして社会の中で健康をまもっていくかを学ぶ。	教職「保健体育」必修 対面
W890121	健康教育学(精神保健を含む)	1	1.0	2	春AB	金4	久野 譜也,門間 貴史	少子高齢社会である我が国の地域・職域・学校における健康課題を理解し、それらの課題解決のための主要施策である健康教育について理論と実践を学習する。	教職「保健体育」必修 対面
W890131	学校保健学(小児保健及び学校安全を含む)	1	1.0	2	春AB	木1	片岡 千恵,和田 真理絵	学校保健の意義および構成等について解説する。また,学校保健活動の展開に必要な基本的内容について講義する。	教職「保健体育」必修 対面

実技理論・実習

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W900005	学校体育実技	5	1.0	2	春AB	火1,2	長谷川 悦示,三田部 勇	体つくり運動、器械運動、陸上競技、水泳、球技、武道、ダンスの領域についてそれぞれ体育授業で扱えるような運動の実技を行い、学校体育の運動領域について包括的な 理解を図る。	原則として、教員免許取得希望者に限る。 教職「保健体育」必修。 対面

実技理論・実習(A群)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W910115	体操	5	1.0	1	秋AB	火1,2	本谷 聡	基礎体力の養成及び全身的な動きの学習を基礎として,合理的で効果的な運動の行い方を理解し,様々な対象やねらいに応じて運動を創意・工夫し,構成することのできる指導能力を養う。	男子後半・女子後半クラス（教職希望者は履修が望ましい） 実務経験教員 対面
W910125	体操	5	1.0	2	秋AB	木4,5	本谷 聡,沖田 祐蔵	基礎体力の養成及び全身的な動きの学習を基礎として,合理的で効果的な運動の行い方を理解し,様々な対象やねらいに応じて運動を創意・工夫し,構成することのできる指導能力を養う。	男子前半・女子前半クラス（教職希望者は履修が望ましい） 実務経験教員 対面
W910215	ダンス	5	1.0	1	秋AB 秋C	火1,2 集中	寺山 由美,齋藤 瀬奈	ダンス・身体表現の基礎的な理論を理解し,リズムダンス・創作ダンスの学習を中心に基礎的な技能を習得するとともに,指導法についても学習する。	男子後半・女子後半クラス（教職希望者は履修が望ましい）教室は決定後周知 対面
W910225	ダンス	5	1.0	2	秋AB 秋C	木4,5 集中	寺山 由美,齋藤 瀬奈	ダンス・身体表現の基礎的な理論を理解し,リズムダンス・創作ダンスの学習を中心に基礎的な技能を習得するとともに,指導法についても学習する。	男子前半・女子前半クラス（教職希望者は履修が望ましい） 対面

実技理論・実習(B群)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W920315	陸上競技	5	1.0	1	春AB	木4,5	木越 清信,大山 卞 圭悟	各種走・各種跳躍・各種投てき種目の運動学習を通じて,技術の向上を図り,トレーニング法,技術,更に陸上運動の取扱いなどについて,基礎的な学習をする。	男子前半クラス 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W920325	陸上競技	5	1.0	1	秋AB	木4,5	大山 卞 圭悟,木越 清信	各種走・各種跳躍・各種投てき種目の運動学習を通じて,技術の向上を図り,トレーニング法,技術,更に陸上運動の取扱いなどについて,基礎的な学習をする。	女子 対面
W920335	陸上競技	5	1.0	2	秋AB	火1,2	大山 卞 圭悟,木越 清信	各種走・各種跳躍・各種投てき種目の運動学習を通じて,技術の向上を図り,トレーニング法,技術,更に陸上運動の取扱いなどについて,基礎的な学習をする。	男子後半クラス 対面
W920415	器械運動	5	1.0	1	春AB	木4,5	渡辺 良夫,齋藤 卓,内田 隼人	中・高等学校学習指導要領に示された器械種目(マット,跳び箱,鉄棒,平均台)を中心にして,その技能内容を取り上げ,技能の習熟を図ると共に,指導法についても学習する。	男子前半クラス 対面
W920425	器械運動	5	1.0	1	秋AB	木4,5	金谷 麻理子	中・高等学校学習指導要領に示された器械種目(マット,跳び箱,鉄棒,平均台)を中心にして,その技能内容を取り上げ,技能の習熟を図ると共に,指導法についても学習する。	女子 対面
W920435	器械運動	5	1.0	2	秋AB	火1,2	齋藤 卓,渡辺 良夫,内田 隼人	中・高等学校学習指導要領に示された器械種目(マット,跳び箱,鉄棒,平均台)を中心にして,その技能内容を取り上げ,技能の習熟を図ると共に,指導法についても学習する。	男子後半クラス 対面

実技理論・実習(C群)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W930515	水泳競技	5	1.0	1	春AB	木4,5	角川 隆明	各種泳法を学習し水泳の基礎的技能を身につける。アクアティックスポーツを体験し,生涯スポーツとして水泳を理解する。更に,水泳指導法の理論と実習を学習する。	男子後半クラス（教職希望者は履修が望ましい) 対面
W930525	水泳競技	5	1.0	2	秋AB	火1,2	角川 隆明	各種泳法を学習し水泳の基礎的技能を身につける。アクアティックスポーツを体験し,生涯スポーツとして水泳を理解する。更に,水泳指導法の理論と実習を学習する。	男子前半（教職希望者は履修が望ましい) 対面
W930535	水泳競技	5	1.0	3	秋AB	木4,5	角川 隆明	各種泳法を学習し水泳の基礎的技能を身につける。アクアティックスポーツを体験し,生涯スポーツとして水泳を理解する。更に,水泳指導法の理論と実習を学習する。	女子（教職希望者は履修が望ましい) 対面
W930615	野外運動	5	1.0	1	春AB	木4,5	渡邉 仁	実技種目として,主にキャンプを取り上げ,その基本的な理論・技術・指導法について学習することを目的に,学内の実習場を用いて行う。	男子後半クラス 対面
W930625	野外運動	5	1.0	2	秋AB	火1,2	渡邉 仁	実技種目として,主にキャンプを取り上げ,その基本的な理論・技術・指導法について学習することを目的に,学内の実習場を用いて行う。	男子前半クラス 対面
W930635	野外運動	5	1.0	3	秋AB	木4,5	渡邉 仁	実技種目として,主にキャンプを取り上げ,その基本的な理論・技術・指導法について学習することを目的に,学内の実習場を用いて行う。	女子 対面

実技理論・実習(D群)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W940715	バレーボール	5	1.0	1	春AB	木4,5	中西 康己	バレーボールの基礎技術の正しい動作を習得するとともに,6人制バレーボールのルールや競技特性の理解を深め,ゲーム展開の方法を実習する。	女子 対面
W940735	バレーボール	5	1.0	2	秋AB	木4,5	中西 康己	バレーボールの基礎技術の正しい動作を習得するとともに,6人制バレーボールのルールや競技特性の理解を深め,ゲーム展開の方法を実習する。	男子後半クラス 対面
W940745	バレーボール	5	1.0	1	秋AB	火1,2	秋山 央	バレーボールの基礎技術の正しい動作を習得するとともに,6人制バレーボールのルールや競技特性の理解を深め,ゲーム展開の方法を実習する。	男子前半クラス 対面
W940815	バスケットボール	5	1.0	1	春AB	木4,5	池田 英治	バスケットボールの競技特性やルールを理解し、基礎的な技術や戦術を習得するとともに、ゲーム展開の方法とそれらの指導法を実習する。	女子 対面
W940835	バスケットボール	5	1.0	2	秋AB	木4,5	池田 英治	バスケットボールの競技特性やルールを理解し、基礎的な技術や戦術を習得するとともに、ゲーム展開の方法とそれらの指導法を実習する。	男子後半クラス 対面
W940845	バスケットボール	5	1.0	1	秋AB	火1,2	池田 英治,仲澤 翔大	バスケットボールの競技特性やルールを理解し、基礎的な技術や戦術を習得するとともに、ゲーム展開の方法とそれらの指導法を実習する。	男子前半クラス 対面
W940915	ハンドボール	5	1.0	1	春AB	木4,5	藤本 元	ハンドボールの競技特性および教育特性を理解するとともに,ゲームを中心とした実習の中で,基礎的な技術・戦術力を習得し,それらの指導法を学修する。	女子 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W940935	ハンドボール	5	1.0	2	秋AB	木4,5	加藤 亮介	ハンドボールの競技特性および教育特性を理解するとともに,ゲームを中心とした実習の中で,基礎的な技術・戦術力を習得し,それらの指導法を学修する。	男子後半クラス 対面
W940945	ハンドボール	5	1.0	1	秋AB	火1,2	會田 宏	ハンドボールの競技特性および教育特性を理解するとともに,ゲームを中心とした実習の中で,基礎的な技術・戦術力を習得し,それらの指導法を学修する。	男子前半クラス 対面

実技理論・実習(E群)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W951015	サッカー	5	1.0	2	秋AB	火1,2	安藤 梢	サッカーの特性を理解し,女子に適した技術,戦術を段階的に習得する. 習得した技術,戦術を,レベルに応じてゲームで発揮できるようにする.	女子 対面
W951025	サッカー	5	1.0	2	春AB	木4,5	中山 雅雄	サッカーの技術,戦術の基本を習得する。ルールの理解と各種ゲームの行い方と指導方法を学習する。	男子後半クラス 対面
W951045	サッカー	5	1.0	1	秋AB	木4,5	中山 雅雄	サッカーの技術,戦術の基本を習得する。ルールの理解と各種ゲームの行い方と指導方法を学習する。	男子前半クラス 対面
W951115	ラグビー	5	1.0	2	秋AB	火1,2	嶋﨑 達也	女子が行うことができるラグビーの実際を学習し,併せて指導能力を身につける。	女子 対面
W951125	ラグビー	5	1.0	2	春AB	木4,5	嶋﨑 達也	ラグビーの技術,戦術の基礎を習得する。ルールの理解とゲーム展開の方法及び指導法を学習する。	男子後半クラス 対面
W951145	ラグビー	5	1.0	1	秋AB	木4,5	古川 拓生	ラグビーの技術,戦術の基礎を習得する。ルールの理解とゲーム展開の方法及び指導法を学習する。	男子前半クラス 対面

実技理論・実習(F群)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W961215	テニス	5	1.0	3	春AB	木4,5	三橋 大輔	テニスの技術・体力・戦術を段階的に学習し,テニスの特性を理解すると共に,あわせて指導力を養成する。	女子 対面
W961225	テニス	5	1.0	3	秋AB	火1,2	三橋 大輔	テニスの技術・体力・戦術を段階的に学習し,テニスの特性を理解すると共に,あわせて指導力を養成する。	男子後半 対面
W961235	テニス	5	1.0	3	秋AB	木4,5	三橋 大輔	テニスの技術・体力・戦術を段階的に学習し,テニスの特性を理解すると共に,あわせて指導力を養成する。	男子前半 対面
W961315	バドミントン	5	1.0	3	春AB	木4,5	吹田 真士	バドミントン技能に関する基礎的な理論を学習し、実習を通して基礎的レベルの技能を習得する。	女子 対面
W961325	バドミントン	5	1.0	3	秋AB	火1,2	吹田 真士	バドミントン技能に関する基礎的な理論を学習し、実習を通して基礎的レベルの技能を習得する。	男子後半 対面
W961335	バドミントン	5	1.0	3	秋AB	木4,5	吹田 真士	バドミントン技能に関する基礎的な理論を学習し、実習を通して基礎的レベルの技能を習得する。	男子前半 対面
W961415	卓球	5	1.0	3	春AB	木4,5	野中 由紀,照井 雄太	卓球の基礎技術、特に、フォアハンド、バックハンドの基本打法を中心に実習を行い、同時にルールについて解説し、これらを総合して、技能の程度に応じたゲームが行われるようにする。また、指導法にも触れる。	女子 対面
W961425	卓球	5	1.0	3	秋AB	火1,2	野中 由紀	卓球の基礎技術、特に、フォアハンド、バックハンドの基本打法を中心に実習を行い、同時にルールについて解説し、これらを総合して、技能の程度に応じたゲームが行われるようにする。また、指導法にも触れる。	男子後半 対面
W961435	卓球	5	1.0	3	秋AB	木4,5	安藤 真太郎	卓球の基礎技術、特に、フォアハンド、バックハンドの基本打法を中心に実習を行い、同時にルールについて解説し、これらを総合して、技能の程度に応じたゲームが行われるようにする。また、指導法にも触れる。	男子前半 対面
W961515	ソフトボール	5	1.0	3	春AB	木4,5	川村 卓	ソフトボール(スローピッチを含む)の技能と戦術を基礎から段階的に学習し,あわせて指導力の養成を図る。	女子 対面
W961525	ソフトボール	5	1.0	3	秋AB	火1,2	川村 卓	ソフトボール(スローピッチを含む)の技能と戦術を基礎から段階的に学習し,あわせて指導力の養成を図る。	男子後半 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W961535	ソフトボール	5	1.0	3	秋AB	木4,5	川村 卓	ソフトボール(スローピッチを含む)の技能と戦術を基礎から段階的に学習し,あわせて指導力の養成を図る。	男子前半 対面

実技理論・実習(G群)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W971615	柔道	5	1.0	2	春AB	木4,5	岡田 弘隆,増地克之	柔道の特性,技術構造,歴史などについて概説するとともに,柔道の基本動作,対人的技能について実習する。	女子 対面
W971625	柔道	5	1.0	1	秋AB	木4,5	岡田 弘隆,増地克之	柔道の特性,技術構造,歴史などについて概説するとともに,柔道の基本動作,対人的技能について実習する。	男子後半クラス 対面
W971635	柔道	5	1.0	3	秋AB	火1,2	岡田 弘隆	柔道の特性,技術構造,歴史などについて概説するとともに,柔道の基本動作,対人的技能について実習する。	男子前半クラス 対面
W971715	剣道	5	1.0	2	春AB	木4,5	有田 祐二	剣道の特性を理解し,剣道の基本動作,対人的技能について学習し,より高度な剣道技術習得のための基礎を固めさせる。	女子 対面
W971725	剣道	5	1.0	1	秋AB	木4,5	松﨑 賢士郎,有田祐二	剣道の特性を理解し,剣道の基本動作,対人的技能について学習し,より高度な剣道技術習得のための基礎を固めさせる。	男子後半クラス 対面
W971735	剣道	5	1.0	3	秋AB	火1,2	有田 祐二	剣道の特性を理解し,剣道の基本動作,対人的技能について学習し,より高度な剣道技術習得のための基礎を固めさせる。	男子前半クラス 対面
W971815	弓道	5	1.0	2	春AB	木4,5	松尾 牧則	弓道の特性を理解し,射法,射術の基本を正しく修得し,弓道に対する理解を深める。	女子 対面
W971825	弓道	5	1.0	1	秋AB	木4,5	松尾 牧則	弓道の特性を理解し,射法,射術の基本を正しく修得し,弓道に対する理解を深める。	男子後半クラス 対面
W971835	弓道	5	1.0	3	秋AB	火1,2	松尾 牧則	弓道の特性を理解し,射法,射術の基本を正しく修得し,弓道に対する理解を深める。	男子前半クラス 対面

実技理論・実習(H群)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W981925	臨海実習	5	2.0	2	春ABC	随時	仙石 泰雄,角川隆明	海での遠泳を中心とした集中授業である。 実習を通して、自然の海での水泳を学習し、水辺活動の意義を理解する。 集団生活を通して、社会性・協調性・自主独立・リーダーシップ・フォローアシップを身に付ける。	選択必修 対面 ※4月の学外実習ガイダンスにおいて科目選択
W982005	野外運動(雪上)	5	2.0	1 - 3	春季休業中	集中	渡邉 仁	雪山でのスキーを中心とした集中授業である。スキーの理論・技術・指導法を習得しながら、自然環境の理解を深め、自己ならびに他者理解を促進する。	選択必修 対面 【受入上限数80名】 @菅平高原スノーリゾート

テーピング・マッサージ

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
W992215	テーピング・マッサージ	5	1.0	1	春B 春C	金3 集中	竹村 雅裕,福田崇	スポーツ現場で汎用されているテーピング、コンディショニング手法の1つであるスポーツマッサージの理論と実際を、講義と実習を通じて学習する。あわせて人体の筋骨格系の機能や役割につき概説し、ヒトの動きにどのように貢献しているかを実習にて学ぶ。	必修、3クラスで実施 対面

開設母体　　要件
芸術専門学群

専門基礎科目(共通)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YAA1011	美術史学概論	1	1.0	1・2	春AB	火1	寺門 臨太郎,林 みちこ,水野 裕史,武田 一文	美術史学の目的、対象、方法論的基礎について、領域担当教員各々の専門分野に応じて具体的事例を挙げながら講述する。	オンライン(オンデマンド型)
YAB1011	芸術支援学概論	1	1.0	1・2	春AB	金3	石﨑 和宏,直江 俊雄,箕輪 佳奈恵,吉田 奈穂子	現代社会における芸術活動の環境形成を支援するための理論と方法について,基礎的な知識を学ぶ。	対面
YAC1011	洋画概論	1	1.0	1・2	春AB	火1	星 美加	西洋絵画史・日本洋画史の一連の流れと関係について概説し、今日に至るまでの日本の洋画について理解を深める。同時に西洋美術史、洋画史上の主要な画家とその作品の美術史的意義について学ぶ。	対面
YAC1012	素描基礎演習1	2	2.0	1・2	春C	火・金4,5	仏山 輝美,程塚 敏明,福満 正志郎,山本 浩之,諏訪 智美,星 美加	静物をモティーフとした素描(木炭または鉛筆)により,基礎的な表現力と創造的な感覚を養う。各課題の終了後,テーマのチェック及び講評を行う。	人数制限あり 実務経験教員 対面
YAC1112	油彩画基礎演習1	2	2.0	1・2	春AB	火5,6	星 美加	油彩画の制作に取り組み,その表現効果に対する理解を深め,素材に対する基本的知識・技能を養う。	人数制限あり 実務経験教員 対面
YAC1122	油彩画基礎演習2	2	2.0	1・2	秋AB	火5,6	仏山 輝美	油彩画の制作に取り組み,その表現効果に対する理解を深め,素材に対する基本的知識・技能を養う。	人数制限あり 実務経験教員 対面
YAD1011	版画概論	1	1.0	1・2	春AB	金3	田島 直樹	版画を理解する上で重要な技法についての概説。版画の基本的4版種について,その発生,原理,制作手順,作品例について解説する。	対面
YAD1012	版画基礎演習	2	2.0	1・2	秋AB	火5,6	田島 直樹	ふたつの異なる版種の版画制作を通して、版表現の幅広さを体感する。本授業では、エッチング(腐蝕銅版画)とスクリーンプリントの作品制作を行なう。	人数制限あり 実務経験教員 対面 原則として、版画概論を履修しておくこと。
YAE1011	日本画概論	1	1.0	1・2	秋AB	火1	程塚 敏明,諏訪 智美	絵画の中でジャンル分けされる「日本画」とは何か。その基本的意味及び特徴等について日本絵画史をたどりながら,技法・材料・概念の変遷を考察し,現代の日本画に対する理解を深める。	対面
YAE1022	素描基礎演習2	2	2.0	1・2	秋C	火・金4,5	仏山 輝美,程塚 敏明,福満 正志郎,山本 浩之,諏訪 智美,星 美加	静物をモティーフとした素描(木炭または鉛筆)により,基礎的な表現力と創造的な感覚を養う。各課題の終了後,テーマのチェック及び講評を行う。	人数制限あり 実務経験教員 対面
YAE1112	日本画基礎演習1	2	2.0	1・2	春AB	火5,6	程塚 敏明	モチーフ(リンゴ)の細密写生を基に、水干絵具による日本画制作を行う。日本画材料に対する基礎的知識・技能を養う。	人数制限あり 実務経験教員 対面
YAE1122	日本画基礎演習2	2	2.0	1・2	秋AB	火5,6	程塚 敏明	モチーフ(鳥の剥製)の細密写生を基に、水干絵具・岩絵具による日本画制作を行う。日本画材料に対する基礎的知識・技能を養う。	人数制限あり 実務経験教員 対面
YAF1011	彫塑概論	1	1.0	1・2	秋AB	火1	宮坂 慎司	彫塑の意義,特質その他彫塑全般について専門的立場から,その概要を理論的に解明する。意義については語義から説き,造形的具体的な面からの解明を加え,その造形性・造形要素等に触れ,彫塑に対する認識を深める。	対面
YAF1012	彫塑基礎演習1	2	2.0	1・2	春AB	火5,6	宮坂 慎司,大原 央聡,川島 史也	人物モデルを使用し塑造による頭像を制作する。	人数制限あり 実務経験教員 対面
YAF1022	彫塑基礎演習2	2	2.0	1・2	秋AB	火5,6	川島 史也,大原 央聡,宮坂 慎司	木彫による小作品制作を行い、立体に対する観察力と素材への理解を深め、基礎的な立体造形力を養う。	人数制限あり 実務経験教員 対面
YAF1032	彫塑基礎演習3	2	2.0	1・2	春AB	木5,6	宮坂 慎司,大原 央聡	塑造による小品制作を通して立体に対する観察力,認識力を深め基礎的な立体造形力を養う。また粘土原形から石膏に移しかえる石膏型取り技法についても習得する。	人数制限あり 実務経験教員 対面
YAG1011	書概論	1	1.0	1・2	春AB	金6	菅野 智明	書の意義や芸術性,中日書道の歴史を概説し,表現・鑑賞など学書の範囲や特性についても講述する。	対面
YAG1012	書基礎演習I-1	2	2.0	1・2	春AB	金4,5	尾川 明穂,髙橋 佑太	漢字と仮名の古典的名跡を学び、実作面における基礎力の育成をめざす。	人数制限あり 実務経験教員 対面
YAG1022	書基礎演習I-2	2	1.0	1・2	春C	随時	尾川 明穂	仮名の古典的名跡を学び、実作面における基礎力の養成をめざす。	人数制限あり 実務経験教員 対面
YAH1011	工芸概論	1	1.0	1・2	秋AB	木4	齋藤 敏寿	人類がモノを創造してきた歴史的背景からの洞察を加えながら,工藝(craft)の特性、意匠、機能、材料等の基礎的な成り立ちについて陶磁を中心に概説する。	実務経験教員 対面
YAH1012	工芸基礎演習(ガラス)	2	2.0	1・2	夏季休業中	随時	勝川 夏樹	ガラス素材を扱う基礎的な技法であるキルンキャスティング技法を用いて、作品制作を行う。	実務経験教員 対面 人数制限あり(10名程度)
YAH1022	工芸基礎演習(陶磁)	2	2.0	1・2	秋AB	火5,6	齋藤 敏寿	土が陶に変化することから成り立つ造形の可能性を、素材の発見から熱による物質の変容を体感する演習を行う。	人数制限あり24名程度まで 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YAJ1011	総合造形概論	1	1.0	1・2	春AB	火1	村上 史明,小野 裕子,東 弘一郎	総合造形の視点を元にした現代アート表現における、造形制作、平面表現、環境的造形、及びメディア的展開、インスタレーションアート、空間、時間、人間から成るパフォーマンスアートなどの多様な制作研究について概説する。	実務経験教員 対面
YAJ1022	立体加工基礎演習	2	2.0	1・2	春AB	木5,6	小野 裕子	立体加工の諸技法の内「シリコーンゴム・樹脂」をとり上げ,その素材の特質などを作品制作を通して理解しながら,造形感覚とスキルを養う。	人数制限あり(25名) 初日から参加必須。 実務経験教員 対面
YAK1011	構成概論	1	1.0	1・2	春AB	木4	山本 早里	構成の成立した背景と発展及び現代のアートやデザインとの関わりを造形の諸要素や秩序、表現性から捉え構成学を概説する。	実務経験教員 対面
YAK1012	構成基礎演習	2	1.0	1	春B	金3,4	上浦 佑太	アクリル絵の具による平面構成やケント紙を使った立体構成などを通して、色・形の基本的なバランス感覚を養う。	実務経験教員 対面
YAL1011	ビジュアルデザイン概論	1	1.0	1・2	秋AB	火1	田中 佐代子	タイプフェイス、タイポグラフィ、レイアウト、配色、ブックデザイン、エディトリアルデザイン、著作権など、現代のグラフィックデザインに関する基本的な知識を、様々な事例を紹介しながら講述する。	芸術専門学群と総合学域群の学生に限る. 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
YAL1012	グラフィックツール基礎演習	2	1.0	1・2	春C	木5,6	マクラウド ギャリー ロデリック	Adobe Creative Suiteの使用方法を4つの制作課題を通じて学ぶ。	芸術専門学群の交換留学生が受講可能。人数制限あり。英語で授業。 英語で授業。 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
YAL1022	デジタル写真基礎演習	2	1.0	1 - 4	春A	火5,6	マクラウド ギャリー ロデリック	デジタルカメラ（手動コントロール付き）を使用して、ライティングなどの基本的な撮影テクニックを学びます。画像処理についても学びます。	デジタルーカメラを所有していること(購入機材については初回のガイダンスで説明する). 英語で授業。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
YAN1011	情報・プロダクトデザイン概論	1	1.0	1・2	春C	火1,2	小山 慎一,伊藤 節,李 昇姫,内山 俊朗,山田 博之,包 索米亜	デザインの歴史、概念、適用範囲、経済社会との関係、について概説する。特に、情報デザインの観点から、コミュニケーションや道具やシステムの操作、また、製造物の設計や製造物を通じたデザイナーと社会の関わりについて、デザインの様々な事例を取り上げ,文化的側面と技術的側面から,その概念と今日的課題についても講述する。	実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
YAN1012	レンダリング基礎演習	2	1.0	1	春B	木5,6	山田 博之	スケッチ、作図の基本テクニックを体得し、魅力的なプレゼンテーション表現についての演習を行う。	実務経験教員 対面
YAP1011	環境デザイン概論	1	1.0	1・2	春AB	金3	野中 勝利,橋本 剛	人間を取り巻く生活空間を包括的に対象とする環境デザインについて,その成り立ち,対象,範囲,背景,設計,計画の方法などについて総合的に講述する。	実務経験教員 対面
YAP1012	プレゼンテーション基礎演習	2	1.0	1・2	春A	木5,6	菅野 圭祐	デザインの意図を効果的に表現するための技法について学習する。屋内外空間を対象として住環境の観察力や理解力と表現力を養い、スケッチ・透視図・平面図・配置図・立面図・立体図などの作図技法を習得する。	実務経験教員 対面
YAQ1011	建築デザイン概論	1	1.0	1・2	秋AB	金3	花里 俊廣,山田 協太	建築デザインに関する基礎的な理解を促すために、様々な話題を取り上げ、そこに込められた意味を探る。	対面
YAQ1012	建築製図基礎演習	2	1.0	1・2	秋C	火5,6	加藤 研	名作住宅の平面図、断面図、立面図のトレース図面、模型を制作する。	芸術専門学群生に限る。 実務経験教員 対面
YAX1011	芸術キャリア教育	1	1.0	2・3	春C 夏季休業中	水1,2 集中	内山 俊朗	本学におけるキャリア支援について理解するとともに、芸術におけるキャリア形成について学び、将来の自分像についてのキャリアデザインを考える。	2019年度入学以降の芸術専門学群生に限る。 オンライン(同時双方向型)
YAX1601	世界遺産学入門	1	1.0	2	春AB	火2	上北 恭史,八木 春生,黒田 乃生,松井 敏也,下田 一太,伊藤 弘,池田 真利子,飯田 義彦,肥後 時尚,三ツ井 聡美,澤田 聖人	ユネスコ総会における世界遺産条約の採択(1972年)から50年が経過し,世界遺産を取り巻く保護・保存は刻々と変化してきています。本講義は,導入として世界遺産条約のフレームワークや仕組みを自然遺産,文化遺産双方の視点から学習する総論と,文化遺産・自然遺産の登録サイト内外で実施する最新の学術調査・研究・理論を学ぶ各論から構成されています。 履修生は,複数の講義回に関してレポート課題を提出することが求められます。	対面
YAX2011	アート&デザイン入門	1	1.0	1・2	春BC	月2	川島 史也,寺門 臨太郎,石﨑 和宏,仏山 輝美,齋藤 敏寿,野中 勝利	造形表現および理論研究における各専門領域から、アートとデザインの世界について講述する。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YAX2021	芸術と文化	1	1.0	1・2	秋AB	月1	山本 浩之,水野 裕史,武田 一文,福満 正志郎,田島 直樹,大原 央聡,菅野 智明,上浦 佑太,宮原 克人,小野 裕子	芸術における歴史・理論研究、創作活動を実践的に行う専門領域の視点から、文化としての役割について講述する。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
YAX2031	芸術と社会	1	1.0	1・2	秋AB	月2	直江 俊雄,山田 博之,山田 協太,加藤 研,菅野 圭祐,大友 邦子,原 忠信,林 みちこ	芸術における社会的役割について、教育・デザインを通じての多様な活動と可能性について講述する。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
YAX3132	英語基礎演習(芸術)A-1	2	1.0	2 - 4	春ABC	月3	サカイ ロドリゲス オスカル エデュアルド	Students will focus on developing their communication skills through the lens of the arts. Emphasis will be placed on describing artwork, discussing artistic concepts, and presenting ideas clearly and confidently.	英語で発表する能力を育成する。This course is in English. 英語で授業。 対面を基本とする。
YAX3142	英語基礎演習(芸術)A-2	2	1.0	2 - 4	秋ABC	月3	サカイ ロドリゲス オスカル エデュアルド	Students will focus on developing their communication skills through the lens of the arts. Emphasis will be placed on describing artwork, discussing artistic concepts, and presenting ideas clearly and confidently.	英語で発表する能力を育成する。This course is in English. 英語で授業。 対面を基本とする。
YAX3152	英語基礎演習(芸術)B-1	2	1.0	2 - 4	春ABC	水3	サカイ ロドリゲス オスカル エデュアルド	Students will focus on developing their communication skills through the lens of the arts. Emphasis will be placed on describing artwork, discussing artistic concepts, and presenting ideas clearly and confidently.	英語で発表する能力を育成する。This course is in English. 英語で授業。 対面を基本とする。
YAX3162	英語基礎演習(芸術)B-2	2	1.0	2 - 4	秋ABC	水3	サカイ ロドリゲス オスカル エデュアルド	Students will focus on developing their communication skills through the lens of the arts. Emphasis will be placed on describing artwork, discussing artistic concepts, and presenting ideas clearly and confidently.	英語で発表する能力を育成する。This course is in English. 英語で授業。 対面 対面を基本とする。
YAX3172	英語基礎演習(芸術)C-1	2	1.0	2 - 4	春ABC	木6	サカイ ロドリゲス オスカル エデュアルド	Students will focus on developing their communication skills through the lens of the arts. Emphasis will be placed on describing artwork, discussing artistic concepts, and presenting ideas clearly and confidently.	英語で発表する能力を育成する。This course is in English. 英語で授業。 対面を基本とする。
YAX3182	英語基礎演習(芸術)C-2	2	1.0	2 - 4	秋ABC	木6	サカイ ロドリゲス オスカル エデュアルド	Students will focus on developing their communication skills through the lens of the arts. Emphasis will be placed on describing artwork, discussing artistic concepts, and presenting ideas clearly and confidently.	英語で発表する能力を育成する。This course is in English. 英語で授業。 対面を基本とする。
YAZ1211	美術史概説A-1	1	1.0	1				古代から初期キリスト教時代にいたる西洋美術史における様式の変遷と基礎的な概念を概説する。	西暦奇数年度開講。 対面
YAZ1221	美術史概説A-2	1	1.0	1	春AB	火2	寺門 臨太郎	中世から近世にかけての西洋美術史における様式の変遷と基礎的な概念を概説する。	西暦偶数年度開講。 対面
YAZ1311	美術史概説B-1	1	1.0	1				飛鳥時代から江戸時代にいたる日本美術史における様式の変遷と基礎的な概念を概説する。	西暦奇数年度開講。 対面
YAZ1321	美術史概説B-2	1	1.0	1	秋AB	火2	八木 春生	インドおよび中国の仏教美術史と飛鳥時代から奈良時代にいたる日本美術史における様式の変遷と基礎的な概念を概説する。	Courses begin in even-numbered years of the Western calendar year. Face to face 西暦偶数年度開講。 対面
YAZ1411	デザイン史概説A	1	1.0	1	春AB	火2	杉崎 広空	建築を軸としながら、情報、プロダクト、ビジュアルにかかわるデザインの歴史を概説する。	対面
YAZ1421	デザイン史概説B	1	1.0	1	秋AB	火2	山田 協太	建築を軸としながら、情報、プロダクト、ビジュアルにかかわるデザインの歴史を概説する。	対面

専門科目(美術史領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBA0231	美術史特講A-1	1	1.0	2・3				日本美術史上の具体的作例について多面的に講述する。	西暦奇数年度開講。 対面
YBA0241	美術史特講A-2	1	1.0	2・3				日本美術史上の具体的作例について多面的に講述する。	西暦奇数年度開講。 対面
YBA0251	美術史特講B-1	1	1.0	2・3	春AB	火4	黄 士誠,林 みちこ	近・現代美術史に関する特定のテーマについての講述。	西暦偶数年度開講。
YBA0261	美術史特講B-2	1	1.0	2・3	秋AB	火4	林 みちこ	近・現代美術史に関する特定のテーマについての講述。	西暦偶数年度開講。 対面
YBA0331	美術史特講C-1	1	1.0	2・3				西洋近世・近代美術史に関する特定のテーマについての講述。	西暦奇数年度開講。 対面
YBA0341	美術史特講C-2	1	1.0	2・3				西洋近世・近代美術史に関する特定のテーマについての講述。	西暦奇数年度開講。 対面
YBA0351	美術史特講D-1	1	1.0	2・3	春AB	木4	武田 一文	西洋中世美術史に関する特定のテーマについての講述。	西暦偶数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBA0361	美術史特講D-2	1	1.0	2・3	秋AB	木4	武田 一文	西洋中世美術史に関する特定のテーマについての講述。	西暦偶数年度開講。 対面
YBA0381	アート・テクスト論	1	1.0	2・3	春AB	月5	林 みちこ	視覚芸術を言語化するという美術史学の基本をふまえた、アートと言葉に関する特定課題の考察。	2026年度をもって閉講。 西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
YBA0512	美術史演習A-1	2	2.0	2・3				近・現代美術史に関する文献の講読および関連テーマについての個別研究発表。	西暦奇数年度開講。 対面
YBA0522	美術史演習A-2	2	2.0	2・3				近・現代美術史に関する文献の講読および関連テーマについての個別研究発表。	西暦奇数年度開講。 対面
YBA0532	美術史演習B-1	2	2.0	2・3	春AB 春C	火5 火4,5	水野 裕史	日本美術史に関する文献の講読および関連テーマについての個別研究発表。	西暦偶数年度開講。 対面
YBA0542	美術史演習B-2	2	2.0	2・3	秋AB 秋C	火5 火4,5	水野 裕史	日本美術史に関する文献の講読および関連テーマについての個別研究発表。	西暦偶数年度開講。 対面
YBA0632	美術史演習C-1	2	2.0	2・3				西洋中世美術史に関する文献講読および関連テーマについての個別研究発表。	西暦奇数年度開講。 対面
YBA0642	美術史演習C-2	2	2.0	2・3				西洋中世美術史に関する文献講読および関連テーマについての個別研究発表。	西暦奇数年度開講。 対面
YBA0652	美術史演習D-1	2	2.0	2・3	春AB 春C	木5 木4,5	寺門 臨太郎	西洋近世・近代美術史に関する文献の購読および関連テーマについての個別研究発表。	西暦偶数年度開講。 対面
YBA0662	美術史演習D-2	2	2.0	2・3	秋AB 秋C	木5 木4,5	寺門 臨太郎	西洋近世・近代美術史に関する文献の購読および関連テーマについての個別研究発表。	西暦偶数年度開講。 対面
YBA0734	美術史文献学-1	4	2.0	2・3	秋AB 秋C	月5 月5,6	武田 一文	美術史研究を進めるうえで求められる外国語による文献の実践的な扱い方に関する講述と演習。	西暦偶数年度開講。 対面 2026年度をもって閉講。
YBA0932	学外演習I(美術史)	2	2.0	2	通年	随時	寺門 臨太郎,林 みちこ,水野 裕史,武田 一文	美術作品や歴史的建築物などを実地において観察し、美術史の調査・研究の基本的な方法を演習する。	対面
YBA0942	学外演習II(美術史)	2	2.0	3	通年	随時	寺門 臨太郎,林 みちこ,水野 裕史,武田 一文	美術作品や歴史的建築物などを実地において観察し、美術史の調査・研究の基本的な方法を演習する。	対面
YBA9017	美術史領域研究I	7	1.0	2	通年	随時	寺門 臨太郎,林 みちこ,水野 裕史,武田 一文	美術史領域の論文作成を視野に入れた年次ごとの学習計画についてのガイダンスと演習指導。美術史領域特別演習Iの「卒業研究計画報告会」、美術史領域特別演習IIの「第2回卒業論文中間報告会」等への聴講参加。	対面
YBA9027	美術史領域研究II	7	1.0	3	春ABC	随時	寺門 臨太郎,林 みちこ,水野 裕史,武田 一文	美術史領域の論文作成を視野に入れた年次ごとの学習計画についてのガイダンスと演習指導。美術史領域特別演習IIの「第1回卒業論文中間報告会」等への聴講参加。	対面
YBA9037	美術史領域特別演習I	7	1.0	3	秋ABC	随時	寺門 臨太郎,林 みちこ,水野 裕史,武田 一文	美術史に関する各自が設定したテーマによる個別または,集団による研究指導。卒業研究計画報告会(11月)における発表。	・美術史領域を希望する学生 ・いずれかの領域研究I,II(美術史領域のものが望ましい)を履修済みで、専門科目(YBA)を10単位程度取得していることが望ましい。事前に担当教員に相談する事。 対面 ・TOEICR IPテストの受験必須 ・自己達成度評価をおこなうこと。
YBA9047	美術史領域特別演習II	7	1.0	4	春ABC	随時	寺門 臨太郎,林 みちこ,水野 裕史,武田 一文	美術史に関する各自が設定したテーマによる個別または,集団による論文指導。第1回卒業論文中間報告会(6月)における発表。	美術史領域の学生に限る 対面
YBA9057	美術史領域特別演習III	7	1.0	4	秋ABC	随時	寺門 臨太郎,林 みちこ,水野 裕史,武田 一文	美術史に関する各自が設定したテーマによる個別または集団による論文指導。卒業論文中間報告会(11月)における発表。	美術史領域の学生に限る。 対面 芸術専門学群が実施する卒業制作展等において成果発表をおこなうこと。
YBA9918	卒業研究A(美術史領域)	8	3.0	4	春ABC	随時	寺門 臨太郎,林 みちこ,水野 裕史,武田 一文	美術史に関する卒業論文。	美術史領域の学生に限る。卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 対面
YBA9928	卒業研究B(美術史領域)	8	3.0	4	秋ABC	随時	寺門 臨太郎,林 みちこ,水野 裕史,武田 一文	美術史に関する卒業論文。	美術史領域の学生に限る。卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 対面

専門科目(芸術支援領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBB0311	芸術表現と支援ツール-1	1	1.0	2・3	春AB	木3	石﨑 和宏	美術館や学校において芸術表現を支援するツールの広がりを概観し、それらの目的や観点、方法を考察して試作支援ツールを開発する。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
YBB0321	芸術表現と支援ツール-2	1	1.0	2・3	秋AB	木3	石﨑 和宏	美術館や学校において芸術表現を支援するツールの広がりを概観し、それらの目的や観点、方法を考察して試作支援ツールを開発する。	西暦偶数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBB0411	芸術学習のサポートとケア-1	1	1.0	2・3				学校教育・美術館教育・生涯学習などの様々な環境における芸術学習を支援するプログラムを立案・実行するための理論と方法を、主に講義を通して学ぶ。	西暦奇数年度開講。 対面
YBB0421	芸術学習のサポートとケア-2	1	1.0	2・3				学校教育・美術館教育・生涯学習などの様々な環境における芸術学習を支援するプログラムを立案・実行するための理論と方法を、主に講義と演習を通して学ぶ。	西暦奇数年度開講。 対面
YBB0511	芸術とウェルビーイング-1	1	1.0	2・3	春AB	木1	吉田 奈穂子	芸術活動を通したウェルビーイングの実現に関する講義を主に行う。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
YBB0521	芸術とウェルビーイング-2	1	1.0	2・3	秋AB	木1	吉田 奈穂子	芸術活動を通したウェルビーイングの実現に関する講義を主に行う。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
YBB0711	芸術鑑賞と支援ツール-1	1	1.0	2・3				美術館や学校において芸術鑑賞を支援するツールの広がりを概観し、それらの目的や観点、方法を考察して試作支援ツールを開発する。	西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
YBB0721	芸術鑑賞と支援ツール-2	1	1.0	2・3				美術館や学校において芸術鑑賞を支援するツールの広がりを概観し、それらの目的や観点、方法を考察して試作支援ツールを開発する。	西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
YBB0811	クリエイティブ・アート・ライティング-1	1	1.0	2・3	春AB	水1	直江 俊雄	芸術体験を言葉で伝えあう活動について学び、制作、研究、教育等における芸術支援の基礎となる能力を養う。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
YBB0821	クリエイティブ・アート・ライティング-2	1	1.0	2・3	秋AB	水1	直江 俊雄	芸術体験を言葉で伝えあう活動について学び、制作、研究、教育等における芸術支援の基礎となる能力を養う。	西暦偶数年度開講。 対面
YBB0832	芸術支援学演習A-I	2	1.0	1・2	秋ABC	随時	直江 俊雄,吉田 奈穂子	芸術支援に関する演習を行う。	対面(オンライン併用型)
YBB0842	芸術支援学演習A-II	2	1.0	2・3	秋ABC	随時	直江 俊雄,吉田 奈穂子	芸術支援に関する演習を行う。	対面(オンライン併用型)
YBB0852	芸術支援学演習B-I	2	1.0	1・2	秋ABC	随時	直江 俊雄,吉田 奈穂子	芸術支援に関する演習を行う。	対面(オンライン併用型)
YBB0862	芸術支援学演習B-II	2	1.0	2・3	秋ABC	随時	直江 俊雄,吉田 奈穂子	芸術支援に関する演習を行う。	対面(オンライン併用型)
YBB0872	芸術支援学演習C-I	2	1.0	1・2	秋ABC	随時	直江 俊雄,吉田 奈穂子	芸術支援に関する演習を行う。	対面
YBB0882	芸術支援学演習C-II	2	1.0	2・3	秋ABC	随時	直江 俊雄,吉田 奈穂子	芸術支援に関する演習を行う。	対面
YBB0912	学外演習A-I(芸術支援学)	2	1.0	1・2	通年	随時	石﨑 和宏,直江 俊雄,吉田 奈穂子	現代社会における芸術支援の事例を実地に調査する。	対面
YBB0922	学外演習A-II(芸術支援学)	2	1.0	2・3	通年	随時	石﨑 和宏,直江 俊雄,吉田 奈穂子	現代社会における芸術支援の事例を実地に調査する。	対面
YBB0932	学外演習A-III(芸術支援学)	2	1.0	3・4	通年	随時	石﨑 和宏,直江 俊雄,吉田 奈穂子	現代社会における芸術支援の事例を実地に調査する。	対面
YBB0942	学外演習B-I(芸術支援学)	2	1.0	1・2	通年	随時	石﨑 和宏,直江 俊雄,吉田 奈穂子	芸術支援に関わる実践と研究の現場を調査し、テーマを決めて考察を行う。	対面(オンライン併用型)
YBB0952	学外演習B-II(芸術支援学)	2	1.0	2・3	通年	随時	石﨑 和宏,直江 俊雄,吉田 奈穂子	芸術支援に関わる実践と研究の現場を調査し、テーマを決めて考察を行う。	対面(オンライン併用型)
YBB0962	学外演習B-III(芸術支援学)	2	1.0	3・4	通年	随時	石﨑 和宏,直江 俊雄,吉田 奈穂子	芸術支援に関わる実践と研究の現場を調査し、テーマを決めて考察を行う。	対面(オンライン併用型)
YBB1112	芸術支援学演習A-III	2	1.0	3・4	秋ABC	随時	直江 俊雄,吉田 奈穂子	芸術支援に関する演習を行う。	対面(オンライン併用型)
YBB1122	芸術支援学演習B-III	2	1.0	3・4	秋ABC	随時	直江 俊雄,吉田 奈穂子	芸術支援に関する演習を行う。	対面(オンライン併用型)
YBB1132	芸術支援学演習C-III	2	1.0	3・4	秋ABC	随時	直江 俊雄,吉田 奈穂子	芸術支援に関する演習を行う。	対面
YBB1142	美術館教育演習I	2	1.0	1・2	秋ABC	随時	直江 俊雄,吉田 奈穂子	美術館教育に関する演習を行う。	対面(オンライン併用型)
YBB1152	美術館教育演習II	2	1.0	2・3	秋ABC	随時	直江 俊雄,吉田 奈穂子	美術館教育に関する演習を行う。	対面(オンライン併用型)
YBB1162	美術館教育演習III	2	1.0	3・4	秋ABC	随時	直江 俊雄,吉田 奈穂子	美術館教育に関する演習を行う。	対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBB9017	芸術支援領域研究I	7	1.0	2	通年	随時	石﨑 和宏,直江 俊雄,吉田 奈穂子	ガイダンス、卒業論文中間発表会等への参加などを通して、芸術支援領域における研究に向けてた指導を行う。	対面
YBB9027	芸術支援領域研究II	7	1.0	3	春ABC	随時	石﨑 和宏,直江 俊雄,吉田 奈穂子	ガイダンス、卒業論文中間発表会等への参加などを通して、芸術支援領域における研究に向けてた指導を行う。	対面
YBB9037	芸術支援領域特別演習I	7	1.0	3	秋ABC	随時	石﨑 和宏,直江 俊雄,吉田 奈穂子	芸術支援領域における卒業研究に向けた研究計画の指導を行う。	・芸術支援領域を希望する学生 ・いずれかの領域研究I,II(芸術支援領域のものが望ましい)を履修済みで、専門科目(YBB)を10単位程度取得していることが望ましい。事前に担当教員に相談する事。 実務経験教員 対面 ・TOEICR IPテストの受験必須 ・自己達成度評価をおこなうこと。
YBB9047	芸術支援領域特別演習II	7	1.0	4	春ABC	随時	石﨑 和宏,直江 俊雄,吉田 奈穂子	芸術支援領域における卒業研究の指導を行う。	芸術支援領域の学生に限る 対面
YBB9057	芸術支援領域特別演習III	7	1.0	4	秋ABC	随時	石﨑 和宏,直江 俊雄,吉田 奈穂子	芸術支援領域における卒業研究の指導を行う。	芸術支援領域の学生に限る。 対面 芸術専門学群が実施する卒業制作展等において成果発表をおこなうこと。
YBB9918	卒業研究A(芸術支援領域)	8	3.0	4	春ABC	随時	石﨑 和宏,直江 俊雄,吉田 奈穂子	芸術支援に関わる卒業論文の執筆。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 対面
YBB9928	卒業研究B(芸術支援領域)	8	3.0	4	秋ABC	随時	石﨑 和宏,直江 俊雄,吉田 奈穂子	芸術支援に関わる卒業論文の執筆。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 対面

専門科目(洋画領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBC0301	洋画構想論	1	1.0	2・3	秋AB	金1	福満 正志郎	洋画の作品制作における構想について,総論及び各論を解説する。制作の基幹となる構想の意味を考え,その契機,様態,発想法における柔軟で幅広い構想力について具体的作例にふれながら解説する。洋画コース必修。3年次に,油絵実習I,洋画技法演習と平行履修することが望ましい。	対面
YBC0402	油絵基礎技法演習	2	2.0	2	春AB	火2,3	福満 正志郎	各種描画用支持体の作製をとおして,材料・技法に関する基本的知識・技能を養う。	実務経験教員 対面
YBC0533	デッサン実習I-1	3	1.0	1	春AB	金4,5	仏山 輝美,山本 浩之	石膏像をモチーフに,対象を明暗によって表現する素描に取り組む。物の見方,形態,構造,調子,動勢,空間と量感,質感などの基本的な造形要素を把握し基礎的描画力を養う。存在そのものの感動的な美を感じ,意欲的に制作する態度を培う。	芸術専門学群の学生(主に洋画、版画、日本画、彫塑)を受講対象に想定した専門科目である。例年受講者が多く適切な学習スペースの確保に苦慮していることもあり、他領域および他学類・学群の受講希望者については受講を制限している。 対面
YBC0543	デッサン実習I-2	3	1.0	1	秋AB	金4,5	仏山 輝美,山本 浩之	人体をモチーフに,対象を明暗によって表現する素描に取り組む。物の見方,形態,構造,調子,動勢,空間と量感,質感などの基本的な造形要素を把握し基礎的描画力を養う。存在そのものの感動的な美を感じ,意欲的に制作する態度を培う。	「デッサン実習I-1」を履修済みのこと。 対面
YBC0553	油絵基礎実習	3	1.0	2	秋AB	火2,3	福満 正志郎	裸婦モデルの写生を通して,油絵の基礎的な表現技術の修得と,用具・材料の取扱いに対して理解を深めることを目標とする。	「油絵基礎技法演習」を履修済みのこと 実務経験教員 対面
YBC0612	洋画技法演習1	2	2.0	3	春AB	金2,3	星 美加	種々の絵画技法を通じて、西洋画の技法の原理について深く理解することを目標とする。	「油絵基礎技法演習」、「油絵基礎実習」、「洋画技法論」もしくは「絵画技法論」を履修済であること。「油彩画実習」と並行履修すること。 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBC0613	デッサン実習II-A-1	3	1.0	2	春AB	火4,5	福満 正志郎,星 美加	木炭又は鉛筆による石膏像及び人体の写生を主とする素描訓練を通して,観察力と造形感覚の向上をはかり,絵画表現の基礎技術の習得を目標とする。	対面
YBC0622	洋画技法演習2	2	2.0	3	秋AB	金2,3 随時	仏山 輝美	洋画技法演習1を踏まえ、西洋画の技法の原理について深く理解することを目標とする。フレスコ画技法を学ぶ。	「油絵基礎技法演習」、「油絵基礎実習」、「洋画技法論」もしくは「絵画技法論」、「洋画技法演習1」を履修済であること。「油彩画実習」と並行履修すること。 実務経験教員 対面
YBC0623	デッサン実習II-B-1	3	1.0	2	春AB	金5,6	星 美加,福満 正志郎	木炭または鉛筆による石膏像及び人体の素描写生を通して,造形の基本となる形態,明暗,量,質,空間についての観察力と造形感覚を養い,絵画表現の基礎技術を習得させる。原則として2年次履修。課題毎に作品提出し,評価と講評を受けること。	課題毎に作品提出し,評価と講評を受けること。 対面
YBC0683	デッサン実習II-A-2	3	1.0	2	秋AB	火4,5	福満 正志郎	木炭又は鉛筆による石膏像及び人体の写生を主とする素描訓練を通して,観察力と造形感覚の向上をはかり,絵画表現の基礎技術の習得を目標とする。	デッサン実習II-A-1を履修済みのこと。 対面
YBC0703	デッサン実習II-B-2	3	1.0	2	秋AB	金5,6		木炭、鉛筆、その他描画材による静物及び人体の素描写生を通して,造形の基本となる形態,明暗,量,質,空間についての観察力と造形感覚を養い,絵画表現の基礎技術を習得させる。	デッサン実習II-B-1を履修済みのこと。 実務経験教員 対面
YBC0913	洋画野外風景実習II	3	1.0	3	通年	随時	福満 正志郎,仏山 輝美,星 美加,湯澤 美麻	学外実習として,約1週間,特定の写生地に宿泊して,野外風景実習の1の成果をさらに深めるための実地指導を行う。	洋画領域対象 実務経験教員 対面
YBC0923	洋画野外風景実習III	3	1.0	4	通年	随時	福満 正志郎,仏山 輝美,星 美加,湯澤 美麻	学外実習として,約1週間,特定の写生地に宿泊して,野外風景表現の実地指導を行う。	洋画領域対象 実務経験教員 対面
YBC1013	油絵実習II-A-1	3	1.0	4	春AB	月4,5	星 美加	人体モデル等による実習を通して,それぞれの感性を生かしながら,形態の追求や専門的技術の習熟を図り,自らの表現の方向を追求する。	実務経験教員 対面
YBC1023	油絵実習II-A-2	3	1.0	4	春C秋A	月4,5	星 美加	人体モデル等による実習を通して,それぞれの感性を生かしながら,形態の追求や専門的技術の習熟を図り,自らの表現の方向を追求する。また卒業研究に基づく制作を行う。	「油絵実習II-A-1」を履修済みであること 実務経験教員 対面
YBC1033	油絵実習II-B-1	3	1.0	4	春AB	火2,3	湯澤 美麻	人体モデル等による実習を通して,調子・空間・動勢等の画面に於ける働きを理解し制作する表現力を養う。自己の表現に適する素材や技法を模索し,独自で普遍性のある表現に達する糸口を見出す。	実務経験教員 対面
YBC1043	油絵実習II-B-2	3	1.0	4	春C秋A	火2,3	湯澤 美麻	人体モデル等による実習を通して,調子・空間・動勢等の画面に於ける働きを理解し制作する表現力を養う。自己の表現に適する素材や技法を模索し,独自で普遍性のある表現に達する糸口を見出す。また卒業研究に基づく制作を行う。	「油絵実習II-B-1」を履修済みであること 実務経験教員 対面
YBC1053	油絵実習II-C-1	3	1.0	4	春AB	木2,3	仏山 輝美	人体の写生を通じて、主題であるモデルとそれをとり巻く場景をいかに絵画に表すかについて学ぶ。特に形態と色彩の連関に着目して画面全体の調和を構築する態度と技術を培う。	実務経験教員 対面
YBC1063	油絵実習II-C-2	3	1.0	4	春C秋A	木2,3	仏山 輝美	人体の写生を通じて、主題であるモデルとそれをとり巻く場景をいかに絵画に表すかについて学ぶ。特に形態と色彩の連関に着目して画面全体の調和を構築する態度と技術を培う。また卒業研究に基づく制作を行う。	「油絵実習II-C-1」を履修済みであること 実務経験教員 対面
YBC1073	油絵実習II-D-1	3	1.0	4	春AB	金2,3	福満 正志郎	人体モデルや各種のモチーフを基に油彩画等による制作実習を通して自らの表現の方向を見いだし,想像力を高め,美的感覚と技法を洗練し,絵画的造形要素を表現の意図に沿って適切に用いる個性的な作品制作の能力を養う。	実務経験教員 対面
YBC1083	油絵実習II-D-2	3	1.0	4	春C秋A	金2,3	福満 正志郎	人体モデルや各種のモチーフを基に油彩画等による制作実習を通して自らの表現の方向を見いだし,想像力を高め,美的感覚と技法を洗練し,絵画的造形要素を表現の意図に沿って適切に用いる個性的な作品制作の能力を養う。また卒業研究に基づく制作を行う。	「油絵実習II-D-1」を履修済みであること 実務経験教員 対面
YBC1313	油彩画実習A-1	3	1.0	3	春AB	月2,3	星 美加	人体モデルによる実習を通して,生命感に満ちた形態の追求やそれに伴う専門的技術の習得を図る。	実務経験教員 対面 2023年度までのYBC1113油彩画実習I-A-1に相当, 旧科目履修者履修不可.
YBC1322	油彩画演習A-1	2	1.0	3	春C	月2,3	星 美加	油彩画の技法に関する演習をおこなう。	油彩画実習 A-1を履修済のこと 実務経験教員 対面 2023年度までのYBC1123油彩画演習I-A-1に相当, 旧科目履修者履修不可.

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBC1333	油彩画実習 A-2	3	1.0	3	秋AB	月2,3		人体モデルによる実習を通して,生命感に満ちた形態の追求やそれに伴う専門的技術の習得を図る。	実務経験教員 対面 2023年度までのYBC1133油彩画実習I-A-2に相当, IB科目履修者履修不可.
YBC1342	油彩画演習 A-2	2	1.0	3	秋C	月2,3		油彩画の技法に関する演習をおこなう。	油彩画実習 A-2を履修済のこと 実務経験教員 対面 2023年度までのYBC1143油彩画演習I-A-2に相当, IB科目履修者履修不可.
YBC1353	油彩画実習 B-1	3	1.0	3	春AB	火4,5	湯澤 美麻	人体モデルによる実習を通して、生命感に満ちた形態の追求やそれに伴う専門的技術の習得を図る。原則として3年次履修。課題作品を提出し講評を受けること。	実務経験教員 対面 2023年度までのYBC1153油彩画実習I-B-1に相当, IB科目履修者履修不可.
YBC1362	油彩画演習 B-1	2	1.0	3	春C	火4,5	湯澤 美麻	油彩画の技法に関する演習をおこなう。	油彩画実習I-B-1を履修済のこと 実務経験教員 対面 2023年度までのYBC1163油彩画演習I-B-1に相当, IB科目履修者履修不可.
YBC1373	油彩画実習 B-2	3	1.0	3	秋AB	火4,5	湯澤 美麻	人体モデルによる実習を通して、生命感に満ちた形態の追求やそれに伴う専門的技術の習得を図る。原則として3年次履修。課題作品を提出し講評を受けること。	実務経験教員 対面 2023年度までのYBC1173油彩画実習I-B-2に相当, IB科目履修者履修不可.
YBC1382	油彩画演習 B-2	2	1.0	3	秋C	火4,5	湯澤 美麻	油彩画の技法に関する演習をおこなう。	油彩画実習 B-2を履修済のこと 実務経験教員 対面 2023年度ま
YBC1393	油彩画実習 C-1	3	1.0	3	春AB	木4,5	仏山 輝美	主に人体モデルを描く油彩画制作実習を通して,絵画における色彩の効果やその調和に着目した表現の手立てを修練する。また,絵具,溶き油などの使用に習熟し,油絵具の特性を活かして人体の肉感や肌の質感を表す描画力を養う。	実務経験教員 対面 2023年度までのYBC1193油彩画実習I-C-1に相当, IB科目履修者履修不可.
YBC1402	油彩画演習 C-1	2	1.0	3	春C	木4,5	仏山 輝美	油彩画の技法に関する演習をおこなう。	油彩画実習 C-1を履修済のこと 実務経験教員 対面 2023年度までのYBC1213油彩画演習I-C-1に相当, IB科目履修者履修不可.
YBC1413	油彩画実習 C-2	3	1.0	3	秋AB	木4,5	仏山 輝美	主に人体モデルを描く油彩画制作実習を通して,絵画における色彩の効果やその調和に着目した表現の手立てを修練する。また,絵具,溶き油などの使用に習熟し,油絵具の特性を活かして人体の肉感や肌の質感を表す描画力を養う。	実務経験教員 対面 2023年度までのYBC1223油彩画実習I-C-2に相当, IB科目履修者履修不可.
YBC1422	油彩画演習 C-2	2	1.0	3	秋C	木4,5	仏山 輝美	油彩画の技法に関する演習をおこなう。	油彩画実習 C-2を履修済のこと 実務経験教員 対面 2023年度までのYBC1233油彩画演習I-C-2に相当, IB科目履修者履修不可.
YBC1433	油彩画実習 D-1	3	1.0	3	春AB	金4,5	福満 正志郎	人体モデルによる実習を通して,色彩の効果や,その調和について修練し,絵具,とき油などの使用に習熟する。 また、油絵具の特性を生かして人体の肉感や肌の質感を表す描画力を養う。	実務経験教員 対面 2023年度までのYBC1243油彩画実習I-D-1に相当, IB科目履修者履修不可.
YBC1442	油彩画演習 D-1	2	1.0	3	春C	金4,5	福満 正志郎	油彩画の技法に関する演習をおこなう。	油彩画実習 D-1を履修済のこと 実務経験教員 対面 2023年度までのYBC1253油彩画演習I-D-1に相当, IB科目履修者履修不可.
YBC1453	油彩画実習 D-2	3	1.0	3	秋AB	金4,5	福満 正志郎	人体モデルによる実習を通して,色彩の効果や,その調和について修練し,絵具,とき油などの使用に習熟する。 また、油絵具の特性を生かして人体の肉感や肌の質感を表す描画力を養う。	対面 2023年度までのYBC1263油彩画実習I-D-2に相当, IB科目履修者履修不可.

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBC1462	油彩画演習 D-2	2	1.0	3	秋C	金4,5	福満 正志郎	油彩画の技法に関する演習をおこなう。	油彩画実習 D-2を履修済のこと 対面 2023年度までのYBC1273油彩画演習I-D-2に相当, 旧科目履修者履修不可.
YBC9017	洋画領域研究I	7	1.0	2	通年	随時	仏山 輝美,福満 正志郎,星 美加,湯澤 美麻	ガイダンス・面談、授業及び実習室見学。展覧会(MC展、DC展)鑑賞	実務経験教員 対面
YBC9027	洋画領域研究II	7	1.0	3	春ABC	随時	仏山 輝美,福満 正志郎,星 美加,湯澤 美麻	洋画の技法研究・自主制作を通して、今後の研究の方向性を見出し、発表・プレゼンをおこなう。	実務経験教員 対面
YBC9037	洋画領域特別演習I	7	1.0	3	秋ABC	随時	仏山 輝美,福満 正志郎,星 美加,湯澤 美麻	学内での展覧会にて作品を発表する。運営・展示作業を経験し卒展への実践力を養う。油彩画演習I・IIの作品を展示する。	・洋画領域学生を希望する学生。 ・いずれかの領域研究I,II(洋画領域のものが望ましい)を履修済で、専門科目(YBC、YBD、YBE、YBF)を10単位程度取得していることが望ましい。事前に担当教員に相談する事。 実務経験教員 対面 ・TOEICR IPテストの受験必須 ・自己達成度評価をおこなうこと。
YBC9047	洋画領域特別演習II	7	1.0	4	春ABC	随時	仏山 輝美,福満 正志郎,星 美加,湯澤 美麻	洋画領域における卒業研究の指導を行う。	洋画領域の学生に限る 実務経験教員 対面
YBC9057	洋画領域特別演習III	7	1.0	4	秋ABC	随時	仏山 輝美,福満 正志郎,星 美加,湯澤 美麻	洋画領域における卒業研究の指導を行う。	洋画領域の学生に限る。 実務経験教員 対面 芸術専門学群が実施する卒業制作展等において成果発表をおこなうこと。
YBC9918	卒業研究A(洋画領域)	8	3.0	4	春ABC	随時	仏山 輝美,福満 正志郎,星 美加,湯澤 美麻	専門に関する研究を行い、制作と論文にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 実務経験教員 対面
YBC9928	卒業研究B(洋画領域)	8	3.0	4	秋ABC	随時	仏山 輝美,福満 正志郎,星 美加,湯澤 美麻	専門に関する研究を行い、制作と論文にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 実務経験教員 対面

専門科目(版画領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBD0913	版画基礎実習I	3	1.0	2	春AB	木2,3	田島 直樹,湯澤 美麻	版画表現の基礎的な技法を修得する。 油性単色刷り木版画の彫りと摺りについて実習を行う。	原則として「版画概論」を履修していること。 実務経験教員 対面 短期留学生申請条件:人数制限あり
YBD0923	版画基礎実習II	3	1.0	2	秋AB	木2,3	田島 直樹	版画表現の基礎的な技法を修得する。 銅版画のエッチングとアクアチントについて実習を行う。	原則として「版画概論」「版画基礎実習I」を履修していること。 実務経験教員 対面 短期留学生申請条件:人数制限あり
YBD1202	リトグラフ演習	2	2.0	2・3	秋C	火・木2,3	田島 直樹	さまざまな描画材を用いた多色刷りリトグラフの実習を行う。制作プロセス、原理の理解が重要となる。	版画領域の学生に限る。「版画基礎実習I・II」を履修していること。 実務経験教員 対面
YBD1312	木版画演習I	2	2.0	3	春AB	水2,3	田島 直樹	水性絵具を用いた木版画の演習を行う。墨による摺り、回転摺りによる色の重なりに関する実験を行う。	版画領域の学生に限る。「版画基礎実習I・II」を履修していること。 実務経験教員 対面
YBD1322	木版画演習II	2	2.0	3	秋AB	水2,3	田島 直樹	複数の版のかけ合わせによる版画制作。木版画の演習を行う。色の摺り重ねによって絵を作るため,そのメカニズムの理解が大切になる。	版画領域の学生に限る。「版画基礎実習I・II」を履修していること。 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBD1332	銅版画演習I	2	2.0	3	春AB	火2,3	田島 直樹	銅版画の技法は他の版画に比較して,多岐にわたり奥深い。さまざまな銅版画の技法を学ぶことにより,技術の修得のみならず,技法によってイメージを触発され,新しい表現へと向わしめることを期す。春学期はラインエッチングによる自画像及び、様々な技法の実験制作を行う。	版画領域の学生に限る。「版画基礎実習I・II」を履修していること。 実務経験教員 対面
YBD1342	銅版画演習II	2	2.0	3	秋AB	火2,3	田島 直樹	春学期に行った技法実験の結果をもとに、秋学期は各自技法を選び、テーマを設定して自主制作するが、どちらかといえば技法に触発された表現を期待したい。	版画領域の学生に限る。「版画基礎実習I・II」を履修していること。 実務経験教員 対面
YBD1352	スクリーンプリント演習	2	2.0	2・3	春C	火・木2,3	田島 直樹	スクリーンプリントの原稿制作、感光による製版、スキージによる刷りを通して作品制作を行う。制作プロセス、原理の理解が重要となる。	版画領域の学生に限る。「版画基礎実習I」を履修していること。 実務経験教員 対面
YBD1512	版画演習A-1	2	2.0	3・4	春AB	木4,5	田島 直樹	銅版画の技法中,時間と忍耐を要するメゾチント技法を演習する。	版画領域の学生に限る。 西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
YBD1522	版画演習A-2	2	2.0	3・4	秋AB	木4,5	田島 直樹,湯澤美麻	版画の技法中,ドライポイントとコラグラフ,モノタイプ等を演習する。	版画領域の学生に限る。 西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
YBD1532	版画演習B-1	2	2.0	3・4				履修者の作品を収めた版画集を作成する。版画集としての形態やフォーマットに関するプレゼンテーション,函の作成や装丁の作業等を共同作業で行う。	版画領域の学生に限る。 西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
YBD1542	版画演習B-2	2	2.0	3・4				前学期に決定したフォーマットに従って、各履修者が自ら版種を選択し,20部前後の摺刷を行ったものをまとめて版画集を作る。	版画領域の学生に限る。 西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
YBD1552	版画特別演習A	2	1.0	3・4	春C	木4,5	田島 直樹	各自,自分に合った版画技法を選び,テーマを設定する。スケジュール表を作成し,計画的に作品を制作し提出する。	版画領域の学生に限る。 西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
YBD1562	版画特別演習B	2	1.0	3・4				各自,自分に合った版画技法を選び,テーマを設定する。スケジュール表を作成し,計画的に作品を制作し提出する。	版画領域の学生に限る。 西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
YBD1572	版画技法特別演習	2	2.0	2 - 4	通年	随時	田島 直樹	版画特有の技法とその表現効果に関して、より専門的に学び、応用力を身につける。	版画領域の学生に限る。 西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
YBD1582	版画特別演習C	2	1.0	2・3	秋C	木4,5	田島 直樹	各自,自分に合った版画技法を選び,テーマを設定する。学外での展示を想定して計画的に作品を制作する。	版画領域の学生に限る。 西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
YBD1592	版画特別演習D	2	1.0	2・3				各自,自分に合った版画技法を選び,テーマを設定する。学外での展示を想定して計画的に作品を制作する。	版画領域の学生に限る。 西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
YBD1712	学外演習I(版画)	2	1.0	2・3	通年	随時	田島 直樹	版画制作に必要不可欠なプロセス・素材について、学外の美術館・博物館や紙漉き場等でのワークショップに参加し、実体験を通して学習する。また、学外において展覧会を開催し、作品の成果発表を行う。	2024年度までの学外演習(版画)に相当。版画領域の学生に限る。 実務経験教員 対面
YBD1722	学外演習II(版画)	2	1.0	3・4	通年	随時	田島 直樹	版画制作に必要不可欠なプロセス・素材について、学外の美術館・博物館や紙漉き場等でのワークショップに参加し、実体験を通して学習する。また、学外において展覧会を開催し、作品の成果発表を行う。	版画領域の学生に限る。 実務経験教員 対面
YBD9017	版画領域研究I	7	1.0	2	通年	随時	田島 直樹	版画の基本的な版種や技法の原理、版種によって異なる表現効果について演習を通して学ぶ。	実務経験教員 対面
YBD9027	版画領域研究II	7	1.0	3	春ABC	随時	田島 直樹	版画の基本的な版種や技法の原理、版種によって異なる表現効果について演習を通して学ぶ。	実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBD9037	版画領域特別演習I	7	1.0	3	秋ABC	随時	田島 直樹	版画の基本的な版種や技法の原理、版種によって異なる表現効果について演習を通して学ぶ。	・版画領域学生を希望する学生。 ・いずれかの領域研究I,II(版画領域のものが望ましい)を履修済で、専門科目(YBD、YBC、YBE、YBK、YBL)を10単位程度取得していることが望ましい。 事前に担当教員に相談する事。 実務経験教員 対面 ・TOEICR IPテストの受験必須 ・自己達成度評価をおこなうこと。
YBD9047	版画領域特別演習II	7	1.0	4	春ABC	随時	田島 直樹	版画領域における卒業研究の指導を行う。	版画領域の学生に限る 実務経験教員 対面
YBD9057	版画領域特別演習III	7	1.0	4	秋ABC	随時	田島 直樹	版画領域における卒業研究の指導を行う。	版画領域の学生に限る 実務経験教員 対面 芸術専門学群が実施する卒業制作展等において成果発表をおこなうこと。
YBD9918	卒業研究A(版画領域)	8	3.0	4	春ABC	随時	田島 直樹	専門に関する研究を行い、制作と論文にまとめる。	版画領域の学生に限る。卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 実務経験教員 対面
YBD9928	卒業研究B(版画領域)	8	3.0	4	秋ABC	随時	田島 直樹	専門に関する研究を行い、制作と論文にまとめる。	版画領域の学生に限る。卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 実務経験教員 対面

専門科目(日本画領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBE0302	日本画鑑賞研究	2	1.0	3	通年	随時	程塚 敏明,山本 浩之,諏訪 智美	古典から現代までの日本画の鑑賞を通して美術史的な背景を調査し、作品を観察、文章化することで、日本画表現の理解を深める。	日本画領域の学生に限る。 実務経験教員 対面 指定した展覧会等を鑑賞し、作品についてレポートを提出する。
YBE0322	日本画素描演習	2	1.0	2・3	通年	随時	程塚 敏明,山本 浩之,諏訪 智美	鉛筆、その他の描画材を用いた素描を通して、制作の基礎となる造形力、観察力を養い、日本画表現への展開を検討する。	日本画領域の学生に限る。 実務経験教員 対面 指定した展覧会等を鑑賞し、作品についてレポートを提出する。
YBE0402	日本画技法演習	2	4.0	3	春AB秋AB	金2,3	山本 浩之,諏訪 智美	古典模写を通じて日本画で使用する絵具をはじめとした各素材と技法の理解を深め、基本的な諸技法について演習を通して学ぶ。	「日本画基礎実習I.2」を履修済であること。 実務経験教員 対面
YBE0592	日本画表現演習1	2	2.0	3	秋BC	月4,5	程塚 敏明	各自の制作テーマを探究し、これまで習得した日本画の知識と技法を用いた総合的な演習を行う。	「日本画実習A-2」を履修済であること。 実務経験教員 対面
YBE0602	日本画表現演習2	2	2.0	3	秋BC	火4,5	山本 浩之	各自の制作テーマを探究し、これまで習得した日本画の知識と技法を用いた総合的な演習を行う。	「日本画実習B-2」を履修済であること。 実務経験教員 対面
YBE0612	日本画表現演習3	2	2.0	3	秋BC	木4,5	諏訪 智美	各自の制作テーマを探究し、これまで習得した日本画の知識と技法を用いた総合的な演習を行う。	「日本画実習C-2」を履修済であること。 実務経験教員 対面
YBE0622	日本画表現演習4	2	2.0	3	秋BC	金4,5	程塚 敏明	各自の制作テーマを探究し、これまで習得した日本画の知識と技法を用いた総合的な演習を行う。	「日本画実習D-2」を履修済であること。 実務経験教員 対面
YBE0833	野外風景実習I	3	1.0	2	通年	随時	程塚 敏明,山本 浩之,諏訪 智美	学外実習として,約1週間,特定の写生地に宿泊して,風景写生を行う。	日本画領域対象。 実務経験教員 対面
YBE0843	野外風景実習II	3	1.0	3	通年	随時	程塚 敏明,山本 浩之,諏訪 智美	学外実習として,約1週間,特定の写生地に宿泊して,風景表現の実習を行う。	日本画領域対象。「野外風景実習I」を履修済であること。 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBE1112	日本画演習1	2	2.0	2	春AB	火2,3	諏訪 智美	花の写生をもとに日本画材料を使用した演習を通し、日本画の基本となるものの見方や、基礎的な表現技法の習得と材料の取り扱いについて学習する。	「日本画基礎演習1、2」を履修済みであること 実務経験教員 対面
YBE1122	日本画演習2	2	2.0	2	秋AB	火2,3	諏訪 智美	種々のモチーフの写生をもとに日本画材料を使用した演習を通し、日本画の基本となるものの見方や、基礎的な表現技法の習得と材料の取り扱いについて学習する。	「日本画基礎演習1、2」を履修済みであること 実務経験教員 対面
YBE1563	日本画実習A-1	3	1.0	3	春AB	月2,3	程塚 敏明	実習を通して日本画における形態について学習し、併せて日本画材料と描写との関係についても理解を深めることにより、多様な描写による表現の可能性を追求する。	「日本画演習1,2」を履修済であること。 実務経験教員 対面
YBE1573	日本画実習A-2	3	1.0	3	春C秋A	月2,3	程塚 敏明	実習を通して日本画における形態について学習し、併せて日本画材料と描写との関係についても理解を深めることにより、多様な描写による表現の可能性を追求する。	「日本画実習A-1」を履修済であること。 実務経験教員 対面
YBE1583	日本画実習B-1	3	1.0	3	春AB	火4,5	山本 浩之	実習を通して日本画における空間表現ならびに構図について学習し、併せて日本画材料と表現技法との関係についても理解を深めることにより、多様な空間表現及び画面構成の可能性を追求する。	「日本画演習1,2」を履修済であること。 実務経験教員 対面
YBE1593	日本画実習B-2	3	1.0	3	春C秋A	火4,5	山本 浩之	実習を通して日本画における空間表現ならびに構図について学習し、併せて日本画材料と表現技法との関係についても理解を深めることにより、多様な空間表現及び画面構成の可能性を追求する。	「日本画実習B-1」を履修済であること。 実務経験教員 対面
YBE1653	日本画実習C-1	3	1.0	3	春AB	木4,5	諏訪 智美	実習を通して,人体美の把握・プロポーション・動き・質量感の表現について学習し、併せて構図及び表現技法との関係についても理解を深めることにより、日本画制作における人体表現の可能性を追求する。	「日本画演習1,2」を履修済であること。 実務経験教員 対面
YBE1663	日本画実習C-2	3	1.0	3	春C秋A	木4,5	諏訪 智美	実習を通して,人体美の把握・プロポーション・動き・質量感の表現について学習し、併せて構図及び表現技法との関係についても理解を深めることにより、日本画制作における人体表現の可能性を追求する。	「日本画実習C-1」を履修済であること。 実務経験教員 対面
YBE1673	日本画実習D-1	3	1.0	3	春AB	金4,5	程塚 敏明	実習を通して,個々の表現意図から作品へ展開する手段について学習し、併せて日本画材料と表現技法との関係についても理解を深めることにより、多様な日本画表現の可能性を追求する。	「日本画演習1,2」を履修済であること。 実務経験教員 対面
YBE1683	日本画実習D-2	3	1.0	3	春C秋A	金4,5	程塚 敏明	実習を通して,個々の表現意図から作品へ展開する手段について学習し、併せて日本画材料と表現技法との関係についても理解を深めることにより、多様な日本画表現の可能性を追求する。	「日本画実習D-1」を履修済であること。 実務経験教員 対面
YBE1693	日本画特別実習A-1	3	1.0	4	春AB	月4,5	山本 浩之	実習を通して日本画における形態と描写の関係について追求し、日本画材料と表現の必然性について実践的に制作を行うことで、独創的な描写表現と技法を習得する。	「日本画実習A,B,C,D」「日本画技法演習」を履修済であること。 実務経験教員 対面
YBE1703	日本画特別実習A-2	3	1.0	4	春C秋A	月4,5	程塚 敏明	実習を通して日本画における形態と描写の関係について追求し、日本画材料と表現の必然性について実践的に制作を行うことで、独創的な描写表現と技法を習得する。	「日本画特別実習A-1」を履修済みであること。 実務経験教員 対面
YBE1713	日本画特別実習B-1	3	1.0	4	春AB	火2,3	程塚 敏明	実習を通して日本画における空間表現ならびに構図について追求し、日本画材料と表現の必然性について実践的に制作を行うことで、独創的な空間表現と構成力を習得する。	「日本画実習A,B,C,D」「日本画技法演習」を履修済であること。 実務経験教員 対面
YBE1723	日本画特別実習B-2	3	1.0	4	春C秋A	火2,3	程塚 敏明	実習を通して日本画における空間表現ならびに構図について追求し、日本画材料と表現の必然性について実践的に制作を行うことで、独創的な空間表現と構成力を習得する。	「日本画特別実習B-1」を履修済みであること。 実務経験教員 対面
YBE1773	日本画特別実習C-1	3	1.0	4	春AB	木2,3	山本 浩之	人体モデルの写生を通して人体の造形要素とともに内面的な要素についても追求し、日本画材料と人体表現の方法について実践的に制作を行うことで、独創的な表現を習得する。	「日本画実習A,B,C,D」「日本画技法演習」を履修済であること。 実務経験教員 対面
YBE1783	日本画特別実習C-2	3	1.0	4	春C秋A	木2,3	山本 浩之	人体モデルの写生を通して人体の造形要素とともに内面的な要素についても追求し、日本画材料と人体表現の方法について実践的に制作を行うことで、独創的な表現を習得する。	「日本画特別実習C-1」を履修済みであること。 実務経験教員 対面
YBE1793	日本画特別実習D-1	3	1.0	4	春AB	金2,3	諏訪 智美	実習を通して,個々の表現意図から作品へ展開する方法について追求し、実践的に制作を行うことで高度な表現技法の習得と、独創的な表現力を養う。	「日本画実習A,B,C,D」「日本画技法演習」を履修済であること。 実務経験教員 対面
YBE1803	日本画特別実習D-2	3	1.0	4	春C秋A	金2,3	諏訪 智美	実習を通して,個々の表現意図から作品へ展開する方法について追求し、実践的に制作を行うことで高度な表現技法の習得と、独創的な表現力を養う。	「日本画特別実習D-1」を履修済みであること。 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBE9017	日本画領域研究I	7	1.0	2	通年	随時	程塚 敏明,山本 浩之,諏訪 智美	日本画領域におけるガイダンスを行い、履修方法・カリキュラムに関する検討を行う。	実務経験教員 対面
YBE9027	日本画領域研究II	7	1.0	3	春ABC	随時	程塚 敏明,山本 浩之,諏訪 智美	日本画領域におけるガイダンスを行い、履修方法・カリキュラムに関する検討を行う。作品制作鑑賞及び鑑賞制作を通して学習研究の成果を総合的に検討する。	実務経験教員 対面
YBE9037	日本画領域特別演習I	7	1.0	3	秋ABC	随時	程塚 敏明,山本 浩之,諏訪 智美	日本画領域におけるガイダンスを行い、履修方法・カリキュラムに関する検討を行う。作品制作及び発表を通して学習研究の成果を総合的に検討する。	・日本画領域を希望する学生。 ・いずれかの領域研究I,II(日本画領域のものが望ましい)を履修済で、専門科目(YBE)を10単位程度取得していることが望ましい。事前に担当教員に相談する事。 実務経験教員 対面(オンライン併用型) ・TOEICR IPテストの受験必須 ・自己達成度評価をおこなうこと。
YBE9047	日本画領域特別演習II	7	1.0	4	春ABC	随時	程塚 敏明,山本 浩之,諏訪 智美	日本画領域における卒業研究の指導を行う。	日本画領域の学生に限る 実務経験教員 対面
YBE9057	日本画領域特別演習III	7	1.0	4	秋ABC	随時	程塚 敏明,山本 浩之,諏訪 智美	日本画領域における卒業研究の指導を行う。	日本画領域の学生に限る 実務経験教員 対面 芸術専門学群が実施する卒業制作展等において成果発表をおこなうこと。
YBE9918	卒業研究A(日本画領域)	8	3.0	4	春ABC	随時	程塚 敏明,山本 浩之,諏訪 智美	専門に関する研究を行い制作と論文にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 実務経験教員 対面
YBE9928	卒業研究B(日本画領域)	8	3.0	4	秋ABC	随時	程塚 敏明,山本 浩之,諏訪 智美	専門に関する研究を行い制作と論文にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 実務経験教員 対面

専門科目(彫塑領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBF0214	彫塑論・演習I	4	1.0	2	春AB	金1	大原 央聡,宮坂 慎司,川島 史也	彫塑表現について,主として,素材論,技法論の立場から,その性質を解明する。また近現代における彫刻の動向についても学習し,塑造実習、鋳造実習、テラコッタ実習、に必要な事項についての理解、及び知識を身につける。	「彫塑概論」を履修していること 実務経験教員 対面
YBF0224	彫塑論・演習II	4	1.0	2	秋AB	金1	大原 央聡,宮坂 慎司,川島 史也	彫塑表現について,主として,素材論,技法論の立場から,その性質を解明する。また近現代における彫刻の動向についても学習し,木彫実習・木彫制作に必要な事項についての理解、及び知識を身につける。	「彫塑論・演習I」を履修していること 実務経験教員 対面
YBF1023	彫塑特別実習	3	1.0	4	通年	随時	大原 央聡,宮坂 慎司,川島 史也	彫塑領域における学習研究の成果を展示を通して総合的に検討する。	彫塑領域対象 実務経験教員 対面
YBF1102	学外演習(彫塑)	2	1.0	3・4	通年	随時	大原 央聡,宮坂 慎司,川島 史也	現存する歴史的作品。あるいは,現代彫刻の作品を,実地に訪ねて研究する。また,そのための予備知識としての資料の収集整理及び結果の報告についても演習する。	彫塑領域対象 実務経験教員 対面
YBF2313	塑造実習IA-1	3	1.0	2	春ABC	月4,5 随時	川島 史也,大原 央聡,宮坂 慎司	塑造による人体胸像・全身像制作を主とする。人物モデルによる制作を通して、観察力を鋭敏にし、基礎的な形態把握を第一義とする。一個の塊として対象を捉え、大掴みに形態を把握し、表現する能力を養う。	「彫塑基礎演習1,2,3」の履修者を優先する。人数制限あり。 実務経験教員 対面
YBF2323	塑造実習IA-2	3	1.0	2	秋ABC	月4,5 随時	川島 史也,大原 央聡,宮坂 慎司	塑造による人体胸像・全身像制作を主とする。人物モデルによる制作を通して、観察力を鋭敏にし、基礎的な形態把握を第一義とする。一個の塊として対象を捉え、大掴みに形態を把握し、表現する能力を養う。	「塑造実習IA-1」を履修済みのこと。 実務経験教員 対面
YBF2333	塑造実習IB-1	3	1.0	2	春ABC	火2,3 随時	宮坂 慎司,大原 央聡,川島 史也	塑造による人体胸像・全身像制作を主とする。人物モデルによる制作を通して、観察力を鋭敏にし、基礎的な形態把握を第一義とする。一個の塊として対象を捉え、大掴みに形態を把握し、表現する能力を養う。	「彫塑基礎演習1,2,3」の履修者を優先する。人数制限あり。 実務経験教員 対面
YBF2343	塑造実習IB-2	3	1.0	2	秋ABC	火2,3 随時	宮坂 慎司,大原 央聡,川島 史也	塑造による人体胸像・全身像制作を主とする。人物モデルによる制作を通して、観察力を鋭敏にし、基礎的な形態把握を第一義とする。一個の塊として対象を捉え、大掴みに形態を把握し、表現する能力を養う。	「塑造実習IB-1」を履修済みのこと。 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBF2512	木彫演習	2	2.0	2	秋ABC	木5,6 随時	大原 央聡	木材を用いて小品の制作・発表を行う。木彫用具の基本的な使用法や木彫表現の基礎を体得する。	人数制限あり「彫塑基礎演習」を履修していること。 実務経験教員 対面
YBF2722	テラコッタ造形演習	2	2.0	2	春AB 秋C	水2,3 集中	宮坂 慎司,大原 央聡	粘土を用いて造形を行い、焼成して作品化する。テラコッタ技法の基礎を学び、その成果についてプレゼンテーションを行う。	人数制限あり。「彫塑基礎演習」を履修していること。 実務経験教員 対面
YBF3313	塑造実習IIA-1	3	1.0	3	春ABC	月2,3 集中	大原 央聡,宮坂 慎司,川島 史也	塑造による等身大全身像を制作する。主に立ちポーズの制作実習を通して、彫塑的立体把握の能力を更に養う。併せて、量塊と面の関係や、構築性、空間性といった彫塑の造形要素について理解を深める。塑造実習Iで培われた造形力を高次なものへと発展させる。	「塑造実習IA,B」を履修済みであること。 実務経験教員 対面
YBF3323	塑造実習IIA-2	3	1.0	3	秋ABC	月2,3 集中	大原 央聡,宮坂 慎司,川島 史也	塑造による等身大全身像を制作する。立ちポーズや座りポーズの制作実習を通して、彫塑的立体把握の能力を更に養う。量塊と面の関係や、構築性、空間性といった彫塑の造形要素について理解を深め、表現力をより高次なものへと発展させる。	「塑造実習IA,B」を履修済みであること。 実務経験教員 対面
YBF3333	塑造実習IIB-1	3	1.0	3	春ABC	火4,5 集中	宮坂 慎司,大原 央聡,川島 史也	塑造による等身大全身像を制作する。主に立ちポーズの制作実習を通して、彫塑的立体把握の能力を更に養う。併せて、量塊と面の関係や、構築性、空間性といった彫塑の造形要素について理解を深める。塑造実習Iで培われた造形力を高次なものへと発展させる。	「塑造実習IA,B」を履修済みであること。 実務経験教員 対面
YBF3343	塑造実習IIB-2	3	1.0	3	秋ABC	火4,5 集中	宮坂 慎司,大原 央聡,川島 史也	塑造による等身大全身像を制作する。立ちポーズや座りポーズの制作実習を通して、彫塑的立体把握の能力を更に養う。量塊と面の関係や、構築性、空間性といった彫塑の造形要素について理解を深め、表現力をより高次なものへと発展させる。	「塑造実習IA,B」を履修済みであること。 実務経験教員 対面
YBF3353	塑造実習IIC-1	3	1.0	3	春ABC	水2,3 木4,5 随時	川島 史也,大原 央聡,宮坂 慎司	塑造による等身大全身像を制作する。主に立ちポーズの制作実習を通して、彫塑的立体把握の能力を更に養う。併せて、量塊と面の関係や、構築性、空間性といった彫塑の造形要素について理解を深める。塑造実習Iで培われた造形力を高次なものへと発展させる。	「塑造実習IA,B」を履修済みであること。 実務経験教員 対面
YBF3363	塑造実習IIC-2	3	1.0	3	秋ABC	水2,3 木4,5 随時	川島 史也,大原 央聡,宮坂 慎司	塑造による等身大全身像を制作する。立ちポーズや座りポーズの制作実習を通して、彫塑的立体把握の能力を更に養う。量塊と面の関係や、構築性、空間性といった彫塑の造形要素について理解を深め、表現力をより高次なものへと発展させる。	「塑造実習IA,B」を履修済みであること。 実務経験教員 対面
YBF3512	彫刻演習IA-1	2	2.0	3	春ABC	木2,3 随時	大原 央聡	手彫りを主として、木彫の基礎的な感覚と技術を習練する。等身大の胸像を樟材を使って制作し、木彫表現の可能性を追求する。	「木彫演習」を履修していることが望ましい。 実務経験教員 対面
YBF3522	彫刻演習IA-2	2	2.0	3	秋ABC	木2,3 随時	大原 央聡	手彫りを主として、木彫の基礎的な感覚と技術を習練する。彫刻演習IA-1での制作を基に、さらに木彫表現の可能性を追求する。	「彫刻演習IA-1」を履修していること。 実務経験教員 対面
YBF3532	彫刻演習IB-1	2	2.0	3	春ABC 春学期	金2,3 集中	川島 史也,大原 央聡,宮坂 慎司,鈴木 典生	石彫の基礎的な制作を通した演習を行う。鑿の制作から始め、大理石や御影石などの中硬度石を材として、ハンド工具による制作演習を行う。	人数制限あり 実務経験教員 対面
YBF3542	彫刻演習IB-2	2	2.0	3	秋ABC	金2,3 集中	川島 史也,大原 央聡,宮坂 慎司,鈴木 典生	石彫の基礎的な制作を通した演習を行う。大理石や御影石などの中硬度石を材として、ハンド工具による制作演習を行う。成果についてプレゼンテーションを行う。	「彫刻演習IB-1」を履修していること。 実務経験教員 対面
YBF3712	乾漆演習	2	2.0	3	春ABC	火2,3 集中	川島 史也,大原 央聡	漆を主材料とする乾漆技法による彫刻制作を行う。石膏型を用いた脱活乾漆の制作と演習を通して、各種材料の特性や技法を学ぶ。	人数制限あり 実務経験教員 対面
YBF3722	鋳造演習	2	2.0	3	秋ABC	火2,3 集中	川島 史也,大原 央聡,宮坂 慎司	蝋型石膏鋳型鋳造法の基本的な原理を学び、鋳造の制作工程を体験する。演習を通して、立体造形とブロンズの素材との関わりを実感し、彫塑の基礎的な感覚と技術を習練する。	人数制限あり 実務経験教員 対面
YBF4313	塑造実習IIIA	3	1.0	4	春ABC	月4,5 集中	大原 央聡,宮坂 慎司,川島 史也	人物モデルを表現対象として、全身像の等身大作品を制作する。塑造実習I・IIでの学びを基礎として、より高度な彫塑における表現力を体得する。フォルムの造形力はもとより、量塊及びその構築性、空間性の表現を確かなものとし、諸感覚力の伸展を図る。	「塑造実習IIA,B,C」を履修済みであること 実務経験教員 対面
YBF4323	塑造実習IIIB	3	1.0	4	春ABC	火2,3 集中	宮坂 慎司,大原 央聡,川島 史也	人物モデルを表現対象として、全身像の等身大作品を制作する。塑造実習I・IIでの学びを基礎として、より高度な彫塑における表現力を体得する。フォルムの造形力はもとより、量塊及びその構築性、空間性の表現を確かなものとし、諸感覚力の伸展を図る。	「塑造実習IIA,B,C」を履修済みであること 実務経験教員 対面
YBF4333	塑造実習IIIC	3	1.0	4	春ABC	木2,3 集中	川島 史也,大原 央聡,宮坂 慎司	人物モデルを表現対象として、全身像の等身大作品を制作する。塑造実習I・IIでの学びを基礎として、より高度な彫塑における表現力を体得する。フォルムの造形力はもとより、量塊及びその構築性、空間性の表現を確かなものとし、諸感覚力の伸展を図る。	「塑造実習IIA,B,C」を履修済みであること 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBF4512	彫刻演習IIA	2	2.0	4	春ABC	木5,6集中	大原 央聡	彫刻演習IAに引き続き、手彫りを主体としながらも一部電動工具も併用し、各種の木材による彫刻表現の可能性を追求する。各自自由に題材を選んで小品を制作する演習を通して、より高度な表現感覚と技術の習練をする。	「彫刻演習IA-2」を履修済みであること 実務経験教員 対面
YBF4522	彫刻演習IIB	2	2.0	4	春ABC 春学期	金2,3集中	川島 史也,大原 央聡,宮坂 慎司	彫刻演習IBに引き続き、ハンド工具による手彫を主とした制作を行う。大理石、安山岩(小松石)、御影石、斑糲岩(黒御影石)などの中ブロック石材により石彫表現の可能性をさぐる。演習を通して、石彫表現のより高度な技術と感覚を身につける。	「彫刻演習I-B-2」を履修済みであること 実務経験教員 対面
YBF9017	彫塑領域研究I	7	1.0	2	通年	随時	大原 央聡,宮坂 慎司,川島 史也	彫塑領域におけるガイダンスを行い、履修方法・カリキュラムに関する検討を行う。	実務経験教員 対面
YBF9027	彫塑領域研究II	7	1.0	3	春ABC	随時	大原 央聡,宮坂 慎司,川島 史也	彫塑領域におけるガイダンスを行い、履修方法・カリキュラムに関する検討を行う。作品発表を通して学習研究の成果を総合的に検討する。	彫塑領域の学生に限る 実務経験教員 対面
YBF9037	彫塑領域特別演習I	7	1.0	3	秋ABC	随時	大原 央聡,宮坂 慎司,川島 史也	彫塑領域におけるガイダンスを行い、履修方法・カリキュラムに関する検討を行う。作品発表を通して学習研究の成果を総合的に検討する。	・彫塑領域学生を希望する学生。 ・いずれかの領域研究I,II(彫塑領域のものが望ましい)を履修済で、専門科目(YBF、YBC、YBD、YBE)を10単位程度取得していることが望ましい。事前に担当教員に相談する事。 実務経験教員 対面(オンライン併用型) ・TOEICR IPテストの受験必須 ・自己達成度評価をおこなうこと
YBF9047	彫塑領域特別演習II	7	1.0	4	春ABC	随時	大原 央聡,宮坂 慎司,川島 史也	彫塑領域における卒業研究の指導を行う。	彫塑領域の学生に限る 実務経験教員 対面
YBF9057	彫塑領域特別演習III	7	1.0	4	秋ABC	随時	大原 央聡,宮坂 慎司,川島 史也	彫塑領域における卒業研究の指導を行う。	彫塑領域の学生に限る 実務経験教員 対面 芸術専門学群が実施する卒業制作展等において成果発表をおこなうこと。
YBF9918	卒業研究A(彫塑領域)	8	3.0	4	春ABC	随時	大原 央聡,宮坂 慎司,川島 史也	指導教員の下で専門に関する研究を行い制作と論文にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 実務経験教員 対面
YBF9928	卒業研究B(彫塑領域)	8	3.0	4	秋ABC	随時	大原 央聡,宮坂 慎司,川島 史也	指導教員の下で専門に関する研究を行い制作と論文にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 実務経験教員 対面

専門科目(書領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBG0231	書鑑賞論A	1	1.0	2	春AB	火3	尾川 明穂	書における鑑賞の重要さを説き、中国・日本における鑑賞行為やその歴史・形態について講述する。	実務経験教員 対面
YBG0241	書鑑賞論B	1	1.0	2	春C	火4,5	尾川 明穂	書における鑑賞の重要さを説き、中国・日本における鑑賞行為やその歴史・形態について講述する。	実務経験教員 対面
YBG0251	書鑑賞論C	1	1.0	2	秋AB	火3	尾川 明穂	書における鑑賞の重要さを説き、中国・日本における鑑賞行為やその歴史・形態について講述する。	実務経験教員 対面
YBG0331	書学方法論A	1	1.0	3	春AB	木3	髙橋 佑太	中国書法全般にわたる研究方法について、特に文献・工具書等の活用法という側面に主眼に置いてこれを考える。	実務経験教員 対面
YBG0341	書学方法論B	1	1.0	3	春C	木4,5	髙橋 佑太	中国書法全般にわたる研究方法について、特に文献・工具書の活用法という側面に主眼を置いてこれを考える。	実務経験教員 対面
YBG0351	書学方法論C	1	1.0	3	秋AB	木3	髙橋 佑太	中国書法全般にわたる研究方法について、特に文献・工具書の活用法という側面に主眼を置いてこれを考える。	実務経験教員 対面
YBG0432	書基礎演習I-3	2	2.0	1	秋AB	金4,5	尾川 明穂,髙橋 佑太	漢字と仮名の古典的名跡を学び、実作面における基礎力の養成をめざす。	実務経験教員 対面
YBG0512	書基礎演習II-1	2	2.0	2	春AB	火4,5	菅野 智明,尾川 明穂	中国書法史上の古典的名品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	実務経験教員 対面
YBG0522	書基礎演習II-2	2	1.0	2	春C	金3,4	髙橋 佑太	中国書法史上の古典的名品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBG0532	書基礎演習II-3	2	2.0	2	秋AB	火4,5	菅野 智明,尾川 明穂	中国書法史上の古典的名品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	実務経験教員 対面
YBG0612	書漢字演習A-1	2	2.0	2・3	春AB	木4,5	髙橋 佑太	中国書法史上の古典的名品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
YBG0622	書漢字演習A-2	2	2.0	2・3	秋AB	木4,5	髙橋 佑太	中国書法史上の古典的名品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
YBG0632	書漢字演習B-1	2	2.0	2・3				中国書法史上の古典的名品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
YBG0642	書漢字演習B-2	2	2.0	2・3				中国書法史上の古典的名品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
YBG0652	書漢字演習C-1	2	2.0	4	春ABC	水1,2	髙橋 佑太	中国書法史上の古典的名品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	実務経験教員 対面
YBG0662	書漢字演習C-2	2	2.0	4	秋AB	水1,2	髙橋 佑太	中国書法史上の古典的名品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	実務経験教員 対面
YBG0712	書仮名演習A-1	2	2.0	2・3	春AB	金3 集中	尾川 明穂	代表的な古筆の臨書・倣書を通して仮名技法と構成美を学び、あわせて大字作品への展開を図る。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
YBG0722	書仮名演習A-2	2	2.0	2・3	秋AB	金3 集中	尾川 明穂	代表的な古筆の臨書・倣書を通して仮名技法と構成美を学び、あわせて大字作品への展開を図る。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
YBG0732	書仮名演習B-1	2	2.0	2・3				代表的な古筆の臨書・倣書を通して仮名技法と構成美を学び、あわせて大字作品への展開を図る。	西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
YBG0742	書仮名演習B-2	2	2.0	2・3				代表的な古筆の臨書・倣書を通して仮名技法と構成美を学び、あわせて大字作品への展開を図る。	西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
YBG0752	書仮名演習C-1	2	2.0	4	春ABC	木1,2	尾川 明穂,髙橋 佑太	古典を自由に選択することにより、自己の作風の拡充に努める。	実務経験教員 対面
YBG0762	書仮名演習C-2	2	2.0	4	秋AB	木1,2	尾川 明穂,髙橋 佑太	古典を自由に選択することにより、自己の作風の拡充に努める。	実務経験教員 対面
YBG0832	学外演習(書)A-1	2	1.0	1 - 4				博物館、美術館で書作品などを鑑賞し、教養を深める。	書領域対象 西暦奇数年度開講。 対面
YBG0842	学外演習(書)A-2	2	1.0	1 - 4				博物館、美術館で書作品などを鑑賞し、教養を深める。	書領域対象。 西暦奇数年度開講。 対面
YBG0852	学外演習(書)B-1	2	1.0	1 - 4	通年	随時	菅野 智明,尾川 明穂,髙橋 佑太	博物館、美術館で書作品などを鑑賞し、教養を深める。	書領域対象。 西暦偶数年度開講。 対面
YBG0862	学外演習(書)B-2	2	1.0	1 - 4	通年	随時	菅野 智明,尾川 明穂,髙橋 佑太	博物館、美術館で書作品などを鑑賞し、教養を深める。	書領域対象。 西暦偶数年度開講。 対面
YBG1531	中国書法史A	1	1.0	2	春AB	火2	菅野 智明	中国の書の変遷について講述する。	実務経験教員 対面
YBG1541	中国書法史B	1	1.0	2	春C	火2,3	菅野 智明	中国の書の変遷について講述する。	実務経験教員 対面
YBG1551	中国書法史C	1	1.0	2	秋AB	火2	菅野 智明	中国の書の変遷について講述する。	実務経験教員 対面
YBG1631	日本書道史A	1	1.0	3	春AB	水3	尾川 明穂	日本の書の変遷について講述する。	実務経験教員 対面
YBG1641	日本書道史B	1	1.0	3	春C	水・木3	尾川 明穂	日本の書の変遷について講述する。	実務経験教員 対面
YBG1651	日本書道史C	1	1.0	3	秋AB	水3	尾川 明穂	日本の書の変遷について講述する。	実務経験教員 対面
YBG9017	書領域研究I	7	1.0	2	通年	随時	菅野 智明,尾川 明穂,髙橋 佑太	書領域におけるガイダンスに基づき、履修方法・カリキュラムについて理解を深めるとともに、作品鑑賞や制作を通して、自身の専門性を高める。	対面
YBG9027	書領域研究II	7	1.0	3	春ABC	随時	菅野 智明,尾川 明穂,髙橋 佑太	書領域におけるガイダンスに基づき、履修方法・カリキュラムについて理解を深めるとともに、作品鑑賞や制作を通して、自身の専門性を高める。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBG9037	書領域特別演習I	7	1.0	3	秋ABC	随時	菅野 智明,尾川 明穂,髙橋 佑太	書領域における卒業研究に向けた研究計画の指導を行う。	・書領域を希望する学生 ・いずれかの領域研究I,II(書領域のものが望ましい)を履修済で、専門科目(YBG)を10単位程度取得していることが望ましい。事前に担当教員に相談する事。 対面 ・TOEICR IPテストの受験必須 ・自己達成度評価をおこなうこと。
YBG9047	書領域特別演習II	7	1.0	4	春ABC	随時	菅野 智明,尾川 明穂,髙橋 佑太	書領域における卒業研究の指導を行う。	書領域の学生に限る 対面
YBG9057	書領域特別演習III	7	1.0	4	秋ABC	随時	菅野 智明,尾川 明穂,髙橋 佑太	書領域における卒業研究の指導を行う。	書領域の学生に限る 対面 芸術専門学群が実施する卒業制作展等において成果発表をおこなうこと。
YBG9918	卒業研究A(書領域)	8	3.0	4	春ABC	随時	菅野 智明,尾川 明穂,髙橋 佑太	専門に関する研究を行い、制作と論文にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 対面
YBG9928	卒業研究B(書領域)	8	3.0	4	秋ABC	随時	菅野 智明,尾川 明穂,髙橋 佑太	専門に関する研究を行い、制作と論文にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 対面

専門科目(工芸領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBH0201	木材造形論	1	1.0	2	春AB	木1	宮原 克人	工芸の分野で従来から活用されてきた造形素材のうち、木と漆を中心に取り上げて概説する。	実務経験教員 対面
YBH0301	工芸特講	1	1.0	1・2				私たちは「みる」ことで何を得ているのか。また「つくる」との関係はどのように構築できるのか。鑑賞 を目的ではなく手法の一つとして捉え、そのプロセスから造形思考をたどって自身の「言葉」を生成す る。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
YBH0602	学外演習(工芸領域)	2	1.0	3	通年	随時	齋藤 敏寿,宮原 克人,勝川 夏樹	美術館、博物館、工房、各種企業などを訪れて見学・演習を行う。	実務経験教員 対面
YBH0702	ガラス基礎演習	2	2.0	2	夏季休業中	随時	勝川 夏樹	電気炉を用いたキルンワークにおいて、フュージング技法とスランピング技法を中心とした演習を行い、ガラス素材の基礎的な特性を学ぶ。	実務経験教員 対面 人数制限あり(10名程度)YAH1012工芸基礎演習(ガラス)を履修済みのこと
YBH0722	ガラス技術演習	2	2.0	2				コールドワークを中心とした演習を通じて、室温下でのガラス加工技術を習得する。	2026年度開講せず。 実務経験教員 対面 人数制限あり。 YAH1012工芸基礎演習(ガラス)を履修済みのこと。2026年度・2027年度の開講なし
YBH0762	ガラス造形演習I	2	2.0	3	春AB	水2,3	勝川 夏樹	ガラス造形技法について調査を通して、自身のテーマに適した技法を習得しガラス作品を制作する。	実務経験教員 対面 人数制限ありYBH0722ガラス技術演習または、YBH0702ガラス基礎演習を履修済みのこと。2026年度・2027年度の開講なし。
YBH0772	ガラス造形演習II	2	2.0	3	秋AB	水2,3	勝川 夏樹	ガラス造形作品について調査し、模作を行う。そこで得た知見や習得した技法を生かし、作品制作を行う。	実務経験教員 対面 人数制限ありYBH0762ガラス造形演習Iを履修済みのこと。2026年度・2027年度の開講なし
YBH0802	木工基礎演習	2	2.0	2	春C	月3-6	宮原 克人	刳物技法を用いた作品制作を通して、木工制作の基礎的知識・技術を修得する。	人数制限あり。 実務経験教員 対面
YBH0822	木工技術演習	2	2.0	2・3	秋AB	月3,4	宮原 克人	刃物の研ぎ、木工道具の仕立てを通して、木工制作の基礎的知識・技術を修得する。仕立てた刃物を用い作品制作を行う。	人数制限あり。 実務経験教員 対面
YBH0832	漆芸技法演習	2	2.0	2	春ABC	火3,4	宮原 克人	漆芸の基礎的な技術(塗り)を習得する。	人数制限あり。 実務経験教員 対面
YBH0842	漆芸制作演習	2	2.0	2	秋ABC	火3,4	宮原 克人	漆芸の基礎的な技術(乾漆技法・装飾技法)を習得する。	漆芸技法演習を履修済みのこと。人数制限あり。 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBH0852	木材造形演習	2	4.0	3	春AB	月・木3,4	宮原 克人	木材造形の基本的な知識と加工技術を学びながら、椅子制作の演習を行う。	木工基礎演習、木工技術演習を履修済みのこと。 実務経験教員 対面
YBH0902	陶磁基礎演習	2	2.0	2	春AB	月5,6	齋藤 敏寿	陶磁制作の基礎的知識・技術を修得する。	授業時間以外に窯焼成等(温度管理)の時間を確保できること。 実務経験教員 対面
YBH0932	ロクロ技法演習	2	2.0	2・3	秋AB	月5,6	齋藤 敏寿	基礎的なロクロ制作技術を習得する為の演習を行う。	授業時間以外に窯焼成等(温度管理)の時間を確保できること。 人数制限あり24名まで。 実務経験教員 対面 人数制限を設ける。
YBH0942	陶磁造形演習I	2	2.0	3	春AB	火5,6	齋藤 敏寿	土(粘土)から陶磁へ至る基礎的な技法・技術(石膏型による成形方法)を基に陶磁素材の特長を活かした作品を制作する。	作品の焼成管理を自主的に行うこと。 実務経験教員 対面
YBH0952	陶磁造形演習II	2	2.0	3	秋AB	木5,6	齋藤 敏寿	土(粘土)から陶磁へ至る基礎的な技法・技術・装飾(釉薬研究)を基に陶磁素材の特長を活かした作品を制作する。	作品の焼成管理を自主的に行うこと。 実務経験教員 対面
YBH0972	窯芸技法演習	2	2.0	2・3	春C夏季休業中	随時	齋藤 敏寿	陶磁制作の基礎的知識・技術(特に窯の使用方法)を修得する。	授業時間以外に窯焼成等(温度管理)の時間を確保できること。 実務経験教員 対面
YBH9017	工芸領域研究I	7	1.0	2	通年	随時	齋藤 敏寿,宮原 克人,勝川 夏樹	授業を通して行った研究や作品制作について、その成果を発表する機会を設け、プレゼンテーション力や自己の研究を客観的に分析する力を養う。	実務経験教員 対面
YBH9027	工芸領域研究II	7	1.0	3	春ABC	随時	齋藤 敏寿,宮原 克人,勝川 夏樹	授業を通して行った研究や作品制作について、その成果を発表する機会を設け、プレゼンテーション力や自己の研究を客観的に分析する力を養う。	実務経験教員 対面
YBH9037	工芸領域特別演習I	7	1.0	3	秋ABC	随時	齋藤 敏寿,宮原 克人,勝川 夏樹	3年次までの研究成果として作品やプレゼンボード等を制作し、年度末に公開展示する展覧会の企画運営を行う。	・工芸領域学生を希望する学生 ・いずれかの領域研究I,II(工芸領域のものが望ましい)を履修済で、専門科目(YBH、YBJ、YBK、YBL)を10単位程度取得していることが望ましい。事前に担当教員に相談する事。 実務経験教員 対面(オンライン併用型) ・TOEICR IPテストの受験必須 ・自己達成度評価をおこなうこと。
YBH9047	工芸領域特別演習II	7	1.0	4	春ABC	随時	齋藤 敏寿,宮原 克人,勝川 夏樹	工芸領域における卒業研究の指導を行う。	工芸領域の学生に限る 実務経験教員 対面
YBH9057	工芸領域特別演習III	7	1.0	4	秋ABC	随時	齋藤 敏寿,宮原 克人,勝川 夏樹	工芸領域における卒業研究の指導を行う。	工芸領域の学生に限る 実務経験教員 対面 芸術専門学群が実施する卒業制作展等において成果発表をおこなうこと。
YBH9918	卒業研究A(工芸領域)	8	3.0	4	春ABC	随時	齋藤 敏寿,宮原 克人,勝川 夏樹	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 実務経験教員 対面
YBH9928	卒業研究B(工芸領域)	8	3.0	4	秋ABC	随時	齋藤 敏寿,宮原 克人,勝川 夏樹	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 実務経験教員 対面

専門科目(総合造形領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBJ0101	メディア・アート論	1	1.0	3	春AB	金3	村上 史明	最先端のテクノロジーを使用した芸術作品の解説を行い,芸術と科学技術との関係について考察する。	実務経験教員 対面
YBJ0111	現代美術論A	1	1.0	3・4	春ABC	水3	小野 裕子,北澤 潤	芸術の「ゆさぶり」と「まなざし」という性質に根ざしながら、さまざまなジャンルに広がる現代美術の中でも特に社会と関わる作品を題材とした実践例を考察する。	実務経験教員 オンライン
YBJ0131	総合表現論	1	1.0	3・4	通年	随時	土佐 信道,小野 裕子	ミクストメディア表現における動く機械作品とプロダクト玩具の相互作用による独創性を概説し、これまでのミクストメディア表現の新たな観点を考察する。	実務経験教員 オンライン

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBJ0141	現代美術制作論	1	1.0	3・4	秋AB	水3	東 弘一郎	現代アートにおける多様な表現手法とその社会・文化的背景を学び、アート制作・批評・企画提案をして、「社会との対話」「制作過程」や「参加型の体験」として捉える視点を養うことを目指す。大地の芸術祭などの全国での芸術祭での制作事例を交え、21世紀の現代アートから地域のアートイベントやアートプロジェクトについて学ぶ。	実務経験教員 対面(オンライン併用型) YBJ0121「現代美術論B」を履修していない学生を優先する。
YBJ0212	総合造形創作演習A-I	2	2.0	2	春AB	火3,4	小野 裕子	総合造形の観点から、樹脂素材などを用いて立体造形の作品制作を行う。	人数制限あり(20名)。 実務経験教員 対面
YBJ0222	総合造形創作演習A-II	2	2.0	2	秋AB	火3,4	小野 裕子	総合造形の観点から、樹脂素材などを用いてミクストメディアによる立体造形の作品制作を行う。	人数制限あり(20名)。 実務経験教員 対面
YBJ0232	総合造形創作演習B	2	2.0	3・4	秋AB	木3,4	小野 裕子,吉田 伸	総合造形的な視点を基に、特殊メイクによる身体造形の制作を行う。	人数制限あり(10名)。 実務経験教員 対面
YBJ0342	キネティックアート演習	2	2.0	2・3	通年	随時	土佐 信道,小野 裕子	機械技術を背景に20世紀に登場した「キネティックアート」を考察しつつ、実際にソレノイドを使ったキネティックアートの制作を通しながら、工具・工作機械の使い方、手で作ることの重要性、およびデジタル加工の技術を学ぶ。作品ポートフォリオ審査によって履修者を抽選する。	実務経験教員 対面 人数制限あり(15名)。 YBJ0322「総合造形表現演習II」を履修していない学生を優先する。
YBJ0352	総合造形制作演習I	2	2.0	2・3	春AB	火4,5	東 弘一郎	「工作」をテーマに現代美術作品の制作プロセスを学ぶ。総合造形的な視点から自分の興味や関心を原動力にして、素材が生み出す偶発的な要素に目を向けた制作研究を進める。	実務経験教員 対面(オンライン併用型) 人数制限あり YBJ0312「総合造形表現演習I」を履修していない学生を優先する。
YBJ0362	総合造形制作演習II	2	2.0	2・3	通年	集中	東 弘一郎	「工作・フィールドワーク」をテーマに現代美術作品の制作プロセスを学ぶ。総合造形的な視点から受講者同士がグループに分かれ、学内外の特定地域を対象にリサーチを行い、そこで得られた知識や情報に基づいて作品の制作に取り組む。	実務経験教員 対面(オンライン併用型) 人数制限あり(20名程度)「総合造形表現演習I」を履修済、または同等の知識・技術を有していることが望ましい。また、YBJ0322「総合造形表現演習II」を履修していない学生を優先する。
YBJ0602	学外演習(総合造形領域)	2	1.0	3	通年	随時	土佐 信道,村上 史明,小野 裕子,東 弘一郎	美術館,博物館,工房,各種企業などを訪ねて見学・演習を行う。	実務経験教員 対面(オンライン併用型) 教室の利用無し。
YBJ0701	インスタレーションアート	1	1.0	3・4	秋AB	水2	小野 裕子	サイトスペシフィックによる芸術表現をリサーチし、場所性を生かした表現を考察する。	実務経験教員 対面(オンライン併用型)
YBJ1512	メディアアート・プログラミング	2	2.0	2・3	春AB	木3,4	村上 史明	プログラミングを用いた造形理論及び図形処理技術を学び,インタラクティブアートの制作を行う。	メディアアート・フィジカルコンピューティングと併せて履修すること。 実務経験教員 対面
YBJ1522	メディアアート・フィジカルコンピューティング	2	2.0	2・3	秋AB	木3,4	村上 史明	プログラミングを用いた造形理論及び図形処理技術を学び,インタラクティブアートの制作を行う。	メディアアート・プログラミングと併せて履修すること。 実務経験教員 対面
YBJ5422	現代アート・メディアアート演習	2	2.0	3・4	秋AB	金3,4	村上 史明	異分野の学生同士のコラボレーションにより、映像やインタラクティブアートの要素を含めた、メディアアート作品の提案・制作を行う。	2024年度以前の「YBJ5412(GC27902と同一)ハイブリッドアート演習」を履修した者は履修不可。 GC27992と同一。 実務経験教員 対面
YBJ9017	総合造形領域研究I	7	1.0	2	通年	随時	土佐 信道,村上 史明,小野 裕子,東 弘一郎	総合造形領域における授業課題の成果物を発表する機会を設け、プレゼンテーション力を養うと共に、自己の研究テーマを探る。	実務経験教員 対面(オンライン併用型)
YBJ9027	総合造形領域研究II	7	1.0	3	春ABC	随時	土佐 信道,村上 史明,小野 裕子,東 弘一郎	総合造形領域において、各自が設定したテーマに基づいて制作実践および理論研究を進め、その成果を作品やプレゼンボード、レポートなどにまとめる。	実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBJ9037	総合造形領域特別演習Ⅰ	7	1.0	3	秋ABC	随時	土佐 信道,村上 史明,小野 裕子,東 弘一郎	総合造形領域において、各自が設定したテーマに基づいて制作実践および理論研究を進め、その成果を作品やプレゼンボード、レポートなどにまとめる。	・総合造形領域学生を希望する学生 ・いずれかの領域研究I,II(総合造形領域のものが望ましい)を履修済で、専門科目(YBH、YBJ、YBK、YBL)を10単位程度取得していることが望ましい。事前に担当教員に相談する事。 実務経験教員 対面(オンライン併用型) ・TOEICR IPテストの受験必須 ・自己達成度評価をおこなうこと。
YBJ9047	総合造形領域特別演習II	7	1.0	4	春ABC	随時	土佐 信道,村上 史明,小野 裕子,東 弘一郎	総合造形領域における卒業研究の指導を行う。	総合造形領域の学生に限る 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
YBJ9057	総合造形領域特別演習III	7	1.0	4	秋ABC	随時	土佐 信道,村上 史明,小野 裕子,東 弘一郎	総合造形領域における卒業研究の指導を行う。	総合造形領域の学生に限る 実務経験教員 対面(オンライン併用型) 芸術専門学群が実施する卒業制作展等において成果発表をおこなうこと。
YBJ9918	卒業研究A(総合造形領域)	8	3.0	4	春ABC	随時	土佐 信道,村上 史明,小野 裕子,東 弘一郎	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 実務経験教員 対面
YBJ9928	卒業研究B(総合造形領域)	8	3.0	4	秋ABC	随時	土佐 信道,村上 史明,小野 裕子,東 弘一郎	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 実務経験教員 対面

専門科目(構成領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBK0602	学外演習(構成領域)	2	1.0	3	通年	随時	上浦 佑太,山本 早里,大友 邦子	美術館,博物館,工房,各種企業などを訪ねて見学・演習を行う。	対面 教室の利用なし。
YBK0901	色彩学	1	1.0	2	春AB	火2	山本 早里	色彩学の基礎を学ぶ。色がみえるしくみ,表色系,心理効果,調和論などを概説する。	実務経験教員 対面
YBK1001	装飾造形論	1	1.0	1・2	秋AB	木5	大友 邦子	装飾に関わる造形活動について多角的に考える。構成学とシュパヌンク、装いと飾る行為、デザイン展開例としての図案と紋、模様(プリントデザイン)、立体物のサーフェイス等をキーワードとして講ずる。	実務経験教員 対面
YBK1101	造形発想論	1	1.0	1・2	秋AB	木3	上浦 佑太	発想力を養うために必要な観点について、創作現場の実例や創造性研究に基づいて講義する。造形表現分野における参考事例を中心に取り上げるが、あらゆる分野に共通して役立つ観点として提供する。	実務経験教員 対面
YBK1122	平面構成演習	2	2.0	2	春AB	金5,6	大友 邦子	平面的表現における形・色彩・図案表現・画面構成の取り扱いを学ぶ。アプローチの異なる実践的な課題を通して平面造形の総合的表現力の習得を目指す。	人数制限あり 実務経験教員 対面
YBK1132	立体構成演習	2	2.0	2	秋AB	金5,6	上浦 佑太	造形表現に共通する要素を、形態・材料・技法の各方面から研究し、主に抽象形態を利用した制作を通じて立体的な構成力を養う。	実務経験教員 対面
YBK1211	造形心理学	1	1.0	2	秋AB	火2	山本 早里	造形創作および鑑賞の手がかりとして重要な感覚・知覚心理学的知見に関して,視覚を中心に講義する。また,環境心理学にも触れる。	実務経験教員 対面
YBK1242	プリントテキスタイル演習	2	1.0	3	秋AB	金2 集中	大友 邦子	大判のパターンデザイン図案から版下フィルムおよびシルクスクリーン版を作成(乳剤塗布, 感光)する. これを用いて手捺染による4Mのプリントテキスタイルを制作する.	実務経験教員 対面 人数制限あり. 「パターンデザイン演習」を合わせて履修することを要件とする. 2023年度までの「プリントデザイン演習」に相当. 旧科目履修者履修不可.
YBK1252	パターンデザイン演習	2	1.0	3	春AB	金4 集中	大友 邦子	図案表現としてのドローイングスキルを身につけ、大判のリピートのあるパターンデザインのための画面構成力を習得する。原則1色刷りのプリントテキスタイルへの展開を想定したデザインを制作する。	実務経験教員 対面 2023年度までの「平面構成総合演習」に相当. 旧科目履修者履修不可.
YBK1412	色彩構成演習Ⅰ	2	1.0	2	春AB	木2	山本 早里	色彩の科学的システムと感覚的側面からの基礎的な演習を行い,色彩の感情効果とその応用を習得する。	実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBK1422	色彩構成演習II	2	1.0	2	秋AB	木2	山本 早里	色彩の科学的システムと感覚的側面からの応用的な演習を行い,色彩計画の手法を習得する。環境色彩に関する演習もグループ作業によって行う。	実務経験教員 対面
YBK1522	造形実験演習I	2	1.0	3	春AB	月5	上浦 佑太	素材の選択や扱い方に着目して実験的姿勢で表現の可能性を探究する展開力を身につける。	実務経験教員 対面
YBK1532	造形実験演習II	2	2.0	3	秋AB	月5,6集中	上浦 佑太	素材の選択や扱い方に着目して設定されたテーマのもと各自表現の開拓を試みる。	実務経験教員 対面
YBK9017	構成領域研究I	7	1.0	2	通年	随時	山本 早里,大友 邦子,上浦 佑太	構成領域における授業課題の成果物を発表する機会を設け、プレゼンテーション力を養うと共に、自己の研究テーマを探る。	対面(オンライン併用型)
YBK9027	構成領域研究II	7	1.0	3	春ABC	随時	山本 早里,大友 邦子,上浦 佑太	構成領域において、各自が設定したテーマに基づいて制作実践および理論研究を進め、その成果を作品やプレゼンボード、レポートなどにまとめる。	対面
YBK9037	構成領域特別演習I	7	1.0	3	秋ABC	随時	山本 早里,大友 邦子,上浦 佑太	構成領域において、各自が設定したテーマに基づいて制作実践および理論研究を進め、その成果を作品やプレゼンボード、レポートなどにまとめる。	・構成領域を希望する学生 ・いずれかの領域研究I,II(構成領域のものが望ましい)を履修済で、専門科目(YBH、YBJ、YBK、YBL)を10単位程度取得していることが望ましい。事前に担当教員に相談する事。 対面(オンライン併用型) ・TOEICR IPテストの受験必須 ・自己達成度評価をおこなうこと。
YBK9047	構成領域特別演習II	7	1.0	4	春ABC	随時	山本 早里,大友 邦子,上浦 佑太	構成領域における卒業研究の指導を行う。	構成領域の学生に限る 対面
YBK9057	構成領域特別演習III	7	1.0	4	秋ABC	随時	山本 早里,大友 邦子,上浦 佑太	構成領域における卒業研究の指導を行う。	構成領域の学生に限る 対面(オンライン併用型) 芸術専門学群が実施する卒業制作展等において成果発表をおこなうこと。
YBK9918	卒業研究A(構成領域)	8	3.0	4	春ABC	随時	山本 早里,上浦 佑太,大友 邦子	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 対面
YBK9928	卒業研究B(構成領域)	8	3.0	4	秋ABC	随時	山本 早里,上浦 佑太,大友 邦子	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 対面(オンライン併用型)

専門科目(ビジュアルデザイン領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBL0602	学外演習(ビジュアルデザイン領域)	2	1.0	3	通年	随時	原 忠信,田中 佐代子,山本 美希,マクラウド ギャリー ロデリック	美術館,博物館,工房,各種企業などを訪ねて見学・演習を行う。	実務経験教員 対面
YBL1412	広告デザイン演習	2	1.0	3・4	秋AB	水2	田中 佐代子	広告デザインに必要な知識、技術、表現力を、演習課題を通して学ぶ。	実務経験教員 対面
YBL1512	ブランディングデザイン演習	2	2.0	3・4	秋ABC	集中	原 忠信	実践的な制作課題を通じてブランディングデザインの方法と技術を学ぶ。	初回ガイダンスに必ず参加すること。「ビジュアルデザイン演習A」「ビジュアルデザイン演習B」「ビジュアルデザインシンキング」を履修済の学生に限る。 実務経験教員 対面
YBL1701	画像論	1	1.0	2・3	秋AB	月4	山本 美希,マクラウド ギャリー ロデリック	画像(絵・ピクチュア)の特質、それによる表現・伝達の意義・可能性について、事例を紹介しつつ考える。	半分は英語で授業。芸術専門学群生に限る。芸術専門学群の交換留学生が受講可能。 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
YBL1712	コンテンポラリー・フォトグラフィ演習	2	2.0	3	秋AB	火2,3	マクラウド ギャリー ロデリック	アナログとデジタルフォトメディアによる写真撮影への現代的なアプローチを模索する。写真プロセスの知識を身につけ、関心のあるテーマまたはトピックについてのフォトプロジェクトを制作します。	英語で授業。 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBL1722	ナラティブイラストレーション演習	2	2.0	2	春AB	火3,4		複数の画像の連続によって内容を伝達・表現するナラティブイラストレーションについて課題制作を通して学ぶ。	西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
YBL1732	アートブック演習	2	2.0	2	春AB	火3,4	山本 美希	本の物質性に注目し、その機能と形態を拡張する造形表現を課題制作を通して学ぶ。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
YBL1742	製本演習	2	1.0	3	秋A	木5,6	山本 美希	洋本ハードカバーなどの造本の基礎について、課題制作を通して学ぶ。	実務経験教員 対面
YBL1902	ビジュアルデザインシンキング	2	2.0	2	春AB	木5,6集中	原 忠信	ビジュアルデザインの実践に必要な発想法やデザイン方法について、ワークショップ・ディスカッション・プレゼンテーションなど参加型の授業にて学習する。	人数制限あり(40名) 実務経験教員 対面
YBL2032	ビジュアルデザイン演習A	2	1.0	2	春AB	金3	田中 佐代子	ポスターや冊子表紙のデザインやイラストレーション課題を通して、ビジュアルデザインの基本を習得する。	実務経験教員 対面
YBL2042	ビジュアルデザイン演習B	2	1.0	2	秋AB	金3	マクラウド ギャリー ロデリック,サカイ ロドリゲス オスカル エデュアルド	ビジュアルデザインにおいて、アイデアをカタチにするための方法を実践的課題を通じて学ぶ。	英語で授業。 実務経験教員 対面
YBL2112	エディトリアルデザイン演習	2	1.0	3・4	春AB	水2	田中 佐代子	エディトリアルデザインに必要な知識、技術、表現力を、演習課題を通して学ぶ。	実務経験教員 対面
YBL2502	グラフィックデザイン特別演習	2	1.0	3・4	秋ABC	随時	マクラウド ギャリー ロデリック	学外からデザイナー等を講師として招き、実践的活動を踏まえたグラフィックデザインの発想,制作,評価などについて学ぶ。	英語で授業 西暦偶数年度開講。 実務経験教員 オンライン(同時双方向型)
YBL2912	パッケージデザイン演習	2	1.0	3・4	春B	火5,6	原 忠信	実践的な制作課題を通じてパッケージデザインの方法と技術を学ぶ。	「ビジュアルデザイン演習A」「ビジュアルデザイン演習B」「ビジュアルデザインシンキング」を履修していること。 実務経験教員 対面
YBL5302	サイエンスビジュアリゼーション演習	2	1.0	2・3	春C夏季休業中	集中	田中 佐代子,大庭 良介,藏滿 司夢,八木 勇治,小林 麻己人,岡崎 実那子	サイエンスを視覚的・効果的に表現することを目的とする。グループ別に課題が出題され、最終的にイラスト作品1点を提出する。	人数制限あり(25名)。 HE20142と同一。 オンライン(同時双方向型)
YBL9017	ビジュアルデザイン領域研究I	7	1.0	2	通年	随時	原 忠信,山本 美希,マクラウド ギャリー ロデリック,田中 佐代子	ビジュアルデザイン領域における授業課題の成果物を発表する機会を設け、プレゼンテーション力を養うと共に、自己の研究テーマを探る。	実務経験教員 対面
YBL9027	ビジュアルデザイン領域研究II	7	1.0	3	春ABC	随時	原 忠信,山本 美希,マクラウド ギャリー ロデリック,田中 佐代子	ビジュアルデザイン領域において、各自が設定したテーマに基づいて制作実践および理論研究を進め、その成果を作品やプレゼンボード、レポートなどにまとめる。	2021年度より開講 実務経験教員 対面
YBL9037	ビジュアルデザイン領域特別演習I	7	1.0	3	秋ABC	随時	原 忠信,山本 美希,マクラウド ギャリー ロデリック,田中 佐代子	ビジュアルデザイン領域において、各自が設定したテーマに基づいて制作実践および理論研究を進め、その成果を作品やプレゼンボード、レポートなどにまとめる。	・ビジュアルデザイン領域を希望する学生 ・いずれかの領域研究I,II(ビジュアルデザイン領域のものが望ましい)を履修済で、専門科目(YBH、YBJ、YBK、YBL)を10単位程度取得していることが望ましい。事前に担当教員に相談する事。 実務経験教員 対面(オンライン併用型) ・TOEICR IPテストの受験必須 ・自己達成度評価をおこなうこと。
YBL9047	ビジュアルデザイン領域特別演習II	7	1.0	4	春ABC	随時	原 忠信,山本 美希,マクラウド ギャリー ロデリック,田中 佐代子	ビジュアルデザイン領域における卒業研究の指導を行う。	ビジュアルデザイン領域の学生に限る 実務経験教員 対面
YBL9057	ビジュアルデザイン領域特別演習III	7	1.0	4	秋ABC	随時	原 忠信,山本 美希,マクラウド ギャリー ロデリック,田中 佐代子	ビジュアルデザイン領域における卒業研究の指導を行う。	ビジュアルデザイン領域の学生に限る 実務経験教員 対面 芸術専門学群が実施する卒業制作展等において成果発表をおこなうこと。
YBL9918	卒業研究A(ビジュアルデザイン領域)	8	3.0	4	春ABC	随時	原 忠信,山本 美希,マクラウド ギャリー ロデリック,田中 佐代子	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBL9928	卒業研究B(ビジュアルデザイン領域)	8	3.0	4	秋ABC	随時	原 忠信,山本 美希,マクラウド ギャリー ロデリック,田中 佐代子	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 実務経験教員 対面

専門科目(情報・プロダクトデザイン領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBN0101	人間工学	1	1.0	2	秋AB	金3	小山 慎一	デザインの最終的な対象は人間である。人間の基本的性質である、生体構造の特徴、生体や行動計測の方法、生理反応の特徴や環境と人間のインタラクション、などに関して講述し、デザインの基本である人間情報の取り扱い方を学ぶ。	デザイン及び芸術表現を学ぶ学生を対象とするものであり、生理学、解剖学、医学などを専門とする学生は対象としない。 実務経験教員 対面
YBN0112	デザイン演習1-A	2	1.0	2	春A	木4,5	包 索米亜	情報・プロダクトデザイン領域の基礎について、課題を通して演習を行う。	実務経験教員 対面(オンライン併用型)
YBN0212	デザイン演習2-A	2	1.0	2	春B	木4,5	伊藤 節,包 索米亜	情報・プロダクトデザイン領域の基礎について、課題を通して演習を行う。	実務経験教員 オンライン(同時双方向型)
YBN0512	デザイン演習5-A	2	1.0	2	秋B	木4,5	李 昇姫	情報・プロダクトデザイン領域の基礎について、課題を通して演習を行う。	実務経験教員 対面
YBN0612	デザイン演習6-A	2	1.0	2	秋C	木4,5	小山 慎一	情報・プロダクトデザイン領域の基礎について、課題を通して演習を行う。	実務経験教員 対面
YBN13A2	情報・プロダクトデザイン演習A	2	2.0	3	春A	金4,5 集中	山田 博之	製品のプロトタイピングを重視した課題を設定し、要件を満たす実働のプロトタイプを作成する。 プロトタイピングの機材利用のために創房を利用する。	2025年度までの情報・プロダクトデザイン演習6相当の科目 GC59792と同一。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
YBN13B2	情報・プロダクトデザイン演習B	2	2.0	3	春B	金4-6 集中	山田 博之	コミュニケーションをキーワードとした課題を設定し、それらをプレゼンテーションするためのモックアップ、プロトタイプ、プレゼンテーションマテリアルの作成を行い、最終日にプレゼンテーションを行う。	2025年度までの情報・プロダクトデザイン演習1相当の科目 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
YBN13C2	情報・プロダクトデザイン演習C	2	2.0	3	春C	金4-6 集中	包 索米亜	情報・プロダクトデザインに関わる二つの特定課題を設定し、そのうち一つを学生自身が選び、アイデアスケッチ、プロトタイプ制作、実働モデル改善などのデザインプロセスを実践する。毎週のプレゼンテーションを実施し、フィードバックをもらい、ブラッシュアップをしながらデザイン制作を行う。	実務経験教員 対面(オンライン併用型) 2025年度までの情報・プロダクトデザイン演習3相当の科目。 授業は主に日本語で行うが、要望によって英語も併用する。
YBN13D2	情報・プロダクトデザイン演習D	2	1.0	3	秋A	金4,5	李 昇姫	情報,プロダクトデザインに関わる特定課題に基づく演習。	2025年度までの情報・プロダクトデザイン演習4相当の科目 実務経験教員 対面
YBN13E2	情報・プロダクトデザイン演習E	2	1.0	3	秋B	金4,5	小山 慎一	卒業論文執筆のためのライティング(Writing)演習。卒業研究では文献調査に基づいて問題を提起し、仮説を立て、検証するための実験・調査を行い、結果を分析した上で先行研究および仮説と関連付けて批判的・創造的に考察し、成果を論文としてまとめる能力が求められる。授業では論文執筆に関する演習を行うことによってこれらの能力の修得を目指す。	実務経験教員 対面 2025年度までの情報・プロダクトデザイン演習4相当の科目
YBN13F2	情報・プロダクトデザイン演習F	2	2.0	3	通年	応談	内山 俊朗	本授業は、「つくる」「見せる」「対話する」プロセスを通じて、アイデアや作品を社会と接続する体験を目的とする。新規アイデアのプロトタイピングから始めても、既存の作品・研究・プロジェクトをブラッシュアップしてもよい。最終的にMaker Faire Tokyoなどの公開展示イベントを念頭に、作品実装・プレゼンテーション・展示運営を実践的に学ぶ。	実務経験教員 対面 2025年度までの情報・プロダクトデザイン演習2相当の科目
YBN2104	デザインシンキング	4	2.0	2・3	春C 夏季休業中	水4,5 集中	榊原 瑞穂,内山 俊朗	この授業では、設定された課題テーマに対し、デザインシンキングのプロセスを通じてグループワークおよび個人ワークを行います。最終的には、各自が一つのデザイン提案を行います。テーマは「未来の移動体験」とし、ユーザー像、提供価値、シーンイメージなどをアウトプットします。	教室:総合研究棟D116 2020年度までの「情報システムデザイン学」に相当。 西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
YBN2234	UI/UXデザイン	4	1.0	2・3	春C	火4,5	内山 俊朗	さまざまなサービスや製品が溢れ、消費者のリテラシーが高まっている現代において、消費者の潜在的欲求に沿ったデザインは必須になっている。 ユーザーエクスペリエンスデザインでは、消費者がサービスや製品を使用する前後までも含めたストーリーを明確にし、そのコンテキストに合ったデザインを進めていくための方法を簡単な実践も取り入れながら学ぶ。	芸術専門学群生に限る。 西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBN2244	情報伝達デザイン	4	1.0	2・3				ポートフォリオやポスターなどで研究成果を伝える際に、より効果的かつ正確に情報を伝えることができる、レイアウト・デザインの基本的な知識や技術を、DTPアプリケーションによる演習課題の制作を通して学ぶ。	芸術専門学群の2年次以上で情報・プロダクト・環境・建築デザイン領域志望者に限る。西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
YBN2301	感性デザイン学と融合科学	1	1.0	2	春AB	火3	李 昇姫	感性は、個人の異なる経験に基づいた心の働きであり、感情、感覚、脳活動、心理など人間の行動に関わる認知プロセスによって表現される。感性科学を基盤にした脳活動、生態情報、工学システムを応用した融合科学の国際的なジャーナル研究事例を紹介する。感性の概念は、Kanseiという学術的に国際化されており、グローバルな学術分野として発展する重要な意味を考え、最先端の技術社会における人間の価値観と「思いやり」を通した未来のデザインのあり方を考える。	2011年度までの「デザインと認知科学」に相当。 要望があれば英語で授業 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
YBN2434	プロトタイピング	4	1.0	2	春C	金3,4	山田 博之	3Dプリンタを用いた製品プロトタイピングを主体とし、電子工作、プログラミングを組み合わせた、実働するモデルの製作を行う。	芸術専門学群生に限る。2021年度までの「プロトタイピング基礎」に相当。3Dモデリング、プログラミングのためにパソコンを持参すること。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
YBN2514	プログラミング基礎	4	1.0	2	秋B	金4,5	山田 博之	AIを活用したプログラミング環境の構築と具体的なコーディング方法を基盤として、ユーザーインタフェースのプロトタイピングやゲームの制作に必要なプログラミングの基礎を学び、インタラクティブなプログラムを作成する。 課題の制作には Javascript を用いる。	芸術専門学群生に限る。Google ChromeとVisual Studio Codeをインストール済みのパソコンを持参すること。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
YBN2524	プログラミング応用	4	1.0	2	秋C	金3,4	山田 博之	AIを活用したプログラミングを通してオブジェクト指向プログラミングの基礎を学び、Webブラウザ上で動作するインタラクティブなゲームプログラムの作成を行う。 課題の制作には Javascript を用いる。	芸術専門学群生に限る。「プログラミング基礎」を履修済みのこと。Google Chrome と Visual Studio Code をインストール済みのパソコンを持参すること。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
YBN2531	感性情報とメディアインタラクション	1	1.0	2	春AB	火4	李 昇姫	私たちの経験は記憶に残され、新しい刺激に反応しながら融合し、より意味のある情報として進化していく。本授業では人間の感性の重要性を再認識し、感性の働きを情報として捉え新しい発想に応用する。認知科学と心理学の理論を学び、人間の潜在的な行動を観察しながら、人間と情報との関わりを多様な状況に基づいて考える。専門性より、視点の多様性を重視し、経験につながる五感と感情、感性に働きかける要素を全て含んだダイナミックな表現方法を学ぶ。(Iでは、基礎的な理論と方法を学ぶ。IIでは人間の行動を観察し、メディアとして応用したインタラクションを学ぶ。)	2020年度までの「情報メディア論I」に相当。旧科目履修者履修不可。総合研究棟D117で行う。 要望があれば英語で授業 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
YBN2534	感性情報とメディアインタラクション演習	4	1.0	2	秋AB	火4	李 昇姫	私たちの経験は記憶に残され、新しい刺激に反応しながら融合し、より意味のある情報として進化していく。本授業では人間の感性の重要性を再認識し、感性の働きを情報として捉え新しい発想に応用する。認知科学と心理学の理論を学び、人間の潜在的な行動を観察しながら、人間と情報との関わりを多様な状況に基づいて考える。専門性より、視点の多様性を重視し、経験につながる五感と感情、感性に働きかける要素を全て含んだダイナミックな表現方法を学ぶ。(Iでは、基礎的な理論と方法を学ぶ。IIでは人間の行動を観察し、メディアとして応用したインタラクションを学ぶ。)	2020年度までの「情報メディア論II」に相当。旧科目履修者履修不可。総合研究棟D117で行う。 要望があれば英語で授業 実務経験教員 対面
YBN2621	デザインイノベーション論	1	1.0	2・3	春AB	金3	山田 博之	デザインにおけるイノベーションについて事例を通して学習し、プロジェクトマネージメントの観点からデザインを行うためのスキルを養う。	実務経験教員 対面
YBN2641	デザイン評価と実験研究	1	1.0	3	春AB	火4	包 索米亜	デザインを評価するには何をすれば良いのかを討論するために、実験の設計方法、心理指標、行動指標、生理指標に基づいたデザイン評価の方法について講義する。	2022年度までの「デザイン評価論」と一部相当。 実務経験教員 対面 授業は主に日本語で行うが、要望によって英語も併用する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBN2651	デザイン解析論:データサイエンスと統計解析	1	1.0	3	秋AB	月4集中	包 索米亜	デザインは、単に直観による表現に留まらず、デザインによる感性価値や社会価値の向上をも達成しなくてはならない。そこで、デザイン情報の体系的な理解のために、データとは何か、調査・計測による客観的なデータの捉え方、データの分析や考察するための手法について学び、デザインプロセスにとって必須である、価値創造の考え方の基盤を養い、データ解析の応用練習を行う。	2022年度までの「デザイン解析論基礎」と「デザイン解析論応用」の内容に相当。 実務経験教員 対面 授業は主に日本語で行うが、要望によって英語も併用する。
YBN2661	デザイン材料技術論	1	1.0	2	秋BC	水6	伊藤 節	プロダクトデザインにおける材料と生産工法にフォーカスし、プラスチック、金属、ガラス、木、紙と石など、多様な材料と工法の現状について講義する。	2022年度までの「生産システムデザイン論」の内容に相当。 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型) 授業は主に日本語で行うが、要望によって英語も併用する。
YBN2902	ダイナミックインタラクションデザイン演習	2	1.0	2	秋AB	火3	李 昇姫,村上 史明	情報・プロダクト・メディアアートを融合した,オブジェによるインタラクション設計の基礎を習う。センサによるハイテック電子技術や形の素材の仕組みを利用したローテックによるインタラクション設計を同時に行う。	要望があれば英語で授業 対面 ミューズガーデン及び5C203で実施
YBN2933	インターンシップA(情報・プロダクトデザイン)	3	1.0	4	秋C	応談	内山 俊朗	情報・プロダクトデザインに関する企業やデザイン事務所等において、その専門とするデザインプロセスを体験・習得する。履修する場合には、担当教員にあらかじめ相談すること。	実務経験教員 対面 実習やインターンシップは、個々の学生が学外で実施する。学内の報告会は、対面で実施する。
YBN2943	インターンシップB(情報・プロダクトデザイン)	3	1.0	4	秋C	応談	内山 俊朗	情報・プロダクトデザインに関する企業やデザイン事務所等において、その専門とするデザインプロセスを体験・習得する。履修する場合には、担当教員にあらかじめ相談すること。	実務経験教員 対面 実習やインターンシップは、個々の学生が学外で実施する。学内の報告会は、対面で実施する。
YBN3372	デザイン系企業研究	2	3.0	3	秋AB	火4-6	内山 俊朗	情報・プロダクトデザインに関する企業について、情報収集、ディスカッションを行う。また、ポートフォリオを作成する。	総合研究棟D211で行う。 実務経験教員 対面
YBN9017	情報・プロダクトデザイン領域研究I	7	1.0	2	通年	木1,2随時	小山 慎一,李 昇姫,内山 俊朗,山田 博之,包 索米亜	情報・プロダクトデザイン領域における年次ごとの学習計画についてガイダンスをと演習指導を行う。	実務経験教員 対面(オンライン併用型)
YBN9027	情報・プロダクトデザイン領域研究II	7	1.0	3	春ABC	木1,2随時	小山 慎一,李 昇姫,内山 俊朗,山田 博之,包 索米亜	情報・プロダクトデザイン領域における年次ごとの学習計画についてガイダンスをと演習指導を行う。	実務経験教員 対面(オンライン併用型)
YBN9037	情報・プロダクトデザイン領域特別演習I	7	1.0	3	秋ABC	木1,2随時	小山 慎一,李 昇姫,内山 俊朗,山田 博之,包 索米亜	情報・プロダクトデザイン領域における卒業研究に向けた研究計画の指導を行う。	・情報・プロダクトデザイン領域を希望する学生 ・いずれかの領域研究I,II(情報・プロダクトデザイン領域のものが望ましい)を履修済で、専門科目(YBN、YBP、YBQ)を10単位程度取得していることが望ましい。事前に担当教員に相談する事。 実務経験教員 対面(オンライン併用型) ・TOEICR IPテストの受験必須 ・自己達成度評価をおこなうこと
YBN9047	情報・プロダクトデザイン領域特別演習II	7	1.0	4	春ABC	木1,2随時	小山 慎一,李 昇姫,内山 俊朗,山田 博之,包 索米亜	情報・プロダクトデザイン領域における卒業研究の指導を行う。	情報・プロダクトデザイン領域の学生に限る 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
YBN9057	情報・プロダクトデザイン領域特別演習III	7	1.0	4	秋ABC	木1,2随時	小山 慎一,李 昇姫,内山 俊朗,山田 博之,包 索米亜	情報・プロダクトデザイン領域における卒業研究の指導を行う。	情報・プロダクトデザイン領域の学生に限る 情報・プロダクトデザイン領域のインターンシップを1科目以上履修していること 実務経験教員 対面(オンライン併用型) 芸術専門学群が実施する卒業制作展等において成果発表をおこなうこと。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBN9918	卒業研究A(情報・プロダクトデザイン領域)	8	3.0	4	春ABC	随時	小山 慎一,李 昇姫,内山 俊朗,山田 博之,包 索米亜	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
YBN9928	卒業研究B(情報・プロダクトデザイン領域)	8	3.0	4	秋ABC	随時	小山 慎一,李 昇姫,内山 俊朗,山田 博之,包 索米亜	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)

専門科目(環境デザイン領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBP0222	デザイン演習2-B	2	1.0	2	春B	木4,5	菅野 圭祐	都市公園において周辺景観と応答した小建築を設計する。	実務経験教員 対面
YBP0262	デザイン演習6-B	2	1.0	2	秋C	木4,5	藤田 直子	都市または農山漁村における野外空間や施設にかかわる構想・計画・設計に関する一連の思考方法、表現手法の習得	実務経験教員 対面
YBP0332	環境デザイン演習A	2	3.0	3	春AB	金4-6	野中 勝利	文化施設の建築設計を含む都市公園のデザインに関する計画・設計の演習を行う。	実務経験教員 対面
YBP0342	環境デザイン演習B	2	3.0	3	春C夏季休業中	金4-6集中	菅野 圭祐	エコミュージアムの拠点施設に関する計画・設計の演習を行う。	実務経験教員 対面
YBP0352	環境デザイン演習C	2	3.0	3	秋AB	金4-6	橋本 剛	自然環境と調和した建築物(公共施設)の計画と設計の演習を行う。具体的な地域を設計対象として取り上げ、その地域の現状・課題・環境デザイン的ポテンシャルを整理・分析し、自然環境と調和した建築物(公共施設)の計画・設計の提案を行う。	実務経験教員 対面
YBP2831	地域まちづくり論	1	2.0	2	春AB	月3,4	菅野 圭祐	地域コミュニティが主導して建築・都市・地域の空間的・社会的な諸課題に取り組むまちづくりについて、どのような方法、プロセス、体制で住環境の改善や地域のマネジメントが進められてきたのか、国内外の活動事例をもとに、その理論と実践を学ぶ。	実務経験教員 対面
YBP2922	学外演習(環境デザイン)	2	1.0	3	通年	随時	野中 勝利,藤田 直子,橋本 剛,菅野 圭祐	学外の著名な環境・建築デザインの現場を訪ね,見学を行い,デザインの過程・現状・文化などを体験的に学ぶ。	実務経験教員 対面
YBP3301	都市デザイン論	1	2.0	3	秋AB	木4,5	野中 勝利,真野 洋介	都市や建築にかかわる様々な課題が、近代の都市づくりの中でどのような過程を経てきたのか、そして現代における建築・都市空間の計画とデザインの方法と技術について、国内外の事例の解説を通して、その理論と実践とを講述する。	実務経験教員 対面 2027年度限り
YBP3401	ランドスケープデザイン論	1	2.0	2	秋AB	月5,6	藤田 直子	ランドスケープデザインの系譜を学ぶとともに、最新の国内・海外におけるランドスケープデザインやプランニングの実践例を知ることで、自然域から都市域まで様々な場におけるランドスケープの構造・機能・変化過程を適切に理解しデザインする理論を修得する。	対面
YBP9017	環境デザイン領域研究I	7	1.0	2	通年	木1,2随時	野中 勝利,藤田 直子,橋本 剛,菅野 圭祐	環境デザイン領域における年次ごとの学習計画についてガイダンスと演習指導を行う。	実務経験教員 対面
YBP9027	環境デザイン領域研究II	7	1.0	3	春ABC	木1,2随時	野中 勝利,藤田 直子,橋本 剛,菅野 圭祐	環境デザイン領域における年次ごとの学習計画についてガイダンスと演習指導を行う。	実務経験教員 対面
YBP9037	環境デザイン領域特別演習I	7	1.0	3	秋ABC	木1,2随時	野中 勝利,藤田 直子,橋本 剛,菅野 圭祐	環境デザイン領域における卒業研究に向けた研究計画の指導を行う。	・環境デザイン領域学生を希望する学生。 ・いずれかの領域研究I,II(環境デザイン領域のものが望ましい)を履修済で、専門科目(YBN、YBP、YBQ)を10単位程度取得していることが望ましい。事前に担当教員に相談する事。 実務経験教員 対面 ・TOEICR IPテストの受験必須。 ・自己達成度評価をおこなうこと。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBP9047	環境デザイン領域特別演習II	7	1.0	4	春ABC	木1,2 随時	野中 勝利,藤田 直子,橋本 剛,菅野 圭祐	環境デザイン領域における卒業研究の指導を行う。	環境デザイン領域の学生に限る 実務経験教員 対面
YBP9057	環境デザイン領域特別演習III	7	1.0	4	秋ABC	木1,2 随時	野中 勝利,藤田 直子,橋本 剛,菅野 圭祐	環境デザイン領域における卒業研究の指導を行う。	環境デザイン領域の学生に限る 実務経験教員 対面 芸術専門学群が実施する卒業制作展等において成果発表をおこなうこと。
YBP9918	卒業研究A(環境デザイン領域)	8	3.0	4	春ABC	随時	野中 勝利,藤田 直子,橋本 剛,菅野 圭祐	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 実務経験教員 対面
YBP9928	卒業研究B(環境デザイン領域)	8	3.0	4	秋ABC	随時	野中 勝利,藤田 直子,橋本 剛,菅野 圭祐	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 実務経験教員 対面

専門科目(建築デザイン領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBQ0212	デザイン演習1-B	2	1.0	2	春A	木4,5	山田 協太	環境・建築の各デザイン分野の基礎について、住宅の設計演習を通じて学ぶ。	実務経験教員 対面
YBQ0252	デザイン演習5-B	2	1.0	2	秋B	木4,5	花里 俊廣	環境・建築の各デザイン分野の基礎について,小規模施設の設計演習を通じて学ぶ。	実務経験教員 対面
YBQ0342	建築デザイン演習A	2	3.0	3	春AB	金4-6	花里 俊廣	集合住宅に関する計画・設計の演習を行う。	実務経験教員 対面
YBQ0352	建築デザイン演習B	2	3.0	3	春C夏季休業中	金4-6	山田 協太	フィールドワークに基づき計画・設計の演習を行う。	日本語と英語を併用します。 実務経験教員 対面
YBQ0362	建築デザイン演習C	2	3.0	3	秋AB	金4-6	加藤 研	公共施設に関する計画・設計の演習を行う。	実務経験教員 対面
YBQ0372	建築デザイン演習D	2	3.0	3	秋C	金4-6 集中	杉崎 広空	ミュージアムやギャラリー等の設計とかかわる演習。	実務経験教員 対面
YBQ0411	世界建築史	1	2.0	3	春AB	水1,2	山田 協太	先史時代から近世に至る建築の展開をグローバルな視点で捉える。ヴァナキュラー建築、イスラーム、ヒンドゥー・仏教、中華、日本、のそれぞれの建築の展開を時系列に沿って学ぶとともに、地域と文化を横断する建築の同時代的連動関係を学ぶ。建築の歴史を学ぶことにより、現代社会に求められる建築文化の新たな視点を見出す。	実務経験教員 対面
YBQ0821	建築材料論	1	2.0	2・3	春AB	水5,6	中田 清史,加藤 研	建築物を構成する構造材料(コンクリート、木材、鋼材)、仕上げ材料、機能性材料の特性及び使用部位において要求される機能・性能とそれらに呼応する性質を学習する。また、建築材料に関連する建築生産行為全般の最新の話題を取り上げ、建築材料に関する幅広い知識を習得する。	受講者数の上限を70名とする受講希望者数が上限を越えた場合は受講できないことがある 西暦偶数年度開講。 対面
YBQ2922	学外演習(建築デザイン)	2	1.0	3	秋ABC	随時	花里 俊廣,加藤 研,山田 協太,岩田 祐佳梨,杉崎 広空	学外の著名な環境・建築デザインの現場を訪ね,見学を行い,デザインの過程・現状・文化などを体験的に学ぶ。	実務経験教員 対面
YBQ3601	建築設計論	1	2.0	3	春AB	月5,6	岩田 祐佳梨	住宅論、建築論、都市論を題材に、都市や周辺環境への観察を,いかに建築として定着させるかを,建築設計論として考察する。	実務経験教員 対面
YBQ3811	建築環境計画論	1	2.0	3	春AB	火4,5	橋本 剛	建築・都市における熱・空気環境、光・視環境、音環境、水環境を対象とした環境計画を行うために必要な基礎的事項を取得し、建築設計・都市計画に応用できるようにする。	YBQ3831建築設備計画演習と併せて履修することが望ましい。 実務経験教員 対面
YBQ3831	建築設備計画演習	1	2.0	3	秋AB	火4,5	橋本 剛	建築・都市における熱・空気環境,光・視環境,水環境と建築設備(空調設備,照明設備など)との関係について、演習により基礎的事項を習得し,建築設計・都市計画に応用できるようにする。	YBQ3811建築環境計画論と併せて履修することが望ましい。芸術専門学群の学生に限る。 対面
YBQ4041	建築通史	1	1.0	2	春学期	火	杉崎 広空	古代から近代に至る西洋建築の歴史を講述する。	実務経験教員 対面
YBQ4051	現代デザイン論	1	1.0	2	秋ABC	集中	杉崎 広空	日本の近現代のデザイン運動について講述する。	実務経験教員 対面(オンライン併用型)
YBQ4061	建築計画論	1	2.0	2	春AB	火3,4	花里 俊廣	建築を計画するのに必要な知識を得るため,建物や場所がどのように機能し,意味を持つのか,人間の行動や社会的側面から考察する。特に,現代の住宅・集合住宅,インテリア,住宅の歴史などに焦点を絞って講述する。	実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBQ4201	建築構法論	1	2.0	3	秋AB	月4,5	加藤 研	建築空間を実現する上での様々な構法について、代表的な構法である木構造、鉄骨構造、鉄筋コンクリート構造を取り上げ、それぞれの構造材料の特性と空間架構の可能性について講述する。特に現代において様々に試みられている新しい構法の事例についても紹介する。	実務経験教員 対面
YBQ4202	建築構法論演習	2	1.0	3	春C	月3,4	加藤 研	詳細図の製図を行い、構造・屋根・床・壁・開口部など建築物の各部ディテールの設計方法を習得する。	建築設計を行う授業を履修済で、製図の経験があることが望ましい。 実務経験教員 対面
YBQ5011	構造力学	1	2.0	2・3				建築物の構造解析の基本となる、力のつり合い、反力、静定構造物・不静定構造物の応力、変形、断面の性質、応力度、ひずみ度、座屈の概念および計算方法を学ぶ。	受講者数の上限を70名とする受講希望者数が上限を越えた場合は受講できないことがある 西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
YBQ5021	構造計画	1	2.0	2・3				建築種別、構造形式、力の流れ、荷重等を考慮して建築構造計画を立案できる基本的知識を習得させる。実際に構造計画を立て構造計算を行う。	受講者数の上限を70名とする受講希望者数が上限を越えた場合は受講できないことがある 西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
YBQ9017	建築デザイン領域研究I	7	1.0	2	通年	木1,2 随時	花里 俊廣,山田 協太,加藤 研,岩田 祐佳梨,杉崎 広空	建築デザイン領域特別ゼミに参加し、建築デザイン領域の研究と制作の広がりを理解するとともに、建築デザイン領域における学習の方向を定める。	実務経験教員 対面
YBQ9027	建築デザイン領域研究II	7	1.0	3	春ABC	木1,2 随時	花里 俊廣,山田 協太,加藤 研,岩田 祐佳梨,杉崎 広空	建築デザイン領域特別ゼミに参加し、建築デザイン領域の研究と制作の広がりを理解するとともに、建築デザイン領域における学習の方向を定める。	実務経験教員 対面
YBQ9037	建築デザイン領域特別演習I	7	1.0	3	秋ABC	木1,2 随時	花里 俊廣,山田 協太,加藤 研,岩田 祐佳梨,杉崎 広空	建築デザイン領域における卒業研究に向けた研究計画の指導を行う。	・建築デザイン領域を希望する学生に限る・いずれかの領域研究I,II(建築デザイン領域のものが望ましい)を履修済で、専門科目(YBN、YBP、YBQ)を10単位程度取得していることが望ましい。事前に担当教員に相談する事(建築士受験資格の取得については、履修要覧を確認する事) 実務経験教員 対面 ・TOEICR IPテストの受験必須・自己達成度評価をおこなうこと
YBQ9047	建築デザイン領域特別演習II	7	1.0	4	春ABC	木1,2 随時	花里 俊廣,山田 協太,加藤 研,岩田 祐佳梨,杉崎 広空	建築デザイン領域における卒業研究の指導を行う。	建築デザイン領域の学生に限る 実務経験教員 対面
YBQ9057	建築デザイン領域特別演習III	7	1.0	4	秋ABC	木1,2 随時	花里 俊廣,山田 協太,加藤 研,岩田 祐佳梨,杉崎 広空	建築デザイン領域における卒業研究の指導を行う。	建築デザイン領域の学生に限る 実務経験教員 対面 芸術専門学群が実施する卒業制作展等において成果発表をおこなうこと。
YBQ9918	卒業研究A(建築デザイン領域)	8	3.0	4	春ABC	随時	花里 俊廣,山田 協太,加藤 研,岩田 祐佳梨,杉崎 広空	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 実務経験教員 対面
YBQ9928	卒業研究B(建築デザイン領域)	8	3.0	4	秋ABC	随時	花里 俊廣,山田 協太,加藤 研,岩田 祐佳梨,杉崎 広空	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 実務経験教員 対面

専門科目(共通)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBX0011	専門語学(英語)1	1	1.0	2 - 4	春AB	月6	サカイ ロドリゲス オスカル エデュアルド	Students will deepen their understanding of English by creating and presenting small art projects. Through writing and speaking assignments, students will enhance their ability to communicate ideas, analyze artwork critically, and engage with both their own and others' creative work.	This course is in English. 英語で授業。 対面を基本とする。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBX0021	専門語学(英語)2	1	1.0	2 - 4	秋AB	月6	サカイ ロドリゲス オスカル エデュアルド	Students will deepen their understanding of English by creating and presenting small art projects. Through writing and speaking assignments, students will enhance their ability to communicate ideas, analyze artwork critically, and engage with both their own and others' creative work.	This course is in English. 英語で授業。 対面を基本とする。
YBX2001	絵画技法論	1	1.0	2	春AB	金1	仏山 輝美,福満 正志郎,山本 浩之	油彩画、アクリル画、日本画制作における諸技法と材料について解説する。	原則、洋画領域もしくは日本画領域に進級する予定の芸術専門学生を受講対象としている。 実務経験教員 対面
YBX2531	芸用解剖学-I	1	1.0	3・4	春AB	金1	足立 和隆,山本 浩之	骨格系,筋系を中心に身体の形態や構造などについて述べるとともに,それらが体表からどのように観察され,実際の作例にどのように表現されているかについて解説する。	西暦偶数年度開講 西暦偶数年度開講。 対面
YBX2541	芸用解剖学 - II	1	1.0	3・4	秋AB	火6	足立 和隆,山本 浩之	骨格系,筋系を中心に身体の形態や構造などについて述べるとともに,それらが体表からどのように観察され,実際の作例にどのように表現されているかについて解説する。	「芸用解剖学 - I」を履修済であること。西暦偶数年度開講。 対面
YBX2903	インターンシップ1(美術史、芸術支援、洋画、版画、日本画、彫塑、書)	3	1.0	3・4	通年	応談	山本 浩之,直江 俊雄,福満 正志郎,田島 直樹,川島 史也,尾川 明穂,武田 一文	インターンシップに参加し、芸術に関わる実践力を身につける。	対面
YBX2913	インターンシップ2(工芸、総合造形、構成、ビジュアルデザイン)	3	1.0	3・4	通年	応談	山本 浩之,宮原 克人,小野 裕子,大友 邦子,原 忠信,山本 早里,上浦 佑太,齋藤 敏寿,マクラウド ギャリー ロデリック,東 弘一郎,山本 美希,村上 史明,田中 佐代子,勝川 夏樹	インターンシップに参加し、芸術に関わる実践力を身につける。	対面
YBX2923	インターンシップ3(情報・プロダクトデザイン、環境デザイン、建築デザイン)	3	1.0	3・4	通年	応談	山田 博之,山田 協太,菅野 圭祐	デザインに関する企業やデザイン事務所等において、その専門とするデザインプロセスを体験・習得する。履修する場合には、担当教員にあらかじめ相談すること。	実務経験教員 対面 実習やインターンシップは、個々の学生が学外で実施する。学内の報告会は、対面で実施する。
YBX3202	創造的復興:チャレンジ学外演習I	2	2.0	3	秋ABC	随時	原 忠信,宮原 克人,村上 史明,マクラウド ギャリー ロデリック	芸術の視点から立案した地域再生に向けたプランを実施する。その中で、歴史・文化的な資源の活用や、地域住民との協力など、創造的復興に必要な視点や方法を経験的に習得する。	実務経験教員 対面
YBX3602	創造的復興:チャレンジ学外演習II	2	2.0	4	秋ABC	随時	原 忠信,宮原 克人,村上 史明,マクラウド ギャリー ロデリック	芸術の視点から立案した地域再生に向けたプランを実施する。その中で、歴史・文化的な資源の活用や、地域住民との協力など、創造的復興に必要な視点や方法を経験的に習得する。	実務経験教員 対面
YBX3812	拡張表現スタジオ1-A	2	1.0	1	春C	金3,4	原 忠信	欧文タイポグラフィの課題制作を通してデザインシステムの考え方と表現方法を学ぶ。	2019年度以降の入学者に限る.旧構成基礎演習の未修得者は、読み替え科目として履修可. 実務経験教員 対面
YBX3822	拡張表現スタジオ1-B	2	1.0	1	秋A	金3,4	上浦 佑太	アクリル絵の具による平面構成やケント紙を使った立体構成などを通して、色・形の基本的なバランス感覚を養う。	実務経験教員 対面
YBX3832	拡張表現スタジオ1-C	2	1.0	1	秋B	金3,4	宮原 克人	木材などの自然素材を用いた課題制作を通して、立体造形の表現方法を学ぶ。	人数制限あり 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBX3902	拡張表現スタジオ2	2	2.0	2	秋ABC	随時	村上 史明,田中 佐代子,山本 早里,大友 邦子,小野 裕子,齋藤 敏寿,原 忠信,宮原 克人,山本 美希,勝川 夏樹,上浦 佑太,マクラウド ギャリー ロデリック,東 弘一郎	拡張表現スタジオのガイダンスとこれまでに各自が行ってきた制作・研究活動の作品や成果としてポートフォリオを作成する。	2019年度以降の入学者に限る. 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
YBX3912	拡張表現スタジオ3	2	2.0	3	秋ABC	随時	村上 史明,田中 佐代子,山本 早里,大友 邦子,小野 裕子,齋藤 敏寿,原 忠信,宮原 克人,山本 美希,勝川 夏樹,上浦 佑太,マクラウド ギャリー ロデリック,東 弘一郎	3年次までの研究成果として作品やプレゼンボード等を制作し、年度末に展覧会を実施する。会期中,VD,工芸,構成,総合造形の4領域の教員が展示に対して講評する.	2019年度以降の入学者に限る. 実務経験教員 対面
YBX3932	拡張表現スタジオ4A	2	1.0	4	春ABC	随時	村上 史明,田中 佐代子,山本 早里,大友 邦子,小野 裕子,齋藤 敏寿,原 忠信,宮原 克人,山本 美希,勝川 夏樹,上浦 佑太,マクラウド ギャリー ロデリック,東 弘一郎	卒業制作のプランについてプレゼンテーションを行う。	2019年度以降の入学者に限る.拡張表現スタジオ3を履修していること。 実務経験教員 対面
YBX3942	拡張表現スタジオ4B	2	1.0	4	秋ABC	随時	村上 史明,田中 佐代子,山本 早里,大友 邦子,小野 裕子,齋藤 敏寿,原 忠信,宮原 克人,山本 美希,勝川 夏樹,上浦 佑太,マクラウド ギャリー ロデリック,東 弘一郎	卒業制作を展示しプレゼンテーションを行う。	2019年度以降の入学者に限る.拡張表現スタジオ3を履修していること。 実務経験教員 対面
YBX4012	デザイン基礎演習I	2	2.0	1	春AB	金5,6	内山 俊朗	立体造形物の表示並びにプレゼンテーションの基礎についての演習を行う。	情報・プロダクト・環境・建築デザイン領域志望者向け専門科目 実務経験教員 対面
YBX4052	デザイン基礎演習2-I	2	1.0	1	秋A	金5,6	藤田 直子	ランドスケープの計画・表現の基礎についての演習	情報・プロダクト・環境・建築デザイン領域志望者向け専門科目 実務経験教員 対面
YBX4062	デザイン基礎演習2-II	2	1.0	1	秋B	金5,6	岩田 祐佳梨	景観に配慮した建築・都市空間の計画・表現の基礎についての演習。	情報・プロダクト・環境・建築デザイン領域志望者向け専門科目 実務経験教員 対面
YBX4302	デザイン演習3	2	1.0	2	春C	木4,5	小山 慎一,加藤 研	デザインの実践的課題を設定し、コンセプト立案からモデル試作までのデザイン制作の演習を行う。	実務経験教員 対面
YBX4402	デザイン演習4	2	1.0	2	秋A	木4,5	橋本 剛,山田 博之	「てらす」をキーワードとしたデザインの実践的課題を設定し、コンセプト立案からモデル試作までのデザイン制作の演習を行う。	実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBX4812	アート・デザインプロデュース演習1	2	1.0	1・2	春AB	応談	菅野 圭祐,原 忠信,山田 協太,藤田 直子,マクラウド ギャリー ロデリック,岩田 祐佳梨,サカイ ロドリゲス オスカル エデュアルド,内山 俊朗	多様な学生のチームが地域や大学の協働者とともにアート・デザインの手法を用いた地域貢献・大学貢献を実践的に行う。	「アート・デザインプロデュース演習2」、「アート・デザインプロデュース演習3」と併せて履修すること。 教室は6A308の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の木曜18:15より6A308で行う。詳しくは掲示を参照のこと。 実務経験教員 対面 全体発表スケジュール:1パネル展示:オープンキャンパス時(@6A棟および5C棟)、2中間発表会:秋A木曜授業の最終日(18:15～)@6A308(対面のみ)、3最終発表会:秋C木曜授業の最終日(18:15～)@6A308(対面のみ)
YBX4822	アート・デザインプロデュース演習2	2	1.0	1・2	春C秋A	応談	菅野 圭祐,原 忠信,山田 協太,藤田 直子,マクラウド ギャリー ロデリック,岩田 祐佳梨,サカイ ロドリゲス オスカル エデュアルド,内山 俊朗	多様な学生のチームが地域や大学の協働者とともにアート・デザインの手法を用いた地域貢献・大学貢献を実践的に行う。	「アート・デザインプロデュース演習1」、「アート・デザインプロデュース演習3」と併せて履修すること。 教室は6A308の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の木曜18:15より6A308で行う。詳しくは掲示を参照のこと。 実務経験教員 対面 全体発表スケジュール:1パネル展示:オープンキャンパス時(@6A棟および5C棟)、2中間発表会:秋A木曜授業の最終日(18:15～)@6A308(対面のみ)、3最終発表会:秋C木曜授業の最終日(18:15～)@6A308(対面のみ)
YBX4832	アート・デザインプロデュース演習3	2	1.0	1・2	秋BC	応談	菅野 圭祐,原 忠信,山田 協太,藤田 直子,マクラウド ギャリー ロデリック,岩田 祐佳梨,サカイ ロドリゲス オスカル エデュアルド,内山 俊朗	多様な学生のチームが地域や大学の協働者とともにアート・デザインの手法を用いた地域貢献・大学貢献を実践的に行う。	「アート・デザインプロデュース演習1」、「アート・デザインプロデュース演習2」と併せて履修すること。 教室は6A308の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の木曜18:15より6A308で行う。詳しくは掲示を参照のこと。 実務経験教員 対面 全体発表スケジュール:1パネル展示:オープンキャンパス時(@6A棟および5C棟)、2中間発表会:秋A木曜授業の最終日(18:15～)@6A308(対面のみ)、3最終発表会:秋C木曜授業の最終日(18:15～)@6A308(対面のみ)
YBX5102	創造的復興:ローカルデザイン演習I	2	2.0	3	春A 春A 春BC	金5 金6 金5,6	原 忠信,宮原 克人,村上 史明,マクラウド ギャリー ロデリック	創造的復興芸術の視点から、地域再生に向けたプランを計画・提案する。その中で、歴史・文化的な資源の活用や、地域住民との協力など、創造的復興に必要な視点を学習する。	「創造的復興:チャレンジ学外演習I」と併せて履修すること。 実務経験教員 対面
YBX5502	創造的復興:ローカルデザイン演習II	2	2.0	4	春A 春A 春BC	金5 金6 金5,6	原 忠信,宮原 克人,村上 史明,マクラウド ギャリー ロデリック	創造的復興芸術の視点から、地域再生に向けたプランを計画・提案する。その中で、歴史・文化的な資源の活用や、地域住民との協力など、創造的復興に必要な視点を学習する。	「創造的復興:チャレンジ学外演習II」と併せて履修すること。 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBX6002	国際アート&デザイン演習A	2	1.0	2 - 4	春学期	応談	山田 協太,包 索米亜,大友 邦子	アート&デザインの各領域の研究、技法、実践の成果などについて海外研修を通じて学ぶ。	実務経験教員 対面 学外(オンサイト)での実施 国際WS、国際学会発表、海外調査など、自主的に企画、実施し、評価を受ける活動を有する学生のみ履修できます。 事前に担当教員に連絡をすること。
YBX6012	国際アート&デザイン演習B	2	1.0	2 - 4	秋学期	応談	山田 協太,包 索米亜,大友 邦子	アート&デザインの各領域の研究、技法、実践の成果などについて海外研修を通じて学ぶ。	実務経験教員 対面 学外(オンサイト)での実施 国際WS、国際学会発表、海外調査など、自主的に企画、実施し、評価を受ける活動を有する学生のみ履修できます。 事前に担当教員に連絡をすること。
YBX9027	領域研究II(特別履修)	7	1.0	3	秋ABC	随時	山本 浩之	年次ごとの学習計画についてガイダンスと演習指導をおこなう。本科目はJapan-Expert学生もしくは学群長が特別に認めた者に限り履修を認める。	対面
YBX9037	領域特別演習I(特別履修)	7	1.0	3	春ABC	随時	山本 浩之	卒業研究に向けた研究計画の指導をおこなう。本科目はJapan-Expert学生もしくは学群長が特別に認めた者に限り履修を認める。	対面 ・TOEICR IPテストの受験必須 ・自己達成度評価をおこなうこと
YBX9047	領域特別演習II(特別履修)	7	1.0	4	秋ABC	随時	山本 浩之	卒業研究の指導をおこなう。本科目はJapan-Expert学生もしくは学群長が特別に認めた者に限り履修を認める。	対面
YBX9057	領域特別演習III(特別履修)	7	1.0	4	春ABC	随時	山本 浩之	卒業研究の指導をおこなう。本科目はJapan-Expert学生もしくは学群長が特別に認めた者に限り履修を認める。	対面 芸術専門学群が実施する卒業制作展等において成果発表をおこなうこと。
YBX9918	卒業研究A(特別履修)	8	3.0	4	春ABC	随時	山本 浩之	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。本科目はJapan-Expert学生もしくは学群長が特別に認めた者に限り履修を認める。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 対面
YBX9928	卒業研究B(特別履修)	8	3.0	4	秋ABC	随時	山本 浩之	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。本科目はJapan-Expert学生もしくは学群長が特別に認めた者に限り履修を認める。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 対面

専門科目(Japan-Expert)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2211263	応用体育剣道(春)	3	0.5	2	春AB	木3	鍋山 隆弘	剣道具を着け稽古できるまでの基礎的技術と、礼儀作法の習得を通して心身の向上を目指す。	実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2212243	応用体育ゴルフ(春)	3	0.5	2	春AB	木3	白木 仁	ゴルフの基本技術(スイング、アプローチショット、パターの技術)を中心にルール、マナー等を段階的に学習する。さらに、ゴルフの実践を通して、パートナーシップ、スポーツマンシップを習得する。また、体力測定を実施することにより自身の体力を確認する。	対面 G科目 クラブは、身長に合わせたクラブを選択する
2213263	応用体育サッカー(春)	3	0.5	2	春AB	木3	成瀬 和弥	様々なゲーム形式を通じて攻撃・守備の原理や基本技術を身につける。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2214263	応用体育シューティングスポーツ(春)	3	0.5	2	春AB	木3	嵯峨 寿	アーチェリーの初歩的技術の習得やゲーム体験などを通してスポーツの文化的、社会的、倫理的価値や精神的効果について理解を深めます。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の7日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2215263	応用体育柔道(春)	3	0.5	2	春AB	木3	松井 崇	柔道の文化的特性を理解し、基本的な技術を習得して攻防ができるようにする。柔道を通じて体力を養い、他のスポーツにも応用できるバランス感覚や巧緻性などを習得する。	I 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(その他) G科目 道着の下にTシャツの着用可 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2221223	応用体育ソフトボール(春)	3	0.5	2	春AB	木3	奈良 隆章	ソフトボールの練習や試合を通じて、仲間と協力しながら様々な課題に挑戦する。学期の前半は守備練習を重点的に行い、後半はチームを固定してリーグ戦を実施する。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2222243	応用体育卓球(春)	3	0.5	2	春AB	木3	野中 由紀	卓球を通してスポーツ活動に関する知識を深める。独特の練習法を用いて、一つの種目をより深く追求することにより、様々な種目に関係する技術を理解させる。ミニゲームにも取り組む。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目
2223263	応用体育ダンス(春)	3	0.5	2	春AB	木3	平山 素子	「身体の発見」をテーマに、多様なダンス文化に挑戦する。「身体を知る」段階では、導入としてインド式健康法のヨガを体験することで自らの身体を見つめなおし、健康的な身体作りを形成できる能力を養う。さらに、リズミカルな音楽に合わせた動きを体験することで、フィットネスやコミュニケーションとしてのダンスの効果を知る。	対面 男女別要素(接触) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2225203	応用体育テニス(春)	3	0.5	2	春AB	木3	前澤 かおる	テニスのルールやマナー、基礎的な技術など、生涯スポーツとしてテニスを楽しむための知識や技能を総合的に学ぶ。主に、ダブルスのプレーを中心に扱うこととする。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2230263	応用体育トリム運動(春)	3	0.5	2	春AB	木3	齊藤 まゆみ	体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から積極的に身体を動かすことができない学生を対象に開講する。学習内容は健康・体力に興味を持てる態度を形成することを目的とし、受講生のコンデションにあわせた教材を用意したい。	実務経験教員 対面 G科目
2233223	応用体育ニュースポーツ(春)	3	0.5	2	春AB	木3	藤本 巳由紀	既成のスポーツ競技や種目にとらわれることなく、新たに開発され、あまり知られていないスポーツ種目(フライングディスク、ユニホック、グランドゴルフなど)や世界各国の伝統的なスポーツ種目(インディアカ、ペタンクなど)を体験する。その実践を通して、自分の体力に応じた「新たなスポーツ」を楽しむ方策などを見つけ出し、スポーツそのものに対する自分の価値観について考えてみる。	対面 男女別要素(接触) G科目
2234243	応用体育バスケットボール(春)	3	0.5	2	春AB	木3	坂本 拓弥	バスケットボールの特性を理解し、バスケットボールの個人戦術（相手を打ち破る行為、相手からボールを奪う行為）を習得し、個人戦術を活かしたゲームができるようになる。	対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) G科目
2235263	応用体育バドミントン(春)	3	0.5	2	春AB	木3	谷藤 千香	バドミントンの特性を理解し、基礎的技能を習得する。仲間とともにより楽しくゲームをするには何をすべきか、自分自身や他者との関係を学習するとともに、自分自身の能力を最大限活かしたゲームを展開できるようになる。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2237243	応用体育ハンドボール(春)	3	0.5	2	春AB	木3	山田 永子	ゲーム活動を通じて、基本的な技術を習得する。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則、初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2240203	応用体育フィットネストレーニング(春)	3	0.5	2	春AB	木3	谷川 聡	心身の健康維持・増進や生活習慣病の予防と運動・体力の関係を理解した上で、レジスタンストレーニング、ジョギング、ストレッチングを豊かなスポーツ文化として日常生活の中で応用することをめざす。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2245203	応用体育野外運動(春)	3	0.5	2	春AB	木3		春学期の授業では、課題解決的なチャレンジアクティビティを通じて、1)自己理解を深めること、2)コミュニケーション能力を高め、他者理解を高めること、さらに3)グループ作りの方法について学ぶことを目標にする。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
YBW2933	インターンシップ(日本芸術)	3	1.0	4	春ABC	応談	山本 浩之,マクラウド ギャリー ロデリック	芸術・デザインに関する実践的環境について、現場環境に就いて、実際のデザイン実務について実習する。	対面 Japan-Expert学生に限る

1 General Guidelines

(1) Please refer to the Course Registration Guidebook (separate book) for vital information about university registration procedures.

(2) Any changes made to courses will be posted on bulletin boards.

(3) Course Timetable

Each course period begins and ends as follows (one period = 75 minutes):

Period	Time	Break
1st period	8：40− 9：55	9：55−10：10
2nd period	10：10−11：25	11：25−12：15
3rd period	12：15−13：30	13：30−13：45
4th period	13：45−15：00	15：00−15：15
5th period	15：15−16：30	16：30−16：45
6th period	16：45−18：00	

(4) Modules and Semesters

An academic year comprises spring and fall semesters. Spring semester comprises Spring A, Spring B, and Spring C modules. Fall semester comprises Fall A, Fall B, and Fall C modules.

Depending on the combination of modules, the classes can be conducted in many ways as indicated in the table below.

Month	April–May	June–July	August–September	October–November	December–January	February–March
Semester	Spring Semester			Fall Semester		
Module (5 week units)	Spring A module	Spring B module	Spring C module	Holidays (summer)	Fall A module	Fall B module	Fall C module	Holidays (spring)
Examples of class implementation modules (5 weeks or 10 weeks)	→	→	→	Summer session, etc.	→	→	→	Entrance exam, degree review, etc.
	→	→	→		→	→	→	
	→	→	→		→	→	→	
Examples of semester modules (15 weeks)	→	→	→		→	→	→	

(5) Description of Contents

Example:

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	standard registration year	Term	Meeting Days,Period etc.	Instructor	Course Overview	Remarks
AB10191	Philosophy	1	1.0	1	Spring A・B	Tue.6	Taro Tsukuba	Research on basic philosophical problems	CDP Limited to students of College of Humanities Identical to AC11999

Letters and numbers indicate organization, classification, and field.

Standard registration year to take the course.

Classes will be held in Spring A・ B, on Tuesdays during the 6th period.

Please note that there are various descriptions such as prerequisites.

■ About class that do not have a regular class schedule

Depending on the courses, there are courses that do not have a regular class schedule as below. For the latest information such as the implementation schedule, please check KdB or notices.

・Intensive: A style of class in which the day/period is not regular and is held on the schedule concentrated to a certain degree. Course registration will be possible after the class schedule has been finalized.

・by request: a course in which a class is conducted irregularly on an as-needed basis

・by appointment: a course in which a small class is conducted regularly but with possible date changes based on teacher–student negotiation

・NT: NT is an abbreviation of "Non-timetabled attendance is possible." The day/period of the class has not been set; however, please refer to the recommended day/period for attendance mentioned in the syllabus and take the class as planned while focusing on the report submission deadlines. Furthermore, you may take other classes for which the day/period coincides with the recommended day/period for the attendance of NT subjects. However, if you wish to simultaneously take other subjects, please ensure to carefully plan and consider in advance whether assignments for submission, etc., are compatible.

(6) Course Numbers

Each academic course has a course number assigned by subject areas or fields for the convenience of registration. Registration will be made using course numbers.

(7) Standard Academic Year

Each course is scheduled to be taken at a specific academic year, considering the educational content and traits of each course. As a general rule, please take courses corresponding to your academic year in your program.

(8) Course Methods

Course methods can be lectures, class exercises, experiments, etc. There are courses that implement two or more methods. The different course methods in the Course Catalogue are listed below

Code	Course Type
1	Lectures
2	Seminar
3	practical training, experiments, skills practice
4	lectures and seminar
5	lectures and practical training, experiments, skills practice

Code	Course Type
6	seminar and practical training, experiments, skills practice
7	lectures, seminar and practical training, experiments, skills practice
8	Graduation Thesis, Graduation Research, etc.
0	Others

(9) Online Courses

(i) About Course Implementation Method

The University of Tsukuba has classified the methods of conducting classes as follows since fall semester AY 2020.

About the implementation method for each course, the plan for the beginning of the academic year is described in the remarks column in the Course Catalogue on the university homepage, and the latest information is described in the remarks column of KdB and the syllabus.

Additionally, notifications may be posted on the Web Bulletin Board (TWINS).

1. face-to-face
   Courses that are conducted face-to-face for all classes.
2. face-to-face (partially online)
   Courses that are conducted through a combination of face-to-face and online classes, with more than half of classes conducted face-to-face.
3. Online (partially face-to-face)
   Courses that are conducted through a combination of face-to-face and online classes, with more than half of classes conducted online.
4. Online (Asynchronous)

Courses that are conducted online for all classes, with most of the classes offered asynchronously.

5. Online (Synchronous)

Courses that are conducted online for all classes, with most of the classes conducted synchronously.

(ii) manaba

"manaba" is a learning management system that creates a course page that can be used from the web for each lesson, enabling teachers and students to share teaching materials electronically as well as to set and submit assignments. Once the course registration is completed at TWINS, you will be able to access the courses you take the next day or later. In addition to sharing teaching materials, manaba will play a central role in conducting online lessons, such as watching video files and submitting assignments.

(iii) Software and Hardware Used in Class

Our students can use various Microsoft-provided services, including Teams, a groupware used in online classes, and Stream, a video distribution service. To take online classes, terminals such as personal computers, tablets, smartphones, and communication lines are required. For more information on the procedures required to take online classes, please refer to the "Online Class Guidance" section of ICT Guide for the University of Tsukuba. (https://www.u.tsukuba.ac.jp/ict-guide/)

(iv) Handling of Materials Used in Class

Students must not copy, reprint, or divert the materials distributed in the class without permission such as teaching materials, lecture videos, audio, etc.

(10) Explanation of Remarks

"G-Course"

G-course indicates specially designated subjects for all the students in the University to acquire some abilities required to grow as global human resources.

The abilities required include (i) foreign language ability, (ii) abundant culture, international understanding, (iii) communicative competence, (iv) understanding of diversity, the utilization competency (v), interdisciplinary thinking, (vi) identity and confidence, (vii) positive thinking and practical skills, (viii) ability to self-express, professional.

"Course Implementation Method"

Refer to the (9) Online Courses (i) About Course Implementation Method

"CDP (Academic and Social)"

Courses that contain helpful information for career development through professional education.

"Courses open to Exchange student"

It means that the course is available to Exchange student.

"Lectures are conducted in ○○"

It means that the course will be taught in ○○ (Language).

"Identical to ○○"

It is the same course as ○○ (Course number). Course number that you must register differs depending on the affiliation you belong to. Please confirm the subject number when you register on the TWINS.

"Elements of gender (○○)"

Subjects with this notation include gender-specific elements as follows:

(wear) The subject that needs changing clothes to a special wear or the wear different for men and women.
(equipment) The subject with equipment used is different for men and women.
(contact) The subject that has physical contact with other students.
(accommodation) The subject with lodging.
(special rule/pair/team) The subject that has the special rules or making pairs/teams by gender.
(other) The subject with gender-specific elements other than those mentioned above such as the difference of the standard value of physical fitness measurement, the gender of the participant is written in the entry of

the Tsukuba Marathon, etc.

“Interdepartmental course”

Courses designated as “interdepartmental courses” are selected courses taught in English offered by various university departments. These interdepartmental courses are, in general, entry-level courses with contents accessible even to students of a different major. Students may register to take these courses if they meet the requirements indicated in the remark section on the KdB syllabus. Eligibility of these courses as “Specific Foundation Subjects” must be confirmed with your major department to obtain credits toward your graduation. Note that our students are eligible to take all undergraduate courses offered by the University unless explicitly stated on the syllabus. Therefore, you are not restricted from taking other undergraduate courses outside your major.

2 Course Registration

(1) Course Registration

Course registration includes submitting a registration plan to the provosts of your affiliated school after planning and receiving guidance and advice from instructors, etc. Course registration is the most important procedure prior to taking courses at the University of Tsukuba. Refer to the Course Registration Guidebook given at the time of admission and confirm the credits necessary for graduation for your program. Please ensure to complete the registration procedures within the specified time period.

If you are unable to register during the specified period due to unavoidable circumstances, please contact the Undergraduate Student Affairs of the Academic Service Office. If you do not register for a course, you will be unable to take the course. You will not be able to earn credit for the course, even if you take the achievement test, etc.

For courses and credits required for graduation, please refer to the Course Registration Guidebook distributed at the time of enrollment. Furthermore, this booklet (the Course Catalogue) providing information on courses offered is distributed every academic year. The subject area for which you should take your courses will vary with the affiliated schools/colleges of the major you would like to study.

In addition, the selection of majors of schools/colleges is already established depending on your affiliated schools/colleges.

Registration Process

Necessary Documents for Course Registration	
Booklets	Purpose of Use and Contents
Course Registration Guidebook (By Year of Admission) Distributed at the Time of Enrollment	●The Course Registration Guidebook provides the following information about registration. Please read this guide carefully. - Credits required for graduation - How to register for the courses required to qualify for the educational personnel license - Approval to transfer credits from other universities (e.g., pre-admission [transfer, re-admission, etc.], TOEFL, study abroad, etc., during residency at the University of Tsukuba). - Continue your studies at the University of Tsukuba after returning from studying abroad. - Annual limits for course loads ●If you have any questions, please contact the section of Undergraduate Student Affairs of the Academic Service Office.
Course Catalog (This volume) Distributed Each Academic Year	●The Course Catalogue provides information about courses as scheduled at the beginning of each academic year. ●It is also posted on the university website. Both will display the schedule as planned at the beginning of the academic year. ●If new courses are added or changes of classrooms, dates, times, etc., occur, the information will be posted on the Web Bulletin Board (TWINS) for students, so please be aware of them. Please specifically focus on the updates during the course registration period in April.

Syllabus Updated Each Academic Year	●The Syllabi provides an outline of topics to be covered in courses, as well as other relevant information. Some colleges provide syllabi online on their homepages or Curriculum Scheduling Support System (KdB).
Using Curriculum Scheduling Support System (KdB), you can search the latest subject information as well as read the syllabus of courses (registered courses only) on the website. https://kdb.tsukuba.ac.jp/	

↓

Orientation (Advising Session)	●Orientation meetings are offered in academic centers Center for Education of Global Communication, Bureau of Physical Education and Sports, etc. (Advising session on general subjects, such as foreign language, physical Education, etc.) ●Undergraduate orientation (Academic advising held by each college)

↓

Course Registration Scheduling	●It is the students' responsibility to register for courses in accordance with the graduation requirements outlined in the Course Registration Guidebook. ●To be counted as credits toward graduation, courses must be accurately selected according to the subject area. ●If you have any questions on graduation requirements and subject area, contact the section of Undergraduate Student Affairs of the Academic Service Office.

↓

Online Registration	●Students should complete the course registration through the TWINS system: https://twins.tsukuba.ac.jp/ Please refer to the (2) "Registration Period and Rules" shown below and follow the "TWINS operation manual" ●Details about the distribution of Guidebook, etc., will be separately informed.

(2) Registration Period and Rules

Registration Period

- **Registration Period**

Module that Courses Starts in:	Registration Period
Spring A	Saturday, April 4 – Monday, April 27
Spring B	Saturday, April 4 – Monday, June 1
Spring C	Saturday, April 4 – Wednesday, July 8
Fall A	Saturday, April 4 – Wednesday, October 14
Fall B	Saturday, April 4 – Wednesday, November 18
Fall C	Saturday, April 4 – Friday, January 15

Note: **General physical education courses for first-year college students.** Students should take those classes on the specific dates as stated at the orientation held by the Bureau of Physical Education and Sports. Please register for those classes within the registration period.

Registration dates for **intensive courses** are announced when it is determined that it will be offered. For intensive courses already assigned, course numbers and semesters in the Course Catalogue will have the same registration dates as above, so please register during those dates.
Course adjustments will be made for courses that overcapacity in **Multidisciplinary Subjects**. Announcements regarding course adjustment and offerings will be posted on the Web Bulletin Board. Pre-registration is required to take the "Multidisciplinary Subjects for the Undergraduate Degrees" offered in Japanese.

Rules Regarding Registration

(1) Some intensive courses cannot be registered until the schedules are settled, even if they have course numbers and modules listed on this "Course Catalogue"
Information will be uploaded on the bulletin boards once the schedule is approved. Please register for courses within the designated period.

(2) You may not register for courses if their schedules overlap.

(3) When you are going to take courses with prerequisites or take courses from other colleges, please notify the instructors on the first day of the course.

(4) As a general rule, the retake of courses for which you have already completed credits (retake of the same course) is not permitted.

(5) If you have any inquiries or doubts regarding your grade evaluation, contact with your instructor. If you cannot solve the problem, ask the Academic Service office regarding the method of inquiry to the Educational Organization that conducts the course and fill in the prescribed form. Thereafter, submit it to the Academic Service office.

3.General Foundation Subjects（Common Foundation Subjects etc.）

(1) Multidisciplinary Subjects

There are two curricula in the Multidisciplinary Subjects, and the curriculum for which you can register depends on the program of the affiliation and the year of enrollment.

Regarding the graduation requirements and number of credits, refer to “Course Registration Guidebook” and “School Specific Regulations in Regard to Registration” of the year of enrollment.

【Curriculum i】

-First Year Seminar

-Invitation to Arts and Sciences

-Multidisciplinary Subjects for the Undergraduate Degrees

【Curriculum ii】

- Multidisciplinary Subjects I（Freshman Seminar※, Introductory Subjects）
- Multidisciplinary Subjects II
- Multidisciplinary Subjects III

※The course name of “Freshman Seminar” was changed to “First Year Seminar” in AY 2022. Students who were admitted in AY 2021 or earlier and have not yet taken “Freshman Seminar” are required to take “First Year Seminar.”

Registration of Multidisciplinary Subjects for Students in Curriculum ii

The registration method of Multidisciplinary Subjects for students in Curriculum ii is as follows, so file the registration with caution.

■Multidisciplinary Subjects I

Multidisciplinary Subjects I was discontinued in AY 2025. If you do not have enough credits for "Multidisciplinary Subjects I" required for graduation, take the following actions.

① If you have not yet registered for "Freshman Seminar," register for "First Year Seminar" in accordance with the instructions of your organization. In that case, there is no need to go through substitution procedures, etc.

② For Introductory Subjects, by registering for some "Multidisciplinary Subjects for the Undergraduate Degrees" beginning with course nos. "12" and "13", you will be automatically treated as having registered for Multidisciplinary Subjects I. There is no need to go through substitution procedures, etc. Only courses in the following list will be treated as having been registered for Multidisciplinary Subjects I.

【Courses that are treated as having been registered for Multidisciplinary Subjects I】

Course No.	Course Name	Course Offering Term	Weekday, Period	Credits	Remarks
1290011	Learning and Ethics of Research	Fall AB	Wed 2	1	
1290021	OMOTENASHI —Japanese Culture and Manner—	Fall AB	Thu 3	1	
1290161	OMOTENASHI —Japanese Culture and Manner—	Spr AB	Thu 3	1	
1290171	Forest	Spr A	Mon 1,2	1	
1290181	Introduction to Inclusive Smart Society I	Fall AB	by request	1	
1290191	Introduction to Inclusive Smart Society II	Fall C, Spr Vac	by request	1	
1390111	Living in Japan as Foreign Students	Fall AB	Fri 3	1	

■Multidisciplinary Subjects II

Multidisciplinary Subjects II was discontinued in AY 2023. If you do not have enough credits for "Multidisciplinary Subjects II" required for graduation, register for some Multidisciplinary Subjects for the Undergraduate Degrees or courses offered by each college. See "Alternative Subjects as Multidisciplinary Subjects II for English Program Students" below for a list of courses that can be substituted as Multidisciplinary Subjects II and the substitution procedure. Note that there is a need to go through the substitution procedure for Multidisciplinary Subjects II.

■Multidisciplinary Subjects III

Multidisciplinary Subjects III was discontinued in AY 2025. If you do not have enough credits for "Multidisciplinary Subjects III" required for graduation, by registering for "Multidisciplinary Subjects for the Undergraduate Degrees (Upper Years Only)" beginning with course no. "14", you will be automatically treated as having registered for Multidisciplinary Subjects III. There is no need to go through substitution procedures, etc. The following is a list of courses that are treated as having been registered for Multidisciplinary Subjects III.

【Courses that are treated as having been registered for Multidisciplinary Subjects III】

Course No.	Course Name	Course Offering Term	Weekday, Period	Credits	Subject Type	Remarks
1490011	Topics in Social Sciences	Fall AB	Wed2	1	E	
1490014	Inclusive Smart Society PBL	Fall C, Spr Vac	by request	1	G	
1490221	Mechatronics Basics and Applications	Fall ABC	Fri3	1	D	

Alternative Subjects as Multidisciplinary Subjects II for English Program Students

Students belonging to the English Programs in Curriculum ii who have not received the number of credits for Multidisciplinary Subjects II required for graduation can substitute the following subjects for Multidisciplinary Subjects II by completing the application procedure.

If you would like to request the following subjects to be admitted as Multidisciplinary Subjects II then apply to the Academic Service Offices after registering the following subjects.

Note:

If you did not apply to the Academic Service Offices, the following subjects will not be admitted as Multidisciplinary Subjects II and will be treated as specified in the graduation requirements for each program.

Alternative Subjects as Multidisciplinary Subjects II, Subject type A

Course No.	Course Name	Course Offering Term	Weekday, Period	Credits	Remarks
1290041	Japanese Issues I (Japanese Nature and Geography)	Spring Vacation	Intsnsive	1.0	
EB11651	Introduction to Ecology	Fall AB	Wed 5	1.0	*1
EB11851	Introduction to Plant Physiology	Spring AB	Thu 4	1.0	*1

*1 The above courses cannot be substituted for students enrolled in the College of Biological Sciences before AY 2018.

Alternative Subjects as Multidisciplinary Subjects II, Subject type B

Course No.	Course Name	Course Offering Term	Weekday, Period	Credits	Remarks
1290051	Japanese Issues II (Introductory Japanese History)	Spring AB	Mon 2	1.0	
1290061	Japanese Issues III (Japanese Life and Culture)	Fall AB	Mon 1	1.0	
1290071	Japanese Issues IV (Japanese Language and Society)	Fall C	Fri 1,2	1.0	

1290081	Japanese Issues V(Japanese Socio-culture)	Spring Vacation	Intensive	1.0	
1290091	Japanese Issues VI (Living and Learning among the Japanese)	Fall AB	Fri 2	1.0	
BE21861	Introduction to Economics	Spring AB	Tue5,6	2.0	*2
BE21371	Introduction to Law	Spring AB	Mon1,2	2.0	
BE21381	Introduction to Political Science	Fall AB	Fri5,6	2.0	
BE21391	Introduction to Sociology	Fall AB	Thu5,6	2.0	

*2 The above courses cannot be substituted for students enrolled in the College of Agro-Biological Resource Sciences AY 2019.

Alternative Subjects as Multidisciplinary Subjects II, Subject type C

Course No.	Course Name	Course Offering Term	Weekday, Period	Credits	Remarks
1290101	Japanese Culture	Fall AB	Mon 1	1.0	
1290131	Career Design I	Fall AB	Mon 2	1.0	
1290111	Japanese Society	Spring AB	Mon 1	1.0	
1290141	Career Design II	Fall C	Mon 1,2	1.0	
1290121	Modern Japanese History	Spring AB	Mon 2	1.0	
1290151	Career Design III	Spring C	Mon 1,2	1.0	
1290031	Global issues and society	Fall C	Intensive	1.0	

Course Manager

Requisite
Multidisciplinary Subjects

First Year Seminar

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
1190212	First Year Seminar	2	1.0	1	Sum Vac	Intensive	Edson Ioshiaqui Urano	This course is designed to help students become familiar with the educational system and campus life at the University of Tsukuba. Important information regarding living in Japan as a foreign resident and a general introduction on Japanese society will also be provided.	For students in Undergraduate Program of International Social Studies. Lectures are conducted in English. face-to-face
1190222	First Year Seminar	2	1.0	1	Sum Vac	Intensive	hidekazu kuwayama, Louis John Irving, Kaori Ishikawa, Yoshiteru Hashimoto, Seung Won Kang, Zhongfang Lei, Thomas Parkner	This course is designed to help students become familiar with the educational system and campus life at the University of Tsukuba. Important information regarding living in Japan as a foreign resident and a general introduction on living in Tsukuba city will also be provided. Lecture is conducted in English. face-to face.	For students in Interdisciplinary Program in Life and Environmental Sciences Lectures are conducted in English. face-to-face
1190232	First Year Seminar	2	1.0	1	Sum Vac	by appointment	Sonia Sharmin, Modar Hassan	This is a series of information sessions for Interdisciplinary Engineering students new to the University of Tsukuba. It includes an orientation seminar to help the students make their course plans and also facility visits on campus, such as a library, health center, cafeterias, and some selected Research Laboratories in the College of Engineering Sciences and that of Engineering Systems to become familiar with campus life.	Only for IDE students Lectures are conducted in English. face-to-face
1190312	First Year Seminar	2	1.0	1	FallAB	Thu2	Ryosuke Ohniwa, Takahiro Morio, Nakao Nomura, Shuntaro Yada, Hajime Akiyama, Ganchimeg Togoobaatar	Students in Bachelor's Program in Global Issues will obtain various information to live a fruitful life.	Only for BPGI students. Lectures are conducted in English. Lectures are conducted in English. face-to-face

Invitation to Arts and Sciences

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
1228511	Invitation to Arts and Sciences	1	1.0	1	FallA	by appointment	Edson Ioshiaqui Urano	This lecture serves as an introduction to bachelor's course education at the university. This course invites students to learn about academic methodology at the university level, and cultivates an understanding of the academic field in which they are majoring, as well as the ability to understand the relationship with related fields.	For students in International Social Studies Lectures are conducted in English. CDP Online(Asynchronous)
1228521	Invitation to Arts and Sciences	1	1.0	1	FallA	by appointment	Tomoyuki Yokoi, Takashi Shiratori, Takuto Kumano, Daichi Suzuki	This lecture serves as an introduction to bachelor's course education at the university. This course invites students to learn about academic methodology at the university level, and cultivates an understanding of the academic field in which they are majoring, as well as the ability to understand the relationship with related fields.	For students in LES Biological Sciences Lectures are conducted in English. CDP Online(Asynchronous)
1228531	Invitation to Arts and Sciences	1	1.0	1	FallA	by appointment	Zhongfang Lei	This lecture serves as an introduction to bachelor's course education at the university. This course invites students to learn about academic methodology at the university level, and cultivates an understanding of the academic field in which they are majoring, as well as the ability to understand the relationship with related fields.	For students in LES Agro-Biological Resource Sciences Lectures are conducted in English. CDP Online(Asynchronous)

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
1228541	Invitation to Arts and Sciences	1	1.0	1	FallA	by appointment	Thomas Parkner	This lecture serves as an introduction to bachelor's course education at the university. This course invites students to learn about academic methodology at the university level, and cultivates an understanding of the academic field in which they are majoring, as well as the ability to understand the relationship with related fields.	For students in LES Geoscience Lectures are conducted in English. CDP Online(Asynchronous)
1228551	Invitation to Arts and Sciences	1	1.0	1	FallA	by appointment	Norihiko Ohbayashi,Kiong Ho	This lecture serves as an introduction to bachelor's course education at the university. This course invites students to learn about academic methodology at the university level, and cultivates an understanding of the academic field in which they are majoring, as well as the ability to understand the relationship with related fields.	For students in Medical Science English Program Lectures are conducted in English. CDP Online(Asynchronous)
1228561	Invitation to Arts and Sciences	1	1.0	1	FallA	by appointment	Sonia Sharmin,Modar Hassan	This lecture serves as an introduction to bachelor's course education at the university. This course invites students to learn about academic methodology at the university level, and cultivates an understanding of the academic field in which they are majoring, as well as the ability to understand the relationship with related fields.	For students in IDE Program Lectures are conducted in English. CDP Online(Asynchronous)
1228571	Invitation to Arts and Sciences	1	1.0	1	FallA	by appointment	Ryosuke Ohniwa	This lecture serves as an introduction to bachelor's course education at the university. This course invites students to learn about academic methodology at the university level, and cultivates an understanding of the academic field in which they are majoring, as well as the ability to understand the relationship with related fields.	For students in BPGI Lectures are conducted in English. CDP Online(Asynchronous)

Multidisciplinary Subjects for the Undergraduate Degrees

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
1290011	Learning and Ethics of Research	1	1.0	1	FallAB	Wed2	Hideki Kakeya,Koji Dairaku,Jun Izawa,Hisashi Date,Sandra Milena Puentes	This course introduces fundamental concepts related to learning and research activities in a university, from an ethics point of view. In particular, it includes the following topics: definition of science, research methodology, research misconduct, mentor and advisor, responsible authorship, peer review and publication, data management, collaborative research, conflict of interests, whistleblowing and obligation to protect the public.	Student number limit may apply. Priority is given to IDE Students. Lectures are conducted in English. face-to-face
1290021	OMOTENASHI —Japanese Culture and Manner—	1	1.0	1	FallAB	Thu3	Izumi Egami	・To understand Japanese culture, history, and etiquette. ・To learn about Japanese customs, traditions, and manners from the perspective of cross-cultural communication. ・To learn business etiquette in Japan based on an understanding of the principles of protocol (international etiquette).	The number of students is limited to 20. If the number of students exceeds the capacity, priority will be given to international students, mainly first-year students. The Lecture is conducted in English. face-to-face Lectures are conducted in English. face-to-face
1290031	Global Issues and Society	1	1.0	1, 2	FallC	Intensive	Takahiro Morio,Rajeev Kumar Singh,Pankaj Kumar	It is crucial to solve global issues for constructing sustainable society. We tackle the issues of water, waste management, urbanization, eco-system and climate change shown in the Sustainable Development Goals (SDGs), and we explain the causes, mechanism, spatial and temporal variabilities, and solution from the viewpoints of multiple stakeholders.	Students already completed Global issues and society (1C90131) are not allowed to take this class. Lectures are conducted in English. face-to-face

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
1290041	Japanese Issues I (Japanese Nature and Geography)	1	1.0	1, 2	Spr Vac	Intensive	Chinami Yamamoto	In this course, we will read about and discuss various topics relating to the nature and geography of Japan.	Limited to 30 students. Priority is given to EP Students. Students who have already completed 「Japanese Issues I (Japanese Nature and Geography)(1A90011)、(8333001)」cannot enroll. Class period: Feb 17-19, Feb 22 and 24, 2027 Registration period: Oct 1, 2026 - Feb 15, 2027 Lectures are conducted in English. 2/17-2/19,2/22 and 2/24, 2027 Lectures are conducted in English. face-to-face Details will be given in class or posted on manaba.
1290051	Japanese Issues II (Introductory Japanese History)	1	1.0	1, 2	SprAB	Mon2	Chinami Yamamoto	In this course, we will read about and discuss history of Japan starting from the formation of Japan till the end of feudal era.	Limited to 30 students. Priority is given to EP Students. Students who have already completed 「Japanese Issues II (Introductory Japanese History)(1B90021)、(8333011)」cannot enroll. Open in an even number year. Lectures are conducted in English. face-to-face Details will be given in class or posted on manaba.
1290061	Japanese Issues III (Japanese Life and Culture)	1	1.0	1, 2				In this course, we will read about and discuss various topics relating to the history, traditions, and people of Japan.	Limited to 30 students. Priority is given to EP Students. Students who have already completed 「Japanese Issues III (Japanese Life and Culture)(1B90031)(8333021)」cannot enroll. Open in an odd number year. Lectures are conducted in English. face-to-face Details will be given in class or posted on manaba.
1290071	Japanese Issues IV (Japanese Language and Society)	1	1.0	1, 2	FallC	Fri1,2	Ruth Vanbaelen	In this course, we will read about and discuss various topics relating to the Japanese language and its relation to Japanese culture and society.	Limited to 30 students. Priority is given to EP Students. Students who have already completed 「Japanese Issues IV (Japanese Language and Society)(1B90051)、(8333031)」cannot enroll. Lectures are conducted in English. face-to-face Details will be given in class or posted on manaba.

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
1290081	Japanese Issues V (Japanese Socio-culture)	1	1.0	1, 2	Spr Vac	Intensive	Ruth Vanbaelen	In this course, we will read about and discuss various topics on society and culture relating to Japan and the Japanese.	Limited to 30 students. Priority is given to EP Students. Students who have already completed 「Japanese Issues V (Japanese Socio-culture)(1B90071)、(8333041)」cannot enroll. Class period: Feb 17-19, 2027 Registration period: Oct 1, 2026 - Feb 15, 2027 Lectures are conducted in English. 2/17-2/19, 2027 Lectures are conducted in English. face-to-face Details will be given in class or posted on manaba.
1290091	Japanese Issues VI (Living and Learning among the Japanese)	1	1.0	1, 2	FallAB	Fri2	Ruth Vanbaelen	In this course, we will read about and discuss various topics relating to learning Japanese in Japan.	Limited to 30 students. Priority is given to EP Students. Students who have already completed 「Japanese Issues VI (Living and Learning among the Japanese)(1B90081)、(8333051)」cannot enroll. Lectures are conducted in English. face-to-face Details will be given in class or posted on manaba.
1290101	Japanese Culture	1	1.0	1, 2	FallAB	Mon1	Chinami Yamamoto	In this course, we will read about and discuss various topics relating to minds of Japanese and Japanese culture.	Limited to 30 students. Priority is given to EP Students. Students who have already completed 「Japanese Culture(1C90011)、(8333091)」cannot enroll. Open in an even number year. Lectures are conducted in English. face-to-face Details will be given in class or posted on manaba.
1290111	Japanese Society	1	1.0	1, 2	SprAB	Mon1	Chinami Yamamoto	In this course, we will read about and discuss various topics relating to Japanese society.	Limited to 30 students. Priority is given to EP Students. Students who have already completed 「Japanese Society(1C90051)、(8333101)」cannot enroll. Lectures are conducted in English. face-to-face Details will be given in class or posted on manaba.

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
1290121	Modern Japanese History	1	1.0	1, 2				In this course, we will read about and discuss the history of Japan from Meiji period to this current day.	Limited to 30 students. Priority is given to EP Students. Students who have already completed 「Modern Japanese History(1C90091)、(8333111)」cannot enroll. Open in an odd number year. Lectures are conducted in English. face-to-face Details will be given in class or posted on manaba.
1290131	Career Design I	1	1.0	1, 2	FallAB	Mon2	Chinami Yamamoto	In this course, we will read about and discuss various topics related to employment following graduation. Some topics may include: employment in Japan, basic knowledge of Japan, history of politics and economy, work habits, human relationships, etc.	Limited to 30 students. Priority is given to EP Students. Students who have already completed 「Career Design I (1C90031)、(8333061)」cannot enroll. Lectures are conducted in English. face-to-face Details will be given in class or posted on manaba.
1290141	Career Design II	1	1.0	1, 2	FallC	Mon1,2	Chinami Yamamoto	In this course, we will read about and discuss various topics related to current Japanese issues which will be beneficial for employment following graduation.	Limited to 30 students. Priority is given to EP Students. Students who have already completed 「Career Design II(1C90071)、(8333071)」cannot enroll. Lectures are conducted in English. face-to-face Details will be given in class or posted on manaba.
1290151	Career Design III	1	1.0	1, 2	SprC	Mon1,2	Chinami Yamamoto	In this course, we will read and discuss about various topics related to some Japanese issues which will be beneficial for employment following graduation. Some topics may include: past, present, and future of many aspects of Japan, etc.	Limited to 30 students. Priority is given to EP Students. Students who have already completed 「Career Design III(1C90111)、(8333081)」cannot enroll. Lectures are conducted in English. face-to-face Details will be given in class or posted on manaba.
1290161	OMOTENASHI —Japanese Culture and Manner—	1	1.0	1	SprAB	Thu3	Izumi Egami	・To understand Japanese culture, history, and etiquette. ・To learn about Japanese customs, traditions, and manners from the perspective of cross-cultural communication. ・To learn business etiquette in Japan based on an understanding of the principles of protocol (international etiquette).	The number of students is limited to 20. If the number of students exceeds the capacity, priority will be given to international students, mainly first-year students. The Lecture is conducted in English. face-to-face Lectures are conducted in English. face-to-face

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
1290171	Forest	1	1.0	1	SprA	Mon1,2	Tatsuyuki Seino	This lecture will focus on the situation and problems surrounding forests in Japan and other countries including the latest findings and research accumulated research results from the perspectives of natural science (succession, vegetation, genetics, tree diseases, wood use), environment (topography, soil, global warming), recreation, and utilization.	Enrollment is limited to EP Program students only. Lectures are conducted in English. Online(Asynchronous)
1290181	Introduction to Inclusive Smart Society I	1	1.0	1, 2	FallAB	by request	Hisae Miyauchi,Hajime Akiyama,Aranha, Claus,Takashi Matsushima	This course delves into the concept of an inclusive smart society, with a particular focus on its three fundamental components: “people”, “technology”, and “governance/policy”. Emphasizing the triad outlined by Nam and Pardo (2011), we explore the essential elements that constitute a "smart" society, where investments in human and social capital, coupled with robust ICT infrastructures, propel sustainable growth and elevate the overall quality of life. To further understand how these three components interact and to comprehend the principles behind creating a society that is truly "smart," students will be exposed to salient information and debates regarding the nature of disabilities and the inclusion of all individuals including those with disabilities.	【Pre-registration】 【Limited to 200 students】 This course requires pre-registration.Please access the "Pre-registration" under the "Course" tab on TWINS. If the number of applicants exceeds the capacity, a lottery will be conducted. After the lottery, please check the "Course registration - Registration status" screen under the "Course" tab on TWINS to confirm if you have been registered for this course. Lectures are conducted in English. Online(Asynchronous) This course is conducted in English. Limited to 200 students. Conducted on-demand, details will be posted on manaba after registration through Twins.
1290191	Introduction to Inclusive Smart Society II	1	1.0	1, 2	FallC, Spr Vac	by request	Takeshi Kimura,Takahiro Morio,tetsuya mihara,Modar Hassan,Takahiro Sato,Seiji Ono,Shinichi Nagata,Takashi Matsushima	Following the Introduction to Inclusive Smart Society I, this course introduces students to several chosen topics in designing and enhancing ISS: Popular Culture, Comparative Religion, and Sports for the Challenged people and those with disabilities as potential case studies. Students are asked to broaden their perspectives into ISS by learning those topics and exchanging their views via discussion among Japanese and American students. In some cases, students are encouraged to ask how basic notions such as “inclusive” and “smart” could be applied to the topics in this course. Students of Japan and America are also asked to recognize different cultural appreciations of the shared topics, and to learn to incorporate other cultural perspectives in locating problems and in finding solutions.	【Pre-registration】 【Limited to 200 students】 This course requires pre-registration. Please access the "Pre-registration" under the "Course" tab on TWINS. If the number of applicants exceeds the capacity, a lottery will be conducted. After the lottery, please check the "Course registration - Registration status" screen under the "Course" tab on TWINS to confirm if you have been registered for this course. Lectures are conducted in English. Online(Asynchronous) This course is conducted in English. Limited to 200 students. Details will be posted on manaba.

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
1390111	Living in Japan as Foreign Students	1	1.0	1	FallAB	Fri3	Edson Ioshiaqui Urano, Andrea Ortolani	This course will provide clear explanations by using specific examples of legal and social rules foreign students must know for their lives in Japan. In particular, lectures will be focused on legal and administrative procedures required for studying, employment and settlement, by illustrating immigration control, the precautions for the limits of the non-academic activities regarding part-time jobs, visa application required for job hunting and job hunting after graduation, visa application required after the employment or in case of unemployment, marriage to a Japanese or a foreigner, and family life.	For students in Undergraduate Program of International Social Studies, auditor students and other international students CDP face-to-face

Multidisciplinary Subjects for the Undergraduate Degrees (Upper Years Only)

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
1490011	Topics in Social Sciences	1	1.0	3, 4	FallAB	Wed2	Abu Girma Moges	This course deals with advanced and contemporary topics in social sciences from the conceptual, practical, and public policy perspectives. The course will cover topics ranging from economic development, inequality and poverty, inter-and-intra national migration, political economics of public policies, sustainable development, and the prospects as well as the challenges of globalization.	Lectures are conducted in English. face-to-face
1490014	Inclusive Smart Society PBL	4	1.0	2, 3	FallC, Spr Vac	by request	Toshihiro Kameda, Kyosuke Yamamoto, Takashi Matsushima	This course is an international collaborative PBL (Project-Based Learning) subject with the theme of realizing the Inclusive Smart Society (ISS), involving students from Ohio State University (OSU) and the University of Tsukuba. Students from both universities will share ideas, form international teams, and work together to propose social startups aimed at realizing ISS. Participants are expected to understand the universal and regional elements of ISS, investigate and analyze various challenges, and construct practical solutions. Through this process, students can acquire practical approaches and methodologies for addressing real-world issues. It should be noted that completion of the course “Introduction to Inclusive Smart Society I” is recommended for taking this course.	【Pre-registration】【Limited to 100 students】This course requires pre-registration. Please access the "Pre-registration" under the "Course" tab on TWINS. If the number of applicants exceeds the capacity, a lottery will be conducted. After the lottery, please check the "Course registration - Registration status" screen under the "Course" tab on TWINS to confirm if you have been registered for this course. Lectures are conducted in English. Online(Asynchronous) Online(Synchronous) This course is conducted in English. Limited to 100 students. Details will be posted on manaba. The last class will be conducted online(synchronous). Students in their first and fourth years can also take this course.

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
1490221	Mechatronics Basics and Applications	1	1.0	3, 4	FallABC	Fri3	Modar Hassan	In this course students will learn how to design and implement a mechatronics system including a) a controller, b) sensors, c) actuators, and d) an algorithm. The course is structured as follows: basic class unit, mid-term project, advanced class unit, end-term project. Students are organized in teams, and a project theme is given for each team. Evaluation is based on report and project presentation of each team. In addition to learning the structure, design, and analysis of mechatronics systems this course aims to nurture a “can do” attitude where students are willing to take challenges and design engineering solutions from scratch.	Identical to 1D90221. Lecture is conducted in English. Admission limit: up to 20 students. Priority is given to IDE Students. Lectures are conducted in English. face-to-face Admission limit: up to 20 students. Priority is given to IDE Students.

Course Manager

Requisite
Physical Education

For students in International Social Studies, Life and Enviromental Sciences, Medicine and Health Sciences, BPGI

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
2107173	Basic Physical Education Karate	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Masaki Fumoto	The purpose of this class is to understand the relation between one' s own mind and body, between one' s opponent' s mind and body, and their interaction, using basic Karate techniques. Basic Karate techniques, including suitable breathing methods, coordination of Karate basic techniques with footwork, and Kata (Karate form), will be taught in this class.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class. mfumoto@tiu.ac.jp As a rule, students who attend the course for at least two-thirds of the classes will be eligible for credits.
2110133	Basic Physical Education Japanese Archery	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Makinori Matsuo	In this class you will be able to learn the basic of Kyudo. While shooting on short and middle distance you will have a chance to learn about safety rules, be able to shoot quite well, and experience other parts of Kyudo, like competition.	I Work Experience faculty face-to-face elements by gender(equipment) G-course
2115173	Basic Physical Education Judo	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Hirotaka Okada	The purpose of this instruction is to learn fundamental skills of judo and to understand the fascination of judo through doing safety Randori with using some basic technique.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) elements by gender(other) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2117133	Basic Physical Education Swimming	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Yasuo Sengoku	The module aims to enjoy exercises in water together with various people. You learn 4 different swimming storkes, skin-diving and water polo through this module.	face-to-face elements by gender(wear) elements by gender(contact) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
2123173	Basic Physical Education Dance	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Yonezawa Mayuko	In this class, learns how to use basic body of the dance and gets on various music and move a body.In addition, aims at the making of healthy body by yoga and stretch through a class.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2134153	Basic Physical Education Basketball	3	0.5	1	FallAB	Thu1	shota Nakazawa	バスケットボールの特性を理解し、シュートやドリブルなどの基礎技術を習得し、仲間と協力しながら習得した技術をゲームで実践しながら学習を進めていく。	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(equipment) elements by gender(contact) G-course
2140153	Basic Physical Education Fitness Training	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Hirokazu Matsuo	Emphasis will be on maintenance of good health and understanding of relationship between physical fitness and health promotion. Acquirement of methods of resistance training, jogging and stretching shall also be addressed for lifelong good health.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course Details will be annouced. In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2148173	Basic Physical Education Refresh Movements	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Kiyonao Hasegawa	In this lesson, you learn mind and body through gymnastics and acquire knowledge and fundamental exercise ability to enjoy sports with friends. Through this lesson ,we will cultivate a spirit of challenge by challenging the activities that have never experienced, such as "G-ball" ;giant-gymnastics ball and "Wheel gymnastics" ;gym wheels movement. The teacher who is Japanese national athlete in Wheel gymnastics will take classes by taking advantage of their experiences.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) elements by gender(special rule/pair/team) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2152153	Basic Physical Education Track and Field	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Yasushi Enomoto	Learn knowledge and the method to improve fitness and skill as fundamental exercise of running, jumping and throwing in track and field, and also focusing an attitude to enjoy exercise depending on your own level. Promote understanding significance of wellness and fitness through practice.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(equipment) elements by gender(special rule/pair/team) G-course There is a difference in grading skills for women and men.In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
2121173	Basic Physical Education Softball	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Takeshi Kaneda	Emphasis will be on fundamentals, and the way to enjoy playing game. Understanding and improvement of health and fitness shall also be addressed by playing softball.	face-to-face elements by gender(contact) elements by gender(special rule/pair/team) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2122153	Basic Physical Education Table Tennis	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Yuki Nonaka	Students will learn the fundamental techniques of table tennis by exploring their essential principles, while deepening their understanding of movements common to other sports. Through a variety of practice methods and mini-games, the course also focuses on developing communication skills and fostering the spirit of sportsmanship.	Indoor shoose should be brought without fail. Be sure to wear sportswear. Accept experienced students. However, the level of this class is targeted at beginners. Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) G-course
2125173	Basic Physical Education Tennis	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Daisuke Mituhashi	Acquiring fundamental skills of tennis. Manner, rule, and values of sports shall also be learned through playing tennis.	It is preferable to wear tennis shoes. If you don't have them, wear athletic shoes (no leather shoes or sandals as they are dangerous). Work Experience faculty face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2133173	Basic Physical Education New Sports	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Miyuki Fujimoto	Students will engage in New Sports, which refer to organized activities that are different from existing sports and have different pholosophies from traditional sports. Through some samples of New Sports, including Bocce Ball, Indiaca, and Unihoc floorball, students will gain baskic skills and knowledge to make their life-long active living. The planned activities might be changed in case of inclement weathers (rain, temperature, etc.).	face-to-face elements by gender(contact) G-course

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
2135153	Basic Physical Education Badminton	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Masashi Suita	Learning of Badminton skills.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class. Teaching assistants may not be available and require you to actively communicate in English and Japanese.
2136193	Basic Physical Education Volleyball	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Nakaba Akiyama	This course is designed to learn fundamental skills (pass, serve, game play), rules, and team work.	II face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course
2137133	Basic Physical Education Handball	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Eiko Yamada	Learn a way of the situation solution in individuals, and the group. In addition, develop ability for coordination, through various movements with ball.	face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2143173	Basic Physical Education Bodywork	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Toshihiro Kato	We will do the following exercises. (1) Core Training (2) Stretching (3) Self-massage (4) Breathing technique Sharpen your senses. Increases resistance to stress. And enjoy the exercise itself.	face-to-face G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2130173	Basic Physical Education Trim Exercise	3	0.5	1	FallAB	Thu1		In this couse, course instructor provides some physical activities which every students can enjoy and develop on your health. Students will be expected to have management skills between physical and mental health.	face-to-face G-course

For students in Life and Enviromental Sciences

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
2107173	Basic Physical Education Karate	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Masaki Fumoto	The purpose of this class is to understand the relation between one's own mind and body, between one's opponent's mind and body, and their interaction, using basic Karate techniques. Basic Karate techniques, including suitable breathing methods, coordination of Karate basic techniques with footwork, and Kata (Karate form), will be taught in this class.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class. mfumoto@tiu.ac.jp As a rule, students who attend the course for at least two-thirds of the classes will be eligible for credits.
2110133	Basic Physical Education Japanese Archery	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Makinori Matsuo	In this class you will be able to learn the basic of Kyudo. While shooting on short and middle distance you will have a chance to learn about safety rules, be able to shoot quite well, and experience other parts of Kyudo, like competition.	I Work Experience faculty face-to-face elements by gender(equipment) G-course
2115173	Basic Physical Education Judo	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Hirotaka Okada	The purpose of this instruction is to learn fundamental skills of judo and to understand the fascination of judo through doing safety Randori with using some basic technique.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) elements by gender(other) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2117133	Basic Physical Education Swimming	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Yasuo Sengoku	The module aims to enjoy exercises in water together with various people. You learn 4 different swimming storkes, skin-diving and water polo through this module.	face-to-face elements by gender(wear) elements by gender(contact) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2123173	Basic Physical Education Dance	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Yonezawa Mayuko	In this class, learns how to use basic body of the dance and gets on various music and move a body.In addition, aims at the making of healthy body by yoga and stretch through a class.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
2134153	Basic Physical Education Basketball	3	0.5	1	FallAB	Thu1	shota Nakazawa	バスケットボールの特性を理解し、シュートやドリブルなどの基礎技術を習得し、仲間と協力しながら習得した技術をゲームで実践しながら学習を進めていく。	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(equipment) elements by gender(contact) G-course
2140153	Basic Physical Education Fitness Training	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Hirokazu Matsuo	Emphasis will be on maintenance of good health and understanding of relationship between physical fitness and health promotion. Acquirement of methods of resistance training, jogging and stretching shall also be addressed for lifelong good health.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course Details will be annouced. In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2148173	Basic Physical Education Refresh Movements	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Kiyonao Hasegawa	In this lesson, you learn mind and body through gymnastics and acquire knowledge and fundamental exercise ability to enjoy sports with friends. Through this lesson ,we will cultivate a spirit of challenge by challenging the activities that have never experienced, such as "G-ball" ;giant-gymnastics ball and "Wheel gymnastics" ;gym wheels movement. The teacher who is Japanese national athlete in Wheel gymnastics will take classes by taking advantage of their experiences.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) elements by gender(special rule/pair/team) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2152153	Basic Physical Education Track and Field	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Yasushi Enomoto	Learn knowledge and the method to improve fitness and skill as fundamental exercise of running, jumping and throwing in track and field, and also focusing an attitude to enjoy exercise depending on your own level. Promote understanding significance of wellness and fitness through practice.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(equipment) elements by gender(special rule/pair/team) G-course There is a difference in grading skills for women and men.In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2121173	Basic Physical Education Softball	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Takeshi Kaneda	Emphasis will be on fundamentals, and the way to enjoy playing game. Understanding and improvement of health and fitness shall also be addressed by playing softball.	face-to-face elements by gender(contact) elements by gender(special rule/pair/team) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
2122153	Basic Physical Education Table Tennis	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Yuki Nonaka	Students will learn the fundamental techniques of table tennis by exploring their essential principles, while deepening their understanding of movements common to other sports. Through a variety of practice methods and mini-games, the course also focuses on developing communication skills and fostering the spirit of sportsmanship.	Indoor shoose should be brought without fail. Be sure to wear sportswear. Accept experienced students. However, the level of this class is targeted at beginners. Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) G-course
2125173	Basic Physical Education Tennis	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Daisuke Mituhashi	Acquiring fundamental skills of tennis. Manner, rule, and values of sports shall also be learned through playing tennis.	It is preferable to wear tennis shoes. If you don't have them, wear athletic shoes (no leather shoes or sandals as they are dangerous). Work Experience faculty face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2133173	Basic Physical Education New Sports	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Miyuki Fujimoto	Students will engage in New Sports, which refer to organized activities that are different from existing sports and have different pholosophies from traditional sports. Through some samples of New Sports, including Bocce Ball, Indiaca, and Unihoc floorball, students will gain baskic skills and knowledge to make their life-long active living. The planned activities might be changed in case of inclement weathers (rain, temperature, etc.).	face-to-face elements by gender(contact) G-course
2135153	Basic Physical Education Badminton	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Masashi Suita	Learning of Badminton skills.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class. Teaching assistants may not be available and require you to actively communicate in English and Japanese.
2136193	Basic Physical Education Volleyball	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Nakaba Akiyama	This course is designed to learn fundamental skills (pass, serve, game play), rules, and team work.	II face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
2137133	Basic Physical Education Handball	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Eiko Yamada	Learn a way of the situation solution in individuals, and the group. In addition, develop ability for coordination, through various movements with ball.	face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2143173	Basic Physical Education Bodywork	3	0.5	1	FallAB	Thu1	Toshihiro Kato	We will do the following exercises. (1) Core Training (2) Stretching (3) Self-massage (4) Breathing technique Sharpen your senses. Increases resistance to stress. And enjoy the exercise itself.	face-to-face G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2130173	Basic Physical Education Trim Exercise	3	0.5	1	FallAB	Thu1		In this couse, course instructor provides some physical activities which every students can enjoy and develop on your health. Students will be expected to have management skills between physical and mental health.	face-to-face G-course

Wellness Sports

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
2505373	Wellness Sports	3	0.5	1	FallC	Intensive	Satoru Tanigawa	The aim of this course is to provide students with basic knowledge and skills about exercise and sports from many viewpoints. This will enable students to independently improve their health and physical fitness and enjoy sports throughout life.	For G30 students, and new students who entered for fall semester. face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course Details will be annouced. Be sure to attend an orientation.

For students in Life and Enviromental Sciences, BPGI

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
2211203	Applied Physical Education Kendo	3	0.5	2	SprAB	Fri2	Takahiro Nabeyama	To begin practicing with Kendo armor also known as bogu to basic fundamental level, as well as learning Kendo etiquette to improve ones mind and body.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) elements by gender(special rule/pair/team) G-course
2214203	Applied Physical Education Shooting Sports	3	0.5	2	SprAB	Fri2	Hitoshi Saga	To know self-condition of physical fitness and mental health with the individual or group activities on Archery and Kyudo (japanease traditional style of bow shooting), and also to accept the various values of sport or its cultural aspects.	face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least seven days prior to the first class and obtain permission to take the class

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
2215223	Applied Physical Education Judo	3	0.5	2	SprAB	Fri2	Hiroaki Hiraoka	understanding the princeple of the Judo techniques and lean the martial arts through experience.	face-to-face elements by gender(contact) elements by gender(other) G-course Students may wear a T-shirt under the judo uniform. Accessories and other decorative items must be removed.
2216263	Applied Physical Education Jog and walk	3	0.5	2	SprAB	Fri2	Yasushi Enomoto	You can get knowledge and experience for life span physical literacy through evidence based jogging and walking. First task would be appropriate activity for your physical fitness and condition, second task would be consideration of making your own design and plan for health and physical promotion, and third task would be understanding your mind and attitude for enjoying jogging and walking.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) elements by gender(special rule/pair/team) G-course Need running shoesIn principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2217263	Applied Physical Education Swimming	3	0.5	2	SprAB	Fri2	Takaaki Tsunokawa	The students will take advantage of the characteristics of the University's swimming pool facilities to engage in a variety of water-based activities. In particular, during the spring term, students will learn basic water polo skills and acquire knowledge of self-preservation in the water.	face-to-face elements by gender(contact) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2221263	Applied Physical Education Softball	3	0.5	2	SprAB	Fri2	Takaaki Nara	Through softball practice and our regular season games, we will develop our ability to work in a team and overcome challenges together. We will primarily focus on preparation and defensive practice for the first half of the semester, and will enter the regular season in the second half of the semester.	face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course
2222223	Applied Physical Education Table Tennis	3	0.5	2	SprAB	Fri2	Shintaro Ando	To deepen students' knowledge of sports activities. Through unique exercises, students will gain an understanding of the techniques involved in various sporting situations by pursuing a single discipline in greater depth. Students will also engage in applied mini-games.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) G-course
2225223	Applied Physical Education Tennis	3	0.5	2	SprAB	Fri2	Hajime Ohmori	Comprehensively learn knowledge and skills regarding tennis such as rules, manners, basic skills to enjoy playing tennis as a lifelong sport. Learning contents mainly consisted of doubles play.	テニスシューズまたはスパイクなしの運動シューズを着用 Work Experience faculty face-to-face G-course 雨天時にはオンラインではなく,座学または雨天時施設での実技を行う.

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
2230223	Applied Physical Education Trim Exercise	3	0.5	2	SprAB	Fri2	Shinichi Nagata	This course accepts students who need special assistantce in physical education class. This course aims to introduce sports that can be played in a variety of ways. Depending on the collective status of the enrolled students, the course contents may be modified.	Those who were absent more than 1/3 of the class will not be considered for the credit of this class Work Experience faculty face-to-face G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2233203	Applied Physical Education New Sports	3	0.5	2	SprAB	Fri2	Taketoshi Saito	"New sports" subjects are not to implement major sports, but to experience various sports events. For example,Flying Disc,Warking, Indiaca, G-ball,Ground Golf,Petanque, Long jump rope , and so on.	Classroom will be announced later. face-to-face G-course Details will be annouced. In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2234263	Applied Physical Education Basketball	3	0.5	2	SprAB	Fri2		Acquiring fundamentals, understanding offense and defense principles and team play from both playing and coaching perspective. Health, fitness, and skills of jumping, running, and throwing shall also be enhanced for enjoyable lifetime by playing basketball.	face-to-face elements by gender(contact) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2237223	Applied Physical Education Handball	3	0.5	2	SprAB	Fri2	Eiko Yamada	Through understanding of a handball game and acquiring group/team tactics, your relationship skills/ thinking skills in the team and your ability to enjoy team sports are cultivated.	face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course Available for students related to a cooperation system In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2240263	Applied Physical Education Fitness Training	3	0.5	2	SprAB	Fri2	Toshinobu Kawai	Understand the significance of health and physical fitness, and do training with a combination of resistance training and aerobic exercise.	Work Experience faculty face-to-face G-course

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
2241263	Applied Physical Education Flag Football	3	0.5	2	SprAB	Fri2	Hirokazu Matsuo	We understand the tactical knowledge and skill of flag football through a passing game and learn the strategy depending on the situation of the team practically.	Work Experience faculty face-to-face G-course Details will be annouced. In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2245223	Applied Physical Education Outing Sports	3	0.5	2	SprAB	Fri2	Akihiro Sakamoto	The goals of this class are 1)to acquire the basic skills for outdoor group activity: initiative games, 2)to understand the knowledge of that, 3)to acquire the ability of problem solving, and to gain the insight for self, other and natural environment through the outdoor activity. The class of Spring AB is held in the Yasei no Mori.	face-to-face elements by gender(contact) elements by gender(special rule/pair/team) G-course
2248263	Applied Physical Education Refresh Movements	3	0.5	2	SprAB	Fri2	Rina Kano	Through pleasant exercise and interaction with peers, the program fosters a rich mind and knowledge of the enjoyment of sports.They also refresh their minds and bodies through exposure to unusual physical activities such as "G-ball," which they can ride, and "Wheel Gymnastics" , in which they spin inside a large iron ring.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) elements by gender(special rule/pair/team) G-course Short-term international students who wish to take a class must, in principle, contact the instructor in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class.
2211213	Applied Physical Education Kendo	3	0.5	2	FallAB	Fri2	Takahiro Nabeyama	To wear the Kendo armor or bogu, being able to perform techniques where you strike based on your opponents reaction and to become in sync with your opponent to improve the mind and body.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) elements by gender(special rule/pair/team) G-course
2214213	Applied Physical Education Shooting Sports	3	0.5	2	FallAB	Fri2	Hitoshi Saga	To know self-condition of physical fitness and mental health with the individual or group activities on Archery and Kyudo (japanease traditional style of bow shooting), and also to accept the various values of sport or its cultural aspects.	face-to-face G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least seven days prior to the first class and obtain permission to take the class
2215233	Applied Physical Education Judo	3	0.5	2	FallAB	Fri2	Hiroaki Hiraoka	understanding the princeple of the Judo techniques and lean the martial arts through experience.	face-to-face elements by gender(contact) elements by gender(other) G-course Students may wear a T-shirt under the judo uniform. Accessories and other decorative items must be removed.

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
2216273	Applied Physical Education Jog and walk	3	0.5	2	FallAB	Fri2	Yasushi Enomoto	You learn advanced physical literacy for jogging and walking based on scientific understanding through the activities in variety of time, distance, and terrain. The goal is set for getting the ability and understanding to jog and walk for yourself subjectively.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) elements by gender(special rule/pair/team) G-course Need running shoesIn principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2217273	Applied Physical Education Swimming	3	0.5	2	FallAB	Fri2	Takaaki Tsunokawa	Understanding and improving self health and fitness with swimming. Various types of water sports will be achieved, swimming, water polo, diving, skin diving, synchronized swimming, and swim with clothes on.	face-to-face elements by gender(wear) elements by gender(contact) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2221273	Applied Physical Education Softball	3	0.5	2	FallAB	Fri2	Takaaki Nara	We will deepen our understanding of softball techniques and strategies, and hone our skills so that we may succeed on the playing field. Both in practice and regular season games, we will learn teamwork, cooperation and leadership.	face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course
2222233	Applied Physical Education Table Tennis	3	0.5	2	FallAB	Fri2	Shintaro Ando	Along with the deepening of knowledge on sports or time, it enhances the ability to enjoy the results of activities. After understanding techniques related to various sports scenes, practice in a variety of forms together with games and technical exercises, and develop a free idea about game sports.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) G-course
2225233	Applied Physical Education Tennis	3	0.5	2	FallAB	Fri2	Hajime Ohmori	Comprehensively learn knowledge and skills regarding tennis such as rules, manners, basic skills to enjoy playing tennis as a lifelong sport. Learning contents mainly consisted of doubles play.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course
2230233	Applied Physical Education Trim Exercise	3	0.5	2	FallAB	Fri2	Shinichi Nagata	This course accepts students who need special assistantce in physical education class. This course aims to introduce sports that can be played in a variety of ways. Depending on the collective status of the enrolled students, the course contents may be modified.	Those who were absent more than 1/3 of the class will not be considered for the credit of this class Work Experience faculty face-to-face G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
2233213	Applied Physical Education New Sports	3	0.5	2	FallAB	Fri2	Taketoshi Saito	"New sports" subjects are not to implement major sports, but to experience various sports events. Various sports events are Flying Disc, G-ball,Ground Golf,Petanque,Universal-hockey, Bound Tennis, Double Dutch,Kin-Ball,etc. and so on.	Classroom will be announced later. face-to-face G-course Details will be annouced. In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2234273	Applied Physical Education Basketball	3	0.5	2	FallAB	Fri2		Acquiring fundamentals, understanding offense and defense principles and team play from both playing and coaching perspective. Health, fitness, and skills of jumping, running, and throwing shall also be enhanced for enjoyable lifetime by playing basketball.	face-to-face elements by gender(contact) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2237233	Applied Physical Education Handball	3	0.5	2	FallAB	Fri2	Eiko Yamada	Acquiring fundamental skills and tactics of handball. Learning team work through mini games and handball games.	face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2240273	Applied Physical Education Fitness Training	3	0.5	2	FallAB	Fri2	Toshinobu Kawai	Understand the significance of health and physical fitness, and do training with a combination of resistance training and aerobic exercise.	Work Experience faculty face-to-face G-course
2241273	Applied Physical Education Flag Football	3	0.5	2	FallAB	Fri2	Hirokazu Matsuo	Through flag football games, students will improve their tactical knowledge and skills related to flag football and improve their game performance.	Work Experience faculty face-to-face G-course Details will be annouced. In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2245233	Applied Physical Education Outing Sports	3	0.5	2	FallAB	Fri2	Akihiro Sakamoto	In the fall semester, students will learn practical camping skills (fire making, outdoor cooking (lunch making), rope work, tarp tent setup, etc.) and actually experience day camping. The schedule is the morning of Saturday, November 15th AM. Therefore, the number of class hours will be adjusted.	face-to-face elements by gender(contact) elements by gender(special rule/pair/team) G-course

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
2248273	Applied Physical Education Refresh Movements	3	0.5	2	FallAB	Fri2	Rina Kano	Through pleasant exercise and interaction with peers, the program fosters a rich mind and knowledge of the enjoyment of sports.They also refresh their minds and bodies through exposure to unusual physical activities such as "G-ball," which they can ride, and "Wheel Gymnastics" , in which they spin inside a large iron ring.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) elements by gender(special rule/pair/team) G-course Short-term international students who wish to take a class must, in principle, contact the instructor in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class.

For students in International Social Studies

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
2207243	Applied Physical Education Karate	3	0.5	2	SprAB	Thu2	Masaki Fumoto	The purpose of this class is to understand the relation between one's own mind and body, between one's opponent's mind and body, and their interaction, using basic Karate techniques. Basic Karate techniques, including suitable breathing methods, coordination of Karate basic techniques with footwork, Kata, and Kumite will be taught in this class.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class. mfumoto@tiu.ac.jp As a rule, students who attend the course for at least two-thirds of the classes will be eligible for credits.
2211243	Applied Physical Education Kendo	3	0.5	2	SprAB	Thu2	Takahiro Nabeyama	The aim is to develop mind and body through basic practice with equipment up to sparring level, and through practice of etiquette.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(equipment) elements by gender(contact) elements by gender(special rule/pair/team) G-course
2214243	Applied Physical Education Shooting Sports	3	0.5	2	SprAB	Thu2	Hitoshi Saga	To know self-condition of physical fitness and mental health with the individual or group activities on Archery and Kyudo (japanease traditional style of bow shooting), and also to accept the various values of sport or its cultural aspects.	face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least seven days prior to the first class and obtain permission to take the class

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
2221243	Applied Physical Education Softball	3	0.5	2	SprAB	Thu2	Takeshi Kaneda	Emphasis will be on fundamentals, and the way to enjoy playing game. Understanding and improvement of health and fitness shall also be addressed by playing softball.	face-to-face elements by gender(contact) elements by gender(special rule/pair/team) G-course
2222203	Applied Physical Education Table Tennis	3	0.5	2	SprAB	Thu2	Yuki Nonaka	Students will deepen their knowledge of sports activities through table tennis. By pursuing a single discipline more deeply using unique training methods, students will gain an understanding of techniques relevant to various other sports. The course also includes participation in mini-games.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) G-course
2223243	Applied Physical Education Dance	3	0.5	2	SprAB	Thu2	Yonezawa Mayuko	In this class, learns how to use basic body of the dance and gets on various music and move a body.In addition, aims at the making of healthy body by yoga and stretch through a class.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2225263	Applied Physical Education Tennis	3	0.5	2	SprAB	Thu2	Kaoru Maezawa	Comprehensively learn knowledge and skills regarding tennis such as rules, manners, basic skills to enjoy playing tennis as a lifelong sport. Learning contents mainly consisted of doubles play.	face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2230243	Applied Physical Education Trim Exercise	3	0.5	2	SprAB	Thu2	Akihiro Sakamoto	In this couse, course instructor provides some physical activities which every students can enjoy and develop on your health. Students will be expected to have management skills between physical and mental health.	Work Experience faculty face-to-face G-course
2234203	Applied Physical Education Basketball	3	0.5	2	SprAB	Thu2	shota Nakazawa	Understanding the characteristics of basketball, acquirement of Individual tactics (break opponents, take ball from opponents). Acquirement how to utilize technical and tactical fundamentals in games.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(equipment) elements by gender(contact) G-course
2235203	Applied Physical Education Badminton	3	0.5	2	SprAB	Thu2	Chika Tanifuji	Understanding the principles of badminton in order to play and enjoy games. History, manner, rule, and values of sports shall also be learned through playing games.	face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
2236243	Applied Physical Education Volleyball	3	0.5	2	SprAB	Thu2	Nakaba Akiyama	This course is designed to learn fundamental skills (pass, serve, spike, block, game play), rules, basic strategies, and team work.	face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course
2241223	Applied Physical Education Flag Football	3	0.5	2	SprAB	Thu2	Tsuyoshi Matsumoto	We understand the tactical knowledge and skill of flag football through a passing game and learn the strategy depending on the situation of the team practically.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course Mixed gender teams will be created so that each team has an equal number of men and women. Special rules will be set for games to ensure that everyone is actively involved in the game.In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2243243	Applied Physical Education Bodywork	3	0.5	2	SprAB	Thu2	Toshihiro Kato	We will do the following exercises. (1) Core Training (2) Stretching (3) Self-massage (4) Breathing technique. Sharpen your senses. Increases resistance to stress. And enjoy the exercise itself.	face-to-face elements by gender(contact) G-course Pair work (assisting with training, sports massage, etc.) may be done regardless of gender. If you are not comfortable with pair work, you can do it alone. Pairs can be formed in any way. If there is an odd number of participants, there may be a group of three. In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2248243	Applied Physical Education Refresh Movements	3	0.5	2	SprAB	Thu2	Kiyonao Hasegawa	Exercise bouncing in the Swiss ball.Exercise to rotation by the wheel gymnastics. Through a new experience, to refresh the mind and body.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) elements by gender(special rule/pair/team) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
2207253	Applied Physical Education Karate	3	0.5	2	FallAB	Thu2	Masaki Fumoto	The purpose of this class is to understand the relation between one's own mind and body, between one's opponent's mind and body, and their interaction, using basic Karate techniques. Basic Karate techniques, including suitable breathing methods, coordination of Karate basic techniques with footwork, Kata, and Kumite will be taught in this class.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class. mfumoto@tiu.ac.jp As a rule, students who attend the course for at least two-thirds of the classes will be eligible for credits.
2211253	Applied Physical Education Kendo	3	0.5	2	FallAB	Thu2	Takahiro Nabeyama	The aim is to develop sparring skills with a partner with full kendo equipment, and furthermore to develop the mind and body.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(equipment) elements by gender(contact) elements by gender(special rule/pair/team) G-course
2214253	Applied Physical Education Shooting Sports	3	0.5	2	FallAB	Thu2	Hitoshi Saga	To know self-condition of physical fitness and mental health with the individual or group activities on Archery and Kyudo (japanease traditional style of bow shooting), and also to accept the various values of sport or its cultural aspects.	face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least seven days prior to the first class and obtain permission to take the class
2221253	Applied Physical Education Softball	3	0.5	2	FallAB	Thu2	Takeshi Kaneda	Emphasis will be on fundamentals, and the way to enjoy playing game. Understanding and improvement of health and fitness shall also be addressed by playing softball.	face-to-face elements by gender(contact) elements by gender(special rule/pair/team) G-course
2222213	Applied Physical Education Table Tennis	3	0.5	2	FallAB	Thu2	Yuki Nonaka	After deepening their knowledge of sports activities and understanding the techniques common to various disciplines, students will engage in advanced games and technical drills. This process aims to foster creative thinking and free-form ideas regarding sports.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) G-course
2223253	Applied Physical Education Dance	3	0.5	2	FallAB	Thu2	Yonezawa Mayuko	In this class, learns how to use basic body of the dance and gets on various music and move a body.In addition, aims at the making of healthy body by yoga and stretch through a class.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
2225273	Applied Physical Education Tennis	3	0.5	2	FallAB	Thu2	Kaoru Maezawa	Comprehensively learn knowledge and skills regarding tennis such as rules, manners, basic skills to enjoy playing tennis as a lifelong sport. Learning contents mainly consisted of doubles play.	face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2230253	Applied Physical Education Trim Exercise	3	0.5	2	FallAB	Thu2	Akihiro Sakamoto	In this couse, course instructor provides some physical activities which every students can enjoy and develop on your health. Students will be expected to have management skills between physical and mental health.	Work Experience faculty face-to-face G-course
2234213	Applied Physical Education Basketball	3	0.5	2	FallAB	Thu2	shota Nakazawa	Understanding the characteristics of basketball, acquirement of group tactics (cut play, screen play). Acquirement how to utilize technical and tactical fundamentals, and group tactics in games.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(equipment) elements by gender(contact) G-course
2235213	Applied Physical Education Badminton	3	0.5	2	FallAB	Thu2	Chika Tanifuji	Learning of Badminton skills	face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2236253	Applied Physical Education Volleyball	3	0.5	2	FallAB	Thu2	Nakaba Akiyama	This course is designed to learn fundamental skills (pass, serve, spike, block, game play), rules, basic strategies, and team work.	face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course
2241233	Applied Physical Education Flag Football	3	0.5	2	FallAB	Thu2	Tsuyoshi Matsumoto	Emphasis is on further tactical/positional patterns and consideration for team shape/formations. Larger playing areas are gradually introduced, and as before, students take part in game formats on a regular basis.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course Mixed gender teams will be created so that each team has an equal number of men and women. Special rules will be set for games to ensure that everyone is actively involved in the game.In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
2243253	Applied Physical Education Bodywork	3	0.5	2	FallAB	Thu2	Toshihiro Kato	We will do the following exercises. (1) Core training (2) Stretching (3) Breathing technique (4) Bosy axis training. Sharpen your senses. Increases resistance to stress while communicating with others. And enjoy the exercise itself.	face-to-face elements by gender(contact) G-course Pair work (assisting with training, sports massage, etc.) may be done regardless of gender. If you are not comfortable with pair work, you can do it alone. Pairs can be formed in any way. If there is an odd number of participants, there may be a group of three. In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2248253	Applied Physical Education Refresh Movements	3	0.5	2	FallAB	Thu2	Kiyonao Hasegawa	Exercise bouncing in the Swiss ball.Exercise to rotation by the wheel gymnastics. Through a new experience, to refresh the mind and body.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) elements by gender(special rule/pair/team) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class

For students in International Social Studies,Medicine and Health Sciences,IDE

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
2211263	Applied Physical Education Kendo	3	0.5	2	SprAB	Thu3	Takahiro Nabeyama	To begin practicing with Kendo armor also known as bogu to basic fundamental level, as well as learning Kendo etiquette to improve ones mind and body.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(equipment) elements by gender(contact) elements by gender(special rule/pair/team) G-course
2212243	Applied Physical Education Golf	3	0.5	2	SprAB	Thu3	Hitoshi Shiraki	In this course, students will learn about Golf Swing,History,manner, etiquett,rule,history and sportsman ship.Recognize your physical fitness by performing physical fitness measurement.	face-to-face G-course Clubs are asked to select clubs for their height.

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
2213263	Applied Physical Education Soccer	3	0.5	2	SprAB	Thu3	Kazuya Naruse	The purpose of this class is to cultivate football cultural elements. Acquire principles of offense and defense and basic skills through various game formats football .	face-to-face elements by gender(contact) elements by gender(special rule/pair/team) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2214263	Applied Physical Education Shooting Sports	3	0.5	2	SprAB	Thu3	Hitoshi Saga	To know self-condition of physical fitness and mental health with the individual or group activities on Archery and Kyudo (japanease traditional style of bow shooting), and also to accept the various values of sport or its cultural aspects.	face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least seven days prior to the first class and obtain permission to take the class
2215263	Applied Physical Education Judo	3	0.5	2	SprAB	Thu3	Takashi Matsui	Understanding the princeple of the Judo techniques and lean the martial arts through experience.	I face-to-face elements by gender(contact) elements by gender(other) G-course T-shirts may be worn under the Judo-wear. In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2221223	Applied Physical Education Softball	3	0.5	2	SprAB	Thu3	Takaaki Nara	Through softball practice and our regular season games, we will develop our ability to work in a team and overcome challenges together. We will primarily focus on preparation and defensive practice for the first half of the semester, and will enter the regular season in the second half of the semester.	face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course
2222243	Applied Physical Education Table Tennis	3	0.5	2	SprAB	Thu3	Yuki Nonaka	Students will deepen their knowledge of sports activities through table tennis. By pursuing a single discipline more deeply using unique training methods, students will gain an understanding of techniques relevant to various other sports. The course also includes participation in mini-games.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) G-course
2223263	Applied Physical Education Dance	3	0.5	2	SprAB	Thu3	Motoko Hirayama	”Discovery of your body” as the theme. An individual invention ability and the sensibility are polished by touching various dance cultures. Beautiful posture and the necessity of a healthy body making are understood while introducing the base of the yoga.	face-to-face elements by gender(contact) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
2225203	Applied Physical Education Tennis	3	0.5	2	SprAB	Thu3	Kaoru Maezawa	Comprehensively learn knowledge and skills regarding tennis such as rules, manners, basic skills to enjoy playing tennis as a lifelong sport. Learning contents mainly consisted of doubles play.	face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course
2230263	Applied Physical Education Trim Exercise	3	0.5	2	SprAB	Thu3	Mayumi Saito	In this couse, course instructor provides some physical activities which every students can enjoy and develop on your health. Students will be expected to have management skills between physical and mental health.	Work Experience faculty face-to-face G-course
2233223	Applied Physical Education New Sports	3	0.5	2	SprAB	Thu3	Miyuki Fujimoto	"New sports" subjects are not to implement major sports, but to experience various sports events. Various sports events are Flying Disc, G-ball,Ground Golf,Petanque,Universal-hockey, Bound Tennis, Double Dutch,Kin-Ball,etc. and so on.	face-to-face elements by gender(contact) G-course
2234243	Applied Physical Education Basketball	3	0.5	2	SprAB	Thu3	Takuya Sakamoto	Understanding the characteristics of basketball, acquirement of individual tactics (break opponent, take ball from opponent). Acquirement how to utilize technical and tactical fundamentals in games.	face-to-face elements by gender(equipment) elements by gender(contact) G-course
2235263	Applied Physical Education Badminton	3	0.5	2	SprAB	Thu3	Chika Tanifuji	Understanding the principles of badminton in order to play and enjoy games. History, manner, rule, and values of sports shall also be learned through playing games.	face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2237243	Applied Physical Education Handball	3	0.5	2	SprAB	Thu3	Eiko Yamada	Acquire fundamental skills through games.	face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course 短期留学生が受講を希望する際は、原則、初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2240203	Applied Physical Education Fitness Training	3	0.5	2	SprAB	Thu3	Satoru Tanigawa	Understanding the relationship among maintaining and promoting physical, mental health and exercise and physical fitness, this class focus on applying exercises, resistance training, jogging, stretching to daily life as sports culture.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) elements by gender(special rule/pair/team) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2245203	Applied Physical Education Outing Sports	3	0.5	2	SprAB	Thu3		The goals of this class are 1)to acquire the basic skills for outdoor group activity: initiative games, 2)to understand the knowledge of that, 3)to acquire the ability of problem solving, and to gain the insight for self, other and natural environment through the outdoor activity. The class of Spring AB is held in the Yasei no Mori.	face-to-face elements by gender(contact) elements by gender(special rule/pair/team) G-course

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
2211273	Applied Physical Education Kendo	3	0.5	2	FallAB	Thu3	Takahiro Nabeyama	To wear the Kendo armor or bogu, being able to perform techniques where you strike based on your opponents reaction and to become in sync with your opponent to improve the mind and body.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(equipment) elements by gender(contact) elements by gender(special rule/pair/team) G-course
2212253	Applied Physical Education Golf	3	0.5	2	FallAB	Thu3	Hitoshi Shiraki	In this course, students will learn about Golf Swing, History, manner, etiquette, rule, history and sportsman ship.Practical practice at a nearby golf course in the fall semester	Expenses: Golf Driving Range / ¥1300, Golf Course / ¥4,000 face-to-face G-course Clubs are asked to select clubs for their height.
2213273	Applied Physical Education Soccer	3	0.5	2	FallAB	Thu3	Kazuya Naruse	The purpose of this class is to understand the depth of football culture. It is also to learn basic tactics through various games.	face-to-face elements by gender(contact) elements by gender(special rule/pair/team) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2214273	Applied Physical Education Shooting Sports	3	0.5	2	FallAB	Thu3	Hitoshi Saga	To know self-condition of physical fitness and mental health with the individual or group activities on Archery and Kyudo (japanease traditional style of bow shooting), and also to accept the various values of sport or its cultural aspects.	face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least seven days prior to the first class and obtain permission to take the class
2215273	Applied Physical Education Judo	3	0.5	2	FallAB	Thu3	Takashi Matsui	understanding the princeple of the Judo techniques and lean the martial arts through experience.	I face-to-face elements by gender(contact) elements by gender(other) G-course T-shirts may be worn under the Judo-wear. In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2221233	Applied Physical Education Softball	3	0.5	2	FallAB	Thu3	Takaaki Nara	We will deepen our understanding of softball techniques and strategies, and hone our skills so that we may succeed on the playing field. Both in practice and regular season games, we will learn teamwork, cooperation and leadership.	face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
2222253	Applied Physical Education Table Tennis	3	0.5	2	FallAB	Thu3	Yuki Nonaka	Along with the deepening of knowledge on sports or time, it enhances the ability to enjoy the results of activities. After understanding techniques related to various sports scenes, practice in a variety of forms together with games and technical exercises, and develop a free idea about game sports.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) G-course
2223273	Applied Physical Education Dance	3	0.5	2	FallAB	Thu3	Motoko Hirayama	”Discovery of your body” as the theme. An individual invention ability and the sensibility are polished by touching various dance cultures. Beautiful posture and the necessity of a healthy body making are understood while introducing the base of the yoga.	face-to-face elements by gender(contact) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2225213	Applied Physical Education Tennis	3	0.5	2	FallAB	Thu3	Kaoru Maezawa	Comprehensively learn knowledge and skills regarding tennis such as rules, manners, basic skills to enjoy playing tennis as a lifelong sport. Learning contents mainly consisted of doubles play.	face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course
2230273	Applied Physical Education Trim Exercise	3	0.5	2	FallAB	Thu3	Mayumi Saito	In this couse, course instructor provides some physical activities which every students can enjoy and develop on your health. Students will be expected to have management skills between physical and mental health.	Work Experience faculty face-to-face G-course
2233233	Applied Physical Education New Sports	3	0.5	2	FallAB	Thu3	Miyuki Fujimoto	"New sports" subjects are not to implement major sports, but to experience various sports events. Various sports events are Flying Disc, G-ball,Ground Golf,Petanque,Universal-hockey, Bound Tennis, Double Dutch,Kin-Ball,etc. and so on.	face-to-face elements by gender(contact) G-course
2234253	Applied Physical Education Basketball	3	0.5	2	FallAB	Thu3	Takuya Sakamoto	Understanding the characteristics of basketball, acquirement of Individual tactics and group tactics(cut play, screen play). Acquirement how to utilize technical and tactical fundamentals, and group tactics.	face-to-face elements by gender(equipment) elements by gender(contact) G-course
2235273	Applied Physical Education Badminton	3	0.5	2	FallAB	Thu3	Chika Tanifuji	Learning of Badminton skills	face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2237253	Applied Physical Education Handball	3	0.5	2	FallAB	Thu3	Eiko Yamada	Think about individual roles in the team and acquire the ability to enjoy team sports.	face-to-face elements by gender(equipment) elements by gender(contact) elements by gender(special rule/pair/team) G-course

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
2240213	Applied Physical Education Fitness Training	3	0.5	2	FallAB	Thu3	Satoru Tanigawa	Understanding the relationship among maintaining and promoting physical, mental health and exercise and physical fitness, this class focus on applying exercises, resistance training, jogging, stretching to daily life as sports culture.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) elements by gender(special rule/pair/team) G-course In principle, exchange students who wish to take a class must contact the teacher in charge of the class at least three days prior to the first class and obtain permission to take the class
2245213	Applied Physical Education Outing Sports	3	0.5	2	FallAB	Thu3		In the fall semester, students will learn practical camping skills (fire making, outdoor cooking (lunch making), rope work, tarp tent setup, etc.) and actually experience day camping. The schedule is the morning of Saturday, November 22nd AM. Therefore, the number of class hours will be adjusted.	face-to-face elements by gender(contact) elements by gender(special rule/pair/team) G-course

For students in IDE

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
2313283	Advanced Physical Education Soccer	3	0.5	3	SprAB	Mon4	Masaaki Koido	Understand the characteristics of the sport of soccer and aim to acquire the skills and tactics necessary to enjoy the game.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) elements by gender(special rule/pair/team) G-course 短期留学生が受講を希望する際は、初回授業の3 日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得ること また原則先着順で2~3名までとします。
2314283	Advanced Physical Education Shooting Sports	3	1.0	3	SprAB SprC	Mon4 Intensive	Hitoshi Saga	To know self-condition of physical fitness and mental health with the individual or group activities on Archery and Kyudo (Japanese traditional style of bow shooting), and also to accept the various values of sport or its cultural aspects.	face-to-face G-course Details will be annouced. Short-term international students who wish to take a class must, in principle, contact the instructor in charge of the class at least seven days prior to the first class and obtain permission to take the class.
2321283	Advanced Physical Education Softball	3	0.5	3	SprAB	Mon4	Atsushi Kiuchi	ソフトボールにおける安心安全と技能上達を、共生協働の実践を通して目指す。さらに、これらの活動を自己成長の機会として捉える視点を養う。授業は、受講者の技能や体力の多様性に応じて、使用球やルールを柔軟に調整して編成する。評価は技能や体力の優劣によって行わない。	face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
2322283	Advanced Physical Education Table Tennis	3	0.5	3	SprAB	Mon4	Shintaro Ando	In addition to learning the essence of table tennis techniques, students will deepen their knowledge of sports activities as they progress. Students will also learn about their own sports life and sports culture through practical skills.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) G-course
2323283	Advanced Physical Education Dance	3	0.5	3	SprAB	Mon4	Miwa Zushi	Challenge various dances, understand their movements, and aim to improve their skills. In addition, improve self-expression and sensitivity, and develop practical skills to lead a rich life through dance in life.	face-to-face elements by gender(contact) G-course
2330283	Advanced Physical Education Trim Exercise	3	0.5	3	SprAB	Mon4	Takashi Fukuda	In this course, course instructor provides some physical activities which every students can enjoy and develop on your health. Students will be expected to have management skills between physical and mental health.	Work Experience faculty face-to-face G-course
2334303	Advanced Physical Education Basketball	3	0.5	3	SprAB	Mon4	shota Nakazawa	バスケットボールの個人戦術、グループ戦術を習得し、グループ戦術を中心にバスケットボールの特性を活かしたゲームをとおして、問題解決能力、協調性を養いながら、バスケットボールの構造を理解できるようになる。	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(equipment) elements by gender(contact) G-course
2341343	Advanced Physical Education Flag Football	3	1.0	3	SprAB Sum Vac	Mon4 Intensive	Tsuyoshi Matsumoto	日本フラッグフットボール協会公式規則に準じた大会への参加を目指し、チーム・マネージメントについて実践的に学修する。	集中講義と併せて1単位とする Work Experience faculty face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course 各チームの男女数が均等になるように男女混合チームを作ります。ゲームにおいては特別ルールを設定し、全員が積極的にゲームに関与できるよう工夫を行います。 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2313293	Advanced Physical Education Soccer	3	0.5	3	FallAB	Mon4	Masaaki Koido	サッカーにおける個人の技能の向上とともに、戦術やポジションなどのチームとしての戦い方をチームメイトと共有し、戦略的にゲームに臨む楽しさを知る。	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) elements by gender(special rule/pair/team) G-course 短期留学生が受講を希望する際は、初回授業の3 日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得ること また原則先着順で2~3名までとします。
2321293	Advanced Physical Education Softball	3	0.5	3	FallAB	Mon4	Atsushi Kiuchi	ソフトボールにおける安心安全と技能上達を、共生協働の実践を通して目指す。さらに、これらの活動を自己成長の機会として捉える視点を養う。授業は、受講者の技能や体力の多様性に応じて、使用球やルールを柔軟に調整して編成する。評価は技能や体力の優劣によって行わない。	face-to-face elements by gender(special rule/pair/team) G-course
2322293	Advanced Physical Education Table Tennis	3	0.5	3	FallAB	Mon4	Shintaro Ando	In addition to learning the essence of table tennis techniques, students will deepen their knowledge of sports activities as they progress. Students will also learn about their own sports life and sports culture through practical skills, and develop free ideas about sports.	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) G-course

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
2323293	Advanced Physical Education Dance	3	0.5	3	FallAB	Mon4	Miwa Zushi	Challenge various dances, understand their movements, and aim to improve their skills. In addition, improve self-expression and sensitivity, and develop practical skills to lead a rich life through dance in life.	face-to-face elements by gender(contact) G-course
2329293	Advanced Physical Education Track and Field	3	1.0	3	FallAB FallC	Mon4 Intensive	Satoru Tanigawa	Understand the basic skills of running, jumping, and throwing so that you can understand them with your own body, learn how to manipulate your individual body, and learn training methods to improve your performance.	1 credit together with the intensive course. Intensive classes will be held during the fall semester with 5days morning practice and climbing Mt.Tsukuba. Work Experience faculty face-to-face elements by gender(contact) elements by gender(special rule/pair/team) G-course Details will be annouced.
2330293	Advanced Physical Education Trim Exercise	3	0.5	3	FallAB	Mon4	Takashi Fukuda	In this course, course instructor provides some physical activities which every students can enjoy and develop on your health. Students will be expected to have management skills between physical and mental health.	Work Experience faculty face-to-face G-course
2334313	Advanced Physical Education Basketball	3	0.5	3	FallAB	Mon4	shota Nakazawa	バスケットボールの個人戦術、グループ戦術を習得し、グループ戦術を中心にバスケットボールの特性を活かしたゲームをとおして、問題解決能力、協調性を養いながら、バスケットボールの構造を理解できるようになる。	Work Experience faculty face-to-face elements by gender(equipment) elements by gender(contact) G-course

Course Manager

Requisite
Foreign Languages

Japanese Required Courses

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
3990312	Japanese 101	2	2.0	1	FallAB	Mon3 Wed1 Fri4	Ruth Vanbaelen	Students will work towards developing basic skills in listening and speaking in Japanese, and basic literacy skills. NB: Ability to read and write Hiragana is a pre-requisite for this class.	Placement into an appropriate level will be performed via the placement test administered by the CEGLOC. As much as possible, Japanese is used as the main language of instruction. English will be used according to the students' needs and wants. Lectures are conducted in English. face-to-face Details about the class format will be posted on manaba or given in class.
3990332	Japanese 201	2	2.0	1, 2	FallAB	Mon3 Wed1 Fri4	Ayako Ishigami,Ruth Vanbaelen	Students will work on further developing and refining basic skills in using the Japanese language.	Placement into an appropriate level will be performed via the placement test administered by the CEGLOC. As much as possible, Japanese is used as the main language of instruction. English will be used according to the students' needs and wants. Lectures are conducted in English. face-to-face Details about the class format will be posted on manaba or given in class.
3990352	Japanese 301	2	2.0	1, 2	FallAB	Mon3 Wed1 Fri4	Ruth Vanbaelen,Chinami Yamamoto	Students will continue working towards developing intermediate skills in using the Japanese language.	Placement into an appropriate level will be performed via the placement test administered by the CEGLOC. As much as possible, Japanese is used as the main language of instruction. English will be used according to the students' needs and wants. Lectures are conducted in English. face-to-face Details about the class format will be posted on manaba or given in class.

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
3990372	Japanese 401	2	2.0	1, 2	FallAB	Mon3 Wed1 Fri4	Takashi Tanaka,Ruth Vanbaelen	The aim of this course is for students to develop their ability to think and express themselves in Japanese. Students will learn to write reports, make presentations and conduct surveys using Japanese.	Placement into an appropriate level will be performed via the placement test administered by the CEGLOC. As much as possible, Japanese is used as the main language of instruction. English will be used according to the students' needs and wants. Lectures are conducted in English. face-to-face Details about the class format will be posted on manaba or given in class.
3990422	Japanese 102	2	2.0	1	SprAB	Wed2 Mon/Fri 3	Ruth Vanbaelen	Students will continue working towards developing basic skills in using the Japanese language.	Placement into an appropriate level will be performed via the placement test administered by the CEGLOC. As much as possible, Japanese is used as the main language of instruction. English will be used according to the students' needs and wants. Lectures are conducted in English. face-to-face Details about the class format will be posted on manaba or given in class.
3990442	Japanese 202	2	2.0	1, 2	SprAB	Wed2 Mon/Fri 3	Ayako Ishigami,Ruth Vanbaelen	Students will work towards beginning to develop intermediate skills in listening and speaking in Japanese, and literacy skills.	Placement into an appropriate level will be performed via the placement test administered by the CEGLOC. As much as possible, Japanese is used as the main language of instruction. English will be used according to the students' needs and wants. Lectures are conducted in English. face-to-face Details about the class format will be posted on manaba or given in class.
3990462	Japanese 302	2	2.0	1, 2	SprAB	Wed2 Mon/Fri 3	Ruth Vanbaelen,Chinami Yamamoto	Students will continue working towards developing intermediate skills in using the Japanese language.	Placement into an appropriate level will be performed via the placement test administered by the CEGLOC. As much as possible, Japanese is used as the main language of instruction. English will be used according to the students' needs and wants. Lectures are conducted in English. face-to-face Details about the class format will be posted on manaba or given in class.

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
3990482	Japanese 402	2	2.0	1, 2	SprAB	Wed2 Mon/Fri 3	Takashi Tanaka, Ruth Vanbaelen	The aim of this course is for students to develop their ability to think and express themselves in Japanese. Students will learn to write reports, make presentations and conduct surveys using Japanese.	Placement into an appropriate level will be performed via the placement test administered by the CEGLOC. As much as possible, Japanese is used as the main language of instruction. English will be used according to the students' needs and wants. Lectures are conducted in English. face-to-face Details about the class format will be posted on manaba or given in class.

Course Manager

Requisite
Information Literacy

Information Literacy

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
6190101	Information Literacy (Lectures)	1	1.0	1	FallA	Tue3,4	Simona Mirela Vasilache	In this course, along with understanding the basic concepts of information and social positioning of computers and the Internet, students learn about information representation and computation, the principles and structure of computers, software principles, and the mechanisms of the Internet. In addition, students learn about information ethics, information security, and intellectual property rights, necessary for safe and meaningful use of the Internet.	For Students in English Program. Lectures are conducted in English. Online(partially face-to-face) Week 5 will be conducted in person.Check manaba for details.
6490102	Information Literacy (Exercises)	2	1.0	1	FallB	Tue3,4	Simona Mirela Vasilache	This course teaches fundamental skills for computer use. By using computers to create documents and presentations, disseminate information on the Internet and share information, students acquire basic information utilization skills.	For Students in English Program. Lectures are conducted in English. face-to-face
6590102	Data Science	2	2.0	1	SprAB	Tue3,4	Simona Mirela Vasilache	This course teaches students about basic concepts of data science and fundamental techniques for data collection, management and analysis. Students will acquire practical methods for data utilization. Through concrete examples from data science, they will also develop an understanding of how data is used in society.	For Students in English Program. Lectures are conducted in English. face-to-face(partially online)

Course Manager

Requisite
Art

Art

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
4004013	Workshops on Japanese-style Painting	3	1.0	1 - 4	SprAB	Mon4,5	Tomomi Suwa	“Mosha (reproduction),” the embodiment of the saying “to understand the past is to know the present,” is a practical skill that is essential for studying Japanese painting. In this course, you will use materials such as sumi (black ink) and Japanese brushes to study various techniques and methods of mosha, and experience the charm of expression through ink sketching as seen in the “National Treasure - Choju-giga” (Scrolls of Frolicking Animals). In addition, the content of this course will be planned individually according to students’ levels and interests.	Participation is limited to 10 persons. Work Experience faculty face-to-face
4005013	Workshops on Sculpture	3	1.0	1 - 4	FallAB	Thu4,5	Shinji Miyasaka,Hisaaki Ohara	The goal of this course is to produce a statue of head made of clay using a model, it also aims to develop fundamental abilities of expression in three-dimentional format grasped through actual production.	人数制限あり Work Experience faculty face-to-face

Course Manager

Requisite
Undergraduate Program of International Social Studies

Foundation Subjects for Major (Core Electives)

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
BE21041	Academic Writing for Social Sciences I	1	2.0	1, 2	FallAB	Mon5,6	Devena Penelope Haggis	This course is an introduction to the elements of academic writing. Students will cover models and samples of academic writing with the aim of improving their academic writing for course work, research papers and graduation thesis. Students will build a solid foundation for academic writing, by analyzing the different writing communication styles, format, and language accuracy. This a practical course with lots of writing tasks. You will also need to spend time at home to fulfil the course requirements.	Course Semester/Module is subject to change. Course details will be announced through TWINS Bulletin Board. Non-native speakers of English are encouraged to attend this course. Lectures are conducted in English. face-to-face equivalent to "English Writing I" in 2010-2012.
BE21051	Academic Writing for Social Sciences II	1	2.0	1, 2	SprAB	Mon5,6	Devena Penelope Haggis	This course aims to develop the skills needed for academic writing. Academic writing is a different type of English communication that uses accuracy, complex vocabulary, objective writing, and critical thinking for problem solving and the development of an argument. Classes will focus on the writing styles, format, structure, and language necessary to write an academic paper. This course is complementary to BE21041 (Academic Writing for Social Sciences I).	Lectures will be conducted in English. Non-native speakers of English are encouraged to apply. Lecture content may vary slightly from the syllabus depending on the flow of the course/class. Lectures are conducted in English. face-to-face
BE21071	Japanese Learning Support I	1	2.0	1, 2	FallAB	Mon4,5	Takashi Tanaka	This course is designed to support you to acquire Japanese language skills, and also designed to deepen the Students' understanding of the lifestyle and culture of Japan using subjects that are appropriate for the students.	This class is aiming for an equivalent of N3 of the Japanese Language Proficiency Test. The number of students is limited to 25. face-to-face
BE21081	Japanese Learning Support II	1	2.0	1, 2	FallC	Mon4,5 Fri3,4	Takashi Tanaka	This course is designed to support you to acquire Japanese language skills, and also designed to deepen the Students' understanding of the lifestyle and culture of Japan using subjects that are appropriate for the students.	This class is aiming for an equivalent of N2 (N3) of JLPT. The number of students is limited to 25. face-to-face
BE21091	Japanese Learning Support III	1	2.0	1, 2	SprAB	Mon4,5	Takashi Tanaka	This course is designed to support you to acquire Japanese language skills, and also designed to deepen the Students' understanding of the lifestyle and culture of Japan using subjects that are appropriate for the students.	・The number of students is limited to 25.This class is aiming for an equivalent of N3 of the Japanese Language Proficiency Test. face-to-face

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
BE21121	Contemporary World Politics	1	2.0	1, 2	FallAB	Intensive	Anar Koli	This course is an introductory course in politics and political thought of a globalized world. The course begins with fundamental debates in globalization and world politics and moves toward how political science tries to understand and explain such debates and cross-country differences. The course introduces students to fundamental political theories, focusing on domestic and global politics. Bringing together political thought, political philosophy, comparative politics, and international relations, this course presents the overall realities of contemporary global politics. This class offers a different way of teaching global politics. Conventionally, we usually start with a series of issues or various theoretical approaches. Or, sometimes, offer some combination of the two. Here, we are not excluding those approaches. However, we will not prioritize them. Instead, we will begin with questions. In the study of politics and global politics, we come up with a series of questions about how to conceptualize the world, and these questions are placed within it. Sometimes, we are motivated by a desire for change. Many of these questions concern how we live in a world where so many people are brought together in such proximity. Who are 'we' anyway? Are we individuals, first and foremost, or social beings? What forms of identity do we adopt and why? What happens when things go wrong, and we end up with wars, conflicts, or severe economic inequalities? The approach that this class will take questions like these as its starting point. We use them to draw out the concrete historical and geographical locations within which the questions are situated, examine the challenge and complexity of the response, and emphasize the need to think carefully about the broader assumptions or theoretical approaches that underlie the questions we ask as well as the responses we give. Each session thus follows the same structure, with sections examining the question, an example, what responses there might be, and broader issues raised. This class requires your full engagement. Your questions are not just welcomed; they are the driving force of our discussions. Taking your questions seriously fosters engagement, empowers and inspires students, and provides a sound basis for further study.	Course information will be announced later Lectures are conducted in English. G-course face-to-face
BE21131	Introduction to Programming	1	2.0	1, 2	SprAB	Tue1,2	Simona Mirela Vasilache	This course is focused on helping students acquire fundamental programming notions. Some of the topics that will be covered include starting programming from "pen&paper", pseudocode, algorithms, data types, basic control structures etc.	Lectures are conducted in English. G-course face-to-face The number of students is limited to 30.
BE21181	Sociology of Contemporary Japan	1	2.0	1, 2				The aim of this course is to analyze the social and economic changes in Japan, with particular focus on changes in the nature of work in society and its implications in Contemporary Japanese society, including complex issues such as migration, foreign workers, ageing society, job hunting, working poor and inequality.	Limited to 35 students. Open in an odd number year. Identical to BB11871. Lectures are conducted in English. G-course face-to-face Equivalent to "Social Issues in Contemporary Japan (BE21181)"
BE21201	International Economics	1	2.0	2	Annual	by appointment		This course will introduce students to basic international economic theories and their applications to real world data mainly about Japan's international trade and finance. I will emphasize the usefulness of basic international economic theories in understanding international economic issues. This course does NOT require BC51061 Introductory Microeconomics or BC51081 Intro-Intermediate Macroeconomics as a prerequisite. In class, I will explain all necessary background to understand this course.	Limited to students in the School of Social and International Studies. Identical to BC51071. Lectures are conducted in English. Details will be annouced. 2026年度開講未定

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
BE21231	Intro-Intermediate Macroeconomics	1	2.0	2	FallAB	Thu1,2	Hisahiro Naito	This course covers the basic concepts in macroeconomics. Topics include the IS-LM model, aggregate demand, aggregate supply and the Phillips curve, monetary and fiscal policy, rational expectations, real business cycle models, micro foundations, and long-run economic growth.	Identical to BC51081. Lectures are conducted in English. face-to-face Only those who are able to participate in face-to-face classes are eligible.
BE21241	Media Politics	1	2.0	1 - 3	FallAB	Tue5,6	Leslie Tkach Kawasaki	From “traditional” media, such as newspapers and television, to new media formats including websites, blogs and social media channels, in this course, students will examine the intersection between media and politics from historical and theoretical perspectives. Special emphasis is placed on the use of visual images through various media channels, including the internet and social media by political actors. International comparisons are encouraged and expected.	JTP Identical to BC51161. Lectures are conducted in English. face-to-face
BE21371	Introduction to Law	1	2.0	1, 2	SprAB	Mon1,2	Andrea Ortolani	This course is designed to provide students with a comprehensive introduction to law. It presents the character and development of law in historical and anthropological perspective. The course requires the active participation of the students.	The number of students is limited to 25. Lectures are conducted in English. face-to-face
BE21381	Introduction to Political Science	1	2.0	1, 2	FallAB	Fri5,6	Y. Zhai	In this course, we will discuss the major concepts and theories of political science. It covers broad topics in this discipline, including what is politics, state building, government, political regimes, nationalism, globalization, and human rights.	Lectures are conducted in English. face-to-face
BE21391	Introduction to Sociology	1	2.0	1, 2	FallAB	Thu5,6	Edson Ioshiaqui Urano	This course aims to introduce students to basic concepts of Sociology, as well as key authors. It will discuss topics of paramount importance for the understanding of contemporary society, such as globalization, international migration, diversity, family and social inequality.	Bruce, Steve(2018) Sociology: A Very Short Introduction, Oxford University Press. Giddens,A. and Sutton,P.W.(2017) Sociology 8th Edition, Polity. Lectures are conducted in English. face-to-face
BE21511	Academic Discussion Seminar	1	2.0	1, 2	FallAB	Thu3,4	Simona Mirela Vasilache	This course wishes to engage students in active discussions on various contemporary topics, ranging from politics, economics, science to culture, entertainment etc. The students are encouraged to express and defend their opinions openly and actively, as well as propose issues to be discussed.	Lectures are conducted in English. G-course face-to-face interdepartmental course The number of students is limited to 30.
BE21831	Quantitative Methods for Social Sciences	1	2.0	1, 2	FallAB	Fri1,2	Y. Zhai	This course introduces students to basic statistical knowledge and the main methods of quantitative research analysis. Through the practice of using software on a computer, students are equipped with basic quantitative analysis skills.	Lectures are conducted in English. face-to-face The number of students is limited to 20. Due to a limited number of available software licenses, priority will be given to second- and third-year students enrolled in the TISS program.

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
BE21861	Introduction to Economics	1	2.0	1, 2	SprAB	Tue5,6	Abu Girma Moges	The course introduces students to the fundamentals of economics. Introduction to Economics provides foundational skills to understand concepts, theories, and applications in the field of economics. As an entry level course for undergraduate students in the social sciences, the course provides conceptual framework on how economists think about the workings of the market system. The course introduces the concepts of demand and supply, how these forces operate and interact in the market system, explains the competitive process of how the market equilibrium is established, and how market prices are determined to allocate relatively scarce resources. Students also examine the theory of the consumer, the theory of the business firm, the theory of utility function and utility maximization, the theory of the cost minimization and profit maximization, and social welfare issues. Moreover, students will learn about the central concepts and policy issues of macroeconomics such as aggregate output, economic growth, unemployment, inflation, interest rate, exchange rate. By the end of the course, students will be able to appreciate how the economy operates, recognize the decision-making and choice behavior of consumers and business firms, and understand how the market system operates at both microeconomic and macroeconomic levels.	Students who have earned credits of BE21211 or BE21851 are not permitted to take this class. This course is equivalent to "Principles of Economics" (BE21861). Lectures are conducted in English. G-course face-to-face
BE21871	Monetary Economics	1	2.0	3, 4	FallAB	Tue5,6	Abu Girma Moges	This course deals with the monetary theory and policy in the context of modern economies. It addresses the role and definition of money in the economy, the microeconomic and macroeconomic aspects of money, the demand for money, the supply of money and interest rates, monetary policy making and instruments of monetary policy, and central banking at theoretical and practical levels. The course equips students with the skills to understand the operation of modern economies and the main monetary aggregates of an economy over time and across countries and its implications on economic welfare indicators.	Reading materials are uploaded on manaba system. Lectures are conducted in English. G-course face-to-face

Major Subjects (Core Electives)

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
BE22021	Japan and the World	1	2.0	2 - 4	FallAB	Fri3,4	Liang Pan	This course focuses on the history of Japan's domestic politics and foreign relations from the end of the Second World War till the end of 1970s.	Open in an even number year. Identical to BC11961. Lectures are conducted in English. face-to-face

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
BE22031	Japanese Foreign Policy	1	2.0	2 - 4				This course examines the historical background of modern Japan's foreign policymaking from early 1890s till the end of the Second World War (1945). Main emphasis of the lectures will be placed on the interaction between Japanese domestic politics and foreign affairs.	Open in an odd number year. Identical to BC11911. Lectures are conducted in English. face-to-face(partially online)
BE22051	Public Policy	1	2.0	2 - 4	SprAB	Thu4,5	Edson Ioshiaqui Urano	The objective of this course is to provide students with the basic concepts of public policies to enable them to understand, analyze and discuss the various public policies that affect our lives on a daily basis, by focusing mainly in the field of social policies, such as health care systems, income redistribution and labour policies.	Limited to 35 students. Open in an even number year. Identical to BB11881 and BC11461. Lectures are conducted in English. G-course face-to-face
BE22071	International Politics	1	2.0	2 - 4	FallAB	Tue5,6	Takafumi Ohtomo	This course examines various theories and cases to understand the dynamics of international politics.	Identical to BC11121. Lectures are conducted in English. face-to-face
BE22161	Comparative Law I: Legal Traditions and Cultures	1	2.0	2 - 4	FallAB	Wed1,2	Andrea Ortolani	This course provides an overview of the world's major legal traditions. The lessons will present the birth and evolution of the civil law, common law, Islamic law and of other traditions, according to the interest of the participants.	This course is open to all students. A background in law is useful but not required. Lectures are conducted in English. face-to-face
BE22171	Comparative Law II: History and Methods	1	2.0	3, 4	SprAB	Wed1,2	Andrea Ortolani	This course focuses on the development and on modern methodological issues of comparative law. The first lessons present the origins and the history of comparative law. The second part provides an overview of several methodological issues and of comparative methods in law.	This course is recommended to students who attended Comparative Law I: Legal Traditions and Cultures. Lectures are conducted in English. face-to-face
BE22181	Japanese Law I: Introduction to Japanese Law	1	2.0	3, 4	FallAB	Mon3,4	Andrea Ortolani	This course offers an overview of the legal system of Japan, in historical and comparative perspective. The lessons will cover modern legal history, constitutional law, private law, criminal law, family law and other areas.	This course is open to all students. A background in law is useful but not required. Lectures are conducted in English. face-to-face
BE22191	Japanese Law II: The Supreme Court of Japan	1	2.0	3, 4	SprAB	Mon3,4	Andrea Ortolani	This course focuses on the Supreme Court of Japan. The first lessons present its origin, structure and functions. The second part of the course provides an overview of the most important cases decided by the Supreme Court of Japan.	Lectures are conducted in English. face-to-face

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
BE22221	Japanese Economy	1	2.0	2 - 4	Annual	by appointment		The main purpose of this course is to understand basic historical facts about the Japanese Economy. We analyze those facts both empirically and theoretically and relate most Japanese issues to those in the U.S. The goal of this course for Japanese students is to explain to foreign people about the Japanese economy in English, and that for international students is to be more interested in Japan. As a prerequisite, this course requires BC51061 Introductory Microeconomics and BC51071 International Economics, or equivalent.	Identical to BC11881. Lectures are conducted in English. Details will be annouced. 2026年度開講未定
BE22231	Econometrics	1	2.0	2 - 4	Annual	by appointment		This course is an introduction to econometrics. We will begin with the linear regression model and its estimation and inference. Then we will cover linear models with endogeneity, linear panel models, limited dependent variables, and models used in program evaluations. This course prerequires Introductory Statistics.	Identical to BC12061. Lectures are conducted in English. Details will be annouced. 2026年度開講未定
BE22241	Economic History	1	2.0	2 - 4	FallAB	Mon3,4	Hidenao Takahashi	The purpose of this lecture is to examine both the basic discussion of the history of economic development in Europe and the development of the Japanese economy from the 19th century to the present. Please acquire the attitude of examining contemporary characteristics from a historical perspective.	This class will be lectured in English. Identical to BB41541. Lectures are conducted in English. face-to-face
BE22271	International Trade	1	2.0	2 - 4				As the economy becomes more globalized, it is becoming necessary to study the basic mechanism of international trade and its impact on welfare. In this course, we first study the concept of comparative advantage and study why countries will be engaged in international trade. Then, we study the impact on welfare by using several models. (The Ricardian, Heckscher-Ohlin and Specific Factor Model). Then, we study the monopoly model and its implication for international trade theory. In addition, we discuss the impact of international factor movement such as immigration and foreign direct investment.	Open in an odd number year. Identical to BB41601, BC11411, and FH25051. Lectures are conducted in English. face-to-face
BE22292	International Financial Institutions and Economic Development in Southeast Asia	2	2.0	2 - 4				This course will aim at applying the macroeconomic knowledge to analyze the actual economic development and macroeconomic issues in emerging economies in Southeast Asia on the basis of reports by the World Bank and the IMF. The course will focus on COVID-19's economic impacts and policy responses. This course will be conducted in English.	Equivalent to "International Financial Institutions and Economic Development in Emerging Economies in Southeast Asia" (BE22292). Identical to BC12352. Lectures are conducted in English. Not open in 2026. Work Experience faculty face-to-face
BE22302	Financing for Development	2	2.0	2 - 4	SprAB	Thu3,4	Hideaki Suzuki	This course will discuss what modality of finance will be needed for achieving 2030 Sustainable Development Goals (SDGs), based on the understanding that conventional types of development finance such as ODAs will be vastly inadequate for SDGs. The discussion will take up a variety of new financing modalities for development, taking into account ongoing works at global forum such as the World Bank. This course will be conducted in English. Students need to expect heavy workload in terms of reading requirement and class presentation.	Identical to BC12342. Work Experience faculty face-to-face

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
BE22321	Statistics	1	2.0	2	Annual	by appointment		This course is a formal introduction to Statistics. No prior knowledge of probability and statistics is required as all concepts will be developed from the ground up. We will cover a range of topics including descriptive statistics, basics of probability, random variables, distribution and density functions, sampling distributions, point estimation, confidence intervals, and hypothesis testing. If time allows, a preview of the regression analysis will be provided. The details of regression analysis will be covered in Introductory Econometrics, which is a continuation of this course.	2016年度までのBC12031「統計科学」の単位を取得した者は履修不可. Identical to BC51181. Lectures are conducted in English. Details will be annouced. 2026年度開講未定
BE22391	International Human Rights Law	1	2.0	2 - 4	FallC	Tue1,2 Thu3,4	Hajime Akiyama	This course is composed of three parts. Part I “Invitation to International Human Rights Law” covers the basics of humanity, international society and international law. Part II “Basics of International Human Rights Law” discusses the basics of international human rights law such as the Universal Declaration of Human Rights and International Covenants on Human Rights. Part III “Issues” deals with issues in international human rights law such as women, children, refugees and stateless persons. In the third part, students may be required to make an oral presentation depends on the number of students.	This course welcomes native and non-native English speakers of both Undergraduate Program of International Social Studies (TISS) of the School of Social and International Studies and other colleges and programmes. Identical to BB28071. Lectures are conducted in English. face-to-face
BE22401	Transnational Social Policy	1	2.0	2 - 4				Globalization has brought many changes in social life, including increasing flows of financial resources, goods and persons. Among the new challenges these changes pose to governments and civil society is the need to create new social agenda and to develop social policies. The aim of this course is to discuss these challenges for the 21st Century from a transnational perspective.	Biennial Course (offered in odd years) Open in an odd number year. Identical to BB11861 and BC11471. Lectures are conducted in English. G-course face-to-face
BE22451	Social Development	1	2.0	2 - 4	FallAB	Wed1,2	Midori Matsushima	People’s well-being cannot be achieved by economic growth alone, and the important role of social development has became widely recognised in international development practice. This course is offered for students firstly to increase understandings of why and how social development became a main stream of development by learning historical background and development theory. Secondly, we focus on some key concept and practice including human development, capability approach, participatory approach, and social capital. In the latter half of the course, we learn social development in relation to important development topics namely, poverty, human capital, labour and employment, micro finance, social protection, and human rights and human security. With some examples of on-going development programmes, students will discuss significance and applications of social development in practical field, and how we can improve development programmes towards sustainable development.	Open in an even number year. Identical to BC12221. Lectures are conducted in English. face-to-face Course in 2022. Biennial Course (offered in odd years)

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
BE22471	Globalization and Development	1	2.0	2 - 4	SprBC	Intensive	Anar Koli	This course examines the politics of development in the era of globalization, exploring major issues and problems being encountered and confronted by the developing countries in the contemporary period. The aims of the course are: ・To broaden students' knowledge of major development issues and the impact of globalization on developing countries. ・To provide students with a good introduction to globalization theory and to the politics of development. Academic goal: To help promote the TISS Program's objective of developing global citizens who can respond to the needs of a global society.	Course information will be announced later Identical to BC11351. Lectures are conducted in English. G-course face-to-face
BE22501	Linguistic Anthropology	1	2.0	2 - 4	SprAB	Tue1,2	Risako Ide	Linguistic anthropology is a study of how language shapes and is shaped by culture, society, and human interaction. It examines the ways people use language to construct identities, convey cultural norms, and influence power dynamics. We will learn the roles and functions of language in creating universal as well as cultural-specific worldviews, while addressing issues of language death, revitalization, and the impact of globalization on the ways in which we live our lives as linguistic beings.	First period only in Room 3A403 Identical to BC11511. Lectures are conducted in English. face-to-face (former Anthropological Linguistics)
BE22521	International Education	1	2.0	2 - 4				This course invites both overseas and Japanese students. The major purpose of the course is to enable students to learn about issues and current trends in educational studies in international perspectives. It deals with themes, such as development, colonial legacy and global interaction, in education.	Open in an odd number year. Identical to BC12241. Lectures are conducted in English. face-to-face(partially online)
BE22551	Outline of Japanese Education	1	2.0	2 - 4	FallAB	Tue3,4	Masako Shibata	This course is offered to students who are interested in the historical development of Japanese education. The course looks at the processes of the foundation of the Japanese education system and the formation of a modern state in Japan. Special reference is made to the past and present dimensions of patterns of the cross-national transfer of policy for education. Thus international and comparative perspectives are welcome throughout the course.	Open in an even number year. Identical to BC12251. Lectures are conducted in English. face-to-face(partially online)
BE22581	Sociology of Migration	1	2.0	2 - 4	FallAB	Thu3,4	Edson Ioshiaqui Urano	This course aims to analyze international migration focusing on key themes for understanding this social phenomenon. To this end, topics such as gender and migration, transnational communities, migration policies will be addressed through a sociological and multidisciplinary perspective.	Limited to 30 students. Open in an even number year. Lectures are conducted in English. G-course face-to-face Biennial Course (offered in even years)

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
BE22591	Introduction to International Law	1	2.0	1, 2	FallAB	Thu3,4	Ziaeddin Seyed Madani	This course provides a comprehensive introduction to the foundational principles and structures of international law. It explores the sources of international law, including treaties, customary law, and general principles, and examines how states, international organizations, and individuals interact within the international legal framework. Through case studies and discussions, students will gain insights into the legal mechanisms that govern global issues and resolve disputes between states. The course serves as a stepping stone for further study in specialized areas of international law.	Identical to BC16331. Lectures are conducted in English. face-to-face
BE22681	International Environmental Law	1	2.0	1, 2	SprAB	Thu3,4	Ziaeddin Seyed Madani	This course delves into the legal frameworks and principles crafted to address global environmental challenges, including climate change, biodiversity conservation, pollution control, and sustainable development. It examines key treaties, such as the Paris Agreement and the Convention on Biological Diversity (CBD), The UN Agreement on Biodiversity beyond National Jurisdiction (BBNJ Agreement), alongside the role of international institutions and state responsibility in ensuring environmental protection. The course also considers the intersection of environmental law with other key branches of international law such as human rights law, law of the sea, and economic development.	Lectures are conducted in English. face-to-face
BE22691	International Polar Law	1	2.0	1, 2				This course focuses on the unique legal regimes governing the Arctic and the Antarctic. It examines key issues concerning the polar regions such as sovereignty, territorial claims, resource management, environmental conservation, and the rights and stance of the Indigenous peoples. The course also explores the legal frameworks established by treaties and institutions including the Antarctic Treaty System (ATS), the Arctic Council and the binding agreements adopted under its auspices. Moreover, it highlights the role of international cooperation in addressing challenges such as climate change, shipping, and biodiversity in fragile polar ecosystems. The course will touch on crosscutting issues with other branches of international law such as environmental law, law of the sea, human rights law, and water law.	Lectures are conducted in English. Not open in 2026. face-to-face
BE22761	International Humanitarian Law	1	2.0	1, 2	FallAB	Thu5,6	Ziaeddin Seyed Madani	This course offers an in-depth exploration of International Humanitarian Law (IHL), focusing on the legal frameworks designed to protect individuals during armed conflicts. Students will study the core principles of IHL, including the Geneva Conventions, the distinction between combatants and civilians, and the treatment of war crimes. The course will also tackle contemporary issues such as the role of non-state actors, and humanitarian interventions. Through case analyses and discussions, students will develop a critical understanding of the legal dimensions of warfare and conflict resolution. Depending on the number of students, they may require to make oral presentations (individually or within teams).	Identical to BC16341. Lectures are conducted in English. face-to-face

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
BE22771	European Human Rights Law	1	2.0	2 - 4	FallAB	Tue3,4	Tsubasa Shinohara	This lecture will offer a foundational understanding of European human rights law as developed by the Council of Europe (CoE) and the European Court of Human Rights (ECtHR). This lecture focuses on the rights and freedoms guaranteed by the ECtHR.	Lectures are conducted in English. face-to-face(partially online)
BE22781	International Law of the Sea	1	2.0	1, 2	SprAB	Thu5,6	Ziaeddin Seyed Madani	This course provides an in-depth examination of the legal framework governing the world's oceans, with a focus on the 1982 United Nations Convention on the Law of the Sea (UNCLOS) also known as the 'Constitution of the Oceans'. Topics include maritime zones, such as territorial seas, exclusive economic zones (EEZs), and the high seas, as well as navigation rights such as the legal regime of straits used for international navigation, resource exploitation, marine environmental protection, marine scientific research (MSR), and dispute settlement and conflict resolution mechanisms in international law of the sea. Other key relevant international instruments such as the Agreement on Biodiversity beyond National Jurisdiction (BBNJ Agreement) will also be examined. While the course highlights the role of international law in ensuring equitable and sustainable use of ocean resources, it will touch upon crosscutting areas of other branches of international law such as international humanitarian law (IHL), human rights law, environmental law, and water law.	Lectures are conducted in English. face-to-face
BE22791	Political Psychology	1	2.0	2, 3				Political psychology is an interdisciplinary academic field dedicated to understand politics through a lens of psychology. It aims to link individual personality with group dynamics and political process by investigating how contexts affect and shape people's beliefs, motivation, perception, cognition, information processing, and attitude formation.	Lectures are conducted in English. Not open in 2026. face-to-face The number of students is limited to 25.
BE22821	History of Economic Thought	1	2.0	2 - 4	FallAB	Thu5,6	Abu Girma Moges	The course is about the history, philosophy and evolution of economic ideas and thoughts. We review critically the different schools of economic thoughts from the classical to the modern schools to provide students with a comprehensive understanding of the origin, evoultion, arguments, and philosophy of economics and the economists behind such powerful ideas.	Identical to BC16021. Lectures are conducted in English. face-to-face
BE22851	Mathematical Economics	1	2.0	2 - 4	SprAB	Tue1,2	Masako Ikefuji	This course introduces students to the most fundamental analytical tools of mathematics for economics. It provides the necessary skills and training to use mathematical approach in economic analysis. The goal of this course is to give the students skills to apply the mathematical methods to solution of economics problems.	Identical to BB41561 and BC16011.Lectures are conducted in English.Online(Asynchronous) Identical to BB41561 and BC16011. Lectures are conducted in English. Online(Asynchronous)

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
BE22861	Health Economics	1	2.0	2 - 4	SprAB	Thu5,6	Abu Girma Moges	Health Economics is an applied economics course that analyzes issues in health, medical care and health finance. The demand for health and medical care services and the economic behavior of health service providers and the operation of health insurance markets are analyzed with economic tools of analysis and perspectives. The role of the government sector in the provision, regulation and financing of health care services are addressed within the context of health sector policies both in developed and developing countries.	Identical to BC12921. Lectures are conducted in English. face-to-face
BE22871	Contemporary Issues in Developing Countries	1	2.0	2 - 4	FallAB	Fri4,5	Yuko Nakano	The goal of this course is to understand contemporary and important economic and social issues in developing countries. We also analyze statistical data related to the topics.	Identical to BB41401 and BC12121. Lectures are conducted in English. face-to-face
BE22981	Psychology of Family Violence	1	1.0	2 - 4	Sum Vac	Intensive	Chie Maekoya	This course provides students with a basic overview of family violence from victimological and psychosocial perspective. It mainly covers child abuse and spouse abuse. Students will learn how to decrease victims' vulnerability and enhance victims' recovery. Further, we will discuss culture influence on our perception towards family violence issues.	Lectures are conducted in English. face-to-face Same as "G30 Special Lecture VIII (BE22981)" in AY2019 and before.
BE22991	Nationality and Statelessness	1	1.0	2 - 4	FallC	Thu5,6	Hajime Akiyama	This course examines issues related to nationality and statelessness in Japan and the world and discusses the role of nationality in this globalised era.	This course welcomes native and non-native English speakers of both Undergraduate Program of International Social Studies (TISS) of the School of Social and International Studies and other colleges and programmes. Lectures are conducted in English. face-to-face
BE31103	Internship I	3	2.0	2 - 4	Annual	by request	Edson Ioshiaqui Urano	Undertaking internships and gaining experience in workplaces such as companies, research institutes and non-profit organizations is valuable for our students. Students can learn skills that cannot be acquired through their university classes and use these opportunities to objectively evaluate their own abilities and aptitude. Mutual agreements between the workplaces and the School, as well as reports submitted from the participating internship institutions after the completion of internship, are required to obtain credit.	This course is available only for students in International Social Studies. Application is required. Lectures are conducted in English. CDP face-to-face
BE31113	Internship II	3	1.0	2 - 4	Annual	by request	Edson Ioshiaqui Urano	Undertaking internships and gaining experience in workplaces such as companies, research institutes and non-profit organizations is valuable for our students. Students can learn skills that cannot be acquired through their university classes and use these opportunities to objectively evaluate their own abilities and aptitude. Mutual agreements between the workplaces and the School, as well as reports submitted from the participating internship institutions after the completion of internship, are required to obtain credit.	This course is available only for students in International Social Studies. Application is required. Lectures are conducted in English. CDP face-to-face

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
BE31133	Internship III	3	1.0	4	SprAB	by request	Edson Ioshiaqui Urano	Undertaking internships and gaining experience in workplaces such as companies, research institutes and non-profit organizations is valuable for our students. Students can learn skills that cannot be acquired through their university classes and use these opportunities to objectively evaluate their own abilities and aptitude. Mutual agreements between the workplaces and the School, as well as reports submitted from the participating internship institutions after the completion of internship, are required to obtain credit.	This course is available only for students in International Social Studies. Application is required. Lectures are conducted in English. CDP face-to-face

Major Subjects (Required Courses)

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
BE12102	Seminar A	2	1.0	3	FallAB	by request	Each Course Instructor of School of Social and International Studies(other than English Program Instructors),Hajime Akiyama	Seminar under supervision of instructors who are affiliated with School of Social and International Studies, but who are not offering Seminars A1 to A6. Students who register for Seminar A1, A2, A3, A4, A5 or A6 cannot register for Seminar A.	Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12112	Seminar A1	2	1.0	3	FallAB	by request	Andrea Ortolani	Students who register for Seminar A1 cannot register for Seminar A, A2, A3, A4, A5 and A6.	Monday 5,6 (In principle) Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12122	Seminar A2	2	1.0	3	FallAB	by request	Abu Girma Moges	Students who register for Seminar A2 cannot register for Seminar A, A1, A3, A4, A5 and A6.	Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12132	Seminar A3	2	1.0	3	FallAB	by request	Y. Zhai	Students who register for Seminar A3 cannot register for Seminar A, A1, A2, A4, A5 and A6.	Friday 3 period (In principle) Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12142	Seminar A4	2	1.0	3	FallAB	by request	Edson Ioshiaqui Urano	Students who register for Seminar A4 cannot register for Seminar A, A1, A2, A3, A5 and A6.	Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12152	Seminar A5	2	1.0	3	FallAB	by request	Simona Mirela Vasilache	Students who register for Seminar A5 cannot register for Seminar A, A1, A2, A3, A4 and A6.	Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12162	Seminar A6	2	1.0	3	FallAB	by request	Ziaeddin Seyed Madani	Students who register for Seminar A6 cannot register for Seminar A, A1, A2,A3, A4, and A5.	Friday 2 period (In principle) Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12202	Seminar B	2	1.0	3	FallC	by request	Each Course Instructor of School of Social and International Studies(other than English Program Instructors),Hajime Akiyama	Seminar under supervision of instructors who are affiliated with School of Social and International Studies, but who are not offering Seminars B1 to B6. Students who register for Seminar B1, B2, B3, B4, B5 or B6 cannot register for Seminar B.	Lectures are conducted in English. face-to-face

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
BE12212	Seminar B1	2	1.0	3	FallC	by request	Andrea Ortolani	Students who register for Seminar B1 cannot register for Seminar B, B2, B3, B4, B5 and B6.	Monday 5,6 (In principle) Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12222	Seminar B2	2	1.0	3	FallC	by request	Abu Girma Moges	Students who register for Seminar B2 cannot register for Seminar B, B1, B3, B4, B5 and B6.	Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12232	Seminar B3	2	1.0	3	FallC	by request	Y. Zhai	Students who register for Seminar B3 cannot register for Seminar B, B1, B2, B4, B5 and B6	Friday 3 period (In principle) Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12242	Seminar B4	2	1.0	3	FallC	by request	Edson Ioshiaqui Urano	Students who register for Seminar B4 cannot register for Seminar B, B1, B2, B3, B5 and B6.	Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12252	Seminar B5	2	1.0	3	FallC	by request	Simona Mirela Vasilache	Students who register for Seminar B5 cannot register for Seminar B, B1, B2, B3, B4 and B6.	Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12262	Seminar B6	2	1.0	3	FallC	by request	Ziaeddin Seyed Madani	Students who register for Seminar B6 cannot register for Seminar B, B1, B2, B3, B4, and B5.	Friday 2 period (In principle) Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12302	Seminar C	2	1.0	3	SprAB	by request	Each Course Instructor of School of Social and International Studies(other than English Program Instructors),Hajime Akiyama	Seminar under supervision of instructors who are affiliated with School of Social and International Studies, but who are not offering Seminars C1 to C6. Students who register for Seminar C1, C2, C3, C4, C5 or C6 cannot register for Seminar C.	Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12312	Seminar C1	2	1.0	3	SprAB	by request	Andrea Ortolani	Students who register for Seminar C1 cannot register for Seminar C, C2, C3, C4, C5 and C6.	Moday 5,6 (In principle) Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12322	Seminar C2	2	1.0	3	SprAB	by request	Abu Girma Moges	Students who register for Seminar C2 cannot register for Seminar C, C1, C3, C4, C5 and C6.	Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12332	Seminar C3	2	1.0	3	SprAB	by request	Y. Zhai	Students who register for Seminar C3 cannot register for Seminar C, C1, C2, C4, C5 and C6	Friday 3 period (In principle) Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12342	Seminar C4	2	1.0	3	SprAB	by request	Edson Ioshiaqui Urano	Students who register for Seminar C4 cannot register for Seminar C, C1, C2, C3, C5 and C6.	Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12352	Seminar C5	2	1.0	3	SprAB	by request	Simona Mirela Vasilache	Students who register for Seminar C5 cannot register for Seminar C, C1, C2, C3, C4 and C6.	Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12362	Seminar C6	2	1.0	3	SprAB	by request	Ziaeddin Seyed Madani	Students who register for Seminar C6 cannot register for Seminar C, C1, C2, C3, C4, and C5.	Friday 2 period (In principle) Lectures are conducted in English. face-to-face

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
BE12402	Seminar D	2	1.0	4	FallAB	by request	Each Course Instructor of School of Social and International Studies(other than English Program Instructors),Hajime Akiyama	Seminar under supervision of instructors who are affiliated with School of Social and International Studies, but who are not offering Seminars D1 to D6. Students who register for Seminar D1, D2, D3, D4, D5 or D6 cannot register for Seminar D.	Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12412	Seminar D1	2	1.0	4	FallAB	by request	Andrea Ortolani	Students who register for Seminar D1 cannot register for Seminar D, D2, D3, D4, D5 and D6.	Moday 5,6 (In principle) Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12422	Seminar D2	2	1.0	4	FallAB	by request	Abu Girma Moges	Students who register for Seminar D2 cannot register for Seminar D, D1, D3, D4, D5 and D6.	Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12432	Seminar D3	2	1.0	4	FallAB	by request	Y. Zhai	Students who register for Seminar D3 cannot register for Seminar D, D1, D2, D4, D5 and D6	Friday 3 period (In principle) Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12442	Seminar D4	2	1.0	4	FallAB	by request	Edson Ioshiaqui Urano	Students who register for Seminar D4 cannot register for Seminar D, D1, D2, D3, D5 and D6.	Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12452	Seminar D5	2	1.0	4	FallAB	by request	Simona Mirela Vasilache	Students who register for Seminar D5 cannot register for Seminar D, D1, D2, D3, D4 and D6.	Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12462	Seminar D6	2	1.0	4	FallAB	by request	Ziaeddin Seyed Madani	Students who register for Seminar D6 cannot register for Seminar D, D1, D2, D3, D4, and D5.	Friday 2 period (In principle) Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12502	Seminar E	2	1.0	4	FallC	by request	Each Course Instructor of School of Social and International Studies(other than English Program Instructors),Hajime Akiyama	Seminar under supervision of instructors who are affiliated with School of Social and International Studies, but who are not offering Seminars E1 to E6. Students who register for Seminar E1, E2, E3, E4, E5 or E6 cannot register for Seminar E.	Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12512	Seminar E1	2	1.0	4	FallC	by request	Andrea Ortolani	Students who register for Seminar E1 cannot register for Seminar E, E2, E3, E4, E5 and E6.	Moday 5,6 (In principle) Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12522	Seminar E2	2	1.0	4	FallC	by request	Abu Girma Moges	Students who register for Seminar E2 cannot register for Seminar E, E1, E3, E4, E5 and E6.	Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12532	Seminar E3	2	1.0	4	FallC	by request	Y. Zhai	Students who register for Seminar E3 cannot register for Seminar E, E1, E2, E4, E5 and E6	Friday 3 period (In principle) Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12542	Seminar E4	2	1.0	4	FallC	by request	Edson Ioshiaqui Urano	Students who register for Seminar E4 cannot register for Seminar E, E1, E2, E3, E5 and E6.	Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12552	Seminar E5	2	1.0	4	FallC	by request	Simona Mirela Vasilache	Students who register for Seminar E5 cannot register for Seminar E, E1, E2, E3, E4 and E5.	Lectures are conducted in English. face-to-face

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
BE12562	Seminar E6	2	1.0	4	FallC	by request	Ziaeddin Seyed Madani	Students who register for Seminar E6 cannot register for Seminar E, E1, E2, E3, E4, and E5.	Friday 2 period (In principle) Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12602	Seminar F	2	1.0	4	SprAB	by request	Each Course Instructor of School of Social and International Studies(other than English Program Instructors),Hajime Akiyama	Seminar under supervision of instructors who are affiliated with School of Social and International Studies, but who are not offering Seminars F1 to F6. Students who register for Seminar F1, F2, F3, F4, F5 or F6 cannot register for Seminar F.	Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12612	Seminar F1	2	1.0	4	SprAB	by request	Andrea Ortolani	Students who register for Seminar F1 cannot register for Seminar F, F2, F3, F4, F5 and F6.	Moday 5,6 (In principle) Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12622	Seminar F2	2	1.0	4	SprAB	by request	Abu Girma Moges	Students who register for Seminar F2 cannot register for Seminar F, F1, F3, F4, F5 and F6.	Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12632	Seminar F3	2	1.0	4	SprAB	by request	Y. Zhai	Students who register for Seminar F3 cannot register for Seminar F, F1, F2, F4, F5 and F6	Friday 3 period (In principle) Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12642	Seminar F4	2	1.0	4	SprAB	by request	Edson Ioshiaqui Urano	Students who register for Seminar F4 cannot register for Seminar F, F1, F2, F3, F5 and F6.	Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12652	Seminar F5	2	1.0	4	SprAB	by request	Simona Mirela Vasilache	Students who register for Seminar F5 cannot register for Seminar F, F1, F2, F3, F4 and F6.	Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12662	Seminar F6	2	1.0	4	SprAB	by request	Ziaeddin Seyed Madani	Students who register for Seminar F6 cannot register for Seminar F, F1, F2, F3, F4, and F5.	Friday 2 period (In principle) Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12918	Graduation Thesis	8	6.0	3, 4	Annual	by request	Each Course Instructor of International Social Sciences Program & Urano, Moges, Vasilache, Ortolani, Zhai, Madani	Guidance is conducted mainly in English. The course is conducted under the guidance of an advisor and one sub-advisor.	This course is for students who apply for early graduation in 7 semesters. Lectures are conducted in English. face-to-face
BE12928	Graduation Thesis	8	6.0	3	Spring Semester	by request	Each Course Instructor of International Social Sciences Program & Urano, Moges, Vasilache, Ortolani, Zhai, Madani	Guidance is conducted mainly in English. The course is conducted under the guidance of an advisor and one sub-advisor.	This course is for students who apply for early graduation in 6 semesters. Lectures are conducted in English. face-to-face

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
BE12938	Graduation Thesis	8	6.0	4	Spring Semester	by request	Each Course Instructor of International Social Sciences Program & Urano, Moges, Vasilache, Ortolani, Zhai, Madani	Guidance is conducted mainly in English. The course is conducted under the guidance of an advisor and one sub-advisor.	This course is for students who apply for graduation in 8 semesters. Lectures are conducted in English. face-to-face

Course Manager

Requisite

Interdisciplinary Program in Life and Environmental Sciences

School of Life and Environmental Sciences

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
EG02011	Physics	1	1.0	1	FallAB	Thu4	Marcos Antonio das Neves,Mito Kokawa	Introduction to physics for life and environmental sciences. Basic areas of mechanics, thermodynamics, and waves will be covered.	Lectures are conducted in English. face-to-face
EG02021	Mathematics	1	1.0	1	FallAB	Wed2	Ahamed Tofael	Introduction to mathematics for life and environmental sciences covers application of calculus using applied differentiation and integration, logarithmic and exponential functions, first order differential equations, matrix and probability. This course emphasizes to solve problems related to life and environmental sciences using a wide array of mathematical solutions.	Lectures are conducted in English. face-to-face
EG02031	Statistics	1	1.0	2	FallC	Tue2 Fri1	Louis John Irving	Introduction to statistics for life and environmental sciences.	Lectures are conducted in English. face-to-face A part of this lecture is planned as face-to-face. Watch TWINS Bulletin Board and announcements on manaba for schedule of face-to-face classes. The class format and content may be changed due to COVID-19 infection status and other factors.
EG02041	Advanced Mathematics	1	1.0	2	SprAB	Wed2	Ahamed Tofael	In this course, students will have a short review of applied calculus and introduces with the advanced mathematics sections like geometrical meaning of differential equations, solution of ordinary and partial differential equations, numerical analysis and Laplace transformation. These advanced mathematical skills will be invaluable to them to interpret the concepts of modeling of real world problems related to life and environmental sciences.	Lectures are conducted in English. face-to-face
EG02211	Chemistry I	1	1.0	1	FallA	Tue/Fri 6	Seung Won Kang	Introduction to general chemistry for life and environmental sciences.	Lectures are conducted in English. face-to-face
EG02221	Chemistry II	1	1.0	1	FallB	Tue/Fri 6	Seung Won Kang	Introduction to general chemistry for life and environmental sciences.	Lectures are conducted in English. face-to-face
EG02231	Chemistry III	1	1.0	1	FallC	Tue5 Thu6	Seung Won Kang	Introduction to general chemistry for life and environmental sciences.	Lectures are conducted in English. face-to-face

College of Biological Sciences

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
EB50171	Animal Systematics II	1	1.0	2, 3	SprAB	Mon3	Hiroshi Wada	Students will learn the methodology to understand the diversity of multicellular animals from the viewpoint of evolutionary biology. In particular, learn in detail the origin of the metazoans, the evolution of the diploblasts, mollusks, echinoderms, and chordates, and learn how to reconstruct the evolutionary history by comparing modern animals.	See Syllabus or recent information from manaba for detail. Open in an even number year. Lectures are conducted in English. Biodiversity course GloBE Course face-to-face Who has credit of EB50121 or EB50131 is ineligible.
EB50211	Plant Taxonomy I	1	1.0	2, 3	SprAB	Fri2	Ken-ichiro Ishida	Diversity, classification, morphology, ultrastructure, life history and phylogeny of non-green algae – glaucophytes, rhodophytes, cryptophytes, chlorarachniophytes, euglenophytes, dinoflagellates, haptophytes, and stramenopiles.	See Syllabus or recent information from manaba for detail. Lectures are conducted in English. Biodiversity course GloBE Course Expected to attend all I, II, III through a year. face-to-face EG20211 credit holders are ineligible.
EB50221	Plant Taxonomy II	1	1.0	2, 3	FallAB	Fri2	Takeshi Nakayama	Diversity, classification, morphology, ultrastructure, life history and phylogeny of green plants, including chlorophytes and land plants.	See Syllabus or recent information from manaba for detail. Lectures are conducted in English. Biodiversity course Expected to attend all I, II, III through a year. face-to-face EG30221 credit holders are ineligible.
EB59101	Protistology	1	1.0	2 – 4	FallC	Fri2,3	Takeshi Nakayama,hidekazu kuwayama,Akinori Yabuki,Yosuke Degawa,Takashi Shiratori	Topics in protistology. Cellular evolution, cell biology, sex and reproduction, phylogeny and ecology of protists will be the subjects of this lecture.	See Syllabus or recent information from manaba for detail. Lectures are conducted in English. Biodiversity course face-to-face EG39101 credit holders are ineligible.
EB59141	Vertebrate Morphology	1	1.0	2, 3	FallC	Thu4,5	Daichi Suzuki,十織 矢野,Tatsuya Hirasawa	The morphology of various vertebrates is compared and its evolutionary biological background is explained. In particular, the ancestors of vertebrates, fin morphology of teleosts, morphological evolution associated with terrestrialization, and morphological evolution of land vertebrates are explained from a comparative morphological viewpoint.	Biennially conducted in English (odd-number academic years) or Japanese (even-number academic years). Biodiversity course face-to-face

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
EB59151	Vertebrate Evolution	1	1.0	2 - 4	FallA FallB	Mon3	Louis John Irving	This course looks at the major transitions during vertebrate evolution, particularly focussing on the transition between water and land, and the adaptations which facilitated that transition. The diversification of animal life on land, and the subsequent return of some groups to water will be studied. This course will have a strong evolutionary biology focus.	See Syllabus or recent information from manaba for detail. Lectures are conducted in English. Biodiversity course GloBE Course face-to-face EB59131 is ineligible.
EB60014	Programming I	4	1.0	2, 3	FallAB	Thu1	Yukihiko Tokunaga(Toquenaga)	In this lecture, students learn programing techniques for manipulating a variety of data. They will also learn simulation techniques with individual-based models. The programming language used is Ruby.	Lectures are conducted in English. Computational Biology & Bioinformatics Course Online(Synchronous) EG20014 credit holders are ineligible.
EB62011	Genome Biology I	1	1.0	2, 3	SprAB	Tue1	hidekazu kuwayama	Lectures will cover basic knowledge on the structure and function of the genome, as well as technologies for DNA and genome analyses.	Lectures are conducted in English. Computational Biology & Bioinformatics Course GloBE Course face-to-face EG22011 credit holders are ineligible.
EB63111	Molecular Evolution I	1	1.0	2, 3	SprAB	Mon2	Yuji Inagaki	Molecular evolution is a research field that aims to elucidate the evolution of organisms based on information macromolecules such as DNA and proteins. In this lecture, the basic concepts of molecular evolution and the basics of molecular phylogenetic methods will be explained.	履修に際し、適宜、最新 のシラバスやmanaba等の情報を確認してください Lectures are conducted in English. Online(partially face-to-face) Computational Biology & Bioinformatics Course GloBE Course
EB63141	Evolutionary Developmental Biology	1	1.0	2, 3				This course will focus on how molecular evolution of the genome and evolution of the morphology are related. After learned about several kinds of molecular evolutionary processes, students will learn how the genome construct the 3D morphology during embryogenesis. Combining what they learned about molecular evolution and developmental biology, students will learn several topics where the morphological evolution is linked with the molecular evolution of genome.	Open in an odd number year. Lectures are conducted in English. Computational Biology & Bioinformatics Course face-to-face
EB64021	Biometry II	1	1.0	2, 3	FallAB	Fri3	Yukihiko Tokunaga(Toquenaga)	This lecture introduces the dark side of statistics. Starting with randomization techniques, students learn relationships among different domains of statistical ideas: parametric, nonparametric, null hypothesis significance testing, information-theoretic methods, and the Bayesian methods.	Syllabus or recent information from manaba for detail. Lectures are conducted in English. Computational Biology & Bioinformatics Course Online(Synchronous) EG34021 credit holders are ineligible.

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
EB64111	Theoretical Ecology	1	1.0	2, 3	SprAB	Thu1	Yukihiko Tokunaga(Toquenaga)	This course illustrates theoretical aspects of ecology with examples of laboratory experiments to connect mathematical expressions with ecological phenomena in nature.	Syllabus or recent information from manaba for detail. Lectures are conducted in English. Computational Biology & Bioinformatics Course Online(Synchronous) EG34111 credit holders are ineligible.
EB71031	Cell Biology III	1	1.0	2, 3	FallAB	Thu3	Tomoki Chiba	Proteins are in a dynamic state, which is regulated by protein synthesis and degradation pathways. Each protein is degraded in a degree of selectivity, and its regulation is essential for the cell homeostasis and viability. In this class, we will learn the latest findings on the molecular mechanism of selective protein degradation and its physiological importance.	See Syllabus or recent information from manaba for detail. Lectures are conducted in English. Molecular and Cellular Biology Course GloBE Course face-to-face EB71131 or EG35131 credit holders are ineligible.
EB72121	Developmental Biology II	1	1.0	2, 3	FallAB	Tue3	Ryusuke Niwa, Satoru Kobayashi, Shunsuke Yaguchi, Yasunori Sasakura, naoki okamoto, Yuya Sanaki, Toshiyuki Harumoto	A goal of this course is to understand several important topics about animal developmental biology. Lectures in this course particularly focus on sex determination, gametogenesis, metamorphosis, axis specification, neural development, and diseases.	Watch TWINS Bulletin Board and announcements on manaba for shedule of face-to-face classes. Lectures are conducted in English. face-to-face(partially online) Molecular and Cellular Biology Course Human Biology course GloBE Course
EB72911	Marine Biology I	1	1.0	2, 3	SprAB	Wed3	Hiroaki Nakano, Benjamin Paul Harvey	This course provides an integrated introduction to marine biology, from the historical foundations of the discipline to the diversity of marine organisms and the ecological processes that structure marine ecosystems. Students will learn how physical and chemical ocean environments shape marine life, how organisms adapt to different habitats and lifestyles, and how key ecosystem functions such as primary production, respiration, and biomineralisation support ocean productivity and global biogeochemical cycles. The course concludes with major contemporary human impacts, including climate change, ocean acidification, pollution, overfishing, and biological invasions.	Lectures are conducted in English. Online(partially face-to-face) Molecular and Cellular Biology Course GloBE Course EG22911 credit holders are ineligible.

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
EB72921	Marine Biology II	1	1.0	2, 3	FallAB	Wed3	Shunsuke Yaguchi,Yasunori Sasakura,Hiroaki Nakano,Benjamin Paul Harvey,Osamu Kagawa	Lecture will provide several topics on marine organisms, including fertilization, cilia and flagella, gene-manupulation, development, self-non-self recognition, evolution, animal behavior, population ecology and marine environment. The teaching staff of Shimoda Marine Research Center will tell you about recent progress of their own research.	See Syllabus or recent information from manaba for detail. Lectures are conducted in English. Online(partially face-to-face) Molecular and Cellular Biology Course EG32921 credit holders are ineligible.
EB74111	Plant Physiology I	1	1.0	2, 3	SprAB	Fri1	Kenji Miura,Louis John Irving,Jun Furukawa	In this lecture, the relationship between various physiological phenomena and the environmental factors in the life history of higher plant will be overviewed for the understanding from the viewpoint at whole plant to cell levels with adding the latest molecular biological findings.	Lectures are conducted in English. Molecular and Cellular Biology Course GloBE Course face-to-face EG24111 credit holders are ineligible.
EB74131	Plant Physiology II	1	1.0	2, 3	FallAB	Fri1	Takuya Suzaki	This lecture introduces several important topics for your further understanding of plant physiology, which includes recent advances in the research of vegetative and reproductive development, environmental responses, and symbiosis with microorganisms in higher plants.	See Syllabus or recent information from manaba for detail. Plant Physiology II (EB74131) Language is Japanese in odd-numbered years and English in even-numbered years. Molecular and Cellular Biology Course face-to-face
EB74211	Metabolic and Physiological Chemistry I	1	1.0	2, 3	SprC	Intensive	Iwane Suzuki	The main topics for this course will be photosynthetic energy conversion, primary and secondary carbon metabolism including C3, C4 and CAM metabolisms, photorespiration, and mitochondrial respiration.	See Syllabus or recent information from manaba for detail. Lectures are conducted in English. 7/10-7/12 Molecular and Cellular Biology Course GloBE Course face-to-face EG24211 credit holders are ineligible.
EB82131	Chemical Ecology	1	1.0	2, 3	FallAB	Fri4	Tomoyuki Yokoi,Shigeru Matsuyama,Keiko Yamaji,Natsuko Kinoshita,Kazumu Kuramitsu	This lecture introduces chemical aspects of relationships between individual insects, animals, plants and microorganisms of the same (pheromone) or different (allelochemicals) species.	Lectures are conducted in English. Applied Biology course face-to-face EB82131 credit holders are ineligible.

College of Agro-Biological Resource Sciences

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
EG40012	Agro-Biological Resource Science, Exercises	2	1.0	1, 2	Sum Vac	Intensive	Beiwen Ying	In this course, students improve understanding of future study by exercise and investigation of academic discipline and agenda in agrobiological resource sciences, and presentation of the results.	For English Program Students of the College of Agro-Biological Resource Sciences. Limited to students enrolled since 2020 (excepts students transferred in 2020). Lectures are conducted in English. face-to-face
EG41012	Research Seminar I	2	1.5	4	SprABC	by request	Chair and others	Topics in agro-biological resource sciences will be discussed with laboratory members and supervisor.	For students who start a graduation research from Spring Semester. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG41022	Research Seminar II	2	1.5	4	FallABC	by request	Chair and others	Topics in agro-biological resource sciences will be discussed with laboratory members and supervisor.	For students who passed EG41012 or EG41032. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG41032	Research Seminar I	2	1.5	4	FallABC	by request	Chair and others	Topics in agro-biological resource sciences will be discussed with laboratory members and supervisor.	For Students who start a graduation research from Fall Semester. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG41042	Research Seminar II	2	1.5	4	SprABC	by request	Chair and others	Topics in agro-biological resource sciences will be discussed with laboratory members and supervisor.	For students who passed EG41012 or EG41032. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG41052	Research Seminar I	2	2.0	4	SprABC	by request	Chair and others	Topics in agro-biological resource sciences will be discussed with laboratory members and supervisor.	For students who start the graduation research from Spring Semester. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG41062	Research Seminar II	2	2.0	4	FallABC	by request	Chair and others	Topics in agro-biological resource sciences will be discussed with laboratory members and supervisor.	For students who passed EG41052 or EG41072. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG41072	Research Seminar I	2	2.0	4	FallABC	by request	Chair and others	Topics in agro-biological resource sciences will be discussed with laboratory members and supervisor.	For students who start a graduation research from Fall Semester. Lectures are conducted in English. face-to-face

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
EG41078	Graduation Research I	8	3.0	4	SprABC	by request	Chair and others	Each student engages in research work in laboratory on specific theme under supervisor.	For students who start the graduation research from Spring Semester. Required a special permission by the Dean of the college of Agro-Biological Resource Sciences. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG41082	Research Seminar II	2	2.0	4	SprABC	by request	Chair and others	Topics in agro-biological resource sciences will be discussed with laboratory members and supervisor.	For students who passed EG41052 or EG41072. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG41088	Graduation Research II	8	3.0	4	FallABC	by request	Chair and others	Each student engages in research work in laboratory on specific theme under supervisor.	For students who passed EG41098 or EG41078. Required a special permission by the Dean of the college of Agro-Biological Resource Sciences. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG41098	Graduation Research I	8	3.0	4	FallABC	by request	Chair and others	Each student engages in research work in laboratory on specific theme under supervisor.	For Students who start the graduation research from Fall Semester. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG41108	Graduation Research II	8	3.0	4	SprABC	by request	Chair and others	Each student engages in research work in laboratory on specific theme under supervisor.	For students who passed EG41098 or EG41078. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG41118	Graduation Research I	8	5.0	4	FallABC	by request	Chair and others	Each student engages in research work in laboratory on specific theme under supervisor.	For students who start the graduation research from Fall Semester. Required a special permission by the Chair of the college of Agro-Biological Resource Sciences. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG41128	Graduation Research II	8	5.0	4	FallABC	by request	Chair and others	Each student engages in research work in laboratory on specific theme under supervisor.	For students who passed EG41118 or EG41138. Required a special permission by the Chair of the college of Agro-Biological Resource Sciences. Lectures are conducted in English. face-to-face

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
EG41138	Graduation Research I	8	5.0	4	SprABC	by request	Chair and others	Each student engages in research work in laboratory on specific theme under supervisor.	For students who start the graduation research from Fall Semester. Required a special permission by the Chair of the college of Agro-Biological Resource Sciences. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG41148	Graduation Research II	8	5.0	4	SprABC	by request	Chair and others	Each student engages in research work in laboratory on specific theme under supervisor.	For students who passed EG41118 or EG41138. Required a special permission by the Chair of the college of Agro-Biological Resource Sciences. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG50011	World Food and Agriculture	1	1.0	1	SprAB	Mon2	Seung Won Kang	This course introduces crop plants, domestic animals and their production in the world, in relation to economic and environmental issues.	Lectures are conducted in English. face-to-face
EG50041	Biochemistry	1	2.0	2, 3	SprAB	Thu4,5	Keiji Kimura,Miyako Kusano,Norio Takeshita,Hiromi Yanagisawa	Advanced biochemistry covers a wide area including molecular cell biology, molecular genetics, biotechnology, metabolism, and relates all current biological sciences. In this year, experts of three major classes of the organisms (microorganisms, plants, animals) give lectures from the professional points of view. This course provides an introduction to biochemistry for the undergraduates who are able to learn basic to applied knowledge of life and environmental sciences.	Lectures are conducted in English. Online(Asynchronous)
EG50061	Vegetation Ecology	1	1.0	2, 3	FallC	Intensive	Kiyokazu Kawada,Yoshiaki Tsuda,Takashi Kamijo	Vegetation is a basic component that characterizes land areas and needs to be properly understood in order to realize sustainable use of biological resources. The purpose of this lecture is to understand the basics of vegetation and to understand the sustainable use of vegetation. The lecture will cover not only Japanese vegetation but also vegetation throughout the world such as tropical forests and deserts.	Lectures are conducted in English. face-to-face
EG50163	Fundamental Chemistry Laboratory	3	1.0	2	FallAB	Fri4-6	Kosumi Yamada,Hideyuki Shigemori,Kazuyoshi Ogawa,Akiko Nakagawa-Izumi,Nakao Nomura,Yingnan Yang,Yoko Nagumo,Shunsuke Masuo,Yusaku Miyamae,Syunichi Urayama	Chemical substances are existed around and within us everyday and everywhere. We will provide the students inorganic, physicochemical, and organic chemical property of them through the experiments. The students should be able to 1) separate, isolate, and identify chemical substances, 2) learn physicochemical property of them by analytical equipment, 3) know how to use labware and analytical equipment	Date and venue for orientation of G30: TBA; Number of G30 students are limited to 12. Identical to EC12163. face-to-face

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
EG50193	Fundamental Biology Laboratory	3	1.0	2	FallBC	Fri4-6	Satoko Nonaka, Shinya Takahashi, Junichi P. Abe, Yutaka Yawata, Hiroaki Daitoku, Hidehiko Hirakawa, Norio Takeshita, Shigeru Matsuyama	生物学の各分野から、生物資源学類に必要な観察・実験の項目を選んで実施し、生命現象の基本について理解させる。	Class enrollment onto TWINS should be done by the end of September. Identical to EC12173. face-to-face
EG60012	Current Topics in Plant Biology	2	1.0	2, 3	FallC	Mon3,4	Natsuko Kinoshita	This class will focus on current developments in plant biology by focusing on current, groundbreaking research shaping the field. Topics will differ each year. Topics may include herbivory stress, abiotic stress, chemical ecology, plant communication, bio imaging, synthetic biology, and precision agriculture. Students will read as well as lead discussions about current literature. Novel experimental techniques used to answer central questions will be emphasized. There will be a final project where students present a topic of personal interest related to the literature covered in the class. This course is recommended for students considering graduate work or independent study in related fields. The class will be taught in Japanese and English in alternate years.	Same as EC31012 The class will be taught in Japanese and English in alternate years. Open in even number years. Open in an even number year. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG60022	Seminar in Biosystems Engineering and Technology	2	3.0	3, 4	FallABC	Mon2,3	Ahamed Tofael, Yutaka Kitamura, Marcos Antonio das Neves	生物資源の利活用における技術や工学の体系すなわちBiosystems Engineeringに関する専門的かつ最新の研究や知見を,論文の概要作成やプレゼンテーションなどの演習を通じて学習する。	授業の多くを京都大学・国立台湾大学との共同・オンライン(英語)により行う。 EC33682を修得済みの者は履修できない。 Identical to EC33692. Lectures are conducted in English. distance learning face-to-face
EG60023	International Training of Agriculture III	3	2.0	1 - 3	Annual	by appointment	Nakao Nomura, Chair and others	Field study program in European countries under 3 objectives; 1) To learn overview on agriculture and related industries 2) To discuss current issues related agriculture through seminars with local students 3) Field survey of the agricultural sites in the local areas	(インターンシップ)国外。 Identical to EC41133. Lectures are conducted in English. CDP face-to-face
EG60033	International Training of Agriculture IV	3	2.0	1 - 3				Field study program in North America under 3 objectives; 1) To learn overview on agriculture and related industries 2) To discuss current issues related agriculture through seminars with local students 3) Field survey of the agricultural sites in the local areas	(インターンシップ)国外。 Open in an odd number year. Identical to EC41143. CDP face-to-face
EG60043	Agricultural Internship Abroad V	3	2.0	1 - 3	Annual	by appointment	Kiyokazu Kawada, Chair and others	乾燥地域の協定校および企業等において、講義・体験実習・野外調査を通じて当該国における農業の特色及び地域性などを学び、さらに現地の学生・教員・企業者との交流を通じて国際的な視野に立ったキャリア意識を育成する。	(インターンシップ)国外。 Open in an even number year. Identical to EC41153. Lectures are conducted in English. face-to-face

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
EG60053	Agricultural Internship Abroad VI	3	2.0	1 - 3	Annual	by appointment	Junichi P. Abe,Ning Wang,Chair and others	In our partner universities and companies in ASEAN countries and mainly Taiwan, through lectures, practical trainings, and field surveys, students will learn about the characteristics and regional aspects of agriculture in each of these countries. Additionally, through interactions with local students, teachers of our partner university and businesspeople, they will cultivate a career awareness with an international perspective.	(インターンシップ)国外。 Identical to EC41163. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG60063	International Training of Agriculture I	3	2.0	1 - 3	Annual	by appointment	Nakao Nomura,Chair and others	Field study program in foreign countries under 3 objectives; 1) To learn overview on agriculture and related industries 2) To discuss current issues related agriculture through seminars with local students 3) Field survey of the agricultural sites in the local areas	(インターンシップ) 国外。生物資源学類生優先 Identical to EC41013. Lectures are conducted in English. CDP face-to-face
EG60071	Food Functionality	1	1.0	3, 4	FallC	Tue5,6	Hiroko Isoda,Farhana Ferdousi,Shinya Takahashi	Lectures will cover the topics in advanced food functionality including anti cancer, anti allergy, anti stress, anti obesity, neuronal regulation, melanogenesis regulation and the bioavailability of functional food factors.	Same as EC31391 Lectures are conducted in English. face-to-face
EG60101	Soil Science	1	2.0	3, 4	FallC	Intensive	Maki Asano	Fundamental ascpects of soils with regard to their genesis, physicochemical properties, management and the related environmental issues will be lectured, and the discussion on some selected topics will be treated as more advanced understanding of present status of soils in the changing world.	Same as EC32161 Open in an even number year. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG60121	Food Process Engineering	1	1.0	3, 4	SprAB	Wed3	Marcos Antonio das Neves,Mito Kokawa	This course introduces basic principles of fluid flow, heat transfer, and mass transfer phenomena, along with the application of these principles to the unit operations most commonly used in food processing, such as thermal processing, cooling, freezing, centrifugation, filtration, drying, size reduction and emulsification.	Same as EC42021 Lectures are conducted in English. face-to-face
EG60161	Environmental Colloid Engineering	1	1.0	3, 4	SprC	Tue5,6	Motoyoshi Kobayashi,Lester Canque Geonzon	Applications of colloid and interface science to environmental issue and its basis are given. Focus will be placed on the floccuation which is important to control soil and water quality. Current topics related to microbiology and ecosystem will be lectured.	Identical to EC33361. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG60191	Biomass Conversion	1	2.0	3, 4	SprC	Intensive	Yingnan Yang	This course is designed to help you develop and understanding of the complex processes of biomass conversion. Lectures and discussions will focus on biomass sources, biomass conversion technology and process.	Limited to English Program students. Open in odd number year. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG60232	Seminar in Applied Biological Chemistry	2	2.0	3, 4				The purpose of the course is to introduce and discuss the applied life sciences related to biochemistry of plant molecules, molecular and developmental biology, biology for gene regulations, ecological molecular microbiology, biomimetic chemistry, bioreaction engineering.	Open in an odd number year. Lectures are conducted in English. face-to-face Not open in 2025

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
EG60252	Seminar in Agricultural Economics and Sociology	2	2.0	3, 4	Annual	by appointment	Hisato Shuto	This course aims to introduce the present issues of agricultural and forestry economics, and discuss the roles of rural society, farm management and forestry planning.	Students who are supervised by faculties in the Course of Agriculture and Forestry Social Sciences are eligible to enroll. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG60272	Seminar in Quantitative Food Economics	2	2.0	2, 3	FallC	Mon3-6	Hisato Shuto	Exercises in estimation of food production and consumption based on economic theories, and discussions are performed to analyze the factors controlling supply and demand of foods.	Lectures are conducted in English. face-to-face
EG60361	Introductory Microbiology	1	1.0	2, 3	FallC	Thu3,4	Andrew S Utada	This course will introduce students to microbiology starting with a historical perspective of their discovery, moving into diversity and classifications of microorganisms. We will discuss bacterial anatomy, growth, metabolism, isolation and culture of environmental organisms and screening. We will explore how microorganisms have been used and are currently used industrially, their role in global element cycles, and bio-remediation. Finally, we will address the central dogma, bacterial genetics and gene regulation, and select topics towards the end of course.	Lectures are conducted in English. face-to-face unless otherwise indicated.
EG60401	Economics of Resource and Environment	1	2.0	3, 4	SprAB	Thu3,4	Hisato Shuto	Lectures will cover the topics in agricultural economy and resouce and environment including forest.	Open in an even number year. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG60411	Biomaterial Science	1	1.0	3, 4	FallAB	Tue2	Akiko Nakagawa-Izumi,Eiichi Obataya	Plant-derived biomaterials are overviewed, and then, the physical and chemical properties of wood, the most abundant biomaterial, are introduced.	Lectures are conducted in English. face-to-face
EG60421	Soil and Water Bio-Engineering	1	1.0	3	SprC	Intensive	Tian Yuan,Yasuhisa Adachi	The course will focus on discussing the science,technology and engineering for achieving sustainable soil and water systems. We will also cover several important,emerging topics related to bio-engineering for sustainable soil and water management.	Lectures are conducted in English. face-to-face
EG60491	Elementary Applied Thermodynamics	1	1.0	2, 3	SprAB	Mon4	Andrew S Utada	Thermodynamics is one of the most fundamental subjects with direct implications for biology and the environmental sciences. Through these lectures, we will explore elementary thermodynamics from the perspective of how these ideas can be applied in the life and environmental sciences. Lectures will begin from the concept of equilibrium systems with an example of Brownian motion. Later, we will delve into the first and the second laws of thermodynamics addressing the concept of Gibbs free energy and chemical potential. Many examples will be cited from colloid and interface science. This course will prove useful for those interested in environmental colloid science, biophysics and bioengineering, and applied microbiology.	Lectures are conducted in English. face-to-face unless otherwise indicated.

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
EG60551	Water Resources Management Engineering	1	1.0	3, 4	SprC	Tue1,2	Atsushi Ishii	This lecture aims to provide a fundamental understandings of water resources by giving introductory hydraulics and hydrology, natures of river flow, water use in various sectors with a special focus on irrigation, water resources development and management, hydrologic statistics, as well as institutional system for water.	Students are graduating on 31 Aug. have to contact an instructor. Lectures are conducted in English. face-to-face interdepartmental course
EG60561	Water Environmental Management Technology	1	1.0	3	SprC	by appointment	Nakao Nomura	Lecture covers ecological technologies to restore water environments in enclosed water bodies with deteriorated sediment and water quality. Lecture also covers a case study of Lake Kasumigaura Water Renovation Project where several research studies was performed to rehabilitate water environment in large scale.	横断領域科目「環境」. 特別聴講学生(CiCプロジェクト参加学生を含む)のみ履修可. Cross-disciplinary subjects 「Environment」.Limited to Exchange Student (Tokubetsu Chokogakusei) including CiC Project. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG60571	Introduction to Industrial Ecology	1	1.0	3	SprAB	Tue2	Helmut Friedrich Yabar Mostacero	One of the biggest challenges societies face is decoupling economic growth from environmental pressure within the limits of the earth's carrying capacity. The highly inefficient use of natural resources from extraction to final disposal produces wastes and releases to air, water and soil. This course introduces the mechanisms and tools necessary to overcome this challenge through Industrial Ecology (IE). IE focuses on promoting industrial activities similar to processes in nature. This is achieved by optimizing energy and material resource use while minimizing and/or avoiding waste and pollution release. The course outlines the tools to achieve this goal including resource use optimization through the 3R Initiative, Life Cycle Assessment, and Material Flow Analysis. The course will also address the technical and management aspects including Environmental Management Systems, Cleaner Production and Design for Environment. At the end of the course the student will develop analytical skills and learn the tools necessary to design and implement solutions to the current production and consumption patterns.	Lectures are conducted in English. face-to-face
EG60611	International Agricultural and Forestry Policies I	1	1.0	2, 3	Sum Vac	Intensive	Hisato Shuto	Lectures will cover the topics in policies for agriculture, food, forestry, and environmental management related to agriculture and forestry in the world.	English Program Students who had received credits from EG60201 are not allowed. Open in an even number year. Identical to EC34281. Lectures are conducted in English. Work Experience faculty face-to-face

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
EG60621	International Agricultural and Forestry Policies II	1	1.0	2, 3				Lectures will cover the topics in policies for agriculture, food, forestry, and environmental management related to agriculture and forestry in the world.	English Program Students who had received credits from EG60201 are not allowed. Open in an odd number year. Identical to EC34381. Lectures are conducted in English. Work Experience faculty face-to-face
EG60661	Renewable Energy and Bioresource Recycling Technologies	1	2.0	3	FallAB	Fri3,4	Marcos Antonio das Neves,Zhongfang Lei,Tian Yuan,Yutaka Kitamura	As a part of advanced use for biological resources, we will explain the conversion and utilization technology of biomass to energy and materials. We will also overview the latest technologies and diffusion trends on renewable energy and consider constructing a resource recycling society utilizing renewable energy.	国立台湾大学とのジョイント講義(一部遠隔授業)。EC33281、EC33041 を修得済みの者は履修できない。 Identical to EC33651. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG60663	Fundamental Environmental Engineering Laboratory	3	1.0	2	SprAB	Fri5,6	Akiko Nakagawa-Izumi,Motoo Utsumi,Motoyoshi Kobayashi,Zhongfang Lei,Takuya Sugimoto,Tian Yuan,Mito Kokawa,Eiichi Obataya,Lester Canque Geonzon	This course aims to provide basic concepts of environmental engineering necessary to analyze various phenomena present in environments, biomass, or bioresources.	生物資源学類生に限る(受入上限数30名)。EC23113、EC23113、EC23123を修得済みの者は履修できない。 Identical to EC23133. face-to-face
EG60671	Food Safety Control and Quality Evaluation	1	2.0	3	FallAB	Wed5,6	Mito Kokawa,Yutaka Kitamura,Marcos Antonio das Neves,Motoo Utsumi	農産物や食品の物理・生化学的特性,健康機能性および加工流通のためのポストハーベスト・食品加工の技術を学習する。また食品の安全安心のための基礎知識やマネージメントシステム,関係法令や認証制度についても解説する。	国立台湾大学とのジョイント講義(一部遠隔授業)。(コース共通) 環境工学コース　社会経済学コース Identical to EC35091. face-to-face
EG60681	Contemporary Concepts of Inheritance	1	1.0	3, 4	FallAB	Thu2	Diana Mihaela Buzas	More than a century after Darwin and Mendel, and half a century after the discovery of DNA, the idea that biology is dominated by genes is being challenged. Instead, what is experienced within a generation (“the environment”) could also affect what is carried the next generation, as predicted early on by Lamarck. To create an outlook of the current ideology around inheritance, this course introduces the molecules and operating principles in genetic and epigenetic inheritance while looking at the methodological strategies leading to their discovery (especially role of model systems). The phenomena exemplified will expose a variety of aspects, from technologies currently penetrating into the society (PCR, CRISP CAS9 etc), issues of high interest (human evolution and disease, genetically modified crops etc) all the way to hypothetical views on new areas where epigenetic inheritance plays a role (especially human culture)and ethics.	Students in any departemnt (even outside biology) can take the course. Limited to 30 students. Lectures are conducted in English. face-to-face

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
EG60691	Systems Biotechnology	1	1.0	3	SprC	Tue3,4	Beiwen Ying,Andrew S Utada,Norio Takeshita	Learn the principles, techniques and applications for quantitatively understanding the behavior of (micro)organisms. Understand the integration of knowledge across disciplines, including biology, engineering, information science, and mathematical statistics.	Lecture is conducted in both Japanese and English. Identical to EC32201. face-to-face
EG60701	Bioprocess Engineering	1	1.0	3	SprAB	Fri3	Nakao Nomura	This lecture will explain the important points when using processes that utilize biological functions such as cultured cells and enzymes in process development, as well as future directions, using developed processes as examples. Existing processes to be introduced include production processes of pharmaceutical proteins using cultured animal cells, development of hybrid artificial organs, water quality purification of enclosed water bodies, pathogen management in high-density aquaculture, and biomass fuel production processes.	EC32071, EC32111, EG60581, EG6111 credits holders are ineligible. Identical to EC32221. Lectures are conducted in English. G-course face-to-face
EG60706	Laboratory & Exercise in Environmental Colloid Engineering	6	1.0	2 - 4	FallB	Thu4-6	Motoyoshi Kobayashi,Takuya Sugimoto,Lester Canque Geonzon	Students learn the fundamental and applications of colloidal and environmental engineering through experiments and excercise.	It is desirable for participants to take "Environmental Colloid Engineering" beforehand or later. Identical to EC33706. Lectures are conducted in English. face-to-face

College of Geoscience

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
EG70013	Laboratory Work in Basic Geoscience	3	1.0	1	SprAB	Thu4,5	Quang Van Doan,Shigehiro Fujino,Umam Rofiqul,Kohei Tanaka,Keisuke Matsui,Akio Yamashita,Kei Ikehata,Atsushi Kyono,Masanori Kurosawa,Teruyuki Maruoka,Atsushi Ikeda	In this experiment, students learn basic methods and techniques for studying the geosciences through practical training in a variety of fields.	英語で授業。 一部オンラインで実施する可能性がある。 Lectures are conducted in English. face-to-face
EG70021	Introduction to Geoenvironmental Science	1	1.0	1	FallAB	Fri1	Tsuyoshi Hattanji,Hiroyuki Kusaka,Masaaki Kureha,Hiroaki Kato,Takehiro Morimoto,Hiroaki Ueda,Umam Rofiqul	Earth's environment is the main topic of this lecture. Emphasis is on the geoscientific aspects and features in the atmosphere, hydrosphere, topography, and human society among others are discussed.	英語で授業。 Face-to-face Lectures are conducted in English. face-to-face

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
EG70031	Introduction to Earth Evolution Science	1	1.5	1	FallABC	Tue1	Atsushi Kyono,Kohtaro Ujiie,Yuji Yagi,Ryo Okuwaki,Yoshihito Kamata,Toshiaki Tsunogae,Shigehiro Fujino,Teruyuki Maruoka,Kohei Tanaka,Sachiko Agematsu	This lecture introduces 4.6 billion years evolution of the earth, mainly focusing on the evolution of solid earth, and the birth and evolution of life.	Lectures are conducted in English. face-to-face This class is taught by several teachers. This class may be switched from face-to-face to online depending on the spread of infection and immigration status.
EG90211	Natural Hazards	1	1.0	2, 3				This lecture overviews various natural hazards and their triggers, reviews historical and recent hazards and explores future prediction and mitigation against possible hazards.	「地球環境学A」、「地球環境学B」、または「地球進化学A」、「地球進化学B」を履修していること。内容については英語のシラバス参照。 西暦奇数年度開講。 英語で授業。 Open in an odd number year. Lectures are conducted in English. Not open in 2026. face-to-face G-course
EG90313	Internship Program in Geoscience	3	1.0	2 - 4	Annual	by appointment	Hiroaki Kato,Sachiko Agematsu	Students have the opportunity to evaluate their own abilities and aptitudes through experiences at companies, research institutes, non-profit organizations, etc. The conditions for receiving credit include an agreement between the company and the school before the internship begins and a report from the company after the internship is completed. Students should register for the internship program after receiving informal consent from the company.	For Geoscience English program students. Students, who attended EG90303, are not permitted. Lectures are conducted in English. Work Experience faculty face-to-face CDP It is mandatory to enroll in Course B of the JEES personal accident insurance for students pursuing education and research.
EG91011	Lecture on Geographical Information Systems	1	1.0	2, 3	FallC	Thu1,2	Takehiro Morimoto,Akio Yamashita,Jun Tsutsumi	This course introduces fundamentals of Geographical Information Systems and its application to geography.	Open in an even number year. Lectures are conducted in English. face-to-face

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
EG91081	Environmental Hydrology	1	1.0	2, 3				Basics on the hydrologic cycle are introduced. In addition, hydrologic aspects on environmental problems and ecology are discussed.	Prerequisite: Introduction to Geoenvironmental Science (or permission by the instructor). Priority for degree students of the School of Life and Environmental Sciences. Students who attended EG91091 are not permitted.西暦奇数年度開講。 Open in an even number year. Lectures are conducted in English. Not open in 2026. face-to-face 英語で授業
EG91101	Meteorology and Climatology	1	1.5	2, 3	SprABC	Wed1	Quang Van Doan,Yoichi Kamae	Elementary course about the general circulation of the atomosphere and the energy budget, mechanism of climate and and climate change, weather forecasting and precipitation, interactions of the atmospheric environment and human activities.	Offered in even number years. Students, who attended EG91031, are not permitted. Open in an even number year. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG91141	Human and Regional Geography	1	1.5	2, 3	FallABC	Thu4	Kenichi Matsui,Keisuke Matsui,Tomoko Kubo	This course introduces subjects and fundamentals of the human and regional geography by presenting actual examples of Japan and other regions of the world. Following the introduction of basic concepts of human geography, features of various regions will be explained from viewpoints of rural, urban, commercial, political, religious, recreational and ethic geographies.	Students, who attended EG80011, are not permitted. Lectures are conducted in English. face-to-face(partially online)
EG91161	Process Geomorphology	1	1.0	2, 3				This lecture focuses on physical processes that create and maintain landforms. Tectonic, glacial, fluvial and coastal processes, and weathering as well as mass movements are mainly discussed.	Offered in odd number years. Prerequisite: Both of "Introduction to Geoenvironmental Science" and "Introduction to Earth Evolution Science". Open in an odd number year. Lectures are conducted in English. face-to-face(partially online)
EG91171	Basic Analysis of Environmental Dynamics	1	1.5	2, 3	SprABC	Tue5	Bunkei Matsushita,大輔津旨,Yuichi Onda,Hiroaki Kato,Junko Takahashi,Yasunori Igarashi	This lecture provides basic knowledge for analyzing environmental dynamics. In addition, the present state of environmental problems and its analysis methods are discussed.	Offered in even number years. Open in an even number year. Lectures are conducted in English. face-to-face

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
EG91191	Landslides	1	1.0	2, 3	FallAB	Fri1	Thomas Parkner	This lecture covers the basics of landslides in geomorphic systems including (in)stability concepts and process types. Remote sensing techniques for landslide assessment are also introduced.	Offered in even number years. Open in an even number year. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG91203	Field Work in Geoenvironmental Science I	3	1.5	2, 3				The goal of this course is to provide experience and background in a variety of field methods used by researchers in geoenvironmental sciences. The course will focus on hands-on field techniques for data gathering (observation, measurement, and others), mapping, and data analysis.	Offered in 2025. This course is offered every 3 years. Prerequisite: EG70013, EG70021 and EG91081. Permission by teachers. Lecture is conducted in English. 7/12, 7/13, 7/19, 7/20.face-to-face Open every 2 years since 2025. Lectures are conducted in English. Not open in 2026. face-to-face
EG91213	Field Work in Geoenvironmental Science II	3	1.5	2, 3				The goal of this course is to provide experience and background in a variety of field methods used by researchers in geoenvironmental sciences. The course will focus on hands-on field techniques for data gathering (observation, measurement, and others), mapping, and data analysis.	Offered in 2025. This course is offered every 3 years. Permission by teachers. Lecture are conducted in English. Limited undergraduate students who have earned credits of Introduction to Geoenvironmental Science, Introduction to Earth Evolution Science, Laboratory Work in Basic Geoscience. Open every 3 years since 2026. Lectures are conducted in English. Not open in 2026. face-to-face
EG91223	Field Work in Geoenvironmental Science III	3	1.5	2, 3	Annual	Intensive	Tomoko Kubo,Takehiro Morimoto	The goal of this course is to provide experience and background in a variety of field methods used by researchers in geoenvironmental sciences. The course will focus on hands-on field techniques for data gathering (observation, measurement, and others), mapping, and data analysis.	Offered in 2026. This course is offered every 3 years. Permission by teachers. Open every 3 years since 2026. Lectures are conducted in English. face-to-face

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
EG91233	Field Work in Geoenvironmental Science IV	3	1.5	2, 3	Annual	Intensive	Thomas Parkner		Offered in 2026. This course is offered every 3 years. Prerequisite: EG91161 Process Geomorphology and EG91191 Landslides. Priority for degree students of the School of Life and Environmental Sciences. Others by permission of the instructor. Limited to several students. Open every 2 years since 2026. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG91243	Field Work in Geoenvironmental Science V	3	1.5	2, 3				The goal of this course is to provide experience and background in a variety of field methods used by researchers in geoenvironmental sciences. The course will focus on hands-on field techniques for data gathering (observation, measurement, and others), mapping, and data analysis.	Offered in 2027. This course is offered every 3 years. Prerequisite: Human and Regional Geography. Permission by teachers. Lectures are conducted both in English and Japanese. Open every 2 years since 2024. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG91253	Field Work in Geoenvironmental Science VI	3	1.5	2, 3				The goal of this course is to provide experience and background in a variety of field methods used by researchers in geoenvironmental sciences. The course will focus on hands-on field techniques for data gathering (observation, measurement, and others), mapping, and data analysis.	Offered in 2027. This course is offered every 3 years. Permission by teachers. Open every 2 years since 2024. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG92011	Mineralogy and Petrology	1	1.0	2, 3	FallAB	Wed3	Toshiaki Tsunogae, Masanori Kurosawa	This lecture provides basic knowledge for various minerals and rocks in the earth's surface and interior. Main purposes are to learn classification, basic principles and processes of the formations of the minerals and rocks (mainly igneous and metamorphic rocks) in the earth.	Open in an even number year. Lectures are conducted in English. face-to-face Classes may be switched from face-to-face to online depending on the spread of infection and immigration status.
EG92021	Inorganic Geochemistry	1	1.0	2, 3				This course aims to introduce students to the chemical feature of our planet and basic principles for geochemistry and mineral chemistry.	Open in an odd number year. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG92031	Stratigraphy and Paleontology	1	1.0	2, 3	FallAB	Tue2	Kohei Tanaka, Yoshihito Kamata, Shigehiro Fujino	This lecture provides basic knowledge for sedimentology and paleontology and historical geology. Main purposes are to learn interrelationship between life and environment of geological time.	Open in an even number year. Lectures are conducted in English. face-to-face

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
EG92041	Applied Structural Geology	1	1.0	2, 3				Structural geology and seismology with emphasis on its application side is the main topics of this lecture.	Open in an odd number year. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG92093	Field Work in Earth Evolution Science E	3	1.5	2, 3	Annual	Intensive	Sachiko Agematsu,Kohei Tanaka	In this field course students acquire basic field methods on geological science such as field description and mapping in a particular area.	The professor in charge, schedule, and place of the excursion will be announced as soon as they are decided. Prerequisite: Introduction to Geoenvironmental Science, Introduction to Earth Evolution Science, Laboratory Work in Basic Geoscience. Or permission by teachers. Open every 3 years since 2026. Lectures are conducted in English. face-to-face Including field survey
EG92103	Field Work in Earth Evolution Science F	3	1.5	2, 3				In this field course students acquire basic field methods on geological science such as field description and mapping in a particular area.	The professor in charge, schedule, and place of the excursion will be announced as soon as they are decided. Prerequisite: Introduction to Geoenvironmental Science, Introduction to Earth Evolution Science, Laboratory Work in Basic Geoscience. Or permission by teachers. Open every 3 years since 2023. Lectures are conducted in English. face-to-face Including field survey
EG90121	Topics on Earth Evolution Science B	1	1.0	2 - 4				This course introduces knowledge and recent developments on specific topic(s) in Earth Evolution Science.	Scheduled to be offered in 2027. Open every 3 years since 2023. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG90131	Topics on Geoenvironmental Science A	1	1.0	2 - 4	Annual	Intensive		This course introduces knowledge and recent developments on specific topic(s) in Geoenvironmental Science.	Offered in 2026. Open every 3 years since 2026. Lectures are conducted in English. face-to-face

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
EG90141	Topics on Geoenvironmental Science B	1	1.0	2 - 4				This course introduces knowledge and recent developments on specific topic(s) in Geoenvironmental Science.	Offered in 2028. Open every 3 years since 2024. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG90151	Topics on Geoscience A	1	1.0	3, 4	SprB	Intensive	Thomas Parkner	Students get in contact with the scientific community by attending the Japan Geoscience Union Meeting 2026 (5/24-29).	For Geoscience English program students only. This course is held hydrid (on-site and online). Lecture is conducted in English. Lectures are conducted in English. face-to-face(partially online)
EG90171	Topics on Geoscience C	1	1.0	2 - 4				This course introduces knowledge and recent developments on specific topic(s) in Geoscience.	Scheduled to be offered in 2027. Priority for Geoscience English program students. Students other than English program by permission of instructor. Up to 20 students. Open every 3 years since 2023. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG90181	Topics on Geoscience D	1	1.0	2 - 4	Annual	Intensive	Masaaki Kureha, Jun Tsutsumi, Akio Yamashita	This course introduces knowledge and recent developments on specific topic(s) in Geoscience.	Scheduled to be offered in 2026. Priority for Geoscience English program students. Students other than English program by permission of instructor. Up to 20 students.2022年度より3年おきに開講。 英語で授業。 Open every 3 years since 2026. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG90191	Topics on Geoscience E	1	1.0	2 - 4				This course introduces knowledge and recent developments on specific topic(s) in Geoscience.	Scheduled to be offered in 2028. Priority for Geoscience English program students. Students other than English program by permission of instructor. Up to 20 students. Open every 3 years since 2024. Lectures are conducted in English. face-to-face

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
EG90303	Internship Program in Geoscience	3	2.0	2 - 4	Annual	by appointment	Hiroaki Kato,Sachiko Agematsu	Students have the opportunity to evaluate their own abilities and aptitudes through experiences at companies, research institutes, non-profit organizations, etc. The conditions for receiving credit include an agreement between the company and the school before the internship begins and a report from the company after the internship is completed. Students should register for the internship program after receiving informal consent from the company.	For Geoscience English program students. Lectures are conducted in English. face-to-face CDP
EG92053	Field Work in Earth Evolution Science A	3	2.0	2, 3	FallC, Spr Vac	Intensive	Yoshihito Kamata	This class is a joint field excursion with students from Chulalongkorn University in Thailand. You observe strata and rocks on the continental block and compare them with Japanese rocks typical of subduction zones.	Open in an even number year. Lectures are conducted in English. face-to-face
EG71002	Seminar on Geoscience A	2	1.5	3	SprC	by appointment	Thomas Parkner	This class provides an overview on all laboratories of the College of Geoscience. Topics on all geoscience desciplines are discussed with members of each laboratory. Students identify 1-2 laboratories of their main interest.	For Geoscience English program students who start their Seminar on Geoscience in spring. Lectures are conducted in English. face-to-face 英語で授業
EG71012	Seminar on Geoscience B	2	1.5	3	FallABC	by appointment	Thomas Parkner	This intensive course is designed to expose undergraduate students in geoscience to two laboratory settings in order to help them choose one laboratory for their graduation research project.	For Geoscience English program students who started their Seminar on Geoscience A in spring. Lectures are conducted in English. face-to-face 英語で授業
EG71022	Seminar on Geoscience A	2	1.5	3	FallC	by appointment	Thomas Parkner	This class provides an overview on all laboratories of the College of Geoscience. Topics on all geoscience desciplines are discussed with members of each laboratory. Students identify 1-2 laboratories of their main interest.	For Geoscience English program students who start their Seminar on Geoscience in fall. Lectures are conducted in English. face-to-face 英語で授業
EG71032	Seminar on Geoscience B	2	1.5	3	SprABC	by appointment	Thomas Parkner	This intensive course is designed to expose undergraduate students in geoscience to two laboratory settings in order to help them choose one laboratory for their graduation research project.	For Geoscience English program students who started their Seminar on Geoscience A in fall. Lectures are conducted in English. face-to-face 英語で授業
EG71102	Research Seminar A	2	1.5	4	SprABC	by appointment	Thomas Parkner,Dean and others	This seminar is the first semester of a two-semester series focusing on developing research skills in undergraduate geoscience students. Students will work on presenting a research proposal and delivering a midterm presentation to showcase their proposed research project. A key component of the course is peer learning, where students will engage in collaborative discussions and provide feedback to one another.	For Geoscience English program students who start their Research Seminar in spring. Lectures are conducted in English. face-to-face 英語で授業

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
EG71112	Research Seminar B	2	1.5	4	FallABC	by appointment	Thomas Parkner,Dean and others	This seminar is the second semester of a two-semester series focusing on developing research skills in undergraduate geoscience students. Students will work on presenting their final laboratory presentation and a test presentation for the graduation presentation to showcase their proposed research project. A key component of the course is peer learning, where students will engage in collaborative discussions and provide feedback to one another.	For Geoscience English program students. Prerequisite: Research Seminar A. Lectures are conducted in English. face-to-face 英語で授業
EG71122	Research Seminar A	2	1.5	4	FallABC	by appointment	Thomas Parkner,Dean and others	This seminar is the first semester of a two-semester series focusing on developing research skills in undergraduate geoscience students. Students will work on presenting a research proposal and delivering a midterm presentation to showcase their proposed research project. A key component of the course is peer learning, where students will engage in collaborative discussions and provide feedback to one another.	For Geoscience English program students who start their Research Seminar in fall. Lectures are conducted in English. face-to-face 英語で授業
EG71152	Research Seminar B	2	1.5	4	SprAB	by appointment	Thomas Parkner,Dean and others	This seminar is the second semester of a two-semester series focusing on developing research skills in undergraduate geoscience students. Students will work on presenting their final laboratory presentation and a test presentation for the graduation presentation to showcase their proposed research project. A key component of the course is peer learning, where students will engage in collaborative discussions and provide feedback to one another.	For Geoscience English program students. Prerequisite: Research Seminar A. Lectures are conducted in English. face-to-face 英語で授業
EG79018	Graduation Research A	8	3.0	4	SprABC	by appointment	地球学類長	Students undertake research in a laboratory where they become familiar with the most advanced research environments and practices.	For Geoscience English program students who entered by 2020 and start their graduation research in spring. Lectures are conducted in English. face-to-face 英語で授業
EG79038	Graduation Research A	8	3.0	4	FallABC	by appointment	地球学類長	Students undertake research in a laboratory where they become familiar with the most advanced research environments and practices.	For Geoscience English program students who entered by 2020 and start their graduation research in fall. Lectures are conducted in English. face-to-face 英語で授業
EG79068	Graduation Research B	8	3.0	4	SprAB	by appointment	Thomas Parkner,Dean and others	This second semester course is a continuation of the graduation research program, focusing on the implementation, data collection, analysis, and interpretation phases of the student's research project. Students will work closely with their research advisor to conduct their research, troubleshoot challenges, and finalize their research project. The course aims to provide students with hands-on experience in geoscience research and prepare them for successful completion of their graduation project.	Prerequisite: Graduation Research A. Lectures are conducted in English. face-to-face 英語で授業

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
EG79118	Graduation Research A	8	6.0	4	SprABC	by appointment	Thomas Parkner,Dean and others	This course is the first part of a two-semester intensive program designed to guide undergraduate students in geoscience through the process of developing and proposing their graduation research project. Students will engage in literature reviews, preliminary data collection, methodological planning, and proposal writing under the guidance of research advisors. The course aims to equip students with the necessary skills and knowledge to establish a solid foundation for their graduation research in geoscience.	For Geoscience English program students who start their graduation research in spring. Lectures are conducted in English. face-to-face 英語で授業
EG79128	Graduation Research B	8	6.0	4	FallABC	by appointment	Thomas Parkner,Dean and others	This second semester course is a continuation of the geoscience graduation research program, focusing on the implementation, data collection, analysis, and interpretation phases of the student's research project. Students will work closely with research advisors to conduct their research and troubleshoot challenges. The course aims to provide students with hands-on experience in geoscience research and prepare them for successful completion of their graduation project.	For Geoscience English program students. Prerequisite: Graduation Research A. Lectures are conducted in English. face-to-face 英語で授業
EG79138	Graduation Research A	8	6.0	4	FallABC	by appointment	Thomas Parkner,Dean and others	This course is the first part of a two-semester intensive program designed to guide undergraduate students in geoscience through the process of developing and proposing their graduation research project. Students will engage in literature reviews, preliminary data collection, methodological planning, and proposal writing under the guidance of research advisors. The course aims to equip students with the necessary skills and knowledge to establish a solid foundation for their graduation research in geoscience.	For Geoscience English program students who start their graduation research in fall. Lectures are conducted in English. face-to-face 英語で授業
EG79168	Graduation Research B	8	6.0	4	SprAB	by appointment	Thomas Parkner,Dean and others	This second semester course is a continuation of the geoscience graduation research program, focusing on the implementation, data collection, analysis, and interpretation phases of the student's research project. Students will work closely with research advisors to conduct their research and troubleshoot challenges. The course aims to provide students with hands-on experience in geoscience research and prepare them for successful completion of their graduation project.	For Geoscience English program students. Prerequisite: Graduation Research A. Lectures are conducted in English. face-to-face 英語で授業
EG79178	Paper Preparation	8	7.0	4	SprABC	by appointment	Thomas Parkner,Dean and others	This course focuses on the final stages of completing an undergraduate thesis in geoscience guided by the academic advisors. Students will learn essential skills in organizing, structuring, and composing their research findings into a coherent and comprehensive thesis document. Topics covered include thesis formatting, citation styles, editing, revising, and preparing for the thesis presentation at the field-wide graduation presentation meeting.	For Geoscience English program students. Take with Graduation Research B. Lectures are conducted in English. face-to-face 英語で授業
EG79188	Paper Preparation	8	7.0	4	FallABC	by appointment	Thomas Parkner,Dean and others	This course focuses on the final stages of completing an undergraduate thesis in geoscience guided by the academic advisors. Students will learn essential skills in organizing, structuring, and composing their research findings into a coherent and comprehensive thesis document. Topics covered include thesis formatting, citation styles, editing, revising, and preparing for the thesis presentation at the field-wide graduation presentation meeting.	For Geoscience English program students. Take with Graduation Research B. Lectures are conducted in English. face-to-face 英語で授業

Course Manager

Requisite
Bachelor's Program in Interdisciplinary Engineering

Foundation Subjects for Major(Required)

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
FJ20004	Linear Algebra I	4	3.0	1	FallABC	Wed4,5	Xiao-Min Tong	This course introduces the basic ideas of vector, matrix and their operations and how to solve linear equations using matrices and vectors. The primary goal of this course is to understand the systems of linear equations, classifications of matrices and their applications. Although most of the problems can be solved without Mathematica, you are encouraged to solve the homework using the software once you know how to solve the problems. The course is a prerequisite for "Linear Algebra II"	Lectures are conducted in English. face-to-face(partially online) Online(Synchronous), and the recorded materials are available to the students who cannot attend the class synchronously.
FJ20014	Linear Algebra II	4	3.0	1	SprABC	Wed4,5	Sonia Sharmin	Following "Linear Algebra I"', "Linear Algebra II" will also concentrate on the basics of linear algebra. Emphasis will be given to topics that will be useful in other disciplines, such as determinants, eigenvalues, positive definite matrices, Fourier series and the Fast Fourier Transform. Some homework problems may require you to use a program such as MATLAB or Mathematica, an important tool for numerical linear algebra. No previous programming experience is required.	Lectures are conducted in English. face-to-face(partially online) (i.e. Face-to-Face+Online (Asynchronous))
FJ20124	Introduction to Single-Variable Calculus I	4	2.0	1	FallA	Tue1,2 Thu5,6	Toshihiro Kameda	This course along with the subsequent courses "Introduction to Single-Variable Calculus II" and "Advanced Calculus" introduces the basic tools of calculus and develops their technical competence. The primary goal of this course is to understand the concepts and to build up a working ability of various mathematical manipulations such as derivatives and integrals. This is efficiently achieved by visualization, numerical and graphical experimentations and, thus, students are required to be acquainted with Mathematica (or similar ones) during the course for working exercises and homework problems. The present course provides a basic core and practical knowledge required for many courses in both natural and social sciences.	Lectures are conducted in English. face-to-face face-to-face, Synchronous and Asynchronous, Take-home exam
FJ20134	Introduction to Single-Variable Calculus II	4	2.0	1	FallBC	Tue1,2	Junhao Wang	This course along with "Introduction to Single- Variable Calculus I" and "Advanced Calculus" introduces the basic tools of calculus and develops their technical competence. The primary goal of this course is to understand the concepts and to build up a working ability of various mathematical manipulations such as parametric equations, polar coordinates, infinite sequences and series. This is efficiently achieved by visualization, numerical and graphical experimentations and students are required to be acquainted with Mathematica (or similar ones) during the course for working exercises and homework problems. The present course provides a basic core and practical knowledge required for many courses in both natural and social sciences.	Lectures are conducted in English. face-to-face interdepartmental course face-to-face, Synchronous and Asynchronous, Take-home exam
FJ20144	Advanced Calculus	4	4.0	1	SprA SprABC	Tue5,6 Thu4,5	Nobuyuki Sano	Following "Introduction to Single-Variable Calculus I & II," this course introduces the basic tools of calculus and develops their technical competence, namely, differential equations, infinite series, vector calculus, curvilinear coordinate systems, and partial derivatives, etc. This is achieved by visualization, numerical and graphical experimentations and, thus, students are required to be acquainted with Mathematica (or similar ones) during the course as working exercises and homework problems. This course as well as "Introduction to Single-Variable Calculus I & II" provides a core and practical knowledge required for many courses in both natural and social sciences.	Lectures are conducted in English. face-to-face face-to-face

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
FJ20201	Probability and Statistics	1	2.0	1	FallAB FallC	Thu2 Thu1,2	Monirul Muhammad Islam	This course introduces basics of probability theory and statistics. This course will be mainly oriented to interpret physical problems in engineering and natural sciences through application of probability theory and statistics. Evaluation will be done through class quiz, homework on regular basis, and final examinations.	Lectures are conducted in English. face-to-face interdepartmental course face-to-face, Online(Asynchronous) and Online(Synchronous)
FJ22004	Electromagnetism I	4	3.0	2	FallABC	Wed2,3	Shoji Yoshida	This course introduces the classical theory of electromagnetism at an undergraduate level. It begins with the fundamental laws and relations governing electrostatic force, electric field and electric potential. These quantities are calculated based on a given system of charges or a given charge distribution. The course also continues with work and energy in electrostatics, electric fields in matter (the concepts of polarization and linear dielectrics), as well as electric fields due to polarized objects.	Lectures are conducted in English. face-to-face(partially online) face to face and some meetings online. recording the face-to-face classes, in case there are any students who are unable to be physically present.
FJ22014	Electromagnetism II	4	3.0	2	SprABC	Tue2 Wed1	Hiroaki Suzuki	This lecture starts from magnetostatics and compares with those properties of electrostatics. The electromagnetic induction is then revealed from the time-dependent variation of electric or magnetic field. All the principles of electric and magnetic fields are summarized in Maxwell's equations. Electromagnetic (EM) waves are finally presented to discuss the EM properties of dielectrics and metals.	Lectures are conducted in English. face-to-face Only for IDE students
FJ25101	Electrical Circuit	1	2.0	2	FallAB	Tue5,6	Triet Van Nguyen	A lecture is given on basic knowledge and analysis methods of electrical and electronic circuits, including linear passive elements, sinusoidal alternating current and complex number, impedance and admittance, resonant circuits, mutual induction circuits, bridge circuits, filters, general circuit theorems, and AC power.	英語で授業 Lectures are conducted in English. face-to-face
FJ26004	Mechanics I	4	2.0	1	FallBC	Mon5,6	Mayuko Nishio	Primary goals of Mechanics I is to develop students' ability to (i) analyze problems in a simple and logical manner and (ii) apply basic principles to find their solutions. This course reviews such fundamental concepts as coordinate, time, mass, force and energy for a particle. The students are required to solve exercises and work on homework assignments.	Lectures are conducted in English. face-to-face
FJ26014	Mechanics II	4	2.0	1	SprAB	Fri5,6	Koji Dairaku	Following "Mechanics I", "Mechanics II" will just concentrate on the basics of mechanics. Emphasis will be given to topics that will be useful in other disciplines, such as systems of particles, kinematics and plane motion of rigid bodies and principles about analytical vector mechanics.	Lectures are conducted in English. face-to-face
FJ26104	Thermodynamics I	4	2.0	2	FallAB	Tue3,4	Biao Shen	Thermodynamics is one of the essential physics to discuss energy conservation for engineer in various fields. The aim of this lecture is to master the basics of the first and second laws of thermodynamics. The specific goal is to be able to appropriately express the first law of thermodynamics for the system, to be able to discuss changes in entropy based on the second law of thermodynamics, and to combine these basic matters. The heat efficiency of the heat engine can be derived.	英語で授業 Lectures are conducted in English. face-to-face

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
FJ26114	Thermodynamics II	4	1.0	2	SprAB	Fri4	Akiko Kaneko	Thermodynamics is one of the essential physics to discuss energy conservation for engineers in various fields. Based on the first and second laws of thermodynamics learned in "Thermodynamics I", we learn free energy and chemical potential as new state quantities, and advanced matters of thermodynamics such as Maxwell relations and phase changes. The aim is to be able to understand these matters based on the major principles of the first law and the second law, and to cultivate the ability to reconstruct the learned matters from a new perspective by using them as tools.	英語で授業 Lectures are conducted in English. face-to-face
FJ27004	Programming I	4	2.0	1	SprAB	Fri1,2	Takehito Utsuro,Kiyoshi Hoshino,Junichi Hoshino,Taku Hachisu	This course, introduction to programming, is focused on the first steps in C language. Topics that will be covered include fundamentals of programming languages applicable to general engineering systems. They include C-Language (fundamental operations, standard input-output functions), control statements (branching and jumps, if-statement, looping, while- and for-statements), fundamental data types, basics of making and using functions, storage classes and functions, arrays, character strings, and multidimensional array.	英語で授業 Lectures are conducted in English. Online(Asynchronous) Only for IDE students
FJ27014	Programming II	4	1.0	1	SprC	Fri1,2	Itaru Kitahara,Taku Hachisu	[Objective] Develop the ability to process information well using computers. [Overview] Learn the basics of programming in C-language. [Topics] Memory space (scoping), Memory address (pointer variable), Function, File I/O, Structure, Linked list, Sorting.	英語で授業 Lectures are conducted in English. Online(Asynchronous) Only for IDE students
FJ27024	Programming III	4	2.0	2	FallAB	Fri1,2	Yuki Hashimoto,Modar Hassan	Introduction to algorithm, data structure and computational complexity; Writing C program; Programming techniques	Lectures are conducted in English. Online(Asynchronous) Only for IDE students face-to-face and Online(Asynchronous)
FJ27034	Programming IV	4	1.0	2	FallC	Thu1,2	Yoshinari Kameda	After Programming I - III, Learn C programming skill by coding basic computer graphics programs.	Lectures are conducted in English. face-to-face Only for IDE students Details will be announced on manaba.
FJ28003	Fundamental Labs I	3	2.0	2	FallABC	Mon3-5	Tomoyuki Yamaguchi,Yasushi Nakauchi,Hiroshi Yabuno,Junichi Hoshino,Takeshi Shibuya,Tsuyoshi Takatani,Yuki Hashimoto,Akira Uehara	Fundamental labs for the basics of Engineering Systems. The labs consist of 6 themes. Each theme will be concluded in 2 weeks (2 weeks x 6 thems = 12 weeks). The 6 thems are as follows: 1. System control engineering basic students' labs, 2. Basics of linear systems using operational amplifiers, 3. Diodes and transistors, 4. Basics of logic circuits and computers, 5. DC motor manufacturing and control, and 6. Mechanisms and mechanical elements.	face-to-face Only for IDE students Lecture is conducted in English and by face-to-face. Only for IDE students.

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
FJ28013	Fundamental Labs II	3	2.0	2	SprABC	Mon3-5	Yuzou Ohno, Tetsuya Makimura, Takanori Isobe, Haruhiro Oigawa, Daiichiro Sekiba, Hiroshi Yamagishi	Fundamental labs for the basics of Engineering Sciences Topics will include logic circuits, electronic circuits, electric conduction, radiation measurement, and light.	Lectures are conducted in English. face-to-face Only for IDE students

Major Subjects(Required)

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
FJ10001	Complex Analysis	1	3.0	2	FallABC	Tue1, 2	Yuanzhao Yao	This course introduces theories for functions of a complex variable. Students will acquire skill to use complex derivatives function, to have knowledge about integration in the complex plane, use of Cauchy integral theorem, power series, to evaluate complicated real integrals via residue calculus, etc.	Lectures are conducted in English. face-to-face
FJ10101	Applied Mathematics	1	3.0	2	SprABC	Tue3, 4	Monirul Muhammad Islam	Applied mathematics will focus on the applications of mathematics in the field of engineering and physics. Students in this course will acquire problem-solving skills using applied knowledge in mathematics in vector analysis, complex variables, group theory, partial differential equation, Fourier series, Fourie and Laplace transforms.	Lectures are conducted in English. face-to-face
FJ11001	Engineering Ethics	1	1.0	4	FallAB	Wed1	Hideki Kakeya	This course discusses historical examples and up-to-date issues related to engineering ethics. In the first half of the course, we mainly deal with preparedness, mitigation, and response for catastrophic disasters such as earthquakes and tsunami from an engineering point of view. In the second half, we mainly deal with genetic engineering technologies that can cause worldwide pandemic, such as gain-of-function research that artificially enhances transmissibility and pathogenicity of pathogens like bacteria and viruses.	Lectures are conducted in English. face-to-face
FJ11101	Introduction to Interdisciplinary Engineering I	1	1.0	1	FallAB	Tue5	Biao Shen, Takashi Matsushima, Kyosuke Yamamoto, Taro Tezuka, Akihiro Matsuda, Hisashi Date, Toshihiro Kameda, Akiko Kaneko, Satoshi Takewaka, Jun Izawa	This course discusses issues relevant to Engineering Systems and aims to help students grasp general concepts involved in this field of study.	Lectures are conducted in English. face-to-face(partially online)
FJ11111	Introduction to Interdisciplinary Engineering II	1	1.0	1	SprAB	Tue1	Kentaro Shiraki	This course discusses issues relevant to Engineering Sciences and aims to help students grasp general concepts involved in this field of study.	英語で授業 Lectures are conducted in English. face-to-face interdepartmental course
FJ12001	Modern Physics	1	3.0	2	SprABC	Thu1, 2	Selvakumar Sellaiyan	The course will focus about overview of modern physics aiming at Engineering students. Students in this course will have introductory concept about wave-particle properties of electromagnetic radiation, quantum mechanics, properties of atom, molecular structure, statistical physics, and solid state physics.	英語で授業 Lectures are conducted in English. face-to-face

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
FJ15001	System Modeling	1	2.0	2	SprAB	Fri5,6	Triet Van Nguyen	This course introduces fundamental concepts and techniques in building linear, time-invariant, state-space models of typical engineering systems, including translational and rotational mechanical systems, electrical and electronic circuits, thermal systems, fluid systems, and transductors. Analogies are drawn among these systems in different energy domains based on such concept as the across and the through variables, as well as their energy storages and dissipaters. Response characteristics of standard first and second-order systems are explained, as a prelude to control system designs.	英語で授業 Lectures are conducted in English. face-to-face
FJ15101	Electronic Circuits	1	2.0	2	SprAB	Wed3,4	Yuka Maeda,Modar Hassan	Following “Electrical Circuits”, this course introduces the fundamentals of electronic circuits, their components, and their analysis. Topics covered are: circuit abstraction method, two terminal elements, Kirchhoff laws, circuit analysis methods, digital abstraction, MOSFET switch, MOSFET amplifier, energy storage elements, operational amplifiers circuit and analysis, and diodes and semiconductors.	英語で授業 Lectures are conducted in English. face-to-face
FJ18003	Advanced Labs I	3	2.0	3	FallABC	Mon3-5	Kiyoto Matsuishi,Miwako Takahashi,Takeaki Sakurai,Takashi Suemasu,Ryu Hasunuma,Hiromasa Goto,Monirul Muhammad Islam	We conduct basic experiments on important topics in Engineering Sciences [i) X-ray diffraction, ii) Electrical conductivity and Hall effect of semiconductors, iii) Fabrication and electrical characterization of MOS capacitorsand, iv) Optoelectronics, and v) Polymerization of styrene]. Through this course, the techniques necessary for research in Engneering Sciences will be given.	英語で授業 Lectures are conducted in English. face-to-face Only for IDE students
FJ18013	Advanced Labs II	3	2.0	3	SprABC	Tue3-5	Hiroaki Yano,Naoki Shirakawa,Hajime Nobuhara,Akiko Kaneko,Tetsuya Kanagawa,Mayuko Nishio,Naoki Morita,Shin Kawai	We will deepen our understanding of Engineering Systems. The labs consist of 4 themes. Each theme will be concluded in 2 or 4 weeks (4 weeks x 2 themes + 2 weeks x 2 themes = 12 weeks). The 4 themes are as follows: 1. Control System design (4 wk.), 2. System optimization (4 wk.), 3. Structural vibration (2 wk.), and 4. Boiling heat transfer (2 wk.).	英語で授業 Lectures are conducted in English. face-to-face Only for IDE students
FJ19003	Interdisciplinary Engineering PBL I	3	6.0	3	FallABC	by appointment	Xiao-Min Tong,Biao Shen	Project-based learning opportunities are provided. The students must choose two different laboratories from the field of Engineering Science and Engineering Systems, respectively. Under the laboratory academic advisor's supervision, the students are expected to acquire the specialized knowledge necessary for research through basic study.	Lectures are conducted in English. face-to-face(partially online) Only for IDE students (PBL style will be advised by each academic advisor)
FJ19013	Interdisciplinary Engineering PBL II	3	6.0	3	SprABC	by appointment	Xiao-Min Tong,Biao Shen	Project-based learning opportunities are provided. The students continue to pursue their studies under the supervision of the laboratory academic advisors chosen in PBL I. The students are expected to complete the research proposals for the full-scale research pursued in PBL III and PBL IV.	Lectures are conducted in English. face-to-face(partially online) Only for IDE students
FJ19023	Interdisciplinary Engineering PBL III	3	6.0	4	FallABC	by appointment	Xiao-Min Tong,Biao Shen	Project-based learning opportunities are provided. The students carry out research-based studies based on the research proposals planned for each lab chosen in PBL I and PBL II under the supervision of the laboratory academic advisors. With exceptional cases, students may choose one of the two labs in PBL I and PBL II and focus on the research theme of the chosen lab.	Lectures are conducted in English. face-to-face(partially online) Only for IDE students

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
FJ19033	Interdisciplinary Engineering PBL IV	3	6.0	4	SprABC	by appointment	Xiao-Min Tong,Biao Shen,Toshihiro Kameda	Project-based learning opportunities are provided. The students continue to carry out research-based studies at two labs under the supervision of the laboratory academic advisors. Students are expected to complete their undergraduate research theses on each theme. The students who are allowed to focus on one research theme are required, in addition to their undergraduate research thesis, to submit at least one refereed paper that must be accepted before completing PBL IV.	Not open in 2022. Lectures are conducted in English. face-to-face(partially online) Only for IDE students
FJ19043	Interdisciplinary Engineering PBL IV	3	6.0	4	FallABC	by appointment	Xiao-Min Tong,Biao Shen,Toshihiro Kameda	Project-based learning opportunities are provided. The students continue to carry out research-based studies at two labs under the supervision of the laboratory academic advisors. Students are expected to complete their undergraduate research theses on each theme. The students who are allowed to focus on one research theme are required, in addition to their undergraduate research thesis, to submit at least one refereed paper that must be accepted before completing PBL IV.	Lectures are conducted in English. face-to-face(partially online) Only for IDE students

Major Subjects(Core Electives)

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
EG02211	Chemistry I	1	1.0	1	FallA	Tue/Fri 6	Seung Won Kang	Introduction to general chemistry for life and environmental sciences.	Lectures are conducted in English. face-to-face
EG02221	Chemistry II	1	1.0	1	FallB	Tue/Fri 6	Seung Won Kang	Introduction to general chemistry for life and environmental sciences.	Lectures are conducted in English. face-to-face
EG02231	Chemistry III	1	1.0	1	FallC	Tue5 Thu6	Seung Won Kang	Introduction to general chemistry for life and environmental sciences.	Lectures are conducted in English. face-to-face
FJ12101	Statistical Physics I	1	1.0	3	FallAB	Wed5	Nobuyuki Sano	Statistical Physics as well as Quantum Mechanics provides the most important backbone of modern physics. In the present course, the basic principles of statistical mechanics are explained. After reviewing the basics of probability theory, the fundamental assumption of Statistical Mechanics, "principle of equal a priori probabilities," is introduced to construct statistical ensembles. The microscopic interpretation of entropy is explained so that the connection to thermodynamics becomes constructed.	英語で授業 Lectures are conducted in English. face-to-face
FJ12111	Statistical Physics II	1	1.0	3	FallC	Tue/Thu 4	Nobuyuki Sano	The fundamental concepts introduced in Statistical Physics I are applied to a few simple physical systems such as ideal gases. We derive the classical (Boltzmann) and quantum (Fermi-Dirac and Bose-Einstein) statistics from statistical ensembles. The fundamental principles underlying when extracting the maximum work from heat are clarified. Those principles are applied to simple systems such as (classical and quantum) ideal gas and conduction electrons in metals.	英語で授業 Lectures are conducted in English. face-to-face
FJ12121	Statistical Physics III	1	1.0	3	SprAB	Mon4	Nobuyuki Sano	Following "Statistical Physics I, II", the fundamental principles and various statistical ensembles in Statistical Mechanics are applied to some important phenomena encountered in physics, namely phase transition and Landau phenomenological theory, semiconductor statistics, and quasi-Fermi potentials. A brief introduction to nonequilibrium statistical mechanics, namely, kinetic theory of ideal gas, linear response, and Boltzmann transport theory, is also explained.	英語で授業 Lectures are conducted in English. face-to-face

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
FJ12231	Quantum Mechanics I	1	1.0	3	FallA	Fri4,5	Daiichiro Sekiba	After a brief historical review, we will cover the basics of quantum theory from the perspective of wave mechanics. This includes a discussion of the wavefunction, the probability interpretation, operators, and the Schrödinger equation. We will then consider simple one-dimensional scattering and bound state problems. Next, we will cover the mathematical foundations needed to do quantum mechanics from a more modern perspective. We will review the necessary elements of matrix mechanics and linear algebra, such as finding eigenvalues and eigenvectors, computing the trace of a matrix, and finding out if a matrix is Hermitian or unitary. We will then cover Dirac notation and Hilbert spaces. The postulates of quantum mechanics will then be formalized and illustrated with examples.	For students enrolled in 2020 or later. Lectures are conducted in English. face-to-face
FJ12241	Quantum Mechanics II	1	1.0	3	FallBC	Fri4	Daiichiro Sekiba	We will discuss the mathematical foundations of quantum theory with three important cases: angular momentum and spin, the harmonic oscillator, and an introduction to the physics of the hydrogen atom. Other topics covered include the density operator, the Bloch vector, and two-state systems.	For students enrolled in 2020 or later Lectures are conducted in English. face-to-face
FJ12251	Quantum Mechanics III	1	1.0	3	SprAB	Thu5	Daiichiro Sekiba	We will study advanced topics from non-relativistic quantum theory such as scattering, identical particles, addition of angular momentum, higher Z atoms, and the WKB approximation.	Not open in 2022. For students enrolled in 2020 or later. Lectures are conducted in English. face-to-face
FJ12301	Advanced Electromagnetism I	1	1.0	3	FallA	Fri1,2	Jun Fujioka	This course introduces the fundamental concept of electromagnetic field and the Maxwell's equations. First, the fundamental laws of electromagnetic field in vacuum is explained and Maxwell's equation is derived. Next, the application of Maxwell's equation to the static electric/magnetic field is described.	Lectures are conducted in English. face-to-face Identical to 0AJG041
FJ12311	Advanced Electromagnetism II	1	1.0	3	FallB	Thu4,5	Daiming Tang	Time-varying/time-harmonic electromagnetic fields and electrical properties of matter based on Maxwell' s equations will be studied. Topics include: variable forms of Maxwell' s eq., dielectrics/magnetics-polarization/magnetization-permittivity/permeability, etc.	Lectures are conducted in English. face-to-face Identical to 0AJG042
FJ12321	Advanced Electromagnetism III	1	1.0	3	FallC	Thu1,2	Daiming Tang	Wave equation, propagation, polarization, reflection, transmission, radiation, and scattering will be studied. Topics include: variable formed wave eq., transverse electromagnetic modes (in Lossy media), linear/circular polarization, different incidence issues in Lossy media with multiple interfaces, electromagnetic theorems and principles, etc.	Lectures are conducted in English. face-to-face Identical to 0AJG043
FJ12401	Solid State Physics I	1	1.0	4	FallAB	Mon4	Seiji Kojima	We learn fundamental knowledge of solid state physics, i.e. Crystal, structure, diffraction, reciprocal, lattice, Brillouin zone, ionic crystals, elastic constants.	Lectures are conducted in English. face-to-face Identical to 0AJG061
FJ12411	Solid State Physics II	1	1.0	4	FallC	Mon/Fri 4	Seiji Kojima	We learn fundamental knowledge of solid state physics, i.e. crystal structure, wave diffraction and reciprocal lattice, thermal motion of atoms in crystal, electronic states in crystal. The thermal properties, transport phenomena, phase transitions and so on, in solids, will be discussed for understanding of advanced contents of materials science.	Lectures are conducted in English. face-to-face Identical to 0AJG062
FJ12421	Solid State Physics III	1	1.0	4	SprBC	Mon4	Seiji Kojima	We learn fundamental knowledge of solid state physics, i.e. band structure, semiconductor crystals, Fermi surfaces, metals.	Not open in 2022 Lectures are conducted in English. face-to-face Identical to 0AJG063

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
FJ15011	Control Systems I	1	2.0	3	FallAB	Wed3,4	Hisashi Date	This course introduces the control theory for linear systems based on state-space modeling. It covers the notion of stability, controllability, and observability, followed by the design of state feedback and observer. It also briefly covers the notion of frequency-domain techniques.	Lectures are conducted in English. face-to-face(partially online)
FJ15021	Control Systems II	1	2.0	3	SprAB	Wed3,4	Hisashi Date,Hiromi Mochiyama	This course introduces the feedback control theory for linear dynamical systems. First, system modeling is considered in frequency, Laplace, and time domains with the notions of frequency transfer function, transfer function, and impulse response. Then, the pros and cons of feedback control are explained in comparison with feedforward control. Finally, control system design is also treated for stabilization as well as better steady-state and transient performances.	Lectures are conducted in English. face-to-face Hybrid (face-to-face and online(synchronous)). The recorded course movies will also be available for later viewing.
FJ16011	Fluid Dynamics	1	1.0	3	FallAB	Mon2	Shigeru Yokota	This course covers the principal concepts and methods of fluid dynamics. Topics include basic laws of fluids, analysis of irrotational flow and vortex, introduction to compressible flows and viscos flows.	Lectures are conducted in English. Online(Asynchronous) This course cannot be taken by students who have already taken Fluid Dynamics I.
FJ16021	Mechanics of Materials	1	1.0	3	FallAB	Thu2	Takashi Matsushima	The course describes the basics of continuum mechanics for solid including the analyses of stress and strain, linear elasticity as the simplest the constitutive model, and the yield criterion.	Lectures are conducted in English. face-to-face interdepartmental course
FJ16031	Energy Engineering	1	1.0	3	SprC	Tue1,2	Hirohisa Aki	This course introduces energy-related technologies and issues from an engineering perspective. Energy systems and energy issues is explained first, followed by an overview of some elemental technologies. The basic disciplines of energy include electrical engineering and mechanical engineering, but many more advanced disciplines are involved, such as semiconductor engineering, materials engineering, power engineering, and electrochemistry. In addition, an understanding of systems engineering and information engineering is required for actual operation. Each of the five instructors will discuss one topic such as renewable energy and provide commentary.	Lectures are conducted in English.

Course Manager

Requisite
Undergraduate Medical Science Program for International Students

Major Subjects (Required Courses)

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
HE40011	Medical Microbiology	1	2.0	3, 4	FallAB	by appointment	Kazuya Morikawa	This course offers a series of lectures and discussions regarding the molecular mechanisms underlying in bacterial pathologens. Students will learn hot topics and techniques in molecular bacteriology fields.	This course is for foreign students in School of Medical Sciences. Lectures are conducted in English. face-to-face(partially online) Face-to-face classes at first, then online.
HE40061	English Communication for Medical Sciences I	1	3.0	3	FallABC	Intensive	Masanori Sakaguchi, Satoru Takahashi, Michito Hamada, Kenji Irie, Norihiko Ohbayashi, Atsushi Kawaguchi, Takashi Matsuzaka, Masatoshi Miyakoshi	This course covers a variety of medical science research topics. Students will learn basic concepts, methodology, and scientific thinking through each research topic.	This lecture is open for only the student of International Medical Science only. Lectures are conducted in English. Details will be annouced. face-to-face(partially online)
HE40071	English Communication for Medical Sciences II	1	3.0	4	SprAB SprC	Mon/Fri 1 Mon/Thu 1	Chigusa Oda, Yukihide Watanabe, Yukari Okita, Masafumi Muratani, Cat Khanh Vuong, Takeji Sakae, Hiroaki Kumada, Eiji Mizutani, Tsuyoshi Saito, Masanori Sakaguchi	This course covers a variety of medical science research topics. Students will learn basic concepts, methodology, and scientific thinking through each research topic.	This lecture is open for only the student of International Medical Science only. Lectures are conducted in English. face-to-face(partially online)
HE40081	Topics in Medical Sciences I	1	1.0	3	FallAB	Wed3	Kiong Ho	This course helps students to understand the basics of genes and genomes and enable them to develop critical thinking in medical science.	Lectures are coducted in English. Lectures are conducted in English. face-to-face(partially online)
HE40091	Topics in Medical Sciences II	1	1.0	4	SprBC	Tue4	Kiong Ho	This course helps students to understand the recent developments in medical science research by active learning and discussion.	Only International Medical Science Course students. Lectures are conducted in English. face-to-face
HE40102	Seminar on Medical Sciences	2	1.0	3	FallBC	by request	Yo Oishi	This course helps students deepen their understanding of the research in medical sciences by proactively investigating issues in medical sciences and coming up with solutions.	This course is for students in the International Medical Science Major. Lectures are conducted in English. face-to-face
HE40112	Research Seminar	2	2.0	3	FallBC	by request	Yo Oishi	The students will select their theme from a variety of fields in medical sciences based on their own interests, and participate in research seminar and actual research activity in the laboratory.	Offered exclusively for students in the International Medical Science Major. Lectures are conducted in English. face-to-face

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
HE40113	Graduation Research	3	8.0	4	SprABC, FallAB	by request	Yo Oishi	The aim of this course is to learn the knowledge of medical sciences and problem-solving skills through a research in laboratories. The students can select their theme from a variety of fields in medical sciences based on their own interests.	This course is for students in the International Medical Science Major. Lectures are conducted in English. face-to-face
HE40131	Clinical Hematology	1	2.0	3	FallABC	by request	Naoshi Obara	血液の組成、血液の生理的機能、血球の産生とその調節機構、造血因子および造血微小循環などについて教授する。主要な血液疾患の病態生理とその診断のための血液学的検査法の原理と手法、血球の形態学的検査の原理と手法について教授する。白血病の病理的診断(FAB分類)、リンパ腫の病理的診断法を教授する。	Students should obtain permission of the instructor before taking this course.Basically online lessons. Lectures are conducted in English. Online(Asynchronous)
HE40141	Coagulation and Fibrinolysis	1	1.0	3	FallABC	by request	Naoshi Obara	血液の凝固・線溶液系の生理的機構を教授し、その失調に伴う出血傾向や血栓症に関する基本的検査法について教授する。凝固・線溶系の検査法の原理と手法、血小板の機能検査の原理と手法について教授する。	Students should obtain permission of the instructor before taking this course. Basically online lessons. This course for English program students. Lectures are conducted in English. Online(Asynchronous)
HE40151	Clinical Pathophysiology	1	2.0	3	FallAB	by appointment		This course introduces the fundamentals of the cell mechanism and abnormalities thereof as well as cell division, cell death, tumor growth and aging. This course then deals with a wide range of topics, from abnormalities of the heat and energy balance, via the pathomechanisms of diseases of the blood, lungs, kidneys, gastrointestinal tract, heart and circulation, and of the metabolism, including endocrinal abnormalities, diseases of skeletal muscle, the senses, and the peripheral and central nervous system.	Students should obtain permission of the instructor before taking this course. This courses will not be provided in 2024. Lecture is conducted in English. Lectures are conducted in English.
HE40161	Topics in Vascular Biology	1	1.0	3, 4	FallAB	Intensive	Hiromi Yanagisawa,Kenichi Kimura,Ryutaro Ishii,Raja Erna,恵一 浅野	To provide basic knowledge and understanding of vascular biology, ranging from normal vascular development and physiology to molecular mechanisms of vascular diseases, as well as novel diagnostic and therapeutic approaches. The course aims to solicit active participation of students in lectures and journal clubs.	原則英語、場合によっては日本語でも授業。 Lectures are conducted in English. Details will be annouced. face-to-face
HE40201	Immunology	1	2.0	3, 4	Annual	by appointment	Chigusa Oda,Kazuko Shibuya,Yu-Hsien Lin	Humans have built a highly integrated immune system as a biological defense mechanism against pathogenic microorganisms. However, infectious diseases are still the greatest threat to humankind even today. On the other hand, abnormalities in the immune system are also an essential cause of intractable diseases such as autoimmune diseases and allergies. In addition, cancers and rejection of transplanted organs are also issues that are directly related to the immune system. This course provides an overview of the immune system.	This course for English program students Lectures are conducted in English.
HE40231	Clinical pharmacology	1	1.0	3	SprC	by request	Michael Lazarus,Yo Oishi	Learn the mechanisms of various drugs used in clinical practice and understand the indications and contraindications of drugs. Through these studies, students deepen their understanding of physiological functions in living organisms.	This course is for English program students. Lectures are conducted in English. face-to-face
HE40263	Seminar on Medical Sciences	3	1.0	3	Annual	by request	Yo Oishi	This course helps students deepen their understanding of the research in medical sciences by proactively investigating issues in medical sciences and coming up with solutions.	This course for students in the G30 program of the International Medical Science Major. Lectures are conducted in English. face-to-face

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
HE40272	Research Seminar	2	2.0	3	FallBC	by request	Yo Oishi	The students will select their theme from a variety of fields in medical sciences based on their own interests, and participate in research seminar and actual research activity in the laboratory.	Offered exclusively for students in the G30 program of the International Medical science Major who enrolled in the program in 2020 or later. Lectures are conducted in English. face-to-face
HE40273	Graduation Research	3	8.0	4	Annual	by request	Yo Oishi	The aim of this course is to learn the knowledge of medical sciences and issue-solving skills through a research in laboratories. The students can select their theme from a variety of fields in medical sciences based on their own interests.	This course for English program students Lectures are conducted in English. face-to-face
HE41170	International Forum on Medical Biology Research	0	1.0	2 - 4	Annual	by request	Kazuya Morikawa	Students will participate in international meeting in the field related to their own research, or participate in research activity in oversea laboratory.	Lectures are conducted in English. face-to-face
HE41175	Training Abroad on Medical Biology	5	1.0	3, 4	Annual	by request	Yuji Funakoshi	Students study at foreign university or enroll in an approved international program regarding medical related field.	Only Medical Sciences students. Lectures are conducted in English. Details will be annouced. Online(Synchronous)
HE41181	Workshop for Medical Science Students	1	1.0	3	FallC	Wed1,2	Kiong Ho,Thomas David Mayers	The course consists of seminar-style lectures and group discussions to introduce questions and problems in Global Health and Medical Sciences.	Only medical science students enrolled after 2019. Lectures are conducted in English. face-to-face(partially online)
HE41190	International Forum on Medical Biology Research II	0	1.0	2 - 4	Annual	by request	Kazuya Morikawa	Students will participate in international meeting in the field related to their own research, or participate in research activity in oversea laboratory.	Only Medical Sciences students. Lectures are conducted in English. face-to-face
HE41200	International Forum on Medical Biology Research III	0	1.0	2 - 4	Annual	by request	Kazuya Morikawa	Students will participate in international meeting in the field related to their own research, or participate in research activity in oversea laboratory.	Only Medical Sciences students. Lectures are conducted in English. face-to-face
HE41210	International Forum on Medical Biology Research IV	0	1.0	2 - 4	Annual	by request	Kazuya Morikawa	国際学会参加や短期間の調査研究をとおして、海外の担当者あるいは研究者と意見交換し、国際的な研究の動向を把握し、自身のキャリアに活かす。	Only Medical Sciences students. Lectures are conducted in English. face-to-face
HE41215	Training Abroad on Medical Biology II	5	1.0	3, 4	Annual	by request	Yuji Funakoshi	Students study at foreign university or enroll in an approved international program regarding medical related field.	Only Medical Sciences students. Lectures are conducted in English. Online(Synchronous)
HE41220	International Forum on Medical Biology Research V	0	1.0	2 - 4	Annual	by request	Kazuya Morikawa	国際学会参加や短期間の調査研究をとおして、海外の担当者あるいは研究者と意見交換し、国際的な研究の動向を把握し、自身のキャリアに活かす。	Only Medical Sciences students. Lectures are conducted in English. face-to-face
HE41225	Training Abroad on Medical Biology III	5	1.0	3, 4	Annual	by request	Yuji Funakoshi	Students study at foreign university or enroll in an approved international program regarding medical related field.	Only Medical Sciences students. Lectures are conducted in English. Online(Synchronous)

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
HE41241	Genetic Testing and Chromosome Analysis	1	1.0	3	SprBC	by request	Emiko Noguchi,Hiroko Miyadera,綾 川崎	Students will learn the basic knowledge of DNA, chromosome and genetics of the diseases through lectures and e-learning. The date of the classes will be announced. The instructor will provide materials (handout, text and e-learning materials) and students are expected to learn the materials prior to the class. At the class, the instructor and students will discuss the contents of the materials provided and students will take short tests.	This course for English program students. Lecture is conducted in English. Details will be announced. Lectures are conducted in English. Details will be annouced. face-to-face

Course Manager

Requisite
Bachelor's Program in Global Issues

Foundation Subjects for Major (Required)

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
VB10001	General Introduction to Global Issues	1	3.0	1	FallA FallB	Mon/Fri 1,2 Mon1,2	Takahiro Morio,Hajime Akiyama,Rajeev Kumar Singh,Pankaj Kumar,Yanbo Pang	Students look at global issues from various perspectives through this course. First, we discuss what global issues are and share a basic perspective. It then considers specific issues based on sustainable development goals (SDGs).	Lectures are conducted in English. 主専攻必修科目。 face-to-face interdepartmental course
VB10011	Methodology for Global Issues	1	3.0	1	FallAB	Wed2-4	Ryosuke Ohniwa,Bruno Daniel Philippe Jactat,Hajime Akiyama,優希 守谷	Students will study 1) academic writing and presentation, 2) philosophy of methodology, and 3) the basis of research and policy recommendation, which form the foundation for identifying and addressing global challenges. Through this, they will acquire fundamental literacy and skills for observing, understanding, and expressing objects and concepts.	Lectures are conducted in English. 主専攻必修科目。 face-to-face interdepartmental course
VB20001	Literacy in Global Issues (Environment)	1	3.0	1	FallAB	Tue1,2 Intensive	Takahiro Morio,Maki Tsujimura,賢 吉川,Naomi Shimpo,あかね 別所,Tadashi Matsumoto	This course aims at acquiring fundamental knowledge to understand global issues from environmental viewpoints. On Tuesdays, students will be required to read the designated textbook on basics of earth environmental sciences together and give presentation on the contents. On the intensive classes, students will learn examples to deepen insights on actual global issues through lectures by experts.	Lectures are conducted in English. 主専攻必修科目。 face-to-face
VB30001	Literacy in Global Issues (Human)	1	3.0	1	FallC	Tue3,4 Tue5,6 Thu1,2	Hajime Akiyama,MOE SASAKI	This course focuses on specific approaches to the global issues of social diversity-inclusion as well as human health-wellbeing. Taking concrete examples, students can deepen basic knowledge of the global governance and well-being.	Lectures are conducted in English. 主専攻必修科目。 face-to-face

Major Subjects (Required)

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
VB10012	Seminars on Global Issues III	2	6.0	4	FallABC	by appointment	Takahiro Morio	The aim of this series of seminars is to enable each student to determine his/her research theme on specific issues at the global or planetary scale. At this level, students are supervised and directed individually to better enable each one to develop his/her own original approach and be able to contact the appropriate laboratories at the University of Tsukuba.	Students who have completed the Seminars on Global Issues A-II (VB20022) and Seminars on Global Issues B-II (VB30023) . Lectures are conducted in English. 主専攻必修科目。 face-to-face(partially online)
VB10013	Practical Training on Global Issues III	3	6.0	4	FallABC	by appointment	Takahiro Morio	Students will learn how to set up local, global and international projects both individually and as a team. They will interact with businesses, research institutions, NPO, NGO, and so on, depending on their specific field of interest, in order to research solutions to global-level issues.	Students must follow this course at the same time as or after having accomplished the Seminars on Global Issues III (VB10012) . Lectures are conducted in English. 主専攻必修科目。 face-to-face(partially online)
VB10018	Graduation Research I	8	3.0	4	FallABC	by appointment	Takahiro Morio,Hajime Akiyama,Bruno Daniel Philippe Jactat	Students may choose to either submit a thesis or undertake an internship according to their specific field of research. Students will be individually supervised by faculty from the different disciplines.	Lectures are conducted in English. 主専攻必修科目。 face-to-face(partially online)

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
VB10028	Graduation Research II	8	3.0	4	SprABC	by appointment	Takahiro Morio, Hajime Akiyama, Bruno Daniel Philippe Jactat	Students may choose to either submit a thesis or undertake an internship according to their specific field of research. Students will be individually supervised by faculty from the different disciplines. And students will achieve their challenging work in thesis or report.	Lectures are conducted in English. 主専攻必修科目。 face-to-face(partially online)
VB10038	Graduation Research I	8	3.0	4	SprABC	by appointment	Takahiro Morio, Bruno Daniel Philippe Jactat	Students may choose to either submit a thesis or undertake an internship according to their specific field of research. Students will be individually supervised by faculty from the different disciplines. Consult with your supervisor before enrolment.	Lectures are conducted in English. 主専攻必修科目。 face-to-face(partially online) Consult with your supervisor before enrolment.
VB10048	Graduation Research II	8	3.0	4	FallABC	by appointment	Takahiro Morio	Students may choose to either submit a thesis or undertake an internship according to their specific field of research. Students will be individually supervised by faculty from the different disciplines. And students will achieve their challenging work in thesis or report. Consult with your supervisor before enrolment.	For those who plan to graduate in the Fall semester. Lectures are conducted in English. 主専攻必修科目。 face-to-face(partially online) Consult with your supervisor before enrolment.
VB20012	Seminars on Global Issues A-I	2	6.0	2	SprABC	Wed5,6 Fri5,6 by appointment	Takahiro Morio	This series of seminars aims at providing advanced knowledge and skills to understand and solve global issues in the field of “Sustainability,” "Disaster" and “Environment” through lectures and discussions. The students will learn various topics in the three themes above. At the end of the course, students will investigate their own topics which they set up and produce a report paper.	This course is for BPGI students, or students who have earned credits of VB10001 and VB10011. Lectures are conducted in English. 主専攻必修科目。 face-to-face
VB20013	Practical Training on Global Issues A-I	3	3.0	2	SprABC	Thu5,6 by appointment	Shuntaro Yada, Takahiro Morio, Ryosuke Ohniwa	This practical training provides foundational experience in research methodology through systematically organized PBL (Problem-Based Learning) focused on Global Issues, especially on the topics of Environmental Issues and Risk & Security Issues. Students engage in intensive exercises covering both theme areas. BPGI faculty guide students through comprehensive methodological training using prepared material ranging from data to fields. The course primarily focuses on learning and practicing essential research methodologies through guided group work. Students conduct methodology surveys using introductory resources and apply learned techniques through hands-on exercises, building core methodological competencies for Global Issues research.	Students must follow this course at the same time as or after having accomplished the Seminars on Global Issues A-I (VB20012) Lectures are conducted in English. 主専攻必修科目。 face-to-face
VB20022	Seminars on Global Issues A-II	2	6.0	3	SprABC	by appointment	Shuntaro Yada	This seminar provides intensive theoretical foundation through laboratory seminars focused on Global Issues, especially on the topics of Environmental Issues and Risk & Security Issues. Students engage in laboratory seminars: under the direct guidance of faculty members, students join research laboratories to conduct comprehensive literature reviews, participate in research discussions, and engage in theoretical analysis related to their chosen seminar themes. The course emphasizes deep understanding of theoretical frameworks and research methodologies through real laboratory environments, enabling students to develop solid academic foundations from literature review to critical analysis.	Students must complete the Seminars on Global Issues A-I (VB20012) and the Practical Training on Global Issues A-I (VB20013). Students must take this course at the same time as or after having accomplished the Practical Training on Global Issues A-II (VB20023). 英語で授業。 主専攻必修科目. 対面 Lectures are conducted in English. 主専攻必修科目。 face-to-face

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
VB20023	Practical Training on Global Issues A-II	3	3.0	3	SprABC	by appointment	Shuntaro Yada	This practical training provides hands-on research experience through laboratory internships focused on Global Issues, especially on the topics of Environmental Issues and Risk & Security Issues. Students engage in laboratory internships: under the direct guidance of faculty members, students join research laboratories to conduct experiments, investigations, and field work related to their chosen PBL themes. The course emphasizes practical application of research skills through real laboratory environments, enabling students to experience authentic research processes from problem identification to solution development. Students present their findings and research outcomes, demonstrating their ability to contribute meaningfully to ongoing research projects of the target topics.	Students who have completed the Seminars on Global Issues A-I (VB20012) and the Practical Training on Global Issues A-I (VB20013). Students must take this course at the same time as or after having accomplished the Seminars on Global Issues A-II (VB20022). 英語で授業。 主専攻必修科目. 対面 Lectures are conducted in English. 主専攻必修科目。 face-to-face
VB30012	Seminars on Global Issues B-I	2	6.0	2	FallABC	Wed4,5 Fri4,5	Hajime Akiyama,Ryosuke Ohniwa,Shuntaro Yada,Ganchimeg Togoobaatar,優希 守谷,Kuanysh Tastanbekova,知宏 秋山,Yohei Seki	These seminars will approach a wide range of academic knowledge, evaluation methods, and coping and preventive strategies related to the issues of social diversity-inclusion as well as human health-wellbeing.For the former part, the course will provide a variety of global issues concerning the disciplines of humanities and social sciences. Students will learn what are problems and discuss how we can resolve them. As for the latter part, the course will approach the health matters of aged people, as contemporary society requires information literacy and care of the elderly, as well as molecular level understanding of the health. Students will learn basic concepts and techniques of a survey to grasp problems in a real situation, processing methods, and interpretative strategies for gathered information (documents, data). In the end, students will come up with an action plan and/or original research project aiming at finding and solving problems in a real situation.	This course is for BPGI students, or students who have earned credits of VB10001 and VB10011. Lectures are conducted in English. 主専攻必修科目。 face-to-face
VB30013	Practical Training on Global Issues B-I	3	3.0	2	FallABC	Tue3,4 by appointment	Shuntaro Yada	This practical training provides foundational experience in research methodology through systematically organized classroom-based PBL (Problem-Based Learning) focused on global issues, especially on the topics of Social Issues and Health & Wellness Issues. Students engage in intensive classroom exercises covering both theme areas: BPGI faculty guide students through comprehensive methodology training using prepared datasets and structured analytical tasks. The course primarily focuses on learning and practicing essential research methodologies through guided group work and desk-based analysis. Students conduct methodology surveys using introductory resources and apply learned techniques through hands-on classroom exercises, building core methodological competencies for global issues research.	Students must follow this course at the same time as or after having accomplished the Seminars on Global Issues B-I (VB30012). Lectures are conducted in English. 主専攻必修科目。 face-to-face

Course Number	Course Name	Instructional Type	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
VB30022	Seminars on Global Issues B-II	2	6.0	3	FallABC	by appointment	Shuntaro Yada	This seminar provides intensive theoretical foundation through laboratory seminars focused on Global Issues, especially on the topics of Social Issues and Health & Wellness Issues. Students engage in laboratory seminars: under the direct guidance of faculty members, students join research laboratories to conduct comprehensive literature reviews, participate in research discussions, and engage in theoretical analysis related to their chosen seminar themes. The course emphasizes deep understanding of theoretical frameworks and research methodologies through real laboratory environments, enabling students to develop solid academic foundations from literature review to critical analysis.	Students must complete the Seminars on Global Issues B-I (VB30012) and the Practical Training on Global Issues B-I (VB30013). Students must take this course at the same time as or after having accomplished the Practical Training on Global Issues B-II (VB30023). 英語で授業。 主専攻必修科目. 対面 Lectures are conducted in English. 主専攻必修科目。 face-to-face
VB30023	Practical Training on Global Issues B-II	3	3.0	3	FallABC	by appointment	Shuntaro Yada	This practical training provides hands-on research experience through laboratory internships focused on Global Issues, especially on the topics of Social Issues and Health & Wellness Issues. Students engage in laboratory internships: under the direct guidance of faculty members, students join research laboratories to conduct experiments, investigations, and field work related to their chosen PBL themes. The course emphasizes practical application of research skills through real laboratory environments, enabling students to experience authentic research processes from problem identification to solution development. Students present their findings and research outcomes, demonstrating their ability to contribute meaningfully to ongoing research projects of the target topics.	Students must complete the Seminars on Global Issues B-I (VB30012) and the Practical Training on Global Issues B-I (VB30013). Students must take this course at the same time as or after having accomplished the Seminars on Global Issues B-II (VB30022). 英語で授業。 主専攻必修科目. 対面 Lectures are conducted in English. 主専攻必修科目。 face-to-face

外国人留学生等日本語研修コース

外国人留学生等に対する日本語コース

グローバルコミュニケーション教育センターでは、外国人留学生に対する日本語研修コースを開設しています。受講を新たに希望する場合は、オンラインでプレースメントテストを受け、自分のレベルにあったクラスを確認し、履修申請期間中にグローバルコミュニケーション教育センターに履修申請を行う必要があります。

また、前学期から継続して受講する者は、履修申請期間内に履修申請を行ってください。なお、受講者の人数が許容量を超えるクラスについては、授業の初日に人数制限をする場合もありますので、必ず出席してください。

詳細については、グローバルコミュニケーション教育センター日本語教育部門およびホームページで確認してください。

http://www.cegloc.tsukuba.ac.jp/page/dir000549.html

開設母体

要件
外国人留学生等日本語研修コース

外国人留学生等日本語研修コース

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
XJ01112	日本語 1（かつどう 1）	2	−	1 − 6	春AB	火2	石田 麻実	どこに住んでいるか、誰と知り合いかなど、よく使われる日常表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ01132	日本語 1（かつどう 2）	2	−	1 − 6	春AB	木2	石田 麻実	どこに住んでいるか、誰と知り合いかなど、よく使われる日常表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ01152	日本語 1（かつどう 1）	2	−	1 − 6	秋AB	火2	石田 麻実	どこに住んでいるか、誰と知り合いかなど、よく使われる日常表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ01172	日本語 1（かつどう 2）	2	−	1 − 6	秋AB	木2	石田 麻実	どこに住んでいるか、誰と知り合いかなど、よく使われる日常表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ01212	日本語 1（りかい 1）	2	−	1 − 6	春AB	水2	段 麗	「入門かつどう」のコミュニケーションを支える言語項目(文字、語彙、文法、文型など)を学習する。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ01232	日本語 1（りかい 2）	2	−	1 − 6	春AB	金2	日髙 晋介	「入門かつどう」のコミュニケーションを支える言語項目(文字、語彙、文法、文型など)を学習する。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ01252	日本語 1（りかい 1）	2	−	1 − 6	秋AB	水2	段 麗	「入門かつどう」のコミュニケーションを支える言語項目(文字、語彙、文法、文型など)を学習する。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ01272	日本語 1（りかい 2）	2	−	1 − 6	秋AB	金2	日髙 晋介	「入門かつどう」のコミュニケーションを支える言語項目(文字、語彙、文法、文型など)を学習する。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ01912	基礎日本語	2	−	1 − 6	春C	応談	日髙 晋介,鏡 耀子,飯田 朋子	″J2・J3レベルの留学生を対象とし、基礎的な日本語運用能力の修得を目的とする。 同年代の日本人学生との協働による講義および演習を通して、実際のコミュニケーション場面で使われる日本語を学ぶ。″	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
XJ02112	日本語 2（かつどう 1）	2	－	1 － 6	春AB	火2	飯田 朋子	身近で日常の事柄についての情報交換ができるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ02132	日本語 2（かつどう 2）	2	－	1 － 6	春AB	木2	金子 信子	身近で日常の事柄についての情報交換ができるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ02152	日本語 2（かつどう 1）	2	－	1 － 6	秋AB	火2	飯田 朋子	身近で日常の事柄についての情報交換ができるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ02172	日本語 2（かつどう 2）	2	－	1 － 6	秋AB	木2	金子 信子	身近で日常の事柄についての情報交換ができるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ02212	日本語 2（りかい 1）	2	－	1 － 6	春AB	水2	李 欣穎	個人的なこと、家族のこと、身の回りのことなど、自分に直接関係することについてコミュニケーションを支える言語項目(文字、語彙、文法、文型など)を学習する。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ02232	日本語 2（りかい 2）	2	－	1 － 6	春AB	金2	平形 裕紀子	個人的なこと、家族のこと、身の回りのことなど、自分に直接関係することについてコミュニケーションを支える言語項目(文字、語彙、文法、文型など)を学習する。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ02252	日本語 2（りかい 1）	2	－	1 － 6	秋AB	水2	李 欣穎	個人的なこと、家族のこと、身の回りのことなど、自分に直接関係することについてコミュニケーションを支える言語項目(文字、語彙、文法、文型など)を学習する。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ02272	日本語 2（りかい 2）	2	－	1 － 6	秋AB	金2	平形 裕紀子	個人的なこと、家族のこと、身の回りのことなど、自分に直接関係することについてコミュニケーションを支える言語項目(文字、語彙、文法、文型など)を学習する。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ03112	日本語 3（かつどう 1）	2	－	1 － 6	春AB	火2	陳 一吟	簡単で日常的な範囲、及び身近な文化に関する事柄についての情報交換ができるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
XJ03132	日本語 3（かつどう 2）	2	−	1 − 6	春AB	木2	鏡 耀子	簡単で日常的な範囲、及び身近な文化に関する事柄についての情報交換ができるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ03152	日本語 3（かつどう 1）	2	−	1 − 6	秋AB	火2	陳 一吟	簡単で日常的な範囲、及び身近な文化に関する事柄についての情報交換ができるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ03172	日本語 3（かつどう 2）	2	−	1 − 6	秋AB	木2	鏡 耀子	簡単で日常的な範囲、及び身近な文化に関する事柄についての情報交換ができるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ03212	日本語 3（りかい 1）	2	−	1 − 6	春AB	水2	山本 昌代	個人的なこと、家族のこと、身の回りのことなど、自分に直接関係することや身近な文化に関するコミュニケーションを支える言語項目(文字、語彙、文法、文型など)を学習する。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ03232	日本語 3（りかい 2）	2	−	1 − 6	春AB	金2	長戸 三成子	個人的なこと、家族のこと、身の回りのことなど、自分に直接関係することや身近な文化に関するコミュニケーションを支える言語項目(文字、語彙、文法、文型など)を学習する。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ03252	日本語 3（りかい 1）	2	−	1 − 6	秋AB	水2	山本 昌代	個人的なこと、家族のこと、身の回りのことなど、自分に直接関係することや身近な文化に関するコミュニケーションを支える言語項目(文字、語彙、文法、文型など)を学習する。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ03272	日本語 3（りかい 2）	2	−	1 − 6	秋AB	金2	長戸 三成子	個人的なこと、家族のこと、身の回りのことなど、自分に直接関係することや身近な文化に関するコミュニケーションを支える言語項目(文字、語彙、文法、文型など)を学習する。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ03512	日本語 3 読む書く	2	−	1 − 6	春AB	月2	菅野 沙也香	補講日本語3レベルの人が4レベルでスムーズに勉強できるように読み書きを練習するクラス。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ03532	日本語 3 読む書く	2	−	1 − 6	秋AB	月2	菅野 沙也香	補講日本語3レベルの人が4レベルでスムーズに勉強できるように読み書きを練習するクラス。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
XJ04092	日本語 4 文法	2	−	1 − 6	春AB	月3	金 青華	大学での生活・勉学のための日本語を身につける。文法について初級で学んだ日本語の運用力を高める。また、中級日本語の文法や語彙などを学んで運用できるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ04112	日本語 4 文法	2	−	1 − 6	秋AB	月3	金 青華	大学での生活・勉学のための日本語を身につける。文法について初級で学んだ日本語の運用力を高める。また、中級日本語の文法や語彙などを学んで運用できるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ04132	日本語 4 話す	2	−	1 − 6	春AB	水3	金 青華	大学での生活・勉学のための日本語を身につける。話すについて初級で学んだ日本語の運用力を高める。また、中級日本語の文法や語彙などを学んで運用できるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ04152	日本語 4 話す	2	−	1 − 6	秋AB	水3	金 青華	大学での生活・勉学のための日本語を身につける。話すについて初級で学んだ日本語の運用力を高める。また、中級日本語の文法や語彙などを学んで運用できるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ04172	日本語 4 聞く	2	−	1 − 6	春AB	金3	菅野 沙也香	大学での生活・勉学のための日本語を身につける。聞くについて初級で学んだ日本語の運用力を高める。また、中級日本語の文法や語彙などを学んで運用できるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ04192	日本語 4 聞く	2	−	1 − 6	秋AB	金3	菅野 沙也香	大学での生活・勉学のための日本語を身につける。聞くについて初級で学んだ日本語の運用力を高める。また、中級日本語の文法や語彙などを学んで運用できるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ04212	日本語 4 読む	2	−	1 − 6	春AB	火3	文 昶允	大学での生活・勉学のための日本語を身につける。読むについて初級で学んだ日本語の運用力を高める。また、中級日本語の文法や語彙などを学んで運用できるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ04232	日本語 4 読む	2	−	1 − 6	秋AB	火3	文 昶允	大学での生活・勉学のための日本語を身につける。読むについて初級で学んだ日本語の運用力を高める。また、中級日本語の文法や語彙などを学んで運用できるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ04252	日本語 4 書く	2	−	1 − 6	春AB	木3	君村 千尋	大学での生活・勉学のための日本語を身につける。書くについて初級で学んだ日本語の運用力を高める。また、中級日本語の文法や語彙などを学んで運用できるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
XJ04272	日本語 4 書く	2	−	1 − 6	秋AB	木3	君村 千尋	大学での生活・勉学のための日本語を身につける。書くについて初級で学んだ日本語の運用力を高める。また、中級日本語の文法や語彙などを学んで運用できるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ05012	日本語 5 文法	2	−	1 − 6	春AB	月3	鏡 耀子	初級で学んだ文型、文法項目について復習しながら、中級で必要な文法項目を学ぶ。意味や使い方の理解を通して語用的な特徴や関連する項目との使い分け、日常の場面における正確な使用を重視した実用的な文法を学ぶ。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ05032	日本語 5 文法	2	−	1 − 6	秋AB	月3	鏡 耀子	初級で学んだ文型、文法項目について復習しながら、中級で必要な文法項目を学ぶ。意味や使い方の理解を通して語用的な特徴や関連する項目との使い分け、日常の場面における正確な使用を重視した実用的な文法を学ぶ。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 2023年度開講中止。
XJ05052	日本語 5 話す	2	−	1 − 6	春AB	水3	李 欣穎	日常的で身近なテーマや社会性のあるテーマについて日本語で話すことができるようになる。話し相手や状況に応じた話し方ができる能力を養成する。また、自分が持っている情報を相手と共有し、話を進められるようにする。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ05072	日本語 5 話す	2	−	1 − 6	秋AB	水3	李 欣穎	日常的で身近なテーマや社会性のあるテーマについて日本語で話すことができるようになる。話し相手や状況に応じた話し方ができる能力を養成する。また、自分が持っている情報を相手と共有し、話を進められるようにする。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ05092	日本語 5 聞く	2	−	1 − 6	春AB	金3	金 成姫	日常的で身近で分かりやすく、明瞭に話された短い素材を用いる。正確に聞き取る、大切な情報を聞き取ってメモする、話の流れを理解する、などができるようになることを目指す。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ05112	日本語 5 聞く	2	−	1 − 6	秋AB	金3	金 成姫	日常的で身近で分かりやすく、明瞭に話された短い素材を用いる。正確に聞き取る、大切な情報を聞き取ってメモする、話の流れを理解する、などができるようになることを目指す。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ05132	日本語 5 読む	2	−	1 − 6	春AB	火3	三谷 絵里	身近なテーマで、筆者の感想も含まれた事実文や説明文を読む。内容を正確に理解し、適当なスピードで、なめらかに読む練習や、読んだものに関して、自分の考え、感想を言い、他の学生との意見交換などをする。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ05152	日本語 5 読む	2	−	1 − 6	秋AB	火3	三谷 絵里	身近なテーマで、筆者の感想も含まれた事実文や説明文を読む。内容を正確に理解し、適当なスピードで、なめらかに読む練習や、読んだものに関して、自分の考え、感想を言い、他の学生との意見交換などをする。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
XJ05172	日本語 5 書く	2	−	1 − 6	春AB	木3	金子 信子	よく知っている事柄について、800字程度のまとまりのある文章が書けるようになる。日本語作文のルールを知り、構成を考えて、3段落程度に分けて文章を書く、適切な表現文型を用いて、簡単な説明文、意見文を書く、などができるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ05192	日本語 5 書く	2	−	1 − 6	秋AB	木3	金子 信子	よく知っている事柄について、800字程度のまとまりのある文章が書けるようになる。日本語作文のルールを知り、構成を考えて、3段落程度に分けて文章を書く、適切な表現文型を用いて、簡単な説明文、意見文を書く、などができるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ06012	日本語 6 文法	2	−	1 − 6	春AB	月3	金 成姫	初中級で学んだ文型、文法項目について復習しながら、中級レベルで必要な文法項目を学ぶ。意味や使い方の理解を通して語用的な特徴や関連する項目との使い分け、日常の場面における正確な使用を重視した実用的な文法を学ぶ。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 2023年度は開講中止。 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ06032	日本語 6 文法	2	−	1 − 6	秋AB	月3	金 成姫	初中級で学んだ文型、文法項目について復習しながら、中級レベルで必要な文法項目を学ぶ。意味や使い方の理解を通して語用的な特徴や関連する項目との使い分け、日常の場面における正確な使用を重視した実用的な文法を学ぶ。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 2023年度開講中止。
XJ06052	日本語 6 話す	2	−	1 − 6	春AB	水3	糸川 優	社会性のあるテーマについて討論ができるようになる。また、自身の学習についての継続的な自己観察も併せて行う。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ06072	日本語 6 話す	2	−	1 − 6	秋AB	水3	糸川 優	社会性のあるテーマについて討論ができるようになる。また、自身の学習についての継続的な自己観察も併せて行う。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ06092	日本語 6 聞く	2	−	1 − 6	春AB	金3	平形 裕紀子	日常的だが、やや難易度の高い語彙や内容を含むトピックで、やや明瞭度を落とした話し方による3分程度の素材を用いる。大切な情報のメモ・要約・操作と、音の変化の理解、人間関係などが把握できることを目指す。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ06112	日本語 6 聞く	2	−	1 − 6	秋AB	金3	平形 裕紀子	日常的だが、やや難易度の高い語彙や内容を含むトピックで、やや明瞭度を落とした話し方による3分程度の素材を用いる。大切な情報のメモ・要約・操作と、音の変化の理解、人間関係などが把握できることを目指す。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ06132	日本語 6 読む	2	−	1 − 6	春AB	火4	李 欣穎	意見文や論理的な文章の理解ができるようになることを目指す。さまざまなジャンルの文章を読み、グループによる話し合いを通して、読みの共有、意見交換を行う。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
XJ06152	日本語 6 読む	2	−	1 − 6	秋AB	火4	李 欣穎	意見文や論理的な文章の理解ができるようになることを目指す。さまざまなジャンルの文章を読み、グループによる話し合いを通して、読みの共有、意見交換を行う。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ06172	日本語 6 書く	2	−	1 − 6	春AB	木3	平形 裕紀子	身近な話題について、1000字程度の読み手にわかりやすい文章が書けるようになる。文章構成の型を使って、具体例を挙げたり引用したりしながら、順序立てて意見や報告が書けるようになる。適切な表現や語彙を用いて、説明文や意見文が書けるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ06192	日本語 6 書く	2	−	1 − 6	秋AB	木3	平形 裕紀子	身近な話題について、1000字程度の読み手にわかりやすい文章が書けるようになる。文章構成の型を使って、具体例を挙げたり引用したりしながら、順序立てて意見や報告が書けるようになる。適切な表現や語彙を用いて、説明文や意見文が書けるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ07012	日本語 7 文法	2	−	1 − 6	春AB	月3	人見 香緒	中級中期まで学んだ文法項目を復習しながら、中上級レベルに必要な意味や用法などを学ぶ。日本語による有効なコミュニケーション能力の向上を目指して、正確な運用能力を身につける。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ07032	日本語 7 文法	2	−	1 − 6	秋AB	月3	人見 香緒	中級中期まで学んだ文法項目を復習しながら、中上級レベルに必要な意味や用法などを学ぶ。日本語による有効なコミュニケーション能力の向上を目指して、正確な運用能力を身につける。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ07052	日本語 7 話す	2	−	1 − 6	春AB	水4	金 青華	社会的な問題について、論理的に説明、議論できるようになる。興味のあるテーマについてグループで発表・ディスカッションを行う。他の人の意見に関連づけて自分の意見を述べ、より深いディスカッションができることを目指す。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ07072	日本語 7 話す	2	−	1 − 6	秋AB	水4	金 青華	社会的な問題について、論理的に説明、議論できるようになる。興味のあるテーマについてグループで発表・ディスカッションを行う。他の人の意見に関連づけて自分の意見を述べ、より深いディスカッションができることを目指す。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ07092	日本語 7 聞く	2	−	1 − 6	春AB	金4	渡邊 芙裕美	やや専門的で広い範囲のトピックで、明瞭度の低い話し方による5分程度の素材を用いる。話の流れ、明示されていない意図、音変化(難)などを理解し、人間関係(親疎関係、上下関係)を判断できるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ07112	日本語 7 聞く	2	−	1 − 6	秋AB	金4	渡邊 芙裕美	やや専門的で広い範囲のトピックで、明瞭度の低い話し方による5分程度の素材を用いる。話の流れ、明示されていない意図、音変化(難)などを理解し、人間関係(親疎関係、上下関係)を判断できるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
XJ07132	日本語 7 読む	2	−	1 − 6	春AB	火3	伊藤 秀明	いろいろなタイプの文章を読み、各テキスト・タイプに特徴的な論理展開の形を理解する。文章の精読/速読を行う。理解した内容にもとづいて、グループでディスカッションをし、話し合った内容をまとめて発表する。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ07152	日本語 7 読む	2	−	1 − 6	秋AB	火3	伊藤 秀明	いろいろなタイプの文章を読み、各テキスト・タイプに特徴的な論理展開の形を理解する。文章の精読/速読を行う。理解した内容にもとづいて、グループでディスカッションをし、話し合った内容をまとめて発表する。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ07172	日本語 7 書く	2	−	1 − 6	春AB	木4	君村 千尋	抽象的な事柄も含め、2000字程度のまとまりのある文章が書けるようになる。読み手を意識して、論理的に一貫し、構成の整った文章を書く、根拠を挙げて意見を述べる、正しい構文で書く、などができるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ07192	日本語 7 書く	2	−	1 − 6	秋AB	木4	君村 千尋	抽象的な事柄も含め、2000字程度のまとまりのある文章が書けるようになる。読み手を意識して、論理的に一貫し、構成の整った文章を書く、根拠を挙げて意見を述べる、正しい構文で書く、などができるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ08012	日本語 8 文法	2	−	1 − 6	春AB	月3	金子 信子	中級レベルで学んだ各文法項目を復習しながら、上級レベルの文法項目について学ぶ。日本語の構造に関わる文法項目について、深く学び、意味、用法などについても正確に理解し、産出できる能力を身につける。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ08022	日本語 8 文法	2	−	1 − 6	秋AB	月3	金子 信子	中級レベルで学んだ各文法項目を復習しながら、上級レベルの文法項目について学ぶ。日本語の構造に関わる文法項目について、深く学び、意味、用法などについても正確に理解し、産出できる能力を身につける。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ08032	日本語 8 話す	2	−	1 − 6	春AB	水4	糸川 優	様々な分野の話題に関して、情報を収集し、自分なりの考えを持ち、簡潔に伝えられるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ08042	日本語 8 話す	2	−	1 − 6	秋AB	水4	糸川 優	様々な分野の話題に関して、情報を収集し、自分なりの考えを持ち、簡潔に伝えられるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ08052	日本語 8 聞く	2	−	1 − 6	春AB	金4	君村 千尋	専門的な内容を含む広い範囲のトピックで、明瞭度の低い話し方や方言など標準語以外の話し方を含む30分程度のまとまった素材を理解する。必要に応じた聞き方ができる、他の技能に結びつけるなどができるようになることを目指す。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
XJ08062	日本語 8 聞く	2	−	1 − 6	秋AB	金4	君村 千尋	専門的な内容を含む広い範囲のトピックで、明瞭度の低い話し方や方言など標準語以外の話し方を含む30分程度のまとまった素材を理解する。必要に応じた聞き方ができる、他の技能に結びつけるなどができるようになることを目指す。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ08072	日本語 8 読む	2	−	1 − 6	春AB	火4	近藤 幸子	専門性の高い文章や、いろいろなタイプの文章を精読/速読し、各テキストタイプに特徴的な論理展開の形を理解する。筆者の主張や書き方の問題点の指摘、複数のテキストでの対立する議論の論点の読み取り、理解した内容にもとづくグループ・ディスカッション、及びその内容の発表ができるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ08082	日本語 8 読む	2	−	1 − 6	秋AB	火4	近藤 幸子	専門性の高い文章や、いろいろなタイプの文章を精読/速読し、各テキストタイプに特徴的な論理展開の形を理解する。筆者の主張や書き方の問題点の指摘、複数のテキストでの対立する議論の論点の読み取り、理解した内容にもとづくグループ・ディスカッション、及びその内容の発表ができるようになる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ08092	日本語 8 書く	2	−	1 − 6	春AB	木3	田中 孝始	社会的、文化的なテーマについて3000字程度の論理的なレポートが書ける。事実と意見を書き分けられる、制度、仕組みなどについて客観的に説明できる、評価、主張をもった結論が書ける、要約ができる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ08102	日本語 8 書く	2	−	1 − 6	秋AB	木3	田中 孝始	社会的、文化的なテーマについて3000字程度の論理的なレポートが書ける。事実と意見を書き分けられる、制度、仕組みなどについて客観的に説明できる、評価、主張をもった結論が書ける、要約ができる。	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ09012	漢字 1	2	−	1 − 6	春AB	月2	山本 昌代	漢字の表意性を理解し、字形の識別、構造の識別することができる。日常生活においてよく目にする漢字を調べたり、覚え方を工夫したりすることができる。(BKB L1-11)	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ09032	漢字 1	2	−	1 − 6	秋AB	月2	山本 昌代	漢字の表意性を理解し、字形の識別、構造の識別することができる。日常生活においてよく目にする漢字を調べたり、覚え方を工夫したりすることができる。(BKB L1-11)	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ10012	漢字 2	2	−	1 − 6	春AB	月2	陳 一吟	漢字の字形の構造性を理解し、部首、音符などが識別できる。漢字の訓読みと音読みがわかる。日常生活および学生生活においてよく目にする漢字を調べたり、覚え方を工夫したりすることができる。(BKB L11-22)	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ10032	漢字 2	2	−	1 − 6	秋AB	月2	陳 一吟	漢字の字形の構造性を理解し、部首、音符などが識別できる。漢字の訓読みと音読みがわかる。日常生活および学生生活においてよく目にする漢字を調べたり、覚え方を工夫したりすることができる。(BKB L11-22)	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
XJ11012	漢字 3	2	−	1 − 6	春AB	月2	金 青華	初級の漢字語彙を覚え、音読み、訓読みの読み分けができる。漢字を使ったやさしい読み物が読め、簡単な文を書くことができる。(BKB L23 - 31)	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ11032	漢字 3	2	−	1 − 6	秋AB	月2	金 青華	初級の漢字語彙を覚え、音読み、訓読みの読み分けができる。漢字を使ったやさしい読み物が読め、簡単な文を書くことができる。(BKB L23 - 31)	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ12012	漢字 4	2	−	1 − 6	春AB	月4	柳田 しのぶ	初級後半の漢字語彙を覚え、音読み、訓読みの読み分けができる。漢字を使ったやさしい読み物を辞書を使いながら読め、簡単な作文を書くことができる。(BKB L36-45)	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ12032	漢字 4	2	−	1 − 6	秋AB	月4	柳田 しのぶ	初級後半の漢字語彙を覚え、音読み、訓読みの読み分けができる。漢字を使ったやさしい読み物を辞書を使いながら読め、簡単な作文を書くことができる。(BKB L36-45)	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ13012	漢字 5	2	−	1 − 6	春AB	月4	金 成姫	中級の漢字語彙の読み書きを覚えながら、正確に運用できるようにする。学習者自身が自分の弱点に気づき、それを克服するための方法を工夫できるようにする。(IKB vol.1 L1-5)	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ13032	漢字 5	2	−	1 − 6	秋AB	月4	金 成姫	中級の漢字語彙の読み書きを覚えながら、正確に運用できるようにする。学習者自身が自分の弱点に気づき、それを克服するための方法を工夫できるようにする。(IKB vol.1 L1-5)	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ14012	漢字 6	2	−	1 − 6	春AB	月4	金 青華	中上級の漢字語彙の読み書きを覚えながら、正確に運用できるようにする。学習者自身が読みたいものから漢字および漢字語彙を抽出し、使えるようにするための方法を工夫できるようにする。(IKB vol.1 L6-10)	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ14032	漢字 6	2	−	1 − 6	秋AB	月4	金 青華	中上級の漢字語彙の読み書きを覚えながら、正確に運用できるようにする。学習者自身が読みたいものから漢字および漢字語彙を抽出し、使えるようにするための方法を工夫できるようにする。(IKB vol.1 L6-10)	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ15012	漢字 7	2	−	1 − 6	春AB	月4	関 裕子	上級の漢字語彙の読み書きを覚えながら、教育心理学などの文系と、科学技術などの理系分野によって語彙を適切に使い分けられるようにする。学習者自身が読みたいものから漢字および漢字語彙を抽出し、使えるようにするための方法を工夫できる。(IKB vol.2 L1-5)	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
XJ15022	漢字 7	2	−	1 − 6	秋AB	月4	関 裕子	上級の漢字語彙の読み書きを覚えながら、教育心理学などの文系と、科学技術などの理系分野によって語彙を適切に使い分けられるようにする。学習者自身が読みたいものから漢字および漢字語彙を抽出し、使えるようにするための方法を工夫できる。(IKB vol.2 L1-5)	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ16012	漢字 8	2	−	1 − 6	春AB	月4	石田 麻実	上級の漢字語彙の読み書きを覚えながら、地球科学、経済金融、歴史などの専門分野によって語彙を適切に使い分けられるようにする。学習者自身が読みたいものから漢字および漢字語彙を抽出し、使えるようにするための方法を工夫できる。(IKB vol.2 L6-10)	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ16022	漢字 8	2	−	1 − 6	秋AB	月4	石田 麻実	上級の漢字語彙の読み書きを覚えながら、健康、栄養・化学、物理、環境問題、政治などの専門分野によって語彙を適切に使い分けられるようにする。学習者自身が読みたいものから漢字および漢字語彙を抽出し、使えるようにするための方法を工夫できる。(IKB vol.2 L11-16)	外国人留学生が受講できる。ただし、特別聴講学生(学群)は受講不可。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ17132	大学院進学の日本語(面接)	2	−	1 − 6	春AB	金4	鈴木 秀明	J4レベル以上で、大学院の入学試験を受ける予定の研究生が対象。面接での対応力を身につけることを目指す。	外国人留学生が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ17142	大学院進学の日本語(面接)	2	−	1 − 6	秋AB	金4	鈴木 秀明	J4レベル以上で、大学院の入学試験を受ける予定の研究生が対象。面接での対応力を身につけることを目指す。	外国人留学生が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ18212	中上級話す・聞く	2	−	1 − 6	春AB	応談	関崎 博紀	キャンパスで日常的に使われる自然な日本語表現を学ぶ。J5-8の学生対象。	
XJ18222	中上級話す・聞く	2	−	1 − 6	秋AB	応談	関崎 博紀	キャンパスで日常的に使われる自然な日本語表現を学ぶ。J5-8の学生対象。	
XJ18232	中上級読む・書く	2	−	1 − 6	春AB	応談	ブッシュネル ケード コンラン	日本語の全体的なレベルを向上することを狙いながら、オンラインコンテンツ(教師が紹介するものや受講生が自ら見つけるもの)を利用しながら多読を実践する。多読で習得した語彙や文型を活性化するために、本授業のフォーラムでの意見交換やその他の文章を書く。また、第2言語習得の研究の成果について学び、日本語や外国語の効果的な勉強の仕方を自らの日本語学習に応用する。J5-8レベルの留学生が対象。	
XJ18242	中上級読む・書く	2	−	1 − 6	秋AB	応談	ブッシュネル ケード コンラン	日本語の全体的なレベルを向上することを狙いながら、オンラインコンテンツ(教師が紹介するものや受講生が自ら見つけるもの)を利用しながら多読を実践する。多読で習得した語彙や文型を活性化するために、本授業のフォーラムでの意見交換やその他の文章を書く。また、第2言語習得の研究の成果について学び、日本語や外国語の効果的な勉強の仕方を自らの日本語学習に応用する。J5-8レベルの留学生が対象。	
XJ19132	大学院生のための専門日本語	2	−	1 − 6	春AB	月5	日髙 晋介	各専門分野で用いられる語彙や表現についての知識を、受講生が主体となって深める。	外国人留学生のうち、正規課程に在籍する大学院生が優先的に受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
XJ19142	大学院生のための専門日本語	2	－	1 － 6	秋AB	月5	日髙 晋介	各専門分野で用いられる語彙や表現についての知識を、受講生が主体となって深める。	外国人留学生のうち、正規課程に在籍する大学院生が優先的に受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ19152	大学院生のための日本語コーチング(中級読む聞く)	2	－	1 － 6	春AB	火5	伊藤 秀明	J3-J5レベルの学生が対象。読む力と聞く力を向上させることを目指す。	外国人留学生のうち、正規課程に在籍する大学院生が優先的に受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ19162	大学院生のための日本語コーチング(中級読む聞く)	2	－	1 － 6	秋AB	火5	伊藤 秀明	J3-J5レベルの学生が対象。読む力と聞く力を向上させることを目指す。	外国人留学生のうち、正規課程に在籍する大学院生が優先的に受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ19172	大学院生のための日本語コーチング(中級書く話す)	2	－	1 － 6	春AB	金5	鈴木 秀明	J3-J5レベルの学生が対象。書く力と話す力を向上させることを目指す。	外国人留学生のうち、正規課程に在籍する大学院生が優先的に受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ19182	大学院生のための日本語コーチング(中級書く話す)	2	－	1 － 6	秋AB	金5	鈴木 秀明	J3-J5レベルの学生が対象。書く力と話す力を向上させることを目指す。	外国人留学生のうち、正規課程に在籍する大学院生が優先的に受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ20152	形成的評価に基づく日本語学習A	2	－	1 － 6	春ABC	応談	ヴァンバーレンルート,関崎 博紀,伊藤 秀明,岩崎 拓也,小野 正樹,チョーハン アヌブティ,ブッシュネル ケードコンラン,文 昶允,三好 優花,鏡 耀子,日髙 晋介	オンラインコースウエア等を利用しながら、大学(院)生の自律的な日本語学習を支援・監督・評価する。	外国人留学生のうち、正規課程に在籍する大学院生が優先的に受講できる。受講人数制限あり。 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ20162	形成的評価に基づく日本語学習B	2	－	1 － 6	秋ABC	応談	ヴァンバーレンルート,関崎 博紀,伊藤 秀明,岩崎 拓也,小野 正樹,チョーハン アヌブティ,ブッシュネル ケードコンラン,文 昶允,三好 優花,鏡 耀子,日髙 晋介	オンラインコースウエア等を利用しながら、大学(院)生の自律的な日本語学習を支援・監督・評価する。	外国人留学生のうち、正規課程に在籍する大学院生が優先的に受講できる。受講人数制限あり。 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ20182	キャリア支援と日本語B	2	－	1 － 6	秋C	集中	ヴァンバーレンルート,関崎 博紀,伊藤 秀明,チョーハン アヌブティ	本授業は、本学の正規留学生を対象とした日本語の集中講座である。日本の就職事情と学内の支援体制を理解し、自身の就職活動について情報を収集できるようになることと、就職活動の過程でどのような日本語が求められるかについて理解することを目指す。	1/25, 1/26 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。 対面(オンライン併用型)
XJ21042	N1言語知識	2	－	1 － 6	秋AB	木5	君村 千尋	JLPTのN1レベル到達を目指す。特に、言語知識を学ぶ。J7-8レベルの学生が対象。留学生に対するキャリア支援の一環としての授業。	外国人留学生が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
XJ21052	N1読解	2	－	1 － 6	秋AB	火5	近藤 幸子	JLPTのN1レベル到達を目指す。特に、読解を学ぶ。J7-8レベルの学生が対象。留学生に対するキャリア支援の一環としての授業。	外国人留学生が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ21062	N1聴解	2	－	1 － 6	秋AB	木4	陳 一吟	JLPTのN1レベル到達を目指す。特に、聴解を学ぶ。J7-8レベルの学生が対象。留学生に対するキャリア支援の一環としての授業。	外国人留学生が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ21072	N2言語知識	2	－	1 － 6	秋AB	火4	関崎 博紀	JLPTのN2レベル到達を目指す。特に、言語知識を学ぶ。J5-8レベルの学生が対象。留学生に対するキャリア支援の一環としての授業。	外国人留学生が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ21082	N2読解	2	－	1 － 6	秋AB	木4	関崎 博紀	JLPTのN2レベル到達を目指す。特に、読解を学ぶ。J5-8レベルの学生が対象。留学生に対するキャリア支援の一環としての授業。	外国人留学生が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ21092	N2聴解	2	－	1 － 6	秋AB	金4	金 成姫	JLPTのN2レベル到達を目指す。特に、聴解を学ぶ。J5-8レベルの学生が対象。留学生に対するキャリア支援の一環としての授業。	外国人留学生が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ21162	中級話す聞く	2	－	1 － 6	秋AB	水5	李 欣穎	就職活動でのグループディスカッション、面接などでの対応力を身につけることを目指す。J5-6レベルの学生が対象。留学生に対するキャリア支援の一環としての授業。	外国人留学生が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ21182	中級メディアリテラシー	2	－	1 － 6	秋AB	水4	山本 千波	日本の産業や経済、就職に関する情報を得るためのメディアリテラシーを身につけることを目指す。J4-6レベルの学生が対象。留学生に対するキャリア支援の一環としての授業。	外国人留学生が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ21192	連絡コミュニケーション	2	－	1 － 6	秋AB	金5	近藤 幸子	就職活動や就業で必要な連絡(エントリーシート、eメール、電話など)の方法を身につけることを目指す。J6-8レベルの学生が対象。留学生に対するキャリア支援の一環としての授業。	外国人留学生が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ21202	N1言語知識	2	－	1 － 6	春AB	木5	君村 千尋	JLPTのN1レベル到達を目指す。特に、言語知識を学ぶ。J7-8レベルの学生が対象。外国人留学生に対するキャリア支援の一環としての授業。	外国人留学生が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ21212	N1読解	2	－	1 － 6	春AB	火5	近藤 幸子	JLPTのN1レベル到達を目指す。特に、読解を学ぶ。J7-8レベルの学生が対象。外国人留学生に対するキャリア支援の一環としての授業。	外国人留学生が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ21222	N1聴解	2	－	1 － 6	春AB	木4	陳 一吟	JLPTのN1レベル到達を目指す。特に、聴解を学ぶ。J7-8レベルの学生が対象。外国人留学生に対するキャリア支援の一環としての授業。	外国人留学生が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ21232	N2言語知識	2	－	1 － 6	春AB	火4	関崎 博紀	JLPTのN2レベル到達を目指す。特に、言語知識を学ぶ。J5-8レベルの学生が対象。外国人留学生に対するキャリア支援の一環としての授業。	外国人留学生が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ21242	N2読解	2	－	1 － 6	春AB	木4	関崎 博紀	JLPTのN2レベル到達を目指す。特に、読解を学ぶ。J5-8レベルの学生が対象。外国人留学生に対するキャリア支援の一環としての授業。	外国人留学生が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
XJ21252	N2聴解	2	－	1 － 6	春AB	金4	金 成姫	JLPTのN2レベル到達を目指す。特に、聴解を学ぶ。J5-8レベルの学生が対象。外国人留学生に対するキャリア支援の一環としての授業。	外国人留学生が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ21322	中級話す聞く	2	－	1 － 6	春AB	水5	李 欣穎	就職活動でのグループディスカッション、面接などでの対応力を身につけることを目指す。J5-6レベルの学生が対象。外国人留学生に対するキャリア支援の一環としての授業。	外国人留学生が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ21342	中級メディアリテラシー	2	－	1 － 6	春AB	水4	山本 千波	日本の産業や経済、就職に関する情報を得るためのメディアリテラシーを身につけることを目指す。J4-6レベルの学生が対象。外国人留学生に対するキャリア支援の一環としての授業。	外国人留学生が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ21352	連絡コミュニケーション	2	－	1 － 6	春AB	金5	近藤 幸子	就職活動や就業で必要な連絡(エントリーシート、eメール、電話など)の方法を身につけることを目指す。J6-8レベルの学生が対象。外国人留学生に対するキャリア支援の一環としての授業。	外国人留学生が受講できる。受講人数制限あり。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ22012	集中日本語D000A	2	－	1 － 6	春ABC	月・火・水・木・金 1-4	ブッシュネル ケード コンラン,文 昶允,チョーハン アヌブティ,岩崎 拓也	日常生活、大学生活に必要な日本語力を総合的につける。レベルによっては、プレゼンテーションやレポートの書き方、読解入門、日本文化なども学ぶ。	外国人留学生が受講できる。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
XJ23012	集中日本語D000B	2	－	1 － 6	秋ABC	月・火・水・木・金 1-4	ブッシュネル ケード コンラン,文 昶允,チョーハン アヌブティ,岩崎 拓也	日常生活、大学生活に必要な日本語力を総合的につける。レベルによっては、プレゼンテーションやレポートの書き方、読解入門、日本文化なども学ぶ。	外国人留学生が受講できる。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。